『NHK年鑑2021』を利用される方に

○『NHK年鑑』は1931年に『ラヂオ年鑑』として創刊し，テレビ放送の始まった翌年の1954年に『NHK年鑑』と改称しました。太平洋戦争中と終戦直後の1944年から46年まで３年休刊したほかは毎年発行して，放送の歩みを体系的・継続的に記録し続けてきました（休刊した３年分は，1947年にまとめて掲載）。本号は1931年の『ラヂオ年鑑』から数えて86冊目にあたります。

○『NHK年鑑2021』は2020（令和２）年４月から2021（令和３）年３月にいたるNHKの業務を全般的に記録しています。

○第１部第２章「新型コロナウイルス感染拡大への対応」では，感染拡大が放送にもたらした影響や，NHKが行った取り組みなどを掲載しました。

○東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故発生から10年が過ぎました。第１部第５章「東日本大震災から10年」では，発生から10年になる東日本大震災関連の取り組みをまとめました。

○巻末の「資料編」では本編に関連するデータを資料の形で掲載しています。一部，もとの資料をそのままの形で掲載した箇所があります。

○NHK年鑑のNHK関係部分については以下のアドレスでもご覧になれます。
https://www.nhk.or.jp/bunken/book/

■表記方法など

❶表記は，原則として『NHK漢字表記辞典』（新常用漢字表に対応），『NHKことばのハンドブック　第２版』に準拠した。

❷年の表示は，原則として西暦で統一し，下２けたの表記とした。

❸固有名詞（社名など）の漢字は，人名以外は，原則として新字体で統一した。

❹企業名，チャンネル名等については適宜，通称・略称を使用した。

❺番組名には『　』，シリーズ名や個別のタイトルには「　」を使用した。
例：『NHKのど自慢』
『連続テレビ小説』「エール」

❻番組解説等については，次の記号を使用した。

総合テレビ	＝G, Ⓖ
Eテレ	＝E, Ⓔ
BS1	＝BS1, BS1
BSプレミアム	＝BSP, BSP
BS４K	＝BS４K, BS４K
BS８K	＝BS８K, BS８K
ラジオ第１	＝R1, R1
ラジオ第２	＝R2, R2
FM放送	＝FM, FM
テレビ国際放送	＝T国際, T国際
ラジオ国際放送	＝R国際, R国際

❼NHKは2019年６月の組織改正により，大阪放送局，名古屋放送局，広島放送局，福岡放送局，仙台放送局，札幌放送局，松山放送局を「拠点放送局」とした。これらについて「拠点局」または「局」と略称したところがある。

❽NHK関連団体については次のように略称した。
NHKエンタープライズ＝NEP
NHKエデュケーショナル＝NED
NHKグローバルメディアサービス＝Gメディア
日本国際放送＝JIB
NHKサービスセンター＝NSC

❾「放送日誌」の作成には，以下を参考にした。
『新聞研究』『民放』『放送研究と調査』

❿視聴率は，特に断らない限り「ビデオリサーチ調べ，関東地区」を使用した。
（https://www.videor.co.jp/）

⓫外貨建てに併記した円建ての金額は，その出来事が起きた時点のレートによるものである。

1

第１部

2020年度の動き

第1章

放送界の動き

はじめに

本章では，2020年度の放送界の動きを，「制度・政策」「NHKを巡る動き」「民間放送と各メディアの動き」「倫理・ジャーナリズム」「安全・安心」の５つの面から概観する。

日本中が新型コロナウイルスの感染拡大に翻弄される中で，放送界も取材や番組制作への制約，広告収入の減少など大きな影響を受けた。１年延期された東京オリンピック・パラリンピックが予定どおり開かれるのか，放送とインターネットの関係がどう変わっていくのかなど見通しをつけにくい課題も多く，放送界にとって手探りの努力を強いられる状況が続いた。

制度・政策

規制改革推進会議の動き

政府の規制改革推進会議は20年７月，「規制改革推進に関する答申」を公表した。「放送を巡る規制改革」としては，①放送事業者によるインターネット配信の推進，②ローカル局の経営基盤強化とNHKによる協力の在り方，③インターネットにおける放送コンテンツの円滑な流通に向けた制度整備，④放送コンテンツの製作取引適正化，⑤放送のユニバーサルサービスの在り方の５項目について推進内容を提示した。

このうち①では，NHKのインターネット常時同時配信等について，地方向けの放送番組の配信を積極的に行うようNHKに促すことや新型コロナウイルス感染に対応する教育機会の確保のために，著作権処理を必要としない映像資産を「NHK for School」にダウンロードする機能を追加するなど，ニーズを踏まえた取り組みの実施を促すと明記。③では，同時配信を著作権法上，放送と同等に扱うことについて丁寧な議論を行うことを求めた。⑤では，放送ネットワークをブロードバンドで代替する場合のコストの比較考量を行うなど一歩進んだ検討をしていくことを提言した。

総務省“諸課題検”の議論

総務省では15年11月から，「放送を巡る諸課題に関する検討会」（以下，諸課題検）で放送界に関わるさまざまな課題について論議しており，20年度は以下の検討が進められた。

1 NHK改革

NHKについては，これまで業務，受信料，ガバナンスの三位一体改革として扱われていたが，20年４月からは「公共放送の在り方に関する検討分科会」がスタート，「三位一体改革のフォローアップ」と「受信料制度の在り方」の２点を中心に検討を進め，６月には議論の“とりまとめ”を公表した。この主眼は，NHKが「中期経営計画」を策定するにあたり，NHKに期待する事項を示すことにあった。

“とりまとめ”では，総論として，PDCAサイクルの明確化と，評価の体制を明らかにすることがNHKに期待されるとした。各論では，国内・国際放送，インターネット活用業務，営業経費，業務委託など，多岐にわたって期待される事項が具体的に示された。

検討分科会は20年11月，とりまとめ案をまとめ，意見募集後の修正を経て21年１月18日，「公共放送と受信料制度の在り方に関するとりまとめ」を公表した。この中でNHKと民放連が要望していた次の４つの項目について，制度改正の方向性が示された。

【1】中間持株会社制の導入

NHKがグループ再編と共通機能の集約のために要望していた「中間持株会社制の導入」については，とりまとめ案の段階では，NHKの説明が不十分であるとして見送られる方向だったが，とりまとめでは大幅修正され，制度改正の方向性が示された。今後の留意点として，合理化・効率化の効果に対する事後的な検証をNHKで毎年行うことや，必要な水準を超えた剰余金が子会社に蓄積されないような配当の在り方を明らかにすることが追記された。

【2】繰越剰余金の受信料への還元

NHKが受信料値下げの原資を明確にするため，財務諸表に受信料還元の科目を新設することを要望したのに対し，とりまとめでは「一定水準を超えた剰余金については，還元目的の『積立金』の勘定科目に計上し，次の中期経営計画の期間において受信料の引き下げに充当することを義務付ける制度を導入することが適当である」とした。

【3】受信料の公平負担に向けた制度改正

NHKは受信設備を設置した際，もしくは未設置であることをNHKに届け出る制度と未契約者の氏名等（居住者情報）を照会できる制度を要望していたが，分科会の議論では両方とも不適当とされた。代わりにとりまとめでは，正当な理由がないのにもかかわらず受信契約締結に応じない受信設備の設置者のみに対して，刑事罰・行政罰とは異なる民事上の担保措置としての割増金を適用することを法律に規定する方向性が示された。

【4】NHKと民放との連携

民放連が「放送サービスの維持あるいは向上に係る部分は，受信料を財源とするNHKにより多く負担してもらえないか」と要望したのに対し，とりまとめでは，NHKに対し，放送ネットワーク維持・管理に関する民放との協力の努力義務の導入が適当であるとした。

2 放送事業の基盤強化の議論

諸課題検の「放送事業の基盤強化に関する検討分科会」は20年７月，２年近くにわたる議論のとりまとめを公表した。内容は「経営基盤強化の在り方」が主眼。人口減少や地域経済の落ち込み，自然災害の増加などに加え，ネット広告へのシフトという構造的な要因によって，民間ローカル局の広告収入が今後，減少していくことが見込まれるため，局の経営基盤をどのような方向性で強化していくべきかが議論の中心となった。

基本的な方向性として掲げられたのが「放送事業外収入の多様化・多角化」。東名阪以外の放送局では，放送事業による広告収入が総収入の約９割を占めるため，今後は自治体や地場産業などとの連携による地域コンテンツの域外（全国・海外）展開，ネット活用の促進などを進めることが期待されるとした。一方，放送局の統合や再編，ハード・ソフト分離などの抜本的な合理化策には触れず，「必要な方策の検討を引き続き進めていくこととする」と述べるにとどまった。

3 衛星，ラジオの将来についての議論

20年12月に開かれた親会では，分科会の報告案などについて，議論を交わした。このうち，衛星放送の未来像を検討するワーキンググループが示した，右旋帯域で空き帯域が確保できた場合，４K放送に割り当てるべきとする報告書案については，２K放送の使用を原則としてきたこれまでの政策を大きく転換する内容だったが，異論は出なかった。またラジオに関しては，AM放送を将来的にFMに置き換えることが決まっており，今回は，その方針を進めるための考え方が示された。この中では，置き換えるFMの世帯カバー率はおおむね90％を満たすことが要件として適当とする一方，radiko（ラジコ）などのインターネット配信は，輻輳（ふくそう）や遅延が起きるため，代替手段としては対象外としている。この案に対し，radikoが普及している状況を踏まえれば，代替手段として認めてもよいのではないかとの意見が相次ぎ，今後の検討課題とされた。

放送法改正を巡る動き

諸課題検の議論を受けて，政府は21年２月26日，放送法の改正案を閣議決定した。改正案では，NHKに対し，剰余金を原資として受信料の値下げに充当する「還元目的積立金」の制度を導入するとした。この制度ではNHKの決算で事業収入から事業支出を差し引いた事業収支差金が黒字になった場合，財政安定のために留保する一定額を除いて，受信料の値下げの原資として積み立てることを義務づけた。また改正案では，NHKが子会社の業務の効率化を図るため，中間持株会社を新たに保有できるようにするとしたほか，テレビの設置者が正当な理由なく期限までにNHKとの受信契約に応じない場合，受信料を支払っている者との間で不公平が生じないよう割増金の制度を導入することや，民放の字幕放送や解説放送にNHKが協力する努力義務を課すことなども盛り込んだ。

政府は21年の通常国会で法案の成立を目指したが，放送事業者の外資規制違反問題が起きた影響で，会期中の法案成立が難しい状況となった。

総務省幹部らの接待問題

総務省の幹部らが衛星放送関連会社，東北新社に勤める菅総理大臣の長男やNTTから接待を受けていた問題が発覚し，総務省は21年２月，谷脇康彦総務審議官ら９人を減給などの懲戒処分に，２人を訓告などの処分にした。総務審議官当時に接待を受けていた山田真貴子内閣広報官は給与月額の10分の６を自主返納したのち辞職した。

この接待問題で行政がゆがめられたことがなかったかを検証する第三者委員会が21年３月，総務省内に設置され，東北新社やNTTに関係する政策決定に，公平性や透明性を欠いたプロセスがなかったかの検証を開始した。

東北新社は17年10月に外資比率が20％を超え，法律に違反した状態だったにもかかわらず，事実と異なる申請を行って衛星放送事業の認定を受けていたことが明らかになった。このため総務省は21年３月，東北新社の子会社の「東北新社メディアサービス」が継承しているBS４K放送「ザ・シネマ４K」の認定を21年５月１日付けで取り消す処分を行ったと発表した。「ザ・シネマ４K」は洋画専門の有料チャンネルで，およそ650人が契約していたが，認定が取り消しになると放送ができなくなるため，総務省は契約者保護のため１か月余りの周知期間を設けた。衛星放送事業の認定の取り消しは，07年に長期間にわたって放送ができなくなった事業者に対して行われて以来２度目。

NHKを巡る動き

新型コロナ対策

新型コロナウイルスの感染拡大で影響を受けた中小企業や個人事業主を対象に，NHKは放送受信料を２か月間免除する対策をとった。免除の対象は，20年４月に閣議決定した政府の緊急経済対策として，売り上げが大きく減少した事業者に給付する「持続化給付金」の受給者で，事業所など住居以外の場所に設置する受信機の受信料を申請月と翌月の全額を免除するもの。21年３月まで申請を受け付けた。また20年４月から21年９月までの間の受信料については，支払いが困難な受信契約者の支払いを猶予する措置を講じ，延滞利息の支払いを不要とした。

またNHKのウェブサイトに「新型コロナウイルス」特設サイトを設け，公開している感染者まとめのデータをユーザーが活用しやすいCSV形式でダウンロードできるサービスを20年12月から開始した。

受信料値下げ

20年度予算に計画したとおり，10月から地上契約と衛星契約の値下げを実施した。19年度の消費税率引き上げに伴う受信料額改定見送りによる実質的な値下げや，設置料無料化などの負担軽減による受信料還元策に続くもので，値下げ額は月額で，地上契約35円，衛星契約60円。

インターネットの活用を巡る動き

NHKの常時同時・見逃し番組配信サービス「NHKプラス」の運用が20年４月から本格的に始まった。３月に試験的に実施し，１か月間で33万件の登録申し込みがあった。前田晃伸会長は「非常に順調な滑り出し」と評価。ただし同時配信は当面“常時”ではなく，午前６時～翌午前０時までの18時間の提供となった。

NHKは20年９月，今後のネット活用業務の内容，費用を示した「インターネット活用業務実施基準」の素案を公開し，自主的に設けた「上限」を事実上撤廃することを示した。

これに対して民放連の大久保好男会長は同月の定例会見で，「NHKはインターネット活用業務の費用を抑制する指標として自ら2.5％という上限を定めた。にもかかわらず，わずか１年で撤廃するならば，昨年の放送法改正をめぐる論議は何だったのか」と上限撤廃に同意できない意を示した。

こうした動きを受けて，NHKは20年11月，地方向け放送番組の配信強化に取り組みながら，インターネット活用業務費は年額200億円を超えないものとする，などと変更した実施基準案を提出。武田良太総務大臣は21年１月12日，この新たな実施基準を認可した。

3か年経営計画

NHKは，21年１月13日，21年度からの３か年経営計画を決定，公表した。計画では，NHKならではの多様で質の高いコンテンツの取材・制作に経営資源を集中させ，正確・公平公正で，豊かな放送・サービスをいつでもどこでも最適な媒体を通じて届け続ける「新しいNHKらしさの追求」を進めるとした。

このため既存業務を抜本的に見直し，３年間で700億円規模の経費削減を行う一方，150億円程度を「安全・安心を支える」「新時代へのチャレンジ」「あまねく伝える」「社会への貢献」「人事制度改革」の５つの取り組みに重点投資し「スリムで強靱な『新しいNHK』を目指す」とした。

構造改革としては，衛星波のうちBS1・BSプレミアム・BS４Kの見直しを打ち出し，BS1とBSプレミアムについては，23年度中に１波に削減したうえで，将来的にはBS４Kも含めた１波化も視野に入れて検討するとしている。音声波・ラジオも，インターネットの活用や編成上の工夫をしながら25年度に現在の３波からAM・FMの２波に整理・削減する方向で検討するとした。さらに訪問によらない効率的な営業活動に移行して経費を削減する一方，関連団体については，全体の規模を縮小するとともに団体の数を削減してスリムで強靱な体制を構築することを盛り込んだ。

受信料については，新放送センターの建設計画の抜本的な見直しや，経営努力で生み出した剰余金を積み立てる仕組みの導入などで，還元の原資として事業規模の１割にあたる700億円程度を確保するとした。そのうえで，新型コロナウイルスの影響などを見極めながら具体的な方法を検討し，衛星波の削減を行う23年度に値下げを行う方針を示した。衛星料金の見直しを含め，総合的な受信料の在り方についても検討を進めるとしている。

前田晃伸会長は記者会見でNHKの業務・受信料・ガバナンスのいわゆる「三位一体の改革」の仕上げをするために，ただちに取り組まなければいけないことをすべて盛り込み，NHKを本気で変えるという強い覚悟を示した。「この経営計画が，将来にわたって信頼され，必要とされる公共メディア・NHKを築く礎になればと考えている」と述べた。また経営委員会は「構造改革にしっかり裏打ちされ果たすべき役割を明確に記載した新しい経営計画は，これからの時代にふさわしい進化を遂げようというNHKの強い決意だと受け止めている」などとした見解を公表した。武田良太総務大臣は記者団に「改革に向けた大いなる一歩を踏み出したものと思っており，評価したい。みずからが決めた方針に従って，しっかりと３年間，計画的に実行していただくことを期待したい」と述べた。また受信料の値下げ方針については，NHKならではの質の高さや低廉な料金を追求することで，国民から納得され，愛される公共放送になるように，不断の努力を重ねていただきたい」と述べた。

番　組

新型コロナウイルスの感染拡大で中止となったセンバツ高校野球の救済策として，出場が決まっていた32校が甲子園で１試合ずつ対戦する「交流試合」が20年８月に開催され，NHKとBS朝日が全16試合を生中継した。夏の全国高校野球も中止になったが，地方大会の代替として開かれた都道府県独自の大会をNHKが中継した。

20年12月31日の『紅白歌合戦』は，新型コロナウイルスの感染拡大防止のため，初めて無観客で開催。午後９時からの番組平均世帯視聴率は関東地区が40.3%，関西地区が39.3%だった（ビデオリサーチ調べ）。

決　算

NHKの20年度の事業収入は7,121億円と19年度より262億円減少した。このうち受信料収入は，新型コロナウイルスの感染拡大を受けて営業の訪問活動を停止したことや20年10月から値下げを実施したことなどから，前年度より220億円少ない6,895億円と２年連続の減少となった。

事業支出は，新型コロナウイルスの影響でドラマの放送本数や各種スポーツの試合の中継が減ったことなどから6,870億円と前年度より293億円減少した。

収入から支出を差し引いた事業収支差金は，予算では149億円の赤字を見込んでいたが，前年度より30億円増えて251億円の黒字となった。

予　算

NHKの新年度，21年度の予算が21年３月の衆・参議院本会議で自民党，立憲民主党，公明党，国民民主党などの賛成多数で承認された。日本維新の会，共産党，NHK受信料を支払わない方法を教える党などは反対し，20年に続いて全会一致とはならなかった。

21年度予算のうち，事業収入は，20年10月からの受信料の値下げや新型コロナウイルスの影響などにより，前の年度より304億円少ない6,900億円を見込んだ。

事業支出は，構造改革による見直しで前の年度より224億円少ない7,130億円を見込んでおり，「命と暮らしを守る」報道の強化やテレビ放送のインターネットへの常時同時配信や見逃し番組配信を行っている「NHKプラス」のサービスの充実などに必要な経費などを盛り込んだ。収入から支出を差し引いた事業収支差金は230億円の赤字となり，「財政安定のための繰越金」から補填する。

かんぽ報道を巡る動き

かんぽ生命保険の不適切な販売を報じた番組を巡り，NHK経営委員会が18年，上田良一会長（当時）を厳重注意した問題で，NHKが設置した第三者機関のNHK情報公開・個人情報保護審議委員会は，21年２月，当時の経営委員会議事録を「全面開示」すべきだとする答申を出した。

議事録は「要約」が公表されているが，答申では，要約された文書は開示の求めの対象文書との同一性を失ったもので，情報公開制度は対象文書をありのままに見せることが当然の大前提，としたうえで，「公開制度の対象となる機関自らが対象文書に手を加えることは（中略）対象文書の改ざんというそしりを受けかねない危険をはらむ」と指摘した。

日本郵政･日本郵便と防災で連携協定

NHKは21年３月，日本郵政・日本郵便との間で「防災・減災に関する連携協定」を結んだと発表した。災害が起きた際，NHKが地域の郵便局から被害状況が分かる動画・静止画を提供してもらったり，郵便局長らが電話インタビューに応じたりする協力を受けるというもの。全国に約２万4,000局ある郵便局のネットワークを防災報道に生かし，防災・減災につなげる。

民間放送と各メディアの動き

新型コロナウイルスの影響

全日本テレビ番組製作社連盟（ATP）は20年６月，新型コロナウイルスの感染拡大で番組制作の業務がストップしたことを巡り，放送事業者に送った要望書を公表した。制作会社が収益の手だてを失っている窮状を訴え，現場で働くスタッフ等の安全確保を第一にすること，番組の確実な制作と追加費用の負担，会社所属かどうかを問わず全スタッフへ対応することなどを求めた。

インターネット配信を巡る動き

日本テレビは，系列の読売テレビ，中京テレビと共同で，番組をインターネットで同時配信するトライアルを行った。民放テレビ公式ポータル「TVer」を通じ，夜７～11時を中心に20年10月から12月までの３か月間32番組を無料で配信。この試みで得たデータをもとに本格実施について検討する。

テレビ朝日とKDDIは共同で新たな動画配信サービス「TELASA（テラサ）」を20年４月から開始した。KDDIの動画配信サービス「ビデオパス」を継承，放送と通信の融合で5G時代の新サービスを目指すとしている。テレビ朝日はすでにサイバーエージェントとの合弁でAbemaTVでの動画配信を進めているが，配信コンテンツの違いでのすみわけを進めている。

新聞・雑誌・テレビ・ラジオなどのメディア28社が20年６月，インターネット広告の配信で連携する新組織「コンテンツメディアコンソーシアム」を創設した。共同で受注したネット広告の中から，各社の媒体の特徴に適したものを選び，配信する仕組み。媒体にそぐわない広告が配信されたり，広告が商品やブランドを損ねるおそれのある媒体に配信されたりするのを防ぐねらいもある。

ラジオを巡る動き

新潟県の新潟県民エフエム放送と愛知県のRadio NEO は，広告収入の伸び悩みで経営悪化が続き，20年６月で閉局した。県域ラジオ局の閉局は全国で３例となった。

ラジオ番組をインターネット経由でパソコンやスマートフォンなどに配信するサービス「radiko」に，20年９月からエフエム徳島が参加。サービス開始10年で，民放ラジオ全99局の番組が聴取できるようになった。radikoは難聴取地域の解消などのために10年に設立，年々参加する放送局が増え，放送エリア外の番組や過去１週間以内の番組を聴取可能にするなど，新しいサービスを提供してきた。radikoにはNHK（ラジオ第１とFM）と放送大学も参加している。

ビデオリサーチは，ラジオ番組をインターネットで配信するradikoの聴取データを使い，前日のラジオ聴取データを毎日提供するサービスを20年４月から首都圏エリアで開始した。毎分ごとの聴取状況が，パーセントと推定人数で示される。ラジオの聴取データは，同社が年に６週間実施する調査しかなかったが，これによってテレビの視聴率に似た詳細な聴取実態が毎日つかめるようになった。このサービスは21年４月からは，関西圏，中京圏でも始まり，三大都市圏に拡大された。

番　組

20年に放送された15分以上の番組の総合視聴率※（世帯，ビデオリサーチ調べ）でみると，最もよく見られたのは，『日曜劇場・半沢直樹』の最終回（TBS・９月27日）の44.1％で『紅白歌合戦』（NHK・12月31日）後半の42.7％を上回った。次いで新型コロナ感染で亡くなった志村けんさんの『天才！志村どうぶつ園特別編』（日本テレビ・４月４日）の30.7％，『火曜ドラマ・私の家政夫ナギサさん』最終回（TBS・９月１日）の30.5％の順となった。

（※総合視聴率　リアルタイム視聴とタイムシフト視聴のいずれかで視聴）

一方，新型コロナウイルスの感染が続く中，21年の正月三が日のテレビ視聴は，ビデオリサーチの視聴率調査（関東地区）の結果で，過去10年間の最高となった。総世帯視聴率（関東地区／６～24時）は，元日が49.5％，２日が48.8％，３日が49.7％で，いずれも過去10年間で最高値を記録した。年明けの瞬間を国民の半数にあたる5,531万2,000人がテレビの前で迎えたと推計した。

日本テレビは20年の年間個人視聴率が，全日とプライム，ゴールデンの各時間帯でNHK・在京キー局を通じてトップとなり，10年連続で「３冠」を達成したと発表した。

国内の広告費が９年ぶりに減少

電通が20年２月に発表した「2020年の広告費」によると，日本国内の広告費は６兆1,594億円で前の年より11.2％減り，９年ぶりに減少となった。新型コロナの感染拡大で広告需要が大きく落ち込んだことが大きな要因。このうちテレビは地上・衛星合わせて１兆6,559億円（11％減），インターネットは２兆2,290億円（5.9％増）と両者の差が広がった。

決　算

在京民放キー局５社の21年３月期決算によると，20年度は，新型コロナウイルスの感染拡大の影響で地上波テレビの広告収入が減ったのに加え，イベントの中止・延期などの影響も広がり，全社が減収減益となった。

フジ・メディア・ホールディングス（HD）は，メディア・コンテンツ事業だけでなく，都市開発・観光事業も振るわず，売上高は5,199億円と前年度を17.7％下回り，純利益は101億円と前年度より75.5％減少した。日本テレビHDは，地上波テレビ広告収入がスポット収入を中心に大幅に減ったほか，生活・健康事業のスポーツクラブの収入減少などが加わり，売上高は3,913億円と前年度を8.3％下回り，純利益も21.3％減の240億円に留まった。東京放送（TBS）HDは，タイム・スポット収入や興行収入の減少などから売上高が3,256億円（8.7％減）で，純利益は280億円（7.0％減）となった。テレビ朝日HDは，売上高が2,645億円（9.9％減），純利益が126億円（52.3％減）で，テレビ東京HDは，売上高1,390億円（4.2％減），純利益は25億円（0.6％減）であった。

倫理・ジャーナリズム

『テラスハウス』出演者死亡で番組中止

フジテレビが20年５月に放送した『TERRACE HOUSE TOKYO 2019-2020』（以下，『テラスハウス』）に出演していた女性が放送後に亡くなった。SNS上で番組の内容をきっかけとした誹謗中傷を受け，それを苦に自ら命を絶ったとみられている。フジテレビは，番組の収録と放送，自社の動画配信サービス「FOD」での配信を中止し，社内横断メンバーによる検証報告を公表した。報告では，制作スタッフにはSNSの炎上は予見できず，炎上をあおろうとする意図はなかったとしている。

しかし，女性の母親は，娘の死は番組内の「過剰な演出」がきっかけでSNS上に批判が殺到したためだとして，人権侵害があったとBPOの放送人権委員会に申し立てた。これに対して，放送人権委員会は21年３月30日，人権侵害にはあたらないが，放送倫理上の問題があったとする「見解」を公表した。それによると，フジ側が一定のケア対応をしていたこと，女性の自由な意思決定の余地が事実上奪われる状態であったとはいえないことなどから，人権侵害とは断定できないとした。

その一方で，リアリティー番組というジャンルは，番組中の言動や容姿，性格等に関する誹謗中傷によって出演者自身が精神的負担を負うリスクがドラマやフィクションよりも格段に高いにもかかわらず，フジ側に出演者の身体的・精神的な健康状態に対する配慮が欠けており，「放送倫理上の問題がある」と判断した。委員会はフジに対し，対策の実行や再発防止に努めることを要望するとともに，放送界全体にも，教訓をくみ取り自主的な取り組みを進めるよう期待するとした。

新聞記者と検事長が「賭けマージャン」

新型コロナウイルス感染拡大で20年４～５月に緊急事態宣言が出されていた中，東京高等検察庁の黒川弘務検事長（当時）が，産経新聞の記者２人と，朝日新聞の記者だった社員１人と賭けマージャンをしていたことが発覚，賭博などの疑いで刑事告発された。東京地方検察庁は20年７月，元検事長を起訴猶予とした。しかし，東京第６検察審査会は20年12月，「違法行為を抑止する立場にあった元検事長が，漫然と継続的に賭けマージャンを行っていたことが社会に与えた影響は大きい」と指摘して「起訴すべきだ」と議決，東京地検は再捜査の結果，21年３月，一転して元検事長を賭博の罪で略式起訴し，東京簡易裁判所は罰金20万円の略式命令を出した。記者ら３人は再捜査でも不起訴となった。

この問題で報道記者のあり方が改めて問題となり，20年７月には，ジャーナリストやメディア研究者らが“ジャーナリズム信頼回復のための提言”をまとめ，賛同した現役の報道関係者ら130人余の氏名を添えて，日本新聞協会に加盟する新聞・通信・放送129社の編集局長・報道局長に送付した。提言では，日本のメディアの問題点として，権力との癒着や多様性の欠如などをあげたうえで，「賭けマージャン」の背景になっている取材対象との親密な関係が評価される取材慣行が長時間労働の常態化にもつながっていると指摘した。

放送倫理・番組向上機構（BPO）

1 放送倫理検証委員会

放送倫理検証委員会は20年度，以下の７件の委員会決定と委員長談話を通知，公表した。

【1】『今日ドキッ！』参議院比例代表選挙の報道に関する意見

（北海道放送・20年４月８日）

19年７月の参議院選挙の公示前日，夕方のニュース番組で，特定の比例代表候補を紹介しながら，他の比例候補者にはまったく触れずに放送した。「選挙の公平・公正性を損なっているものと言わざるを得ない」として，「放送倫理違反があった」と判断した。

【2】単発番組に関する意見

（琉球放送と北日本放送・20年６月30日）

「番組か広告か」が問われた２つの番組について，「視聴者に広告放送であると誤解を招くような内容・演出になっていたと認められる」と指摘，「放送倫理違反があった」とした。

【3】『クレイジージャーニー』「爬虫類ハンター」企画に関する意見

（TBSテレビ・20年８月４日）

19年に放送したバラエティー番組で，スタッフが事前に準備した希少動物をその場で見つけたかのように伝えていた問題で，「視聴者との約束を裏切るもの」だとして「放送倫理違反があった」と判断。

【4】『スーパーJチャンネル』「業務用スーパー」企画に関する意見

（テレビ朝日・20年９月２日）

19年放送の報道番組で，担当ディレクターの知人らが偶然の客を装って登場していた問題。「本来ならその場に現れるはずのない『客』を偶然を装って登場させたという点で正確ではなく，公正さを欠いていた」として，「放送倫理違反がある」とした。

【5】番組内容が広告放送と誤解される問題について委員長談話

（20年10月30日）

各地で広告と受け取られかねない番組が放送される問題が相次いだことから，「番組」と「広告」の識別が困難になれば，視聴者の信頼が損なわれるとして，民放各局の自主的・自律的な対応を求めた。

【6】『超逆境クイズバトル!! 99人の壁』解答権のないエキストラ補充に関する意見

（フジテレビ・21年１月18日）

クイズバラエティー番組で参加者を補うために解答権のないエキストラを使っていたのは，多くの視聴者との約束を裏切るものだとして，「放送倫理違反があった」と判断した。

【7】「架空データが含まれた一連の世論調査報道」に関する意見

（フジテレビ・21年２月10日）

フジテレビの世論調査で，委託先の調査会社が無断で再委託した会社の社員が，架空の回答データを入力，１年余りにわたって誤った内容を伝えていた問題で，「重大な放送倫理違反があった」と判断。

2 放送人権委員会

放送人権委員会は20年度，以下の５件の委員会決定を通知，公表した。

【1】「訴訟報道に関する元市議からの申立て」に関する見解

（テレビ埼玉・20年６月12日）

19年４月，『NEWS545』で伝えた訴訟のニュースをめぐり，提訴側の元市議会議員が，自身がセクハラで訴えられたような印象を与えられたなどと申し立てたが，名誉毀損等の問題は認められず，放送倫理上の問題もないと判断された。

【2】「オウム事件死刑執行特番に対する申立て」に関する見解

（フジテレビ・20年６月30日）

フジテレビがオウム真理教の麻原彰晃こと松本智津夫元死刑囚ら元幹部の死刑執行を伝えた報道特別番組をめぐり，松本元死刑囚の三女が，死刑をショーのように扱い，父親への敬愛追慕の情を侵害された，と主張。委員会は，公益目的で放送されたもので，人権侵害するものではなく，放送倫理上の問題も認められないと判断した。

【3】「大縄跳び禁止報道に対する申立て」に関する見解

（フジテレビ・20年10月14日）

情報番組『とくダネ！』で，インタビューに答えた周辺住民女性が「突然マイクを向けられ誘導尋問され，勝手に放送に使われた」と申し立てたが，誘導尋問やねつ造があったと断定することはできないとして，人権侵害はなく，放送倫理上の問題があったとは判断できないとした。

【4】「一時金申請に関する取材・報道に関する申立て」に関する見解

（札幌テレビ・20年11月16日）

ニュース番組『どさんこワイド179』で，旧優生保護法のもと不妊手術を強制されたと訴えている男性が救済法に基づく一時金を申請するもようを伝えたが，男性は希望していなかったのに記者に働きかけられて申請し，報道で名誉を毀損されたと申し立てた。委員会は「名誉毀損等の人権侵害はなく，放送倫理上の問題も認められない」と判断した。

【5】「リアリティ番組出演者遺族からの申立て」に関する見解

（フジテレビ・21年３月30日）

別項の「『テラスハウス』出演者死亡で番組中止」で既述。

安全・安心

新型コロナウイルスの感染拡大

20年度も新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めはかからず，20年４月には東京など７都府県に緊急事態宣言が出され，その後対象地域が全国に拡大された。21年１月にも２回目の緊急事態宣言が首都圏の１都３県に出され，その後11都府県に拡大された。

各テレビ局では，緊急事態宣言の期間中を中心に各地の感染者数や医療体制のひっ迫度を毎日のニュースで速報することが常態化した。政府，自治体の感染対策やそれに対する飲食店などの業界や住民の反応，意見などが報道番組やワイドショーで多くの時間を割いて伝えられた。さらにワクチンの接種が始まると，その進行状況や副反応等についての報道も多くなされ，20年度を通して新型コロナウイルス関連の情報がテレビ報道の大きな部分を占めた。

放送の制作現場では，公開番組やイベントの実施が困難になったばかりでなく，ドラマやロケの収録も出来なくなり，NHKの『大河ドラマ』「麒麟（きりん）が来る」や『連続テレビ小説』「エール」が３か月近く放送休止になるなど各放送局の放送計画も大幅な変更を余儀なくされた。再開後は，感染防止のマニュアルを作って細心の注意を払って収録を進めたほか，スタジオ番組では出演者の距離をあけたり，アクリル板で遮ったりしたほかリモート出演など演出上の対策も採られた。バラエティー番組などでは過去の放送分を再編集して生かすなどの工夫も行われ，コロナ禍の中で放送を守る必死の努力が続いた。

避難情報を大幅に変更へ

災害時の避難情報の在り方を検討してきた政府の作業部会は，情報の大幅な変更を盛り込んだ提言をまとめ，20年12月，小此木八郎担当大臣に提出した。主な変更は以下の３点。

- 避難のタイミングを明確にするため，警戒レベル４の「避難勧告」と「避難指示（緊急）」を「避難指示」に一本化。1961年の災害対策基本法の制定以来運用されてきた「避難勧告」は廃止する。ただし，新しい「避難指示」は，これまでの「避難勧告」の基準で発表する。
- 警戒レベル３の「避難準備・高齢者等避難開始」を高齢者や障害者など早めの避難が必要な人たちにわかりやすく伝えるため，「高齢者等避難」という名称に変更する。
- 警戒レベル５の「災害発生情報」は，「緊急安全確保」という名称に変更。災害が発生しているか，切迫している段階で発表する。

政府はこれらの情報を21年５月20日から運用する。

地震・津波情報を放送各社が緊急報道

21年２月13日，福島県沖を震源とする地震で福島県相馬市や宮城県蔵王町などで震度６強，関東地方でも最大震度５強の揺れを観測した。この地震で東京電力と東北電力の供給地域で最大95万戸が停電するなどの被害が出た。NHKは発生直後からテレビ５波，ラジオ３波を緊急放送に切り替え，ネットで同時配信した。また在京キー局も，TBS，日本テレビ，テレビ朝日，フジテレビが放送中のバラエティー番組やドラマなどを中断して緊急報道，テレビ東京は放送中のスポーツニュース番組の中で地震の情報を伝えた。

翌３月20日には，宮城県沖を震源とし，仙台市などで震度５強の揺れを観測する地震があり，発生直後から１時間余り，宮城県の沿岸に津波注意報が発表された。NHKは午後６時10分からテレビ・ラジオ全波を緊急報道に切り替え，ネットで同時配信した。総合テレビは午後８時55分まで緊急報道を続け，午後10時台と11時台に特設ニュースを放送した。民放各社も，放送中の報道番組や特設番組などで地震と津波に関する情報を速報した。

東日本大震災から10年

災害や地震の教訓をどのように伝えていくかを考える番組が，東日本大震災から10年の節目にNHKや民放各局で放送された。このうちNHKで21年３月14日に放送された『あしたの命をまもりたい～NHK民放　取材者たちの震災10年～』では，震災の取材にあたったNHK・在京民放５社の記者やアナウンサーが出演し，放送メディアの役割について話し合い，各社が公開を始めている災害アーカイブの構築をめざすことなどを提言した。ラジオでは，NHK・民放が取材した被災者の声を集めた「ラジオの証言　災害を語り継ぐ」という特設サイトが開設された。

第2章

新型コロナウイルス感染拡大への対応

「命と暮らしを守る」公共メディアとして

20年度は，新型コロナウイルス感染症が拡大する中，放送メディアも，正確な情報の伝達や，家族で楽しめる多様で質の高いコンテンツの提供など，その役割が改めて問われることになった。制作手法もこれまでにないリモートドラマに挑戦するなど新たな工夫を積極的に取り入れた。

本章では，20年度，新型コロナウイルスの感染拡大に対して，NHKが行った放送・サービスでの取り組みをまとめた。

20年4～6月の動き

1 概況

20年度は，新型コロナウイルスの感染拡大により，特別措置法に基づく緊急事態宣言が全国に発出された中，スタートした。こうした状況下で，NHKは，放送事業者で唯一の特別措置法に基づく指定公共機関として，テレビ・ラジオ・インターネットとあらゆる伝送路を使って，公平・公正で正確な情報を伝えるとともに，学びの機会や家族で楽しめる多様で質の高いコンテンツを提供するなど，命と暮らしを守る“公共メディア”としての使命を果たすため，総力を挙げて対応した。

４月から本格的にスタートしたインターネットでの常時同時・見逃し番組配信のサービス「NHKプラス」でも，新型コロナウイルス関連のニュースや番組が多くの人々に視聴された。

海外に向けて，新型コロナウイルスに関する国内番組やショート動画を英語化して国際放送やインターネットを通じて発信し，世界各地から多くのアクセスが寄せられた。

感染拡大防止のため，イベントをはじめ，番組収録，ロケ，中継などを中断していたが，緊急事態宣言の解除を受け，順次再開するとともに，ドラマや公開収録番組についても具体的な運用ルールをまとめたマニュアルを整備し，収録を再開した。また，リモート制作技術を駆使した番組の開発など，「ウィズコロナ」「アフターコロナ」を見据えた放送・サービスの在り方を試みた。

2 “公共メディア”としての多様な取り組み

- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い，特別措置法に基づく緊急事態宣言が全国に発出されたことを受けて，関連するニュース・番組を集中的に編成するなど，「命と暮らしを守る」公共メディアとしての使命を果たすため，総力を挙げて対応した。
- 『NHKスペシャル』では，厚生労働省クラスター対策班に密着した「新型コロナウイルス 瀬戸際の攻防～感染拡大阻止　最前線からの報告～」(4.11)，『クローズアップ現代＋』では「新型コロナ　災害避難をどうする」(5.13)など，多角的な視点でさまざまな課題を伝えた。
- 新型コロナウイルス関連番組は英語化して国際版も随時制作し，『NHKスペシャル』「“パンデミック”との闘い～感染拡大は封じ込められるか～」は，ウェブサイトのオンデマンドで提供して多数視聴されたほか，海外メディアでも放送された。
- 関連番組をショート動画に編集してSNSで展開し，マイクロ飛沫の実験映像を紹介した動画は海外でも多数再生された。
- 緊急事態宣言に伴う学校の臨時休校対策として，Eテレではサブチャンネルも活用して子どもの学びを支える番組の編成を行った。また，教育コンテンツを集めたポータルサイト「NHK for School」の特設サイト「おうちで学ぼう！」では，新学年・新学期に対応した家庭学習向けのコンテンツを掲載した。さらに「NHK for School」を活用した授業形式の番組『臨時開校！フライデーモーニング・スクール　プラス』を新たに開発して，学習機会を提供し，在宅学習を支援した。
- 全国の地域放送局で放送した，新型コロナウイルス関連のニュースを午前10時台と午後２時台にまとめて放送する時間枠を設け，日本各地のさまざまな取り組みや動きを広く伝えた。
- 出演者打ち合わせや収録などをすべてリモートで行うドラマ『今だから、新作ドラマ作ってみ

ました』（5.4，5.8）『大阪発リモートドラマ』「ホーム・ノット・アローン」（5.18～22）等を制作した。
- 地上テレビ放送のインターネット常時同時・見逃し番組配信サービス「NHKプラス」を，４月から本格的に開始した。新型コロナウイルスの最新情報や，休校中の子どもたちが自宅で楽しく過ごせるよう親子で視聴できる番組，運動不足解消のための体操などの番組を集めたプレイリストを随時編成した。また，民放の公式テレビポータル「TVer」にも新型コロナウイルス関連の『NHKスペシャル』などを展開した。
- ４月から放送を開始した『連続テレビ小説』「エール」は，『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」とともに，新型コロナウイルス対応で収録を一時見合わせる措置を取った。
- ラジオ第２放送でのロシア語とタイ語のニュースの編成を４月から開始した。ラジオ第２を通じた多言語放送は計９言語となり，日本在住の外国人に対する新型コロナウイルス関連情報の提供拡大につなげた。

3 地域社会への貢献

- 新型コロナウイルスの感染拡大の最新情報をはじめ，地域への影響や苦境に立つ人々を応援する企画などを放送するとともに，L字画面・字幕・データ放送に加え，ホームページなどでも情報発信した。
- 和歌山局では，地元応援キャンペーンとして「＃乗り越えよう 和歌山」を展開した。さまざまなアイデアで苦境を打破しようとする人々の姿や暮らしに役立つ情報などを地域番組で伝えた。また，メール・FAX・ツイッターで寄せられたメッセージについても番組内で紹介した。
- 秋田局では，地元の民放３社と共同で「コロナに負けない」をテーマに30秒スポットを制作，各局の夕方ニュースのメインキャスターが出演して，「不要不急の外出自粛」「３密の回避」「手洗いの徹底」「正しいマスク装着」を呼びかけた。NHKと民放が手を組むことで，より強いメッセージを発信することができた。
- 岡山局と高松局では，感染拡大の防止を呼びかけるため，岡山県と香川県，地元の民放５社と連携し共同キャンペーンを実施した。感染防止に向けたメッセージ動画を制作し，４月から５月にかけて放送とインターネットで伝えた。また，地元の民放ラジオ局３社とも連携してラジオでのキャンペーンを展開した。
- 松江局では，緊急事態宣言を受け，５月の大型連休を自宅で過ごす人たちに向けて，アニメーターが描きおろした原画のぬり絵をホームページ上で募集した。子どもたちを中心に多くの応募があり，ぬり絵をつないだ動画を制作して放送やホームページ，ツイッターで紹介した。

4 イベントによる展開

- 新型コロナウイルスの感染拡大で中止・延期となった展覧会をリモートで体感し，自宅で美術館や博物館に行った気分が味わえる「おうちでミュージアム」を開発し，首都圏の15の展覧会を『あさイチ』『ごごナマ』『ニュース　シブ５時』内で紹介した。

5 主な取り組みから

【1】新型コロナウイルス 初の緊急事態宣言を受けて

❶「命と暮らしを守る」報道

ニュース番組の定時枠の拡大や，地域情報を伝えるニュース枠を増設するなど新型コロナウイルスの関連番組を集中的に編成した。感染防止を呼びかけるショート動画をSNSで配信したほか，インターネットの特設サイトでは，都道府県別の感染者数の推移をグラフ化して連日伝え，熱中症予防・災害時避難の特集ページも新設した。また，緊急事態宣言が発出されていた期間中，毎日L字画面で店舗の営業状況など生活情報を中心にきめ細かく伝えた。

また，インターネットを使った動画伝送システムを活用し，職員が一人で取材，撮影，原稿出稿までを完結できる制作手法を導入したり，取材相手や出演者に対し，リモートでの出演やインタビュー対応をお願いしたりするなど，感染拡大の防止に配慮しつつ，さまざまな工夫を重ねながら取材制作を行った。

❷世界に向けた情報発信・国際展開

新型コロナウイルス関連の国内番組を英語化して放送するとともに，番組とショート動画をインターネットで配信した。

世界各地から多くのアクセスを集めたほか，海外メディアにも提供し米CNN，英BBCなどで放送された。英語以外の多言語による情報も放送・

インターネットで発信した。

また，主に日本に住む外国人向けの特設サイトで，新型コロナウイルス関連情報を伝えた。

【2】“ウィズコロナ”の新たなステージへ向けて

❶「リモートドラマ」に挑戦

ドラマや番組の収録を見合わせる中，リモートドラマ制作に挑戦した。第１弾『今だから、新作ドラマ作ってみました』，第２弾『リモートドラマ　Living』ともに，ドラマ制作では異例の短期間で企画から放送までを行った。

▶収録再開と感染防止策

新型コロナウイルス感染防止を最優先し，４月に『大河ドラマ』『連続テレビ小説』の収録を休止するとともに，収録再開に向けて，産業医科大の専門家チームと協議を重ね，具体的な運用ルールをまとめたマニュアルを整備した。

緊急事態宣言の解除後，このマニュアルを元に各制作現場の実情にあわせて感染防止対策を実施した上で収録を再開。安全を確保しながらドラマ制作を継続した。

20年7～9月の動き

1 概況

新型コロナウイルス感染症への警戒・対応が継続する中，NHKウィズコロナ･プロジェクト「みんなでエール」を展開し，コロナ禍で頑張る人々にエールを送る番組を放送した。また，『NHKスペシャル』「タモリ×山中伸弥“人体VSウイルス”～驚異の免疫ネットワーク～」をはじめ，新型コロナの実態や医療の最前線に迫る特集番組を放送するなど，“公共メディア”として，命と暮らしを守るさまざまな取り組みを行った。

新型コロナの影響で休止していた『大河ドラマ』が８月末から，『連続テレビ小説』が９月中旬から順次放送を再開した。

2 “公共メディア”としての多様な取り組み

- 新型コロナウイルスの感染確認者数や重症者数を継続的に伝え，東京都の重要発表などの際に適宜，ニュース枠を拡大した。また，ワクチン開発の最新情報を伝えるなど，「命と暮らしを守る」公共メディアとしての使命を果たすことに注力した。
- 『NHKスペシャル』の「タモリ×山中伸弥“人体VSウイルス”～驚異の免疫ネットワーク～」（7.4）では，免疫をキーワードに新型コロナウイルスの実態に迫った。また，大型シリーズ「パンデミック　激動の世界」（8.29）の放送を開始した。
- コロナ禍の社会に向け，NHKウィズコロナ・プロジェクト「みんなでエール」を展開。音楽特集番組『ライブ・エール　今こそ音楽でエールを』（8.8）では，感染防止策を徹底しながらウィズコロナ時代の新しい演出に挑戦し，NHKホールから生放送した。また，20年，開催中止となった「選抜高等学校野球大会」に出場予定だった32校の甲子園での「交流試合」全試合を中継するなど，コロナ禍で頑張る人々にエールを送る番組を放送した。
- 『#８月31日の夜に。　～2020年　ぼくの日記帳～』（8.30）では，VR（仮想現実）を活用した新演出も実施して，新型コロナウイルス感染拡大により生きづらさを抱える10代の声に向き合った。
- コロナ禍の中でのドラマ制作を試みた『ドラマ＆ドキュメント』「不要不急の銀河」（7.23）は総合・BSPに多角的に展開。７月のギャラクシー賞月間賞を受賞した。
- 国際放送では，国内外の感染状況や経済への影響などのニュースを発信するとともに，Eテレの番組や『ニュース　シブ５時』の新型コロナ関連の企画を英語化して伝えた。
- 教育コンテンツを集めたポータルサイト「NHK for School」では，コロナ対策として，授業形式の「フライデーモーニング・スクールプラス」や，「おうちで学ぼう！ワークシート」など家庭学習向けのコンテンツを拡充させた。コロナ禍でアクセスが急増し19年度からユーザーが倍増した。
- 『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」は８月30日から，『連続テレビ小説』「エール」は９月14日に放送を再開した。

3 地域社会への貢献

- 津局では，中止となった全国高等学校野球選手権地方大会の代替大会の決勝戦を，新型コロナウイルス感染拡大防止のため，地元の民放と共同制作で放送した。NHK側は中継現場での人員を約10分の１に減らすことで感染拡大を防

止しつつ，歴史的な大会を東海３県の視聴者に向けて中継した。

- 大分局では，コロナ禍に苦しむ県内の観光業を応援する一環として，新企画『女将たちのおおいた彩発見！』の放送を始めた。旅館組合と連携して，県内の旅館・ホテルを支える女将たちが，その土地を知り尽くした“女将目線”で周辺地域の魅力を紹介。特に，７月の豪雨で被害を受けた旅館を紹介することで，災害からの復興支援にも貢献した。
- 高松局では，コロナ禍で遠出が難しい中，散歩感覚で県内の観光を楽しむとともに，観光産業の振興を兼ねて自治体と連携した新企画『やっぱり香川がイチバン！ぶらり発見』を開始した。県内全17市町の観光担当者が推奨する見所を，アナウンサーやキャスターが実際に訪れ，新たに発見した地域の魅力を視聴者に届けた。
- 全国の放送局を対象として地域指標セミナーをオンラインで開催し，新型コロナウイルス関連のニュースや番組の視聴分析，視聴者コミュニケーションと地域指標との関連性などについて報告するとともに，今後の地域放送サービスの充実・強化に向けて各局が分析に活用できるデータなどを共有した。

4 イベントによる展開

- アフターコロナの時代に向けた新たなイベントの開発に取り組んだ。Foorinと一緒にダンスする「FoorinとおどろうLIVE」は，子どもたちとネットで結び，投稿動画や中継で参加するリモート収録を7月に名古屋と松山で実施した。
- 新型コロナの影響で中止となった「NHK学生ロボコン2020」は，新たに「オンライン！学ロボFESTIVAL」として開催（9.26）。各チームの「ロボット映像」や「チームPR 映像」を募集して，「ABU ROBOCON FESTIVAL 2020」出場チームを投票で決定した。

5 主な取り組みから

【1】ウィズコロナ時代の挑戦 “夏の紅白”「ライブ・エール」

さまざまなライブやコンサートが中止される中，「コロナ禍で苦しむ人々に音楽でエールを送りたい」と，８月８日，NHKホールから大型音楽番組『ライブ・エール　今こそ音楽でエールを』を約２時間半，生放送した。

新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底し，ホールには観客を入れず，出演者やスタッフの「密」を避けて実施した。無観客で生まれたスペースを利用し，客席でパフォーマンスを行うなど，ウィズコロナ時代の新しい演出に挑戦した。

司会の内村光良さんと出演21組のアーティストがパフォーマンスを繰り広げ，温かいメッセージを届けた。

この番組は，NHKウィズコロナ・プロジェクト「みんなでエール」の一環として放送し，中央共同募金会と日本赤十字社による新型コロナと向き合う人々を支えるための募金や支援活動への協力の呼びかけも行った。

20年10～12月の動き

1 概況

感染者の急増など，新型コロナへの警戒・対応が継続する中，NHKは全国感染者数マップの自動作画手法を導入し，正確・迅速・少人数での制作を実現するなど，感染対策やひっ迫する医療，政府・自治体の対応を詳報した。

また，『NHKスペシャル』「パンデミック　激動の世界」や，『クローズアップ現代＋』「急増家庭内感染　家族の命をどう守るのか」など関連する番組を多数制作した。NHKが集計した新型コロナによる死者数や感染者数のデータを二次利用しやすい形で公開するオープンデータ化の取り組みも開始した。

『第71回NHK紅白歌合戦』は初の無観客生放送で実施した。NHKプラスではサービス開始以来，最高の視聴数を記録した。

2 “公共メディア”としての多様な取り組み

- 新型コロナウイルスの感染者が急増する中，感染対策やひっ迫する医療，政府・自治体の対応を詳報した。Go To トラベルが全国的に停止することが決まった際には政府対策本部から中継した。さらに，世界のワクチン開発や認可の状況，輸送・保管・接種の課題を多角的に検証した。
- 感染拡大を受けて，関連番組として『NHKスペシャル』８本，『クローズアップ現代＋』14

本を制作した。

大型シリーズ『NHKスペシャル』「パンデミック　激動の世界」では，問い直される仕事のあり方や対立が先鋭化する米中関係，それに，パンデミックが浮き彫りにした科学立国・日本の厳しい現状など多岐にわたるテーマを取り上げた。

12月18日には，拡大する家庭内感染を取り上げた『クローズアップ現代＋』「急増　家庭内感染　家族の命をどう守るのか」を発信強化のトライアルとして，通常と異なる19 時30分から放送した。

- コロナ禍で中止になったNHK全国学校音楽コンクールに代わり，ウェブ上で課題曲動画や自撮り動画を募集し，集大成として『Nコン2020みんなのコンサート』（11.23）を放送した。
- 「高専ロボコン」「ABUロボコン」を初めてオンラインで開催した。
- 国際放送では，後期番組改定で，キーパーソンにコロナ禍の影響と今後の展望を聞くインタビュー番組『We，in the Time of Corona』やウィズコロナ時代に求められる新様式の兆しを捉える番組『The Signs』を定時化した。
- NHKが集計した新型コロナウイルスの感染者数や死者数のデータを二次利用しやすい形で公開するオープンデータ化に取り組んだ。こうしたデータを12月15日から「NHK NEWS WEB」でダウンロード可能にし，地方自治体などの公共機関が活用している。
- 『第71回NHK紅白歌合戦』は“今こそ歌おうみんなでエール”をテーマに初の無観客生放送を実施した。
- 「NHK for School」アプリが「Google Play ベストオブ2020 日本版」のアプリ部門で「自己改善部門賞」を受賞した。コロナ禍で家庭学習をサポートしたことが評価された。

3 地域社会への貢献

- 新型コロナウイルスの感染が続く中，地域を応援する番組や企画に取り組んだ。また，近隣県の放送局をはじめ，地元の民放やCATVなどと連携することなどにより，地域向けの放送・サービスの充実を図った。
- 松山局では，地元の新聞社と共催で，新型コロナウイルスの感染が広がる中での災害時の避難や復旧の在り方を考える防災シンポジウムを開催するとともに，関連の番組を県域とBS1に加えて，地元のCATVでも放送した。また，地元の民放２局と合同で感染防止を呼びかける共通のラジオスポットを制作・放送するなど，地元のマスメディアと連携して感染防止対策や防災・減災意識の向上に貢献した。

4 イベントによる展開

- 番組制作やイベントを仮想空間で行うバーチャルプラットフォームのキックオフ番組としてバーチャル学園祭『沼にハマってきいてみた』「ジェネ＆リトグリ降臨！　尊きバーチャル学園祭「ヌマーソニック」（11.9）を放送し，学校行事の中止が相次ぐ10代に発表の場を提供した。一般募集による史上初のバーチャル公開収録番組となった。
- アフターコロナ時代に向けて，インターネット経由でリモート参加する新たなイベントを開催した。『みんなで筋肉体操』「生放送フェス」（12.12）は，スタジオとリモート参加した全国の出演者・視聴者が一体となり，約３万人が一緒に筋トレを体験した。Eテレ『u&i』では，東京のスタジオと松江の小学校を結び，障害のある子どもについて一緒に考えるリモートワークショップを実施した（11.18）。
- 放送技術研究所の開所90 周年を記念し，10月16日からインターネット上に特設サイトを立ち上げ，研究の歴史や最新の成果を分かりやすく紹介する動画などを公開。感染リスクを避けて，インターネット上で実施した。

5 主な取り組みから

【1】「新型コロナウイルス」特設サイト 公開データ 一部オープン化

NHKが集計した新型コロナウイルスによる感染者数や死者数について，12月15日より一部オープン化を開始した。「NHK NEWS WEB」の新型コロナウイルス特設サイトのグラフ欄から，CSVファイルを一般ユーザーがダウンロードできるようにした。

新型コロナウイルスの感染が広がる中で，網羅的数値を公開している公的機関がないため，公益性の高い情報を活用しやすいデータ形式で公開することで，公共メディアとして幅広いニーズに応えることを目的に取り組みを進めた。

「新型コロナウイルス」特設サイト
https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/



【2】世界中とオンラインでつながった第47回 日本賞

第47回日本賞（10.26～11.5）は，コロナ禍に対応するため，オンラインと会場を組み合わせたハイブリッド型のイベントへと，大規模なリフォームを実施。各国審査委員12名による本審査や，世界中の受賞者をつないでの授賞式をオンラインで開催するとともに，「コロナ」「多様性」といった20年ならではのテーマを議論するセッションも，会場とオンラインを組み合わせたハイブリッド型とした。また各国制作者へのオンラインインタビューや作品視聴サイトの提供などオンラインならではのプログラムも新たに設計した。

教育メディアについてグローバルに議論するという日本賞の精神を堅持しつつ，ウィズコロナ時代の国際コンクールの理想形を作り上げ，19年比で２倍となる，延べ2,000人余りの参加者を集めた。

21年1～3月の動きと1年のまとめ

1 概況

新型コロナウイルス感染症への警戒・対応が継続する中，NHKは放送事業者で唯一の特別措置法に基づく指定公共機関として，あらゆる伝送路を活用し視聴者の関心に応える正確な情報を伝え，命と暮らしを守る“公共メディア”としての使命を果たすため，総力を挙げた 。

１年延期となった東京オリンピック・パラリンピックについては，最高水準の放送・サービスの実現や，効果的なプロモーションについて，新型コロナウイルスの状況などを踏まえて検討を進めた。

2 “公共メディア”としての多様な取り組み

- 緊急事態宣言の再発出，延長，解除などの節目には特設ニュースや『NHKニュース７』の拡大で対応した。また，世界で本格化したワクチン接種や変異ウイルス対策などについて海外総支局のネットワークを駆使し，情報を発信した。
- 新型コロナウイルス関連のニュースは特設サイトできめ細かく展開し，NHKオンライン全体の20年度の週次平均の訪問者数は２月末であわせて約3,000万UBとなった。
- １月に緊急事態宣言が再び発出されるなど第３波による感染が広がる中，21年１月から３月にかけて，関連する『NHKスペシャル』７本，『クローズアップ現代＋』17本を制作した。コロナ禍で厳しい経営を強いられている新宿・歌舞伎町の人々を取材した『NHKスペシャル』「“夜の街”で生きる～歌舞伎町　試練の冬～」（1.30）は，独特の視点が評価された。
- ポータルサイト「NHK for School」では年度を通じてコロナ禍での家庭学習を支え，１月にGIGAスクール構想に対応した特設ページを開設した。以降のアクセス数は平均70万／週を超え，コロナ禍前のおよそ2.4倍となった。
- ラジオでは，年末年始に医療従事者にメッセージを伝えるシリーズを放送し，反響を得た。

3 地域社会への貢献

- 新型コロナウイルス感染症については，各放送

局が地域の最新情報をはじめ，地域を応援する番組や企画に積極的に取り組んだ。また，近隣の放送局や地元民放との連携などにより，地域向けの放送・サービスの充実を図った。

- 鹿児島局では，コロナ禍で県内の成人式の８割が中止や延期となる中，１月に応援キャンペーン「新成人未来を語る」を展開した。県内全43市町村の新成人の代表者の言葉を１分動画にして地域番組やホームページで伝えた。

4 イベントによる展開

- 聖火リレーが21年３月25日にスタート。新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを作成し，同行撮影を開始した。出発当日には式典の生中継と夜の特集番組を放送するとともに，「ライブストリーミング」「デイリーハイライト」も開始した。
- NHKが独自に開発した「VRプラットフォーム」を活用し，『天才てれびくんhello，』や『未来王2030』などを放送し，新型コロナウイルス感染症が広がる中でも，インターネットを通じて視聴者が番組に参加できる新たな制作手法の確立に取り組んだ。

5 主な取り組みから

【1】「命と暮らしを守る」報道

テレビ・ラジオ・インターネットと，あらゆる伝送路を使って情報発信を強化したほか，全国放送だけでなく，地域放送局でも地元の対策や取り組みなどをきめ細かく伝え，NHKのネットワークを生かした対応を行った。

【2】１月から「新型コロナ 命を守る行動を」キャンペーンを展開

公共メディアとして「命を守るための行動」の呼びかけや「感染を経験した人だから話せる新型コロナの怖さ」など，さまざまなメッセージをミニ番組やインターネットを通じて発信している。

【3】「新型コロナウイルス」特設サイトでのダウンロードサービスの実施

特設サイトを開設し，感染状況，重症者数，PCR検査実施件数などさまざまな情報を掲載した。

【4】休校措置を踏まえた番組・インターネットコンテンツの提供

Eテレではマルチ編成のサブチャンネルで学習に役立つ番組を編成したほか，小学生を対象に自学だけで身につけることが特に難しい理科，社会，プログラミング等をはじめ，各教科を授業スタイルで学べる番組を新たに制作した。教育コンテンツを集めたポータルサイト「NHK for School」でも，特設ページを開設するなどして対応した。

【5】あまねく伝えるためのSNS発信強化

必要な情報をあまねく伝えるという観点から放送内容のSNS発信も強化した。『NHKスペシャル』で撮影したくしゃみや大声とともに吐き出される「マイクロ飛沫」の動画は７言語に翻訳し，SNS等で3,100万回以上再生され，世界で大きな反響を得るなど，放送内容をコンパクトにまとめた動画は，国内外で多くの人に視聴された。

【6】在外邦人向けの情報提供

在外邦人向けの情報提供のため，NHKワールド JAPANの日本語サイトで「新型コロナウイルス」関連の『NHKスペシャル』など一部の番組をオンデマンドで４か月間配信した。

【7】指定公共機関としての放送・サービスの継続と安心して取材・制作に臨める環境の整備

情報発信継続の責務を果たすため，共通指針のもと感染防止対策を徹底した。取材は電話やインターネットを活用する，番組では出演者同士の距離をとる，専門家等はリモートでの出演に切り替えるといった対策を状況に応じて実施した。

【8】コロナ禍における作り方改革 ～リモート制作×作業の自動化～

リモート制作や作業の自動化などを取り入れた作り方改革を進めた。IPを活用したリモート制作，在宅でのナレーション収録，自宅や遠隔地からの編集・試写など，遠隔・在宅で行う環境を整備し効果的に活用した。

AIを活用した字起こし機能を導入し，取材・制作や多言語翻訳などに利用し，作業を効率化した。こうした作り方改革を通して，コロナ禍の多様な働き方と質の高いコンテンツ制作を両立させた。

【参考】緊急事態宣言

緊急事態宣言は20年３月13日に成立した新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づく措置である。

全国的かつ急速なまん延により，国民生活や経済に甚大な影響を及ぼすおそれがある場合などに，総理大臣が宣言を行い，緊急的な措置を取る期間や区域を指定する。

20年４月以降に発出された「緊急事態宣言」

（21年３月31日現在）

■20年

4. 7　７都府県（東京，神奈川，埼玉，千葉，大阪，兵庫，福岡）に発出
4.16　全国に拡大
5.14　39県を解除
　８都道府県（北海道，東京，埼玉，千葉，神奈川，大阪，京都，兵庫）は継続
5.21　３府県（大阪，兵庫，京都）を解除
5.25　５都道県（東京，神奈川，埼玉，千葉，北海道）を解除

■21年

1. 8　１都３県（東京，埼玉，千葉，神奈川）に発出
1.14　７府県（大阪，兵庫，京都，愛知，岐阜，福岡，栃木）に発出
2. 8　１県（栃木）を解除
2.28　６府県（大阪，兵庫，京都，愛知，岐阜，福岡）を解除
3.21　１都３県（東京，埼玉，千葉，神奈川）を解除

第3章

次期経営計画の策定

21年度からの３か年経営計画は，19年の放送法改正で，NHKの中期経営計画が経営委員会の議決事項となり，計画に記載する事項が具体的に定められてから初めて策定したものである。

19年10月から本格的な策定作業を開始し，20年８月に意見募集を行うための案を公表。その後，意見募集に寄せられたご意見や経営委員会との議論などを踏まえて修正を行った。

21年１月，経営委員会の議決を受けて「NHK経営計画（2021-2023年度）」を公表した。

計画の概要は以下の通りである。

NHK経営計画（2021-2023年度）

新型コロナウイルス感染症の世界的流行や相次ぐ大規模災害，経済格差の拡大など，日本と世界の社会・経済の先行きについて不透明感が増し，インターネットには不確かであいまいな情報があふれている。一方，若者を中心にテレビの保有率が低下し，幅広い世代でインターネットの利用時間が増えてテレビの視聴時間との“逆転”が予想されるなど，メディア環境や視聴者行動が大きく変化している。

NHKは，受信料で成り立つ公共メディアとして，こうした時代の変化に向き合い，視聴者・国民のみなさまからの信頼に応えるとともに，合理的なコストでの運営に努める。経営資源をNHKならではの多様で質の高いコンテンツの取材・制作に集中させ，正確，公平公正で，豊かな放送・サービスをいつでもどこでも最適な媒体を通じてお届けし続ける，「新しいNHKらしさの追求」を進める。

これにあわせて既存業務を抜本的に見直し，放送波を整理・削減するとともに550億円規模の支出削減を行い，効率的で持続可能な組織に変わる。経費を700億円規模で削減する一方，150億円程度を５つの取り組みに重点投資し，スリムで強靱（じん）な「新しいNHK」となることを目指す。

NHKがこれまで大切にしてきた公共的価値は，「新しいNHKらしさの追求」にあたっても，しっかりと守っていく。

NHKが基本と考える公共的価値

- ▶不偏不党，自主自律を堅持，正確で公平公正な情報を発信し，知る権利を充足して，健全な民主主義の発展に貢献
- ▶一人ひとりの生活の安全，豊かさ，教育，福祉，文化創造に貢献
- ▶地域社会やメディア業界の維持・発展に貢献
- ▶日本と国際社会の相互理解に貢献
- ▶NHKの価値の最大化を図り，視聴者・国民のみなさまから信頼され必要とされる存在となる

受信料が長期的な減収傾向となることが予測されるなかにあっても，NHKと関連団体が一体となって「NHKでしか創り出せないこと」に注力するとともに，効率的な経営を徹底し，受信料の価値の最大化を進める。全国津々浦々にネットワークを持つ，信頼される「情報の社会的基盤」として，SDGs（国連が定めた持続可能な開発目標）の考え方も踏まえながら，地域や文化を守り，次の世代も安心して豊かに暮らせる日本の未来に貢献していく。

５つの重点項目の具体施策

1. 安全・安心を支える

「命と暮らしを守る」報道を強化し，より強靱なネットワークを構築

- 相次ぐ大規模災害や深刻化する環境問題，新型コロナウイルス感染症の世界的流行など，さまざまな脅威から一人ひとりの「命と暮らしを守る」ため，専門知識を生かした取材に基づく信頼できるコンテンツを，放送とインターネットを連動させてこれまで以上にきめ細かくお届けする。地域の自治体やメディアとの連携も充実させ，日頃からの災害への備えの強化に貢献する。
- 大規模災害の発生時でも確実に放送・サービスをお届けするため，東京の放送センターの代替として大阪拠点放送局の機能を強化するとともに，老朽化した各地の放送会館の建て替えを計画的に進め，いかなる時も確かな情報を届けることができる強靱な体制を構築する。

2. 新時代へのチャレンジ

最新の技術を活用し，高品質なコンテンツを合理的なコストで提供

- コンテンツを報道やドラマといったジャンル別に管理することで，重複する内容の番組を整理・削減して経営資源を集中させ，見ごたえのある大型シリーズ番組など，視聴者のみなさまの期待を上回る質の高いコンテンツを，合理的なコストで，最適な媒体を通じて提供する。
- 最新の映像技術を活用して，デジタル化が進むこれからの社会に求められる教育・教養コンテンツを開発し，さまざまな世代の人たちの暮らしや学習を幅広く支援する。
- 出演者と視聴者が同じ仮想空間に参加できる「バーチャル・プラットフォーム」など，空間拡張技術を活用した，これまでにない視聴体験ができる技術の研究開発を進める。

3. あまねく伝える

確かな情報・サービスを一人ひとりに届け，分断化・多層化した社会をつなぐ

- 新型コロナウイルス感染症の流行で，人と人との距離がますます離れつつあるなか，正確な情報をさまざまな媒体で一人ひとりに届けるだけでなく，世代や地域を超えて個人をつなぐ番組などを制作し，社会が連携するきっかけとなる役割を果たす。
- AI技術などを駆使した最先端のユニバーサル・サービスの提供を拡充する。
- 訪日・在留外国人に対し，災害情報や生活に必要な情報などを，放送だけでなく，インターネット配信を効果的に活用してきめ細かく提供する。

4. 社会への貢献

地域の情報発信強化や日本の放送・メディア業界の発展に貢献

- 地域情報の全国・海外への発信を大幅に増やすとともに，地域の課題を取り上げ，全国ネットワークを最大限に活用して情報を共有することで解決につなげるなど，各地域の発展にさまざまな形で貢献する。NHKが取材した情報やデータを公共財として広く活用していただくため，オープン化の取り組みを進める。
- ４K・８Kの技術を使って，日本各地に残る伝統的な文化や芸術，歴史遺産などを記録して未来に伝えるなど，NHKグループの持つ知見・技術を広く社会に提供する。
- 民間放送との二元体制を堅持し，培ってきた放送文化の発展のため，NHKが開発した技術や知見の共有など，放送・メディア業界の未来を支える取り組みを進める。

5. 人事制度改革

組織の機能を最大限発揮するための“人財”改革を推進

- 人事制度を抜本的に改革し，NHKで働く一人ひとりの創造性を最大化する。多様な人々がそれぞれの働き方で力を発揮できるよう，ダイバーシティを推進するとともに，地域に根ざす人材がいっそう活躍する環境を整えつつ，「新しいNHKらしさの追求」を実現する“人財”を育成する。

スリムで強靭な「新しいNHK」を目指す構造改革

保有するメディアの整理・削減

放送波の整理・削減にあたっては，現在提供しているコンテンツに対するニーズを踏まえ，視聴者のみなさまの利便性を損なわないことに留意しながら進める。

衛星波は２Kのうち１波を削減，将来的に右旋は１波化を視野に検討

- 衛星波のうち，右旋の３波（BS1・BSP・BS４K）の見直しを行い，2023年度中に２Kのうち１波を削減する。削減にあたっては，番組の一部を他の放送波に移すなど編成上の工夫に努める。さらに，将来的には４Kの普及状況を見極めて，１波への整理・削減も視野に入れて検討を進める。
- BS８Kについては，効率的な番組制作や設備投資の抑制を徹底し，東京オリンピック・パラリンピック後に，あり方に関する検討を進める。

音声波は２波（AM・FM）への整理・削減に向けて検討

- 音声波については，民間放送のAMからFMへの転換の動きや聴取者への利用実態調査の結果などを考慮しつつ，インターネットの活用や編成上の工夫をしながら，2025年度に現在の３波（R1・R2・FM）から２波（AM，FM）へ整理・削減する方向で検討を進める。

インターネット活用業務

NHKのコンテンツにいつでもどこでも触れられるようインターネットを適切に活用

- 日本への理解促進のため，海外向けコンテンツを，衛星放送だけでなくインターネット配信も活用して，きめ細かく，効率的・効果的に世界に発信する。
- インターネットでの地方向け放送番組の提供は，必要な設備を整備し，段階的に進める。
- インターネット活用業務実施費用の抑制的な管理に向けた体制を整備する。

「受信料の価値を最大化」するためのマネジメント施策

効率的な業務体制の確立と保有設備の削減

- 経営資源を放送･サービスに集中させるため，管理間接部門を削減するなど，グループ全体で業務や要員などの全面的な見直しを行い，合理的なコストによる効率的な業務体制を確立させる。
- 老朽化した東京・渋谷の放送センターや各地の放送会館の建て替えを進める一方，設備のシンプル化・集約化・クラウド化を推進して保有設備の削減を進める。

営業経費の削減と視聴者の満足度を高める視聴者コミュニケーション改革

- ポストコロナ時代を見据え，訪問によらない効率的な営業活動への移行で経費を削減するとともに，営業経費のさらなる抑制を図るため，新たな制度の導入を国に求めていく。
- 契約いただいているみなさまとの結びつきの強化や，満足度を高める取り組みを推進し，視聴者のみなさまにより信頼され，より必要とされるNHKとなるために努力を重ねる。

グループ全体での「新しいNHKらしさの追求」に向けた体制構築とガバナンスの強化

- NHKの関連団体については，「新しいNHKらしさの追求」に向けて機能・役割を見直し，子会社をはじめとした全体の規模を縮小するとともに団体の数を削減してスリムで強靱な体制を構築する。
- 子会社については，改革をよりスピーディーに進めるため，中間持株会社の導入を視野に業務・要員の効率化や管理機能の集約など，ガバナンスの強化を進める。
- 財団については，社会貢献事業を強化するため業務のあり方を見直し，2023年度の統合に向けて検討を進める。

経営計画の進捗状況の評価･管理の明確化

- 決算と業績の評価を重視し，客観的なデータに基づいて改革・改善の進捗管理を行い，目標達成につなげる仕組みを明確化する。代表的な指標等は公表し，説明責任を果たす。
- NHKグループ全体として，経営委員会が定めた「内部統制関係議決」に基づき整備した体制（「関連団体運営基準」等）を適切に運用し，コンプライアンスの徹底など業務の適正性を確保する。

計画期間中の収支と受信料の考え方

収支見通し

受信料が長期的な減収傾向となることが予測されるなか，経営資源を放送・サービスに集中させて視聴者のみなさまのニーズに応え，受信料の価値の最大化を図るため，構造改革による支出規模の圧縮に取り組む。

▶**事業収入**：2021年度は，2020年度に実施した値下げ（2018年度から順次実施した奨学金受給学生への免除などとあわせて年間400億円規模の還元）が通年で影響することや，新型コロナウイルス感染症の影響などにより，2020年度予算比で約300億円の減収を想定している。本経営計画期間中は厳しい経済状況が継続することを想定し，2022年度と2023年度についても毎年10億円程度の減収を想定している。

▶**事業支出**：構造改革を断行して550億円規模の支出削減を行い，2023年度には支出を6,800億円規模に抑える。３年間で700億円規模（2020年度予算比）の削減を行う一方で，150億円程度を５つの取り組みに重点投資する。新放送センター情報棟の整備や各地の放送会館の建て替えなどは，建設積立資産を充てるとともに，財政安定のための繰越金（大災害時の事業維持などに必要な額は確保）を充当することにより対応する。

（億円）

区　分	2020年度予算	2021年度		2022年度		2023年度	
			増減		増減		増減
事業収入	7,204	6,900	△304	6,890	△10	6,880	△10
うち受信料収入	6,974	6,714	△260	6,700	△14	6,690	△10
事業支出	7,354	7,130	△224	6,890	△240	6,800	△90
事業収支差金	△149	△230	△80	0	230	80	80

受信料を2023年度に値下げの方針

- こうした支出の削減に加えて，さらなるコストの圧縮を進め，新放送センターの建設計画の抜本的な見直しや経営努力によって生み出した剰余金を積み立てる仕組みの導入なども行い，還元の原資として事業規模の一割にあたる700億円程度を確保する。そのうえで，新型コロナウイルス感染症の影響や放送法改正の動き，訪問によらない新たな営業施策の進捗などを見極めながら，具体的な方法などを検討し，衛星波の削減を行う2023年度に受信料の値下げを行う方針である。また，衛星付加受信料の見直しを含めた総合的な受信料のあり方について導入に向けた検討を進める。値下げの詳細の決定にあわせて，本経営計画の修正を行う。
- 受信料制度について，あらゆる機会を通じて視聴者のみなさまに丁寧にご説明し，ご理解いただくための活動を強化する。公平負担の徹底の観点から，支払率80％台の維持に努めるとともに衛星契約割合を向上させ，運営に必要な受信料収入を確保する。

第4章

新たな可能性を開く放送・サービス

インターネット活用業務

インターネット活用業務実施基準・実施計画

放送法は，NHKがインターネットを通じて提供できるコンテンツについて定めている。具体的には，放送番組そのものと，番組の理解増進に役立つ情報について，電気通信回線を通じて一般に提供できるとしている（放送法第20条第２項第２号）。

NHKでは，インターネットを通じたコンテンツ提供の業務内容などを具体的に定めた「NHKインターネット活用業務実施基準」（以下，実施基準という）を定め，実施基準にのっとって，各事業年度の開始前に実施計画を策定することとなっている。

実施基準については，21年度以降の地方向け放送番組の配信強化，邦人向け協会国際衛星放送の配信等に備えた費用に関する規定等の変更について，21年１月に総務大臣の認可を受けた。

国内インターネット活用業務

1 NHKプラス

地上テレビ常時同時配信として，総合テレビと教育テレビで放送している番組を，１日に各18時間程度提供した。また，地上テレビ見逃し番組配信として，総合テレビと教育テレビで放送した番組を，原則としてすべて，それぞれの番組放送終了時刻から起算して７日間提供した（いずれも，埼玉県，千葉県，東京都および神奈川県の各区域を合わせた地域を対象とした番組。提供に必要な権利を確保できないもの等を除く）。放送法上の努力義務に係る取り組みとして，地上テレビ見逃し番組配信の中で，全国向けに再放送した地方向け放送番組を提供した。また21年３月から，本部と大阪拠点局に整備した配信基盤を使って，南関東エリア以外の地域で放送された地方向け放送番組の一部の見逃し配信を開始した。

実施にあたっては，受信契約の有無に基づく認証を行い，地上テレビ常時同時配信における受信契約を確認するための情報提供を求めるメッセージの表示や，地上テレビ見逃し番組配信の利用可否の制御を行うなど，受信料制度を毀損することのないようにするための措置を講じた。

なお，国民生活や社会全体に大きな影響を及ぼす情報であって特に迅速に提供すべきものとして「新型コロナウイルスで全国に緊急事態宣言」関連ニュース等をメッセージを表示しないで提供した。利用者からの問い合わせ等については，NHKふれあいセンターにおいて，迅速かつ適切な対応に努めた。

2 上記以外の国内インターネット活用業務

報道番組関連サービスとして，ニュース・解説番組，スポーツ番組の理解増進情報の提供を行った。「NHK NEWS WEB」では新型コロナウイルス関連の多様な情報を発信。集計したデータの一部をオープン化し，一般ユーザーがダウンロードできるようにした。放送中番組の提供として，国民生活や社会全体に大きな影響を及ぼす情報であって特に迅速に提供すべきものとして「新型コロナウイルス」関連ニュース，「台風・豪雨」関連ニュース等，総合テレビの放送番組を提供した。

教育番組，教養番組関連サービスとして，学校放送番組のポータルサイト「NHK for School」において，初等中等教育に資する番組，動画クリップ，補助教材等を提供するなど，新型コロナウイルス感染の不安が広がる中で，学びの機会の確保に貢献した。

娯楽番組関連サービスとして，ドラマ番組とエンターテインメント番組に関連するウェブサイトを通じて，NHKプラスも含めた放送番組の視聴拡大や視聴者のより深い番組理解の促進に取り組んだ。

ラジオ放送を補完するサービスとして，ラジオ第１放送，ラジオ第２放送，FM放送の放送中の番組の同時配信と聴き逃し番組配信「らじる★らじる」を実施。災害時等にラジオ放送を聴く手段がない人や，地域の情報に他の地域からアクセスしたい人などに向けて，安全で安心な暮らしや多様な地域社会に貢献するサービスの充実を図った。

さらに，他の放送事業者との連携・協調を深め

る観点から，在京民放５社等が運営する民放公式テレビポータル「TVer（ティーバー）」を経由して，一部の既放送番組を提供した。TVer経由で提供する番組については，すべてNHKオンラインでも提供するほか，一部はNHKオンデマンドの無料番組としても提供した。また，民放ラジオ局などが参加するインターネットラジオ「radiko（ラジコ）」を経由して，ラジオ第１放送とFM放送の放送中番組を提供した。ラジオ第１放送については，提供対象地域をブロックごとに制限して提供した。

国際インターネット活用業務

テレビ国際放送とラジオ国際放送ともに，放送番組の同時提供と，既放送番組の提供，放送番組の理解増進情報の提供を行っている。ラジオ国際放送は，2000年にインターネットを通じたニュースの放送同時および放送後配信を開始した。その後ニュースに加えて番組音声も放送同時および放送後配信を開始し現在まで継続している。

20年度はラジオ国際放送「NHKワールドJAPAN」（17言語）および「NHKワールド ラジオ日本」（日本語）のホームページとモバイル端末向けのアプリで放送同時提供を行った。

テレビ国際放送「NHKワールド JAPAN」（英語）は，09年２月，24時間英語チャンネルとして大幅改定を行ったのを機に，インターネットでの同時提供を開始した。20年度は，ほぼ全てのニュース・番組を，ホームページ，モバイル端末向けおよびテレビに接続してインターネット動画を視聴する機器向けのアプリで放送と同時に提供した。

NHKオンデマンド

利用者負担によって行う業務として，NHKオンデマンド（NOD）サービスを実施し，「見逃し番組」として『連続テレビ小説』「エール」，同「おちょやん」，『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」，『NHKスペシャル』『NHKニュース７』等約１万本を，多様な受信端末に向け提供した。NHKが利用者に直接提供する形態の会員の登録数は，年度末において，292万9,000人であった。

外部プラットフォーム事業者を経由する提供については，年度末において，９者を通じて実施した。利用者からの問い合わせ等については，NODコールセンターにおいて，迅速かつ適切な対応に努めた。

東京オリンピック・パラリンピック準備状況

世界的な新型コロナウイルス感染の広がりを受け，20年３月24日，東京オリンピック・パラリンピックは１年程度の延期が決定した。その後大会組織委員会は競技日程や競技数を基本的に維持することを表明，大会時の感染対策などの検討が続けられた。

NHKの2020東京オリンピック・パラリンピック実施本部ではこうした状況を踏まえつつ，アスリートたちの最高のパフォーマンスとコロナ禍を経験した世界が再び集う意義を視聴者に伝えるための準備を進めた。

20年度の放送では，コロナ禍に直面するアスリートたちの姿を紹介する番組や，スポーツの新たな楽しみ方を模索するサービスの開発を行った。NHKパラリンピック放送リポーターの３人は，コロナ禍で練習もままならない状況に直面する国内外のパラアスリートへの取材を進め，さまざまな番組でリポートを放送した。「世界応援プロジェクト」では，ホストタウンで続く草の根の交流をミニ番組化。またコロナ禍における新たなスポーツ中継の楽しみ方として，ネットを活用した応援スタイル「オンラインパブリックビューイング」をBリーグ中継番組で２度実施した。

大会延期決定から約１年。21年３月25日にオリンピック聖火リレーが福島県Ｊヴィレッジからスタートした。災害からの復興への思い，地域への愛着，周囲の人々への感謝など，さまざまな思いを持って参加する１万人もの聖火ランナーの姿を届けるため，121日間にわたる聖火リレー全日程同行撮影を開始，特設サイトでのライブストリーミングを行うとともに，毎日の聖火リレーの様子を５分で伝える『聖火リレーデイリーハイライト』の放送を開始した。

そして21年４月１日，東京オリンピック・パラリンピックを含めた，さまざまな番組・サービスを通して伝えたいメッセージとして，新しいキャッチフレーズを「私たちは、超えられる。」に決定し，公表した。

私たちは、超えられる。

NHK 2020→2021

第5章

東日本大震災から10年

復興に向けた動き

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故の発生から10年が過ぎた。住宅の再建やまちづくりなど，目に見える形での復興は一定の進展があったものの，福島県を中心に全国で今も４万人以上が避難生活をしている。また経済活動や人とのつながりの再生はいまだに課題となっている。

死者・行方不明者２万2,000人以上

2011年３月11日午後２時46分ごろ，東北沖でマグニチュード９の巨大地震が発生し，東北や関東の沿岸に高さ10メートルを超える津波が押し寄せた。死者と行方不明者は１万8,425人（21年３月10日時点，警察庁まとめ）。また避難生活による体調の悪化などで亡くなった「震災関連死」は少なくとも3,774人（３月31日時点，復興庁，各県まとめ）で，「関連死」を含めた死者と行方不明者は少なくとも２万2,200人に上る。

復興予算10年で32兆円　復興庁は存続へ

国はこの10年間，約32兆円を投じて集団移転などの大規模なまちづくり事業や被災者支援，被災企業への補助などを行ってきた。津波対策としての防潮堤整備や“復興道路”と呼ばれる高速道路の整備なども進めた。財源は「復興増税」と呼ばれる所得税や法人税の増税分などでまかなった。

国は当初，復興期間と復興庁の設置期限を震災10年となる20年度までとしていた。しかし20年６月，被災者の心のケアや原発事故被災地での住民帰還を支援するため，復興庁の設置期間を10年延長したほか，21～25年度の５年間を新たな復興期間と定め，その期間に1.6兆円程度を投じる方針を決めた。

住まい整備は完了したが課題は残る

被災者向けの災害公営住宅約３万戸，かさ上げや集団移転で造成した宅地約１万8,000戸が20年12月末までに完成し，これで計画していた住まいの復興事業がすべて完了した。それに伴い，ピーク時に11万人以上いたプレハブ仮設住宅の入居者も21年３月までに０人となった。

一方，暮らしやコミュニティーの面では課題が残る。災害公営住宅では新型コロナウイルスの影響で１人暮らし高齢者の孤立を防ぐ取り組みが制限され，実際に孤立死も出ている。避難生活をしている人は，住民の帰還の見通しが立っていない地域がある福島県を中心に21年２月の時点で４万1,000人余りに上る。

NHKは20年12月から21年１月にかけて岩手，宮城，福島の約4,000人にアンケートを行い，1,805人から回答を得た。地域の復興が「完了した」「思ったよりも進んでいる」と答えた人は45.7％で，「思ったよりも遅れている」「全く進んでいない」と答えた人は50.7％だった。また震災10年が「震災の被害を乗り越える区切りとなる」と思うか尋ねたところ，「そう思う」「ややそう思う」と答えた人は44.5％だったのに対し，「そう思わない」「あまりそう思わない」と答えた人も31％と，受け止めが分かれた。

目立つ人口減少　仙台近郊は増加

NHKが国勢調査をもとにした自治体のデータを分析したところ，岩手，宮城，福島の３県ではこの10年間で人口が38万人余り，率にして6.7％減少した。県別では，▽岩手県が11万8,000人余り，▽宮城県が５万7,000人余り，▽福島県が20万5,000人余りそれぞれ減少した。

津波や原発事故の影響を受けた市町村を分析したところ，国勢調査のデータがとれない福島県内の７つの町と村を除いた35の自治体のうち，24の自治体が10％以上減少した。減少率は宮城県女川町が43.0％と最も大きく，宮城県南三陸町が37.4％，福島県川内村が35.8％だった。このほか岩手県大槌町が29.5％など７自治体で20％台の減少率となった。一方，宮城県では仙台市やその周辺の名取市，岩沼市などで人口が増えていて，

地域格差が広がっている。

経済復興は道半ば　新型コロナ影響も

東日本大震災で被災した企業の復興も道半ばだ。国からの「グループ補助金」を受けた東北４県の企業のうち，売り上げが震災前の水準以上に回復したと答えたのは44％。新型コロナウイルスの影響も響き，過去６年間の調査で最も少ない割合になった。

業種別にみると建設業が70.7％，運送業が56.7％と割合が高かったのに対し，水産・食品加工業は31.2％，旅館･ホテル業は30.2％と厳しい現状だった。

新型コロナウイルスについて「すでにマイナスの影響が出ている」または「今後影響が見込まれる」と答えた事業者は87.7％に上った。

交通インフラの復旧・整備と変わる経済地図

東日本大震災ではほぼすべての交通機関がストップし，道路や線路などのインフラも大きな被害を受けた。新幹線や空港は比較的早期に復旧した。高速道路は「復興道路」と銘打たれ，震災前よりも大幅に延伸した。

JRは震災と原発事故で宮城・岩手・福島の３県25路線で一時不通となったが，20年３月14日，常磐線の富岡駅と浪江駅の約20キロメートルの区間で運転を再開したことで，計画していたすべての路線が復旧した。地域の事情やまちづくりに合わせて線路を内陸に移したり，鉄道ではなくバスで輸送を行う「BRT」に切り替えたりした。

岩手県沿岸を走る三陸鉄道は19年３月，JRから一部区間の運行を引き受けて新たな路線として全線開通したが，７か月後に台風19号の被害に遭って再び不通となった。その後，復旧作業と豪雨対策が行われ，20年３月に運転を再開。震災と台風の２度の被害を経ての再スタートとなった。

国が「復興道路」と位置づけ，仙台市から青森県八戸市までの359キロを結ぶ三陸沿岸道路は，21年３月の時点で計画の91％となる328キロの区間で供用を開始している。

高速道路の整備などによって被災地へのアクセスが向上し，岩手県陸前高田市の道の駅で１か月間の来場者が10万人に上るなど交流人口の増加がみられた。しかし新型コロナウイルスの感染拡大後はいずれの地域も苦戦している。

震災遺構と伝承の動き

震災の爪痕をありのままに残した震災遺構や，祈りをささげる祈念公園が相次ぎオープンした。

19年９月には陸前高田市で東日本大震災津波伝承館がオープンした。津波で大きく壊れた消防団の車両などを展示しているほか，津波に襲われる各地の映像を大スクリーンで紹介している。地元の小中学校では児童や生徒の心情に配慮しながら施設を見学し，震災学習に役立てようという動きが出ている。

20年10月には宮城県南三陸町の旧防災対策庁舎がある場所に復興祈念公園が全面オープンした。祈りをささげる丘には，遺族の了解が得られた804人の犠牲者の名簿が納められた。旧防災対策庁舎は31年まで県が一時保存し，その後に保存か，解体か判断される。21年中には，児童74人が犠牲になった宮城県石巻市の大川小学校が，震災遺構としての整備を終えて公開される。

各地の震災遺構をつなぐ動きも出てきている。国土交通省と沿岸の自治体が各地の震災遺構や展示施設などを「震災伝承施設」として登録する取り組みを始め，21年４月の時点で276施設が登録されている。国土交通省などは，これらの沿岸にある施設を「3.11伝承ロード」として一体的に紹介し，国内外に発信して視察ツアーなどに役立ててもらうことにしている。

新型コロナウイルスの感染拡大後は，震災遺構に直接訪れる人が少なくなり，各地ではオンラインによる語り部や，被災地を紹介する動画の制作なども進んでいる。被災地の町並みが変わり，震災後に生まれた子どもたちが増えるなか，震災の記憶を伝承する重要性が高まっている。

避難指示解除と進まぬ帰還

東京電力福島第一原子力発電所の事故によって大量の放射性物質が放出され，国は福島県内の11の自治体に避難指示を出し，住民はふるさとを追われた。その後，国の除染や水道などのインフラの復旧が終わったとして，21年３月までに当初の７割の地域で順次，解除が進められてきた。

20年３月には双葉，大熊，富岡の常磐線の駅近くで，帰還困難区域としては初めて避難指示が解除された。特に，全町避難を余儀なくされた双葉町では，町内で初めての解除となり，常磐自動

車道の常磐双葉インターチェンジも新たに共用を開始した。

一方，住民の帰還は進んでいない。避難指示を受けた市町村によると，避難指示を解除された地域に実際に住んでいる人は21年３月時点で，最大１万4,000人余りで，住民票を登録している人の31％にとどまっている。人口が大きく減少する中でのまちづくりが引き続き課題となっている。

また，立ち入りが厳しく制限される帰還困難区域に21年３月の時点で浪江町や双葉町，大熊町など７つの市町村のあわせて337平方キロメートルが指定されている。国は帰還困難区域のうち８％に当たる地域については除染などを進めて23年までに避難指示を解除する計画を立てたが，残る92％については事故から10年が経過しても解除に向けた具体的な時期や方針を示しておらず，地元の自治体が解除に向けたスケジュールを示すように求めている。

「復興五輪」への動き

東日本大震災で復興した姿を世界に発信しようと，「復興五輪」を掲げた東京オリンピック・パラリンピックの開催が13年９月に決定した。福島県で野球・ソフトボールが，宮城県と茨城県でサッカーが行われる予定となり，聖火リレーでも津波で被災した岩手県の三陸鉄道で運ばれるなど，被災地を意識したコースとなった。

しかし新型コロナウイルスの影響で開催が１年延期され，21年３月に聖火リレーが福島県でスタートとなったが，いまだに新型コロナの影響を指摘する声がある。

一方，NHKが20年３月に行った被災者アンケートでは，東京オリンピック・パラリンピックが被災地の復興に「役立つ」と答えた人が32％だったのに対し，「役立つと思わない」と答えた人が63％に上った。

原発事故のその後

事故から10年　避難指示解除未定の地域も

東京電力福島第一原子力発電所の事故から10年。当初，福島県全体の8.3％を占めていた避難指示区域の面積は，その３割ほどに縮小。しかし，放射線量が高く，立ち入りが厳しく制限される帰還困難区域に，依然，浪江町や双葉町，大熊町など７市町村の330平方キロ余りが指定されている。国はこのうち８％に当たる27平方キロの避難指示を，２年後までに解除する計画だが，残りの90％余りの地域の解除の時期は示せていない。

今も３万5,000人以上が避難生活を続け，避難指示が解除された地域に住む人は１万4,000人余りと，住民票登録者の30％余りにとどまる。

長引く避難生活などで体調が悪化して死亡する「震災関連死」に認定された人は，21年３月５日時点で2,320人（福島県災害対策本部による）と，地震や津波などによる直接死1,614人（３月10日時点・警察庁緊急災害警備本部による）を大きく上回っている。

事故当時18歳以下の約38万人を対象にした甲状腺検査で，250人余りががんまたはがんの疑いと診断された。専門家で作る県の検討委員会は推計の被ばく線量が低いことなどから「放射線の影響とは考えにくい」としている。網羅的な検査で手術などの必要のないがんまで見つかる「過剰診断」が指摘される一方，検査継続を求める対象者や家族などもいて，検査のあり方を巡る議論が続く。

険しい廃炉への道　燃料デブリの全貌見えず

国と東京電力が最長40年かかるとしている福島第一原発の廃炉。最大の難関はメルトダウンを起こした１号機から３号機に残る，溶け落ちた燃料デブリの取り出しだ。推定880トン。今も強い放射線を発しているため，人は容易に近づけず，ロボットでの調査が続けられている。

21年，調査が最も進む２号機で取り出しが始まる計画だったが，20年12月，東京電力は少なくとも１年延期を発表。10年で分析できたのは，調査装置などに付着した物質0.0027グラム。全貌は見えていない。

１号機から３号機の燃料プールの核燃料の取り出しも大きく遅れている。21年２月，３基の中で初めて３号機で取り出しが終了。当初，21年とされていた取り出し完了予定は31年までとなっている。

燃料デブリを冷却した汚染水の処理後に残る，放射性物質のトリチウムを含む処理水の問題で，専門家で作る国の小委員会は20年，「基準を下回

る形で海か大気に放出するのが現実的で，海の方がより確実に実施できる」と報告。漁業者など関係者から風評被害を懸念する声が上がった。国は公聴会を開くなどしたが，対話や議論はほとんどなかったとの指摘が専門家などから出されている。

21年２月，福島県沖を震源とする地震で，冷却水の水位が低下，処理水などのタンク53基で最大19センチのずれが見つかった。３月には原子力規制委員会が，２号機と３号機の建屋上部で予想以上に汚染が激しいと報告。道のりの険しさが改めて示された。

さらに，大量の放射性廃棄物の問題も浮上。20年７月，日本原子力学会は，デブリを取り出したあと，廃棄物を処理・処分し，敷地を再利用できるまでには，100年から300年程度かかるという試算を示した。

原発の再稼働と廃炉　判断分かれる裁判

事故後，国のエネルギー基本計画で原発は「可能な限り依存度を下げる」とされた。電源構成で原子力は20～22%。20年から見直しが始まり，どう位置づけるのか，焦点の１つになっている。

新しい規制基準のもと審査に合格したのは，21年２月現在，９原発16基。このうち再稼働したのは５原発９基となっている。一方，事故後廃炉が決まったのは，福島第一原発も含め９原発21基。

事故の反省を踏まえ改革してきたとする東京電力は新潟県の柏崎刈羽原発７号機の再稼働を目指し，１月，安全対策工事が完了したと発表。しかし，中央制御室に20年，社員が他人のIDカードで不正入室していた問題や，工事が実は未完了だったことが判明。さらに核防護を巡り，長期間，不正な侵入を許す状態だったことが分かり，原発を扱う資格が問われる事態に。３月，規制委員会は是正措置を命じる処分案を示した。核燃料の移動が禁じられることになり再稼働は遠のく状況になっている。

原発の差し止めなどを求める住民側の訴えを裁判所が認めたケースは事故後８件となった。20年12月，大阪地裁が大飯原発について国の設置許可を取り消す判決，21年３月には水戸地裁が東海第二原発の再稼働を認めない判決を言い渡した。一方で20年，伊方原発の運転停止を命じた仮処分は21年３月に取り消され，司法の判断は分かれている。

核燃料サイクル・核のごみを巡る動き

使用済み核燃料からプルトニウムを取り出して再び燃料として利用する核燃料サイクル政策。20年７月に再処理工場，12月に燃料工場と中核施設が相次いで審査に合格した。核兵器にも使われるプルトニウムは国際的に削減が求められる。プルトニウム利用の柱，プルサーマル発電が計画どおり進んでおらず，政策は厳しい環境に置かれている。

原子力最大の課題，高レベル放射性廃棄物の最終処分場の選定は，関連の法律施行から20年で初めて，11月に北海道の寿都町と神恵内村で最初のステップの文献調査が始まった。しかし，北海道知事が反対の意向を示すなど，先行きは不透明だ。

【参考】東日本大震災の被害状況

【人的被害】（総務省消防庁）

・死者　　１万9,747人
・行方不明　　2,556人
・負傷者　　6,242人
（21年３月１日現在）
○震災関連死（復興庁）　3,774人
（21年３月31日現在）

【避難者数】（復興庁）

・避難者数　約４万1,000人
全国47都道府県926市区町村に所在（21年３月10日現在）
（最多時：11年３月14日 約47万人）

【住宅被害】（総務省消防庁）

・全壊　　12万2,005棟
・半壊　　28万3,156棟
・一部破損　　74万9,732棟
（21年３月１日現在）

※20年４月以降，情報が更新された被害項目を記載した。
※11年３月11日の東北地方太平洋沖地震のほか，宮城県沖を震源とする地震（同年４月７日）や，福島県浜通りを震源とする地震（同年４月11日）など余震による被害を含む。

NHK東日本大震災プロジェクト

ねらいと組織

1 ねらい

東日本大震災プロジェクトは，被災地の復興を支援する取り組みを行う組織横断的プロジェクトとして，震災直後に発足した。

被災地の課題を顕在化し，被災者の心情に寄り添う番組，ネット展開，イベントのほか，全国の人々と被災地をつなげるキャンペーン，世界に震災後の日本を伝える取り組み，さらに震災を記録し将来の防災を考える取り組みなど，幅広い視野で災害に向き合い，風化を防ぎ，被災地を支援することを目的としている。

2 組織

事務局は12人から成り，放送総局，視聴者総局，仙台局などから組織されている。20年度の事務局の構成メンバーは以下のとおり。

・事務局長１人（編成センター長兼務）
・専従者１人
・その他の兼務者10人
（大型企画開発センター１人，報道局３人，制作局１人，編成局２人，事業センター１人，デジタルセンター１人，仙台局１人）

主な取り組み

1 定時番組の制作・放送

20年度は，震災関連の定時番組を放送し，広く被災地の情報を届け，支援を行った。定時番組は総合テレビ『明日へ　つなげよう』。その中のシリーズとして「証言記録」「未来塾」「サンドウィッチマンの東北酒場で逢いましょう」「ふるさとグングン！」がある。

2 震災10年の特集

主な特集番組は以下のとおり。

『花は咲くスペシャル　歌が紡いだ10年の物語』（3.6放送）
『未来への手紙2021　10年目のビデオレター』（3.6放送）
『こころフォトスペシャル　いつも胸にあなたが　～10年目の手紙～』（3.7放送）
『ごごナマ　東日本大震災　あの日から10年』（3.11放送）
『しあわせ運べるように～被災地をつなぐ心の歌～』（3.13放送）
『証言記録スペシャル　いつか来る日のために』「“あなたを守る”体験者の言葉」（3.13放送）
NHK民放６局防災プロジェクト
『あしたの命を守りたい～NHK民放　取材者たちの震災10年～』（3.14放送）

次項「東日本大震災10年～それぞれの3654日～震災10年特別編成」で詳細を記す。

3 ミニ番組

『あの日　わたしは～証言記録　東日本大震災～』
『みちのくモノがたり』
『綾瀬はるかのふくしまに恋して』
『君に見せたい　東北がある』（仙台局制作）

4 大型イベント「公開復興サポート 明日へ」

被災地で複数の番組の公開収録や展示を実施してきた。20年度は岩手県での開催を予定していたが，新型コロナウイルスの影響で中止となった。

5 復興支援ソング「花は咲く」

歌詞を朗読でつなぐ「2021」バージョンと，11の言語で著名アーティストが歌いつなぐ「多言語」バージョンを制作・放送した。楽曲著作権等売り上げの一部は，NHK厚生文化事業団を通して被災地に義援金として送られた。21年２月末で合計約２億9,785万円に達した。

「100万人の花は咲く」は，日本だけでなく各国から寄せられたビデオを編集してつなぎ合わせ，心を結ぶミュージックビデオを制作するプロジェクトである。国内外の一般の人たちが１フレーズずつ歌い継ぎ，これまで63の国と地域，約16万8,000人が参加した。

東日本大震災10年~それぞれの3654日~震災10年特別編成



『ニュースウオッチ９』や『おはよう日本』などで震災・原発事故をさまざまな角度で伝えたほか，特集番組，ネット企画，イベントを連動させ，立体的・多角的に発信し，「追悼」「課題の検証」「復興の成果」「今後の防災」など10年の復興の道程を振り返った。

特に21年３月６～14日を特別編成期間として，100余りの特集番組（定時枠内特集含む）を集中して放送した。

以下では，震災10年の節目に合わせた取り組みをまとめた。

1 特集番組

『NHKスペシャル』は，３月６～14日に震災関連番組８本を集中的に編成。10年間の定点映像を通して被災地の復興の歩みを記録した番組，廃炉への道程の検証ルポ，震災前から16年間記録した半農半漁の地域の暮らしを描いたドキュメンタリーなど，多彩なラインナップで放送した。

３月11日の『ごごナマ』は放送枠を拡大し，宮城・岩手・福島の３県とスタジオを中継で結んで各地の表情や復興の現状を伝えながら，西田敏行さんら東北ゆかりのゲストが自らの震災体験・故郷への思いを語った。10年目の午後２時46分を祈りの中で迎え，改めて一人ひとりが震災体験を語り合い，共有すること，そして次の世代に伝えていくことの大切さを伝えた。

ドラマでは，行方不明の夫を待ち続ける女性と震災を知らない建築士が出会い，前を向き歩み始める物語を描いた『あなたのそばで明日が笑う』（3.6）や，レストランを津波に流されたシェフが再建を果たすまでを描いた『宮城発地域ドラマ』「ペペロンチーノ」（3.6），津波で流され奇跡的に救出されるまでの３日間を描いたドラマ『NHKスペシャル』「ドラマ　星影のワルツ」（3.7）などを放送した。

2 NHK民放6局防災プロジェクト「キオク、ともに未来へ。」

NHKと民放キー局５社が共通キャッチフレーズのもと，各局がドキュメンタリーやニュースリポートなどを制作。企画開発から番組制作まで垣根を越えて協力した。NHKでは，各局の震災取材担当者がスタジオに集まり，未来の命を守るため何ができるかを考える特集番組『あしたの命を守りたい～NHK民放　取材者たちの震災10年～』（3.14）を放送した。

3 デジタル・インターネット展開

NHKプラスでは「＃震災10年」というプレイリストを編成し，ニュース，ドキュメンタリー，ドラマなどさまざまなジャンルの関連番組を同時・見逃し配信で提供。また，再放送した過去の『NHKスペシャル』などの番組を「津波」「子ども」「原発」「福島」などのテーマごとにプレイリスト化し，一人ひとりの「もっと見たい」に応えた。

仙台局では，20年３月からキャンペーン「市民と考える震災伝承」をスタートし，全国から“あの日の体験”を募集し，次の世代へ継承する取り組みを進めた。９月からは，災害時の食にまつわるエピソードなどを「＃思い出レシピ」で募集し，３月７日に特集番組『サンドウィッチマンの思い出レシピ～みんなで語る3.11』を放送。体験やメッセージをミニ動画やレシピ等のコンテンツとしてリメークし，番組ホームページやインスタグラムなどで配信した。

4 イベント展開

日本科学未来館で開催した「震災と未来」展（3.6～28）は，NHK が記録・蓄積してきたニュース，番組アーカイブス映像を活用し，震災を風化させることなく，未来に教訓を伝えることをテーマに未曽有の大災害とその後の歩みを「発災時（ZONE１）」「10年の復興期間（ZONE２）」「未来の災害への備え（ZONE３）」と３ゾーンに分け，展開した。

東日本大震災10年関連　主な番組

番組名	放送日	出演者	内　容
名作照明ドラマ「ハルカの光」	2月8日（月）より5回放送 E 19:25〜19:50	黒島結菜, 古舘寛治	宮城で漁師の娘として育ったハルカは，東日本大震災で，家や多くの友人を亡くした。照明オタクのハルカが照明の魅力を人々に伝え，その人たちにぴったりな照明を見繕う過程で，人々の人生に次々と「光」がもたらされていく。そしてハルカ自身もまた，数々の出会いを通して心の傷を乗り越え希望の光を見いだしていく。ユーモアとペーソスあふれるタッチで描いた新感覚・文化教養×ドラマ。
100分de名著「100分de災害を考える」	3月1日（月）より4回放送 毎週月曜 E 22:25〜22:49	伊集院光, 若松英輔（東京工業大学教授・批評家） ほか	古今東西の名著を4回シリーズで読み解く番組。21年3月の放送では，寺田寅彦「天災と日本人」，柳田国男「先祖の話」，セネカ「生の短さについて」，池田晶子「14歳からの哲学」を取り上げ，「災害との向き合い方・生きる力・未来をひらく叡知」を読み解いていた。 朗読：滝藤賢一
土曜スタジオパーク 東日本大震災10年特集ドラマ「あなたのそばで明日が笑う」	3月6日（土） G 13:50〜14:50	綾瀬はるか, 近藤春菜, 足立梨花, 松岡忠幸アナ ほか	特集ドラマ「あなたのそばで明日が笑う」放送当日，主演の綾瀬はるかさんをゲストに迎えた生放送。宮城県石巻市を舞台に，行方不明の夫を待ち続ける女性が前を向き歩み出す物語。撮影中の印象的なエピソードや共演者インタビューを交え，ドラマと被災地への思いをたっぷりと伺った。綾瀬さんと福島各地との長年に及ぶ交流の様子や，震災10年のさまざまな関連特集番組も紹介。
東日本大震災10年特集ドラマ「あなたのそばで明日が笑う」	3月6日（土） G BS4K 19:30〜20:43	綾瀬はるか, 池松壮亮	宮城県石巻市を舞台に行方不明の夫を待ち続ける女性が震災を知らない建築士と出会い，心を通わせていく。ふたりの思い，願い，それを見守る人々の優しい心に包まれて，前を向き，歩み始める愛の物語。
宮城発地域ドラマ「ペペロンチーノ」	3月6日（土） BSP BS4K 22:30〜23:30	草彅剛, 吉田羊, 國村隼, 矢田亜希子 ほか	21年3月11日，宮城県牡鹿半島。海を望むイタリアンレストランで，小野寺潔は友人たちを招き宴（うたげ）を開く。被災地が厳粛な空気に包まれるこの日に，あえて酒を酌み交わそうという。どういうことなの？と，いぶかしがる友人たち。すると潔はこの会に秘められた深い理由を話し始めた…。東日本大震災でレストランを津波で流され自暴自棄になっていた潔。一体どうやってレストランを再建し，最高の味を追求するシェフになれたのか？ 苦難があっても，前向きに人生を送れるかもしれない。そんな思いになれる極上の群像劇。
NHKスペシャル「津波避難 何が生死を分けたのか」	3月6日（土） G 21:00〜21:59		1万8,000人を超える東日本大震災の津波の犠牲者。津波からどう逃げれば助かるのか。これまで逃げ遅れは個人の意識の問題として語られてきたが，津波から生き残った人たちへの聞き取り調査から“生死を分ける避難行動”が見えてきた。番組では，地震発生から津波が三陸沿岸をのみ込むまでの数十分間を軸に，新たな津波映像や予想外の動きを見せた津波の動きをCG化しながら，避難行動の何が生死を分けたのかを明らかにした。
サンドウィッチマンの思い出レシピ〜みんなで語る3.11〜	3月7日（日） G 16:07〜17:07	サンドウィッチマン, 柴田理恵, 箭内夢菜, 安田菜津紀	あの日，あなたは何を食べたか？ 命をつないだ非常食。ぬくもりを感じた炊き出し。一歩を踏み出す力を与えてくれた食事。NHKに寄せられた500もの投稿「思い出レシピ」には，過酷な状況下を生き抜いた人々の願いや，知恵と工夫が詰まっている。食に秘められた物語を語り合い，あの日の記憶と教訓を未来へつなげた。特設サイトでも，皆さんの思い出レシピを公開した。
こころフォトスペシャル「いつも胸にあなたが 〜10年目の手紙〜」	3月7日（日） G 17:10〜17:53	鈴木京香 語り： 大沢たかお	東日本大震災で亡くなった方・行方不明の方の写真と家族からのメッセージを伝えた「こころフォト」。あれから10年。津波で母を亡くし引きこもりとなった19歳の男性が“孤独”から抜け出し，歩み始めた思いとは。長男の“形見”の愛犬と，今度は新型コロナで会えず…原発事故で故郷を追われた90代女性の願い。3人の我が子を失った夫婦。すれ違いの後，再び寄り添う2人が見たものは。鈴木京香さんと大沢たかおさんが伝えた。
8K映像が語る震災遺構「あれから10年」版	3月7日（日） BS8K 19:00〜19:59		被災地で，いまもっとも大きな課題の一つが「震災の伝承」だ。その核となるのが，「震災遺構」の保存。震災から10年に向け，残された数少ない遺構の保存が進められている。NHKの仙台，福島，盛岡の被災3局は，18年から震災遺構を8Kで記録してきた。新撮も含め再構成して放送した。
NHKスペシャル「ドラマ　星影のワルツ」	3月7日（日） G 21:00〜21:59	遠藤憲一, 菊池桃子, 川栄李奈, 岡山天音	震災の実話に基づくドラマ。東日本大震災から3日，福島沖15キロの海上で自宅の屋根に乗って漂流する男性がイージス艦に救助された。南相馬市の自宅で津波にのまれた60歳の農家・大谷孝志（遠藤憲一）。妻・恭子（菊池桃子）を奪った海で，たったひとり43時間絶望と戦った。耐え難い寒さと渇き。絶え間ない余震と押し寄せるがれき。そして目の前で爆発する福島原発…。何度も死を覚悟し，妻との日々を振り返るたび奇跡のように流れ着く希望の品々。「恭子，生きろというのか」。クラゲの光に励まされ，妻が愛唱した歌「星影のワルツ」で生きる力を取り戻す。
BS1スペシャル「映像記録　東日本大震災　発災からの3日間／1年の苦闘」（国際放送連動）	3月7日（日） BS1 22:00〜22:49, 23:00〜23:49		東日本大震災の経験を後世に伝えるため，当時被災地で撮影された膨大な映像で構成した記録番組を制作。BS1放送に加え，国際放送を通じて世界に発信した。前編では長く続いた激しい揺れや大津波の様子，後編では発災後1年の被災地での苦闘を描いた。

番組名	放送日	出演者	内　容
NHKスペシャル 「イナサ〜風寄せる大地 16年の記録〜」	3月8日（月） G 22:00〜22:59		あの大津波から10年。今も仙台・荒浜で生きる人々の16年間の記録。取材が始まったのは05年。風をたよりに四季を追ったカメラは，自然に寄り添い生きる人々，人と人のつながり，そして何気ない家族の日常を記録した。 春，大漁と豊作をもたらす南東の風“イナサ”。“情けのイナサ”は震災後の荒浜にも，いつもの春と同じように吹き渡る。漁師の佐藤吉男さんと松木波男さん，農家の佐藤利幸さんを軸に，津波によって“失われたもの”“変わらないもの”“守り継がれたもの”を描いた。
NHKスペシャル 「私と故郷と原発事故」	3月9日（火） G 22:00〜22:49		かつて2万人が暮らしていた静かな田舎町・福島県浪江町。ディレクターの故郷だ。全町民が避難を余儀なくされた東京電力福島第一原発事故から10年。中心部の避難指示は3年前に解除されたが，人口は事故前の10分の1以下。住民同士のつながりは薄れ，町の姿も人の暮らしも，思い描かれた復興とはほど遠い。原発事故は一つの町から何を奪い，何を破壊したのか。その中で人々は，何をよりどころにどう生きようとしてきたのか。見過ごされてきた小さな声に耳を傾け，原発事故の本質と，人々の10年の生きざまに迫った。
NHKスペシャル 「徹底検証　“除染マネー”」	3月10日（水） G 22:00〜22:49		東京電力福島第一原子力発電所の事故から10年。除染事業などに投入されてきた5兆円を超える“除染マネー”。国は地元の強い要望を受けて「被災地の生活を取り戻す」ために全域除染を原則に掲げ，前例なき巨大事業を行ってきた。この10年，除染をめぐり，何が起きていたのか。情報公開で入手した膨大な資料を基に専門家らの協力を得て，“除染マネー”の使途を検証。独自調査と当事者たちの証言から，日本が推し進めてきた巨大プロジェクトの全貌を見つめた。
ごごナマ 「東日本大震災 あの日から10年」	3月11日（木） G 13:40〜16:20	西田敏行ほか	宮城・岩手・福島の3県とスタジオを中継で結び，各地の当日の表情や復興の現状を伝えながら，西田敏行さんら東北ゆかりのゲストが自らの震災体験・故郷への思いを語った。10年目の午後2時46分を祈りの中で迎え，一人ひとりが震災体験を語り合い，共有すること，そして次の世代に伝えていくことの大切さを確かめ合った。
「がんこちゃんと失われたふるさと」	3月11日（木） E 18:20〜18:40		人形劇でおなじみの「ざわざわ森のがんこちゃん」が，3.11を知らない子どもたちとその家族に向けて放送するスペシャル番組。恐竜の女の子・がんこちゃんが，大きな災害に遭い避難してきた鳥の子ども「ソラ」と出会い，さまざまな困難がありながらも心を通わせる姿を通して，「被災とはなにか」を伝えるとともに，「自分の身になって被災者を思いやる心」の大切さを描いた。放送後は「NHK for School」で公開。
「10年話せなかったこと」	3月11日（木） E 18:40〜19:15	尾崎世界観 イラスト： 大島智子	テレビで，ネットで，震災を語る言葉があふれる3月。その言葉はどこまで“本当”なんだろう。今，被災地「だった」町で，震災が日常で語られることはほぼない。「自分は家族を亡くしてないから語る資格がない」「もう忘れたい」「誰をどう傷つけるか分からず怖い」…。さまざまな理由で本当の思いを心の奥底に10年しまってきた被災地の若者たちがアバターで本音を語り合った。
NHKスペシャル 「定点映像　10年の記録 〜100か所のカメラが映した“復興”〜」	3月11日（木） G 22:00〜23:13		NHKは，東日本大震災の発生直後からこの10年間，甚大な被害が出た岩手・宮城・福島の被災3県の100か所の定点にカメラマンが定期的に通い，復興への歩みを映像で記録し続けてきた。6,000カットにも及ぶ膨大な「定点映像」。そこには，災害公営住宅や防潮堤などのハード面での再生のみならず，津波や原発事故の被害から暮らしやなりわいを取り戻そうとする被災地の人々の復興に向けた動きも事細かに記録されていた。番組では，「定点映像」や，NHKが震災から10年間，被災地で収集してきたアンケートなどをもとに，復興の知られざる物語や未曽有の災害からの復興とはいったい何なのかを，被災地の取材を続けてきた大越健介キャスターとともに考えた。
バスで！列車で！ 篠山輝信×震災10年の東北旅	3月12日（金） BSP 23:15〜 0:44		東日本大震災から10年。震災直後から継続的に東北沿岸部の町の変化を見続けてきた番組がある。朝の情報番組「あさイチ」で毎年3月に放送されてきたコーナー企画「バスで！列車で！アッキーがゆく“復興の地”」。“アッキー”こと俳優の篠山輝信さんが旅人となり，震災で一度はズタズタになった公共交通機関を乗り継ぎ，青森・岩手・宮城・福島へと，被災した土地土地を訪ねながら，復興へと向かう町の様子や人々の思いを伝えてきた。20年はコロナ禍でアッキーが現地を訪ねることはできなかったが，この10年繰り返してきた旅を振り返れば，震災後に歩んできた人々の営み，それぞれの“復興”のありよう，未来への課題が等身大に迫ってくる。旅情あふれる東北の情景とともに，この10年の被災地と人々の歩みをアッキーとともに伝えたスペシャル版。

番組名	放送日	出演者	内　容
しあわせ運べるように ～被災地をつなぐ心の歌～	3月13日（土） Ⓖ 16:52～18:00		災害が相次ぐ中，被災地ではさまざまな“心の歌”が，人々を慰め勇気づけてきた。その一つ，神戸の復興の歌「しあわせ運べるように」は，東日本大震災や熊本地震などの被災地でも歌い継がれている。福島と神戸の子どもたちの交流の記録とともに，人々の心に残る名曲に秘められたエピソードを紹介。復興を応援するアーティストのライブ演奏も交えながら，あの日の記憶や教訓を未来へとつなぐメッセージを伝えた。
震災10年特集 「福島発＃ラジオ1F便」	3月13日（土） R1 17:05～17:55, 18:05～18:50		福島第一原発（1F）から生放送。原発と周辺被災地の復興の今を“リアルな日常”を通して同心円状に描き出す。例えば，原子炉建屋の中（0キロ），1F構内の日々（1キロ），住民帰還が始まった町内（5キロ），移住者の活動が活発化する隣町（15キロ），風評払拭のチャレンジが進む，浜通り地方（30キロ）。それぞれに生きる人たちは何を考え，どう日々の生活を営み，何に悩んでいるのか。ドキュメント・中継・インタビュー・リスナーへの生アンケートなどさまざまなスタイルで，ポスト10年に向けた前進のヒントをあぶり出した。
ありがとうを3.11に伝えよう委員会	3月13日（土） Ⓖ 19:30～20:43	井ノ原快彦， 南野陽子	東日本大震災で被災した人たちが，家族や友人，同僚，お世話になった人々に，これまで言えなかった「ありがとう」の思いを伝え，この10年間をねぎらい合う番組。この企画は，もともと宮城県気仙沼市の住民が，「3.11を感謝の言葉であふれる日にしたい」と，「“ありがとう”を3.11に伝えよう委員会」を立ちあげたことが発端。彼らが伝える，いくつもの「ありがとう」の物語から，被災地の人たちが歩んできた10年間を見つめた。
NHKスペシャル 「大震災と子どもたちの10年 いま言葉にできること」	3月13日（土） Ⓖ 21:00～21:49		東日本大震災で親を亡くした遺児は約1,800人。震災直後から多くの子どもたちと会い，取材を重ねてきた。家族のなかにさえ存在する悲しみの温度差，新しい形となった家族への気遣い，そして周囲からの過剰な期待への違和感…。遺児たちの支援を続ける団体は，彼らが進学や就職で都市部に出て孤立感を深めたり，遺児同士の間でも震災の記憶が薄い世代との温度差が広がったりして，心を許して話せる場を求めているという。「なぜ家族は犠牲になり自分は生き残ったのか」「遺児である人生をどう全うすべきか」「震災の経験に意味を見いだせない」…。彼らの言葉に耳を傾けるとともに，支援団体の大規模なアンケート調査から，それぞれの人生を歩もうとする遺児たちの姿を見つめた。
FMシアター 「はるかぜ､氷をとく」	3月13日（土） FM 22:00～22:50 （全1回）	酒井若菜， 新山千春， 三村和敬， 中村天海 作：渡辺あや， 音楽：岩崎太整	あの時，私とは違う道を選んだあなた。その選択を応援したくて，口にできなかった言葉があった。 あなたを思って，傷つけたくなくて，飲み込んだ思いがあった。それは胸の奥底にたまっていって，10年という歳月の中で，氷のように冷たく固まった…。原発事故のあと，息子の麦とともに福島から千葉へ，自らの判断で避難をした祐実。 一方，娘・こなみとともに福島に残った，祐実の妹・麻子。 姉妹はそれぞれの場所で励まし合いながら，失ったものを少しずつ取り戻す日々を送ってきた。それでも…。10回目の春が近づく，ある日。1本の電話がきっかけとなり，姉妹の胸の奥で冷えて固まっていた複雑な思いがあふれ出す。「あんなことさえなければ…」。そう思っても戻れない，“あの日”を境に変わってしまった世界。 異なる選択をしながら，その世界をともに生きようとする，2人の母親と2人の子どもの物語。
3.11からの「ことば」～綿矢りさ　表現者たちとの対話～	3月14日（日） E 0:30～ 1:15 ※土曜深夜	綿矢りさ， 沼田真佑， 小林エリカ 語り： 塩田慎二， 朗読： 瀧内公美， 利根川真也， 高橋さとみ	芥川賞を歴代最年少で受賞し，作家生活20年になる綿矢りさ。東日本大震災の後，巨大地震が襲う極限状態を生き抜く若者たちを描いた近未来小説を発表した。当事者でないのに震災を物語にすることには迷いもある。それでも書くのは？ 被災地岩手を舞台にした小説で芥川賞を受賞した沼田真佑。原発事故後，放射能の歴史を作品にし続ける小林エリカ。震災の年の夏に訪ねた気仙沼高校の元文芸部員たちと再会し，対話を重ねた。
NHKスペシャル 廃炉への道2021「原発事故10年の軌跡」	3月14日（日） Ⓖ 21:00～21:59		メルトダウンした3つの原子炉を「廃炉」する，世界でも前例のない取り組みを記録するシリーズ「廃炉への道」。東京電力福島第一原発の事故から10年の節目を迎える今回，これまでの軌跡をたどりながら，手探りの中で進む廃炉作業と地域復興の現在地を示す。国が最長40年かかるとしている廃炉。最初の10年で工程表はすでに5度改訂され，計画の後ろ倒しが相次いでいる。近づくことすら難しい原子炉周辺の強い放射線，膨らむコスト…。NHKが独自に記録してきた映像をひもときながら，この10年で見えてきた壁とその先の廃炉への道を展望。さらに，周辺で住民の帰還が進む中，避けて通れないのが，廃炉作業に伴って発生する膨大な放射性廃棄物をどう処分するかという問題だ。廃棄物の行き先は今も決まっておらず，この10年ほとんど議論が進んでこなかった。そうした中で20年7月，日本原子力学会が廃炉が終わった時の姿＝「最終形」について，廃棄物の処分方法にも言及した複数の案を初めて提示。国や地元住民による議論が始まっている。「廃炉」10年の軌跡を見つめ，「福島のこれから」を展望。

番組名	放送日	出演者	内　容
NHK民放　6局防災プロジェクト「キオク、ともに未来へ。」（3月6～31日） あしたの命を守りたい～NHK民放　取材者たちの震災10年～	3月14日（日） Ⓖ 13:50～15:00 ※一部地域では別日時		東日本大震災10年を機に実施したNHKと民放キー局5社の共同プロジェクト。共通キャッチフレーズのもと，各局がドキュメンタリーやニュース企画などを制作，企画開発から番組制作まで，垣根を越えて進めた。プロジェクトの目的は，未来の命を守るため，過去の経験から学び，次世代へつなげること。参加番組は21年3月末までTVerでも配信した。プロジェクトは，平時から防災・減災の取り組みに力を入れている日本赤十字社や，被災地の活動団体への支援金募集などを行う中央共同募金会とも協力した。 【NHK制作の特集番組】 「あしたの命を守りたい ～NHK民放 取材者たちの震災10年～」 NHKと民放5社の震災取材担当者がスタジオに集まり，震災や復興過程での経験を持ち寄って，未来の命を守るために何ができるのかをともに考えた。 ＜共同プロジェクト参加放送局＞ NHK　日本テレビ　テレビ朝日　TBS　テレビ東京　フジテレビ
プロフェッショナル仕事の流儀　サンドウィッチマンスペシャル	3月24日（水） Ⓖ 19:30～20:42		好きな芸人ランキングで3連覇。人気絶頂のサンドウィッチマンに半年間密着した。宮城県気仙沼で被災し，九死に一生を得た東日本大震災。被災地に通い，ライブを続ける理由とは。10年を節目にしないために動き続けるコンビの記録。
音楽で心をひとつに Music for Tomorrow	3月27日（土） Ⓖ 23:00～ 0:00	司会：渡辺謙，鎌倉千秋アナ	震災後，悲しみに暮れる人々を勇気づけた歌や音楽。各地で自然災害が頻発し，新型コロナの感染が拡大する今，心をひとつにして，明日へつないでいこうと，アーティストたちのパフォーマンスとメッセージを届けた。 ＜出演者＞ 大江千里，大船渡サンドパイパース，JUJU，スガシカオ， スティング，ダニエル・パウター，ダニエル・ホー，平原綾香， ボブ・ジェームス，渡辺貞夫 ＜スペシャルコメンテーター＞ 小曽根真

第6章 放送日誌

2020年4月～2021年3月

4月

社会の動き

1▸安倍首相は新型コロナウイルス感染拡大によるマスク不足対策として布マスクを全世帯に2枚ずつ配る方針を明らかにした。総経費は466億円に上り，配布途中で不良品が見つかる事態も起きた。「アベノマスク」とも呼ばれた

2▸数学の難問「ABC予想」を京都大学数理解析研究所の望月新一教授（51）が証明したと京都大学が発表した。8年前に書かれた論文の審査が長期間続けられていた

3▸英国出身の作家で，長野県・黒姫高原を拠点に森林や生態系を保護する活動に尽力した環境保護活動家のC.W.ニコルさんが直腸がんのため亡くなった。79歳

7▸新型コロナによる感染が都市部で急速に拡大している事態を受けて，政府は，東京・神奈川・埼玉・千葉・大阪・兵庫・福岡の7都府県を対象に「緊急事態宣言」を行った

10▸映画監督の大林宣彦さんが肺がんのため亡くなった。82歳。「転校生」や「時をかける少女」などで若者の情感をみずみずしく描き，晩年まで反戦を訴え続けた

15▸韓国で総選挙が行われ，政権与党「共に民主党」などが過半数の議席を獲得した

▸日本政府観光局は，日本を訪れた外国人旅行者は20年3月19万3,700人で，新型コロナウイルスの影響で前年3月に比べ93％減少したと発表した

16▸都市部からの人の移動等により新型コロナウイルスのクラスターが各地で発生し，感染拡大の傾向がみられることから，政府は全都道府県を緊急事態宣言の対象にした。すでに宣言が出ている7都道府県と同じ，5月6日まで

20▸政府は，住民基本台帳に記載されているすべての人を対象に10万円の一律給付を行うことを決めた。収入減少世帯への現金30万円給付とした閣議決定を転換した

21▸「ブルー・シャトウ」などのヒット曲で知られるグループサウンズのリーダーを務めたジャッキー吉川さんが群馬県内の自宅で亡くなった。81歳

▸オーストラリアの航空大手，ヴァージン・オーストラリアが事実上，経営破綻した。負債総額は約3,400億円

23▸俳優の岡江久美子さんが新型コロナによる肺炎のため都内の病院で亡くなった。63歳。岡江さんは19年末に乳がんの手術をしたあと放射線治療を受けていた。翌24日には外交評論家で首相補佐官の経歴もある岡本行夫氏が感染し，亡くなった。74歳。国の内外から功績と人柄を讃える声が寄せられた

26▸全国高等学校体育連盟は20年夏の高校スポーツの総合大会，全国高校総体の中止を決定した。全国高校総体の中止は1963年の開始以来，初めて。28日には全国中学校体育大会の中止も決定した

30▸現金10万円の一律給付などの経済対策を盛り込んだ補正予算案が参議院本会議で可決・成立した。補正予算は新型コロナウイルス感染拡大を受けて，現金10万円の一律給付など，事業規模で117兆円に上る緊急経済対策を実行するためのもの

NHK

3.30▸番組改定がスタート。主な新番組は次のとおり

Ⓖ　『連続テレビ小説』「エール」（月～土）

Ⓔ　『すたあと』（月・火），『おもてなし　即レス英会話』（月～木）

BS1　『○○推し！』（金～日）

BSP　『うたう旅～骨の髄まで届けます～』（火），『レギュラー番組への道』（金）

BS4K　『ニッポン島旅』（火）

R1　『らじるラボ』（月～金），『高橋源一郎の飛ぶ教室』（金）

R2　『おしゃべりな古典教室』（木～金），『ロシア語ニュース』（月～金），『タイ語ニュース』（月～金）

FM　『ディスカバー・ビートルズ』（日）

国際放送「NHKワールド JAPAN」の番組改定がスタート。テレビの主な新番組は次のとおり　『Where We Call Home』（月），『Deeper Look from NY』（火），『Doctor's Insight』（火），『Culture Crossroads』（木）

1▸NHKの常時同時・見逃し番組配信サービス「NHKプラス」の運用が本格的に始まった。試験的に実施した3月の1か月間で30万件を超える登録申し込みがあった。前田会長は「非常に順調な滑り出し」と評価。ただし当面は“常時”ではなく午前6時～翌午前0時までの18時間の提供に

▸新型コロナウイルス感染拡大を受け，1日以降予定していた『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」と『連続テレビ小説』「エール」の収録を，当面見合わせることを発表した

▸制作系子会社のNHKエンタープライズとNHKプラネットの2社が合併し，「NHKエンタープライズ」としてスタートした

7▸新型コロナウイルスの感染拡大で，安倍首相が東京・大阪など7都府県に「緊急事態宣言」を発出，NHKや在京キー各局が予定の番組を変更して中継した

▸新型コロナ感染拡大を受けて，原則中止・延期としていた公開番組，イベントについて，5月10日まで対策を継続することを発表。また，20年度後期の『連続テレビ小説』「おちょやん」も7日以降，収録を見合わせることに

17▸総務省の「放送を巡る諸課題に関する検討会」に「公共放送の在り方に関する検討分科会」が新設され，初会合が行われた

20▸鳥取局のディレクターが新型コロナウイルスに感染したことを受け，夕方のニュース・情報番組のキャスターを変えたり，朝のテレビ・ラジオニュースを広島拠点局からの放送としたりするなど，県域放送を一部変更する対応を実施

4月

国内メディア

1▸ビデオリサーチは，ラジオ番組をインターネットで配信する「radiko」の聴取データを使い，前日のラジオ聴取データ（首都圏エリア）を毎日提供するサービスを開始した

▸朝日放送ホールディングスはNTT西日本と共同で，スポーツ配信事業を手掛ける新会社「NTTスポルティクト」を設立した。スポーツ施設に人工知能を備えた無人カメラを設置し，撮影した競技映像の配信システムを競技団体やスポーツ施設に提供する

6▸政府は，新型コロナウイルス対策に情報通信技術を活用するための「テックチーム」を設置し，この日の初会合で，官民が連携して感染症対策に役立つ技術やデータの利用法を検討することを確認した

7▸テレビ朝日とKDDIが新たな動画配信サービス「TELASA（テラサ）」を開始した。KDDIの動画配信サービス「ビデオパス」を継承，放送と通信の融合で5G時代の新サービスを目指すとしている

8▸北海道放送が19年７月の参議院選挙の公示前日に夕方のローカルワイド番組『今日ドキッ！』で伝えた選挙特集について，放送倫理・番組向上機構（BPO）の放送倫理検証委員会は，「放送倫理違反があった」とする「意見」を公表した

12▸テレビ朝日は，報道番組『報道ステーション』のメインキャスターを務める富川悠太アナウンサー（43）が，新型コロナウイルスに感染したと発表した。同局は翌日の番組から代役を立てて放送した

23▸SNSに起因するトラブルなどの解決に，事業者と有識者が連携して取り組む，一般社団法人の「ソーシャルメディア利用環境整備機構」が設立された。TikTok，Facebook，LINE，Twitterを運営する事業者やその日本法人が主なメンバーに入っている

28▸新型コロナウイルスの感染拡大で学校の休校が長引き，インターネットを使ったオンライン授業への需要が急速に高まる中，著作物のインターネット配信が無許諾で可能になる「授業目的公衆送信補償金制度」が，予定より約１年早く施行された。これに合わせて文化庁は，20年度に限り著作者に支払う補償金を「無償」とすることを認可した

30▸新型コロナウイルスの感染拡大で人の移動の抑制が求められる中，携帯電話大手４社は，気象警報や避難の情報を地域の利用者に一斉に知らせる「緊急速報メール（エリアメール）」の対象に，法律に基づいて自治体が出す外出自粛の要請を加えることを決めた。５月１日から適用

▸ケーブルテレビ事業者に「ケーブル４K」などの放送を配信する日本デジタル配信と，写真提供サービスのアフロが業務提携した。全国のケーブルテレビ局撮影の動画素材などを日本デジタル配信が提供し，アフロのウェブサイトで検索，購入可能に

海外メディア

2▸香港の公共放送RTHK（香港電台）が，３月28日放送の英語番組でWHO（世界保健機関）の幹部に電話インタビューした際，台湾のWHO参加の可能性を質問したことについて，香港政府は「１つの中国の原則に反する」として強く非難した。これに対しRTHKは，台湾を国として扱っていない以上，問題はないという認識を示した

7▸アメリカFacebook傘下のソーシャルネットワーク・通信アプリWhatsAppは，アプリ上で情報を転送できる宛先を１回につき１件に制限すると発表。新型コロナ感染拡大に伴い，転送件数が急増し，誤・偽情報を広げるおそれが指摘されたためとしている

14▸ 国際ジャーナリスト団体「国境なき記者団」は，新型コロナウイルスに関する報道をめぐり，38の国で政府当局による検閲や記者の拘束などがあったとして国連の特別報告者に書簡を送ったと明らかにした

15▸韓国では，新型コロナウイルスの感染者が１万人を超え，外出自粛が呼びかけられる中，総選挙が予定どおり行われた。公共放送KBSなどは，中央選挙管理委員会が定めた指針に基づき，各種感染対策を繰り返し呼びかけた

16▸スイス連邦政府は，公共放送SRG SSRの主な財源である受信料の年額を21年から30スイスフラン（以下フラン，約3,300円）値下げし，335フラン（約３万6,700円）にすると発表した。19年１月から新受信料制度が導入されたが，徴収額が予測を上回り，今回値下げに踏み切った

▸フランスの公共放送改革法案についてリステール文化相は，改革の方向性は変わらないとしながらも，審議スケジュールの見通しは立っていないと公共ラジオのインタビューで語った

21▸アメリカの有料動画配信大手Netflixは，第１四半期の契約件数が世界で１億8,260万に達したと株主に報告した

24▸イスラム教徒が日中の飲食を絶つ断食月「ラマダン」が，中東など多くの国で始まった。新型コロナウイルスの感染が広がる中，テレビ局は，毎夜１話ずつ放送されるラマダン恒例の連続ドラマでも，撮影中止や話数を減らすなどの対応に追われた

27▸イタリアのマッタレッラ大統領は，新型コロナウイルスの感染拡大で長引く休校措置に関連し，生徒たちに向けて，オンライン学習を継続するよう公共放送RAIの動画配信を通じて呼びかけた

29▸アメリカ連邦議会下院の超党派の議員120人以上が，連名でペロシ下院議長とマッカーシー共和党下院院内総務に対し，危機に瀕する地方のジャーナリズムを守るため，新型コロナ不況に対応する次の政府の追加経済対策に地方新聞や地方の放送局を対象に含めるよう要請した

5月

社会の動き

1▸新型コロナウイルスの影響を受けた中小企業などに最大200万円を支給する，持続化給付金の申請受付が始まった。売り上げが前年同月の半分以上減少した事業者が対象

4▸政府は，６日に期限を迎える緊急事態宣言について，対象地域を全国としたまま31日まで延長することを決定した。これを受けて日本相撲協会は24日から開催予定の大相撲夏場所の中止を決めた

7▸厚生労働省は「レムデシビル」を新型コロナウイルスの国内初の治療薬として承認した。重症患者に限定される

11▸全国の幼稚園，小中学校，高校，特別支援学校などのうち86％で休校が続いており，80％が31日まで続ける予定であることが文部科学省のまとめでわかった

13▸大相撲三段目の28歳の力士が新型コロナウイルス性肺炎のため入院先の都内の病院で亡くなった。感染直後には速やかな検査や治療ができなかったという

14▸政府は，新型コロナの直近の感染状況などを踏まえ，北海道・東京・埼玉・千葉・神奈川・大阪・京都・兵庫の８つの都道府県を除く，39県で緊急事態宣言を解除した

15▸アパレル業界の老舗「レナウン」が民事再生法の適用を東京地裁に申請した。負債総額は138億円余り。1902年創業で，バブル期には国内最大規模の売り上げを誇った

18▸検察官の定年延長を可能にする検察庁法の改正案について，政府・与党は現国会での成立を見送ることを決めた。ツイッター上に著名人も含めた抗議の投稿が相次ぎ，検察OBからも反対の声が上がっていた

▸自衛隊で初めての宇宙領域の専門部隊となる航空自衛隊の「宇宙作戦隊」が発足した。日本の人工衛星を守るため不審な人工衛星や宇宙ゴミを監視する

19▸WHO（世界保健機関）の年次総会がテレビ会議形式で行われ，新型コロナウイルスの初動対応をめぐり米中が厳しく対立した

20▸夏の全国高校野球が戦後初めて中止となった。高野連などは地方大会の開催が困難なことを理由に挙げた。春夏連続で中止となるのは今回が初めて

21▸政府は，緊急事態宣言について，14日に解除した39県に加え，大阪・京都・兵庫の関西２府１県を解除した

▸新聞記者らと賭けマージャンをした問題で，東京高等検察庁の黒川弘務検事長が辞表を提出した。政府は20年１月に法解釈を変更し，黒川検事長の定年を延長していた

25▸政府は，東京・埼玉・千葉・神奈川・北海道の緊急事態宣言を解除した。約１か月半ぶりに全国で解除された

▸米ミネソタ州ミネアポリスで，白人の警察官に首を膝で押さえつけられた黒人男性が死亡した。警察の対応は人種差別によるものだとして，抗議デモが全米に広がった

28▸中国の全国人民代表大会（全人代）は香港で反政府的な動きを取り締まる「国家安全法制」の導入を決めた。米，英など４か国が「深く懸念する」と共同声明を発表した

29▸パートなど短時間労働者が厚生年金に加入しやすいよう条件緩和することを柱とした年金制度改革法が成立した

NHK

7▸ひきこもり当事者などの生の声を伝え，思いや悩みを共有しようという R1 『みんなでひきこもりラジオ』を放送。２時間の生放送で1,000通のメッセージやSNSのつぶやきが寄せられた

11▸新型コロナウイルスの感染拡大で影響を受けた中小企業や個人事業主を対象に，特例措置として，放送受信料を２か月間，全額免除することを発表した。このほか，受信料の支払いを延滞した際に生じる延滞利息を20年４月から21年３月まで発生させない措置をとった

▸臨時休館中だったNHKスタジオパークを閉館。新型コロナウイルスをめぐる状況の先行きが見通せないことと，放送センター建替工事の準備作業にスケジュールの変更が生じたため

15▸新型コロナウイルス感染拡大防止のため，収録を見合わせていた『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」と『連続テレビ小説』「エール」の放送を一時休止すると発表。「麒麟（きりん）がくる」は６月７日，「エール」は６月27日の放送をもって，一時休止した

18▸「第87回NHK全国学校音楽コンクール」の中止を発表。小学校，中学校，高校の部に分かれて課題曲と自由曲を歌う国内有数の合唱コンクールで，７月から地区コンクールが始まり，11月に全国コンクールが行われる予定だった。集団による合唱は新型コロナ感染拡大のきっかけにつながりかねないとした

20▸日本高校野球連盟は新型コロナウイルス感染拡大を受け，夏の全国高校野球の中止を決定。NHKも中継を予定していた

26▸25日の緊急事態宣言解除を受けて，27日からニュース番組や情報番組でメインキャスターやMCそろってのスタジオ出演を順次再開すると発表した。また，外部の出演者が参加する収録，スタジオ以外でのロケや中継についても，十分な対策を実施したうえで順次再開することに

27▸ドラマ番組の収録を再開するための指針として「新型コロナウイルス感染を防止するためのドラマ制作マニュアル」を作成。スタッフ・出演者の健康管理や感染対策を進めるための体制などについて定めた

▸新型コロナウイルスの影響で放送休止となる『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」と『連続テレビ小説』「エール」の代替番組を発表した。「麒麟（きりん）がくる」の休止中は，戦国時代を舞台にした大河ドラマの名場面などを集めた特集番組『麒麟（きりん）がくるまでお待ちください～戦国大河ドラマ名場面スペシャル～』を放送。「エール」については，第１回から再放送するとした

5月

国内メディア

7▸民放連と日本新聞協会は，新型コロナウイルスの感染者や医療従事者への差別・偏見を防ぐための方策に関して合同ワーキンググループを設置し，山中伸弥・京都大教授や押谷仁・東北大教授らとウェブ会議を行った

8▸秋田放送は，8日午後10時台から9日午後1時台にかけて7回放送した『ABS お天気情報』で，「宮城県西部に特別警報が発表されています」という誤った情報を伝えた。この気象情報は，自動音声の放送であり，システムトラブルが原因だったとして，秋田放送とシステムを運用する日本気象協会が謝罪した

11▸新型コロナウイルスによる臨時休校が全国におよぶ中，文部科学省は休校が続く都道府県などを念頭に，20年7月末までに1人1台の学習用端末とネット環境の整備を図るよう強く要請した。23年度の実現を目指してきた「GIGAスクール構想」を前倒しする

12▸テレビ朝日が7日放送の『グッド！モーニング』で伝えた医師のインタビューについて，医師本人が，「（自身の意図とは）真逆の意見として見える」とSNSに投稿。これを受けて同番組は，再編集したインタビューを改めて放送し謝罪した

14▸在京キー局の20年3月期の連結決算が出そろった。放送局単体の売上高は，各放送局とも減少。スポットCMの収入の減少などが影響したとしている

21▸民放連と日本新聞協会は，新型コロナウイルス感染者への人権侵害や医療従事者への差別が多発していることについて，センセーショナルな報道を避ける，感染者に関する公表のあり方もプライバシーを侵害しない範囲で提供するという観点から議論を深める，といった内容の共同声明を発表した

22▸ビデオリサーチは，新型コロナウイルス感染拡大がおよぼすテレビ視聴への影響について，4月のテレビ視聴状況を19年4月と比較してまとめた。在宅勤務や休校でテレビ視聴が終日増えたほか、朝の視聴のピークは7時台から8時台に移動した

23▸フジテレビの番組『TERRACE HOUSE TOKYO 2019-2020』（以下，『テラスハウス』）に出演していたプロレスラーの22歳の女性が亡くなった。SNS上では，番組での女性の言動を非難する投稿が相次ぎ，誹謗（ひぼう）中傷を苦に自殺したとみられている。フジテレビは27日，番組の今シーズンの収録と放送中止を発表した

28▸新型コロナ感染拡大防止のため映画やテレビドラマの制作がストップする中，Netflixは，制作や技術などのフリーランスのスタッフを対象に，生活資金援助の受け付けを始めた。映像産業振興機構が窓口となって，10万円を1,000人程度に支給予定

29▸在京キー5局と広告代理店4社が出資して設立された「TVer」の運営会社プレゼントキャストは，5局が同額を増資して筆頭株主になり，社長がTBS出身者に交代すると発表した

海外メディア

5▸フィリピンの商業放送最大手ABS-CBNは，国家電気通信委員会（NTC）からテレビ・ラジオの放送停止命令を受け，翌6日に放送を停止した。同局は以前からドゥテルテ政権に批判的な報道を行い，大統領も威嚇めいた発言を繰り返していた

8▸ARD（ドイツ公共放送連盟）加盟局の1つNDR（北ドイツ放送協会）は，今後4年間で番組制作，人件費，技術，管理の部門で合計3億ユーロ（約360億円）の経費削減を行うと発表した

12▸香港政府は廣播道（放送通り）にある公共放送RTHKの建物のうち，香港政府教育局が所有する「教育テレビセンター」から9月末までに退去するようRTHKに通知した

18▸タンザニア政府発行のHabari Leoをはじめとする主要新聞は，「感染者はすごく減った。我々の祈りが神に通じた」というマグフリ大統領の発言をトップで伝えたものの，実際の感染者数の推移など具体的な根拠は示されなかった。タンザニアではマグフリ大統領が15年に就任して以降，言論の締めつけが急速に強まっている

▸英BBCやITV，Skyなどのイギリスのテレビ局は，番組制作における新型コロナウイルスへの感染予防のための共同ガイドラインを策定し，発表した

19▸フランスの放送事業を規制監督するCSA（視聴覚高等評議会）は，4月30日と5月19日，新型コロナウイルス感染拡大によるメディアへの影響に関する調査結果を発表した。視聴時間や視聴者数は記録的に増加したが，広告収入の激減で商業放送は経営難に直面している

26▸ブラジルで最大のテレビ局Globoや新聞大手Folhaなど複数のメディアが，大統領官邸での取材をとりやめた。記者たちに対し大統領の支持者が威嚇を繰り返し，身の安全が保障されないためだとしている

27▸アメリカ通信大手AT&T傘下のWarnerMediaは，新たな動画配信サービスHBO Maxの提供をアメリカで開始した。HBO NOWで配信していたケーブルテレビチャンネルHBOの番組に加えて，Warner Bros.の映画や新たな独自コンテンツなどを提供するもので，料金は月額14.99ドル（約1,600円）

28▸アメリカのトランプ大統領は，ソーシャルメディアの事業者に，利用者の投稿内容に対する法的責任を免除する法律の適用の見直しなどを求める大統領令に署名した

29▸25日に米ミネソタ州で黒人男性が警察官に首を押さえつけられて死亡した。事件があった同州で29日，抗議のデモを取材するCNNの黒人男性記者ら取材班3人が生放送の最中に逮捕された。州知事が全面的に謝罪して報道の役割の重要性を強調した

6月

社会の動き

2▸東京都は，新型コロナ感染状況の悪化の兆候がみられるとして警戒を呼びかける「東京アラート」を出した。その後，感染状況が落ち着いてきたとして11日に解除

3▸米ミネソタ州で黒人男性が警察官に取り押さえられ死亡した事件で，地元司法当局が現場にいた元警察官４人を訴追した。その後，人種差別に対する抗議デモが全米に広まり一部で暴徒化した

5▸北朝鮮に拉致された横田めぐみさんの父親で，40年以上救出活動を続けてきた横田滋さんが老衰のため亡くなった。87歳

6▸WHOのテドロス事務局長は，それまで感染予防の根拠はないとしてきたマスク使用について，距離が取れない場合は着用を勧めるべきだと指針を大幅に修正した

10▸高野連は，中止になったセンバツに出場が決まっていた32校を８月に甲子園に招き，各校１試合ずつの交流試合を行うことを決めた

▸京都の老舗「井筒八ッ橋本舗」が老舗ライバル社「聖護院八ッ橋総本店」に対し創業年を1689年と表示しているのは根拠がないと表示の差し止めを求めた裁判で，京都地裁は誤りという確実な証拠もないと訴えを退けた

11▸テレビ番組や映画などのテーマ曲を数多く手がけポップスのアレンジでも活躍した作曲家・編曲家の服部克久さんが腎不全のため亡くなった。83歳

12▸日本郵政グループは，保険の不適切な販売問題で収入が減少した社員およそ120人がコロナ対策の持続化給付金を申請していたと発表した。梶山経産相は「給付金の趣旨に反し，厳正に対処する」と述べた

15▸河野防衛相は新型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」の山口県と秋田県への配備計画を停止すると表明した

16▸関西電力は，旧経営陣５人に対し，巨額の金品受領や役員報酬の補塡（ほてん）などで会社に損害を与えたとして19億3,600万円の損害賠償を求め大阪地裁に提訴した

▸北朝鮮はケソンにある南北の共同連絡事務所を爆破した。韓国の脱北者団体による北朝鮮の体制批判のビラに反発

18▸東京地検特捜部は，河井克行前法相と妻の案里参議院議員を逮捕した。19年７月の参院選をめぐり，案里議員への票の取りまとめを依頼した報酬として地元議員ら100人近くに計2,570万円を配った疑い

19▸新型コロナウイルスの影響で延期していたプロ野球の今シーズンは当初予定の３月20日から３か月遅れで開幕した。当面は観客を入れずに試合を行い，レギュラーシーズン120試合の実施を目指すとした

23▸20万人を超える人が亡くなった沖縄戦から75年。「慰霊の日」を迎えた沖縄では，最後の激戦地となった糸満市で戦没者追悼式が開かれた

30▸香港での反政府的な動きを取り締まる「香港国家安全維持法」が中国・全人代の常務委員会で可決・成立した。前日の29日，アメリカ政府はこれまで香港に認めてきた優遇措置の一部を停止すると発表した

NHK

9▸日曜夕方放送の国際ニュース番組『これでわかった！世界のいま』（７日放送）で使用したCGアニメーションについて，描き方が配慮に欠けたものだったとして『NHKニュース７』やウェブサイトで謝罪するとともに，番組公式アカウントでツイッターに投稿したアニメを削除，番組の見逃し配信を停止した

▸埼玉県川口市のさいたま新産業拠点SKIPシティに整備する川口施設（仮称）の基本計画がまとまった。４K収録に対応した大型スタジオを４つ設けることなど，放送センター建替の際の代替機能と，放送機能の地域への展開の役割を担う。22年度に着工し，26年度の運用開始を目指す

16▸新型コロナウイルス感染拡大のため４月１日から休止していた『連続テレビ小説』「エール」の収録を２か月半ぶりに再開した。大阪拠点局で制作する後期の『連続テレビ小説』「おちょやん」は24日から収録を再開した

23▸19年度の決算を公表した。事業収入は，18年度より51億円多い7,384億円で，このうち受信料収入は，還元策の実施などに伴って18年度より６億円少ない7,115億円に。事業支出は18年度より102億円多い7,163億円で，収入から支出を引いた事業収支差金は，220億円となった。30億円赤字の予算に対し，250億円の改善

▸19年度末の受信料の推計世帯支払率を公表した。全国値は81.8％で，前年度より0.6ポイント向上，秋田県を除く46都道府県で前年度値より向上した

26▸高精細な小型単板カラーカメラの実現を目指し，光を効率的に利用する，有機膜を使った３層構造のカラー撮像素子を開発したことを発表した

28▸没後30年を迎えた指揮者バーンスタインによるマーラーの交響曲全曲を超高精細映像と立体音響にリマスターしBS８Kで４回にわたって放送した。ドイツで厳重に冷凍保管されていた35mmフィルムから独自に８K化を行った。また，当時の音声テープも入手し，22.2マルチチャンネルの立体音響としてよみがえらせた

30▸総務省の「放送を巡る諸課題に関する検討会」の「公共放送の在り方に関する検討分科会」が，NHKの三位一体改革に関する議論の“とりまとめ”を公表した。PDCAサイクルの明確化と，評価の体制を明らかにすることのほか，国内・国際放送，インターネット活用業務，営業経費，業務委託など，多岐にわたってNHKに期待されることが示された

6月

国内メディア

1▸全日本テレビ番組製作社連盟(ATP)は，新型コロナウイルス感染拡大で番組制作業務がストップしたことをめぐり，放送事業者に安全確保や番組の確実な制作と追加費用負担などを求める要望書を公表した

▸エフエム福岡が開局50周年を迎え，５月31日夜から26時間にわたり特別番組『FM FUKUOKA 50th Anniversary Special 聴けば，出会える。FM FUKUOKA』を放送した

12▸テレビ埼玉が19年４月，『NEWS545』で伝えた訴訟のニュースをめぐり，提訴側の元市議会議員が，自身がセクハラで訴えられたような印象を与えられ，名誉を毀損されたなどと申し立てた問題で，BPOの放送人権委員会は，一般視聴者がそうした印象を受けるとは認められないとして，名誉毀損などの問題は認められず，放送倫理上の問題も認められないという「見解」を公表した

15▸経済産業省の「特定サービス産業動態統計調査」(年間売上高の約70％をカバーする事業所を対象にした調査）の４月の結果によると，広告業の媒体別の売上高が，前年４月と比べ，テレビで18.1％減，ラジオで18.6％減となった

18▸新聞・雑誌・テレビ・ラジオなどのメディア28社が，インターネット広告の配信で連携する新組織「コンテンツメディアコンソーシアム」を創設した。共同で受注したネット広告の中から，各社の媒体の特徴に適したものを選び，配信する仕組み

19▸フジテレビと産経新聞社は，合同で毎月実施の世論調査について，委託先が再委託した会社の社員が19～20年の計14回の調査で架空の回答データを入力したと発表。両社は謝罪するとともに関連の放送・記事をすべて取り消した。世論調査は当面休止に

30▸フジテレビがオウム真理教の麻原彰晃こと松本智津夫元死刑囚ら元幹部の死刑執行を伝えた報道特別番組（18年７月放送）をめぐり，松本元死刑囚の三女による，父親への敬愛追慕の情を侵害されたとの申し立てについて，BPOの放送人権委員会は，戦後犯罪史上屈指の事件の首謀者などの死刑執行の速報という公益目的で放送されたもので，敬愛追慕の情を許容限度を超えて侵害するものではなく，放送倫理上の問題も認められないという「見解」を公表した

▸沖縄の琉球朝日放送と富山の北日本放送の２つの番組について，BPOの放送倫理検証委員会は，「視聴者に広告放送であると誤解を招くような内容・演出になっていたと認められる」として，「放送倫理違反があった」とする「意見」を公表した

▸新潟県の新潟県民エフエム放送と愛知県のRadio NEOは，広告収入の伸び悩みで経営悪化が続き閉局した。県域ラジオ局の閉局は全国で３例となった

海外メディア

3▸新型コロナウイルス感染症への対応をめぐって，中国政府が当局に対する批判的な報道や言論への規制を強化しているとのリポートを，アメリカに本部を置く非営利組織のジャーナリスト保護委員会（CPJ）が発表した

▸イタリアのラツィオ州行政裁判所は，通信規制庁AGCOMが公共放送RAIに科した150万ユーロ（約１億8,000万円）の罰金処分について，効力を停止する命令を出した。AGCOMの決定については，政治的な圧力がかかっているとの批判もあり，国内の各報道は，AGCOMの判断は根拠がないなどと報じた

▸ドイツ連邦政府は，新型コロナウイルスの感染拡大の影響で広告収入が落ち込んでいる国内の商業ラジオ放送事業者に，総額2,000万ユーロ（約24億円）の補助金を拠出すると発表した

5▸サウジアラビアやエジプトなどのアラブ諸国が「テロ組織に対する支援」を理由にカタールと国交を断絶してから ３年となった。経済封鎖が続くカタールでは，主要メディアがそろって「包囲攻撃を打破した」などと伝えた

15▸フィリピンのニュースサイトRapplerのマリア・レッサCEOと元記者が，実業家の麻薬密輸疑惑などを報じた記事をめぐり，「サイバー犯罪防止法」の名誉毀損の罪に問われていた裁判で，マニラの裁判所は２人に有罪判決を言い渡した。国際的な人権団体などからは言論の自由への締めつけだと非難の声が上がった

16▸英オックスフォード大学ロイタージャーナリズム研究所は，世界の40の国と地域で，８万人を対象にしたニュース利用の傾向などを調べた，20年の「Digital News Report」を公表した。ニュース全般に関して「大抵信頼できる」とした人は前年より４ポイント減の38％で，調査開始以来最低となった

17▸黒人差別に対する抗議行動が広がる中，アメリカの人権団体などが，Facebookへの広告ボイコットを呼びかけるキャンペーン#StopHateforProfitを開始した。ヘイトスピーチを容認して利益を上げてきたとして，大手企業に広告掲載の停止を求めている

19▸アメリカのAP通信は，英語圏の記者や編集者が参照する編集の手引「AP Stylebook」で，「黒人／黒人の」を意味する“black”の表記を頭文字が大文字の固有名詞“Black”に変更した。黒人の人たちが人種，民族や文化において共有している歴史やアイデンティティーを表す意味があるとしている

22▸英BBCはコンテンツや人材のダイバーシティー推進を加速させるため，21年４月から３年間で１億ポンド（約130億円）を投資すると発表した

25▸アメリカのIT大手Googleは，20年後半に開始するニュースサービスについて，コンテンツを提供するメディアに著作権の使用料を払う方針を示した

7月

社会の動き

1▸プラスチックごみの削減を目指して全国すべての小売店でレジ袋の有料化が始まった

▸ロシアで憲法改正の是非を問う全国投票が実施され，プーチン大統領は，最長で２期12年の続投が可能となった

2▸関東各地で上空に「火球」が観測された。13日になって千葉県習志野市で隕石が落下しているのが見つかった

3▸九州地方を中心に記録的な豪雨となり，発達した積乱雲が連なる「線状降水帯」が相次いで発生した。熊本県では球磨川で氾濫が相次ぎ，特別養護老人ホーム「千寿園」の１階部分が水没し，入所者14人が死亡した。雨は７月終わりにかけて東北地方へ移動し，全国で死者84人，行方不明者２人（総務省消防庁）の被害となった。気象庁は「令和２年７月豪雨」と名付けた

5▸過去最多の22人が立候補した東京都知事選挙で，現職の小池百合子氏が２回目の当選を果たした

13▸東京・新宿区の劇場で行われた舞台公演で新型コロナの集団感染が発生した。観客や出演者など59人が感染，２時間に及ぶ公演や楽屋での密集状態が明らかになった

16▸将棋の藤井聡太七段が「棋聖戦」の五番勝負で渡辺明三冠を相手に３勝。「17歳11か月」の藤井七段はこれまで「18歳６か月」だった将棋のタイトル獲得の最年少記録を30年ぶりに更新した

18▸若手の人気俳優，三浦春馬さん（30）が搬送先の病院で亡くなった。遺書があり，自殺したとみられる。NHK『大河ドラマ』や映画などに数多く出演したほか，『世界はほしいモノにあふれてる』Ⓖでは司会も務めていた

21▸国際的なファッションデザイナーとして活躍した山本寛斎さんが白血病のため都内の病院で亡くなった。76歳

22▸旅行料金を割り引く観光需要の喚起策「Go To トラベル」が始まった。事業開始の直前になって東京都発着を対象から外すことが決まり，事業者と旅行者の双方に混乱が生じた

23▸新型コロナウイルスの感染拡大で延期された東京オリンピックまで１年となった。開会式が行われる国立競技場では，競泳の池江璃花子選手が「１年後のきょう，この場所で希望の炎が輝いていてほしい」と世界に向けてメッセージを発信した

29▸原爆投下直後に放射性物質を含む「黒い雨」を浴び，健康被害を受けたとして国の指定地域外の住民たちが被爆者と認めるよう訴えた裁判で広島地裁は，全員を被爆者と認め，広島市や県に被爆者健康手帳の交付を命じた

30▸台湾で初めての直接投票による総統選挙を実現させるなど，民主化に尽力し，親日家として知られる李登輝元総統が台北市内の病院で亡くなった。97歳

▸香港政府は９月に予定されている立法会の議員選挙をめぐり，政府に批判的な民主派の候補12人の立候補を取り消した。翌31日には新型コロナウイルスの感染拡大を理由に選挙自体を１年間延期すると発表した

NHK

6▸津局と三重テレビは三重県高等学校野球夏季大会決勝戦の中継を共同で制作すると発表した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため，球場に入るスタッフの人数を抑えることが目的

7▸静岡市の田辺信宏市長がNHK記者に対し，「僕は（NHK幹部の）何々さんと友達」「やりたいことができなくなるリスクがあるよ」などと，威圧的な発言をしていたことが市長の定例会見で明らかになった。市長は21日の会見で「人生の先輩として，アドバイスめいたことを申し上げたが，意図が伝えきれず結果的に傷つけたのは私の力不足」と発言の内容を認め謝罪した

9▸新型コロナウイルスと向き合う人々，新しい生活の中で頑張る人々を応援しようと「NHKウィズコロナ・プロジェクト『みんなでエール』」をスタートさせた。９日に放送した特集番組『みんなでエール　キックオフスペシャル』では，内村光良さんを司会に，『連続テレビ小説』「エール」の出演者による主題歌「星影のエール」の歌い継ぎ企画などを行った。８月８日には企画に賛同したアーティストたちによる歌番組『ライブ・エール　今こそ音楽でエールを』をNHKホールから生放送した。８月10～11日には特集番組『＃高校最後の夏だから　球児たちの晴れ舞台』を放送。夏の高校野球大会が中止となったことから開催された全国各地の独自大会を取材し，最後の夏にかけた高校球児や応援団などの姿を生放送で紹介した

10▸20年度予算に規定している10月１日からの受信料値下げを実施するため，総務大臣の認可を受けて放送受信規約を変更した。値下げ額は，月額で，地上契約35円，衛星契約60円に

22▸６月から休止していた『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」の放送を８月30日から再開することを発表。４月から見合わせていた収録は，６月30日から再開していた

23▸コロナ禍でのドラマ制作の舞台裏とそこで撮影されるスナックを営む家族の物語からなる『ドラマ＆ドキュメント「不要不急の銀河」』を放送

27▸VR・ARを活用した空間共有コンテンツ視聴システムを開発したことを発表。ヘッドマウントディスプレーで視聴するVR映像に，別の場所にいる人物の３次元映像を合成することで，あたかも同じ空間で一緒にコンテンツを視聴しているような体験ができる

29▸「令和２年７月豪雨」で災害援助法が適用された熊本県と鹿児島県，福岡県，大分県などの当該区域のうち，建物に被害を受けた人々の受信料を一定期間免除する「災害免除」を実施。免除の期間は７月から12月までの６か月間

7月

国内メディア

2▸規制改革推進会議は答申で「放送を巡る規制改革」の５項目を提示した。同時配信を著作権法上，放送と同等に扱う議論を行う，放送ネットワークをブロードバンドで代替する場合の比較考量を行うなど，さらに一歩踏み込んだ議論を行うよう提言した

▸第57回ギャラクシー賞が発表された。テレビ部門でテレビ信州，ラジオ部門でJ-WAVEの番組がそれぞれ大賞を受賞した。志賀信夫賞は北海道テレビ放送の樋泉実相談役が受賞した

8▸九州などが大きな被害を受けた「令和２年７月豪雨」で，岐阜県高山市が市内全域に警戒レベル４の「避難指示」を発表。当時，同市には警戒レベル５の「大雨特別警報」が発表されており，住民からは警戒レベルが下がったようで，混乱したという声も出た

10▸新型コロナウイルスの緊急事態宣言のさなかに新聞記者が東京高等検察庁の検事長（当時）と「賭けマージャン」をしていた問題など，日本のジャーナリズムに対する不信感が高まる中，ジャーナリストやメディア研究者らが“ジャーナリズム信頼回復のための提言”をまとめ，賛同した現役の報道関係者ら130人余の氏名を添えて，日本新聞協会に加盟する新聞・通信・放送129社の編集局長・報道局長に送付した

16▸豪雨災害の取材で神奈川県から熊本県を訪れた時事通信のカメラマンが新型コロナウイルスに感染していたことがわかった。蒲島郁夫熊本県知事は「報道関係者に取材の自粛を求めることはないが最大限の感染予防策を徹底してほしい」と要望

▸WOWOWは，12月１日に予定していた４K放送の開始を21年３月１日に延期すると発表した。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて４K設備導入のスケジュールに遅延が発生したため

18▸若手の人気俳優である三浦春馬さん（30）が死亡し，テレビや新聞，ネットメディアで大きく報じられた。その伝え方をめぐって，自殺の連鎖を防ぐためにWHOが作成した「自殺報道ガイドライン」に違反するものが相次いだ

23▸新型コロナ感染拡大で延期された東京五輪まで１年となった。大会組織委員会は開会式会場の国立競技場から世界に向けて，競泳の池江璃花子選手によるメッセージをライブ配信し，各放送局も伝えた

27▸日本テレビは社長会見で，20年10月から12月までの３か月間，プライムタイム（午後７～11時）の同時配信をトライアルとして開始すると発表した

31▸初対面の複数の男女が共同生活を行う様子を記録する番組『テラスハウス』の出演者が死亡したことを受け，フジテレビは，番組の制作過程などについての社内検証の結果を公表した

海外メディア

1▸中国の全人代常務委員会が，「香港国家安全維持法案」を６月30日に可決し，同法は即日施行された。香港記者協会は７月１日，報道の自由への影響が懸念されるとして強い遺憾の意を表す声明を発表した

▸韓国のKBSは，人員削減と受信料の値上げを柱とした経営改革案を発表した。23年までに，早期退職制度を補完するなどして全職員の約２割にあたる1,000人を削減するほか，受信料収入の割合を現在の45％から70％に引き上げるとしている

6▸香港で反政府的な動きを取り締まる「香港国家安全維持法」が６月30日に施行されたことを受け，FacebookやTwitter，Googleなど，アメリカの大手IT企業は，香港当局からの要請による利用者情報の開示を一時停止すると発表した

8▸オランダ政府と公共放送NPOは，NPOの広告制限の開始を一部延期することで合意。19年６月にNPOの広告収入への依存度を減らすため，テレビ広告を20時まで禁止する方針だったが，新型コロナ感染拡大による広告収入の落ち込みを考慮し，延期を決定

9▸フランスで審議中のデジタル時代に向けたテレビ，ラジオなどの視聴覚サービス改革をふまえ，メディアにおける女性の人権尊重を求める上院議員の調査団報告が上院で採択された。新型コロナウイルス感染拡大による，３月半ばから４月にかけての女性の出演比減少についても報告された

10▸フィリピン議会下院は国内商業放送最大手ABS-CBNの放送免許更新について委員会で投票を行い，否決した。これに対して国内外から，報道の自由を侵害する決定だと批判が出た

13▸米CBSは，21/22年度以降の番組の脚本開発予算の25％以上を黒人，先住民族，有色人種が関わるプロジェクトに割り当てる方針を示した

15▸英BBCは予定していた報道局の要員削減数を520人に増やすと明らかにした。１月，21年度まで8,000万ポンド（約108億円）の経費削減を目指し，報道局の職員約6,000人のうち450人の削減を含めた運営の効率化計画を公表していた。しかし，さらに経費節減が必要となり，削減人員を70人増やすことになった

27▸アメリカで５月に黒人男性が暴行されて死亡した事件を受けて続く抗議デモの取材で，この日までに記者やカメラマンに対し，警察などによる逮捕，暴行，催涙ガス・ゴム弾の発射，機材の破壊といった「報道の自由を攻撃する行為」が585件報告された

31▸ドイツのIRT（放送技術研究所）は運営母体が資金の拠出で折り合わず，12月末に組織を解散すると発表。IRTの運営母体はドイツの公共放送のARD加盟局とZDFを主とする14団体。解散の背景には各公共放送に経費削減が厳しく求められていることがある

8月

社会の動き

1▸新型コロナウイルスの影響で公演を中止していた東京の歌舞伎座が5か月ぶりに公演を再開した。座席を半数以下に減らし,「4部制」を初めて取り入れるなどの措置をとった

4▸レバノンの首都ベイルートで大規模な爆発があり,200人余りが死亡,6,000人以上がけがをした。政府が押収した大量の硝酸アンモニウムのずさんな管理が爆発の原因として大規模な抗議活動が続き,内閣が総辞職した

6▸任天堂は6月までの3か月間の最終利益が前年同期の6.4倍と大幅に増加したと発表した。ゲームソフト「あつまれ　どうぶつの森」の記録的ヒットによるもの

▸商船三井がチャーターした貨物船が7月26日にインド洋のモーリシャス沖で座礁。6日になって貨物船から燃料の油が流出していたことが確認された。除去作業が行われたが生態系への深刻な影響が懸念された

9▸旧ソビエトのベラルーシで大統領選挙が行われ,ルカシェンコ大統領が6選したが,選挙結果が不正だと訴える反政権派の抗議デモが続いた

10▸香港の警察は,中国に批判的な論調で知られる新聞の創業者,黎智英氏や民主活動家の周庭（アグネス・チョウ）氏ら10人を国家安全維持法違反の疑いで逮捕した

▸中止となったセンバツ高校野球に出場予定だった32校が1試合ずつ対戦する交流試合が17日まで行われた

▸日活のアクションスターとして多くの映画に出演し,『西部警察』などのテレビドラマでも人気を集めた俳優の渡哲也さんが肺炎のため亡くなった。78歳

13▸米ホワイトハウスは,イスラエルとUAE（アラブ首長国連邦）が国交を正常化することで合意したと発表した。パレスチナ側は「第三者に口を出す権利はない」と猛反発した

17▸静岡県浜松市で午後0時10分,41.1度の気温を観測した。18年7月の埼玉県熊谷市の記録に並び国内最高気温となった。連日,危険な暑さが続き,8月中に熱中症で搬送されたのは4万3,060人,うち81人が死亡した

22▸漫才界の大御所として活躍してきた内海桂子さんが多臓器不全のため亡くなった。97歳

23▸米ウィスコンシン州で黒人男性が背後から警察官に撃たれ重体となった。抗議活動が全米に広がり,NBAや大リーグなどの試合が中止となった

28▸安倍首相は,持病の潰瘍性大腸炎が再発し,国民の負託に応えられなくなったとして辞任を表明した。4日前の24日には第2次政権発足後の在任期間が2,799日となり,歴代最長の記録を達成していた

▸「ザ・タイガース」の元メンバーで,タレントの岸部四郎さんが急性心不全のため亡くなった。71歳

29▸19年2月,オーストラリア合宿中に体調を崩し,白血病と診断された競泳の池江璃花子選手が,1年7か月ぶりにレース復帰した

31▸地域に根差した遊園地として親しまれてきた東京・練馬区の「としまえん」が94年の歴史に幕を閉じた

NHK

4▸21年度からの3か年経営計画案をまとめた。世帯数の減少や視聴環境の変化などを踏まえ,新しい「NHKらしさの追求」を掲げ,コスト構造の改革を徹底し「スリムで強靭なNHK」となり,多様で質の高い充実したコンテンツを提供するとした。「視聴者・国民の安全・安心を支える」など5つの分野に重点的に投資を行うとともに,事業支出を22年度までに6,000億円台の規模に抑えるとした。衛星波・BSの整理削減を段階的に実施,BS1・BSプレミアム・BS4Kの3波は2波に整理し,将来的には1波化に向け検討を進める。音声波・ラジオは,AM・FMの2波への整理削減に向けた検討を進めることなどを示した

▸放送文化基金賞のテレビドラマ番組部門で『土曜ドラマ』「心の傷を癒すということ」が最優秀賞に選ばれた。このドラマでは阪神・淡路大震災発生時,自ら被災しながらも,被災者の心のケアに当たった精神科医の姿が描かれた

10▸新型コロナウイルスの感染拡大で中止となったセンバツ高校野球の救済策として,出場が決まっていた32校が甲子園で1試合ずつ対戦する「交流試合」が開催された。NHKとBS朝日が全16試合を生中継した

13▸SNSなどで寄せられた戦争中の暮らしのエピソードをアニメ化して伝える特集番組『#あちこちのすずさん～教えてください　あなたの戦争～』(Ⓖ)を放送した。R1『らじらー！』やⒼ『あさイチ』のほか,全国の新聞やネットメディアとも連携し,戦争の中の日常を伝えた

17▸新型コロナウイルス感染拡大を受け,6月27日をもって放送を一時休止していた『連続テレビ小説』「エール」について,9月14日から再開すると発表した

24▸広島拠点局が企画した「1945ひろしまタイムライン」をめぐり,この企画の公式アカウントによるツイッターへの投稿が「差別を助長している」などと多数の批判が寄せられ,同局は「配慮が不十分だった」と「おわび」の文章をウェブサイトに掲載した

▸テレビの視聴状況の検証に役立てるため,インターネットに接続されたテレビで,総合テレビの視聴状況に関する調査実験を実施した。9月7日までの2週間,静岡県内を対象に行った

28▸安倍首相が持病の悪化のため辞任の意向を表明。NHK,民放各局が字幕などで速報した。夕方の会見での正式表明もこぞって生中継した

31▸巻き取りや折り曲げができるフレキシブルディスプレーの長寿命化と省電力化に向けて,新たな有機EL用材料を開発したと発表した

8月

国内メディア

4▸公正取引委員会は，ヤフーの親会社Zホールディングス（ZHD）とLINEが計画する経営統合を認めたと発表した。統合後のニュース配信と広告関連事業は「競争を実質的に制限することとなるとはいえない」としたが，統合後３年間，市場シェアや手数料の状況などの報告を求めた

▸TBSが19年に放送したバラエティー番組『クレイジージャーニー』で，スタッフが事前に準備した希少動物をその場で見つけたかのように伝えていた問題で，BPOの放送倫理検証委員会は，「放送倫理違反があった」とする意見を公表した

▸放送文化基金は，第46回放送文化基金賞を発表した。番組部門では，民放で，日本テレビ（テレビドキュメンタリー番組），フジテレビ（テレビエンターテインメント番組），エフエム東京（ラジオ番組）の３番組がそれぞれ最優秀賞を獲得した

6▸在京キー局５社の４～６月期連結決算が出そろった。各社の最終利益は，前年の約4.4倍（４億円）となったテレビ東京ホールディングス（HD）を除く４社が広告収入減などの影響で減益に

12▸読売新聞は，67年から約９年間連載した「昭和史の天皇」の取材テープの中から，ヒトラー率いるドイツとの連携を推進した大島浩・元駐独大使と沖縄戦で本島防衛作戦にあたった八原博通・旧陸軍参謀の肉声を，自社のウェブサイトで公開した。21日には，昭和天皇の側近だった木戸幸一・元内大臣の音声も掲載した

21▸災害の危険性が迫っているときに自治体が出す「避難勧告」と「避難指示」について，内閣府の作業部会は，意味の違いが住民に理解されておらず，適切な避難につながっていないなどとして，２つの情報を「避難指示」を基本に一本化する案をまとめた

24▸「大雨特別警報」について，気象庁は，集中豪雨による大雨と，台風による大雨とで異なっていた発表の基準を一元化した。従来の大雨特別警報は，集中豪雨の場合は警戒レベル５相当，台風では警戒レベル３相当として発表してきたが，見直しの結果，警戒レベル５相当に統一した

25▸国立国会図書館が中心となって進めてきたデジタルアーカイブコンテンツのポータルサイト「ジャパンサーチ」の正式版が公開された。国内のさまざまな機関・団体が管理する108のデータベースと連携しており，約2,100万件にのぼるコンテンツのメタデータがまとめて検索できる

26▸毎日放送はラジオ事業の分社化を半年前倒しし，21年４月１日付で実施すると決めた。「長期的な経済環境の悪化が予測される中，早急に今後のラジオ事業の在り方を固め，対策を立てる必要がある」とした

海外メディア

1▸英BBCは，これまで支払いが免除されてきた75歳以上の受信許可料の徴収を始めた。カラーテレビの受信料は，年間157.50ポンド（約２万1,000円）で，今後，最大で370万人が支払いを求められる見通し

3▸フランスの放送を所管するバシュロ文化相は，公共放送の合理化の流れの中で，20年８月に廃止が決まっていた，子どもと若者向けテレビチャンネルF4について，終了の１年延期を明らかにした

4▸レバノンの首都ベイルートで起きた大規模な爆発について中東メディアは，市民の犠牲や，30万人が家を失うなどした被害の大きさを連日トップで伝えた

6▸米トランプ大統領は，中国のByteDance社が運営する動画投稿アプリTikTokについて，アメリカの安全保障を脅かしているとして，９月後半から米国内での運用を禁止する大統領令を出した。TikTok側は24日，一連の大統領令は無効だとする訴訟を起こした

▸アメリカでジェンダー差別と闘う法律家の組織National Women's Law Centerなど複数の女性団体は，11月の大統領選挙に女性の副大統領候補が出ることを想定し，報道機関の編集長やキャスターらに女性の政治家に対する偏見や差別を助長する報道を行わないよう呼びかけた

9▸イスラエルの公共放送KANは，風刺番組『ユダヤ人がやって来る』の出演者に殺害予告などの脅迫が相次いでいることから，警察に被害届を出した。同番組に対しては，ユダヤ教の教えに厳格な超正統派の人々からは批判の声が高まっていた

10▸香港の警察当局は，中国政府への批判的な論調で知られる香港の大手紙「リンゴ日報」の創設者を含む10人を，香港国家安全維持法違反などの容疑で逮捕し，リンゴ日報の本社を捜索した。これに対し多くの香港市民がリンゴ日報への強い支持を示したほか，逮捕と捜索への国際的な非難の声も相次いだ

24▸英BBCのトニー・ホール会長は「エディンバラ国際テレビジョンフェスティバル」で退任前の最後の講演を行い，７年間の任期を振り返るとともに，BBCの将来を展望した

26▸カナダの商業放送事業者の連盟（CAB）は地方の放送事業者が直面する危機についての報告を発表。経営赤字の膨らみで地方ラジオ737局のうち200局，地方テレビ94局のうち40局以上が閉鎖するおそれがあると警告

28▸韓国のKBSは，９月３日から夜のメインニュースにも手話通訳を導入すると発表した。KBSをはじめ韓国の地上テレビ３局は，これまでの朝と昼のニュースに加え，夜についても機会平等の実現を求める国家人権委員会の勧告などを受けていた

9月

社会の動き

1▸香港政府の林鄭月娥行政長官は会見で，「香港は三権分立ではなく行政が立法や司法を上回る」と明言した

2▸原子力規制委員会は，青森県むつ市に建設中の使用済み核燃料の中間貯蔵施設について，規制基準に適合しているとして事実上の合格を示す審査書案をまとめた

10▸電子決済サービス「ドコモ口座」を通じて銀行の預金が不正に引き出される被害が相次ぎ，NTTドコモは新たな登録を全面停止した。登録時の本人確認の不備を突き，何者かが「なりすまし」で口座を開設していた

12▸テニスの大坂なおみ選手が全米オープンの女子シングルスで２年ぶり２回目の優勝を果たした。今大会，大坂選手は，人種差別に抗議するため事件などに巻き込まれて亡くなった黒人の人々の名前を書いたマスクを着用した

▸イタリアのベネチア国際映画祭で黒沢清監督の「スパイの妻」が監督賞（銀獅子賞）を受賞した。日本の映画監督の受賞は北野武監督の「座頭市」以来，17年ぶり

14▸自民党の総裁選挙が行われ，菅義偉官房長官が岸田政調会長，石破元幹事長を破り，新総裁に選出された

15▸立憲民主党，国民民主党の一部などが合流した新党「立憲民主党」の結党大会が開かれ，150人規模の野党第１党が正式に発足した

▸気象庁はホームページの運営費の一部を賄うとして，民間広告の掲載を開始した。しかし，基準に違反するおそれがある広告が掲載され，わずか１日で掲載を停止した

16▸衆参両院の本会議で行われた首相指名選挙の結果，自民党の菅総裁が第99代の首相に選出された

18▸リベラル派の米連邦最高裁判事，ルース・ベイダー・ギンズバーグ氏ががんの合併症のため亡くなった。87歳

▸磁気治療器のオーナー商法などで多額の資金を集め，経営破綻した「ジャパンライフ」の山口隆祥元会長ら14人が詐欺の疑いで逮捕された。被害総額は2,000億円に

23▸シャンソンの名曲「枯葉」などを歌ったフランスの歌手，ジュリエット・グレコさんが亡くなった。93歳

25▸河野行革担当相はすべての府省庁に対し行政手続きでの押印の必要性を検討し可能な限り不要とするよう求めた

▸東京オリンピック・パラリンピックの簡素化について，IOC（国際オリンピック委員会）と大会組織委員会は52の項目で見直しに合意し，大会関係者の数を少なくとも10％から15％ほど減らすなどして，延期に伴う経費削減を具体的に進めていくことになった

27▸大リーグ，カブスのダルビッシュ有投手が日本人投手としては初めての最多勝のタイトルを獲得した

▸数々のドラマや映画に出演していた竹内結子さんが都内の自宅で亡くなった。自殺とみられる。40歳

29▸新型コロナウイルスによる死者が世界全体の累計で100万人を超えた。米国で20万人，ブラジルで14万人など

30▸原発事故で生活の基盤が失われたとして福島県内の住民など3,600人が起こした集団訴訟で仙台高裁は，大規模な津波の到来は事前に認識できたとして，国と東京電力に総額10億1,000万円の賠償を命じた

NHK

8▸新型コロナウイルス感染拡大を受け撮影を一時休止した『連続テレビ小説』「エール」について，放送回数を当初の予定から10回短縮し，全120回とすると発表。後期の『連続テレビ小説』「おちょやん」は11月30日から放送開始とした

10▸NHKと関連団体の業務において，民業圧迫の事例があった場合に，外部の事業者などから意見を受け付ける窓口「『民業圧迫』ホットライン」を開設した

▸20年末放送の『NHK紅白歌合戦』について，前田晃伸会長は，新型コロナウイルスの感染拡大防止のために，初めて無観客で開催することを明らかにした

▸NHKと宇宙航空研究開発機構（JAXA）は，火星とその衛星を調べる探査機にスーパーハイビジョンカメラを搭載し，超高精細な画質で撮影を行うと発表。放射線への対策が施された８K・４Kスーパーハイビジョンカメラを共同開発する

12▸世界３大映画祭のひとつ，イタリアのベネチア国際映画祭で，８K撮影の映画「スパイの妻」の黒沢清監督が，監督賞に選ばれた。同作品は６月にBS８Kでドラマとして放送され，１秒当たりのコマ数を落とすなどして劇場での上映用に仕上げたもの

15▸NHKの今後のネット活用業務の内容，費用を示した「インターネット活用業務実施基準」の素案が公表され，自主的に設けた費用の「上限」を事実上撤廃することが示された。この案に民放連の大久保好男会長が８月17日の会見で強く反発した

25▸「第72回イタリア賞」の授賞式が行われ，大地震が東京で発災したと想定しドラマやニュース，デジタルサービス，イベントなど多様なコンテンツで体感してもらう大型プロジェクト「体感　首都直下地震」が，多種多様な方法で視聴者との双方向性を持つ作品を対象とした「ウェブ・インタラクティブ部門」で最優秀賞に選ばれた

26▸20年４月に本格運用を開始した，常時同時配信・見逃し番組配信サービス「NHKプラス」の利用登録申請数が，累計100万件を超えた

28▸20年度後半期の番組改定がスタート。主な新番組は次のとおり

G　『NHK地域局発』（月～金）
　『列島ニュース』（月～金）
E　『シュガー＆シュガー』（火）
BS1　『ランスマ倶楽部』（日）
　※10月11日スタート
BSP　『ヒューマニエンス　40億年のたくらみ』（木）※10月１日スタート

9月

国内メディア

1▸ラジオ番組をインターネット経由でパソコンやスマートフォンなどに配信するサービス「radiko」に，エフエム徳島が参加。サービス開始10年で，民放ラジオ全99局の番組が聴取できるようになった

2▸19年放送のテレビ朝日の報道番組『スーパーJチャンネル』で，担当ディレクターの知人らが偶然の客を装って登場していた問題で，BPOの放送倫理検証委員会は，「放送倫理違反がある」とする「意見」を公表した

▸日本の南の海上で発生した台風10号が発達しながら北上し，猛烈な勢力で日本に近づくと予想されたため，気象庁はこの日から“特別警報級”という非常に強い言葉を使い「最大級の警戒」を呼びかけた

7▸アメリカの動画配信サービス最大手のNetflixは，日本でのサービス開始から5周年を迎えたのに合わせて，オンラインによる記者説明会を開き，日本での有料会員数が20年8月末時点で500万人を超えたことを明らかにした

▸FNNと産経新聞社との合同世論調査のデータに架空入力があった問題で，フジテレビジョンは，検証チームによる調査結果を公表し，「引き続き再発防止策を策定し，世論調査の再開を目指す」とした

9▸台風に発達する可能性が高い「熱帯低気圧」について，気象庁は，これまで1日先までだった勢力や進路に関する予報を，5日先まで延長して発表することにした。スーパーコンピューターによる予報技術の改善の成果で，台風の接近に先駆けた防災対策の支援に役立つものと期待される

15▸BPOは，フジテレビ系列のリアリティーショー『テラスハウス』に出演していたプロレスラーの木村花さん（当時22歳）が，番組での言動を契機にSNS上で誹謗中傷を受け自殺したとみられる問題で，花さんの母親の申し立てを受け，人権侵害などがなかったか審理を行うことを決めた

17▸日本テレビ，読売テレビ，中京テレビの3社は，10月3日から3か月間，プライムタイム（午後7～11時）を中心とする地上波の32番組をインターネットで同時配信すると発表した

18▸民放連，日本アドバタイザーズ協会，日本広告業協会の3団体で構成する字幕付きCM普及推進協議会は，「字幕付きCM普及推進に向けたロードマップ」を取りまとめた

27▸いのち支える自殺対策推進センターと厚生労働省は，メディア関係者あての連名の文書を公表した。同日死去した女優の竹内結子さんが自殺した可能性があるという報道に対し，WHOの『自殺報道ガイドライン』を踏まえた報道の徹底を求めた

海外メディア

4▸ドイツの国際放送Deutsche Welle（ドイチェ・ベレ）は，同局のサービスの1週間の平均利用者数が2億4,900万人になり，前年比で過去最高の26％の伸びを記録したと発表した

8▸中国当局から出国を禁じられ，取り調べを受けていた，豪ABCと豪経済紙の北京駐在の記者2人が，豪中の政府間交渉により帰国した。中国国内の豪メディア特派員は不在となった

▸米FOX Newsのトーク番組は，CNNのジェフ・ザッカー社長が16年3月，当時，共和党の大統領候補選出を目指していたトランプ氏の陣営との会話で，予備選討論に備える助言をし，一緒に新番組を作りたいなどと述べる電話の収録音声を放送した。倫理的に問題があり，報道への信頼を損なうとの指摘も出ている

9▸フランス語圏の公共放送などが運営する国際放送TV5MONDEは，無料動画配信サービス「TV5MONDEplus」を開始した。Netflixなど大手動画配信サービスが勢力を伸ばす中，フランス語文化圏のコンテンツでシェア拡大を目指す

10▸長い歴史を持つ米軍のStars and Stripes（星条旗新聞）は廃刊される方針だったが，議会や大統領の反対で存続が決まったとMilitary.comが伝えた

15▸米Poynter研究所の国際ファクトチェックネットワーク（IFCN）は11月の米大統領選挙に向けてFactCheck.orgやUSA Today，Washington Postなどのファクトチェック・チーム，2つのスペイン語の大手テレビ・ネットワークTelemundo，Univisionと協力し，英語とスペイン語で「FactChat」による情報発信を始めた

▸UAE（アラブ首長国連邦）とバーレーンがイスラエルとの国交正常化で合意。仲介にあたったアメリカのホワイトハウスで合意文書の署名式が行われた。UAEのDubai TV，バーレーン政府所有のBahrain TV，イスラエルのChannel 12は署名式を伝えるニュースに続き，中継を結んで各キャスターがあいさつした

▸英BBCは，ティム・デイビー新会長のもとでの初の年次報告書を公表した。報告書では，iPlayerの年間利用件数が過去最多の48億に達した一方で，テレビの週間視聴時間の減少傾向は続いたと述べられた

22▸香港警察は，香港記者協会など4つのメディア団体に対し，警察の内規における「メディア代表」の定義を，政府に登録したメディアなどに限る方針を伝えた。この措置に対しては，ネットで映像発信を行うメディアも連名で抗議している

24▸若者を中心とした反政府デモが続くタイで，これまで絶対的な権威とされてきた王制の改革を訴える声も出る中，タイの経済社会省は，事前の警告にもかかわらず王制に関する違法な投稿を削除しなかったとして，FacebookとTwitterを警察に告発した

10月

社会の動き

1▸東京証券取引所は基幹システムトラブルで株価などの重要情報が配信できなくなり全銘柄の取引を終日停止した

▸菅首相は，日本学術会議が推薦した新たな会員候補105人のうち６人を任命しなかった。学問の自由を侵害するとして批判の声が高まった

▸観光需要の喚起策「Go To トラベル」の対象に東京発着の旅行が追加された。また，入国制限措置を緩和し，中長期の在留資格を持つ外国人の新規入国を認めた

▸米国のトランプ大統領がメラニア夫人とともに新型コロナウイルスに感染した。しかし，３日後に退院，12日には大統領選挙に向けた活動を本格的に再開した

4▸世界的なファッションブランド「KENZO」を立ち上げたデザイナーの高田賢三さんが新型コロナウイルスに感染し，パリ近郊の病院で亡くなった。81歳

7▸「バラ色の雲」「また逢う日まで」「17才」など昭和の歌謡曲を代表する数多くのヒット曲を生み出した作曲家の筒美京平さんが誤えん性肺炎のため亡くなった。80歳

8▸原発から出る「核のごみ」の最終処分場選定を巡り，北海道・寿都町の町長が第１段階となる「文献調査」への応募を表明した。９日，北海道・神恵内村も文献調査を受け入れることを表明した

9▸世界各地で食糧支援を行っている国連機関，世界食糧計画（WFP）がノーベル平和賞を受賞した

15▸郵便局で働く非正規の契約社員らが，正社員と同じ業務をしているのに待遇に格差があるのは不当だと訴えた裁判で，最高裁判所は契約社員側の訴えを認め，扶養手当などに不合理な格差があり，違法だとする判断を示した

▸タイ政府は，首相辞任や王政改革などを求める若者による大規模なデモを抑え込むため，非常事態宣言を出した。１週間後に解除されたが，事態収束には至らなかった

18▸菅首相は，就任後初めての外国訪問として，ベトナムとインドネシアを訪れた

▸東京・調布市の住宅街で道路が幅５メートルにわたり深さ５メートルほど陥没した。現場付近では地下で東日本高速道路が道路の建設工事を行っていた

25▸核兵器の開発，保有，使用を禁じる核兵器禁止条約を批准した国と地域が50に達し，条約は21年１月に発効することになった。日本政府は条約への署名はしないとしている

26▸アニメ映画「劇場版『鬼滅の刃』無限列車編」が公開から10日間で興行収入100億円を突破した。01年の「千と千尋の神隠し」を抜き歴代最速の記録となった

27▸総務省は，携帯電話料金の値下げに向けて各社の競争を促す政策を盛り込んだ「アクション・プラン」を発表した。各社も次々と新たな料金体系を発表した

29▸福島県は，原発事故に対応するため，計画していた職員の削減が行えなかったとして，人件費など9,000万円余りの賠償を東京電力に求める裁判を福島地裁に起こした

31▸映画「007」シリーズで初代ジェームズ・ボンド役を務めた俳優，ショーン・コネリーさんが亡くなった。90歳

NHK

1▸受信料値下げを実施。値下げ額は，月額で，地上契約35円，衛星契約60円

▸“差別を助長している”との批判を受けた広島拠点局の「1945ひろしまタイムライン」のツイッターへの投稿が，同局の公式ホームページに移設，ツイッターから削除された。同局は「（発信から１か月以上経過した）過去のツイートをより読みやすくし，読者のみなさまの利便性を向上するため」に予定していたことだと説明

4▸新型コロナウイルス感染拡大防止のため，３月１日から中止されていた『NHKのど自慢』の公開生放送が約７か月ぶりに再開された

7▸新聞協会賞に，戦没者の遺骨を取り違えた疑いがあることを厚生労働省が公表せず，長年放置していた実態を明らかにしたNHKのスクープなどが選ばれた。シベリア抑留者のものとして収集した遺骨についてDNA鑑定した専門家が「日本人ではない」などと再三指摘していたが放置されてきた事実を，NHKは一連のニュースで明らかにした

13▸２月25日から無観客で実施していた歌番組『うたコン』で，NHKホールからの公開生放送が，およそ７か月半ぶりに再開された

16▸総務省の「放送を巡る諸課題に関する検討会」において，NHKは中間持ち株会社の設置，「受信設備の設置届出義務」と「未契約者氏名等の照会」の導入，受信料還元に関する科目の設置の３つの制度改正を要望した

17▸AIを活用し自然に近い発声を実現する新たな日本語音声合成システムを開発し，BS1『ワールドニュース特集』で初めて放送利用した。原稿をカナ文字とアクセントなどの記号に自動的に変換し，これを大量かつ効率的にAIに学習させることで実現させた

18▸放送技術研究所は「技研開所90周年記念特設サイト」をウェブ上に公開した。立体音響やフレキシブル有機ELディスプレー，AIを活用して白黒映像をカラー化する技術などを紹介する動画を掲載。なお，新型コロナウイルス感染拡大のため，毎年実施してきた「技研公開」（一般公開）は中止となっていた

21▸『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」最終回の放送日は21年２月７日，次期『大河ドラマ』「青天を衝（つ）け」の放送開始日は21年２月14日と発表した。なお，「青天を衝（つ）け」の放送回数は未定とした

26▸第47回日本賞教育コンテンツ国際コンクールが初のオンライン開催となった。55の国と地域から282作品が参加した

10月

国内メディア

3▸日本テレビは，系列の読売テレビ，中京テレビと共同で，番組をインターネットで同時配信するトライアルを始めた。民放テレビ公式ポータル「TVer」を通じ，夜７～11時を中心に12月までの３か月間32番組を無料で配信。この試みで得たデータをもとに本格実施について検討する予定

5▸日本学術会議が会員の候補として推薦した人のうち，菅首相が６人を任命しなかった問題で，映画監督の是枝裕和氏や森達也氏，脚本家の井上淳一氏など映画に携わる有志22人が抗議の声明を出した。「放置するならば，政権による表現や言論への介入はさらに露骨になることは明らか」「映画も例外ではない」などとして撤回を強く求めた

12▸文化庁は，文化審議会の「放送番組のインターネット同時配信等に係る権利処理の円滑化に関するワーキングチーム」の会合で，同時配信の著作権を放送と同等に扱う方針を盛り込んだ制度改正の中間まとめ案を示した

13▸各国のバイヤーが世界に通用する日本のドラマを選ぶ第11回目の「MIPCOM BUYERS' AWARD for Japanese Drama」の結果が発表され，グランプリをテレビ東京『ハラスメントゲーム』，奨励賞を関西テレビ放送『10の秘密』が受賞した

14▸BPOの放送人権委員会は，フジテレビの情報番組『とくダネ！』で紹介された住民のインタビュー（19年８月放送）について，人権侵害，放送倫理上の問題があったとは判断できない，とする「見解」を公表した。当該の住民がBPOに対し，取材の趣旨を告げられず，撮影許可を求められないまま「誘導尋問」されたもので，あたかも迷惑しているような発言を「捏造（ねつぞう）」されたと申し立てていた

26▸15年10月に在京キー５局による見逃し配信サービスとして始まった「TVer」が５年を迎えた。現在，キー局のほか，在阪などローカル局の番組も含めて約300番組が無料配信されている

▸米Instagramは，クリエーターや企業がインスタライブを活用して収益を得られるバッジ機能のテスト対象を，日本を含む11か国に拡大した。利用者は視聴中にバッジを購入して配信者を応援できる

29▸「東京ドラマアウォード2020」の授賞式が開催され，連続ドラマ部門のグランプリをNHK『大河ドラマ』「いだてん～東京オリムピック噺（ばなし）～」，単発ドラマ部門のグランプリをフジテレビジョン『教場』が受賞した

30▸BPOの放送倫理検証委員会は，各地で広告と受け取られかねない番組が放送されている問題について，委員長談話を発表した。「番組」と「広告」の識別が困難になれば，視聴者の信頼が損なわれるとして，民放各局の自主的・自律的な対応を求めている

海外メディア

2▸欧州放送連合（EBU）の総会で，公共テレビフランステレビジョン（FTV）社長のデルフィーヌ・エルノット氏がEBU会長に選出された。英BBC前会長のトニー・ホール氏の後任として21年１月に就任する

4▸『Sesame Street』や『NewsHour』『FRONTLINE』などの番組で知られるアメリカのPBS（公共放送サービス）が発足から50年を迎えた。全米に300以上ある独立したメンバー局や外部プロが制作する多様な番組を配信するPBSは，商業放送に比べると視聴者数は少ないが，YouGovの調査によるとアメリカのどの報道チャンネルよりも好意的に見られている

5▸ドイツのDAB+方式による地上デジタルラジオ放送のプラットフォーム事業者Antenne Deutschlandが全国放送用プラットフォームの運用を開始し，新たに８つの商業ラジオチャンネルの放送が始まった

11▸中国の中央ラジオテレビ傘下のCCTVは，ニュース特集番組『焦点訪談』で，３夜連続で“台湾スパイ摘発”をテーマにした番組を放送し，スパイとされた台湾人の「自白ビデオ」とされる映像を流した

15▸豪連邦警察（AFP）は，機密情報を漏えいした容疑で捜査していた豪ABCのダニエル・オークス記者について，捜査を終了したと明らかにした。同記者の17年の報道に関する19年６月のABC本部への家宅捜索に対して，国内メディア各社は「報道の自由を脅かす」と反発していた

20▸アメリカ司法省は，ニューヨークやコロラドなど11州の司法長官とともにIT大手Googleを反トラスト法違反で提訴した

21▸ナイジェリアでは警察の暴力に抗議するデモが激化。最大都市ラゴスでは，商業放送局のTV Continenta（TVC）にデモ隊が乱入，放火で社屋が炎上した。同国の国家放送委員会（NBC）は26日，デモ報道で放送規則に違反したとして，Channels TVなど３つの放送局にそれぞれ300万ナイラ（約82万円）の罰金を科すと発表

22▸米大統領選挙候補者によるテレビ討論会の２回目が行われた。９月29日の１回目ではバイデン氏の発言にトランプ氏がたびたび割り込み，感情的なやりとりとなった。今回は新型コロナや人種問題などのテーマについて 一方が発言するときは冒頭２分間，もう一方のマイクをオフにする異例の措置がとられた

29▸英BBCは，ティム・デイビー会長が就任時のスピーチで不偏不党の方針を徹底する考えを示したことを受け，ソーシャルメディア利用のガイドラインを改定した。イギリスではEUからの離脱などをめぐり世論が割れる中，BBCの報道が偏向しているなどとの批判が，政府や右派のメディアから高まっていた

31▸イスラム教の預言者の風刺画をめぐり，仏マクロン大統領が「表現の自由を守る」と発言し，イスラム圏で反発が広がる中，Al Jazeeraは同大統領との単独インタビューを55分間にわたり放送した

11月

社会の動き

1▸大阪市を廃止して４つの特別区に再編する「大阪都構想」の賛否を問う住民投票が行われた。反対多数で否決され，今後も大阪市が存続することになった

3▸米大統領選挙の投票が行われた。民主党のバイデン前副大統領が現地時間７日に勝利宣言したが，トランプ大統領は「選挙には不正がある」と主張し，敗北を認めなかった

5▸香川県三豊市の養鶏場のニワトリから「H5型」の鳥インフルエンザウイルスが検出され，自衛隊も出動して33万羽を殺処分した。その後，福岡県，鹿児島県，兵庫県，宮崎県でも鳥インフルエンザが発生した

8▸秋篠宮さまが皇位継承順位１位の「皇嗣」となられたことを広く内外に伝える「立皇嗣の礼」が，皇居・宮殿で行われた。当初４月の予定だったが，新型コロナウイルスの感染拡大の影響でおよそ７か月延期された

9▸世界全体の新型コロナウイルスの感染者が累計で5,000万人を超えた。日本国内でも感染者が増加し，政府の分科会が水際対策の強化などを求める緊急提言を行った

11▸東北電力・女川原発２号機について宮城県の村井知事が再稼働の前提となる地元同意を表明した。被災地の原発での再稼働に向けた地元の同意は初めて

12▸ノーベル物理学賞を受賞した東大特別栄誉教授の小柴昌俊さんが老衰のため亡くなった。94歳

15▸RCEP（東アジアを中心とする地域的な包括的経済連携）をめぐり，日本や中国，韓国，ASEAN各国など15か国が首脳会議で正式に合意し，協定に署名した。アジア太平洋地域で，世界の人口やGDPのおよそ３割を占める巨大な自由貿易圏が生まれる

16▸民間宇宙船として初めて運用段階に入ったクルードラゴンの打ち上げが成功した。宇宙船に乗り込んだ野口聡一さんら４人は国際宇宙ステーションに６か月滞在する

19▸米国の文学賞「全米図書賞」の翻訳文学部門に，柳美里さんの小説『JR上野駅公園口』が選ばれた

20▸APEC（アジア太平洋経済協力会議）の首脳会議がオンライン形式で開かれ，３年ぶりの首脳宣言を採択した

24▸政府は感染拡大を受けて「Go To トラベル」の対象から札幌市と大阪市を目的地とする旅行を12月15日までの３週間，外すことを決定した

▸ニューヨーク株式市場でダウ平均株価の終値が３万46ドル24セントと史上初めて３万ドルの大台に乗った

25▸サッカーの元アルゼンチン代表で，86年のW杯の準々決勝で「５人抜き」のドリブルを披露したディエゴ・マラドーナ氏が亡くなった。60歳

▸プロ野球のソフトバンクは日本シリーズで巨人に４連勝し，日本一になった。４年連続日本一となったのはパ・リーグでは史上初めて

27▸東京・千代田区議会の百条委員会は，一般には販売されない「事業協力者住戸」と呼ばれる部屋が区長に優先的に販売されたと結論づける報告書を区議会に報告した

NHK

7▸３日に投票が行われたアメリカ大統領選挙を『NHKスペシャル』「混迷　アメリカ大統領選挙」で特集した。銃で武装した過激なグループも現れるなど対立が激しさを増す現地の最新情報と，社会の分断が深まるアメリカの行方を展望した

8▸『NHKスペシャル』「新型コロナ　全論文解読～AIで迫る　いま知りたいこと～」を放送。世界中で公表された新型コロナウイルスに関連する論文およそ20万本を人工知能に学習させ，今後の予測などについて伝えた

10▸NHKの今後のネット活用業務の内容，費用を示した「インターネット活用業務実施基準」の変更案を公表した。地方向け放送番組などの配信強化に取り組みながら，費用は抑制的な管理に努め，年額200億円を超えないようにすることなどを盛り込んだ

12▸在京キー局５社の20年度４～９月期決算が出そろった。コロナ禍による広告減で売上高が５社とも大幅に減り，テレビ東京ホールディングス以外，減益か赤字に。NHKの中間決算（24日発表）も受信料収入が減った影響で７年ぶりの減収となった

18▸メディアの最新技術・情報を一堂に集めた国際展示会「Inter BEE 2020」が，初めてオンラインで開催された。期間中（18～20日）の延べ来場者は２万7,000人超で，前年の４万人を下回った。NHKも８K番組制作の裏側を360度画像の任意視点で体験できるコンテンツや，研究開発を進めている次世代メディアなどを紹介した

20▸総務省の「放送を巡る諸課題に関する検討会」の「公共放送の在り方に関する検討分科会」が，NHKの受信料制度をメインとするとりまとめ案を公表した。繰越剰余金について，次期中期経営計画期間内に受信料引き下げに充てることを義務付ける制度の導入が適当とした

22▸高齢の親が，中高年となったひきこもり本人とともに孤立してしまう「8050問題」の実態に迫る『NHKスペシャル』「ドラマ　こもりびと」を放送。これは「＃こもりびと」という名前で立ち上げた「ひきこもり」について考えるプロジェクトの一環。ドラマのほかに，親の介護や退職など，さまざまな事情でひきこもりとなった中高年の現実を取材した『NHKスペシャル』「ある、ひきこもりの死　扉の向こうの家族」（Ⓖ11.29），オンラインでつながるバーチャルリアリティーを使って，ひきこもりの当事者が語り合う『ハートネットTV』「ひきこもりVR」（Ⓔ12.8）なども放送した

11月

国内メディア

5▸JIMA（インターネットメディア協会）は，社会課題に取り組み革新的な成果を上げたネットコンテンツやメディアに贈る「Internet Media Awards」を創設した。テキスト・コンテンツ部門，メディア・ビジネス部門など6部門でそれぞれグランプリを選ぶ

9▸災害時の死者・行方不明者の氏名の公表をめぐり，全国知事会は，知事が判断する際の法令上の根拠を明確にし，参考となるガイドラインを策定するよう，政府に要請した

12▸在京キー局5社の20年4～9月期決算が出そろった。コロナ禍による広告減で売上高が5社とも大幅に減り，テレビ東京ホールディングス以外，減益か赤字となった

14▸第40回「地方の時代」映像祭のコンクールで，NHK大阪拠点局『ETV特集』「おいでや！おやこ食堂へ」がグランプリに選ばれた。優秀賞には民放から北海道放送『ヤジと民主主義～小さな自由が排除された先に～』と沖縄テレビ放送『民教協スペシャル「サンマデモクラシー」』が選ばれた

16▸札幌テレビのニュース番組『どさんこワイド179』が，旧優生保護法のもと不妊手術を強制されたと訴えている男性が救済法に基づく一時金を申請したと伝えたことをめぐり，BPOの放送人権委員会は，「名誉毀損等の人権侵害はなく，放送倫理上の問題も認められない」という「見解」を公表した

17▸NTTは，NTTドコモのTOB（株式の公開買い付け）が成立したと発表。これによりNTTのドコモの株式保有比率は91％余りとなるが，残りもすべて買い取り，12月にも完全子会社とする方針。完全子会社化をめぐっては，KDDIやソフトバンク，楽天など28社が，11日，公正な競争環境の整備を求めて，総務省に意見書を提出するなど，懸念を表明

▸Googleが，新型コロナウイルスの感染状況が4週後までどう変化するかを予測するサイトの日本版を公開。厚生労働省や都道府県が公表しているデータなどをもとにAIが分析するもので，死亡者数，陽性者数，入院患者数などを都道府県別に示す

19▸大手ゲームメーカーの任天堂は，人気ソフト「あつまれ どうぶつの森」を利用する企業や団体に対し，暴力的・差別的な表現や政治的な主張を含む表現などを控えるよう求めた。そのうえで，違反すればソフトの利用禁止などの措置をとる場合があると，全世界に向けて発表した

20▸日本経済新聞社が日経電子版の記事のYahoo!ニュースへの配信を開始した。当面，トライアルとして月1～2本の記事を配信する予定で，同社の電子版だけではリーチできない層にアプローチするのがねらい

海外メディア

3▸米大統領選挙の投票が実施されたが，今回は従来のように速報性を競うよりも，開票作業の詳細や得票の出方が候補や地域によって違うことなど，事実を検証しながら伝えることに重点を置く内容となった。背景には，トランプ大統領が公正な選挙の実施への不信の念をあおっていたことがある

4▸トルコの情報通信技術庁は，10月に施行された新ソーシャルメディア法に違反したとして，FacebookやTwitterなど6社にそれぞれ1,000万リラ（約1億3,000万円）の罰金を科すと発表した

7▸ドイツで，91年に制定された放送法「放送州間協定」に代わり，新たに「メディア州間協定」が発効した。同法は，従来の放送に関する規制に加え，検索エンジンやSNS，AI音声アシスタントなどの新しいサービスに関する規制を初めて設けた

11▸イタリア経済・財務省のグアルティエリ大臣は，国庫に留保されている公共放送RAIの受信料の一部をRAI側に還元するため，国会で審議中の「2021年予算法」に関連条項を盛り込んだことを明らかにした。還元規模は受信料年額の約5％にあたる8,500万ユーロ（約106億円）

17▸韓国のKBSは，7月に報道した「検察幹部と商業テレビ局記者の癒着疑惑」について，事実関係の確認が不十分だったとして，社会部長ら責任者3人をけん責などの懲戒処分にした

18▸英BBCは，ダイアナ元皇太子妃がチャールズ皇太子との結婚生活の破綻を語った95年のインタビューについて，番組への出演を働きかけた記者が，妃に嘘をついて承諾をとりつけたとの指摘が出ていることを受け，独立委員会による調査を始めた

▸台湾の独立規制機関である国家通信放送委員会（NCC）はCATV向け衛星チャンネル事業者の中天テレビの免許更新申請について，総合チャンネルは条件つきで認める一方，ニュースチャンネルは規則違反や苦情が際立って多いことを理由に，委員7人の全員一致で免許更新を認めないと決定した

19▸アメリカのオンラインメディアBuzzFeedは，通信大手Verizon傘下で同じオンラインメディアのHuffPostを買収することで合意した

▸19年6月に豪ABCの本部が連邦警察に家宅捜索されるきっかけとなった報道内容について，オーストラリア軍が会見を開き，アフガニスタンで兵士らが民間人など合わせて39人の殺害に関わっていたことを公表し，国民に謝罪した

20▸アフリカ東部のエチオピアでは，政府軍と北部の少数民族の勢力による戦闘の報道をめぐり，放送庁（EBA）がロイター通信特派員の記者証を無効とし，国内での取材活動を一切認めないと発表した

12月

社会の動き

1▸「新語・流行語大賞」の年間大賞に感染拡大の要因とされる「密閉，密集，密接」を表した「３密」が選ばれた

2▸主要国首脳会議を提案したジスカール・デスタン元仏大統領が新型コロナウイルスに感染し死去した。94歳

4▸大阪地裁は，福井県の大飯原発３・４号機の設置許可を取り消す判決を言い渡した。国の原子力規制委員会の審査過程に看過しがたい誤りや欠陥があるとした（17日，国は判決を不服として控訴した）

6▸小惑星「リュウグウ」の探査を終えた「はやぶさ２」から分離されたカプセルがオーストラリアの砂漠に着地した。中からは小石を含むサンプルが多数確認された

7▸原子核物理学者で原子力行政にも深く関わった元文部大臣の有馬朗人さんが亡くなった。90歳

11▸新型コロナに感染し軽症と診断されて神奈川県が用意したホテルで療養していた50代の男性が死亡した。ホテルや自宅で療養中の軽症患者の急死が各地で相次いだ

14▸政府は「Go To トラベル」を28日から１月11日までの間，全国一斉に一時停止すると表明した

16▸大雪の影響で新潟県内の関越自動車道が19日までの間，最大で15キロにわたり通行止めとなり，一時2,100台の車が立ち往生した

▸アスベストを吸い込み肺の病気になった元建設作業員らによる集団訴訟で最高裁は，国の上告を退ける決定をし，集団訴訟で初めて国の賠償責任を認める判断が確定した

20▸「喝采」など多くのヒット曲で知られる作詞家で作曲家の中村泰士さんが肝臓がんのため大阪市内の病院で亡くなった。81歳。23日には，作詞家のなかにし礼さんが心筋梗塞のため都内の病院で亡くなった。82歳

22▸吉川元農林水産相が衆議院議員を辞職した。鶏卵生産会社の元代表から現金500万円を受け取った疑いがあり，東京地検は25日，収賄の疑いで強制捜査に乗り出した

23▸66年に静岡県で一家４人が殺害された「袴田事件」で，死刑が確定した袴田巌さんについて最高裁は，再審を認めなかった東京高裁の決定を取り消し，高裁で再び審理するよう命じる決定をした

24▸イギリスとEUは１月にイギリスが離脱したあと続けてきた自由貿易協定などの交渉で合意に達した。自由貿易協定は21年１月１日から暫定的に適用される見通し

25▸首相官邸で開かれた成長戦略会議で，2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするという目標の達成に向けた実行計画がまとめられた

27▸旧民主党政権で国土交通大臣を務めた立憲民主党の羽田雄一郎参議院幹事長がPCR検査に向かう途中の車内で急死した。53歳。国会議員の新型コロナ感染死は初めて

31▸人気アイドルグループの「嵐」が，NHKの紅白歌合戦に出場し，グループとしての活動を休止した

NHK

3▸内閣官房参与の高橋洋一嘉悦大学教授が“Eテレ売却などによるNHK改革案”を週刊誌で発表したことをめぐり，SNS上で，「＃Eテレのために受信料払ってる」という「＃（ハッシュタグ）」がトレンド入りするなど，賛否それぞれの議論が盛り上がりを見せた。こうした中，前田晃伸会長は，定例会見で「Eテレは，NHKらしさの象徴だ」「資産売却すればよいとか，そういう話には全くならない」と述べて，売却案を否定した

10▸ABU（アジア太平洋放送連合）に加盟する放送局などが制作した番組を対象としたABU賞の授賞式が行われ，NHKの３作品（「体感　首都直下地震」プロジェクト，『BS1スペシャル』「ラストトーキョー“はぐれ者”たちの新宿・歌舞伎町」，『FMシアター』「うつ病九段」）が最優秀賞受賞

14▸インターネットブログメディア「note」に，NHKの報道記者たちが執筆する公式アカウント「NHK取材ノート」が開設された。８日の『プロフェッショナル　仕事の流儀』に続くもので，放送からこぼれた取材の裏話などの投稿を掲載。利用者数が急増している民間プラットフォームを活用して現場の記者たちの実感を直接届ける新たな試み

15▸ABUの年次総会が17日までの３日間開催され，NHKの正籬聡副会長がABU副会長に選ばれた。任期は21年１月から23年末まで

▸「新型コロナウイルス特設サイト」で公開している感染者まとめのデータをユーザーがダウンロードできるサービスを開始した。データは各自治体や公的機関の発表に基づいて，NHKが取材しまとめたもので，活用しやすいCSV形式になっている。公共メディアとして幅広いニーズに応えるのがねらいで，本格的なオープンデータへの取り組みに先駆けて，試験的に公開した

19▸武田総務大臣はテレビ西日本の情報番組に出演した際，NHK受信料の徴収業務について，全国２万4,000局ある日本郵便との連携を提言していると明らかにした。21日の記者会見では，実務担当者同士で数回にわたって会議が行われており，その結論を待って次の進め方を考えていきたいとした

25▸文化庁芸術祭の大賞に『スペシャルドラマ　ストレンジャー～上海の芥川龍之介～』が選ばれた。100年前の中国の姿を，新聞社の特派員として訪れた芥川龍之介の視点から描き，映像と脚本，演技が高度な調和を果たしたと評価された

31▸『NHK紅白歌合戦』が初めて無観客で開催された。午後９時からの第２部の番組平均世帯視聴率は，関東地区が40.3%，関西地区が39.3%だった（ビデオリサーチ調べ）

12月

国内メディア

1▸WOWOWは完全子会社のWOWOWプラスの吸収分割を行い，同社の映画専門チャンネル「シネフィルWOWOW」のBSデジタル放送事業を承継した。同チャンネルは同日付で「WOWOWプラス」に名称を変更した

▸在京キー局系のBS民放５局（BS日テレ，BS朝日，BS-TBS，BSテレ東，BSフジ）が開局20周年を迎えた

2▸Googleは10月に開始したニュース配信サービスの「Google News Showcase」を世界の約200の報道機関と提携し，ニュース配信サービスを始めると発表。提携の報道機関には記事の使用料として今後３年間で10億ドル（1,000億円）を支払うという。提携先は今後順次拡大され，日本の報道機関も対象に

10▸ソニーは海外でのアニメの配信事業を強化するため，アメリカの通信大手AT&Tからアニメ配信事業を買収することで合意したと発表。記録的な大ヒットとなったアニメ映画「劇場版『鬼滅の刃』無限列車編」を製作･配給したアニプレックスを傘下に持つソニーが，自社のアニメ配信事業の一層の強化を目指す

17▸ヤフーは，災害発生時に自治体や支援団体と連携し，情報配信から復興支援までワンストップで支援する「災害支援プラットフォーム」を発足させた

18▸NTTドコモは，21年４月から5Gの大容量プランの料金を1,000円下げて月額6,650円とし，データ容量を無制限にすると発表。あわせて，現在主流の4Gの大容量プランの値下げも発表した。ソフトバンクも22日，5Gと4Gの双方に対応したデータ無制限プランを月額6,580円で21年３月から始めると発表

▸テレビ朝日は「桜を見る会」前夜の夕食会の費用補塡疑惑に関し，正午前のニュースで「安倍前首相は17日までに東京地検特捜部の事情聴取に応じた」と報じたが，同日夜の『報道ステーション』内で「誤りだった」として謝罪した

24▸災害時の避難情報のあり方を検討してきた政府の作業部会は，警戒レベル４の「避難勧告」と「避難指示（緊急）」を，「避難指示」に一本化するなど，情報の大幅な変更を盛り込んだ提言をまとめ，小此木八郎防災担当大臣に提出した

25▸文化庁は，20年度（第75回）芸術祭賞を発表した。テレビ・ドキュメンタリー部門で新潟放送のBSNスペシャル『芸術の価値　舞踊家金森穣16年の闘い』，ラジオ部門で南海放送の『感染－正義とは何か－』が大賞を受賞した。テレビドラマ部門については左記のNHK欄のとおり

▸東京都は，臨海副都心の有明南地区の土地をテレビ朝日やコナミホールディングスなどに売却すると発表。テレビ朝日は多目的ホールやイベント･エンターテインメントスペース，制作スタジオを整備する

海外メディア

2▸アメリカのゲイツ財団は非営利調査組織Media Ecosystems Analysis Groupなどに委託した調査の報告「報道に欠ける女性の視点」を発表した。イギリス，アメリカ，南アフリカ，インドなど英語を使用する6か国，80のメディアの19年の記事6,000件の内容を分析した結果，引用された専門家に女性が占める割合は最も高いイギリスでも29％であったと指摘

7▸米NBC Universalは，傘下のケーブルニュースMSNBCの次期社長に，現副社長で大統領選挙の報道などを統括してきたラシーダ･ジョーンズ（Rashida Jones）氏を指名した。New York Timesによるとジョーンズ氏は39歳で，アメリカのケーブルテレビのトップとしては初めての黒人女性になる

8▸ドイツ中部ザクセン=アンハルト州の首相は，公共放送の主な財源である放送負担金の値上げを定めた州間協定を，議会に提案することを見送った。これにより21年1月に予定されていた月額0.86ユーロ（約110円）の値上げは不可能になった。値上げは独立委員会KEF（公共放送財源委員会）の答申に基づくもので，公共放送のARD，ZDF，ドイチュラントラジオは，11日，連邦憲法裁判所に提訴した

9▸アメリカのFTC（連邦取引委員会）は，Facebookを違法な競争妨害行為で提訴した。競争相手の買収やソフトウエア開発者を囲い込む契約でソーシャルネットワーク市場での独占的な地位を維持し，サービス利用者や広告主の利益を損なってきたとして，是正措置の検討を求めている

14▸中国外務省は，1週間前から行方不明となっていた米Bloomberg 北京支局の范若伊（Haze Fan）記者について，国家安全法違反の疑いで拘束していることを認めた

16▸オーストラリア政府は，連邦警察など司法当局がジャーナリストやメディア組織に対し家宅捜索する際の手続きについて，関連法規を見直す方針を示した

18▸リアリティー番組の出演者の自殺が相次ぎ，視聴者からの批判が高まっていることを受けて，イギリスの放送通信庁Ofcomは新たな放送規約を設けた。番組制作に携わる者は，その番組の出演者に対して，精神的な負荷がかかる可能性があることや，サポート体制について説明することが必要となる

25▸英Channel 4は，エリザベス女王のクリスマスメッセージの“ディープフェイク版”を放送した。同局は「偽情報に警鐘を鳴らすため」としたが，視聴者からの批判が相次いだ

28▸中国上海市の人民法院は，同年2月に新型コロナウイルスがまん延する武漢に入り，政府の対策の問題点などをネット上で告発していた女性市民記者の張展氏に対し，「社会秩序を乱した罪」で懲役4 年の判決を言い渡した。張氏は，武漢市の当局者が腐った野菜を配給したなどと告発する記事を中国版のSNSやYouTubeなどで発信していた

1月

社会の動き

1▸時代劇の「斬られ役」として50年以上も活躍し，「５万回斬られた男」と呼ばれた俳優の福本清三さんが，肺がんのため亡くなった。77歳

6▸大統領選挙の結果を確定する米連邦議会の合同会議が開かれた議事堂をトランプ大統領の支持者が占拠した。支持者や警察官など５人が死亡した

7▸新型コロナウイルスの感染が拡大していることを受け，政府は，東京・埼玉・千葉・神奈川の１都３県を対象に２回目の緊急事態宣言を出した。期間は８日から２月７日まで。13日には大阪・兵庫・京都・愛知・岐阜・福岡・栃木の合わせて７府県に対象を拡大。期間は14日から２月７日まで

12▸昭和史を研究し，戦争などをテーマに数多くのノンフィクション作品を発表した半藤一利さんが老衰のため都内の自宅で亡くなった。90歳

13▸変異した新型コロナウイルスが各国で確認されていることを踏まえ，政府は11の国と地域で実施しているビジネス関係者らの往来を14日から停止する方針を固めた

15▸吉川元農相が，大臣在任中に大手鶏卵生産会社の元代表から現金500万円の賄賂を受け取ったとして，東京地検特捜部に収賄の罪で在宅起訴された

16▸31年間続いた大学入試センター試験に代わる「大学入学共通テスト」が新型コロナ感染対策の中，始まった。思考力，判断力をより重視する設問となった。

17▸ロシアの野党勢力の指導者ナワリヌイ氏がドイツから帰国した直後，空港で拘束された。８月，旅客機内で突然意識を失い，ドイツの病院で治療を受けていた。

19▸ポンペイオ米国務長官は，中国政府が新疆ウイグル自治区で少数民族に対する強制収容を行っているとして「ジェノサイド」と認定したと発表した

21▸公職選挙法違反の買収の罪に問われている河井案里参議院議員に対し東京地裁は，懲役１年４か月，執行猶予５年の有罪判決を言い渡した

▸米国第46代大統領に民主党ジョー・バイデン氏が就任した。歴代最高齢の78歳。パリ協定への復帰やWHOからの脱退の撤回など，トランプ政権からの転換を鮮明にした

22▸核兵器の開発，保有，使用を禁じる核兵器禁止条約が発効した。核保有国や日本などは参加していない

23▸日本国内で新型コロナウイルスに感染して死亡した人が5,000人を超えた

27▸国内で新型コロナの重症者が過去最高の1,043人となった。米国ジョンズ・ホプキンス大学のまとめによると世界全体の感染者がこの日，１億人を超え，死亡者数は世界全体で215万人を超えた

28▸菅首相と米国のバイデン大統領が初の電話会談。日米同盟強化や「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向け，緊密に連携していくことで一致した

▸大リーグ・ヤンキースをフリーエージェントとなった田中将大投手がプロ野球・楽天に復帰することが決まった

NHK

7▸新型コロナウイルスの感染拡大で東京と関東の１都３県に緊急事態宣言が再び発出され，NHKや在京キー局が速報。緊急事態宣言はその後，11都府県に拡大された

8▸新型コロナウイルスの感染拡大や緊急事態宣言などを受けて，２月６日に東京・両国の国技館で開催予定だった「NHK福祉大相撲」の中止が決まった

12▸NHKのインターネット活用業務の「実施基準」について，武田総務大臣は，地方向け放送番組の配信強化に取り組みながら，年額200億円を超えないようにするなどとした新たな基準を認可した

13▸NHKの21年度からの３か年経営計画が，経営委員会で議決された。計画では，各方面から要望の強い，業務・受信料・ガバナンスのいわゆる「三位一体」の改革をさらに推進するとし，受信料で成り立つ公共メディアとして「新しいNHKらしさを追求」するとした。抜本的な業務見直しで700億円規模の経費削減を行う一方，150億円程度を「安全・安心を支える」業務など５つの取り組みに重点投資。これによって550億円規模の支出削減を行い，スリムで強靭（じん）な「新しいNHK」を目指すとしている。業務の見直しとして，23年度中に衛星放送のBS1とBSプレミアムの２波を１波に整理・削減するほか，管理間接部門の削減や訪問によらない営業活動への移行など，構造改革を断行するとしている。こうした支出削減に加え，新放送センター建設計画見直しなどで20年度予算の約１割に当たる700億円規模の視聴者への還元原資を確保，放送法改正の動きなどを見極めて，23年度に受信料を値下げする方針を示した

18▸総務省の「放送を巡る諸課題に関する検討会」の「公共放送の在り方に関する検討分科会」は，１年にわたる議論を「公共放送と受信料制度の在り方に関するとりまとめ」という形で公表した。「とりまとめ」は，▶受信料の適正負担，▶受信料の公平負担，▶NHKと民間放送事業者の連携などに関する項目があり，このうち受信料の公平負担について，「現行の契約制を維持した上で，正当な理由がないにもかかわらず受信契約に応じない受信設備の設置者のみを対象として（中略）割増金を適用することができる旨を法律で定めることは，有力な選択肢」とした。そのうえで，「こうした仕組みを設ける場合には，NHKは，国民・視聴者に対して周知を行うとともに，引き続き，受信設備設置者の理解を得て契約を締結するよう努める必要」があるとしている

1月

国内メディア

4▸日本テレビは，20年の年間個人視聴率が，全日とプライム，ゴールデンの各時間帯でNHK・在京キー局を通じてトップとなり，10年連続で「３冠」を達成したと発表した

11▸静岡新聞社と静岡放送が「マスコミをやめる」と宣言するメッセージ広告を朝刊とウェブサイトに掲載。新聞発行やテレビ・ラジオ放送をやめるわけではないとしたうえで，「ユーザーファーストな企業へと生まれ変わります」とした。「マス」ではなく県民１人１人に向き合っていく宣言という

13▸KDDIは，主力ブランドのauが提供するデータ使用量無制限プランを３月から値下げし，5G・4G向けをいずれも月額6,580円にすると発表。20年12月のNTTドコモとソフトバンクに続く値下げの発表で，大容量の料金プランは大手３社でほぼ横並びに

14▸サンテレビ（神戸市）は，95年の阪神・淡路大震災の取材番組を神戸大学附属図書館震災文庫のデジタルアーカイブで公開した。自社でサーバーを整備する負担は大きく，今後も神戸大学と連携して公開映像を増やす方針

▸ビデオリサーチは，新型コロナウイルスの感染が続く中で迎えた正月三が日のテレビ視聴について，調査結果を発表した。総世帯視聴率（関東地区/6～24時）は，元日が49.5%，２日が48.8%，３日が49.7%で，いずれも過去10年間で最高値を記録した

15▸FNN（フジニュースネットワーク）と産経新聞は，業務委託先の調査会社によるデータの不正入力が発覚したため20年６月から中止していた「合同世論調査」を再開すると発表した。再開にあたって，両社の担当者が調査に立ち会うなどの不正防止策を策定した

18▸フジテレビのクイズバラエティー番組『超逆境クイズバトル‼99人の壁』について，BPOの放送倫理検証委員会は，「放送倫理違反があった」とする「意見」を公表した。参加者が足りない場合，解答権のないエキストラを使っていたことについて，「番組が標ぼうしている『１人対99人』というコンセプトを信頼した多くの視聴者との約束を裏切るもの」と指摘

19▸朝日放送グループホールディングスは，持株会社体制への移行計画など公表前の内部情報をもとにした株のインサイダー取引をしたと，証券取引等監視委員会に指摘されていた朝日放送テレビの50代の幹部社員を懲戒解雇した

20▸Googleは，新型コロナウイルスのワクチン接種をめぐる誤情報のファクトチェック活動を支援するため，300万ドルの基金を創設

26▸朝日新聞，毎日新聞，産経新聞の３社は，各社が取材・制作したニュース動画を共同で配信するサービス「NewsVideo」を開設した

海外メディア

5▸サウジアラビアなどアラブ４か国は湾岸協力会議（GCC）首脳会議で，３年半にわたり断交していたカタールと国交を回復させることで合意した。カタール政府が出資する衛星放送局，Al Jazeera（AJ）の今後にも関心が集まる

6▸イギリス政府は，スナク財務相の顧問を務める元ゴールドマン・サックスの幹部，リチャード・シャープ氏を英BBCの次期理事長に推薦すると発表した。２月末に就任する。

▸香港警察は国安法の「国家政権転覆罪」などの疑いで，民主派の前立法会議員など53人を一斉に逮捕した。また，その際に民主派支持のメディアである「リンゴ日報」，ネットメディアの「立場新聞」「独立媒体」，それに「壹傳媒」の４社は，裁判所から関係資料を１週間以内に提出するよう命じられた

8▸１月６日のワシントン連邦議事堂への乱入事件を受けて，SNSを運営する多くのIT企業がトランプ氏のアカウントを差し止めた。このうちTwitterは，「選挙は盗まれた」などと発信したトランプ大統領の主張に重大な規定違反があったとしてアカウントを一時停止し，解除後にも問題のある投稿があったことから，アカウントを永久停止にした。また，Facebookと傘下の写真共有サイトInstagramも無期限にアカウントを凍結する措置をとった。さらにYouTubeも同氏のチャンネルを一時停止し，過去の動画の一部を削除した

11▸トランプ大統領のソーシャルメディアのアカウントが凍結されたことについて，ドイツのメルケル首相は，ザイベルト政府報道官を通じて，表現の自由が制限されることもありうるが，その場合の根拠は法律でなくてはならず，一企業の判断で行うべきではないという考えを示した

▸ベトナムの情報通信省は，テレビ地上アナログ放送を終了し，デジタル放送に完全移行したと発表した。ASEAN（東南アジア諸国連合）10か国中５番目となる

15▸独ドイチュラントラジオは，一部の州議会の反対によって放送負担金の値上げが実施できなくなったことを受け，労働組合との合意に基づき，４月に予定していた職員やフリーランスに対する2.25%の賃上げを見送ると発表した

21▸英BBCの受信許可料の不払いを刑事罰の対象とする現制度を改めるかどうか意見公募を行っていたイギリス政府は，改変を見送ると発表した。個人からの回答では，賛成と反対が拮抗していたものの，活動団体などの意見では，反対が80%以上だった

2月

社会の動き

1▸ミャンマー軍が政権を掌握，非常事態宣言を出してアウン・サン・スーチー国家顧問や与党の幹部を拘束した。その後，軍に反発する市民による抗議デモが続いた

▸運転開始から40年を超える関西電力の高浜原発１号機と２号機について，福井県高浜町が再稼働に同意を表明した。15日には３号機についても同意を表明した

3▸東京オリンピック・パラリンピック組織委員会の森喜朗会長がJOC臨時評議員会で「女性がたくさん入っている理事会は時間がかかる」と発言し，国内外で猛烈な反発を呼んだ。女性蔑視発言の責任を取り辞任を表明した森会長の後任に18日，橋本聖子参議院議員が就任した

8▸足摺岬沖の海上で海上自衛隊の潜水艦「そうりゅう」が浮上時に香港船籍の「オーシャンアルテミス」と衝突し，潜水艦乗組員３人が軽いけがをし，艦の一部が破損した

9▸ジャズピアニストや作曲家としてロックの要素を取り入れるなど新たな分野を開いたチック・コリアさんががんのため亡くなった。79歳

13▸福島県沖を震源とする地震があり，福島県と宮城県で震度６強の揺れを観測した。１人が死亡，187人がけがをしたほか，東北新幹線が一部で10日間，不通となった

15▸東京株式市場の日経平均株価が一時，３万円の大台を超え取引時間中としては90年８月以来，30年６か月ぶりの高値となった。実体経済との乖離を警戒する声も

▸愛知県選挙管理委員会は，大村知事のリコール・解職請求の署名活動による署名簿の中に大量に偽造されたものがあるとして，地方自治法違反の疑いで警察に告発した

17▸新型コロナウイルスのワクチンの先行接種が医療従事者４万人を対象に全国の医療機関で始まった

19▸NASAの新たな火星探査車「パーシビアランス」が火星に着陸した。２年間にわたり生命の痕跡を探すほか，小型ヘリコプターによる火星大気での飛行試験などを行う

20▸全豪オープン・女子シングルスの決勝で大坂なおみ選手が米国のブレイディ選手に勝ち，２年ぶり２回目の優勝。四大大会の優勝は20年の全米オープン以来４回目

22▸衛星放送関連会社に勤める菅首相の長男と総務省幹部の会食問題で，総務省は11人が倫理規定違反の接待を受けていたと発表した。山田内閣広報官も総務審議官当時，１人当たり７万4,000円余りの飲食接待を受けていた

26▸米バイデン政権は，シリア東部でイランが支援する民兵組織に関連する施設を空爆した。政権発足後，初めての軍事攻撃で，直近の米軍などへの攻撃に対する措置

28▸政府は緊急事態宣言の対象となっている10都府県のうち首都圏を除く，大阪・兵庫・京都の関西３府県と愛知県・岐阜県・福岡県の６つの府県で解除した

▸みずほ銀行のATMの大半が一時利用できなくなるシステム障害が発生した。02年と11年にも大規模なシステム障害を起こしている

▸琵琶湖を舞台に開催されるのが21年で最後となる，びわ湖毎日マラソンで25歳の鈴木健吾選手が２時間４分56秒の日本新記録で優勝した

NHK

3▸文化庁の文化審議会著作権分科会が「放送番組のインターネット同時配信等に係る権利処理の円滑化に関する報告書」をとりまとめた。報告書では，▶現在放送だけに認められている権利制限の規定を同時配信にも拡充。▶放送を認める契約に特段の意思表示がなければ，同時配信の利用を許諾したと推定する規定を創設。▶レコード・レコード実演およびリピート放送での映像実演で著作権等管理事業者による集中管理が行われないなどアクセスが困難な場合は，許諾権を報酬請求権化し円滑化を図ることなどを求めている。併せて，クリエーターへの適正な対価支払いなどの対応も必要とした

4▸かんぽ生命保険の不適切な販売を報じた番組をめぐり，NHK経営委員会が18年，上田良一会長（当時）を厳重注意した問題で，NHK情報公開・個人情報保護審議委員会は，当時の経営委員会議事録を「全面開示」すべきだとする答申を出した。議事録は「要約」が公表されているが，答申では，「要約された文書は開示の求めの対象文書との同一性を失ったもの。情報公開制度は，対象文書をありのままに見せることが当然の大前提」で，「公開制度の対象となる機関自らが対象文書に手を加えることは（中略）改ざんというそしりを受けかねない危険をはらむ」と厳しく指摘した。審議委員会は，NHKが設置する第三者機関

5▸NHK報道局総務部の元職員が在職中に，上司に無断でノートパソコンなどおよそ530万円分を発注し，不正に受け取っていたとして，懲戒免職相当とした

▸NHKの21年度の予算が国会に提出された。事業収入は6,900億円（前年度比304億円減）で，このうち受信料収入は6,714億円（同260億円減）。事業支出は7,130億円（同224億円減）で収入から支出を差し引いた事業収支差金は230億円の赤字。この予算と合わせて事業計画も提出された

13▸福島県沖を震源とするマグニチュード７.３の地震が発生，福島県相馬市や宮城県蔵王町などで震度６強，関東地方でも最大震度５強の揺れを観測した。NHKは地震発生直後，テレビ５波・ラジオ３波を緊急報道に切り替えて，地震に関する情報を伝えた

26▸NHKの決算で事業収支金が黒字になった場合，一定額を除いて，受信料の値下げの原資として積み立てる「還元目的積立金」制度の導入などを盛り込んだ放送法改正案が閣議決定された

2月

国内メディア

1▸巨大IT企業を規制する新しい法律「特定デジタルプラットフォームの透明性及び公平性の向上に関する法律」が施行された。売り上げが3,000億円以上のオンラインモールや，2,000億円以上のアプリストアを運営する楽天やYahoo!，Amazon，Google，Appleなどの事業者が対象

2▸新型コロナウイルスのワクチン接種を担当する河野太郎規制改革担当相は，ワクチンを海外から日本に輸送する日時や場所などについて，セキュリティーの観点から非公開にしたいとして，「取材や報道は控えていただけるとありがたい」と述べた

3▸放送番組のインターネット上での同時配信を進めるため，文化庁の文化審議会著作権分科会は，「放送番組のインターネット同時配信等に係る権利処理の円滑化に関する報告書」をとりまとめた。権利処理の円滑化を図る対象を，同時配信に加え，追っかけ配信や一定期間の見逃し配信も含むこととした

5▸動画配信大手Netflixは，日本での月額料金の値上げを発表した。最も安いベーシックプランを880円から990円に，スタンダードプランを1,320円から1,490円に引き上げる。1,980円のプレミアムプランは据え置く。日本での値上げは18年８月以来

9▸メディア業界の女性登用について，民放労連や新聞労連など労組４団体が記者会見。メディア業界での女性管理職の割合が政府目標の30％を大幅に下回っている調査結果を踏まえ，日本新聞協会や民放連などの業界団体と加盟各社に対し，比率を上げるよう要請したことを明らかにした

10▸フジテレビの世論調査に架空のデータが入力され，１年余りにわたって誤った内容を伝えていた問題で，BPOの放送倫理検証委員会は，「重大な放送倫理違反があった」とする「意見」を公表した

14▸宮城県の民放４局は，一部の放送番組をインターネットで同時配信する実証実験「LIVE MIYAGI（ライブミヤギ）」を開始した

17▸公正取引委員会は，ネット広告の取り引きの実態を把握するために行った調査の報告書を公表した。IT企業側が広告の掲載を一方的に打ち切ったり，利用目的の説明があいまいなまま個人情報を利用したりする行為は，独占禁止法上，優越的地位の乱用となるおそれもあるとした

24▸総務省の幹部らが衛星放送関連会社に勤める菅首相の長男らから接待を受けていた問題で，総務省は，谷脇総務審議官ら９人を懲戒処分に，２人を訓告などの処分にしたと発表した。総務審議官当時に接待を受けていた山田内閣広報官は給与月額の10分の６を自主返納したのち辞職した

25▸電通が「2020年の広告費」を発表。国内の広告費は６兆1,594億円（11.2％減）で，９年ぶりに減少。このうちテレビは地上・衛星合わせて１兆6,559億円（11％減），インターネットは２兆2,290億円（5.9％増）と両者の差が広がった

海外メディア

1▸中国国営の中央ラジオテレビは，超高精細８Kテレビの試験放送を開始した。中国電視報によると，これは中国が独自に開発した動画圧縮形式のAVS3を採用して行うもの

▸ミャンマーで，軍がクーデターを実行し，アウン・サン・スー・チー国家顧問やウィン・ミン大統領などを拘束したうえで１年間の非常事態を宣言した。ミャンマー軍は，クーデターの直後から一時，国営テレビの放送を，軍のテレビと同じ内容としたほか，一部の商業テレビについては放送が中断された

2▸韓国のKBSが，25年までの中長期計画の中で，北朝鮮のピョンヤンに支局を開設する方針で約20億ウォン（約１億9,000万円）の予算を計上していることが明らかになった

3▸英BBCは，過去10年の経費削減の成果をまとめた報告書“BBC Value for Audience”を発表した。BBCの収入は，10年から16年の受信許可料の凍結や，75歳以上の高齢者の受信許可料を国が補てんする制度の終了などにより，想定の収入を30％下回った

4▸英の放送通信分野規制機関Ofcomは，中国国営CCTVの国際放送部門CGTNが，実質的に中国共産党の支配下にあるとして，放送免許を取り消す決定を下した

▸アメリカのIT大手Googleは，メディアに使用料を払ってニュース記事を配信するGoogle News Showcaseをオーストラリアで開始した。また10日にイギリスとアルゼンチンでも開始した。金額や条件など合意内容は公表されていない。Googleは、１月にはReuters，２月にはWall Street Journalなどの親会社NewsCorpとも合意するなど、すでに日本を含め12か国以上450社と合意している

▸カナダの新聞各紙は，１面を白紙にして発行し，各地で地方紙が廃刊に追い込まれて信頼できる情報源が失われ，民主主義が脅かされていると訴えた。呼びかけたNews Media Canadaによると，加盟する100紙近くが参加した

5▸中国の国際テレビ放送CGTNの女性キャスターで，オーストラリア国籍のチェン・レイ（成蕾）氏が国家機密を海外に漏えいした疑いで中国当局に逮捕された

12▸中国の国家ラジオテレビ総局は，英BBCの国際放送「ワールドニュース」に対し，「報道は真実で公平で，中国の国益や民族の団結を損なってはならないとする原則に違反した」とし，放送の禁止を発表した。中国は，BBCの新疆ウイグル自治区をめぐる報道への批判を強めていた

19▸香港政府は，公共放送RTHKのトップである放送担当局長を任期満了の半年前に更迭し，後任として内部昇格やメディア出身者の起用ではなく，民政局副秘書長の李百全氏を３月１日付で就任させる人事を発表した

3月

社会の動き

1▸栃木県足利市で起きた山火事が9日ぶりにほぼ消し止められた。山林およそ106ヘクタールが焼けた

11▸東日本大震災の発生から10年となり，政府主催の追悼式が東京で開かれた。関連死を含めた死者と行方不明者は少なくとも2万2,000人に上り，福島県を中心に全国で4万人以上が避難生活を続けている

▸中国の全国人民代表大会は香港の選挙制度を変更することを決定した。対象は行政長官と立法会議員の選挙で，体制に批判的な民主派を排除するねらいがある

15▸『ルパン三世』や『未来少年コナン』などの作品に関わり，日本アニメの表現に大きな影響を与えたアニメーターの大塚康生さんが心筋梗塞のため亡くなった。89歳

16▸神奈川県は，新型コロナウイルスで亡くなった県内に住む50代と70代の男性2人が変異ウイルスに感染していたと発表した。変異ウイルスによる死者は全国初

▸総務省幹部がNTTから違法な接待を受けていた問題で停職3か月の処分を受けた谷脇康彦前総務審議官が辞職した。前審議官は衛星放送関連会社「東北新社」による接待問題でも減給処分を受け，更迭されていた

17▸通信アプリ「LINE」利用者の個人情報などが業務委託先の中国の会社からアクセスできる状態になっていた。各省庁はLINEによる行政サービスを一時停止した

18▸東京オリンピック・パラリンピックの開閉会式の統括責任者を務める佐々木宏クリエーティブディレクターが，女性タレントの容姿を侮辱するような演出案を提案し，不適切な表現の責任を取って辞任した

20▸東京オリンピック・パラリンピック大会組織委員会はIOCなどと会談し，海外からの観客受け入れを断念した

▸午後6時9分ごろ，宮城県沖を震源とするマグニチュード6.9の地震が発生した。宮城県仙台市・石巻市などで震度5強の揺れを観測

21▸首都圏の1都3県に出されていた緊急事態宣言が解除された。感染者数が微増する中での解除となった

23▸エジプト・スエズ運河で愛媛県今治市の会社が所有する大型コンテナ船が座礁し，運河の通航ができなくなった。29日に再開されたが400隻余りが待機を余儀なくされた

▸EUは，中国の新疆ウイグル自治区で人権侵害に関わったとして自治区の当局者や組織に対しEU域内への渡航禁止と資産凍結の制裁を承認，即日発動した

24▸鮮やかな背負い投げを持ち味に「平成の三四郎」と呼ばれた柔道の古賀稔彦さんががんのため亡くなった。53歳。バルセロナ五輪で金メダルを獲得するなど3大会に出場

25▸東京五輪の聖火リレーが福島県から始まった。ランナーに選ばれた著名人の中には辞退する人が相次いだ

27▸クーデター以降，抗議デモが続くミャンマーで，軍の記念日に合わせて全土で行われた抗議デモに軍が発砲し，この日1日で子供を含む114人が死亡した

31▸大阪府の吉村知事は感染の第4波に入ったという認識を示し，緊急事態宣言が出ていなくても集中的な対策を可能にする「まん延防止等重点措置」の適用を国に要請

NHK

3▸放送文化研究所は「NHK文研フォーラム2021」を5日までオンラインで開催した。21年のテーマは「“コロナ時代”のメディア～その役割を問う～」であった

▸沖縄本土復帰50年に当たる22年前期の『連続テレビ小説』を，沖縄に生まれ料理人の道を歩む女性が主人公の「ちむどんどん」と発表した

4▸NHKと日本郵政・日本郵便との間で「防災・減災に関する連携協定」を締結された。災害が起きた際，地域の郵便局から被害状況がわかる動画・静止画を提供してもらったり，郵便局長らが電話インタビューに応じたりする協力を受ける。全国に約2万4,000局ある郵便局のネットワークを防災報道に生かそうというもの

6▸東日本大震災の教訓を継承しようと，日本科学未来館（東京・江東区）で「震災と未来」展が開催された。震災発生時のNHKのニュース映像や記者の取材メモ，復興の歩みをたどる映像などが展示され，28日までの会期中，約1万1,000人が来場した

▸東日本大震災から10年をテーマに，『NHKスペシャル』を14日までに8本放送した

9▸NHK経営委員会は，委員の全会一致で森下俊三氏を委員長に再選出した

11▸東日本大震災から10年，NHKはじめメディア各社は，震災被害の記録や防災・復興の取り組み，原発事故の教訓・課題などを多角的に伝えた

16▸19年の「京都アニメーション」の放火殺人事件にNHKのディレクターが関わったかのような虚偽の記事がインターネットのまとめサイトに掲載され，名誉を傷つけられたとNHKが訴えた裁判で，東京地方裁判所は「NHKの社会的評価を大きく低下させた」として，サイトの編集長に360万円余りの賠償を命じた

19▸放送記念日式典がNHK放送センターで行われた。新型コロナウイルス感染拡大を防止するため無観客での開催。俳優の北大路欣也さんなど7人に放送文化賞が贈られた

23▸22年の『大河ドラマ』「鎌倉殿の13人」の時代考証を依頼していた歴史学者の呉座勇一氏が「自身のツイッター投稿の一部内容が不適切であった責任を取り，降板したい」と申し出て降板したと発表した。女性研究者らを中傷したとされる呉座氏のツイートが「女性蔑視だ」などと批判を受け，本人が20日，ツイッター上で謝罪していた

25▸東京オリンピックの聖火リレーがスタート。NHKはインターネットのライブ中継を実施

31▸21年度予算が賛成多数で国会で承認された。2年連続で全会一致にならず

3月

国内メディア

1▸ヤフーの親会社Zホールディングス（ZHD）とLINEが経営統合し，ヤフーとLINEが，ZHDの完全子会社となった

11▸東日本大震災の発生から10年。NHKと民放キー５局が「キオク、ともに未来へ。」を共通テーマに防災プロジェクトを展開。ラジオでもNHK・民放連が共同で「ラジオの証言～災害を語り継ぐ～」というキャンペーンを行った

12▸日本テレビは，情報番組『スッキリ』で，アイヌの人たちを傷つける不適切な表現があったとして，夕方のニュース番組で謝罪した。この問題をめぐっては，15日に加藤官房長官が，政府として厳重に抗議したことを明らかにしたうえ，翌16日に北海道アイヌ協会の理事長らと面会し，政府として再発防止に向けた対策を検討する考えを表明した

20▸午後６時９分ごろ，宮城県沖を震源とするマグニチュード6.9の地震が発生し，仙台市・石巻市などで震度５強の揺れを観測した。地震の発生直後から１時間余り，沿岸に津波注意報が発表された。県内の各放送局では，津波への注意喚起に重点を置いたが，今回は「津波警報」ではなく，「津波注意報」だったことから，海沿いからの避難を呼びかけつつも，過剰な不安や誤解を与えないよう配慮した放送局が多かった

22▸地元の消防団員や報道関係者など43人が死亡・行方不明になった長崎県の雲仙普賢岳の大火砕流から30年。報道陣の撮影ポイントで，当時，「定点」と呼ばれた一帯が災害遺構として整備され，関係者に公開された。噴火災害の教訓を伝える拠点として活用される

24▸テレビ朝日は，TwitterとYouTubeで22日に公開した報道番組『報道ステーション』のウェブCMに，「若い女性をバカにしている」「ジェンダー格差の解消に取り組む人を揶揄（やゆ）している」などと批判が集まったことを受け，公開２日後，Twitterの番組公式アカウントで謝罪し，同CMを取り下げた

26▸総務省は，東北新社メディアサービスがBSで放送している洋画専門の映画チャンネル「ザ・シネマ４K」に関する基幹放送事業の認定（認定番号 BS第125号）を，５月１日付で取り消す処分を行ったと発表した。東北新社が認定の申請を行った際と認定された段階で，放送法が定める外資規制に違反した状態だったことが確認されたためとしている

30▸BPOの放送人権委員会は，フジテレビ系列の番組『テラスハウス』について，人権侵害にはあたらないが放送倫理上の問題があったとする「見解」を公表した

海外メディア

1▸サウジアラビア人ジャーナリストのジャマル・カショギ氏が18年，トルコで殺害された事件をめぐり，国際ジャーナリスト組織「国境なき記者団」（RSF）は，サウジアラビアのムハンマド皇太子と側近らを人道に対する罪でドイツの検察当局に告発した

2▸アフガニスタン東部のナンガルハル州で，商業放送局Enikassで働く20代前後の女性３人が帰宅途中，銃撃を受け死亡した。過激派組織IS（イスラミックステート）の支部組織が犯行声明を出した

▸英BBCは，16年に経費削減策の一環としてテレビ放送を廃止し，オンラインに移行した若者向けチャンネルBBC Threeの放送を，22年１月から再開させることを明らかにした

▸韓国のKBSは，コロナ禍で，自宅で過ごす時間をより豊かにするサービスを提供するとして，新しい動画配信サービスを開始した。このサービスは，「KBSプライム」「KBSミュージック」「スター・芸能」の３つで，１万5,000本以上の番組を無料で配信している

5▸豪公共放送SBSは，各国の放送局などが伝えた主要ニュースをそのまま紹介する番組『World View』の中で，中国国営CCTVとその国際放送CGTNのニュースを紹介するのを一時停止することを決めた

7▸香港の公共放送RTHKのトップに３月１日付で就任した官僚出身の李百全氏が，同月７日と14日の『香港故事』と，11日の『議事論事』の３番組の放送中止を命令していたことがわかった

8▸ミャンマー軍は国営テレビを通じ，「７ Day News」「DVB」「Khit Thit Media」「Mizzima」「Myanmar Now」の５つの独立系メディアの免許をはく奪したと発表した

11▸米バイデン大統領は，新型コロナウイルスへの対応として１兆9,000億ドル（約209兆円）の経済対策法案に署名した。このうち１億7,500万ドル（約193億円）が公共放送機構に配分される

16▸中国の国家ラジオテレビ総局は「中華人民共和国ラジオテレビ法」の草案を公表し，１か月間にわたって意見を公募すると表明した。草案は，ネット動画コンテンツについても，放送コンテンツと同じ基準による管理対象とすることを明記している

17▸ドイツ16州の放送政策協議の幹事を務めるラインラント=プファルツ州のメディア担当大臣ラーブ氏は，16年から議論を続けてきた公共放送改革について，今後，２段階で進めることで全州の政府が合意したと発表した

29▸ドイツの国際放送Deutsche Welleとフランスの国際放送France Médias Mondeは，ヨーロッパの若者向け動画配信「ENTR」を開始した

放送文化賞受賞者
（第72回・2020年度）

2021年３月19日，東京・渋谷の放送センターで贈呈※

日本放送協会放送文化賞は，1949年度に創設。放送事業の発展に寄与し，放送文化の向上に特段の功績があったと認められる方々に対して贈呈しており，今回の７組を合わせ，これまでに471組が受賞。（これまでの受賞者一覧⇒p.720）

大石　静　脚本家

連続テレビ小説『ふたりっ子』『オードリー』，大河ドラマ『功名が辻』，ドラマ10『セカンドバージン』，そして北海道150年記念ドラマ『永遠のニシパ　北海道と名付けた男 松浦武四郎』など，幅広い題材のテレビドラマの脚本を執筆。オリジナル作品を中心に，エンターテインメント性あふれるストーリーで人間の奥深さやたくましさを力強く描き，視聴者の心をとらえている。

北大路　欣也　俳優

1968年の大河ドラマ第６作『竜馬がゆく』で主役の坂本龍馬を演じて以来，『樅ノ木は残った』『新・平家物語』『独眼竜政宗』『北条時宗』『篤姫』『江～姫たちの戦国～』『花燃ゆ』，そして徳川家康役で出演の『青天を衝（つ）け』まで，半世紀以上にわたって数々の大河ドラマを支え続けている。大河ドラマ以外でも，NHK・民放問わず，存在感とリアリティーある役柄を多彩に演じ，視聴者の支持を得ている。

北の富士　勝昭　NHK大相撲中継専属解説者

NHK初めての横綱経験者の専属解説者として，20年以上にわたり大相撲中継の解説を続け，横綱経験者ならではの技術解説や，相撲界の慣習を踏まえたコメントは相撲ファンの高い支持を得ている。実況アナウンサーとの軽妙な語り口のやりとりが高い人気を集めるとともに，相撲界のあり方について忌憚のないコメントをするご意見番としても高い存在感を示している。

さだまさし　シンガーソングライター，小説家

「精霊流し」「関白宣言」など数々のヒット曲を生み出し『NHK紅白歌合戦』に20回出場，長年音楽界の第一線で活躍している。2006年開始の『今夜も生でさだまさし』では，軽妙な話術で日本全国の視聴者とふれあい，寄り添い続けてきた。また，長年，故郷である被爆地・長崎から平和へのメッセージを発信するコンサートを行い，そのもようは放送でも広く親しまれてきた。

杉田　敏　昭和女子大学客員教授

海外新聞の記者や国際ビジネスパーソンとしての経験を生かして，1987年から通算32年半にわたり，ラジオ第２『ビジネス英語』の講師を務め，世界のビジネスの現場で使われている生きた英語表現を丁寧な解説とともに紹介してきた。日本人が目指すべき英語力や，国際人としての教養を伝授し続けて，日本の英語教育の底上げに貢献。第一線のビジネスパーソンのみならず，多くの文化人やジャーナリストにも支持されている。

鈴木　陽一　国立研究開発法人 情報通信研究機構 耐災害ICT研究センター センター長

音響研究の第一人者として，人間の聴覚特性の研究や，高臨場感音響システムの研究開発を続けてきた。人が感じる音の大きさの特性「ラウドネス」は国際規格としてまとめられ，放送の音の大きさをそろえるためのメーターの基礎となった。NHK放送技術研究所の研究アドバイザーや放送に関わる国の審議会の委員も務め，また防災行政無線の聞こえ方の研究など，災害大国・日本の安全にも貢献している。

夏井　いつき　俳人，エッセイスト

全国の高校生が参加するイベント「俳句甲子園」のほか，各地で「句会ライブ」を開催するなど俳句ブームを牽引。NHKでも30年の長きにわたり『俳句王国』『天才てれびくん』『夏井いつきのよみ旅』などさまざまな番組に出演し，独特の語り口で人気を博してきた。2018年には『NHK紅白歌合戦』でゲスト審査員も務めたほか，長年，四国域内の地域放送番組にも数多く出演し，地域文化の向上にも貢献している。

※例年贈呈が行われる放送記念日記念式典が今回は，新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から無観客開催となった。

2

第２部
NHKの概況

第1章

放　送

放送番組の編成

国内放送番組編集の基本計画

「2020年度（令和２年度）国内放送番組編集の基本計画」は，放送総局内で議論を重ねたうえ，編成局で原案を作成した。この原案を理事会で決定し，12月，中央番組審議会に諮問，答申を得たうえ経営委員会で決定した。

以下はその原文である（p.72まで）。記号などは本書の方式に合わせた。

1　編集の基本方針

NHKは，総合テレビと教育テレビの放送をインターネットでもご覧いただくことが可能になる「常時同時配信」，そして放送後一週間はインターネット上でいつでも番組をご覧になることができる「見逃し番組配信」を実施します。

不確かな情報の拡散が社会問題となっている今，長年培ってきた取材・制作力によるニュースや番組･コンテンツを，放送の補完としてインターネットを通じて提供し，公共的価値を広く還元したいと考えます。

みなさまの期待にしっかりと応えるために，NHKはこれまでと変わることなく放送法で定められた公共放送の基本姿勢を堅持します。自主自律と不偏不党を貫いて，正確な情報を公平・公正に伝え，多彩で質の高い番組を追求していきます。

2015年に公表した経営計画では，「2020年に最高水準の放送・サービスの実現をめざす」ことをビジョンに掲げました。臨場感あふれる超高精細の映像と迫力ある音響によるBS４K･BS８K放送と，新たなインターネットサービスでビジョンを実現し，新たな時代の暮らしに貢献していきます。

2020年度は，東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。日本で開催される大会の魅力を余すところなく伝えるとともに，今後の社会にもたらす価値や影響についても積極的に取り上げます。

2021年３月には，東日本大震災から10年の節目となります。いまだ多くの課題を抱える被災地に寄り添い，復興を支援していくとともに，「災害から命を守り，安心できる暮らしに貢献する」ことを，最優先の使命とします。

摩擦が絶えない国際情勢，地球規模の気候変動，日本における少子高齢化の加速など，乗り越えなければならない課題が山積しています。持続可能で心豊かに暮らせる社会を実現するために，こうした課題にしっかりと向き合い，多角的な視点からじっくりと考えます。

みなさまの声を踏まえて，“公共メディア”の姿を追究し，業務の見直しと改革を進め，身近で信頼されるNHKへの進化を目指します。

2　編集の重点事項

【1】災害から命を守り，安心できる暮らしに全力で貢献

大地震や津波，超大型台風や短時間に局地を襲う豪雨，記録的な猛暑や寒波など，私たちの命と暮らしが自然の脅威にさらされる事態が頻発しています。2020年度は，東日本大震災から10年の節目となります。全国の放送局と本部が連携してテレビとラジオ，インターネットそれぞれの特性を生かしながら，日頃から防災・減災に取り組むとともに，災害時には状況を的確に伝え，全力で身を守るための情報を発信します。

テロリズムや悪質な事件・事故などの脅威，いじめや児童虐待などの社会問題などにも焦点をあて，一人でも多くの人の命を守るための情報をインターネットも活用しながら発信します。

公共メディアとして，「命と暮らしを守る」ことを最優先の使命として不断に取り組み，安全で安心できるくらしに貢献します。

【2】持続可能な社会を見据え，日本と世界の課題を深く正確に発信

世界の潮流やグローバル経済の動向，地球規模の環境変化，日本の少子高齢化に伴う急速な人口減少，医療，介護や年金をはじめとする社会保障のあり方など，持続可能な社会の実現に向けて課題が山積しています。国民の一人一人がこうした課題に向き合い，事実に基づいて正確に理解し，解決への道筋を考え，具体的な方策を実現することが求められます。

NHKは，正確で公平･公正な情報を，早く，深く，わかりやすく伝え，判断のよりどころとなる「情報の社会的基盤」の役割を果たします。意見が対立している問題については，多くの角度から論点を明らかにし，広く議論の場も設けます。国民の政治への関心を促し，民主主義の発達に寄与します。

インターネットも活用して，視聴者のみなさまからの情報提供だけでなく，番組への参加も積極的に進めます。

【3】多彩で質の高い番組･コンテンツを，幅広い視聴者に提供

正確で信頼できる情報と質の高い番組・コンテンツを開発し，多彩なジャンルで視聴者の期待と関心に応えます。

多くの人にご覧いただく機会を作るために，一度放送した番組の素材を，切り口を変えて提供する「マルチユース」も推進します。インターネットサービスでは，取材過程で得られた情報も含め，番組関連コンテンツの提供を行います。「公共的価値」をしっかりと届ける編成をめざします。

各放送波の役割とインターネットサービスの特性を踏まえて，視聴・活用しやすい番組・コンテンツの提供に努めます。

【4】“東京2020”の機会を生かし，その先の文化創造に貢献

東京オリンピック・パラリンピックは，スポーツを通じて多くの人たちと感動を共にできる2020年度最大のイベントです。世界の人たちに日本の文化・芸術・科学技術をはじめとする魅力を深く知ってもらうとともに，日本の人たちも世界の多様な文化や価値観を学ぶことができる絶好の機会です。

NHKは，「４つの約束」（①スタジアムの興奮を日本全国で体感できます。②いつでもどこでも決定的瞬間をお届けします。③日本をひとつにつなぎます。日本が世界につながります。④共生社会の実現に貢献します。）を掲げて“東京2020”に取り組みます。

2020年３月から始まる聖火リレーや日本各地の国際交流，選手の活躍などを伝えるとともに，浮かび上がる課題にも向き合い，その先の時代の社会と文化の向上・発展に貢献します。

【5】多様な価値を認め支えあう社会をめざした放送･サービスを充実

誰もが人格と個性を尊重し支えあい，多様なあり方を相互に認め合うことで生まれる全員参加型の活力あふれる社会，いわゆる「共生社会」の実現に貢献するために，放送・サービスを充実させます。

障害者，LGBT，外国人をはじめ多様な人たちが，ありのままの姿で積極的に役割を担って生きることができる社会の実現には，どのような課題があり，どのように取り組めばいいのか。教育や福祉はもちろん，さまざまな分野の番組で考え，実践します。

字幕放送・解説放送・手話放送を計画に基づき充実させるとともに，さらに見やすく，聞きやすく，安心して視聴できるユニバーサル放送・サービスの充実に取り組みます。

【6】地域放送局と本部が連携して，地域の活性化と暮らしに貢献

全国各地の放送局は地域で暮らす人の視点から，役立つ情報や関心の高いテーマ，固有の課題などを積極的に取り上げ，地域社会に貢献します。

全国放送では，地域で制作した番組も積極的に伝えます。豊かな自然・文化・人々の営みなど地域の魅力を全国に広く発信します。

地域経済や地方分権など各地に共通する課題については，地域放送局と本部を結ぶネットワークをフルに活用して，解決に向けた道筋を考えます。

大規模災害時には，全国放送と地域放送それぞれの役割を踏まえて，迅速かつ的確に最新の状況を伝えるとともに，インターネットも活用して，命と暮らしを守るためのきめ細かな情報提供に全力を尽くします。

【7】これからの社会を担う若年層や子どもの教育，健全な育成を支援

豊かで活力と希望にあふれる社会を構築するには，これからの時代を担う若年層やこどもの興味・好奇心を尊重し，正確な知識をもとに“考える力”を育てることが重要だと考えます。

NHKは「若年層や子どもの健全な育成への支援」を，これからの社会における公共メディアの重要な使命として改めて位置づけて，重点的に取り組みます。若い世代のさまざまな好奇心・興味を入り口に，安心して視聴することができる多彩な番組・コンテンツを充実させ，放送だけでなくインターネットも活用して提供していきます。

【8】日本と世界の相互理解を促進する発信を強化

国際社会との相互理解を進めるため，世界の情

勢や各国の動向を正確な情報で伝えます。世界各地の魅力あふれる大自然や文化，芸術，最先端の技術などを，４Kや８Kの映像も活用して，さまざまな番組で紹介します。日本の魅力や文化についても番組やコンテンツの国際展開などを通じて，広く世界に発信します。

また，日本にいる外国人が災害情報や地域の情報を得られるように，国際放送と連携した編成や外国語によるニュースの発信，デジタルサービスによる提供などを行い，日本への理解促進に貢献します。

以上の重点項目は，次のような施策も勘案しながら実施します。

▶これまでの質的，量的評価の手法に加えて，公共放送として果たすべき役割（公共的価値）の実現度を測る評価指標を開発・試行し，より適切な資源管理を行いながら，視聴者の期待に応えます。

▶放送倫理やコンプライアンス意識を徹底し，長年培ってきた取材力・制作力を発揮して，事実に基づく確かな情報の提供と質の高い番組の制作に努めます。

▶NHKの業務に携わるすべての人の健康確保に留意して，創造的で活力ある職場を構築するために，業務フローの抜本的見直しなど働き方改革やダイバーシティー施策の推進，職場環境の整備に取り組みます。

▶２K･4K･8K番組の一体制作，国際放送向け番組や地域向け番組の全国放送での編成など，さまざまな放送波･時間帯での番組のマルチユースを進め，限られた経営資源を効果的・効率的に活用します。

3 各波の編集方針

【1】総合テレビジョン

基幹波として，安全・安心を守る報道に全力をあげて取り組み，何人からも干渉されない放送の自主自律と不偏不党を貫きます。また，インターネットによる放送の常時同時・見逃し番組配信が始まろうとする新たな時代，公共メディアの実現に向けて，公平・公正で社会の指針となるニュースや番組，娯楽・文化・スポーツなどの多彩な番組を充実させます。さまざまな手法で社会的な課題の解決に取り組むキャンペーンを展開します。東京オリンピック・パラリンピックは，数多くの競技中継や関連番組を通じ，大会の盛り上げに寄与するとともに，幅広い視聴者の関心に応えます。これからのNHKの顔となる番組や見る人の心を躍らせる番組，若年層のインターネットでの接触を意識した新たなコンテンツの開発に取り組みます。また，地域の発信力を高め，地域サービスの向上を図ります。

（編集のポイント）

1．幅広い世代，特に現役世代，ネット世代の接触を増やすため，ご覧いただきたい視聴者層を想定した多彩な番組をバランスよく提供

2．東京オリンピック・パラリンピックに関しては，聖火リレーや競技中継，関連番組を数多く編成

3．新たな時代のNHKの顔となる番組，インターネットやデジタル技術を活用した番組の開発・強化

4．BS４K，BS８Kや国際放送などNHKのさまざまな番組を編成

5．地域放送の充実と地域情報の全国発信を推進し，地域サービスを向上

〔放送時間〕

・１日24時間を基本とします。

〔放送番組の部門別編成比率〕

・定時番組について，教養番組20％以上，教育番組10％以上，報道番組35％以上，娯楽番組20％以上を編成します。

【2】教育テレビジョン（Eテレ）

教育，福祉などの重要課題に加え，語学・教養・趣味・食・健康など多彩な番組を編成し，教育放送として幅広い世代の「知りたい」「学びたい」に応えます。番組とインターネットサービスとの連携を充実させ，子ども・若者の接触拡大を図るとともに，視聴者の多様な期待に応え，人々の暮らしに寄り添う放送を目指します。

（編集のポイント）

1．教育，福祉，防災などの課題への総合的取り組み

2．教育現場のICT化に対応し，新時代を生きる子どもたちの学びを支えるコンテンツを整備

3．生活に密着した安心な情報を提供する健康・子育て番組，人生を豊かにする趣味実用・教養番組の充実

4．デジタルコンテンツやイベントと連携し，“見る”だけでなく“体験”を促すサービスを展開

5．“東京2020”への機運を高めるとともに，多様性を認め合い，“ともに生きる”社会の実現に貢献

〔放送時間〕
• １日20時間を基本とします。
〔放送番組の部門別編成比率〕
• 定時番組について，教養番組15％以上，教育番組75％以上，報道番組若干を編成します。

【3】BS1

“ライブ感あふれる情報チャンネル”として，「スポーツ」「ドキュメンタリー」「国際」「地域」の各分野を充実させ，刻々と変化する視聴者の関心事に最大限に応えます。

東京オリンピック・パラリンピックを盛り上げるためのさまざまな関連番組を編成し，多角的に伝えていくとともに，大会後は“東京2020”への取り組みを通じて得られた知見や成果を継承し，新しいスポーツ番組の開発を行います。

また，地域関連番組にも力を入れ，豊かな日本の魅力を発信するとともに，地域固有の課題を広く伝えます。

（編集のポイント）
1．“東京2020”へ向け，幅広いオリンピック・パラリンピックの関連番組を編成し，高まるスポーツ熱や関心に応える
2．“東京2020”大会後，新たなスポーツの魅力を伝える番組や，新演出を取り入れた番組の開発を進め，幅広い視聴者に届けることを目指す
3．世界や日本の今を伝えるドキュメンタリー・報道番組の強化
4．地域の魅力や課題を取り上げる番組の充実
〔放送時間〕
• １日24時間を基本とします。
〔放送番組の部門別編成比率〕
• 定時番組について，教養番組20％以上，教育番組10％以上を編成します。

【4】BSプレミアム

個性と見応えを追求した多彩な知的エンターテインメント番組を提供します。宇宙や大自然，芸術，教養，趣味など，さまざまなジャンルの番組で“スケール感”“本場”“一流”“最前線”にこだわり，格別な満足感を得られるチャンネルを目指します。

（編集のポイント）
1．BS４Kでの放送も前提に，新しい演出の番組を開発
2．幅広い視聴者層を満足させる，週末の大型特集番組の充実
3．東京オリンピック・パラリンピック期間中も多彩なジャンルの番組を編成
4．地域の魅力を発信する番組の充実
〔放送時間〕
• １日24時間を基本とします。
〔放送番組の部門別編成比率〕
• 特に定めない。

【5】BS４K

４Kの機動力と高画質の魅力を生かした幅広いジャンル番組を提供し，超高精細映像チャンネルの先導的な役割を果たします。東京オリンピック・パラリンピック期間中は，競技中継などを通して４Kの魅力を伝え，BS４Kのさらなる普及を目指します。

（編集のポイント）
1．２Kと４Kの一体制作を推進し，多彩なジャンルの番組を編成
2．４Kの機動力を生かした独自の大型企画を充実
3．他チャンネルの番組を一部先行放送し，視聴者サービスを拡充
〔放送時間〕
• １日18時間を基本とします。
〔放送番組の部門別編成比率〕
• 特に定めない。

【6】BS８K

全く新しい視聴体験に挑戦する世界最先端メディアとして，未知なる映像文化を切り開く番組を提供し，“NHKのフラッグシップ”チャンネルを目指します。東京オリンピック・パラリンピックでは，８K独自制作でその特性を生かした臨場感あふれる中継を行い，最高水準の放送サービスの実現に寄与します。

（編集のポイント）
1．BS８Kの認知度の向上を図るため，月ごとにタイムリーなテーマを設け，関連番組を集中的に編成
2．スタジアムやコンサートホールの特等席にいるかのような“臨場感”を体感できる大型中継や収録番組を編成
3．後世に残したい文化財の記録など，８Kならではの特性を発揮できる公共メディアの役割を追求
〔放送時間〕
• １日12時間10分を基本とします。
〔放送番組の部門別編成比率〕

・特に定めない。

【7】ラジオ第１放送

安全・安心を担う“音声基幹波”として，命と暮らしを守る情報を届けます。彩り豊かな番組や地域発の情報を充実させ，幅広い世代の関心に応えます。東京オリンピック・パラリンピックではさまざまな競技の中継に加えて，スポーツやアスリートの奥深さに迫る番組などで，大会を盛り上げます。また，インターネットラジオ「らじる★らじる」のサービス向上や「読むらじる。」の充実などデジタル展開を一層進めます。

〔放送時間〕
・１日24時間を基本とします。
〔放送番組の部門別編成比率〕
・定時番組について，教養・教育番組あわせて25％以上，報道番組35％以上，娯楽番組20％以上を編成します。

【8】ラジオ第２放送

生涯学習波として，多様な知的欲求に応える番組を編成します。また，語学番組の充実を図るとともに，多言語ニュースを強化し，加速する国際化に対応します。インターネットサービスとも効果的に連携し，“いつでも”“どこでも”学べる機会を提供します。

〔放送時間〕
・１日19時間を基本とします。
〔放送番組の部門別編成比率〕
・定時番組について，教養番組15％以上，教育番組65％以上，報道番組10％以上を編成します。

【9】FM放送

“総合音楽波”として，多様で多彩な音楽・芸能ジャンルの番組を編成し，リスナーの関心に応えます。さまざまな世代に，音楽により親しんでもらうことを目指し，人気番組やクラシック番組を拡充します。災害など緊急時には，ラジオ第１放送とも連携して機動的な編成を行い，地域情報波として，ライフラインを中心にきめ細かな情報を提供します。

〔放送時間〕
・１日24時間を基本とします。
〔放送番組の部門別編成比率〕
・定時番組について，教養・教育番組あわせて40％以上，報道番組10％以上，娯楽番組25％以上を編成します。

放送番組の改定

1 4月の番組改定

【1】総合テレビジョン

❶現役世代，インターネット世代との接触増につながるターゲットを明確にした多様なラインナップの番組を提供

午後10・11時台は，引き続き現役世代の多様なニーズに応える時間帯として強化した。午後10時台の各番組の内容時間を見直し，ブラッシュアップを図るとともに，『クローズアップ現代＋』から『時論公論』まで視聴者の生活リズムに沿った一体感のある編成の実現を目指した。

金曜夜間は，インターネット世代向けの番組ゾーンとし，『金曜日のソロたちへ』を継続するとともに，話題のニュースや社会問題などを，新たな手法で伝える番組の開発を進めた。

❷新たな時代のNHKの顔となる番組やインターネットやデジタル技術を活用した番組の開発・強化

『NHKスペシャル』では，この10年の間に，どうすれば危機を回避し，持続可能な未来を実現できるのか視聴者とともに考える大型シリーズ，「2030　未来への分岐点」がスタートした。

また，週末の土曜夜間に特集枠を設けたほか，テレビとネットを融合させた『よなよなラボ』など，これからの時代にふさわしく，テレビの新たな楽しみ方を提供する番組の開発に取り組んだ。

❸BS４K，BS８Kや国際放送など，NHKのさまざまな番組を編成

BS４K，BS８Kならではの壮大な自然・紀行番組や，歴史，ドキュメンタリーを編成する『BS４K８Kセレクション』を継続。また，日本の魅力を再発見する国際放送の番組など，NHKの多彩な番組を厳選して放送した。

❹地域情報の全国発信を推進，地域放送の充実

『にっぽん　ぐるり』を継続するとともに，『ごごナマ』で地域放送局の制作番組を紹介するコーナーを新設した。

『うまいッ！』などの全国放送番組で地域の魅力を発信するとともに，各地の放送局と連携し，地域放送の充実に取り組んだ。

【2】教育テレビジョン（Eテレ）

❶子どもの好奇心を育み，新しい学びをサポートする教育番組の強化

自分が暮らす街の不思議を子どもたちの視点で探っていく『マチスコープ』や，小学校の新学習指導要領に対応した英語番組・プログラミング教育番組などを放送した。また，新入学の児童が学校生活になかなかなじめないという“小１プロブレム”に向き合う番組『すたあと』を新設し，幼稚園・保育所から小学校への円滑な移行の支援に取り組んだ。

❷10代を中心とする子ども・若年層の接触拡大をめざすトライアルの継続

さまざまな趣味を楽しむ若者同士の共感の場を提供する『沼にハマってきいてみた』は，デジタルサービスと連携し，引き続き10代と向き合うことを目指した。さらに，ソーシャルネットワーク上で話題になったEテレの番組をアンコール放送する「Eテレセレクション」枠を設定。人気コミックが原作の『アニメ　メジャーセカンド』の第２シリーズも編成し，新番組の開発にも着手した。

❸オリンピック・パラリンピックに向けて関心を高める番組を充実

パラリンピック競技やパラアスリートの認知度を高める『ハートネットTV』「パラマニア2020」も継続し，応援したくなる国やアスリートを見つける楽しさを提供した。また，英語が苦手な人でもすぐに使える英語フレーズを紹介し，訪日外国人とのコミュニケーションが待ち遠しくなる英語番組を放送した。

❹大人の時間に，人生を豊かにする多彩な教養番組をラインナップ

午後11時台は，さまざまな演出スタイルの教養番組を編成した。SF小説が原作の『アニメ銀河英雄伝説　Die　Neue　These』，漫才やコントの中に潜むビジネススキルを伝授する『芸人先生』，作家と愛猫の暮らしぶりを描く『ネコメンタリー　猫も、杓子（しゃくし）も。』，古今東西の哲学者の言葉をもとに悩みを解決する『世界の哲学者に人生相談』など，大人の視聴者に向け，硬軟織りまぜながら放送した。

【3】BS1

❶最新の情報を伝えるスポーツ番組の強化

『ワースポ×MLB』を土曜は１時間，日曜は３時間放送枠を前倒した。日曜は『ワースポ×MLBサンデー』とし，MLBやプロ野球など当日のスポーツの結果をいち早く伝えるだけではなく，MLBでの日本人選手の一週間の活躍を振り返った。

❷東京オリンピック・パラリンピックの機運を醸成するさまざまな番組を編成

パラリンピック関連の番組を継続して放送するなど，大会に向け，競技や選手の認知度向上を図り，視聴者の関心を高める番組を編成した。

❸地域の情報発信を拡充

金曜・土曜・日曜午前０時台に，全国各地で制作された番組を地域ごとにお届けする『○○推し！』（『北海道推し！』『東北推し！』など），月曜午前０時台に『えぇトコ』『小さな旅』を編成し，地域を舞台にした番組を，より多く発信した。

また，各地を舞台にした自転車の情報番組『チャリダー★快汗！サイクルクリニック』や，全国のさまざまな文化を紹介する『COOL　JAPAN～発掘！かっこいいニッポン～』などでも，地域の魅力を一層引き出せるよう内容の充実を図った。

【4】BSプレミアム

❶幅広い視聴者を満足させる大型特集番組の充実

土曜夜間の『スーパープレミアム』を継続し，自然・紀行・歴史・ドラマなど，多くの視聴者の関心を集める大型特集番組を月１回程度編成した。

❷大人の視聴者の期待に応える番組を編成

平日午後11時に『連続テレビ小説』を移設し，その直後に新番組の『うたう旅～骨の髄まで届けます～』『レギュラー番組への道』やEテレの『やまと尼寺　精進日記』『ふるカフェ系　ハルさんの休日』を編成し，一日の疲れを癒やす，ゆったりした時間をお届けした。

❸ターゲットを意識した夜間帯の編成の強化

平日夜間は，謎と恐怖に満ちた事件，伝説を徹底検証する『ダークサイドミステリー』を好評に応えて再び編成するほか，『美と若さの新常識～カラダのヒミツ～』を午後８時台に移設し，テーマに関心の高い層がより見やすい時間帯を意識した編成を行った。

❹BS４Kとの一体制作の促進

４Kで制作した番組を積極的に編成し，BS４K放送に関心を持っていただくきっかけをつくるとともに，４Kの特性が発揮しやすい高品質の番組の開発に注力した。

❺地域の魅力を発信する時間帯の編成

平日午後７時台は引き続き，地域の自然や特産物，文化など，魅力を存分に紹介する番組を編

成した。

❻金曜夜間の開発番組枠の新設

金曜夜間に『金曜スペシャル』『レギュラー番組への道』の特集番組枠を新設し，衛星放送ならではの満足感を追求する幅広いジャンルの新番組開発を目指した。

【5】BS 4 K

❶“いつもの番組を超高精細映像でもっと楽しむ”2 K波との連携強化

BS 4 Kと 2 K波の一体制作，さらには同時放送を拡充した。4 Kで初めて制作する『連続テレビ小説』「エール」や，『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」，『ダーウィンが来た！』『にっぽん縦断　こころ旅』などを 2 Kと 4 Kで同時放送し，リモコン操作一つで，“いつもの番組を超高精細でもっと楽しむ”という視聴スタイルの浸透を図った。

❷『大河ドラマ』など，人気番組を先行放送

『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」を日曜午前 9 時から編成するほか，『ドラマ10』『プレミアムドラマ』などの人気ドラマを，いち早くお楽しみいただくために総合テレビやBSプレミアムに先行して放送した。

❸気軽に超高精細映像を楽しめる“紀行番組”の拡充

『ニッポン島旅』『歩くひと』『一瞬の、永遠の、にっぽん』を新設し，4 Kの強みを生かした番組演出手法の開発に取り組んだ。

❹“週末は 4 K”4 K独自番組を集中編成

BS 4 KとBSプレミアムが連携して 4 Kで制作するスペシャル番組『スーパー 4 Kプレミアム』を土曜夜間に放送した。

また，超高精細で機動力も高い 4 Kカメラや，明暗差をより豊かに表現できるHDR（ハイダイナミックレンジ）など，最先端の技術を生かした番組や，“映像がきれいだからこそ”初めて発見できる事象を軸にした番組など，4 K独自のスペシャル番組を週末に編成した。

【6】BS 8 K

❶圧倒的インパクトのある 8 Kクオリティーの新作コンテンツを，日曜ゴールデンタイムに集中編成

テレビ放送の新しい世界を切り開き，国際的にも強くアピールする大型番組，誰もが一度は見てみたい“超一流”のコンサートや舞台，息を飲むような映像体験をお楽しみいただく自然番組や美術番組を日曜夜間に編成した。

❷ 8 K中継で最高水準のスポーツ映像体験を

視聴者の関心の高い競技を大迫力で放送し，これまでとはまったく異なる 8 Kならではのスポーツ映像体験を，多くの視聴者に届けることを目指した。

❸後世に伝えたい至宝を世界最高の映像クオリティーで記録する

全国の国宝から「 8 Kで残したい番組」をよりすぐり，圧倒的な臨場感で届けるシリーズ『国宝へようこそ』を継続。

また，世界を代表する美術館や博物館の至宝に，肉眼をも超える映像クオリティーで迫る番組など，8 Kならではのスーパーコンテンツのラインナップの充実に取り組んだ。

【7】ラジオ第 1 放送

❶平日の情報番組をリニューアル

平日の日中帯の情報番組をリニューアルし，ラジオで育ったオトナ世代に「聴く楽しみ」をもう一度提供することを目指した。アーカイブスや全国ネットワークを活用し「NHKだからできる」内容でリスナーの満足度を高めることに取り組んだ。

❷平日夜間帯エンターテインメントゾーンの充実

多彩なジャンルの娯楽番組が並ぶ平日午後 8・9 時台に，新たに魅力的な番組を編成し，より個性的な娯楽ゾーンとして幅広い世代に浸透を図った。

また，「いつでも，どこでも」聴きたいリスナーの期待に応えるべく「聴き逃し」サービスを充実させた。

【8】ラジオ第 2 放送

❶学習指導要領改訂に対応した英語番組の強化

新学習指導要領実施に伴い，必修となる小学校英語に対応した『基礎英語 0』の内容を強化した。英語にふれる習慣をつくるために放送回数を増やし，英語でコミュニケーションする楽しさを伝えた。

❷日本文化の魅力を再発見する教養番組の新設

古典文学や伝統芸能の奥深さと，その楽しみ方を若い世代に受け継ぐ教養番組を新設し，日本文化の魅力を広く伝えた。

❸多言語ニュースの充実

来日・滞在する外国人の中で増加しているロシアやタイの人々に向けたサービスとして，既存の多言語ニュースに加えて『ロシア語ニュース』『タイ語ニュース』を新設した。

【9】FM放送

❶夜間帯に新たな番組を編成

若年層に人気の女性グループをMCに配した新たな番組を平日夜11時台に編成した。

また，日曜午後９時台には解散から50年を迎える「ザ・ビートルズ」の特集を１年限定で放送した。

❷日中帯をより親しみやすい時間帯に

月曜日から土曜日の日中帯は反響が多い歌謡番組を大幅拡大し，さらに満足度の高い時間を目指した。また，クラシックを気楽に楽しむ番組を新設し，幅広い世代に訴求する時間帯を編成した。

2 年度途中の新設番組など

【1】総合テレビジョン

❶新設番組

後半期の改定では，地域放送局が制作した番組を，全国向けに放送する『NHK地域局発』（9.28～）や地域放送局の『昼のニュース』をセレクションし大阪拠点局から伝える『列島ニュース』（9.28～）のほか，日曜深夜に『進撃の巨人The Final　Season』（12.7～）を放送した。

❷ドラマの新シリーズ

『連続テレビ小説』は「おちょやん」（11.30～），『大河ドラマ』では「青天を衝（つ）け」（2.14～）を開始した。金曜午後10時の『ドラマ10』は，「タリオ　復讐（ふくしゅう）代行の２人」（10.9～），「ドリームチーム」（1.22～）を放送した。土曜には，午後６時台の『土曜時代ドラマ』で「子連れ信兵衛２」（11.7～），「立花登青春手控え２」（1.9～）を放送し，午後９時台の『土曜ドラマ』は「ノースライト」（12.12，19），「六畳間のピアノマン」（2.6～），「きよしこ」（3.20）を放送した。午後11時台は，『よるドラ』の「闇魔堂（えんまどう）沙羅の推理奇譚（きたん）」（10.31～），「ここは今から倫理です。」（1.16～）を放送した。

【2】教育テレビジョン（Eテレ）

後半期の改定では，中高生向けの学校放送番組で，さまざまな資料を読み解き，探究する『アクティブ10　レキデリ』（9.25～），数学への苦手意識をなくし，生きるためにマストな数学力を身につけることをねらいとした『アクティブ10　マスと！』（9.25～）を新たに放送した。教養番組では，サカナクション・山口一郎が「音楽に対する固定観念」をとりはらい，「新しい音楽の楽しみ方」を見いだすエンターテインメント実験番組『シュガー＆シュガー』（9.29～），日本を代表する漫画家・浦沢直樹が，漫画家たちの創作の秘密に迫るドキュメンタリー『浦沢直樹の漫勉 neo』（10.1～），アフターコロナの時代の音楽との向き合い方を提案する音楽クリエーター育成番組『ヒャダ×体育のワンルーム☆ミュージック』（1.5～）を新設。アニメでは『アニメ　ログ・ホライズン　円卓崩壊』（1.13～）を新たに放送した。

【3】BS1

野球などのシーズン終了や欧米の冬時間等に伴い，11月２日以降，一部改定を実施した。

土曜午後10時台に，さまざまなジャンルで世界を相手に新時代を切り開くトップランナーたちに長期密着する本格派ヒューマンドキュメンタリー『ザ・ヒューマン』（1.9～），午後11時台には，『球辞苑』の第５シーズン，水曜午後９時台に『パラ×ドキッ！』の後継番組となる『千鳥のスポーツ立志伝』（12.23～）を新設。平日夜間，午後６～10時の多くの時間を「BS戦略フリーゾーン」とし，新型コロナの第２波・第３波に備えるなど，社会の動きや視聴者の要望に敏感に反応し，特集を中心に機動的に編成していくゾーンとした。

また欧米の夏時間の終了に伴い，「PGA」は放送を１時間繰り下げ，日曜および月曜の午前６・７時台に変更し，これに伴い，月曜の午前５時台は『Trails to Oishii Tokyo』を再放送した。

【4】BSプレミアム

後半期の改定では，『ザ・プロファイラー～夢と野望の人生～』（10.1～）を半年ぶりに編成。また，老若男女，さまざまな世界で活躍する人々が火を囲み，心行くまで炎の揺らめきを眺め，思いのままに語る，異色のタキ火エンターテインメント『魂のタキ火』（10.6～），現代科学が挑む最難＆最新のフロンティア，「わたしたちの身体と心」に隠された驚異の世界を，最新研究と高精細CGで描く，本格知的エンターテインメント『ヒューマニエンス　40億年のたくらみ』（10.1～）を新設した。

【5】BS４K

後半期の改定では，火曜午後11時台に『ウルトラセブン』全48話を４Kリマスターし，放送したほか，日曜午後６時台に個性的なオランウー

タンの孤児たちのドラマとハプニングを描く『オランウータン・ジャングルスクール　season2』（10.4～）を新設した。

【6】ラジオ第１放送

プロ野球デーゲーム終了に伴い，土曜の午後の編成を改定した。午後２～３時台に日本を代表する俳優・歌手の大竹しのぶさんが“NHKで初めて”パーソナリティーを務めるトーク番組『大竹しのぶの“スピーカーズコーナー”』，午後４時台にNHKフレッシャーズキャンペーンのイメージキャラクターを務めた３人組ロックバンド「ヤバイTシャツ屋さん」がお届けする音楽バラエティー番組『ヤバイラジオ屋さん』を新設した。

国内放送番組審議会

（各審議会委員一覧⇒p.662）

1 概要

放送番組審議会は，放送事業者に対して放送法で設置が義務づけられている法定の審議機関である。NHKは国内放送に関わる「中央放送番組審議会」と８つの「地方放送番組審議会」，国際放送に関わる「国際放送番組審議会」（⇒p.119）を設置している。

番組審議会は，放送番組の適正を図るための自律措置として設けられているものであることから，委員の人選にあたっては学識経験者などの中から，社会動向や属性など全体の調和を考え，視聴者の意向が的確に反映されるよう，幅広い観点から委嘱を行っている。委員数は，21年３月現在で中央審議会は17人，地方審議会は10～12人で組織している。会議は，毎月１回の定例開催日に議題を設けて実施している（８月は休会）。会長の諮問に応じて全国向けの「国内放送番組編集の基本計画」と各地域向けの「地域放送番組編集計画」について審議し，答申したほか，番組全般について意見交換を行った。

2 中央放送番組審議会

中央放送番組審議会は，20年度中に11回開催し，会長の諮問により，12月に「2021年度（令和３年度）国内放送番組編集の基本計画」について審議し，答申したほか，広く国内放送番組全般について活発な意見交換を行い，放送番組への反映を図った。

また，５月に19年度下半期，11月に20年度上半期の国内放送番組の種別および種別ごとの放送時間について報告した。

▶20年度中の主な議題

４月　放送番組一般について

５月　経営計画における「達成状況の評価･管理」（19年度第４四半期・１～３月），放送番組の種別および種別ごとの放送時間（19年10月～20年３月分），放送番組一般について

６月　放送番組一般について

７月　経営計画における「達成状況の評価・管理」（20年度第１四半期・４～６月），『これでわかった！世界のいま』「全米に拡大するデモ　過激化のウラに何が？」について

９月　放送番組一般について

10月　20年度後半期の国内放送番組の編成，21年度の番組改定，放送番組一般について

11月　経営計画における「達成状況の評価・管理」（20年度第２四半期・７～９月），放送番組の種別および種別ごとの放送時間（20年４～９月分），「2021年度（令和３年度）国内放送番組編集の基本計画（案）」，放送番組一般について

12月　「2021年度（令和３年度）国内放送番組編集の基本計画（案）－諮問－」，放送番組一般について

1月　「NHK経営計画 2021－2023年度」，放送番組一般について

2月　経営計画における「達成状況の評価･管理」（20年度第３四半期・10～12月），「2021年度（令和３年度）国内放送番組編成計画」「2021年度（令和３年度）インターネットサービス実施計画」，放送番組一般について

3月　放送番組一般について

3 地方放送番組審議会

全国８つの地域ごとに「地方放送番組審議会」が設けられ，各地域の放送番組の基本方針を審議している。

20年度中に各地域とも11回開催し（近畿地方，中部地方，九州沖縄地方，北海道地方，四国地方は10回），会長の諮問に応じて「2021年度（令和３年度）各地方向け地域放送番組編集計画」について審議し，答申したほか，番組全般について意見交換し，その適正化を図った。

放送番組の制作

報道・スポーツ番組

1 取材・制作・放送システム

【1】ニュース取材・制作設備

ニュースセンターではテレビやラジオ，NHKオンラインやNHK防災アプリなどを通じて，国内外のニュース・報道番組を迅速・的確に放送・配信するため，取材や制作を支えるさまざまな設備やシステムを活用している。取材制作の基幹システムとなる報道情報システムを中心に映像サーバーシステムや送出システム，緊急報道設備など各システムを連携させニュースコンテンツの取材・制作・送出を行っている。

20年度は新型コロナ感染防止への対応を設備面においても取り組み，リモートによるインタビュー収録やリモート出演の中継設備を構築した。また密を避け業務分散を図るため，取材制作に利用する報道情報システムや映像サーバーシステム，連絡システムをニュースセンター外からも遠隔で操作できるよう設備対応をした。

またAI技術の活用により自動音声合成「ニュースのヨミ子」によるナレーション作成ツールや，英語をはじめとする40言語に対応した多言語字起こしツールの開発を行い，効率的な制作環境を整備した。海外総支局の設備整備では，コロナ禍により海外への渡航制限が継続したため，現地スタッフや現地業者と協力し東京からリモートで支援してヨーロッパ総局・ジャカルタ支局の移転対応および広州支局のスタジオ制作・伝送設備更新を実施した。

【2】報道情報システム

報道情報システムは，ニュース原稿の作成から制作，送出までを担うNHKの報道を支える基幹システムである。運用性・業務継続性向上のためシステムを構成するサーバー群を順次，仮想化基盤に集約する作業を18～20年度にかけて実施し，21年３月までに21のサブシステムの移行作業が完了した。

また，通信設備としては，業務用のパソコンやスマートフォンから報道情報システムに接続するための接続装置を老朽更新したほか，大阪拠点放送局のバックアップ機能を担う衛星データ通信設備も機能維持のため設備を入れ替える作業を実施した。さらに，記者クラブなど取材前線と本部放送センター間のデータ通信の高速化を図るため，４か所を対象に専用回線の再敷設作業を行った。

コロナ禍でのリモート制作のため，約50式の画面転送型専用端末を展開したほか，感染防止のための社会的距離を確保するため，放送センター内18か所に約50式の専用端末を臨時で設置し，作業スペースを分散した。

2 緊急報道

20年度も豪雨や台風などの災害が相次ぎ，NHKは公共メディアとして国民の命と暮らしを守る使命を果たすため，防災・減災報道に総力を挙げて取り組んだ。災害の危険が高まり切迫した状況となっていることを可能な限り伝え，自分の身を守る行動を促す報道を目指し，特設ニュースやデータ放送，逆L字型の字幕などで伝えた。

ロボットカメラやヘリコプター中継，インターネット回線を使った「IP中継」などを活用し，現場の様子を迅速かつ機動的に伝えた。地域放送では被災者が必要とするきめ細かい生活情報を詳しく伝えたほか，新型コロナウイルスの感染拡大を受けて，避難所での感染防止策もあわせて伝えた。

関連ニュースのインターネットへの同時配信や，スマートフォンのアプリ「NHKニュース・防災」など多様な媒体を通じて情報を発信した。

【1】自然災害

❶ ７月豪雨

日本付近に停滞した前線の影響で暖かく湿った空気が継続的に流れ込み，７月は各地で大雨となり川の氾濫や土砂崩れなどが相次いだ。

７月３日から８日にかけては，特に九州や岐阜県周辺で記録的な大雨となり，気象庁は熊本県・鹿児島県・福岡県・佐賀県・長崎県・岐阜県・長野県のあわせて７県に大雨特別警報を発表し，最大級の警戒を呼びかけた。この雨の影響で熊本県を流れる球磨川が氾濫し，総務省消防庁によると，熊本県内では65人が死亡，２人が行方不明になるなど大きな被害が出た。その後も，13日から14日にかけては中国地方，27日から28日にかけては東北地方を中心に大雨となり，山形県の最上川が氾濫するなどの被害が出た。

NHKは通常の番組を変更して大雨の状況や各地の被害状況を伝え，７月は70時間余り大雨関連のニュースを放送した。ロボットカメラや国土交通省の河川カメラの映像を活用して被害の実態を詳細に伝えたほか，河川の専門家による解説や，地図やグラフを用いた記者解説などを行った。テレビやラジオでライフライン放送を実施したほか，データ放送やインターネットサイト，アプリでも気象情報や避難情報などを詳しく伝えた。

❷台風10号

台風10号は大型で非常に強い勢力で９月５日から６日にかけて沖縄地方，その後６日から７日にかけて九州に接近した。この台風の影響で，南西諸島や九州を中心に暴風，大雨，高波，高潮となり，長崎市野母崎で気象台が統計を取り始めてから最も強い59.4メートルの最大瞬間風速を観測した。気象庁は，当初「台風の特別警報を発表する可能性がある」としたが，その後台風の勢力は強まらず，特別警報の発表には至らなかった。

NHKは台風10号が接近する前から，通常の番組を変更して台風関連の特設ニュースを放送し，台風への警戒を呼びかけた。接近前には気象庁の記者会見や台風に備える各地の動きを伝えたほか，避難を早めに始めるよう逆L字型の字幕で呼びかけた。また，鹿児島県の十島村と三島村で台風に備えた島外避難が行われるという情報を得て，住民が自衛隊のヘリコプターや村営の船に乗って避難する様子を伝えた。

３日から７日にかけて，台風関連のニュースをテレビの特設ニュースなどで27時間余り放送した。ニュースサイトやTwitterの公式アカウント等でも情報発信した。

❸福島県などで震度６強の地震

21年２月13日の午後11時すぎ，福島県沖を震源とする地震が発生し，宮城県と福島県で最大震度６強の揺れを観測した。内閣府によると，この地震で185人がケガをしたほか，東京電力管内と東北電力管内で最大95万戸が停電するなどの被害が出た。

NHKは地震の発生直後から特設ニュースを始め，ヘリコプターからの中継や各地からの中継リポートなどで被害状況をリアルタイムで伝えた。

【2】映像取材体制

❶航空取材

全国12の基地で計15機のヘリコプターを機動的に運用し，超広域化，甚大化する自然災害など緊急報道に迅速に対応した。20年７月の熊本豪雨災害や９月の台風10号被害，21年２月の福島宮城の震度６強地震の取材では，隣接基地の応援など，ヘリを同時に運用し，複数箇所の同時取材や長時間の取材・放送を可能にした。また，航続距離をはじめヘリとは異なる特性を持つ固定翼機も状況に応じ活用した。

ヘリや固定翼機など運用できない状況下でも空撮ができるよう，ドローンでの取材体制作りを進めた。操縦者の育成にも取り組み，12月の新潟県内で起きた大雪による関越自動車道立ち往生では現場の状況をいち早く伝えた。

❷IP中継・伝送体制

インターネットを利用して，映像伝送や生中継が可能なIP機器の充実をはかり，全国各地で大きな被害が相次いだ７月の豪雨災害の様子や，新型コロナウイルスの感染状況や対策を発信する国や自治体等の会見など，きめ細かく中継で伝えた。災害時に地上のインターネット通信が使えない場合も想定して，高速通信が可能な小型衛星通信端末を導入し，あらゆるケースでIP機器を活用できるよう体制整備を進めた。

❸デジタル展開や４Kへの取り組み

新型コロナウイルス関連の記者会見や災害現場の空撮など，社会の関心の高い出来事を中心に，取材映像や各地のロボットカメラ映像のライブ発信を，ネット向けに年間で2,700回余り行った。また新型コロナウイルス予防や，災害への備えを呼びかけるショート動画を作成し，NHK NEWS WEBやSNSで発信した。

各局で積極的に４K取材に取り組み，『BSニュース４K』では，高精細な４K映像の企画ニュースを，年間でおよそ170本発信した。

❹東日本大震災

震災10年目となった20年度，新型コロナウイルスの感染予防を徹底しつつ被災３県への全国応援を継続し取材を続けた。

これまでおよそ100か所で撮りためてきた定点撮影映像をもとに被災地の10年の道のりを振り返りニュースや番組などで発信した。また，画像立体化システムを使って，廃炉作業が続く福島第一原発や周辺の変化を読み解き伝えた。

８Kで記録してきた被災地の映像を日本科学未来館で開かれた「震災と未来」展で公開した。

3 選挙システム

本部コンピューター（i-EDBS）と全国の選挙端末をネットワークで結び，出口調査や最新の開

票データなどを集計する。当選確実の判定や，番組・データ放送・インターネットなどの開票速報画面の作成などを行う。

【1】システム等

❶i-EDBS

データ集計（出口調査・集票）から作画システムのデータ格納まで行う根幹システム。選挙データベースから生成される選挙データ（EDT）を展開し，集計処理と各システムへのデータ配信をつかさどる。

❷候補者データベース

選挙に関する基本情報（候補者名，肩書，選挙種類，投票日，投票結果などの各データ）を格納するシステム。関連設備との連携対応を実施した。

❸選挙データベース

候補者データベースと連携し，各局事務局記者が作成する各種選挙情報（票読み，開票所情報等）を選挙データ（EDT）として格納する。

❹期日前出口調査システム

自治体設定機能，時系列集計機能，分岐設問対応の改修を行った。

❺dWebシステム

衆院選へ向けた改修，首長選結果WEB機能，選挙結果検索index管理機能も追加した。

❻FACE, KINDS

FACEシステム（開票速報作画装置），KINDSシステム（当確当選者速報作画装置）は東京都知事選，自民党総裁選，大阪都構想住民投票，各地方選でも安定運用した。

❼EMAPシステム

開票速報番組において，解説者による地図イメージに特化した演出を想定した解説用作画装置。東京都知事選，大阪都構想住民投票で安定稼働した。

❽アメリカ大統領選開票速報システム

本選挙で州ごとにAP通信から配信されるデータをNHK NEWS WEB特設サイトや開票速報画面へ反映するシステム。11月４日（日本時間）より，21年１月５日まで本番運用した。

❾ワシントン支局選挙LAN整備【建設計画】

選挙LAN上にVPN装置を整備した。ワシントン支局他からアメリカ大統領選開票速報システムの参照が可能となり，番組演出に寄与した。

❿出口自動原稿化システム

当日出口調査結果を基に，原稿を自動的に生成し，原稿取材ホストへ転送するシステム。11月15日の栃木県知事選・宇都宮市長選で運用を開始した。

⓫候補者アンケートシステム

立候補予定者へ事前アンケートを実施し，結果をウェブ等へ反映させるためのシステム。アンケートフォームの生成機能や結果データの集計など，開発を開始した。

4 海外と日本を結ぶ映像ネットワーク

NHKでは，世界で起きた紛争や災害，国際情勢，スポーツ中継などに24時間体制で対応するため，海外総支局や海外のさまざまな現場を結ぶ国際映像ネットワークを調達契約し運用している。

【1】国際回線からグローバルICT基盤へ

19年度より，これらのネットワークは従来型の「回線」から，IP-クラウドなどを活用したICT基盤へと進化を始めた。歴史的な役割を終えたと考えられた欧州と日本を結ぶCバンド衛星回線（欧日専用線）を19年度より廃止。IP回線や報道用映像クラウドシステムとの連携を行い，スピードと効率性，リスク分散の両立を実現した。

映像のファイル配信を行う海外の放送局や通信社，放送連合も多くなり始めていることなどから，映像ファイルを自動的に基幹システムに取り込む仕組みを構築し，19年度下半期より欧州放送連合（EBU）系のユーロビジョン（EVN）ファイル映像の取り込み業務から運用を開始した。これらの仕組みと後述のAI基盤とを融合させる開発を20年度より開始し検証を行っている。

【2】IP-ITと緊急報道

海外の政情不安・テロ・災害等の緊急報道では，NHKの海外総支局や取材現場だけでなく，世界各地の放送機関や通信社などからの映像を迅速に入手することが重要となる。放送センターには，海外からの映像入手を専門に扱うチームが24時間体制でIP-ITなどによる映像伝送路の確保を行い現場の記者やカメラマンを支援している。

NHKでは世界のおよそ20の国と地域から映像を受信しBS1の放送などで利用している。緊急時にはこれらの映像の利用に加え，現地の放送機関や通信社・映像プロダクションなどに直接連絡をして映像入手を行っている。SNSなどに一般の人から投稿される映像UGC（User Generated Contents）もニュースの重要なコンテンツとなってきている。

【3】ICT基盤から映像解析基盤へ

通信のデジタル化が進み，これまでの「伝送」は，あらゆる所で自在に映像をアップロード・ダウンロードする「共有」に変わりつつある。そして技術の進歩により，それらは広義のデータとして活用されるようになってきた。こうした背景から実現したのが，多言語映像音声を対象としたAI解析基盤の開発である。19年度から運用を始めた「海外外部映像の自動字起こし・簡易翻訳」の仕組みを，20年度はさらに発展させ，NHKイントラネットと接続，協会の認証基盤とも連動させることで，セキュリティーを向上させ，ユニ素材の音声解析に対象を広げるなど運用範囲を拡大した。また，同じAI解析機能を報道用映像クラウドに移植し多言語業務環境の改善を行った。

【4】国境を越える映像交換基盤

NHKでは，国際ICT基盤を使って内外のニュース映像を海外の放送機関や放送連合（ABU／アジアビジョン，EBU／ユーロビジョン），国際通信社などにも提供している。

21年度に向けては，こうした映像提供基盤を前述のIT・AI基盤と融合させ，業務の効率と効果の改善を図る計画となっている。

5 ニュース

【1】概要

新型コロナウイルスの感染が拡大し，21年３月１日現在，国内で感染確認は43万4,000人余り，亡くなった人は7,900人を超える事態になった。

経過を振り返ると，政府は20年４月，７都府県に新型コロナウイルス特別措置法に基づく緊急事態宣言を発出し，全国に拡大させた。その後，５月に全国で宣言を解除した。しかし，感染の再拡大に伴い，21年１月，首都圏１都３県に宣言発出，11都府県に拡大させた。２月，10都府県で宣言延長，３月に１都３県で宣言再延長したのち，同月，約２か月半にわたる宣言を解除した。

この間，休校や，飲食店などの休業・営業時間短縮，医療提供体制のひっ迫，観光客減少，倒産や解雇，著名人の死亡や自殺者数増加，東京オリンピック・パラリンピック延期など，暮らしや経済に深刻な影響が出た。20年４～６月のGDP伸び率が年率－29.3％と，比較可能な94年度以降最大の落ち込みとなった。

政府は緊急経済対策として現金10万円一律給付や全世帯布マスク２枚配布，持続化給付金や「Go To キャンペーン」などを実施した。入国を制限し，水際対策も強化した。また，通常国会で事業者財政支援と罰則セットの改正特別措置法を成立させた。21年２月には，ワクチンを国内で初めて正式承認し，医療従事者を対象にした先行接種が始まった。変異ウイルス感染者数も増える中，感染防止と社会経済活動の両立をどう図るかが問われた。

この間の国内の主なニュースを振り返ると，20年６月，新型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」の山口県・秋田県への配備を断念した。

７月，将棋の藤井聡太七段が17歳11か月の最年少でタイトルを獲得した。

８月，持病悪化を理由に安倍首相が辞任表明した。連続在任期間，通算在任期間は歴代最長となった。

９月，立憲民主党と国民民主党など合流，立憲民主党結党，150人規模の野党第１党が発足した。自民党総裁選を経て，官房長官の菅義偉氏が第99代首相に選出された。

10月，日本学術会議の会員に推薦された６人を首相が任命せず，独立性が議論になった。

11月，立皇嗣の礼が行われ，退位・即位の一連の儀式が終わった。「大阪都構想」住民投票で反対多数となった。野口聡一さんが３回目の宇宙飛行。民間宇宙船で国際宇宙ステーションへ向かった。

12月，探査機はやぶさ２が小惑星リュウグウのサンプル持ち帰りに成功した。映画「鬼滅の刃」興行収入歴代１位となった。人気グループ「嵐」が活動を休止した。鳥インフルエンザが国内養鶏場で拡大した。

21年１月，初の大学入学共通テストが実施された。

２月，緊急事態宣言中，深夜に銀座のクラブに出入りした公明党・遠山清彦衆議院議員が議員辞職し，松本純元国家公安委員長ら自民党衆議院議員が離党した。公立小学校１クラス定員35人以下引き下げ改正案が決定した。東京オリンピック・パラリンピック組織委員会の森会長が女性蔑視と取れる発言の責任を取って辞任し，新会長に橋本聖子氏が選ばれた。総務省幹部ら接待問題が明らかになり，「東北新社」に勤める菅首相長男らから接待を受けた谷脇康彦総務審議官ら11人が処分され，同様の接待を受けた山田真貴子内閣

広報官が辞職した。NTT社長らから接待を受けた谷脇氏は事実上更迭された後，辞職した。外資規制違反状態で「東北新社」子会社継承の衛星放送事業認定が取り消されることになった。接待問題を受け総務省が会食調査，第三者委で政策決定プロセスの検証が行われた。

一方，政治家を巡る事件が相次ぎ，20年６月に河井克行元法相と妻の案里元参議院議員が公職選挙法違反容疑で逮捕された。案里元議員は有罪確定。河井元法相は被告人質問で無罪主張を一転させ，起訴内容の大半を認め議員辞職の意向を示した。

12月，「桜を見る会」前日に開催された懇親会の費用を巡り，安倍前首相秘書が政治資金規正法違反罪で略式起訴された。一方，安倍前首相は不起訴となった。

21年１月，吉川貴盛元農相が大手鶏卵生産会社側からの収賄罪で在宅起訴された。

20年５月に東京高検元検事長の賭けマージャンが発覚し，起訴猶予となるも検察審査会の起訴相当議決を受けて検察が再捜査，21年３月，略式起訴された。

中高年となったひきこもりの本人が高齢の親とともに孤立してしまう「8050問題」が深刻な社会問題となり，多様な支援が求められている。

21年３月11日，東日本大震災と東京電力福島第一原発事故の発生から10年，各地で追悼式が行われた。死者と行方不明者は「震災関連死」を含めて少なくとも２万2,200人に上る。暮らしの再建や心のケア，放射性廃棄物の処理などが課題。教訓を生かし，大規模な災害への備えが求められている。

外交では20年10月，日米豪印外相会合が開かれた。また，菅首相が就任後初めての外国訪問として，ベトナムとインドネシアを訪問した。

11月，菅首相が，米大統領選で勝利宣言を行ったバイデン氏と電話会談を行った。王毅中国外相が来日した。

21年１月，菅首相，バイデン米大統領と就任後初の電話会談を行った。

３月，日米豪印首脳の初会合をオンラインで開催した。バイデン政権発足後初の日米外務・防衛閣僚協議「２プラス２」を開催し，中国の海警法施行などへの深刻な懸念を共有，東シナ海など海洋進出に反対で一致した。

日韓関係は，慰安婦問題を巡り，韓国裁判所で日本政府に賠償を命じた判決が確定するなど，戦後最悪とされる状況が続いた。

経済では10月，東京証券取引所で終日，取引できない大規模トラブル発生，宮原社長が辞任した。

11月，RCEP（地域的な包括的経済連携）合意，巨大自由貿易圏が誕生した。

12月，2050年脱炭素社会実現に向けた実行計画が策定された。

21年２月，日経平均株価が30年６か月ぶりに３万円台を回復した。

３月，みずほ銀行システムトラブルが発生し，全国各地でATMが利用できなくなった。

自然災害では20年７月，豪雨により河川氾濫など相次ぎ，熊本県を中心に84人が死亡した。

20年から21年にかけての冬は，日本海側で記録的大雪となり，車の立ち往生が相次いだ。

21年２月，福島県と宮城県で震度６強の地震発生。

３月，宮城県で震度５強の地震発生，津波注意報が出された。

スポーツでは８月，史上初，春夏とも全国大会中止の高校野球の交流試合を開催した。

９月，テニス全米オープンで人種差別抗議を続けた大坂なおみ選手が優勝，全豪オープンも制し，四大大会での優勝が４回となった。大リーグ・ダルビッシュ有投手が日本人選手初，最多勝タイトルを獲得した。

11月，プロ野球ソフトバンクが４年連続日本一。サッカー，元アルゼンチン代表のマラドーナ氏が逝去した。

21年２月，びわ湖毎日マラソンで鈴木健吾選手が２時間４分56秒の日本新記録で優勝した。

３月，２年ぶりにセンバツ高校野球が開催された。“平成の三四郎”柔道・古賀稔彦さんが逝去した。東京五輪の聖火リレーが始まった。

海外では，新型コロナウイルスの感染拡大で経済活動が厳しく制限され，ワクチン接種も始まったが収束していない。

アメリカでは20年11月の大統領選挙で国際協調を掲げるバイデン氏がトランプ氏を制して勝利した。

欧州では12月，EUを離脱したイギリスが自由貿易協定締結で合意した。

ロシアでは７月の憲法改正でプーチン大統領の任期が延長される一方，８月に野党指導者ナワリヌイ氏が化学兵器による襲撃を受けたとされた。

中東ではイスラエルがUAE（アラブ首長国連邦）などと国交正常化で合意した。

中国では，６月に香港で施行された「国家安全維持法」で民主活動家の逮捕・起訴が相次いだ。

21年２月，ミャンマーの軍事クーデターに全土で市民抗議，治安部隊発砲などで多くの死傷者が出た。

３月，およそ１年ぶりに北朝鮮が弾道ミサイルを発射した。

【2】主なニュース番組

❶総合テレビ

毎正時のニュースのほかに早朝から深夜まで，視聴者の生活サイクルを踏まえ，それぞれの時間帯に即したニュース番組を放送した。

朝の『NHKニュース　おはよう日本』や午前の動きをまとめた『正午ニュース』，夕方には最新ニュースやトレンドなどを伝える『ニュースシブ５時』，そして国内外のニュースを多角的に掘り下げて伝えるメインニュース『NHKニュース７』や『ニュースウオッチ９』，深夜11時台には，１日の出来事をコンパクトに伝える『ニュースきょう一日』を放送した。

さらに，土曜には１週間のニュースを高精細な４K映像などで伝える『週刊まるわかりニュース』，日曜には海外ニュースを分かりやすく伝える『これでわかった！世界のいま』を放送した。

全世界に拡大した新型コロナウイルス，国内での感染拡大を受けた緊急事態宣言，そして東京五輪・パラリンピックの延期，７月に九州を襲った豪雨災害，菅内閣発足，アメリカ大統領選挙など大きなニュースの際は，放送枠の拡大や特設ニュースによって分厚く伝えた。

20年度の放送枠の拡大回数は348回・約137時間，特設ニュースは254回・約153時間に達した。また，視聴者にいち早く情報を知らせるため画面に文字で第一報を伝えるニュース速報では，主要なニュースのほか地震情報や交通情報など安全・安心に直結する情報を伝えた（数字は21年２月末時点）。

❷Eテレ

手話ニュースは，毎日伝える『NHK手話ニュース』と月曜～金曜の夜の『NHK手話ニュース845』，土曜の『週間手話ニュース』，日曜の『こども手話ウイークリー』の４番組を放送した。

❸BS1

『BSニュース』は，平日は毎日朝５時台から午後11時台まで，土日祝日は朝８時台から午後11時台までの毎時50分から10分間を基本に国内外のニュースや各地の話題をコンパクトにまとめて伝えた。また平日の昼12時台と夕方５時台は15分間，『BSニュース４K』と同時放送で伝えた。

❹R1・FM

新型コロナウイルスの感染拡大を受け，定時ニュースの枠を拡大したりニュース枠を特設したりして，関連のニュースを伝えた。また，２度の緊急事態宣言の発出に伴い，「生活情報」を４月８日以降５月29日までの間と，１月８日から22日までの間，特設して放送した。

『安心ラジオ』でもコロナ関連情報を重点的に扱った。『安心ラジオ』は，地震・津波，風水害などに備えた最新の取り組みの紹介なども含め年間101本を制作・放送した。このうち６本は，初めてAIアナウンサーの「ヨミ子」が担当した。

ラジオニュースは災害の発生時，または災害のおそれがある時に“減災・防災”につながる情報の発信が求められている。このため20年度も緊急対応力の強化を図った。

首都直下地震に備えて，渋谷の放送センターが機能喪失した場合に関東地方向けラジオ放送を継続するため整備された「さいたま局報道別館」で11月に訓練を実施した。

２月に宮城県と福島県で震度６強を観測した地震では，翌朝９時まで特設枠を確保するなど，柔軟な編成ができるラジオの強みを生かして対応した。

九州や岐阜，長野，山形など各地で被害が相次いだ「７月豪雨」では，ニュース枠を拡大し，警戒を呼びかけるとともに，被害・避難情報などの提供を続けた。また，熊本局にデスクを派遣し，ライフライン情報の制作・送出を支援した。

９月の台風10号では，特別警報の発表も想定されたため，事前の防災・減災の呼びかけに力を入れた。九州に接近した６日夜から７日朝にかけては，毎正時のニュース枠を15分に拡大し，毎30分からも10分のニュースを特設し，切れ目なく情報提供を続けた。

選挙については，７月の東京都知事選挙では，開票速報を午後７時55分から午後11時台まで，延べ１時間20分にわたって特設した。

11月の米大統領選挙は，開票日当日に当選者が決まらない異例の事態になったが，定時ニュースの枠広げや特設ニュースを柔軟に編成し，専門家にも待機してもらって，随時，最新の情勢を多角的に分析しながら伝えた。

このほか，国内外の大きな動きにあわせて随時，特設ニュースを編成したり，定時ニュースの放送枠を拡大したりして，必要な情報の提供に努めた。

【3】ニュースサイト「NHK NEWS WEB」

NHKのデジタルサービスの基幹として，NHK

の各取材部門や各地の放送局が取材したさまざまなニュースをインターネットでいち早く公開している。全国の記者が深く掘り下げた「WEB特集」や，いま話題や問題になっている事象をスピーディーに取り上げる「News Up」も掲載している。

❶ライブストリーミング

ライブストリーミングは，19年度の約３倍にあたる回数に上り，特に新型コロナウイルスの際には各地の自治体の感染確認の記者会見などを丁寧かつ積極的に実施した。

❷NHKニュース・防災アプリ

「NHKニュース・防災アプリ」は最新ニュースや災害情報，ライブ配信などをまとめて提供するNHK公式アプリとして，ユーザーに定着している。

❸特設コンテンツの展開

「新型コロナウイルス」など関心の高いニュースについては特設サイトを積極的に立ち上げ，情報がまとめて分かりやすく見られるよう工夫した。このほか子育て中の女性記者の気付きからスタートした「孤育てサイト」，全国の注目選挙を中心に開票結果などをまとめた「NHK選挙WEB」，「東日本大震災　あの日から10年」「東京オリンピック・パラリンピック」「戦跡」など多くのサイトを開設・運用している。

❹リーチ拡大に向けて

「NHK NEWS WEB」の動画ページでショート動画を積極的に掲載。放送局の強みを生かして事件事故の一報映像に加えて災害や新型コロナウイルス注意点について呼びかけ映像などを40秒から１分余に編集して随時制作し，掲載した。

LINEのアカウントメディアに公式アカウント「NHK NEWS」を開設し，女性や若者をターゲットに独自のオーダーを組んで展開している。これまでNHKのコアユーザーではなかった層へのリーチ拡大を図り，登録は200万を超えている。

【4】支局

❶北海道

九州の２倍以上ある広大なエリアを守備範囲とする北海道内の各放送局では，地域に密着した情報発信や視聴者サービスで，支局が重要な役割を果たしている。

札幌局・千歳支局は，北海道の玄関口・新千歳空港を所管しており，新型コロナウイルス感染拡大による訪日外国人の減少や，道内の観光産業への影響などを伝えた。

札幌局・小樽支局は，核燃料廃棄物の最終処分場の選定をめぐって，寿都（すっつ）町長が，町民への説明なしに文献調査を受け入れようとしていたことを他社に先駆けて報じ，その後の町政の混乱や議会の動きなどを伝えた。人口減少や産業の停滞が進み，国からの交付金をあてにせざるを得ない自治体の苦しい実情を番組などで描いた。

札幌局・岩見沢支局は，かつて財政破綻で事実上，国の管理下に置かれた夕張市で，スキー場運営会社の経営破綻や工場の閉鎖が相次ぎ，市民に不安が広がっている様子を伝えた。

旭川局・稚内支局は，新型コロナウイルス感染拡大で海外との往来が厳しくなる中，地元の大学生たちがオンラインでサハリンの大学生たちと交流した話題など，コロナ禍がもたらしたロシアとの交流への影響を伝えた。

釧路局・根室支局は，２月７日の北方領土の日を中心に，新型コロナウイルス感染拡大で，領土返還を求める署名活動や元島民の集会に影響が出ている様子を伝えた。

室蘭局・苫小牧支局は，北海道胆振東部地震の被災地で復興が進む様子や，有珠山で規模の小さい火山性地震が相次ぎ，周辺の自治体や住民が警戒を強めている様子などを伝えた。

❷東北

東北の支局は，東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故から10年となる被災地の現状と課題を全国に発信したほか，一次産業の動向や繰り返される災害，新型コロナウイルス感染拡大に伴う地域経済や社会への影響などを伝えた。

仙台局・石巻支局は，多くの児童が犠牲になった大川小学校など震災遺構の保存をめぐる動きや，防災教育・震災伝承の課題，東北電力女川原発２号機再稼働に対する地元議論の経過を伝えた。

仙台局・気仙沼支局は，復興予算に支えられてきた子どものための事業の現状や課題，震災発生直後に南三陸町で高校生や教師が高台を降りて人命救助にあたっていたという秘話などを伝えたほか，記録的不漁が続くサンマ漁をはじめ水産業の苦境と産業振興に向けた地元の動きを伝えた。

秋田局・大館支局は，鹿角市の老舗ホテルの事業停止による地域経済への影響を継続的に発信したほか，NASAが打ち上げた火星探査車の開発に携わった大館市出身のエンジニアを取材し，国際放送を通じて世界に伝えた。

秋田局・横手支局は，12月以降の記録的な大雪による生活への影響や農業被害などを発信した

ほか，菅総理大臣就任を受けた地元湯沢市の動き，コロナ禍で中止や縮小が相次いだ地域の伝統行事をめぐる動きを発信した。

山形局・鶴岡支局は，震度６弱を観測した山形県沖の地震から１年がたった地域の状況を取材したほか，コロナ禍で注目されたテレワークの取り組みについて全国に伝えた。また，東日本大震災で宮城県南三陸町の支援に生かされた庄内町との支援協定や連携について番組で発信した。

山形局・酒田支局は，コロナ禍が地域経済に与えた影響をさまざまな企業に取材して全国に発信したほか，酒田市の観光名所「山居倉庫」など，地域の活性化につながる話題を繰り返し伝えた。

山形局・米沢支局は，６月に新型コロナウイルスの元患者の証言を伝え，感染や差別の防止に役立つ情報をいち早く提起したほか，AIスピーカーを高齢者の生活支援に活用する実証実験など，将来の社会像のヒントになる企画を発信した。

盛岡局・大船渡・陸前高田支局は，震災で甚大な被害が出た陸前高田市や大船渡市の復興の現状を取材し，人口減少や高齢化が進む中で，10年が経過しても進まない町の再生や新たなコミュニティーづくりの課題などを発信した。

盛岡局・宮古支局は，復興の推進力となってきた観光・宿泊業がコロナ禍で深刻な影響を受けている現状や，サケ・サンマの不漁をはじめとする水産業の低迷と浮上への取り組みなどを発信した。また，震災の復興予算で投じられた企業再生の補助金の効果や課題をニュースや番組で伝えた。

盛岡局・釜石支局は，震災で親を亡くした遺児の心の軌跡を追った番組や，多くの同僚を失った大槌町の役場職員と遺族の思いを伝える番組を取材制作した。また，19年のラグビーワールドカップ2019の遺産を生かそうという釜石のまちづくりの動きを伝えた。

福島局・郡山支局は，７月に郡山市の飲食店で１人が死亡，多数のけが人が出たガス爆発事故の被害や影響を伝えたほか，新型コロナウイルスのクラスター感染が相次いだ飲食店街の現状などを伝えた。

福島局・会津若松支局は，会津大学のデジタル地域通貨の開発の動きを伝えたほか，原発事故の影響で避難している大熊中学校の生徒と地域住民とのつながりについて全国に発信した。

福島局・いわき支局は，９月に原発事故の記録を後世に伝える東日本大震災・原子力災害伝承館が双葉町にオープンしたことを伝えた。また，一部で避難指示が解除された大熊町で，日本酒を新たな特産品にするために始まった酒米づくりについて伝えた。

福島局・南相馬支局は，原発事故後にたまり続けるトリチウムなどを含む処理水の処分方法をめぐり，海洋放出に懸念を抱く漁業者の声を伝えた。２月に震度６強を観測した福島県沖の地震では，地域の被害や生活影響を伝えたほか，３月には震災と原発事故から10年が経過しても住民の帰還が進まない浪江町の現状を全国に発信した。

青森局・八戸支局は，地元経済や伝統行事などへのコロナ禍の影響と克服に向けた取り組みを伝えた。12月に青森県で震度５弱の揺れを観測した地震では，発生直後の状況を全国に中継で伝えた。

青森局・弘前支局は，恒例の「さくらまつり」や「ねぷたまつり」中止による地元経済への影響を取材したほか，特産のりんごのスイス輸出，報道カメラマン・澤田教一死去50年などの話題を全国に伝えた。

青森局・三沢支局は，米軍戦闘機が民有地に模擬弾を落下させた問題で回収断念に至るまでの経過を粘り強く取材したほか，三沢基地の騒音問題による集団移転の動きについてリポートで伝えた。

青森局・むつ支局は，使用済み核燃料の中間貯蔵施設が国の新規制基準の審査に合格したことをめぐる地元自治体の反応などの動きを伝えたほか，下北半島で生産されるいちごやぶどうを使った特産品の話題などを伝えた。

❸関東甲信越

長野局・松本支局は，御嶽山で噴火災害６年の節目に王滝村側山頂の規制が初めて解除されたのにあわせて行方不明者の家族による調査登山に同行して取材するなど，遺族の思いを伝えた。県中南部を中心に土砂災害が相次いだ豪雨災害では，観光地・上高地の様子を全国に伝えた。

長野局・飯田支局は，豪雨災害による各地の被害を全国に伝えたほか，コロナ禍で客が激減する温泉街の新たな取り組みをリポートした。

長野局・佐久支局は，小惑星探査機「はやぶさ２」の帰還にあわせて長野県の臼田宇宙空間観測所で行われたイベントや，コロナ禍の地域を盛り上げようと大きな雪像を作った彫刻家の思いを伝えた。

長野局・諏訪支局は，３季ぶりの出現が期待された諏訪湖の「御神渡り」への地域の思いをリポートしたほか，観光地で働く母親たちが協力して子どもを預かるコロナ禍の活動を伝えた。

新潟局・村上支局は，地域伝統のサケ漁の解禁や塩引き鮭を作って民家の軒先につるすイベン

ト，日本海側では北限とされる茶摘みなど，地域の風物詩を伝えた。

新潟局・佐渡支局は，拉致被害者の曽我ひとみさんの講演や学校授業のほか，国の特別天然記念物トキや，養殖サクラマス漁，おけさ柿や高級イチジクの出荷など，地域の農水産の話題を伝えた。

新潟局・長岡支局は，魚沼市などでの記録的大雪の影響を伝えたほか，コロナ禍で消費が伸び悩むコメ農家やGo To キャンペーンに翻弄される宿泊業の声を伝えた。柏崎刈羽原発の再稼働を目指す東京電力のトラブルや行政・住民の反応についてもきめ細かく伝えた。

新潟局・上越支局は，上越新幹線と首都圏とつながるエリアでコロナ禍で苦闘する観光業の対策を伝えたほか，糸魚川大火から４年を機に“再生”の日本酒をフランス・パリに売り込む酒蔵の取り組みを特集。１月に上越地方を襲った豪雪災害では中継で現地の状況と伝えた。

甲府局・富士吉田支局は，県内で被害が拡大したナラ枯れについて，富士山などの景観への影響なども交えて伝えた。また，コロナ禍で苦境の観光業について継続的に取材し伝えた。

甲府局・大月支局は，感染防止のため医療関係者への手袋贈呈や，市民によるマスク製作支援の動きなどを伝えた。

横浜局・小田原支局は，新型コロナで打撃を受けた箱根の温泉地の状況や旅館の取り組みを発信。７月には，台風被害から約９か月ぶりに全線復旧した箱根登山電車と地元の期待を伝えた。

横浜局・厚木支局は，JAXAの研究所がある相模原市で，「はやぶさ２」のカプセル帰還に沸く地元の様子を伝えた。

横浜局・横須賀支局は，逗子市で道路脇の斜面が崩落し高校生が死亡した事故から１年の節目に，身近な崖の危険性や防災への取り組みをリポート。

横浜局・鎌倉支局は新型コロナの影響を受けた鎌倉の飲食店などの状況や，オンライン配信とした伝統芸能の取り組みを伝えた。

前橋局・沼田支局は，新型コロナ感染拡大の影響に苦しむ観光地の草津温泉や伊香保温泉の旅館の生き残り策や，尾瀬の山小屋の感染防止対策を随時リポートなどで伝えた。

前橋局・両毛支局は，国内最大といわれるロヒンギャ団体や日系人のコロナ禍の動きを伝えたほか，豚の大量盗難事件をきっかけに，帰国できないベトナム人技能実習生の課題を取材した。

水戸局・つくば支局は，研究学園都市の大学や各研究機関，企業などの研究成果のほか，新型コロナ感染に伴う地域の病院や行政の動きを伝えた。

水戸局・日立支局は，新型コロナ感染拡大に翻弄される観光地の動きを継続して伝えた。

水戸局・かしま支局は，鹿島港で貨物船と遊漁船が衝突した事故について現場の様子を伝えた。

千葉局・成田支局は，新型コロナによる成田空港の利用者減少の影響や，外国人の新規入国停止や検疫といった水際対策などを伝えた。

千葉局・銚子支局は，緊急事態宣言に伴う水産業や農業の需要低迷や，神社の屋根の銅板の相次ぐ盗難被害について伝えた。

千葉局・東葛支局は，東京都に隣接する人口が多いエリアで，医療機関や障害者施設で相次いだクラスターや，対策の不備の問題点などを伝えた。

千葉局・房総支局は，19年の台風による甚大な被害からの復興に向けた動きや，コロナ禍で節水を強いられたダムの渇水問題などを伝えた。

宇都宮局・両毛支局は，周辺の305世帯に避難勧告が出され20日間以上にわたって燃え続けた足利市の山火事について延焼や消火活動の状況などをきめ細かく伝えた。

宇都宮局・小山支局は，東日本で初めての野外での繁殖が確認された小山市の渡良瀬遊水地のコウノトリのつがいの話題などを取材した。

宇都宮局・大田原市局は，東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン那須塩原市と相手国のオーストリアとのオンライン交流を紹介した。

宇都宮局・日光支局は，世界遺産に登録された東照宮など地域に根づく社寺について，新型コロナウイルスの影響による拝観停止や感染対策を図りながらの伝統行事の実施について伝えた。

さいたま局・秩父支局は，新型コロナウイルスによる地元の旅館など地域の厳しい状況や，国内有数規模のBMX競技場に新たな施設が完成したことを伝えた。

さいたま局・所沢支局は，県内出身力士として初めて幕内優勝した大栄翔関の母親や恩師の声や，コロナ禍の中，独自大会に臨む狭山市の高校球児，所沢市の複合文化施設のオープンのもようを伝えた。

さいたま局・熊谷支局は，21年の『大河ドラマ』「青天を衝（つ）く」の主人公・渋沢栄一の出身地深谷市で役所に新たな部署が新設されたことや，ドラマでも紹介された伝統芸能の獅子舞の奉納の様子などを伝えた。

さいたま局・春日部支局は，中核市である越谷市の新型コロナウイルス感染状況を逐次伝えたほ

か，久喜市で大規模な水害に備えたヘリコプターやドローンを使った防災訓練の様子を伝えた。

首都圏放送センター・多摩支局は調布市の住宅街で陥没や空洞が相次いで見つかった問題について，被害地域の住民の苦悩などを継続的に伝えた。

❹中部

名古屋局・豊橋支局では，『連続テレビ小説』「エール」のモデルとなった古関裕而・金子夫妻をめぐる史料の発見や地域の動きを伝えた。また20年11月に亡くなったノーベル賞受賞者の小柴昌俊さんの出身地・豊橋の悼む声を伝えた。

名古屋局・岡崎支局では，２年前の豚熱で殺処分に追い込まれながら再生に踏み出した養豚場の取り組みや，「鬼師」と呼ばれる高浜市の瓦職人が人気アニメと協力して伝統産業の復活に挑戦した話，それに新型コロナで苦境に陥りながらも伝統の豆腐を受け継ごうとしている店の思いなどをリポートし，いずれも全国に伝えた。

名古屋局・中部空港支局では，新型コロナウイルスの影響で中部空港の利用客が落ち込む中，地元経済への影響や，活性化につなげたいとする空港会社の取り組みを伝えた。また，LCCをはじめとする航空会社の撤退や新規参入について，そのねらいも含めて伝えた。

名古屋局・小牧支局では，コロナ禍の中で，仕事を失った外国人労働者の支援や，従来と同じように行えなかった卒業式や成人式をめぐる人々の思い，それに観光客が減少した犬山城周辺の振興策などについてリポートした。

金沢局・小松支局ではツキノワグマの目撃件数やクマに襲われる人的被害が石川県内で過去最多となる中，大量出没の原因や被害を防ぐための自治体の取り組みについて伝えた。

金沢局・能登支局では国の史跡に指定されている七尾市の「七尾城跡」で，国内最大規模とされる山城の当時の構造物などを調べるため，初めてとなる本格的な発掘調査が始まったことを伝えた。

金沢局・輪島支局では新型コロナウイルスの感染拡大で観光地，輪島市を訪れた観光客が記録の残る53年間で最少となるなか，地域の活性化に向けた地元観光業者などの取り組みを伝えた。

静岡局・浜松支局では，新型コロナウイルスの集団感染が市内飲食店で相次いだことを受け，行政や住民の動きを取材し，記者解説を交えて伝えた。また自動車メーカー・スズキの鈴木修会長の退任表明を受け，経緯や背景について記者解説で伝えた。

静岡局・掛川支局では，新型コロナウイルス対策の緊急事態宣言を踏まえた学校休校や飲食店などへの休業要請，感染拡大による特産の茶への影響などを取材し，伝えた。

静岡局・富士支局では，感染者の急増を受けて富士宮市が設けたPCR検査場開設など対応の動きを伝えた。

静岡局・沼津支局では，トヨタ自動車が裾野市で開発を進める未来型都市をめぐる地元行政などの動きを伝えた。また東京オリンピック・パラリンピックで自転車競技会場となる地域での感染防止策の模索などを取材して伝えた。

静岡局・伊東支局では，緊急事態宣言やGo Toトラベルを受けた熱海市など観光地の影響や動きを取材して放送したほか，台風シーズン前には風水害対策の現状と課題を解説を交えて伝えた。

静岡局・下田支局では，感染拡大を受けて夏の海水浴場開設の中止や，例年90万人でにぎわう早咲きの河津桜まつりが，21年春，感染防止のため初の中止が決定したことを伝えた。

福井局・嶺南支局は，原発の40年超運転で，全国の自治体で初めて高浜町長が同意の方針を固めたことをいち早く伝えた。また北陸新幹線敦賀駅の工事難航で，開業が遅れたことを伝えた。

富山局・魚津支局では「買い物弱者」と言われる車を持たない高齢者を救うため入善町で，一度は撤退したコンビニを復活させる取り組みを取材したほか，新型コロナウイルスや大雪のため例年とは違う対応を迫られた「移動販売車」の奮闘を伝えた。

富山局・高岡支局では新型コロナウイルスで観光の在り方が変わる中，老舗の鋳物メーカーが旅行業に進出する取り組みを取材したほか，記録的大雪により一時６つの地域が孤立状態となった氷見市の状況などを伝えた。

津局・四日市支局はコロナ禍の地域経済への影響や対応を伝えた。観光客が激減した温泉地や需要を失った企業の厳しい状況のほか，雇用を守る施策，学生の就職活動の変化なども伝えた。

津局・尾鷲支局は台風や大雨の状況のほか，南海トラフ巨大地震に備える地域の動きを伝えた。また，過疎高齢化が進む農林水産業を持続可能にする情報化技術などについて伝えた。

岐阜局・高山支局は，新型コロナウイルスの影響で外国人観光客が激減した高山市の現状と行政による消費下支えの施策を継続して伝えたほか，20年７月の記録的な豪雨で被災した岐阜県北部の国道の復旧工事の過程を建設会社から入手したドローン映像を交えて放送した。

岐阜局・多治見支局は，20年を中心に放送された『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」の舞台となった岐阜県東部から明智光秀にちなんだ町おこしの動きを紹介したほか，コロナ禍で学校関係者がオンラインやケーブルテレビを活用した授業に挑戦する様子を伝えた。

❺近畿

近畿管内の各支局は，災害報道の拠点となる一方，豊かな自然と悠久の歴史・文化にあふれる地域の今を伝えた。

大阪局・関西空港支局は，新型コロナの水際対策のほか，国際線の激減に揺れる航空業界や地元の動きを取材した。

京都局・丹後舞鶴支局は，シベリア抑留の最後の経験者や新型コロナの影響で急きょ冷凍保存された特産のとり貝の活用をリポートで伝えた。

京都局・学研都市支局は，東日本大震災10年にあわせてAIとSNSを使った防災研究の最前線についてリポートで伝えた。

京都局・福知山支局は，イノシシなどを効率的に駆除するためのドローンを使った狩猟の実験など，地域の話題をつぶさに伝えた。

神戸局・姫路支局は，コロナ禍で生活困窮者となった人たちを支援するフードバンクや閉館した老舗ホテルをリポート。国宝・姫路城や日本三大緞通（だんつう）の１つとして知られる色鮮やかな「赤穂緞通」を８K映像で取材した。

神戸局・豊岡支局は，演劇によるまちづくりや男女の格差解消を目指す豊岡市の取り組みをリポートしたほか，大雪による孤立世帯の取材や中継対応などにあたった。

神戸局・淡路支局は，新型コロナの影響で打撃を受けるホテルや乳業メーカーの取り組みをリポート。淡路島伝統の踊りを受け継ごうと取り組む高校生や新たに夜の公演に挑戦した人形浄瑠璃の一座を密着取材した。

和歌山局・南紀新宮支局は，南海トラフ巨大地震が起きた場合に備えた防災･減災の取り組みや，紀伊半島豪雨で一家を亡くした男性が地域に支えられて生きる姿を伝えた。

和歌山局・南紀田辺支局は，白浜町の動物公園での２年ぶりのパンダ誕生の過程を飼育員らに密着して番組として放送したほか，新型コロナの影響を受ける白浜温泉の苦闘をリポートした。

和歌山局・橋本支局は，高野山で行われる伝統行事や地域の防災訓練などを数多く取材した。

和歌山局・南紀串本支局は，21年度に打ち上げが予定されている国内初の民間のロケット発射場をめぐる開発企業や地元の動きを放送した。

奈良局・奈良やまと路支局は，考古学報道の取材拠点として，明日香村にある国内最古の本格的な庭園の遺跡「飛鳥京跡苑池」の発掘成果などを伝えた。

大津局・彦根支局は，コロナ禍の中，絹織物のマスク作りに活路を見いだした伝統産業の動きをリポート。また，江戸時代の発明家が記した飛行機の設計図発見の意義を詳しく伝えた。

❻中国

広島局・呉支局は23年９月の日本製鉄の製鉄所の閉鎖に向けて，対応を検討する地元の自治体，新たな事業を始める企業などについて伝えた。また，戦後75年にあわせ，戦争体験の継承に取り組む人たちの企画を制作した。

広島局・尾道支局は20年７月に東広島市で２人が死亡した土砂災害，８月には河井元法相から現金を受け取り前市長が辞任した三原市の市長選挙を取材した。

広島局・福山支局は新型コロナでクラスターが発生した福山市の医療機関や三次市の介護施設を取材し，番組や企画に展開した。

広島局・三次支局と**東広島支局**は地域の催しなどを伝えた。

岡山局の倉敷支局は，真備町を中心に西日本豪雨からの復興の課題などを継続して伝えた。

岡山局・備前支局は，瀬戸内市がふるさと納税で購入した国宝の日本刀を巡る動きや地元で活動する刀匠や刀鍛冶について伝えた。

岡山局・津山支局は管内で発生した新型コロナのクラスターの影響，新見支局は備中松山城の猫城主「さんじゅーろー」の活躍などを伝えた。

松江局・浜田支局は20年７月，江の川の氾濫を迅速に伝えた。その後も，沿岸の住民が希望する安全な場所への集団移転に向けた動きを伝えた。

鳥取局・米子支局は，新型コロナによる苦境にあえぎながらも，販路拡大や業務の多角化などで乗り切りを図る地元企業の動きなどを伝えた。

鳥取局・倉吉支局は，感染拡大の影響で修学旅行の宿泊先を地元の温泉旅館に変更した三朝町の中学校の取り組みをいち早く伝えた。

山口局・岩国支局は，F35Bステルス戦闘機16機が米軍岩国基地に追加配備される計画についてその背景や住民の受け止めなどを多角的に伝えた。

山口局・萩支局は，「イージス・アショア」配備断念を巡る地元の動きのほか，コロナ禍でも萩焼や歴史的町並みを守る取り組みを伝えた。

山口局・周南支局は，第一生命の周南市の拠点

に在籍していた80代の元社員が顧客の資金を不正に取得したとされる問題を継続的に伝えた。

山口局・下関支局は，20年８月の安倍前総理大臣辞任，12月の元公設第１秘書の略式起訴・命令を受けた地元の反応を詳しく伝えた。

❼四国

四国地方の各支局は，新型コロナウイルスの感染拡大が地域経済や暮らしに及ぼした影響について多角的に発信し続けたほか，災害や事件・事故などの緊急報道の拠点として大きな役割を果たした。

松山局・八幡浜支局は，西日本豪雨から２年がたった被災地の復興状況や，原発依存からの脱皮を模索する伊方町の動きについて伝えた。

松山局・今治支局は，高い市場シェアを誇る地元の造船業界の技術力を紹介する一方，法令違反が相次ぐなど，業界の安全面の課題を伝えた。

松山局・新居浜支局は，「はやぶさ２」に地元のメーカーの技術が生かされていることや，県内初の新型コロナワクチン接種の動きを取材した。

松山局・宇和島支局は，新型コロナの影響で苦境に立つ養殖業の現状や，廃止された路線バスに寄せられた住民の思いなど地域の話題を紹介した。

高知局・くろしお支局は，新型コロナ感染対策と学びの両立に向けて試行錯誤が続く教育現場の現状や，巨大地震に備える地域の取り組みを伝えた。

徳島局・阿南支局は，巨大地震を想定した津波防災の課題や，阿佐海岸鉄道が目指している線路と道路両用の車，DMV（デュアル・モード・ビークル）導入に向けた動きを取材した。

高松局・丸亀支局は，修学旅行の児童を乗せた船が坂出市沖で沈没した事故や，新型コロナが金刀比羅宮などの観光地に及ぼした影響を取材した。

❽九州・沖縄

福岡局・久留米支局は，７月豪雨の被災地を長期取材するとともに，かかりつけ医や大学病院に密着しコロナ禍の課題を取材した。

福岡局・大牟田支局は，７月豪雨からの復旧状況やコロナ禍の消防査察の新たな対策，戦争の記憶の継承などの取材にあたった。

福岡局・飯塚支局は，筑豊地域の自然豊かな季節の話題や地元の人たちによる催し物の取材にあたった。

北九州局・行橋支局は，コロナ禍を受けた各自治体の対応や行橋市出身の政治家・末松謙澄の没後100年を巡る動きなどを取材した。

熊本局・阿蘇支局は，７月豪雨の際の杖立温泉の被害や復旧の状況，それに新阿蘇大橋の開通など熊本地震からの復興の動きを伝えた。

熊本局・県北支局は，７月豪雨で２人が死亡した山鹿市の被災状況や新型コロナウイルスの地域での感染状況や対策の動きを伝えた。

熊本局・県南支局は，７月豪雨での八代市坂本町の被災や復旧の状況，それに旅館や地元の商店や蔵元の復旧の動きを伝えた。

熊本局・天草支局は，新型コロナウイルスの感染拡大を受けた地元のホテルなど観光業者の影響やGo To キャンペーンへの反応を伝えた。

熊本局・人吉支局は，７月豪雨の際に球磨川の氾濫で自宅が一部水没しながらも２階から町の様子を記者がリポートするなど被災の状況を伝えた。

熊本局・水俣支局は，７月豪雨で11人が亡くなった芦北町の被災状況や被災地からSNSで情報発信する高校生を企画リポートで伝えた。

長崎局・佐世保支局は，地元のリゾート施設・ハウステンボスがコロナ禍で受けている影響や厳しい状況を乗り切るための雇用対策をリポートした。

長崎局・島原支局は，雲仙・普賢岳で噴火や大火砕流が発生してから30年となり，埋もれていた車両を掘り起こし遺構を整備する動きを伝えた。

長崎局・諫早支局は，九州新幹線・長崎ルートの暫定開業を控えて，諫早市と大村市で再開発が進む状況や地元の期待を伝えた。

長崎局・五島支局は，大型の台風９号，10号が五島列島を直撃する現地の状況を伝えたほか，世界遺産の教会施設に残した台風の爪痕を伝えた。

鹿児島局・薩摩川内支局は，九州電力川内原子力発電所での全国初となるテロ対策施設の完成と再稼働の動きについて詳しく伝えた。

鹿児島局・鹿屋支局は，海上自衛隊鹿屋航空基地での在日アメリカ軍の空中給油機による離着陸訓練や，地域の農畜産業の課題を詳しく取材した。

鹿児島局・奄美支局は，世界自然遺産登録を目指している奄美大島の希少な動植物を守る地域の取り組みを取材し，登録へ向けた課題を探った。

宮崎局・都城支局は，新燃岳の噴火から10年の節目に火山防災の取り組みを伝えたほか，駅伝など高校運動部の活動を発信した。

宮崎局・延岡支局は，旭化成の工場火災が日本経済に与えた思わぬ影響や，新型コロナから回復した人が孤立に悩む姿をリポートした。

宮崎局・日南支局は，台風10号で広がった「ホテル避難」の動きを伝えたほか，スイートピーなど地元の農林水産業を多く取り上げた。

大分局・中津支局は，定員割れが続く高校の生徒たちがCMプランナーの指導を受けながら地域

のPR動画を制作する様子などをリポートした。

大分局・日田支局は，７月豪雨による管内の被災状況や復旧の動きを伝えたほか，防災ラジオを活用した新たな防災の取り組みを紹介した。

大分局・佐伯支局は，コロナ禍を受けて離島で導入されたオンライン診療の試みや，高校生が主体となった津波避難訓練をリポートした。

佐賀局・唐津支局は，玄海原子力発電所で小規模なトラブルが相次いでいる問題などを伝えたほか，９月の台風10号被害などを中継で伝えた。

沖縄局・沖縄中部支局は，普天間基地の辺野古移設問題や米軍機や基地のトラブル，沖縄戦の遺構発見やコロナ禍の様子などを詳細に伝えた。

沖縄局・名護支局は，基地移設問題をめぐる辺野古での動きやコロナ禍での自治体や市民の取り組み，水族館に展示される希少種などを伝えた。

沖縄局・宮古島支局は，爆発的な新型コロナ感染が起きた島内の様子を詳細に伝えたほか，島の自然や人気の警察官型人形の動向について伝えた。

沖縄局・八重山支局は，コロナ禍での観光・マリンレジャー関連業や飲食業の様子，それに離島でのさまざまな行事や自然の風物を取材して伝えた。

【5】海外総支局

❶概況

21年３月31日現在，４総局27支局の計31の総支局で，計85人が業務にあたっている。

20年４月初め，新型コロナウイルスの死亡者は世界で５万人を超え，感染者も100万人に迫った。WHO＝世界保健機関が「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言した１月から僅か２か月余りで，甚大な被害が世界に広がった。各国は外出や経済活動を制限する厳しい感染対策を講じ，12月にはファイザー社のワクチンの接種がイギリスやアメリカなどで始まったが，世界的な流行は終息の見通しがたたないまま１年が経過した。

❷アジア総局

アジア総局管内では，民主化を求める市民の抗議行動が広がった。７月にはタイで反政府デモと王制改革を訴える声が広がり，当局が中心人物たちを相次いで拘束した。21年２月にはミャンマーで軍事クーデターが起きたが，市民が全土でデモや一斉ストライキを行って抗議した。これを治安部隊が武力で押さえ込み，犠牲者が相次いだ。

東南アジアや南アジア，太平洋地域では，影響力を強める中国との関係が大きな課題になった。４月には新型コロナウイルスの発生源に関する調査を求めた豪州に対し，中国が輸入規制などの報復措置をとった。インドと中国は係争地帯を巡る対立から軍事衝突に至り，双方に犠牲者が出た。

韓国では，ムン・ジェイン（文在寅）政権の感染対策が評価され４月の総選挙で与党が圧勝したが，その後，不動産価格の上昇などで支持率は低迷した。日韓関係は冷え込んだ状態が続き，21年１月にはソウルの裁判所が日本政府に対し元慰安婦の女性への賠償を命じる判決を言い渡した。

北朝鮮は「感染者は１人もいない」と主張し，感染対策で国境を封鎖したことから貿易が激減した。６月には南西部ケソンにある韓国との共同連絡事務所を爆破，南北間で一時緊張が高まった。10月と21年１月の軍事パレードで新型の大陸間弾道ミサイル（ICBM）などを公開したが，弾道ミサイルの発射は確認されなかった。１月の朝鮮労働党大会でキム・ジョンウン（金正恩）氏が総書記に就任した。

❸中国総局

中国総局管内では，感染拡大の影響で例年３月に開催される全人代（全国人民代表大会）が５月に延期された。10月には中国共産党の第５回中央委員会全体会議が開かれ，22年の任期以降も習近平国家主席が党のトップを続投する可能性が強まった。21年２月には海上警備にあたる中国海警局に武器の使用を認める「海警法」が施行された。

香港では６月に施行された「香港国家安全維持法」で民主活動家などの逮捕・起訴が相次ぎ，政治的自由が大きく後退した。台湾では，アメリカが断交以来最高位となる政府高官を派遣するなど蔡英文政権との関係を強化し，台湾独立を警戒する中国が強く反発した。

❹ヨーロッパ総局

ヨーロッパ総局管内では，感染拡大が深刻で，最初に変異ウイルスが確認されたイギリスや，フランスなど各国で，厳しい移動制限などの措置が繰り返し取られた。EUから離脱したイギリスでは激変緩和のため設けられた移行期間が20年末で終了。厳しい交渉の末にEUと自由貿易協定の締結で合意したが，先行きが不透明な中，物流の大混乱が生じた。ドイツでは21年秋に退任予定のメルケル首相の後任選びに向けて，最大与党CDUの党首選挙が21年１月に行われ，ラシェット氏が選出された。

ロシアでは７月に憲法が改正され，領土の割譲禁止が明記されるとともに，プーチン大統領が2036年まで続投することが可能になった。８月，

野党勢力の指導者ナワリヌイ氏が旅客機で移動中に重体となり，化学兵器の神経剤による襲撃だとされた。その後，同氏が拘束されたことから，国内でプーチン政権に対する抗議デモが広がった。８月，ベラルーシで行われた大統領選挙に不正があったとして，大統領の辞任を求める市民の抗議活動が広がった。９月，アゼルバイジャンとアルメニアの係争地を巡って戦闘が起き，双方に死傷者が出た。

中東では８月，レバノンの首都ベイルートで大規模な爆発が起き，200人以上が死亡した。その後，政府の対応に抗議する市民のデモが拡大し，政権が崩壊した。８月以降，イスラエルがアメリカの仲介でUAE・アラブ首長国連邦やバーレーンなどと相次いで国交の正常化に合意し，パレスチナ問題を巡り長年対立してきたイスラエルとアラブ諸国との関係に変化が生じた。イランでは12月，議会で核開発を大幅に強化することを求める法律が可決され，核合意を逸脱する濃縮度20％のウラン製造が始まり，21年２月にはIAEA＝国際原子力機関による抜き打ち査察などの受け入れが停止された。

アフリカでは７月，モーリシャス沖合で日本の会社が運航する貨物船が座礁して大量の重油が流出し，深刻な海洋汚染を引き起こした。11月，エチオピアではノーベル平和賞受賞者のアビー首相率いる政府軍が北部の少数民族との武力衝突に発展，数万人が隣国スーダンなどへ避難した。

❺アメリカ総局

アメリカ総局管内では，11月のアメリカ大統領選挙に向けて，再選を目指す共和党のトランプ大統領と民主党のバイデン前副大統領が選挙運動を繰り広げたが，世界で最も感染者数が多くなる中，党大会や討論会がオンラインで行われるなど，異例の選挙戦となった。この間５月には黒人男性が警察官に首を押さえられて死亡する事件が起き，人種差別への抗議運動が全米に広がった。選挙では大接戦の末バイデン氏が史上最多の得票で勝利したが，トランプ氏は不正があったとして結果を受け入れず，１月にはこれに同調する支持者らが連邦議会の議事堂に乱入，死者が出る事態となった。議会下院はトランプ氏を「反乱の扇動」で弾劾訴追したが，上院の弾劾裁判では無罪の評決となった。

中南米では感染拡大に歯止めがかからず，医療崩壊の状態に陥る地域も相次いだ。ブラジルでは熱帯雨林アマゾンが位置する北部を中心に感染が深刻化し，死者は21年３月時点でアメリカに次いで世界で２番目に多い。

NHKの海外総支局（21年3月31日時点）

▶アジア総局（バンコク）
マニラ，ジャカルタ，ハノイ，ニューデリー，イスラマバード，シンガポール，シドニー，ソウル

▶中国総局（北京）
上海，広州，香港，台北

▶ヨーロッパ総局（パリ）
ロンドン，ブリュッセル，ベルリン，ウィーン，カイロ，ドバイ，ヨハネスブルク，エルサレム，テヘラン，モスクワ，ウラジオストク，イスタンブール

▶アメリカ総局（ニューヨーク）
ワシントン，ロサンゼルス，サンパウロ

以上の31総支局で，記者，ディレクター，カメラマン，技術担当，経理担当，計85人の特派員が業務にあたっている。

6 気象情報

【1】概要

総合テレビの気象情報の放送時間は，平日の定時枠を合計すると１日約１時間15分にのぼり，11人の気象予報士が各番組に出演し，解説などを行った。『ニュース７』や『首都圏ネットワーク』の気象コーナーでは，CGを駆使したフルバーチャルスタジオを使って，情報をきめ細かく伝えた。

20年度も，九州から東北の広範囲に被害をもたらした「令和２年７月豪雨」をはじめ，各地で気象災害が相次いだ。これらの災害時には，気象予報士による「緊急気象解説」を積極的に展開した。「緊急気象解説」は予報士にしか伝えることができない豪雨や暴風の「予報」に重点を置き，刻一刻と変わる災害リスクの高まりをきめ細かく伝える解説で，20年度は280回以上実施した。

7 スポーツ

【1】サッカー

❶Jリーグ

Jリーグでは17年からJ1・J2・J3すべての試合の映像をJリーグ公式映像が制作，インターネットを通じて配信するサービスを行っている。Jリーグはコロナ禍で３月から約４か月中断。７

月から再開された。J1は「川崎フロンターレ」が残り５試合を残して２年ぶりの優勝を決めた。

BS1では，J1・J2合わせて合計30試合を放送。総合テレビでは開幕戦と最終５節の合計６試合を放送した。また，NHK地方局によるローカル放送はJ1・J2・J3延べ39試合だった。

❷天皇杯

天皇杯全日本サッカー選手権はNHKが96年から共催となっている大会。今回は100回の記念大会。決勝は国立競技場で開催された。総合，BS４K，R1で放送。また１回戦から準々決勝をBS1，準決勝を総合，R1で放送した。

❸皇后杯

皇后杯全日本女子サッカー選手権は準決勝，決勝の計３試合をBS1で放送した。

【2】プロ野球

新型コロナウイルスの影響でレギュラーシーズンは120試合に縮小した日程となり，およそ３か月遅れた６月19日に開幕した。セ・リーグは「巨人」が２年連続38回目の優勝。パ・リーグは「ソフトバンク」が，３年ぶり19回目の優勝を果たした。日本シリーズは，ソフトバンクが４勝０敗で４年連続11回目の栄冠に輝いた。

20年はレギュラーシーズンを地上波・BS1合わせて108試合，パ・リーグのみ行われたクライマックスシリーズをBS1で２試合，日本シリーズをBS1で３試合，合計113試合の放送をした。

「ソフトバンク」がパ・リーグ優勝に王手をかけた10月27日は，「ソフトバンク」対「ロッテ」を追加放送。優勝の瞬間を伝えた。クライマックスシリーズは，「ソフトバンク」対「ロッテ」をBS1で第１戦，第２戦を伝えた。

日本シリーズは第２戦から第４戦までを中継。第４戦で「ソフトバンク」が優勝した。

コロナ禍の影響で，放送体制はカメラ台数を減らすなど全体的に大幅縮小した。放送席はアクリル板等で仕切りを作る，中継車内の人数制限など感染予防対策をとっての放送となった。地方球場シリーズはコロナ禍の影響で中止した。

ツイッターアカウント「NHKベースボール」を継続。プロ野球ファンにさまざまな情報を提供した。

NHKプラスは「巨人」「阪神」を除く10球団の本拠地から，総合テレビ10試合を同時配信した。

【3】大リーグ

20年シーズンは新型コロナウイルスの影響で短縮され７月24日に開幕。レギュラーシーズン70試合，ポストシーズン30試合を放送。うち総合テレビでは６試合を放送した。レギュラーシーズンでは，日本人選手初の最多勝を獲得したダルビッシュ有のほか，「ツインズ」へ移籍した前田健太，「ヤンキース」田中将大などの先発試合を中継した。ワールドシリーズは，「ドジャース」が筒香嘉智の所属する「レイズ」を倒し，32年ぶりの世界一の座に就いた。

【4】大相撲

新型コロナウイルスの影響で５月の夏場所が中止，更に３つの地方場所が全て両国開催となる中，日本相撲協会が観客数を制限する等の感染対策を施し，年５場所を実施した。中継ではカメラ台数やスタッフ数を減らす等の感染対策をとり75日間の本場所を総合，BS101ch・102ch（サブチャンネル），R1で放送。BSの時間は副音声で場内音声のみ，総合では副音声バイリンガル放送，生字幕放送を実施。ハイライト番組として『大相撲　幕内の全取組』を放送。NHKワールドJAPANのテレビやネットでもひと場所３日間の放送を実施。「大相撲取組動画」や「公式ツイッター」のデジタル展開も継続実施した。

７月場所で幕尻優勝した元大関・照ノ富士が春場所でも優勝し，21場所ぶりに大関に復帰。秋場所では正代が優勝し新大関となった。11月場所で大関・貴景勝が優勝し，初場所で初の綱とりに挑んだが失敗。初場所では平幕の大栄翔が初優勝した。横綱・白鵬と鶴竜はともに全５場所で15日間の土俵をつとめ上げられず，11月場所後に横綱審議委員会から引退勧告の次に重い「注意」の決議を受けた。鶴竜は春場所中に引退を発表した。

【5】ゴルフ

国内ゴルフ中継はメジャー４大会の放送を計画。

第21回日本ゴルフツアー選手権は茨城県の宍戸ゴルフ倶楽部で開催予定であったが，新型コロナウイルスの影響で中止となった。同大会が中止になるのは初めて。

JGAが主催する３オープンは感染症対策を施した上で，一般非公開で開催された。

第30回日本シニアオープンゴルフ選手権は，兵庫県・鳴尾ゴルフ倶楽部で開かれ，寺西明が初日から首位を守り，初優勝を飾った。

第53回日本女子オープンゴルフ選手権は，福

岡県・ザ・クラシックゴルフ倶楽部。原英莉花が同じ98年度生まれの小祝さくらとの最終組同級生対決を制しメジャー初制覇を果たした。

第85回日本オープンゴルフ選手権は，千葉県紫カントリークラブすみれコースで初開催。稲森佑貴と谷原秀人が最終日最終組で大接戦を繰り広げたが，18番ホールで稲森が勝負を決めるバーディーを奪い，日本オープン２勝目を飾った。

ワイヤレスカメラを駆使し日本オープン，日本女子オープンで１番ホールから生中継を実施した。

【6】テニス

❶ウィンブルドン

新型コロナウイルスの影響により，第２次世界大戦以降で初めて大会が中止となった。

❷全豪オープン

女子単で大坂なおみが２年ぶり２回目の優勝。７試合中６試合がストレート勝ちで，大坂の強さを印象づける大会となった。

大坂の７試合と錦織圭の男子単１回戦を総合テレビで生中継。深夜の録画枠では，メインゲーム（フルマッチまたは１時間半程度）を14試合，サブゲーム（20分前後に編集）を７試合放送した。

❸ATPテニス

コロナの影響により，男子ツアーの最高峰マスターズ1000の３大会（６大会中止）とファイナルをBS1（生）と総合テレビ（録画）で放送。ファイナルでは日本勢の出場はなかったものの，現役選手によるリモート出演を行った。総放送時間は105時間43分（前年比53.2％減）であった。

【7】Bリーグ

国内最高峰のプロバスケットボール，Bリーグ。2019-20シーズンは新型コロナウイルスの感染拡大を受け３月にシーズンが途中で終了。５月に予定されていたチャンピオンシップも行われなかった。

５年目となる2020-21シーズンはリーグが策定した新型コロナ感染症対策ガイドラインの下，10月２日に開幕。BS1では「三遠ネオフェニックス」×「千葉ジェッツ」を皮切りに，レギュラーシーズン15試合を放送した。11月の「川崎ブレイブサンダース」×「琉球ゴールデンキングス」，２月の「名古屋ダイヤモンドドルフィンズ」×「アルバルク東京」ではコロナ禍で会場で観戦できないファンがリモート会議システムで一緒に観戦するオンラインパブリックビューイングを実施，放送でも紹介した。

【8】ラグビー　日本選手権・トップリーグ

第57回日本ラグビー選手権は，トップリーグ2020の上位４チームが参加して５月に開催予定だった。しかし新型コロナウイルスの影響により大会の長い歴史で初めて中止となった。

最後のシーズンとなるトップリーグ2021も，新型コロナウイルスの影響で開幕がおよそ１か月延期になった。大会日程が短縮され，16チームを２カンファレンスに分けて１回戦総当たりのリーグ戦を実施し，その後トーナメント形式のプレーオフを行うフォーマットに変更された。NHKでは20年度に「東芝」×「クボタ」，「NEC」×「ヤマハ発動機」の２試合をBS1で生中継した。

情報番組

（番組解説は第４部⇒p.364～）

1 社会ジャンル

【1】概況

20年度の第２制作ユニット社会ジャンルは，新型コロナの感染拡大に揺れる社会・経済の実像，そして逆境を乗り越え懸命に生きる人たちの姿を取材。時代と人に真摯に向き合う番組を放送し続けてきた。取材・ロケが大きな制約を受ける中，新たな番組フォーマットや演出の開発にも精力的に取り組んできた。

『クローズアップ現代＋』『プロフェッショナル　仕事の流儀』『ドキュメント72時間』『逆転人生』『ファミリーヒストリー』『ごごナマ』（以上，他部局との共管番組含む）の６つの定時番組を担当した。また『NHKスペシャル』をはじめとする特集番組も多数制作した。

【2】定時番組

『クローズアップ現代＋』は新型コロナに伴うさまざまな社会課題を取り上げた。収入減で住居を失った人たちや厳しい経営を強いられる商店街など，感染拡大の影響が最も深刻だった領域を精力的に取材し，市井の人たちの訴えを伝えた。

『プロフェッショナル　仕事の流儀』では，一流の料理人たちが絶品レシピを紹介する「プロのおうちごはん」シリーズを４本放送。コロナ禍の豊かな時間の過ごし方を提案した。またゴミ収

集員やバス運転手などコロナ禍の日常を支えるエッセンシャルワーカーにも光を当てた。

絶体絶命の危機からの奇跡の逆転劇を描く『逆転人生』，1つの場所に3日間密着し，行き交う人たちの人間模様を記録する『ドキュメント72時間』でも，コロナ禍の厳しい状況の中で奮闘する人たちを取材。『ファミリーヒストリー』では著名人の知られざるルーツや家族の歴史を掘り起こした。

【3】特集番組

『ノーナレ』「新型コロナと音の風景」（5.2）では，外出自粛や休業要請で「人が消えた」街を記録。閑散とした街から聞こえる音に耳を傾けた。

100台の固定カメラを設置して人々の生態を描く『のぞき見ドキュメント　100カメ』では，全国の家庭に固定カメラを置き，コロナ状況下の家族のリアルな姿を映し出した（7.24，2.8）。

『ストーリーズ』「あのとき、タクシーに乗って」（6.22）では緊急事態宣言下のタクシーに固定カメラを設置し，タクシードライバーと乗客のやりとりを通し，コロナ禍の日々を懸命に生きる市井の人たちの人間模様を活写。『BS1スペシャル』（8.3）では49分拡大版を放送した。

『目撃！にっぽん』「コロナと新宿ゴールデン街」（8.23），『NHKスペシャル』「“夜の街”で生きる～歌舞伎町　試練の冬～」（1.30）ではコロナ禍にあって厳しい視線を向けられてきた「夜の街」の人たちの苦闘に密着した。

2 ライフジャンル

【1】概況

第3制作ユニットライフジャンルは，20年度も現代社会のさまざまなテーマを「生活者の視点」から見つめ，視聴者の関心や疑問に応える情報番組を制作した。

『あさイチ』『所さん！大変ですよ』『うまいッ！』『サラメシ』『グレーテルのかまど』『きょうの料理』『趣味の園芸』などを定時番組として放送，ほかに『みんなで筋肉体操』『NHKだめ自慢』『病院ラジオ』などの特集番組を制作した。

【2】定時番組

『あさイチ』は，“視聴者に最も近い番組”を目指し，健康，家計，食，災害，介護，女性特有の悩みなど「くらしを守り，質を高める」情報を伝えた。また，新型コロナウイルスについては，感染対策や支援策などについて繰り返し放送。視聴者からメールやファックスで寄せられた疑問を基に，生活者目線の情報を発信した。また番組のインスタグラムやLINEの活用にも力を入れた。

『所さん！大変ですよ』は，“不思議な事件”を深掘りし，意外な真相をあぶり出す情報バラエティー。20年度は「営業は週2時間　“幻の店”の正体とは？」など子どもからシニアまで関心が高いラインナップをそろえた。

【3】特集番組

生活者の視点でさまざまな特集番組を制作した。笑いを通してダイバーシティーの価値観を広める新感覚のバラエティー番組『NHKだめ自慢』は，10本を放送。

『病院ラジオ』はお笑いコンビのサンドウィッチマンが病院を訪ね，特設したラジオ局で患者や家族の思いを聞くドキュメンタリー。新型コロナの影響で病院を訪問できなかった20年度は，「あの子どうしてる？SP」（6.24）では，19年度の放送に出演した子どもと家族に，1年後の状況や思いをリモートで聞いた。

『みんなで筋肉体操』では筋肉を鍛えるトレーニング方法を専門家の解説を交えた5分の実演スタイルで放送するとともにSNSの動画で紹介。20年度はパラリンピックの選手が参加した。また，「生放送フェス」（12.12）では営業・事業と連携，リモートで32組の視聴者が参加する45分の特番を制作した。

他にも，1人暮らしの若者たちの夜を紹介する『金曜日のソロたちへ』，全国各地の知られざる郷土料理を発掘する『お取り寄せ不可！？列島縦断　宝メシグランプリ』（1.11），スタジオと海外のお宅のキッチンをオンラインで結び，家庭料理や知られざる外国事情を聞く『今日、うちでなに食べる？』（2.23），今年で10年となる東日本大震災の被災地の今を伝える『バスで！列車で！篠山輝信×震災10年の東北旅』（3.12）なども制作した。

3 科学ジャンル

【1】概況

第3制作ユニット科学ジャンルは計12タイトルの定時番組と『NHKスペシャル』19本をはじめ数多くの特集番組を制作した。このほか，ロボコン，サイエンススタジアム，コズミックコンサー

トなど視聴者とのタッチポイントとなるイベントを展開した。

【2】定時番組

総合テレビでは，前身の『ためしてガッテン』から数えて26年目となった『ガッテン！』，15年目を迎えた『ダーウィンが来た！』や『クローズアップ現代＋』『さわやか自然百景』などを放送。『ガッテン！』では，新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言下でも，過去の蓄積から今役立つ知恵をまとめて紹介した。

Eテレでは，『サイエンスZERO』『すイエんサー』『きょうの健康』『チョイス@病気になったとき』『なりきり！むーにゃん生きもの学園』などを放送。BSプレミアムでは，『コズミック　フロント☆NEXT』『ワイルドライフ』『ニッポンの里山　ふるさとの絶景に出会う旅』を放送。また，前期『美と若さの新常識～カラダのヒミツ～』，後期『ヒューマニエンス　40億年のたくらみ』で，人体を題材に進化の不思議に妄想を広げる番組を制作した。

【3】特集番組

20年度は『NHKスペシャル』を19本放送，国際展開を実施した。新型コロナウイルス関連では，『クローズアップ現代＋』で１本，『NHKスペシャル』で11本，特集２本の緊急番組を放送。不安の広がる視聴者へ，１年を通して正確な情報を届け続けた。「豪雨・台風」については，『クローズアップ現代＋』で２本，『NHKスペシャル』で２本を制作。温暖化で激化する災害に対する対応策などを伝えた。

医学・健康分野では，「東洋医学」を取り上げ，「コロナに負けない心と体」をテーマに漢方薬や鍼灸（しんきゅう），太極拳や乾布摩擦などの最新知見と，手軽にできるセルフケア術に迫った。東日本大震災関連では，「廃炉への道2021」を放送。日本原子力学会が示した「廃炉には100年から300年かかる」というシナリオから「廃炉の最終形」を考えた。また，ほか，『ガッテン！』などの定時番組でこれまでの蓄積から役立つ情報をミニ番組として紹介した。自然分野では『NHKスペシャル』のシリーズ「列島誕生　ジオ・ジャパン２」で，これまでの常識を覆す日本列島の成り立ちを高精細CGで描き出した。このほか『ガッテン！』での取材を深めて『NHKスペシャル』「わたしたちの“目”が危ない　超近視時代サバイバル」に発展させ，世界を危機に陥れているプラスチック汚染に迫った『NHKスペシャル』「2030　未来への分岐点（３）プラスチック汚染の脅威　大量消費社会の限界」など多彩な分野の科学コンテンツを制作した。

【4】デジタルサービス

学生・ABU・高専の３つの「ロボットコンテスト」を開催。学生・ABUは新型コロナの影響で大会中止となったが，各大学をオンラインでつないでロボットパフォーマンスを評価し合うフェスティバルを行い，そのもようはインターネットで配信された。高専は初のオンライン大会となったが，大会前から当日にかけて，SNSで随時情報を発信。若い世代を中心に多くの反響を得た。

NHKの医学・健康関連の情報を集めたポータルサイト「NHK健康チャンネル」は，過去の記事をまとめた特集記事を充実化させるなど，よりネットユーザーの期待に応える改修を実施。また，新型コロナウイルス関連では，いち早く専門医からの注意喚起を盛り込んだページを連載するなど，視聴者のニーズの高い情報を掲載し，公共メディアの新たな取り組みとして機能した。

4 文化ジャンル

第２制作ユニット文化ジャンルでは，歴史，美術，宗教，社会を掘り下げるドキュメンタリーや知的エンターテインメントを制作した。

ドキュメンタリーの分野では，『ETV特集』で新型コロナウイルス関連の番組を多数制作した。特に，シリーズ「パンデミックが変える世界」では，社会が大きく変容する中，人類全体が抱えている問題を，ユヴァル・ノア・ハラリ，イアン・ブレマー，ジャック・アタリなど世界的知性のリモートインタビューなどを通して伝え，国内外で話題となった。また，東日本大震災から10年という時期に，改めて福島第一原発事故を問う番組を制作。事故発生直後から政府や米軍などが作成に着手していた「最悪のシナリオ」の存在に光を当て，スクープ性の高い番組となった。その他，外国人技能実習生，貧困，ひきこもり，戦争，沖縄，アイヌ，夫婦別姓など，さまざまな社会問題を多彩な角度で取り上げ，世に問いかけた。

知的エンターテインメントの分野では，30～40代女性をターゲットにした紀行番組『世界はほしいモノにあふれてる』が，海外ロケができない中，リモート取材などを駆使して新作を連打。ネット上での発信も話題となり，ツイッターは

10万6,000人，Instagram12万3,000人のフォロワーを数えた（３月１日時点）。日本各地の家庭の風呂を訪ねる『サンドのお風呂いただきます』は，積極的に地域局の番組にマルチ展開し，ローカル放送の拡充に貢献した。『ネーミングバラエティー　日本人のおなまえっ！』は，人名，地名はもちろん，ヒット曲や食べ物の名前などにまで題材を広げ，その由来から意外な歴史を掘り起こした。これら文化ジャンルの知的エンターテインメント番組はいずれも，世界や日本の各地で育まれてきた歴史，文化，宗教，風習，知恵，技術などを，そこに生きる人々の思いや精神性とともに分かりやすく伝えた。

８Ｋでは，『シリーズ　大英博物館』『THE 陰翳礼讃～谷崎潤一郎が愛した美～』などが，高精細な映像で海外・国内の美の世界に迫った。

さらに，『歴史秘話ヒストリア』『先人たちの底力　知恵泉（ちえいず）』『英雄たちの選択』などの歴史番組，『日曜美術館』『美の壺』『びじゅチューン！』などの美術番組，『100分de名著』『又吉直樹のヘウレーカ！』などの教養番組を，バラエティー豊かに制作した。

5 福祉ジャンル

第３制作ユニット福祉ジャンルでは『ハートネットTV』を中心に，多様性社会の実現のため，障害者やさまざまなマイノリティーの視点から社会課題や取り組みについて伝えた。20年度は，障害や疾患のある人，若者や子どもたちなどさまざまな立場の人が受けたコロナ禍の影響を取材するなど，福祉の重要なテーマを深く掘り下げた。

また，ひきこもり取材の蓄積を生かして全局的な「こもりびと」キャンペーンの中核を担い，『NHKスペシャル』「ある、ひきこもりの死　扉の向こうの家族」および「ドラマ　こもりびと」のほか，『ETV特集』『ハートネットTV』『ノーナレ』やウェブ記事など多角的に発信した。

『ハートネットTV』では延期となった東京パラリンピックに向けた「パラマニア」を継続して放送したほか，聞こえない人と聞こえる人が一緒に謎解きに挑むドラマ「Lの招待状」，自殺抑止のための「パパゲーノ・プロジェクト」，福祉施設の創作活動を支える「あがるアート」，バリアフリー・バンドの歌を海外にも展開する「＃アイタイプロジェクト」などの新たな取り組みも行った。さらに，コロナ禍の10代の声に耳を傾けた「＃８月31日の夜に。ぼくの日記帳」。

新宿・歌舞伎町を舞台にコロナ禍での人々の生きざまを継続取材で描いた『BS1スペシャル』「ラストトーキョー２」，作家・柳田邦男が福祉の軌跡を見つめる『文字の獲得は光の獲得でした』などの特集番組を制作。デジタル展開では，福祉ポータルサイトでのウェブ記事を拡充。必要とする人に情報を「とどけきる」ため，放送されなかった部分も含めたインタビュー全文掲載も行い，幅広いニーズに応えた。

教育番組

（番組解説は第４部⇒p.364～）

1 教育・次世代ジャンル

【1】青少年・定時番組

子どもたちの持つ，街への疑問を解き明かす新番組『マチスコープ』が月末金曜日の朝にEテレでスタート。また『天才てれびくんYOU』をリニューアルし，４月から『天才てれびくんhello，』がスタートした。

【2】青少年・特集番組

若者向け番組『Zの選択』，教育現場を取材した『NHKスペシャル』「“わたしをあきらめない”～５年１組　子どもたちと先生の一年～」，『ノーナレ』「校長は反逆児」を放送。また，コロナ禍を生きる世界の10代の現状を伝える『世界10代コロナ会議』，10代を応援する「ヌマーソニック」，子どもたちとパプリカダンスでつながるリモートイベント番組『FoorinとおどろうLIVE』も放送した。

【3】学校教育・定時番組

幼保・小学１年向けに『ざわざわえんのがんぺーちゃん』，生活科『すたあと』，社会『社会にドキリ』，外国語『エイゴビート２』，総合『テキシコー』，中高生向け『アクティブ10』の「マスと！」（数学），「レキデリ」（歴史）などの新番組を放送した。

【4】学校教育・特集番組

新型コロナウイルス感染拡大の影響により休校となった子どもたちに向けて，「NHK for School」の番組を活用した授業形式の家庭学習向け番組『フライデーモーニング・スクール』『フ

ライデーモーニング・スクール　プラス』を４月末から７月にかけEテレサブチャンネルで放送。その他，『いじめをノックアウト　スペシャル　第13弾』『香川照之の昆虫すごいぜ！』『おはなしのくに　スペシャル』「幸せとは？」などの特集番組を放送した。

【5】学校教育・イベント関連

❶「第71回放送教育研究会全国大会」（11月）が大阪府で開かれた。新型コロナウイルス対策のため初の“オンライン開催”となり，1,171人が参加申し込みをした。録画やインターネット中継を通して授業公開や実践発表，ワークショップを行った。「NHK for School」の効果的な活用について議論が交わされた。
❷「第87回NHK全国学校音楽コンクール」は，新型コロナウイルスの影響のため中止。代替企画として課題曲の歌唱動画をホームページで募集・掲載する「みんなのハモリ場かたり場」を実施し341校が参加した。また最終学年を対象に自撮り動画を募集し，延べ500人以上が参加するリモート合唱を制作した。企画の集大成として11月にNHKホールから『Nコン2020みんなのコンサート』を生放送した。
❸「第67回NHK杯全国高校放送コンテスト」は新型コロナウイルスの影響のため中止。代替企画「＃放送部チャレンジ2020」に94校が参加した。
❹「第37回NHK杯全国中学校放送コンテスト」は新型コロナウイルスの影響のため中止。代替企画「＃放送部チャレンジ2020」に54校が参加した。

【6】学校教育・関連委員会

❶教育放送企画検討会議（年２回／６，12月）
新型コロナウイルス対策のため，２回ともオンライン会議システムを使っての開催となった。新しい学習指導要領や国が進めるGIGAスクール構想などの動きを取材して番組制作計画を立案したうえで，学識経験者，全国放送教育研究会連盟役員，教員，教育行政関係者らと，20～21年度の「NHK for School」の制作方針および教育コンテンツの将来の在り方について検討を行った。

❷学校放送番組委員会
各番組の企画・制作にあたって，学識経験者，教員，教育行政関係者などと意見交換を行い，学校現場の意向や要望を反映させた。

【7】外国語講座番組・定時番組

Eテレ・ラジオ第２で10言語，48講座を放送した。新型コロナウイルスの影響で一部の語学講座は部分的に新作を中止し再放送に切り替えた。基礎英語シリーズなど義務教育の生徒向けの番組については新作を作り続け，ニーズに応えた。

❶英語
SNSの英語で世界を知る番組『世界にいいね！つぶやき英語』を放送。『即レス英会話』を週に４本放送し簡単な英語フレーズで会話が広がることを伝えた。小学生向けの新しい英語番組『キソ英語を学んでみたら世界とつながった』の開発版を放送した。

❷ヨーロッパ言語
ドイツ・イタリア・スペイン・フランス語の「旅する」シリーズの新作を新型コロナウイルスの影響で現地に行かずに制作する形に演出を変更し『旅するための○○語』として放送した。また『アラビーヤ・シャベリーヤ！』のエジプト編も現地にはロケ隊が行かない形で新作した。

❸アジア言語
『テレビで中国語』『テレビでハングル講座』は通年新作番組だが６月と７月に再放送期間を設けた。ラジオは『まいにち中国語』『まいにちハングル講座』が７～９月，１～３月に再放送をした。『ステップアップ中国語』は一歩進んだ学習者向けに後期に新作を放送した。

芸能番組

（番組解説は第４部⇒p.364～）

1 ドラマジャンル

【1】概況

20年度のドラマ番組は，コロナ禍によって収録の一時休止や放送スケジュールの大幅な変更が発生した。出演者とスタッフが打ち合わせから収録までリモートで制作した『今だから、新作ドラマ作ってみました』（３回）と『リモートドラマLiving』（２回）や，コロナ禍でのドラマ制作状況を扱った『ドラマ＆ドキュメント「不要不急の銀河」』など，新しいドラマ制作の可能性を追求する動きもあった。

【2】連続ドラマ

❶『大河ドラマ』
63年「花の生涯」から始まった『大河ドラマ』は，20年「麒麟（きりん）がくる」で59作

目。第21回（6.7）をもって一時休止し，８月30日に再開した。最終回（第44回）は２月７日となった。

❷『連続テレビ小説』

「朝ドラ」として定着。20年度前期「エール」。６月29日から９月11日までは再放送とし，11月27日に放送終了（第24週）。後期は11月30日より「おちょやん」の放送を開始した。

【3】単発・シリーズドラマ・オーディオドラマ

❶『土曜時代ドラマ』

20年度はBS時代劇をリユースした。「雲霧仁左衛門３」（８回），「雲霧仁左衛門４」（７回），「子連れ信兵衛」（６回），「子連れ信兵衛２」（７回），「立花登青春手控え２」（８回）を放送した。

❷『土曜ドラマ』

土曜午後９時放送。台湾の公共放送局PTSとの日台共同制作ドラマ「路（ルウ）～台湾エキスプレス～」（３回），「天使にリクエストを～人生最後の願い～」（５回），「ノースライト」（２回），「六畳間のピアノマン」（４回）を制作。

❸『ドラマ10』

金曜夜10時放送。コロナ禍の影響による「アシガール」再放送（11回）のほか，「ディア・ペイシェント」（10回），「タリオ　復讐（ふくしゅう）代行の２人」（７回），19年度放送した「少年寅次郎」総集編に続けて「少年寅次郎スペシャル」（２回），「ドリームチーム」（８回）を制作。同枠では，『創作テレビドラマ大賞』「星とレモンの部屋」も放送した。

❹『プレミアムドラマ』

BSプレミアムの日曜夜10時では，「珈琲屋の人々」（５回）と「山女日記」（７回）の再放送に加えて，「70才、初めて産みました　～セブンティウイザン。～」（８回），「すぐ死ぬんだから」（５回），「一億円のさようなら」（８回），「うつ病九段」，「カンパニー」（８回），「やっぱりおしい刑事」（８回）を制作した。

❺『よるドラ』

これまでNHKを見なかった新しい視聴者層の獲得を目指してスタートした『よるドラ』は「腐女子、うっかりゲイに告（コク）る。」（８回）再放送のほか，「いいね！光源氏くん」（８回），「彼女が成仏できない理由」（６回），「閻魔堂（えんまどう）沙羅の推理奇譚（きたん）」（８回），「ここは今から倫理です。」（８回）を制作した。

❻『BS時代劇』

金曜午後８時からの放送で「鳴門秘帖」（10回），「妻は、くノ一」（８回），「鞍馬天狗」（８回），「雲霧仁左衛門」（６回）といった再放送ドラマに加え，「大江戸もののけ物語」（５回），「赤ひげ３」（７回），「明治開化　新十郎探偵帖」（８回）といった新作や続編を制作した。

❼特集ドラマ

『東日本大震災10年　特集ドラマ』「あなたのそばで明日が笑う」をはじめ，「JOKE～2022パニック配信！」「岸辺露伴は動かない」（３回），「いないかもしれない」「ワタシたちはガイジンじゃない！」「流行感冒」，『NHKスペシャル』ドラマ「こもりびと」を制作した。終戦75年国際共同制作ドラマ「太陽の子」は８Kで制作した。

❽オーディオドラマ

定時番組『FMシアター』『青春アドベンチャー』『新日曜名作座』のほか，『特集オーディオドラマ』を放送。また，良質の舞台演劇を中継する番組『プレミアムステージ』では演劇ファンの要望に応えた。

2 エンターテインメントジャンル

【1】概況

第５制作ユニットエンターテインメントジャンルでは，主に音楽（歌謡曲・ポップス）やバラエティー・演芸のジャンルで，幅広い層の視聴者に親しんでもらう娯楽番組を制作した。

【2】定時番組

音楽番組は，総合では『うたコン』『SONGS』のほかに，若者向け音楽番組『シブヤノオト』，演歌・歌謡曲番組『ごごウタ』，BSプレミアムでは『ザ少年倶楽部』『アニソン！プレミアム！』など，多彩な音楽ジャンルを取り上げた。

バラエティー番組では，総合夜７時台の『鶴瓶の家族に乾杯』『ブラタモリ』のほか，『有田Pおもてなす』，コント番組『LIFE！～人生に捧げるコント～』，演芸番組『◯◯◯◯の演芸図鑑』などを制作した。

Eテレでは，ダンスを子ども向けにレクチャーする『Eダンスアカデミー』を制作。

ラジオ番組は，アイドル，J-POP，洋楽，演歌・歌謡曲といった幅広いジャンルの音楽番組，『トーキング　ウィズ　松尾堂』などのトーク番組，『東京03の好きにさせるかッ！』などのお笑い番組などさまざまなジャンルの番組を制作。

また，地域の会館で視聴者とNHKを結び付け

る役割を担う“公開派遣番組”としては，『NHKのど自慢』をはじめ，『新・BS日本のうた』『真打ち競演』を制作したが新型コロナウイルス感染防止のため，中止も相次いだ。

【3】特集番組

20年度は，定番の大型歌番組や，定時番組を発展させた特集，視聴者層の拡大をねらった開発番組など，年間でおよそ130本を制作した。

大みそか恒例『NHK紅白歌合戦』，第71回となる20年度は，“今こそ歌おう　みんなでエール”をテーマに，新型コロナウイルス感染防止のため，史上初の無観客生放送で届けた。毎年８月に視聴者のリクエストに応えて名曲を届ける『思い出のメロディー』は実施せず，コロナ禍に苦しむ人に歌でエールを送るべく，特集番組『ライブ・エール』をNHKホールから無観客で生放送した。

そして，明石家さんまがMCを務めた『明石家紅白！』，ビートたけしらが出演した長時間コント番組『コントの日』，星野源が番組ホストを務めた『おげんさんといっしょ』など多彩な特集番組も制作した。

定時番組を発展させた特集としては『シブヤノオト Presents』『ブラタモリ×鶴瓶の家族に乾杯　新春スペシャル』などを制作した。

『NHKのど自慢チャンピオン大会2021』は，新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

3 音楽・伝統芸能ジャンル

【1】概況

第５制作ユニット音楽・伝統芸能ジャンルでは，クラシック音楽，日本の伝統芸能，民謡，ポップスなど幅広いジャンルで，良質な番組コンテンツを制作。海外のプロダクションとの国際共同制作や，放送事業者との番組交換も積極的に行うなど，日本の放送文化において重要な役割を担った。

20年度は，新型コロナの影響で前期の多くの中継収録や公開収録が休止・延期となったが，８月ごろから，感染防止対策を行いながら順次再開した。

また，ベートーベン生誕250年のプロジェクトとして，定時・特集番組が連携しながら，多彩なコンテンツを放送した。

【2】定時番組

テレビでは総合『名曲アルバム』『民謡魂　ふるさとの唄』，Eテレ『ららら♪クラシック』『クラシック音楽館』『にっぽんの芸能』『古典芸能への招待』『ムジカ・ピッコリーノ』，BSプレミアム『クラシック倶楽部』『プレミアムシアター』などの定時番組を放送した。ラジオではR1とFM合わせて37タイトルの定時番組を放送した。

【3】特集番組

『ベートーベン250プロジェクト開幕特番』「今こそベートーベン！」（9.18），開発番組『クラシックTV』（12.17，24）など幅広い世代に向けて特集番組を放送。また，新春恒例の『ウィーン・フィル　ニューイヤーコンサート　2021』『待ってました！歌舞伎生中継』『第64回NHKニューイヤーオペラコンサート』を生放送。

SHVでは『N響「第９」演奏会』を８Kで生放送したほか，ドイツの映像プロダクションが冷凍保管していた35mmネガフィルムを８K化した「いまよみがえる伝説の名演奏・名舞台」第２弾を全９回，第３弾を全２回放送した。

FMでは『ベートーベン250～希望への賛歌名曲を大解剖！～』『雅楽』『きき初め　邦楽特選』『新春民謡列島2021』『ROCK to the CLASSIC PART3』，R1では『江戸ラヂヲ』など，多彩な番組を放送した。

【4】公開派遣番組

『民謡魂　ふるさとの唄』は予定していた９か所のうち，新型コロナウイルス感染の影響で４か所を開催中止，１か所で無観客収録，残る４か所で公開収録を実施した。『民謡をたずねて』は10か所のうち，８か所で中止，２か所で公開収録を実施した。『オーケストラでつなぐ希望のシンフォニー』は10か所のうち，１か所を無観客収録，残りの９か所で公開収録を実施した。『ベストオブクラシック』は４か所のうち，１か所を中止した。『吹奏楽のひびき』は当初予定の２か所とも公開収録を実施，『リサイタル・パッシオ』は２か所のうち１か所を中止にしたほか，『ブラボー！オーケストラ』は１か所で公開収録を実施した。

新領域開発

（番組解説は第４部⇒p.364～）

【1】概況

第６制作ユニット新領域開発は，NHKが公共

メディアへ変化していくためのトライアルの場として，「番組」「デジタル」「リアル体験」の領域をまたいだクリエーティブの開発と，視聴者にどう届けるかのメディアデザインをミッションに掲げてきた。またコロナ禍における次のメディアの在り方についてもトライアルを重ねた。

「健康チャンネル」ホームページは，医療・健康情報へのニーズの高まりを受け，番組取材の過程で得た，確かで新しい情報を提供。現在，週間訪問者数は120万超，ニュースに次ぐ基幹ポータルサイトに成長した。新型コロナウイルス関連の独自の医療情報は，ほかにない信頼できる情報として人気を集め，基礎疾患別の対応を医師が丁寧に解説した，「医師が伝えたいこと」の動画はYouTubeのNHK公式チャンネルでも多く視聴された。

【2】新コンテンツ開発

『チコちゃんに叱られる！』は，あらゆる世代から愛される国民的番組として定着。『よなよなラボ』では，スマホ画面のみで構成する新しい制作手法を開拓。『光秀のスマホ』でもスマホ上のコミュニケーションと時代劇を融合させた新感覚のドラマを開発し，ネットで大きな話題に。社会の“不可避”な問題を新しい手法で若者に伝える『不可避研究中』でも，SNSとテレビの連動による届け方を多種多様に実験した。

また『不要不急の銀河』ではコロナ禍での不条理と困難をドラマとドキュメントの融合で活写。さらにコロナ禍での子ども・若者支援を目指し『すごい宿題』『青年の主張2020』を開発。次世代の率直な声を世の中に届けた。

【3】新技術・新メディアへのチャレンジ

８K事務局は，放送制作の支援を続けるとともに，８K技術の放送外応用に取り組み，８Kの高解像度を生かして文化財をデータ保存する『見たことのない文化財』プロジェクトを推進，東京国立博物館との共同研究など新たな展開の可能性を示した。

「バーチャルプロダクション」プロジェクトでは，VR技術を使った番組制作のプラットフォームとしてNHK VRを開発。SDGs(持続可能な開発目標)をテーマに若者100人が参加するクイズ番組『未来王2030』はじめ多数の番組で実装するとともに，コロナ禍での視聴者参加の可能性を拓いた。

【4】局内連携の活性化と人財育成

さらに，公園通り沿いに開設したメディアデザインスタジオでは，NHK内に散在するさまざまなスキルの融合と新たな出会いの創出を目指して，年間33回のウェビナー（ウェブセミナー）を開催。地域局まで含めた自由な連携により，さまざまな発想を生み出した。

【5】国際展開

教育コンテンツの国際コンクール・日本賞は史上初のオンライン開催に取り組み，審査や授賞式をすべてネット上で開催。「コロナと世界の教育メディア」「多様性を考える」など，現在の教育の課題や挑戦をテーマにしたセッションを，会場だけでなく，国内外に向けてオンラインでも展開。全ファイナリストをネットで結んだセミナーも実施し，オンラインの利点を最大限に生かした新時代のコンクールを実現した。

放送制作要員の一体運用

PD（放送制作要員）を一体運用する「PD一体運用事務局」では，働き方改革の推進や災害・緊急報道支援等を一層効果的，効率的に行うため，コンプライアンス，大型オペレーション，災害・緊急報道，働き方作り方，人材育成，地域支援，遠隔試写システム，などの各ワーキンググループ（WG）を設置した。

コロナ禍にあっては，編集室などでの密の状態をさけるため，「遠隔試写システム」の利用を促進し，登録者数を着実に増加させた。在宅勤務が定着するなど，新たな働き方が広がる中，職員同士のコミュニケーション向上を目指す人材育成法「１ on １」の導入・推進を呼びかけ，各種の研修を実施した。

災害・緊急報道では，台風や大雪などの自然災害に対応するため関係部局と連携し，PDの要員運用計画を策定し，対応にあたった。

若手の人材育成施策として，スキルを確認するチェックリスト方式のシートを作成して育成の具体的目安を示し，着実な人材育成が図れるよう現場への支援を行った。

番組制作の委託

1 関連団体等への番組制作委託

NHKは，質の高い放送番組の安定的確保を図

るとともに，外部の専門的能力を効果的に活用することで，番組の一層の多様化を推進する視点から，関連団体へ番組制作委託を行っている。

20年度も，NHKエンタープライズ・NHKエデュケーショナル・NHKグローバルメディアサービスに，大型企画をはじめ各分野の番組制作を委託，NHKサービスセンターに広報番組の制作を委託，NHKエンタープライズに全国放送および地域放送番組の制作を委託，日本国際放送に国際放送番組の制作業務を委託した。

また，NHKでは，多様な番組を送り続けるために，関連団体を通じて番組制作会社への番組制作委託も行っており，外部のさまざまな制作パワーを効率的に活用している。

▶20年度の主な番組制作会社への制作委託

・地上波

総合では，『有吉のお金発見 突撃！カネオくん』，Eテレでは『又吉直樹のヘウレーカ！』などを制作・放送した。

・衛星波

BS1では『千鳥のスポーツ立志伝』，BSプレミアムでは『ヒューマニエンス 40億年のたくらみ』，BS４Kでは『あてなよる』，BS８Kでは『オカバンゴ』などを制作・放送した。

2 番組制作会社への直接委託（外部制作委託・本体）

【1】沿革

番組制作会社が，関連団体を経由することなく，直接編成部門に提案する窓口として，06年６月に編成局内にソフト開発センターが設立され，12年６月からは組織改正に伴いコンテンツ開発センターがその窓口になった。特集番組や新番組の提案について，NHK，NHKの関連団体，それに番組制作会社の３者が，番組の企画提案や制作・演出手法を競い合うことで，より高品質，効率的，多様な放送番組を創造することを目的としている。

【2】20年度概況

20年度は，「企画競争」として１年間で８回の募集を行った。テーマや期間を決めず通年募集している企画競争を含めると，参加した番組制作会社は21年３月末現在で，延べ466社で，1,198件の企画が寄せられた。

企画競争から生まれた番組としては，『よるドラ』「いいね！光源氏くん」（Ⓖ土，23:30），『プレミアムドラマ』「一億円のさようなら」「カンパニー～逆転のスワン～」（BSP日，22:00），『歩くひと』（BS４K日，19:00）などを番組制作会社制作の定時番組として放送した。また，『夏だ！てれファミリー』（Ⓖ7.27），『ストーリーズ』「パパがうちにいる。」（Ⓖ8.3），『アファンの森よ永遠に～C.W.ニコルからのメッセージ～』（Ⓖ8.10），『超絶神業！マジックバトル夏の陣』（Ⓖ8.12），『ナイツの夏期講習』（Ⓔ8.21），『BS1スペシャル』「市民が見た世界のコロナショック」（BS1 5.9ほか）などを特集として放送した。

番組制作会社との委託契約などにあたっては，下請法に準拠した手続きをとっている。また「番組制作会社との取引基準」に基づき，公共性・透明性を高めるとともに，「NHK放送ガイドライン」を周知し，公共放送としての質の確保に努めている。

購入番組

（番組解説は第４部⇒p.364～）

1 総合

【1】定時ドラマ

定時ドラマでは，日曜午後11時に，英国BBC制作の『レ・ミゼラブル』（～５月），韓国ドラマ『100日の郎君様』（５～８月），カナダCBCとNetflix共同制作の『アンという名の少女』（９～11月），米国ドラマ『グッド・ファイト２』（11～２月），韓国ドラマ『ヘチ 王座への道』（２月～）を放送した。

【2】定時アニメ

定時アニメでは，日曜深夜に『キングダム 第３シリーズ』（４月～），『未来少年コナン デジタルリマスター版』（５月～），『進撃の巨人 The Final Season』（12月～）を放送した。特集番組として『バジャのスタジオ～バジャのみた海～』（7.23）を放送した。

2 Eテレ

【1】定時ドラマ

定時ドラマでは，金曜午後７時25分に『ファインド・ミー　～パリでタイムトラベル～』（４月～，新型コロナウイルスの影響で一時中断），『ミルドレッドの魔女学校　シーズン２』（10月～），『ゲームシェイカーズ　シーズン３』（２月～）を放送した。土曜午後６時25分には『超能力ファミリー　サンダーマン　シーズン４』（２月から引き続き10月まで），『ファインド・ミー　～パリでタイムトラベル～』（10月～）を放送した。

【2】『地球ドラマチック』

土曜午後７時の定時番組『地球ドラマチック』では，子供から大人まで楽しめる海外ドキュメンタリーを放送。「ヒョウの女王　マライカ～サバンナのスーパーハンター～」（6.13），「ヒマラヤの雪山を越えて～子どもたちの里帰り～」（7.18），「ライオンブラザーズ　王者への道」（2.6），「小惑星探査プロジェクト～“アメリカ版はやぶさ”の挑戦～」（3.20）などを放送し，幅広い世代から反響を得た。

【3】『ドキュランドへようこそ』

金曜午後10時『ドキュランドへようこそ』では，海外で制作された秀作ドキュメンタリー購入，日本語版を制作して放送。「11歳、僕はゲイとして生きていく」「ひとりぼっちの私たち」「セルフポートレート　―拒食症を生きる―」「美しき宝物」は，それぞれLGBT，女性，拒食症，遺児として生きづらさを抱える人が主人公の作品を放送。「マリー・アントワネット　最後の日々」など世界の市場で注目された良質な作品も放送。

【4】定時アニメ

定時アニメでは，通年で土曜午前８時35分に『おさるのジョージ』『おしりたんてい』を放送。月曜午後10時50分に『銀河英雄伝説　Die Neue These』（４月～），『SHIROBAKO』（10月～），水曜午後７時25分に『ログ・ホライズン　円卓崩壊』（１月～），土曜午後５時35分には『メジャーセカンド２』（４月～），午後６時には『スポンジ・ボブ』，日曜午後７時に『もっと！まじめにふまじめ　かいけつゾロリ』を放送した。

【5】アニメ

アニメは，特集番組として映画『劇場アニメ君の膵臓をたべたい』（5.2），『劇場版　おさるのジョージ４　王子でござーる！』（5.3），『映画　若おかみは小学生！』（5.16），『セサミストリート　エルモのおうちで遊ぼう』（5.17），『アニメ　シュームの大冒険』（1.24），『アニメ　ハロー　ワールド！森のいのちの物語』（2.13），などを放送した。

3 BS1

【1】『BS世界のドキュメンタリー』

『BS世界のドキュメンタリー』は海外で制作された秀作ドキュメンタリーを紹介している。「武漢の24時間　ロックダウン・中国の記録」（5.26）は，新型コロナの最前線を描き，強い反響を呼んだ。11月の米大統領選時には「トランプ対バイデン～2020年　アメリカの選択～」（10.28～29）を放送し，視聴者の関心に応えた。

このほか「北朝鮮“39号室”追跡　地下資本主義の錬金術」（7.7），「中国　デジタル統治の内側で～潜入・新疆ウイグル自治区～」（12.2），「RBG最強の85才」（1.5～6），「薄氷のシベリア　温暖化への警告」（1.26）などにも，再放送希望が多数寄せられた。国際共同制作では，「ニュートピア　ジャングルと文明の交差点」（7.1），「キューブリックが語るキューブリック」（7.14），「聖地の果てなき縄張り争い」（8.5）などさまざまなテーマの作品を放送した。

4 BSプレミアム

【1】プレミアムシネマ

『プレミアムシネマ』は19年度の編成を踏襲し，夜間の放送は月曜のみで，洋画・邦画を柔軟に編成した。

❶月曜午後９時

月曜午後９時は，**４月**に「プリティ・ウーマン」（4.6），「シコふんじゃった。」（4.13）と90年代の洋画・邦画ヒット作を放送。

５～７月は薬師丸ひろ子の代表作「セーラー服と機関銃」（5.4），「Wの悲劇」（5.11），時代劇「どら平太」（5.25），山口百恵・三浦友和共演の２作品「伊豆の踊子」（6.22），「潮騒」（6.29），洋画ヒット作「E. T.」（7.20），「グラン・トリノ」（7.27）

を放送した。

8月はパニック映画の名作「ポセイドン・アドベンチャー」(8.3) と盲導犬の感動作「クイール」(8.10) を放送した。

9～11月は三谷幸喜脚本の「12人の優しい日本人」(9.7)，SFホラーの名作「エイリアン」(9.21)，山口百恵・三浦友和共演作「絶唱」(9.28)，「ホワイト・ラブ」(10.12)，藤沢周平原作の時代劇「山桜」(10.5)，「花のあと」(11.16)，クリント・イーストウッド監督・主演の「運び屋」(11.23)。

12月は福島を舞台にした「フラガール」(12.7)，怪獣映画「モスラ対ゴジラ」(12.21)，3部作「ゴッドファーザー」(12.28)，「ゴッドファーザーPARTⅡ」(12.29)，「ゴッドファーザーPARTⅢ」(12.30) を放送。

1月は高倉健主演の「鉄道員（ぽっぽや）」(1.11)，**2月**には邦画の感動作「博士の愛した数式」(2.22)，**3月**は三谷幸喜の初監督作「ラヂオの時間」(3.15) も放送した。

❷大みそか～元日

大みそかから元日にかけての「年越し映画マラソン」では，大みそかには「マイ・フェア・レディ」「ウエスト・サイド物語」，インド映画「ムトゥ　踊るマハラジャ　デジタルリマスター版」とミュージカル映画の名作や西部劇「真昼の決闘」，元日はミュージカル映画の名作「バンド・ワゴン」「オズの魔法使」，山口百恵・三浦友和共演作「伊豆の踊子」「絶唱」「風立ちぬ」「潮騒」4本を放送した。

❸午後（月～金，午後1時）

『プレミアムシネマ』午後（月～金，午後1時）は，多彩なジャンルの洋画・邦画，クラシックの名作を日替わりで放送し，映画ファンの期待に応えられる編成となるよう心がけた。

4月は喜劇王チャップリンの古典的傑作コメディー「モダン・タイムス」(4.1)，「チャップリンの黄金狂時代」(4.8)，「街の灯」(4.15)，「チャップリンの殺人狂時代」(4.22) の4作品，クリント・イーストウッドの代表作である刑事アクション「ダーティハリー」(4.2)，「ダーティハリー2」(4.9)，「ダーティハリー3」(4.16)，「ダーティハリー4」(4.23)，「ダーティハリー5」(4.30) とシリーズ全作品を放送した。

大型連休中はフランシス・フォード・コッポラ監督の大河ドラマ「ゴッドファーザー」(4.29)，「ゴッドファーザーPARTⅡ」(5.6)，リチャード・ギア主演の「愛と青春の旅だち」(5.4) を放送。

5月は西部劇の名作「リオ・ブラボー」(5.8)，内田吐夢監督の傑作ミステリー「飢餓海峡」(5.18)，オルコットの小説を映画化した4人姉妹の文芸ドラマ「若草物語」(5.21) を放送した。

6月と**7月**は，巨匠アルフレッド・ヒッチコック監督の名作「サイコ」(6.3)，「知りすぎていた男」(6.10)，「めまい」(6.17)，「引き裂かれたカーテン」(6.24)，「ハリーの災難」(7.1)，「マーニー」(7.8) と6本を毎週放送，横溝正史原作，市川崑監督の「女王蜂」(6.9)，「病院坂の首縊（くく）りの家」(6.15)，歴史スペクタクル「クォ・ヴァディス」(7.2)，「グラディエーター」(7.13)，「ロビン・フッド」(7.20)「アラビアのロレンス4Kレストア版」(7.30)，西部劇「荒野の七人」(7.24) を放送した。

8月は戦争映画「パットン大戦車軍団」(8.5)，「史上最大の作戦」(8.12)，「あゝひめゆりの塔」(8.13)，「戦場のピアニスト」(8.19)，「遠すぎた橋」(8.26)，SF映画「猿の惑星」(8.6)，「日本沈没」(8.10)，「アビス　完全版」(8.24)，西部劇「さすらいのカウボーイ」(8.14)，「アパッチの怒り」(8.28)，**9月**は石原裕次郎出演の「嵐を呼ぶ男　4Kデジタルリマスター版」(9.2)，「太陽の季節」(9.9)，「夜霧よ今夜も有難う」(9.16)，「あいつと私」(9.23)，「若い人」(9.30) の5作を放送，サスペンス・アクション「オデッサ・ファイル」(9.7)，遠藤周作の小説をアメリカ映画界の巨匠マーティン・スコセッシ監督が映画化した「沈黙―サイレンス―」(9.14) も放送した。

10月は，オードリー・ヘプバーン主演の「おしゃれ泥棒」(10.6)，アカデミー作品賞受賞の刑事アクション「フレンチ・コネクション」(10.13)，その続編「フレンチ・コネクション2」(10.20)，ハンフリー・ボガート主演の名作「カサブランカ」(10.28)，**11月**はブラック・コメディー「スターリンの葬送狂騒曲」(11.02)，フランス映画をリメークしたサスペンス・アクション「恐怖の報酬オリジナル完全版」(11.16)，アラン・ドロン主演の「サムライ」(11.19)，**12月**はスティーブン・スピルバーグ監督の「シンドラーのリスト」(12.16)，明治時代の日本を舞台にしたトム・クルーズ製作・主演，渡辺謙共演の「ラスト　サムライ」(12.21)，時代劇大作「忠臣蔵」(12.30) を放送した。

1～3月はジョン・ウェインがアカデミー賞を受賞した西部劇「勇気ある追跡」(1.8)，「汚名」(1.6)，「白い恐怖」(1.13)，「レベッカ」(1.20)，「鳥」(1.27)，「裏窓」(2.3)，「ロープ」(2.10)

とアルフレッド・ヒッチコック監督の映画を6週連続で放送，ホラー映画の名作「ゾンビ　ディレクターズカット版」(2.1)，レディー・ガガ主演の「アリー／スター誕生」(2.11)，80年代に大ヒットした「南極物語　公開30周年記念リマスター版」(2.23)，ダム建設を題材にした超大作「黒部の太陽　完全版」(3.1)，SF映画「ウエストワールド」(3.2）を放送した。

【2】海外ドラマ

海外ドラマでは，定時番組として金曜午後11時45分に米国ドラマ『サバヨミ大作戦！』（～5月）を放送。日曜午後9時に，韓国ドラマ『ヘチ　王座への道』（～5月）を放送したのち，新型コロナウイルスの影響で新作の吹き替え版制作を止め，韓国ドラマ『太陽を抱く月』（5月～）を急きょ，再放送。中国時代劇『コウラン伝　始皇帝の母』は9月27日から放送を開始した。

また，土曜朝には人気の英国ドラマ『ダウントン・アビー』の第5，6章を再放送（4～8月），土曜午後5時台には，『名探偵ポワロ　ハイビジョンリマスター版』（4月～），年度末にアガサ・クリスティー原作の『検察側の証人』『無実はさいなむ』『ABC殺人事件』を再放送し，多様な作品を紹介した。

【3】アニメ

アニメでは，『アニメ　トムとジェリー　ショーシーズン3』『PEANUTS　スヌーピー　ショートアニメ』『ピアノの森』を放送した。

5 BS4K

毎週水曜ドラマ枠では，不朽の名作『大草原の小さな家』4K版を午後8時から，また，幅広い視聴習慣に応えるべく，月曜～金曜の午前11時にシーズン1からの再放送を編成した。『刑事コロンボ』全69作4Kリマスター版の放送を水曜午後9時から放送し，好評を得ている。

また，『薔薇の名前』（4月～）の再放送，新作ドラマ『キャサリン　スペイン王女の華麗なる野望』（1～2月）と，4Kならではの映像を楽しめる作品をラインナップした。

木曜日午後6時台にハリウッド発の大型ドキュメンタリー・シリーズ『奇跡の星』(10月～）を放送した。番組ホストはウィル・スミス。

アニメでは，定時として『ムーミン谷のなかまたち』『シドニアの騎士　第九惑星戦役』を，特集として『映画「エヴァンゲリヲン新劇場版：序」』(4.18)，『映画「エヴァンゲリヲン新劇場版：破」』(4.25)，『映画「エヴァンゲリヲン新劇場版：Q」』(5.2）を放送した。

国際共同制作

【1】沿革

NHKは80年から，継続的に海外の放送局や制作会社等と国際共同制作を行っている。事務局は編成局展開戦略推進部に置いている。

国際共同制作は大型番組を制作するうえでの有効な手法として世界的に広く実施されている。近年は，テレビ番組市場を巡る環境がインターネットとの競合で厳しさを増す中，予算のかかる高品質の大型番組を，放送局間で制作費を分担することで確保する動きがより活発化している。またVODプラットフォームとの共同制作も行われている。

【2】20年度概況

20年度は，新型コロナウイルスの感染拡大の影響で，各国とも国境を超えた番組の撮影，制作が難しくなり，制作が中断，延期された企画も多かった。NHKで20年度に放送した国際共同制作番組は30タイトル，80本であった。

『土曜ドラマ』「路（ルウ）～台湾エクスプレス～」は，台湾PTSとの共同制作で，5月に日台で放送された。7月に放送された『NHKスペシャル』「タモリ×山中伸弥『"人体VSウイルス"～驚異の免疫ネットワーク～』」は，米SVODサービスのキュリオシティーストリームとの共同制作で，全世界で放送・配信された。7月に放送された『ワイルドライフ　スペシャル』「ワイルド東京」は英オックスフォード・サイエンティフィック・フィルムズとの共同制作，8月に放送された『国際共同制作　特集ドラマ』「太陽の子」は米イレブンアーツとの共同制作であった。

そのほか20年度に放送した主な国際共同制作番組は以下のとおり。

▶ドキュメンタリー

『NHKスペシャル』「ホットスポット最後の楽園　season3」：NHNZ(ニュージーランド)

『ダーウィンが来た！』「標高5000m！秘境に生きる幻のオオカミ」：IFAメディア（シンガポール）／LGIメディア（豪）

『BS1スペシャル』「クライメート・ジャスティス　パリ“気候旋風”の舞台裏」:Yami2（仏）
『バチカン　秘密の宮殿』:ジェデオン（仏）

▶音楽ほか

『プレミアムシアター』「ルツェルン音楽祭2020　ヘルベルト・ブロムシュテット指揮　ルツェルン祝祭管弦楽団演奏会」:アクセンタス・ミュージック（独）
『プレミアムシアター』「ドキュメンタリー『バイロイトとザルツブルク～新型コロナウイルスが変えた夏～』」:アクセンタス・ミュージック（独）

日本賞教育コンテンツ国際コンクール

【1】沿革

日本賞は，教育番組の国際コンクールとして，世界の教育番組の質の向上および国際理解と協力の増進に貢献する目的で1965年に創設された。世界各地の制作者が交流し議論する場や，メディアを利用した教育に関する最新情報を交換する機会として大きな役割を果たし，教育に特化した世界でも類を見ない国際イベントとして独自の地位を築いている。

近年はインターネットをはじめとする情報技術の急速な進展やコンピューター教育の普及など，著しい変化を遂げる教育メディアのデジタル化に対応し，既存の対象年齢別部門の枠に収まらない革新的なメディアの活用に挑む作品の顕彰も行っている。

【2】第47回コンクール

2020年の第47回コンクールは，10月26日から11月５日に，本審査と公開イベント，授賞式が行われた。コロナ禍であることから，本審査や授賞式が初めてオンライン上で行われた。上映会など一部の公開イベントは，原宿のWITH HARAJUKU HALLを利用して開催した。応募は55の国と地域から，映像作品が252本，新規企画に30本，合計で282本となった。

本審査は，日本賞事務局が委嘱した世界から集まった12人の審査委員によってオンライン上で行われた。

イベント会場では，一次審査通過作品の上映と合わせて，教育の課題や挑戦をテーマにしたセッションを開催した。「コロナと世界の教育メディア」では，コロナ禍で世界の教育メディアはどんなことに取り組んできたのか，アメリカ，イギリス，南アフリカの制作者に話を聞いた。また，「多様性を考える」では，世界の教育コンテンツは多様性を子どもたちにどう伝えているのかをテーマに，日本賞エントリー作品の制作者から話を聞いた。

授賞式には，各国から審査委員，受賞者がオンラインで参加。タレントのハリー杉山さんと保里小百合アナの司会により，各賞が授与された。

▶受賞作品・企画

「グランプリ日本賞」は，フィンランドのドキュメンタリー映画「テロの街の天使たち　～ブリュッセル６歳児日記～」。企画部門の最優秀賞・放送文化基金賞は，ケニアの大人向けドキュメンタリー「拒絶の声」に贈られた。（⇒p.637）

関連番組として，『まるごと見せます！世界の教育コンテンツ～日本賞2020～』を２日間にわたって放送し，各部門の最優秀賞作品をノーカット版で紹介した。（Ⓔ12.31，1.1）

詳細は，https://www.nhk.or.jp/jp-prize/

放送番組コンクール

1 国際コンクール

20年度は，９のコンクールで延べ32の賞を受賞した（⇒p.633）。

イタリア賞では，NHK『体感　首都直下地震』プロジェクトがウェブ・インタラクティブ部門でイタリア賞を受賞した。

ABU賞では，『BS1スペシャル』「ラストトーキョー“はぐれ者”たちの新宿・歌舞伎町」がテレビ・ABUの視点賞部門で，『FMシアター』「うつ病九段」がラジオ・ドラマ番組部門でそれぞれ最優秀賞を受賞した。

2 国内コンクール

20年度は，16のコンクールで延べ93の番組が受賞した（⇒p.634）。

放送文化基金賞では，テレビドラマ番組部門で『土曜ドラマ』「心の傷を癒すということ」が最優秀賞を受賞した。

文化庁芸術祭では，テレビ・ドラマ部門で『スペシャルドラマ』「ストレンジャー　～上海の芥川龍之介～」が大賞を受賞した。

「地方の時代」映像祭では，『ETV特集』「おいでや！おやこ食堂へ」がグランプリを受賞した。

アナウンス

1 コロナ禍で“公共放送の顔”として業務展開

20年度，アナウンサーは，新型コロナ感染拡大により社会情勢が大きく変容する中で，緊急特番や各種キャンペーンに取り組み，公共放送の使命達成に尽力した。

都知事選挙，新総理誕生，アメリカ大統領選挙などの時代を画する放送を的確に伝えたほか，豪雨災害では，全国アナと共同して作成してきた「命を守る呼びかけ」の知見を生かした。

大みそかの『第71回NHK紅白歌合戦』は，総合司会を『おはよう日本』のキャスター，桑子真帆アナが担当した。

全国のアナウンサーが制作する『インタビューここから』は14本を制作。『100年インタビュー』は１本制作した。

21年３月末現在，アナウンサーは469人。内訳は，アナウンス室129人，ラジオセンター・グローバルメディアサービス・研修センター日本語センター・地域放送局340人。女性アナウンサーは全国で95人。

【1】報道

❶新型コロナ対応

新型コロナ感染防止対策として，ニュース番組のキャスターは隔週に分かれて出演。スタジオ内でもキャスター間の距離を離したり，アクリル板を設置したりするなどの感染防止対応を行った。４月７日の緊急事態宣言発出をはじめ５月の延長や解除，21年１月８日の２回目の発出を，特設ニュースで伝えた。

❷命を守る呼びかけ

「地震・津波」「豪雨」「大雪」など災害発生時に命を守る行動をニュース番組内で具体的に呼びかける「命を守る呼びかけ」。新型コロナの感染状況においても避難を呼びかけるべく「新型コロナ感染防止を念頭に置いた避難の呼びかけ」を策定し７月の九州の豪雨災害で運用した。このほか，「熱中症対策の呼びかけ」も策定し８月から９月にかけての放送で活用した。

❸緊急報道

７月４日に熊本県球磨川流域を中心に九州で発生した豪雨災害は，新型コロナ感染状況下において初めての大規模災害となった。被災地や避難所の取材は感染防止対策を徹底して行った。９月の台風10号の際は気象庁の「最大限の警戒を」という発表から特設ニュースを開始し，台風が近づく前の早めの避難を最大限に呼びかけた。

❹選挙関連

７月に行われた東京都知事選挙では，全国放送のメインキャスターを瀧川剛史アナが担当した。プレゼンターを上原光紀アナ，票回しを三條雅幸アナが担当。首都圏は高井正智アナがメインキャスターを務め，話題性の多い選挙を丹念に伝えた。11月のアメリカ大統領選挙は，トランプ大統領の再選か，バイデン政権の誕生か，国内の関心も非常に高かった。アメリカでの長い生活経験がある井上裕貴アナを開票速報のメインキャスターに起用。視聴者の関心に即した視点で専門家に問いかけながら，開票速報を伝えた。井上アナは１月のバイデン大統領就任式の実況も担当した。

❺新総理誕生

９月14日に行われた自民党総裁選挙は三條雅幸アナが特設ニュースのキャスターを担当した。16日の指名選挙では，衆議院から佐藤誠太アナ，参議院から糸井羊司アナが中継を行った。

【2】一般番組

❶定時番組

20年度定時番組では，テレビとラジオを合わせて108番組に，延べ193人のアナウンサーが対応した。

総合の『ニュース７』は，平日メインを瀧川剛史アナ，土日祝メインは青井実アナが担当し，平日，土日祝ともに３人のアナウンサーで伝える体制とした。土日祝日の『正午ニュース』は，新たに佐藤誠太アナとこの枠では女性担当初となる合原明子アナが担当した。『おはよう日本』のメインキャスターに桑子真帆アナ。『ニュースウオッチ９』に和久田麻由子アナを起用し，ニュース番組の刷新をはかった。深夜帯では，『国際報道2020』に２年ぶりにアナウンサーからキャスターを登用。今井翔馬アナが担当した。

『ニュース　シブ５時』は阿部渉アナが新たに担当した。『BSコンシェルジュ』は田村直之アナ，『ブラタモリ』は浅野里香アナらの若手が担当したほか，『世界にいいね！つぶやき英語』は，保里小百合アナが担当した。

❷特集番組

公共メディアキャンペーンの中の新型コロナ関連については，緊急NHKスペシャルで武田真一アナと合原明子アナがそれぞれ５本を担当した

のをはじめ，合計16人のアナが担当（MCとナレ）。BS1スペシャルや特番，定時番組内の企画などにも50人以上が関わった。

「＃こもりびとキャンペーン」の中核を占める『ひきこもりラジオ』は全６回，栗原望アナがコアメンバーとして取材制作そしてMCとして放送に関わった。『クローズアップ現代+』との連動で始まり，ラジオでネットワークを広げ，ウェブ展開などでも横断的に取り組み，再び最新情報を『クローズアップ現代+』で放送するなど「伝えきる」姿勢を貫いた。8,000件もの当事者の声が集まった。

『100年インタビュー』は，アナウンス企画開発グループが制作し，北島三郎さんの演歌人生哲学を小田切千アナが徹底的に掘り下げた。

年末年始の特集編成では『第71回NHK紅白歌合戦』の総合司会を桑子真帆アナが担当。ラジオは田村直之アナと初の担当となる赤木野々花アナが務めた。小松宏司・大橋拓・中川安奈・浅野里香の各アナがサイド。コロナ禍のリモート体制の中で，NHKホールに入らず別スタジオから放送したが，チームワークを生かした取材で放送をサポートした。

３月の東日本大震災10年に際しては，東北管内アナに加えて，アナ室からも５人のキャスターが現地に入り，テレビとラジオの関連番組に，若手からベテランまで約30人のアナウンサーが対応した。このうち，『おはよう日本』では，被災３県から被災地の現況や復興の課題など中継で伝えたほか，NHK民放６局防災プロジェクト特集番組『あしたの命を守りたい～NHK民放　取材者たちの震災10年～』では，鈴木奈穂子アナが総合司会を担当。取材者として仙台局・津田喜章アナが出演し，震災や復興の過程での経験を持ち寄り，未来の命を守るため私たちに何ができるかを考えた。また『ラジオ深夜便～震災インタビュー』を５本放送。全国のアナウンサーから提案を募集し，震災10年を多角的な取材で掘り下げた成果を発信した。

【3】スポーツ

世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響で，夏に開催が予定されていた東京オリンピック・パラリンピックが史上初めて１年延期されたほか，プロ野球やMLBの開幕延期，Jリーグの中断など，国内外のスポーツ中継の中止や延期が相次いだ。大相撲は，５月の夏場所が中止，７月場所と11月場所は東京の国技館に会場を変更して開催された。高校野球も，３月の選抜，８月の選手権がともに中止となった。

プロ野球は６月19日に開幕，Jリーグは７月４日から中継が再開された。飛沫感染を防止するため，実況席にはアクリル板や透明シートを設置したり，リポーターは放送中もマスクやフェイスシールドを着用したりするなど，感染予防対策を講じた上で放送にあたった。

８月には，選抜高校野球に出場予定だった32校が１試合ずつ甲子園球場で試合を行う「2020年甲子園高校野球交流試合」が開催され，テレビとラジオで全16試合を中継した。若手からベテランまで全国25人のアナウンサーが対応し，放送にあたっては，万一の際の濃厚接触者を限定し，緊急時のカバー体制を容易にするため，アナウンサーを３つのユニットに分け，ユニット単位で試合の中継を担当した。

2 アナウンス制作番組

全国のアナウンサーが制作する総合のインタビュー番組『インタビュー　ここから』は，14本の新作を制作。野田洋次郎さんや武田真治さんなど若い世代にも訴求力のあるゲストの人選を心がけた。

BSプレミアムの『100年インタビュー』（12月）は，歌手・北島三郎さんがゲスト。NHKホールのステージを舞台にインタビューした。NHKの映像資料をふんだんに使いながら，北島さんの歌の哲学を掘り下げ，エンターテインメント性の高い内容に仕上げた。また，さらに長尺の「完全版」の制作や『ラジオ深夜便』への展開にも取り組んだ。

総合で毎週金曜午後に放送した『ごごナマ　おいしい金曜日』では，コロナ禍で新たな中継を開発。売上減に苦しむ各地の産地を応援しようと特産品を，地域の顔として活躍したアナが応援するという，地域との新たな向き合い方を示した。

『ラジオ深夜便』（R1 FM）のインタビューシリーズでは，「戦争・平和インタビュー」（８月）を５本，「人権インタビュー」（12月）に加えて，３月に東日本大震災10年のシリーズを５本制作した。初動の取材にあたったアナウンサーや被災したふるさとの力になりたいと入局したアナウンサーが制作した。

“耳で聴く短編小説”として，アナウンサーの朗読で幅広く文学作品の魅力を届ける「ラジオ文芸館」は，新作29本，アンコール21本を『ラジ

オ深夜便』（R1 FM）の中で放送。朗読，スピーチ，敬語などのノウハウを分かりやすく紹介する『ことば力アップ』（R2）は，新作32本，アンコールを20本放送した。

ラジオ特集は，パラスポーツをテーマにした特集を２本制作。パラリンピックが延期になる中，アスリートの現状や思いに向き合った。さらに年度前半，スポーツ中継ができない中，スポーツアナウンサーが中心になってプロ野球や大相撲などをテーマにした特集を３本制作。アーカイブスに残る実況や日頃の取材で培った知見を存分に盛り込んで，アナウンサーの専門性を生かした番組となった。

映像デザイン

1 概況

映像デザイン部は，番組やイベントなど協会に関わるビジュアルデザインを担い，細やかで高度な専門性を集結し，質の高いデザインを提供することで，より豊かなコンテンツの創造に寄与した。

映像デザインを行った番組として「特集・開発・デジタル」「ニュース・スポーツ」「ライフ・教養・趣味実用」「教育・福祉」「ドラマ・エンターテインメント・音楽」と，すべてのジャンルで貢献している。また，さまざまなコンテンツに対応できる幅広いノウハウの蓄積と新たな表現手法の開発を行い，公共メディアへの進化につなげる取り組みを継続した。

さらに，経営計画に基づきNHKブランド力強化への貢献，業務の高度化への対応，放送資産の活用など，全局的な視点に立った取り組みも展開した。

公共メディアへの進化に向けて，広がる視聴者とのさまざまなタッチポイントを専門家集団としてデザインし，ビジュアルの質を向上させていく。

2 番組制作における映像デザイン

【1】NHKスペシャル・開発・デジタル

長期にわたり取り組んだ新型コロナ関連の『NHKスペシャル』では，緊急性と緊張感を感じさせる黒とブルーを基調としたデザインからスタートし，人々の間に“コロナ疲れ”が広がり始めたころには明るさを取り戻せるよう全体を白と黄色からオレンジのセットデザインへ変更。その後は“withコロナ”へと生活が変容していくのに合わせ，日常を感じさせる居室空間のデザインに変更するなど社会状況を読み解きながら視聴者に寄り添うデザインの工夫をした。

『NHKスペシャル』「ドラマ　星影のワルツ」では，東日本大震災で津波に流され屋根の上で３日間漂流し，奇跡的に救出された男性の実話をもとにしたドラマを制作。縦横３メートルの屋根セットをロケ地の海岸とスタジオに仮設したプールに浮かべて撮影した。がれきに覆い尽くされた海や迫力のある津波シーンはVFXや合成を駆使しリアリティーのある映像表現を実現した。

『＃あちこちのすずさん～教えてください あなたの戦争～』では映画「この世界の片隅に」の主人公であるすずさんの家を3Dモデルとして作成しバーチャル空間に再現した。19年の『＃あちこちのすずさん』にも出演した片渕須直監督の全面協力により，映画で実際に使用されたアニメの原画を3Dモデルのテクスチャーとしても使用させて頂き，アニメの空間に出演者が飛び込んだかのような没入感のある映像表現に挑戦した。

近年増加しているデジタル表現や多様なデバイスに向けたコンテンツなどでは企画意図や番組がターゲットとする世代に合わせ，多様なデザイナー配置を実現している。また『NHKスペシャル』などの大型企画ではCGやVFX映像，プロジェクションマッピングなどの最新テクノロジーが多用されるが，外部パワーの積極的な登用と若手デザイナーとのコラボレーションで斬新で挑戦的な映像表現を追求した。

【2】ニュース・スポーツ番組

20年度に向けた報道デザインでは，報道局を中心とした「報道ブランディングプロジェクト」と連動し，公共メディアとしての“NHKらしさ”を印象づけるシンプルなコンセプトを共有しつつ多様性を維持するデザインに挑戦した。

20年度ニュースセンター後期改定を実施した『サンデースポーツ』は，ニュースセンターを使用する番組の中でも特に歴史のある長寿番組であり，幅広い視聴者層に届くよう若手デザイナーをデザインチーフに登用した。番組コンセプトは“SHARP”“FRESH”“PASSION”“UNITE”の４つをキーワードにセットとグラフィックデザインを一体的に進めた。“UNITE”は「一体化する」「結合する」という意味で，コロナ禍に

よる分断が顕在化する中，スポーツを通じて生まれる一体感を表現，スポーツの喜びや悔しさ，栄光や挫折などさまざまな感情のうねりを内包するイメージをもとに革新的なデザインを行った。また，バーチャル合成技術を活用し無限の奥行きと野球やサッカーのスタジアムや国立競技場など番組内容によってさまざまに変化するセット空間を構築し，デジタル時代の到来を先取りしたビジュアルをつくりあげた。

「アメリカ大統領選挙」では，デザインコンセプトを「接戦の緊迫感」とし，カラーラインに表情をつけることによるビジュアル化につとめた。また使用頻度の高いニュースセンタースタジオを約30分のセッティング時間で飾り替えすることが可能な美術とVRを合成する効率的なデザイン提案をした。運用・保管・コスト面の合理化を総合的に計画し，限られた経営資源を効果的で効率的に活用するために美術とVRのハイブリッドなデザイン展開を実現している。

「都知事選2020TOKYO」では，選挙関連番組で数年間にわたって一貫したステージングとデザインコンセプトを踏襲することにより，情報の「伝わりやすさ」と「分かりやすさ」，運用の効率化を目指すとともにニュースセンタースタジオを解放的でかつ飽きさせない空間として「魅せる」デザインを実施した。

1年延期された「東京オリンピック・パラリンピック」の開幕に備えて若手を中心とした多様な人材でチームを構成。グラフィックスデータや素材の効率的な共有により，デザインの統一性の向上に努める一方，最新のテクノロジーを駆使して魅力的で夢のあるセット空間で東京オリンピック・パラリンピックを盛り上げる準備を進めている。

【3】ライフ・教養・趣味実用番組

『＃8月31日の夜に。～2020年　ぼくの日記帳～』では，参加する10代の若者たちがバーチャル空間で語る演出を採用。「夏休みが明けて学校が怖い」「家族や友達との関係がストレス」…，いつもと違う毎日の中での出来事やエピソード，簡単には誰かに話せないような気持ちを話しやすいように出演者をアバターで表現する手法にトライした。

【4】ドラマ番組

『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」では戦国時代を初めて4Kでフル撮影した。高精細映像をいかすため“カラフル”“エンターテインメント”“リアリティー”の三本柱をテーマに明解なデザインコンセプトを設定。それがセットや扮装，演出などの細部にわたって徹底された。コロナ禍の困難な撮影現場においても最後まで質を落とすことなく視聴者に希望を与える戦国ドラマが実現した。

21年『大河ドラマ』「青天を衝（つ）け」では渋沢栄一が青年期までを過ごした血洗島をオープンセットで再現した。渋沢家では母屋の2階で大規模な養蚕を行い，敷地内では藍玉を生産している。セットではこの家業を目で理解してもらい，その規模感を感じてもらうために1階と2階をひとつながりの空間として設定し，土地の条件を生かしながら質素で謹厳実直な生活を送る富農を表現した。専門家による新型コロナ対策レクチャーにより，マスク着用，セットや小道具の都度消毒，適宜換気，スタジオ内スタッフ数の限定，チェックモニターの増設などの対策をとっている。

『連続テレビ小説』「エール」では，限られたスタジオスペースを効率的に運用しデザイナーの創意工夫によって多くの印象的な情景を創作した。長期の収録期間を見据えた綿密な美術計画を立案し，効率的なセットの飾り替えと高品質なデザインの両立を果たした。

「リモートワークドラマ」の『今だから、新作ドラマ作ってみました』では，リモートワークという規制の中でどこまでクオリティーを引き出せるかが各セクションのチャレンジとなった。映像デザイン部では人物デザインやVFXなどのさまざまなスペシャリストを登用した制作体制となった。スタジオセットこそ無かったものの，自宅や事務所などの撮影場所に装飾を施すことで台本に相応しい空間演出で番組を支えた。

「日台共同ドラマ」の『土曜ドラマ』「路（ルウ）～台湾エクスプレス～」では，約2か月間の台湾ロケからスタートしスタジオ収録は国内での撮影となった。台湾高鉄オフィス（台湾新幹線の経営を取り仕切る台湾の大企業）と日本連合オフィス（台湾新幹線開発のための日本企業の合弁会社）がメインセットとなっており，双方の対比がこのドラマの軸にもなっているため，それぞれのセットの広さや質感，小道具などで明確に差が出るようにきめ細かくデザインした。また中国語表記の非常灯やカレンダー，プレートなど台湾で入手した小道具をセット内に多数飾ることでリアリティーを出した。

【5】エンターテインメント・音楽番組

『第71回NHK紅白歌合戦』では紅白歌合戦初の無観客となり，同時に密を避けるため複数会場からの放送となった。「何をどのように届けるのか」コンセプトを立案し，「楕円を描くモチーフ」を提案。歌によってひとつになるメインステージのビジュアルを創り上げた。各セクションとの連携によりステージセットの効果を最大限生かしたデザインを提供。レーザーを駆使した照明効果や無観客ならではのAR技術で魅力的な映像の数々を実現し「歌の力」を全面に打ち出した映像デザインを創出した。

『ライブ・エール』では，新型コロナウイルスと向き合う中「物理的に離れてしまっている個々が，公共メディアという場において心で繋がる」という「一体感」を表現するデザインを試みた。心に温かく語りかけ，心に深くしみわたるように，ひとときでも希望を感じてもらえるコンサートを実現し，エンターテインメントの新たな在り方を問う第一歩として取り組んだ。

3 新サービス

20年度は，NHKが独自に開発したVRプラットフォームによる番組制作に参画した。『沼にハマってきいてみた』「ジェネ＆リトグリ降臨！尊きバーチャル学園祭ヌマーソニック」では参加者がCGキャラクターを操作し，バーチャル空間の中を自由に動きながらさまざまな体験ができる技術を活用し，コロナ禍で人が集まるイベントが開催できない状況下において出演者と視聴者がアバターとなってバーチャル学園祭に集いライブや作品展示を共に体験する公開収録を実現した。映像デザイン部ではバーチャル空間とアバターのデザインとストリーミングによるライブ配信のベースとなるスタジオセットを担当し，新たな視聴者参加型番組開発の一翼を担った。

また，『ハートネットTV』や『未来王2030』でも同様のテクノロジーを活用し，バーチャル空間で番組やイベントを作成することでユーザーが参加・体験できる機会を提供するという「withコロナ時代」に対応した開発番組をデザイン面でサポートする取り組みを進めている。

4 コーポレートデザイン

デザインセンターで長年にわたり研究し，開発してきたCI（コーポレート・アイデンティティ）の思想は，「NHKブランディングプロジェクト」で具体化し「新NHKロゴデザイン」「クリエイティブマニュアル」として結実した。今後はプロジェクト事務局と連携して，協会全体のCIに関する意識向上を進める。

分かりやすく，読みやすく，読み間違えにくいUDフォントの活用では，20年度からNHKで使用できるUDフォントのバリエーションが増え，NHKブランディングにおいても推奨フォントに指定された。UDフォントのコンセプトや成り立ちの社会背景から，実際にNHKでの放送での活用イメージまで考える勉強会を開催し，映像デザイン部はじめ，報道局や制作局，広くニューデリー支局の職員まで参加し，全局的な理解を深めている。

5 CG・VFXコーディネーション

CG制作パーツなどを一元管理する「CGアセット」プロジェクトを立ち上げ運用している。20年度は局内で公開しているアセット（2,250点のCGパーツやシーン）をさらに充実させた。『NHKスペシャル』，『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」など高精細CG表現にもCGアセットが活用されており，番組の効率的な制作に貢献した。CG制作が数多く用いられる『NHKスペシャル』などにはアートディレクションとして携わった。

6 CS向上活動

公共放送と受信料制度の理解促進を図るために映像デザインの知見を生かしたCS向上活動を行った。20年度はオンラインの活用とスタジオ周辺の機能・放送番組制作についてのVTRを作成することで，東京芸術大学や美術系大学を中心とした学生を対象にデザイン業務紹介を開催し，NHK番組のデザインワークへの理解を広げた。

音響デザイン

1 概況

音響デザイン部は，コンテンツを音から支える専門家集団として，高い専門知識とスキルで放送サービスを充実させ，経営計画の実現とコンテン

ツの質の向上に取り組んできた。20年度もNHKのブランド力強化への貢献，NHK独自の効果音の整備，ライブラリーミュージックの充実，22.2ch超高臨場感立体音響番組の制作など放送音響デザイン界の先導的役割を担った。

情報・構成番組では「2030　未来への分岐点」「パンデミック　激動の世界」など『NHKスペシャル』の大型シリーズの音響デザイン業務を行うとともに，新型コロナ感染症に関する『NHKスペシャル』や『クローズアップ現代＋』など緊急性の高い番組にも迅速に対応した。東日本大震災は発生から10年が経過，３月に集中編成された『NHKスペシャル』を中心にさまざまな演出手法を使って制作された番組を担当した。

ドラマ番組では，『連続テレビ小説』「エール」，『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」「青天を衝（つ）け」をはじめ，東日本大震災を題材に10年という時を経てもなお深く刻まれた心の傷みを描いた『東日本大震災10年　特集ドラマ』「あなたのそばで明日が笑う」，『NHKスペシャル』「ドラマ　星影のワルツ」，コロナ禍だからこその表現に挑戦した『今だから、新作ドラマ作ってみました』，『ドラマ＆ドキュメント』「不要不急の銀河」，Ｆ１～２層をターゲットにした『ドラマ10』「ディア･ペイシェント～絆のカルテ～」，『特集ドラマ』「少年寅次郎　スペシャル　完全版」，ファミリーで楽しめる『BS時代劇』「明治開化　新十郎探偵帖」，若い視聴者層獲得を目指す『よるドラ』「ここは今から倫理です。」など多数の番組の音響デザインを行った。

BS４K･BS８Kでは20年度も幅広いジャンルのコンテンツ制作を実施した。音響デザイン部で開発した全方位マイクや空間パンナーも活用し，ソフト・ハード両面から22.2ch音響での高臨場感サウンドの作成に寄与した。

2 番組制作関連

【1】『NHKスペシャル』

新型コロナ感染症が拡大する中，医療・経済・社会と多岐にわたる課題を伝える緊急報道番組が多数制作され，その全てにおいてチームを組み，迅速に対応した。

シリーズ「パンデミック　激動の世界」ではオリジナルテーマ音楽を委嘱。『ミラクルボディー』から展開した『超人たちの人体』では，22.2chマルチチャンネル音響のスキルを生かしスポーツの超人たちを迫力ある音空間で演出。高精細のグラフィックに奥行きと臨場感を与えた。

夏の終戦関連の『NHKスペシャル』は「証言と映像でつづる原爆投下・全記録」「忘れられた戦後補償」「アウシュビッツ　死者たちの告白」「渡辺恒雄　戦争と政治～戦後日本の自画像～」「沖縄　“出口なき”戦場～最後の１か月で何が～」の全５本を制作。コロナの影響で海外ロケがままならない中，CG・イメージ映像やドラマなどさまざまな演出が試みられたが，多彩な音響表現で再現映像のリアリティーを高め，番組の完成度アップに貢献した。

持続可能な未来を模索する『NHKスペシャル』の新シリーズ「2030　未来への分岐点」では，10年後の未来に向けて私たちは今何ができるのかを求心力のあるテーマ音楽と10年後の「日常」をリアルに体感してもらえるドラマで，社会が抱える課題を明確に浮かび上がらせた。

【2】東日本大震災関連番組

震災から10年となる20年度は「苦難と再生」「心に留めるべきこと」というコンセプトで『NHKスペシャル』『クローズアップ現代＋』『明日へつなげよう』『目撃！にっぽん』『ETV特集』などの震災特集番組を多数作成した。

被災地の現状と復興への課題，防災につながる新たな事実解明など10年の継続取材を音の面からサポート。震災当時幼かった子どもが成人を迎え，心の傷を抱えながらも新社会人として一歩を踏み出していく姿など，貴重な記録に寄り添う音響デザインで「あの日を忘れてはいけない」という強いメッセージを届けた。『NHKスペシャル』ではネット展開を見越した広報用の３秒クラッチを音楽委嘱し，ブランディング向上を目指した。

【3】報道・スポーツ番組

『クローズアップ現代＋』では，コロナ禍の喫緊の課題からwithコロナ時代の生活の在り方まで刻々と変化する社会状況をジャーナリスティックな視点と分かりやすさを念頭に置いた音響デザインで表現。「正確な情報を伝える」「共感する」「呼びかける」「警鐘を鳴らす」など事態の推移に合わせ，適切な音響表現で視聴者に届けた。『サタデースポーツ』『サンデースポーツ』では10月からリニューアルを実施。テーマ曲やコーナータイトルなどの楽曲委嘱をコーディネートし，スポーツの持つ「熱量」と一体感を生み出す「親しみやすさ」を表現した。

また新型コロナの長期化，大規模災害発生などに備え，BCP（事業継続計画）の観点から「ニュースセンター統括機能の強化」に着手。センター関連番組の職員対応や外部協力会社間での連携を強化し，番組の安定送出に向けた音響デザイン業務フロー改革に取り組んだ。

【4】情報・教養・開発番組

新型コロナの影響でロケ・収録が大幅に制限される中，新たな演出方法やポスプロ手法が数多く用いられた。『プロフェッショナル　仕事の流儀』「おうちごはん」では，出演者自らが機材をセッティングして収録までを行うリモート演出が取り入れられたが，コロナ禍で緊張を強いられる日常をひとときでも和らげることのできるデザイン表現を心がけた。『目撃！にっぽん』では取材・編集を行うローカル局と東京の間で人の行き来を伴わずにポストプロダクションを並行して行うなど，リモート環境に対応した新たなフローを整えた。

夏季特集『戦争童画集～75年目のショートストーリー～』では，朗読劇の演出を担当した山田洋次監督の高度な要求に対し，クオリティーの高い音響デザインで応えた。『#８月31日の夜に。～2020年　ぼくの日記帳～』では，視聴者に寄り添う音響表現を実現，技術と連携して匿名性を担保しながらも人らしさを失わない（機械的な音質にならない）出演者の声の加工にも取り組んだ。

【5】ドラマ番組

４月の緊急事態宣言時は全てのドラマ番組の収録が休止，ポスプロも『連続テレビ小説』と『大河ドラマ』以外は休止となった。『連続テレビ小説』と『大河ドラマ』は制作期間が延び，『土曜ドラマ』２シリーズ，『ドラマ10』１シリーズ，『BS時代劇』２シリーズ，『ABUドラマシリーズ』『８K特集ドラマ』が宣言解除後ないし年度末まで制作延期となった。

作曲家・古関裕而の生涯を描いた『連続テレビ小説』「エール」では，台本開発段階から演出チームと音響デザインが一体となり物語に欠かせない古関メロディーの再現を行った。楽譜や音源が現存しない楽曲も多く，多くの資料から当時の楽曲を類推し，アレンジや楽器編成などもできる限り当時の原曲に近いと考えられる形で再現。多彩な古関メロディーの魅力を伝えた。

『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」では，本格的な合戦シーンの臨場感と緊迫感あふれる人間模様を「動と静」の対比を強調する大胆な音響表現で鮮やかに描き出し，４K初の戦国大河を支えた。また米ロサンゼルス在住の作曲家とのリモートでの劇伴制作はコロナ禍に先駆けてトライアルが重ねられ，今後の音楽制作における可能性を広げる取り組みとなった。

『土曜ドラマ』は，台湾との共同制作「路（ルウ）～台湾エクスプレス～」，「天使にリクエストを～人生最後の願い～」に対応。特集番組として『NHKスペシャル』「ドラマ　こもりびと」，『特集ドラマ』「うつ病九段」，『国際共同制作　特集ドラマ』「太陽の子」，『特集ドラマ』「流行感冒」，『第44回創作テレビドラマ大賞』「星とレモンの部屋」，『特集ドラマ』「いないかもしれない」に対応，また東日本大震災10年の節目として『東日本大震災10年　特集ドラマ』「あなたのそばで明日が笑う」，『NHKスペシャル』「ドラマ　星影のワルツ」にも対応。19年度に引き続きステレオ・5.1ch一体化制作を行い，社会が抱えるさまざまな歪みや課題をリアリティーのある音響デザインで表現した。

コロナ禍での新たな試みとして開発された『リモートドラマ』３シリーズにも対応。企画から放送まで約３週間と異例の短期間となったが，収録だけでなく制作打合せや作曲家への音楽発注・音源納品まですべてウェブ会議システムやクラウドといったリモートシステムを活用。準備作業・ポストプロダクションにおいてもできる限りリモートを活用し，遊び心と工夫を凝らした表現手法で困難な制作状況を支えた。

このほか『ドラマ10』『よるドラ』『BS時代劇』『土曜時代ドラマ』においても，それぞれの番組のターゲットを意識した音響設計を行った。

また，地域局発ドラマでは『宮城発地域ドラマ』「ペペロンチーノ」（仙台局），『秋田発地域ドラマ』「金色の海」（秋田局）において，新型コロナの状況を注視しながら必要最小限のロケ収録・音楽コーディネート・ポストプロダクション等の番組制作支援を行った。

オーディオドラマでは『FMシアター』『青春アドベンチャー』『新日曜名作座』『特集オーディオドラマ』において，音だけで世界観を作るラジオならではの音響デザインを行った。

【6】BS４K・BS８K 22.2ch超高臨場感立体音響

20年度は，19年度に引き続き８K22.2ch音響，４K5.1ch，２Kステレオの一体化制作をさらに推し進めた。

４月に新型コロナによる緊急事態宣言下で８K

ロケがストップ。既に収録の終わった番組の制作は継続し，海外ロケを多用する大型の８Ｋコンテンツは制作規模を縮小，あるいは休止となった。『シリーズ　大英博物館』は放送尺を変更し制作した。イタリア都市シリーズなどは既にロケを終えたもののみを作成。一方，東京2020オリンピック延期に伴い，既存の８Ｋ番組を再編集した２Ｋ展開番組を新たに制作。

緊急事態宣言解除後は，海外から国内にロケ地を変更し，「国宝シリーズ」『謎の国宝鳥獣戯画“楽しい”はどこまで続く？』などの日本文化のアーカイブ的な番組をはじめ『８Ｋアースウォッチャー』『人類未踏　火星への旅』『ハッブルがとらえた宇宙絶景』『宇宙旅　２時間スペシャル』といった科学番組を制作した。また８Ｋ『新・映像詩　里山』では日本の美しい風景を更に引き立てる，民謡ボイスと日本古来の楽器を3D空間にコラージュした22.2chサラウンドならではの楽曲をプロデュースした。

21年度に向けて『シリーズニッポンH3ロケット』のロケ収録を終え，「東京プラネタリウム」などの科学館での上映を見据えたコンテンツ制作が進行した。また８Ｋ『ウィーン　アートの旅クリムト　黄金絵画の輝き』『ピカソ「ゲルニカ」～８Ｋが誘う“現在との対話”～』では，現地のカメラマンによるリモート撮影が行われた。今後はリモート収録番組の環境音も視野に入れ，SEアセットを有効利用する方針である。

3 番組企画関連

1985年４月から放送が始まった『音の風景』は36年目を迎えた。日本の津々浦々，時には海外にまで範囲を広げ，音の魅力を伝えてきた。2020年度は５分の新作を30本制作。新作と再放送を合わせ，FM，R1，R2，合計997本を放送した。新型コロナの影響でロケの実施が難しく，過去に収録した音源や効果音素材を使い再構成して新作を作成。「世界を巡る旅」や「Discover Nippon」など新たなシリーズを開拓した。

また放送開始36周年の企画として19年度に引き続きFMで『今日は一日“音の風景”三昧』を放送。およそ９時間の生放送で，過去のアーカイブスを中心に貴重な音や懐かしい音と隅田川界隈からの中継や他局の番組の制作者との対談などを交えて「音を聞く楽しさ」をリスナーに届けた。

4 設備関連

上下16chで収音を行う全方位収録マイクを軽量化すると同時に，今まで録音機につなぐのに煩雑であった8ch専用コードをひとつにまとめて，耐久性・機動性を向上させたマイクスロットを開発。テストを経て運用している。また20年度は新型コロナにより東京海洋大学との深海収音計画を休止し，今後に向けて計画を練り直した。

5 サウンドステーション・ライブラリー

新型コロナにより，『連続テレビ小説』『大河ドラマ』の音響デザインを支えるロケ地環境音の定点録音，22.2ch音響用ベーシックライブラリー収録を休止した。その一方で古くから継続して使用してきた効果音ライブラリーのカテゴリー・分類表の見直しを行った。効果音保管ツールの改良や新効果音ライブラリーサーバーの第一次開発を終了。効果音保管ツールとの連携やアプリケーションのベーシックな機能を検証し，21年度の開発に繋げた。

「300スタ生音プロジェクト」では，若手デザイナーの育成を兼ねた「生音収録プロジェクト」を開催。音響デザインに保管されている風車や風起こし器，帯鋸，古典鈴等，古い道具の使用方法を録画し音をアーカイブした。OB音響デザイナーによる道具の講義，収録の様子を大阪，名古屋各局にも配信し，リモートを活用した場所にとらわれない研修を実施した。

6 事業計画関連

【1】ミュージックライブラリー

ミュージックライブラリーは，設立９年目を迎え，登録楽曲数を19年度より2,875曲増の１万4,630曲，ユーザー2,558人，作曲家249人とした。全国49局119番組のニュース・情報番組で定時使用されているほか，ラジオ国際放送NHKワールド JAPANの17言語の番組でも定時使用されるなど順調に実績を伸ばしている。

『NHKスペシャル』の「アウシュビッツ　死者たちの告白」「沖縄　“出口なき”戦場～最後の１か月で何が～」「定点映像　10年の記録～100か所のカメラが映した“復興”～」「廃炉へ

の道2021　原発事故10年の軌跡」の４番組を全曲「著作権・著作隣接権」の権利確保されたミュージックライブラリー楽曲で制作し，コンテンツの海外配信や番組販売などの展開を可能にした。

またベーシックライブラリーでは，新型コロナ関連番組での使用をターゲットとした楽曲やコロナ禍で迎えるオリンピックを見据えた楽曲などを重点的に制作。加えてユーザーのリクエストや利用実績の分析を行い，需要の多い楽曲の充実を図り，制作現場を音楽面からサポートした。

補完放送

1 ４K･８Kデータサービス

18年12月１日，新たな映像チャンネルとして４K･８Kの衛星放送が開始された。この放送に付随してデータ等を提供するのが「４K･８Kデータサービス」である。これまでのデータ放送の記述に利用されたBMLではなく，HTML5で記述することで，開発コストを抑え，またより豊かな表現を行うことが可能となった。主なサービスは，放送予定（テキスト情報），字幕サービス，動画サービスである。このうち，字幕サービスは19年３月１日にサービスを開始。これは，従来映像の上に載っていた字幕を，映像エリアの下部に表示するもので，映像が見にくいという声に対応するものである。動画サービスについても，19年６月３日から，主に番組広報動画等，短尺の動画を提供している。

また，視聴者参加の双方向投票を，４Kデータサービスでは，19年11月30日『アフリカ　サファリツアー大中継　体感！野生動物の楽園』で，４K･８Kデータサービスでは，19年12月31日『第70回NHK紅白歌合戦』で，初めて実施した。20年の『第71回NHK紅白歌合戦』では，さらに歌手や曲名の情報を表示，データ放送と同内容の連動サービスを実施した。

2 データ放送

00年12月１日のBSデジタル放送の開始とともに，デジタル放送ならではの新しいサービスとしてスタートしたNHKのデータ放送は，「生活をより便利で豊かにするサービス」「緊急時に役立つサービス」を基本に放送している。

03年12月１日に東京・大阪・名古屋で開始された地上波データ放送は，06年12月１日までに全国の都道府県庁所在地とその周辺で放送がスタートした。07年10月１日からNHKの全放送局が独自のデータ放送を送出するようになった。

データ放送は，映像･音声による通常の番組（本線番組）と連動しない「独立型」と，本線番組と関連した内容を同時に放送する「連動型」に分けられる。さらに，長期間定時的に編成する「定時」，一定期間編成する「特集」，地震・津波発生時や気象警報発令時などに随時編成する「随時」に分類される。また「連動型」の一形態として，リモコンを使ってアンケートやクイズに参加できる「双方向型」がある。

【1】地上データ放送

総合テレビでは，データ放送を地域サービスの柱としており，地域と全国の『ニュース』『気象情報』とともに，独立型データ放送で暮らしに役立つ地域情報や生活情報を放送した。また，防災や生活に役立つ情報として『台風情報』や『大雨情報』『地震・津波情報』『特別警報』などを随時放送した。

17年３月１日から，dボタンを押すと表示されるトップ画面をハイブリッドキャストのホーム画面と共通化した。

特集番組では，『第71回NHK紅白歌合戦』や『筋肉体操LIVE』等で視聴者参加の双方向型データ放送を実施した。

〔定時番組の概要〕

❶総合テレビジョン

▶独立型

- **『ニュース』（地域および全国）**
  各地域の地域向けニュースと全国ニュース。
- **『気象情報』**
  ３時間ごとの天気，週間天気，気象の現況など。
- **『地域情報』**
  各地域放送局が，地域情報，防災情報，生活情報等を提供する，きめ細かな地域向けサービス。
- **『スポーツ情報』**
  Jリーグ，プロ野球，大相撲，高校野球（新型コロナの影響により春のみ）等などの途中経過・結果速報など。
- **『大河ドラマ』『連続テレビ小説』**

▶双方向型

- **『あさイチ』（クイズとくもり）**

❷Eテレ

▶**独立型**

『アニメ　メジャーセカンド　第２シーズン』『アニメ　ラディアン第２シリーズ（再放送）』

▶**連動型**

『シャキーン！』『にほんごであそぼ』『えいごであそぼ with Orton』『おしりたんてい』『ゴー！ゴー！キッチン戦隊クックルン』『コレナンデ商会』

▶**双方向型**

『天才てれびくんhello,』『沼にハマってきいてみた』『ビットワールド』

❸ワンセグサービス

06年４月から地上デジタル放送でワンセグサービスを開始し，08年４月からは地域向けサービスを全国の放送局で開始した。データ放送は，総合テレビでは『ニュース』『気象情報』のほか，『プロ野球』『Jリーグ』『大相撲』などのスポーツ情報を提供した。また，緊急時の『地震・津波情報』などを随時放送した。

Eテレでは『ニュース』を提供した。

【2】BSデータ放送

BS1の独立型サービスとしては，『ニュース』『気象情報』『スポーツ情報』『円と株～経済情報～』などの定時サービスのほか，防災や生活に役立つ情報として『台風情報』『大雨情報』『地震・津波情報』を随時放送した。

BSプレミアムでは，独立型サービスとして『大河ドラマ』や『連続テレビ小説』などを放送した。

〔定時番組の概要〕

❶BS1

▶**独立型**

- **『ニュース』（全国）**
  24時間いつでも見ることのできる最新の全国ニュース。
- **『気象情報』**
  「市区町村別の天気」や「週間予報」など，日常生活や防災に役立つ気象情報。
- **『スポーツ情報』**
  プロ野球，Jリーグ，大リーグなどの途中経過・結果速報など。
- **『円と株～経済情報～』**
  株価と為替を中心とした経済動向の速報サービス。

❷BSプレミアム

▶**独立型**

- **『大河ドラマ』『連続テレビ小説』『地域発ドラマ』**

3 ハイブリッドキャスト

ハイブリッドキャストは，放送にインターネットを組み合わせ，放送をより豊かにする放送通信連携サービスである。

NHKは一般社団法人IPTVフォーラムが策定した技術仕様に沿った開発を進め，13年９月２日に総合テレビでハイブリッドキャストのサービスを開始した。

サービスはインターネットに接続されたハイブリッドキャスト対応テレビで利用でき，ハイブリッドキャストのホーム画面から各種アプリケーションを利用することができる「サービス連動型」（独立データ放送に相当）と，番組の進行に合わせてコンテンツが展開する「番組連動型」の２つがある。

14年９月29日からは，Eテレ・BS1・BSプレミアムでもハイブリッドキャストのサービスを開始，総合テレビと同じアプリケーションを利用できるようにした。

17年３月１日から，dボタンを押すと表示されるホーム画面をデータ放送のトップ画面と共通化した。

19年３月末に，ハイブリッドキャストの動画配信基盤をセキュリティーや集中アクセスの耐負荷の観点より，これまでのCPC方式より，MPEG-DASH方式に変更を行った。CPC方式のみ対応のテレビでは動画サービスは見られなくなったが，端末を判別してコンテンツを出し分けている。

【1】主なサービス

▶**番組表**

総合・Eテレ・BS1・BSプレミアムの番組表を最大30日前から７日先まで表示。

▶**スクロールニュース**

テレビ視聴中，画面の下にニュースのタイトルをスクロール表示させるサービス。好きなジャンルを選んで表示させることができ，気になるニュースだけを選んで見ることができる。

▶**あなたの街の空**

気象庁の「高解像度降水ナウキャスト」の情報を基にした雨雲の広がりと降水強度を表示。

▶**『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」「青天を衝（つ）け」**
『連続テレビ小説』「エール」「おちょやん」

PR動画，番組セットの360度画像やあらすじ，登場人物紹介などを掲載。

【2】番組連動型

〔定時番組〕

総合『あさイチ』

双方向企画「クイズとくもり」で視聴者参加を促す。

4 字幕放送

テレビ音声を文字で表示する「字幕放送」などの補完放送を実施している。

NHKの字幕放送は，18年２月に総務省が公表した「放送分野における情報アクセシビリティに関する指針」に基づき，27年度までの新たな拡充目標を定めた。高齢者や障害のある人など，誰もが快適に情報を入手できるよう「人にやさしい放送・サービス」の充実に努めている。

【1】放送時間

20年度は，総合，Eテレ，BS1，BSプレミアムを合わせて，331番組・週384時間22分（定時番組・４月期改定）に字幕を付与した。

各波の週平均の放送時間は以下のとおり。

- **総合　141時間38分**
  （対19年度比較　＋２時間17分）
- **Eテレ　102時間20分**
  （対19年度比較　−1時間58分）
- **BS1　26時間28分**
  （対19年度比較　＋４時間57分）
- **BSプレミアム　113時間56分**
  （対19年度比較　+15分）

また，BS４K，BS８Kの週平均字幕放送時間は以下のとおり。

- **BS４K　99時間34分**
- **BS８K　42時間35分**

【2】新番組

新番組では，『エール　古関裕而の応援歌』（Ⓖ日），『世界の哲学者に人生相談』（Ⓔ木），『〇〇推し！』（BS1金～日），『金曜スペシャル』（BSP金）などに字幕を付与した。

【3】震災・新型コロナ

東日本大震災関連番組では，『震災10年へ　あの日、何をしていましたか？』（Ⓖ9.11），『ごごナマ　特集　東日本大震災から10年』（Ⓖ3.11），新型コロナウイルス関連では，『NHKスペシャル』「“感染爆発”をどう防ぐか」（Ⓖ4.4）ほか関連番組で生字幕放送を実施した。

【4】スポーツ中継

スポーツ中継では，新型コロナウイルスの影響で５月の「大相撲」や７月の「ウィンブルドンテニス」が中止となる中，『2020年甲子園高校野球交流試合』（ⒼⒺ大会期間8.10～12，15～17），『第93回選抜高校野球大会』（ⒼⒺ大会期間3.19～4.1），『全豪オープンテニス2021』（Ⓖ大会期間2.8～2.21）は，日本人選手の出場試合と決勝戦で生字幕放送を実施した。『大相撲』（年５場所，５月中止），『プロ野球2021』（110試合），『Jリーグ』（５試合）のほか，あらたに『Bリーグ2020-21』（15試合）で生字幕放送を実施した。

また，『日本女子オープンゴルフ選手権2020』（BS1Ⓖ大会期間10.1～4），『日本オープンゴルフ選手権2020』（BS1Ⓖ 大会期間10.15～18），『第104回日本陸上選手権』（BS1 10.1～3，Ⓖ10.2～3），『2020NHK杯フィギュア』（Ⓖ BS1 大会期間11.27～29），『第96回競泳日本選手権』（Ⓖ12.3～6），『天皇杯JFA第100回全日本サッカー選手権　準決勝・決勝』（Ⓖ12.27，ⒼBS４K1.1），『皇后杯JFA第42回全日本女子サッカー選手権　準決勝・決勝』（BS1 12.24，29），『第57回全国大学ラグビー選手権　準決勝・決勝』（Ⓖ1.2，11），『全日本卓球選手権2021　決勝』（Ⓖ1.17），『第76回びわ湖毎日マラソン』（Ⓖ2.28）などで生字幕放送を実施した。

【5】特集番組

特集番組では，『令和２年沖縄全戦没者追悼式』（Ⓖ6.23），『令和２年　広島平和記念式典』（Ⓖ8.6），『令和２年　長崎平和祈念式典』（Ⓖ8.9），『ライブ・エール　今こそ音楽でエールを』（Ⓖ BS４K BS８K 8.8），『＃８月31日の夜に。～2020年　ぼくの日記帳～』（Ⓔ8.30～31），『わが心の大阪メロディー』（Ⓖ10.27），『第71回NHK紅白歌合戦』『ゆく年くる年』（Ⓖ12.31），『令和３年「歌会始」』（Ⓖ3.26）のほか，国会中継のうち，所信表明演説，政府演説，代表質問に生字幕放送を実施した。

5 その他の補完放送

補完放送にはこのほか，音声多重放送を使った「２か国語放送」「解説放送」がある。「解説放送」は主に視覚障害者のためのサービスである。

「２か国語放送」と「解説放送」は総合，Eテ

レ，BS1，BSプレミアム，BS４K，BS８Kで実施した。

国際放送

目　的

国際放送は，世界の人々の日本に対する理解を深め，国際的な文化・経済交流の発展に資し，ひいては国際親善と人類の福祉に貢献することを目的としている。

テレビ，ラジオ，インターネットで日本やアジアの情報を世界に発信し，テレビの英語チャンネルを中心に，インターネットでは多言語化を積極的に進め，世界の人々に公平・公正で信頼できるコンテンツを届けている。

変　遷

1 テレビ

テレビ国際放送（NHKワールドTV）は，1995年４月から，北米，欧州向けに開始した。98年４月からは，デジタル波によって，アジア・太平洋地域にも日本語，英語で１日18時間の放送を開始し，10月からは，ほぼ全世界向けに拡大した。

99年４月からは，１日の放送時間を19時間とし，10月からは24時間放送を開始した。

2001年８月には，衛星を変更して，それまで受信できなかったアフリカ南部地域でも視聴が可能となった。

08年10月に，外国人向け放送のNHKワールドTVは英語化率100％を達成した。

09年２月に，英語ニュースを大幅に拡充し，国際放送局に新しく作ったニュース専用スタジオから24時間毎正時の編成とした。また，インターネットで24時間ライブストリーミングを開始し，ニュースと番組を放送と同時に配信している。12月，NHKワールドTVのHD（ハイビジョン）での放送を開始した。

16年７月，基幹衛星の伝送方式を変更し，NHKワールド・プレミアムのHDでの放送を開始した。

21年３月末現在，およそ３億8,000万世帯が受信可能である（一部時間視聴可能世帯を含む）。また，邦人向け放送のNHKワールド・プレミアムは国内放送のニュース・情報番組に加え，娯楽を供する番組など，より多彩な番組編成を実現した。

2 ラジオ

NHKの短波によるラジオ国際放送は，1935年に「海外放送」として開始した。戦後に一時中断，52年に「ラジオ日本」として再開した。

日本語と英語で放送する「全世界向け放送」（ジェネラル・サービス，一般向け放送）と，地域ごとの言語で放送する「世界各地域向け放送」（リージョナル・サービス）と合わせて，2007年度前期までは22言語で，１日65時間放送していたが，海外発信が欧米を中心に短波放送からテレビにシフトしていくのに伴い，07年度後期より，短波放送の送信地域と送信時間を見直した。「全世界向け放送」を廃止して，地域に応じた効率的な情報発信を進め，ドイツ語，イタリア語など４言語を廃止し，18言語に縮小した。

一方，短波放送以外の新たな放送サービスとして，外国の放送事業者などが所有する送信施設を借用し，中波・FM波による放送サービスを拡充している。また，06年度後期より，衛星を使用したラジオ国際放送を行っている。

3 インターネット

NHKワールドオンラインは，00年２月に「ラジオ日本」のライブストリーミングを開始。９月からはオンデマンドでの提供も始め，時差に関係なく聴取可能となった。

07年３月からは，ポッドキャスティングによるニュースの配信を開始した。

09年１月，YouTubeにNHKワールドの公式チャンネルを開設した。２月からはNHKワールドTVの放送と同時にインターネット配信を実施。10年２月には，iPhoneおよびiPadアプリを通じて，12年にはアンドロイドにも対応したアプリを通じて配信を開始。同年11月，フェイスブックでNHKワールド公式アカウントを開設した。

15年６月にはVODサービスを開始し，17年10月からは，一部の番組を対象に多言語VODの提供も開始した。

19年１月，中国語のニュースと番組を編成して配信するサービス「華語視界」を開始。６月には，自動翻訳機能を活用したライブストリーミ

ングへの多言語字幕付与実験を開始した。

4 18年度より総称として「NHKワールド JAPAN」に

18年４月より，NHKワールドの外国語放送およびインターネットサービスの総称として「NHKワールド JAPAN」という名称を使うこととなった。それに伴い，TVのチャンネル名も「NHKワールドTV」から「NHKワールドJAPAN」に改称した。邦人向け放送の「NHKワールド・プレミアム」および「NHKワールド・ラジオ日本」（日本語放送のみ）については名称を変更していない。

サービス別

1 NHKワールド JAPAN

【1】テレビ

- 英語による外国人向けテレビ国際放送
- １日24時間※ニュース・情報番組等を放送
  （※㈱日本国際放送による独自番組枠を含む）
- 英語のニュースや番組を，各国の衛星放送やケーブルテレビなどを通じて放送。また，インターネットでも視聴可能。

【2】ラジオ

- 17言語による外国人向けラジオ国際放送
- 短波，海外放送局の中波・FM波，衛星波を利用
- 短波，FM，中波や衛星ラジオによる放送のほか，インターネット展開など多様な手段で情報発信している。

【3】インターネット（NHKワールド JAPANオンライン）

- インターネット，モバイル端末等へのサービス
- ニュース・番組の動画配信，音声やテキストの配信
- テレビとラジオを放送と同時に，またオンデマンドで配信。ウェブサイトやアプリで閲覧可能。

2 在外邦人向けサービス

【1】NHKワールド・プレミアム

- 日本語による在外邦人向け映像サービス
- １日およそ５時間：ニュースを中心にノンスクランブル放送
- １日およそ19時間：ドラマ，子ども向け番組等を配信
- 在外邦人や，海外旅行中の日本人に向け，ニュースや情報番組のほか，ドラマ，音楽番組，子ども向け番組，スポーツ中継などを放送している日本語チャンネルである。

【2】NHKワールド・ラジオ日本

- 日本語による在外邦人向けラジオ国際放送
- 短波，衛星波を利用
- 在外邦人のライフラインとして，安全・安心を支える情報を届ける。ニュース，情報番組，音楽番組，ラジオドラマなどを放送している。

国際放送番組の編成

1 「編集の基本計画」と「放送番組編成計画」

国際放送番組の編成は，年度ごとに「編集の基本計画」で編成方針，重点事項など基本事項を定める。この基本計画に基づき「放送番組編成計画」を策定し，新番組の概要，編成時間などの具体的な計画事項や，放送番組時刻表を定めている。

国際放送番組審議会は，「基本計画」の諮問に対して答申するなど，放送番組の適正化を図るため必要な事項を審議し，番組の編成や制作に役立てることを目的としている。

2 国際放送番組編集の基本計画

海外の視聴者からの投書，番組内容についてのモニターや短波の受信状況についての技術モニターの報告，各種の調査などを参考にしつつ，20年度の番組提案を基に20年度の番組編成を検討し，「2020年度国際放送番組編集の基本計画」の原案を策定した。原案は19年12月中旬の国際放送番組審議会に諮問し，了承するとの答申を受け，20年１月中旬の経営委員会で議決承認された。

以下に原文どおり掲げる（p.119まで）。記号などは本書の方式に合わせた。

【1】編集の基本方針

東京オリンピック・パラリンピックの開催年となる2020年。日本に対する世界の関心が一気に

高まります。オリンピック・パラリンピックの熱狂とそのレガシーやさまざまな変化も見込まれます。NHKの国際放送は，視聴者・聴取者のニーズを捉えながら，日本の公共メディアとして，正確で公平・公正な情報を世界に発信します。放送だけでなく，インターネットも活用してスマートフォンやパソコンなどの端末やソーシャルネットワーキングサービス（SNS）への展開も一層推進します。また，多言語化を積極的に進め，世界の人々に向けて質の高いサービスを届けます。

「NHKワールド JAPAN」の外国人向けテレビ国際放送では，東京オリンピック・パラリンピックとそれにより転機を迎える日本の姿を，ニュースと番組，インターネットを活用して世界に伝えるとともに，持続可能な社会の実現に向けた活動なども積極的に取り上げます。また，災害時などの緊急報道では，多様な発信経路を活用して訪日・在留外国人に向けた安全・安心情報を発信します。

また，インターネットのサービスでは，使い勝手を考慮するなどの改良にとりくむとともに，ストリーミング，ビデオ・オン・デマンド（VOD），SNSを融合した多言語サービスを実現します。

外国人向けラジオ国際放送では，ニュースをはじめ防災・減災情報，日本での滞在に役立つ生活情報，日本語学習などを，全世界に向けて17の言語で発信します。ラジオ第２放送でも，年々増加しているアジアからの訪日・在留外国人に向けてタイ語のニュースを新設し，ベトナム語・インドネシア語と合わせて夜間に編成するなど，国内にいる外国人へのサービスをさらに強化します。

在外邦人向け国際放送では，テレビ放送「NHKワールド･プレミアム」とラジオ放送「NHKワールド・ラジオ日本」を通じて，日本の“いま”を丁寧に伝えます。また，災害時には，正確・迅速な情報の提供に努め，海外で暮らす日本人や旅行者の安全・安心を守る“日本語のたしかな情報源”としての役割を果たします。

【2】編集の重点事項と各波の編集方針

❶NHKワールドJAPAN

▶テレビ（英語･外国人向け放送）

・“東京2020”の舞台日本を紹介

東京大会の開催都市や日本各地のホストタウンについての情報を発信する番組，ホストタウンと相手国とのつながりを伝える番組を制作するほか，聖火リレーの模様もコンパクトにまとめ，発信します。また，東京大会の開催時期に，競技結果のほか，スポーツの歴史や競技の魅力･見所を紹介します。

・多彩な発信経路でニュースを強化

毎正時のニュースでは，新設するニューヨークスタジオを活用して，多彩なニュースを日本やアジアからの視点も交えて伝えます。地震や台風などの災害時には，総合テレビとの連携を強化するとともに，SNSや多言語によるニュース配信をすることで，安全･安心情報の提供を強化します。

・新共生時代～日本社会とレガシー～

多文化の共生を目指す日本各地の外国人コミュニティーに焦点をあてた番組や日本の暮らしに関する外国人の疑問に答える番組，自然災害の多い日本における防災の工夫を伝える番組，世界的な課題に日本・アジアの視点で向き合う番組を充実させます。あわせて，多言語展開を推進するとともに，放送と連携したデジタル展開も強化します。

・「国内･国際連携」で豊かなクオリティーコンテンツ

海外の視聴者にも関心が高い医療・健康をテーマにした番組や，ドラマや音楽など多彩な日本の魅力を発信する番組，NHKならではのドキュメンタリー番組や地域放送番組の英語化など，国内放送とのマルチユースを引き続き推進します。

〔放送時間〕

世界全域…１日23時間以上が基本

〔放送番組の部門別編成比率〕

定時番組について，報道番組60％以上，インフォメーション番組25％以上を編成します。

▶ラジオ（17言語･外国人向け放送）

・安全･安心に役立つ情報の発信を強化

災害や大きな事件・事故の際には機動的に対応し，最新のニュースを的確に伝えます。防災・減災については，引き続き日本のノウハウなどを発信し，世界のリスナーに安全・安心を届けます。年々増加しているアジアからの訪日・在留外国人に向けても，ラジオ第２放送との連携をさらに強化し，最新情報を届けます。

・日本への理解を深める情報･日本滞在時に役立つ情報を発信

日本への関心が大いに高まる2020年，日本の文化や魅力，地域の話題などを引き続き取り上げ，訪日意欲や日本への理解を促進します。また，アメリカの公共ラジオに番組を提供する試みをスタートし，日本をより身近に感じてもらうとともに，「NHKワールド JAPAN」の存在感を高めます。

〔放送時間〕

世界全域

1日およそ40時間35分（17言語合計）

〔放送番組の部門別編成比率〕

定時番組について，報道番組60％以上，インフォメーション番組25％以上を編成します。

▶インターネット

・ユーザー視点にたったサービスの充実

テレビとラジオを統合した新アプリやウェブサイトのバージョンアップにとりくみ，災害時のインターネット発信をさらに充実させます。テキスト，動画，音声をわかりやすく配置し，ユーザーのニーズや使い勝手を考慮したインターネットサービスを展開します。

・SNSを活用した発信を強化

ニュースのショート動画をSNSで発信するなど，さまざまな特性とユーザー層を持つインターネットメディアをフル活用して，NHKワールドJAPANの認知向上を図ります。

・多言語コンテンツ発信の強化

AIによる自動翻訳を活用した多言語字幕付与サービスをストリーミングで実施するなど最新技術も活用し，より多くの方にNHKの豊富なコンテンツを届けるための施策を実施します。中国語発信については，簡体字に加えて繁体字発信も充実させ，多彩なコンテンツを届けます。

❷NHKワールド・プレミアム
（日本語・在外邦人向け放送）

・“東京2020”を迎えた日本のいま を伝える

東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた日本各地の動きや競技結果を，ニュースなどを通してくわしく伝えます。また，2020年から先の課題や解決策を，さまざまな角度からわかりやすく伝えます 。

・海外の日本人の「安全」と「安心」を支える

海外で暮らす日本人や旅行者の命と暮らしを守る重要なライフラインとして，内外で頻発する自然災害や，大きな事件・事故などの際には，機動的にニュースを編成するなど，迅速かつ的確な情報の提供に努めます。

〔放送時間〕

世界全域に向けた同一の番組編成…1日およそ5時間

北米・欧州地域に向けた，現地の生活時間にあわせた番組編成…各1日およそ5時間

〔放送番組の部門別編成比率〕

定時番組について，報道番組80％以上，インフォメーション番組5％以上，娯楽番組を若干編成します。

❸NHKワールド・ラジオ日本
（日本語・在外邦人向け放送）

・最新のニュース・番組，安全・安心情報の提供

国内のニュースや情報番組，スポーツ中継など，2020年を迎えた日本の“いま”を届けます。また，災害や大きな事件・事故の際は最新のニュースを国内と同時に伝えるほか，毎日，海外安全情報を伝え，海外で暮らす日本人の安全・安心を守ります。

〔放送時間〕

世界全域　1日あたり24時間（日本語）

〔放送番組の部門別編成比率〕

定時番組について，報道番組60％以上，インフォメーション番組25％以上，娯楽番組を若干編成します。

3 国際放送番組審議会

20年度は11回開催された。会長の諮問に応じて，「2021年度国際放送番組編集の基本計画（案）」について審議し答申したほか，定時番組，特集番組などについても審議し放送番組の適正化を図った。（番組審議会委員一覧⇒p.663）

20年度の主な審議内容は次のとおり。

4月　『Barakan Discovers TOHOKU: The Lost and the Living』『FACES　How I survived being bullied』について

5月　『GLOBAL AGENDA　World Lockdown: Battling the Pandemic』，ラジオ『Asian View』『Preventing the Spread of the New Coronavirus』について

6月　NHK WORLD PRIME『Digital Detectives』について

7月　NHK Documentary『UNSOLVED CASES Oswald and JFK』Part 1, Part 2について

9月　『DEEPER LOOK from New York: Erica Groshen, Damon Hewitt』『NEWSLINE IN DEPTH – THE VACCINE RACE ほか，– MEETING DEMAND FOR NEW ‘MEAT’ ほか』について

10月　『Searching for the Standing Boy of Nagasaki』，NHK WORLD PRIME『Houses for Peace: Exploring the Legacy of Floyd Schmoe』について

11月　「2021年度国際放送番組編集の基本計画（案）」，『The Signs: Avatars／Health-

care and Industry Unite』, NHK WORLD PRIME『The Shape of Sound: A piano paints the seasons of Nara』について

12月 「2021年度国際放送番組編集の基本計画（案）」（諮問・答申），『Barakan Discovers: The Tokyo of 2020』について

1月 『Home Sweet Tokyo Season 4』#1～#4 について

2月 『GLOBAL AGENDA Biden's America: What Next for the World?』『DEEPER LOOK from New York Capri Cafaro: How Can Biden Admin-istration Achieve Its Agenda?』について

3月 NHK WORLD PRIME『3／11 – The Tsunami: The First 3 Days』『Flower Will Bloom Beyond Borders』について

番組制作

1 テレビジョン国際放送

【1】外国人向け放送

国際放送も新型コロナウイルスの感染拡大で20年度編成開始の３月30日から大きな影響を受けた。番組では，旅番組や外国人観光客を意識した情報番組などを休止。また，取材やロケなども困難になったため全体的に新規制作が滞った。一方で，医療情報番組や討論番組，ドキュメンタリーなどさまざまなジャンルの番組で多様な観点から新型コロナウイルスについて海外に発信した。

定時番組では，日本で暮らす外国人が地域で果たす役割や悩み，何を支えにしているのかを伝える『Where We Call Home』。世界のハブ・ニューヨークから，政治・経済，社会問題，文化・芸術などあらゆる分野の知識人・専門家と番組アンカー陣とが対話する『DEEPER LOOK from New York』。日本の最先端の医療技術や健康対策など第一人者を訪ねて，コンパクトに分かりやすく伝える『Doctor's Insight』。多文化・多言語の共生社会で役に立つ情報，魅力的な話題をさまざまな角度から発信する『Culture Crossroads』を新設した。

【2】邦人向け放送

１日およそ５時間『NHKニュース　おはよう日本』『NHKニュース７』『ニュースウオッチ９』『クローズアップ現代+』『国際報道2020』などの報道番組に加え，『NHKのど自慢』『みんなのうた』などの娯楽番組を，国内と同時に放送した。

また，新型コロナウイルス，延期となった東京オリンピック，菅新内閣発足の動き，アメリカ大統領選挙の様子を伝えたほか，10年という節目を迎えた「東日本大震災」関連番組を積極的に編成し，内外の重要ニュースを，在外邦人に迅速に提供した。

2 ラジオ国際放送

【1】概況

20年度の外国人向け放送の放送時間は，17言語合わせて，１日当たり40時間44分。邦人向け日本語放送の放送時間は，１日当たり24時間。外国人向け放送と邦人向け放送を合わせると，18言語で，１日延べ64時間44分の放送を実施した。

【2】外国人向け放送

20年度も９分と14分のニュース枠を継続し，新型コロナウイルス，延期となった東京オリンピック，菅新内閣発足の動き，アメリカ大統領選挙の様子を伝えたほか，ミャンマー情勢について，10年の節目を迎えた「東日本大震災」関連番組を積極的に編成した。内外の重要ニュースを伝えるとともに，随時，日本の立場を明らかにした見解等を放送したほか，日本の世論の動向を正しく伝えるようにした。なお，『英語ニュース』『中国語ニュース』『ハングルニュース』『スペイン語ニュース』『ポルトガル語ニュース』『ベトナム語ニュース』『インドネシア語ニュース』『タイ語ニュース』『ロシア語ニュース』はラジオ第２でも放送した。

また，日系人に向けて平易なことばで分かりやすく伝える『やさしい日本語で“今週の日本”』を引き続き放送した。

『プラグイン ニッポン』で，「Hometown Stories」「Where we call Home」などを放送した。外国人向け放送において，英語放送では，聴取者との双方向番組『Friends Around the World』を引き続き放送した。

【3】邦人向け放送

邦人向け放送においては，国際放送局が制作する日本語ニュースと『海外安全情報』を継続する

とともに，国内の主要ニュース，時事，スポーツ中継，音楽，ラジオドラマなど，多彩な番組を国内と同時放送した。このほか『NHKのど自慢』『ひるのいこい』『ちきゅうラジオ』『大相撲中継』『第71回NHK紅白歌合戦』等をラジオ第１と同時放送した。

3 インターネット展開

【1】概況

国際理解の促進を図るとともに放送番組を補完する観点から，インターネットサービス「NHKワールド JAPANオンライン」では，国際放送のニュース・番組情報等を提供するとともに，テレビ・ラジオの放送中・放送後配信を実施するなど，積極的な情報発信を図っている。

【2】テレビ関連サービス

❶ホームページでのサービス

放送法第20条第２項第２号に基づく受信料財源業務として，ホームページでNHKワールド JAPANの英語ニュースや番組情報の掲載，放送中・放送後の番組配信を実施した。

20年度は，新型コロナウイルス関連の情報発信に力を入れ，海外邦人向けには，期間限定処置として４月から『NHKスペシャル』を，５月から『おはよう日本』の番組VOD配信を実施した。また６月から「外国のことばによる災害・コロナの情報」ブログページを開設し，地方自治体や在留外国人への情報発信を強化した。

❷アプリでのサービス

スマートフォンやタブレット端末向けに，NHKワールド JAPANのテレビ番組を放送中・放送後に視聴できるアプリを提供している。18年より実施している国内の地震・津波情報とNHKワールドのニュース速報をスマートフォンやタブレット端末に英語で通知する機能を継続させながら，５月にはスマートフォン向けアプリのメニュー表示の改修などを施しユーザビリティーの向上に努め，11月には，AppleTV，Amazon Fire TV，ROKUといったテレビストリーミング端末向けアプリに，AI字幕付きライブ配信，プレイリスト再生，クリップ動画再生機能も追加し，今後さらに高まる利用者のニーズに応えている。

❸ビデオ・オン・デマンド

15年度より開始したビデオ・オン・デマンド（VOD）の20年度はNHKワールド JAPANの定時番組と特集番組を合わせて常時1,500本以上の番組エピソードを，ホームページとアプリで提供した。特に英語化された『NHKスペシャル』「“パンデミック”との闘い」は累計視聴UB数100万以上と大変多くの人々に届けることができた。

また，17年より開始した多言語VODは，20年度は17言語で提供している。

❹中国語ネットチャンネル「華語視界」

19年１月より展開している本サービスは，21年１月からAI字幕対応時間を増やし，最新ニュースの提供を強化した。

❺その他のサービス

ソーシャルメディアを活用した情報発信にも力を入れ，４月には新型コロナウイルス感染拡大に伴い発せられた「全国緊急事態宣言」，８月には安倍首相の辞意正式表明，９月には菅新総理会見などをフェイスブックとツイッターのライブストリーミング配信機能を活用して積極的に情報発信を行った。21年１月からはYouTubeも加わり，「１都３県緊急事態宣言」などの情報を発信した。SNSの特性を考慮したショート動画の制作や投稿により，英語フェイスブックのフォロワーは200万人を超え，YouTubeのチャンネル登録者数も100万人を突破した。

20年４月より，ホームページ，アプリを通じて英語ライブストリーミングに選択した６言語の字幕を付加して見られるAI生字幕サービスを開始した。

【3】ラジオ関連サービス

❶ホームページでのサービス

放送法第20条第２項第２号に基づく受信料財源業務として，ホームページでラジオのニュースや番組情報の掲載，放送中・放送後の番組配信を実施した。

サービスの概要は次のとおりである。

▶**ニュース音声（18言語）**
- 放送中，放送後配信
- ポッドキャスティング（日本語を除く）

▶**テキストニュース（17言語）**
- アラビア語，ベンガル語，ビルマ語，中国語，フランス語，ヒンディー語，インドネシア語，ハングル，ペルシャ語，ポルトガル語，ロシア語，スワヒリ語，スペイン語，タイ語，ウルドゥー語，ベトナム語，トルコ語
- 災害等緊急ニュース出稿時は随時更新

▶**ニュース動画「東京網播間」（中国語）**
- １日１回（月～金）更新，ネットチャンネル

「華語視界」内で発信するほか，ホームページに掲載。緊急事態宣言中は記事掲載で対応した。

▶**番組音声（18言語）**

- 放送中，放送後に配信。一部の番組を除き放送後１週間～１年間公開
- 日本語は『海外安全情報』（放送後），『ちきゅうラジオ』『沖縄熱中倶楽部』（放送中），『“やさしい日本語”で今週の日本』（放送後）

▶**番組特設ページ（17言語）**

- 『やさしい日本語』（新シリーズは18言語）
- 『Let's Cook Japanese』（料理番組）
- 『物語で楽しむ日本の美』

❷その他のサービス

NHK読み上げ版携帯サイトに英語，中国語，ハングル，ポルトガル語，スペイン語でニュースを配信している。

また，17年より実施しているフェイスブックでの情報発信は，英語に加えて７言語でニュースと番組情報の発信を強化している。

広報・反響

1 広報

【1】概況

NHKワールドJAPAN（テレビ・ラジオ）については，国内外でイベントや上映会，ホテル配信，広告など，さまざまなプロモーションを展開した。

【2】PR

❶NHKワールドJAPAN関連の主な動き

外国人向け国際放送が世界各地でより広く理解され視聴されることを目指して，プロモーション活動を積極的に展開した。

海外の主要都市や国際映画祭で番組上映会を開催したほか，ワシントン，バリ，ヤンゴン，パリ，シアトルなどでは，日本文化イベントなどにブース出展し，チャンネルや番組の周知活動を行った。

また，年間を通じて，スポットやソーシャルメディアを通じたプロモーション，海外の日本関連雑誌への広告，NHKワールドJAPANの番組や視聴用アプリのPRを継続的に実施した。

このほか，海外の公的機関等に対しては，パンフレットや番組表等を提供した。

❷NHKワールドJAPAN多言語サービス関連

10月 大阪大学就職説明会「外国語学部生のための特別企業プレゼン」でNHKワールドJAPANのサービスと業務内容を紹介した。

１月 自治体国際化協会と明治学院大学が共催した「多文化Opinion Exchange」というオンラインイベントにパネリストとして参加。近年国内で増加するベトナム人の動きと，彼らに向けた情報発信のノウハウを紹介するとともに，NHKワールドJAPANの在留外国人向けサービスをリモート形式でPRした。全国の自治体関係者を中心におよそ200人が参加した。

２月 文化庁の“「生活者としての外国人」のための日本語教育事業”の一環として，NHKワールドJAPANの多言語による日本語学習コンテンツ「やさしい日本語」のPRをリモート形式で行った（主催：社会福祉法人さぽうと21）。関東一円の日本語教師およそ70人が参加した。

❸NHKワールドJAPAN全般　紙媒体等の展開

▶**紙媒体**

NHKワールドJAPANの役割やサービス内容を紹介するパンフレット，全番組の内容を紹介する番組表，ラジオの周波数表，番組や視聴方法などを紹介するチラシ等を制作，国内外の公的機関などに送付し，PRに努めた。

▶**「NHKワールドJAPANカレンダー」フォトコンテスト**

19年度に引き続きNHKサービスセンターと共催した。受賞作品はNHKサービスセンターが制作する壁掛けカレンダーと卓上カレンダーのほか，受信報告に答えるためのベリカードや絵はがきなどに使用した。カレンダーは，各国大使館・領事館，海外の放送局，日系人協会，日本人学校などに配布し，NHKワールドJAPANのPRを行った。

▶**NHK出版語学テキストへの広告出稿**

国内の外国語学習者へのPRとして，語学テキストに広告を出稿した。

【3】モニター

21年３月現在，テレビ番組モニターは54か国・地域248人，ラジオ技術モニターは35か国45人の体制。また，ラジオ番組モニターと多言語VODモニターは25か国・地域の1,460人の登録者の中から毎月ローテーションで報告を得ている。

2 反響

【1】反響の周知と活用

❶投書数

20年度のNHKワールド JAPAN（テレビ）への海外からのEメール等での投書数は，約9,600件であった。

NHKワールド JAPAN（ラジオ）への投書数は約１万6,000件であった。

❷反響の活用

「NHKワールド JAPAN・週間視聴者投書（Eメールウイークリーリポート）」を週１回，「NHKラジオ国際放送　月間投書概況＆モニター報告」「NHKラジオ国際放送　月間受信概況」「NHKワールド JAPAN（ラジオ）リスナー投書月間概要」「NHKワールド JAPAN　テレビモニター月間報告」「地方放送局発 NEWSLINE等企画反響」「NHKワールド JAPAN　多言語VODモニター分析」を月１回まとめ，国際放送局の各番組担当者にフィードバックして，放送の質のさらなる向上に役立てた。

技術・施設

1 テレビの送受信

NHKワールド JAPANは，英語による「外国人向けテレビ国際放送」で，09年２月に専用スタジオを設け，24時間毎正時，ニュースを放送している。09年12月には，標準画質の放送に加え，ハイビジョンによる放送も開始した。放送はノンスクランブル（無料）で，インテルサット社の３つのCバンド衛星を使い，ほぼ全世界をカバーしている。

受信には直径2.5メートル程度のパラボラアンテナが必要なため，小型のアンテナで受信できる衛星（Kuバンド）や地域のCATV，IPTVなどを通じて，より簡便に視聴できるよう受信環境の整備を進めている。20年度末には，およそ160の国と地域をカバーし，約３億8,000万世帯で視聴可能となった。

NHKワールド・プレミアムは，NHKワールドJAPANと同じ３つのCバンド衛星で海外のCATVや衛星放送局などの放送事業者に配信し，各事業者が契約者へ提供する日本人向けの有料テレビチャンネルである。

テレビジャパンは，北米NCMA社（NHK Cosmomedia America, Inc., ニューヨーク）が，JSTVは欧州NCME社（NHK Cosmomedia Europe Ltd., ロンドン）が，衛星（Kuバンド）等を使って1991年から実施している有料の邦人向けサービスである。NHKや民放の番組にスクランブルをかけて放送している。

NHKワールド・プレミアムとテレビジャパン，JSTVを使って，１日およそ５時間，ノンスクランブルの「邦人向けテレビ国際放送」を実施している。

2 ラジオの送信

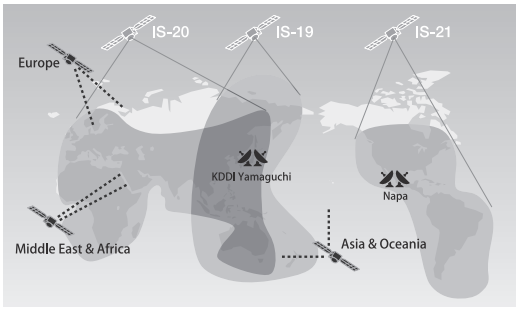
2020年度も，「NHKワールド JAPAN多言語サービス」および「NHKワールド・ラジオ日本」は，八俣送信所からの短波放送および海外中継局からの短波・中波・超短波による送信を行うとともに，衛星による放送を実施した。

▶八俣送信所（短波）

送信機６台（300kW：５台，100kW：１台），アンテナ18式を利用し25方向で送信。ラジオ国際放送を，１日47時間10分送信した。

▶衛星による送信

衛星７機（インテルサット19，20，21号機，バドル４号機，ナイルサット201号機，ユーテルサット・ホットバード13B号機，アップスター5C号機）を利用した衛星ラジオ放送を行った。



著作権・アーカイブス・考査

著作権

1 「公共メディア」への進化に向けて

【1】インターネットサービスへの対応

NHKプラスの円滑な実施に向け制作現場が適切な権利処理を行えるよう，権利者団体等と合意した支払いルールを定着させるなどの支援を行うとともに，地方向け放送番組のNHKプラスでの配信についても権利者団体等と交渉を行い，了解を得た。「らじる★らじる」についても，権利者団体等の理解を得て安定的な実施に寄与した。

【2】著作権法改正への対応

放送番組のインターネット同時配信等に係る著作権法改正に向けた議論に参加したほか，18年著作権法改正で創設され20年４月から施行された授業目的公衆送信補償金制度に関するガイドライン作成等の取り組みに参画した。

2 権利情報の充実のための取り組み

放送番組の多様な利活用の促進には，番組の中で使用した著作物の情報等の権利情報を確実に記録しておく必要があり，記録状況の点検・確認などの取り組みを行った。

また，番組担当者の権利に関わる業務の負担を軽減しつつ権利情報の充実とリスクの軽減を図る観点から，海外展開等多様な展開を図る番組を中心にサポート体制を設けて，放送やその後の再利用・展開に必要な権利確保，権利情報の収集・整備を進める取り組みを行った。

3 放送番組の不正利用（権利侵害）対策

放送番組への寄与者等の権利の保護を図るとともに，国内外における放送番組の適正な流通を促進する観点から，不正利用対策を継続している。

【1】動画投稿サイト・SNS等への対応

放送番組を複製した動画を無断で動画投稿サイトやSNS等に掲載する事例が後を絶たないため，動画投稿サイトでは，放送番組の映像を含む動画を自動的に検知するツールを用いるなどの対策を行っている。

また，放送事業者により構成される団体など，外部団体と定期的に協議を行い，民放とも連携しながら違法な動画投稿等への対策を推進している。

【2】不正ストリーミングデバイス（ISD）への対応

放送番組等の不正視聴を可能にする機器の流通対策および海外での日本の放送番組の不正視聴対策を検討するため，衛星放送協会や民放連とともに，20年11月設立の不正ストリーミングデバイス対策協議会（海外での対策を検討する違法配信サービス対策連絡会を含む）に参加した。

4 国際機関との連携

NHKの放送番組の権利保護や活用に必要な国内外の法制度の整備に向け，外国の著作権制度に関する最新の動向などの情報収集のほか，政府や関係機関への働きかけを，世界各地域の放送連合と連携・協力しながら行った。

【1】放送事業者等の権利保護のための条約

国際連合の専門機関である世界知的所有権機関（WIPO）では，インターネット時代における不正利用行為から放送事業者の権利を守るための条約（WIPO放送条約）の検討作業が進められている。

WIPO放送条約について検討するため，20年11月に開かれたWIPO会議に，NHKは，アジア太平洋放送連合（ABU）の一員として参加し，ヨーロッパ放送連合（EBU）や北米放送事業者連盟（NABA）など，各地域の放送連合と連携・協力しつつ，デジタル化・ネットワーク化の時代に即した保護を実現する条約が早期に成立するよう，日本および各国の政府に対する働きかけを行った。

【2】アジア太平洋放送連合（ABU）知財法務委員会

ABU知財法務委員会は，WIPO放送条約の早期成立に向けたアジア・太平洋地域の放送事業者の連携体制の構築や，著作権に関するABUメン

バー間の情報交換などの活動を行っている。

21年３月に開かれた知財法務委員会では，WIPO放送条約に関する議論の状況等について情報交換を行い，ABUとしての取り組みの方針の討議や，各国の著作権法制の動向の報告等を行った。

【3】ヨーロッパ放送連合（EBU）法律・制度委員会

EBU法律・制度委員会は，年に２回行われ，加盟メンバー間の著作権を中心とした法的課題やWIPO放送条約についての討議を行っている。NHKは，20年10月に準メンバーとして参加し，インターネット時代の課題に対する欧州の公共放送による先進的取り組みについて情報収集などの活動を行った。

アーカイブス

1 3つの目的

NHKアーカイブスには３つの目的がある。

1．NHKが制作・放送した番組・ニュース等のコンテンツを資産として〈**保存**〉する。
2．放送での利用や外部への提供などコンテンツを多角的に〈**活用**〉する。
3．保存コンテンツの視聴者への〈**公開**〉などにより社会還元を進める。

2 保存

【1】放送番組等の保存

デジタル時代のコンテンツ施策の一環として，放送した番組・ニュースおよびこれらの素材などを，NHKアーカイブス（埼玉県川口市）を中心に体系的に保存・管理した。

20年度末の保有数（東京管理）は，ニュース映像：249万項目，番組：90万8,000本，ニュース原稿は152万7,000本（全国計は，ニュース映像：870万8,000項目・番組：107万3,000本）。この他，写真は49万9,000枚，音楽CDは35万1,000枚，レコードは30万枚，図書・雑誌は23万1,000冊，楽譜は８万8,000冊。

【2】ファイルベースへの対応

13年８月から，本部の送出システムが順次ファイルベース化されたことに伴い，アーカイブスも順次，保存テープのファイル化を進めた。本部保存コンテンツは，20年度末で映像約87万本，音声約15万2,000本のファイル化を完了した。

一方，地方局保存番組については，D3・D5・βカム・HDCAMテープで川口市のNHKアーカイブスに移管，約９万4,000本をファイル化した。地方局ニュースは各局でテープからLTOに収録作業を行ったうえ，16年９月から本部での受け入れを開始。20年度末までに約251万項目を登録。

地方局のファイル送出開始後のニュース素材は17年２月からXDCAMで受け入れを始め，約76万項目を登録した。各局制作の番組はXDCAMに収録して18年１月に受け入れを開始し，20年度末までに1,059番組を登録した。

また，60年代以降の日本の風俗や文化をフィルムに収めた『明るい農村』や，80年代の『フレッシュロータリー』といったフィルムリポート，各種団体から集められた『文化財収集映像』のフィルム映像なども順次デジタル化して保存した。

【3】コンテンツの管理

19年10月から４K・８K番組の本格的な保存を開始している。アーカイブスポータルに掲載している約２万5,000本のクリップ動画についても順次アーカイブスへの登録を行っており，20年度までに約１万9,000本を保存した。

顔認識，画像認識，音声認識などのAI技術を活用し，保存コンテンツへの自動メタデータ生成機能の充実を図るなど，時代の変化に対応した新しい業務に取り組んだ。

❶ニュースコンテンツ

ニュースコンテンツは原稿と映像のデータベース化を進めた。ニュース原稿については，全国放送用と拠点放送局用の放送原稿を登録し，必要に応じて事件原稿などへの匿名化措置を実施した。

ニュース映像については，全国と首都圏のニュース番組の編集済み映像の保存とメタデータの補完を継続して行った。

80年代後半～90年代前半に全国と首都圏で放送された過去のニュース番組について，放送同録，編集済み映像，原稿を体系的に整理した。

❷音楽・図書

総数で，音楽資料約74万点と，図書資料約23万1,000冊を保存し，映像資料と同様に，体系的な管理と活用を行った。

【4】番組発掘プロジェクト

NHK未保存の番組を掘り起こす「番組発掘プ

ロジェクト」。番組の出演者や脚本家，制作スタッフなど当時の関係者にテープやフィルム，台本の提供を呼びかけたほか，視聴者にも家庭用ビデオテープやフィルムの提供を募った。この結果，田村正和さん主演の時代劇『鳴門秘帖』（1977年）を完全収集，今もファンが多いアニメと実写を融合した番組『マルコ・ポーロの冒険』（79年）の全フィルム発見，人気バラエティー番組『お笑い三人組』（57年）発掘などの成果が上がった。20年度は新たにテレビ番組844本，音声番組286本，台本245冊を発掘，保存した。

発掘した番組は，首都圏番組『ひるまえほっと』『天然素材NHK』など放送でも活用された。放送２年目となった『発掘！ラジオアーカイブス』は，70～80年代のラジオ番組の発掘にも大きく貢献している。

3 活用

【1】アーカイブス番組

保存した番組は再放送や映像素材を使った再構成番組等に活用した。

『あの日　あのとき　あの番組』Ⓖでは，視聴者が“いま見たいコンテンツ”にこだわり，ドキュメンタリーから音楽番組まで，幅広いジャンルで過去の話題作を取り上げた。

『NHK映像ファイル　あの人に会いたい』Ⓖでは，20年度に亡くなられた人々を中心に，各界の著名人の“英知の言葉”を紹介した。

『プレミアムカフェ』BSPでは，過去のBS番組を中心に教養・文化・エンターテインメントなどの話題作を親しみやすいスタジオ演出とともにラインナップした。

『４Kでよみがえるあの番組』BS４Kでは，『新日本紀行』の16ミリフィルムを最新のデジタル技術で４K化し，舞台となった土地の今を訪ねるミニ紀行とともに放送。10月からは『NHK特集』「シルクロード」を４K化。悠久の旅を鮮やかな映像で届けた。

【2】外部への提供（二次使用）

NHKアーカイブスに保存されている番組や映像素材などは，外部事業者の求めに応じて二次使用のルールにのっとり，関連団体を通して提供した。ニュース原稿は業務委託先を通して，日経テレコン21，ジー・サーチの外部データベースに提供した。

4 公開

【1】アーカイブスポータルサイト

「アーカイブスポータルサイト」は，アーカイブス映像をテーマ別に短く再編集した約２万5,000本の動画と関連記事を配信している。

❶NHK放送史

「NHK放送史」では，NHKの代表的な番組・ニュース約3,500本を紹介，放送博物館等のデジタルサイネージ展示でも公開した。また，『連続テレビ小説』『大河ドラマ』の放送直後に著名人が投稿する番組レコメンド配信を継続した。さらに，『大河ドラマ』第60作「青天を衝(つ)け」にあわせて大河60特設サイトを掲載，２次元バーコード付きパネルも制作し各局での利用に備えた。

❷NHK人物録

「NHK人物録」では，NHKの主な出演者約2,600人を過去の出演番組動画で紹介，毎週２人についてはインタビューを掲載し，NHKウイークリー『ステラ』にも併載された。また，『らじるラボ「おとラボ　記憶の周波数」』と共同で，放送史を飾る出演者にインタビューを行い，特集記事を掲載した。

❸みちしる

「みちしる」は，全国およそ4,000か所の名所旧跡，伝統行事，特産物などを動画で紹介するとともに，専門家などによる鉄道や温泉などの特集記事を掲載した。地域局で制作した映像企画や動画の発信にも力を入れ，20年度は，全国の紅葉などをまとめて紹介したほか，長野局開局90年サイトを共同で公開，大分局の県域放送スポットを全国に向けて配信した。また，国の分野横断統合ポータルである「ジャパンサーチ」とも連携を開始して公共的な活用を進めるなど，「みちしる」が蓄積してきた映像を広く社会に役立てていくための取り組みを継続した。

❹戦争証言アーカイブス

「戦争証言アーカイブス」は日米開戦80年を前に，戦争に至る１年間の日米交渉の流れを，当時のニュース映画やNHKの作成した歴史番組の動画でたどる「戦争80年」に向けたコンテンツを立ち上げた。さらに，『連続テレビ小説』「エール」が戦争の時代を取り上げるのに合わせて戦争証言等をSNSで紹介，多くのアクセスを得た。また「NHK for School　戦後75年」サイトにも

戦争証言や記録映像等を提供し，若い世代に太平洋戦争を伝えた。

❺東日本大震災アーカイブス

「東日本大震災アーカイブス」では，震災10年の節目に，事業センターが行った「震災と未来」展に記録映像や証言資料を提供，また，展示をウェブ化しインターネット上でも公開して，コロナ禍で来館が難しい方にも届けるとともに，会場をVR撮影するなど，会期終了後も展示のアーカイブスとして恒久的に活用する試みに取り組んだ。その他にも，ネットワーク報道部の震災企画に映像や資料を提供。アーカイブスSNSでも「#NHKアーカイブスで振り返る東日本大震災」を企画し，震災アーカイブスとしての役割を果たした。さらに，東日本大震災以外の自然災害映像をおよそ300本掲載し，広く災害アーカイブスとしての役割も担うようにした。

❻クリエイティブ・ライブラリー

「クリエイティブ・ライブラリー」は，『連続テレビ小説』「エール」「おちょやん」と連動し，各放送回末尾５秒の投稿を受け付けた。キャンペーン「みんなでエール」との連動では，応募された映像をGReeeeNによる主題歌「星影のエール」にあわせて編集した各県の応援動画を展開した。また，水害キャンペーンと連動し，YouTuberのフィッシャーズと「#ベスト避難チャレンジ」を募集，若い世代に避難の大切さを訴求した。さらに，SDGsキャンペーンと連動して，『NHKスペシャル』「2030　未来への分岐点」で制作された環境問題を描くインフォグラフィックス動画をダウンロード提供し，視聴者が自分のメッセージ映像を発信できるようにした。サイト全体の提供素材はニュース汎用（はんよう）映像を追加し約7,000本に上った。

❼アーカイブスSNS

アーカイブスSNSは，Facebook，Twitter登録者数合計が36万人になった。新しい取り組みとしてSNS発信に利用できるアーカイブスポータル掲載動画を地域局へ提供し，各地域局のSNSが地元の情報発信を簡単にできるようにした。

❽イベントコンテンツ貸出

イベントコンテンツ貸出は，NHKプラスクロスSHIBUYAや各局で開催された「放送のミライ」展への放送年表貸出をはじめ，全国各地の水害・災害関連イベントや防災訓練に活用された。

【2】番組公開ライブラリー

NHKが過去放送した番組の一部を無料で視聴できる設備で，NHKアーカイブス（川口市）のほか全国の放送局など57か所に設置している。20年度は，新型コロナウイルス感染拡大のため多くの施設で臨時休止が相次ぎ，全国の利用者数は１万9,107人と19年度（18万8,751人）を下回った。

一方，20年度末で視聴できる番組は１万915本（テレビ：１万294本・ラジオ：621本）となった。東日本大震災10年や公共メディアキャンペーンなどにあわせて，震災や水害に対する地域の防災力向上に資する番組などを新たに公開した。

【3】放送番組表データベース

放送番組表データベースは，NHKが放送した番組の公式記録である「放送番組確定表」をデータベース化したもので，テレビは1951年12月（実験放送期）から現在までのすべてのデータが，ラジオは92年４月以降のデータが検索できる。

「BS４K」「BS８K」の確定表情報も提供した。

【4】学術利用トライアル

放送資産を学術研究に役立てて社会貢献を行うことを目的に，「学術利用トライアル」を10年３月から試行的に実施している。大学院生から教授クラスまで幅広く応募があり，放送博物館と大阪局，川口アーカイブスで番組を閲覧した。

20年度は18件が採択され，19件の研究論文が提出された。開始から20年度末までに計219件が採択され，107件の研究論文の提出と，86件の学会などでの研究発表が行われた。

新型コロナ感染拡大の影響により７月まで閲覧を中止するなどの対応を行った。

【5】NHKティーチャーズ・ライブラリー

NHKの番組を授業で利用するためのサービスで，09年度から，全国の小・中・高等学校等の学校に『NHKスペシャル』などドキュメンタリーを中心とした放送番組のDVDを無料で貸し出している（送料のみ負担）。20年度は293タイトルを準備し，19年度を上回る2,600件近くの利用があった。

新型コロナの影響で校外学習が中止となり，「キャリア」や「平和」「人権」関連の番組利用が目立った。

「進路・就活応援特集」としてキャリア関連の番組をオンラインで配信した。

【6】NHK回想法ライブラリー

アーカイブス映像を回想法（懐かしい物や映像を見て思い出を語り合うことで認知症の進行予防

をする療法）で利用できるように，15年10月からホームページで提供している。18年度からは高齢者施設を対象にDVD第１巻「むかしの暮らし・むかしの日本各地」の貸し出しを開始，19年度は第２巻「むかしの道具・むかしの家・きょうの蔵出しNHK」，20年度は第３巻「思い出の皇室・むかしの歌と音色」を追加し，全国およそ１万施設が利用した。また，コロナ禍で外出が難しい高齢者に「おうちで認知症予防」を呼びかける広報展開を放送やインターネットで行った。

【7】イベント

NHKアーカイブス（川口市）では，「番組公開ライブラリー」の利用促進やCS活動の目的で，保存番組を活用したイベントを実施している。

20年度は新型コロナウイルスの影響で，大型連休・夏休みは開催を見合わせ，その後，来場者などの感染対策を万全に講じた上で５回実施した。９月はFMの『今日は一日“川口アーカイブス・レコード”三昧』の公開生放送，10月は『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」の脚本家を招いた『プレミアムカフェ』公開収録と，女優・八千草薫さんの一周忌に出演ドラマの上映会を開催した。12月にはNHKに残る貴重な邦楽のレコードのジャケット展示・試聴イベントを開いた。また20年度末にはNHKのバラエティー番組をテーマにした展示イベントを実施した。

5 国際機関との連携

海外のアーカイブスに関する最新の動向や，NHKアーカイブスの保存・活用・公開の取り組みを海外に発信するために，アジア太平洋放送連合（ABU）や国際テレビアーカイブ連盟（FIAT），デジタル・プロダクション・パートナーシップ（DPP）などの国際機関と連携・協力を図った。

世界的な新型コロナ感染拡大の影響で，ほとんどの会議が中止となる中，９月にオンラインで開催されたDPPのイベントで，アーカイブス映像の「AIカラー化」や「４Kレストア」の最新技術について発表した。

11月にオンラインでの開催となったFIATの会合では，アーカイブス情報システムのAI解析技術について発表を行うとともに，各国メディアの最新の取り組みについて広く情報収集を行った。

番組考査

1 放送番組考査

本部に会長直属の考査室があり，放送番組の考査を担当している。また，各地域拠点局にも，局長直属の考査部（または考査部門）があったが，15～17年度の３か年で，大阪局以外の拠点局の考査部門の業務が考査室に集約された。

考査業務は，NHKの放送が，「放送法」「NHK国内番組基準」「NHK国際番組基準」および「NHK放送ガイドライン」などに沿っているか，放送倫理の面で問題がないかを中心に行い，リスクマネジメントの観点からも，番組の質の向上を図ることを目的としている。

考査には，放送前に放送台本や番組を収録したDVDなどで行う「事前考査」と，放送視聴で行う「放送考査」とがある。事前考査の結果，訂正・変更が必要と思われる場合は，直ちに制作責任者に対して改善に向けた助言を行う。放送考査の結果は「考査週報」としてまとめ，イントラネットに掲載し，職員が参照できるようにしている。

20年度はニュース89項目，全国放送番組168本（地上141，衛星26，ラジオ１），NHKワールドJAPANでは，ニュース38項目，番組19本について放送考査を実施した。NHKワールドJAPANのニュース考査ではCNNやBBCなど海外の国際放送とも比較しながら考査した。また，拠点局からの業務集約に伴う地域放送番組の考査は76本を対象にした。20年11月から，西日本の地域番組は大阪局考査部が考査している。これらの考査結果は，原則として月１回，放送総局番組考査会議で，放送関係の部局長および関連団体の代表者に通知し，さらに理事会に報告している。

2 放送番組モニター

放送の視聴実態を示す指標としては，視聴率や電話・メールなどによる反響があるが，視聴者の番組に対する感想・意見・評価を詳細に把握することは難しい。「放送番組モニター」は，放送に関心の高い視聴者に番組の視聴を依頼し，その感想・意見などを「リポート」として報告してもらう制度である。その内容は，考査室が行う番組考査の参考にするとともに，取材・制作者にとって貴重な「視聴者の声」になっている。20年度は，地上波，BS，若者，特別，専門の各モニターを，

全国で1,982人に委嘱した。

モニターからの報告件数は，年間で約15万件に上る。これらは番組別にまとめられ「週刊モニターの声」としてイントラネットに掲載している。20年10月から「週刊モニターの声」は，より分かりやすくするため「考査週報」と合体させて「考査・モニター週報」として発行している。20年度は，番組179本（地上151，衛星27，4K1），ネットコンテンツ2件についてモニターの声を集約した。モニター対象の番組選定にあたっては，新番組や開発番組，特集番組を中心に，幅広い分野から注目度の高い番組を重点的に選んだ。

11月には，モニターの代表から直接，ニュースや番組に対する意見や要望を聞く懇談会をリモート形式で開催した。

3 人権・商標問い合わせ

考査室では，取材・制作の過程で生じる人権や差別，広告などに関する問題についての問い合わせや相談に対して日常的に助言を行い，番組の質の維持向上や，放送倫理の徹底を図っている。20年度は，698件の相談に対応した。

調査研究

NHK放送文化研究所の活動

NHK放送文化研究所（文研）は，メディア環境の急激な変化の中で，時代が求める放送やメディア，国内外の公共放送についての調査・研究，人々のメディアへの接触動向の調査などを実施し，その成果を，多様な場で公表し，社会に還元した。

1 20年度調査・研究の重点項目

【1】「放送通信融合時代 メディアの最新動向と未来を探る」

リアルタイム視聴からネット視聴の時代へ。デジタル技術がもたらした構造的な変化が加速し，さまざまな動画配信サービスも台頭する中で，放送局はコンテンツをどのように届けていくのか，模索が続いている。海外の先進事例，国内の最新メディア動向，視聴者のメディア利用状況などを多角的に調査研究し，NHKおよび放送界全体の羅針盤となる論考・報告を積極的に発信した。

【2】「豊かな放送文化を記録・継承し さらなる発展への基盤を築く」

25年の「放送100年」に向けて，長期的な視点に立った放送史関連資料・証言の収集，番組アーカイブ研究を継続し，幅広い放送文化の知見を一層深めた。NHKの経営計画が掲げる「多様な地域社会への貢献」を実現するため，継続して地域放送研究に取り組み，地域局への支援に結び付けた。放送現場で役立つ的確なことばづかいや表現の研究などを通じて，長きにわたって形成されてきた放送文化を記録・継承し，さらなる発展への基盤を提供した。

【3】「最適な調査手法で，多様化する人々の 行動や意識を的確にとらえる」

さまざまな情報や調査データがあふれる中，精度の高い世論調査で人々の意識や行動の変化を的確にとらえ，成果を社会還元することは，公共メディアの重要な責務である。20年度は，「東日本大震災から10年　復興に関する意識調査」などの時系列調査を実施した。合わせて，有効率の維持向上に向けた調査手法の研究・開発を継続した。

【4】「ポスト2020へ“公共メディア”の あり方を考える」

NHKはこれから「公共メディア」としてどのような役割を果たしていくべきか。次期経営計画（21年～）策定の議論に資することも念頭に，メディアの公共的価値を探る研究に尽力した。災害報道および防災・減災情報の伝達の課題について，被災地での調査等をもとに検証した。教育現場の実態調査を通して，公共メディアに求められる教育サービスのあり方に関する考察を深めた。

【5】「発信力強化と調査研究の深化により，『活用される文研』を目指す」

『放送研究と調査』などの刊行物，「文研フォーラム」「文研セミナー」などの報告会，シンポジウムや勉強会への研究員派遣などを積極的に行った。また，文研の公開ホームページ・ブログ・ツイッターなどを通して，調査研究成果を「迅速に，アクセスしやすい方法で」届けるデジタル発信にもより一層力を入れた。調査研究の深化・領域拡大に努めながら多角的な発信を進め，NHK内外

に「活用される文研」を目指した。

海外メディアの研究

1 公共サービスとしてのメディア総合研究

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は各国でニュースの需要を高める一方，メディアの取材・制作態勢，番組編成や発信内容，経営などに大きな影響を及ぼした。未知のウイルスとその感染予防策，感染拡大の実態や政府の施策についての最新情報の伝達，誤・偽情報や陰謀論の拡散への対応，「ロックダウン」下の子どもの学習支援コンテンツ発信，取材制作要員の感染予防策などに各国のメディアはどう対応したのか，コロナ禍による経済の低迷は経営にどう影響を与えたのか，公共放送を中心に国や地域ごとに動向をまとめ，各国に共通した課題とあわせて『放送研究と調査』（21年２・３月号）で報告した。

アメリカで黒人男性が警察官による暴行を受けて死亡した事件をきっかけに人種差別に抗議するBlack Lives Matter運動が広がる中，世界のメディアは多様性をどう受け入れ，発信に反映しているかを，今まで以上に問われるようになった。多様性向上のために海外ではどのような取り組みが行われてきたのか，英仏の公共放送がオフスクリーン（組織体制・要員）だけでなく，オンスクリーン（放送内容）の多様性についても目標を設定し，実績をデータとして公表していることについて『放送研究と調査』（21年２月号）で報告した。こうした海外の事例を参考にしながら，日本でのオンスクリーンの多様性調査の意義，その指標の取り方，活用の可能性を考えるシンポジウムを21年３月の「文研フォーラム」で行った。

2 海外での報道の自由をめぐる動向の調査研究

オーストラリアの公共放送ABCが，アフガニスタンで豪軍兵士が非武装の民間人を殺害していたことを報じたことで，警察による家宅捜索と資料の押収を受けた問題で，国民の知る権利を保障する取材・報道の自由と国家安全保障の相克がクローズアップされた。オーストラリアのテレビ・ラジオ・新聞・オンラインニュースが連携した「知る権利連合」の主張と活動，政府の見解，連邦議会での議論などを整理し，専門家の知見をふまえ，事件が問うものは何かを検証する論考を『放送研究と調査』（20年10月号）に掲載した。これにオーストラリア，イギリス，日本のジャーナリストやアメリカの安全保障の専門家の経験と知見を加え，メディアは“機密の壁”にどう向かい合うかについて，21年３月「文研フォーラム」のシンポジウムで話し合った。

香港国家安全維持法の成立によって瀬戸際に立たされる香港の報道の自由について，法制定の経緯と法律の内容，メディア関係者の反応について調査し，香港メディアの概況とあわせ，『放送研究と調査』（21年１月号）で報告した。

3 海外のジャーナリズム最新動向の調査研究

アメリカでは社会の分極化が進み，事実に基づく情報への信頼が揺らぐ中で，市民とのつながりを深める対話のチャンネルを設け，その声や視点を取り込むエンゲージメントをジャーナリズムの柱とする試みが広がっている。コロナ禍によって取材活動が制限され，経営難による解雇や一時帰休も増える中，メディアどうしの連携やメディア外の専門家などとの連携によって，市民の情報ニーズに応えようとする動きも広がった。こうしたジャーナリズムの連携やエンゲージメントの試みを文研ブログで報告し，また，エンゲージメントの実践者たちの思いや軌跡を『放送研究と調査』（20年６～８月号）の連載として伝えた。

4 『NHKデータブック世界の放送2021』編集・刊行

『NHKデータブック世界の放送』の21年版を発刊した。世界の放送事業者や放送業界の概況，各国の放送メディアをとりまく動きをまとめ，資料編には世界の商業動画配信サービスの一覧に加え，放送事業者による動画・音声配信サービスの一覧を掲載した。

国内メディア動向の研究

1 デジタルテクノロジーの進化とこれからのテレビ・メディアに関する研究

放送通信融合時代におけるテレビ・放送・メデ

ィアの最新動向に関する研究を継続した。

放送に関連する新サービスや政策の最新動向を俯瞰し論点を提示する『放送研究と調査』の連載シリーズ「これからの“放送”はどこに向かうのか？」は，20年６月号に論考を発表。放送同時配信・見逃し配信サービス「NHKプラス」の開始を機に，15年から始まった常時同時配信を巡る議論を検証した。また，新型コロナウイルスに関する放送事業者の取り組みや課題の分析も行った。さらに，21年３月の「文研フォーラム」では，これからの放送メディアやNHKが果たすべき役割について，“公共性”の観点から，多様なフィールドで活動する人々と討論した。

複数の男女が共同生活する様子を記録した番組『TERRACE HOUSE TOKYO』の出演者が，番組での言動を契機にSNS上で誹謗中傷を受け，自殺したとみられる問題について，『放送研究と調査』20年10月号に論考を発表した。このようなリアリティーショーと呼ばれる番組がどう発展してきたのか，国内外の歴史をひもときつつ考察した。

コロナ禍では番組制作が滞り，再放送が頻出した。再放送を視聴者はどう受け止めたのか，インターネット調査とグループインタビューから検証した。調査からは，再放送に対して好意的な印象を抱いている視聴者の意向が浮かび上がった。この分析を『放送研究と調査』21年２月号で報告。さらに，21年３月の「文研フォーラム」では，NHKと民放の編成担当者やアーカイブス研究者と議論を交わした。

動画配信サービスの利用やネット系メディアの信頼性などについて，世論調査を実施し『放送研究と調査』20年７月号で報告した。情報の信頼性では，伝統的なマスメディアにネットニュースが若い世代で肉薄しつつある現状などについて考察した。

2 放送・メディアとジャーナリズムのあり方に関する調査研究

メディアの信頼性や法制度，権利にかかる問題の最新動向等を通して，放送・通信融合時代のメディア，公共性の概念を問い直し，放送の公共的価値の実現に寄与できる調査研究に取り組んだ。

新型コロナウイルスの感染拡大の中で起きたトイレットペーパーの買いだめと流言との関係について，Twitterの投稿分析やインターネット調査，メディアの報道記録などをもとに分析，その結果を『放送研究と調査』20年７月号で報告した。

また，新型コロナウイルスの感染拡大を受けてメディア各社がウェブサイトに設けた「新型コロナ特設サイト」について，利用実態を把握するインターネット調査や各サイトのコンテンツ分析などを行い，21年３月の「文研フォーラム」で発表，正確で信頼できる情報のあり方について議論した。

3 減災に寄与する情報伝達，報道のあり方に関する調査・研究

命と暮らしを守り，防災・減災に寄与する災害情報の伝達のあり方を提言する目的のもと，調査研究を継続した。

19年の台風19号による豪雨で大きな被害を受けた長野県，宮城県，福島県の５自治体を対象に住民の防災情報認知と避難行動に関する世論調査を実施，『放送研究と調査』20年８～10月号の計３回にわたって詳細に報告した。

また，11年の東日本大震災をきっかけに本格化した「震災（デジタル）アーカイブ」について，「文研フォーラム」の中で取り上げ，この10年の取り組みを振り返るとともに，今後の利活用のあり方や持続可能性，メディアの役割等を討論した。

メディア史の研究

1 『NHK年鑑2020』の刊行

NHKの業務を中心に，放送界の動きを正確に記録する『NHK年鑑』（本書）の20年版（19年度の記録）を19年12月に刊行した。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う編集日程の見直しにより，例年よりも２か月遅れの刊行となった。

20年版では，東日本大震災関連について，冒頭の第１部で引き続き章を設けて，復興に向けた動き，原発事故のその後，NHKの取り組みなどを掲載した。また，新たな放送・サービスとして「４K・８K」「インターネット活用業務」の動向について詳しく記述したほか，「東京オリンピック・パラリンピック」に向けた準備状況をまとめた。

2 放送史の研究

戦時中から占領期にかけてのラジオ放送を，当事者の証言や新たな史料によって検証するシリー

ズ「戦争とラジオ」を継続した。20年度は，戦時ラジオ放送におけるアナウンス理論に焦点を当てた論考を『放送研究と調査』20年８・９月号に掲載したほか，太平洋戦争後期から末期にかけての放送を分析した論考を21年３月号に掲載した。

また，戦時中の放送に関しては，日本の陸海軍が「南方」と呼ばれた東南アジアの占領地に設けた放送局の活動について検討するシリーズ（全３回）を『放送研究と調査』21年３月号から開始した。このほか，占領期の電波三法の制定過程について，番組準則違反と行政処分との関係に着目しつつ振り返った論考を『放送研究と調査』20年７月号に掲載した。

3 ドキュメンタリー研究

NHKのテレビドキュメンタリーの研究を継続し，20年度は，1957年から64年にかけて放送された『日本の素顔』を取り上げ，それぞれの回の音声について指標を設定して時間的分量を計測し，推移を分析する研究を行った。

『放送研究と調査』で展開したシリーズでは，第１回の20年４月号で，『日本の素顔』の制作技法が経時的に変化していることを指摘し，その変化を捉えるための量的な分析枠組みを示した。また，第２回の20年５月号では，制作者の吉田直哉が示した「テレビ・ドキュメンタリー」概念や，いわゆる「素顔論争」について考察を行った。

4 オーラル・ヒストリー研究

放送の発展に寄与した人々の証言を収集し，文字として記録されていない放送の歴史に新たな光を当てる「放送のオーラル・ヒストリー研究」を継続した。20年度は，1970～80年代にかけて人気を集めたTBS系列『８時だョ！ 全員集合』の「テレビ美術」に着目し，番組のデザイナーや演出スタッフの証言をもとに，大がかりなセットを用いたコントの制作手法などについてまとめた論考を『放送研究と調査』20年９月号に掲載した。

5 「放送文化アーカイブ」の構築

放送に関する歴史資料や文研の研究成果をデジタル・アーカイブ化し，まとめて検索可能にする「放送文化アーカイブ」について，国立情報学研究所との共同研究を実施した。

20年度は，大学などの研究者が「放送文化アーカイブ」を通じて文研の研究成果や刊行物を利用できるようにするため，研究者向けサイトの運用を放送博物館図書・史料ライブラリーで継続した。また，NHK内で運用しているサイトについて，コンテンツの追加や機能の改善を行った。

6 放送史資料の収集・整理

放送に関連した歴史資料の収集・整理を継続し，20年度は，19年に寄贈を受けた吉田直哉関係資料（『大河ドラマ』や『NHK特集』の台本など約1,700点）を中心に整理作業を実施した。また，NHKの退職者やその遺族が所蔵する戦時期の資料など，放送史に関連した資料の収集を行った。

これらを含め，文研が所蔵する放送関連の歴史資料（放送博物館内に収蔵）に関しては，引き続き目録作成や劣化対策を進めるとともに，『放送研究と調査』の「放送史料探訪」のコーナーで紹介を行った。20年度は，19年から継続している「外地」放送史料に加え，昭和初期の放送業務に関する文書やドラマ番組のカット割り台本を紹介した。

放送用語の研究

1 放送用語委員会

20年度の放送用語委員会は，東京本部で３回，拠点放送局で２回実施した。東京オリンピック・パラリンピックの開催が予定されていたため，20年度は例年より回数を減らし６回開催することにしていた。そこへコロナ禍により１回は中止，５回はリモート開催となった。

20年度に東京本部で開催した放送用語委員会の議題は以下のとおり。

〔第1446回〕　20年7月3日

語形について〔意見交換〕

和語の語形，促音添加・非添加，連濁・非連濁，漢語の語形，外来語の語形について意見交換を行った。正式な決定は後日の予定である。

〔第1447回〕　20年10月16日

語形について〔意見交換〕

「～しだい・～ししだい」「～する前・～しない前」「（事件などが）起きる・起こる」「すべき・するべき」について意見交換を行った。正式な決定は後日の予定である。

〔第1449回〕　21年2月5日

「コロナ禍・コロナ下」について〔意見交換〕

「重用」の読みについて〔意見交換〕

拠点放送局２局で開催した放送用語委員会では，放送の視聴検討に加え，用語や表現に関する各局からの質問に答えた。

20年度の外部放送用語委員は，清水義範，井上由美子，荻野綱男，町田健，青木奈緒，笹原宏之，野田尚史の７氏。地方用語委員会に参加する専門委員は，日高貢一郎，豊島秀雄の２氏である。

2 「アクセント新辞典」市販用アプリの開発

16年５月に刊行した『NHK日本語発音アクセント新辞典』に掲載されている約12万に及ぶすべての語について，音声を収録して市販用のアプリを開発し，19年12月にiOS版の販売を開始した。今後，電子辞書にも搭載の予定。Android版，MacOS版も制作中である。

音声収録を担当したのは，元NHKアナウンサーの梅津正樹，末田正雄，伊藤健三，NHKアナウンサーの大沼ひろみの４氏である。

3 日本語のゆれに関する調査

日本語のゆれに関する調査（世論調査）を20年３月に実施した。「９時10分前」というのは「９時10分の数分前」であるという解釈のしかたが，若い年代になるほど多くなっていること，「私情」ということばについて，20代を中心に「私的な事情」のことも指しうるという考え方が多くなっていること，「船は２日おきに来ます」という言い方について，ある日に船が来たら次に来るのはその３日後になるという解釈は少なく，２日後になるという解釈が最も多かったこと，「言う」について，「[ユウ］と発音する」と意識している人が多かったが，文字で書かれたとおり「[イウ]と発音する」と意識している人の数も決して少なくなかったことなどが分かった。調査結果は『放送研究と調査』20年12月号に発表した。

また，「青紫蘇」については，連濁形で「『青じそ』と言う（『青しそ』とは言わない）」という人が，全体の８割を占めていたこと，「片側」については，連濁形で「『かたがわ』と言う（『かたかわ』とは言わない）」という人が，全体の９割以上を占めていたことを指摘した。また，「渓流釣り」については，連濁形で「『渓流づり』と言う（『渓流つり』とは言わない）」という人が，全体の３分の２近くを占めた。ただし20代では，この回答は半数強程度にとどまっていたこと，「立ち眩み」については，非連濁形で「『立ちくらみ』と言う（『立ちぐらみ』とは言わない）」という人が，すべての年代で９割以上を占めていたことなどが分かり，『放送研究と調査』21年１月号に発表した。

4 番組協力などによる放送現場支援

ことばに関するさまざまな研究成果や知見を基に，番組への出演や制作へのアドバイスを行い，放送現場を支援した。

❶番組協力

20年度の主な番組協力は，

▶『ラジオ深夜便』「気になる日本語」

R1 原則として第2金　深夜0時台放送

「おかげさまで」「大丈夫」「ウイルス」「私情」などをテーマに取り上げた。

❷局内向けウェブコンテンツ

放送のことばを選ぶ際の参考になるよう，問い合わせの多いことばや，間違いやすいことば，時宜にかなったことばを局内向けに５分程度で説明するウェブコンテンツを配信している。

▶『文研用語プチ』（隔週）月　午後4時～

「悲喜こもごも・はなむけ」「一週間の区切り・週末・年度末」「雪がトける・魚をトる」「耳で聞いてわかりやすい文章をかくためのヒント」「対症療法」「やおら」「おもむろに」「おっとり刀」の使い方などを取り上げた。

番組の研究

1 視聴者層拡大に資する調査・研究

【1】パラリンピック放送とダイバーシティーに関する調査研究

パラリンピックの自国開催は共生社会への変革の契機になるのか。21年に延期されたパラリンピックに向けて，予備調査を進めた。

2 テレビ文化を考察する調査・研究

【1】新型コロナ報道に関する研究

20年１月以降，テレビは膨大な時間を割いて，新型コロナウイルスについて伝えた。その中で何

が語られたのかを総覧するため，１～７月の，NHKと民放各社のワイドショーや夜のキャスターニュースなど25番組のメタデータを収集し，内容を分析した。テレビと連関して活発に発信されたソーシャルメディアにも注目し，ツイッターの言説を収集して分析したところ，互いの間には興味深い連関が見られた。また事例研究として，長期間にわたり人々の関心を集めた「PCR検査」を例に，テレビとツイッターの間で「議題設定」が行われたという仮説を立てて論じた。

論考は『放送研究と調査』20年12月号・21年１月号に掲載された。

【2】東日本大震災のアーカイブを題材とした研究

発災10年に向けて，引き続き関連ニュース・番組の録画，メタデータの収集・整理を進めた。

3 地域放送に関する研究

【1】地域放送総合調査の実施，報告

経営計画の一つ「多様な地域社会への貢献」に資するため，06年から行っている「地域放送総合調査」を継続した。この調査は，地域ごとに異なるメディア状況，視聴ニーズ，視聴特性などを把握・分析し，ニーズに合った放送サービス構築のための基礎データを提供するとともに，改定に向けた提言を行うもの。

20年度は神戸局，北関東３局（宇都宮，水戸，前橋）で実施し，各局にフィードバックした。

20年度は初めて，一部の調査報告を局内向けウェビナーでも公開し，当該局以外の関心ある職員にも広く情報共有された。

【2】地域局の新型コロナ報道に関するリポート

地域放送番組がどのように新型コロナウイルスと向き合い，どのような情報を発信してきたかを『放送研究と調査』20年８月号で紹介した。

4 教育番組・サービスに関する研究

【1】新型コロナウイルス臨時休校に伴う子どもとその親のメディア行動調査

新型コロナによる一斉休校により，放送やインターネットなどで，教育・娯楽分野の多くの動画・一般コンテンツが利用されるようになった。これらのコンテンツやサービスは，子どもたちやその保護者にどのように認知・受容・接触され，どう評価されているのか。また今後同様の事態が起きた時への教訓は何か，といった課題を俯瞰（ふかん）的かつ中長期的にとらえるため，定量調査と定性調査を２段階で実施した。

『放送研究と調査』20年11・12月号に掲載された。

【2】新型コロナ下の小学校，中学校，特別支援学校でのメディア利用に関する調査

小学校，中学校，特別支援学校（小学部，中学部）を対象に，学校全体としてのメディア機器の整備状況やメディア教材の利用状況，そして，オンライン学習への取り組みを調査した。あわせて，Eテレサブチャンネル特別放送や，NHK for School「おうちで学ぼう」などに対する学校での認知状況も把握した。

21年の『放送研究と調査』６月号に掲載された。

【3】新型コロナ禍の家庭学習とメディア利用に関する調査研究

新型コロナによる休校期間中，各家庭で学習が行われ，地域や学校によってはオンライン学習が進められた。コロナ禍は，家庭学習におけるメディア利用にどのような変化をもたらしたのか。

コロナ禍直前の19年秋～冬に実施した「中学生の家庭学習とメディア利用に関する調査」の結果をふまえ，学校再開後の家庭学習の状況に着目した調査を行い，コロナ禍前・後の変化を捉えた。

「文研フォーラム2021」で調査報告を行い，21年度の『放送調査と研究』８月号に掲載。

5 “子どもに良い放送”プロジェクト

03年から12年間におよぶ大規模なパネル調査のデータを分析・研究するための，データクリーニング・欠損値処理などを引き続き行った。また21年度以降の本格的な分析・論文発表に向け，記述統計の速報版を作成した。

世論調査

各調査の概要では次の記号を用いる。
a. 調査期間　**b**. 調査相手　**c**. 調査方法
d. 調査事項　**e**. 有効数（率）

1 視聴者調査

【1】国民生活時間調査・2020

a. 20年10月10日（土）～18日（日）を調査期間として，連続する２日ずつ４回に分けて調査を実施。
（予備日20年10月24日（土）～11月１日（日））
b. 全国10歳以上の7,200人
c. 郵送法によるプリコード方式
d. 調査対象日（２日間）の午前０時から24時間の時刻別（15分刻み）の生活行動と在宅状況
e. 4,247人（59.0％）
注）１曜日でも有効な回答のあった人

〔調査結果〕

国民全体の睡眠時間は，平日７時間12分，土曜７時間46分，日曜８時間２分。また，有職者の平日の仕事時間は６時間52分，成人女性の平日の家事時間は４時間34分，成人男性は１時間９分。

１日にテレビを見る人は79％，視聴時間は３時間１分，１日にインターネット動画を見る人は20％，視聴時間は24分だった（いずれも平日，時間量は見ていない人も含めた全員の平均時間）。

【2】全国メディア意識世論調査

a. 20年10月28日（水）～12月７日（月）
b. 全国16歳以上の3,600人
c. 郵送法
d. ５年ごとに実施してきた「日本人とテレビ調査」に代わり，現在の多様化したメディア環境における人々の利用行動・意識を，時系列で把握する「全国メディア意識世論調査」を開始した。多くのメディアの中から，人々はいかにメディアを選択し，評価しているのかなどを調査した。
e. 2,055人（57.1％）

〔調査結果〕

❶メディアの利用頻度について，「毎日のように」利用している人は，リアルタイムのテレビ視聴82％，録画したテレビ番組を視聴20％，YouTube 21％，テレビ番組をインターネット動画サービスで視聴３％だった。
❷「もっとも役に立つメディア」を，複数のメディアから，効用別に選んでもらったところ，「テレビ」は「世の中の出来事や動きを知る（66％）」「感動したり，楽しんだりする（55％）」などで，メディアの中で最も高く評価されていた。

【3】全国放送サービス接触動向調査

a. 20年７月13日（月）～19日（日）
b. 全国７歳以上の3,600人
c. 郵送法（日記式調査票に１日単位で記入）
d. NHK・民放の放送局が展開する各種サービスの利用の有無（テレビ・ラジオ，データ放送，録画再生，ウェブサイト，VOD，動画サイト，SNS，インターネットラジオなど）
e. 1,857人（51.6％）

〔調査結果〕

❶NHK・民放合わせた放送局が提供するサービスのうち，テレビ・ラジオやデータ放送など「リアルタイム（放送経由の接触）」のリーチ（１週間に１日でも視聴・利用した割合）は92.0％。
❷録画再生やブルーレイ・DVDなど「タイムシフト」のリーチは53.9％。
❸テレビ番組の有料配信サービス，動画サイトで放送局が提供する番組動画，放送局が提供するホームページや公式SNSなど「インターネット（通信経由の接触）」のリーチは40.5％。

【4】コロナ時代のテレビの価値調査

a. 20年11月25日（水）～21年１月８日（金）
b. 全国13歳以上の3,600人
c. 郵送法
d. 新型コロナウイルス感染拡大によるテレビの立ち位置の変化や，利用が急増するインターネット動画とテレビの比較に焦点をあて，人々がこれからの時代のテレビに求める「メディアとしての価値」を調査した。
e. 2,233人（62.0％）

〔調査結果〕

❶新型コロナ感染拡大前に比べて，在宅時間が「増加」した人は56％，「変化なし」は40％，「減少」は２％。
❷新型コロナ感染拡大前に比べて増加した生活行動を複数回答で尋ねたところ，「家族と一緒に過ごす」が33％，「テレビを放送時間に見る」は32％，「インターネットで動画を見る」は28％。
❸生活シーン別にみると，テレビ視聴は「夜の食

事をしながら」「居間やリビングでくつろいでいるとき」，インターネット動画は「居間やリビングでくつろいでいるとき」「自分の部屋でくつろいでいるとき」「就寝前にベッドや布団に入っているとき」によく利用された。

【5】全国個人視聴率調査

新型コロナウイルス感染拡大により，6月調査を休止した（11月の同調査については，19年11月で終了）。

【6】幼児視聴率調査

新型コロナウイルス感染拡大により，調査を休止した。

2 国民世論調査

【1】憲法に関する意識調査

a. 20年4月3日（金）～5日（日）
b. 全国の18歳以上の2,681人
c. 電話法（固定・携帯RDD）
d. 憲法記念日を前に，憲法に対する人々の意識を把握した。
e. 1,560人（58.2%）
〔調査結果〕
❶憲法改正の議論に「関心がある」人は67%いるが，ふだん憲法について考えたり話し合ったりする人は34%である。
❷憲法改正は「必要がある」が32%で「必要はない」の24%を上回る。9条の改正は「必要がある」26%，「必要はない」37%で「必要はない」のほうが多い。

【2】東京オリンピック・パラリンピック 電話世論調査（第2回）

a. 20年7月17日（金）～19日（日）
b. 全国の18歳以上の2,192人
c. 電話法（固定・携帯RDD）
d. 新型コロナウイルスの感染拡大を受けて開催が1年延期された大会への関心や21年7月から開催することの可否などを調査した。
e. 1,298人（59.2%）
〔調査結果〕
❶大会に「関心がある」人は71%で20年3月調査（第1回）の80%から減少した。
❷21年7月からの開催については「さらに延期すべき」35%，「中止すべき」31%，「開催すべき」26%で意見が分かれた。

【3】ISSP国際比較調査「環境」

a. 20年10月28日（水）～12月2日（水）
b. 全国の18歳以上の2,400人
c. 郵送法
d. 環境をテーマにした国際比較調査の日本の結果について，気候変動や環境保護に対する人々の意識を探った。
e. 1,491人（62.1%）
〔調査結果〕
❶気候変動による世界的な気温の上昇が環境にとって危険だと思う人は75%に上る。
❷レジでレジ袋をもらっている人は，有料化前の94%から有料化後は50%に減少した。レジ袋の有料化がプラスチックごみの削減に「つながる」と思う人は70%である。

【4】新型コロナウイルス感染症に関する世論調査

a. 20年11月4日（水）～12月7日（月）
b. 全国の18歳以上の3,600人
c. 郵送法
d. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が人々の暮らしにもたらした影響や感染症対策に対する考え方などを調査した。
e. 2,331人（64.8%）
〔調査結果〕
❶新型コロナウイルスの感染拡大について「不安だ」は93%，国内で感染が起きてから生活に「影響があった」は82%，感染拡大前よりストレスを感じることが「増えた」は67%である。
❷政府に最も力を入れてほしい対策は「治療薬やワクチンの開発」が48%で最も多い。

【5】東日本大震災から10年　復興に関する意識調査

a. 20年11月11日（水）～12月18日（金）
b. ①全国の16歳以上の3,600人
②被災3県（岩手・宮城・福島）の16歳以上の1,368人
c. 郵送法
d. 東日本大震災からの復興と防災，原発などに対する意識を全国と被災3県でそれぞれ探った。
e. ①2,311人（64.2%）　②943人（68.9%）
〔調査結果〕
❶津波の被災地の復興は「進んでいる」が全国，被災3県ともに7～8割を占めるが，原発事故の除染の復興は「進んでいる」が3～4割にとどまる。

❷原発で事故が起きる不安を「感じている」人は全国85%，被災３県88%。原発の運転再開について全国では「賛成」16%，「反対」39%。福島県では「反対」が48%で全国より多い。

【6】ジェンダーに関する世論調査

a. 21年３月26日（金）～28日（日）
b. 全国の18歳以上の2,890人
c. 電話法（固定・携帯RDD）
d. ジェンダー平等について考える放送と連動して，選択的夫婦別姓や同性婚など，ジェンダーギャップについての意識を探った。
e. 1,508人（52.2%）

〔調査結果〕

❶「夫婦は同じ名字を名乗るべきだ」という人は40%，「同じ名字か別の名字か選べるようにするべきだ」という人は57%である。
❷同性婚を認めることに「賛成」は57%，「反対」は37%である。「賛成」の理由では「誰にでも平等に結婚する権利があるから」が76%で最も多い。

【7】東京オリンピック・パラリンピックに関する世論調査（第６回）

a. 21年３月17日（水）～４月19日（月）
b. 全国の20歳以上の3,600人
c. 郵送法
d. 東京2020大会への関心や放送サービスへの要望などを継続して探る６回目の調査。新たに，新型コロナウイルスの大会への影響を探った。
e. 2,374人（65.9%）

〔調査結果〕

大会終了後に実施する第７回調査の結果とともに公表予定。

【8】政治意識月例調査

内閣支持率や政党支持率を継続して調査するとともに政治状況や時事問題に対する国民の意識を把握するため，毎月１回電話による全国世論調査を実施した。

a. 原則，毎月第２月曜（祝日の場合は火曜）の直前の３日間
b. 全国の18歳以上の約2,100人～2,300人
c. 電話法（固定・携帯RDD）
d. 内閣支持，政党支持など
e. 各回58%前後

委員会・研究成果の公開

1 放送文化研究委員会

調査・研究業務の充実を図るため，外部学識経験者に委員を委嘱している。20年度は上期（７月）と下期（１月）の２回，Teamsにて委員会を開催した。この中では，各委員と研究員とが『放送研究と調査』に掲載された論考について議論を交わしたほか，文研の業務全般について意見を交換した。委員は次のとおり（五十音順）。

岡本　美津子（東京芸術大学大学院映像研究科・教授）
吉川　徹（大阪大学大学院人間科学研究科・教授）
佐藤　卓己（京都大学大学院教育学研究科・教授）
宍戸　常寿（東京大学大学院法学政治学研究科・教授）
武田　徹（専修大学文学部・教授，ジャーナリスト）
藤代　裕之（法政大学社会学部・教授）
山内　祐平（東京大学大学院情報学環・教授）

2 研究成果の公表

【1】刊行物による発表

『放送研究と調査』（月報・毎月発行）
『NHKデータブック世界の放送2021』（21年３月発行）
『NHK年鑑2020』（20年12月発行）

【2】「NHK文研セミナー」

大阪局や松江局など拠点局・地方局での「NHK文研セミナー」に講師として参加した。コロナ禍のため５回のセミナーは，主にTeamsにて開催した。

3 シンポジウム，研究発表会の開催

シンポジウムや研究発表を行う「文研フォーラム」を３月３～５日に開催した。従前は千代田放送会館に登壇者と聴講者が参集していたが，新型コロナの影響で，今回初めてNHKオンライン上でのライブ配信という形をとった。

テーマは「“コロナ時代”のメディア～その役割

を問う～」。

主な内容は以下のとおり。

・研究発表＆シンポジウム
「正確で信頼できる情報を分かりやすく　新型コロナ特設サイトの取り組みと利用実態」

・研究発表
「“コロナ時代”の家庭学習とメディア利用」

・研究発表
「“自分快適化装置”としてのメディア　全国メディア意識世論調査2020より」

・シンポジウム
「メディアは“機密の壁”にどう向き合うか」

・研究発表＆シンポジウム
「私たちは東日本大震災から何を学んだのか　震災10年・復興に関する世論調査報告」

・研究発表
「市民が描いた『戦争体験画』の可能性　地域放送局が集めた5,000枚の絵から考える」

・シンポジウム
「メディアのダイバーシティー推進をどうする？ジェンダーバランスの視点から」

・シンポジウム
「新『再放送』論　コロナ禍緊急意識調査×“放送の価値”再定義」

・シンポジウム
「東日本大震災から10年　災害を伝えるデジタルアーカイブとメディアの公共性」

・シンポジウム
「いま改めて“公共”とは何かを考える」

オンラインでの実施を受けて申し込み件数は従前の３倍以上に増加し，全国各地から視聴してもらう機会となった。

4 公開ホームページ

放送文化研究所の活動を内外に発信PRするために，公開ホームページを設け，『放送研究と調査』『NHK放送文化研究所年報』，世論調査の結果など調査研究の成果を公表している。
（https://www.nhk.or.jp/bunken/）

5 資料室（図書）の運営

資料の収集・所蔵：調査研究に必要な内外の放送関係の図書，文研刊行物，雑誌，団体の報告書などを収集し，体系的に整理して研究者の利用に供した（**表1**）。

表1　放送文化研究所資料室所蔵内訳

図書	4万3,979冊
製本雑誌	7,337冊
和文雑誌・新聞	371種
欧文雑誌・新聞	212種
報告書	1,925冊
文研刊行物	3,751冊
電子資料	781枚

（21年3月末現在）

第2章
技　術

番組技術

番組送出

1 番組運行

【1】緊急報道，流動編成への対応

新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づく「緊急事態宣言」が４月16日に全都道府県に拡大された。７月の九州地方の大雨特別警報，８月の安倍首相辞任，９月の自民党総裁選・組閣，11月の米大統領選挙，２月の福島・宮城震度６強関連など，多くの緊急報道において流動的な番組編成に柔軟に対応した。その他の番組では国会中継，各種スポーツ中継等での流動編成に対応した。

【2】システムの安定とより良いサービスのために

❶テレビ放送・ラジオ放送

地上テレビ・ラジオ放送では，24時間連続して稼働する放送設備を維持するため，本線・符号化・多重化・データ放送・EPG・字幕・同期分配設備などのシステムの定期的な保守点検や補修整備を実施した。

送出システムの延命対策として，テレビ本線設備，符号化・多重化装置の劣化部品交換などの補修作業を計画的に実施するとともに，L字装置の更新を実施した。ラジオ放送では，運行設備の維持のため，定期整備・保守点検を実施した。また各送出設備に正確な時刻情報を伝える時計装置の機能維持のための部分更新を実施した。

❷衛星放送

衛星放送システムの機能維持を図るため，各送出システムの設備点検や，本線設備・符号化・多重化装置，文字スーパー装置の劣化部品交換など，補修作業を実施した。

BS４K･BS８Kでも，システム機能維持のために本線設備，符号化・多重化装置などの劣化部品交換などの補修作業を行うとともに，データ放送設備，ネットワーク設備の部分更新を実施した。またスタジオ障害時の予備切替を迅速に行うための改修を実施した。さらにスタジオの４K化更新に対応するための運行装置改修やインターフェース整備を実施した。

❸国際放送

放送設備の安定運用を図るために，定期整備・保守点検のほか，テレビ国際運行装置の部分更新と八俣送信所送りラジオ回線の音声コーデック更新，イギリス送りラジオ回線のネットワーク機器更新などを実施した。

防災・減災報道では，台風10号関連の特設ニュースや，NHKワールド JAPANのQRコードと台風進路図スーパーなどに対応した。

また，11月の米大統領選挙では，NHKワールド JAPANでの開票速報と選挙スーパーの送出に対応した。

NHKワールド・プレミアムでは，『NHK紅白歌合戦』や，毎日のニュース送出において，権利上放送できない映像・音声を別の映像・音声に差し替える対応を行った。

❹ラジオセンター

音声卓の補修に加え，時差再生装置の補修，出先設備の更新を行い，安定送出の確保を図った。

災害対策では，首都直下地震による放送センター機能停止を想定した「さいたま報道別館ニュース送出訓練」を実施し，初動参集要員のスキル拡大に取り組んだ。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため，インターネットによるリモート出演など，演出手法の変更に対応した。

番組では，「東京都知事選挙開票速報」（7.5），「台風10号報道」（9.６～7），「箱根駅伝」（1.２～3），緊急事態宣言に伴う新型コロナ生活情報など，多くの大規模特番対応，緊急災害報道対応を行った。

2 番組制作・送出

【1】制作TOCの運用

コロナ禍により，東京オリンピック・パラリンピックをはじめさまざまなイベントが中止や延期となる中，新たな手法として，インターネット回線を利用したリモート参加による番組制作が始まった。制作TOCでは，12回線のインターネット回線を引き込み，必要に応じて各スタジオにつなぐ運用を開始した。技研サテライトスタジオを使

用したIPリモートプロダクション制作番組とも連携した。また，新型コロナ対策として，定例記者会見場が変更されたことに伴い，会見場から制作TOCまでの光トランク線を新たに整備して共聴配信時の伝送業務の効率化を図った。その他４K８K整備では，４K８K制作MTXの更新，４K８Kのスタジオから制作TOC間接続回線の整備，８K収録設備の系統追加を行った。運用面では，４K収録サーバーによる４K大相撲アーカイブス用素材収録を実施した。五輪に向けた取り組みとして，インターネット回線で伝送された聖火リレーの映像音声を３月25日から４回線毎日収録した。

２K試写室では，20年度も約１万7,000番組の試写を実施した。なお，HD-CAMの持ち込みは，21年３月末で運用を終了した。

４K試写室では，20年度も約2,100番組の試写を実施した。また，制作技術センターで管理していた品質管理室(HS-010)にネットワーク登録機能を追加，運行技術部の４K試写室(HS-402)として21年３月に運用を開始，21年４月期に向けた４K外部制作番組の技術試写需要増に対応した。

８K試写室では，20年度は19年度比約1.5倍の230番組余りの試写を実施した。20年12月には，初の運行技術部管理の８K試写室（HS-802）が完成した。

【2】生字幕放送

20年度は，『ひるまえほっと』『列島ニュース』を生字幕室から送出した。また，下半期からは，『これでわかった！世界のいま』も生字幕室から送出した。『NHKスペシャル』をはじめとする新型コロナウイルス関係の番組で生字幕対応を行った。設備面では，老朽化したモニター用ビデオインサーターの補修を行い，延命対策を行った。また，制作設備と副調設備の老朽更新を実施し，一連の更新作業を完遂した。あわせて，キーボード方式，リスピーク方式に加え，外部制作リソースでも文字に色付けをできるよう改修し，東京オリンピック・パラリンピックに向けた準備を進めた。

3 デジタルサービス展開への取り組み

【1】災害・防災情報の提供

放送L字画面用に入力した情報を総合テレビのデータ放送でも送出し，トップ画面から詳細情報画面へ直接遷移できる機能を，５月に全国へ展開した。６月には避難情報の発令時に放送画面を自動で縮小しデータ放送で知らせる機能を全国展開するとともに，市区町村が災害発生を把握できた場合に出されることのある「災害発生情報」にも対応した。

気象警報・注意報の警戒レベル配色変更（特別警報，土砂災害警戒情報，竜巻注意情報ほか）に伴い，８月にデータ放送のトップ画面および気象情報コンテンツを改修した。

データ放送「防災・生活情報」コンテンツにおける全国の指定河川の洪水予報について，氾濫発生情報や氾濫危険情報などの新たな情報への対応を全国の各放送局で10月までに完了した。

【2】データ放送・ハイブリッドキャスト

４月26日の衆議院議員補欠選挙（静岡４区）では，総合テレビとBS1のデータ放送で開票速報を実施した。７月５日の東京都知事選挙，11月15日の栃木県知事選挙と宇都宮市長選挙では，総合テレビのデータ放送（各都県ローカル）およびインターネットで開票速報を実施した。

番組では，Eテレ定時番組や『おやすみ日本眠いいね！』のほか，『発表！全エヴァンゲリオン大投票』（BSP5.16），『鉄オタ選手権　東京メトロの陣』（BSP10.30），『発表！全美少女戦士セーラームーンアニメ大投票』（BSP12.5），『みんなで筋肉体操』「生放送フェス」（G12.12）などでSNSの投稿やアンケートを中心とした双方向連動データ放送を実施した。『第71回NHK紅白歌合戦』（G BS４K BS８K12.31）では，総合テレビのデータ放送とBS４K・BS８Kのデータサービスで，曲順紹介やリモコンボタンの連打企画「リモート握手」，番組の視聴時間に応じて投票数を変える「投票ボール制」による視聴者投票など，同じ内容のサービスを初めて実現した。

スポーツイベントでは，「NHK杯国際フィギュアスケート競技大会」（11.27～29）では総合テレビとBS1で，放送予定や選手プロフィールなどを紹介する独立データ放送と，演技構成や技ごとの採点を演技進行に合わせてリアルタイムに表示する連動データ放送を実施した。また「全国高校駅伝」（12.20）では総合テレビで，各チームの出場選手や区間記録を紹介する独立データ放送と，チーム情報や通過順位などをリアルタイムに提供する連動データ放送を実施した。

８月24日から９月７日まで，静岡エリアにおいてデータ放送の通信機能を利用した総合テレビ

の視聴状況の収集実験を行った。

ハイブリッドキャストでは，５月11日から７月10日まで，秋田・金沢・神戸・鳥取・高松・熊本・沖縄の全７局のローカル生放送番組（610・845）を対象に，自動音声認識による字幕をハイブリッドキャストの機能を用いてテレビ画面内に表示するサービスの実証実験を行った。

【3】インターネット向けサービス

❶NHK紅白歌合戦

出場歌手のメッセージ動画や曲目紹介，放送中のショート動画等のSNSへの展開や，NHKプラスのアクセス増加に備えた配信基盤の増強対応などを行った。

❷日本カーリング選手権大会

２月に開催された「第38回 全農 日本カーリング選手権大会」では，特設サイトで得点情報をリアルタイムに表示するウェブコンテンツを展開した。

【4】放送のインターネット同時・見逃し配信

❶NHKプラス

受信契約者向けの補完サービスとして，南関東エリアの総合テレビとEテレの放送を６時から24時までインターネットへも同時に配信するとともに，放送終了後７日間の番組を見逃し番組として配信するNHKプラスの本サービスを４月１日から開始した。

見逃し配信サービスについては，生放送番組の字幕のずれを自動で番組本編と同期する「生字幕同期機能」を導入し，８月から『おはよう日本（７時台）』『昼ニュース』『ニュース７』『ニュースウオッチ９』の４つのニュース番組で運用を開始した。また３月３日から各拠点放送局が各地方向けの放送用に制作する番組について，全国に向けた見逃し配信を開始した。

❷民放公式テレビポータル向け配信

19年８月から行っている民放公式テレビポータル「TVer」への番組配信については，５月から字幕の提供を開始した。

制作技術

1 テレビ制作技術

【1】大型特集番組

❶東日本大震災

震災の発生から10年。「あの日、そして明日へ～それぞれの3654日」をキャッチフレーズに，未来につながる，さまざまな番組を放送した。

『NHKスペシャル』「ドラマ　星影のワルツ」は，東日本大震災の実話に基づくドラマ。津波にのまれた男性が救助されるまでの３日間，実際のニュース映像を交え，人間の底力と家族の絆を描いた。『しあわせ運べるように～被災地をつなぐ心の歌～』では被災地を中継で結び，心に残る曲の数々や，子供たちが願いを込めて歌い継いできた曲「しあわせ運べるように」の合唱を届けた。

❷特集番組『青年の主張2020』

コロナ禍で，思い描いていた2020年を奪われた全国の若者たちに“青春の証し”を残してもらおうと，「青年の主張」の特別版を放送した。「コロナ禍のいま言いたいこと」をテーマに，やりたいことができないモヤモヤした気持ちや，世の中の不条理に対する怒り，さらにはコロナ禍で生まれた感動の物語など若者のいまの声を伝えた。

❸特集番組『学びたいのに学べない』

コロナ禍による子どもたちの学びへの影響を取材する中で見えてきた「教育格差」。その実態と課題を，データをもとに明らかにし「学びたいのに学べない」子どもたちを置き去りにしないために何ができるのか考える番組を放送した。

【2】ドラマ制作

❶『大河ドラマ』

・「麒麟（きりん）がくる」

時代劇として初めて４K-HDR・２K-SDRの一体制作を実施した。本作より４Kドラマセル運用（ドラマに特化したファイルベースシステム，収録から編集，放送までをオンラインで一元管理する）を開始した。収録現場とポスプロのシームレスな連携が可能となり，効率的な番組制作環境を実現した。本能寺の変をはじめ，合戦シーンではCG/VFXを駆使して臨場感のある映像を創（つく）り上げた。

❷『連続テレビ小説』

・第102作「エール」

『連続テレビ小説』としては初めての４K制作となり，さらに４K-HDR・２K-SDRの一体制作を行った。劇中の台詞「お互い励まし合ってエールを送り合って頑張って乗り越えていこう」は，制作現場でのモットーであり，全国の視聴者にもその思いを伝えた。

・第103作「おちょやん」（大阪拠点局制作）

大阪拠点局の『連続テレビ小説』で初めて

4K-HDR・2K-SDR一体で制作した。T-1スタジオでは初の4K･2K一体制作の番組となり，収録からポスプロまで新たなワークフローを確立した。街並みや衣装など和の色彩を際立たせ，大阪・京都の昭和初期の時代感を演出した。

❸『土曜ドラマ』

・「路（ルウ）～台湾エクスプレス～」

台湾の公共放送局「PTS」との共同制作で，全3話を4K-SDRで放送した。07年開業の台湾新幹線建設に関わった日台の人たちの心の交流や奮闘を描く。台湾の技術スタッフとともに，台湾全土で2か月におよぶ撮影を行った。台湾の自然や街並みの鮮やかさ，また町や人々の息遣いや優しさを，情感あふれる豊かな映像と音で表現した。

・「六畳間のピアノマン」（大阪拠点局制作）

「六畳間のピアノマン」に導かれるように絡みあう人々の物語。人と人がつながり，それぞれが歩み出す先に光が感じられるように，スーパー35㎜大判センサーのカメラとレンズフィルターを使用し，柔らかなボケ味を生かした温かみのある映像で制作した。全4話。

❹『ドラマ10』

・「少年寅次郎スペシャル」

『土曜ドラマ』で19年放送した少年編のその後を前後編で制作した。スタッフも再集結し，前回と同様に大判センサーカメラでシステムを構築した。青年になった寅次郎をみずみずしいルックで描いた。

・「ドリームチーム」（名古屋拠点局制作）

全8話を制作した。女性3人のテンポの良い掛け合いを一連で撮影し，躍動感のある映像で3人それぞれの人生を魅力的に表現した。

❺『よるドラ』

・「彼女が成仏できない理由」（名古屋拠点局制作）

名古屋拠点局では初の『よるドラ』制作（全6話）。「外国人」と「幽霊」のラブコメディー。「近づきたいけど，近づけない」切ない恋模様，ふたりの距離感を丁寧に描いた。ワイヤレスモニター環境を整備するなどの創意工夫により，感染者を出すことなく制作を完遂した。

・「閻魔堂（えんまどう）沙羅の推理奇譚（きたん）」（大阪拠点局制作）

閻魔大王の娘が生き返りを願う死者に，自分殺しの犯人を当てさせる推理ゲームを仕掛ける，異色のオムニバスミステリードラマ（全8話）。収録環境を完全ワイヤレス化してソーシャルディスタンスを確保し，自由度の高い収録を実施した。多種多様なカメラの活用により異色のミステリードラマに仕上げた。

・「ここは今から倫理です。」

高校生活に起こるさまざまな事象に倫理という切り口で解決の糸口を見いだす心象風景を大判センサーカメラ，スタビライズドカメラ，ハイスピードカメラなどを駆使し，多面的に映像化した。全8話。

❻『特集ドラマ』

・「不要不急の銀河」

コロナ禍によりスナック営業の自粛を迫られた家族の人間模様をコミカルに，かつ心に響くドラマとして仕上げ，ドラマ制作過程のドキュメンタリーを加えて一連の作品とした。ドラマパートは大判センサーカメラを使用して家族の距離感や繊細な心の揺らぎを表現し，柔らかな映像でドキュメンタリーパートとの差別化を図った。

・「うつ病九段」

重度のうつ病を克服し棋士として復活する実話をドラマ化した。うつ病から回復していく主人公の表情を将棋盤・駒越しの正面アングルで表情の変化を逃さず映像化した。

・「あなたのそばで明日が笑う」

東日本大震災被災地の石巻を舞台に，行方不明の夫を待ち続ける女性が前を向き歩み始める物語。ドラマの舞台となる石巻の海岸には新たに造られた防波堤があるため，震災前のシーンは茨城の海岸で撮影を行い，当時の町並みなどはCGにより再現した。ドローン，オープンカーからの移動ショットなどを駆使して復興する街と人の“今”を表現した。震災後10年になる3月に総合とBS4Kで放送した。

・「いないかもしれない」

同窓会で再会した5人の男女に巻き起こる新感覚サスペンス。予期せぬ出来事に直面した出演者たちが水面下で交わすSNS上のやりとりを仮想空間として映像化した。カメラアングルを工夫し，主観･客観が交錯する新しい感覚のミステリーに仕上げた。

・「流行感冒」

100年前のスペイン風邪を題材とした志賀直哉原作の小説を4Kドラマ化。感冒を恐れるあまり人間不信となっていく主人公の愚かさや滑稽さを，大判センサーカメラの固定画角で客観的に表現し，深みのある映像で重厚な大正時代の雰囲気を表現した。感染から回復し人への信頼を取り戻していく過程は，現代のコロナ禍と重ねて見てもらうことで視聴者に希望を与えられるよう意図した。

❼『国際共同制作　特集ドラマ』

・「太陽の子」

第２次世界大戦末期の京都大学で原子爆弾の研究を密かに進めていたという史実に基づく物語。フルセンサーサイズ大判カメラを用い全編１カメで撮影した。京都の街並みの佇(たたず)まいを織り交ぜながら，科学的探究心と戦争という条件下で愛する人を守りたいという気持ちのはざまで葛藤する若き科学者に寄り添う映像を目指した。８K-HDR版と２K-SDR版でそれぞれグレーディングを行い戦後75年の節目となる終戦記念日に同時放送した。

❽『NHKスペシャル』

・「ドラマ　こもりびと」

社会問題となっている「ひきこもり」をテーマに『NHKスペシャル』で全編ドラマとして４K-HDR・２K-SDR一体制作を行った。現場でリアルタイムグレーディングを行い，映像を創り込んだ。固定概念を変えることで見えてくる「特殊な世界の住人」ではない「こもりびと」の気持ちを丁寧に描いた。

・「ドラマ　星影のワルツ」

東日本大震災で３日間屋根の上で漂流し，奇跡的に救助された男性の実話を基にした物語。海中のシーンは撮影用プールで潜水撮影を行い，漂流中の海上のシーンは千葉県の海に原寸大のセットの屋根を浮かべ，小型ボートや潜水カメラを使用して多角的に撮影した。ナイトシーンでは疑似ナイトの千葉の海と，スタジオに作った低水深のプールを使い分けた。海上に浮かぶ広範囲の瓦礫(がれき)群や原発などの映像はCGにより再現した。

❾『リモートドラマ』

・「今だから、新作ドラマ作ってみました」

スタッフとキャストが打ち合わせからリハーサル，本番収録まで直接対面することなく，テレワークで制作を行った。ウェブ会議による打ち合わせやスマートフォンでの撮影など，リモートならではのワークフローを確立し，オムニバス形式で３本を放送した。

・「Living」

日常を共にする俳優陣に演技だけでなく，カメラ・音声・照明のセッティングから収録まですべて担当してもらい，制作スタッフは離れたNHKのスタジオからリモートで演出や収録の確認を行うスタイルで制作を行った。カメラには操作が容易なスマートフォンを，映像・音声の伝送には小型の業務用モバイル中継装置を使用した。オムニバス形式で15分の作品を４本制作した。

❿『地域発ドラマ』

・「金色の海」（秋田局制作）

９月に秋田県大潟村近郊にてオールロケで収録を行った。主人公の感情の変化や，ゆったりとした大潟村の空気感を表現した。

・「ペペロンチーノ」（仙台拠点局制作）

東日本大震災から10年目の節目に，被災者の10年間の心の葛藤や復興への歩みをテーマに制作したドラマ。宮城県石巻市を中心にオールロケで，大判センサーカメラを使用し４K･２Kの一体制作を行った。

【3】音楽･エンターテインメント番組

❶『うたコン』

20年度はNHKホールで27本，NHK大阪ホールで１本，コロナ禍対応でリモートでの制作を６本，スタジオ制作を２本行った。番組内ではスタジオからの中継も行った。

❷『NHKのど自慢』

20年度は11本の生放送を行ったが，新型コロナウイルスの影響で30本の開催を中止した。「のど自慢」の代替番組として特別企画「のど自慢～おうちでパフォーマンス」を６本放送した。

❸『SONGS』

スタジオ制作を中心に，出演アーティストの個性や音楽性を表現するダイナミックな映像と，マルチ録音・トラックダウンによるクオリティーの高いサウンドで年間39本制作した。

❹『シブヤノオト』

20年度は22本放送した。『シブヤノオト and more FES. 2020』では局内中継などを交え，生放送を実施した。『シブヤノオトPresents』として年間３本，４Kでライブ収録を行った。

❺『にっぽんの芸能』

歌舞伎公演や，スタジオでの長唄・箏曲・舞踊などを収録した。専門家の解説と合わせ日本の伝統芸能を紹介する番組として制作した。初の試みとしてNHK屋上での舞踊収録を行った。

❻『クラシック音楽館』

音声は5.1サラウンドで制作した。収録にあたってはリモコンカメラやタブレットPCを用いた電子台本を活用し，演奏を楽しむ観客の妨げとならないよう工夫した。BS８Kで２回の生放送を実施した。

❼『ライブ・エール』

NHKウィズコロナ・プロジェクト「みんなでエール」の趣旨に賛同してくれたアーティストたちが思いのこもったパフォーマンスを届けた。

NHKホールを中心に中継３か所・局内スタジオを結んで総合・BS４K･BS８Kで同時生放送を行った。新型コロナウイルスの影響により無観客で実施した。

❽『第71回NHK紅白歌合戦』

新型コロナウイルスの影響で紅白史上初の無観客での実施となった。「検温・手指消毒」「マスク着用」「機材消毒」「換気」「３密回避」など徹底した新型コロナ感染対策を行った。

１階席の客席９列目までステージを張り出し，巨大ステージを展開した。通常NHKホールにいた審査員やラジオ席，恒例となったウラトークは別スタジオから参加した。

NHKホール内はカメラ24台，マイク220本，ムービングライト約200台使用。AR（拡張現実）カメラを４台使用し，局内バーチャルスタジオからリモートで運用した。その他，局外中継３か所，スタジオ参加３か所から実施し，CT-510スタジオで一括してコーディネートを行った。

BS４K･BS８Kともに生放送を実施した。

❾『第64回NHKニューイヤーオペラコンサート』

７台のリモコンを含む計15台のカメラを使用した。舞台を囲んだ180度スクリーンセットに映し出された映像にマッチしたライティングを行った。ディスタンスを考慮したオーケストラと合唱の配置に対し，音の厚みを出すためにマイク数やアレンジを加え，5.1chサラウンドで表現した。

【4】大型企画・特集・ドキュメンタリー

スーパーハイビジョン本放送から２年が経過し，４K･２K一体制作がより本格化した。高画質ならではの映像表現を追求し，「プレミアム番組」を数多く制作している。

一方，コロナ禍により，社会そして人々の心が大きく変容した現実を克明に記録し，今後，日本人が生きていくためのヒントとなるような番組も制作している。

また，東日本大震災から10年が過ぎ，今だからこそ判明した事実や復興の現状を伝え，震災の記憶を人々の心にとどめるため，数多くの震災関連番組を創出している。

『NHKスペシャル』では「シリーズ　パンデミック　激動の世界」「シリーズ　2030　未来への分岐点」「シリーズ　ミラクルボディー」「“夜の街”で生きる～歌舞伎町　試練の冬～」「イナサ～風寄せる大地　16年の記録」「津波避難　何が生死を分けたのか」「東京リボーン」など多くの番組を制作した。

戦争関連番組では，特集『戦争童画集～75年目のショートストーリー～』,『NHKスペシャル』では「忘れられた戦後補償」などの戦争の実相を伝える番組を制作した。戦後75年という時がたち，証言者が没していく中で，さまざまな撮影手法を駆使して，戦争の愚かさを伝えた。

『ノーナレ』では「新型コロナと音の風景」「コロナと街と私　2020夏」「春を思って～コロナの風景2020－21秋冬～」「炎舞」「ちょっとだけ聞いて」「あるジャズマンの物語」「クイズ　最高の一問」などの骨太のドキュメンタリーを制作した。

『ハートネットTV』では，生きづらさを感じている方々が幸せに暮らせるためのヒントを探り，番組を制作した。ニュースだけでは伝わりにくい実態なども丁寧に伝えた。

『国宝へようこそ』「西本願寺」「日月山水図屏風」,『見たことのない文化財』『山田洋次の青春～映画の夢　夢の工場～』『世界に挑め！新型H3ロケット～開発の舞台裏～』『THE 陰翳礼讃 ～谷崎潤一郎が愛した美～』『美の壺　８Kスペシャル』「木造建築　匠の技」では，８Kならではの現場の空気感，モノの立体感や質感を意識し，可変長クレーン等の特機を駆使して立体的に撮影した。

また，カメラマン提案番組『にっぽんカメラアイ』を３本制作した。４K-HDRで地域の魅力を伝える５分番組は，地域放送局カメラマンにとって地域を深く探求する機会となり，４K映像を追求する絶好の場にもなった。

【5】デジタル技術を生かした番組制作

新型コロナ対策での緊急事態宣言を受けて，番組出演者の感染予防とスタジオの３密対策のために，IP技術を活用したリモート出演での収録や生放送の番組制作を行った。

『チコちゃんに叱られる！』『所さん！大変ですよ』『不可避研究中』ではIPリモートプロダクションを活用したサテライトスタジオからのリモート出演を行った。

『みんなで筋肉体操』「生放送フェス」ではIPリモートプロダクションとリモート会議システムを駆使して，スタジオと全国の出演者，視聴者が一体となったオンライン参加型の新たな手法で生放送を行った。

『あさイチ』ではテレビの双方向機能を使った視聴者参加型番組として，インターネットに接続された受信機から参加できる「クイズとくもり」を放送するとともに，ほかのコーナーでも双方向

機能を活用し，視聴者が興味を持って参加できる番組を制作した。

『クローズアップ現代＋』『ハートネットTV』では，バーチャルシステムを活用して視聴者に分かりやすく番組内容を伝えた。また，ホームページやツイッターに寄せられた視聴者からの投稿を紹介した。

『天才てれびくんhello,』では，VR（仮想現実）技術を駆使し，視聴者のリモコン操作の集計結果と，CG制作用ゲームエンジン（Unity）で作画したCGセットとスタジオ実セットのLED装飾が連動するシステムを開発・運用して生放送を行った。

『ハートネットTV』「2020年　ぼくの日記帳～#8月31日の夜に。～」ではVRプラットフォームとしてソーシャルVRアプリ「VRChat」システムを活用し，VR空間に出演者がアバターとして出演し，VRカメラで撮影することでVR空間をスタジオにする番組を制作した。

『沼にハマってきいてみた』「ジェネ＆リトグリ降臨！尊きバーチャル学園祭ヌマ―ソニック」『ハートネットTV』『未来王2030』『天才てれびくんhello,』では，NHK独自開発のVRプラットフォーム（Virtual NHK）を活用し，VR空間とリアル空間が一体となった番組を制作した。

『NHKスペシャル』「令和未来会議」では，最大約50名とリモート会議システムでつなぎ，マルチ画面に合成して表示させるシステムを構築して討論番組を放送した。

【6】撮影関連

❶山岳撮影

初歩的な登山技術から，ロッククライミングなどの高度な専門技術まで，広範な山岳登山技術習得のために定期的に行っている山岳研修を20年度も実施した。自然番組を中心に，紀行番組などさまざまな番組で山岳撮影技術が用いられた。

❷潜水・水中撮影

ドキュメンタリーからドラマまで幅広いジャンルにおいて潜水撮影を行い，魅力的な水中の世界を映像化した。20年度もSHV新規機材の開発を行い，高精細カメラを用いた水中撮影にも挑戦した。潜水撮影研修を行い，個々のレベルに即した潜水撮影担当者の養成に努めた。

【7】照明関連

❶環境経営への取り組み

LED照明導入では，超小型軽量から高出力やフルカラーまで，用途に応じ選定することで電力量削減につなげた。高機能LEDはHDR広色域に対応できるスペックを持つものもあり，発熱や紫外線，赤外線が少なく，狭い場所や美術品の撮影などでも活躍した。

❷安全性向上，業務効率化への取り組み

高所作業における安全対策への取り組みを進めた。フルハーネス型落下防止器具特別教育受講を推進した。新放送センター建設に向けて，高所作業を最小限に抑え，安全性と作業効率が高い照明設備の検討を行った。

❸大規模スポーツイベントへの取り組み

東京オリンピック・パラリンピックに向け，サテライトスタジオに導入する設備の整備を進め，将来も見据えたリモートプロダクションの検証を行った。

【8】音声関連

❶番組への取り組み

8K・22.2マルチチャンネル音響特性を最大限に生かした番組として，『22.2chで楽しむ日本エコー遺産紀行　ゴスペラーズの響歌』を制作した。実際のロケーションにある「響き」にこだわった演出に寄り添った音声表現により，臨場感あふれるリアルな空間を表現した。また8Kドラマ『スパイの妻』では1940年代の不穏な時代背景のもとで繰り広げられる夫婦の物語を22.2マルチチャンネル音響で克明に描き出した。

『第71回NHK紅白歌合戦』は，新型コロナウイルスの影響により初めて無観客で開催した。現場での感染防止対策も含めて的確かつ柔軟に対応し，ステレオ制作，審査員＆裏トーク（副音声）制作，4K・8Kでの22.2マルチチャンネル音響制作の同時放送を実施した。

また4K放送を中心に，『NHKスペシャル』や『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」などで，豊かな音声表現による5.1サラウンド制作を送り届けた。

❷ニューノーマルな音声制作

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言を受けて，ゲストをリモート出演とすることが一般的な演出のひとつとなり，情報番組『あさイチ』でのMC2名の外部スタジオからのリモート出演をはじめ，IP伝送やネットサービスを利用した制作に柔軟に対応した。

4月放送の『お部屋でSING！』では，リモート伝送された5人の出演者の歌声を放送センターでミックスするなど，リモート制作の可能性を広

げた。

ドラマでは，緊急事態宣言下，出演者自身が自身を自宅で撮影するスタイルによる，『今だから、新作ドラマ作ってみました』「転・コウ・生」，『リモートドラマ　Living』を制作した。

また，いずれの収録・制作現場でも，感染予防対策を実施した。マイク等を含む直接の接触の可能性があるスタジオ設備の使用前・後の消毒，社会的距離を踏まえた収録体制の開発，パーテーションの活用など，出演者にも安心してもらえる感染防止策を徹底して安全安心な制作体制作りに取り組んだ。

❸音声設備整備

・主に情報番組を制作する生放送対応のバーチャルスタジオとしてCT-414設備を更新した。

・東京オリンピック・パラリンピックの生放送に向けて，渋谷ハチK，22.2マルチチャンネル音響音声設備整備を行った。

・ダビングスタジオであるCD-803設備の４K対応更新により，ドラマ制作設備の４K化が完了した。

・CU-558・559生放送スタジオを更新した。5.1サラウンドとステレオ解説の音声制作の運用性を高め，安定送出を実現した。

その他，ロケクルー機材やファイルベース設備老朽化更新，設備の安定運用に取り組み完成度の高い番組を制作した。

【9】映像関連・設備整備

❶CT/CUスタジオ更新

・CT-512スタジオの４K化更新

多元生放送に対応した４K・２K一体制作スタジオとして，CT-512スタジオの４K化更新工事を行った。主に情報番組の制作を想定し12G-SDIの４K信号で処理を行い，最終段階で２K信号に変換することで，４K-HDRと２K-SDRの一体制作が可能なシステムとした。４Kサーバー録再機４系統と２Kファイルベースが４系統，テロップ装置として４K対応設備を２系統備えている。音声は5.1サラウンドに対応している。

定時番組『ワースポ×MLB』の生放送制作を行っており，今後も情報系番組を中心に４K・２Kコンテンツの制作に活用していく。

・CU-558・559スタジオの４K化更新

４K・２K一体制作の生放送に対応するスタジオとして，更新工事を実施した。ダイナミックレンジの切り替えと色域の設定がワンボタンで切替可能なシステムとした。４Kプレビューモニターは12G-SDIのペイロードIDを活用し，ダイナミックレンジと色域の表示を自動的に切り替えることができる。プリセレクトスイッチを８系統備えており，多彩な再生リソースを効率的に使用することができ，またスポーツ受けスタジオ特有の分断ニュース機能も備えている。カメラは顔出し用の小型４Kカメラ２式をリモコン雲台に搭載して整備した。録再機として４K用録再機とディスクレコーダをそれぞれ２式ずつ，４Kテロップ２系統を整備した。音声は４K・地上波・BSの複数メディアに対し，親子スタジオまたは２波出しが可能なモニタリング環境を装備し，２か国語ステレオ放送や5.1サラウンド＋ステレオ放送など，さまざまな音声モードで制作できる。

・渋谷ハチK公開スタジオ整備

東京2020オリンピック・パラリンピックの８Kメインスタジオとして整備した。スタジオフロアは約40坪であり，８K内部処理信号はIP伝送規格であるNMIを採用し，基幹制御はネットワークに対応した新しい制御用のプロトコルのNS-BUSを採用した。IPインターフェース化したことにより障害時のシームレス切替，スペースの効率化，柔軟な運用を実現した。

・CT-414スタジオの更新

バーチャルシステム対応２KスタジオであるCT-414の老朽更新工事を行った。３台のカメラ（ペデスタル２式，クレーン１式）を整備し，3CGの運用が可能である。CG作画装置およびKeyerはスタジオ更新前の設備を流用した。映像信号はベースバンドで処理し，制御システムはIPの制御システム「Live System Manager（LSM）」を導入した。

20年度末に完成し，21年度からの運用では語学番組などのバーチャルを使用したコンテンツを中心に番組制作を行う予定である。

・CT-104スタジオ　バーチャル設備更新

CT-104スタジオのバーチャル設備を更新した。CT-104では４式のバーチャルを有し４式の更新を行ったが，21年度番組対応で主に『クローズアップ現代＋』での使用を念頭に１式をCT-510に移設し，CT-510のバーチャル設備を４式（ペデスタル３式，クレーン１式），CT-104のバーチャル設備を３式（ペデスタル２式，クレーン１式）とした。CT-104は『テレビ体操』がバーチャル対応の番組になるなど，幅広い番組での活用につなげた。

❷ドラマセルの４K化更新整備（完了）

ドラマセル４K化更新は３か年計画の３年目となり，ECS：ECS-563，564，MA：CD-803，

809，PD編：CE-235，236，237について更新を行った。先行使用していた『大河ドラマ』『連続テレビ小説』に加えて，『土曜ドラマ』『ドラマ10』などのドラマについても新システムでの運用を可能とした。

❸PD編集機の４K化更新と移設

PD編集機については，４年計画の４年目となり，４ヵ年で143式のND編集室の４K化更新を完了した。また，多様な番組制作に対応するために編集室６式の４K化更新を行った。

センター建替のため，編集機23式の移設を行った。

❹DVE-70の４K化更新

老朽化した特殊合成システムDVE-70の４K化更新を行った。ドラマセルでも運用しているグレーディングシステムを採用し，VFXだけでなく，高度なグレーディングにも対応できるシステムとした。

❺その他の主な映像設備整備

・スポーツセル編集システムのリプレイス更新

サーバーの容量は増やしながらも，サーバー室のラック本数を12ラックから３ラックに削減し，スペースおよび使用電源を大きく効率化した。

・CUファイル化装置リプレイス更新

CUスタジオで制作した完成ファイルを送出フォーマットに変換し，登録キャッシュに転送する設備のリプレイス更新を行った。

・CU-555　カメラ設備の老朽更新

カメラ・レンズ・雲台それぞれHDで２式更新した。

・SHVコンパクト圧縮録再機の整備

LTOバックアップ装置のリプレイスを行った。

・８Kオフライン編集機の４K更新

・８K編集室2　映像合成装置の更新

老朽化した映像合成装置FLAMEの更新

・番組制作用テロップ装置の更新

８K編集室３のテロップ装置のN-Telop化更新

・８K簡易編集機の整備

２式の整備を行った。

・川口アーカイブスES1映像修復装置の４K化更新

４K素材にも対応できるように更新

【10】CG/VFXコンテンツ制作と開発

❶リアルタイムCG

リアルタイムCGの分野では，ゲームエンジンの技術を使ったCG描画システムEMAPによる画面開発を行い，東京都知事選挙や大阪都構想の住民投票開票速報番組に対応した。８月の「ライブ・エール」，12月の『第71回紅白歌合戦』では，新たなAR（拡張現実）演出に対応するためのワークフローを構築して安定送出を実現した。また，JAXAとNHKの共同研究で開発した「SHVはやぶさ２可視化システム」を活用し，はやぶさ２が地球に帰還する様子を高品質な４K映像で効率的に制作するとともにNHK NEWS WEBの特設サイト上で約１週間にわたりLIVE中継を実施した。スポーツ中継では，第62回NHK杯ジャンプ大会中継においてNHK杯ジャンプ大会では初となる「to-beat line」表示のための開発コーディネーションを行った。また，第96回日本選手権水泳競技大会中継のバーチャルCG対応を行った。

❷NHKスペシャル

『NHKスペシャル』「列島誕生　ジオ・ジャパン２」では，第一集が東日本の北アルプスと関東平野，第二集が西日本の瀬戸内海と九州が舞台とし，日本の絶景がどのようにして生まれたのかを最先端のCG技術を用いてフォトリアルに映像化した。また，「豪雨災害　いま何が必要か～命を守る“避難スイッチ”～」「“最強”台風接近　どう守る　命と暮らし」では，自然災害発生時の効率的なリアルタイムCGツールであるNMAPSを活用して研究機関や気象庁のデータに基づいたCG制作を短期間で行った。『NHKスペシャル』「未解決事件 file.08 JFK暗殺」では，番組の独自取材で得られた新たな証言に基づいた再現ドラマのVFX制作を行った。『NHKスペシャル』「デジタルVSリアル」では，深度センサーを用いて距離データを取得し，映像表現に活用したほか，最新のCG技術を駆使して人物の顔のはめ替えも実現した。

❸ドラマ

ドラマの分野では，『大河ドラマ』「青天を衝（つ）け」において実景撮影では困難な場面を中心に，最新のVFX技術を駆使して表現豊かに映像化した。『ドラマ＆ドキュメント「不要不急の銀河」』『特集ドラマ』「うつ病九段」，『光秀のスマホ 歳末の陣』『特集ドラマ』「いないかもしれない」などのドラマ番組についても，番組演出意図を的確に実現しながらも効率的にVFX制作を行った。

❹８Kコンテンツ

８Kコンテンツについては，東京2020オリンピックに向けたスペシャルコンテンツ「渋谷恐竜パート」のVFXスーパーバイザー，VFXコーディネーションを務め，迫力ある恐竜の映像化を実

現した。NHKと東京国立博物館の８K文化財プロジェクトにおいて，リアルタイムCGコーディネーションを行うとともに，番組『見たことのない文化財』では「遮光器土偶」「洛中洛外図屏風舟木本」「百済観音」の８KCG制作を行った。『もしものときのがんこちゃん』「富士山がふんかしたら」では，赤色立体地図や内閣府から提供された降灰シミュレーションデータの映像化を行った。

【11】４K・８Kスーパーハイビジョン

❶ロケコンテンツ

年間を通し，『新・映像詩 里山』の８K長編ロケを新潟と阿蘇で行った。海外では『シリーズ大英博物館』を制作し，新たにファイルベースによる８K編集にもチャレンジした。また，『世界に挑め！新型H３ロケット～開発の舞台裏～』『ニッポン　大地とぶどうと造り手と　極上“山梨ワイン”』『もしものときのがんこちゃん』の８K制作では，市販の６KカメラとPCを活用して，低コストに８K番組を制作する設備と体制を構築した。

❷ドラマコンテンツ

BS４Kでは，『連続テレビ小説』「エール」や『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」を全編４Kカメラで制作した。８Kでは，『国際共同制作 特集ドラマ』として「太陽の子」を制作し，終戦75周年となる20年に総合，BS４K，BS８Kで放送した。

また，BS８K初の民放制作ドラマとして，『８Kドラマ「ごちそう～うなぎ編～」』が放送された。

❸エンターテインメント番組

BS４Kでは，『シブヤノオトPresents』『クラシック倶楽部』などで定期的に４K制作を行った。

NHKホールでの８K生放送は，８月に『ライブ・エール　今こそ音楽でエールを』，年末に『N響「第９」演奏会』『第71回NHK紅白歌合戦』，３月に『The Covers』の４回実施した。

また，２月の『N響演奏会』では東京芸術劇場から初めて８K生放送を行った。

ロケ制作では，『22.2chで楽しむ日本エコー遺産紀行　ゴスペラーズの響歌』を８K＋22.2マルチチャンネル音響で制作し，臨場感と響きの世界にこだわった完成度の高いコンテンツに仕上げた。

❹スタジオ制作

８K制作『みたことのない文化財』では，国宝百済観音像や遮光器土偶を3Dモデル化してVRやARによる新たな視覚体験を提供する８K番組の開拓を行った。

８K生中継『８K中継　ナイトアクアリウムin江の島　夜の水族館特別公開！』や『生中継　闇と炎の秘儀　お水取り～奈良・東大寺修二会～』および『第71回NHK紅白歌合戦』などでは，CU-205を活用し８K放送を行った。

2 ラジオ制作技術

【1】番組への取り組み

FM放送『ベストオブクラシック』『セッション2020／2021』『邦楽百番』など，幅広いジャンルの音楽番組を制作した。新型コロナウイルスの影響により，クラシック番組等，中継収録の機会が限られる状況が続いたが，感染対策を施し新規録音に取り組んだ。

ラジオ第１『イチ押し　歌のパラダイス』生放送などに継続的に取り組み，ラジオ番組収録でもスタジオ内の密を避けるため，電話放送装置やネットサービスを利用したリモート出演が多用された。オーディオドラマでは，『新日曜名作座』『FMシアター』『青春アドベンチャー』のほか，『特集オーディオドラマ』「おやつのいくさ」を制作した。

【2】音声設備関連

・NHKホール天井耐震改修工事による運用中止に伴い，東京芸術劇場からのクラシック音楽番組のFM生放送用伝送設備を整備した。
・小型ラジオスタジオCR-406設備更新，機能を見直しコンパクトで高品質な設備として整備した。

また，リモート出演の対応で必要となる電話放送装置やネットサービスの利用についても柔軟に対応した。感染症対策の一環として，大規模・中規模ラジオスタジオに飛沫（まつ）感染防止シートを整備。出演者やスタッフが安全に番組制作にあたれるよう改善した。

報道技術

1 ニュース送出

【1】ニュース番組

ニュースセンターでは，総合テレビの『おはよう日本』『ニュース　シブ５時』『NHKニュース

7』『ニュースウオッチ９』『ニュースきょう一日』『時論公論』『サタデー／サンデースポーツ』などの番組や定時ニュースなど１日約10時間の全国向けニュース・報道番組の送出に対応した。このほか地震や台風など災害報道をはじめ随時に行う特設ニュースや選挙放送など多くのニュース番組の放送に対応した。

❶災害報道

７月３～４日にかけては鹿児島や熊本南部に大雨の特別警報が発表され，球磨川水系で氾濫や決壊が発生し，ニュースを拡大・延長して被害などの最新情報や避難の呼びかけなど伝えた。９月６～７日にかけて沖縄県の大東島地方から奄美地方を進み九州地方に接近した台風10号は，大規模な停電などの被害をもたらし，ニュースを拡大して最新の情報を伝え警戒を呼びかけた。

２月13日夜には宮城県沖を震源とした最大震度６強の地震が発生した。停電や断水などのライフライン被害のほか，東北新幹線での架線トラブルや常磐自動車道での土砂崩れが発生するなど交通網にも大きな影響があった。地震発生直後から翌14日の日中までニュースを継続して，被災の状況やライフライン情報を伝えるとともに余震への注意喚起を行った。

❷特設ニュース

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出や解除など，政府や対策会議での検討状況については国民の生命や財産を守るための重要な情報としてニュースの拡大や特設ニュースで生中継を交えて詳しく伝えた。またウイルス感染防止対策なども番組内で詳しく伝えた。

東日本大震災から10年の節目となった３月11日には，『NHKニュース７』を１時間45分枠に拡大，またその週の『おはよう日本』や『ニュースウオッチ９』でも現地からの中継を行うなど現地の今を詳しく伝えた。

❸選挙報道

東京都知事選挙は予定どおり行われた。６月から本格的に準備を始め，７月５日の開票速報番組はミスやトラブルなどなく放送した。

アメリカ大統領選挙対応では，日本時間９月30日の候補者演説会の特番対応から始まり，選挙前日まで準備やリハーサルなどを行い，11月４日の当日はバーチャルを駆使した特設セットで刻々と変わる開票状況や情勢をわかりやすく伝えた。期日前投票が多く，接戦州も多数あったため，大勢の判明や当確や敗北宣言も当日にはない異例の選挙となったが，トラブルなどなく放送した。また11月１日には大阪都構想の住民投票特番があり，アメリカ大統領選挙の準備と並行して進め，投票結果を集計し速報で伝えた。

❹スーパーハイビジョンニュース

毎週土曜の午前９時から『週刊まるわかりニュース』をBS４Kと総合テレビで放送した。また『BSニュース４K』を平日は午後０時45分と５時45分の２回，土日は午後５時50分からの１回BS４KとBS1で放送し，４Kの高画質でのニュース送出を行った。

❺ニュース制作支援車の運用

ニュースの企画制作に必要なファイルベース編集機や原稿送受信端末を搭載したニュース制作支援車を，８月および２月から約１か月間，盛岡局へ派遣し「東日本大震災から10年関連ニュース」の制作を支援した。

【2】BSニュース番組

BSニュースセンターでは，BS1の『キャッチ！世界のトップニュース』『ワールドニュース』『BSニュース』『国際報道2020／2021』『東京マーケット情報』など１日約10時間，国内外のニュースや経済情報を現地からの中継も交えてリアルタイムに放送した。海外各国の最新ニュースは同時通訳を付け２か国語や原語字幕付きで放送した。

【3】防災・減災関連

❶大雨警戒レベル配色の変更対応

内閣府が色覚の専門機関で検証し新配色を決定したことを受け，NHKでも内閣府推奨の色味で放送するため自動作画系統の改修を行った。大雨特別警報発表時の「速報スーパー背景色」と「気象警報画面の彩色」を，濃紫色から，色覚障害の人でも色の違いが分かりやすく，かつ切迫感を感じやすい黒色へ変更し，運用を開始した。

❷大雨特別警報の表示画面の追加

視聴者に特別警報が発表されている地域を分かりやすく伝えるために,「地名」と「地図」を同時に表示する新しい画面を作成し運用を開始した。

❸インターネットサービス

７月の熊本県を中心とした集中豪雨時には天気カメラの中継映像をリアルタイムで配信するライブ配信を行った。コロナ禍で首相や関係閣僚，都道府県知事の会見など多くのライブ配信を実施した。急きょ始まる会見を冒頭から見逃すことなく届けられるよう，映像遅延設備を２系統から４系統に増設した。

自治体などが災害時に情報を配信するLアラー

トにおいて避難情報に新たに「災害発生情報」の追加と「警戒レベル」の配信対応が20年４月に完了したことを受け，NHK内の災害情報システムにおいても「災害発生情報」「警戒レベル」を取り扱えるように改修を行い，データ放送やNEWS WEB，防災アプリで表示する機能を開始した。

2 回線業務

【1】国内回線・局内設備

新型コロナウイルス対策のため，多くの番組で本部や各放送局，中継現場間でテレビ素材回線を活用したリモート出演に対応した。また，８月の高校野球交流試合や２月の宮城・福島震度６強の地震報道など，多くの生中継や素材伝送に対応した。８K信号の局内分配用マトリクス設備の整備や，音声マトリクス設備の更新を行った。

【2】国際回線

新型コロナの影響で，海外イベントのスケジュールや伝送方法が大幅に変更された一年であった。MLB，PGA，ATPテニスはシーズンの半分が中止となり，再開後は現地リモート制作などの新しい方法で伝送対応した。全豪オープンテニスは，現地への技術要員の派遣なしでNHKユニ回線を確立し運用した。これら海外スポーツ番組のほか，報道番組では，アメリカ大統領選挙関連での討論会から投開票日まで，IP回線を含む多数の回線を現地から接続し，伝送および中継対応を実施した。

【3】FPU回線（自営マイクロ回線）

東京都知事選挙，立皇嗣（りっこうし）の礼などの中継，関東エリアの競技場からの中継など，FPU回線を利用して中継伝送を行った。FPU受信基地局の設備更新に合わせて，東京都内および周辺エリアの基地局に４K伝送対応可能な受信設備を整備した。11月に気象庁に，３月には東京都庁に，N-FICS伝送拠点リモコン（IP制御対応）と光回線の増設整備を実施した。また大山基地局では，基地局への登山道を修繕する工事を実施した。

【4】CS回線（通信衛星回線）

災害時対策として，NHK技術研究所の共用会議室を取材スペースとしBGAN衛星経由で原稿出稿を可能とする系統を９月に整備した。運用面では新型コロナウイルスの影響で『NHKのど自慢』など多くの番組が中止となったが，10月の音楽番組『シブヤノオト』では韓国ソウルよりKorea Telecom社SNGを利用した中継を実施した。BS８K特番では８月に秋田大曲花火大会を，３月に新江の島水族館と奈良東大寺よりCS伝送による８K中継を実施した。

【5】IP伝送

IP中継システムの系統追加と改修を行い，コロナ禍での新たな番組演出方法であるリモート出演に対応した。報道系ファイル伝送システムのリモート編集機能を追加し，在宅勤務や全国の各放送局からリモートで編集を可能とする全国的な編集体制を実現した。また，河川の氾濫などの被害を迅速に伝えるため，政府や自治体の河川監視カメラ映像を放送利用するシステムを増設した。

【6】４K・８Kスーパーハイビジョン回線

数多くの文化，音楽，スポーツ番組において，４K・８Kスーパーハイビジョン回線を利用した中継を実施した。新型コロナウイルスの影響で大相撲は国技館での開催となり，８Kおよび４K制作の映像を光波長多重回線を利用し中継した。その他，立皇嗣の礼，NHK杯フィギュアスケート，N響コンサートなどで８K中継を実施した。

【7】NSNP（Nippon Satellite News Pool）取材伝送対応

天皇陛下や首相が式典や首脳会談などで外国訪問を行う際は，NHKと民放が共同で取材体制を組み，日本のTVメディア代表として共同取材を実施。20年度は，新型コロナウイルスの影響で同行取材の中止が相次ぎ，NHKは１件の同行取材のみ対応した。素材伝送やスルー中継は，主にIP回線を利用して実施した。

【8】海外総支局技術コーディネーター業務

欧州総局（パリ），ジャカルタ支局の移転対応のほか，中国総局・アジア総局・アメリカ総局・ニューデリー支局・カイロ支局・上海支局への４K編集機の設置作業をリモート対応で実施した。このほか，計23総支局において機器修理や機材調達などの整備・保守業務を実施した。海外総支局への映像音声送り返しシステムの局内整備を進めた。

3 局外中継

【1】主な中継

緊急報道では，「命と暮らしを守る」防災・減災報道やコロナ禍の緊急事態宣言に関する報道へ的確に対応し，視聴者に安全・安心情報をニュースなどで正確に伝えた。また，万全な感染防止対策を講じ，質の高いコンテンツ制作を追求しながらコロナ禍の番組制作を推進した。延期となった東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向け，SHV技術一体化制作のノウハウをさらに洗練し，４K･８Kコンテンツの一層の充実と高品質化に取り組んだ。

❶緊急報道・ニュース

▶主な防災・減災報道

「九州豪雨災害」（7.3～31）ではCSK伝送や前線デスクの対応において，災害現場へ要員を派遣し，災害報道に対応した。新潟豪雪，福島震度６強地震，足利市山火事では，CSKや取材用ヘリコプターで現地の状況を迅速に伝えた。「台風14号」（10.10）報道では首都圏局と連携し，災害機動チームを立ち上げて派遣，千葉県域を取材しながら中継を実施した。

全方位カメラシステムが火球を撮影し，ニュースや広報番組『どーも、NHK』で放送した。

▶主なニュース

コロナ禍における緊急事態宣言などのさまざまな報道や安倍前首相の突然の辞任（8.28），河井元法相夫妻選挙違反事件関連，はやぶさ２カプセル回収に関するJAXAの会見対応等，視聴者の関心の高い事件・事故，大規模災害に迅速かつ確実に対応し，公共メディアとしての使命を果たした。

❷国内中継

緊急事態宣言が発令されている間，多くの番組制作が中止や延期となる中，ニュースへの入り中継のほか，『国会中継』，毎週日曜放送の『日曜討論』，首相官邸からの「総理会見」などの報道・政治番組，皇室関連番組，音楽・伝統芸能番組，サッカー，野球，ゴルフなど，一般・スポーツ中継番組を制作した。

▶報道・政治番組／皇室関連番組

改元に伴う皇室行事「立皇嗣の礼」（11.8）を８K／２K一体化制作し，総合とBS８Kで放送した。記録としても歴史的価値のあるコンテンツを制作した。

安倍前首相の突然の辞任表明に伴う「自民党総裁選」等の中継対応を実施した。

『ゆく年くる年』（12.31～1.1）では深大寺をキーステーションとして全国10か所からの中継を行った。

「聖火グランドスタート」（3.25）では，Jヴィレッジでの祭典，および，聖火ランナーが走り出す様子を中継した。

▶スポーツ番組

「日本陸上選手権」（10.1～3）では，トラック競技は長距離が行われず，1,500m以下の競技が行われた。また，フィールド競技の投てき種目がサブトラックで行われた。通常と異なる競技配置であったが，機材配置を検討し，柔軟に対応することで各競技を余すことなく伝えた。東京五輪での感染症対策の運用を想定しながらゾーニングやユニット分けを実施した。

「日本オープンゴルフ選手権」（10.15～18）中継において，１番ホールから18番ホールまで全ホールから中継できる体制を築き，優勝争いを余すことなく見せた。作業エリアの固定および，ユニット分けを行い，約100人のスタッフから１人も感染者を出すことなく，番組制作を完遂。ボールの軌跡表示を機動性のあるワイヤレスカメラで運用し，分かりやすい映像表現を実施した。

８K「NHK杯フィギュアスケート」（11.27～29）中継では，８K HDRの高精細映像で高品質なコンテンツ制作に取り組んだ。

「競泳日本選手権」（12.3～6）では，８K映像を生かすカメラポジションを確保，４Kカメラを併用した２K制作など効果的に高品質なコンテンツを制作した。

「８K大相撲」では，240Pハイスピードカメラを使用し，迫力あるスロー再生でコンテンツの高品質化を行った。

等々力競技場のJリーグ中継を放送センターでIPリモート制作し，生中継を完遂した（11.3）。

▶一般番組／音楽・古典芸能番組

４月『生中継！　令和を彩る京都の桜』（４K／２K同時中継），『ライブ・エール　今こそ音楽でエールを』（8.8）では群馬からの中継，『８K中継　ナイトアクアリウム　夜の水族館特別公開！』（8.22）ではSHV CSKを使用してコンパクトな８K中継（４K同時放送）に取り組んだ。

『たっぷり見せます！秋田　大曲の花火』（8.29）ではコロナ対策を周到に行い，打ち上げ花火をドローンの４K映像を織り交ぜながら８Kで撮影し，高品質なコンテンツを８K／２K一体

化制作で実施した。

『新・BS日本のうた』では，20年度中継部担当で年間４本（関東・甲信越）の４K収録〔４KSDR（BT709)〕を実施した。

古典・伝統芸能番組『待ってました！歌舞伎生中継』(1.2)，『古典芸能への招待』「二月歌舞伎」(2.17収録)，『８K中継　ナイトアクアリウムin江の島　夜の水族館特別公開！』(3.6）では，改修したSHV CSK AH-72を使用してコストの効率化と高品質な８Kコンパクト中継を実施した。

『生中継　闇と光の秘儀 お水取り～奈良・東大寺修二会～』(3.13）を８K／４K／２K同時放送で中継した。

『ニュース　シブ５時』ではCSKを利用した中継を３本実施した（9.3，10.1，11.2)。

❸20年度の主な中継番組

- ４K生中継・京都の桜2020！（京都 醍醐寺・4.4）
- 今夜も生でさだまさし（東京都・4.26）
- BSプロ野球中継（東京ドーム・6.25, 7.3）
- 東京都知事選（東京都・7.5）
- ８K大相撲７月場所中継（両国国技館・7.19～8.2）
- 全国戦没者追悼式中継（日本武道館・8.15）
- BSプロ野球中継（東京ドーム・8.18, 29）
- ８Kナイトアクアリウム中継（東京都・8.22）
- 高校野球 神奈川県大会中継（横浜スタジアム・8.23）
- BS Jリーグ中継（カシマスタジアム・8.23）
- ８K４K２K たっぷり見せます！秋田 大曲の花火（秋田県大曲市・8.29）一体化制作
- クローズアップ現代＋中継（東京都・9.1）
- 合流新党代表選公開討論会中継（東京都・9.9）
- 合流新党代表選投開票中継（東京都・9.10）
- BSプロ野球中継（東京ドーム・9.11）
- プロ野球中継（東京ドーム・9.12, 21）
- 自民党総裁選公開討論会中継（東京都・9.12）
- ８K大相撲９月場所中継(両国国技館･9.13～27）
- 自民党総裁選投開票中継（東京都・9.14）
- 日本陸上選手権大会中継（新潟市・10.1～3）
- ４K２K新・BS日本のうた収録（千葉県館山市・10.1）一体化制作
- BSプロ野球中継（東京ドーム・10.14）
- 日本オープンゴルフ中継（千葉県･10.15～18）
- BS Jリーグ中継（カシマスタジアム・10.24）
- 土曜スタジオパークin福島（福島市・10.31）
- BS Jリーグ中継（等々力競技場・11.3）
- ８K２K 立皇嗣の礼 中継（皇居・11.8）一体化制作
- ８K大相撲11月場所中継(両国国技館･11.8～22）
- ８K NHK杯国際フィギュアスケート競技大会（大阪市・11.27～29）
- 競泳日本選手権中継（東京アクアティクスセンター・12.3～6）
- 天皇杯サッカー４回戦中継（カシマスタジアム・12.14）
- 皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会中継（代々木第二体育館・12.19～20）
- ４K２K新・BS日本のうた収録（東京都福生市・12.24）一体化制作
- ゆく年くる年中継（東京都ほか・12.31～1.1）
- 待ってました！歌舞伎生中継（歌舞伎座・1.2）
- ８K大相撲初場所中継(両国国技館･1.10～24）
- 二月大歌舞伎収録（歌舞伎座・2.16～17）
- Jリーグ開幕戦中継（埼玉スタジアム・2.27）
- ８Kナイトアクアリウム中継（神奈川県・3.6）
- 東日本大震災10年 おはよう日本キャラバン中継（東北・3.8～11）
- 東日本大震災10年 ニュースウオッチ９キャラバン中継（東北・3.8～10）
- 東日本大震災政府主催追悼式中継（国立劇場・3.11）
- ８K４K２K生中継 闇と炎の秘儀 お水取り～奈良・東大寺修二会～（奈良県・3.13）一体化制作
- 聖火リレーグランドスタート中継（福島県Jヴィレッジ・3.25）
- ４K２K新・BS日本のうた収録（埼玉県本庄市・3.25）一体化制作
- 歌会始中継（皇居・3.26）

【2】中継設備･機器

４K･８Kスーパーハイビジョン放送に対応するため，20年度も４K･８K対応の機器を整備した。

❶４K／８Kの整備

▶ ８K OB-Block

＜特徴＞中継車両の搬入が困難な場所や海外での８K制作を目的として整備。最大構成，最小構成の２パターンでの運用ができ，制作規模に応じて効率的なシステム構築が可能。ソニーが設計・製作を担当し，インターフェースにはNMIを採用。

- ラック数：最大13ラック，最小８ラック
- ラック総重量：最大2,005kg，最小1,337kg
- 消費電力：最大20.5KVA，最小14.0KVA
- カメラ：常載なし（最大積載CCU：UHCU-

8300 6式）
・8K収録再生機：常載なし（最大積載P2 2式／SSD 2式）

▶8Kハイスピードカメラ

＜特徴＞8K画質で1秒間に240コマの撮影が可能。スポーツなどの速い動きも高画質なスロー再生で，分かりやすく迫力のある映像表現ができる。
・カメラ：4式（SK-UHD8240）
・イメージセンサー：1.25インチ／3,300万画素CMOSセンサー／3板式
・走査方式：240／1,001Hz プログレッシブ
・外寸：W300㎜×H300㎜×D600㎜
・重量：23kg
・CCU：4式CU-UHD8241／8242）

▶4K望遠／中望遠／広角レンズ

＜特徴＞近距離から遠方まで撮影可能。さまざまな番組や撮影条件に応じて，柔軟に選択し使用する。
○望遠レンズ
・125倍：UA125×8BESM-S35（2式）
・111倍：UJ111×8.3BISS（2式）
○ハンディ中望遠レンズ
・46倍：UA46×9.5B（2式）
○広角レンズ
・27倍：UA27×6.5B（2式）
○ハンディ広角レンズ
・15倍：CJ15e×4.3B（2式）

▶4K中継用可搬ラックの整備

＜特徴＞CSKが進入できない場所においても4K中継態勢が構築できるよう可搬型の小型ラックを整備。ラックにはカメラ用光アダプタ装置や映像と音声のモニター，連絡装置等を搭載。
・ラック数：2（12Uラック+5Uラック）
・ラック総重量：87.5kg
・消費電力：150 KVA
・カメラ：常載なし

▶22.2ch汎用音声卓

＜特徴＞大規模音声システムを構築可能な生放送・番組収録向け22.2マルチチャンネル音響制作対応ディジタル音声ミクシングコンソールとして整備。タムラ製作所が設計・製作を担当し，音声信号は，アナログ入出力，AES入出力，MADI入出力，DANTE入出力に対応。メインコンソール（60フェーダー），AUDIOラック，STAGE BOXで構成。
○音声諸元
・本線系（IN／OUT）処理数：最大640チャンネル（モノラル換算）
・モニター系処理数：最大36チャンネル（モノラル換算）
・サンプリング周波数：48kHz／96kHz
○外形
・メインコンソール：W2,064㎜×D920㎜×H278㎜
・AUDIOラック：W535㎜×D1,050㎜×H1,360㎜
・STAGE BOX：W53㎜×D870㎜×H245㎜
○電源
・電圧：AC90V～AC264V 50／60Hz
・消費電力：最大1,510VA

❷機器整備

▶小型IP衛星伝送装置の整備

報道局との共同提案で小型のIP衛星伝送装置を整備した。小型で機動力に優れ，バッテリー運用ができるため災害報道現場での活用が期待される。日航ジャンボ機が墜落して35年となる御巣鷹山に少人数で運び込み中継を実施した。

❸設備整備

▶気象庁移転に伴う伝送設備

気象庁の移転にともない伝送設備の移設作業を実施した。民放各局との共同工事であったが，連携をとって計画どおり11月に移転先に切替を行った。地震の発生時においては，気象庁の会見の生中継で使用している。

▶首相官邸の非常用FPUルート整備

首相官邸からの非常用FPUルートがビルに遮断されて使用不可の状況となったため，国会記者会館経由に変更した。国会記者会館に「官邸からのFPU受信機」と「墨田向けのFPU送信機」を設置するとともに，制御系にテレコンを新設して無人対応を可能とした。光回線断等の障害時でも官邸からの伝送や中継が可能となり，非常時の災害報道強化につなげた。

▶東京ドームの電源盤改修

これまで東京ドームの電源盤は100V 300A，100V 200Aの2系統のみであり，4K中継車を運用するには電源容量が不足していた。そのため，電源盤を改修し，200V 200A×3系統，100V 250A×2系統を整備した。4K放送対応による高品質なコンテンツ制作と老朽対策による放送の安定確保につなげた。

【3】新型コロナウイルス感染症防止対策

緊急事態宣言中には，中継車両のコロナ対策に取り組み，中継現場では中継先から求められる検温結果やPCR検査結果を提示するなどして中継

制作に取り組んだ。

❶中継車

中継車・CSKについて，EMG-FANや外部からスポットクーラーを稼働することで吸気排気を確実に実施し，換気対策を施した。スタッフ同士の距離を１m以上確保するためのレイアウト変更やカーテンの設置，消毒キットの車載などの対策を実施した。ホームページに中継部新型コロナ対策指針を掲載し全国周知するなど，中継車制作の業務継続に取り組んだ。

❷リモート制作

出演者や番組制作者の密を避けるために，スタジオ外へ光回線を伸ばして『おはよう日本』と『首都圏ネットワーク』でキャスターのリモート出演中継対応を行った。

IP技術を活用して５月に技研にサテライトスタジオを構築した。また，11月「Jリーグ」の中継でもIPリモート制作を行い，現場に行く人数を放送センターと分散した。

「８K大相撲」中継において，現場の人数を少なくするために，現場のSSDスロー再生装置本体を放送センターのスタジオからIPを用いて遠隔操作することで，要員を分散するスタイルを目指して７月場所，９月場所，11月場所で検証を行い，初場所で15日間の放送を実施した。

❸中継現場

「日本オープンゴルフ選手権」「日本陸上選手権」ではゾーニングとユニット制によって行動，接触者を厳格に管理し，100人を超えるスタッフから１人も感染者を出すことなく，高品質なコンテンツを制作した。

また他のスポーツ中継や歌舞伎中継では，事前に検温結果を提出したり，PCR検査を受検したりするなどの対応をした。

『ゆく年くる年』ではキーステーションでの中継が困難と判断した場合の対応として，放送センターを使用するバックアップ策も準備した。

放送設備の技術

概　要

NHK経営計画（2018-2020年度）では，放送を太い幹としつつインターネットも活用し，正確で迅速なニュースや質の高い多彩な番組をできるだけ多くの人に届ける「公共的価値」の実現を追求した。20年度はスーパーハイビジョン設備の整備や常時同時配信･見逃し番組配信などの新サービス，新放送会館の整備，安定送出･電波確保への取り組みを中心に推進した。また，放送技術審議会を20年度は３回開催し，①７月に「放送現場における新型コロナ対策」，②11月に「より豊かなイマーシブ体験のための空間表現メディア」，③２月に「NHKにおける宇宙プロジェクトの取り組み」について審議を行った。

放送衛星

２KのBSデジタル放送を行っている放送衛星は，BSAT-3a，BSAT-3bおよびBSAT-3cの３機の衛星であり，基幹放送局提供事業者であるB-SAT社が保有している。NHKは，衛星基幹放送事業者として，B-SAT社に放送番組の送信を委託しBS1およびBSプレミアムを放送している。さらに，18年12月１日に，B-SAT社が保有する新放送衛星BSAT-4aでBS４KおよびBS８Kの放送を開始した。

1 放送衛星BSAT-3a／3b／3c／4aの運用

BSAT-3aは，放送衛星BSAT-1の後継衛星として，B-SAT社が07年以降の受託放送事業（現：基幹放送局提供事業）を行うために調達した衛星である。設計寿命は13年，同時８チャンネル放送が可能である。07年８月に打ち上げられ，11月１日にBSAT-1aで放送していた衛星第１テレビ（BS7ch）および衛星第２テレビ（BS11ch）をBSAT-3aへ移行し，運用を開始した。

08年９月には，BSAT-2cで放送していたBSデジタル放送（BS15ch）をBSAT-3aへ移行し

た。また，暫定的な地デジ難視対策となる衛星セーフティネットの実施にあたり，10年３月から地デジ難視対策衛星放送（BS17ch）を開始した。

BSAT-3b／3cは，BSAT-2以降のBSデジタル放送の受託放送事業を行うためにB-SAT社が調達した２機の衛星である。設計寿命は15年，BSAT-3bは同時８チャンネル，BSAT-3cは同時12チャンネルの放送が可能である。なお，BSAT-3cはCS放送の中継器も搭載しており，B-SAT社とスカパーJSAT株式会社が共同所有する衛星である。このBSAT-3bは，10年10月に打ち上げられ，12月８日に運用を開始した。また，11年２月から地デジ難視対策衛星放送（BS17ch）をBSAT-3aから引き継ぎ，15年３月末の事業終了まで放送を実施した。一方，BSAT-3cは，11年８月に打ち上げられ，９月21日に運用を開始した。

なお，現在，NHKのBS1はBSAT-3aで，BSプレミアムは，BSAT-3cで放送されている。また，放送の安定継続のために，BSAT-3a／3b／3cおよびBSAT-4aをバックアップとして確保している。

BSAT-4aは，BSAT-3aの後継機として，17年９月30日に打ち上げられ，18年２月１日にSHV試験放送での運用を開始した。BSAT-4aは，従来の右旋に加え４K･８K本放送で新たに使用する左旋12チャンネルの中継器を搭載している。SHV試験放送の終了後，18年12月１日に４K･８K本放送が，右旋２チャンネル（BS7ch，17ch）と左旋２チャンネル（BS8ch，14ch）を使用して開始した。

BSAT-4bは，BSAT-3bの後継機として，20年８月16日に打ち上げられた。現在，運用開始に向けたデータ取得，免許手続き等が実施されている。

2 ４K･８K　18年12月の運用開始に向けた準備

４K･８K本放送の開始に向け，BSAT-4aを含むシステム検証を行うことを目的に，BS17chを使用する実験試験衛星局および実験試験地球局の免許（免許人はB-SAT社，衛星はBSAT-4a）を17年11月に取得した。さらに，左旋を使用する実験試験衛星局および実験試験地球局の免許（免許人はB-SAT社，衛星はBSAT-4a）を18年１月に取得し，B-SAT社と共同で運用しながら，左旋BS-IF漏えいなど左旋受信環境の構築に向けた技術調査への協力を行った。

その後，18年９月上旬には４K･８Kアップリンク設備（B-SAT社所有）の整備を完了し，18年12月１日，４K･８K本放送を開始した。

放送設備

1 概況

防災・減災報道，安定送出・電波確保のため，ロボットカメラやIP中継機材，テレビ・ラジオ送信設備などを整備した。また，東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた４K･８K設備やNHKプラス地域番組配信サービス設備，地域放送局の運行装置やニュース送出設備，地域放送会館の建設など，視聴者の期待と信頼に応えるための設備整備を進めた。

2 テレビ放送設備

【1】番組設備

❶番組系ファイルベース送出設備の更新

番組系ファイルベース送出設備は，制作された番組の完成登録･保管･送出を行う設備である。装置の老朽化に伴い，番組ファイルを転送するサーバー，ネットワーク機器，および番組ファイルを保管するストレージを更新した。

❷テレビ国際放送　運行装置の更新

海外向けに「NHKワールド JAPAN」「NHKワールド・プレミアム」の放送を送出するテレビ国際放送運行装置を，老朽化に伴い19年度から２か年で更新した。

❸スーパーハイビジョン送出設備の更新

スーパーハイビジョン送出設備は，16年８月に試験放送を開始した設備を増設・改修し，18年12月に本放送を開始した。試験放送開始から運用し，老朽化したネットワーク機器や送出機器を更新した。

❹VAF（Video Audio File）装置の更新

VAF装置は，番組の冒頭や終了時に，NHKオンデマンドのお知らせスーパーやNHKテキストのPR静止画などを送出する設備である。14年度に運用を開始し，老朽化したネットワーク機器や送出機器を更新し，静止画などを登録する際のセキュリティーを強化した。

❺地域放送局　運行装置の更新

地上デジタル放送開始に伴い整備した地域放送局50局の運行設備のうち，奈良・長崎・沖縄・盛岡の各地域局を新しい運行設備（COMPASS）に更新した。

❻地域放送局　会館基準時計装置の更新

会館基準時計装置は，放送局において運行設備やニュース設備などの局内設備やスタジオなどの子時計に正確な時刻信号を供給する，放送業務に欠かせない装置である。大津・奈良・広島・岡山・山口・宮崎・秋田・帯広・北見・室蘭・釧路・松山・高知・高松の各地域局について，装置を更新した。

❼地域放送局　同期信号分配盤の更新

同期信号分配設備は，スタジオや局外中継など多くの映像・音声信号を放送設備で切り替えて放送する際に，映像・音声のタイミングをそろえるために局内の全設備に対して基準となる信号の生成・分配を行う設備である。大津・広島・岡山・山口・宮崎・秋田・帯広・釧路・北見・松山・高知・高松の各地域局同期信号分配盤を更新した。

❽NHKプラス地域番組配信設備の整備

20年４月１日，インターネットに番組コンテンツを配信するNHKプラス（放送同時・見逃し配信サービス）の本格サービスを開始した。また，以下の地域番組配信設備を追加整備し，21年３月３日からは地域局が制作・放送した地域番組の見逃し配信サービス「ご当地プラス」も開始した。

▶地域番組配信基盤

地域番組の配信動画とメタ情報を管理する設備をクラウド上に構築した。簡易な操作で見逃し動画を作成することができる。

▶アップロード設備

地域番組配信基盤に地域番組をアップロードするための設備を本部と大阪局に整備した。大阪以外の拠点放送局からは緊急時同時提供用の局間回線・設備を用いて本部に伝送し，本部からアップロードするなど，既存設備を最大限活用している。

▶コントロールサーバ

一つの受信契約あたり５画面まで視聴できるようにするための制御を実現する設備である。

❾データ放送設備の整備

本部データ放送設備の送出装置およびSHVデータ放送設備のネットワークスイッチを更新した。また，デジタルサービス制作ネットワークの本部コアスイッチを更新した。

❿放送系情報システムの整備

８Kリソースを２Kリソースと同等の業務フローで管理するために機能を改修した。

ホストコンピューターのOSが保守期限に到達するため新しいOSにバージョンアップしたほか，業務アプリケーションのセキュリティー確保のため，編成・送出系の画面を中心にHTML5に改修した。

⓫アーカイブス設備の整備

東京2020オリンピック・パラリンピックコンテンツの保存に対応するため，アーカイブス情報システムおよび保存・提供設備を改修した。このほかアーカイブス情報システムでは，コンテンツ検索に必要なメタデータをAIで自動生成する機能の実装や，フロアスイッチ・ラベルプリンタを更新した。保存･提供設備では映像処理系サーバーや大容量ストレージなどを更新した。

ニュース原稿DBシステムでは，ネットワーク機器を更新した。

⓬カメラ設備の整備

８K４倍速の収録が可能な８Kハイスピードカメラを新たに３式整備した。大相撲やフィギュアスケートなどの８Kスポーツ中継で使用している。

４K映像取材の機動性を高めるため，小型４Kカムコーダーを本部および全国の支局に整備した。また，地域素材拠点の小型カムコーダーを更新した。

⓭映像スタジオの整備

主にスポーツ中継で使用しているCU-558／559スタジオ，料理番組の収録などで使用しているCT-512スタジオを４K／２K一体化制作が可能なスタジオとして更新した。また，バーチャル番組で使用しているCT-414スタジオを老朽更新した。

⓮音声スタジオの整備

ドラマ制作に使用するCD-803スタジオを，４K放送の開始以降増加している5.1chサラウンドとステレオの一体化制作に対応するスタジオとして更新した。また，情報番組の収録で使用しているCR-406スタジオを更新した。

⓯スタジオ照明設備のLED化

設備の老朽更新に合わせて，本部ではCU-558，CT-512，CT-414スタジオの照明設備をLED化した。また，放送局では北九州局オープンスタジオ，神戸局オープンスタジオ，山口局情報発信コーナー，津局ニューススタジオ，岐阜局ニューススタジオ，福島局汎用（はんよう）スタジオ・情報発信コーナー・ニューススタジオの照明設備をLED化した。

⑯地域放送局のファイルベース化

拠点局制作スタジオのファイルベース化整備として，札幌局T-1スタジオに４系統のXDCAM録再機，アタッチメント，操作パネル等を整備したほか，ポスプロ設備をファイルベース編集機に更新した。また，拠点局22式，放送局59式のノンリニアダイレクト編集機を更新し，全国のノンリニアダイレクト編集機の４K化を完了した。

⑰局外中継設備の整備

本部に汎用８K中継設備（８K OBブロック）を整備した。IPインターフェースを採用し，８Kカメラ６式，８K収録再生機２式，８Kスロー装置２式の接続に対応した。また，長野局，新潟局，水戸局，大阪拠点局，金沢局，熊本局，沖縄局，盛岡局の小型中継車を更新した。

⑱全国局外天気カメラの整備

奈良県内に新たにカメラを整備したほか，全国の放送局，空港，交通の要所など11か所の既設カメラの構成機器を老朽更新した。

【2】報道設備

❶取材ヘリコプター

20年度は，中型機１機と小型機１機の退役に伴い，搭載機器の解装を実施した。

20年度末で，全国12基地14機（中型機：９機，小型機：５機）の航空取材体制で運用されている。

❷衛星伝送車

19～21年度の３か年で，IP伝送機能を充実させた新報道小型CSKの整備を進めている。

また，全国CSK整備の見直しを行い，25年度末までに23台の車両を削減する方針を定めた。

❸CSアンテナの更新

札幌新会館，大阪局にϕ5m，奈良新会館と大津新会館にϕ2.4mのCSアンテナの更新整備を行った。

❹モバイルIP伝送設備の整備

緊急報道時の一報ツールとして，取材した映像をデータ通信端末により，ストリーミング伝送可能なモバイルIP伝送装置の整備を14年度より行っている。20年度はHEVCコーデックを搭載したIP伝送装置を全国に78式整備した。

❺FPU受信基地局の更新

14年度までに全国185局所のFPU受信基地局のハイビジョン化を完了した。15年度からはハイビジョン設備の老朽更新を進めており，20年度は４局所のFPU受信基地局（岡山１，仙台１，福島１，徳島１）の更新工事を完了した。

❻気象原稿の自動出稿，報道情報VDI端末の展開

気象庁から受信する気象電文を解析して原稿を生成し，報道情報システムの原稿取材ホストコンピューターに自動的にニュース原稿を登録する気象原稿自動出稿基盤を整備した。20年７月28日から全国の高温注意情報について運用を開始，20年９月12日まで1,105件のニュース原稿を自動登録した。これにより，本部・地域局の記者・出稿デスク業務の省力化と働き方改革に寄与した。

20年３月，報道情報端末仮想デスクトップ（VDI：Virtual Desktop Infrastructure）基盤を整備し，放送センターの報道情報システムにセキュリティーを確保したうえでインターネットを経由してリモート接続する報道情報VDI端末（汎用PC）環境を構築した。さいたま局報道別館（首都圏制作），在宅，リモートで全国ニュース，『ニュースウオッチ９』などのニュース制作・映像編集・映像試写・テロップ発注・参照などコロナ禍でのリモートニュース制作業務の継続を可能にした。

❼本部ニュースセンター音声卓の更新

ニュースセンター送出設備（送出卓，送出コントローラ，マニュアル卓など）や緊急ニュース卓と連携し，ニュースセンターのあらゆる音声を送出する音声卓A，Bの更新を行った。入力リソース数を64から120に増強し，立面表示部のディスプレー化，操作部のタッチパネル化を行った。

❽放送局　伝送設備リモート機能追加整備

拠点局から域内局の伝送設備をリモートで制御するためのシステム改修を進めた。20年度は，仙台管内（仙台，青森，秋田，盛岡，山形，福島）のリモート制御用回線開通およびIPビデオルーターとFPU集中制御システムの機能改修を実施し，仙台拠点局から域内局の伝送設備のリモートを可能とした。

❾ロボカメモニタリングシステムの改修

ロボットカメラモニタリングシステムは，全国のNHKロボットカメラの映像を，光回線などの公衆網を利用してモニターするとともに，３日間の映像を蓄積できるシステムである。

このシステムには，気象庁の地震情報や津波情報により，地震発生時に対象地域のロボットカメラを自動的に選択する機能があり，速やかな放送への準備が可能である。これまでに，緊急地震速報による地震発生時刻の蓄積映像の頭出しをするなど，より迅速に災害時の映像を送出するための機能強化を図った。16年度に600式分，17年度に650式分のカメラ映像をモニターできるよう，シ

ステムの増強を行った。18年度には，外部事業者によるIPカメラ映像伝送サービスの映像ストリームを受信し，モニターする機能を整備した。19年度には，ネットワーク機器の更新に併せて，本部・大阪それぞれ最大999式分のカメラ映像をモニターできるよう，システム増強を行った。

⑩地域局ニュース送出設備の更新

地域局においてニュース制作や送出を行うニュース送出設備の老朽化更新を進め，20年度は，放送局４卓（高松，北九州，甲府，鹿児島）と広域局７卓（岐阜，奈良，水戸，津，神戸，和歌山，京都）の運用移行を完了した。また，台本設備と連動し少ない要員で運用可能なバーチャル設備を，トライアルとして，福島局へ整備を行った。

⑪円株作画システム更新

GTV，BS，テレビ国際の放送で使用している為替情報・株価情報の画面を作成するシステムを更新した。本システムは，金融情報提供会社から配信される経済指標データをリアルタイムに受信・解析する情報処理装置と100種類以上の経済情報画面を作成する作画装置で構成される。今回，メディア別に管理していた情報処理装置を統合して保守管理を集約するとともに，作画装置の操作性改善を図り，情報画面の変更を短期間で行えるようになった。

⑫IPビデオルーターシステムの整備

IPビデオルーターは局外等から伝送されたベースバンド信号を標準規格（SMPTE2022-6準拠）にのっとってIPパケット化し，運行装置やニュース卓，局間素材回線などに信号分配するとともに，信号の品質管理を行うシステムである。従来の２Kベースバンド（HDTV）による信号分配システムに比べ規模の拡張が容易であり，かつマルチフォーマット信号（～８K）にも対応可能である。

16年度より全国整備を進めており，20年度には，拠点局３局（大阪，福岡，札幌新）と放送局８局（秋田，函館，旭川，帯広，釧路，北見，室蘭，徳島）の整備を行った。

⑬報道系ファイル伝送システム（F-Port）の整備

報道系ファイル伝送システムは，クラウド上に構築した日本国内外から専用線や公衆網インターネットを経由して，映像，音声，メタ情報などのデータを受信し，保存や編集，試写・配信を行うシステムである。また，ファイルだけでなく，ライブストリーミングの受信も可能である。

20年度は，在宅編集機を20台増設，４Kファイルトランスコーダ，多言語文字起こし機能などの整備を行った。

【3】送信設備

❶テレビ放送所の設備

▶テレビ親局送信設備の整備

16年度から開始したテレビ送信装置の更新は木ノ本（和歌山）日本平（静岡），大平山（山口），豊見城（沖縄），大年寺山（仙台）の５局で実施した。

▶予備空中線の整備

親局空中線の冗長化整備として，松尾山（奈良），大平山（山口），豊見城（沖縄）の予備空中線の整備を行った。

▶テレビ自営無線回線の整備

老朽化した美ヶ原（長野），大平山（山口），豊見城（沖縄），大年寺山（仙台），南足柄（横浜），彦根（大津），など44局のSTL／TTL設備を更新した（**表１**）。

❷テレビ中継放送所の設備

▶ネットワーク改善

放送ネットワークの信頼性改善を図るため，SD（Space Diversity）化およびIP中継回線の追加等による改善整備を松代（新潟），高山（岐阜），本荘（秋田）など８局で実施した。

▶テレビ中継送信装置の更新および高信頼化整備

設備の老朽更新のため新型中継送信装置の整備を進めており，今市（宇都宮），御坊（和歌山），藤枝（静岡）など76局を実施した（**表２**）。

▶テレビ中継局空中線の更新

老朽化した十王（水戸），浜田（松江），水俣（熊本），小国（山形），新北見（北見），北讃岐（高松）の送信空中線を更新した。

3 ラジオ・FM放送施設

❶ラジオ放送所の整備

▶ラジオ送信設備の整備

設備の信頼性向上を図るため，老朽更新に合わせラジオ放送機の２台化整備を進めている。20年度は盛岡（大船渡），函館（江差）など18局を実施した（**表３**）。

▶ラジオ中継局の整備

ラジオ放送（中波）の難聴改善，津波対策のため，中波，FM波によるラジオ中継局を３局整備した（**表４**）。

❷FM放送所の設備

▶FM親局放送機の更新

老朽化した稲佐山（長崎），鉢伏山（鳥取），坊

ヶ峯（甲府）の放送機を更新した。

▶親局空中線の更新

老朽化した平野原（さいたま），岩根山（大津），西蔵王（山形）の送信空中線を更新した。

❸FM中継放送所の設備

▶FM中継放送所設備の更新

老朽化した18局の空中線系設備を更新した（**表 5**）。

❹ラジオ・FM自営無線回線の整備

Aバンド（3.5GHz帯）からM／Nバンド（6.5／7.5GHz帯）への周波数移行整備を，装置の老朽更新と併せて進め，20年度は，ラジオ７局，FM５局の整備を実施した。

また，ラジオ強じん化のために放送網設備の機能強化整備に合わせて，高梁（岡山，FM波），浜田（松山，FM波）にTTL回線を新設した（**表 6**）。

4 新技術開発

20年度は，14件の新技術開発（うち６件は調査研究枠）に取り組んだ（**表 7**）。その内訳は，以下のとおりである。

①４K８K放送普及に関する項目（３件）
②新センターに関する項目（２件）
③新しい番組制作技術に関する項目（３件）
④AI等の最新技術活用に関する項目（６件）

5 放送局舎

【1】放送所

❶老朽局舎の維持保全

老朽した放送所局舎の更新工事，移転置局，維持保全工事としてリニューアル工事（屋根防水層および外壁塗装等更新工事）また放送機器更新に伴う建築工事を実施した。

▶局舎老朽・移転更新

浜松TVFM（静岡），上之牧FM補完（鹿児島），舞鶴R（京都）の局舎新設の設計を実施した。

▶リニューアル工事

美ヶ原TV，弥彦山TV，坊ヶ峯TV，摩耶山TV，錦R，枕木山FMの大規模補修，熊野TV擁壁ほか全46局。

❷放送機・空中線更新関連工事

日本平（静岡），北讃岐（高松）TV放送機更新関連工事および八幡（北九州），前田山（高松）の設計業務が完了した。

【2】放送会館

❶放送センターの建替

東京都渋谷区神南に現在地整備で建設。20年度実施設計完了。既存建物解体中。24年度に情報棟竣工予定。

表 1　TV自営無線回線装置の更新

項　目	局　所　名
TV自営無線回線の更新	長野・美ヶ原 山口・大平山 沖縄・豊見城 仙台・大年寺山 横浜・南足柄 宇都宮・矢板 大津・彦根 高松・北讃岐 など　44局

表 2　TV中継送信機の更新

項　目	局　所　名
放送機の更新	宇都宮・今市 和歌山・御坊 静岡・藤枝 松江・益田 熊本・人吉 青森・三戸南部 函館・大沼 松山・美川 など　76局

表 3　ラジオ送信設備の２台化整備

項　目	局　所　名
放送機の更新	盛岡・大船渡R1（500W） 函館・江差R1（500W） 津・尾鷲R（100W） 広島・世羅R1（100W） 岡山・新見R（100W） 熊本・南阿蘇R1（100W） 盛岡・田野畑R1（100W） 高知・須崎R1（100W） 旭川・留萌R1（100W） など　18局

表 4　中波，FM波ラジオ中継放送所の整備

項　目	局　所　名
難聴改善	金沢・輪島門前（FM波） 岡山・高梁（FM波）
難聴改善および津波対策	松江・浜田（FM波）

表 5　FM中継放送所設備の更新

項　目	局　所　名
放送機の更新	なし
空中線系設備の更新	京都・福知山 神戸・相生 金沢・山中 金沢・羽咋 静岡・下田 広島・三原 鳥取・智頭 山口・東和 熊本・河浦 福岡・大牟田 北九州・筑前山田 鹿児島・東市来 宮崎・椎葉 大分・竹田 仙台・気仙沼 盛岡・遠野 松山・菊間 松山・城川

表 6　ラジオ・FM自営無線回線の整備

項　目	局　所　名
自営無線回線の更新	宮崎・村角Ⓡ 山形・宮町Ⓡ 福島・安積Ⓡ 函館・江差Ⓡ 岐阜・上加納FM 和歌山・新宮FM 奈良・下北山FM 津・熊野FM など　12局
自営無線回線の新設	岡山・高梁 松江・浜田

表 7　20年度新技術開発の項目と概要

項　目	概　要
アーカイブス検索ログを活用したオブジェクト認識モデルの開発	NHKアーカイブスに蓄積されているコンテンツの検索効率を改善するために，利用者の過去の検索ログからニーズを推定し，当該シーンを含むコンテンツを特定するためのメタデータを自動で生成するソフトウェアを開発した。
8K JPEG-XSハードウェアコーデックの開発	8K番組制作設備のコスト圧縮を目的として，視覚上の画質劣化が分からない程度に映像データ量を圧縮しつつ，IP制作に対応できるJPEG-XSハードウェアコーデックを開発した。
メンテナンスフリーフェーダーの開発	可変抵抗を用いた音声フェーダーの課題解決を目指して2018年度に開発した非接触型音声フェーダーについて，実用化を目指した取り組みとして音声卓フェーダーパネルに実装して性能を評価した。
高速Wi-Fiを用いたスタジオ用4Kワイヤレスカメラの開発	スタジオ内においてケーブルの制約を受けない機動性のある番組制作を実現するために，4K映像信号を無線LANで伝送できるワイヤレスカメラシステムを開発した。
AIコンテンツ監視制御システムの開発・検証	フリーズなどの映像の異常を検出する自動監視装置の高度化を目指して，画像・音声の特徴量に加え，フレーム間の相関関係を分析して異常を判定するシステムを開発した。
映像音声ノイズ発生装置の開発	自動監視装置を効率的に開発するために必要となるテスト素材を短時間で制作することを目指して，映像・音声素材にさまざまなノイズを付加できる装置を開発した。
小型カメラ操作用マスタースレーブ・ロボットアームの開発	カメラマンが立ち入れない現場での撮影を実現するために，小型カメラが取り付け可能な遠隔操作用ロボットアームを開発した。
スポット収録自動化システムに向けたAIナレーションの調査研究	地域放送局における番組スポット制作の作業効率化を目指して，AIナレーションによるスポット番組音声の自動制作システムを開発した。
高利得STL/TSL/TTLアンテナの開発	NHK放送会館から放送所へ映像・音声信号を無線伝送するために利用するパラボラアンテナの性能を改善するために，構造を再設計した一次放射器を搭載したパラボラアンテナを開発した。
超低周波帯における噴火空振波抽出の調査研究	鹿児島県における桜島の噴火情報を迅速に入手するために，噴火空振波を抽出する技術について調査・検討を実施した。
4K／8Kレンジアシストフォーカスアシストコントローラーの開発	4K／8K番組制作における撮影業務の負荷軽減を目的に，AIによる物体検知とデプスセンサを用いてフォーカス操作をアシストするコントローラーを開発した。
AIによるフェージング解析システムの開発	放送ネットワーク回線の遮断原因となるフェージングの発生を予測するために，気象予報データを用いたAI予測システムを開発した。
小窓自動切出装置「BeautyROI」の実用化検証	AIによる顔認識技術を活用し，1台のカメラ映像から複数のワイプ映像を自動で切り出すことができる装置を開発した。
4K超低遅延小型FPU送信機	4K番組制作においてワイヤレスカメラを用いた機動的制作を実現するために，ハンディカメラに取り付けて4K映像信号を無線伝送できる小型FPU送信機を開発した。

❷新会館の建設

新放送会館の整備を推進した。

▶札幌

札幌市中央区に単独建設。19年度竣工。今後，既設会館を解体・撤去し，22年度土地交換予定。

▶大津

大津市京町に単独建設。20年度竣工。

▶佐賀

佐賀市松原に単独建設。工事中。21年度竣工予定。

▶富山

富山市新桜町に単独建設。工事中。21年度竣工予定。

▶松江

松江市灘町に単独建設。工事中。22年度竣工予定。

▶川口施設

川口市に４つの大型スタジオをもつ施設を建設。基本設計中。25年度竣工予定。

❸放送センターの改修

放送設備の更新に伴い，CT-512，CT-414，CU-558／559，CR-406，CD-803スタジオを整備した。

❹地域放送会館の改修

地域番組設備整備工事に伴い，長野会館，新潟会館，甲府会館，大阪会館，京都会館，神戸会館，和歌山会館，津会館，岐阜会館，広島会館，岡山会館，鳥取会館，山口会館，福岡会館，北九州会館，長崎会館，鹿児島会館，宮崎会館，沖縄会館，秋田会館，山形会館，盛岡会館，青森会館，松山会館，徳島会館，高松会館のレイアウト変更工事を実施した。また，大阪DS２スタジオ工事を実施した。

❺その他

外部のSHVパークスタジオ建設，神南ビルの内装改修工事を実施した。

6 電源・空調・給排水

【1】機能強化関連整備

放送所の電源強化を行った。

▶放送所の自家発燃料タンク増量整備

（基幹局）FM：飯森山（大阪）

（中継局）TV：小浜（福井）ほか　全２局

▶放送所BFの自家発化

下田（静岡）

【2】老朽更新の推進

❶電源設備

放送安定確保のため，例年どおり計画的な老朽更新を行った。

■放送センター

▶自家発電設備

煙道改修（GT-1，GT-2，GT-3）

▶無停電電源設備（UPS）更新

制御用UPS

▶無停電電源設備（UPS）用分電盤整備

報道情報ホスト系／アート系ネットワーク，CT778，テレビ国際サーバ

▶直流電源設備更新

（UPS用）NC1系-UPS，NC2系-UPS

（始動用）GT-4

■地域放送会館

▶受配電設備更新

新潟（PAS），前橋（UGS）

▶無停電電源設備（UPS）更新

長野ほか　全９局

▶電源監視設備更新

横浜ほか　全３局

▶直流電源設備更新

（制御用）神戸ほか　全12局

（UPS用）大阪ほか　全４局

（始動用）さいたまほか　全11局

■放送所

▶燃料残量システム更新

燃料サーバ更新

（基幹局）

▶受配電設備更新

TV：大平山（山口）ほか　全21局

R：宮竹（静岡）

▶自家発電設備更新

TV：函館山（函館）

▶無停電電源設備（UPS）更新

TV：日本平（静岡）ほか　全４局

FM：春採（釧路）ほか　全２局

▶直流電源設備更新

（制御用）TV：宇都宮（宇都宮）

R：江別太（札幌）

（UPS用）FM：円海山(横浜)ほか　全２局

（始動用）TV：上加納(岐阜)ほか　全８局

R：音更（帯広）ほか　全７局

FM：鶴丸(鹿児島)ほか　全５局

（リモコン用）TV：新山(盛岡)ほか　全12局

R：亀田(函館)ほか　全４局

FM：五台山（高知）

（中継局）

▶自家発電設備更新

TV：富良野（旭川）

R：田野畑（盛岡）ほか　全２局

FM：父島（東京）

▶自家発２台化整備

TV：玖珠（大分）ほか　全３局

▶直流電源設備更新

（始動用）TV：越後大和（新潟）ほか　全36局

R：島立（長野）ほか　全28局

FM：南加計（広島）ほか　全３局

（基地局）

▶自家発電設備更新

小豆島

▶直流電源設備更新

（始動用）筑波，箱根

❷空調・給排水設備

老朽化した設備の計画的な更新を行った。

■放送センター

▶個別空調機更新

北館（コンピューター室）

▶空調機更新

西館（CGルーム）

▶給排水配管更新

西館（食堂排水管）

▶換気設備改修

北館

■地域放送会館

▶冷凍機更新

新潟，前橋，弘前

▶個別空調機更新

新潟，水戸，大阪，岐阜，広島，青森

▶空調機更新

前橋，岐阜

▶空調配管更新

名古屋，岐阜

▶送排風機更新

長野，新潟，大分

■放送所

▶空調機更新

新開R（東京）ほか　全21局

▶オイルタンク増量

小浜TV（福井）ほか　全４局

送受信技術

1 概況

「デジタル放送の受信普及」や「放送の良好な受信環境の確保」「デジタル放送受信に関する技術開発」などに取り組んでいる。

2 デジタル放送の受信普及

【1】技術セミナーの開催

テレビ受信向上委員会などと連携し，デジタル放送の望ましい受信システムの普及や受信障害の防止に向けた活動を展開した。

特に，新４K８K衛星放送について，技術セミナーを通じて正しい技術知識の普及に努めた（20年度：全国41回，受講者1,169人）。

【2】「Inter BEE」への出展

11月18日（水）から２月26日（金）に初のオンラインで開催されたアジア最大級の国際放送機器展「Inter BEE 2020」に，JEITA（一般社団法人電子情報技術産業協会）と共同で出展した。

「もっとリアルに、もっと近くに〜新たなメディア体験を〜」をコンセプトに，新４K８K衛星放送の特徴および受信方法を分かりやすく紹介したほか，８K制作，NHKプラス，ユニバーサルアクセシビリティーなどNHKのさまざまな取り組みを紹介した（アクセス数２万1,056人，JEITA公表）。

3 放送の良好な受信環境の確保

【1】良好な受信環境の構築

❶受信状況調査

新たな中継局の開設や送信条件の変更，都市環境等の変化に伴う電波環境の変化を的確に把握するため受信状況を調査し，放送の安定受信確保ならびに地域事情に即した電波サービスのさらなる改善に向けた検討を実施した（20年度調査437地区）。

❷テレビ混信対策センターへの協力・支援

国外における地上テレビ放送のフェージングによる電波の異常伝搬等に起因して発生したデジタル混信対策の実施のため，総務省が設置したテレ

ビ混信対策センターの行う技術調査や受信対策検討に対する協力支援を行った。

❸福島原発避難区域テレビ受信者支援センター（デジサポ福島）への協力・支援

福島原発避難区域の避難区域解除等による帰還世帯に対する地上テレビ放送のデジタル化のため，総務省が設置した福島原発避難区域テレビ受信者支援センター（デジサポ福島）の行う視聴者対応，各種調査や業務スキームの検討に対する協力支援を行った。

【2】受信相談活動

視聴者がいつでも良好な状態でテレビやFM，ラジオを受信することができるように，電話による相談のほか，視聴者宅を直接訪問して受信障害の原因調査や改善方法の指導を実施した。訪問受信相談については，携帯電話を利用した情報システムを用いて，迅速かつ，きめ細かい相談対応を通じて視聴者満足度の向上を図った。20年度は約５万4,000件の相談に応じた。

【3】受信障害・受信課題地区解消

❶異常伝搬による受信障害への対応

ダクト性電波伝搬やフェージングなどの放送電波の異常伝搬に伴う障害は，延べ37日間発生し，期間中の問い合わせ・相談件数は全国で74件（19年度は365件）であった。

障害改善対策として，高性能アンテナを使用するなどの受信指導を行った。

❷建造物によるテレビ受信障害の改善指導

全国の大規模な建造物や橋りょう，風力発電用風車などの特殊形状構築物の建設に伴う電波障害の状況を把握し，建築主による円滑な受信対策に結び付けるための対策方法の指導などを実施した。

❸受信環境クリーン協議会

受信環境クリーン協議会の活動に協力し，受信障害に関する知識の普及に努めた。特に，10月は「受信環境クリーン月間」と位置づけ，放送でのPRをはじめ，受信相談所の開設など電波障害防止・受信障害に関して全国で周知啓発活動に協力した。このほか，全国の中学生を対象とした受信障害防止に関する第53回受信環境クリーン図案コンクール（応募校数238校，1,272点）に協力した。

【4】NHK共同受信施設の運用

■NHK共同受信施設の現況

テレビの難視聴解消を目的に地元組合と共同で設置したNHK共同受信施設の安定運用に努めている。

老朽化が進んでいる施設については，組合の意向なども反映して，光化改修工事（264施設）を進めた。部分的な劣化箇所については，小規模改修工事などを行い，安定運用できるよう保守している。21年３月末日現在のNHK共同受信施設運用施設数は5,325施設（約31万世帯）である。

4 デジタル放送受信に関する技術開発・調査

【1】SHVに関連する規定策定への寄与

ARIB（一般社団法人電波産業会）の技術資料「高度広帯域衛星デジタル放送運用規定2.5版」の策定に寄与した。

日本CATV技術協会の標準規格JCTEA STD-013の改定に寄与した。

新４K８K衛星放送の良好な普及に向けて，JEITAのSHマーク登録制度，HSマーク登録制度の運用に寄与した。

【2】放送受信に関する調査

❶第43回受信実態調査

放送受信における良好な受信環境の確保と望ましい受信システムの確立のために，受信状況や受信設備の実態を把握する調査を毎年実施している。

20年度は，従来の調査項目である「テレビ視聴環境」に加えて，「災害時のメディア利用状況」「NHKプラス」について調査を行った。

得られたデータは新たなメディアの受信促進や従来メディアの維持・改善に向けた戦略立案の基礎資料として活用している。

なお，20年度は，新型コロナウイルス感染拡大の影響により，従来の訪問調査ではなく，アンケート調査とした。

❷受信機性能調査

放送の良好な受信環境の確保に貢献するため，受信機の性能を把握する調査を毎年実施している。

20年度は，最新の４K・８Kテレビ受信機の基本的な受信性能に加えて，不要波に対する耐性および画質などについて調査を行った。

調査結果は，受信機・受信システム機器メーカーと共有し，より良い受信環境の確保に役立てるとともに，新４K８K衛星放送に対応した左旋受信設備の普及促進のための基礎資料として活用している。

技術研究

概　要

技術研究では，NHK技研３か年計画（2018–2020年）で掲げた３つのテーマ「リアリティーイメージング」「コネクテッドメディア」「スマートプロダクション」を研究の大きな柱として，基礎から実用化まで幅広く研究開発に取り組んだ。

また，諸外国の放送機関や研究機関との連携を深めて国際展開を図るとともに，放送関連を中心とする標準化機関に参加し，技術基準の策定に貢献した。研究成果は，学会活動や放送技術研究所（技研）開所90周年企画などを通じて公開した。また，番組制作への活用，特許権の実施許諾，技術協力による技術移転などの形で，研究成果の社会還元に努めた。

リアリティーイメージング

将来の新しい放送メディア技術の実現を目指して，高い臨場感や実在感を提供できる３次元映像技術の基礎的なデバイスの試作から，高精細表示技術，認知科学的な視点による評価など幅広い分野で研究開発を進めた。AR（拡張現実）やVR（バーチャルリアリティー）技術を活用して，視聴者に新たなユーザー体験を提供するための検討を進めるとともに，音声を含む３次元空間情報の伝送技術の研究に取り組んだ。

20年度は，高精細３次元映像技術の研究では，空間像再生方式である「アクティナビジョン」によるハイビジョン解像度相当の３次元映像表示を実現した。３次元表示デバイスの要素技術に関する研究では，高密度液晶デバイスを試作し，静止画ホログラムの再生を実証した。理想的なヘッドマウントディスプレーの開発に資する，人間の基本的な知覚特性を明らかにする研究に取り組むとともに，視聴者を取り囲む円筒型ディスプレーを評価用実験装置として開発した。

さまざまなコンテンツを好みの視聴端末に合わせて提供するダイバースビジョン基本アーキテクチャの研究を開始し，次世代の撮像・表示・音響・映像符号化技術の研究を進めた。撮像関係では，８Kスーパーハイビジョンカメラのオートフォーカスシステムなどの試作に取り組んだ。音響関係では，オブジェクトベース音響と音声メタデータの検討を進め，MPEG-H 3D Audio（3DA）のリアルタイム符号化・復号装置を開発した。映像符号化技術の研究では，次世代の映像符号化に向けた要素技術の検討を進め，映像符号化方式VVC（Versatile Video Coding）の要素技術を開発，提案するなど，VVCの標準化活動において広く寄与した。

伝送技術の研究では，12GHz帯や21GHz帯の放送衛星を用いた大容量の衛星放送伝送技術，４K放送や多彩なサービスの実現に向けた地上放送の高度化技術，ワイヤレスカメラを含むミリ波帯を活用した大容量無線伝送技術の研究を進めた。

コネクテッドメディア

放送と通信が連携したコンテンツ提供に関する技術の研究として，放送局のコンテンツを，伝送路を意識することなく，さまざまなデバイスや視聴者の状況に適した形であまねく届けるための研究を進めた。

20年度は，各種IoTデバイスが自律的に放送コンテンツを発見，取得，提示する仕組みである「IoTメディアフレームワーク」のプロトタイプを開発した。また，ハイブリッドキャストコネクトをWoT（Web of Things）で活用するためのツールを一般に公開した。人と一緒にテレビを視聴する「テレビ視聴ロボット」の研究では，独自形状のロボットを試作するとともに，ロボットの受容性や人への効用の調査に取り組んだ。暗号・情報セキュリティー技術の研究では，量子コンピューターによる攻撃を考慮した暗号方式の技術開発に取り組んだ。IP技術を活用した番組制作・素材伝送システムの研究では，２K／４K／８Kに対応するマルチフォーマットIP伝送装置の開発などに取り組んだ。

スマートプロダクション

1　インテリジェント番組制作

AI（人工知能）技術を活用した効率的な番組制作環境を実現するインテリジェント番組制作技術の研究に取り組んでいる。

ソーシャルメディアに代表されるテキストビッグデータから番組制作に役立つ情報を取得する研究では，ユーザーの投稿から新型コロナウイルスに関連する有用な情報を特定する技術を開発するとともに，トレンド分析やフェイクニュース判定のための基礎技術の研究を進めた。画像・音声解析技術の研究では，映像へ人名メタデータを自動付与するシステムを試作し，トライアル利用を開始した。さらに番組映像の自動要約や画像の重要性を推定するアプリケーションの試作，取材音声や音声素材を文字化する書き起こし支援のための音声認識等にも取り組んだ。実空間センシングによる新映像表現手法の研究では，AI技術を応用した制作支援や，被写体の3次元モデルなどの情報を取得するメタスタジオ基盤技術の研究を進めた。

2 ユニバーサルサービス

あらゆる人が必要な情報に接し，楽しむことができるユニバーサルな放送サービスを実現するための研究に取り組んでいる。

番組の音声を自動で認識し，字幕で伝える自動字幕付き放送の実現に向けた研究では，字幕データをハイブリッドキャスト対応受信機向けに配信するトライアルを7県に拡大して実施した。また，常時同時配信・見逃し配信「NHKプラス」の生字幕同期サービスの提供にも協力した。番組内容を音声で補完する研究では，合成音声の高品質化に取り組むとともに，地域放送局でラジオ気象情報の一部を音声合成で提供するサービスの全国展開に向けた支援を行った。手話CGの研究では，完全自動生成により全国47都道府県（県庁所在地）の気象情報を提供するシステムを開発し，運用を開始した。映像と同期した触覚による情報提示を行う研究では，映像解析による触覚情報の取得や編集・制御手法，球状の触覚デバイスによる刺激の提示の各技術を開発し，それらを融合した「体感メディア制作システム」の試作を進めた。

次世代放送用デバイス・材料

次世代の放送技術を支える撮像，記録，表示の各要素技術の研究を進めた。

撮像技術では，小型で高精細なカラーカメラの実現を目指したRGB積層型撮像デバイスの研究を進め，3層構造のカラー撮像デバイスを試作した。高精細な3次元情報の取得を目指したコンピュテーショナルフォトグラフィーの研究では，インコヒーレントホログラフィーによる3次元情報取得と，高解像度の画像を再構成する符号化撮像手法の原理検証を進めた。記録技術では，微小磁区並列デバイスを用い，記録素子を一体化形成した4並列磁性細線メモリーの研究を進めた。表示技術では，フレキシブル有機EL（Organic Light-Emitting Diode: OLED）ディスプレーの長寿命化に向け，電子注入材料の開発と高効率で動作安定性の高い逆構造OLEDの研究や，低毒性量子ドット（Quantum Dot: QD）を用いた高色純度のEL素子（QD-LED）の研究開発を進めた。

外部との連携

1 放送技術研究委員会

外部の学識経験者からなる放送技術研究委員会を2回開催した（**表1**）。

表1　放送技術研究委員会委員

（2021年3月現在）＜敬称略＞

◎：委員長　○：副委員長

◎相澤　清晴	東京大学大学院　情報理工学系研究科　教授
荻原　直彦	総務省　情報流通行政局　放送技術課長
門脇　直人	国立研究開発法人　情報通信研究機構　理事
金丸　正剛	国立研究開発法人　産業技術総合研究所　副理事長
小池　康博	慶応義塾大学　教授
小林　哲則	早稲田大学　理工学術院　基幹理工学部　情報通信学科　教授
柴田　康弘	日本テレビ放送網株式会社　執行役員　技術統括局長
寒川　哲臣	NTT先端技術総合研究所　所長
○高田　潤一	東京工業大学　環境・社会理工学院　教授
高原　淳	九州大学　先導物質化学研究所　教授
中村　元	株式会社KDDI総合研究所　代表取締役所長
前　進	株式会社テレビ東京　取締役
松田　一朗	東京理科大学　理工学部　電気電子情報工学科　教授
三好　正人	金沢大学　理工研究域　電子情報通信学系　教授
村田　正幸	大阪大学大学院　情報科学研究科　教授

2 研究アドバイザー，客員研究員

研究アドバイザー会議を８回開催した。また，５件の研究題目を客員研究員に委嘱し，研究を実施した（**表２～３**）。

表２　研究アドバイザー

（2021年３月現在）＜敬称略＞

伊丹　誠	東京理科大学　基礎工学部　教授
伊東　晋	東京理科大学　名誉教授
大槻　知明	慶応義塾大学　理工学部　教授
甲藤　二郎	早稲田大学　理工学術院　基幹理工学部　教授
後藤　厚宏	情報セキュリティ大学院大学　学長
塩入　諭	東北大学　電気通信研究所　所長
染谷　隆夫	東京大学　工学系研究科　教授
田中　陽一郎	東北大学　電気通信研究所　教授
徳丸　克己	筑波大学　名誉教授
羽鳥　光俊	東京大学　名誉教授
浜本　隆之	東京理科大学　工学部　教授
板東　武彦	新潟大学　名誉教授
平栗　健史	日本工業大学　基幹工学部　教授
Timothy John Baldwin	メルボルン大学　教授

表３　客員研究員

（2021年３月現在）＜敬称略＞

芦村　和幸	慶応義塾大学　大学院　政策・メディア研究科　特任教授
池辺　将之	北海道大学　量子集積エレクトロニクス研究センター　教授
巖淵　守	早稲田大学　人間科学学術院　教授
小川　哲司	早稲田大学　理工学術院　教授
藤井　俊彰	名古屋大学　大学院　工学研究科 教授

3 外部連携

【1】海外の研究機関等との連携

欧州放送連合（EBU）の技術委員会傘下のBTF（Broadcasting Technology Futures Group）において，放送メディアの将来ビジョンを検討するVision Reportサブグループに継続して参加した。技研からは主にユーザー体験，コンテンツ制作技術の将来像について寄与し，BROADCAST TECHNOLOGY FUTURES GROUP REPORT 2020が12月に発行された。また，BTFのメンバーであるIRT（ドイツの放送技術研究所）が閉鎖されたことを受けて，BTFの基本方針の見直しの議論を行った。また，3GPP（3rd Generation Partnership Project）規格を用いたMBMS（Multimedia Broadcast and Multicast Service）の放送利用を検討するMTS（Mobile Technologies Standards）グループに参加し，5Gシステムの放送利用について検討した。

【2】共同研究，連携大学院

20年度には，放送通信連携サービスの検証から新規材料開発などの基礎分野に至るまで，総数20件の共同研究および25件の研究相互協力を実施した。

また，７つの大学（千葉大学，電気通信大学，東京工業大学，東京電機大学，東京理科大学，東北大学，早稲田大学）と教育研究に対する連携・協力などを目的とした連携大学院の協定を結び，非常勤講師の派遣，実習生の受け入れなどを行った。

【3】滞在研究員，実習生の受け入れ，研究者の海外派遣

関係各国との情報交換や相互の放送技術発展のため，国内外から滞在研究員を受け入れているが，20年度は新型コロナウイルス感染拡大による影響を受け，研究者の受け入れは行わなかった。

大学等からの要請により，卒業論文や修士論文作成のための実習生を３校（東京理科大学，電気通信大学，東海大学）から６名受け入れ，指導を行った。

海外における研究のため，アメリカに研究員１名を派遣した。当初は１年間の派遣予定であったが，新型コロナウイルス感染拡大の影響により予定より早く派遣を終了した。

【4】委託研究の受託

放送技術関連の研究をより効果的・効率的に推進するために，国および公的機関の研究開発プロジェクトに積極的に参加して研究を実施している。20年度は公的機関（NICT，JST，A-PAB）から委託された３件の研究等を実施した（**表４**）。

表４　委託研究

多言語音声翻訳高度化のためのディープラーニング技術の研究開発
トポロジカル表面状態を用いるスピン軌道トルク磁気メモリの創製
放送用周波数を有効活用する技術方策に関する調査検討業務（技術試験事務）

4 標準化機関への参加

放送技術を中心とした国内外の標準化活動に積極的に参加し，技研の研究成果を寄与することで技術基準の策定に貢献した。

国際電気通信連合無線通信部門（ITU-R）のSG5（Study Group 5）（地上業務）では，マイクロ波帯およびミリ波帯での他業務との共用検討に用いるFPUシステム特性の勧告にSHV-FPUの仕様を反映する改訂を提案した。SG6（放送業務）では，地上デジタル放送における新方式の導入方策，異なる放送通信連携方式間の調和，オブジェクトベース音響用符号化方式の要求条件，４K８K衛星放送の最新情報，臨場感・体感の向上やアクセス性改善のための触覚技術，番組制作におけるAI活用事例，AR／VRの新たなユースケースや試作事例などを寄与した。

国際標準化機構（ISO）と国際電気標準会議（IEC）の合同委員会の作業グループであるMPEG（Moving Picture Experts Group）では，次世代映像符号化方式VVC（Versatile Video Coding）の最終国際規格案発行や性能評価試験の推進に寄与した。イマーシブメディア関連の標準化では，ユースケース，要求条件やイマーシブメディアの次フェーズに向けた技術要件などの議論に参加した。

SMPTE（Society of Motion Picture and Television Engineers）では，４K８Kファイルフォーマットで用いるHEVCストリームのMXFへのマッピングやマルチチャンネル音響ラベリングの議論に参加したほか，カメラの解像度特性測定方法を国内メーカーと共同で提案した。

アジア・太平洋放送連合（ABU）の技術委員会では，長年にわたるABU活動への貢献が技術優秀賞として表彰されたほか，次世代地上放送，４K８K衛星放送，放送通信連携システム，IPリモート制作などの研究開発状況を報告した。

これらのほか，米国ATSC（Advanced Television Systems Committee），オーディオ技術協会（AES），モバイル通信規格を策定する3GPP（3rd Generation Partnership Project），IP番組制作システムの接続制御方式の標準化を行うAMWA NMI（Advanced Media Workflow Association Networked Media Incubator），Webで用いられる技術標準を規定するW3C（World Wide Web Consortium）などの国際標準化機関・プロジェクト，（一社）電波産業会（ARIB），（一社）電子情報技術産業協会（JEITA），（一社）情報通信技術委員会（TTC），（一社）IPTVフォーラムなどの国内標準化機関にも参加して，標準化を推進した。

研究成果の発表と活用

1 研究成果の公開

【1】技研開所90周年企画

技研は20年６月１日に開所90周年を迎えた。20年は技研公開を開催せず，秋に開所90周年記念企画を実施した。この企画は新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮し，オンライン開催とした。

10月16日から技研ホームページに特設サイトを設け，技研の90年の技術研究の歴史を振り返る動画や，最新の研究内容を小学生や中学生にもわかりやすく紹介する「ラボトーク」の動画などを掲載した（**表５**）。

表５　技研開所90周年　特設サイト掲載動画

ラボトークⅠ 「未来のテレビ！～フレキシブル有機ELディスプレー～」
ラボトーク２ 「テレビが100倍楽しくなる！立体音響技術」
ラボトーク３ 「AIで，白黒をカラーにするテレビ！」
NHK放送技術研究所90年の歴史
びっくり！ふしぎな地球のテレビだニャ ～技研の特撮・音声技術のあゆみ～
砧からの風景　　－ 技研屋上VR －
技研探検（VR）　－ とくしゅ実験室 －

【2】所外での展示

新型コロナウイルスの世界的な拡大による影響から，出展を予定していた海外の展示会はオンライン開催に変更された。毎年４月に開催される世界最大の放送機器展であるNAB（National Association of Broadcasters）Showは，NAB Show Expressとして５月にウェブサイト上で開催された。NHKは出展社ページにて，30インチフレキシブルOLEDディスプレー，８K120Hzシステムや3D表示技術，ARを利用したTV視聴サービスなどの研究開発成果を紹介した。NAB Show Expressには世界中から約４万人のアクセスがあった。

９月には欧州最大の放送機器展IBC（International Broadcasting Convention）のオンラインイベントIBC Showcaseが開催され，出展社ページにてVR・ARによる空間共有コンテンツ

視聴システムやオブジェクトベース音響，８K関連技術，スポーツ生中継に向けた自動解説音声技術などを展示した。また，IBC Showcaseに合わせて技研ウェブサイト上に特設ページを開設し，動画を用いてさらに詳しく展示内容を紹介した。会期中のIBC Showcase訪問者数は約２万人であった。そのほか，ブラジルテレビ技術協会主催のSET eXPerienceでも日本パビリオン内にてビデオ展示を行った（**表６**）。

表６　海外展示（主なもの）

イベント名	日程	展示項目
NAB Show Express（オンライン）	5/13～14	30インチフレキシブルOLEDディスプレー，８K120Hzシステム，ミリ波帯８Kワイヤレスカメラ，８K JPEG-XSコーデック，視点追従型インテグラル３D映像，ARを利用した新しいTV視聴，放送とIoT機器の連携，アクティナビジョン
IBC Showcase（オンライン）	9/8～11	空間共有コンテンツ視聴システム，AR同期伝送技術，高精細VR，Before/After VR，オブジェクトベース音響，アクティナビジョン，30インチフレキシブルOLEDディスプレー，８K120Hzシステム，有機膜を積層した３層カラー撮像素子，スポーツ生中継に向けた手話CG自動生成技術及び自動解説音声技術
SET eXPerience（オンライン）	12/1～3	空間共有コンテンツ視聴システム，AR同期伝送技術，高精細VR，Before/After VR，オブジェクトベース音響

新型コロナウイルスの世界的な拡大による影響から，出展を予定していた国内展示会はオンライン開催に変更された。毎年11月に開催される国際放送機器展InterBEEは，11月18日から20日に「InterBEE 2020 ONLINE」としてウェブサイト上で開催された。技研はNHK／JEITAの展示コーナーの中で，空間共有コンテンツ視聴システムや360度映像の比較再生システムなどの研究成果を紹介した。

NHKの公開スペース「NHKプラスクロスSHIBUYA（渋谷スクランブルスクエア14階）」で９月28日から11月23日まで開催された「放送のミライ展」では，フレキシブル有機ELディスプレーや高精細VR映像，広い視域で見ることができるインテグラル3D映像などを展示した。この「放送のミライ展」で紹介した技研の研究の一部は12月５日から12日に開催されたNHK福岡放送局の開局90周年イベントやNHK甲府放送局のイベントでも展示した（**表７**）。

表７　国内展示（主なもの）

イベント名	日程	展示項目
昆虫大好き！Bugs Park（秋田放送局）	8/22～23	昆虫マイク
放送のミライ展	9/28～11/23	高精細VR映像ほか
InterBEE 2020 ONLINE	11/18～20	空間共有コンテンツ視聴システムほか
福岡放送局開局90周年イベント（福岡放送局）	12/5～12	フレキシブル有機ELディスプレー
放送のミライ展in甲府（甲府放送局）	1/15～28	視点追従型インテグラル３D映像

【3】学会などへの発表

（一社）映像情報メディア学会，（一社）電子情報通信学会などの国内学会で研究成果を多数発表したほか，Nature Communications，Scientific Reports，Optics Express，IEEE Transactionsなどの海外学会誌に論文が採録された（**表８**）。

表８　学会などへの発表

国内学会誌	40件
海外学会誌	30件
国内学会・研究会など	172件
海外学会・国際会議など	79件
一般雑誌などへの寄稿	46件
部外への講師派遣	28件
合計	395件

【4】報道発表

技研の研究成果を中心に，４件の報道発表を行った（**表９**）。

表９　報道発表

年月日	発表内容
2020. 6.26	有機膜を積層した３層カラー撮像素子を開発
7.27	VR・ARを活用した空間共有コンテンツ視聴システム
8.31	新たな有機EL用材料を開発
10.21	新たな日本語音声合成システムを開発

【5】視察，見学，取材への対応

報道発表した空間共有コンテンツ視聴システムなどに対して，５件の取材があった。20年度は国内外での新型コロナウイルスの感染拡大の影響

により，視察・見学は国内の放送関係者など数件であった。

【6】機関誌

技研の研究活動と研究成果を国内外に周知する，以下の機関誌などを発行した。

『NHK技研R＆D』は20年度からは年４回発行の季刊とし，「光・磁気ストレージデバイス」や「番組制作支援のための画像・音声処理技術」などを特集した。

海外向けの『Broadcast Technology』では，「AR／VRを活用した空間共有コンテンツ視聴システム」や「有機膜を積層した３層カラー撮像素子」など，最新の研究内容や動向を紹介した（**表10**）。

表10　機関誌

技研だより（和文，月刊）	No.181～No.192
NHK技研R＆D（和文，季刊）	No.181～No.184
研究年報（和文，年刊）	2019年度版
Broadcast Technology（英文，季刊）	No.80～No.83
ANNUAL REPORT（英文，年刊）	2019年度版

【7】ウェブサイト

技研の概要，研究内容，報道発表，刊行物，イベント情報などを紹介する技研の公式ウェブサイトを４月にリニューアルした。リニューアル後は，記事のタイトルと大きなサムネール写真をホームページ上に並べ，ダイレクトに記事にアクセスできるようにするなどデザインを一新した。さらに，視覚に障害のある方のアクセシビリティにも配慮したデザインを採用するとともに，研究活動への理解を深める目的で，関連記事をお勧めするレコメンドの機能も追加した。英語サイトも同様にリニューアルするとともに，ツイッターの英語アカウントも開設し，海外向けPRの充実を図った。

2　研究成果の活用

【1】番組制作への活用

研究開発成果は，さまざまな番組で利用されている。BS８K放送のスポーツ番組制作では，大相撲中継や水泳競技の番組で８Kスローモーションシステムが活用された。ほかにも，白黒映像の自動カラー化技術や，AR／VRを活用した空間共有コンテンツ視聴システムなども番組制作で活用された。20年度に実施した番組協力は23件であった。

【2】産業財産権などの現況

研究開発成果の特許出願および権利化を国内外において推進した。パテントプールへの参加を通して，NHKが保有する新４K８K衛星放送や高効率映像符号化の規格などに関わる標準必須特許の利用促進を図り，放送サービスの円滑な普及に寄与した。技術移転が可能なNHKの保有技術を紹介する「技術カタログ」を充実させるとともに，「CEATEC 2020 ONLINE」や地方自治体などと連携したイベントに参加し，NHKの保有技術を利用する仕組みを紹介した（**表11～14**）。

表11　特許などの出願状況

区分		新規出願数	20年度末件数
国内出願	特許	340	1096
	実用新案	0	0
	意匠	0	2
海外出願		68	179
合計		408	1277

表12　特許権などの保有状況

区分		新規取得数	20年度末件数
国内出願	特許	198	2030
	実用新案	0	0
	意匠	0	0
海外出願		8	107
合計		206	2137

（新規取得についての詳細⇒p.641，645）

表13　特許権などの実施許諾状況

区分		新規許諾数	20年度末件数
契約件数		21	309
許諾権利数		59	540
	（内訳）		
	特許権	44	285
	ノウハウ	15	255

表14　技術協力

区分	件数（うち前年度からの継続）
技術協力	11（2）
受託研究	3（2）

第3章

視聴者対応

視聴者対応業務

窓口業務と意向集約

1 視聴者との窓口

【1】概要

20年度，全国のNHKに寄せられた視聴者からの意見や問い合わせは，合わせておよそ311万2,000件だった。新型コロナ感染拡大防止のため電話受付体制を縮小したこともあり，19年度に比べておよそ65万件減少した。このうち放送への反響は，全国で93万件だった。視聴者からの問い合わせに迅速・丁寧に答えるとともに，意見・要望を重要な経営資源として受け止め，番組制作や事業活動に反映させることに努めた。

【2】ふれあいセンター（放送）

ふれあいセンター（放送）では，寄せられた視聴者の意見・要望をデータ化し，速やかにフィードバックすることで，番組編成や制作現場における視聴者意向の反映につなげている。20年度にふれあいセンター（放送）で受け付けた視聴者からの意見・要望は，電話が52万5,900件，メールが21万6,000件などで，計75万7,000件であった。

20年度は，新型コロナの感染拡大防止のため，４～８月末まで約150日間にわたり電話受付業務の営業時間短縮などの対応を余儀なくされた。その間，コミュニケーターに空いた時間を利用した応対品質向上の研修を行い，再開後のスキル向上に努めた。またコミュニケーターを対象に今回は無観客で行われた『NHK紅白歌合戦』など多数の問い合わせが予想される案件についての勉強会を実施するなど，視聴者対応の向上を図った。

【3】NHKハートプラザ

本部および全国各放送局（一部支局を含む）のNHKハートプラザでは，来訪した視聴者の意見や問い合わせに担当者が直接対応した。またNHKの情報公開窓口としても機能した。新型コロナが感染拡大するなか，来館者対応においても，アクリル板設置，消毒・換気の励行，来館者同士の距離確保などの対策を徹底した。

NHKハートプラザは団体見学も担っているが，受け入れ困難な状況が続くなか，一部の放送局では検温義務化や人数制限などの対策を取って対応した。これまで中学生・高校生の訪問学習を受け入れてきた本部のNHKハートプラザではコロナ時代に合わせた試みとして，オンラインで学校と結び，放送に関する生徒たちの質問に答える「バーチャル訪問学習」を３月に実施した。

2 視聴者意向の集約と活用

【1】意向の件数と内容

電話，メール，手紙，FAX，来局で，全国のNHKに寄せられた20年度の意向件数の内訳は次のとおり。

視聴者からの意見・問い合わせ件数

〔内容別〕　（単位　千件）

内容／年度	経営関係	放送関係	受信料関係	技術・受信相談	その他	合計
20	3	930	1,724	55	400	3,112

〔受付方法別〕　（単位　千件）

区分	電話	投書	来局	ファックス	インターネット	その他	合計
件数	2,536	115	28	8	386	39	3,112
比率(%)	81.5	3.7	0.9	0.3	12.4	1.3	100

番組別では，『あさイチ』が２万1,000件で最も多く，次いで『NHKニュース　おはよう日本』に１万9,100件，『NHKスペシャル』に１万6,100件，『NHKニュース７』に１万5,800件，『連続テレビ小説』「エール」に１万5,100件などの意見・問い合わせが寄せられた。

【2】意向の集約と周知

ふれあいセンター（放送）や全国の各放送局に寄せられた意見・問い合わせなどを集約し，放送現場や番組編成の参考となるよう，その結果をさまざまな形で報告した。

１週間ごとに集約する「週刊みなさまの声」

では，反響が多かった番組や注目すべき番組への主な意見内容やツイッターの反響を紹介し，一部は放送番組審議会の資料としても利用された。1月には内容をリニューアルし，ツイッターの反響紹介ページを拡充するなど，内容の充実を図った。「週刊みなさまの声」「月刊みなさまの声」はともに全役職員が閲覧できる視聴者対応システムに掲載。このほか，大きな反響が想定される番組や案件，経営に関わる案件については，視聴者意向を別途，特別に集約し，ツイッターの反響分析結果と合わせて関係部局に周知した。

また，08年４月の放送法改正で，視聴者からの苦情を含めた意見に適切かつ迅速に対応し，その対応結果の概要を経営委員会に報告することが義務づけられたことに伴い，ふれあいセンターや本部各部局，全国の各放送局などに寄せられた意見・苦情などを取りまとめて「視聴者対応報告」を作成し，３か月に１度，理事会で審議決定し，経営委員会に報告した。

「週刊みなさまの声」の概要と「月刊みなさまの声」をNHKオンラインに掲載したほか，視聴者から寄せられた意見や要望，視聴者の声を反映した取り組みなどをまとめた年度報告「NHK視聴者ふれあい報告書」を発行，NHKオンラインにも公開した。







イベント事業

概　況

公共放送NHKだからこそできる多彩な公開番組やイベントを全国各地で1,449本実施し，943万人の視聴者とのコミュニケーション強化を図った。イベント参加者へのアンケートでは，全国平均でNHKの価値実感度は91.2%，NHKへの好感度上昇率は68.2%と，いずれも高位の数値を得た。また，アンケートの結果を，視聴者コミュニケーション活動としてのイベントのPDCAサイクル推進に活用した。

地域の要請に応じて全国各地で多彩な全国放送公開番組を実施したほか，全国各地のオーケストラが生誕250周年のベートーベンの交響曲の演奏で日本をつなぐ公演や，番組と連動した展覧会など，音楽や芸術に直接触れる機会を積極的に創出した。

またオンラインを利用して「福祉」「防災」「食料」などの社会的な課題に応えるキャンペーンを実施したほか，未来を担う若い世代を対象としたイベント，４K･８Kスーパーハイビジョンのプロモーションイベント，東日本大震災から10年を機に特別企画「震災と未来」展など，コロナ禍の状況ではあったが感染拡大防止対策をとりながら，さまざまなイベントを推進した。

全国放送公開番組

1 地域要請に応じて実施した公開番組

計51本の公開番組を，地方自治体などの協力を得ながら実施した。東日本大震災の被災地に公開番組を重点的に配置し，『NHKのど自慢』（3.7，宮城県南三陸町）等で，被災地に元気と笑顔を届けた。

【1】総合テレビ

総合テレビ：15本（『NHKのど自慢』・富田林市，当別町など計30か所，『民謡魂　ふるさとの唄』・鶴岡市，四国中央市など計５か所，

『LIFE！』・釜石市は新型コロナウイルスの影響により中止）。

【2】Eテレ

Eテレ：４本（『俳句王国がゆく』・日南町，大空町，『すイエんサー』・神栖市，長野市，『にほんごであそぼ』・村上市，楢葉町，『ハートネットTV』・美馬市，佐伯市，『ノージーのひらめき工房』・七飯町は新型コロナウイルスの影響により中止）。

【3】BSプレミアム

BSプレミアム：12本（『新・BS日本のうた』・知立市，龍ヶ崎市など計27か所，『みんなDEどーもくん！』・瑞穂町，柏崎市など計７か所は新型コロナウイルスの影響により中止）。

【4】ラジオ第１

ラジオ第１：11本（『上方演芸会』・奈良市，笛吹市など計11か所，『真打ち競演』・訓子府町，野木町など計９か所，『徳井青空のあにげっちゅ』・大月市，『鉄旅・音旅　出発進行！』・新十津川町，雲仙市，『DJ日本史』・長浜市，『ラジオ深夜便のつどい』・観音寺市，羽曳野市など計３か所，『ラジオ体操』・東大和市，羽曳野市など計50か所は新型コロナウイルスの影響により中止）。

【5】FM

FM：９本（『民謡をたずねて』・小千谷市，都城市など計８か所，『ベストオブクラシック』・横手市，『リサイタルパッシオ』・宇治市，『弾き語りフォーユー』・山梨市，『×（かける）クラシック』・南アルプス市は新型コロナウイルスの影響により中止）。

2 NHKホール・NHK大阪ホール等で実施した公開番組

【1】定時番組（NHKホール）

『うたコン』（６本）2,998人（新型コロナウイルスの影響により30本が中止）。
『ザ少年倶楽部』（新型コロナウイルスの影響により13本が中止）。

【2】主な定時番組（NHK大阪ホール）

『うたコン』（１本）224人（新型コロナウイルスの影響により７本が中止）。

【3】主な特集番組

『NHK東西浪曲大会』
４月10日　イイノホール（開催中止）。
『第50回NHK講談大会』
４月11日　イイノホール（開催中止）。
『新・BS日本のうた　スペシャル』
10月15日　NHKホール　383人。
『第20回わが心の大阪メロディー』
10月27日　NHK大阪ホール　125人。
『NHK新人お笑い大賞』
11月１日　イイノホール　43人。
『NHK新人落語大賞』
11月２日　イイノホール　45人。
『The Covers' Fes. 2020』
12月８日　NHKホール　831人。
『第71回NHK紅白歌合戦』
12月31日　NHKホール（無観客開催）。
『演歌フェス2021』
２月13日　NHKホール（無観客開催）。
『NHKのど自慢チャンピオン大会2021』
２月27日　NHKホール（開催中止）。
『第49・50回日本農業賞記念コンサート』
３月６日　NHKホール（開催中止）。

3 外部施設実施分 NHK単独主催の公開番組

【主な公開番組】
『NHKのど自慢』（１本：NHK大阪ホール），『うたコン』（１本：三重県文化会館）。
ともに，新型コロナウイルスの影響により中止した。

公共放送ならではのイベント・キャンペーン

1 「福祉」イベント

05年度から展開してきた福祉キャンペーン「NHKハートプロジェクト」を引き継ぐ形で，さまざまな「福祉」イベントを実施した。すべての人が共に生きる社会を目指し，公共放送だからこそ可能な福祉への取り組みを総合的にアピールした。

【1】NHK福祉イベント「コロッケの“やさしいまち”探訪」

Eテレの番組『ハートネットTV』の公開収録とトークショーを町田市で実施した。入場者273人。

【2】NHK歳末たすけあい・NHK海外たすけあい

12月１日から25日まで中央共同募金会（歳末たすけあい），日本赤十字社（海外たすけあい），NHK厚生文化事業団とともに実施した。

歳末たすけあいは，４万2,198件，６億4,406万2,058円で，各都道府県共同募金会を通じて国内の福祉施設やコロナ禍で不安を抱える人など，支援を必要とする人々のために役立てた。

海外たすけあいは，８万6,964件，７億5,038万8,183円で，日本赤十字社を通じてコロナ禍の世界各地で，紛争や自然災害，感染症などに苦しむ人々のために役立てた。

【3】NHKハート展2020 －DIVE TO HEART!－（第25回）

障害のある人がつづった詩の展覧会で，1994年度から開催。第25回は3,419編の詩の応募があり50編の詩を展示。展覧会は全国８会場で実施した。入場者7,531人。

【4】NHKハートフォーラム

新型コロナウイルス感染拡大防止のため，オンライン上でフォーラムを開催。「認知症」「発達障害」「共生社会」などをテーマに13回実施した。参加者4,529人。／主催：NHK各放送局，NHK厚生文化事業団，開催地自治体ほか

【5】交流教室 パラリンピアンがやってきた！

東京パラリンピック開催に向けて，より障害者スポーツへの理解とパラリンピックへの関心を高めるイベントとして都内４つの小学校で実施した。種目はブラインドサッカー，車いすバスケットボール，陸上，車いすラグビー。参加者420人。／主催：NHK各放送局，NHK厚生文化事業団，東京都障害者スポーツ協会

【6】NHK介護百人一首

毎年，介護に関わる人々が日々の生活の中で詠んだ短歌を全国から公募。19年度の募集で最後となる「NHK介護百人一首2020」の100首は，作品集やホームページで紹介した。

【7】第55回NHK障害福祉賞

障害のある人やその支援をする人たち等の体験手記を募集し，優秀作品を表彰した。応募数は484編。

【8】第54回NHK福祉大相撲

人気力士と歌手の歌くらべや幕内取組などを楽しんでもらうイベントを２月６日に国技館で実施する予定であったが，新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。例年，イベント純益で福祉車両「福祉相撲号」を購入し，全国の福祉施設・団体に贈呈しているが，今回はNHK厚生文化事業団から計５台を「NHK厚生文化事業団号」として贈呈した。20年度までの贈呈台数は延べ326台。

2 公共放送キャンペーン

【1】防災　関連イベント

“いざという時のNHK”をアピールするとともに，視聴者の防災意識を高めるイベントを全国で展開した。全国３会場で開催した。参加者1,026人。

【2】ふるさとの食　にっぽんの食

01年度より「日本の食文化の伝承」「地産地消」「食育」をテーマに全国で展開しているキャンペーン。JAやJFなどと実行委員会を組織し，全国的に推進した。20年度は，新型コロナウイルスの感染拡大防止のため，初めてオンラインで開催した。

❶全国フェスティバル

特設ホームページを開設し，３月６～７日にオンラインで開催した。参加者数は２日間で6,374人。

❷地域イベント

全国９会場で開催予定だったがいずれも新型コロナウイルスの影響で中止した。

❸食料フォーラム

10月に東京都千代田区で，２月に宮城県仙台市でオンライン初開催。参加者数は10月115人，２月86人。

こども・青少年イベント

1 各イベント

【1】おかあさんといっしょファミリーコンサート

新型コロナウイルスの影響で，当初予定していたNHKホールでの８日間16公演，地方での11会場28公演を全て中止した。

【2】いないいないばあっ！ ワンワンわんだーらんど

新型コロナウイルスの影響で，当初予定していた全国９会場30公演を全て中止した。

【3】ワンワンわんだーらんど☆たんけんひろば

「いないいないばぁっ！ワンワンわんだーらんど」の全公演中止に伴い幼児向けの新しいイベントとして２月23日に札幌局新放送会館にて実施した。新型コロナウイルスの感染再拡大の影響で１月30日に埼玉県久喜市での実施と31日の公開収録企画を中止した。

【4】おかあさんといっしょ宅配便「ガラピコぷ〜小劇場」

『おかあさんといっしょ』のキャラクター「ガラピコぷ〜」による全国を巡回するミニステージショーを，29会場（58公演）で実施した。入場者7,531人。※新型コロナウイルス感染拡大防止のため，22会場（44公演）を中止した。

【5】『おかあさんといっしょ』スタジオ収録〜親子で遊ぼう！〜

『おかあさんといっしょ』のうち，子どもが参加するコーナーの収録，３会場を予定していたが，新型コロナウイルス感染拡大防止のため２会場，大雪のため１会場を中止した。

【6】第87回NHK全国学校音楽コンクール

新型コロナウイルスの影響で地区，ブロック，全国コンクール全てを中止した。

代替企画として実施した「学校単位で参加！『みんなのハモリ場かたり場』」には全国から328組341校の動画投稿があり，ホームページに964件の応援コメントが寄せられた。「最終学年のみんなで作る！『Nコン2020スペシャルメドレー』」には，514人からの動画投稿があり，11月23日に行った『Nコン2020みんなのコンサート』の中で紹介した。

【7】第37回NHK杯全国中学校放送コンテスト

新型コロナウイルスの影響で中止した。代替として作品募集企画「#放送部チャレンジ2020」を実施し，54校が参加した。

【8】第67回NHK杯全国高校放送コンテスト

新型コロナウイルスの影響で中止した。代替として作品募集企画「#放送部チャレンジ2020」を実施し，94校が参加した。

【9】NHKこども音楽クラブ〜N響が○○小学校（中学校）にやってきた〜

NHK交響楽団のメンバーが小・中学校に出向いて児童・生徒との交流を交えながら演奏を行うミニコンサート。全国の小・中学校，11会場（うち，５会場が震災や気象災害の被災地）で実施し，公共放送への理解を深めた。参加者2,795人。新型コロナウイルス感染拡大の影響で１会場を中止した。

【10】アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2020

全国の高等専門学校53校（58キャンパス）から146チームが参加して，競技課題に従い，自らのアイデアを駆使して想像力と技術力を競った。８地区からの選抜28チームが11月29日の全国大会に出場。新型コロナウイルスの影響で，地区大会・全国大会ともにオンラインで開催した。

【11】NHK学生ロボコン2020〜ABUアジア・太平洋ロボコン代表選考会〜

新型コロナウイルスの影響で，「学生ロボコン」「ABUアジア・太平洋ロボコン」ともに，開催を中止した。代替として，９月26日にオンラインで開催した「学ロボFESTIVAL」には27チームが参加し，上位２チームは，12月12日にオンラインで開催された「ABU ROBOCON FESTIVAL」に出場した。

【12】NHKサイエンススタジアム2020 with新しい日常

「カガクをあそびつくそう」のキャッチコピーのもと，12月５〜６日に日本科学未来館のほか，全国７か所の科学館もサテライト会場として結

び実施した。『なりきり！むーにゃん生きもの学園』『すイエんサー』など科学番組のオンラインを活用した公開収録や『バビブベボディ』の「新型コロナウイルス」について学ぶステージショーなどを実施した。参加者数は合計2,662人。

【13】『u&i』ステージワークショップ

多様性について理解を深める番組『u&i』のワークショップを4会場予定していたが，新型コロナウイルス感染拡大防止のため3会場を中止，1会場（松江市立忌部小学校）をオンライン形式で実施した。ファシリテーターとして参加した島根県立大学の学生26人を含む63人が参加した。

【14】『チコちゃんに叱られる！』笑顔を届けるステージ

全国各地のNHKイベントにチコちゃんが訪ねて行き，“学び”と“笑い”でエールを届けるステージショー。全国5会場を予定していたが，新型コロナウイルス感染拡大防止のため1会場を中止した。参加者数628人。

教育・教養イベント

1 放送教育関連イベント

【1】第71回放送教育研究会全国大会

11月13～14日に実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から，大阪府を運営本部としたオンライン開催とした。NHK for Schoolの番組やウェブサイトを活用した公開授業，実践発表，ワークショップなどを行い，放送教育の研究と交流を深める場となった。第24回視聴覚教育総合全国大会と合同で実施した。参加者数1,171人。

【2】放送教育研究会地方大会

各地方放送教育研究会などと共催し，全国8ブロックで地方大会を実施予定だったが，新型コロナウイルスの影響で，6地域で開催を中止した。近畿・九州地域ではオンライン開催に変更して実施した（**表1**）。

【3】NHK for School×アクティブ・ラーニング実践ワークショップ

放送教育実践者による模擬授業やメディア教育

表1　2020年度「放送教育研究会地方大会」

ブロック	タイトル	日程	開催地	全体会会場	参加者数
北海道 ※中止	第72回 北海道放送教育研究大会 第66回 北海道視聴覚教育研究大会合同大会 胆振大会	11月6日(金)	北海道 苫小牧市 ほか	苫小牧市文化交流センター	－
東北 ※中止	第61回放送教育研究会東北大会 秋田大会	11月27日(金)	秋田県 秋田市	秋田市立東小学校	－
関東甲信越 ※中止	第70回関東甲信越地方放送教育研究大会 第67回関東甲信越学校視聴覚教育研究大会 千葉大会	11月20日(金)	千葉県 千葉市	千葉市文化センター	－
東海・北陸 ※中止	第58回東海北陸地方放送教育研究大会 第52回愛知県放送教育特別研究会	8月25日(火)	愛知県 名古屋市	ウインクあいち	－
近畿 ※オンライン開催	第69回近畿放送教育研究大会 第70回近畿学校視聴覚教育研究大会 大阪大会 （全国大会として実施）	11月13日(金) 11月14日(土)	大阪府 大阪市 ほか	オンライン開催	1,171人
中国 ※中止	令和2年度中国地方放送教育研究交流大会 山口大会 ※2020年度は研修年	8月21日(金)	山口県 山口市	山口県 セミナーパーク	－
四国 ※中止	第51回放送教育研究会四国大会 高知大会	10月23日(金)	高知県 高知市	高知市立第六小学校	－
九州 ※オンライン開催	第69回九州地方放送教育研究大会 大分大会	2月12日(金)	大分県 大分市	オンライン開催	238人
					1,409人

研究者のワークショップを通じて，番組やウェブサイトの活用を支援した。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から，オンラインでの実施も含め，全国９会場で実施した。参加者770人。

【4】NHK for School『Why!?プログラミング』授業活用講座

プログラミング教育および授業での番組活用やICT導入を研究するメディア研究者と，ファシリテーターによるワークショップを通じて，番組やウェブサイトの活用を支援した。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から，オンラインでの実施も含め，全国５会場で実施した。参加者325人。

2 NHK全国短歌・俳句大会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため，両大会の公開での開催を中止し，選者の選評をまとめた冊子を発行して結果を公表した。NHK学園共催。全国および海外から短歌２万4,723首，俳句４万9,264句の応募があった。

3 NHK文化セミナー

『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」「青天を衝（つ）け」，『にっぽん百名山』『コズミックフロント☆NEXT』を題材に，NHK文化センター，地方自治体などと共催，全国で９本実施した。参加者1,268人。※新型コロナウイルス感染拡大防止のため５本を中止した。

美術・展博イベント

番組と連動したNHKならではの展覧会を開催予定していたが，新型コロナウイルス感染拡大に伴い，開幕直前だったものを含め中止とした（特別展「法隆寺金堂壁画と百済観音」，特別展「和食～日本の自然、人々の知恵～」ほか）。障害の有無に左右されず，人知れず表現し続ける人たちが創り出す作品を紹介する特別展「あるがままのアート－人知れず表現し続ける者たち－」では，来場者の安全を確保するため日時指定制を導入した。また，遠隔地から会場のロボを操作して展覧会を体験できるシステムを開発した。東日本大震災10年を機に，震災の教訓を未来に伝える特別企画「震災と未来」展を実施，NHKがこれまで記録・蓄積してきた映像や資料のほか，震災や復興にまつわる品々の展示を通じて，復興への取り組みと課題について考えるとともに，近年頻発する自然災害や発生が懸念される首都直下地震など今後の災害に対する備えも紹介した（**表2**）。

表2　2020年度　美術・展博イベント

展覧会名	主催	会場	会期	開催日数	入場者数（会場別）	総入場者数
国宝東塔大修理落慶記念 薬師寺展	法相宗大本山薬師寺，あべのハルカス美術館，読売新聞社，NHK大阪放送局，NHKプラネット近畿	あべのハルカス美術館	20年２月28日（金）～４月19日（日） 20年２月28日（金）～３月２日（月）途中閉幕	3	1,525	1,525
特別展「法隆寺金堂壁画と百済観音」 （開催中止）	東京国立博物館，法隆寺，朝日新聞社，NHK，NHKプロモーション，文化庁，日本芸術文化振興会	東京国立博物館本館 特別４・特別５室	20年３月13日（金）～５月10日（日）	0	0	0
特別展「和食～日本の自然、人々の知恵～」 （開催中止）	国立科学博物館，朝日新聞社，NHK，NHKプロモーション，文化庁，日本芸術文化振興会	国立科学博物館	20年３月14日（土）～６月14日（日）	0	0	0
「コートールド美術館展 魅惑の印象派」 〈継続・神戸展〉（開催中止）	神戸市立博物館，朝日新聞社，NHK神戸放送局，NHKエンタープライズ近畿	神戸市立博物館	20年３月28日（土）～６月21日（日）	0	0	0
御即位記念特別展 「雅楽の美」 （開催中止）	東京芸術大学，宮内庁，NHK，NHKプロモーション，日本経済新聞社	東京芸術大学大学美術館	20年４月４日（土）～５月31日（日）	0	0	0
特別展「恐竜展2020」－カムイサウルスは、なにをみたか。－ （開催中止）	北海道博物館，北海道新聞社，NHK札幌放送局，NHKエンタープライズ北海道，一般財団法人北海道歴史文化財団	北海道博物館	20年６月20日（土）～９月27日（日）	0	0	0

展覧会名	主催	会場	会期	開催日数	入場者数（会場別）	総入場者数
特別展「超人たちの人体」《東京2020公認プログラム》（開催延期）	NHK，日本科学未来館	日本科学未来館	20年７月10日（金）～９月６日（日） 21年７月17日（土）～９月５日（日）会期変更	0	0	0
「スポーツinアート展ーギリシャ彫刻×印象派の時代」（開催中止）	国立西洋美術館，日本経済新聞社，NHK，NHKプロモーション	国立西洋美術館	20年７月11日（土）～10月18日（日）	0	0	0
特別展「国宝　鳥獣戯画のすべて」（開催延期）	東京国立博物館，高山寺，NHK，NHKプロモーション，朝日新聞社	東京国立博物館 平成館	20年７月14日（火）～８月30日（日） 21年４月13日（火）～５月30日（日）会期変更	0	0	0
特別展「あるがままのアートー人知れず表現し続ける者たちー」	東京芸術大学，NHK，文化庁，日本芸術文化振興会	東京芸術大学 大学美術館	20年７月23日（木・祝）～９月６日（日）	40	22,405	22,405
特別展「イサム・ノグチ　発見の道」（開催延期）	東京都美術館，朝日新聞社，NHK，NHKプロモーション	東京都美術館	20年10月３日（土）～12月28日（月） 21年４月24日（土）～８月29日（日）会期変更	0	0	0
御即位記念　特別展「皇室の名宝」	京都国立博物館，宮内庁，読売新聞社，NHK京都放送局，NHKエンタープライズ近畿	京都国立博物館 平成知新館	20年10月10日（土）～11月23日（月・祝）	39	85,291	85,291
特別展「ジパング　世界と出会った日本の美」（開催中止）	東京国立博物館，東京新聞，NHK，NHKプロモーション	東京国立博物館 平成館	21年１月13日（水）～３月７日（日）	0	0	0
「永遠の都ー世界遺産ローマ展ー」（開催延期）	公益財団法人東京都歴史文化財団　東京都美術館，毎日新聞社，NHK，NHKプロモーション	東京都美術館	21年１月27日（水）～４月４日（日） 2023年・秋　会期変更	0	0	0
NHK大河ドラマ特別展「麒麟がくる」（大阪展：開催中止）	大阪歴史博物館，NHK大阪放送局，NHKエンタープライズ近畿，読売新聞社	大阪歴史博物館	20年４月25日（土）～６月14日（日）	0	0	18,589
	麒麟がくる展実行委員会（岐阜市，岐阜新聞社　岐阜放送），NHK岐阜放送局，NHKエンタープライズ中部	岐阜市歴史博物館	20年９月18日（金）～11月３日（火・祝）	45	18,589	
「北澤美術館所蔵　ルネ・ラリック　アール・デコのガラス　モダン・エレガンスの美」＜宇都宮展＞	宇都宮美術館，NHK宇都宮放送局，NHKプロモーション，下野新聞社	宇都宮美術館	20年４月26日（日）～６月21日（日） 20年５月12日（火）～６月21日（日）途中開幕	36	6,360	6,360
デザインあ展（長崎展，新潟展：開催中止）	長崎新聞社，長崎県美術館，NHK長崎放送局，NHKエデュケーショナル，NHKプラネット九州	長崎県美術館	20年４月11日（土）～６月14日（日）	0	0	35,208
	新潟県立万代島美術館，NHK新潟放送局，NHKエデュケーショナル，NHKプロモーション	新潟県立万代島美術館	20年７月11日（土）～９月22日（火・祝）	0	0	
	豊田市美術館，NHK名古屋放送局，NHKエデュケーショナル，NHKエンタープライズ中部	豊田市美術館	21年１月５日（火）～３月14日（日）	61	35,208	
「ゴッホと静物画ー伝統から革新へー」（開催中止）	SOMPO美術館，NHK，NHKプロモーション，日本経済新聞社	SOMPO美術館	20年10月６日（火）～12月27日（日）	0	0	0
「ザ・フィンランドデザイン展～自然が宿るライフスタイル～」	鳥取県立博物館，NHK鳥取放送局，NHKエンタープライズ中国	鳥取県立博物館	20年10月10日（土）～11月15日（日）	36	10,890	10,890
	Bunkamuraザ・ミュージアム，産経新聞社，NHK，NHKプロモーション	Bunkamura ザ・ミュージアム	20年11月28日（土）～21年１月24日（日） 21年12月７日（火）～22年１月30日（日）会期変更	0	0	

展覧会名	主催	会場	会期	開催日数	入場者数（会場別）	総入場者数
御大典記念　特別展「よみがえる正倉院宝物ー再現模造にみる天平の技ー」（長野：開催中止）	宮内庁正倉院事務所，奈良国立博物館，朝日新聞社，NHK奈良放送局	奈良国立博物館	20年７月４日（土）～９月６日（日）	56	42,846	74,834
	－	松本市美術館	開催中止	0	0	
	宮内庁正倉院事務所，松坂屋美術館，朝日新聞社，NHK名古屋放送局	名古屋・松坂屋美術館	20年10月３日（土）～11月23日（月・祝）	52	17,376	
	宮内庁正倉院事務所，一般財団法人沖縄美ら島財団，沖縄タイムス社，朝日新聞社，NHK沖縄放送局	沖縄県立博物館・美術館	21年２月９日（火）～３月28日（日）	42	14,612	
「びじゅチューン！　なりきり美術館」「びじゅチューン！×ちばしび　なりきり美術館」	千葉市美術館，文化財活用センター，NHK千葉放送局	千葉市美術館 １階さや堂ホール	20年７月11日（土）～９月６日（日）	57	10,455	10,455
ヨコハマトリエンナーレ2020「AFTERGLOW ー光の破片をつかまえる」	横浜市，公益財団法人横浜市芸術文化振興財団，NHK，朝日新聞社，横浜トリエンナーレ組織委員会	横浜美術館，プロット48	20年７月３日（金）～10月11日（日）20年７月17日（金）～10月11日（日）途中開幕	78	153,528	153,528
第67回　日本伝統工芸展（大阪：開催中止）	文化庁，東京都教育委員会，NHK，朝日新聞社，公益社団法人日本工芸会	日本橋三越本店	20年９月16日（水）～９月28日（月）	13	51,222	114,011
	愛知県教育委員会，愛知県，名古屋市教育委員会，名古屋市，NHK名古屋放送局，朝日新聞社，公益社団法人日本工芸会	名古屋栄三越	20年９月30日（水）～10月５日（月）	6	16,847	
	京都府教育委員会，京都市，NHK京都放送局，朝日新聞社，公益社団法人日本工芸会	京都経済センター２階 京都産業会館ホール北室	20年10月14日（水）～10月16日（金）	3	2,910	
	石川県教育委員会，NHK金沢放送局，朝日新聞社，北國新聞社，公益社団法人日本工芸会	石川県立美術館	20年10月23日（金）～11月３日（火・祝）	12	7,271	
	－	（大阪展）	開催中止	0	0	
	岡山県教育委員会，岡山県立美術館，NHK岡山放送局，朝日新聞社，山陽新聞社，公益社団法人日本工芸会	岡山県立美術館	20年11月13日（金）～11月29日（日）	17	3,705	
	島根県，島根県立美術館，島根県教育委員会，公益財団法人しまね文化振興財団，NHK松江放送局，朝日新聞社，山陰中央新報社，SPSしまね，公益社団法人日本工芸会	島根県立美術館	20年12月２日（水）～12月25日（金）	24	4,962	
	香川県立ミュージアム，香川県教育委員会，NHK高松放送局，朝日新聞社，公益社団法人日本工芸会	香川県立ミュージアム	21年１月２日（土）～１月17日（日）	16	4,399	
	宮城県教育委員会，仙台市教育委員会，NHK仙台放送局，朝日新聞社，河北新報社，公益社団法人日本工芸会	仙台三越	21年１月21日（木）～１月26日（火）	6	8,415	
	福岡県教育委員会，福岡市教育委員会，福岡市，NHK福岡放送局，朝日新聞社，公益社団法人日本工芸会	福岡三越	21年２月３日（水）～２月８日（月）	6	5,850	
	広島県，広島県教育委員会，広島県立美術館，NHK広島放送局，朝日新聞社，公益社団法人日本工芸会	広島県立美術館	21年２月17日（水）～３月７日（日）	19	8,430	

展覧会名	主催	会場	会期	開催日数	入場者数（会場別）	総入場者数
「びじゅチューン！　なりきり美術館」 「親と子のギャラリートーハク×びじゅチューン！なりきり日本美術館リターンズ」	東京国立博物館，文化財活用センター，NHK	東京国立博物館本館特別５室・４室	20年10月27日（火）～12月６日（日）	36	26,064	26,064
NHKウイズ・コロナプロジェクト「コロナ禍のクリエーション」	NHK	NHKプラスクロスSHIBUYA	20年11月24日（火）～１月17日（日）	54	8,173	8,173
第20回　東京国際キルトフェスティバル ー布と針と糸の祭典ー （開催中止）	東京国際キルトフェスティバル実行委員会（NHK，読売新聞社，東京国際キルトフェスティバル組織委員会）	東京ドーム	21年１月下旬	0	0	0
特別企画「震災と未来」展 ー東日本大震災10年ー	NHK，日本科学未来館	日本科学未来館	21年３月６日（土）～３月28日（日）	21	11,039	11,039
世界らん展2021 ー花と緑の祭典ー （例年から会場変更）	世界らん展実行委員会（読売新聞社，NHK，世界らん展組織委員会，東京ドーム）	東京ドームシティプリズムホール	21年３月25日（木）～３月31日（水）	7	15,416	15,416

音楽・伝統芸能イベント

1 NHK音楽祭2020

18回目を迎えた「NHK音楽祭」。「故郷の調べ時を超えて」をテーマに，有料公演４公演のほかに，宇宙，地球の自然にまつわる音楽や特撮ヒーローの劇伴音楽を扱った特集番組の公開収録など，多彩なラインナップを展開する予定だった。

〔有料４公演〕
※新型コロナウイルスの影響により開催中止

【1】スカラ・フィルハーモニー管弦楽団

（当初予定　開催：9月30日，指揮：リッカルド・シャイー，曲目：ロッシーニ／歌劇「ウィリアム・テル」序曲ほか）

【2】パリ管弦楽団

（当初予定　開催：10月21日，指揮：トゥガン・ソヒエフ，バイオリン：ギル・シャハム，曲目：ドビュッシー／交響詩「海」ほか）

【3】ドレスデン国立管弦楽団

（当初予定　開催：11月4日，指揮：クリスティアン・ティーレマン，バイオリン：ニコライ・ズナイダー，曲目：ベートーベン／交響曲第５番ハ短調 作品67「運命」ほか）

【4】NHK交響楽団

（当初予定　開催：11月30日，指揮：アレクサンドル・ヴェデルニコフ，ピアノ：松田華音，曲目：ムソルグスキー（ラヴェル編）／組曲「展覧会の絵」ほか）

〔無料公演〕

【5】『コズミックフロント☆MUSIC』

※公開中止
（当初予定　開催：11月８日　NHKホール）

【6】『シンフォニック特撮ヒーローズ』

12月４日　NHKホール　入場者数545人。

2 NHKバレエの饗宴2020

※新型コロナウイルスの影響により開催中止
日本を代表するバレエ団やダンサーたちがカンパニーの垣根を越えて集う，NHKならではのバレエ公演。20年は９回目の開催となる予定だった。
（当初予定　開催：４月５日　NHKホール　有料公演　出演／演目：キム・セジョン＆清瀧千晴＆福岡雄大／Canon in D major，倉永美沙＆アンジェロ・グレコ（サンフランシスコ・バレエ団プリンシパル）／『くるみ割り人形』からグラン・パ・ド・ドゥ，貞松・浜田バレエ団／CACTI，谷桃子バレエ団／『海賊』ハイライト，森田愛海＆デヴィッド・ムーア（シュツットガ

ルト・バレエ団プリンシパル）／『白鳥の湖』から黒鳥のパ・ド・ドゥ）

3 NHK交響楽団演奏会地方公演

大阪公演／1月30日大阪市，NHK大阪ホール，指揮：鈴木優人，曲目：バッハ／ブランデンブルク協奏曲 第1番 ヘ長調BWV1046，ベートーベン／「コリオラン」序曲，ブラームス／交響曲第1番 ハ短調 作品68。入場者533人。有料公演。

四国・西宮公演／3月1日高知市，3月2日高松市，3月3日西宮市，指揮：下野竜也，バイオリン：三浦文彰，曲目：ベートーベン／「プロメテウスの創造物」序曲，ブラームス／バイオリン協奏曲 ニ長調 作品77，ブラームス／交響曲第4番 ホ短調 作品98。入場者2,260人（3会場）。有料公演。

関東甲信越公演／3月14日甲府市，3月16日市原市（※公演中止），指揮：キンボー・イシイ，バイオリン：松田理奈，曲目：モーツァルト／歌劇「フィガロの結婚」序曲，メンデルスゾーン／バイオリン協奏曲 ホ短調 作品64，ベートーベン／交響曲第7番 イ長調 作品92。入場者884人。有料公演。

4 第64回NHKニューイヤーオペラコンサート

1月3日，NHKホール。有料公演。

ソプラノ：伊藤晴，大村博美，幸田浩子，砂川涼子，田崎尚美，中村恵理，森麻季，森谷真理，メゾ・ソプラノ：林美智子，テノール：笛田博昭，福井敬，宮里直樹，村上敏明，望月哲也，バリトン：上江隼人，バス：妻屋秀和，合唱：新国立劇場合唱団，二期会合唱団，藤原歌劇団合唱部，管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団，ピアノ：反田恭平，指揮：広上淳一，司会：秋元才加，森田洋平アナ。入場者1,392人。

5 第47回NHK古典芸能鑑賞会

※新型コロナウイルスの影響により開催中止

6 TOKYO JAZZ ＋plus

※新型コロナウイルスの影響により開催中止

（一部出演者によるリモート演奏など企画内容を変更し，オンライン開催）

（当初予定　開催：5月22～24日，NHKホールほか。有料公演）

出演：上原ひろみ，Still Dreaming with ジョシュア・レッドマン，ロン・マイルス，スコット・コリー ＆ デイヴ・キング，小曽根真 featuring No Name Horses，ハービー・ハンコック 80th Birthday Celebration，平原綾香 Premium Session ～Jazz Odyssey～，ディマシュ・クダイベルゲン，挾間美帆 m_unitほか）

7 第89回日本音楽コンクール

毎日新聞社と共催。各部門予選・本選を経て入賞者を決定した。本選会は10月24～28日，東京オペラシティ コンサートホール。入場者1,709人（本選会）。

本選各部門の第1位は次のとおり。ピアノ部門：山縣美季（東京芸術大学1年），バイオリン部門：北川千紗（東京芸術大学卒業），声楽部門：小林啓倫（国立音楽大学大学院修了），チェロ部門：水野優也（桐朋学園大学卒業），ホルン部門：該当者なし，作曲部門：波立裕矢（愛知県立芸術大学卒業）。

8 オーケストラでつなぐ希望のシンフォニー

全国各地のオーケストラが，新型コロナウイルスの影響で苦しむ人々の明日への希望につながることを願いながら，20年に生誕250年を迎えたベートーベンの交響曲や，それぞれの思いの詰まった楽曲などを演奏した。

京都公演／9月2日京都市，京都コンサートホール，管弦楽：京都市交響楽団，指揮：広上淳一，曲目：ベートーベン／交響曲第1番 ハ長調 作品21ほか。入場者134人。

大阪公演 ※公開中止／（当初予定　9月10日大阪市，NHK大阪ホール，管弦楽：大阪フィルハーモニー交響楽団，指揮：尾高忠明，曲目：ベートーベン／交響曲第6番 ヘ長調 作品68「田園」ほか）

群馬公演／9月17日高崎市，高崎芸術劇場，管弦楽：群馬交響楽団，指揮：高関健，曲目：ベートーベン／交響曲第3番 変ホ長調 作品55「英雄」ほか。入場者315人。

山形公演／9月24日山形市，やまぎん県民ホール，管弦楽：山形交響楽団，指揮：阪哲朗，曲目：ベートーベン／交響曲第5番 ハ短調 作品67

「運命」ほか。入場者702人。

福岡公演／10月４日福岡市，アクロス福岡福岡シンフォニーホール，管弦楽：九州交響楽団，指揮：小泉和裕，曲目：ベートーベン／交響曲第４番 変ロ長調 作品60ほか。入場者459人。

札幌公演／10月６日札幌市，札幌コンサートホールKitara，管弦楽：札幌交響楽団，指揮：秋山和慶，曲目：ベートーベン／交響曲第８番 ヘ長調 作品93ほか。入場者370人。

仙台公演／10月15日名取市，名取市文化会館，管弦楽：仙台フィルハーモニー管弦楽団，指揮：飯守泰次郎，曲目：ベートーベン／交響曲第２番 ニ長調 作品36ほか。入場者476人。

名古屋公演／11月14日名古屋市，愛知県芸術劇場コンサートホール，管弦楽：名古屋フィルハーモニー交響楽団，指揮：川瀬賢太郎，曲目：ベートーベン／交響曲第７番 イ長調 作品92ほか。入場者674人。

東京公演／12月23日NHKホール，管弦楽：NHK交響楽団，指揮：パブロ・エラス・カサド，曲目：ベートーベン／交響曲第９番 ニ短調 作品125「合唱つき」。入場者1,339人。有料公演。

〔特別公演〕

広島公演／10月17日広島市，上野学園ホール（広島県立文化芸術ホール），管弦楽：広島交響楽団，指揮：下野竜也，ソプラノ：石橋栄実，語り（エグモント）：宮本益光，曲目：ベートーベン／劇音楽「エグモント」作品84（全曲）ほか。入場者593人。

スポーツイベント

1 ラジオ体操・みんなの体操会

かんぽ生命保険，全国ラジオ体操連盟との共催。

【1】夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会

７月20日～８月31日，全国41会場で実施予定であったが，新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で中止した。

【2】特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会

夏期巡回期間を除く４月から10月に，全国９会場，このうち，10月４日は神奈川県横浜市で「第59回1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭」として実施予定であったが，新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で中止した。

2 2020NHK杯国際フィギュアスケート競技大会（第42回大会）

日本スケート連盟主催，NHK共催により11月27～29日，東和薬品RACTABドーム（大阪府門真市）で実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で出場選手を開催国の選手やその開催国で練習している選手などに制限して開催。

優勝は，〔男子シングル〕鍵山優真（日本），〔女子シングル〕坂本花織（日本），〔アイスダンス〕小松原美里／ティム・コレト（日本）。入場者8,461人。

3 天皇盃　第26回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会

日本陸上競技連盟の主催，中国新聞，NHKの共催で１月24日に実施予定であったが，新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。

4 皇后盃　第39回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会

日本陸上競技連盟の主催，京都新聞，NHKの共催で１月17日に実施予定であったが，新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。

5 第76回びわ湖毎日マラソン大会

日本陸上競技連盟，毎日新聞社，滋賀県，大津市の主催，NHKの共催で２月28日に実施した。皇子山陸上競技場をスタート・フィニッシュとするコース。鈴木健吾が日本新記録で優勝。新型コロナウイルス感染拡大防止のため，スタジアム・沿道での応援自粛をお願いした。例年実施している大型モニターでの中継映像公開は実施しなかった。

6 第22回長野マラソン大会

日本オリンピック委員会，日本陸上競技連盟，長野県，長野市，信濃毎日新聞社の主催，NHKの共催で４月19日に実施予定であったが，新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。

7 オープンゴルフ選手権競技

日本ゴルフ協会の主催，NHKの共催で，男子・女子・シニアの３大会を実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で３大会全て一般非公開として開催した。

【1】第30回日本シニアオープンゴルフ選手権競技

９月17～20日，鳴尾ゴルフ倶楽部（兵庫県川西市）で実施した。寺西明が初優勝。

【2】第53回日本女子オープンゴルフ選手権競技

10月１～４日，ザ・クラシックゴルフ倶楽部（福岡県宮若市）で実施した。原英莉花が初優勝。

【3】第85回日本オープンゴルフ選手権競技

10月15～18日，紫カントリークラブ（千葉県野田市）で実施した。稲森佑貴が優勝。

8 天皇杯 JFA 第100回 全日本サッカー選手権大会

日本サッカー協会，日本プロサッカーリーグの主催，NHKおよび共同通信社の共催で実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で大会形式を変更して開催。都道府県代表47チームとアマチュアシード１チームに，Jクラブ４チーム（J1：2，J2：1，J3：1）の52チームが参加する変則形式で９月16日～１月１日に実施。国立競技場（東京都新宿区）での決勝戦（入場者１万3,318人）を含む数試合は観客を入れて開催，その他の試合は無観客での開催。大会を通じての総入場者４万4,982人。川崎フロンターレが優勝した。

9 各都道府県サッカー選手権大会

47都道府県大会を各都道府県サッカー協会が主催し，６府県大会はNHKが主催または共催で実施した。各都道府県優勝チームは天皇杯の各都道府県代表として出場。

10 第57回全国大学ラグビーフットボール選手権大会

日本ラグビーフットボール協会が主催，NHKが共催。11月21日～１月11日にかけて行われ，国立競技場（東京都新宿区）での決勝戦で，天理大学が初優勝（関西勢の優勝は1984年の同志社大学以来36年ぶり）。大会を通じての総入場者６万2,043人。

11 JAPAN CUP 2020チアリーディング日本選手権大会

日本チアリーディング協会の主催，NHKの共催で11月13～15日，国立代々木競技場 第１体育館で実施した。450チーム，3,400人が参加。

優勝は，〔小学校高学年部門〕あつぎチアリーディングチーム（神奈川県），〔中学校部門〕箕面自由学園中学校（大阪府），〔高等学校部門〕箕面自由学園高等学校（大阪府），〔大学部門〕帝京大学（東京都），〔社会人部門〕クラブチームデビルス・A DEVILS・A（神奈川県）。入場者9,000人。

12 NHKスポーツパーク

NHK解説者や一流の講師によるスポーツ教室とトークショーなどを組み合わせた家族で楽しめる総合的なスポーツイベント。新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で「松岡修造のテニスパーク」「五郎丸歩のラグビーパーク」を各１回のみ開催。参加者336人。

東日本大震災等の復興支援イベント

1 特別企画「震災と未来」展 ー東日本大震災10年ー

震災を風化させず教訓を未来に生かすため，NHKが災害に向き合い，記録・蓄積してきた映像や資料をさまざまなプレゼンテーションで振り返るほか，ゆかりの品々の展示を通じて復興への取り組みと課題，今後の災害に対する備えを紹介。会場は日本科学未来館（東京・お台場），会期は３月６～28日（21日間）。総来場者１万1,039人。

会館公開・展示

1 NHKスタジオパーク

新型コロナウイルス感染拡大防止のため20年２月26日以降臨時休館となっていたが，緊急事態宣言が延長されるなど新型コロナウイルスをめ

ぐる状況の先行きが見通せないこと，東京オリンピック・パラリンピックの延期に伴い，放送センターの建替工事の準備作業にスケジュールの変更が生じたため，５月11日をもって閉館となった。

2 NHKプラスクロス SHIBUYA

新型コロナウイルス感染拡大防止のため，20年２月28日以降臨時休業となったが，緊急事態宣言解除に伴い，６月８日から「連続テレビ小説　エール展」（～８月28日）で再開した。その後，親子で最新の防災知識を学んでいただく「進化する防災展」（８月29日～９月27日），開発中の放送技術を若い世代の来場者にも分かりやすく伝える「放送のミライ展」（９月28日～11月23日），コロナ禍の中で生まれたさまざまなクリエーションを紹介する「コロナ禍のクリエーション」（11月24日～１月17日），放送開始に合わせて番組の魅力を伝える「大河ドラマ　青天を衝（つ）け展」（１月18日～２月20日），東日本大震災10年に合わせ，主に首都圏の人たちに震災の記憶と防災知識を伝える「震災と未来展　渋谷サテライト」（２月21日～３月13日），８Kの社会活用などを体感していただく「共鳴するメディア　８Kビジュアライゼーションの可能性」（３月14～31日）と，合計７シリーズの企画展を開催した。また，12月から，全国各地の大学生や専門学校生，高校生をオンラインでつなぎ，NHK職員が仕事の舞台裏や思いを語り，参加者からの質問に答える双方向型イベントを３回実施した。

3 NHK放送博物館

東京放送局（NHKの前身）が大正時代にラジオの本放送を開始した東京・港区の愛宕山に1956年，世界最初の放送専門ミュージアムとして開館した。さまざまな展示やイベントを通して放送の歴史や魅力を紹介している。

現在の展示のコンセプトは「放送の過去・現在・未来」。「過去」は懐かしい放送番組の史料や放送を支えた貴重な技術機器の展示。「現在」はニュースキャスターや気象予報士体験ができる「放送体験スタジオ」（2020年度は感染防止対策として公開休止）。「未来」は200インチ大型スクリーンと22.2マルチチャンネル音響で８Kスーパーハイビジョン放送の迫力を体感できる「愛宕山８Kシアター」。

20年度の入館者数は新型コロナウイルス感染拡大防止のため20年２月26日から６月８日まで臨時休館となったこともあり２万2,136人と前年比で約75％減となった。

開館時間：午前10時00分～午後4時00分
（感染拡大防止策として時短開館中）
入館料　：無料
休館日　：月曜（祝日の場合は翌火曜），年末年始

【1】20年度の主な取り組み

❶企画展示

▶**「～パパもママもみていた！～おかあさんといっしょ」**　７月４日～９月27日
▶**「キトラ古墳壁画　国宝への道のり～四神をとらえたカメラ～」**　10月24日～12月25日
▶**「～もうすぐ放送100年・所蔵コレクション大公開！～ ヤバいエモいラヂオ展」**　１月23日～３月28日
▶**ミニ展示「美しき真空管の世界」**　11月９日～１月17日
▶**ミニ展示「展示で見るNHKの新型コロナウイルス感染症情報」**　３月２日～４月22日

❷主なイベント

20年度は新型コロナウイルス感染予防のため，例年実施してきた「中高生のための放送講座」「ワン・ミニット・ムービー」「プレミアムシネマ・トーク」は中止となった。

▶**定期開催イベント**

「愛宕山コンサート」（薩摩琵琶奏者・友吉鶴心）３回／「愛宕山講談会」（宝井琴梅）３回／「みんなの健康教室」５回

▶**「NHKラジオ深夜便放送開始30周年　アンカートークショー」**６回

▶**講演会**

「文化講演会～番組出演者として感じるテレビ・ラジオ放送について」（18年度放送文化賞受賞作家・高橋源一郎）３月12日

▶**受信公開**

博物館の開館時間に，愛宕山８Kシアターにおいて「８Kスーパーハイビジョン上映会」を常時実施（イベント開催時以外）

❸メディアリテラシー教室

21年度から定期的に開催する小学生向けの「メディアリテラシー教室」（ネット開催）のトライアル授業を「放送体験スタジオ」を使い，リモートで実施。放送博物館から全国４校の小学校を結んで行った。

❹移動放送博物館の開催

室蘭放送局で10月２～３日に開催した。

❺収集・保存を行った主な資料

写真：東京放送局開局時の局舎実景と局舎模型など６点

❻その他

日本博物館協会，全国科学博物館協議会，東京都博物館協議会，産業文化博物館コンソーシアム（COMIC），港区ミュージアムネットワークの活動を通して，博物館活動の底上げに取り組んだ。また６月に開館した「みなと科学館」をはじめ虎ノ門ヒルズを運営する森ビルなど近隣の文化施設等関係先との連携強化にむけて情報共有を図った。

情報公開・個人情報保護

概　況

視聴者への説明責任を果たすために，積極的な情報公開に努めた。NHKが定める情報公開制度に基づき，20年度には219件の視聴者による「開示の求め」を受け付けた。また，NHKオンラインの「経営に関する情報（備え置き公開文書）」ページの内容を充実させ，インターネットを活用した情報提供の強化を図った（**表３**）。

また，個人情報保護法の趣旨を踏まえ，NHKが保有する視聴者の個人情報の適切な取り扱いに努めた。

NHKの情報公開

1 NHKの情報公開の特色

01年７月に開始したNHKの情報公開の主な特色は，次の３点である。

【1】自主的な取り組み

国や地方自治体，独立行政法人のように法律・条例によって義務づけられて行うのではなく，NHKが自主的に実施するものである。受信料は税金ではないこと，また，NHKは報道機関であることから，NHKの自主・自律を重んじた制度となっている。

【2】「開示の求め」の対象外

放送番組や放送番組の編集に関する情報を記録した文書については，「開示の求め」の対象外としている。NHKが公共放送としての使命を果たしていくためには，放送番組編集の自由の確保が不可欠である。もし番組そのものや，番組素材，その制作・編成に関する文書を開示すると，自由な番組編集に支障が生じ，ひいては公共放送としての使命が果たせなくなることから，「開示の求め」の対象外とした。そのうえで，可能な範囲で情報の提供に努めていく。

【3】第三者機関を設置

NHKの開示・不開示等の判断に対して，第三者機関による公正・客観的なチェックの仕組みを整えている。外部の有識者で構成される「NHK情報公開・個人情報保護審議委員会」が，視聴者からの「再検討の求め」があった際に，審議委員会としての意見をNHKに述べる。NHKは，その意見を尊重して最終判断を行う。

2 NHKの情報公開の仕組み

NHKの情報公開は，基本的枠組みを定めた「NHK情報公開基準」（00年12月制定）と，それをさらに具体化した「NHK情報公開規程」（01年６月制定）に基づいて進められている。この情報公開規程は，情報公開基準に基づき情報公開を実施していくために必要な事項を定めている。主な内容は次のとおり。

【1】「開示の求め」の対象となる文書

NHK役職員が業務上共用するものとして保有している文書（電磁的に記録されたものを含む）が，「開示の求め」の対象となる。ただし，放送番組編集の自由を確保する観点等から，次のものについては対象外となる。

❶放送番組および放送番組の編集に関する情報を記録したもの（放送番組の企画，取材，収録等について記録した文書など。ハードディスク・DVD等を含む）。

❷書籍，雑誌等不特定多数の者に販売することを目的として発行されるもの。

❸歴史的もしくは文化的な資料または学術研究用の資料としてNHK放送博物館等において特別の管理がされているもの。

表3「放送法第84条の2第1項の総務省令で定める情報提供の一覧」に該当する文書

（2021年3月31日現在）

※NHKオンラインの「経営に関する情報（備え置き公開文書）」（https://www.nhk.or.jp/info/#pr）で公開

情報の種類	情報提供文書名
協会の組織に関する情報	事業の概況 日本放送協会定款 組織図 業務組織の概要及び職員の状況（役員の任期，職員数含む） 最新の経営委員の氏名・経歴等 監査委員の氏名 最新の会長・副会長・理事の氏名・経歴等 役職員の報酬・給与等の支給基準 懲戒処分の公表基準 NHKグループ働き方改革宣言 女性活躍推進法　行動計画 沿革
協会の業務に関する情報	収支予算，事業計画及び資金計画 NHK経営計画 国内・国際放送番組編集の基本計画 各地方向け地域放送番組編集計画 四半期業務報告書 視聴者対応報告 業務報告書 国内・国際番組基準 中央，地方，国際放送番組審議会・議事録 中央，国際，地方放送番組審議会の答申を尊重して講じた措置 NHK放送文化研究所　年報 放送研究と調査 技研　研究年報 NHK技研R&D NHKインターネット活用業務実施基準 インターネット活用業務実施計画 日本放送協会放送受信規約 日本放送協会放送受信料免除基準 営業及び受信関係業務の概況 放送受信契約数統計要覧 外国人向け協会国際衛星放送の業務の委託に関する基準 業務委託基準 放送法第20条第2項の業務の委託に関する基準業務委託契約要領 経理規程 NHKと外部（関連団体を含む）との契約の状況について 経営委員会議事録 理事会議事録 NHK受信料制度等検討委員会規程・議事要旨 インターネット活用業務審査・評価委員会規程・議事概要・資料 放送技術審議会規程・議事概要 内部統制関係議決 NHK倫理・行動憲章／行動指針 役職員の服務準則 文書管理規程 関連団体運営基準 内部監査・関連団体調査規程 放送法第20条第2項の業務の委託に関する基準 文書目録 NHK情報公開規程 情報公開の実施状況 NHK個人情報保護規程 報道・著述・学術研究分野に係る個人情報保護規程 開示等の求めへの対応状況 NHK情報公開・個人情報保護審議委員会規程 防災業務計画（要旨） 新型インフルエンザ等対策業務計画(要旨) 国民保護業務計画
協会の財務諸表，連結財務諸表，経理に関する規程，その他の協会の財務に関する基礎的な情報	財務諸表 連結財務諸表 経理規程 決算概要

情報の種類	情報提供文書名
協会の組織，業務及び財務についての評価及び監査に関する情報	インターネット活用業務の実施状況とその評価 インターネット活用業務の実施状況の３か年評価 監査委員会の意見書（業務報告書／財務諸表） 独立監査人の監査報告書（単体） 監査委員会の活動結果報告 会計検査院による決算検査報告 独立監査人の監査報告書（連結） 監査実施方針・計画
放送法第84条の２第１項第３号に規定する法人に関する情報	関連団体の資本金・売上高等 関連団体の役員一覧と報酬基準 関連団体の役員数・従業員数 関連団体の業務とNHKの関係 NHKと関連団体との取引 関連団体の役員一覧と報酬基準 NHK子会社の取締役等に対する報酬，退職金の支給基準と公表の方針 関連団体の懲戒処分に関する公表基準 関連団体の事業計画，事業報告，財務諸表・監査報告書 業務の適正を確保するために必要な体制・運用状況

【2】「開示の求め」ができる者

NHKの放送の視聴者。

【3】受付場所・方法

NHK放送センター，全国の放送局に，日本語で記入した所定の用紙「開示の求め」および「開示の求め手数料」を郵送または持参で提出する。

【4】開示できない文書

「開示の求め」の対象となる文書は，原則として開示する。ただし，次の情報（不開示情報）が記載されている場合を除く。

❶NHKの権利利益，地位，事業活動に支障を及ぼすおそれがあるものや，特定の者に利益もしくは不利益を及ぼすおそれがあるもの。
❷NHK内の審議，検討，協議が円滑に行われることを阻害するおそれがあるもの。
❸特定の個人を識別できるものや，個人の権利利益を害するおそれがあるもの。
❹NHK以外の法人，団体，個人事業主の権利等を害するおそれがあるもの。
❺NHKの保安に支障を及ぼすおそれがあるもの。
❻契約によりNHKが守秘義務を課せられているものや，契約の相手方が開示を承諾しないもの。

【5】開示・不開示等の判断までの期間

開示の求めを受け付けた翌日から30日以内に開示・不開示等を判断し，書面により連絡する。ただし正当な理由があるとき等は，期間を必要に応じて延長することができる。

【6】開示の実施方法

視聴者が開示の連絡を受けた日から２週間以内に，閲覧またはコピーを提供する（電磁的に記録されたものについては，プリントアウトし，閲覧またはコピーを提供する）。

【7】費用

閲覧のためにコピーやプリントアウトが必要な場合も含め，次の費用（税込み）は視聴者負担となる。

・開示の求め手数料：１件につき300円
・開示実施手数料
　白黒コピー　：１枚につき10円
　カラーコピー　：１枚につき50円
・郵送料　：実費

【8】「再検討の求め」

開示・不開示等の判断結果について，視聴者は２週間以内に「再検討の求め」ができる。その場合NHKは，NHK情報公開・個人情報保護審議委員会に諮問し，その意見を尊重して開示・不開示等の最終的な判断を行い，直ちに書面により視聴者に連絡する。

【9】実施状況の公表

実施状況について，四半期ごとに，NHKの公開ホームページで公表する。

3 開示の求め

【1】受付状況

20年度は，全国の放送局において，43人の視聴者による219件の開示の求めがあった。

【2】「開示の求め」の内容

20年度に受け付けた219件の内訳は次のとおりとなっている（**表4**）。

表4　「開示の求め」の内訳

分　野	件　数	割　合
経営	62件	28.3％
放送	51件	23.3％
営業	68件	31.1％
技術	0 件	0 ％
広報・事業	9 件	4.1％
総務・経理	29件	13.2％

【3】判断結果

20年度に受け付けた217件について判断を終えた（**表5**）。

表5　「開示の求め」判断結果

判断結果	件　数	備　考
開　示	79件(A)	うち、一部開示31件
不開示	111件(B)	うち、不存在は83件
対象外	27件	

【4】開示率(A／(A＋B))

217件についての開示率は41.6％である。

4 NHK情報公開・個人情報保護審議委員会

NHK情報公開･個人情報保護審議委員会は,「開示の求め」に対するNHKの開示・不開示等の判断を不服とする視聴者から「再検討の求め」があった場合に審議を行い，NHKに意見を述べる第三者機関（会長の諮問機関）である。

【1】委員

委員は，５人以内で，経営委員会の同意を得て会長が委嘱する。任期は１期２年とし，原則は２期を限度とするが，会長判断でさらに再任することができると審議委員会規程で定めている。20年度末現在，次の方々に委員を委嘱している。

委　員　長　藤原　靜雄　氏
（中央大学法科大学院教授）
委員長代行　櫻井　龍子　氏
（元労働省局長・元最高裁判事）
委　員　関　葉子　氏
（弁護士・公認会計士）
委　員　安藤　俊裕　氏
（元日本経済新聞社論説副委員長）
委　員　園　マリ　氏
（公認会計士・元証券取引等監視委員会委員）

【2】開催回数

20年度，NHK情報公開・個人情報保護審議委員会は，21回開催された。

5 再検討の求め

【1】受付状況

20年度は，NHKが開示・不開示等の判断をしたもののうち，44件について再検討の求めを受け付けた。

【2】審議結果

20年度，NHKはNHK情報公開・個人情報保護審議委員会に20件について諮問し，22件の答申を受けた（**表6**）。「一部開示ではなく開示が妥当」とされた５件の答申のうち，２件については経営委員会で検討，判断し，その結果をNHKとして請求者に連絡した。「当初判断どおり」とされた17件について，NHKは答申のとおり最終判断を行った。

表6　2020年度審議結果

審議結果	備　考
当初判断どおり一部開示・不開示が妥当	17件
一部開示ではなく開示が妥当	5 件
一部開示の範囲を広げることが妥当	0 件
不開示ではなく一部開示・開示が妥当	0 件

NHKの個人情報保護

1 個人情報保護法

【1】個人情報保護法の施行と改正

05年度施行「個人情報の保護に関する法律」（個人情報保護法。以下「法律」という）が定める「個人情報取扱事業者」にNHKも該当することから，個人情報の取り扱いを適正に行うことが求められている。なお，法律の施行から10年余りが経過し，消費者や事業者を取り巻く環境がさまざまに変化したことから，15年度に法律の改正が行われ，17年度に全面施行された。いわゆる３年ごとの見直しにより20年度にも改正され，22年４月に施行される。

【2】法律の義務の適用除外

この法律が成立する過程で，個人情報保護に関する「利用目的による制限」「適正な取得」「正確性の確保」「透明性の確保」といった基本原則が，「表現の自由」「報道・取材の自由」などの基本的人権を制約するおそれがあるとの指摘が，メディアを中心になされた。このため，法律は，報道機関が報道目的で個人情報を取り扱う場合，著述を業とする者が著述目的で個人情報を取り扱う場合などは，個人情報取扱事業者としての義務の適用を除外している。その一方で，事業者が自主的に個人情報の適正な取り扱いについての措置を講じ，それを公表するよう努めることを求めている。

2 NHKの個人情報保護の取り組み

【1】NHKの取り組み

❶NHK個人情報保護方針

NHKにおける個人情報保護に関する最上位に位置するもので，法律上の義務が適用除外となる報道・著述・学術研究分野を含め，NHK内の個人情報全般の取り扱いについて宣言として定めている。

❷NHK個人情報保護規程等

法律上の義務の適用を受ける分野（営業・事務分野等）を対象に，実務上の手続きを中心に定めている。「放送法の一部を改正する法律」の公布に伴い，19年12月，NHK個人情報保護規程を改正して「非特定視聴履歴」の取扱い等を定め，NHKプラス（常時同時番組配信・見逃し番組配信）を含むインターネット活用業務に即した形に整えた。視聴者本人から「個人情報開示等の求め」が出された場合，原則として視聴者が求める措置を行うこととなるが，開示するとNHKの業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合等は，求められた措置を行わなくてもよいとされている。

このような場合の救済策として，法律上の要請はないが，NHKとして自主的に，視聴者からの「再検討の求め」を受け付け，第三者機関であるNHK情報公開・個人情報保護審議委員会において審議することとしている。

❸報道・著述・学術研究分野に係る個人情報保護規程

法律上の義務が適用除外となる報道分野等について，自主的に，安全管理や苦情への対応について定めている。

【2】NHKにおける個人情報の管理・責任体制

NHKにおける個人情報の管理は，担当理事がこれを統括し（報道分野等については放送総局長），各部局においては，部局長が全責任を持って管理することとしている。

20年度においては，個人情報の漏えいが１件発生した。事案はホームページで公表するなどしているが，NHKとして，今後同様の事態が起きないよう，個人情報管理体制の整備を進め，個人情報の適切な取り扱いに努めていく。

【3】個人情報の開示等の求めへの対応状況

20年度に視聴者本人から出された「個人情報開示等の求め」は，開示の求めが11件あった。20年度は，12件について判断した（表7）。

表7　「個人情報　開示等の求め」に対する判断結果

判断結果	件　数
開 示	4 件
追加実施	1 件
一部開示	1 件
不開示	6 件
適用外	0 件

【4】「個人情報　再検討の求め」の審議状況

20年度に受け付けた個人情報に関する再検討

の求めは５件で，NHK情報公開・個人情報保護審議委員会に諮問し，４件の答申を受けた。いずれも「当初判断どおり不開示が妥当」とするもので，NHKは答申のとおり最終判断を行った。

広　報

概　況

公共メディア・NHKに対する理解と信頼を高め，放送番組の視聴促進などを図るため，新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めながら，多彩な広報活動を展開した。

NHK経営計画（2021-2023年度）をはじめ，本格運用が始まったNHKプラス等のインターネット活用業務や，SDGsなどの公共キャンペーン，BS4K・BS8K関連の取り組みを広報するとともに，『NHKスペシャル』『大河ドラマ』『連続テレビ小説』『NHK紅白歌合戦』など，さまざまな番組をPRした。

また，広報局に広報展開戦略グループを設置し，効果的かつ効率的な広報展開に取り組んだ。

経営広報

1　会長会見とマスコミ対応

会長定例記者会見をはじめ，臨時の記者会見，ブリーフィング，個別の取材対応などを通じて，NHKの経営情報などを多角的に発信した。

会長定例記者会見は原則月１回。会長と副会長，それに関係役員が出席して，NHKや放送を取り巻く状況などについて説明した。新型コロナウイルスの感染拡大で緊急事態宣言が出たため，５月の会長会見は中止。その後も１社１人の出席，会場もより広い大会議室を使用するなど，感染防止対策で密を避ける措置を取った。

経営情報では，2021-2023年度の経営計画策定の年にあたり，８月に計画案を発表，１月に経営計画が経営委員会で議決されたのに合わせて会長会見を開いて，具体的な内容やポイントについて会長自ら説明した。またNHKが行うインターネット活用業務の種類，内容，費用等について定めたインターネット活用業務実施基準も，実施に要する費用の上限などをこれまでとは異なる算定方法に変更し，担当役員がブリーフィングで丁寧に説明した。

20年度は各社の会見出席者を限定したため，経営に関わる重要な案件が多いにもかかわらず，なかなかメディアに正確に伝わりにくいという課題があったことから，担当役員と全国紙の論説委員との懇談会を開き，経営計画を中心に経営課題について議論を交わし，理解を深めてもらう取り組みを行った。

４月に入り，全国で緊急事態宣言が出されると，番組では『大河ドラマ』と『連続テレビ小説』をはじめとして収録の一時休止や放送延期，イベントでは「NHK全国学校音楽コンクール」や夏期巡回の「ラジオ体操」の中止といった措置を取り，適宜広報した。さらにホームページの「『新型コロナウイルス』視聴者のみなさまへ～いま、お伝えしたいこと～」という特設ページで最新情報を掲載するようにした。また新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けて，公共メディアとして「命と暮らしを守る」という使命を果たすことを会長から発信し，「ウィズコロナ・プロジェクト」や「新型コロナ　命を守る行動を」キャンペーンなど全局的な取り組みとともに，事業者に一定の条件で受信料を免除する緊急的措置などの対応を随時，広報した。

東京オリンピック・パラリンピックに関しては，21年３月にスタートする東京オリンピック聖火リレーの特別番組やライブストリーミングなどの広報発信を進めた。

【1】会長定例記者会見の主な内容

４月
- 新型コロナウイルス・東京オリンピック・パラリンピック延期に伴う対応について
- 新年度スタートにあたって
- NHKプラス本格開始について
- ５月のBS８K番組について

５月　（中止）

６月
- “ウィズコロナ”NHKの取り組みについて
- 新型コロナウイルスの営業業績への影響（第１期末営業業績）
- ラジオ第１，年間テーマ「ひきこもり」２夜連続で特番放送
- ７月のBS８K番組「よみがえる名演奏」新作放送

７月
- ウィズコロナ・プロジェクト「みんなでエール」について

・８月のBS８K番組
９月・第71回紅白歌合戦について
・10月からの受信料値下げについて
・「民業圧迫」ホットラインの開設について
・４K･８Kカメラ，火星衛星探査機に搭載
10月・第47回日本賞について
・BS４K･BS８K，国宝の魅力をじっくりと
11月・BS４K･BS８K放送開始２年を控えて
・NHK杯国際フィギュアスケート競技大会について
・「NHK歳末たすけあい・海外たすけあい」について
12月・NHK・SDGsキャンペーン「未来へ17アクション」＆第１弾「地球のミライ」プロジェクトについて
・BS８Kで民放との連携を強化
１月・次期経営計画について
２月・「新型コロナ　命を守る行動を」キャンペーンについて
・「未来へ17アクション」SDGsキャンペーンの今後の展開について
・「８K文化財プロジェクト」について
３月・東日本大震災10年について
・「NHKプラス」サービス開始１年について
・第72回日本放送協会放送文化賞について
・８K技術の防災への活用について

【2】その他の主な記者会見など

・NHKスタジオパーク閉館について（5.11）
・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う放送受信料の免除について（5.11）
・川口施設の基本計画について（6.9）
・2019年度末 受信料の推計世帯支払率（全国・都道府県別）について（6.23）
・NHK経営計画（2021-2023年度）（案）（8.4）
・NHKインターネット活用業務実施基準（素案）について（9.15）
・NHKインターネット活用業務実施基準変更案について（11.10）
・2020年度中間決算（11.24）
・NHK経営計画（2021-2023年度）（1.15）
・2021年度 収支予算と事業計画（1.15）
・報道局元職員の懲戒扱について（2.5）

2 国際広報

会長定例記者会見や放送総局長定例記者会見，個別の取材対応などを通じて，NHKの経営情報，国際放送や海外展開の取り組みなどを国内外に発信した。

経営計画（2018-2020年度）の重点方針の一つとして位置づけられている「国際発信力の強化」については，「NHKワールド JAPAN」の新しい番組や取り組みを定例会見などで詳しく紹介。世界の公共メディアや国際機関，NGOと協力して実施した世界同時アンケート「未来計画Q」について開始や中間報告の報道資料をリリースした。また，アニメ『舞妓さんちのまかないさん』の放送開始を１月の総局長会見で発表するなど内外メディアに広報した。

さらに，国際イベントでも積極的に広報対応を実施した。NHKが加盟するABU（アジア太平洋放送連合）のロボットコンテスト「ABUロボコン」は，新型コロナウイルスの影響でオンラインイベントとなったことを発表した。また，12月に行われた年次総会で正籬副会長がABU副会長に選出されたことを報道発表した。

新型コロナウイルス関連では，緊急事態宣言解除に伴う取材・制作の対応について英語で発信したほか，感染予防を呼びかける英語の「手洗いダンス」の動画公開を発表した。

広報資材としては，NHKの紹介冊子の英語版「NHK CORPORATE PROFILE 2020-2021」の英語，中国語，韓国語の３か国語版を制作した。

【1】20年度の主な報道発表（日本語・英語）

・BS８Kでパリ・オペラ座バレエ「ジゼル」(5.9)
・NHK交響楽団の演奏，NHKワールド JAPANで再放送（5.20）
・「体感　首都直下地震」プロジェクトがイタリア賞を受賞（9.26）
・８K版「ウエスト・サイド物語」を放送（12.7）
・正籬副会長がABU副会長に選出（12.16）
・次期経営計画英語版発表（1.29）
・SDGメディア・コンパクトに加盟（2.2）

3 技術広報

NHKは豊かな放送文化の創造に向け，新たな放送技術の研究や開発，実用化，普及において先導的な役割を果たしている。このような放送技術分野での取り組みや成果について情報を発信した。

【1】４K･８KスーパーハイビジョンのPR

会長定例記者会見では，BS４K･BS８Kの番組紹介とともに，８K技術を活用した外部団体等と

の共同プロジェクトや民放との連携，文化財や歴史的遺産の８K映像による保存の取り組みなど，８K技術の社会への展開・貢献について伝えた。また，放送設備や新技術の開発に関する取材に対応し，認知向上と普及推進に努めた。

【2】放送技術の研究・開発の広報

NHKが担っている放送技術の研究・開発における先導的な役割について，機会を捉えて国内外に広くPRした。放送技術研究所開所90周年にあたっての特集企画などの取材に対応したほか，技研の歴史や最新の研究内容などを紹介する記念サイトを広報番組やSNSなどで広報した。

【3】イベントを通じた技術広報

オンライン開催となった「IBC」「Inter BEE」など国内外の放送機器展への最新機器やコンテンツなどの出展や，NHKプラスクロスSHIBUYAでの「放送のミライ展」「共鳴するメディア８K展」などの開催を広報し，関連取材などに対応するなどして，NHKの放送・サービスと技術の取り組みへの理解促進を図った。

【4】印刷物やホームページでの広報

番組制作，緊急報道，番組送出，送信・受信技術，技術研究などにおけるNHKの技術部門の取り組みを紹介する冊子「NHKの技術2021」を発行した。特集ページでは，NHKプラスを含むさまざまなデジタルサービスや東京オリンピック・パラリンピックを見据えた最新技術の研究開発，BS４K・BS８Kのお薦め番組や取り組みを紹介した。

【5】主な報道発表

- High-resolution 3D Display System with HDTV Equivalent 2-million Pixels（4.28英語版）
- 有機膜を積層した３層カラー撮像素子を開発 ～高精細な小型単板カラーカメラの実現に向けて～（6.26日本語版，7.6英語版）
- VR・ARを活用した空間共有コンテンツ視聴システム ～遠隔地の人と一緒にコンテンツを楽しむ～（7.27日本語版，8.7英語版）
- 新たな有機EL用材料を開発 ～長寿命で省電力なフレキシブルディスプレーの実現に向けて～（8.31日本語版，9.7英語版）
- 新たな日本語音声合成システムを開発 ～原稿から変換した「仮名文字と韻律記号」をAI学習に用いる～（10.21）
- 「Inter BEE 2020 ONLINE」出展 もっとリアルに，もっと近くに ～新たなメディア体験を～（11.11）

番組広報

1 放送総局長記者会見と番組取材会

原則月１回開催している放送総局長定例記者会見は，新型コロナ感染防止の観点から４月と５月は開催を見送った。６月以降は感染防止対策を行いながら開催し，番組の解説やPR映像の上映などを交え，翌月放送番組の見どころや魅力を紹介した。また番組改定や夏の特集，年末年始特集については別途資料を配付し詳細を紹介した。併せて，テレビ情報誌などにも同様の情報をきめ細かく提供した。

番組取材会については，コロナ禍で取材媒体を一堂に集めての取材会ができなくなる中，『大河ドラマ』『連続テレビ小説』など関心の高い番組を中心に，リモートでのオンライン取材会を新たに実施。コロナ禍でも切れ目のない情報発信に努めた。そのほかの各波の注目番組についても，リモートでの個別取材や，密を避けるなど感染防止策を徹底しての合同取材を実施。可能な限りの対応を行った。

『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」では，収録休止に伴い約３か月間放送が休止となる中，放送再開に向けて主演の合同取材を行うなど番組情報の提供を続け，本能寺の変を描いた最終回まできめ細やかな情報発信を行った。「青天を衝（つ）け」では，携帯電話を使用し収録中のスタジオと生中継で結ぶなど趣向を凝らしたオンライン会見を行った。

『連続テレビ小説』「エール」でも約２か月半の間新作の放送ができなくなる中，物語の展開に合わせて出演者を丁寧に紹介するなど，番組の節目に合わせて情報を途切れることなく提供，番組の注目度アップに貢献した。「おちょやん」についても，コロナ禍で県をまたいでの移動が難しい中，大阪の出演者と東京の記者とをリモートで結ぶオンライン取材会を開催するなど大阪と東京の広報が連携しPR展開を行った。また『地域発ドラマ』の広報についても，各局と連携し，PRの全国展開を支援した。

史上初の無観客開催となった『第71回NHK紅白歌合戦』では，例年リハーサルの際に行う

NHKホール内での大規模な取材対応を見直し，密を避け，ホール内の出演者と放送センター内にいる取材者とをリモートで結ぶ形での取材体制を構築した。また司会者や出演者の発表,「企画」「曲目」決定など節目ごとのリリースといった切れ目ない広報展開を行い，例年と遜色ない規模の広報を維持した。

【1】放送総局長定例記者会見の主な内容

4月　※中止
5月　※中止
6月
- 新型コロナウイルス関連番組
- 夏の特集番組
- 「＃あちこちのすずさん」キャンペーン

7月
- 戦争と平和を考える番組
- 「さよなら！インターハイ　ミキと高校生の“校内放送”」
- 「Zの選択」

9月
- 2020年度後期番組改定について
- キャンペーン「みんなで応援！＃首里城に会いたくて」
- 「ズームバック×オチアイ　特別編　落合陽一、オードリー・タンに会う」

10月
- 『大河ドラマ』関連
- 第2世代音声合成システムについて
- 「＃こもりびと」プロジェクト

11月
- 年末年始特集番組について
- NHK就活生応援キャンペーン
- 『NHKスペシャル』「パンデミック 激動の世界」

12月
- 『第71回紅白歌合戦』関連
- あの日、そして明日へ～それぞれの3654日～東日本大震災10年
- 新型コロナ特設サイトのデータダウンロードについて

1月
- 緊急事態宣言後の放送について
- 公共メディアキャンペーン「いま、学びを守ろう。」
- 『NHKスペシャル』東日本大震災から10年

2月
- 2021年度 国内放送の番組改定
- 2021年度 番組キャスターについて
- 2021年度 国際放送の番組改定

3月
- 〈東京2020〉聖火リレーについて
- 〈新番組〉Eテレ「ひろがれ！いろとりどり」
- 〈大型番組〉『NHKスペシャル』「激動ミャンマー」

広報制作

1 概況

広報局全体が持つ多彩な番組広報ツールを効率的に活用するため，広報ワンストップ窓口を新設（8月からテスト運用・10月から本格運用）。番組等のPR依頼を受け付け，一元的に管理した情報を元に，広報部・制作部が連携して，外部メディアへの情報発信（広報部）・広報番組・オフエア・デジタル展開などを戦略的に組み合わせ，PRを行った。

視聴者に放送予定や放送番組の魅力，公共放送ならではのさまざまな取り組みを伝える，スポット，クラッチ，番組を制作・放送した（**表8・9**）。

また，ポスター，デジタルサイネージ，交通広告，新聞広告に加え，ホームページ，ツイッターといったデジタルコンテンツによる，多様な視聴者獲得への取り組みを行った。

さらに，「NHKプラスクロスSHIBUYA」の運営などを通じて，番組や公共放送のPRに努めた。

2 広報番組

【1】番組広報

「番組スポット」および総合テレビ『オシばん』（月～金曜20:42～20:45）を中心に，地上・衛星波で，毎日，番組PRを放送した。

スタジオパークにさまざまなゲストを招く『土曜スタジオパーク』（生放送）は，番組の見どころや舞台裏などをたっぷりと伝えた。また，NHKのお薦め番組の情報を毎週発信した。20年度は2回（福島市，大阪市）の公開生放送を行い，地域サービスにも努めた。そのほか『ごごナマ』の番組紹介コーナーやBSの番組をPRする『BSコンシェルジュ』を含め，多角的に広報番組を放送した。さらに，最新の番組制作情報，経営情報や番組の舞台裏などを紹介する『プレマップ』も随時放送した。

【2】経営広報

日曜の午前中に放送している『どーも，NHK』では，お薦め番組の情報や地域放送局の取り組みとともに，防災・減災報道，新型コロナ関連情報，受信料の値下げ，「NHKプラス」など重要な経営情報などを伝えた。20年度は3回の

放送に理事が出演し，番組編成のねらいや21年度予算と事業計画を説明。また，会長が出演して新しい経営計画の内容について視聴者に分かりやすく紹介した。さらに，BS４K･BS８Kの最新情報や国際放送への取り組みについても詳しく伝えた。

そのほか，公共放送NHKの役割を広く知ってもらうため，各部局や地域放送局の取り組みを紹介するミニ番組『ここに、公共放送』や「経営広報プレマップ」を制作・放送した。また，民放と連携して放送の公共的役割をアピールする「NHK-AC共同キャンペーン」では，「どんなときでも」をキャッチコピーに，コロナ禍で大人も不安を抱える今，子どもたちの心に目を向け，声をかけることの大切さを伝えるスポットを放送した。また，コロナ禍の中，受信契約のご案内などに伺う「訪問員の対応について」説明するアニメーションの広報スポットを制作・放送。制作にあたっては，登場人物の設定などについて多様性を意識した広報に取り組んだ。さらに，受信料制度について分かりやすく視聴者に説明するアニメーションのコーポレートPR動画「受信料の窓口からのお知らせ」シリーズを新たに開発。「受信料の窓口」ホームページでの手続きについてお知らせすると共に，「家族割引」や「新規契約」「学生対象の免除制度」などについて放送やホームページで伝えている。そのほか，ニュース映像投稿システム「NHKスクープBOX」への投稿呼びかけ，新型コロナ感染拡大防止に役立つ多様な情報を掲載した「新型コロナ特設サイト」を紹介するスポットを制作，デジタルを活用したサービスのPRを行った。

また，21年度のNHK予算と事業計画についての衆議院・参議院の総務委員会の審議のもようをノーカットですべて放送した。

【3】そのほかの番組

20年度の「NHK　BS４K･BS８K」ではタレントの西野七瀬をナビゲーターに，ミニ番組，ポスター，リーフレットなどで多角的にPRを展開。また，BS８Kの注目番組を紹介する『８Kなび』も制作し８K放送の魅力を伝えた。福祉への取り組みとして，「第24回NHKハート展」を紹介するミニ番組を随時放送，「NHK歳末たすけあい・海外たすけあい」と連動した『あなたのやさしさを2020』は，国内や海外で支援を必要とする現場のリポートを盛り込んだ５分番組を２本制作，たすけあい期間中随時放送し，募金を呼びかけた。

3 広報印刷物や広告などによる取り組み

【1】経営広報関連

❶「2020年度ことしの仕事」（本編1.1万部・資料編6,000部）を作成。新３か年経営計画をはじめ新年度番組編成・技術・営業ほか各部局の事業計画を紹介し，全国各局の広報活動で使用した。
❷小学生向けに放送の仕組みとメディア・リテラシーについて分かりやすく伝える冊子「NHKジュニアブック」（25万部）を作成。全国の放送局を通じ，希望する小学校に配布した。また，インターネットでも読むことができるよう「デジタルリーフレット版」も制作した。
❸20年度番組改定の「放送番組時刻表」を各拠点放送局別に作成し，各放送局の視聴者対応に活用。併せて視覚障害者向けに「点字番組時刻表」「音声CD版　番組時刻表」も作成し全国の盲学校・点字図書館など社会福祉施設に配布。また，音声版時刻表はNHKオンラインに掲載，PCにダウンロードできるサービスも継続するなど利用者の利便性を図った。また，広報局から全国希望者への直接発送も継続し，各局の負担軽減を図った。

【2】番組広報関連

❶『大河ドラマ』や『連続テレビ小説』のポスター，リーフレットを作成・配布し，全国の視聴者イベントや営業活動現場で活用した。コロナ禍のために放送開始時期が遅くなったり，本放送の休止期間が発生したりしたため，公式ホームページやSNSを通して放送スタートや再開の周知を行った。また『連続テレビ小説』「エール」，『大河ドラマ』「青天を衝（つ）け」では，NHKプラスクロスSHIBUYAでも展示イベントを実施し，盛り上げを図った。
❷広報イベント・展示
衣装や小道具などで『大河ドラマ』の魅力を紹介する「麒麟（きりん）がくる」巡回展示を全国22会場で開催した。開催にあたり，新型コロナ感染拡大防止のためのガイドラインを作成。会場内では必要に応じた検温の実施や，アルコール消毒液の設置・換気の実施，密にならないよう距離をとった展示方法をルール化した。
❸『大河ドラマ』「青天を衝（つ）け」，『連続テレビ小説』「おちょやん」「おかえりモネ」の舞台地局支援

表8　広報番組一覧（2020年度）

	番組名		放送時間	備　考
地上	どーも、NHK	（継続）	Ⓖ（日）　前11:20〜11:54（生放送）	本体制作（43本）
	土曜スタジオパーク	（継続）	Ⓖ（土）　後 1:50〜 2:50（生放送）	本体制作（33本）
	BSコンシェルジュ	（継続）	Ⓖ（金）　後12:20〜12:43ほか	NSCに委託（49本）
	ごごナマ（番組紹介コーナー）		Ⓖ（月〜木）後13:00〜14:55	NSCに委託（166本） 見込み
	オシばん	（継続）	Ⓖ（月〜木）後 8:43〜 8:45 （金）　後 8:42〜 8:45	NSCに委託（212本） 見込み
	デジなび	（継続）	Ⓖ（土）　第１・最終土曜以外（12月以降第２，４週） 後 0:40〜 0:42	NSCに委託（24本）
	８Kなび	（継続）	Ⓖ（土）　第１・第３土曜 後 0:40〜 0:42	NSCに委託（８本）
	見どころBS４K	（継続）	BS４K　随時（２分）	NSCに委託（20本）
	地上波スポット	（継続）	Ⓖ・Ⓔ 随時（15秒・30秒・１分ほか）	本体制作
	経営広報スポット	（継続）	地上・BS２波 随時（５秒・30秒・１分ほか）	NSCに委託
	中央放送番組審議会	（継続）	Ⓖ　原則開催当月 最終日曜　前 6:50〜 6:52 R1　原則開催当月 最終土曜　前 6:53〜 6:55	本体制作
	関東甲信越地方放送番組審議会	（継続）	Ⓖ　原則開催翌月 第２日曜　前 6:50〜 6:52（L）	本体制作
	国際放送番組審議会	（継続）	Ⓖ　原則開催当月 最終日曜　前 5:10〜 5:12	本体制作
衛星	BSスポット	（継続）	BS1・BSP・BS４K・地上 随時（15秒・30秒・１分）	NSCに委託
その他	BS普及推進スポット	（継続）	BS２波・地上 随時（30秒・１分ほど）	NSCに委託

表9　特集番組一覧（2020年度）

放送日	メディア	タイトル
（継続）〜12月	Ⓖほか	ここに、公共放送　南海トラフ地震に備える編（１分）
（継続）〜11月	Ⓖほか	フレッシャーズキャンペーン 大人になったキミへ（30秒）
（継続）〜９月	Ⓖほか	ここに、公共放送　地域の防災意識（１分）
（継続）〜12月	Ⓖほか	ここに、公共放送　N響と演奏編（１分）
（継続）〜６月	Ⓖほか	NHK-ACジャパン共同キャンペーン「ずっとそばに、ずっとあなたと。」（15秒、30秒）
（継続）〜３月	ⒼBS４K	ここに、公共放送　東京タワー編（１分）
（継続）〜３月	Ⓖほか	ここに、公共放送　８K発信地域の誇り編（１分）
（継続）〜10月	Ⓖほか	あなたの天気・防災サイト　河川カメラ紹介編（30秒）
（継続）〜10月	ⒼBS４K	東日本大震災　記憶を未来へ（３分・１分）
（継続）〜８月	ⒼBS４K	プレマップ　著名人が語る４K８Kの魅力　ジョン・カビラ編（５分）
（継続）〜10月	ⒼBS４K	ここに、公共放送　365日放送を伝え続ける（１分）
（継続）〜２月	ⒼBS４K	こっち　すごいよ。３（15分・10分）
（継続）〜２月	Ⓖ	NHKプラスはじめました編（１分・２分）
（継続）〜２月	Ⓖ	NHKプラス 朝ドラ編（１分・２分）
継続	Ⓖほか	受信料広報スポット　ワンライティング周知編（30秒）
継続	Ⓖほか	どーもくん汎用スポット　15秒（これまでも編、これからも編、うさじいありがとう編）
継続	Ⓖほか	どーもくん汎用スポット　30秒（これまでもこれからも編）
継続	Ⓖほか	どーもくん汎用スポット　15秒（NHKプラス編）
継続	Ⓖほか	新型コロナ情報はNHKプラスで（30秒・１分）
（継続）〜３月	Ⓖほか	NHKプラス 夢を叶えたあいつ編（30秒）

放送日	メディア	タイトル
4～8月	Gほか	ここに、公共放送　被爆75年SNSで追体験（1分）
4～3月	Gほか	NHKプラス 見逃させない女編（30秒）
4～9月	Gほか	新型コロナ感染防止メッセージ新しい生活編（30秒・15秒）
4～6月	Gほか	新型コロナ感染防止私たちにできることどーもくん編（15秒）
5～3月	Gほか	NHKプラス 全部見た男編（30秒）
5～3月	Gほか	新型コロナ 受信料免除について（30秒）
5～3月	Gほか	新型コロナ　受信料HPへの誘導スポット（30秒）
6～7月	Gほか	ポスティングへのご理解について（1分・30秒）
6～12月	Gほか	ここに、公共放送　沖縄戦75年記憶をつなぐ編（1分）
6～9月	Gほか	Withコロナ 新たな日常のために プロレス編（30秒・15秒）
6～9月	Gほか	Withコロナ 新たな日常のために バレエ編（30秒・15秒）
6～9月	Gほか	Withコロナ 新たな日常のために 自転車編（30秒・15秒）
8～3月	Gほか	受信料値下げ周知（30秒・15秒）
7月～	Gほか	NHK-ACジャパン共同キャンペーン　どんなときでも編（30秒・15秒）
8月～	Gほか	受信料PRスポット　BS契約編（15秒）出演：和久田アナ
8月～	Gほか	受信料PRスポット　住所変更編（15秒）出演：和久田アナ
8～12月	Gほか	“あの日”の記憶を後世につなぐ（3分・1分）
8月	Gほか	パブコメ募集 NHK経営計画（1分）
8月	Gほか	高校生メッセージ　合唱三昧編（30秒）
8月	Gほか	高校生メッセージ　野球特番編（30秒）
8月	Gほか	高校生メッセージ　甲子園編（30秒）
8月	Gほか	高校生メッセージ　インハイ編（30秒）
8月	Gほか	NHKハート展告知板（30秒）
9月	BS4K BS8K	超絶体験 8K4Kキャンペーン（30秒・15秒）
9～10月	G	NHKプラスPR　麒麟編（1分）
9～10月	G	パブコメ募集　インターネット活用実施基準（1分）
9～12月	G	スクープBOX 下半期（1分・2分）
10～12月	Gほか	営業訪問員再開スポット（30秒）
10～11月	G	秋の夜長は、NHKプラス（1分）
11～12月	G BS4K	見ようよ！4K8K！（30秒・15秒）
11～3月	G	コロナ特設サイト　データ編（1分）
11～3月	G	コロナ特設サイト　しっておきたい編（1分）
11～3月	Gほか	NHKプラス Eテレ生活情報編（30秒）
11～3月	Gほか	NHKプラス アート編（30秒）
11～3月	Gほか	NHKプラス サイエンス編（30秒）
11月～	G BS4K BS8K	経営広報プレマップ　東日本大震災　記憶を未来へ（1分、3分）
12月	Gほか	NHKプラス　お早めに編（30秒）
12月	Gほか	NHK歳末たすけあい・海外たすけあい「あなたのやさしさを2020」（5分×2本）
12月1日	Gほか	きょうからNHK歳末たすけあい・海外たすけあい（3分）
12月25日	Gほか	NHK歳末たすけあい・海外たすけあいを終えて（3分）
1月	Gほか	NHKプラス　紅白見逃し編（30秒）
2月～	G BS4K	スクープBOX PRスポット（1分・2分）
3月～22年3月	Gほか	受信料の窓口さん「家族割引編」
3月～22年3月	Gほか	受信料の窓口さん「奨学生免除編」
3月～22年3月	Gほか	受信料の窓口さん「新規契約編」
3月～	Gほか	どーもくんスポット　どんぐり編（30秒・15秒）
3月～	Gほか	どーもくんスポット　ストレッチ編（30秒・15秒）
3月～	Gほか	どーもくんスポット　さがしもの編（30秒・15秒）
3月～	Gほか	どーもくんスポット　たーちゃんライブ編（30秒・15秒）

首都圏局・水戸局・さいたま局・大阪局・仙台局などと連携しながら広報活動に取り組んだ。

【3】20年度大型スポーツキャンペーンの展開

東京オリンピック・パラリンピックの延期により，20年度は大型スポーツキャンペーンも中止。

【4】受信料広報

営業局と連携し，新生活をスタートする大学１年生・新社会人向けに受信料制度についての周知広報を行うフレッシャーズキャンペーンを実施した。コロナ禍で，キャンパスや会社に通えないことも想定して，リモートでも伝える手段としてデジタル版リーフレットを制作し，フレッシャーズ世代に役立つ番組や防災アプリなどのサービスを紹介した。また，「家族割引」や「奨学生免除」についても分かりやすく紹介した。また，放送用スポットやウェブ用動画も制作，広く周知を図った。

4 インターネットによる広報

【1】経営情報ホームページ

経営情報ホームページでは，デザインを刷新し，多様な職員の顔が見え，視聴者に分かりやすく「新しいNHK」をお伝えするホームページとした。次期経営計画の公表にあたっては，経営企画局やデザインセンターと連携し，経営広報番組や配布資料と合わせてデザインの統一をし，コーポレート・ブランディングの強化を図った。経営企画局や経理局・営業局などからの各種掲載依頼に対してスピーディーな情報更新に努めた。「視聴者のみなさまへ」のページについても，視聴者が知りたい情報にすぐアクセスできるページにリニューアルした。

【2】『大河ドラマ』などの公式ホームページ

年間を通じて開設している『大河ドラマ』『連続テレビ小説』の公式ホームページでは，出演者インタビュー記事など企画の充実を図り，ツイッターやインスタグラムなどSNSとも連携して情報を発信した。

【3】ウェブサイト「NHK_PR」

広報局制作部で運営するウェブサイト「NHK_PR」は，従来の番組情報に加えて，NHKプラス見逃し番組への誘導を強化。「見逃し番組日記」という記事を立ち上げ，放送後１週間見られる番組を３本紹介する記事を週２回更新。NHK_PRサイトからNHKプラスへ，１週間平均およそ１万のアクセスを実現。また，コロナ禍で『大河ドラマ』『連続テレビ小説』をはじめとするさまざまな番組の出演者発表会見や取材に制限が出る中，NHK_PRサイトでのリリース記事や動画コンテンツの発表にも力を入れ，積極的にPRを行った。

【4】SNS

SNSを用いた広報としては，ツイッター，フェイスブックを活用して，番組や編成，デジタルセンターとも連携しPRを行うほか，台風や地震などの災害時には，最新のニュース情報やコロナ禍での避難のポイント，ラジオの周波や在住外国人向けに18言語で災害ニュースを発信しているNHKワールドのホームページなど，NHKが持つありとあらゆる災害情報コンテンツへの誘導を行った。また，全国のSNSアカウントとの横連携・支援も強化。10月14日の鉄道の日には，全国26のNHKアカウントが参加し，各局のロボカメで鉄道駅やさまざまな鉄道を撮影した写真や動画を「＃NHK鉄道の日」という共通ハッシュタグで投稿し，話題となった。

営　業

概　況

新型コロナウイルスの感染拡大による影響により，社会動向を踏まえて，訪問活動の縮減･停止，再開を行うなど「お客様に感染させるリスク」および「訪問員が感染するリスク」を考慮した活動を行った。年度途中に訪問による契約収納活動を段階的に縮小する方針を決めたため，ケーブルテレビなど各種邦人・団体との連携を強化するなど訪問によらない取次を向上させる営業活動を推進した。

20年度，民事手続きによる支払督促の申し立てについては，全国で65件実施し，これまでの累計で１万1,343件の申し立てを行った。未契約者に対する民事訴訟については，11件提起し累計で506件となった。

公共放送の役割や受信料制度の意義などについ

て誠心誠意説明を行ってもなお，契約や支払いに応じなかったため，最後の手段としてやむをえず民事手続きに至った。

契約総数は，年度内に46万件（有料無料計）減少し，20年度末の契約総数（有料無料計）は4,477万件となった。

衛星契約は，年度内に15万件（有料無料計）減少し，20年度末の衛星契約数（有料無料計）は，2,274万件となった。

口座振替等については，年度内に81万件減少し，20年度末の利用件数は4,059万件となり，利用率は，97％となった。

営業の活動全般

1 営業拠点

受信契約の徹底と受信料の確実な収納を図るため，各地域放送局内の営業部のほかに，大都市圏地域を中心に18の営業センターを設置。全国合わせて62の営業部と営業センターが営業活動の拠点。各営業拠点では，地域別や業務内容別（地域スタッフ法人委託対応，事業所対応，お客様対応など）に業務実施グループを編成し，営業活動を実施した。

2 営業活動単位

【1】営業職員

地域スタッフの指導や法人委託事業者の支援活動，ケーブルテレビ・事業所等との渉外業務や視聴者からの問い合わせ対応，地域状況の分析を実施。また受信料の契約・収納業務を行った。

【2】地域スタッフ

委託契約に基づき，受信料の契約・収納業務およびポスティング業務を行った。

【3】法人委託

委託契約に基づき，受信料の契約・収納業務およびポスティング業務を行った。電器店や不動産会社等，契約業務のみを行う場合もあった。

受信契約

1 受信契約者の維持・増加活動

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により，20年度初頭から５月まで全国の地域において法人・個人委託事業者による訪問活動を自粛した。その後，感染拡大防止策を徹底した上で段階的に営業活動を再開したが，対面時の対応時間を極力短くするなど，限定的に活動を展開した。

一方で，契約取次業務を委託しているケーブルテレビ事業者や電器店，不動産事業者等の窓口等における契約取次数の向上に向けて連携強化を図ったほか，BS対応機器に同梱される「ファーストステップガイド」への衛星契約書の封入や，CASメッセージ機能やダイレクトメールを活用した契約勧奨，「受信料の窓口」（インターネット営業センター）や「NHKフリーダイヤル」による受信契約・住所変更の受け付けを行った。

2 事業所などの受信契約

新型コロナウイルスの感染拡大による影響により，事業所の休廃業が10万件発生した。丁寧な受け付けを行うとともに，休廃業に伴う放送受信料の返戻処理を実施した。持続化給付金受給に伴う放送受信料の免除申請については，DM発送による周知と合わせ，業界団体への業務委託を活用した周知活動を行い，合計86万件の免除申請を受け付けた。放送受信料の支払いが困難な事業者より支払延伸の申し出を受け付け，請求を保留する処理を行った。また，10月には値下げを実施し，官公庁や業界団体のまとめ支払を利用する事業者に対して，放送受信料の返戻を行った。感染者数が減少に転じ，営業を再開した事業者を中心に契約取次を実施したが，年間の受信契約数は14万件減少し，年度末の事業所契約件数は358万件となった。

3 営業システム

受信料の請求，収納など営業活動の支援は，営業システム「EGGS」を活用。併せて，より効率的・効果的な訪問活動を目指し，携帯端末システムの更新を行い，10月までに全国配備が完了し運用を開始した。

20年度は10月に実施した「受信料値下げ」に

対応するため，EGGSシステム改修を実施した。

また，「受信料の窓口」のユーザビリティ向上に向けて，「新規契約手続・住所変更手続・衛星契約変更手続」等のリニューアルを実施した。

受信料の収納

1 口座振替など間接収納の促進

受信料の収納には，口座振替・クレジットカード等継続払・継続振込がある。

単身世帯や共働き世帯の増加，オートロックマンションの普及などにより面接困難世帯の割合が高く，営業活動の困難度は依然増加傾向。そのため収納の安定化や効率的業務推進のための口座振替拡大に加え06年６月から「クレジットカード継続払」の支払いを開始し，20年度末の利用件数は734万件となった。

振込用紙発送時や新規の受信契約を取り次ぐときには，口座振替・クレジットカード等継続払の利用を積極的に勧奨したほか，ダイレクトメールによる勧奨も実施した。

20年度末の口座振替・クレジットカード等継続払による受信料支払い件数は3,254万件で，これらの利用割合は78.0％となった。

2 受信料の収納体制

【1】口座振替

口座振替は，都市銀行，地方銀行，第二地方銀行，信用金庫，信用組合，労働金庫，農協，漁協，ゆうちょ銀行，ネット銀行の一部が利用可能。

【2】クレジットカード等継続払

クレジットカード等継続払は，20年度末時点で19ブランドのカードが利用可能。また，NTT電話料金との一括支払いやスマホ決済アプリサービスを通じての支払いが可能。

【3】継続振込の取り扱い窓口

継続振込の取り扱い窓口は，都市銀行，地方銀行，第二地方銀行，信用金庫，農協，コンビニエンスストア，ゆうちょ銀行。

このほか，ケーブルテレビ事業者による衛星受信料「団体一括支払」制度により，収納の安定的かつ効率的な推進に努めた。

3 メッセージ機能の活用

BS放送の設置確認を効果的に行い，受信料の公平負担を徹底するため，BS放送のテレビ画面に，BS受信機の設置についてNHKへの連絡を促す設置確認メッセージを表示している（**図1**）。

受信機設置後，初めてNHKのBS放送を選局した時から，NHKのBS放送にチャンネルを合わせるたびに，テレビ画面の左下隅に設置確認メッセージが表示される。

画面に表示されたいずれかの方法で，B-CAS（ビーキャス）カード番号あるいはACAS（エーキャス）番号，名前や住所などをNHKに連絡すると，設置確認メッセージ表示の消去を受け付ける。NHKでは，この情報を基に，契約状況を確認し，衛星契約が済んでいない人には，契約の依頼を行っている。さらに，受信機設置の連絡後，一定期間を経てもなお衛星契約の届けがない場合に契約案内メッセージを表示する運用を10年12月から開始した。

図1　BS受信機　設置確認メッセージ

【受信機設置のご連絡のお願い】
NHKでは，衛星契約済みの方も含め，衛星放送受信機ごとに，設置のご連絡をお願いしております。メッセージの消去方法は，リモコンの青ボタンを5秒以上押すと表示されます。電話の場合は0120-933-933（おかけ間違いにご注意ください）

視聴者との回路作り

1 「チャレンジ80＋」活動

「チャレンジ80＋」とは，「支払率（18年度・82％）」「衛星契約割合（同・52％）」の数値の毎年度１ポイント向上を目指す，全局体制での，公平負担徹底に向けての取り組みのこと。「大都市圏」「地域局」「公共放送・受信料制度の理解促進」が３本柱。新型コロナ感染拡大の影響で，従来の営業活動を自粛したり，イベントが中止となる中，新たな視聴者コミュニケーション活動を模索。「新型コロナ報道・対策」を届けきる広報資材の作成や，「訪問によらない営業活動」に資

する活動の開発に取り組んだ。

震災後10年を迎える東北地方で，秋田・宮城と２本の地域発ドラマを制作・放送，地域局からは，新型コロナ感染拡大により落ち込んだ観光業の復興を支援したり，大学に通えない学生を応援する等，地域の活性化につながる企画提案が出され実施した。

また，21年度へ向けて「NHKの社会的必要性」を向上させるための新たな視聴者とのコミュニケーション活動を考案中。

2 視聴者との結び付き強化

【1】受信料の理解促進活動と視聴者対応

インターネット，経営広報番組，スポット放送などを通じて受信料制度や受信料の値下げ，公共放送の役割などを伝える理解促進活動を積極的に展開した。

❶インターネットや放送を通じた理解促進活動

NHKオンライン「受信料の窓口」の利便性向上に向けて掲載内容や手続き欄等をユーザー視点で大幅に改修するとともに，アクセスしやすいように，アイコン表示を共通ヘッダー欄に変更した。また，コロナ禍における事業所契約に関する免除措置や訪問員の対応についてのスポットを制作し，放送を通じた理解促進活動も展開した。

❷多様なコンテンツと連動した理解促進活動

新サービス「NHKプラス」の利用促進に向けて，さまざまな媒体を通じて周知活動を行ったほか，編成局と連携し，「就活応援ニュースゼミ」を全国の各大学に紹介するなど“テレビ離れ”が進む若年層に向けた公共メディアのコンテンツについての周知・広報活動を積極的に展開した。

❸地域スタッフ・法人委託への情報提供と研修

全国の訪問員を対象に，NHKの番組や事業運営について理解を深めてもらうとともに，お客様との応対に役立つ「聞く」「伝える」スキルを習得してもらうことを目的に，本部アナウンサーによるリモート講習会を７回開催した。

3 視聴者の意向収集と業務への反映

職員や地域スタッフ，法人委託などによる訪問活動や電話対応など日常の営業活動の中で，視聴者意向の収集に努めた。

4 NHKふれあいセンター（受信料関係）

これまでの東京・大阪・福岡・仙台に加え，21年２月，札幌にふれあいセンター（営業）を開設し，全国５つの拠点で，視聴者からの電話による「放送受信契約の申し出」「受信料関係の問い合わせ」の受付業務を実施した。効率的・効果的な業務運営の観点から，従来午前９時～午後８時としていた受付時間を20年10月から，午前９時～午後６時に変更し，入電数の多い日中の受付体制の強化と応答率の向上を図った。このほか，口座振替やクレジットカード継続払の利用勧奨や継続振込等の入金依頼，衛星契約の契約勧奨など，受信契約者へのアウトバウンド業務も積極的に展開した。

また，東京のふれあいセンター（営業）では，BSデジタル放送の「メッセージ消去」の受け付けと同時に衛星契約の届け出を受理する取り組みの充実を図った。

第4章

地域放送局

地域放送局の組織と編成

拠点放送局

本部を除く53の放送局のうち，大阪，名古屋，広島，福岡，仙台，札幌，松山の７つの放送局と本部の首都圏局のあわせて８局を拠点放送局と位置づけ，域内各放送局の支援･調整機能を持たせている。

拠点放送局の組織・業務体制は，放送部（大阪と名古屋は編成部，制作部，報道部），技術部，広報・事業部（大阪は広報部，事業部。首都圏局にはない），営業推進部（首都圏局にはない），企画総務部（首都圏局は企画部）である（このほか首都圏局にはメディア展開部がある）。なお，これに加えて，大阪には考査部が，また，大阪には３か所，名古屋には２か所，札幌には４か所の営業センターがある。

拠点放送局は，各組織が連携しながら全局を挙げて視聴者本位の地域サービス充実のための業務運営を推進している。

放送局

放送局の組織・業務体制は，企画編成部，放送部，技術部，営業部の各部が連携しながら全局を挙げて視聴者本位の地域サービス充実のための業務運営を推進している。

地域放送番組の編成

全国の放送局は，地域の豊かな自然，暮らし，人と人との温かなつながりを情報番組やドラマなどさまざまなジャンルの番組で描き，発信した。また，雇用，教育，医療，福祉，農業などの分野で，地域の優れた取り組みや課題をニュース・報道番組で深く掘り下げたほか，新型コロナウイルスの感染拡大に際し，各地域における感染の状況や地方自治体の対応等に関する情報発信に努めた。

「地域放送番組編集計画」（⇒p.595）

地域の実情に応じた放送サービスの充実

20年度も各放送局は，それぞれ地域の実情に応じた放送に取り組んだ。

夕方のニュース・情報番組では，前橋局，宇都宮局で放送時間を10分拡大した。

金曜夜間では，地域の課題と向き合い，解決の糸口を探る番組など，多様な番組を放送した。地域別に挙げると，『北海道道』「アイヌとして生きるために」，『東北ココから』「震災関連死　命はどうすれば守れたか」，『首都圏情報　ネタドリ！』「首都圏に緊急事態宣言　私たちの生活は？医療は？」（関東甲信越地方），『ナビゲーション』「立往生はなぜ繰り返されるのか～生かされなかった教訓～」（中部地方），『かんさい熱視線』「迫る住民投票　徹底討論　大阪の未来は」，『ラウンドちゅうごく』「核兵器禁止条約発効　ヒロシマの思いは」，『四国らしんばん』「祭りのない夏～阿波おどりのまちは今～」，『実感ドドド！』「負担と恩恵　“馬毛島　基地計画”の問いかけ」（九州沖縄地方）などである。地域改革の一環として地域サービスの充実を図り，各地域の情報，魅力を取り上げた『イッピン』等の全国放送番組や『Journeys in Japan』等の国際放送番組を活用するなど，地域放送の拡充に努めた。また，地域の関心の高いスポーツ中継を随時，放送した。

ラジオにおいて，災害時の機能強化等を目的とした生放送の番組として，ラジオ第１で『十勝の話題と音楽』（帯広エリア），『ホッと！四国』（四国エリア），『きたきゅーラジオ』（北九州エリア）を新設した。

地域発全国放送番組の充実

地域を舞台に地域放送局が制作した地域発ドラマとしては，『金色の海』（秋田局），『ペペロンチーノ』（仙台拠点局）をBSプレミアムで放送した。

地域からの全国発信枠として，総合テレビでは，『うまいッ！』『ドキュメント72時間』などを継続して放送したほか，総合テレビの『にっぽんぐるり』（９月から『NHK地域局発』）やBS1の『○○推し！』で，各放送局が制作した番組を全国に紹介した。総合テレビでは，後半期の改定で，各放送局で伝えた地域のニュースを全国に発信する『列島ニュース』を新設した。

地域別業務概要

北海道

1 放送

【1】放送の概要

北海道では７つの放送局が連携しながら広大な地域を取材し，一体となって地域放送サービスを行っている。

総合テレビ金曜夜7時30分に，長く続いていた『北海道クローズアップ』と『北海道中ひざくりげ』に変わって，新番組『北海道道』をスタートさせた。さまざまな切り口から北海道の今を伝えた。

新型コロナウイルスの影響で北海道民の暮らしが一変した１年。『おはよう北海道』や『ほっとニュース北海道』などのニュース番組で新型コロナウイルスの最新状況を日々伝えたほか，『北海道道』や『北海道スペシャル』でも新型コロナウイルスに関連するテーマを複数回取り上げて，より詳しく伝えた。

また，北海道の各地域で活躍する若者たちと一緒に番組を作り上げていく，『＃ローカルフレンズ出会い旅』や『＃北海道ピットインラジオ』といったシリーズ特集番組も随時放送した。

【2】地域放送番組

❶定時番組

『NHKニュース　おはよう北海道』 Ⓖ

月～金　7:45～ 8:00

『NHKニュース　おはよう北海道　土曜プラス』 Ⓖ

土　7:30～ 7:55

第１回93.4.5／北海道ブロック／北海道の最新ニュースと詳しい気象情報で北海道の朝を生き生きと伝えるニュース情報番組。北海道の今を映し出すリポート・中継，暮らしに役立つ生活情報，知って得する天気企画など情報満載に伝えた。「北海道日本ハムファイターズ」や「北海道コンサドーレ札幌」の活躍をスタジオの解説者が分析するコーナーや，気になる旬の人物に迫るインタビューなども伝えた。土曜は25分のワイド版「土曜プラス」として，タイムリーなテーマを深く掘り下げる特集や，リポーターが道内各地を訪ね歩く「ぶらりみてある記」などのコーナーで，地域の話題を多彩に伝えた。

『ひるまえナマら！北海道』 Ⓖ

月～金　11:30～11:54

第１回18.4.4／北海道ブロック／道内各地から“魅力的な北海道人”を札幌のスタジオにゲストとして招き，地域の情報や季節の話題，生活に役立つ知恵を伝える生放送の番組。毎日，気象予報士が出演して道内各地の気象情報を分かりやすく伝えたほか，各地域の魅力を道内各局のリポーターが発信した。

『ほっとニュース北海道』 Ⓖ

月～金　18:10～19:00

第１回14.3.31／北海道ブロック／北海道内７局のネットワークを生かして，道内隅々から集めたニュースを伝えた。旬の現場からの中継や道内各局リポーターが伝える地域ならではの話題，減災・防災に役立つ気象情報を放送。スポーツコーナーでは，「北海道日本ハムファイターズ」「北海道コンサドーレ札幌」などのプロスポーツだけでなく，将来有望なアスリートたちにもスポットを当てて伝えた。また，視聴者の疑問や意見に記者・ディレクターが徹底調査して答える「シラベルカ」コーナーを設け，視聴者の声に応えた。

『ほっとニュース845』 Ⓖ

月～金　20:45～21:00

第１回14.3.31／北海道ブロック／北海道の１日のニュースを伝えるニュース番組。午後７時以降の新たなニュースや，きめ細かい気象情報を伝えた。

『ニュース北海道645』 Ⓖ

土・日　18:45～18:59

第１回13.4.6／北海道ブロック／土・日曜の北海道のニュースを伝えるニュース番組。ニュース，気象情報を伝えた。

『北海道道』 新 Ⓖ

金　19:30～19:55

再日　8:00～ 8:25

第１回20.4.3／北海道ブロック／北海道のあらゆる話題を親しみやすく伝える番組。地域の課題や時事問題から，自然，紀行，ドキュメンタリー，ヒューマンストーリーなど，あらゆるジャンルの

テーマを取り上げ，北海道の「いま」を届けた。主な内容：

「あなたはまだ北海道を知らない？」
「“コロナショック”～どうなる！？北海道経済～」
「今こそ届け“スポーツの力”」
「道民の底力　わたしが乗り越えてきた“道”～世界的バレエダンサー・熊川哲也～」
「密着　北海道医療センター～“コロナ専門病院”で何が起きたのか～」
「シゲチャン・ワールドへようこそ！」
「知床が教えてくれたこと～開拓魂が世界自然遺産を生んだ～」
「ついにオープン！“ウポポイ”潜入SP」
「胆振東部地震から２年～いま　そしてこれから～」
「直木賞作家　馳星周　“ノワール作家”の変貌に迫る」
「デアリングタクトの奇跡」
「アイヌとして生きるために」
「吉田兄弟SP　登別から世界へ～“北海道三味線”が切り拓いた道～」
「続く投資熱　コロナ禍で何が」
「旅立ちの言葉～コロナ禍の１年　それぞれの卒業～」
「当たり前の幸せを～“同性婚訴訟”判決へ～」

『北海道スペシャル』　Ⓖ

金　20:00～20:42

第１回14.4.4／北海道ブロック／北海道が抱える課題や視聴者の関心の高いテーマに向き合う番組。

「どうする？“コロナ時代”　＃シラベルカ特別編」
5.29／19:30～20:41
「検証　茨戸アカシアハイツ～“介護崩壊”は防げなかったのか～」
7.10
「“核のごみ”に揺れた町」
12.25／19:30～20:17
「帰郷　～アイヌ　遺骨返還の行方～」
12.25／22:00～22:50
「裏山にヒグマがいる」
12.29／21:00～21:45
「にもかかわらず歌う～音楽療法士の生命賛歌」
1.15／19:56～20:39

『いくぞ～！北の出会い旅』　Ⓖ

金　19:56～20:38

第１回10.4.23，最終回21.3.5／北海道ブロック／歌手の吉幾三さんがゲストとともに北海道の美しい風景，豊かな食，人情に出会うぶっつけ本番の紀行番組。新型コロナウイルスの影響でぶっつけ本番旅ができなかったため，これまでの旅の記録を基に放送した。

「笑い！驚き！ハプニング！感動の10年」
10.30
「～笑顔の思い出スペシャル～」
1.22
「ありがとう北海道！感謝と笑いの10年間」
3.5／19:57～20:42

『Wild Hokkaido！』　Ⓖ

土　10:55～11:11

第１回18.4.7／北海道ブロック／NHKワールドJAPANのTVで放送している『Wild Hokkaido！』の日本語字幕版を毎週定時に放送。シャーロット・ケイト・フォックスさんなどのナビゲーターが北海道の大自然の魅力や観光情報を伝えた。

---

❷特集番組

北海道ブロック

『ドラマ「3ROOMS」』　Ⓖ

第１話「座敷笑死テレポート」
札幌拠点局（以下，札幌局）　5. 4／23:40～ 0:10
第２話「カレのひとくち」
5. 5／23:50～ 0:20
第３話「かっこいい隣人」
5. 6／23:50～ 0:20

『北海道スポーツ名勝負列伝』　Ⓖ

「第１回　Jリーグ　北海道コンサドーレ札幌」
札幌局　5.16／15:05～16:50
「第２回　プロ野球　北海道日本ハムファイターズ」
5.23／15:05～17:25
「第３回　バスケットボール　レバンガ北海道」
6. 6／15:05～17:10

『70年目のFACEOFF～クレインズの軌跡～』Ⓖ

「崖っぷちのクレインズ　最後の戦いへ」
釧路局　5.23／10:05～10:55

『＃ローカルフレンズ出会い旅』　Ⓖ

「＃オンラインで旅してみた件」
札幌局　5.31／13:35～13:50
Vol.2「＃函館は秘密基地だった件」
7.11／22:45～23:00
「＃知床と清里にほれこむ件」
8.11／22:45～23:10

「SP　＃新時代がはじまった件」
9.18／19:57〜20:42
「＃伊達は応援合戦な件」
10.17／20:15〜20:40
「＃中標津ではじめてみた件」
3.19／22:45〜23:10
『北海道民！フカボリサーチ』 Ⓖ
札幌局　7.12／13:05〜13:50
（2）「観光の観光による観光のための調査！」
11. 8／13:25〜14:10
「〜こんな時だからこそ『挑戦』している人を調べてみた〜」
11.22／13:05〜13:50
「コロナに負けるな！今年にかける人を調べてみた」
1.31／13:05〜13:50
（5）「明けぬ夜はない！道民にエールを！！」
2.21／13:05〜13:50
『北海道戦後75年特集　海底に眠る青函連絡船』 Ⓖ
札幌局　8.14／19:30〜19:57
『音尾琢真が探る　コタンのシュバイツァー　高橋房次物語』 Ⓖ
札幌局　9.25／20:00〜20:42
『道南わや祭り』 Ⓖ
札幌局　12.25／20:17〜20:42
『北の文芸館2020　〜鉄道員（ぽっぽや）〜』 Ⓖ
札幌局　12.26／10:05〜10:48
『北の文芸館2020　〜少年と犬　起終点駅（ターミナル）〜』 Ⓖ
札幌局　12.26／10:48〜11:31
『NHK高校放送部「あの高校生はいま」』 Ⓖ
札幌局　3.21／ 8:26〜 8:51
『オホーツクック〜究極の一品〜』 Ⓖ
札幌局　3.26／19:30〜19:57
『アオハル甲子園　〜マイナークラブ☆フェスティバル〜』 Ⓖ
札幌局　3.26／19:58〜20:41
『函館でまわりみちを　私たちのシェアハウス　〜「わらじ荘」一年間の物語〜』 Ⓖ
札幌局　3.27／22:10〜22:53
『高校生！！！まるごと雑談ラジオ』 R1
札幌局　5. 1／16:05〜16:55，17:05〜17:55
『the Locals ＃北海道ピットインラジオ』 R1
札幌局　7.29／20:05〜20:55，21:05〜21:55
「vol.2」
9.30／20:05〜21:00
「vol.3」
3.25／20:05〜20:55，21:05〜21:55
『十勝の話題と音楽　あすにつなぐ夏』 R1
「十勝から甲子園へ！白樺・帯農応援スペシャル」
帯広局　8.14／18:05〜18:50
『ハッシュタグラジオ〜＃境界線を溶かせ〜』 R1
札幌局　10.17／18:00〜18:50
『十勝の話題と音楽』 R1
帯広局　10.22／16:05〜16:55
『RADIO SHINRO』 R1
札幌局　2.19／20:05〜21:00，21:05〜21:55
『防災ラジオ　“まさか”は必ずやってくる　〜大切な人の命を守る』 R1
函館局　3. 7／13:05〜13:55，14:05〜14:55
『北のシナリオ大賞ラジオドラマ』 R1
「土方さん、さようなら」
札幌局　3.14／15:05〜15:55
『函館発！オンラインでつながるラジオ』 FM
函館局　6.14／14:00〜16:00
『北の文芸館2020』 FM
札幌局　12.13／14:00〜15:50
『札響FMコンサート』 FM
「〜第634回定期演奏会〜」
札幌局　2.28／14:00〜16:00
「〜第635回定期演奏会〜」
3.28／14:00〜16:00
『あっぷるラジオFMスペシャル』 FM
「目指せ！世界遺産登録！縄文人はオトモダチ！」
函館局　3.21／14:00〜16:00

［各局単］

帯広単

『十勝の話題と音楽』 R1
4.23，5.28，6.25，8.27，9.10，10.22，11.26，12.24，1.28，2.25／16:05〜16:55
7.16／16:21〜16:55

釧路単

『シン・クシロ対策本部』 Ⓖ
3.26／19:58〜20:43

【3】スポーツ中継

❶野球

〔高校野球〕

夏季北海道高校野球大会　南北海道大会

準決勝　ⒼⒺR1／ 8. 8
決勝　ⒼⒺR1FM／ 8. 9

夏季北海道高校野球大会　北北海道大会

準決勝　E FM／8.10

決勝　E FM／8.11

第73回秋季北海道高校野球大会

準決勝　R1／10.10

決勝　G R1／10.11

〔プロ野球〕

「楽天」×「日本ハム」　G／6.27

「日本ハム」×「ソフトバンク」　G／7.5

「日本ハム」×「西武」　G／10.15

「日本ハム」×「オリックス」　G／11.1

「日本ハム」×「西武」　G／3.30

❷サッカー

〔Jリーグ〕

「北海道コンサドーレ札幌」×「横浜F･マリノス」　G／7.26

「北海道コンサドーレ札幌」×「浦和レッズ」　G／9.13

「北海道コンサドーレ札幌」×「横浜FC」　G／10.24

「サンフレッチェ広島」×「北海道コンサドーレ札幌」　G／11.28

「北海道コンサドーレ札幌」×「横浜FC」　G／2.27

❸その他のスポーツ

〔バスケットボール〕

Bリーグ

「レバンガ北海道」×「横浜ビー･コルセアーズ」　G／1.23

〔アイスホッケー〕

アイスホッケー　ジャパンカップ2020

「ひがし北海道クレインズ」×「王子イーグルス」　E／1.17

2 技術

【1】地域放送番組の充実

新型コロナウイルス感染防止に細心の注意を払いつつ地域が必要とする番組の制作に取り組んだ。『北海道まるごとラジオ』(6.4)では，道内7局のスタジオとゲストをリモート接続して自然に掛け合いができる環境を構築して，北海道の魅力を生放送で全国に発信した。また，『ひるまえナマら！北海道』や『北海道道』などでもリモート出演環境を構築して情報を発信した。

白老町にオープンしたアイヌの伝統文化に触れる「ウポポイ（民族共生象徴空間）」のオープンを生中継で全国に伝えた(7.12)。

『ゆく年くる年』(12.31)で足寄町から年の瀬の北海道の冬景色を全国に発信した。また，『くらし☆解説』(8.21)や『時論公論』(8.28)に札幌局から番組参加し，北海道の話題を全国に発信した。

『NHK高校放送部』では，コロナ禍で全国大会が中止となった「恵庭南高校男子体操部」(8.22)，「富良野高校少林寺拳法部」(8.27)を取り上げ，最後の晴れ舞台に臨む3年生の姿を番組で伝えた。「札幌国際情報高校吹奏楽部」(3.13)ではコロナ禍で中止となった老人ホームでの演奏会をリモートで伝える技術協力を行った。

『＃ローカルフレンズ出会い旅』(8.11，知床／10.17，伊達／3.19，中標津／3.27，函館)を通じて，北海道の知られざる地域の魅力を道内に発信した。また，『新・BS日本のうた』(11.12収録，恵庭)，『ベストオブクラシック』(11.29収録，伊達)の収録を実施した。

「釧路市長選挙」(10.18)では札幌局と釧路局が連携して，公示後の第一声伝送，選挙開票速報システム構築，政見経歴放送の収録・送出，データ放送等で正確かつ公正な報道を行った。

気象情報「3時間ごとの予報（時系列予報）」で，従来の晴れ・曇り・雨・雪に加え「雨または雪」の天気マークを追加した。また，高温注意情報をL字画面で放送し，視聴者にきめ細かく気象情報を提供した（8～9月上旬）。

このほか，プロ野球「北海道日本ハムファイターズ」，サッカーJ1「北海道コンサドーレ札幌」，プロバスケットボールBリーグ「レバンガ北海道」など，地元スポーツチームの活躍を生中継したほか，高校野球やNHK杯スキージャンプ競技大会(11.3)，アジアリーグアイスホッケー(1.17)など，ウインタースポーツや地域のスポーツ活動を全国・全道に発信した。

【2】事件･事故･災害報道への対応

全国各地の新型コロナウイルス関連ニュースをリレー形式で放送する『列島ニュース新型コロナ最新情報』(BS1 4.13～17，G 4.20～5.1)を札幌局から放送し，全国の視聴者に新型コロナウイルスに係る各地域の状況をリアルタイムで発信した。

「核のゴミ」関連（北海道知事と寿都町長会談（9月），寿都町住民説明会（9月），神恵内村長会見（9月），寿都町長・神恵内村長　調査応募判断（10月）など），北方領土上空慰霊（10月）などの報道を実施した。

【3】データ放送，双方向デジタルコンテンツの開発

『北海道道』「あなたはまだ北海道を知らない？」(4.3)，「どうする？“コロナ時代”＃シラベルカ特別編」(5.29) で視聴者からのツイートと番組ホームページへの投稿をリアルタイムで画面表示する双方向サービスを行った。

『ほっとニュース北海道』「シラベルカ」(6.1)，『北海道民！フカボリサーチ』(11.8，22) でスマートフォンを活用したウェブアンケート結果をリアルタイムで放送した。

そのほか『北海道道』『北海道民！フカボリサーチ』，R1全国放送『北海道まるごとラジオ』や『the Locals ＃北海道ピットインラジオ』で，視聴者がホームページやツイッターに投稿した内容を紹介して番組に参加する取り組みを行った。

無観客試合となった夏季北海道高校野球大会 (8.8～11) では，ファンからの応援メッセージをツイッターで募集し，放送中に紹介した。

また，北海道ならではのコンテンツとして「主要峠の状況」(11.5～５月中旬) や「札幌市除雪情報」(12.1～3.19) 等の独立データ放送を実施した。なお，「札幌市除雪情報」は地点数を増やし，デザインの改良を行った。

【4】放送設備の整備

新札幌拠点放送会館の整備について，新型コロナウイルス感染拡大に伴い工程の見直しを行った結果，運行装置やスタジオ等の基幹部分の放送設備の整備工事を11月に完了した。

迅速な報道を支えるため，札幌局と道内６局にIP中継設備を追加整備した。

電波確保を確実に継続するため，TV送信機（４局），ラジオ放送機（２局）を更新した。また，放送所の電源設備（２局），自家発電装置（２局），蓄電池設備（10局）を更新した。

NHK共同受信施設については老朽化した12施設を光ファイバーに更新した。

【5】視聴者とのふれあい活動

新札幌拠点放送会館にて『NHK高校放送部』「マイナークラブ☆フェスティバル」の公開収録を行った。リモート出演を含めて北海道内５校から６団体・個人が参加した (3.13)。

3 視聴者対応

【1】広報

❶広報活動（経営広報・番組広報など）

20年４月開始の新番組『北海道道』の番組広報に注力した。19年度末に，新MCの鈴井貴之さんと多田萌加さんをゲストに番組改編記者会見を開催。北海道新聞，サッエキサイネージ，Yahoo！で広告展開。また，初回から，MC2人が視聴者からの質問等に答えるウェブ動画「北海道道どうしましょう」を毎回公開し，Twitterでも配信した。秋には，上半期を振り返って鈴井さんの北海道新聞インタビューをセットした。新年１回目の新会館での収録特番では，北海道新聞の試写欄で記事化。北海道新聞の試写欄で，北海道タスクフォース（以下TF）企画の『＃ローカルフレンズ出会い旅』や『北海道スペシャル』などが合計10回取り上げられた。

道内のさまざまな職種の若手職員の仕事にかける思いをイラストとインタビューで紹介する「NHK北海道の中の人たち」を年間６回シリーズでウェブ展開。年度末には，人事グループとコラボし，採用PRを目的に冊子化し，道内の大学・高専・専門学校に配布。

また，TF企画コンテンツのプロモーションも積極的に推進。『NHK高校放送部』では，シールやミニノート等のグッズ制作や，ウェブ媒体での記事化，道内局初のインスタグラム広告も実施。「シラベルカ」では，ポスティング用の受信料PRリーフレットを５回制作し，グッドデザイン賞2020へも参加。21年度の「ローカルフレンズ滞在記」のポスター制作，広報戦略立案を手掛け，TFの理念“ローカルのパートナーになる”を宣言する冊子「the Locals」vol.2の制作・配布，NHK地域局初となるLINEリサーチによる道内視聴者のブランド調査も担当。

下半期には，事業チームと共同で「1972 SAPPORO VR Project」を展開。札幌市民から募集する前回1972年の五輪前後の写真からVRで当時の街並みを再現するプロジェクト。各種媒体での記事化，Facebook広告，民放FMノースウェーブ『NoMaps Radio』での告知のほか，特設サイトでの「同ポジ写真」「鉄道オタク記事」などコンテンツ展開を推進し，500枚超の写真が集まった。また，写真募集活動を通じて，札幌市営地下鉄や鉄道写真愛好会など各種団体とPR（パ

ブリック・リレーションズ）関係を構築。

21年２月に札幌新会館で，「新会館の本格運用開始と放送サービス拡充について」の局長会見を開催。広報局が開始した公式noteに，地域局として初参加し，瀬田宙大アナによるコラム記事を公開。

❷視聴者ふれあい活動

新型コロナの影響により，緊急事態宣言が出された４月以降，会館への入館制限や見学の休止などの対策を実施。10月に予定されていた新会館への移転も21年６月に延期したため，新会館視聴者ゾーンの整備を外部のデザインコンペを行い，充実に努めた。

❸視聴者対応

北海道内各局には，視聴者から電話やメールなど合わせて４万7,528件（放送・営業含む）の意見・問い合わせが寄せられた。

❹地域の特色ある視聴者活動・広報展開

函館局

北海道南営業センターと連携し，新型コロナウイルスの影響で中止となった「函館港まつり」にスポットをあてた１分ミニ番組『あつまれ！みんなdeいか踊り！』を放送するとともに，ホームページでも動画を公開。地域の視聴者がディレクターになって番組企画を考える『ザ・ディレクソンin北海道 道南』（BS1 10.24）をオンラインで実施。さらに最優秀に選ばれた企画を番組化した『道南わや祭り』（G 12.25）を管中と函館単で放送。ホームページ，SNSと連動し，道南の知られざる魅力を発掘。

旭川局

NHKと視聴者をつなぐ動画投稿サイト「道北感どーが」に20年度は24本の投稿があり，旭川局のホームページに掲載するとともにスポットを６本放送。また，北海道北営業センターと連携し，道北地方で活躍する若い世代の取り組みを紹介する１分間のミニ番組シリーズ，『Actionsfor DOHOKU』を８月に開始。年度末までに９本制作し，計43回の放送とともにホームページに掲載。経営委員が視聴者の意見を直接聞く「視聴者のみなさまと語る会 in 旭川」（９月）を全国で初めてオンラインで開催し，18人が参加。

帯広局

コロナ禍で夏の甲子園が中止になる異例の中，十勝の高校球児を応援する「あすにつなぐ夏」を企画。ローカルニュースやラジオ特番，ウェブでは放送と連動したホームページ展開やSNSを活用した情報発信，イベントでは帯広駅コンコースで甲子園交流試合の受信公開など，さまざまな視聴者コミュニケーション活動を実施。また，１分ミニ番組を放送とホームページで公開する企画として，コロナ禍でも祭りを支える地域の人たちの思いや，寒さを生かして楽しむ十勝の冬まつりを記録に残す「心ぽかぽか十勝冬まつり」を，北海道東営業センターとの連携では，看護師を目指して１日も早く地域医療の最前線に立つことを目指している看護学生を紹介する「十勝発！未来のナースにきいてみた！」を展開。

釧路局

北見局と共同で，世界自然遺産登録15年を迎えた知床エリアを舞台にキャンペーンを展開。シリーズ「知床に生きる」を『ほっとニュース北海道』内で放送（7.13～17）したほか，『北海道道』「知床が教えてくれたこと～開拓魂が世界自然遺産を生んだ～」，ミニ番組『ふらっと道東@なう 知床シリーズ』などを放送。番組内容や関連記事を「#知るトコ、知床チャンネル」としてまとめ，ホームページ展開。また，北海道北・東営業センターと連携し，北見・釧路・帯広管内で１万3,000部のチラシを配布。知床エリアの魅力，課題などを伝えた。２月には，列車の運行にあわせて「SL冬の釧路湿原号」を徹底解剖したカメラマンリポートや，360°カメラで撮影したVRミニ番組を放送。未公開シーンなどとあわせて特設ホームページ「密着！SLを守るヒトたち」を公開。スポットやSNS，QRコードを載せたポスターをJR釧網本線各駅で掲出。

北見局

知床・世界自然遺産登録15年を迎えた７月に１週間，釧路局と共同で『ほっとニュース北海道』のニュース企画を放送。また，放送と連動したホームページ「知床チャンネル」を開設。ウェブでも知床の魅力や課題を幅広く発信。12月に『ザ・ディレクソンinオホーツク』を放送。番組PRとしてディレクソン参加者の活動を紹介する１分スポットを制作。また２月に放送した『北海道まるごとラジオ』ではディレクソン参加者が出演し，オホーツクの魅力を地元の人の声で全国に発信。『ザ・ディレクソンinオホーツク』の優勝企画を番組化した『オホーツクック～究極の一品～』では，オホーツクの食の魅力を全道に発信。その他，自局ホームページに「オホーツクチャンネル」を創設し，

ウェブでのニュースコンテンツや番組情報を発信。

室蘭局

「北海道胆振東部地震」発災２年の取材・放送と連動したウェブの特設ページを８月に開設。被災地取材にあたった記者やカメラマンによるウェブオリジナル記事などを多数掲載し，被災地復興の様子を多角的に紹介。11月には，「the Locals」メンバーが代表を務める安平町の公営塾が企画した小学校でのニュース制作授業にアナウンサーを講師として派遣。ニュース制作の“裏側”を子供たちに説明するとともに，子供たちの制作したニュースに対し講評。２月には「いぶりひだかweek」を設定し，胆振日高地方を取り上げ好評だった番組を１週間にわたり集中編成。

【2】イベント事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響により，上半期の公開番組をはじめとする各種イベントを中止。「NHKこども音楽クラブ」（９月，美唄市73人）以降，一部を除き，クラシックコンサート，公開番組，子供向けイベント，オンラインイベントなど参加者の数を制限するなどし，感染対策を講じながら実施。

❶公共放送ならではの活動強化

年度当初，全国放送公開番組の実施を道内で21本予定していたが，新型コロナウイルス感染拡大の影響で，『新・BS日本のうた』（11月，恵庭市158人）を含め３本のみ実施。10月には，コロナ禍で公演が出来ていない地域のオーケストラを応援する目的で，札幌交響楽団の演奏により「オーケストラでつなぐ希望のシンフォニー」（札幌市370人）を実施。11月には，「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2020北海道地区大会」（468人）を大会初となるオンラインで開催。12月には，「NHK歳末・海外たすけあい」（12月１～25日）の期間中，「NHKハート展」（札幌市926人）を実施。また，１月には，番組の裏側を知る「NHK文化セミナー にっぽん百名山」（共和町77人），北海道地方放送教育研究協議会と共催で「実践オンラインワークショップin北海道学びを止めないために」（59人）をそれぞれ実施。２月には，「ワンワンわんだーらんど☆たんけんひろば」（札幌局新会館135人）を実施。

❷地域視聴者との結び付きを強める活動

札幌拠点局

視聴者コミュニケーション推進プロジェクト「北海道タスクフォース」の「NHK高校放送部」と連携した，「マイナークラブ☆フェスティバル」（３月，札幌市216人）を実施。知られざる高校生の魅力を，オンラインも活用したイベントと放送（Ⓖ3.26）で紹介。また，広報グループと連携した「1972 SAPPORO VR Project」で当時の札幌の街並みを再現した立体映像（VR）のお披露目（３月，札幌市511人）に合わせ，視聴者から寄せられた553枚の札幌オリンピック前後の写真をもとに，「昭和の札幌　～あの町　この人 その風景～」「札幌今昔写真展」を新会館で開催。

函館局

10月に「NHK大学セミナー」（函館大学231人）を実施。12月には全国公開番組『民謡魂 ふるさとの唄』（函館市217人）を実施。また，「3.11あの日の記憶～道南の津波防災に向けて～」（３月，函館市702人）を実施。函館市街の津波浸水映像，浸水域を大型マップと津波遡上高スケールで表現した「3.11函館津波浸水域マップ」等で震災を振り返り，『防災ラジオ　“まさか”は必ずやってくる　～大切な人の命を守る』（R1 3.7）とも連動し，超巨大地震への備えを呼びかけた。

旭川局

当初予定の公開番組やイベントが中止になる中，「NHKサイエンススタジアム2020 with 新しい日常」（12月，旭川市118人）を実施。日本科学未来館と親子で参加の旭川市科学館をオンラインでつないでの公開収録および生放送を実施。

帯広局

帯広局では，『真打ち競演』（６月，鹿追町）と『NHKのど自慢』（11月，音更町）が中止となった。『大河ドラマ』「青天を衝（つ）け」をテーマに「NHK文化セミナー」（３月，清水町190人）を実施。19年度前期『連続テレビ小説』「なつぞら」のレガシーを十勝に残すためギャラリーで開催した「『なつぞら』プレイバックギャラリー」の展示を動画で見られる「おうちdeギャラリー」をホームページ展開。

釧路局

例年地元防災団体と実施する「防災ワンデー」を，20年度は「進化する防災展in釧路」（１月，釧路市1,291人）として大型商業施設で実施。ポケモンのキャラクターと防災を学ぶコーナーと防

災ミニ番組･防災ホームページを展示。ファミリー層や学生など，若年層に災害への備えを伝えた。

北見局

知床・世界自然遺産登録15年特集と連動したトークイベント「知床に生きる～15の君と考える～」（10月，斜里町36人）を開催。世界自然遺産・知床の課題を取材した記者・カメラマンが地元の中高生と意見交換し，地域が抱える課題に向き合った。また，３月に遠軽町で「遠軽８Kトークショー」（33人），「遠軽防災パーク」（81人）を開催。８Kの魅力を紹介するとともに防災意識の向上に努めた。

室蘭局

会館の一般利用制限が続く中，感染対策の上，「移動放送博物館」展示など地域と連携した会館公開を実施（10月，室蘭市169人）。また，全国公開番組『ベストオブクラシック』（11月，伊達市96人）を実施。19年度中止となったラジオ番組『朗読ひろば』「鉄の街ほっとストーリー」公開収録（３月，室蘭市40人）を実施。出演者の練習風景や“聴き所”の紹介，座談会などの企画も連日ウェブで公開。

❸受信料制度の理解を深める活動強化

新型コロナの影響でイベント中止が相次ぐ中，年度後半以降，受信料公平負担理解への支払者限定イベント「ガラピコぷ～小劇場」を道内５会場（10月，江差町184人／帯広市148人／11月，釧路市阿寒町196人／１月，岩見沢市204人／３月，新ひだか町157人）で開催。また，CATVとの関係強化を目的とした「NHKカジュアルクラシックコンサート」（10月，札幌市585人）を実施。

【3】営業

18～20年度の３か年経営計画の最終年度として営業活動をスタートしたものの，新型コロナウイルスの感染拡大により訪問活動の停止や活動を制限する等の大きな影響を受けた。

感染防止を徹底して段階的に訪問活動を再開していく一方，インターネットや不動産会社による取次など，訪問によらない取次向上に向けた取り組みを展開する等，新生活スタイルに適応する営業活動への転換に向けた取り組みを展開した。

更に事業所に対しては，コロナ禍の影響により持続化給付金を受給した場合に適用される新たな受信料免除制度を受けて，免除制度の周知を含め，迅速かつ適切な対応に努めた。

東　北

1 放送

【1】放送の概要

仙台拠点局

新型コロナウイルスとそれに伴う東京オリンピック・パラリンピック延期のため，年度当初の計画を柔軟に変更しながら放送を継続した。東北で初めて新型コロナウイルス感染者が確認された日には，宮城県知事の記者会見を東北ブロック向けに特設ニュースで伝えた。スポーツ競技も軒並み中止になったことから，県民が再開を待ち望んでいたプロ野球「東北楽天ゴールデンイーグルス」やJリーグ「ベガルタ仙台」の過去の名勝負を関係者にリモート出演してもらいながら特集番組として随時，放送した。また，「東北楽天ゴールデンイーグルス」と「ベガルタ仙台」の開幕戦については，宮城県内向けに生中継したほか，Bリーグ「仙台89ERS」の試合についても，開幕シリーズの一戦を山形局とのインターローカル中継で放送した。

夏の全国高校野球宮城県大会の代替大会として開催された「令和２年東北地区高校野球宮城県大会」や，全国で東北のみ開催された「ブロック大会」についても，準決勝以降をテレビとラジオで東北ブロック向けに生中継するなど，外出自粛を余儀なくされている視聴者に放送を通じてさまざまなスポーツコンテンツを提供した。

東日本大震災関連の報道にも万全の準備で臨んだ。震災９年半の９月には震災の記憶を後世に伝承していくため「あの日、何をしていましたか」というテーマで仙台拠点局（以下，仙台局）をキーステーションに，全国へ向けて生放送の特集番組を放送し，海外からもあの日のさまざまなエピソードが寄せられた。発災から10年となった３月には『NHKスペシャル』「定点映像10年の記録～100か所のカメラが映した“復興”～」や，『宮城発地域ドラマ』「ペペロンチーノ」を放送し，さまざまな形で被災地の現状を全国に向けて発信した。また，宮城県で震度６強の地震を観測した２月や，県内に津波注意報が発表された３月には，地震に関する情報を全国に発信した。

秋田局

平日夕方６時台の『ニュースこまち』は女性キャスターが交代し，隔週で交代する２人体制に。毎日のニュースと特集企画，多様な内容の気象情報などを秋田の視聴者に届けた。

金曜夜間には，３年目を迎えた秋田県域向けの『きんよる秋田』を編成。新作を８本（スペシャル３本を含む），秋田局制作の全国放送のリメークを１本，地域支援ソフト11本を編成し，『きんよる秋田』の浸透を図った。

全国に向けては，１月にBSPで『秋田発地域ドラマ』「金色の海」を放送し，美しい田園風景や歴史などを織り交ぜ，秋田の魅力を全国の視聴者に伝えた。その後，３月には同番組を秋田県域で放送した。

スポーツ中継では，11月29日にはJ2昇格を決めたサッカーJ3「ブラウブリッツ秋田」戦，２月28日にはプロバスケットボールBリーグ「秋田ノーザンハピネッツ」のリーグ戦を会館１階８Kオープンスタジオから生中継し，県民の関心と期待に応えた。

緊急報道では，８月には連日発令された高温注意情報，12～２月の暴風雪警報などをL字画面やデータ放送できめ細かく情報発信した。

ラジオ番組では，10～20代をターゲットにした『放課後ラジオ　よりみちこまち』が番組開始から２年目を迎えた。ゲストトークや，若者街角インタビューに加え，県内の高校や大学から中継を入れるなど若い世代の聴取者の獲得を図った。

山形局

夕方６時台の『やままる』は，キャスターを交代しリニューアル。地域の知られざる魅力を探るコーナー「いいねハンター」や地域が抱える課題を掘り下げる「記者特集」など，地域の情報をより分かりやすく伝えた。

金曜夜間は２年目となる『やまコレ』で，山形の自然や文化，抱える課題など，身近にあるテーマを徹底的な取材で深く掘り下げて放送した。ラジオの地域情報番組『なにしったのや～？』では，季節ごとの話題を山形弁で軽快に伝えたほか，『方言×音楽 ライブバー・あがすけ』を新設し，方言と音楽の持つ魅力を発信した。

年間を通じ，山形県内の独特な風習や食文化などを４Kで撮影した「やまがた彩･菜･祭」を『やまなる』内で紹介する取り組みも行った。

９月には，全国に向けて『今夜も生でさだまさし』「～山形庄ナイト！」を酒田市から放送。地域の文化を全国の視聴者に届けた。

盛岡局

東日本大震災から10年。夕方６時台のニュース番組『おばんですいわて』を中心に，被災した人たちの現状や復興の課題を継続的に報道するとともに多数のニュースや企画を全国向けに展開。『NHKスペシャル』２本や『こころフォトスペシャル』など多くの全国番組の制作に携わることで，改めて震災を見つめ直す機会を提供した。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い，県内の感染状況などの報道を続け，４月と11月には『再発見いわて』の特番を放送。岩手県知事や専門家を招き，県民の疑問に答えた。

12月頃から数度にわたり発生した地震の際は，県内向けの特設ニュースをはじめ，L字放送やツイッターなどあらゆるメディアを駆使して，一人ひとりに届く防災・減災報道につなげた。

３月の震災10年という節目には，『明日へ　つなげよう』『目撃！にっぽん』など全国番組の制作や，県内向けに『特別編成　十年一岩』として放送した「トークルーム311@いわて」をブロック放送，全国放送へと展開した。

金曜夜間『再発見いわて』は年間９本を放送。岩手県内の新型コロナウイルスに関する番組や，オンラインで出場者をつなぐ視聴者参加型の歌番組「オンライン歌っこ自慢 at HOME」などさまざまなテーマで放送した。そのほか，金曜夜間では『特別編成　十年一岩』として，震災関連番組を２月と３月に放送した。

ラジオの地域放送『まじぇ５時』では，さまざまなゲストを迎え，地域に密着した多様な話題を届けた。

福島局

東日本大震災・原発事故から10年となり，福島局では夕方６時台の『はまなかあいづTODAY』をはじめとして，いまだ続く原発事故の影響や復興へ向け尽力する人々の様子など，年間を通して県民に情報を伝えた。また『NHKスペシャル』『ETV特集』『FMシアター』などの全国放送番組も制作し，福島の現状・課題を広く発信した。

震災10年にあたり，NHKと県内の民放テレビ４局が連携し，テレビ局の垣根を越えて福島の今を伝える初めての共同キャンペーンを行った。夕方６時台の各局ニュースのキャスターが被災地を取材し，各５局のスタジオを１日ずつ巡っ

て生出演でリポートする『つながるウイーク』では，１月には男性キャスター，２月には女性キャスターが民放各局のニュース番組に出演した。

また，震災10年のキャンペーンとして，視聴者から震災に関連するさまざまな思いや体験を募集する「わたしたちの“物語”」を企画し，地元新聞社やラジオ局とも連携。寄せられた体験などを番組やホームページで伝えた。

緊急報道の対応では，２月には福島県沖を震源とする県内最大震度６強の地震，３月には宮城県沖を震源とする県内最大震度５弱の地震が発生し，特設ニュースやホームページ，データ放送などで防災・生活情報を伝えた。

新型コロナウイルスの影響は福島県でも甚大で，毎日のニュースで感染拡大に関する情報や，県内での影響を継続的に放送するとともに，４月と５月には特別番組を放送し，県内の窮状や課題を伝えた。

金曜夜間では17年にスタートした『ココに福あり　fMAP』を引き続き放送して福島の知られざる魅力とそこに暮らす人々の思いを伝えた。

平日夕方５時台のラジオ番組『こでらんに５』では，地域に密着した幅広い話題を伝えた。加えて全国向けの放送などを通じて県内外へ福島の情報を発信した。

20年度前期『連続テレビ小説』で福島市出身の作曲家・古関裕而をモデルとした「エール」が放送された。新型コロナウイルスの影響による放送中断を挟みながらも，さまざまな関連企画・番組を放送した。

３月には東京オリンピック・聖火リレーが福島県から始まり，初日は特別番組を生放送するとともに３日間の聖火リレーをニュースで伝えた。

青森局

東北では宮城・福島に次ぐ感染者数が出ている新型コロナウイルス関連の情報を，夕方６時台の『あっぷるワイド』で日々伝えた。「青森ねぶた祭」をはじめ中止になった県内の祭りについては，ニュース企画，金曜夜間『発見！あおもり深世界』だけでなく，過去の８K映像の再構成やラジオドラマにも展開し，「コロナに負けるな」というエールを県民に送り続けた。

馬淵川の増水や弘前・記録的短時間大雨でのL字放送，相次いだ震度４以上の地震での特設ニュース，新型コロナ関連でのデータ放送，金曜夜間での「水害対策」など，命を守る行動に結び付くような防災・減災放送に取り組んだ。11月の青森市長選では開票速報を正確・迅速に伝えた。

ラジオの地域放送では，毎週放送している『あっぷるラジオ』のスペシャル版を年２回放送。世界遺産登録が期待される「縄文」をテーマにした回では北海道ブロックとのインターローカルや，SNSとの連動にも取り組んだ。

全国に向けては，『歴史秘話ヒストリア』「弘前城　北のお城の400年」，『プロフェッショナル仕事の流儀』「餅ばあちゃんの物語～菓子職人・桑田ミサオ～」，『さわやか自然百景』「青森　岩木川下流域」，『８Kでもう一度！青森ねぶた祭2019』『サイエンスZERO』「天然染料　藍の科学　抗ウイルスに農業革命も!?」，『逆転人生』「一獲千金！マグロの初競り」，『FMシアター』「ねぷたの来ない夏に」，『小さな旅』「雪のくらし“こみせ”の下で～青森県黒石市～」などを放送した。なお，『NHKのど自慢～青森県弘前市～』をはじめ，いくつかの公開番組は，新型コロナウイルスの影響で中止となった。

【2】地域放送番組

❶定時番組

『NHKニュース　おはよう宮城』　Ⓖ

月～金　7:45～ 8:00

第１回00.4.3／宮城県域（一部東北ブロック）／県内ニュースのほか，東北各地の話題や震災の課題を掘り下げたリポート，気象予報士による詳しい気象情報など，県内の朝の表情を伝えた。／各局タイトル：『おはよう秋田』『おはよう山形』『おはよういわて』『おはようふくしま』『おはよう青森』

『ウイークエンド東北』　Ⓖ

土　7:30～ 8:00

第１回85.10.12／東北ブロック／東北各地のニュースに加え，旬な人物を紹介した企画や各地の週末のイベント情報などをNHKのネットワークを生かして伝えた。

『もりすた！』　Ⓖ

月～金　11:45～11:54

第１回18.4.4／東北ブロック／「杜のスタジオ」から生放送。東北の旬の食材や特産品など，視聴者の生活に役立つ情報をコンパクトに届けた。

『てれまさむね』　Ⓖ

月～金　18:10～18:59

第１回03.3.31／宮城県域／ニュース・気象情

報をはじめ，新型コロナウイルスの最新情報や震災関連の動き，暮らしに役立つ情報を積極的に取り上げ“宮城のきょう１日がわかる”番組にこだわり放送した。キャスターや気象キャスター，リポーター，スタジオセットを一新。身近な話題を中継で伝える企画や県内で盛り上がるデジタルの話題をインフルエンサーが紹介するコーナーといった新たな演出にもチャレンジした。／各局タイトル：秋田『ニュースこまち』，山形『やまる』，盛岡『おばんですわて』，福島『はまなかあいづTODAY』，青森『あっぷるワイド』

『東北ココから』 Ⓖ

金　19:30〜19:57
再 土　10:30〜10:57

第１回18.4.13／東北ブロック（一部仙台単）／震災の記憶の風化が進む中，被災地が直面する課題や新型コロナの最新情報といった，視聴者の関心の高い東北の時事的な話題をタイムリーに放送した。

「新型コロナウイルス　仕事　くらしは今」
仙台局／ 4. 3
「台風19号から半年　『住まい再建の課題は』」
仙台局／ 4.10
「三陸“海中さんぽ”」
仙台局／ 4.17／20:15〜20:42
「長引く新型コロナ
〜東北の医療・経済　最新報告」
仙台局／ 5. 8
「篠山輝信が行く東北旅『宮城編』」
仙台局／ 5.15
「いちごファミリー　思いあい、乗り越えて」
仙台局／ 5.22
「負けてたまるか
〜町唯一のスーパー　叔父と甥の９年〜」
仙台局／ 5.29
「『学び』をどう守る？
〜学校再開　浮かび上がる課題〜」
仙台局／ 6. 5
「『一歩ずつ　前へ』　福原愛」
仙台局／ 6.12
「withコロナ　食から広がる暮らしの変革」
仙台局／ 7.10
「気仙沼で今　見えてきたもの」
仙台局／ 8. 7
「震災×コロナ　観光再生のカギは」
仙台局／ 9. 4
「震災10年へ　福島　海の復興はいま」
福島局／ 9.18
「震災10年へ　こころの復興はいま
〜行方不明という喪失を抱えて〜」
盛岡局／ 9.25
「東日本大震災10年へ
定点映像が紡ぐ『復興秘話』」
仙台局／10. 9
「ともに走れば、大丈夫！」
仙台局／10.16
「祈りの山のふもとで
〜出羽三山　羽黒山伏の日々」
仙台局／10.30
「東北発全国へ“新たな支援”
〜災害ケースマネジメント〜」
仙台局／11. 6
「モノがつなぐ過去・現在・未来
〜大熊・文化財レスキュー記〜」
仙台局／11.13
「もっと、市民と考える“あの日”」
仙台局／11.20
「災害多発　あなたのまちをどう守る？
〜求められる“生きた災害支援協定”〜」
仙台局／12. 4
「検証　女川原発　被災地で初めての再稼働」
仙台局／12.11
「思いをこめタスキをつなぐ
ドキュメント全国高校駅伝」
仙台局／ 1. 8
「秋田発地域ドラマ『金色の海』　放送直前スペシャル」
秋田局／ 1.15／20:15〜20:42
「さよなら“陸中丸”
〜宮古浄土ヶ浜　遊覧船とともに〜」
盛岡局／ 1.22
「あなたをひとりにしない〜自殺対策最前線〜」
秋田局／ 2. 5
「あなたの町の映像アルバム
〜ふるさとを語りあおう〜」
仙台局／ 2.12
「『もっと市民と考える“あの日”』若者編」
仙台局／ 2.19
「震災関連死　命はどうすれば守れたか」
仙台・福島局／ 2.26
「宮城発地域ドラマ『ペペロンチーノ』放送直前スペシャル」
仙台局／ 3. 5

『東北ココからスペシャル』 Ⓖ
「震災９年へ　あの日、何をしていましたか？」
仙台局／ 9.11／19:30〜20:42
「緊急事態宣言　東北の感染拡大を防げ」
仙台局／ 1.15／19:30〜20:15

『大好き♡東北　定禅寺しゃべり亭』 Ⓖ
土　11:10〜11:54
第１回19.4.6／東北ブロック／多彩なゲストを招き，東北の魅力をたっぷり語り合う公開生放送番組。新型コロナの影響で，８月まではリモートや無観客で放送。１月には初めて番組を仙台局以外に持ち出し，秋田局から観客を入れて生放送した。

『被災地からの声』 Ⓖ
土　10:05〜10:29
第１回11.3.20／東北ブロック／被災した人たちに，今一番伝えたいことを直接カメラに向かって伝えてもらう番組。震災発生９日後に放送を開始した番組スタイルを継続し，10年間で声を聞いた被災者の数は4,800人を超えた。被災地に暮らす人たちや首都圏などへ避難し故郷へ戻れない人たちの声を被災地・石巻市出身のアナウンサーが伝え続けた。３月にはこの10年を振り返る特集番組『被災地からの声　10年のあゆみ』も放送した。

『ゴジだっちゃ！』 R1
月〜金　17:05〜18:00
第１回12.4.2／宮城県域／宮城の話題にこだわったラジオ番組。ニュースや気象情報，交通情報，ソーシャルディスタンスに配慮しながら話題の人を招いたインタビューなど，リスナーのお便りを交えながら，曜日ごとに専門性の異なるパーソナリティーを招いて楽しく軽快に伝えた。

【各局ラジオ番組】 R1
秋田**『放課後ラジオ　よりみちこまち』**
（最終）金　17:05〜18:00
山形**『なにしったのや〜？』**　金　12:20〜13:00
盛岡**『まじぇ５時』**　月〜金　17:00〜18:00
福島**『こでらんに５』**　月〜金　17:00〜18:00
青森**『あっぷるラジオ』**　金　17:05〜18:00

『民謡をどうぞ』 R1 FM
金　12:30〜12:55
第１回54.11／東北ブロック（R1のみ除く山形，青森）／東北ならではの民謡を季節に応じたテーマで放送する東北最長寿の民謡専門番組。

『MONKEY MAJIKのオンバク』 FM
月　18:00〜18:50
第１回14.4.5／東北ブロック／仙台在住の実力派バンド・MONKEY MAJIKをナビゲーターに，トークや演奏，東北の未来を担うアーティストの紹介や応援など，東北６県を結んで伝える番組。３月22日に最終回を迎えた。

---

❷特集番組

東北ブロック

『みちのく頂をめざして　＃３』 Ⓖ
仙台局／ 4.24／19:30〜19:57
『みちたん〜ああ！すばらしきセカイ〜』 Ⓖ
「ほのぼの癒やしの39回目」
仙台局／ 7.31／19:33〜20:00
「なんじゃこりゃ！で40回目」
仙台局／10.23／19:30〜19:57
『戦後75年　東北の戦争を語り継ぐ』 Ⓖ
仙台局／ 8.15／ 7:35〜 7:59
『高専ロボコン2020　東北地区大会』 Ⓖ
仙台局／11.23／13:05〜13:59
『あなたの一歩、教えてください』 Ⓖ
仙台局／ 1.29／19:30〜20:42
『宮城発地域ドラマ「ペペロンチーノ」放送直前スペシャル』 Ⓖ
仙台局／ 3. 6／11:10〜11:54
『被災地からの声　10年のあゆみ』 Ⓖ
仙台局／ 3.12／19:30〜20:42
『第42回NHK東北民謡コンクール　各県大会』 FM
18:00〜18:50
2.12　福島県大会，　2.15　岩手県大会，
2.16　青森県大会，　2.17　山形県大会，
2.18　秋田県大会，　2.19　宮城県大会
『第42回　NHK東北民謡コンクール　優勝大会』 FM
仙台局／ 3.28／14:00〜15:50

【県域】

仙台拠点局

『やっぺぇ！たいそう』 ⒼⒺ　随時
『新型コロナウイルス緊急事態宣言〜宮城への影響は〜』 Ⓖ
4.17／19:30〜20:15

『今だから見たい！宮城スポーツ名勝負！！』 Ⓖ
～第１回～震災を乗り越えての劇的勝利
「川崎フロンターレ」対「ベガルタ仙台」
5. 2／10:05～11:49
～第２回～NHKスペシャル「東北楽天　被災地に誓った初優勝」
5. 9／10:57～11:54
～第３回～東北にプロ野球チームがやってきた！　初ホーム開幕戦「楽天」対「西武」
5.23／15:05～17:55
～第４回～ベガルタ仙台　悲願のJ1昇格
渡邉晋が“西京極の奇跡”を語りつくす！
5.30／15:05～16:45
『とくばん！てれまさむね』 Ⓖ
「災害から命をどう守る　～新型コロナ禍での備えは～」
7.17／18:10～19:00，19:30～19:57
『定禅寺ストリートジャズ　at　NHK仙台』
Ⓖ 9.13／14:00～15:00
FM 9.13／15:00～17:00
『もっと市民と考える“あの日”』 Ⓖ
12.18／23:45～ 0:45
『てれまさむね』 Ⓖ
12.25／17:20～17:57，18:45～19:00
『ゴジだっちゃ！特集』 R1
「第20回　NHK仙台　川柳・短歌大会」
11.21／13:05～14:55

秋田局

『きんよる秋田』 Ⓖ
金　19:30～19:57
「“コロナクライシス”　いま秋田経済に何が」
4.17
「釣りびと万歳　難敵サクラマスに挑む！
秋田・米代川」
5.15
「広がる“コロナショック”　暮らしを守るには」
5.22
「にっぽん縦断　こころ旅　2017　大仙市」
5.29
「にっぽん縦断　こころ旅　2017　男鹿市」
6.12
「にっぽん縦断　こころ旅　2017　北秋田市」
6.19
「にっぽん縦断　こころ旅　2017　八峰町」
7. 3
「どうする！？新スタジアム」
7.17
「秋田大曲　全国花火競技大会2019」
8. 7／19:30～20:42
「まんぷく農家メシ！
比内地鶏　秋田県北秋田市」
10.16
「イッピン　山から生まれた暮らしの道具
～秋田・工芸品～」
11.20
「地球タクシー　秋田を走る」
12. 4
「秋田発地域ドラマ『金色の海』　放送直前スペシャル」
1.15／20:15～20:42
「Where We Call Home
ソーセージで秋田に恩返し」
2.12
「いま不登校を語ろう」
2.19／19:30～20:15
「小京都　スイーツ・ホッピング
～女ひとり、とろける誘惑～」
2.26／19:33～20:00
『きんよる秋田スペシャル』 Ⓖ
「親子で楽しむ　昆虫超世界」
9. 4／19:57～20:42
「未来へのヒント
～“つながる力”が秋田を変える～」
12.11／19:30～20:15
「秋田発地域ドラマ『金色の海』
地上波初放送！」
3. 5／19:30～20:42

山形局

『やまコレ』 Ⓖ
金　19:30～19:57
「山形発緊急特番 新型コロナウイルス
専門家に聞く 医療と経済」
4. 3
「イッピン　足元をおしゃれに気持ちよく
～山形・履物～」
4.10
「やまがた2020特集（４）」
4.17
「やまがた2020特集（５）」
4.24
「やまがた百名山　総集編（６）」
5.15

「新型コロナ第２波への備え
～求められる新生活様式とは～」
5.22
「ニッポンぶらり鉄道旅　信念の人を探して
～JR羽越本線～」
6.12
「大集合！歴代山形局アナ　オンライン飲み会」
6.19
「まいど！修繕屋です
～南陽市で思い出のジュークボックスを修繕！～」
7.10
「コロナ時代をどう生き抜くか
～山形　企業の取り組み～」
7.17
「“自分より〇〇さん”山形つながりインタビュー」
9.18
「にっぽん百名山　朝日岳
～錦に染まる美しき峰～」
10. 9
「やまがた百名山
～（村山）葉山・経ヶ蔵山・八向山～」
10.16
「ネコメンタリー　猫も、杓子も。
～柚月裕子とメルとピノ～」
11.13／19:30～19:55
「ヤマガタとデザインのハナシ」
11.20
「Yamaga-TanQ
～多様性のある社会をつくりたい～」
12.11／19:30～20:30
「イッピン　丈夫でしなやか　心地よく
～鶴岡のシルク製品～」
1.15／20:15～20:42
「学校に行かなくていいよって言えない」
1.22
「うまいッ！温泉でシャキシャキ！？
長～い！“豆もやし”～山形・米沢市～」
2.12／19:30～19:53
「やまがた百名山　～冬の絶景スペシャル～」
2.19
「やまがた彩・菜・祭　スペシャル」
2.26／19:33～20:00

『土門拳のヒロシマを探して　戦後75年を生きた人たち』 Ⓖ
8. 7／19:30～19:55

『希望のシンフォニー　山形交響楽団』 Ⓖ
12.13／16:55～17:55

『方言×音楽　ライブバー・あがすけ』 Ⓖ
12.22／23:40～ 0:30

『山形県知事選　開票速報』 Ⓖ
1.24／20:45～21:00，21:49～21:50，22:20～23:00

『方言×音楽　ライブバー・あがすけ』 R1
7.15，10. 7，12.16，3.24／20:05～20:55

盛岡局

『再発見いわて』 Ⓖ
金　19:30～19:57
「緊急報告　岩手の新型コロナ対策は？
～生放送で県民の不安に答える～」
4.17／19:30～20:12
「篠山輝信が行く東北旅　岩手編」
5.15
「オンライン歌っこ自慢 at HOME」
6.19
「釣りびと万歳　ふるさとの海で挑む　夏の大物ヒガレイ～村上弘明　岩手・三陸海岸～」
7.17
「みんなでシェア旅～岩手～」
10.16
「選　最高の終わりを求めて
～八重樫東　再起の記録～」
10.23
「岩手県民と考える　WITHコロナ」
11.20／19:30～20:42
「やすらぎの心を舞う～岩手県　平泉町～」
12.11
「肉厚！ぷりぷり！　ほたて～岩手・山田町～」
1.15／20:15～20:39

『特別編成　十年一岩』 Ⓖ
「もう一度 母と～震災遺児の10年～」
2.19／19:30～19:57
「ラジコンカーおじさん 空に挑む」
2.19／19:57～20:40
「トークルーム311@いわて」
3. 5／19:30～20:42

福島局

『ココに福あり　fMAP』 Ⓖ
金　19:30～19:57
「＃17　今こそ届け！　福島からの“エール”」
4.17
「選　＃４　不屈のラーメン」
6.19
「＃18　ふくしま“美し水”巡り」
7.17

「＃19　“福の音”でエールを！」
9. 4
「＃20　記憶のカケラを集めて」
10.16
「＃21　実りの会津　“福のバトン”手渡して」
11.20
「＃22　ボクと世界のつなぎかた」
1.15
「選　＃ 8　福街道　国道349号をゆく」
2.19
「＃23　福の手紙～わたしたちの“物語”」
3. 5／19:30～20:13

『新型コロナウイルス感染拡大　福島でいま何が』 Ⓖ
4.24／19:30～19:57

『東北ココから　篠山輝信が行く東北旅「福島編」』 Ⓖ
5.15／19:30～19:57

『“新型コロナショック”経済は　そして暮らしは』 Ⓖ
5.22／19:30～19:57

『釣りびと万歳』 Ⓖ
「岩場に潜むタケノコメバルを狙え！
～浜口京子　福島・小名浜へ～」
6.12／19:30～19:57

『絶景カメラ　尾瀬』 Ⓖ
7. 3／19:30～19:57

『エールファン感謝祭inふくしま』 Ⓖ
11.23／ 8:15～ 8:40

『きょうスタート！聖火リレー in 福島』 Ⓖ
3.25／12:20～12:45

青森局

『発見！あおもり深世界』 Ⓖ
金　19:30～19:57
「第７回　お国ことばdeのどじまん」
4.10／19:30～20:39
「桜の城は“最強の城”
～弘前城　知られざる歴史～」
5.15
「ねぶたのない夏へ」
6.19
「CYCLE AROUND JAPAN Highlights『青森　北国に息づく　じょっぱり精神』」
7.17
「明日へじゃわめげ！　映像で楽しむ青森ねぶた祭」
8. 7／19:30～20:42
「夏だ！てれファミリー　青森　完結編」
9. 4
「ひと事ではない！？　青森を襲う“水害の危機”」
9.18
「動き出す核燃料再処理工場　未来は託せるか」
10.16
「“あおもり藍”驚きのスーパーパワー！」
11.20
「伝説のマグロ漁師　挫折からの大逆転」
12.11
「Journeys in Japan　『八甲田　雪の仙境』」
1.15／20:15～20:42
「めざせ健康！“心のスイッチ”どう入れる？」
2.19

『あっぷるラジオ　スペシャル』
「もっともっと食べてほしい！
青森うまいものまつり！」 R1
11.23／14:05～16:00
「目指せ！世界文化遺産登録
縄文人はオトモダチ！」 FM
3.21／14:00～16:00

【3】スポーツ中継

＊ブロックと記した以外は県域

❶野球

〔高校野球〕

各県独自高校野球大会

宮城県	準決勝	GERFM／	7.30
	決勝	GER／	8. 1
秋田県	準決勝	GERFM／	7.20
	決勝	GER／	7.22
山形県	準決勝	GERFM／	7.26
	決勝	GER／	8. 1
岩手県	準決勝	GERFM／	7.23
	決勝	ERFM／	7.26
福島県	準決勝	GER／	8. 5
	決勝	GER／	8. 7
青森県	準決勝	R1／	7.26
	決勝	R1／	7.28

第73回秋季東北地区高等学校野球

◇地区大会　準決勝・決勝

宮城県	RFM／	9.26～27
秋田県	RFM／	9.26～27
山形県	RFM／	9.26～27
岩手県	RFM／	9.26～27
福島県	R1／	9.21～22
青森県	（決勝のみ）GER／	9.27

◇東北大会（ブロック）

準決勝　Ⓖ R1 ／ 8.10〜11
決勝　Ⓖ R1 ／ 8.12
準決勝　R1 ／10.18
決勝　R1 ／10.20

〔プロ野球〕

（ブロック）

「東北楽天ゴールデンイーグルス」

×「ロッテ」　Ⓖ／ 7. 3
×「西武」　Ⓖ／ 7.18
×「日本ハム」　R1 ／10.24

❷サッカー

〔J1リーグ〕

「ベガルタ仙台」（仙台）

×「湘南ベルマーレ」　Ⓖ／ 7. 5
×「湘南ベルマーレ」　Ⓖ／12.19
×「サンフレッチェ広島」　Ⓖ／ 2.27

〔J2リーグ〕

「モンテディオ山形」（山形）×「東京ヴェルディ」　Ⓖ／10.24

〔J3リーグ〕

「ロアッソ熊本」×「ブラウブリッツ秋田」（秋田）　Ⓖ／11.29

❸その他のスポーツ

〔バスケットボール〕

Bリーグ

「仙台89ERS」（仙台）

×「山形ワイヴァンズ」　Ⓖ／10. 3

「秋田ノーザンハピネッツ」（秋田）

×「レバンガ北海道」　Ⓖ／ 2.28

〔アイスホッケー〕

第42回NHK杯東北アイスホッケー選手権

少年の部・決勝（ブロック）

「青森」×「宮城」　Ⓔ／12. 6

〔卓球〕

第62回NHK杯青森県卓球選手権大会（青森）　Ⓖ／12.26

2 技術

【1】安全・安心の拠点となる設備整備の推進

多くの設備整備は，新型コロナウイルス感染対策により中止や工程延期を余儀なくされた。次期運行装置COMPASSは，盛岡局で７月から運用を開始した。山形局のニュース送出設備更新は11月から工事に着手したが，運用開始は21年度に延期された。福島局ではNCスタジオをバーチャル化して，12月から運用を開始した。

山形局と福島局および青森局では会館UPSの更新工事を行った。また９月に山形・米沢支局，10月に青森・むつ支局の移転工事を行った。放送車両では，12月に盛岡局の中継車を更新した。

【2】災害対応と震災10年

１月の宮城・東北道多重事故では，上空からのヘリ中継により被害の状況を伝えた。12月上旬に岩手で震度５弱，12月下旬に青森で震度５弱，２月には福島・宮城で震度６強，３月には宮城で震度５強で津波注意報が出るなど，太平洋沿岸を中心に地震が頻発したが，特設ニュースやL字放送を通じて地域の視聴者に警戒を呼びかけた。

東日本大震災から９年半となる９月には，視聴者からの投稿を特別番組で紹介する取り組みを行い，『ゆく年くる年』は11年と同様に宮城・石巻市洞源院から放送した。明けて震災から10年となる３月には，被災地の状況を伝える多くの番組を制作した。３月８日から10日にかけて，岩手・宮古市たろう観光ホテル，宮城は南三陸町さんさん商店街や山元町復興住宅，福島は大熊町JR大野駅や浪江町請戸漁港など，各地で中継を実施した。10年目当日の３月11日は，２時46分を前後して放送された『ごごナマ』で，岩手・陸前高田市旧気仙中学校，宮城・名取市かわまちてらす閖上（ゆりあげ），福島・双葉町原子力災害伝承館から中継に参加した。『ニュース７』や『ニュースウオッチ９』では，岩手の陸前高田市発酵パークCAMOCY，宮城では石巻市の大川小学校や石巻南浜津波復興祈念公園，福島・大熊町福島第一原子力発電所内の東京電力新事務本館前から中継し，ラジオ『武内陶子のごごカフェ』でも宮城・名取市閖上や福島・南相馬市の様子を伝えた。福島では，地元民放５局とのコラボ企画で５か所の中継をローカル特番で放送した。関連番組では，仙台局から『ラジオ深夜便』，ベガルタ仙台のJリーグ中継，仙台局から『しあわせ運べるように〜被災地をつなぐ心の歌〜』への参加，『今夜も生でさだまさしSP@気仙沼』など，多様な放送を通して被災地の「今」を伝えた。

【3】地域への放送サービス

選挙での政見放送と開票速報は，１月に山形県知事選を放送した。その他に11月の青森市長選を伝えた。

２本の『地域発ドラマ』を制作し，いずれも

事前に感染症専門家の勉強会を実施するなど万全の感染対策を施して収録した。秋田局は，大潟村で暮らす人々の様子を描いた「金色の海」を１月に放送した。仙台局は，石巻・女川など沿岸部の風景を４K画質でロケし，震災からの10年を描いた「ペペロンチーノ」を３月に放送した。

公開番組は，新型コロナの影響で多くが中止となった。『大好き♡東北　定禅寺しゃべり亭』は，感染状況により視聴者公開を制限しながら仙台局のスタジオより放送を継続した。各地の夏祭りは中止されたが，青森では観光施設「ねぶたの家ワラッセ」で過去映像に合わせて４K収録し，８月に放送した。９月には，『定禅寺ストリートジャズ at NHK仙台』と題し仙台のスタジオから総合・FMで放送し，『今夜も生でさだまさし』は山形・酒田市の山居倉庫から生放送した。10月には宮城・名取市で仙台フィルによる『クラシック音楽館』，『連続テレビ小説』放送最終回直前の11月には，福島の福島市で『エールファン感謝祭inふくしま』，南会津町で『新・BS日本のうた』などの公開収録を実施した。『NHKのど自慢』は中止が相次ぎ，３月の宮城・南三陸町が唯一の開催だった。

スポーツ番組では，夏の高校野球は県独自大会として開催し，開幕の遅れたプロ野球は６月から，Jリーグは７月から中継したほか，12月には青森・八戸市で全日本アイスホッケーの中継を行った。３月には福島Ｊビレッジから聖火リレー特番等，スポーツイベントと連動した番組も制作した。

【4】放送ネットワーク設備の維持・強化

05年12月の地上デジタル放送開始から使用していた宮城・大年寺山TV放送設備の更新を東北地方で初めて実施し，コロナ禍の中で６か月にわたる工事を無事故で10月に完了した。11月の盛岡・矢巾（やはば）ラジオ放送所の鉄塔塗装では，２分の１に減力して日中工事を行い，長期間の夜間休止による視聴者への影響を避けながら短期間で工事を完了した。福島・東裏磐梯テレビ，いわき遠野テレビおよび青森・三戸南部テレビの放送機更新，山形・西蔵王FM放送所の送信アンテナ更新，山形・宮町ラジオおよび福島・安積（あさか）ラジオや田島ラジオの固定回線更新，秋田・小坂および花輪ラジオや盛岡・田野畑ラジオの放送機２台化工事など，放送ネットワークを維持・強化する整備を順次進めた。秋田・本荘テレビなどに，放送所の予備回線としてIPで放送プログラムを伝送するシステムをTVネットワーク改善のため導入した。

９月に落雷により青森の馬ノ神放送所が，１月に大雪で秋田の中継放送所が長時間停電したが，いずれも仮設発電機で救済して放送を継続した。２月13日に発生した福島県沖地震では，宮城，福島で震度６強の地震が発生し一部の中継局設備で被災したが，放送を維持しながら早急に復旧措置を実施した。

東北域内のNHK共聴の大規模改修工事63施設については全て完成し，東北域内の光化施設数は529となり，全施設の約48%を完了した。また，福島県では，原発事故に伴う避難指示が継続する地区内の点検を実施し，設備の管理に努めている。

【5】視聴者活動と開発・改善の取り組み

秋田局ロビーに，220インチ８Kオープンスタジオや放送体験スタジオ，竿燈祭りのVR疑似体験などを備えた「NHK AKITAメディアパーク」が８月にオープンした。オープンに合わせて「昆虫だいすき！Bugs Park」を公開収録し，12月に秋田大学とコラボした天体イベント「ホシゾラボ」などのイベントで活用した。その他のイベントについては新型コロナの影響で多くが中止となったが，18年に始まったBS４K・BS８KのPRを，いくつかの地域イベントで実施した。山形では山形局から離れている酒田市の山居倉庫など２か所で行い，宮城でも東日本大震災10年の時期に開催された防災展で展示を行った。

視聴者のラジオ受信環境改善に取り組んだ仙台局の「テレビ共聴を利用したラジオ受信の改善手法の考案」が文部科学大臣表彰・創意工夫功労者賞を受賞した。また，AI技術を用いてラジオ音声を自動監視する測定装置や10分程度の放送番組をインターネット向けに30秒のショート動画に要約するシステムを仙台局で開発した。

3 視聴者対応

【1】広報

❶仙台拠点局放送会館の活用

視聴者公開スペース「定禅寺メディアステーション」では，東日本大震災の伝承と震災からの復興を紹介する震災伝承施設として，また，東北全体のNHKの情報発信拠点として，さまざまなイベントや展示を行った。

毎週土曜日に，１階に多彩なゲストを招く『大好き♡東北 定禅寺しゃべり亭』を公開生放送，年度前半は非公開としたが，９月からは，観覧

者数に上限を設け，超えた場合は抽選とするなど感染症対策を施した上で実施した。生演奏などを楽しめるステージ「カルチャーナイト」も開催を見合わせていたが，12月に仙台フィルによる演奏会を８K受信公開などと合わせ「仙台放送局音楽の夕べ」として実施した。震災番組連動展示は，延期した19年度企画を８月に実施。さらに東日本大震災から10年となる３月には，震災番組連動企画とともに，２階の震災関連展示をリニューアル。東北３県の震災伝承施設へ「いざなう」機能や，NHKの豊富な震災関連番組などをより多くの人に伝えるコーナー，防災意識を高めるクイズ形式のコンテンツなどを新設した。20年度の来館者は約２万2,000人となった。

❷放送と連動した地域の広報活動

仙台局キャラクター“やっぺぇ”を活用した広報活動を継続。ミニ番組『やっぺぇ！たいそう』では，視聴者参加の収録を，年度後半から再開し，放送やウェブで紹介した。『宮城発地域ドラマ』「ペペロンチーノ」では，放送を前に仙台局や舞台地などで企画展を開催し，１万人以上を集めた。

秋田局では，『秋田発地域ドラマ』「金色の海」の放送に合わせ地域応援PRスポット「あいらぶ、秋田。」を放送。営業と連携しながら地域の魅力を発信している人や地域で活躍する人が秋田の魅力を伝えた。

山形局では，視聴者コミュニケーションの新たな取り組みとして「酒田プロジェクト」を立ち上げ，局外での視聴者コミュニケーション拠点作りに取り組んだ。５月に酒田市の山居倉庫に４K・８Kテレビを設置し，山形局で制作した「おしんのふるさと４K山形紀行」の上映を行ったほか，７月に県域ラジオ番組『方言×音楽　ライブバー・あがすけ』，９月に『今夜は生でさだまさし』を会場から放送した。11月には同じ酒田市内に新たにオープンした交流施設「ミライニ」で４K・８Kの展示を開始したほか，県域番組『やまコレ』「Yamaga-TanQ」の公開収録を行うなどサテライトロビー化に向け取り組んだ。

盛岡局では，震災10年にあたり，局内の「震災10年プロジェクト」を中心に放送，イベント，広報を展開した。活動の一環として，岩手ゆかりの方や被災した方々に，それぞれの“わたしのあした”を語ってもらうショート動画シリーズを全局態勢で制作・放送した。また，高校生が地元の小学生に震災の記憶や防災の重要性を伝える「NHK TENDENKO クラブ」を実施し，３月に宮古市の小学校で防災教室を開催した。取り組みの様子は随時，午後６時台の『おばんですいわて』でも紹介した。３月11日当日はツイッター投稿を重点的に行い，デジタル発信を強化した。

福島局では，福島市出身の作曲家・古関裕而をモデルとした『連続テレビ小説』「エール」の放送と連動し，出演者を招いたトークイベントやコンサート，ツイッターやホームページでの情報発信，ドラマのテーマ曲「星影のエール」に乗せて福島県内59市町村を紹介するプロモーション映像を制作する活動などを行った。また東日本大震災と原発事故から10年にあたり，NHKと県内の民放テレビ４局が連携する初めての共同キャンペーンと，視聴者から震災に関連するさまざまな思いや体験を募集する「わたしたちの“物語”」実施にあたり，各種広報，ツイッターやホームページでの情報発信に取り組んだ。

青森局では，２月放送の『FMシアター』「ねぷたの来ない夏に」に合わせてポストカードを刷成。ドラマの舞台となった津軽地方の自治体や商業施設に設置したほか，営業の訪問ツールとしても活用し，SNSでの展開と合わせドラマの認知度向上に役立てた。

❸視聴者とのふれあい活動

秋田局では，コロナ禍で全国初の公開イベント「昆虫だいすき！Bugs Park」（８月22～23日）をNHK AKITAメディアパークと隣接する施設（ALVE）で実施。親子連れを中心に550人が来場した。同イベントのもようは９月４日の『きんよる秋田』で伝えた。東日本大震災から10年となる３月には「親子で備える“10年目”の防災展」（３月６～７日）をNHK AKITAメディアパークで開催，子どもに人気のキャラクターの展示などで好評を得て，773人が来場した。

盛岡局では９月に「ぼくの絵わたしの絵展」を初めて局外に持ち出して実施し，８Kによる絵の映像展示もあわせて行った。20年度初めての集客イベント「大学セミナー」を10月に岩手大学で実施した。12月に小学校向けの「出前授業」を初めてオンライン形式で実施した。１月には「東北民謡コンクール岩手県大会」を無観客で実施した。３月には釜石市と盛岡市で楽しみながら防災について学ぶイベント「学ぶ！NHK BOSAI WEEK！」を開催し，岩手ゆかりのアナウンサーによる防災トークも開催した。いずれも，新型コロナウイルス感染症対策を万全にして行った。

❹スーパーハイビジョン普及活動

仙台局では，１階の４K・８K定禅寺シアター

で，受信公開やパブリックビューイングを実施。新型コロナの影響で中止となった仙台市の定禅寺ストリートジャズフェスティバルの日程に合わせた８Ｋジャズ番組上映のほか，11月にNHK杯フィギュア，12月にはN響「第９演奏会」を受信公開した。

【2】イベント事業

被災地の復興支援と地域の活性化に貢献することを目標に各種イベントを東北各地で実施してきたが，新型コロナの影響で公開番組やイベントがほとんど中止になった。年度当初に計画したスケジュール通りには実施できなかったが，日程延期や会場変更などにより，少しずつイベントを再開し，地域に「笑顔」と「元気」を届けた。

❶中止した公開番組・イベント

公開番組は東北管内で20本が中止（仙台２本，秋田４本，山形３本，盛岡４本，福島３本，青森４本）。そのほか，岩手県山田町で予定していた「NHK公開復興サポート～明日へ～」が中止となった。

「第87回NHK全国学校音楽コンクール」と「第67回NHK杯全国高校放送コンテスト」は全国的にすべて中止。また，東京オリンピック・パラリンピックの延期に伴い，聖火リレートーチの展示や受信公開など，関連するイベントがすべてなくなった。

２月13日に発生した福島県沖地震の影響で，「NHK東北民謡コンクール　優勝大会」(2.21) が中止となったが，開催を望む多くの民謡ファンの期待に応え，日程と会場を変更して３月28日に仙台局スタジオからFM生放送（東北６県向け）を無観客で実施。21年４月には同番組を「らじる★らじる」の聴き逃し配信で１週間配信した。

❷実施できた公開番組・イベント

新型コロナの影響で，日程や会場を変更して実施できたイベントのほか新たに企画した「オーケストラでつなぐ希望のシンフォニー」などを実施。

令和元年東日本台風（台風19号）の復興支援として宮城県丸森町で「こども音楽クラブ」を実施（7.21）したほか，福島県いわき市でも実施（11.9）。こども向けのステージイベント「ガラピコぷ～小劇場」を宮城県山元町（11.7）と秋田県北秋田市（12.5），青森県弘前市（3.28）で実施。秋田局では１階ロビーに完成した「秋田メディアパーク」のオープン記念として「昆虫だいすき！Bugs Park」を実施した（8.22～23）ほか，「秋田発地域ドラマ『金色の海』」の放送前には秋田県立大学で『放課後ラジオ　よりみちこまち』の公開生放送（12.24），メディアパークから『大好き♡東北　定禅寺しゃべり亭』公開生放送（1.16）を実施。「オーケストラでつなぐ希望のシンフォニー」は全国10会場で計画され，東北管内では山形（9.24）と仙台（10.15）で実施。福島局では，『連続テレビ小説』「エール」の特集『土曜スタジオパーク』を公開生放送（10.31）したほか，独自企画で「古関裕而エール楽団演奏会」（11.3）と「エールファン感謝祭」を実施した（11.10）。山形局では年度途中，新規で「松岡修造のテニスパーク」を計画し実施（10.17）。仙台局では放送開始から67年になる長寿番組『民謡をどうぞ』を蔵王町で実施（12.10）したほか『NHKのど自慢』を南三陸町で実施（3.7）。東北管内では１年４か月ぶりの『のど自慢』となった。青森局では「NHKハート展」を八戸市で開催した（3.12～23）。「NHK東北民謡コンクール各県大会」は，12月から１月にかけて各局で無観客実施。東北６県から代表者が選出され，優勝大会の開催につなげることができた。

「被災地のみなさんに元気や笑顔を届ける」ことを目的に実施している地域貢献イベントは，福島県楢葉町で「エール」にちなんだ「仙台フィルメンバーによるエール楽団　未来へつなぐコンサート」を開催した（3.22）。

【3】営業

20年度は３か年経営計画の最終年にあたり，「支払率84％（19年度・83％）」「衛星契約割合54％（同・53％）」に向けた営業諸目標の達成を目指した。

年度当初から，コロナ禍により従前の営業活動が大きく制限され，４月の緊急事態宣言下では訪問営業活動を停止した。その後，情勢を鑑みつつ受信契約の案内などのポスティング等から開始し，８月以降は新しい生活様式に対応した，感染防止策を十分に徹底したうえでの訪問活動を再開した。

しかしながら，支払率が80％を超え，新型コロナにより訪問活動が一層困難化している状況を改革の機会と捉え，現行の訪問巡回型業務から訪問によらない業務にモデルを変換する抜本的な構造改革に着手することとした。

訪問によらない営業活動にシフトしていくため，不動産会社・大学生協・ケーブル事業者等への連携強化や，電力会社などの公益事業者との連携開始への取り組みを進めた。

さらに，他部門との連携を強化し，『宮城発地域ドラマ』「ペペロンチーノ」を活用した理解促進活動や，ローカル枠に営業職員が出演し，受信契約自主申出を促進するためのPRなどを実施した。

１月の豪雪により秋田県の一部に，また２月の地震により福島県の一部に災害救助法が適用され，２か月間の放送受信料免除となった。

営業諸目標については，20年度末の東北地方の放送受信契約数は328万3,925件，衛星契約数は182万1,216件となり，対前年比での放送受信契約数は19年度より２万7,754件，衛星契約数は１万3,155件の減少となった。なお，営業収納額の達成率は99.7％となった。

関東甲信越

1 放送

【1】放送の概要

❶新型コロナ報道

春の第１波と最初の緊急事態宣言（４月），夏の第２波，秋から冬にかけての第３波，２度目の緊急事態宣言（１～３月）など，最新状況を日々のニュースで伝え続けた。生活情報はインターネットやL字（画面）できめ細かく発信した。さらに，ひっ迫する医療機関や保健所の現場，感染者への差別・偏見の問題，クラスターの現場で起きていた課題などを深く取材し，日々のニュースのほか『首都圏情報　ネタドリ！』や特集番組，『NHKスペシャル』などの番組で繰り返し報道した。

１都３県向けに加え，それ以外の各県向けにも個別に感染状況や自治体の対応などを詳しく伝えたほか，飲食店・観光関連施設の苦悩などをリポートや記者解説で発信し続けた。また，緊急事態宣言発令中の店舗や公共施設の営業状況，交通機関の運行情報といった生活に関わる情報をL字や特設コーナーで幅広く伝えた。

千葉局では，障害者福祉施設で発生した100人超の集団感染や，大学病院の破綻寸前となった重症患者病床の実態を伝えた。また，成田空港から入帰国した人の一部が政府の要請に従わず公共交通機関を利用していた実態をつかみ，水際対策の不備を明らかにしたほか，２月には国内初のワクチン到着の情報をキャッチして詳しく伝えた。

❷災害報道（防災減災　震災10年）

台風で三宅村と御蔵島村に出された大雨特別警報（10月）では，特設ニュースやL字できめ細かく伝えた。最大時2,100台の車が新潟県の関越自動車道で立往生した大雪（12月）の際は，巻き込まれた当事者をSNSを通じて取材し，現状を伝えた。臨時の県域ニュースやネットで立往生した当事者にも情報を届けた。東日本大震災から10年（３月）では，首都圏に今も２万人が避難している現状や，首都直下地震への備えについて伝えた。

長野局では，19年に甚大な被害を出した台風19号から１年のタイミングで，被災者2,000人へのアンケートなどをもとに避難や復興の課題について７本のリポート・番組を制作した。７月の

豪雨では１か月近く避難や警戒を呼びかけた。御嶽山噴火から６年や，東日本大震災とその翌日の栄村での震度６強の地震から10年にあわせ，人々の思いや対策の現状をリポートした。

水戸局では，６月と９～10月に公共メディアキャンペーン「水害から命を守る」を展開。610ニュースで連日，被災地の現状や復興の課題を独自企画や記者解説で伝えたほか，「関東・東北豪雨５年」「台風19号１年」の節目に県域特集番組を放送した。東日本大震災10年では防災対策の最前線を取材するとともに，被災者の手記をもとに放送・イベント連動で震災の記憶や教訓を未来につなげる発信を行った。茨城県では20年度，震度４以上の地震が13回発生したが，マルチ発信も含め迅速に対応した。

千葉局は19年の台風15号から１年の節目に，大規模停電から命を守る教訓と対策や，被害を受けた住宅修理が進まない実態，倒壊したゴルフ練習場跡地の補償問題などを，番組やリポートで報道した。

❸事件・事故

神奈川県座間市のアパートで，SNSで知り合った女性ら９人を殺害，遺体を遺棄したとして逮捕された被告に，12月，死刑判決が言い渡され，特設ニュースなどで裁判を詳報した。ひきこもりの末に命を落とす「ひきこもり死」の実態を，全国自治体への取材で明らかにし，『NHKスペシャル』で伝えた。茨城県の東海第二原子力発電所の再稼働をめぐる裁判で，３月，日本原子力発電に再稼働を認めない判決が言い渡され，速報，詳報した。

長野局では，坂城町で暴力団員による殺人事件を機に県内で初めて制定された犯罪被害者支援条例について遺族の思いを交え伝えたほか，４人が死亡した住宅火災では亡くなった人たちの人柄などを放送。15人が死亡した軽井沢バス事故から５年，遺族の思いとともにバス会社社長らの在宅起訴を特報した。

前橋局では，関東各地で相次いだ農家から子豚が大量に盗まれた事件の背景を取材。コロナ禍で仕事を失ったベトナム人の技能実習生が往来制限で帰国することもできず，厳しい生活を強いられている現状を明らかにして長野局と共に『クローズアップ現代+』で全国に発信した。

宇都宮局は，２月に足利市で発生し鎮火まで20日以上かかった山火事を，中継や最新の映像で伝え続けた。鎮火後には火事の影響や課題なども伝え，改めて県内外に広く注意を呼びかけた。

❹選挙報道

過去最多の22人が立候補した７月の東京都知事選，11月の栃木県知事選と宇都宮市長選のダブル選挙，過去最多の８人が立候補した３月の千葉県知事選と千葉市長選のダブル選挙を，開票速報のほか，リポートや記者解説で分かりやすく伝えた。新型コロナの感染拡大が続く中での選挙となり，選挙管理委員会の対策や集会を避ける候補のリモートによる運動も取り上げた。デジタルでの選挙報道にも力を入れ，候補者の訴えや横顔をまとめた「候補者アンケート」をホームページに掲載。選挙後には，選挙戦を検証しWEB特集で伝えた。

❺デジタル発信の取り組み

関東甲信越のニュースや生活情報を伝えるホームページを「NHK首都圏ナビ」にリニューアル。暮らしに身近なニュースや生活情報を詳しく伝えるとともに，SNSでも広く発信した。新型コロナについては特設ページを開設し，全国の感染者の半数を占める東京・神奈川・千葉・埼玉の自治体ごとの感染者数や自治体の生活支援策を詳細に伝えた。

千葉局では，地元の魅力あふれる風景を伝える「季節映像」をホームページにアップし，ツイッターでもショート動画として発信したほか，県域FM『花ラジちば』の聴き逃しを「らじる★らじる」でアップする取り組みを始めた。千葉局制作のリポートをWEB特集やショート動画で発信する取り組みも強化した。

さいたま局では，家族の介護をしている18歳未満の子どもたち「ヤングケアラー」の問題を２月にSNSで配信。アクセスは100万を超えた。また，新型コロナの影響で学校の部活動が思うようにできない中，８月に県内の高校生の取り組みを特設ページなどで配信した。さらに埼玉県深谷市出身の渋沢栄一を主人公にした『大河ドラマ』「青天を衝（つ）け」が２月から放送開始したのに合わせて，渋沢ゆかりの地をマップ化してホームページや紙面上で展開した。

❻地域貢献番組（インターローカルなど）

長野局開局90周年の特番では，地域の課題解決や過去の映像から信州の歴史と未来を考えるコーナーなどとともに，リモートでのゲスト出演や視聴者の意見をリアルタイムで表示する新たなシステムも構築した。

新潟局と前橋局は県境を接するお互いの魅力に迫るインターローカル番組「新潟×群馬 SWITCH 旅　峠で握手！」を共同制作。江戸時代から両県

をつないできた「三国街道」を舞台に，それぞれの県出身のタレント２組がお互いの県を街道沿いに旅して両県の歴史的なつながりや魅力を探った。

甲府局は『あさイチ』の旅コーナーで，富士山など県内の絶景や，名物の食材などを紹介。リモート取材，リモート出演によって全国に伝えた。さらに，超高精細８K映像で日本一の生産量を誇る山梨ワインの醸造家に密着。金曜19時台とBS８Kで放送した。金曜19時台では，静岡局と連携して３週連続で富士山関連番組を放送，新型コロナの影響で登山道が閉鎖された富士山の様子や観光への影響と対策などについて伝えた。

横浜局はコロナ禍の中，前向きなメッセージを発信しようと，川崎市出身の坂本九さんにちなんで「#見上げてごらん」と題したキャンペーンを展開。視聴者から気持ちが上向く写真を募集，写真に込めた思いを伝え，秦基博さんが歌でエールを届ける番組を放送した。

前橋局は，地方オーケストラの草分けと呼ばれる群馬交響楽団が，音楽で地域の人たちを励ましたいと取り組む姿に密着。『ぐんまスペシャル』のほか，全国放送『目撃！にっぽん』にも展開した。東京五輪の聖火リレーでは，「ぐんま大使」でランナーも務めた中山秀征さんと井森美幸さんの２人をゲストに招き，前橋市内のスタートから聖火の到着までを中継を交えて紹介した。

水戸局と宇都宮局は，12月にインターローカル中継を実施，現場と両局のスタジオを結ぶなど新たな演出の試みを行った。水戸局はこのほか，茨城県も舞台となる『大河ドラマ』「青天を衝（つ）け」では，ドラマを通して地域を応援するため610ニュースに特設コーナーを立ち上げ，２月には直前スペシャルを放送した。11月，「地方の時代」映像祭で『ETV特集』「ひとりぼっちで死なせない」が放送局部門選奨を受賞した。

千葉局は地元の魅力を集中的に発信するキャンペーン「咲かせよう千葉」（10～３月）を展開し，10月を中心にラジオドラマやテレビリポートを放送して台風被害や新型コロナの影響に苦しむ千葉県民や観光業者を応援した。震災10年にあわせて県内の民放FM７社と防災について考えるキャンペーン「NEXT RADIO」（２～３月）を展開。キャンペーンソングを制作し３月には民放FMのbayfmとの同時生放送も行った。

宇都宮局は，新型コロナの影響でコンクールなど発表の機会を失った県内の合唱部や吹奏楽部の児童･生徒，ジャズ愛好家たちと地元出身のミュージシャンがリモートで同じ音楽を演奏し交流する番組『とちおん』を３月に放送した。

さいたま局は所沢市にポップカルチャーのミュージアムがオープンしたのを機に，数々のアニメの舞台として描かれ，“アニメの聖地”とも呼ばれる埼玉県の知られざる魅力に着目。『首都圏ネットワーク』などで連日，企画リポートを特集し，地元民放とも連携したラジオ特番も放送した。

❼東京オリンピック･パラリンピック

新型コロナの感染拡大で１年延期となった東京大会。延期が決まってからのコロナ対策の現状をきめ細かく伝えるとともに，大会ボランティア，聖火ランナー，ホストタウンが不安を抱えながらも準備を進める姿を継続的に見つめた。大会のあり方についても，観客の上限など，方針が決まるごとに，経済損失や国際交流の縮小など，影響に関する取材を展開した。さらに，コロナ禍でも，大会を開催する意義は何なのか，『NHKスペシャル』で伝えた。

【2】地域放送番組

❶定時番組

ブロック

『ひるまえほっと』 Ⓖ

（関東エリア）　月　11:05～11:30
（関東甲信越エリア）月～金　11:30～11:54

第１回13.4.3／地域の隠れた魅力を発掘し，暮らしに役立つ情報を伝える地域情報番組。月曜11時台前半は南関東３局によるリレー，月～金11時台後半は特集のコーナー，木曜は北関東３局や甲信越各局のリポートを放送。毎週金曜には，旬の魚介・野菜・花の情報を「いま旬市場」で紹介し，「かんたんごはん」では，日々の料理を手軽に作るコツを伝えた。また，視聴者コミュニケーションを重視。新型コロナについて視聴者の疑問や質問を募集，連日多くの時間を費やし専門家が答えるコーナーを放送。震災10年については「首都圏に避難している被災者の今」を伝える企画や災害の備えを見直す特集を組み，地域の視点・生活者の視点で伝えた。／キャスター：柘植恵水アナ／首都圏局放送部

『首都圏ネットワーク』 Ⓖ

月～金　18:10～19:00

第１回97.4.1／18:10～関東ブロック（水戸局を除く），18:30～南関東ブロック（１都３県）／関東地方の視聴者にニュースと生活情報，地域

の話題，気象情報などを幅広く伝えるニュース番組。20年３月30日から南関東ブロック向けの放送を30分枠に10分拡大した。新型コロナの感染拡大に伴う最初の緊急事態宣言では，感染対策のため北関東・甲信越の一部も放送範囲に加えるなど柔軟に対応。一年を通じて新型コロナのニュース・生活情報を細かく伝えた。後半は１都３県を「ちかさと」エリアと名付けて身近な話題をまとめて伝えるコーナーを設け，地域との一体感を強調した。／キャスター：高井正智・林田理沙アナ／首都圏局放送部

『首都圏情報　ネタドリ！』 Ⓖ

金　19:30～19:57

再 土　10:55～11:22

第１回18.4.13／首都圏の暮らしに身近な話題から，事件・事故，自然災害に至るまで，さまざまなテーマを取材した。「首都圏に緊急事態宣言　私たちの生活は？医療は？」「密着“第２波”と闘う病院」「コロナ時代“住まい”が変わる」「コロナ下の異例の選挙戦」など新型コロナ関連についてさまざまなテーマで放送。首都圏の最新状況，経済・暮らしへの影響などを多角的に伝えた。２度目の緊急事態宣言が出た１月には，１都３県の知事が生出演して視聴者の疑問に答える72分の拡大版を放送した。／キャスター：松田利仁亜アナ，高橋みなみ，岡田結実／首都圏局放送部

『首都圏ニュース845』 Ⓖ

月～金　20:45～21:00

第１回96.4.1／関東ブロック（水戸局を除く）／きょう１日の首都圏のニュースとあすの気象情報をコンパクトに伝える15分番組。１年を超えて続く新型コロナ関連ニュースは優先度の高いものから簡潔にまとめて伝えた。加えて夕方以降の最新ニュースや関東１都６県のニュースを地域性にも配慮して網羅的に伝えた。／キャスター：上原光紀アナ／首都圏局放送部

長野局

『イブニング信州』 Ⓖ

月～金　18:10～18:59

県内のニュースや話題を伝える夕方の地域情報番組。コロナ禍に伴うデマや差別，農業の現場に外国人技能実習生が来日できない実態などを放送した。前年の台風災害から１年，御嶽山噴火から６年など防災・減災の企画や，予報士による毎日の詳しい気象解説なども伝えた。坂城町で起きた殺人事件を契機に制定された犯罪被害者支援条例についてもリポート。サッカーJ2「松本山雅」や地元出身力士の御嶽海など，県内のスポーツの話題も放送した。

『知るしん　信州を知るテレビ』 Ⓖ

金　19:30～19:55ほか

県内向けに毎週金曜夜に放送。20年度は計39本放送した。コロナ禍の経済・観光業への影響，千曲川決壊の検証や被災者の思い，御嶽山噴火災害などの火山対策，災害弱者の避難支援などについて放送した。また自然エネルギーや引きこもりの社会復帰，大自然や温泉・観光地などふるさとの魅力の再発見，古代史の謎解明や，映画監督・小津安二郎の秘話，亡くなったC・W・ニコルさんの提言など，信州の歴史や文化も紹介した。

『信州845』 Ⓖ

月～金　20:45～21:00

信州のきょう１日が分かるニュース。翌日の気象情報も詳しく放送。

『ゆる信ワイド』 R1

金　16:05～18:00

くつろいだ雰囲気で信州の旬の話題を伝える金曜日の２時間のラジオワイド番組。コロナ禍の中で，県の「お困りごと相談センター」と連携しリスナーの疑問や質問に答えたり，視覚障害者と防災について考えたりするなど，暮らしに身近な視点で伝えた。コロナ禍でも元気な気持ちを持ってもらう企画としてプロダンサーやDJとディスコ気分を味わえる企画を制作した。

新潟局

『ひるまえ伝言板』 Ⓖ

金　11:50～12:00

新潟県内のさまざまな“伝言”を放送する番組。視聴者からの投稿により優秀作品を紹介する「ひるまえ川柳」や，イベント主催者，行政，NHKからのメッセージなどを凝縮して伝えた。

『新潟ニュース610』 Ⓖ

月～金　18:10～19:00

新潟のニュースを早く，分かりやすく伝える地域情報番組。地域の課題や改善策，防災の取り組みやスポーツなど，暮らしに役立つ多彩な情報を

届けた。20年度は新型コロナの地域への影響と，コロナ禍で生きる人々の姿を丁寧に伝えた。12月には関越道の大規模立往生，１月には記録的大雪の影響，２～３月は柏崎刈羽原発の核防護をめぐる問題を詳しく伝えた。また，12月には『新潟ニュース610』を第一部，『金よう夜きらっと新潟』を第二部とするウルトラキャラバン『古町・万代スペシャル』を放送し，ゲストに新潟市長などを迎え中心市街地活性化に向けた課題と改善策を考えた。

『金よう夜きらっと新潟』 Ⓖ

金　19:30～19:57

再 日　13:05～13:32

時事・文化・人・紀行などさまざまなジャンルの地域の出来事や課題を，その背景とともに分かりやすく伝える特集番組。20年度も新潟を紹介した全国放送番組を有効に活用したほか，番組が20周年を迎えたことから過去の名作選も加え，毎週金曜夜の放送を続けた。新型コロナ関連では，４月に「新型コロナ　あなたの不安は何ですか？」と題して２週連続で県民からの質問に答えた。７月と３月には宿泊客が減少する中，必死に経営する老舗温泉旅館を，９月には消費が減少する日本酒業界の現状と課題を伝えた。このほか６月に観光振興を応援する番組フォーマット「新潟デートプロデュース計画」を，８月に子どもにターゲットを絞った「にいがた妖怪ものがたり」を放送した。10～11月には２週連続で前橋局とのインターローカル番組「新潟×群馬SWITCH旅　峠で握手！」を制作し隣県の魅力を伝えた。

『新潟ニュース845』 Ⓖ

月～金　20:45～21:00

『新潟ニュース610』の情報や，最新の１日のニュース，気象情報をコンパクトに伝えた。

『にいがた　ゆうどきラジオ』 R1

（最終）金　16:55～17:58

毎回，新潟ゆかりの著名人をゲストに迎え，新潟にまつわる話や思い出話を聴くほか，地元の旬の話題，新潟大学との防災企画，スポーツなどを伝えた。

甲府局

『Newsかいドキ』 Ⓖ

月～金　18:10～19:00

山梨県（甲斐）の“いま”を掘り下げ，ライブ感たっぷりに伝えるニュース情報番組。新型コロナによる緊急事態宣言の全国拡大や期間延長，感染確認の状況など，新型コロナ関連の情報をリポート，解説，中継を交えきめ細かく伝えた。また新型コロナの影響によって打撃を受けた地域経済を盛り上げるための企画を９月から６回放送。クリーニング店，製造業，オンラインスナックなど多様な業種を取り上げた。１年後に延期された東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みを紹介するため，12月に３日間，３つの市から地元CATVとも協力してキャラバンを放送し，オリンピックを待ちわびる聖火ランナーや山梨県関係の選手の動向を詳しく伝えた。

『ヤマナシ・クエスト』 Ⓖ

金　19:30～19:57

山梨の課題に向き合い，山梨の魅力を再発見する特集番組。新型コロナに揺れる地域の実情などについて16本制作・放送した。４月は新型コロナの感染拡大による医療や検査体制の現状と課題，家庭でできる予防策など43分の拡大放送で伝えた。６月は新型コロナから立ち上がろうとする企業などについて，７月は梅雨の出水期に合わせ，近年大きな被害がなく，災害が少ない山梨県と思われがちな中，水害対策に備える重要性について取り上げた。９月は，新型コロナによって注目される地元を再発見する観光について放送。10月は，登山道が閉鎖され大きな影響を受けた富士山を特集。静岡局とも連携して富士山関連の番組を３週間にわたって３本シリーズで放送した。１月には，新型コロナで増える「産後うつ」について，３月はコロナ禍での雇用問題について取り上げた。

『ニュース山梨845』 Ⓖ

月～金　20:45～21:00

山梨県内の１日のニュースや気象情報をコンパクトに伝えた。

『かいラジ』 R1

金　17:05～17:55

地域を元気にする取り組みや魅力的な人へのインタビューなど地域情報満載でお伝えするラジオ

番組。リクエスト音楽をはじめ，お便りやメールなども募集し，リスナーとつながる放送を行った。新型コロナに立ち向かう人々への応援やJリーグに所属する地元プロサッカーチームへの期待などについて年間５本放送した。

横浜局

『はま☆キラ！』

R1全国　（第２・４）水　17:05〜17:55
FMローカル　　金　18:00〜19:00

神奈川ゆかりの著名人や県内で活躍する方々をゲストに，音楽情報・地域情報などを幅広く発信するトーク番組。横浜放送会館で行っているジャズライブも公開生放送で全国発信し，コロナ禍の中，感染対策を徹底したうえで，３回実施した。

前橋局

『ほっとぐんま630』　新　G

月〜金　18:30〜19:00

第１回20.3.30／情報発信の強化を目指して，20年度から放送時間を10分拡大，スタジオ，キャスターも一新し，30分番組としてスタートした。ただ，新型コロナの感染拡大の影響で緊急事態宣言が県内にも出され，業務継続を維持するため，わずか１週間で放送時間を短縮することとなった。５月18日に30分番組の放送に戻してからは，県内の最新のニュースをはじめ，見どころの山やわが町の遺産，活躍する人など，さまざまな切り口で県内情報を発信した。

『ぐんまスペシャル』　G

金　19:30〜19:57

地域の課題や雄大な自然，魅力的な人たちなど，さまざまなテーマで伝える特集番組。20年度は８本放送した。７月は，尾瀬で20年ぶりに行われた学術調査の新たな発見などを貴重な水中映像とともに紹介。９月は，日航機墜落事故から35年の夏，高齢化やコロナ禍で慰霊登山をするのか，揺れた遺族の思いを伝えた。また，コロナ禍で活動自粛を求められる中，地方交響楽団の先駆け「群馬交響楽団」が芸術の価値を問い直し，県民を勇気づけようと取り組んだ５か月の奮闘を描いた。10〜11月には，２週連続で新潟局とのインターローカル番組「新潟×群馬 SWITCH旅峠で握手！」を制作し隣県の魅力やつながりを発信した。３月の「東京2020オリンピック聖火リレー」では，群馬出身のタレントをゲストに，県民が参加するトーチリレーや聖火皿への点火セレモニーの中継も交え，五輪への盛り上がりを伝えた。

水戸局

『金曜は！いばっチャオ』　G

金　11:30〜11:54

第１回19.4.5／週末のおでかけ情報やカルチャーなど，暮らしを豊かにする茨城県内の情報満載の番組。県内で活躍する魅力的な人物や，ユニークな取り組みなどを紹介した。

『いば６』　G

月〜金　18:10〜19:00

第１回15.3.30／その日の茨城県のニュースをいち早く伝え，視聴者とともに背景や課題，解決策を探っていくニュース情報番組。地域の旬の話題や暮らしに直結する身近な情報を紹介。20年度は旬の特産品を紹介する企画など生活情報を充実。新型コロナで継続的に視聴者の必要とする情報を伝えるとともに，関東・東北豪雨５年，台風19号１年，東日本大震災10年は中継や記者解説なども交え，重点的に特集した。12月に宇都宮局とインターローカル中継を実施。茨城県が舞台となる『大河ドラマ』「青天を衝（つ）け」は，出演者インタビューや撮影の様子，地域の歴史などを全局体制で伝えた。

『茨城スペシャル』　G

金　19:30〜19:57

県民の関心の高い話題や地域の課題を掘り下げて伝える特集番組。新型コロナや防災・減災，地域の歴史･文化などさまざまなテーマを取り上げ，19本を放送した。新型コロナの感染拡大に伴い，４月に県内の感染状況と感染防止策，５月に地域経済復興の課題，県独自の緊急事態宣言が発出された１月にはひっ迫する検査・医療について伝えた。関東・東北豪雨から５年となる９月には自主防災組織の課題や自治体の新たな治水対策を，19年の台風19号から１年となる10月には被災地の復興の課題などを伝えた。３月の東日本大震災10年では，県内への避難が続く福島の被災者の現状を伝え，ドローンを活用した人命救助や地層分析による地震周期予測など最新の防災・減災技術を紹介した。県内の古仏を巡り地域の歴史を発掘するニュース企画と連動した「ちょっと見仏」を，９月と３月にシリーズで放送した。

『茨城ニュース845』 Ⓖ

月～金　20:45～21:00

第１回04.10.1／茨城県のその日の出来事を，気象情報と合わせてコンパクトに伝えた。

『サタデーFM　いばゆる』 FM

（年15回）土　11:00～12:00

第１回18.4.14，最終回20.3.13／カルチャーやスポーツなど多ジャンルから茨城ゆかりのゲストを招く，トーク中心の番組。くつろぎの土曜のお昼前を，“ゆるい”トークで伝えた。最終回となる３月は２時間半の拡大版で伝えた。

千葉局

『花ラジちば』 FM

木・金　11:00～12:00

千葉ゆかりの人たちが豊かな自然・歴史・文化や地域で活躍する人々を紹介することで地域を活気づける60分の新番組。季節の花と緑の情報を届ける「おすすめ！ガーデニング」，県内に受け継がれる民謡を紹介する「花の伝統音楽」，地域課題解決のヒントとなる「千葉局フォーラム」情報など多彩な情報を届けた。10月には京成バラ園から公開生放送を実施し，多彩な花が咲く千葉ならではのバラと園芸の魅力を伝えた。

宇都宮局

『ちょこトチ！』 Ⓖ

金　11:50～12:00

第１回18.4.6／栃木県内のイベント情報のほか，コロナ禍の視聴者に少しでも明るい気持ちになってもらおうと，県庁と協力して旬の花々の情報を生産者のメッセージとともに伝えた。

『とちぎ630』 新 Ⓖ

月～金　18:30～19:00

第１回20.3.30／県民の関心が高い事件・事故をはじめ，県内の話題をとことん掘り下げ分かりやすく伝えるニュース番組。新型コロナ報道では，最新の感染情報のほか，県や自治体の対応を伝えた。気象コーナーでは気象予報士がワンポイント知識や県内25市町の天気予報を表示して防災・減災に取り組んだ。工芸やギョーザといった共通のテーマを考えるコラボ企画では水戸局や静岡局と中継を結び，それぞれの県の取り組みを伝えた。４年前に起きた，登山の訓練中だった高校生らが雪崩に巻き込まれ，８人が死亡した事故については，シリーズで遺族の手記を紹介し，改めて再発防止の必要性を問いかけた。

『とちスペ』 Ⓖ

金　19:30～19:57

栃木県内の話題や課題を掘り下げる内容を多彩な演出で４本制作・放送した。６月の「コロナと向き合う栃木の若者たち」と３月の「コロナと向き合う栃木の人たち」の２本は，新型コロナの感染拡大によって，悩み苦しむ県民の姿を取材する企画。それぞれの世代のコロナ禍での状況を取材した。10月の「光る栃木の農業人」は，先進的な取り組みをする県内の農家を取材。令和の時代の新たな農業のあり方を示した。３月の「読めますか？とちぎの地名」は，土地の名前を入り口に，地域の歴史や文化的な背景を探った。

『夕暮れ　とちのき堂』 新 FM

（最終）金　18:00～19:00

第１回20.5.29／栃木にゆかりのあるさまざまなジャンルのゲストをスタジオに招き，とっておきの話を聴いた。ゲストのおすすめ曲とエピソードを紹介し，知られざる人物像に迫った。

さいたま局

『日刊！さいたま～ず』 FM

月～金　18:00～18:50

埼玉にゆかりのあるゲストを迎え，暮らしの知恵や地域の歴史や文化をテーマにした雑学，イベント情報などを伝える番組。毎週火曜日は，県内を取材する記者による県内ニュースを詳しくリポートする企画コーナー「取材の現場から」などで地域の話題を伝えた。

❷特集・特別番組

首都圏局

『いちオシ！～宿の人に聞いてみた【千葉編】』 Ⓖ

11.28／10:55～11:22

『いちオシ！～住まいのプロに聞いてみた【注目の東京郊外編】』 Ⓖ

12.26／10:55～11:22

『みんなでエール「2020⇒21それでも上を向いてSP」特別編　大変だったこの１年を振り返る』 G
12.28／ 8:15～ 9:54（9:00～ 9:05はニュース）

長野局

『NHKのど自慢～長野県須坂市』 G
10. 4／12:15～13:00
『知るしん　信州を知るテレビ』 G
「堤防決壊　そのとき住民は
～検証・台風19号　命を守るために～」
10. 9／19:30～20:42
R1 10. 9／19:30～20:55
「撮るしんスペシャル」
12. 4／19:30～20:42
『あなツク』「NHK長野　開局90周年スペシャル」 G
3.12／19:30～20:42
『モモの世界を朗読で』 R1
11.23／16:05～16:55

新潟局

『新潟ニュース610×金よう夜きらっと新潟
古町・万代スペシャル』 G
12. 4／17:20～18:00，18:45～19:00
19:35～19:57
『おうちでじょんのび～新潟の夏～』 G
（新潟が舞台の過去の７番組を再放送）
8. 8～ 8.14／18:10～18:37ほか

横浜局

『#見上げてごらん』 G
2.26／20:00～20:45

前橋局

『日航ジャンボ機墜落事故から35年』 G
8.12／18:45～19:00

千葉局

『首都圏ネットワーク・千葉スペシャル』 G
10.28～30／18:30～19:00
『FMシアター　風のあと咲き』 FM
（県域再放送）10.30／10:00～10:50
『花ラジちば　花ラジ特集』 FM
10.30／11:00～12:00
『花ラジちば　特別編　あの日から10年』 FM
3.11／14:00～15:00
『NHK千葉FM×bayfm　同時生放送
「NEXT　RADIO　2021」』 FM
3.11／19:00～21:00

宇都宮局

『８Kで迫る　きのこワンダーランド』 BS８K
11.22／19:45～20:15
『FMシアター』「プリズン・コーラス」 FM
12. 5／22:00～22:50

さいたま局

『ひるまえほっと』「青天を歩け！」 G
3.17，18／11:30～11:54
『首都圏ネットワーク』「青天を歩け！」 G
3.15，19，22，26／18:10～19:00
『SAITAMA ANIMEDIATHON』 FM
11. 7／14:00～17:00

各局共通

『NHK全国学校音楽コンクール』
これまで例年開催してきた『NHK全国学校音楽コンクール』は，新型コロナ感染拡大防止の観点から中止になった。

【3】スポーツ中継

❶野球

〔高校野球〕

各県独自高校野球

東京都	東東京・決勝	G E FM／ 8. 8
	西東京・決勝	G E FM／ 8. 7
長野県	準決勝	G E FM／ 8. 8
	決勝	G E R1／ 8.10
新潟県	準決勝	R1／ 8. 4
	決勝	G E R1／ 8. 6
山梨県	決勝	R1 FM／ 8.13
神奈川県	決勝	E FM／ 8.23
群馬県	決勝	FM／ 8.10
千葉県	決勝	G FM／ 8.18
埼玉県	決勝	G FM／ 8.23

秋季高校野球・県大会

長野県	第３代表決定戦・決勝	R1／ 9.27
新潟県	準決勝	R1／ 9.21
	第３代表決定戦・決勝	R1／ 9.23
山梨県	準決勝	R1／10. 3
	決勝	R1／10. 4
茨城県	準決勝	FM／10. 3
	決勝	FM／10. 4

秋季高校野球・関東大会

準決勝　甲府局　R1／10.31

秋季高校野球・北信越大会

準決勝　長野局　R1／10.17

決勝　長野局　R1／10.18

❷サッカー

〔J1リーグ〕

「鹿島」×「札幌」　水戸局　G／ 7. 8

〔J2リーグ〕

「群馬」×「町田」　前橋局　G／ 7.11

「松本」×「新潟」　長野局　G／12. 6

「新潟」×「群馬」　新潟局　G／12.13

「甲府」×「松本」　甲府局　G／12.13

❸その他のスポーツ

〔バスケットボール〕

B1リーグ

「信州」×「新潟」　長野局　G／ 2.27

B2リーグ

「茨城」×「東京」　水戸局　G／10.10

2 技術

【1】緊急・災害報道，選挙報道

❶緊急・災害報道

新型コロナの感染拡大に伴い，４月に７都府県に緊急事態宣言が発出された。対象地域外であった栃木県では，知事が県内の感染者増加を伝える緊急会見を行い，宇都宮局は全中番組を脱して記者会見のもようを中継したほか，文字情報（L字画面）や自局ホームページに誘導するQRコードを活用し，ライフライン情報を伝えた。

首都圏局では，10月に関東に影響をもたらした台風14号で，起こっている災害の情報を機動的に伝える中継チームを立ち上げ運用したほか，千葉局では勝浦市内のホテルに光回線を構築して災害報道に備え，生中継に利用した。

11月22日に茨城県東海村で震度５弱を観測する地震が発生。また，２月13日と３月20日にも宮城県，福島県で大きな地震が発生した。域内局でも震度５強の強い揺れを観測し，局前中継や特設ニュース送出対応，ラジオの上乗せ，L字，データ放送，ホームページ対応など各局が対応を行った。

災害報道の強化に向け，甲府局では富士山噴火に備えた富士山５合目のロボットカメラ映像をロボットカメラ・モニタリングシステムに接続し，常時映像収録を可能とした。長野局では，河川情報カメラ収録システムを整備した。首都圏局でも，東京都が管理する河川カメラの放送利用に向けた設備整備，首都直下地震に備えたさいたま報道別館の立ち上げ訓練を現地局と協力して実施した。

その他，長野局では７月31日に，噴火から６年となる御嶽山の登山口から中継を実施した。また，10月には，大きな被害をもたらした台風19号災害から１年たった現地の様子を中継した。新潟局では，新潟県三条市で９月３日に気温40.4度を記録したことで，「新高温注意情報L字スーパー」で視聴者に熱中症への警戒を呼びかけた。12月，新潟県に降った大雪により関越自動車道で2,000台を超える車両が立往生した際は，随時ローカル特設ニュースやラジオで情報を発信した。

❷選挙

宇都宮局では，11月15日に行われた栃木県知事選挙と宇都宮市長選挙の開票速報において，現職の会見会場から中継を行うとともに，選挙システム体制を構築し，迅速正確な開票速報を放送した。千葉局では，３月21日投開票の千葉県知事と千葉市長選挙において，政見放送収録，選挙システム構築，テレビ／FMの開票速報送出など選挙報道に対応した。

【2】番組制作

新型コロナの感染拡大に伴い，域内の番組制作にも大きな影響を受けた。公開派遣番組の中止や，中継番組の中止などが相次ぐ中，各局でリモートを活用した番組制作や，密を避ける現場環境の構築に取り組むなどし，視聴者サービスの維持を図った。

❶コロナ禍での新たな取り組み

長野局では，４月にコロナ禍での取材設備として「IPリモートインタビュー設備」２式を整備し，取材感染予防対策を行った。また，３月12日に放送した72分の開局90周年記念番組『あなツク』では，生放送でTwitterや投稿，IPリモートのマルチ画面を使用したほか，非常事態宣言の中で感染リスクを最小限に抑えるため，IPリモートプロダクションを利用して長野局とゲストを迎えた渋谷放送センターとを結んだ。

さいたま局では，従来の放送サービスに加え，SNS発信やMicrosoft Teamsをはじめとしたリモートワークツールを利用するため，市販の機器を活用したシステムを構築し，公開収録におけるネット発信や局内研修で活用した。

❷公開派遣番組・大型番組

長野局では10月４日に須坂市から，新潟局で

は11月15日に新潟県新発田市からそれぞれ『NHKのど自慢』の生放送を行った。

『ゆく年くる年』には，首都圏域内から横浜局（横浜中華街・横浜港），前橋局（東京五輪で前橋市に合宿中の南スーダン選手団の宿舎）の２局が参加し，コロナ禍での年越しの様子を伝えた。

❸スポーツ

新型コロナの影響で夏の高校野球・甲子園大会が中止となったが，独自の大会を開催する県もあり，各局が密を避けた中継体制を構築し，テレビやラジオで大会の様子を伝えた。プロスポーツについても，長野（J2リーグ，B1リーグ）・新潟（J2リーグ）・甲府（J2リーグ）・前橋（J2リーグ）・水戸（J1リーグ，Bリーグ）の各局が中継対応を行った。制作にあたっては，密を避ける体制で行うとともに，オフチューブ（他局制作の配信映像に自局で音声をのせる）中継も行った。

❹ニュース番組・地域番組

前橋局・宇都宮局では，20年度より，夕方18時台の総合テレビ県域放送枠を10分拡大し，18時30分より，『ほっとぐんま630』『とちぎ630』と題して放送開始。県内のニュースやさまざまな地域の話題を伝えた。また，宇都宮局と水戸局で，隣県との「深いつながり再発見」をテーマに両局のアナウンサーと中継現場を結んだインターローカル中継を実施した。新潟局と前橋局でも両局が共同で10～11月にインターローカル番組を制作した。

横浜局では，『さわやか自然百景』「神奈川　城ヶ島」，『#見上げてごらんスペシャル』『小さな旅』「工場夜景　誇り輝く～川崎～」，「JAZZ LIVE」などを制作した。

水戸局では，２月に「震災10年朗読コンサート」の公開収録を実施。また，地域の隠れた寺社仏閣を紹介する「ちょっと見仏」などの番組制作で多くのロケ撮影を行った。

千葉局では，台風災害を題材にしたラジオドラマ『FMシアター』「風のあと咲き」（10月放送）を制作した。また，10月には「咲かせよう千葉」キャンペーンに伴い，『首都圏ネットワーク』内で千葉会館ロビーからの番組参加や出先中継を５日間連続で行った。

さいたま局では，11月に実施したところざわサクラタウンからの中継および公開生放送，県域FM公開収録や季節天気カメラの運用を行った。

❺８K制作への取り組み

宇都宮局はキノコの不思議な魅力を伝える『８Kで迫る　きのこワンダーランド』を８K制作した。

【3】テレビ・ラジオ放送網設備

長野局

美ヶ原放送所のTV-STL設備の更新および局舎の屋根防水層と外壁塗装の補修を実施した。また，白馬ラジオ中継局のR1放送機の２台化および佐久中継局のTV送信機を更新した。

新潟局

弥彦山放送所の局舎の屋根防水層と外壁塗装の補修を実施した。また，関川中継局ではTV送信機更新にあわせてルートダイバシティ受信改修を行い，松代中継局ではスペースダイバシティ受信改修を行うことでネットワークの信頼性向上を図った。

甲府局

整備後17年が経過した坊ヶ峯FM放送所のFM放送機を更新した。また，富士吉田中継局と都留中継局を結ぶTV-TTL設備および都留中継局のTV送信機を更新した。

横浜局

平塚中継局から南足柄中継局ほか３局を結ぶTV-TTL設備を更新した。また，鶴見固定局と津久井中継局を結ぶTV-TTL装置および津久井中継局のTV送信機を更新した。

前橋局

二ツ岳放送所の受電UGS（地中線用負荷開閉器）更新や牛伏山FM放送所の鉄塔を補強した。また，桐生中継局の送信柱の一部に亀裂が発生し緊急補修工事を実施した。

水戸局

十王中継局のTV送信空中線のほか，山方中継局と筑波中継局のTV送信機を更新した。また，日立中継局から十王中継局に至るTV-TTL設備を更新した。

千葉局

東金中継局のTV-TTL受信のフェージング対策としてIP回線によるバックアップ設備を整備し，ネットワークの信頼性向上を図った。また，白浜中継局の蓄電池設備を発電機設備に更新した。

宇都宮局

八幡山放送所から矢板中継局ほか２局を結ぶTV-TTL設備および今市中継局のTV送信機を更新した。

さいたま局

さいたま局では，平野原FM放送所のFM送信空中線を更新した。

関東甲信越域内のNHK共同受信施設30施設の光化改修を完了した。

【4】開発

長野局ではカメラ前の人の動作をまねる「まねっこどーもくん」を開発し，来館者に親しみやすい視聴者コーナーを構築した。

甲府局では19年度の改善研究を継続し，２系統のFU（Fading Unit）がそれぞれVCA（Voltage Controlled Amplifier）機能で連動する「VCA連動FU」を開発した。

前橋局では「中継局用BF装置 内部抵抗監視システム」を開発した。

【5】放送設備の充実・更新

❶大規模設備

長野局では新運行装置COMPASS整備に向けて，会館無停電電源装置を30kVAから50kVAに増力更新した。

甲府局では整備後18年が経過したニュース送出設備を更新した。

水戸局でのニュース送出設備の更新整備は，10月に仮設位置での更新を実施した。新型コロナの影響で，本設位置への移設工事は延期し21年度に持ち越した。

地域番組設備更新に伴う建築工事を甲信越と北関東の６局で実施した。

❷報道設備

域内の報道室に整備されている31式の業務用カメラと36式の再生機を更新した。また，スキップバックレコーダー（域内９局と松本支局），地震作画装置（甲信越と北関東），P波作画装置（甲信越と北関東）の更新を行った。

長野局と新潟局では河川情報カメラ受信設備を整備し，河川カメラ収録系統の４画面増強を行った。

横浜局では災害時に送出可能な緊急顔出しカメラシステムを整備し，迅速な報道発信を可能にした。

さいたま局ではインターネットニュース制作設備の部分更新，報道別館ラジオ同時配信エンコーダ更新を行った。

❸その他の設備

小型中継車を長野・新潟・水戸の３局で更新した。

前橋局では８月から11月にかけて会館の空調機と冷凍機を更新し，３月に会館用と冷凍機用の非常用電源入力盤を新設した。

【6】視聴者活動

長野局では，松本市キッセイ文化ホールで400インチの大スクリーンによる８K映像と22.2ch音響の立体音響による「８Kクラシックシアター上映会in松本」（3.18～20）を開催した。

前橋局では，８K受信公開を６市町村で８回実施したほか，PRスポットを４本制作し放送した。また，神流町の町営CATVがBS導入したことを契機に受信公開を行い，12月には『ほっとぐんま630』で現地から生中継した。

宇都宮局では，壬生町公民館で宇都宮局制作の８K番組『８Kで迫る　きのこワンダーランド』の上映と制作関係者によるトークショーを開催した（3.27）。

SHV普及活動では，新潟日報メディアシップでの「ぼくの絵わたしの絵展」にあわせた８K受信公開（9.19～27）や千葉県芝山町にある航空科学博物館の協力による通年での８K受信公開，さいたま局の電商組会議や家電流通懇談会での技術動向説明などにも取り組んだ。

SHV普及活動以外では，技術研究所の最新の研究成果を紹介する「放送のミライ展in甲府」（1.15～28）を開催，横浜局の「#見上げてごらんキャンペーン」視聴者参加イベント（２月）でオンラインシステムを構築して視聴者サービスを展開した。

3 視聴者対応

【1】広報

首都圏局

防災・減災に向けた取り組みとして，「NHKニュース・防災アプリ」の活用を促すリーフレットを作成。営業部門と協力して１都３県の自治体や事業者等に配布した。また千葉局，横浜局，さいたま局と連携して地域支援などをテーマにキャンペーンを展開，デジタルやオンライン公開収録

などで視聴者コミュニケーションに取り組んだ。

長野局

3月から長野局公式アカウントのツイッターの運用を開始し，番組情報などを発信。1か月で2,500を超えるフォロワーを獲得した。『イブニング信州』とホームページ「撮るしん」では，年末の特番で選ばれた写真でカレンダーを作成，視聴者に抽選でプレゼントした。

新潟局

放送開始20年を迎え番組ロゴを刷新した『金よう夜きらっと新潟』のポスターを県内主要駅に掲示。「NHKニュース・防災アプリ」の使い方について気象キャスターが解説するリーフレットを作成し，営業現場で活用したほか，イベント，協力自治体，大学生協などを通じて配布した。ツイッターも積極的に発信し，フォロワーが1年間で約2,000人増加して1万1,000人に達した。

甲府局

1月から夕方の『連続テレビ小説』「花子とアン」の再放送に合わせて，平日18時台『Newsかいドキ』への誘導を目的に「おかえり、夕方はNHK」キャンペーンを展開。放送に加え，ウェブ広告やデジタルサイネージも実施した。

横浜局

新型コロナに負けず頑張っている人にエールをおくる「#見上げてごらん」キャンペーンを11月から2月まで首都圏で展開。コロナ禍でも視聴者とのふれあいを大切にすべく，日常の中で気持ちが上向きになる写真を募集し，計532件の応募があり放送やホームページ等で紹介，特集番組も放送した。また放送時間帯に，横浜局にゲストを招いてオンライン公開収録を実施し，45人の参加者がリモートでゲストと交流した。

前橋局

リニューアルした平日午後6時台の『ほっとぐんま630』についてポスターなどのデザインを一新し，周知広報を行った。新設した「もっとNHK」のコーナーでは，前橋局各部の取り組みを紹介するなど，NHKを身近に感じてもらう活動にも力をいれた。

水戸局

2月から水戸も舞台となる新『大河ドラマ』「青天を衝（つ）け」のPR活動を展開，出演者のインタビューを放送とデジタルで発信したことに加え，水戸駅のアドピラー（柱巻き）広告や，県内タクシーへのステッカー掲出を行うなど，放送への期待感を醸成した。

千葉局

10月のキャンペーン「咲かせよう千葉」では丸の内エリアのビルや東京駅前地下広場でデジタルサイネージを使ったPRを行った。また会館前の敷地では地域住民と一緒に花壇を作る「花の放送局NHK千葉ガーデン」の取り組みを継続し，菜の花が満開の時期に『いないいないばあっ！』のワンワン，花のNHKロゴオブジェを配置したフォトスポットを設けた。

宇都宮局

BS1で1月に放送した『ザ・ディレクソンin栃木』の放送後，番組に参加した視聴者を交えた上映および意見交換会を宇都宮放送会館で実施した。11月にBS8Kで放送した，『8Kで迫る　きのこワンダーランド』のアフターイベントとして，3月に壬生町で関係者や子どもたちを対象に上映会を実施，カメラマンやディレクターらによるトークショーも行った。

さいたま局

埼玉出身の渋沢栄一が主人公である『大河ドラマ』「青天を衝（つ）け」の視聴促進に向けて，これまで以上に地元メディア・関係団体と連携し，周知活動を行った。ふだんは多くの利用がある会館ロビーのキッズスペースは年間を通じて閉鎖せざるを得なかったが，8K展示や公開ライブラリーについては7月から再開，来館者サービスにつなげた。

【2】イベント事業

首都圏局

3月に日本科学未来館で開催された「震災と未来」展に参加。過去に『首都圏ネットワーク』などで放送した災害対策のVTRを紹介したほか，ジオラマなどを使った展示を行い，備えることの大切さを伝えた。

長野局

19年秋の台風災害の経験を基に，「そだてる防災のこころ展」を県内4か所で開催，防災意識

の向上に資するとともに，「NHKニュース・防災アプリ」などの普及に取り組んだ。コロナ禍の中で再評価されたミヒャエル・エンデの『モモ』を取り上げた番組に連動した朗読イベントを11月に開催した。

新潟局

コロナ禍で会館の公開は最小限となったが，感染防止策を徹底しながらイベントを実施した。11月に『NHKのど自慢』を新発田市で開催。１月に魚沼市で実施した「ガラピコぷ～小劇場」は，地元自治体の協力を得て大雪対策を講じ開催にこぎつけた。

甲府局

３月にラジオ番組『かいラジ』と連動し，「親子で絵本を楽しもう！春休み朗読会」を実施した。ハートプラザでは，12月に「チコちゃんに叱られる！笑顔を届けるステージ」，１月に「放送のミライ展in甲府」，２月に絵画コンクール「NHKギャラリー賞絵画展」を実施。入賞・入選作品合計210点をハートプラザで展示し，1,309人が来場した。放送会館外でも12月に身延町で「ガラピコぷ～小劇場」を実施した。

横浜局

新型コロナの影響で43本のイベントが開催中止または非公開実施となったものの，10月から12月にかけて全国放送R1『はま☆キラ！』のスペシャルジャズライブや，「俳優　緒形拳とその時代」展を実施した。

前橋局

９月に高崎市で「オーケストラでつなぐ　希望のシンフォニー」，11月に「ラジオ深夜便のつどい」，２月に渋川市で『みんなDEどーもくん！』，10月に前橋市で，「ぼくの絵わたしの絵展」，３月に「CATVキャラバン」を実施した。

水戸局

９月に土浦市で『民謡魂　ふるさとの唄』を開催。また東日本大震災から10年になるのにあたり，県内に住む被災者の手記を基にした独自イベント「記憶つなぎ未来へ　朗読コンサート」を２月に水戸市で実施し，放送と連携して震災の教訓を受け継ぐ活動を行った。

千葉局

10月に館山市で『新・BS日本のうた』，千葉市で『みんなDEどーもくん！』，12月に19年の台風で被害を受けた市原市の若葉小学校で復興支援を目的として「NHKこども音楽クラブ」を実施した。「NHK千葉局フォーラム」は地域防災などをテーマにオンラインで３回実施，「NEXT RADIO」キャンペーンにも活用した。

宇都宮局

12月に，栃木県総合文化センターで，地域貢献イベント･とちラブ朗読劇「すっぴん」を上演。戦後高度経済成長期に，まんじゅうの自動製造機の開発に打ち込んだ和菓子職人と妻との夫婦愛を描いた。公開収録を行い，FM番組（県域）として放送した。

さいたま局

県内に点在する「アニメの聖地」に着目し，FM公開生放送「埼玉アニメディアソン」を地元FM局とのコラボで11月に実施。オープン直後の文化発信拠点「ところざわサクラタウン」を会場に，３時間の放送とSNS発信，リアルのステージを展開，アニメファンを中心に多くの参加者があった。

【3】営業

関越ブロックでは，経営計画（2018-2020年度）の最終年度にあたり，訪問要員体制の整備やクレーム抑止を最重点とした訪問員指導，訪問によらない取次の拡大などを目指していたが，新型コロナウイルス感染症拡大により，訪問による契約収納活動は大きく影響を受ける１年となった。国や自治体による緊急事態宣言や，新型コロナウイルス感染症拡大の状況を見極め，新しい生活様式を踏まえたガイドラインに基づく感染症防止対策を徹底したうえで，徐々に訪問活動の制限を緩和して取り組んできた。

一方，訪問によらない取次の増加に向けては，賃貸不動産会社を中心とした特約店対応を職員の重点業務として取り組んだ。特約店対応における体制整備，対応スキルの向上，店舗対応の強化を図ることで，下半期以降，19年度を上回る取次実績を確保した。

また，営業諸目標の達成に向け，下半期より実質的に目指すべき業績水準として，実行指標を設定して推進した。５局で全指標を達成したが，

関越ブロック合計で全実行指標達成には至らなかった。

民事手続きについては，新型コロナウイルス感染症の拡大や局地的な自然災害の影響により，未収者に対する支払督促申立て，未契約者に対する民事訴訟の提起など規模を縮小して，未契約者や未収者対策を実施した。

リスク管理については，啓もう・研修・監査等を実施することによって，営業系セキュリティガイドライン順守と個人情報保護を確実に行うとともに，事件・事故の未然防止に向けて「NHK倫理・行動憲章」をはじめとするコンプライアンスの徹底を図った。

中　部

1 放送

【1】放送の概要

❶人々の命と暮らしを守る正確で迅速な報道

南海トラフ巨大地震や記録的豪雨などの自然災害だけでなく，新型コロナウイルス感染症についても，インターネットなどデジタルメディアも駆使して，防災・減災につながる情報を発信した。

『ナビゲーションスペシャル』「達人が教える！～WITHコロナを生き抜くヒント～」（Ⓖ7.17）など，医療や経済・教育など，新型コロナウイルス感染症の影響を多角的に取り上げた。

北陸を中心とした豪雪については，『ナビゲーション』「立往生はなぜ繰り返されるのか～生かされなかった教訓～」（Ⓖ1.29）を放送したほか，各局の地域向け定時ニュース，随時特設ニュースでも警戒を呼びかけた。逆L字やデータ放送，インターネットを活用し，きめ細かな情報提供に努めた。

金沢，福井，富山の北陸３局では，記録的な豪雨による甚大な被害が全国で相次ぐ一方で，コロナ禍での災害避難が課題となる中，北陸の大雨に必要な備えや避難の在り方を考える『届け！防災VOICE～知って備える！北陸の大雨～』（R1 10.4）を放送した。

静岡局では，南海トラフ地震に備えたラジオ特番『BOSAI　ニュージェネレーション！～人を逃がすには　命を守るには～』（R1 8.29）を放送し，地域の学生たちとともに防災啓発に努めた。また，東日本大震災10年を受けて制作した『静岡スペシャル』「東日本大震災10年　命を守る静岡の“決断”」（Ⓖ3.5）では，災害に備えるための必要な情報を発信した。両番組とも，ツイッターと連動し，視聴者との双方向コミュニケーションを図った。

８年目を迎えた平日午後５時台のラジオ第１の東海３県向け生放送番組『夕刊　ゴジらじ』は，地域密着の情報や防災に役立つ情報を発信し，災害時の情報源としての定着を目指した。また，金沢局は『じわもんラジオ』，福井局は『情報たら福　～いこっさ！きこっさ！～』，富山局は『ラジオ富山人』をそれぞれラジオ第１の平日午後５時台で県域放送した。

❷“地域のいま”を伝え，課題に向き合う

地域の景気や雇用，日々の暮らしに影響を与え

る経済の動きなどを『ナビゲーション』(Ⓖ)でタイムリーに伝えた。「コロナショック～雇用をどう守るのか～」(5.15),「コロナショックをどう乗り切るか～経営者たちの選択～」(5.22),「町工場は生き残れるか～めがね産地の苦悩～」(10.16),「繁華街が“住む場所”に！？～コロナで変貌する“夜の街”～」(10.30),「地域の文化財が“おカネ”になる！？」(2.19),「激戦！ドラッグストア～コロナ禍で広がる出店ラッシュ～」(3.12)など幅広い視点で取り上げた。

そのほか,『ナビゲーションスペシャル』「デカセギ物語～日系ブラジル人たちの30年～」(Ⓖ9.4),『BS1スペシャル』「ワタシたちは　ガイジンじゃない！　日系ブラジル人　笑いと涙の30年」(BS1 12.29)など,急速に外国人労働者の受け入れが進むなか,共生のヒントを探った。

さらに,『ナビゲーション』では,地域における医療や介護の問題について「医療崩壊を防げ！～新型コロナ・現場からの報告～」(4.17),「自分の命と“未来の命”～若いがん患者の苦悩と選択～」(7.3),「どうなる？私たちの医療～“コロナ禍”赤字　岐路に立つ病院～」(10.23),「“医療崩壊”命は守れるか」(1.22)などで多角的に伝えたほか,「在宅で見直す親子のSNS利用」(5.29),「“未曾有”の就活～新型コロナに翻弄される学生と企業～」(6.19),「高校球児たちの熱い夏」(7.31),「始まった“部活改革”～誰のために部活はあるのか？～」(11.20),「どん底でも夢を～チアダンス・コロナ禍の青春～」(1.15)など,現代の子どもを取り巻く環境の変化や子育てで直面する課題を見つめ,解決へのヒントを提示した。『ナビゲーション』で取材したテーマは各局の夕方6時台や午前7時台のニュース・情報番組でも伝えるとともに,『ニュースウオッチ9』や『NHKニュース7』『NHKニュース　おはよう日本』『クローズアップ現代＋』など,随時全国にリポート企画として発信した。

また,子どもや子育てをしている人を応援するプロジェクト「＃わたしにできること～未来へ1歩～」を立ち上げ,『ボクらしか知らない　学校のいま』(Ⓖ8.22),『里親を増やそう！』(Ⓖ12.5)といった特集番組や『まるっと！』『夕刊ゴジらじ』といった定時番組内の企画を通じて子どもをめぐる課題や解決に向けて何ができるかを伝えた。

静岡局では,コロナ禍の静岡を見つめ,『静岡スペシャル』「君たちを守りたい～“コロナショック”に挑む経営者～」(Ⓖ6.5),「それでも夢と～“ウィズコロナ時代”スポーツと生きる～」(7.10),「静岡でいま何が…コロナと“ひとり親家庭”」(11.20),『ナビゲーション』「激変！“地方移住”新たな生き方・働き方とは」(9.18),「いま何が？緊急事態宣言“外”の街で」(2.26)などの番組を放送したほか,新型コロナウイルスの地域への影響を多角的に取り上げ,現状の課題について掘り下げるとともに解決策を模索した。

福井局では,『ニュースザウルスSP　乗り切れるか　感染拡大』(Ⓖ4.17)において,新型コロナウイルスの県内の感染拡大が深刻化する中,視聴者の疑問や不安に応える最新情報を伝えた。また,『それでも、この地で～震災10年・原発の町をゆく～』(Ⓖ3.5)では,原発が並ぶ敦賀半島をディレクターが巡り,10年前の福島原発事故で生活が一変しながらもその土地に根ざして暮らす人たちの今を伝えた。

富山局では,地域発の新たな潮流を紹介する「とやま、ここから」キャンペーンの一環として『ニュース　富山人』内で,地域の課題や富山で活躍する人について紹介した。富山県知事選挙にあたり,若者の選挙離れが続いている状況を改善しようと,「若選プロジェクト」を立ち上げ,若手職員が選挙に向き合い,若者目線で投票を呼びかける取り組みを,放送やSNSなどを通じて行った。

津局では,全国ワーストという調査結果があった横断歩道での車の一時停止を改善しようと,『まるっと！みえ』内でシリーズ「横断歩道が危ない！」を展開し,横断歩道に関する地域の課題を多角的に伝えた。

❸各地の魅力を全国・世界に向けて発信

3年目となった『金とく』「三宅民夫の東海DIVEスペシャル」(Ⓖ10.9)や,東海地方の懐かしい映像をテーマにクイズを出題する『金とく』「アノコロTV　知らないとは言わせない！」(Ⓖ6.5, 9.11, 3.12),北陸地方の文化・絶景・グルメを紹介する『いしかわ令和プレミアム』「おもてなし北陸」(Ⓖ5.8, 7.10, 10.9, 2.5)など各地域の魅力を県域放送とあわせて,『にっぽんぐるり』(Ⓖ9.28～『NHK地域局発』)で全国にも発信した。

また『ショートストーリーズ』(Ⓖ)は,地域に根ざし懸命に生きる人々のドラマを丹念に描いた。「＃24　山里のギター職人～富山　五箇山～」(8.29),「＃25　僕が見たふるさとの景色～静岡　浜松～」(9.5),「＃26　照子さんの終活と就活」(10.3),「＃27　いのち輝く“出張ヘアカ

ット”～富山　南砺市～」（12.19），「＃28　手をつなぐアーティスト」（3.7）の５本をブロック放送した。

第８シリーズとなった「中部ネイチャーシリーズ」は，中部各地の身近な自然の魅力を，歴史や暮らしとの関わりをテーマに４Ｋカメラで撮影し放送した。自然を巧みに利用して技を磨いた忍者の歴史に迫った『金とく』「中部ネイチャーシリーズ」（Ⓖ）の「伊賀と甲賀　忍者を生んだ山野」（10.23），雄大な奥三河の自然に脈々と続く人々の歴史を見つめた「愛知・奥三河　戦国武将が駆けた山」（10.30），地元在住の画家が恵那山の魅力を再発見した「岐阜・恵那山　ふるさとの山を描く」（11.13），土砂を止めようと挑戦し続けてきた人々の歴史と立山カルデラの全容を見つめた「立山カルデラ　崩れる大地に挑む」（11.20）を放送した。全編で字幕放送を実施した。また，シリーズは『躍動する大自然　奇跡の絶景ストーリー』というタイトルでBS４ＫとBS1でも放送した。

そのほか，『金とく』（Ⓖ）では，働き盛りの男性のライフスタイルの大きな変化や悩みを取り上げ，解決のヒントを探った「働き盛りの“メンズクライシス”」（4.10），さまざまな職業の社会人２年目のリアルを描いた「2222　社会人２年目リアル」（12.4），性について真剣に向き合う若者たちを取り上げた「？性のアタリマエ？」（2.5），新型コロナウイルス感染症に翻弄されながら夢を追い続けた愛知工業大学名電高等学校・吹奏楽部の１年に迫った「そして、音が生まれる」（3.5）など幅広いテーマの番組を放送した。

18年に乳がんの告知を受けた矢方美紀さんの２年間の軌跡を“自撮り”の映像日記とともに追った『BS1スペシャル』「乳がんダイアリー　矢方美紀　2020　夢をあきらめたくない」（BS1 8.9），全国の各放送局が制作した地域放送番組を紹介し，タレントが突っ込みを入れながら「ローカル番組」の新しい楽しみ方を紹介する『ロックン★ローカル』の第２弾（Ⓖ8.21），世界で唯一その工場でしか作れない製品やその職人にのみ受け継がれた技術に草彅剛さんが迫る『レギュラー番組への道』「最後の○○～日本のレッドデータ～」（BSP 6.26，7.3）を制作し全国に向けて放送した。また，全国向け定時番組『世界はほしいモノにあふれてる～旅するバイヤー　極上リスト～』（Ⓖ）の年間３本を名古屋拠点局（以下，名古屋局）が制作した。

金沢局は，『ドキュメント72時間』「石川　なぎさドライブウェイ　思い出の砂浜で」（Ⓖ9.4）で波打ち際を車で走れる国内でも珍しい砂浜の道路「なぎさドライブウェイ」を舞台に，この不思議な砂浜を訪れる人々を描いた。

静岡局では，20年２月に放送した『静岡スペシャル』「走る女」が英語化され，21年１月に国際放送NHKワールド JAPAN『Hometown Stories』に展開した。

福井局では福井県出身の絵本作家・かこさとしさんの作品を，福井局アナウンサーが読み聞かせした「子どもたちへ　物語のプレゼント」（Ⓔ4.15），若狭の複雑な海沿いに点在する景勝地・福井県三方五湖で湖とともに暮らす人々を映した『小さな旅』「白髭（ひげ）とわんぱくの湖（うみ）～福井県　三方五湖～」（Ⓖ7.26），57年連続で購入額が全国１位の福井の油揚げの魅力を取り上げた『うまいッ！』「大きさ＆うまさ規格外！油揚げ～福井・越前町～」（Ⓖ9.21），休業要請で苦境に立つ繁華街でバーを経営するママに密着し，シングルマザーの働く場を守ろうと奮闘する姿を伝えた『目撃！にっぽん』「シングルマザーに夢を～肝っ玉ママ奮闘記～」（Ⓖ11.22），同じ県内のライバル銀行同士が提携するなど，コロナ禍で苦境に直面する地域経済・企業を支える存在になるために変革を迫られた地銀の現状を追った『クローズアップ現代＋』「地銀・改革の最前線　従来の常識は通用せずコロナ禍の今こそ」（Ⓖ3.16）などを通し，県内の魅力や課題を全国に発信した。

富山局で20年３月に放送した『富山の宝スペシャル』「富山湾　恵みの海」を英語化し，11月に国際放送NHKワールド JAPANに展開した。

❹視聴者の幅広い関心に応える多彩な番組

漫画を描くために留学した外国人と幽霊との関係をラブコメディーとして描いた『よるドラ』「彼女が成仏できない理由」（全６回，Ⓖ9.12～10.17）や，高校時代同じバスケットボール部でキャプテンを務めた３人の女性が逆境を乗り越え新たな一歩を踏み出す姿を描いた『ドラマ10』「ドリームチーム」（全８回，Ⓖ1.22～3.12）を制作した。

ラジオドラマでは，『FMシアター』「幻想列車」（FM 8.1），「ユーフォリア～わたしの幸福論～」（9.12），「山中センチメンタル・ジャーニー」（10.31），「ワンさんは働き者」（1.16）を制作した。

若者向けの音楽ライブ番組『Uta-Tube』では，名古屋で結成された４人組バンドに密着し，

新型コロナウイルス感染症の影響によるフェスの休止から復活ライブまでを追った『Uta-Tube SPECIAL』「04 Limited Sazabys」（Ⓖ2.6）を時間を拡大して放送した。

また，中部地方の魅力を「デザイン」という切り口で紹介する５分番組『デデデデザインて何？！』（Ⓖ）では，「やってみYO！」「さばえめがねの巻」を制作し，19年度に制作した５本と合わせ随時放送した。

データ放送や双方向機能，マルチ編成，インターネットなど，デジタルメディアの特性を生かした放送サービスを定時番組や特集番組で展開し，情報発信の回路の充実に努めた。『ドラマ10』「ドリームチーム」では，ツイッターを活用し，出演者や番組スタッフの制作舞台裏を紹介した。家で過ごす時間が増えた子どもたちに向け，新美南吉の童話をアナウンサーによる朗読と日本画家・鈴木靖将さんの絵で届ける10分ミニ番組『新美南吉　絵本のおくりもの』を５本制作，同じく朗読と絵本作家・わかやまけんさんの絵で届ける３分ミニ番組『絵本のおくりもの～こぐまちゃんえほんシリーズ～』も５本制作し，放送と合わせてホームページでの動画配信を展開し，多くの視聴者に届ける取り組みを行った。

金沢局では開局90周年を記念して，『いしかわ令和プレミアム』「開局90周年特別番組　いしかわの魅力大放出SP」（Ⓖ10.30）と題して，石川県加賀市出身の料理人，道場六三郎さんをゲストに迎え石川の90年を振り返りながら魅力を再発見する番組を放送。また，『いしかわの宝スペシャル』「人々の思いあふれるいしかわの宝」（Ⓖ10.30）では『かがのとイブニング』内で放送してきた石川県内に残る全国に誇る美しい風景や貴重な文化財を高精細な４Kカメラで撮影した「いしかわの宝」を再構成し，石川県の景色や文化を紹介した。

福井局では，20年度後半から日曜午後１時台に地域放送枠を新設。『掘ろっさ、福井』と題して，県内の話題を取り上げた全国放送番組を県域向けに放送することで露出を高め，地域サービスの充実を図った（『うまいッ！』「大きさ＆うまさ規格外！油揚げ～福井・越前町～」（Ⓖ11.15），『サラメシ』「えちぜん鉄道のアテンダント」（Ⓖ1.24），『Side by Side』「インドネシアの農業起業家を育てる～福井～」（Ⓖ1.31），『永平寺　禅の世界』（Ⓖ2.7））。

富山局では，富山の誇る工芸文化を４Kカメラで撮影した『富山の宝スペシャル』「受け継がれる職人の技」（Ⓖ3.19）を放送したほか，『越中とやまスペシャル』（Ⓖ）として，富山の薬売りの感動秘話「富山の薬売り　300年の秘話」（6.5），コロナ禍の子育てをテーマとした「富山イドバタトーク！～ちょっこし不満　しゃべらんが？～『“コロナ時代”の家事・育児』」（7.10），「学校再開～新型コロナに揺れる教員～」（7.31），「鈴木忠志“ニッポン”を問う」（12.4），18年に富山市で交番が襲撃され警察官と警備員が殺害された事件の判決の内容解説や遺族の思いに迫る「奥田交番襲撃事件　～被告に無期懲役　判決～」（3.5）など多様な視聴者に届ける番組を放送した。

津局では，地元の高校生が三重出身の写真家，浅田政志氏と家族写真撮影に挑む姿に密着した『みえスペシャル』「セルフタイマー　～浅田家と高校生～」（Ⓖ10.9）のほか，「本仮屋ユイカが行く！もっと知りたい伊勢」（10.16），「さよなら、昭和ビル－桑栄メイト最後の夏－」（12.11）を放送した。また，開局80周年を記念し「時空探偵はちおくん　三重の80 年まるっと！振り返るぞぃ」（3.5）を放送した。

❺地元選手の活躍などスポーツ番組の充実

スポーツでは，プロ野球やJリーグ，ラグビートップリーグなど，中継やリポート等で地元のチームを応援した。

スポーツ中継のほかにも，シーズンの開幕を前に「中日ドラゴンズ」の歴史を振り返りながら優勝のヒントを探る『いま☆ドラ』（R1 6.13，3.14），『ナビゲーション』「プロ野球　原石の育て方」（Ⓖ11.13）などを放送し，東海・北陸ゆかりのアスリートたちの思いや素顔に迫った。

静岡局では，サッカーが盛んな地域性を受け，視聴者ニーズに合った放送の拡充をはかり『第100回天皇杯　全日本サッカー選手権大会』「静岡県代表決定戦」（Ⓖ8.30）のほか，平日夜間帯にも２回戦の「ホンダFC」対「常葉大」（Ⓖ9.23）の中継を県域で放送した。

富山局では，大相撲力士の朝乃山について，郷土出身力士として111年ぶりに大関が誕生したことを受けた『越中とやまスペシャル』「祝！大関昇進　朝乃山　いざ頂点へ」（Ⓖ4.10）や富山から世界に挑戦する姿に迫る「若武者よ　世界へ羽ばたけ～車いすバスケ・岩井孝義～」（5.8）を放送したほか，「白球に夢をかけて～密着・もう一つのプロ野球～」（9.11）では，野球のBCリーグ・富山サンダーバーズに所属する選手が，セパ12球団（NPB）の舞台を目指してひたむきに夢を追い続ける様子に迫った。

【2】地域放送番組

❶定時番組

『NHKニュース　おはよう東海』 Ⓖ

月～金　7:45～ 8:00

第１回93.4.5／東海３県ブロック／愛知・岐阜・三重の最新ニュースや気象・交通情報など，お出かけ前に役立つ情報を伝える報道情報番組。リポートや中継は注目のニュースや人，季節の話題を掘り下げるなど，多彩な情報を提供した。／各局タイトル：金沢『おはよう石川』，静岡『おはよう静岡』，福井『おはよう福井』，富山『おはよう富山』

『さらさらサラダ』 Ⓖ

月～金　11:30～12:00

第１回03.4.3／『情報フレッシュ便　さらさらサラダ』（東海３県ブロック）としてスタート／中部ブロック（一部各局単）／中部７県に向けて話題のゲストのスタジオ生トーク，料理・園芸・子育てに関する情報，週末にお薦めの中部７県の行楽情報など，プラザウェーブ21から生放送で届けた。12月25日には年末SP「サラダファミリーとともにクリスマス！」として時間を拡大して放送した。／各局タイトル：静岡『ひる・しず』，津『ちょこっと！みえ』，岐阜『みのひだ情報局』

『まるっと！』 Ⓖ

月～金　18:10～18:59

第１回18.4.2／東海３県ブロック（18:30～18:59は津・岐阜単）／東海３県のきょうが“まるっと”分かるニュース・情報番組。生き生きとした掛け合いやキャスター解説などを交えて，親しみやすく，分かりやすく伝えた。／各局タイトル：津『まるっと！みえ』，岐阜『まるっと！ぎふ』，金沢『かがのとイブニング』，静岡『たっぷり静岡』，福井『ニュースザウルスふくい』，富山『ニュース　富山人』

『ナビゲーション』 Ⓖ

金　19:30～19:55

再 土　9:30～ 9:55

第１回93.4.11／中部ブロック／中部地方の社会問題や注目のトレンドをいち早く，深く，分かりやすく掘り下げ，地域の“気になる”をタイムリーに伝える情報番組。雇用や経済の最新の動きから，南海トラフ巨大地震・津波などの防災，医療，文化まで，視聴者が知りたいテーマをドキュメンタリーと解説者のトークを交え，真相・背景に迫った。

『金とく』 Ⓖ

金　19:30～19:55または　19:56～20:39

再 土　9:30～ 9:55または日13:05～13:48

第１回06.4.7／東海３県ブロックまたは中部ブロック／15年目を迎えた『金とく』は，東海地方や中部地方の自然や文化，歴史などを深く描く企画や，新たな地域の魅力を発掘する企画など，視聴者の「見たい！」「知りたい！」「行ってみたい！」に応える情報を届けた。

『ウイークエンド中部』 Ⓖ

土　7:30～ 8:00

第１回85.4.6／中部ブロック／『ウイークエンド中部』愛称“ういちゅ～”は，最新のニュースのほか，週末を楽しむための情報を届ける情報番組。お出かけ情報や中部７県の朝の表情を伝える生中継，「ういちゅ～の旅」「ゆる山へGO！」「トレンド探偵」など，東海北陸の一押し情報を届けた。

『Uta－Tube』 Ⓖ

土　10:55～11:15

再 水　23:50～ 0:10

第１回12.4.19／中部ブロック／一流アーティストのスタジオライブを中部７県に届ける本格音楽番組。トークコーナーでは，アーティストの素顔も紹介した。19年度からBSプレミアムで随時全国放送も行った。番組ホームページでは，アーティストの情報やフォトギャラリーなどを配信した。

『東海ピックアップ』 Ⓖ

日　8:52～ 8:55（1．9から　土12:40～）

再 日　18:42～18:45（1.17から　日 8:54～）

第１回11.4.9／東海３県ブロック／東海３県向けの広報番組。愛知県，三重県，岐阜県のオススメ番組，イベント情報，取り組みについて，番組ディレクターやアナウンサー，イベント担当者が舞台裏やエピソードを交えて紹介した。

『いしかわ令和プレミアム』 Ⓖ

金　19:30～19:55

再 土　9:30～ 9:55

第１回19.5.17／石川県域／新型コロナウイルスや北陸新幹線５年などの報道系の番組からエンターテインメント系の番組まで。地域の課題に

向き合い地元の情報と魅力を発信する番組。

『ザウルス！今夜も掘らナイト』 Ⓖ

金　19:30〜19:55

再 日　13:05〜13:30

第１回18.4.13／福井県域／福井の眠れる宝を掘り起こすをコンセプトに福井ライフを応援する情報番組。多彩な宝を見つめ，スタジオトークでかみしめる。MCはふくいブランド大使のパトリック・ハーラン（パックン）。

『越中とやまスペシャル』 Ⓖ

金　19:30〜19:55

再 土　9:30〜 9:55

第１回19.4.19／富山県域／富山が抱える課題，魅力的な人々や自然･文化などのさまざまな話題を取り上げ，地域の新たな魅力や情報を発信する番組。

『夕刊　ゴジらじ』 R1

月〜金　17:00〜17:55

第１回13.4.1／東海３県ブロック／暮らしの知恵や知っておきたい防災の知識，注目のイベントなど，地域に密着した情報を厳選して届ける夕方の情報番組。演歌，ポップス，クラシックなど幅広い分野のゲストを招いたトーク＆音楽情報コーナーやアナウンサーによる読み聞かせなどを届けた。第１，３，５週の水曜は『にっぽん列島夕方ラジオ』として全国放送した。

『じわもんラジオ』 R1

金　17:00〜17:55

第１回14.4.11／石川県域／地域密着をテーマに，県内各地の話題やイベント情報を地元の人々からの電話リポート，お出かけ中継などで伝える。普段からラジオに親しんでもらい，“いざというときの安心ラジオ”と思ってもらえるような番組を放送している。

『情報たら福　〜いこっさ！きこっさ！〜』 R1

原則毎月第１金　17:05〜17:55

第１回16.4.8／福井県域／福井県出身のタレント・高橋愛さんと鹿沼憂妃さんをMCに迎え，より身近で耳寄りな福井県密着ラジオ番組を目指した。「会いにいける」をコンセプトに，公開生放送を実施している（20年度は新型コロナウイルス感染拡大のため，公開していない）。

『ラジオ富山人』 R1

金　17:05〜17:55

第１回16.4.1／富山県域／富山県出身のタレント高原兄さんと池端忍さんを交代でゲストに迎え，富山県内の最新情報やイベント，暮らしに役立つアイデアなど，富山に密着した情報を届けた。

❷特集番組

中部ブロック

『金とく』 Ⓖ

金　19:56〜20:39

「中部ネイチャーシリーズ
伊賀と甲賀　忍者を生んだ山野」
名古屋局　10.23

「中部ネイチャーシリーズ
愛知・奥三河　戦国武将が駆けた山」
名古屋局　10.30

「中部ネイチャーシリーズ
岐阜・恵那山　ふるさとの山を描く」
名古屋局　11.13

「中部ネイチャーシリーズ
立山カルデラ　崩れる大地に挑む」
名古屋・富山局　11.20

『ナビゲーションスペシャル』 Ⓖ

「達人が教える！
〜WITHコロナを生き抜くヒント〜」
名古屋局　7.17／19:30〜20:29

「デカセギ物語〜日系ブラジル人たちの30年〜」
名古屋局・静岡局　9. 4／19:30〜20:13

**『ホタルの守り人
〜三重・名張　復活！１万匹の光〜』** Ⓖ
津局　7.17／20:30〜20:40

『ボクらしか知らない　学校のいま』 Ⓖ
名古屋局　8.22／ 9:30〜 9:55

『乳がんダイアリー　矢方美紀　2020』 Ⓖ

「夢をあきらめたくない」
名古屋局　8.29／10:05〜11:04

『さらさらサラダ「ふるさとにエール」スペシャル』 Ⓖ
名古屋局　10.26〜28／11:30〜12:00

『高専ロボコン2020』「東海北陸地区大会」 Ⓖ
名古屋局　11.23／13:05〜13:59

『ゆる山へGO！スペシャル』「2020　秋」 Ⓖ
名古屋局　11.28／ 9:30〜 9:55

『里親を増やそう！』 Ⓖ
名古屋局　12. 5／10:05〜10:48

『さらさらサラダ拡大スペシャル』 Ⓖ

「サラダファミリーとともにクリスマス！」
名古屋局　12.25／11:05〜12:00

『NHKナゴヤニューイヤーコンサート2021』 Ⓖ
「黄金の30年スペシャル」
名古屋局　1.10／13:37〜14:49

『Uta-Tube　SPECIAL』 Ⓖ
「04　Limited　Sazabys」
名古屋局　2. 6／10:55〜11:24

『NHKハグくむコンサート』「愛知県小牧市」 Ⓔ
名古屋局　3.28／13:30〜14:13

東海 3 県ブロック

『金とく』 Ⓖ
金　19:30〜19:55
「働き盛りの“メンズクライシス”」
名古屋局　4.10
「最後の〇〇〜日本のレッドデータ〜」
名古屋局　5. 8
「アノコロTV　知らないとは言わせない！」
名古屋局　6. 5／19:33〜19:58
「アノコロTV　知らないとは言わせない！
第 2 弾」
名古屋局　9.11
「三宅民夫の東海DIVEスペシャル　＃10」
名古屋局　10. 9
「2222　社会人 2 年目リアル」
名古屋局　12. 4
「？性のアタリマエ？」
名古屋局　2. 5
「そして、音が生まれる」
名古屋局　3. 5
「アノコロTVスペシャル　知らないとは言わせない！」
名古屋局　3.12／19:56〜20:39

**『落語でコロナを吹き飛ばせ！
〜“策伝大賞”学生落語日本一に挑む〜』** Ⓖ
名古屋局　3.14／ 8:25〜 8:50

『ド真ん中ジャーナル！』 Ⓖ
名古屋局　3.19／19:57〜20:40

『夕刊　ゴジらじ　つながるラジオ』 R1
名古屋局　4.17／16:05〜16:55

『いま☆ドラ〜今こそ！ドラゴンズとともに〜』 R1
名古屋局　6.13／14:05〜14:55，15:05〜15:55

『いま☆ドラ2021“優勝への提言”』 R1
「歴戦のエース＆レジェンドに聞く」
名古屋局　3.14／13:05〜13:55，14:05〜14:55

北陸ブロック

『北陸スペシャル』 Ⓖ
「魅了する“革新の技”〜第67回　日本伝統工芸展〜」
金沢局　10.16／19:30〜19:55
富山局　10.18／ 4:30〜 4:55
福井局　10.25／ 4:30〜 4:55

『届け！防災VOICE〜知って備える！北陸の大雨〜』 R1
金沢・福井・富山局
10. 4／15:05〜15:55，16:05〜16:55

石川県域

『いしかわ令和プレミアム』 Ⓖ
金　19:30〜19:57
「新型コロナウイルス
石川の暮らしをどう守る？」
4.10
「新型コロナウイルス
緊急事態宣言　私たちにできること」
4.17
「おもてなし北陸　心あったか　伝統の食SP」
5. 8
「おもてなし北陸　アートで魅力発信！SP」
7.10
「おもてなし北陸　地元の食を楽しむ！SP」
10. 9
「国立工芸館が石川にやってくる！
〜あさってオープン！魅力を一足先に
ご紹介！〜」
10.23
「“こころ”で握る〜すし職人・森田一夫〜」
12. 4
「おもてなし北陸　in　石川県　能美市」
2. 5
「石川県の就活生　全力応援スペシャル！」
3. 5／19:30〜20:15
「歴代アナウンサー集まりまっし！
その節はあんやとね」
3. 5／20:15〜20:42

静岡県域

『静岡スペシャル』 Ⓖ
金　19:30〜19:55
「未来を考える少年院」
4.10／19:30〜19:57

「“アフターコロナ”静岡の未来は」
5.29
「君たちを守りたい〜
“コロナショック”に挑む経営者〜」
6. 5
「それでも夢と
〜コロナ時代・スポーツと生きる〜」
7.10
「私たちと“体操”
〜五輪代表候補・芦川うららと 2 人の姉〜」
9.11
「静かな富士山〜“特別な夏”の記録〜」
10. 9
「静岡でいま何が…コロナと“ひとり親家庭”」
11.20
「翠富士　小よく大を制す！
〜大相撲！静岡から10年ぶりの新入幕〜」
1. 8
「おいしく！楽しく！おうち時間
“静岡×ポルトガル”缶詰グルメ」
2. 5
「東日本大震災10年　命を守る静岡の“決断”」
3. 5

『NHK静岡開局90年　静岡にきゅんです　スペシャル』 Ⓖ
3.19／19:30〜20:42

**『BOSAIニュージェネレーション！
〜人を逃がすには 命を守るには〜』** R1
8.29／12:15〜13:00, 13:05〜13:55

福井県域

『ニュースザウルスSP　乗り切れるか　感染拡大』 Ⓖ
4.17／19:30〜19:57

『子どもたちへ　物語のプレゼント』 Ⓖ
「だるまちゃんとうさぎちゃん」
5.20／10:50〜11:00
「だるまちゃんとキジムナちゃん」
5.21／10:50〜11:00
「だるまちゃんとかまどんちゃん」
5.24／13:35〜13:45
「だるまちゃんとにおうちゃん」
5.25／10:50〜11:00
「だるまちゃんとやまんめちゃん」
5.26／10:45〜10:57
「〜だるまちゃんとてんぐちゃん
だるまちゃんとかみなりちゃん」
5.27／10:45〜10:58
「だるまちゃんとだいこくちゃん」
5.28／10:50〜10:59

**『それでも、この地で
〜震災10年・原発の町をゆく〜』** Ⓖ
3. 5／19:30〜19:57

『白川静で“かんじ”る福井』 FM
3.29／18:00〜18:50

『福井発　ラジオ文芸館』 FM
3.30／18:00〜18:50

富山県域

『越中とやまスペシャル』 Ⓖ
金　19:30〜19:55
「祝！大関昇進　朝乃山　いざ頂点へ」
4.10
「若武者よ　世界へ羽ばたけ
〜車いすバスケ・岩井孝義〜」
5. 8
「富山の薬売り　300年の秘話」
6. 5／19:33〜19:58
「富山イドバタトーク！
〜ちょっこし不満　しゃべらんが？〜
『“コロナ時代”の家事・育児』」
7.10／19:30〜20:13
「おもてなし北陸　アートで魅力発信！SP」
7.10／20:13〜20:38
「学校再開〜新型コロナに揺れる教員〜」
7.31／19:33〜19:58
「白球に夢をかけて
〜密着・もう一つのプロ野球〜」
9.11
「おもてなし北陸　地元の食を楽しむ！SP」
10. 9
「おもてなし北陸　心あったか伝統の食SP」
11. 6
「鈴木忠志“ニッポン”を問う」
12. 4／19:30〜20:13
「おもてなし北陸　in　石川県　能美市」
2. 5
「奥田交番襲撃事件
〜被告に無期懲役　判決〜」
3. 5

『富山の宝スペシャル』「受け継がれる職人の技」 Ⓖ
3.19／19:30〜19:55

三重県域

『みえスペシャル』 Ⓖ

「にっぽん百名山
『御在所岳～岩のワンダーランド～』」
9.18／19:30～19:55

「セルフタイマー　～浅田家と高校生～」
10. 9／19:57～20:40

「本仮屋ユイカが行く！もっと知りたい伊勢」
10.16／19:30～19:55

「イッピン『彩り豊かに　使いやすく
～三重　萬古焼～』」
11.13／19:30～19:55

「さよなら、昭和ビルー桑栄メイト最後の夏ー」
12.11／19:30～19:53

「釣りびと万歳『冬が絶品！大物オニカサゴ
を釣り上げろ～田中要次　三重・志摩～』」
1.15／19:30～19:55

「釣りびと万歳『海藻で狙え！
冬の絶品“イガミ”～ホリ　三重・尾鷲へ～』」
2.26／19:33～19:58

「時空探偵はちおくん
三重の80年まるっと！振り返るぞぃ」
3. 5／19:57～20:40

「インタビューここから『伊藤智也』」
3.12／19:30～19:53

『みえDE川柳』 FM
4.24, 5.29, 6.26, 7.31, 8.28, 9.25, 10.30
11.27, 12.25, 1.29, 2.26, 3.26／18:00～18:50

岐阜県域

『ぎふスペシャル』 Ⓖ

「ウィズコロナ時代　学校再開」
6.12／19:30～19:55

「RISING『目指すは、世界一軽々と跳べる義足
～義肢装具士　浜田篤至～』」
6.19／19:30～19:55

「ニッポン印象派『響き光る水』」
8. 7／19:30～19:59

「小さな旅『骨とろくろと雨の花～岐阜和傘～』」
9.18／19:30～19:55

「空から紅葉狩り！生中継　新穂高ロープウェイ」
10.10／10:05～10:50

「イッピン『技を結集して　新たなやきものを
～岐阜　美濃焼～』」
10.16／19:30~19:55

「インタビューここから『伊藤英明』」
12.11／20:00～20:23

「ザ・ディレクソン
『とがれ！“岐阜　地域のミライをバラ色に”』」
2.19／19:57～20:42

「岐阜の誇りをがんばりゃー取り戻せ！」
2.26／19:33～19:58

『笑う岐阜に福来る～第18回全日本学生落語選手権“策伝大賞”～』 Ⓖ
3.13／10:05～10:48

【3】スポーツ中継

❶野球

〔高校野球〕

各県独自高校野球大会

夏季愛知県高校野球大会　決勝　Ⓔ／ 8.10
石川県高等学校野球大会（令和2年度夏季）
準決勝　Ⓖ R1／ 8. 8
決勝　Ⓔ FM／ 8. 9
2020夏季静岡県高等学校野球大会
準々決勝　ⒼⒺ R1／ 8. 1
準決勝　ⒼⒺ R1／ 8. 2
決勝　ⒼⒺ R1 FM／ 8. 2
福井県高等学校野球大会　決勝　ⒼⒺ／ 8. 3
TOYAMA2020高等学校野球大会
決勝　Ⓔ／ 8.11
2020年三重県高校野球夏季大会
決勝　Ⓔ／ 8. 9
2020夏季岐阜県高校野球大会　決勝 ⒼⒺ／ 8. 2

第143回北信越地区高等学校野球各県大会

福井県　決勝　R1／ 9.28
富山県　準決勝　R1／ 9.21
決勝　R1／ 9.26

第143回北信越地区高等学校野球大会

石川県　準決勝　R1／10.17
福井県　準決勝　R1／10.17
決勝　R1／10.18
富山県　準決勝　R1／10.17
決勝　R1／10.18

第73回秋季東海地区高校野球静岡大会

静岡県　決勝　R1／ 9.27

第73回秋季東海地区高校野球大会

（東海３）　準決勝　R1／10.31
決勝　R1／11. 1

〔プロ野球〕

（東海３）
「中日」×「広島」
Ⓖ／ 7.10〈一部マルチ編成〉
「中日」×「DeNA」　R1／ 8.22

「中日」×「DeNA」　Ⓖ／ 8.23
「中日」×「広島」　R1／ 9. 2
「中日」×「阪神」　R1／ 9.18
「中日」×「ヤクルト」　R1／10. 6
「中日」×「巨人」　R1／10.10
「中日」×「DeNA」　R1／11. 5
「中日」×「ヤクルト」
Ⓖ／11. 6〈一部マルチ編成〉
「広島」×「中日」　R1／ 3.26
「中日」×「巨人」　R1／ 3.30

❷サッカー

〔Jリーグ〕

（静岡県域）
「ジュビロ磐田」×「愛媛FC」
Ⓖ／11. 8
「清水エスパルス」×「川崎フロンターレ」
Ⓖ／12. 5

（東海３）
「名古屋グランパス」×「横浜FC」
R1／12.12
「名古屋グランパス」×「サンフレッチェ広島」
Ⓖ／12.19
「アビスパ福岡」×「名古屋グランパス」
Ⓖ／ 2.28〈一部マルチ編成〉

〔天皇杯〕

第100回天皇杯全日本サッカー選手権

静岡県代表決定戦　Ⓖ／ 8.30
岐阜県代表決定戦　Ⓖ／ 8.30
「ホンダFC」×「常葉大」
静岡県域　Ⓖ／ 9.23〈マルチ編成〉

❸その他のスポーツ

〔バスケットボール〕

Bリーグ

「富山グラウジーズ」×「千葉ジェッツ」
富山県域　Ⓖ／ 3. 7〈マルチ編成〉

〔ラグビー〕

トップリーグ

（東海３）
「トヨタ自動車」×「東芝」
Ⓖ／ 2.20〈一部マルチ編成〉
「トヨタ自動車」×「ホンダ」
R1／ 3. 6

〔ハンドボール〕

第45回　日本ハンドボールリーグ　女子

「北國銀行ハニービー」×「大阪ラヴィッツ」
石川県域　Ⓖ／ 2. 6

2 技術

【1】命と暮らしを守る報道への取り組み

新型コロナウイルスの対応では，全国各地の昼のニュースを編集した『列島ニュース』を名古屋から全国に向けて放送した。

名古屋局では，４月７日，アナウンスと合同でラジオ放送のための地震送出訓練を実施した。５月28日には，県内の各自治体と連携したLアラート全国合同訓練に参加した。11月18日，南海トラフ地震を想定した地震送出訓練を静岡局，津局とともに実施，12月９日にはコロナ禍の対策をテーマに机上訓練も行った。21年３月４日，ニュースセンターを使用しライフライン放送のための訓練を実施した。大規模災害に迅速，確実に対応できるよう，毎月，地震送出訓練を実施している。

10月25日に投開票が行われた富山県知事選挙，21年１月24日に投開票が行われた岐阜県知事選挙ではデータ放送やインターネットも駆使して，迅速，正確，丁寧に選挙報道を伝えた。

【2】地域の魅力・課題を発信する取り組み

『ボクらしか知らない　学校のいま』（Ⓖ8.22）の制作では，５人同時にリモート出演ができるシステムを構築し，感染リスクを抑えてコロナ禍の学校の課題について放送した。

８月28日，名古屋テレビ塔のリニューアルに合わせて，テレビ塔天気カメラを設置した。名古屋城や久屋大通り公園など地域の魅力ある映像を発信している。

『プロ野球2020』「中日」対「ヤクルト」（Ⓖ11.6）は，投球軌跡や初速・終速を表示するシステムを駆使したほか，Twitterの投稿なども交えて放送した。

『ETV特集』「円空　仏像に封印された謎」（Ⓔ1.16）を４K-HDRで制作し，中部の魅力を超高精細映像で伝えた。

『NHKのど自慢』（Ⓖ10.25，御殿場市）（Ⓖ11.22，越前市）（Ⓖ3.28，四日市市）や『新・BS日本のうた』（12月３日収録）（BSP12.13，黒部市），（12月17日収録）（BSP1.10，多治見市）を万全の新型コロナ対策で制作した。

コロナ禍において，全国に先駆けて『よるドラ』「彼女が成仏できない理由」（全６回，１話29分，Ⓖ9.12～10.17）でドラマ制作を再開した。また『ドラマ10』「ドリームチーム」（全８回，

1話 44分，Ⓖ1.22～3.12）を制作した。いずれの撮影現場でも，独自に構築したWi-Fiを使ったモニターシステムなどを活用し，分散したモニター環境とすることで，密を回避する新型コロナ対策に取り組んだ。

コロナ禍で多様化する番組制作に対応するため，番組用のインターネット回線を制作スタジオに整備した。

【3】放送・サービス継続への取り組み

600万世帯を超えるエリアをカバーする鍋田ラジオ放送所が南海トラフ地震による津波で機能喪失した場合に備えて，予備ラジオ放送所のための2.8万㎡を超える土地を購入，鉄塔および局舎の建築設計を開始した。

7月6日，大雨の影響により静岡県の中川根FM中継放送所が27時間に及ぶ長時間停電となった。電源復旧のめどがたたず，非常用のFM送信機と空中線設備を近郊の中川根TV中継放送所にあらかじめ設置し電波が途絶えることがないよう取り組んだ。

9月3日14時，本宿テレビ中継放送所に落雷が発生，電源設備が焼損した。雷雨のなか電源ユニットの交換，非常用発電機による電源供給を開始，20時には商用電源からの供給に戻した。

【4】スーパーハイビジョン普及促進の取り組み

4K・8K放送に関する電器店向け技術講習会を20年度は新型コロナに配慮した形で5回行った。

2月27日～3月21日まで，「NHKミュージアムシアター～8Kで巡る世界の至宝～」と題し，福井県立美術館で8Kコンテンツの上映を行った。

3月27日，三重県四日市市の『NHKのど自慢』予選会で4K・8K放送の受信相談を実施，あわせてNHKプラスのPRや予選会映像の時差再生も行った。

大画面8K，22.2chの視聴体験を可能とする最適なスピーカー配置を実現する骨組みを構築し，東京オリンピック，パラリンピックのパブリックビューイングの準備を整えた。

【5】視聴者コミュニケーション活動

9月27日，よさみラジオ予備放送所整備に向け，敷地内に植樹する桜の苗木を生成するイベント「よさみ桜接ぎ木の会」を開催，地元の住民の方々に参加いただいた。

11月10日，ニュースセンターオンライン見学会を豊川市の千両小学校とインターネット回線を結んで実施した。

放送設備の仕組みを体験，学んでもらうための小学校への出前授業をリモートで実施した（1月12日 弥富市大藤小学校，2月9日 豊田市中金小学校）。

【6】放送設備の整備

・ニュース番組の音質がより聞き取りやすくなるよう名古屋ニュースセンター音声設備の追加機能整備を実施した。
・13年間使用した豊橋支局のニュースカーを更新した。取材伝送をIP伝送とすることでFPU用ポールが無くなり，機動性が向上した。
・老朽化した豊橋支局伝送設備を更新した。工事作業者の新型コロナ対策に配慮し，主要な機器を入れ替え，運用性を向上させた。

名古屋拠点局
・瀬戸TV基幹局送信鉄塔塗装工事（1年目）

金沢局
・小型中継車の更新
・輪島門前FM補完中継局の置局（AM強じん化のためのFM新規置局）

静岡局
・局外ロボットカメラの更新（下田）
・日本平基幹局テレビ送信機の更新

福井局
・会館受配電装置の更新
・大野TV中継局送信機の更新

富山局
・局外ロボットカメラの更新（五箇山）
・大山小見TV中継局送信機の更新

津局
・ニュース送出設備の更新
・尾鷲R中継局放送機の更新

岐阜局
・ニュース送出設備の更新
・上加納FM基幹局固定回線設備の更新

3 視聴者対応

【1】広報

❶番組等の広報

中部地方を舞台にした番組を，各局がさまざま工夫を凝らして展開し，地元での話題作りや周知につなげた。

名古屋局では，広報番組『東海ピックアップ』（Ⓖ）を毎週制作し，東海3県の放送局の番組

や取り組みを紹介した。ドラマをはじめとする番組は，地元や在京マスコミ，ウェブメディアに向けてきめ細かく広報するとともに，放送，ホームページ，印刷物，展示会などで多彩に展開した。新型コロナウイルスの影響でさまざまな制約が生じるなか，感染防止対策として，リモート取材や密にならない取材対応，SNSの活用など新たな手法も活用した。『よるドラ』「彼女が成仏できない理由」（全６回，１話 29分，Ⓖ9.12～10.17）や『ドラマ10』「ドリームチーム」（全８回，１話 44分，Ⓖ1.22～3.12），そして中部域内向け番組『金とく』「中部ネイチャーシリーズ」（全４回，Ⓖ10.23ほか）ではウェブ・SNSを活用し，さまざまな層に向けて効果的に情報を発信した。「ワタシたちは　ガイジンじゃない！　日系ブラジル人　笑いと涙の30年」（BS1 12.29ほか）では，広報の取材による記事の配信，リモート試写などを実施した。愛知県が舞台の一部となった『連続テレビ小説』「エール」では，自治体と連携して広報展開し，ロケ地で「番組展」を実施するなどした（4.7～12，5.26～6.23，豊橋市）。

金沢局では，開局90周年記念事業として，ロゴやポスターを制作し，会館ウインドーを活用した広報や市内バス広告，ホームページ展開を行い，多面的な広報を実施した。

静岡局では，『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」の放送に合わせ，静岡駅地下での全国巡回展の開催を計画したがコロナ禍により縮小となり，巨大パネルのみを展示した（11.6～11）。『大河ドラマ』「青天を衝（つ）け」の放送に合わせ，ゲストや専門家を招いたトークショーを静岡市内で開催した（3.28）。

福井局では，『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」の放送に合わせ，10月から１月までの４か月間，『ニュースザウルスふくい』の中で，「麒麟がくるが福井にきた」と題し，前週のダイジェストや福井ゆかりの出演者のインタビューを放送した。また，その動画をホームページや公式Twitterでも公開するなど，県内に広く展開した。

富山局では，22年夏の新会館オープンに向け，富山の魅力を詰め込んだ新キャラクター「きとっピ」を開発。富山市内を走る路面電車へのラッピング広告を実施した（3.1～31）。また，県内各所の郵便局の窓口モニターに放送受信料契約に関した電子広告を掲載するなど，多面的な広報事業を展開した。

岐阜局では『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」の放送終了に近い時期に再度交通広告へのメインビジュアル掲載を実施した（12.7～21）。

❷視聴者ふれあい活動

名古屋局の見学施設「放送体験スタジオ　わくわく」は，新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し，展示項目を大幅に制限して開館した。クロマキー体験ができるバーチャルスタジオや『おかあさんといっしょ』のアトラクション，BS４K・８K放送の展示などでお楽しみいただいた。19年度２月からの休館で６月からの運用となり，来場者は約１万3,000人だった。局玄関前のスペース「プラザウェーブ21」では，「ぼくの絵わたしの絵展」（10.20～26），「大河ドラマ『麒麟がくる』番組パネル展」（12.8～25）などを，感染防止対策を講じて開催した。

金沢局では，「８Kツアーin石川県加賀市」（10.8～18／除く10.10,14）を実施し，８Kの普及活動に努めた。また，開局90周年記念の会館イベント「NHKかなざわPARK」（10.31～11.1）では，「道場六三郎トークショー」「金沢局アナウンサー・キャスター大集合」のトークイベント，地域の映像を使用した「４K VR体感コーナー」「気象キャスター体験」などを実施し，98人が来場した。

静岡局では，『NHKのど自慢』（10.25，御殿場市）を皮切りにイベントを再開し，「ぼくの絵わたしの絵展」（10.13～18）に177人，「大河ドラマ全国巡回展」（11.6～11）に930人，「2020 NHK杯フィギュア」受信公開（11.27～29）に16人が来場した。

福井局では『NHKのど自慢』の予選会（11.21／本選，22，越前市）に合わせて時差再生を行い，コロナ禍で制限ある中であったが，のど自慢の舞台を最大限堪能してもらうように努めた。また，３月には福井駅前プラネタリウムで「ドームシアターで楽しむ！福井の自然美～秋・冬～」を実施（3.5～7）。360度カメラの臨場感ある映像をドームシアターのスクリーンに映し出し，大迫力の映像で福井の豊かな自然の魅力を体感してもらうことで，『ニュースザウルスふくい』のPRにつなげた。

富山局では，新型コロナウイルス感染拡大防止のため，４K８Kシアター，NHKアーカイブスライブラリー等の会館公開を中止した（4.17～）。

岐阜局では「ザ・ディレクソン」に参加し，地域活性への意欲を持った地元の方々とともに岐阜の魅力について議論しそのもようを番組化し放送した（『ぎふスペシャル』「ザ・ディレクソン『とがれ！“岐阜 地域のミライをバラ色に”』」（Ⓖ2.19），「岐阜の誇りをがんばりゃー取り戻せ！」（Ⓖ2.26））。

【2】イベント事業

中部ブロックでは，新型コロナウイルス感染拡大の影響で，例年実施している多くの公開番組や子ども・青少年，教育・教養，美術，音楽，スポーツなど，さまざまな分野・対象のイベントが中止を余儀なくされたが，秋以降，感染防止対策を徹底しながら一部再開し，公共放送の理解促進と地域の活性化・文化振興に努めた。イベントには約10万9,000人が参加した。

❶公開番組

『NHKのど自慢』（10.25，御殿場市／11.22，越前市／3.28，四日市市），『新・BS日本のうた』（12.3，黒部市／12.17，多治見市），『民謡魂ふるさとの唄』（11.1，小牧市）など例年実施している番組に加え，ファミリー向け公開番組の「みいつけた！ステージでショー」（12.13，尾張旭市）など中部で９本の全国放送公開番組を実施した。

❷公共放送ならではのイベント・キャンペーン

名古屋局では，子どもや子育て世代を応援するキャンペーンとして「＃わたしにできること～未来へ１歩」など，公共放送ならではのキャンペーン・イベントを展開し，「NHKハグくむコンサート」（3.13，小牧市）を実施した。福祉イベントでは，「NHKハート展2020」（2.6～14，日進市）を開催した。

福井局では，チアダンスの強豪・県立福井商業高校JETSと連携し，「コロナ禍でも前を向こう」という福井県民の皆さんを元気づける「チアアップふくいプロジェクト」を10月に発足。３月にはミニ番組を11本制作し，放送やホームページで広く発信した。

富山局では，地域が抱える課題や，ふるさと富山で活躍する人々などを幅広く取り上げ，より良い未来を探っていくことをテーマに「とやま、ここから」キャンペーンを展開した。

❸子ども・青少年イベント

「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト東海北陸地区大会」（10.25）を初めてオンラインで実施した。また，ファミリーで楽しめるステージショーとして，「おかあさんといっしょ宅配便『ガラピコぷ～小劇場』」を中部各地で実施した。

名古屋局では，「NHKパパママフェスティバル」（10.31～11.1，名古屋市）を実施した。

❹教育・教養イベント

教育イベントでは「プログラミング教育」が重要視される新学習指導要領が20年から小学校で全面実施されたことに合わせて，「『Why！？プログラミング』謎解きワークショップ」（1.24，名古屋市）を実施した。

また教養イベントでは，「NHK文化セミナー」として『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」（9.18，岐阜市／10.4，福井市）をテーマに実施した。

福井局では，福井市出身で漢字研究の第一人者・白川静博士の生誕110年を記念して「白川静で“かんじ”る 福井」（3.14）を実施。博士の功績を通して，古代文字・漢字に触れ，特に若年層の漢字への興味や学習意欲の増進を図った。

❺美術展・展覧会

「The 備前−土と炎から生まれる造形美−」（8.8～9.27，瀬戸市），「NHK大河ドラマ特別展『麒麟がくる』」（9.18～11.3，岐阜市），「第67回日本伝統工芸展」（9.30～10.5，名古屋市／10.23～11.3，金沢市），「御大典記念　特別展　よみがえる正倉院宝物−再現模造にみる天平の技−」（10.3～11.23，名古屋市），「デザインあ展」（1.5～3.14，豊田市）を開催した。

福井局では，県立美術館で「NHKミュージアムシアター～８Kで巡る世界の至宝～」（2.27～3.21）を開催した。

❻音楽イベント

「オーケストラでつなぐ希望のシンフォニー」（11.14，名古屋市）を実施した。

❼スポーツイベント

名古屋局では，地域スポーツの振興などを目的に「Nスポ！in NAGOYA」（3.20～21，名古屋局PW21，オアシス21）を開催した。

静岡局では，東京2020オリンピック・パラリンピックで自転車競技の舞台となることから，開局90年記念日の21年３月21日に，BS番組『チャリダー★快汗！サイクルクリニック』の出演者と地元チームの選手を招いたトークショーを実施した。

❽その他のイベント

福井局では，「ぼくの絵わたしの絵展～第79回全国教育美術展～」（9.26～10.4），「大河ドラマ『麒麟がくる』全国巡回展」（9.17～22）をいずれも福井局ロビーで開催した。

富山局では，入館者にサーモグラフィーカメラによる検温や手指の消毒に協力してもらう等の感染対策のもと，「ぼくの絵わたしの絵展～第79回全国教育美術展～」（10.19～23）を富山局ロビーにて開催した。

津局では，「ぼくの絵わたしの絵展～第79回全

国教育美術展～」（9.29～10.11）を津局ロビーにて開催した。

【3】営業

20年度は，18～20年度NHK経営計画の３年目であり，５つの重点方針の一つである「みなさまの期待に応える取り組みを進め，受信料の公平負担を徹底」を一層推進し，支払率と衛星契約割合のさらなる向上を目指した。10月には地上契約と衛星契約の2.5％の値下げを実施するなど，理解促進活動を積極的に展開した。新型コロナウイルスの影響を受け，訪問活動が大きく制限される中，中部ブロックにおいては，DM投かんによる営業活動に取り組み，契約・収納業務の安定化を図った。

20年度末の放送受信契約件数は，20年度当初654万3,000件に対して，５万4,000件の減少となり，648万9,000件となった。また，衛星契約件数においても，20年度当初338万4,000件に対して，1,000件の減少となり，338万3,000件となった。事業所契約活動では，新型コロナウイルスによる大型宿泊事業者の廃業の影響などにより，9,000件の減少となった。営業活動の構造改革に向け，ケーブルテレビ事業者，不動産会社，特約店型法人委託，電力事業者，日本郵便との連携強化を図り，「訪問によらない」取次数を確保することができた。

20年度，民事関連手続きにおいては，簡易裁判所への支払い督促の申し立てを実施し，公平負担の徹底に努めた。

近　畿

1 放送

【1】放送の概要

❶新型コロナウイルスに関する対応

緊急事態宣言が発出された４月７日以降，L字放送を45日間，ライフライン放送を延べ41日間総合テレビで放送し，感染状況や関連ニュース，生活に関わる情報を伝えた。また関西の新型コロナウイルス特設サイトのQRコードを適宜表示し，視聴者にきめ細かい情報を発信した。

報道番組『かんさい熱視線』（Ⓖ）では，「感染者急増の衝撃　関西はどう立ち向かうか」（4.3），「緊急事態宣言　私たちの生活は」（4.10），「“コロナ”と戦う」（4.24），「新型肺炎　緊急事態宣言・延長　危機をどう乗り越える?」（5.8），「コロナショック　どん底の観光業～復活への道筋は～」（5.15），「緊急事態宣言“解除”　暮らしをどう取り戻す」（5.22），「新型コロナ　暮らしの疑問に答えます」（6.5），「新型コロナ　第２波にどう備える？」（6.12），「苦境に立つ関西の“ものづくり”～コロナショック　新たな危機～」（7.3），「ウィズ・コロナ　新たなエンタメを創れ」（7.10），「コロナに負けへんで～密着・ミナミ“異例の夏”～」（9.4），「新型コロナ×インフルエンザ　同時流行にどう備える?」（9.25），「コロナで広がる“見えない貧困”～収入激減　子育て世代で何が～」（10.9），「取り残される大学生～コロナ時代　大学の存在意義とは？～」（10.16），「緊急報告　“第３波”　最前線でいま何が？」（12.3），「急拡大するコロナ感染　医療・経済　いま何が必要か」（1.8），「緊急事態宣言再び　いま必要なことは」（1.15），「“支援が受けられない”～コロナ１年　生活困窮に陥る人たち～」（1.29）で発信した。

また『クローズアップ現代+』「バッシングから再起“感染の現場”その後　訴え・葛藤と決意」（Ⓖ6.11）の制作に関わった。

『子ども応援！４時間ラジオ～休校明け　つらいみんなへ～』（R1 6.14）では，自粛生活で学校や過ごし方に不安を持つ子どもたちの悩みに出演者が答え，ツイッターと連動しながら生放送で伝えた。第２弾として『子ども応援！５時間ラジオ～短い夏休み明け　つらいみんなへ～』（R1 9.13）も生放送した。

多くのドラマ番組の撮影が中断する中，スマートフォンを駆使した完全リモート制作のドラマ『ホーム・ノット・アローン』（Ⓖ5.18～22）を企画し，１話２分を５日間にわたって関西地区で，完全版10分を関西地区（Ⓖ5.23）と全国（Ⓖ5.31）で放送した。

新型コロナウイルスで会えない家族や友人に，子どもたちが歌で思いを伝える『こどものど自慢 in　関西』（Ⓖ3.13）を関西地区で放送した。NHK放送技術研究所が開発した「空間共有コンテンツ視聴システム」を活用し，遠く離れた親子が共演するバーチャル空間を作り出す“コロナ禍ならでは”の演出を加えた。

❷震災の教訓を伝え，災害に備える番組

阪神・淡路大震災については，全国放送で『NHKスペシャル』「巨大地震と“未治療死”～阪神・淡路から26年　災害医療はいま～」（Ⓖ1.17）を放送した。地域放送では特別番組『いま伝えたい～阪神・淡路大震災から26年』（Ⓖ1.17）を放送し，記憶の継承に取り組む若き担い手たちの活動やコロナ禍におけるボランティアの在り方などを伝えた。また震災１分ミニ番組『あの日を胸に～阪神・淡路大震災26年』を１月に随時放送した。

『かんさい熱視線』「震災26年　いま“復興”を問う～小説家・真山仁が描く阪神・淡路大震災～」（Ⓖ1.22）では，神戸と東北の震災を取材し，次なる震災への備えになる物語を生み出そうとする小説家を追った。

『NHKスペシャル』「新型コロナと水害危機～あなたは命をどう守る～」（Ⓖ6.20）では，コロナ時代の出水期，どうすれば命を守ることができるのか。実践的な備えを最新の知見とともに伝えた。

❸視聴者の信頼に応えるニュース情報番組

夕方６時台の各府県向けの『ニュースほっと関西』（Ⓖ月～金　年間242本）では，午後６時10分から６時30分までは関西一円のニュースやスポーツ情報を伝えるブロック県域位の時間帯，６時30分以後は域内の各放送局から地域のニュースを伝える府県県域放送の時間帯とした。各府県県域放送では，大阪拠点局（以下，大阪局）は『ニュースほっと関西』，各局は『ニュース630　京いちにち』（京都），『Live Love ひょうご』（神戸），『ギュギュっと和歌山』（和歌山），『ならナビ』（奈良），『おうみ発630』（大津）をそれぞれ放送した。

政令指定都市の大阪市を廃止して４つの特別区に再編する，いわゆる「大阪都構想」の賛否を問う住民投票（10月12日告示，11月１日投票日）が実施され，開票速報については，近畿ブロックで，総合テレビ１時間７分，ラジオでは２時間53分放送した。『かんさい熱視線』では「賛成？反対？“大阪都構想”を問う」（9.18），「迫る住民投票　徹底討論　大阪の未来は」（10.23）で，各党の幹部が生出演し激論を交わした。

❹地域の“知りたい”に応え，分かりやすく伝える番組

金曜午後７時30分からの報道番組『かんさい熱視線』（Ⓖ年間35本）では，新型コロナウイルス関連だけでなく関西の視聴者が関心を持つさまざまな事象や注目すべきニュースを素早く深く掘り下げながら，関西の“今”を伝えた。「女性に増えるアルコール依存症」（5.29）ではアルコール依存症患者の実情を取材し，アルコールの問題を抱える女性が増える時代背景に迫った。「増え続ける“湯かん”～家族に寄り添う　最後の時間～」（6.19）では，葬儀の前に故人を入浴させ，洗浄を施す「湯かん」と呼ばれる儀式を通して現代社会の死との向き合い方を見つめた。「なぜ彼女は死を望んだのか～ALS患者　嘱託殺人事件の波紋～」（7.31）では，病気に苦しむ患者が望む安楽死について，法制度とともに考察した。「部落差別はいま～たつの市実態調査から～」（12.4）では，人権意識や生活実態，人権教育などについての報告書をひもとき，当事者の生の声を取材し，差別解消に何が必要なのか見つめた。「不惑の直球　藤川球児～引退決断・300日の舞台裏～」（11.13）では，関西で人気が高い藤川球児投手に300日間密着取材し，知られざる苦闘の日々を追った。「“生きる教育”で心はぐくむ～大阪・生野南小学校　４か月の記録」（2.5）では，校内暴力が激減し，学力も著しく向上した小学校の実践に密着した。「子どもたちの目が危ない　身近な“近視対策”教えます」（2.12）では，子どもたちの視力低下が新型コロナ休校前後でさらに加速している実態と身近にできる対策を検証した。「見過ごされる“摂食障害”～当事者たちの告白～」（3.12）では，食行動に異常をきたす摂食障害について，誤解や偏見の陰で病状を明かせず苦悩してきた当事者たちの覚悟の告白を伝えた。

❺地域の活性化に貢献する番組

水曜午後８時15分から近畿ブロックで放送した旅番組『えぇトコ』（Ⓖ年間33本）は，関西各地や隣接各県に暮らす人々と旅人とのふれあいを通して，その土地に暮らす人々の思いや地域の魅力を描き，「ウィズ・コロナ」の旅の楽しみ方も

提示した。

地域経済番組『ルソンの壺』（Ⓖ年間10本）は，月１回・39分の放送を継続し，関西企業の強みや魅力，企業哲学や発想の極意を多角的に紹介した。「コロナに負けない！（１）関西企業の取り組み」（5.31），「コロナに負けない！（２）ウィズ・コロナでビジネスの芽を探る」（7.5）では，コロナ禍の厳しい状況を打破しようとする企業を紹介した。

『歴史秘話ヒストリア』（Ⓖ）は，12年目を迎えた歴史番組として，歴史上の人間ドラマや感動秘話を幅広く取り上げてきた。『連続テレビ小説』「エール」でも話題を呼んだ「古関裕而」から「ペストと人の戦い」といった時事に関する内容など，幅広く知的好奇心を満たす内容を放送した。

『鉄オタ選手権～JR西日本の陣～』（Ⓖ11.20）では，ふだん入ることができない大阪駅の地下通路や京都鉄道博物館のSLや新快速を紹介した。また，ふだんは見られない工場の中に潜入する工場バラエティー『中川工場』「製造番号02」（Ⓖ3.12）では堺市に工場がある日立造船の掘進機や津波を防ぐ大型構造物について，溶接など受け継がれる職人技とともに放送した。

『連続テレビ小説』「おちょやん」では，放送開始に向けた特集番組として，『もうすぐ！連続テレビ小説「おちょやん」』（Ⓖ11.20）を関西地域で放送。同番組は，11月23日に総合テレビで全国に向けても放送した。

新型コロナの影響でスポーツイベントが軒並み中止。夏の「第102回全国高校野球選手権大会」も中止となったが高野連が独自に「第92回選抜高校野球」の代表校を甲子園に招いて『2020年甲子園高校野球交流試合』（ⒼⒺR1 8.10～12，15～17）が開催された。総合テレビ・教育テレビ合わせて全16試合を生中継で伝えた。新型コロナ対策の消毒作業のため東京に副調を設け試合後のインタビューを別回線で送り対応時間を捻出した。勝ち上がりを決める大会ではないこと，選手が甲子園の土を踏む感動を伝えるため試合前のノックを中継。また各出場校への応援メッセージを作画装置で送出した。関西府県も夏の予選に代わる高校野球独自大会を開催。21年３月19日からは「第93回選抜高校野球」が開幕。観客の入場制限や応援の吹奏楽をスピーカーから流すなど新型コロナ対策が施された大会となった。BS４Kでは決勝を放送した。

また，『第75回甲子園ボウル』「関西学院大」対「日本大」（BS1 12.13）などのアマチュアスポーツを伝えた。ロードレースは，『女子第32回・男子第71回　全国高校駅伝』（Ⓖ R1 12.20），『第76回びわ湖毎日マラソン』（Ⓖ R1 2.28）を放送。マラソン日本新記録誕生の瞬間を中継した。インターネットへのサービス展開として16年度から開始したホームページで，事前に解説者のコメントや取材動画などで盛り上げ，当日は競技速報に加え，ハイライト動画などレースに関連した動画クリップを公開した。このほか，競馬の『競馬2020』「第81回菊花賞」（Ⓖ10.25）などを中継した。

中継を予定していて中止となった大会は，「全日本学生柔道体重別団体優勝大会」「第39回都道府県対抗全国女子駅伝」「第26回都道府県対抗全国男子駅伝」「第65回全国高校軟式野球選手権大会」「第49回関西学生サッカー選手権」「大相撲春場所」（国技館で開催）である。

❻地域が誇る多様な魅力を全国・世界へ発信

20回目を迎えた『わが心の大阪メロディー』（Ⓖ10.27）では，NHK大阪ホールをキーステーションに，大阪にまつわる数々の名曲を全国に向けてたっぷりと届けた。

『渋沢栄一inパリ万博』（BSP 2.20）では，『大河ドラマ』「青天を衝（つ）け」の主人公，渋沢栄一が幕府使節団として参加した“1867年パリ万博”の舞台裏を紹介。海外の美術館と大阪局を中継で結び，当時幕府が展示した“金屏風”の撮影も行った。

【2】地域放送番組

❶定時番組

『おはよう関西』　Ⓖ

月～金　7:45～ 8:00

第１回93.4.3／近畿ブロック／毎朝，関西の最新ニュースや気象情報をコンパクトに伝える番組。身近な話題を掘り下げるリポート，桜や紅葉など季節の中継，「元気な中小企業」「アジアの街から」など多彩なテーマのリポートを放送した。

『ウイークエンド関西』　Ⓖ

土　7:30～ 8:00

第１回92.4.11／近畿ブロック／土曜の朝，気になる多彩な情報を伝える番組。各地の魅力を掘り下げる「西日本の旅」をはじめ，関西各地の季節の移り変わりを気象予報士がリポート。鉄道を楽しむコーナー「ノって♪行こう」も人気。新型コロナ関連の独自取材，台風などの災害情報，気になる週末の天気も積極的に伝えた。

『ぐるっと関西　おひるまえ』 Ⓖ

月～金　11:30～11:54

第１回03.4.3／近畿ブロック／関西２府４県の各局を結んで届ける情報番組。今が旬の人物から，文化，芸能，スポーツ，お出かけ情報まで，関西にまつわるさまざまな話題を，関西各局のネットワークを活用しながら情報発信した。

『ニュースほっと関西』 Ⓖ

月～金　18:10～18:59

第１回15.3.30／大阪府域（一部，近畿ブロック）／“「なんでなん？」を「そうなんや！」に”をモットーに，関西の情報・話題を伝えるニュース番組。関西６局の取材力を結集した機動取材班を中心に，その日のニュースを掘り下げて，分かりやすく伝えた。大阪府内向けの午後６時30分からは，「ええやん！」のコーナーを19年度に設け，ユニークな学校・街の自慢・活躍する人・話題のスポット・土地の味などを，毎日，取り上げ，地域の魅力の再発見につなげた。各局タイトル：京都『ニュース630　京いちにち』，神戸『Live　Love　ひょうご』，和歌山『ギュギュっと和歌山』，奈良『ならナビ』，大津『おうみ発630』

『ニュース845』 Ⓖ

月～金　20:45～21:00

第１回96.4.1／大阪府域／関西の１日をコンパクトにまとめたニュース。京都局は『京都ニュース845』，神戸局は『兵庫ニュース845』，奈良局は『なら845』（前期）・『ならナビ845』（後期），大津局は『おうみ845』，和歌山局は『わかやま845』を放送。

『上方落語の会』 Ⓖ

木　15:08～15:50

第１回11.4.24／近畿ブロック／旬の若手の落語家から，ベテラン，重鎮，時には東京からも出演者を迎え，多彩な出演者がとっておきのネタを披露。バラエティー豊かな内容で落語の魅力を届けた。

『かんさい熱視線』 Ⓖ

金　19:30～19:57

第１回08.4.4／近畿ブロック／新型コロナウイルス感染拡大などの社会問題から事件・事故や災害，文化・スポーツ・食まで，関西にまつわるニュースや出来事に素早く反応。さまざまなジャンルの「視聴者が知りたいこと」に応えるため，現場を深く取材するとともに，スタジオに多彩なゲストを招き関西社会の“今”を掘り下げた。

『えぇトコ』 Ⓖ

水　20:15～20:40

第１回12.4.13／近畿ブロック／えぇトコを見つけて関西の魅力をたっぷりと紹介する旅番組。毎回異なるテーマで，関西や近隣地方各地に暮らす人々と旅人とのふれあいを通して，その土地に暮らす人々の思いや地域の魅力を丁寧に描いた。

『ルソンの壺』 Ⓖ

（最終）日　7:45～ 8:24

第１回14.4.27，最終回21.3.21／近畿ブロック／地域向け経済情報番組。これまで伝えてきた企業の「成功のつぼ」や「社長の判断」に加え，新しい価値観やビジネスにつながる「イノベーションの芽」を探る。ベンチャー企業，NPOなども取材対象にビジネスパーソンが興味を持てる関西経済の「今」を伝えた。

『関西ラジオワイド』 R1

月～金　16:05～18:00

第１回00.4.3／近畿ブロック（月曜17時台は全国）／「楽しく聴ける情報満載の安心ラジオ」として，緊急報道と地域密着の生活情報番組を目指した。また，ポエムや川柳の人気コーナーでは，幅広い年代のリスナーとの交流を深めた。

❷主な特集番組

『祈りの夏　～密着 祇園祭1150年～』 Ⓖ

7.18／16:00～16:28

『関西人認定バラエティ　ちゃうんちゃう？』 Ⓖ

8. 7／19:57～20:42

『大阪発ショートドラマ「これっきりサマー」』 Ⓖ

8.17～21／20:42～20:44

『関西モノ神様～たこ焼き～』 Ⓖ

9. 4／19:57～20:42

『浪花から未来へ
ーぼくらが駆け抜けた夏　2020ー』 Ⓖ

9.10／22:30～23:15

『音のかたち　奈良　季節を描くピアノ』 Ⓖ

9.20／ 8:00～ 8:45

『第50回NHK上方漫才コンテスト』 Ⓖ

10.30／19:30～20:42

『未来へGO！　大阪・関西万博後の私たちのくらし』 G
11. 3／18:05〜18:45
『皇室が守り続けた　いのちの美』 G
11. 7／10:05〜10:44
『今井翼が行く「麒麟がくる」京都・丹波ときめき旅』 G
12.13／17:15〜18:00
『なにわDEオカン大感謝祭』 G
12.18／20:00〜20:37
『滋賀は戦国ワンダーランド！』 G
12.26／10:05〜10:44
『いま伝えたい〜阪神・淡路大震災から26年』 G
1.17／18:05〜18:45
『拝啓、どエライ様〜はみ出し人物列伝〜』 G
2.22／22:45〜23:15
『漫才祭り2021』 G
2.26／19:33〜20:45
『中川工場』「製造番号02」 G
3.12／19:57〜20:42
『関西おせっかいハウス〜ほっとけないのよ！あんたの事が〜』 G
3.12／22:45〜23:15
『こどものど自慢 in 関西』 G
3.13／18:05〜18:45
『関西人のカベ』「関西人　味のカベ」 G
3.14／ 7:45〜 8:24
『ノッて♪行こうスペシャル』 G
3.14／ 8:25〜 8:50
『巨大魚＆幻の魚を追え！〜大阪湾の魚を大調査〜』 G
3.17／19:33〜20:18
『関西ツッコミ報道　20－21』 G
3.23／19:30〜20:12
『ナイナイ矢部の知らないやべ〜関西』 G
3.27／22:10〜22:55

❸主な府県域番組

京都局

『京都スペシャル』 G
「感染拡大　府民の暮らしを守るために」
京都府域　4.23／19:30〜20:45
「神とのりおの雨の夏　－祇園祭り1151年－」
京都府域　8.15／18:05〜18:45
「NAGAI〜焼け野原のピンポン〜」
京都府域　12.18／22:45〜23:15
『京の朗読会』 FM
京都府域　12.22／19:30〜21:10

神戸局

『一生に一度の夏！〜きょう開幕　高校野球大会〜』 G
兵庫県域　7.18／10:05〜10:50
『HYOGO＋』 G
「もういっぺん“居場所”つくったる〜神戸・老舗ギョーザ店　新たな出発〜」
兵庫県域　3.19／22:45〜23:12

和歌山局

『紀の国スペシャル』 G
「＃乗り越えよう　和歌山」
和歌山県域　5. 1／20:15〜20:40
「＃乗り越えよう　和歌山　明日への一歩」
和歌山県域　5.29／19:30〜19:55
「俳句王国がゆく『和歌山県・日高川町』」
和歌山県域　11. 6／19:30〜19:57
「アンコール　疾走538段〜熊野・お燈まつり〜」
和歌山県域　2. 6／16:15〜17:10
「心の距離を越えて〜コロナ禍“ひきこもり”たちの職探し〜」
和歌山県域　2.12／19:30〜19:57
「心の距離を越えて〜コロナ禍　人とつながり生き直す〜」
和歌山県域　2.19／19:30〜19:57
『RADIO BOSAI SUMMIT』 FM
「＃ 1」
和歌山県域　4.17／18:00〜18:50
「＃ 2」
和歌山県域　4.24／18:00〜18:50
『ラジオ防災講座①〜⑧』 FM
和歌山県域　（第 1 ）金／18:00〜18:50
※第 8 回（第 2 ）金／18:00〜18:50
『＃乗り越えよう　和歌山〜コロナに負けない！地域の声を結んで〜』 FM
和歌山県域　5.16／14:00〜16:00

奈良局

『ひとモノガタリ』「放浪する僧侶」 G
全中　4.29／18:05〜18:34
『列島スペシャル「よみがえる正倉院宝物〜天平の美と技に迫る〜」』アンコール G
近畿ブロック　7.24／13:05〜14:05

『音のかたち　奈良　季節を描くピアノ』 Ⓖ
奈良県域　8.30／13:05〜13:50
『奈良の人とツクるTV』 Ⓖ
奈良県域　10.16／19:57〜20:42
『物語を、奈良から。』 Ⓖ
「全国に眠る縫製職人をつなげ！」
奈良県域　10.28／20:15〜20:40
『目撃！にっぽん』 Ⓖ
「“空師”〜吉野の山に生かされて〜」
全中　12. 6／ 6:10〜 6:44
『ヒューマン× 2 @かんさい』＃ 4 Ⓖ
「だるまさんの詩× 2 つの人生
〜ハンセン病を生きる〜」
近畿ブロック　2. 8／ 0:35〜 0:50
『奈良スペシャル』
「“空師”特別編」 Ⓖ
奈良県域　2.13／17:15〜17:58
『ハートネットTV　NHKハート展（1）（2）』 Ⓖ
奈良県域　2.20／10:55〜11:54
『日曜美術館』 Ⓔ
「至宝からひもとく天平の祈り〜第72回　正倉院展〜」
全中　11. 1／ 9:00〜 9:45
『音のまほろば〜川上ミネ　ピアノリサイタル〜』 FM
奈良県域　3.29／19:30〜21:15

大津局

『おうみ発スペシャル』 Ⓖ
「サムライ　ウォール」
滋賀県域　6.19／19:30〜19:57
「滋賀のこれからを考えるTV」
滋賀県域　7.10／19:30〜20:29
「滋賀のこれからを考えるTV2」
滋賀県域　12.18／19:30〜20:29
「Journeys in Japan
『近江八幡　琵琶湖の恵みと近江商人の心』」
滋賀県域　2.12／19:30〜19:57
「滋賀のこれからを考えるTV　防災のこれから」
滋賀県域　3.19／19:57〜20:42
『“麒麟（きりん）がくる”まで待ちきれない！明智光秀スペシャル　英雄たちの選択』 Ⓖ
滋賀県域　13:50〜14:49
「信長　大苦戦〜真説　姉川の戦い〜」
7.26
「心理分析　明智光秀
〜なぜ信長を討ったのか？〜」　8.22
『“麒麟（きりん）がくる”まで待ちきれない！あなたも絶対行きたくなる！日本最強の城　明智光秀スペシャル』 Ⓖ
滋賀県域　8. 2／13:50〜14:49
『小さな旅』 Ⓖ
「せせらぎ華やぐ水中花
〜滋賀県　米原市醒井〜」
滋賀県域　再 8.14／17:30〜17:55
『“麒麟（きりん）がくる”まで待ちきれない！明智光秀スペシャル　本能寺の変サミット2020』 Ⓖ
滋賀県域　8.30／13:35〜14:55
『しが！！防災応援ラジオ』 FM
滋賀県域　（第 3 ）金／18:00〜18:50
『防災ラジオ滋賀2021』 FM
「防災川柳グランプリ」
滋賀県域　2.11／13:00〜14:53

【3】スポーツ中継

全国放送では，プロ野球，Jリーグ，Bリーグ，ラグビートップリーグ，甲子園ボウルなどをテレビ・ラジオで中継した。

❶野球

〔高校野球〕

各県独自高校野球大会

（県域放送）

大阪大会	準決勝	ⒼFM／ 8.10
京都大会	準決勝 3 試合	FM／ 7.26
兵庫大会	5 回戦 2 試合	Ⓖ／ 8. 7
和歌山大会	決勝	Ⓖ／ 8. 6
奈良大会	決勝	Ⓖ／ 8. 6
滋賀大会	決勝	Ⓖ／ 8.14

秋季近畿地区高校野球大会

（近畿ブロック）

準決勝		R1／10.31
決勝		R1／11. 1

（県域放送）

京都大会	準決勝 2 試合	FM／10. 3
	決勝・3 位決定戦	FM／10. 4
兵庫大会	準決勝	FM／ 9.27
	決勝・3 位決定戦	FM／10. 3
滋賀大会	準決勝	FM／ 9.27

〔プロ野球〕

（近畿ブロック）

「オリックス」×「楽天」	Ⓖ／ 6.21
「オリックス」×「西武」	Ⓖ／ 8.23
「阪神」×「中日」	Ⓖ／ 8.27
「阪神」×「広島」	Ⓖ／ 9.11

❷サッカー

〔J1リーグ〕

「C大阪」×「G大阪」　Ⓖ／11. 3

❸その他のスポーツ

〔バスケットボール〕

Bリーグ

「滋賀」×「横浜」　滋賀県域　Ⓖ／10.11

「滋賀」×「三河」　滋賀県域　Ⓖ／12. 6

〔ラグビー〕

関西大学ラグビー

「天理大」×「同志社大」

近畿ブロック　Ⓔ／11.29

ラグビートップリーグ

「NTTドコモ」×「パナソニック」

近畿ブロック　Ⓖ／ 3.14

〔アメリカンフットボール〕

全日本大学アメリカンフットボール選手権

西日本代表校決定戦

「関西学院大」×「立命館大」

近畿ブロック　Ⓔ／11.28

2 技術

【1】番組制作

ドラマにおける新たな映像表現やBS４K・BS８Kのコンテンツ制作など，最新の技術を取り入れた質の高い番組を制作し，地域放送サービスの充実，迅速・的確な緊急報道など，視聴者本位の番組制作に取り組んだ。

❶ドラマ番組

『連続テレビ小説』「おちょやん」は，大阪局の『連続テレビ小説』で初めて２K（SDR）／４K（HDR）一体で制作した。和の色彩を際立たせる低・中輝度領域の階調をSDRとHDRで両立させ，人情味あふれる温かな世界とそこで生きるヒロインの強さを表現した。

『よるドラ』「闇魔堂（えんまどう）沙羅の推理奇譚（きたん）」は，コロナ禍でのロケのためモニター系を完全ワイヤレス化し，自由度を高めて効率的な収録を実施した。多種多様なカメラを活用すると共に映像はlog収録して異色のミステリードラマに仕上げた。

『土曜ドラマ』「六畳間のピアノマン」はスーパー35ミリ大判センサーのカメラとレンズフィルターを使用し，演出意図に沿った柔らかなボケ味を生かした温かみのあるルックで制作した。収録システムはドラマロケの基本に忠実なシステム設計とした。

❷一般番組

NHK大阪ホールからの『うたコン』は，無観客で１本，観客入りで１本生放送した。10月の第20回『わが心の大阪メロディー』では，ソーシャルディスタンスを確保しながら観客を招いて公開生放送した。心に残る大阪の名曲をクレーンカメラ２台，ステディカム１台の特機を使い，70回線のマイクと艶やかな照明にムービングライト50台，LEDライト28台を駆使した。『東西笑いの殿堂』の心斎橋角座中継は，路上駐車や繁華街のケーブル敷設が必要なくなるIPリモートプロダクションで制作した。

❸スポーツ中継

「全国高校野球大会」（８月）が新型コロナウイルスの影響で中止になり，『2020年甲子園高校野球交流試合』が開催され，感染防止から現場スタッフの人数，カメラ台数を減らして中継した。『2020NHK杯フィギュア』（11月）は３年ぶりに大阪で開催され国際信号とユニ信号制作を実施した。『全国高校駅伝』（12月）は，伝搬技術を駆使して安定した移動中継を実現した。『びわ湖毎日マラソン』（２月）は，日本新記録をマークするレース展開を多角的に伝え放送した。「都道府県対抗女子駅伝」（１月），「大相撲大阪場所」（３月）は放送に向けて準備してきたが，主催者側の事情で大阪での開催が中止されたため大阪から放送できなかった。

❹地域番組

地域の問題を取り上げた『かんさい熱視線』，関西企業を徹底解剖した『ルソンの壺』はロケ取材とスタジオの構成で制作した。近畿地方を旅人が各地をめぐる紀行番組の『えぇトコ』はロケ中心に制作した。『上方漫才コンテスト』『漫才祭り2021』は，挑戦的なライティングと安定したカメラワーク，聞き取りやすい音声で制作した。『こどものど自慢 in 関西』はNHK大阪ホールで開催できなかったが，遠隔応援システム，ARなどコロナ禍での新たな制作手法でテストトライアルした。

❺スーパーハイビジョン

スーパーハイビジョンの制作では，８K『宝塚歌劇』を22.2ch音響の立体音響で，劇場のSS席にいるような臨場感あふれる独創的なコンテンツとして３組を制作した。８K特集番組『皇室が守り続けた　いのちの美』は，３密を避けて特殊機材を極力使用せずシンプルな撮影スタイルで11作品を７日間で撮りきり，超高精細・HDR広色域映像で記録した。『2020NHK杯フィギュア』（11月）は８Kで生放送した。『クラシック倶楽

部』（11月）はNHK大阪ホールで４K中継車を使用し収録した。『第93回選抜高校野球大会』（21年３～４月）の決勝戦は４K中継車を使って２K放送とは別システムで生放送した。

❻デジタルサービス

コロナ禍における４月の緊急事態宣言発出時には，新型コロナウイルス関西特設ウェブサイトの情報更新作業にあたり，最新情報を発信した。

NHKプラスでは，３月３日に地方向け放送番組の見逃し配信サービスを開始した。地域番組配信設備を整備して『かんさい熱視線』『えぇトコ』『上方落語の会』『ルソンの壺』など，近畿地方で放送された番組を見逃し配信している。

「大阪都構想」の賛否を問う住民投票（11月）では，データ放送でも開票状況を伝えた。

❼緊急報道・選挙報道

コロナ禍において，自治体から出される感染対策情報などを，各府県知事の記者会見をリアルタイムに交えながら，特設ニュースできめ細かく伝えた。公共機関の運行状況や店舗の営業状況など，ライフライン放送として生活情報も発信した。

20年度近畿地方では，大きな自然災害はなかったが，京都アニメーション放火事件容疑者逮捕・京都伏見署移送（５月），兵庫宝塚市ボーガン殺傷事件（６月），大阪高槻市クレーン車倒れ住宅直撃・火災発生（６月）など事件事故に対応した。３月15日未明に最大震度５弱を観測した和歌山北部地震では，大阪局および和歌山局のスタジオから，いち早く全国に向けて状況を伝えた。揺れが大きかった地域からは中継で状況を伝えた。九州北部豪雨災害（７月）では熊本県に応援要員を派遣して災害報道にあたった。

「大阪都構想」の賛否を問う住民投票では，新しい作画システムを導入して，投票終了直後から結果判明まで連続して開票状況を伝えた。大勢判明時は全国へ向けても情報発信した。新型コロナウイルス感染対策のため，票入力端末や状況分析端末など選挙システムを分散配置して放送にあたった。

【2】設備

❶放送網の非常災害対策と安定運用に向けた取り組み

大規模災害に備え，放送網の非常災害対策および機能強化を図った。また，各種設備の高信頼化や更新により放送設備の安定運用に努めた。

①TV基幹局に予備送信空中線を新規整備し（奈良・松尾山），TV中継送信機の２台化・更新を行った（大阪・西能勢）。

②TV基幹局のTV送信機と遠方制御・監視装置を更新し（和歌山・木ノ本），TV中継送信機（京都・比叡山DE，野田川，神戸・北淡垂水，北阪神，竜野，赤穂，和歌山・御坊，那賀），固定回線（京都・野田川，神戸・西宮山口，福崎，竜野，赤穂，栗栖，大津・彦根TV，甲賀）を更新した。

③FM基幹局にてUPS新規整備，自家発電装置の更新と地下タンクの増量整備を行い（大阪・飯盛山），送信空中線を更新した（大津・岩根山）。また，FM中継局送信空中線（京都・福知山，神戸・相生），固定回線（和歌山・新宮TV，奈良・十津川小原，下北山）を更新した。

④R基幹局空中線鉄塔の補修塗装は４か年計画の１年目分を実施した（大阪・美原）。

❷NHK共同受信施設の安定運用に向けた取り組み

20年度は，NHK共同受信施設の老朽化に伴う大規模改修工事（光化）17施設，小規模改修工事（部分補修）９施設を実施した。また，台風で被災した２施設の災害復旧工事を実施した。

このほか，豪雨災害によって損傷した受信点からの引き下ろし同軸ケーブルを光ケーブルに交換する大規模な設備変更工事を実施し，受信波の品質を安定させた（京都１施設）。

❸番組制作・送出設備の整備

番組制作設備は，小型中継車（大阪），映像編集設備・音声編集設備（大阪，京都）を更新し，TVスタジオ照明用昇降装置の重点補修を実施した。

送出設備は京都・神戸・和歌山局のニュース送出設備を更新した。

電源・空調設備は大阪局のUPS直流電源装置の蓄電池，空調監視システムを更新し，吸収式冷温水機３式の補修を実施した。神戸局では１号UPSを更新し，自家発電装置の分解補修整備（京都，神戸）を実施した。また，01年の大阪会館運用開始以来，一度も行っていなかった自家発電装置による給電を停電訓練とともに実施し，BCP対応の強化を図った。

❹災害・緊急報道対応設備の整備

報道設備は，報道用４Kカメラを１式整備（姫路），CSアンテナ設備（会館）・局外ロボットカメラ（難波上，四条大橋）と伝送拠点設備（関西空港）を更新した。

❺放送会館の建て替え

新奈良放送会館の設備整備を19年度から引き続き実施し，９月28日未明に旧会館からの切り替え作業を行い，運用を開始した。新大津放送会館については９月30日に建築工事が竣工し，10月から設備整備を開始，21年４月に切り替え・

運用を開始した。

3 視聴者対応

【1】広報

大阪拠点局

❶経営広報・番組広報

毎月１回（８月を除く〔20年４月，21年１・２月は新型コロナウイルス感染拡大のため中止〕），関西放送記者会加盟17社を対象に局長定例会見を開催し，大阪局や域内各局の番組・イベントなど幅広い事業内容を広報した。

『連続テレビ小説』「おちょやん」（11.30～5.15）を中心に，『よるドラ』「闇魔堂（えんまどう）沙羅の推理奇譚（きたん）」（10.31～12.19），『土曜ドラマ』「六畳間のピアノマン」（2.6～27），『大阪発リモートドラマ』「ホーム・ノット・アローン」（5.18～22，31）など会見・リモート取材会を計14回，リリース計39回，そのほか出演者や制作スタッフ，アナウンサーの個別取材を適宜実施した。

「おちょやん」では，ヒロインが現在の道頓堀界隈にタイムスリップしている写真を大阪ミナミで展示するスピンオフプロジェクトを運営，地域活性化につながる広報活動を展開。公式ホームページからNHKプラスへの誘導を開始した。

大阪局Twitterアカウントでは，番組やイベント情報などに加えて，ステイホームでもホッとする，役に立つ新型コロナウイルス関連の情報発信にも力を入れた。年間フォロワー数も４万5,909と4,000以上増加した。

❷視聴者広報

新型コロナウイルスの影響が見学施設やさまざまなイベントに及んだ。

具体的には，国の緊急事態宣言に伴い，視聴者見学コースの「BKプラザ」は前年度（19年度）２月26日から６月７日まで臨時休館となった。また感染拡大が大阪府の基準を上回り，のちに国が緊急事態宣言を発出したことから12月４日から２月28日までの間も臨時休館となった。「BKプラザ」では再開にあたって，来場者に検温や消毒を徹底するよう依頼するなど感染防止対策を進めたほか，安全に施設を楽しんでもらうため，一部展示を非接触型に切り替えるなどの措置をとった。

このほか，例年「ぼくの絵わたしの絵展」に合わせて開催している「BKなつ祭り」について，秋に「BKもみじ祭り」として開催した。実施にあたっては規模を縮小するとともに感染防止対策を徹底した。また１階アトリウムに設置された８K大型モニターを活用し，高校野球大阪府独自大会６試合（8.9～10）の受信公開を行った。

毎年大阪府内の中学生を対象に秋から冬にかけて実施している「職場体験学習」は，19年度は42校155人が参加したが，感染拡大防止の観点から20年度は実施を見送った。

20年度に大阪局へ寄せられた視聴者意向件数は，電話・手紙・来局・メールなど合わせて９万2,000件余りだった。

京都局

20年度に実施を予定していた計73件の視聴者コミュニケーション活動のうち，新型コロナウイルス感染拡大の影響により39件を中止した。

京都府への緊急事態宣言発出により放送会館も閉館せざるを得ない状況となったが，感染状況が落ち着いた７月20日以降「入館時の手指消毒」「座席の間隔確保の観点から最大16席に設定」するなど感染拡大防止対策を行ったうえで再開，10月１日からは座席数を42席まで増やし運用した。BS８K受信公開も９月以降は月に１回のペースで実施。『コブクロ　オーケストラナイト』『バーンスタインのマーラー　第９番』『AI　20周年記念プレミアム・ゴスペルライブin築地本願寺』などを行った。12月には京都で活躍するジャズミュージシャンを招いての「Christmas Jazz Night@NHK京都」や，京都局制作の全国放送番組『歴史発掘ミステリー　京都　千年蔵』（G 12.29）と連動したイベント「What's 声明（しょうみょう）？ 年末スペシャルライブ」を実施。来場者アンケートによると半数以上が「今回のイベントで初めて８Kプラザに来た」と回答しており，放送会館を活用したイベントが新たな層にリーチしていることが分かった。

このほか，20年度は中止となった「第39回都道府県対抗全国女子駅伝」の代替大会として行われた「京都 女子駅伝・中長距離競技会」に主催として参画したほか，京都もご当地の１つである『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」関連イベントを，ゆかりある自治体と連携し実施した。

神戸局

19年11月にオープンした神戸局１階キッズスペース「トアステキッズの森」。新型コロナウイルス感染拡大防止のためスペースを閉鎖し対面型

の親子イベントも休止となった。子育て世代とつながるための新たなコンテンツとして，５月から県立の大型児童館と連携しミニ番組『おうちでキッズの森』を制作。おうち時間を楽しむため，家庭で簡単にできる工作やおうち遊びのアイデアを紹介した。９月からは新シリーズとして親子の視聴者にリモートで参加してもらう双方向型の番組を制作。コロナ禍でも子育て世代の応援に取り組んだ。

また，コロナ禍に苦しむ地域を応援しようと，１日特定地域の関連番組を編成するキャンペーンを展開。10月に姫路，12月に豊岡を取り上げ，地域の魅力を兵庫県域に発信した。

ホームページでは阪神・淡路大震災26年「いま考え感じる時 コロナと防災」をテーマにサイトを立ち上げた。震災にゆかりのある人たちが語る「あの日を胸に」１分メッセージと防災訓練の様子等を撮影した180°VR映像を掲載。公共メディアとして防災・減災報道を実現した。

和歌山局

大規模な地震，災害において“一人の犠牲者も出さない”ことを目指す「守るプロジェクト」に引き続き重点を置き，防災・減災に関する取り組みをテレビ，ラジオ，インターネット，イベントと多角的に展開した。11月には，県内に住む外国人を対象に地震や台風などの災害から身を守る方法を学ぶイベント「Let's Study BOSAI」を開催。７回目となる今回は，コロナ禍の中，参加者を絞り，密集を回避して実施した。

世界遺産・神倉神社（新宮市）で毎年２月６日に行われる「御燈祭り」が新型コロナの影響で神事のみに縮小されたことを受け，祭りを取り上げた過去の番組に新撮を加え再構成して祭りと同じ２月６日に県単で放送した。SNSを使った情報発信の他，観光協会や県，地元紙に告知の協力をしてもらった結果，新宮市の接触率は県内平均を大幅に上回るなど，地域の視聴者のニーズに応えた。

奈良局

９月，「地域のにぎわいと交流の拠点」として期待される新しいまちに，新会館をオープンした。（9.28）。いつでも220インチの８K大型マルチディスプレーで高精細な映像を体感できるほか，コロナ禍でも非接触で楽しめる「チコちゃんのトリックアート」を制作，常設展示を行った。11月には，新会館から一番近い奈良市立三笠中学校のキャリア教育の授業の講師に奈良局アナウンサーの派遣を行い，若年層に向けたNHKの放送事業への理解促進に努めた。21年２～３月には「NHKハート展」に合わせて，奈良局の独自企画として，県内の障がいのある人が描いた絵を約20点展示する「NHK奈良 ハートフルアート展」を併催した。放送とも連動し，バリアフリー社会への理解を深める機会として，また感性豊かな作品を展示することで来館者サービスにつながるよう取り組んだ（2.20～3.14）。このほかにも，新会館オープン記念イベントの集大成として「NHK奈良特集 音のまほろば～川上ミネ ピアノリサイタル」公開収録を生駒市北コミュニティーセンターISTAはばたきで行った（3.21）。

大津局

20年度の『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」は滋賀にゆかりが深い戦国武将・明智光秀が主人公で県民の期待が大変高く，放送前から県内全域で大きな話題となった。地元局として年度当初より放送やイベントなどさまざまな広報展開を企画し，年間を通して実施した。『おうみ発630』では毎週月曜日に「もっと知りたい！麒麟がくる」コーナーを設け，ドラマがもっと楽しめるポイントを時代考証の小和田哲男先生が解説し，より深くドラマを楽しんでもらった。イベントはコロナ対策を行ったうえで，大津市で，11月に「大河ドラマ巡回展」，12月に「NHK文化セミナー」を開催した。その他，京阪石山坂本線での「ラッピング電車」走行や高速道路の大津・土山サービスエリアでのドラマパネル展示，放送会館外壁ポスター掲出などさまざまな展開を行った。

誕生から２年目を迎えた，大津局キャラクター「びわッピー」は県内の自治体とコラボを行い，なかでも自転車で琵琶湖一周する「ビワイチ」とのコラボは好評で，ホームページでの壁紙掲載やチラシを自治体の窓口に設置してもらうなどした。

また21年度の新会館オープンに向けては視聴者コミュニケーションを強化できる公開スペースにするため，スーパーハイビジョン視聴，VR体験やキッズコーナー等の整備を行っており，広く地域の視聴者に開かれた会館としていく。

【2】イベント事業

20年度，近畿ブロックのイベントは，新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から，多くのイベントが中止または無観客収録となり，80件のイベント実施，25万人を超える視聴者参加となった。イベント開催にあたっては，新型コロナウイルス対策に十分留意した運営方法で入場者数

を制限するなどして来場者の安心・安全に最大限配慮して実施した。また，多くの参集型のイベントが中止となる中で，小学生を対象とした防災教育イベント「NHKデジタル防災サバイバル」(2.8～9，大阪市立大和田小学校）をタブレットを活用したデジタル版としてコロナ禍の中でも実施可能なイベントとして行った。

❶全国放送公開番組

『NHKのど自慢』『うたコン』『新・BS日本のうた』『わが心の大阪メロディー』『上方演芸会』『NHK東西浪曲大会』など，テレビ・ラジオ番組24本を，NHK大阪ホールや近畿各地で実施した。

❷展覧会

新型コロナウイルスの影響で多くの展覧会が中止または会期短縮・変更となる中，「御大典記念特別展　よみがえる正倉院宝物　再現模造に見る天平の技」(7.4～9.6，奈良国立博物館)，「特別展天目－中国黒釉の美」(6.2～11.8，大阪市立東洋陶磁美術館)，「御即位記念　特別展　皇室の名宝」(10.10～11.23，京都国立博物館)，「特別展　埋忠〈UMETADA〉桃山刀剣界の雄」(10.31～12.14，大阪歴史博物館)，「第67回日本伝統工芸展」(10.14～16，京都産業会館ホール北室）などを開催した。

❸教育・子ども，スポーツイベント

例年実施している「第67回NHK杯全国高校放送コンテスト近畿各府県大会」「第37回NHK杯全国中学校放送コンテスト近畿各府県大会」「第87回NHK全国学校音楽コンクール近畿各府県コンクール」および「同近畿ブロックコンクール」は，新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点からすべて中止となった。スポーツイベントとしては，緊急事態宣言が発出されていない期間に，「NHK杯国際フィギュアスケート競技大会」(11.27～29，門真市・東和薬品RACTABドーム）を開催した。

【3】営業

NHK経営計画（18～20年度）の最終年度となる20年度は，新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け，上半期は訪問を中心に営業活動を縮小した。10月以降については，感染予防対策を徹底した上で段階的に活動を再開したが支払い件数を大きく減らす結果となった。

一方で，訪問によらない取次拡大に向け，公益企業，賃貸不動産事業者，ケーブル・ネットワーク事業者などによる企業の取次拡大と，QRコード等を活用したNHKオンラインの「受信料の窓口」からの自主申し出拡大に取り組んだ。

中　国

1 放送

【1】放送の概要

❶新型コロナ・災害ほか大規模報道

4月7日に7都府県を対象に発令された緊急事態宣言が，4月16日には対象地域がすべての都道府県に拡大された。新型コロナウイルスの感染拡大を受け，中国ブロック・県域それぞれで発生状況に関する報道や，感染防止に資する情報提供を行った。特に広島拠点局（以下，広島局）では県の新規感染者数の急増を受けて，ライフライン情報の提供を行った（R1 4.20～5.21）ほか，L字画面で新型コロナウイルス関連情報を伝えた（Ⓖ4.24～5.14）。5月14日に中国地方の緊急事態宣言が解除されたが，その影響は多方面にわたった。『ラウンドちゅうごく』（Ⓖ）で，介護施設で発生したクラスターとその影響を取り上げた「コロナ“介護危機”　休業連鎖からの再出発」(5.29）や，地域経済への深刻な影響を取材した「ドキュメント信用組合～“戦後最悪”コロナ危機の深層～」(7.17）のほか，11月末から再び各地で新規感染者数が急増したことを受け，「新型コロナ“第3波”への備えは」(12.4）や，島根県の高校で発生したクラスターによる影響を取材した「コロナと差別とSNS　～ネット社会の闇とどう向き合う？～」(2.26）をそれぞれ中国ブロック向けに放送した。また各局でも地域の感染状況に応じてその影響や感染防止に資する情報提供に努めたほか，今後の対策や視聴者からの意見等を知事に尋ねる番組やニュース企画を放送した。

春から初夏にかけてほとんどの学校で臨時休校となり，学生や生徒・児童に大きな影響を与えた。高校総体が中止になるなど部活動への影響も深刻だったが，活動の成果を発表する場を設ける試みも行われた。「全国高校野球選手権大会」の中止により各県で開催された夏の代替大会を各局で中継したほか，高校3年生の部活動を追った番組やニュース企画を各局で放送した。また，オンラインで開催された大会に挑んだ学生を追った『目撃！にっぽん』「“幸せのかたち”を探して～高専ロボコン　5か月の記録～」(Ⓖ1.17）を放送したほか，今後の教育の在り方について模索する特集番組『ポストコロナの学校を描け！』(Ⓖ2.11）を中国ブロック向けに放送した。

広範囲に甚大な被害をもたらした令和２年７月豪雨や，九州に非常に強い勢力で接近した台風10号などの気象災害に対し，中国ブロック・県域それぞれで特設ニュースを放送したほか，文字情報（L字画面）も積極的に活用して交通情報などの生活情報も詳しく伝えた。

20年度も防災・減災に資する放送に各局とも取り組んだ。18年７月上旬発災の西日本豪雨から２年となることから，『NHKスペシャル』「豪雨災害　いま何が必要か～命を守る“避難スイッチ”～」（Ⓖ7.12）を放送したのをはじめ，『ラウンドちゅうごく』や，『中国！ちゅーもく！ラジオ』でそれぞれ特集番組を放送した。公共メディアキャンペーン「水害から命を守る」に参加，５月から出水期の７月にかけてニュースや番組，ホームページ，SNS等を通じて防災・減災情報を連日伝えた。

データ放送では，中国ブロックのすべての放送局でLアラートに基づく災害情報の提供が可能になっている。また土砂災害危険度情報については，広島局，岡山局，鳥取局，山口局ではすでに提供を開始，松江局は21年度の開始を目指している。

19年の参議院選挙をめぐり公職選挙法違反の買収の罪に問われ，河井案里参議院議員と夫で元法相の克行衆議院議員が逮捕された事件で，逮捕の翌日に『ラウンドちゅうごく』「緊急特番　河井前法相夫妻逮捕の波紋」（6.19）を放送したほか，事件の背景や地域への影響，裁判の進捗を『お好みワイドひろしま』を中心に連日詳しく伝えてきた。また克行被告から不正な現金を受領したことを認めて三原市長と安芸高田市長が辞職したことに伴う両市長選の開票速報を実施，正確かつきめ細かい報道に万全を期した（Ⓖ R1 8.9）。

❷核・平和関連の取り組み

核兵器の開発，保有，使用を禁じる核兵器禁止条約が１月22日に発効した。核兵器を初めて違法だとする国際条約だが，核保有国をはじめ唯一の戦争被爆国である日本も参加していないなど課題もある。この条約の発効や核兵器廃絶を巡る動きをはじめ，被爆者たちの活動や役割，被爆地・広島の思いについて，ニュースや番組を中心にホームページやSNSで年間を通じて発信した。

20年春に広島局被爆75年キャンペーン「Reality？～知ってるつもり　知らないヒロシマ～」を開始，ニュース情報番組での「被爆者たちの声」「被爆建物」といったシリーズ企画をはじめ，ラジオキャンペーン「手紙（レター）、キミに伝えよう」，ドラマやドキュメンタリーなどのさまざまな番組を通じて被爆体験の若い世代への継承を主眼に取り組んだ。特にSNS連動企画「1945ひろしまタイムライン」では，原爆が投下された1945年に実際に広島で書かれた３人の市民の日記をもとに，当時SNSがあれば彼らは何をつぶやいただろうという視点に基づく企画で，それぞれ10万超のフォロワーを獲得した３つのアカウントを通じて，原爆の悲惨さと核兵器廃絶の願いを幅広い世代に伝えた。番組展開も積極的に行い，企画を開始した４月，原爆が投下された８月，企画終了前の12月にそれぞれ『ラウンドちゅうごく』で取り上げたほか，８月には『あさイチ』や『BS1スペシャル』で企画を全国に紹介した。

７・８月を中心にドキュメンタリー，ドラマ，音楽など多彩な番組を編成し，被爆地・広島の思い，被爆体験の記録と次世代への継承などを伝え，視聴者が改めて被爆や平和について考えるきっかけとした。『NHKスペシャル』「証言と映像でつづる原爆投下・全記録」（8.6）では，アメリカの原爆の開発計画の現場責任者の手記や膨大なアーカイブス映像をもとに原爆投下の全体像に迫った。『被爆75年ラジオ特集』「手紙（レター）、キミに伝えよう」（R1 8.10）では，これまでに被爆者から広島局へ寄せられた被爆体験に関する手紙を高校生が朗読することで，被爆体験や被爆者の思いの継承を模索した。

❸地域放送

金曜午後７時台は，中国ブロック向けには中国地方に共通するさまざまな課題について視聴者の疑問・関心に寄り添って伝える『ラウンドちゅうごく』を放送，テーマによっては各局が主体的に制作した。プロ野球「広島カープ」中継も放送した。10月からは中国地方各県を旅する『松崎しげるとももクロのくろ旅』を放送し，各県の魅力の紹介や地域の人々とのふれあいを描いた。また，各県向けの県域放送番組の充実を図り，地域のさまざまな動向をタイムリーに捉えた番組や，地域の魅力を紹介する番組を放送した。地域の結び付きが強く，互いの県への関心が高い山陰地方の松江局と鳥取局は共同して両県に向けた番組の放送に取り組んだ。

平日午後６時台は，各県域の基幹ニュース番組として地域に密着した情報を提供して視聴者の関心に応えた。「新型コロナウイルス」関連企画や「変貌する岩国基地」など中国地方各県に共通する課題についてシリーズで取材・制作し，それぞれ各県域放送で放送した。岡山局は，西日本豪

雨から２年となる被災地の現状と課題，事前の備えを細かに伝えた。結び付きの強い高松局と，両県の夕方の地域ニュース情報番組の企画を共同制作したほか，取材者が局を行き来し出演するなど連携を深めている。松江局は，外国人労働者問題や戦争をテーマにした企画を伝えたほか，「NHK学校音楽コンクール」の中止を受けて募った合唱動画や，臨時休校中の子どもたちが描いた塗り絵作品を紹介した。鳥取局は，新型コロナウイルスの影響で最後の活躍の場を奪われた高校３年生を応援する「部活エールプロジェクト＃ブカツ2020」をシリーズで放送した。山口局は，防災・若者・くらしの３つのテーマを軸に，コロナ禍における地域の課題やさまざまな取り組みを記者企画や特集コーナーを通じてきめ細かく伝えた。また域内各局はデータ放送を身近に感じてもらうため双方向連動データ放送による気象クイズを定期的に実施した。

❹その他

新型コロナウイルスの感染拡大は番組制作や取材活動へも大きく影響をおよぼした。『NHKのど自慢』『夏季巡回ラジオ体操・みんなの体操会』といった公開派遣番組や「NHK学校音楽コンクール」の中止，『高専ロボコン』のオンライン開催への変更などが生じたほか，国や自治体からの移動自粛要請に伴うロケの見合わせ等に伴う番組制作の中止も相次いだ。一方で，IP伝送網やウェブ会議ツールを使いリモート映像や再撮映像など新たな演出手法を用いた番組制作が行われ，ニュース情報番組では既にこれらの手法が定着している。

19年３月から始まった広島の民放局・広島テレビ放送とのコラボレーション企画を継続，『被爆75年　ヒロシマの記憶を伝える』（Ⓖ11.30）を実施し，被爆建物にまつわるヒロシマの記憶をひもとき被爆体験の継承と核兵器や平和について考える企画を，両局の夕方のニュース情報番組で同時放送した。

岡山局は，21年２月に迎えた開局90年を記念し，『@okayama』で「NHK岡山開局90年記念特別番組　千鳥の節目TV」（Ⓖ4.10）や「地域とともに～NHK岡山放送局　開局90年～」（Ⓖ2.12）を放送。夕方の地域ニュース情報番組『もぎたて！』を「生中継スペシャル」として高梁市（Ⓖ2.2）と瀬戸内市（Ⓖ2.3）から放送するなど，年間を通じて周年事業を展開した。松江局は，ロックバンド「サウシードッグ」の松江市出身のメンバーに密着し母校でのライブや取り巻く人間模様を描いた。また12月に亡くなった津和野町出身の画家，安野光雅の業績を取り上げた過去の放送番組を再編集しアナウンサーの解説を交えて伝えた。鳥取局は，地元・大山で育った競走馬・コントレイルが，史上３頭目となる無敗の三冠を達成するまでの軌跡に密着した番組を，鳥取県域・島根県域のみならず全国放送へ展開。さらに追加取材を行い，放送時間を拡大して中国地方向けに放送した。山口局は，12月にBSプレミアムで「好きが溢れる。山口」キャンペーンを展開し関連番組を集中編成した。在宅時間をテレビ視聴で楽しんでもらうため，73年放送『新日本紀行』や95年放送『NHKスペシャル』など山口県を取り上げた名番組を発掘しアンコール放送した。また「命を守るための防災行動や準備」をテーマに防災１分ミニ『やまぐち防災ワンポイント』を17本制作し，計275回放送した。

各局ともSNSアカウント（Twitter）の運用に力を入れており，広島局（12年３月開設），松江局（12年12月開設），鳥取局（15年３月開設），岡山局（13年２月開設，20年10月再開）に加え，山口局も開局80年を機に21年３月に年内限定で開設した。広島局のフォロワーは21年３月末時点で１万6,000を超え，番組やブログ記事の紹介をはじめ災害時の防災・減災情報の提供も行っている。鳥取局ではニュースのショート動画を発信し好評を得ており，広島局でも同様の取り組みを始めた。

【2】地域放送番組

❶定時番組

『NHKニュース　おはよう○○（県名）』　Ⓖ

月～金　7:45～ 8:00

第１回93.4.5／県域・一部中国ブロック／ニュースやきょうの動き，気象情報に加え，各地の話題や課題などを中継やリポートで伝えるニュース・情報番組。番組前半は県内向け，番組後半は広島から中国地方向けに伝える。

『ひるまえ直送便』　Ⓖ

月～金　11:30～12:00

第１回14.4.2／中国ブロック・一部県域／日々の暮らしに役立つ情報や，地域の魅力を再発見できる話題を伝える情報番組。料理や健康，レジャー情報のほか，視聴者参加の「川柳」コーナーやリポーターが各地を旅し出会った方にエピソードとともに大切にしている思い出の品を紹介してもらう「あなたの大切なモノって何ですか？」など，多彩な内容で放送。

『お好みワイドひろしま』 Ⓖ

月～金　18:10～18:59

第１回84.4.2／広島県域／広島県内のニュースを分かりやすく伝える情報番組。新型コロナウイルスについて，感染状況や地域経済，地域医療への影響など幅広い視点で連日伝えている。被爆75年となりシリーズ「被爆者たちの声」のほか，核兵器廃絶に向けた世界情勢や被爆者の活動から被爆体験の継承まで，さまざまな視点から核兵器や平和を巡る問題について年間を通じて伝えた。広島の民放局・広島テレビ放送の『テレビ派』とのコラボレーション放送を通じて，被爆75年について考える企画を放送した。西日本豪雨から２年，被災地の現状や復興の課題について継続的に伝えた。また，双方向システムを利用した地域紹介コーナー「みっけ！！」や「お天気クイズ・まるてん！」の各コーナーは20年度も引き続き放送した。字幕放送。／各局タイトル：岡山『もぎたて！』，松江『しまねっとNEWS　610』，鳥取『いろ★ドリ』，山口『情報維新！やまぐち』

『ひろしまニュース845』 Ⓖ

月～金　20:45～21:00

第１回96.4.1／広島県域／県内の１日の出来事をコンパクトにまとめて伝えるニュース番組。／各局タイトル：岡山『岡山ニュース845』，松江『しまねっと845』，鳥取『とっとりニュース845』，山口『情報維新！やまぐち845』

『ラウンドちゅうごく』 Ⓖ

金　19:30～19:55

第１回18.4.27／中国ブロック・一部広島県域／年29回／新型コロナウイルスの影響，河井元法相夫妻の逮捕といったタイムリーな話題から，人口減少や高齢化，地域経済の活性化，核廃絶を願う被爆者たちの思いなど中国地方のさまざまな事象を取り上げ，地域のこれからを模索した。

『“テッパン”話仕入れました！広島かたすみ食堂』 Ⓖ

金　19:30～19:55

第１回18.4.13／広島県域／年３回／広島の片隅，ひっそりとした路地裏にある架空の鉄板焼き店“広島かたすみ食堂”を舞台に，地域の“知られざる魅力”に光を当てる情報バラエティー番組。街の片隅で輝く人やモノ，出来事など新定番となりうる話題（テッパン話）を探し出し，広島の“多様”で“リアル”な魅力を伝える。

『@okayama』 Ⓖ

金　19:30～19:55

第１回17.8.1／岡山県域／年16回／岡山発の番組として，地域の課題や身近な話題，地域が求める情報をオールVTRで構成するドキュメンタリーからスタジオ・トークまで多彩な演出を駆使して提供していく。また，全国放送番組も地域向けに改めて放送し，“もう一度見たい”という県内視聴者の要望にも応える。

『さんいんスペシャル』 Ⓖ

金　19:30～19:55

第１回18.4.13／島根県域・鳥取県域／松江局：年13回，鳥取局：年17回／島根，鳥取両県の共通の課題や，山陰地方の豊かな自然や伝統文化，人物など地域の魅力を伝え，視聴者がこの地で暮らす豊かさを実感できる番組。各県特有の課題や話題についても，『さんいんスペシャル』のタイトルで各県域に向けて放送する場合もある。

『Yスペ！』 Ⓖ

金　19:30～19:55

第１回18.4.13／山口県域／年19回／山口の課題や魅力をさまざまな切り口で取り上げ，多彩な演出で幅広く発信する地域情報番組。

『NHK中国地方放送番組審議会』 Ⓖ

随時

第１回97.11.16／中国ブロック／中国地方放送番組審議会の審議内容を伝える番組。

『おはよう中国』 R1

月～金　7:40～ 7:58
土　7:40～ 8:00

第１回89.4.3／中国ブロック／気象・交通など朝に欠かせない情報やニュース，旬の人や時の話題の電話インタビューで構成。

『ひろしま　コイらじ』 R1

月～木　17:05～17:55（大相撲期間を除く）

第１回16.4.4／広島県域／広島で頑張る若者の活動や，「広島カープ」，エンターテインメント情報など地元に根ざした情報を伝える番組。

『中国！ちゅーもく！ラジオ』 R1

金　17:05～17:55（大相撲期間を除く）

第１回16.4.8／中国ブロック／中国地方の各放送局が制作した各地の魅力を伝える番組を，中国

地方全域に向けて生放送する番組。
（主なラインナップ）
「ひろしま　コイらじ」　（広島局）
「おからじ！」　（岡山局）
「まるっと☆しまね」　（松江局）
「やしろ荘でごにょごにょ」　（鳥取局）
「YAMAGUTIC」　（山口局）
「中国地方　戦争・平和インタビュー」　（各局）
「中国地方　人権インタビュー」　（各局）

❷特集番組（核・平和関連番組，新型コロナウイルス関連番組を除く）

中国ブロック

『ラウンドちゅうごく』「西日本豪雨２年　水害と新型コロナから命を守る」 Ⓖ
広島・岡山・山口局　7. 3／19:30〜20:42

『松崎しげるとももクロのくろ旅』 Ⓖ
広島局／19:30〜19:55
「岡山編」　10.16
「島根編」　11. 6
「鳥取編」　1.15
「山口編」　2. 5

『ひるまえ直送便スペシャル』 Ⓖ
「ぶっつけ本番！　極上料理　〜３シェフの挑戦〜」
広島局　11.23／11:05〜11:54

『高専ロボコン2020』「中国地区大会」 Ⓖ
広島局　11.23／13:05〜13:59

『大山が育てた優駿（しゅん）〜コントレイル　伝説への挑戦〜』 Ⓖ
鳥取局　12.26／10:05〜10:50

『おいらは農家　純情ラプソデー』 Ⓖ
岡山局　12.28／18:10〜18:45

『#カープどん底からの復活〜市民球団70年　誕生の原点〜』 Ⓖ
広島局　3.26／22:00〜22:45

『山下健二郎　バイクひとり旅〜絶景230km　長州・石見編〜』 Ⓖ
広島局　3.27／18:05〜18:43

『特集　人情不動産屋の日々〜家探しの現場・１年の記録〜』 Ⓖ
広島局　3.28／ 7:45〜 8:25

『広響コンサート』 FM
「第405回プレミアム定期演奏会」
広島局　12.20／14:00〜16:00
「第400回定期演奏会から」
広島局　3. 7／14:00〜16:00

【県域】

広島拠点局

『NHK広島なび』「○月」（毎月） Ⓖ
「５月」　4.24／20:42〜20:44ほか

『カープ優勝の記録』 Ⓖ
5.31／ 7:45〜 7:53

『プロ野球ドラフト会議直前SP！生放送　みんなのカープ県民大会議』 Ⓖ
10.23／22:45〜23:15，23:40〜 1:00

岡山局

『@okayama』「NHK岡山開局90年記念特別番組　千鳥の節目TV」 Ⓖ
4.10／19:30〜20:42

『ラジオdeもぎたて！』 R1
4. 1／17:05〜17:55ほか計33回

山口局

『熱唱！のど自慢予選会』「長門市」 Ⓖ
3. 6／10:55〜11:54

【3】核・平和関連番組

❶地域番組

中国ブロック

『ラウンドちゅうごく』 Ⓖ
金　19:30〜19:55
「1945ひろしまタイムライン　春〜もし75年前にSNSがあったら？〜」
4. 3
「語りだす被爆建物」
7.31
「1945ひろしまタイムライン夏〜もし75年前にSNSがあったら？〜」
8. 7
「また、語れる日まで〜被爆者“コロナの夏”を生きる〜」
9.18
「ヒロシマで出会った２人〜木内みどりと四國五郎〜」
10.30
「1945ひろしまタイムライン　戦後編」
広島県域／12.11
「核兵器禁止条約発効　ヒロシマの思いは」
1.22

「被爆調査　76年目の真実」
3. 5
『「太陽の子」に挑む～撮影現場の記録～』 Ⓖ
8. 6／12:20～12:45
**『土門拳のヒロシマを探して
「戦後75年を生きた人たち」』** Ⓖ
8. 6／20:15～20:40
**『もういちど“長崎の原爆”をみつめる
「原爆の絵　ふたたび」』** Ⓖ
長崎局　8. 9／13:05～13:30

広島県域

『シリーズ「被爆75年　次世代へのメッセージ」』 Ⓖ
第４回「原爆資料館からのメッセージ」
4. 5／ 7:45～ 8:44
第５回「“ゲン”と“すず”が伝えるもの」
4.12／ 7:45～ 8:51
第６回「ヒロシマを受け継ぐ若者たち」
4.19／ 7:45～ 8:52
**『被爆75年のヒロシマへ
コトリンゴが贈る音楽のプレゼント』** Ⓖ
6.12／19:30～19:55
『シリーズ「被爆75年　平和都市を築いた人々」』 Ⓖ
第１回「復興、そして平和都市へ」
7.26／ 7:45～ 8:50
第２回「閃光（せんこう）を背負った人生」
8. 2／ 7:45～ 8:38
第３回「核廃絶を追い求めて」
8. 9／ 7:45～ 8:44
**『お好みワイドひろしま
被爆75年「原爆の日」特集』** Ⓖ
8. 6／18:00～18:59
『よみがえる幻の歌「古関裕而　歌謡ひろしま」』 Ⓖ
10.30／22:45～23:10
『シリーズ「語りだす被爆建物」』（3本，各3分） Ⓖ
「原爆ドーム」
11.14／11:22～11:25ほか
『お好みワイドひろしま特別編　「お好みワイドひろしま」×「テレビ派」コラボ企画』 Ⓖ
「被爆75年　ヒロシマの記憶を伝える」
11.30／17:30～17:57，18:30～18:45
**『きみは「明日の神話」をみたか
～岡本太郎と核・ヒロシマ～』** Ⓖ
1.31／ 8:00～ 8:25

❷全国放送

『令和２年　広島平和記念式典』
Ⓖ　8. 6／ 8:00～ 8:37
中国ブロック　Ⓖ　8. 6／ 8:00～ 8:52
R1　8. 6／ 8:00～ 9:00
『あさイチ』 Ⓖ
「“つぶやき”から考える　みんなの戦争」
8. 6／ 8:52～ 9:02，9:07～ 9:57
『れいわのへいわソング　FROM　HIROSHIMA』 Ⓖ
8. 9／15:05～15:50
中国ブロック　8. 6／19:30～20:15
『NHKスペシャル』 Ⓖ
「証言と映像でつづる原爆投下・全記録」
8. 6／22:00～23:00
『国際共同制作　特集ドラマ』「太陽の子」 Ⓖ
8.15／19:30～20:50
**『BS1スペシャル』「1945ひろしまタイムライン
もし75年前にSNSがあったら」** BS1
8. 3／21:00～21:49
『語りだす被爆建物』 BS8K
8. 1／21:00～21:49
『被爆75年ラジオ特集』 R1
「手紙（レター）、キミに伝えよう」
8.10／20:05～20:55，21:05～21:55
『FMシアター』「歌え、この街の空に」 FM
9.26／22:00～22:50

【4】新型コロナウイルスを取り上げた番組
（【2】❷特集番組で取り上げたものは除く）

❶地域番組

中国ブロック

『ラウンドちゅうごく』 Ⓖ
19:30～19:55
「コロナでもつながりたい　注目！オンライン」
広島局／ 5.22
「コロナ“介護危機”　休業連鎖からの再出発」
広島局／ 5.29
「Withコロナを生きる
～危機と闘う人々の記録～」
広島局／ 6.26
「ドキュメント信用組合
～“戦後最悪”コロナ危機の深層～」
広島局／ 7.17
「３年９組～沼田高校　それぞれの夏～」
広島局／ 9. 4

「新型コロナ“第３波”への備えは」
広島局／12. 4
「あなたの１枚
～コロナ１年　100人に聞いてみた～」
広島局／ 1.29
「コロナと差別とSNS
～ネット社会の闇とどう向き合う？～」
松江・広島局／ 2.26
『ポストコロナの学校を描け！』 Ⓖ
広島局／ 2.11／18:05～18:34
『広島交響楽団がつなぐ希望のシンフォニー』 Ⓔ
広島局／11.22／14:30～15:30

県域

『ラウンドちゅうごく』 Ⓖ
金　19:30～19:55
「感染拡大をどう防ぐか」
広島・島根県域／ 4.10
「withコロナの観光新戦略」
広島県域／11.13
『@okayama』 Ⓖ
金　19:30～19:55
「新型コロナウイルス　岡山県の現状と今後」
岡山県域／ 5. 8
「“Withコロナ”どう生き抜くか」
岡山県域／ 6.12
「高校生最後の夏」
岡山県域／ 9.18
「あなたのギモン　知事にききます」
岡山県域／ 1. 8
「胸の内」
岡山県域／ 1.29
『島根スペシャル』 Ⓖ
「新型コロナ　不安や疑問に池上彰と答えます！」
島根県域／ 4.17／19:57～20:42
「緊急事態宣言　池上彰が知事に問う！」
島根県域／ 4.24／19:57～20:38
『さんいんスペシャル』 Ⓖ
金　19:30～19:55
「鳥取に新型コロナウイルス
疑問・不安に答えます！」
鳥取局／鳥取県域／ 4.17
「鳥取の新しい生活様式とは？
みなさんの疑問・不安に答えます」
鳥取局／鳥取県域／ 5.22
「どうなる？鳥取の経済　疑問・不安に答えます」
鳥取局／鳥取県域／ 6.12
「“課題先進県”島根
コロナ危機からどう立ち直る？」
松江局／島根県域／ 6.12
「それぞれの“最後の夏”
～2020　高３が向き合う部活～」
松江局／島根・鳥取県域／ 7.10
「島根に刻む“僕たちの足跡”
～球児たちの最後の夏～」
松江局／島根県域／ 9. 4
「つながりを配信した夏
～江府町　オンライン盆踊り～」
鳥取局／島根・鳥取県域／ 9.11
「どうする？　コロナ禍の避難」
松江局／島根・鳥取県域／10. 9
「幸せのかたちを探して
～密着　コロナ禍の高専ロボコン～」
松江局／島根・鳥取県域／12.11
「つながりたい～分身ロボットの難病支援～」
鳥取局／島根・鳥取県域／ 3.12
『Yスペ！』 Ⓖ
「知事に問う　新型コロナ“第２波”への備え」
山口県域／ 5.22　19:30～19:55
「お便りさんぽスペシャル
新型コロナに負けない！癒やしの時間」
山口県域／ 6. 5／19:33～19:58
「どうする？コロナ時代の学校教育」
山口県域／ 7.10／19:30～20:00
「最後の夏」
山口県域／ 7.17／19:30～20:14

❷全国放送

『目撃！にっぽん』 Ⓖ
「パイゾンが見たニッポン
～出雲　外国人労働者はいま～」
松江局／ 6.21／ 6:10～ 6:44
「“幸せのかたち”を探して
～高専ロボコン　５か月の記録～」
松江局／ 1.17／ 6:10～ 6:44

【5】スポーツ中継

❶野球

〔**高校野球**〕＊放送範囲がないものは県域放送

各県独自高校野球大会

令和２年夏季広島県高等学校野球大会
決勝　Ⓔ／ 8. 9
2020　夏季　岡山県高等学校野球大会
決勝　Ⓔ／ 8.10
令和２年度島根県高等学校夏季野球大会
準決勝　ⒼⒺ／ 8. 2

決勝　Ⓖ R1 ／ 8. 4
2020年夏季鳥取県高等学校野球大会
準決勝　Ⓖ Ⓔ R1 FM ／ 7.30
決勝　Ⓖ Ⓔ R1 FM ／ 7.31
やまぐち高校生2020メモリアルカップ夏季高等学校野球大会
準決勝　Ⓖ Ⓔ ／ 8. 1
決勝　Ⓖ Ⓔ ／ 8. 2

令和２年度秋季高等学校野球大会・地区大会

広島県　決勝　R1 ／10. 4
岡山県　準決勝　R1 ／10.10
決勝　FM ／10.11
島根県　準決勝　R1 FM ／ 9.26
決勝　R1 FM ／ 9.27
鳥取県　準決勝　FM ／ 9.27
決勝　R1 ／ 9.28
山口県　準決勝　R1 FM ／ 9.27
決勝　R1 ／ 9.29

第135回秋季中国地区高等学校野球大会

（中国ブロック）
準決勝　R1 ／10.31
決勝　R1 ／11. 1

〔プロ野球〕

（中国ブロック）
「広島」×「巨人」　R1 ／ 7.16
「広島」×「阪神」　R1 ／ 8.28
「広島」×「中日」　R1 ／10.16
「広島」×「中日」　R1 ／11.11
（広島・近畿ブロック）
「阪神」×「広島」　Ⓖ ／ 9.11
（広島・東海３県ブロック）
「中日」×「広島」　Ⓖ ／ 7.10
（広島・岡山・島根・山口ブロック）
「広島」×「DeNA」　Ⓖ ／ 9.25
（広島・島根・山口ブロック）
「広島」×「DeNA」　Ⓖ ／ 7. 9
「広島」×「巨人」　Ⓖ ／11. 5
（広島県域）
オープン戦
「広島」×「日本ハム」　Ⓖ ／ 3.14

❷サッカー

〔Jリーグ〕

（広島・東海３県ブロック）
「名古屋グランパス」×「サンフレッチェ広島」　Ⓖ ／12.19
（広島・北海道ブロック）
「サンフレッチェ広島」×「北海道コンサドーレ札幌」　Ⓖ ／11.28
（広島県域）
「サンフレッチェ広島」×「横浜FC」　Ⓖ ／11.14
「サンフレッチェ広島」×「ベガルタ仙台」　Ⓖ ／ 2.27
（岡山県域）
「ファジアーノ岡山」×「ジュビロ磐田」　Ⓖ ／11.15
（山口県域）
「レノファ山口」×「ギラヴァンツ北九州」　Ⓖ ／12. 6

❸その他のスポーツ

〔バスケットボール〕

Bリーグ

（広島・島根ブロック）
「広島ドラゴンフライズ」×「島根スサノオマジック」　Ⓖ ／ 2. 6,　2. 7
（広島県域）
「広島ドラゴンフライズ」×「A東京」　Ⓖ ／10. 9
（島根県域）
「島根スサノオマジック」×「サンロッカーズ渋谷」　Ⓖ ／ 2.27

〔ハンドボール〕

第45回　日本ハンドボールリーグ　女子

「イズミメイプルレッズ」×「大阪ラヴィッツ」　広島県域　Ⓖ ／ 1. 9

2 技術

【1】緊急・災害報道，選挙報道

新型コロナでの緊急事態宣言の発令等により，各ニュースにて感染状況を伝えた。また，特設ウェブサイトへの誘導QRコードの送出について，４月24日～５月14日および広島県の新型コロナ感染拡大防止集中対策の期間12月21日～２月21日に対応した。

７月14日に東広島市で大雨による土砂災害で２人が亡くなり，現場から中継を実施した。同日には島根県江津市江の川の氾濫を中継で伝えた。９月７日には台風10号が中国地方に接近し，早朝から広島局前での中継を実施した。県内各所で大雨警報や土砂災害警報，洪水警報が発令され，適宜，県域放送・中国ブロックでの特設ニュースやL字での避難情報送出など災害報道に対応した。NHKで開発したNMAPS（News Mashup Advanced Probe System）を利用し，自治体が

発信した避難情報をリアルタイムに作画して放送利用し，気象予報士による解説とともに，気象情報を分かりやすく伝えた。

政治関連では，河井克行議員，河井案里議員（当時）が公職選挙法違反で６月18日に逮捕され事務所からの中継を行った。この贈収賄に関係した三原市長が辞職し，８月９日の開票速報では選挙事務所から中継を実施した。

【2】番組制作

20年度は新型コロナの影響で多くの番組が中止もしくは延期となった。音楽番組も多くが影響を受け，実施できたものは７月広島局T-1スタジオでの『れいわのへいわソング　FROM HIROSHIMA』と，10月の広島交響楽団による『ブラボー！オーケストラ』の２本にとどまった。スポーツ番組では，開催者が感染拡大防止策を進めながら，プロ野球「広島カープ」戦を８試合，Jリーグ「サンフレッチェ広島」戦を２試合，ハンドボール，Bリーグ，Vリーグなどを中継した。しかし，感染対策の難しい全国都道府県対抗男子駅伝は中止となった。その他，感染防止対策では，中継車内の「３密」を避けるため，平和式典中継でIPリモートプロダクションを導入し広島局T1副調整室でのリモート制作を行い，NHKでは初となる大規模中継でのIPリモートプロダクションを成功させた。

８K制作では，被爆75年の取り組みとして，BS８K『語りだす被爆建物』を制作し，併せてローカルニュースや８KシアターのPVとしてショートコンテンツを制作した。

【3】テレビ・ラジオ放送網設備

中波ラジオの地形的難聴や津波災害対策のため，岡山・高梁および島根・浜田にFM補完局（プログラムはR1）を開局した。設備の信頼性向上を図るため，老朽更新と併せて広島・油木TVなどの放送機２台化整備を実施した。安定した電波確保のため，老朽化した山口・大平山TVの放送機更新，広島・祇園R，島根・出雲Rの二重給電盤更新などの基幹放送所整備等を行った。TV自営無線回線において，広島・宇根山および岡山・有漢ルートなどのIF-TTL設備の更新を行った。

NHK共聴の大規模改修（光化）については，域内20施設の工事を完了した。

【4】開発

広島局が開発した「小窓自動切出装置『Beauty ROI』」が20年度中国地方放送技術報告会と第73回全国技術報告会で最優秀賞を受賞した。また，広島局が開発した「NHK共聴の撤去検査支援ツール」が20年度中国地方放送技術報告会で優秀賞を受賞した。これら２件を第71回電気・情報関連学会中国支部連合大会で発表した。

【5】放送設備の充実・更新

広島局の運行装置について，新型コロナの影響で本格的な更新工事の着手が４月から６月に遅れたが，21年２月に工事を完了し，５月の本運用開始に向け準備を進めた。運行装置については，11月に岡山局，２月に山口局で更新工事に着手した。

４Kニュース伝送に対応するため，福山・米子・下関の各支局に報道用４Kカメラを，岡山局および山口局に受信設備を整備した。

【6】視聴者活動

新型コロナの影響を受け，多くの会館公開イベントは中止となったが，11月５日に広島局８Kシアターにて「８KカープPV」を，世界初となる８KでのIPリモートプロダクションを導入し，カメラ２台のスイッチング，22.2ch音響で実施した。

BS４K・BS８K放送の普及促進についても年度計画の大部分が中止となった。家電販売店や工事店向けに BS４K・BS８K の最新情報を伝えるテレビ受信向上委員会主催「放送受信の新技術セミナー」については，会場に集めるのではなく，初の試みとして，受講希望者へ郵送にて資料を送付し，質問や意見に対しては後日担当者が電話によりフォローする方法にて山口県と島根県の２地域の店舗に募集した結果，合計118店舗の参加を得た。

3 視聴者対応

【1】広報

❶番組広報

被爆75年にあわせて，広島局では関連番組や企画を積極的に広報した。７月には記者会見を開き（7.8），『特集ドラマ』「太陽の子」（Ⓖ8.15）やSNS連動企画「1945ひろしまタイムライン」などをPRした。また，『ブラタモリ』（Ⓖ1.16，1.23）など番組PRも実施した。ただ，新型コロナウイルス感染拡大で21年度の記者会見は開けなかった。

開局90年を迎えた岡山局では，キャッチコピー「ミル、シル、ハレル！」のロゴとイメージイラストを地元出身の漫画家に依頼して作成し，グッズやポスターに活用しながら積極的に広報展開した。このうち，開局記念日（2.1）には，岡山駅中央改札口周辺のデジタルサイネージに終日広告を掲示して，番組などをPRした。

松江局ではプロバスケットボールBリーグ「島根スサノオマジック」対「サンロッカーズ渋谷」（Ⓖ2.27）の周知をはかるため，ホームページやツイッターのほか，番組ステッカーを作成し大型商業施設のフードコートへ掲出した。また，『ファミリーヒストリー』「長谷川博己〜1300年前の伝説　老舗温泉旅館の誇り〜」（Ⓖ1.4）や出雲地方の神社を紹介した『元旦特集』（Ⓖ1.1）など島根県とかかわりの深い番組をPRした。

鳥取局では，ツイッターを積極的に活用した。情報番組『いろ★ドリ』では，アナウンサーや記者がその日の一推し項目を紹介する10秒動画を定期的に配信した。『さんいんスペシャル』「√るーとhigh↑2　りも〜とで夏（なつ）いね！」（Ⓖ9.25）では「りも〜と鑑賞会」と題して，ツイッターに収録やロケの裏話をつぶやく企画を実施した。

山口局では「好きが溢れる。山口」キャンペーン（12月）で，山口県を取り上げた番組をBSプレミアムで集中編成し，かつて放送した『新日本紀行』（73年放送）や『NHKスペシャル』（95年放送）など18番組を放送した。JR中吊り広告や県内の道の駅にチラシを配布したほか，スポットやホームページでも広報展開を行った。

❷視聴者ふれあい活動

各局とも新型コロナウイルス感染防止対策で会館見学などを中止せざるを得なかったが，代替としてインターネットを活用した取り組みを行った。

このうち，広島局では「ぼくの絵わたしの絵展」の作品をホームページに掲載した（9.15〜27）。また，インターネットを結んで小学生にNHKの仕事を紹介する「ネット授業」（1.13）を広島局で実施したほか，鳥取局でも，県内の小学校向けにリモートの会館見学を実施した（2.17）。岡山局ではオンラインで「視聴者のみなさまと語る会」を開催し（12.5），「受信料制度など経営全般」「災害報道や地域放送」などのテーマで視聴者から意見を伺った。被爆75年の取り組みとして，広島局では，3階の「ハートプラザ」に被爆関連番組等を紹介する「平和アーカイブス」コーナーを設けたほか，4階の8Kスーパーハイビジョンシアターで，原爆ドームなどの映像をまとめた企画「語りだす被爆建物」の上映を始めた。一方，SNS企画「1945ひろしまタイムライン」では，一部のツイートが「差別助長だ」と批判された。

【2】イベント事業

中国地方では，30本のイベントを実施し，およそ5万人の参加者があった。新型コロナウイルス感染拡大防止のため，61本のイベントが中止・延期となった。

広島局では，被爆75年に関連して，「8Kシアター特別上映プログラム」（8.4〜6，広島局），「らじらー！サタデー×＃あちこちのすずさん with 広島」（8.9，広島局）を実施した。ベートーベン生誕250年関連企画「オーケストラでつなぐ希望のシンフォニー　広島交響楽団公演」（10.17，広島市），広島市現代美術館との共催企画「どこかで？ゲンビ　NHK　de　ミヂカにアート」（3.8〜21，広島局）を実施した。「ひろしまフラワーフェスティバル」の中止に伴い，「NHKシクラメンパーク」（5.3〜5，広島局）は中止となった。

岡山局では，岡山シティミュージアムと連携した上映会「豪雨災害の記憶・体験を風化させないために」（9.21，岡山市）を実施した。

松江局では，視聴者がディレクターとなって番組を企画・制作する「ザ・ディレクソンin島根」（6.27，7.5）をオンラインで実施した。

鳥取局では，「ザ・フィンランドデザイン展」にあわせ，展示作品を地域放送番組内で紹介したほか，ジュニアガイドブックを制作し県内すべての小学校に配布した。

山口局では，梅光学院大学（下関市）と地域におけるNHKの役割を考える「PBL（課題解決型学習）」（5.11〜2.4）を実施した。

❶全国放送公開番組

『NHKのど自慢』『みんなDEどーもくん！』『上方演芸会』『真打ち競演』『ベストオブクラシック』の5本の全国放送公開番組を中国地方で実施した。

❷教育・こども

中国地方各局で開催予定だった「NHK全国学校音楽コンクール」「NHK杯全国中学校・高校放送コンテスト」は中止した。

「高専ロボコン2020中国地区大会」（11.1），「NHK for School　Why！？プログラミング」（10.16，山口・防府市），多様性への理解を深める番組『u&i』ワークショップ（11.18，松江市）はオンラインを活用して実施した。また，「NHK

こども音楽クラブ」（9.28，岡山・美咲町／10.19，鳥取市）などの教育イベントのほか，ファミリー向けイベントとして「おかあさんといっしょ宅配便　ガラピコぷ～小劇場」（3.20，松江市）を実施した。「おかあさんといっしょファミリーコンサート」（11.28，岡山・倉敷市），「いないいないばあっ！ワンワンわんだーらんど」（3.7，広島・福山市）は中止した。

❸スポーツ・福祉・キャンペーン

「ラジオ体操・みんなの体操会」，「天皇盃第26回全国男子駅伝」（1.24，広島市・廿日市市）および関連イベントは中止した。「NHK歳末・海外たすけあい」（12.1～25），「NHKハート展」（1.27～2.4，岡山・倉敷市）を実施した。

❹展覧会

「第67回日本伝統工芸展」（11.13～29，岡山県立美術館／12.2～25，島根県立美術館／2.17～3.7，広島県立美術館）のほか，「ザ・フィンランドデザイン展」（10.10～11.15，鳥取県立博物館），「The 備前－土と炎から生まれる造形美－」（10.10～11.8，岡山県立美術館）を実施した。

【3】営業

4月7日，改正新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき，東京都など7都府県を対象に緊急事態宣言が発せられ，その後も多くの県で外出自粛要請が相次ぎ，全国6割以上の世帯に外出自粛要請が出されたことから，4月11日以降，全国で訪問員による訪問活動を停止した。

6月より社会状況を踏まえ，感染拡大防止策を徹底し，「受信料のお知らせ」をポスティングする形で営業活動を再開。8月からは直接対面しないインターフォン対応を実施。平行して営業職員は対面での営業活動に向けたトライアルを実施し，感染防止とクレーム抑止を両立する営業スタイルを実践・研究した。それを受け，10月からは十分な距離を取った対面対応を再開，ただし契約書は返送依頼をすることで対応時間を短縮した。12月以降はこれまで18時までとしていた活動を19時まで延伸するとともに，訪問員による契約書の回収業務を実施した。

訪問による契約・収納活動が難しいなか，11月には営業局よりポストコロナ時代を見据え，訪問によらない効率的な営業活動への抜本的改革の方針が示され，法人委託の段階的縮小に向けた対応に着手するなど，従来の全戸巡回型訪問営業からコスト面で優位な営業手法への転換が急務となった。

中国ブロックでは第1期に発足した「特約店プロジェクト」を加速させ，訪問によらない営業活動を推し進めた。特に課題意識を持って進めた賃貸不動産による取次実績は，コロナ禍にあっても19年度を上回る実績を確保した。

また，営業目標の達成を目指すことが困難な状況から，下半期に全国で契約取次数を「実行指標」として設定し達成を目指した。訪問によらない取次の伸びなどもあり，実行指標全項目（衛星・総数・再開）を中国ブロックとして達成した。

四　国

1 放送

【1】放送の概要

松山拠点局

新型コロナウイルスの感染予防策を繰り返し伝え，地域におけるさまざまな影響を多面的に伝えた。テレビ・ラジオ・インターネットで関連ニュースを厚く伝えたほか，平日夕方の地域ニュース情報番組『ひめポン！』では四国４県の1,000人の居住者に知りたい情報を調査し，新たな企画「知りたいに答える」を立ち上げ，シリーズで伝えた。また４月20日から５月22日まで一部を四国地方向けとして，四国４局が連携して，各県の感染状況や対策などを伝えた。また地域の支え合いや店舗，会社を続ける工夫などを「いま私たちにできること」のコーナーで伝えた。

金曜午後７時30分の四国ブロック向けの『四国らしんばん』ではコロナ禍の出口の見えなさに困惑，苦慮する中小企業や観光など，現場を見つめたほか，医療現場の最前線を徹底取材した。６月の出水期には避難場所でどう“３密”を回避するかといった新たな課題への対応策などを福岡局などと協力して伝えた。

金曜午後７時30分の県域番組『ひめDON！』では県内各地で「あなたのコロナに関わる個人的なニュース」を聞いた。「変わりゆく“鉄道風物詩”～コロナ禍の冬に～」では，新型コロナの感染拡大や利用客減少で変わりゆく鉄道や沿線の暮らしを見つめた。

７月から９月にかけて新型コロナウイルスの影響によるさまざまな困難に立ち向かう地域の人たちを応援し，未来の活力につながる番組を放送したいと四国地方向けに特集「四国ヒューマンドキュメント～新しい日常～」を集中編成した。『今こそ！「のど自慢」in愛媛』（Ⓖ7.31）は，中止になった「NHKのど自慢・今治市」に応募した皆さんの声に応えるため，特別にNHK松山拠点局（以下松山局）のスタジオに「のど自慢」のセットを用意し，応募者の中から選ばれた５組が歌と思いを披露した。『シン・地方の時代　～パンデミックで変わる四国の未来～』（Ⓖ8.7）は新型コロナの影響で地方への移住希望者が増えている中で，新しい地方の時代とは何かというテーマを設け，四国ゆかりの各界のトップランナーに語ってもらった。『ONE　TEAM先生の熱血！自撮り日記』（Ⓖ8.12）は新型コロナウイルスの影響で困難さを増す学校生活の中で頑張る生徒たちの姿を，先生の自撮り映像などで伝えた。『母と娘　初めての交換日記』（Ⓖ8.13）はリハビリ施設に入所する母と突然会えなくなった娘が，交換日記を通じて気持ちを交わす５か月の記録を伝えた。『前園真聖　しこく部活たび～中高生の思い　見届けます～』（Ⓖ8.30）は部活動で発表の場を失った四国の中学・高校を回り，子どもたちの思いを聞き出した。

命と暮らしを守る放送に全力で取り組む放送局として防災・減災につながる番組を積極的に編成した。『愛媛防災シンポジウム』「命を守れ！新型コロナ時代の避難と復旧」（Ⓖ11.8）は新型コロナ禍で命を守る防災が変化する中，ホテルや知人宅に逃げる分散避難などの取り組みや愛媛で避難する時に役立つ情報を伝えた。『ら♪ら♪ら♪ラジオです　ラジオ３局共同防災特集』「被災地に学ぶ～身を守るために出来ること」（R1 3.5）ではNHK松山局，FM愛媛，南海放送のラジオ３局が防災特集番組を同時生放送。西日本豪雨で被災した西予市野村町の方々の経験から，身を守るために出来ることを考えた。『四国らしんばん』「伊方原発10年後のリアル～東電福島第一原発事故の教訓は～」（Ⓖ3.12）は福島の原発事故から10年経過して四国唯一の原発を取り巻く状況はどう変わったのかを四国電力，伊方町，そして四国各地の市民の声を取材し，伊方原発のリアルな今を見つめた。

全国放送では『夏井いつきと壇蜜の　新しい日常×俳句』（Ⓔ7.9）は夏井いつきと壇蜜が全国から集まった新しい日常を描いた俳句を紹介した。『いつもと違う夏　17音にのせて　～俳句甲子園2020～』は，大会史上初のリモート開催となった俳句甲子園で，いつもと違う夏に込めた高校生の思いを伝えた。『ドキュメント72時間』「サイクリングの旅　しまなみ海道を駆ける」（Ⓖ12.11）はサイクリングの聖地と言われる瀬戸内海の「しまなみ海道サイクリングロード」を舞台とし，３日間，訪れた人たちの思いに耳を傾けた。

高知局

20年度は，県民の命と暮らしを守る防災・減災報道の強化とともに，新型コロナウイルス関連の報道強化に努め，県民から信頼される情報発信拠点となるよう取り組んだ。

防災・減災については，15回目となった防災特番『南海地震に備えちょき』（12.12）をラジオ第１とEテレで同時生放送した。また東日本大震災から10年を迎えるにあたり，２月から３月にかけて防災キャンペーン「その日をみんなで生きのびる」を全局で展開し，平日夕方のニュース番組『こうちいちばん』（Ⓖ）で集中的にシリーズ企画を放送したほか，『とさ金』（Ⓖ）でも２回にわたって防災をテーマに番組を放送した（3.5，26）。また年間を通して高知市朝倉にあるサテライトスタジオをほぼ毎月，制作や送出に利用して大規模災害の発生に備えて職員のスキル向上を図った。

新型コロナウイルスを巡っては『こうちいちばん』などテレビ・ラジオで連日最新の情報を伝えたほか，関連の番組を『とさ金』で積極的に編成（4.24，5.15，6.5）した。また，コロナ禍で中止となった「よさこい祭り」について，18年と19年に放送した「総集編」を２週連続で編成（7.31，8.7）したほか，９分割の画面で新しい「よさこい」＝『おらん９よさこい』を提案。従来の祭りの参加団体や視聴者に動画投稿を呼びかけ，集まった約500本の動画を基に管中特集番組として放送した（Ⓖ9.4）。さらに，やはりコロナ禍でウェブ開催となった「全国高等学校総合文化祭」の地元の参加校を紹介する企画（Ⓖ『こうちいちばん』など）や「まんが甲子園」を取り上げた県域特集番組（Ⓖ8.14）も放送した。

このほか街頭に楽器を置いたステージを用意し，演奏を披露した人々にコロナ禍での思いを聞く『まちおんがく♪』を企画。９日間の収録にのべ400人が参加し，管中特集番組（Ⓖ1.29）と県域の『とさ金』（Ⓖ2.5）で放送した。

スポーツでは，コロナ禍で中止となった夏の全国高校野球選手権高知大会に代わる特別野球大会をテレビ・ラジオで中継したほか，秋の高校野球県大会や高知で行われた高校野球四国大会をラジオで中継。また四国アイランドリーグplusの「高知ファイティングドッグス」や，サッカーJFLに昇格した「高知ユナイテッドSC」の試合をラジオで中継した。このほか20年のシーズン限りで現役引退したプロ野球「阪神」の藤川球児投手に密着した『かんさい熱視線』「不惑の直球　藤川球児～引退決断・300日の舞台裏」を，近畿管内とのインターローカルで放送した（Ⓖ11.13）。

全国放送や衛星放送では，『あさイチ』のコーナー「シェア旅」で高知県内の魅力的な観光地や特産品を紹介した（Ⓖ11.30，3.18）ほか，『今夜も生でさだまさし』では，コロナ禍のなか，感染防止対策を十分に行ったうえで高知局から生放送を行った（Ⓖ11.29）。『逆転人生』では高知競馬の復活劇を（Ⓖ1.18），『ファミリーヒストリー』では高知市中心部出身のタレント，広末涼子を取り上げた（Ⓖ2.15）。『にっぽん縦断　こころ旅』は，高知県で20年秋の旅を締めくくった（BSP 12.22～25）。『釣りびと万歳』（BSP 1.10）では，タレントの濱田岳が豊かな高知の海での巨大イシナギ釣りに挑んだ。さらに『FMシアター』では，いの町を主な舞台にしたオリジナル脚本のラジオドラマ「地上５センチのアンチヒーロー」（FM 1.30）を放送した。

また，県内民放３社と協力した共同キャンペーン「みてみて高知12468（ワンツーヨーロッパ）」を継続し，４局のキャラクターのほか，視聴者にも参加してもらい，共通のスポットを放送してテレビ視聴を呼びかけたほか，全国に緊急事態宣言が発出された際には，各局のアナウンサーが登場するメッセージ性の強いスポットも制作した。さらに民放ラジオ２社と同様のキャンペーンを開始。新型コロナ対策や防災のメッセージを制作し，年間を通して放送した。

徳島局

台風や豪雨，大雪の際には，早期から警戒を呼びかけることを目的に，L字放送（マルチ発信）で迅速な避難促進のための雨量等の情報や見通しを伝えたほか，テレビやラジオでも特設ニュースを放送し，防災・減災報道を行った。

『とく６徳島』（Ⓖ）では，徳島県内の最新ニュースや話題を伝えた。新型コロナウイルス感染症の最新情報や阿波おどりをめぐる動きのほか，解説コーナー「これ知っとん？」や，地域で活躍する人に話を聞く「とく６トーク」，料理コーナー「今コレ食べドキ！」を放送した。「とくしま津波減災マップ」「防災スイッチ」「STU48防災航路」等，防災・減災関連のコーナーも１年を通して展開した。

金曜夜の番組『あわとく』（Ⓖ）では，新型コロナウイルス感染症が徳島の暮らし・経済や，阿波おどりに与える影響等を伝えたほか（4.24，6.5，7.3，12.4），地域をたずねる紀行や，地域の歴史上の人物の知られざる側面等を発信した。南海トラフ巨大地震関連では，90％の建物が浸水すると想定されている美波町･由岐地区で防災教育の在り方を模索する地域の人々を紹介した（2.5）。

新型コロナウイルスの影響で戦後初めて中止となった徳島市の阿波おどりについて，課題や人々

の動きを取材して『とく6徳島』内シリーズ「踊りのない夏」や『四国らしんばん』(7.17),『あわとく』(6.5)等で発信した。また,『2020夏　阿波おどりアーカイブス』として,過去の阿波おどりに関する番組を3本集中的に編成した(8.12,14～15)。

全国放送では,『歴史秘話ヒストリア』(Ⓖ6.3)で徳島ゆかりの戦国武将・松永久秀の知られざるストーリーを紹介したほか,『あさイチ』「みんなでシェア旅」(Ⓖ10.22)では,名産・すだちにまつわる情報や地域の観光スポット等,徳島の旬の話題を伝えた。

また,サッカーJ2の「徳島ヴォルティス」関連では,J1昇格をかけた試合など2試合をテレビで中継したほか,(Ⓖ10.10,12.13),新型コロナウイルスによる長期中断を経たシーズン再開後のホーム戦(無観客試合)をラジオで中継した(R1 7.4)。またプロ野球独立リーグ・四国アイランドリーグplusの「徳島インディゴソックス」の試合を中継した(R1 10.14)。

ラジオでは,「四国放送」「FM徳島」「FMびざん」のラジオ民放3局と合同で防災特番『LOVEラジオ』を制作・放送した(R1 3.13)。この共同制作のスキームでは,新型コロナウイルスのために学校生活にも影響が出た中高生たちに向けて,エールを送る番組も制作・放送した(R1 7.13)。

高松局

新型コロナウイルスは香川県内でも感染拡大が続き,高松市の保育所で県内初のクラスターが発生した際(4.13)などに特設ニュースを放送したほか,緊急事態宣言の全国拡大で県が休業要請を行った際は(4.25～5.6),L字型画面も適宜活用して生活関連情報を伝えた。

新型コロナ関連の番組は,『さぬきドキっ!』(Ⓖ香川県域)で県内の医療体制を検証する「新型コロナ　医療崩壊は防げるか」を放送したほか(4.24),『ゆう6かがわ』(Ⓖ香川県域)でも,大規模なクラスターが発生した高松市の特別養護老人ホームの実態など(2.4),新型コロナ関連のニュースアップや企画を80本余り放送した。

『ゆう6かがわ』では,地域と連携してコロナ禍でのステイホームを楽しむ一連のシリーズ企画,「わが家がイチバン!」(4.10～6.3,13回),「学びを深掘り!」(5.13～29,8回),「おうちでさんぽ」(6.1～12.8,20回)を放送した。また,コロナ禍で打撃を受けた観光を応援する企画「やっぱり香川がイチバン!ぶらり発見」で,県内全17市町の魅力を紹介(7.8～3.24,22回)。さらに,岡山局と連携して,「瀬戸内のいまとあす-コロナをこえて-」をテーマにした特集企画に取り組み(12.21～25),両局がコラボレーションした新型コロナ関連の企画・中継3本を両局で放送した。

発生対応では,高松市で車の中に置き去りにされた幼稚園児の姉妹が熱中症で死亡した事件で(9.3),死亡の一報や放置を認める母親の供述を,また,坂出市沖で修学旅行中の小学生を乗せた旅客船が沈没した事故で(11.19),岩に衝突した可能性があることや船長の逮捕を,いずれも独自情報としていち早く報じた。

交通事故や糖尿病など香川が抱える課題の解決につながる取り組みを「減らそうキャンペーン」と題して『ゆう6かがわ』で放送し(4.8～3.31,10回),視聴者から募集した意見や減らすためのアイデアも紹介した。また,地方のホームレスの実態に迫った番組「見えない“路上の貧困”」を管中『四国らしんばん』で放送するなど(Ⓖ9.11),地域のさまざまな問題を提起した。

都会から移住したユーチューバーの若者の成長を描いた,香川発管中ドラマ『小豆島に移住してみた!』を地元のキャストやロケで制作・放送し(Ⓖ12.11),若年層にアプローチするためYouTubeやSNSを活用した広報を行った。全中番組『不可避研究中』では「お金」をテーマにした放送回を担当し(Ⓖ9.25,10.30),香川の金銭事情を替え歌で紹介する斬新な企画を放送した。

全中番組『ゆく年くる年』では(Ⓖ12.31～1.1)四国八十八ヶ所霊場の一つ,高松市の八栗寺から中継し,写経に託された新型コロナ終息への願いを伝えた。

【2】地域放送番組

❶定時番組

『おはよう四国』　Ⓖ

四国ブロック(一部県域)　月～金　7:45～8:00

第1回93.4.5／四国地方の最新情報を伝える朝のニュース番組。新型コロナをめぐる各地の動きや季節の話題などを紹介した。気象コーナーでは,四国4県の朝の様子を中継映像で伝えたほか,気象予報士による詳しい解説を行った。／各局タイトル:徳島『おはよう徳島』

『ひるどき四国』　新　Ⓖ

四国ブロック	月～木	11:45～11:54
各県域	金	11:45～11:54

第１回20.3.30／四国全域に向け，暮らしに役立つ情報を伝える番組。前半は，料理のレシピを紹介する「かんたんごはん」，暮らしのノウハウを学ぶ「らいふガイド」，人気の本を紹介する「いまほんランキング」，注目のネット動画をピックアップした「ネット動画最前線」を伝えた。後半は，身近なイベント情報やお知らせ，気象予報士が天気のポイントを伝えた。／各局タイトル：松山『ひるどき愛媛』，高知『ひるどき高知』，徳島『ひるどき徳島』，高松『ひるどき香川』

『ひめポン！』 Ⓖ

愛媛県域　月～金　18:10～18:59

第１回16.4.4／「身近であたたか頼れるニュース」をキャッチフレーズとした平日夕方のニュース情報番組。新型コロナの感染拡大期には，日々の感染状況や行政の対応などについて詳しく伝えたほか，視聴者の疑問に答えるシリーズを展開。日常の感染予防の対策などについて多角的に伝えた。県内で30人余りが犠牲になった西日本豪雨から２年のタイミングでは，２人のキャスターが被災地の西予市に出向き，復興の状況や課題について伝えた。専門的な分野で高い市場シェアを誇る四国の中小企業を紹介する「四国のグレートニッチ企業」をシリーズで放送。このほか常設の企画コーナーとして，移住者の視点から愛媛の魅力を探る「新伊予人めぐり」，高校生に母校や学校生活の楽しさを紹介してもらう「ハイスクールめぐり」，地場産業の後継者を紹介する「あと継ぎめぐり」を放送し，地域や人々の魅力を幅広く伝えた。／各局タイトル：高知『こうちいちばん』，徳島『とく６徳島』，高松『ゆう６かがわ』

『ひめDON！』 Ⓖ

愛媛県域　金　19:30～19:55

第１回18.4.13／月１度の県域向け番組。地元・愛媛の素朴な疑問を“ドンドン”調査し，愛媛が“ドンドン”好きになるがコンセプト。運転マナー「伊予の早曲がり」と県民性の謎，コロナ禍の「超個人的ニュース」の街頭調査，コロナ禍の鉄道とその沿線の暮らしをつづった「鉄道風物詩」など，多角的に“愛媛のいま”を見つめた。／司会：首藤奈知子アナ

『ギュッと！四国』 新 Ⓖ

四国ブロック　土　7:30～ 8:00

第１回20.4.4／四国に縁（ゆかり）があるゲストとともに伝える新たな情報番組。いま話題の現場を調査する「気になる調査隊」，朝にふさわしいスイーツなどを紹介する「おめざ発見伝」が主な企画。調査隊では，コロナ禍で変わる「結婚式最新事情」や人気の裾野が広がる「オンラインマラソン」などをリポート。おめざでは，「もち麦スイーツ」「巨峰ゼリー」など，地域自慢の一品を各局のリポーター達が紹介した。

『とさ金』 Ⓖ

高知県域　（第１週）金　19:30～19:55

第１回18.4.13／高知の食や歴史を扱ったエンターテインメントから，地域の問題に向き合うドキュメンタリーまで，県民の幅広いニーズに応える番組を目指す。20年度は14本放送。年度前半は「新型コロナ　暮らしは　経済は」（4.24），「離れちょってもひとつやき」（5.15），「新型コロナと私たち　３か月の闘い」（6.5）と，コロナ関連の新作を３か月連続で放送した。またコロナ禍で「よさこい祭り」が中止となったことを受けて，18～19年に放送した総集編を２週続けて放送（7.31，8.7）。また外出もままならない状況の視聴者に，改めて高知のよさを届けるために「高知のえいろう！盛りだくさん」（7.3），「夏だけじゃない！　高知の魅力　再発見」（1.8）を放送し，ともに高視聴率を獲得した。このほか，かつて放送したアーカイブから厳選した「龍馬の信じた土佐　～海援隊　誕生のかげに～」（10.9），白血病患者の青年に１年間密着したドキュメント「逆境こそ　笑おう」（11.6），新知事就任から１年のタイミングを捉えた「浜田県政１年　こうちの課題はいま」（12.4），東日本大震災から10年となる３月には，防災をテーマにした新作を２本放送（「中道この道逃げる道スペシャル」（3.5），「集え！防災志士」（3.26））するなど，視聴者に多彩な番組を届けた。

『あわとく』 Ⓖ

徳島県域　（随時）金　19:30～19:55

第１回18.4.13／「金曜夜７時30分は徳島が主役です。」をテーマに20年度は10本を放送。ドキュメンタリー，地域の課題への提言，地域の魅力を伝える紀行・生活情報など，幅広く徳島の情報を発信した。とりわけ，新型コロナウイルス感染症については，徳島の暮らしや経済に与える影響，新しい阿波おどりの在り方，シニアへの健康などさまざまな角度から伝えた。

『さぬきドキっ！』 G

香川県域　（第１週）金　19:30〜19:55

第１回18.4.13／20年度は10本放送。報道情報系のテーマやドキュメンタリーに注力し，「新型コロナ　医療崩壊は防げるか」（4.24）をはじめ，香川県の条例施行を機にゲーム依存の問題を考える「ゲームやめなきゃダメですか？」（7.3），高松市の保育施設で起きた強制わいせつ事件を受けた「“やめて”と言えなかった　〜子どもたちの性被害〜」（10.9），観音寺市で八百屋を営む母と息子に密着した「100年八百屋を未来へ」（2.5）を制作した。

『四国らしんばん』 G

四国ブロック　金　19:30〜19:55

再 土　7:35〜 8:00

第１回00.3.31／四国で暮らす人のための報道情報番組。20年度は「“コロナショック”」「祭りのない夏」など，コロナ禍に直面した各現場を見つめた番組に加え，亡き祖父が残した闘牛を受け継いで飼う家族に密着した「父はなぜ闘牛を愛したのか」，アコヤガイ大量死に翻弄された養殖業の夫婦を追った「真珠の輝き支えて」など，四国に生きる人々のドキュメンタリーを放送。さらに西日本豪雨から２年となる被災地を取材した「“豪雨×新型コロナ”から命を守る」，四国唯一の原発をルポした「伊方原発10年後のリアル」などを放送した。

『ラジオまどんな』 R1

愛媛県域　月〜木　17:05〜17:55

第１回16.4.4／夕方のひととき，愛媛の人と一緒に楽しむ内容。前半は，地域で活躍している人のトークコーナーをはじめ，俳句や音楽，映画などを毎月特集で取り上げた。後半は「食のカレンダー」「若者調査隊」「イベント情報」など多彩な話題をコンパクトに伝えた。リクエスト音楽やメール，お便りも毎回紹介した。

『ホッと！四国』 新 R1

四国ブロック　金　17:05〜17:58

第１回20.4.3／四国のホットな話題やホッとできる情報を伝える四国向けラジオ番組。四国各地の魅力を発信している旬の人に聞く「ホッとインタビュー」，各局のアナウンサーやリポーターによる地域応援コーナーに加え，リスナーからのメールも紹介した。ほぼ月１回『にっぽん列島夕方ラジオ』として，全国に向けて放送した。

『とさらじお』 R1

高知県域　月　17:05〜17:55

第１回16.10.31／ゲストコーナー「土佐がいちばんじゃき！」では，コロナ禍の中で奮闘する高知の人たちと電話での生トークを放送。高知大学の学生とともに防災を身近に考えるコーナーも放送した。「らじる★らじる」での聴き逃しサービスも継続した。

『あわ☆メロR』 R1

徳島県域　（最終週）月　17:05〜17:55

第１回17.1.30／鳴門市在住のシンガーソングライター・板東道生さんをメインパーソナリティーに迎え，徳島のフレッシュでエネルギッシュな若者の情報を紹介。地元の若手アーティストとのトークや音楽を楽しむ番組をめざした。番組ホームページにはメッセージ投稿フォームを設置。リスナーから寄せられたメッセージは放送中に随時紹介した。

『まんで香川きっきょん！？』 R1

香川県域　（最終週）月　17:05〜17:58

第１回17.4.24／20年度はレギュラー出演者に香川出身のシンガーソングライター・SHYさんを迎え，県内の島々の魅力を歌にして紹介する新コーナーを開始した。また，高松市の菊池寛記念館の文学展と連動した「おウチで楽しむ菊池寛作品　朗読SP」（9.28，10.26）では，スペインかぜ流行当時の心情をつづった「マスク」などを朗読し，コロナ禍の現在に通底するテーマを発信した。

❷特集・特別番組

四国ブロック

『ジオ中四国　奇跡の大地』 G

「花崗岩　１億年の恵み」

広島局　5. 8／19:30〜19:55

『四国　つながるテレビ』 G

松山局　5.29／19:30〜19:55

「希望編」　6.19／20:15〜20:40

『みかんの花が咲く谷で　西日本豪雨から２年』 G

松山局　7.10／19:57〜20:42

『“ささやかな幸せ”を大切に　〜徳島・四国山地に暮らす〜』 G

徳島局　7.19／13:05〜13:48

『今こそ！「のど自慢」in愛媛』 G

松山局　7.31／19:33〜19:58

『シン・地方の時代
～パンデミックで変わる四国の未来～』 G
松山局 8. 7／19:30～19:55
『ONE TEAM先生の熱血！自撮り日記』 G
松山局 8.12／18:30～18:55
『母と娘 初めての交換日記』 G
松山局 8.13／18:30～18:55
『前園真聖 しこく部活たび
～中高生の思い 見届けます～』 G
松山・徳島局 8.30／13:05～13:48
『おらん 9 よさこい』 G
高知局 9. 4／19:30～20:42
『四国の歌 ふるさとの色 2020』 G
松山局 9.25／19:30～19:55
『もっと四国音楽祭2020』 G
松山局 10.23／19:30～20:42
『前園真聖 しこく絶景たび』 G
松山局 19:57～20:40
「初秋の香川 徳島編」 11. 6
「香川・愛媛編」 1.22
『高専ロボコン2020』「四国地区大会」 G
松山局 11.23／13:05～13:59
『小豆島に移住してみた！』 G
高松局 12.11／19:30～19:55
『四国らしんばんスペシャル』
「続くコロナ禍 いま私たちにできることは？」 G
松山・徳島局 12.28／18:10～18:45
『まちおんがく♪』 G
高知局 1.29／19:30～19:55
『夏井いつきのよみ旅！ in 愛媛 特別編』 G
松山局 2.19／19:30～19:55
『僕らはマルレと生きた
～“特攻艇”隊員たちの戦争～』 G
松山局 2.26／20:00～20:45

愛媛県域

『ドキュメント 露口
～松山・伝説の老舗バー～』 G
10. 9／19:30～19:55
『愛媛防災シンポジウム』
「命を守れ！新型コロナ時代の避難と復旧」 G
11. 8／13:25～14:08
『ドキュメント72時間・特別編』
「サイクリングの旅 しまなみ海道を駆ける
43分拡大バージョン」 G
1.15／19:57～20:40
『ら♪ら♪ら♪ ラジオです
ラジオ 3 局共同防災特集』
「被災地に学ぶ～身を守るために出来ること」 R1
3. 5／14:00～14:55

高知県域

『まんが甲子園 私たちの“ウィズコロナ”』 G
8.14／18:30～18:55
『南海地震に備えちょき 津波から命を守るために
～北海道南西沖地震 奥尻島から高知へのメッセージ～』 E R1
12.12／14:05～14:55

徳島県域

『2020夏 阿波おどりアーカイブス』 G
「徳島 阿波おどり
～ぞめけ！秩序とカオスのグルーヴ～」
8.12／19:30～20:43
「NHK特集 阿波踊り～天水たちの夏～」
8.14／20:00～20:45
「よみがえる新日本紀行 阿波踊り考」
8.15／18:05～18:44
『LOVEラジオ』 R1
「中高生にエール」
7.13／16:05～16:55, 17:05～17:55
「防災をさらに身近に」
3.13／16:00～17:00

香川県域

『まんで香川きっきょん！？』 R1
「おウチで楽しむ菊池寛作品 朗読SP」
9.28／16:05～16:55, 17:05～17:58
「おウチで楽しむ菊池寛作品 朗読SP（２）」
10.26／16:05～16:55, 17:05～17:58

【3】スポーツ中継

❶野球

〔高校野球〕
各県独自高校野球大会
（各県域）
愛媛県高等学校夏季野球大会
準決勝 G E R1 FM／ 8. 8
決勝 G E R1 FM／ 8. 9
2020高知県高等学校夏季特別野球大会
準決勝 G E R1 FM／ 8. 1
決勝 G E R1 FM／ 8. 2

徳島県高等学校優勝野球大会
決勝 Ⓖ／ 8. 5
令和２年度香川県高等学校野球大会
決勝 ⒼⒺR1／ 8.13

秋季四国地区高校野球・各県大会
（各県域）
愛媛県 準決勝 R1 FM／10. 3
決勝 R1／10. 4
高知県 準決勝 R1 FM／10.10
決勝 R1／10.11
香川県 準決勝 R1 FM／10.10
決勝 R1 FM／10.11

秋季高校野球四国大会
（四国ブロック）
準決勝 R1 FM／10.31
決勝 R1 FM／11. 1

四国アイランドリーグplus中継
「高知ファイティングドッグス」対「ソフトバンクホークス３軍」
R1 高知県域／ 8.29
「徳島インディゴソックス」対「高知ファイティングドッグス」
R1 徳島県域／10.14

❷サッカー
〔Jリーグ〕
「FC今治」対「ロアッソ熊本」
Ⓖ 愛媛県域／ 7. 4
「徳島ヴォルティス」対「京都サンガ」
R1 徳島県域／ 7. 4
「徳島ヴォルティス」対「愛媛FC」
Ⓖ 愛媛・徳島ブロック／10.10
「徳島ヴォルティス」対「ジェフ千葉」
Ⓖ 徳島県域／12.13
「大分トリニータ」対「徳島ヴォルティス」
Ⓖ 四国・大分ブロック／ 2.27
「徳島ヴォルティス」対「ヴィッセル神戸」
Ⓖ 徳島県域／ 3. 6
〔JFLリーグ〕
「高知ユナイテッド」対「ラインメール青森」
R1 高知県域／11.22

2 技術

【1】放送機能の強化

南海トラフ巨大地震で域内放送局機能喪失時に，松山局発の四国ブロック放送を継続するためのCS受信設備を高松サブステーションに整備した。これにより，18年度から整備を進めてきた域内３局の整備が完了した。

放送所施設では，愛媛の三崎二名津TV，高知の馬路TVなど四国域内で３局のTV中継局高信頼化整備（14形放送機２台化）や，高知の須崎R放送機の２台化整備を実施し，放送の安定確保を図った。また，愛媛の行道山TVから会館向けの無線回線装置を整備し，四国域内全基幹放送所の制御回線の２重化（有線・無線）が完了した。高知・中村TVでは，燃料タンクの増強を行い，災害時の電波確保を強化した。

【2】地域放送の充実

４K映像による地域の魅力を発信する番組として『４Koku巡り旅』を４本制作するとともに，公開ホームページにダイジェスト版を掲載した。『もっと四国音楽祭2020』では，四国各地でのロケやリモート収録を多用したことでコロナ禍での新たな番組制作を行った。

NHK・南海放送・FM愛媛による３局合同生放送『ら♪ら♪ら♪　ラジオです　ラジオ３局合同特別番組』「被災地に学ぶ～身を守るために出来ること」をR1で３月に放送し，聴取者の防災意識向上と災害時のメディアとしてラジオの浸透を図った。

また，松山局では夕方の愛媛県域番組『ひめポン！』でもデータ放送を使ったクイズやアンケートを毎週実施した。

【3】放送設備の整備

番組設備では，老朽化した松山局運行装置の更新整備を実施し，21年５月の運用開始に向け習熟訓練を行った。また高松局のニュース送出設備を９月に更新し，域内３局の更新整備が完了した。これにより多彩な演出を可能とする機能が追加され，放送システムとしての信頼性も向上した。

放送電波の安定確保については，テレビ中継局の放送機更新（小田ほか７局），TV，FM中継局の空中線更新（北讃岐TVほか２局）を実施した。なお，北讃岐では送信空中線の構成を変更し，小豆島方向の受信改善を図った。また，自営無線回線の安定運用のため，高知の窪川～中村ルート，徳島の眉山～阿南・三頭山・佐那河内ルート，高松の前田山～北讃岐のTTLを更新した。なお，前田山～北讃岐ルートは総合TV用の周波数を変更し回線品質の安定化を図った。

【4】緊急報道・選挙報道

９月の台風10号，10月の台風14号では，CSK（衛星中継車）などから現場の状況を的確に視聴者に伝えながら，防災・減災報道を実施した。

台風接近・通過時は，特設ニュースや速報スーパー，L字放送など，公共放送としての使命を果たす緊急・災害報道に的確に対応し，安全・安心を支えた。また，放送所やNHK共同受信施設の機能維持については，NHKテクノロジーズと連携して被災状況を把握し，復旧機材や出向要員の体制を確保して電波確保に努めた。

５月には自治体が災害時に発表する避難情報や，避難所の情報を公開ホームページやデータ放送にリアルタイムで表示するシステムの訓練を行った。

【5】良好な受信環境の確保と４K・８K普及推進

老朽化したNHK共同受信施設の安定受信を図るため，光ファイバー方式による大規模改修工事を愛媛の日浦や高知の郷内など26施設で実施した。

視聴者からの電話受信相談（約1,100件）や訪問技術調査（約300件）により，安定した受信環境の維持を図った。

４K・８Kスーパーハイビジョン普及のため，８K受信機を松山空港や松山観光港，大型商業施設に設置し普及推進に取り組んだ。

JR予土線の観光列車「しまんトロッコ」と日本最後の清流四万十川の美しい自然の情景を８Kによる高精細映像と臨場感あふれる22.2ch音響で制作し，放送会館や商業施設で公開した。

また，電器店，電気工事店を対象とした技術セミナーを開催し，４K・８K放送の良好な受信システムの普及を図った。

3 視聴者対応

【1】広報

松山拠点局

❶ 地域番組等の番組広報

愛媛県向け番組『ひめDON！』，四国向け番組『ギュッと！四国』『軽四キャンピングカーがゆく』『前園真聖　しこく絶景たび』『もっと四国音楽祭2020』などの地域放送番組をSNS広告や主要駅のサイネージで県内視聴者への浸透に努めるとともに，番組のテーマや取材地域に応じて協力を得られた自治体や公的機関等のSNSとも連携して周知を行いデジタル媒体での情報提供の機会拡充を図った。また，21年度番組の新聞広告のほか，年間を通じて，松山局制作番組を中心に愛媛新聞テレビ欄色づけ広告や愛媛新聞やタウン情報誌への記事広告掲載も継続して行うなど，各種PRを展開した。

❷地域のみなさまとの絆を強化

四国のNHK各局が地元視聴者との距離を縮め，NHKに親しみを持ってもらうための「ハッとホッとずっと」キャンペーンを四国のテーマ曲「ふるさとの色」の楽譜配付を軸に継続実施。

通常年間通じて会館１階ロビーで開催している，地域の趣味サークルなどの団体による展示会「アートギャラリー」，地域の小学校などが来局して実施する団体見学も新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて休止となったが，団体見学再開時に向けて記念撮影写真をQRコードでスマートフォンに取り込む機材を開発し，視聴者の個人情報セキュリティーを確保しながら，簡便に楽しめる仕組みを整備した。

５月には，「ネットで！ぼくの絵わたしの絵展」および「NHKアートギャラリープラス」の二つの展覧会をインターネット上で開催（5.28～6.30）。

21年３月９日に松山局が開局80年を迎えたことを放送し，地元新聞ほかに幅広く告知した。80年間の地域のみなさまへの感謝を表し，絆を深める広報やイベントへの取り組みを継続的に実施した。

その他例年開催している，家族単位での特別会館見学イベント「夏休みファミリー見学」，また11月に行われる「えひめ・まつやま産業まつり」と連携した会館公開「NHKふれあい秋まつり2020」をはじめとした各種イベントも，多くが中止・延期となった。

❸ ４K・８K受信公開等

会館１階ロビーで，８Kモニターと22.2ch音響システムを設置し，一年を通じて体感できる設備を提供し，来館者がBS８Kを視聴した。また新たに「松山空港」「エミフルMASAKI（大型商業施設）」「松山観光港ターミナル」３か所にも８Kモニターを設置し，８K番組を楽しめる機会を拡充した。

松山局が制作した８Kコンテンツ「８K鉄路紀行」の２作品などを，開局80年事業としてエミフルMASAKI（3.26～31）で公開した。

❹迅速，的確，誠実な視聴者対応

電話，メール，手紙，来局などにより松山局へ寄せられた質問・意見・要望は，年間で１万4,216件。松山局内の各部署と連携して対応するとともに，番組や業務改善などに反映させた。

また，20年度初頭からIVR（自動音声応答装置）を導入し，視聴者からの入電の応答率と満足度の向上を図った。

高知局

９月の『おらん９よさこい』や１月の『まちおんがく♪』，３月の「防災キャンペーン」などで特設ホームページを制作したほか，独自のリリース発信やネット広告，チラシの製作･配布など多角的に番組広報を展開した。『おらん９よさこい』では踊りの動画を募集し，およそ１か月間で約500本の投稿があった。新型コロナ感染防止を徹底して，12月には『南海地震に備えちょき』公開生放送を実施したほか，『こうちいちばん』の防災コーナー「中道　この道　逃げる道」と連携して，２月に視聴者参加イベントの「防災まちあるき」を実施した。

あわせて小冊子『防災ミニブック』を１万部製作・配付し，高知局の防災・減災への取り組みを紹介した。

徳島局

徳島県内の中学校を対象に，県防災人材育成センターの協力も得て，地震・津波をはじめとする災害をテーマとしたイベント「NHK防災教室」を実施した（9.25，12.17）。記者による「防災講話」や中継車・カメラ体験，NHKの防災関連の取り組み紹介を通じて，生徒の防災意識・知識の向上を図った。

高松局

12月11日放送の高松局制作ドラマ『小豆島に移住してみた！』では，舞台となった小豆島での広報活動に加え，若年層への視聴アプローチを試みた。YouTubeやSNSなどデジタル媒体を積極的に活用し，出演者による番組告知に力を入れた。

９月に開催予定だった「ぼくの絵わたしの絵展～第79回全国教育美術展～」は新型コロナウイルスの影響を考慮して，放送局内で行う予定だった展示は中止したが，代わりの視聴者サービスとして『ゆう６かがわ』での特選・入選作品の紹介と高松局公開ホームページで１か月にわたる作品紹介を行った。

新型コロナの影響で，８K受信公開・番組公開ライブラリーは年度を通じて利用休止，ギャラリー展も１回の実施にとどまった。

【2】イベント事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため８月まですべてのイベントを中止としていたが，９月以降，感染状況や視聴者ニーズを捉えて段階的に再開をはじめ，20年度末までに41件のイベントを実施し，２万1,266人の視聴者が参加した。

❶全国放送公開番組

四国地方では20年度４～８月に予定していた全国放送公開番組は新型コロナウイルス感染拡大防止のためすべて中止とした。

なお『NHKのど自慢』『俳句王国がゆく』など16本の公開番組を実施する予定だったが，感染対策で実施を見合わせた結果，３本の実施となった。

❷教育･こどもイベント

「NHK全国学校音楽コンクール」「NHK杯中学校・高校放送コンテスト」（四国各局）は中止にしたが児童・生徒から投稿動画募集を行った。

なお子ども向けの「おかあさんといっしょスタジオ収録」「おかあさんといっしょファミリーコンサート」（徳島局）は中止にしたが，「パプリカ」ダンス動画募集（四国各局），「ガラピコぷ～小劇場」（松山・高知局）は実施した。

また，「高専ロボコン四国地区大会」「NHKサイエンススタジアム2020」はオンラインを活用して実施した。

❸展覧会

「第67回日本伝統工芸展」（高松局）を実施。

❹音楽イベント

「第22回NHK交響楽団定期演奏会」（松山局），「もっと四国音楽祭2020」（高知局）は中止としたが，四国音楽祭は四国各地をロケスタイルでつなぐ演出とし無観客で実施したほか，「NHK交響楽団地方公演」（高知・高松局）「NHKこども音楽クラブ」（高知局）を実施した。

❺福祉･キャンペーンイベント

「NHK歳末たすけあい・海外たすけあい」（四国各局）をはじめ，「第４回愛媛防災シンポジウム」「NHKハート展」（松山局）を実施した。

❻スポーツイベント

「ラジオ体操・みんなの体操会」（松山・高知・徳島局）は中止としたが，「NHKラグビーパーク」（高知局），「香川県学童軟式野球大会」（高松局）を実施した。

❼地域への貢献イベント

松山局開局80年「NHKピクニックライブ」を城山公園で実施。車に乗ったまま観覧できるドライブイン形式のステージや，客席からタブレットで回答するクイズの公開収録などコロナ禍における新しい様式のイベントを実施した。

また南海トラフ地震に備えた防災イベントとして，徳島では学校に出向いて行う「NHK防災教室」を企画，高知では街歩きをしながら防災意識を高める「中道　この道　逃げる道」などのイベントを実施した。

【3】営業

四国ブロックでは，経営計画の最終年度となる20年度も受信料の公平負担の徹底に向け「支払率の向上」と「衛星契約割合の向上」を目指したが，新型コロナウイルス感染拡大の影響で，年度初頭から訪問活動を大幅に制限するに至った。上半期途中から段階的に訪問活動を再開したが，年間を通じて感染拡大防止に留意した活動を行った。

契約収納体制の整備では，19年度に進めていた法人委託事業者開発が結実し，新たに２社が業務を開始した。また，新型コロナウイルス感染拡大を契機とした生活様式の変化に適応する観点から，「訪問によらない営業」体制の整備に取り組み，特約店型業務委託先の新規開発を精力的に進めた結果，新たに14社と委託契約を締結した。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により経済的に影響を受けた事業所を対象に放送受信料免除制度の周知スポット回数を増やしたことや，同様の影響を受ける大学で，日々の生活を取り上げた地域番組に営業職員が出演し，奨学金受給対象等の学生に対する免除制度の周知にも取り組んだ。

他部署との連携により，イベント会場で受信料に関する周知活動を実施したほか，多様な受信料の手続き窓口の認知向上を図るスポットを制作し，視聴者の利便性向上と受信契約の自主申出数向上に取り組んだ。

九州・沖縄

1 放送

【1】放送の概要

❶新型コロナウイルス・影響と対応

九州・沖縄では20年２月14日に沖縄県で，20日に福岡県で，初めての感染確認が発表された。感染拡大を受けて福岡県は４月からと21年１月からの２回，政府の緊急事態宣言の対象となったほか，熊本，長崎，宮崎，沖縄の４県では「第３波」の時期を中心に県独自の宣言が出され，不要不急の外出自粛や飲食店の営業時間短縮などが要請された。

影響は医療や経済など多方面に及び，福岡県では病床の使用率が一時８割を超え，医療提供体制のひっ迫が続いた。倒産した企業は九州・沖縄で計100社を超え，経済への打撃が深刻化している。造船が盛んな長崎県では修繕中の大型クルーズ船で集団感染が発生したほか，沖縄県ではアメリカ軍基地でも感染が相次いで1,100人を超えるなど，各地に特有の影響も出ている。

最新の情報は，通常ニュースに加えて特設ニュースやL字放送を交えて随時報道した。１回目の宣言の際には平日18時台のニュースの後半で各局参加の管中特設を連日実施し，２回目の宣言時には各県の感染者数を毎朝，管中ニュースで伝えた。市民の安全・安心につなげるという視点で報道にあたった。

❷気象・災害

令和２年７月豪雨は九州各地で大きな被害が出た。線状降水帯が多数発生，３日から14日にかけての総降水量は大分県日田市で1,300ミリ超となり，熊本県天草市などでは月平均値の３倍を超えた。熊本県では球磨川の氾濫などで65人が死亡。九州全体の死者は77人にのぼり，２人が行方不明となっている。住宅被害に加え，JR肥薩線やJR久大本線で鉄橋が流されて不通になるなど社会インフラにも大きな影響が出た。NHKでは，災害の発生前から管中特設や各局でのL字放送を随時実施し，最新情報を伝えた。

９月の台風10号でも各局参加で特設ニュースを放送し，河川水位や満潮予定時刻などとともに河川カメラを活用して状況変化を伝えた。

火山活動への警戒も続いている。鹿児島県では６月に桜島で爆発的な噴火が発生し，大きな噴

石が集落から僅か100メートルの地点まで飛散。諏訪之瀬島では12月に噴火警戒レベルが初めて3に引き上げられるなど活発な活動が続いている。

❸選挙報道

6月，沖縄県議会議員選挙の投票が行われた。米軍普天間基地の名護市辺野古への移設に反対する玉城知事を支持する県政与党が過半数を維持した。午後11時58分に過半数確実を打ち出した。

7月，7人の争いとなった鹿児島県知事選挙の投票が行われ，新人の塩田康一氏が自民・公明両党が推薦した現職の三反園訓氏らを破って初当選を果たした。午後10時41分に当選確実を打ち出した。

11月，新人4人の争いとなった鹿児島市長選挙の投票が行われ，元県議会議員の下鶴隆央氏が元副市長らを抑えて初当選を果たした。午後11時8分に当選確実を打ち出した。鹿児島市長としては40歳で戦後最年少となった。

1月，北九州市議会議員選挙の投票が行われ，開票所取材で一部当選確実を打ち出した。菅内閣発足後，初めての政令市の市議会議員選挙，自民党は立候補した現職22人のうち6人が落選した。市民1,000人を対象にインターネットのアンケート調査を行い，北九州市の課題などを伝えた。

3月，福岡県知事選挙が告示された。小川前知事が病気治療のため辞職したことに伴うもので，元副知事と元市議会議員が立候補した。投票は4月11日に行われた。

❹事件・事故・裁判

6月，衆議院長崎3区で当選した谷川弥一議員の陣営が法律の規定を超える報酬を支払ったとして買収の疑いで書類送検。陣営関係者2人が起訴され有罪に。1人が略式起訴。

8月，福岡市の商業施設で21歳の女性が刃物で刺されて殺害された。逮捕された更生保護施設に入所する15歳の少年について，家庭裁判所は「刑事処分が相当」と判断し，検察庁に逆送。起訴され成人と同じ刑事裁判が開かれる見通し。

9月，沖縄で国の持続化給付金の不正受給に関わったとして沖縄タイムス社員や税理士などのグループが逮捕され，大規模な詐欺事件に発展した。

12月，鹿児島県日置市で父親や祖母など5人を殺害した罪などに問われた男に死刑判決。男は言い渡し直後に検察官や遺族側に飛びかかった。

2月，福岡県飯塚市で，9歳の小学生が遺体で見つかる。父親と幼いきょうだいの行方が分からず警察が追跡。父親はホテルで飛び降り重傷，きょうだいはすでに死亡。父親が殺害したとみられる。

3月，福岡県篠栗町で，5歳の男の子を餓死させたとして母親と「ママ友」の女を保護責任者遺棄致死の疑いで逮捕。餓死という衝撃に加え，捜査で「ママ友」の女が母親や男児の一家を「マインドコントロール」していたことが判明した。

3月，北九州市で市民が襲撃された4事件で，殺人罪などに問われた特定危険指定暴力団「工藤会」のトップ，野村悟総裁らの裁判が結審。野村被告に死刑が求刑された。一連の襲撃が「トップの指示」によるものと認定されるかが焦点。8月に判決が下される。

❺スポーツ

5月，国際水泳連盟は，21年に福岡市で予定していた水泳の世界選手権を22年に延期すると発表した。東京五輪延期を受けての対応。

9月，大相撲秋場所で関脇・正代が熊本県出身力士として初優勝し，場所後，大関に昇進した。

10月，プロ野球「ソフトバンク」が3年ぶりのリーグ優勝を果たす。日本シリーズでも巨人に4連勝し，4年連続の日本一に輝いた。

11月，例年福岡で行われる大相撲の本場所を東京で実施した。力士の移動などに伴う感染リスクを勘案しての対応である。同月，福岡出身の元大関・琴奨菊が引退した。15年以上在籍した幕内から十両に陥落していた。

12月，サッカーJ2の「アビスパ福岡」が5年ぶりのJ1復帰を決めた。九州・沖縄のJ1は「大分トリニータ」「サガン鳥栖」に続いて3チーム目。

3月，福岡生まれ佐賀育ちの柔道・バルセロナ五輪金メダリストの古賀稔彦さんが死去した。

【2】地域放送番組

❶定時番組

九州・沖縄ブロック

『おはよう九州沖縄』 Ⓖ

（除く沖縄）月～金　7:45～ 7:55
月～金　7:55～ 8:00

第1回18.4.2／7時45分～各局のネットワークを生かした九州・沖縄地方の最新のトップニュースを伝えたほか，リポート企画で構成。7時55分～九州・沖縄地方の詳細な気象情報のほか各地の季節の話題などを伝えた。

『実感ドドド！』 Ⓖ

金　19:30～19:55
再 土　7:35～ 8:00

第1回16.4.22／生放送の報道情報番組。ドう

なってるの？ドうしてなの？ドうすればいいの？という３つの“ド”を使って，地域の課題や事件・事故，話題のテーマを取り上げ，より親しみやすく分かりやすいスタイルで伝えた。／各局タイトル：福岡『実感ドドド！@福岡』，熊本『くまもとの風』，長崎『長崎人（じげもん）』，鹿児島『かごスピ』，宮崎『みやざき熱時間』，大分『フカイロ！』，佐賀『金サガ』，沖縄『きんくる～沖縄金曜クルーズ』

『はっけんTV』 Ⓖ

九州ブロック　月～金　11:30～11:45
福岡県域　月～金　11:45～11:54

第１回13.4.3／九州・沖縄“８県（はっけん）”の今を“発見（はっけん）”する番組。各県の行楽・イベント情報など，九州・沖縄のネットワークを生かして生放送で伝えた。福岡拠点局（以下，福岡局）・北九州局は，11時45分から引き続き県域で，暮らしに役立つ身近な情報を伝えた。／各局タイトル：熊本『テレメッセくまもと』，長崎『ながさきナビゲーター　ヒルミテ』，鹿児島『ひるまえクルーズかごしま』，宮崎『昼前ほっとみやざき』，大分『ひるいろ』，沖縄『沖縄ちゅらTV』

『はっけんラジオ』 R1

月～金　17:05～17:55

第１回13.4.1／各地の自治体や防災士などとの関係づくりを進め，ふだんからラジオを聴いてもらうことで，“地域の安全・安心ラジオ”の機能強化に努めた。ニュース・気象予報や防災対策情報に加え，身近な地域の情報などを，福岡局のスタジオから生放送で伝えた。九州・沖縄各県の放送局（北九州・熊本・佐賀を除く）から出前放送を行った。／大分（金）『５時いろラジオ』

『六本松サテライト』 新

FM　金　23:00～23:50
R1　再 日　15:05～15:55

第１回20.4.3／九州・沖縄の最新の音楽シーンや，第一線で活躍中の日本のロック・ポップスのアーティストのサウンドを地域の音楽ファンに向けて紹介した。

県域

『ロクいち！福岡』 Ⓖ

福岡県域　月～金　18:10～18:30
福岡単　月～金　18:30～19:00

第１回15.3.30／福岡のその日の出来事を，いちばん早く，詳しく，分かりやすく伝える「地域いちばん」のニュース番組を目指した。事件・事故などの最新情報，暮らしに直結する重要課題の行方，東京や世界などの動きと福岡との関わり，スポーツ，街角情報などを分かりやすく伝えた。／各局タイトル：北九州『ニュースブリッジ北九州』，熊本『クマロク！』，長崎『イブニング長崎』，鹿児島『情報ＷＡＶＥかごしま』，宮崎『イブニング宮崎』，大分『いろどりOITA』，佐賀『ニュースただいま佐賀』，沖縄『おきなわHOTeye』

❷主な特集番組

九州・沖縄ブロック

『地域特集　新型コロナウイルス　感染爆発と医療崩壊を防ぐには』 Ⓖ

福岡局　4.17／19:30～19:55

『おはよう九州沖縄スペシャル』 Ⓖ

「どう向き合うのか　新型コロナウイルス」
福岡局　4.25／ 7:35～ 8:00
「豪雨災害　コロナ禍での避難対策」
福岡局　6. 6／ 7:35～ 8:00

『緊急特番　新型コロナ“第２波”の衝撃～いま北九州で何が～』 Ⓖ

福岡・北九州局　6. 5／19:33～20:03

『実感ドドド！　スポーツのチカラ　スペシャル』 Ⓖ

「間もなく開幕！プロ野球からのメッセージ」
福岡局　6. 5／20:03～20:43

『大記録を語る～ソフトバンクホークス　千賀滉大×甲斐拓也　ノーヒットノーラン～』 Ⓖ

福岡局　6.17／23:45～ 0:10

『実感ドドド！×四国らしんばん』 Ⓖ

「“豪雨”×“新型コロナ”から命を守る」
福岡局　6.19／19:30～20:14

『令和２年沖縄全戦没者追悼式』 Ⓖ

沖縄局　6.23／11:50～11:54
※沖縄県域は11:54～12:50マルチ編成

『ニュース「沖縄　慰霊の日」関連』 Ⓖ

沖縄局　6.23／18:10～18:20

『アサタビ！　特別編』 Ⓖ

土　7:35～ 8:00
「元気です！観光地からの“自撮り”リポート」
福岡局／ 6.27
「お堀ばたで会いましょう　～福岡県　柳川市～」
福岡局／ 7.25

「南の潮風を感じて
～鹿児島　日置市・南さつま市～」
福岡局／ 8.29
「歩いて楽しむ城下町～熊本市～」
福岡局／10.24
「わたし　龍に会いたい！
～高校生　長崎をゆく～」
福岡局／11.28
「街を彩る音楽の調べ～福岡県みやこ町～」
福岡局／12. 5
「海人（うみんちゅ）魂つなぐ町
～沖縄　糸満市～」
福岡局／ 1.30
「えびすさんがほほ笑む街～佐賀市～」
福岡局／ 3.27

『緊急報告　豪雨から命を守るために』 Ⓖ
福岡・熊本局　7.10／19:30～20:15

『六本松サテライト』「特別編　テレビ版」 Ⓖ
福岡局　7.27／23:45～ 0:15

『飼育員は見た！動物たちの決定的瞬間』 Ⓖ
福岡局　8. 1／ 7:35～ 8:00

『長崎原爆の日』「被爆75年　いまこそ伝えたい」 Ⓖ
長崎局　8. 9／18:05～18:45

**『最後まで白球を追いたい
～行橋・遠賀高校連合チームの夏～』** Ⓖ
福岡局　8.10／22:45～23:10

『六本松ベース　feat. BiSH』 Ⓖ
福岡局　10. 9／22:45～23:15

『祝！ 3 年ぶりリーグ優勝　おめでとうホークス』 Ⓖ
福岡局　10.27／22:30～23:15

**『首里城火災から 1 年
沖縄から響け　エールソング』** Ⓖ
沖縄局　10.30／19:30～20:15

『Run！Run！九州沖縄』 Ⓖ
「カルスト台地で絶景ラン！～北九州　平尾台～」
福岡局　10.30／20:15～20:40

『大相撲11月場所直前！あつまれふるさとの力士たち』 Ⓖ
福岡局　11. 7／ 8:15～ 8:58

『高専ロボコン2020』「九州沖縄地区大会」 Ⓖ
福岡局　11.23／13:05～13:59

**『祝！ 4 年連続日本一
福岡ソフトバンクホークス』** Ⓖ
福岡局　11.25／22:30～23:15

**『理屈やなかろうもん
～医師・中村哲73年の軌跡～』** Ⓖ
福岡局　12. 4／19:30～20:15

『たからびとシアター』 Ⓖ
福岡局　12. 4／20:15～20:40

**『思いをこめタスキをつなぐ
～ドキュメント全国高校駅伝～』** Ⓖ
福岡局　1.11／11:10～11:53

『九州沖縄　○○すぎる！選手権』 Ⓖ
福岡・大分・宮崎・沖縄局　1.29／19:30～20:42

『NHKドキュメンタリーセレクション』 Ⓖ
「日本一勝った男の“引き際”
～現役最年長騎手　的場文男～」
福岡局　2.21／16:20～17:00

『六本松サテライト　テレビ版』 Ⓖ
福岡局　3. 1／ 0:05～ 0:10

『自然を醸す～宮崎　小さなワイナリーの物語～』 Ⓖ
宮崎局　3. 9／22:50～23:15

『被爆調査　76年目の真実』 Ⓖ
福岡局　3.15／22:45～23:10

『六本松ベース 2』 Ⓖ
福岡局　3.16／ 0:04～ 0:34

『爆笑オンエアバトル F オンライン』 Ⓖ
福岡局　3.26／22:00～22:43

**『はっけんラジオ　きょうはたっぷりJリーグ！
～開幕直前　九州・沖縄のチームを徹底分析！～』** R1
福岡局　2.25／16:05～17:55

『六本松サテライト』「特別編」 FM
福岡局　7.31／23:00～23:50

【県域】

福岡拠点局

『ふく！なび』 Ⓖ
（随時）　20:42～20:44ほか

『好いとっと』 Ⓖ
（随時）　12:40～12:45ほか

『福岡に笑顔を！』「精華女子吹奏楽部」 Ⓖ
6.24／10:45～10:47

『疾走する男たち　山笠その瞬間』 Ⓖ
7.15／22:30～23:15

『おかげさまで90年！福岡オモシロヒストリー』 Ⓖ
12.11／19:30～20:42

**『わたしの“好いとっと”
～NHKのど自慢で聞いてみました～』** Ⓖ
12.12／ 7:35～ 8:00

『みんなが出るテレビ！生放送SP』 Ⓖ
12.12／13:50～16:20

『ライフ・サポーター　あなたを守る防災ラジオ2021〜一人ひとりが考える防災〜』 R1
3.13／12:15〜12:55

北九州局

『Japan Railway Journal』 G
「観光列車でコロナ禍から再出発〜平成筑豊鉄道〜」
9.11／20:15〜20:40
『角打ち放浪記スペシャル　たんぽぽご満悦　人情きらめくワンダーランド』 G
10.17／ 7:35〜 8:00
『ふるさとに奏でるクラシック　〜まろのSP日記から〜』 G
11.29／13:05〜13:48
『ハレピョンカフェ』 G
（月２回）木　20:42〜20:44
『きたきゅーラジオ』 R1
（月１回）12:20〜12:55

熊本局

『マッスル天気』 G
月〜金　17:57〜18:00
『くまもとの風スペシャル』 G
「坂本龍一　被災地をつなぐオーケストラ」
4. 9／19:57〜20:42
『くまもとの風SP』 G
「豪雨から３か月　どう進める？被災地の復興」
10. 8／19:57〜20:42
『豪雨から１か月　被災地からの声』 G
8. 7／19:30〜19:55
『2020防災・命のラジオ』 R1
9. 1／12:20〜13:00

長崎局

『長崎人（じげもん）』 G
「遠藤周作〜人生を秘めた未発表小説〜」
12.11／19:30〜20:13
『新型コロナ　長崎にいま、何が』 G
1.22／19:30〜19:55
『被爆75年　アナウンサーと高校生による朗読シアター』 FM
12.20／15:50〜17:00

鹿児島局

『終戦75年特集　果てなき殲滅（せんめつ）戦』 G
「第１集　狙われたKAGOSHIMA」
8. 6／19:30〜19:55
「第２集　憎しみの連鎖の末に」
8. 7／19:30〜19:57
『かごスピ　スペシャル』「防災シンポジウム2021　巨大地震“その時”鹿児島は」 G
3. 5／19:30〜20:42

宮崎局

『みやざき熱時間スペシャル　ウイルスの危機と立ち向かうために〜口蹄疫から10年〜』 G
4.17／19:30〜20:42
『みやざき熱時間　Jで輝け！テゲバジャーロ宮崎』 G
12. 4／20:15〜20:40

大分局

『フカイロ！』 G
「感染確認から３ケ月
“コロナ危機”に揺れる大分」
6.12／19:30〜20:15
「豪雨から１か月　大災害にどう向き合うか」
8. 7／19:30〜20:15
「おおいた減災スクラム
災害リスクを地形から徹底解剖！」
3.12／19:30〜20:15

佐賀局

『さが★てん557』 G
月〜金　17:57〜18:00
『有田焼400年の底力〜コロナ禍に挑む窯元たち〜』 G
3.26／19:57〜20:40

沖縄局

『沖縄の歌と踊り』 G
「首里城復興祈念公演〜執心鐘入・二童敵討〜」
4.24／19:30〜20:15
「正月特集　沖縄新喜劇『走れ！トートーメー』」
1. 3／17:00〜18:00
「大城立裕アーカイブス選」
3.19／19:30〜20:42
『きいやま商店のがんじゅ〜ですか？』 G
7.10／19:30〜20:15
『あの興奮をもう１度！うちなーんちゅの甲子園』 G
「高校野球名勝負SP“春のセンバツ”編」
10.10／10:05〜11:35
「高校野球名勝負SP“夏の甲子園”編」

10.17／10:05〜11:35

『うちなーポップス50年史』 Ⓖ

「名曲は時代をこえて〜Ⅰ〜」

1.14／19:30〜20:30

「名曲は時代をこえて〜Ⅱ〜」

1.15／19:30〜20:30

『沖縄　正念場の冬〜コロナと闘う　医療現場〜』 Ⓖ

2.12／19:30〜19:55

『うちなーであそぼ スペシャル』 Ⓖ

「さぁたぁとうちなー大冒険」

3.13／10:55〜11:18

「編集後記」

3.13／11:18〜11:20

【3】スポーツ中継

❶野球

〔高校野球〕

各県独自高校野球大会

（県域放送）

長崎県高等学校野球大会

準決勝 R1／ 8. 1

決勝 R1／ 8. 2

2020鹿児島県夏季高等学校野球大会　鹿児島

準決勝 Ⓖ Ⓔ R1／ 7.27

決勝 Ⓖ Ⓔ R1 FM／ 7.29

宮崎県高等学校野球大会2020

準決勝 Ⓖ Ⓔ R1 FM／ 7.30

決勝 Ⓖ Ⓔ R1／ 8. 1

2020大分県高等学校野球大会

決勝 Ⓔ／ 7.31

SAGA2020　SSP杯　佐賀県高等学校スポーツ大会　野球

決勝 Ⓖ Ⓔ／ 8. 4

2020沖縄県高校野球夏季大会

準決勝 Ⓖ Ⓔ R1／ 8. 1

決勝 Ⓖ R1／ 8. 2

『第147回九州地区高等学校野球大会』（長崎）

準決勝，決勝 FM／11. 5，6

熊本大会 R1 FM／10.10，11

長崎大会 R1／10.17，18

鹿児島大会 R1／10.10 R1 FM／10.11

宮崎大会 R1／10.11 R1 FM／10.13

大分大会　準決勝のみ R1 FM／10.10

佐賀大会 FM／11. 5，6

〔プロ野球〕

（九州・沖縄ブロック）

「ソフトバンク」×「西武」 Ⓖ／ 7.31

「ソフトバンク」×「楽天」 Ⓖ／ 9.18

「ソフトバンク」×「オリックス」 Ⓖ／ 9.24

「ソフトバンク」×「西武」 Ⓖ／10.23

パ・リーグクライマックスシリーズ第１戦

「ソフトバンク」×「ロッテ」 R1／11.14

パ・リーグクライマックスシリーズ第２戦

「ソフトバンク」×「ロッテ」 R1／11.15

❷サッカー

〔Jリーグ（J1／J2／J3）〕（各県域）

「福岡」×「北九州」 Ⓖ／10. 4

「鹿児島」×「熊本」 Ⓖ／11. 7

「熊本」×「藤枝」 Ⓖ／11.14

「北九州」×「岡山」 Ⓖ／11.28

「鳥栖」×「大分」 Ⓖ／12.19

「大分」×「徳島」 Ⓖ／ 2.27

「福岡」×「名古屋」 Ⓖ／ 2.28

「琉球」×「磐田」 Ⓖ／ 2.28

「宮崎」×「盛岡」 Ⓖ／ 3.14

「福岡」×「鳥栖」 Ⓖ／ 3.21

❸その他のスポーツ（各県域）

〔駅伝〕

第34回鹿児島県高等学校　女子駅伝競争大会

鹿児島県 FM／11. 5

〔ハンドボール〕

高校総体ハンドボール

沖縄県　女子決勝 R1／ 7.24

男子決勝 R1／ 7.24

2 技術

【1】緊急・災害報道，選挙関連

７月４日，大雨特別警報が発表された記録的な豪雨により熊本県で球磨川などが氾濫し，人吉市や八代市を含む熊本県南部に甚大な被害をもたらした。熊本局の衛星中継車が人吉市に向けて出動したが，至る所で発生した土砂災害や水害の影響で安全確保のめどが立たず，八代IC付近での待機を余儀なくされた。当日は現地入りできず，一旦，衛星中継車は帰局することになった。翌５日は別車両で人吉市に到着することができ，モバイル伝送での中継対応を実施した。同時に，衛星中継車は熊本局から再度人吉市へ，福岡局からは芦北町へ出動し，翌６日から素材伝送対応を行った。モバイル中継は15日まで，熊本局と福岡局の衛星中継車はともに８月４日まで，全国各地から要員支援の体制を組み，甚大な被害をもたらした災害報道の中継・伝送対応を１か月

にわたり継続した。そのほかの地域でも７月４日から７日にかけて記録的な大雨となり，長崎局が７日に大村市，福岡局が７日から８日まで大牟田市でモバイル伝送による中継を行った。

台風10号による豪雨で９月７日，宮崎県椎葉村で４名が行方不明となる土砂災害が発生した。宮崎局から衛星中継車が出動し，中継・伝送対応を11日まで継続した。

福岡市の飲食店で，女児２名を人質にした立てこもり事件が４月21日に発生した。近隣での中継場所の確保が難しく，モバイル伝送での中継対応とした。犯人は身柄を確保され，女児２名は無事保護された。

入院治療中の小川福岡県知事が２月22日に辞職を表明したため，入院先の病院近くからモバイル伝送による中継を行った。

選挙関連では６月の沖縄県議会議員選挙，７月の鹿児島県知事選挙，11月の鹿児島市長選挙の対応を行った。

【2】番組制作

新型コロナウイルス感染拡大の影響により，年度当初に予定されていた番組の中止や延期が続いたが，８月下旬から徐々に番組制作が再開され，九州･沖縄の地元アスリートの活躍を含めてスポーツの感動を届ける中継や視聴者リモート参加型の番組，歴史・伝統・文化を伝える特番など，身近な放送局として地域で暮らす人々の元気と情熱を発信する質の高い番組制作と送出に取り組んだ。

福岡局では９月と２月に，一般募集した観客をリモート会議システムでスタジオとつなぎ，ライブ配信に加えて視聴する観客の表情を舞台セットおよび客席側に設置した巨大LEDビジョンに映し出し，一体感のあるオンライン音楽番組『六本松ベース』を制作した。コロナ禍においても，視聴者との結びつきを強化する新しい制作手法を開発した。

戦後75年の節目を刻む６月23日「沖縄全戦没者追悼式」，８月９日「長崎平和祈念式典」の中継を国際放送でも伝え，恒久平和への願いを世界に向けて発信した。

プロ野球では，九州・福岡に拠点を置く「福岡ソフトバンクホークス」のリーグ，日本シリーズの優勝特番を放送した。優勝直後の監督や活躍した選手たちの喜びの声を九州・沖縄の視聴者に届けた。また，今シーズン，宮崎県にJリーグクラブチームが誕生したことで，九州・沖縄全県にプロサッカーチームがそろった。各地のホーム開幕戦では，地元ファンの期待と盛り上がりを中継で伝えた。

年末の『ゆく年くる年』は，令和２年７月豪雨で甚大な被害を受けた熊本県人吉市の青井阿蘇神社から，欄干が流された禊橋（みそぎばし）や参拝客の表情を伝え復興へ向けた思いを全国に発信した。

県民に支えられ，助けられて90年を迎えた福岡局では，福岡の皆様へ感謝の気持ちを込めて全局体制でイベントや番組制作に取り組んだ。開局90年の歩みを『おかげさまで90年！福岡オモシロヒストリー』と題して演劇で振り返る番組，市町村対抗リモート運動会や視聴者の思い出の地を紹介していく生放送特集番組などを放送して地域に寄り添った情報発信に取り組んだ。

【3】地域放送サービスの充実

６月の『実感ドドド！』ではTwitterによるメッセージを募集し，SIGN（スポーツ・双方向番組作画装置）を使って本線スーパーするサービスに取り組み，約110件のツイートが番組に寄せられた。

７月，９月，10月のプロ野球放送と連動したデータ放送にて，視聴者からメールやTwitterを使って投稿してもらった「応援メッセージ」を紹介し，１試合あたり最大3,000件を超えるメッセージが寄せられた。リーグ優勝と日本一特番では，試合終了後のセレモニーや選手へのインタビューなど流動的に入ってくる取材映像をリアルタイムで編集し送出するシステムを構築し，選手・監督・ファンの喜びの表情を生放送の中で余すことなく紹介した。ホームページとTwitterでメッセージを募集し，リーグ優勝特番で300件，日本一特番では500件を超えるメッセージが寄せられた。

【4】放送設備の整備と機能強化

沖縄局（７月）と長崎局（８月）の運行装置，北九州局（９月）と鹿児島局（３月）のニュース送出設備の更新工事を行い，万全の体制でカットオーバー作業を完了し運用開始した。また，福岡局・大牟田支局の移転（11月）では，運用改善と工期短縮・低コストで移転作業を行い運用開始した。

放送設備の信頼性向上を図るため，域内の老朽化したテレビ・ラジオ・FM親局，中継放送所の送信機，放送プログラム伝送用のSTL装置更新やNHK共聴の光化工事を進め，設備の基盤強化に努めた。

【5】電波確保と良質な受信環境整備

20年度は，令和２年７月豪雨で球磨川の氾濫により道路や電柱が流失する被害があった。送信所では長時間の停電，出向道路の崩壊や土砂崩れの被害があり，非常用送信車両（以下，Eカー）のスタンバイ，停電バックアップなどを実施した。特に熊本県の鶴掛山FXでは道路の寸断により復電の見通しが立たず，ヘリコプターによる仮設エンジン運搬も検討したが，電力会社の協力により仮送電し，その後本復旧させた。NHK共聴設備も電柱流失などで多くの施設で放送断が発生したが，速やかに仮復旧を行った。避難が長期化したため，自治体と調整し避難所へのTV設置も行った。また，９月には台風10号が非常に強い勢力で九州・沖縄に接近し，129の送信所で停電が発生した。長時間の停電となった44局を携帯発電機などでバックアップし，放送継続に努めた。宮崎県の神門（みかど）TV中継局が被災し，パンザマストの基礎が流失，放送継続が困難と判断し，Eカーのバックアップスタンバイ後，仮設中継局を建設し対応にあたった。

また，中波難視聴改善を図るため，４月に鹿児島・種子島FM補完局（プログラムはR1）を開局した。

3 視聴者対応

【1】広報

20年度，九州・沖縄の各県には，視聴者から電話などで約13万950件の意見・問い合わせが寄せられた。

❶番組広報

福岡局では，開局90年を迎え，「みんなが出るテレビ」をテーマにしたポスターや記念ソングを制作，12月６日の開局記念日にあわせたローカル特番の放送では，SNSなどを利用した集中広報を展開した。

北九州局では，９月の『Japan Railway Journal』「平成筑豊鉄道」の放送にあわせ，クイズなどの要素を取り込んだ特集ホームページを開設し，放送とともに楽しめる広報展開を行った。

熊本局では，１月に『クマロク！』とNHKプラスのPRをフリーペーパーの年始版に掲載。２月には熊本市内の図書館に『大河ドラマ』「青天を衝（つ）け」を紹介するコーナーを設置した。

長崎局では，被爆から75年を迎え，平和への取り組みや思いを伝える番組の広報キャンペーンを展開，アーカイブスの戦争証言プロジェクトと連携し，関連番組の告知も行った。

鹿児島局では，５月にTwitterアカウントを開設。ラジオドラマ『仮想郵便局』の放送では，戦略的な広報展開を行い，特設ホームページや関連ツイートに大きな反響があった。

宮崎局では，『イブニング宮崎』の広報で県内の主要駅や路線バスにポスターを集中的に掲示。JR宮崎駅にオープンした大型商業施設のビジョンにキャスターが登場するPRスポットを１日300回余上映し，TwitterなどSNSで反響を得た。

佐賀局では，４K番組『KARATSU～ジャック・マイヨールが愛した海～』を制作。撮影で潜水したアナウンサーがPRのため地元CATV番組へ出演，地元新聞やウェブニュースにも紹介する記事が掲載された。

沖縄局では，首里城火災から１年となる10月に沖縄・首里城に関する番組を集中編成した。新聞折り込み広告やSNSなどを利用した広報を展開するとともに，『BS時代劇』「テンペスト」の再放送に合わせ，首里城公園内で衣装や小道具，ロケ風景写真を展示し，番組をPRした。

❷地域サービス

コロナ禍で会館の見学受け入れが困難となる中，福岡局では，アナウンサーが講師となり，スマホ撮影によるニュースタジオのリモート見学や話し方のコツを学習するオンライン授業を福岡市内の４つの小学校で行い，離島の小学生の参加も実現した。佐賀局では，１月に若手記者やアナウンサー，２月に気象予報士が講師として小学校の授業にオンラインで参加し，公共メディアの理解促進を図った。沖縄局では，２月，リモート形式で会館見学を再開，県内２校の小学校が参加した。

また，長崎局では，活動の場を奪われた県内の放送部所属の高校生を対象に，アナウンスセミナーを実施するとともに，「長崎朗読シアター」イベントを開催，活動の成果を発表する場を設けた。

そのほか，鹿児島局では，コロナ禍で県内の成人式が中止となる中，応援キャンペーン「新成人未来を語る」を展開した。県内全43市町村の成人の言葉を１分動画でニュースやネットで放送し，鹿児島県出身のミュージシャン・長渕剛さんと新成人のオンライン交流の場も設けた。

❸理解促進活動

福岡局では，11月に全国最大規模となる330インチ大画面を備えた８Kシアターがオープンし

た。新型コロナ対策を講じた上で，大相撲やN響など臨場感あふれる８K放送の受信公開を実施した。

また，長崎局では，02年にNHKが収集し長崎原爆資料館に所蔵された，被爆者が描いた「原爆の絵」を20年度に改めて８Kで撮影し，高精細の映像データとして保存し，３月には，関連番組をBS４Kで放送した。一連の取り組みを通じて，BS４K・BS８K放送への理解促進を図った。

北九州局では，郵便局の新人職員を対象にアナウンサーが話し方講座を実施，福岡局や鹿児島局，宮崎局では，アナウンサーやNHK職員が出演する独自のスポットを制作して，訪問によらない受信料手続きを促進する取り組みを行った。

大分局では，県内18市町村のハザードマップを紹介する企画「おおいた減災スクラム」を11月に開始した。また，放送会館が大規模災害により機能停止状態となった場合を想定して，協定を結んでいる大分県教育会館から番組を送出する訓練を実施した。

【2】イベント事業

20年度，九州・沖縄地方では，新型コロナウイルスの影響によりさまざまな公開番組やイベントが中止となったが，ウィズコロナ時代に適したオンラインイベントや感染防止策を講じた運営による公開番組などを計77本実施し，３万8,983人の来場者があった。

❶全国・地域放送番組の公開放送

『NHKのど自慢』『民謡魂　ふるさとの唄』などの全国放送公開番組や，『六本松サテライト』の地域放送公開番組を九州・沖縄で17本実施した。来場者3,784人。

また，地域放送番組『六本松ベース』や『爆笑オンエアバトルF』は，新たな視聴者コミュニケーションの手法開発のため，コロナ禍でも視聴者が参加できるオンライン公開収録として実施した。

❷地域企画イベント

福岡局では「万葉集」を素材にして若年層向け番組と連動して発信した公開収録「イケボで妄想万葉集！」や８Kの可能性をアートやデジタルを軸に探る「８K Campus」をオンラインイベントとして実施し，合わせて159人の参加があった。また，福岡局の開局90年の企画として，地域と連動した会館公開「六本松 ヒカリのエール」を実施し，屋内277人（８日間），屋外1,950人（23日間）の来場があった。

鹿児島局ではイベントの派遣が難しい離島エリアに住む高校生との接触率向上と地域振興を目的に「NHK後夜祭」をオンラインイベントとして開催，高校生245人が参加した。

❸教育・こどもイベント

沖縄局では竹富町，佐賀局では大町で「NHKこども音楽クラブ」を開催し，660人を超える小学生が参加した。また，福岡，北九州，大分局では「おかあさんといっしょ宅配便 ガラピコぷ～小劇場」を開催し，合わせて1,400人を超える家族連れが来場した。学校教育への放送番組活用を考える「第69回九州地方放送教育研究大会」は，大分県で開催予定だったが，コロナ禍によりオンラインで実施した。九州・沖縄各県の幼稚園・保育園，小・中・高等学校の教育関係者238人が参加したほか，アーカイブス視聴が612回再生されるなど，新しい大会の在り方を示すことができた。

❹スポーツ・福祉・キャンペーン

福岡局ではNHKのダイバーシティへの取り組みをより多くの人に知ってもらうことを目的に，障害のある人から寄せられた詩を紹介する「NHKハート展」を天神地下街で行い，246人（10日間）の来場があった。

❺その他（展覧会）

「第67回日本伝統工芸展」　（2.3～8）5,850人

【3】営業

20年度においては，新型コロナウイルスの感染拡大によって，年度当初の４月７日に７都道府県，４月16日に全国での緊急事態宣言が発せられて以降，年間を通じて営業活動が制限される結果となった。基盤整備業務やポスティング等，非対面型の契約勧奨業務などに切り替えての活動を余儀なくされた。

下半期に入り，対面型の訪問活動を順次再開し，時間制限や感染拡大防止策をとった活動を再開したが，営業目標は大幅なマイナス進捗（しんちょく）の結果となった。また，次期経営計画において訪問営業の段階的縮小の方針が示され，21年度以降，順次法人委託との契約が終了となり，訪問によらない活動への転換を一層進めることとなった。

クレーム抑止活動は，訪問活動が制限されたことで大幅に発生が抑止されたものの，感染拡大防止を踏まえた活動方法など，コロナ禍の環境に合わせた現場指導を徹底し抑止に取り組んだ。また定期的な消費者生活センターへの訪問により視聴者動向の把握に努めた上で，訪問員への指導を実施した。

職員による事業所対策や民事業務についても，

感染拡大防止に配慮した活動となったため，より限定的な取り組みとなり，計画を下回ることになった。

こうした中，ブロックでは年度初頭から域内の若手職員を中心とした「９Ｋプロジェクト」を立ち上げ，「訪問によらない営業活動」と「視聴者コミュニケーション活動」をテーマに議論をスタートさせ，NHKのコンテンツをPRすることによる理解促進や契約化推進による新たな業務モデルの開発に努めた。結果，放送番組や各種アプリ，インターネットコンテンツなどをさまざまな媒体でPRし，理解促進活動を展開するとともに，不動産特約店や大学生協等と連携した取次活動を進めた。QRコードを活用したポスティングによる契約促進活動についてもブロックが一体感をもって取り組んだ。NHKの価値を高め支持率の向上に努めるこうした取り組みは，21年度の新たな営業活動につながるものである。

第5章

経　営

経営情報

概　況

20年度は，新型コロナウイルス感染症への警戒・対応が継続する中，NHKは放送事業者で唯一の特別措置法に基づく指定公共機関として，あらゆる伝送路を活用して，公平・公正で正確な情報を伝えるとともに，学びの機会や家族で楽しめる多様で質の高いコンテンツを提供するなど，命と暮らしを守る“公共メディア”の使命を果たすために総力を挙げて対応した。海外に向けては，新型コロナウイルスに関する国内番組や動画を英語化して発信した。感染拡大防止のため番組収録，ロケ，イベントなどを一時中断したが，運用ルールをまとめたマニュアルを整備したり，リモート制作や作業の自動化を取り入れるなど，「ウィズコロナ」に対応した作り方改革を進めた。また，在宅勤務やリモートワークなど，新たなワークスタイルや多様な働き方を推進した。営業活動に関しては，感染拡大を受けて４月から全国で訪問活動等を停止し，６月からは感染防止策を徹底した上で段階的に再開した。ポストコロナ時代を見据え，今後は訪問によらない営業活動への移行を進める。感染拡大を踏まえた緊急的な措置として，持続化給付金の受給事業者を対象に受信料の免除を実施し，５月から21年３月末まで申請を受け付けた。

７月の記録的豪雨や台風，地震などの災害発生時には全局体制で防災・減災報道に取り組んだほか，首都直下地震などの大規模災害の際に確実に放送・サービスをお届けするため，本部の代替として大阪拠点放送局の機能強化に着手した。

インターネット活用業務では，４月から常時同時・見逃し番組配信のサービス「NHKプラス」を本格的にスタートさせ，21年３月からは地方向け放送番組の見逃し配信を開始。“公共メディア”への進化に向けて大きな一歩となった。

受信料については，2.5％相当の値下げを10月から実施し，視聴者のみなさまへの周知・広報を進めた。

グループ経営改革では，制作系子会社のNHKエンタープライズとNHKプラネットが合併し，４月に新しいNHKエンタープライズとしてスタート。改革をよりスピーディーに進めるための中間持株会社設立と財団統合を目指す方針を決定した。

20年２月，放送法改正案が国会に提出され，受信料還元の原資を明確にするために剰余金を積み立てる新たな勘定科目を設定することや，中間持株会社を設立することなど，NHKが要望した項目が盛り込まれた。

「新しいNHKらしさの追求」をキーコンセプトとする「NHK経営計画（2021-2023年度）」が20年１月に経営委員会で議決され，公表した。放送波を整理・削減するとともに，550億円規模の支出削減を行い，スリムで強靱な「新しいNHK」を目指すことや，23年度に受信料を値下げする方針などを盛り込んだ。

経営体制

1　経営委員会

経営委員会は，NHKの経営に関する基本方針や中期経営計画，毎年度の予算・事業計画，番組編集の基本計画など，放送法に定められたNHKの重要事項を審議・議決する最高意思決定機関であるとともに，役員の職務の執行を監督する機関である。また，会長の任免，副会長・理事の任免の同意，会計監査人の任免などを行う。

【1】構成

20年度末の委員会の構成メンバーは次のとおり。

委員長　森下　俊三〈関西情報センター会長〉
（2015年３月１日委員就任／2018年３月13日委員長職務代行者就任／2019年12月24日委員長就任）

委員長職務代行者
村田　晃嗣〈同志社大学法学部教授〉
（2018年3月1日委員就任／2019年12月24日委員長職務代行者就任）

委　員　明石　伸子〈NPO法人日本マナー・プロトコール協会理事長〉
（2019年６月20日就任）
井伊　雅子〈一橋大学国際・公共政策大学院教授〉
（2015年３月１日就任）
礒山　誠二〈九州リースサービス代表取締役社長〉
（2019年12月11日就任）
尾崎　裕〈大阪瓦斯取締役相談役〉
（2021年3月1日就任）
堰八　義博〈北海道銀行代表取締役会長〉
（2016年6月20日就任）
高橋　正美〈常勤／元損害保険ジャパン日本興亜代表取締役副社長執行役員〉
（2017年2月16日就任）
長谷川　三千子〈埼玉大学名誉教授〉
（2013年12月11日就任）
不破　泰〈信州大学学術研究院（工学系）教授〉
（2021年3月1日就任）
水尾　衣里〈名城大学人間学部教授〉
（2019年12月11日就任）
渡邊　博美〈福島ヤクルト販売代表取締役会長〉
（2016年6月20日就任）

【2】会議

会議は24回開催され，法定議決事項について審議し，決定するとともに，その他の基本的事項についても審議，検討を行った。審議にあたっては，執行部から詳細な説明を聴取するとともに，特に重要な案件については数次にわたって審議を重ねた。会長から，四半期ごとの職務の執行状況等について報告を受けた。選定監査委員からは，「経営委員会委員の服務に関する準則」の順守状況等役員の職務の執行状況について，監査結果の報告を受けた。

20年度の主な議決事項は以下のとおりである。

❶協会の経営に関する基本方針
❷令和３年度収支予算，事業計画及び資金計画
❸NHK経営計画（2021-2023年度）
❹令和元年度業務報告書および令和元年度財務諸表
❺ラジオ中継放送局の設置計画
❻2021年度（令和３年度）国内放送番組編集の基本計画および国際放送番組編集の基本計画
❼日本放送協会放送受信規約の一部変更
❽日本放送協会放送受信料免除基準の一部変更
❾インターネット活用業務実施基準の変更
❿2021年度（令和３年度）インターネット活用業務実施計画
⓫「職員の給与等の支給の基準」の改正
⓬2020年度の会長，副会長，専務理事，理事の報酬
⓭2020年度の役員交際費の支出限度額
⓮退任役員の退職金
⓯2019年度役員業績評価
⓰2020年度経営委員会委員の報酬
⓱2020年度役員業績評価方針
⓲令和元年度予算総則の適用
⓳川口施設（仮称）の基本計画
⓴非現用不動産の売却
㉑NHK情報公開・個人情報保護審議委員会委員の委嘱
㉒公益財団法人放送番組センターへの出捐
㉓令和２年度会計監査人の任命
㉔角英夫，若泉久朗，松崎和義，小池英夫，田中宏暁，林理恵を理事に任命することへの同意
㉕理事松坂千尋を再任することへの同意
㉖中央放送番組審議会委員および国際放送番組審議会委員の委嘱の同意

【3】その他

執行部に対する業績評価を行うにあたっては，評価・報酬部会が経営委員会内の作業部会として事前準備作業を行った。

NHK経営計画（2021-2023年度）（⇒p.26），インターネット活用業務実施基準の変更の議決にあたっては，経営委員会として，19年の改正放送法等に定められた意見募集を行った。

経営委員会が広く一般の意見を求める「視聴者のみなさまと語る会」を，旭川，宮崎，東京・神奈川・埼玉・千葉の１都３県（学生ミーティング），甲府，岡山，福井において計６回開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から，すべてをオンラインで行った。

会議における審議状況等については，原則として毎回の会議終了後に委員長等が報道機関への説明を行うことにより，その内容が広く迅速に公開されるよう努めるとともに，会議の議事録をホームページへの掲載等により公表した。また，あわせて経営委員会活動の最新情報等をホームページに掲載した。

今後の経営委員会運営について意見交換を行

い，経営委員会の透明性の向上のため，経営委員会議事運営規則を５月に公表した。

2 監査委員会

【1】構成

監査委員会は，08年４月１日に設置された。経営委員を含む役員の職務の執行を監査する権限を有している。経営委員のうち経営委員会から任命された３人以上の監査委員で構成され，うち１人以上は常勤委員とすることになっている。20年度末における監査委員会の構成は次のとおりである。

高橋　正美（2017年2月16日就任　常　勤）
水尾　衣里（2021年2月24日就任　非常勤）
渡邊　博美（2018年3月13日就任　非常勤）

【2】会議等

監査委員会は，20年度中に24回にわたって委員会を開催した。協会の21年度から23年度までの次期経営計画の策定状況や，新たな構造改革の進捗，新型コロナウイルス感染拡大の影響等についての執行部や関連団体の取り組みが大きなテーマとなった。また，内部監査室や会計監査人から定期的に監査状況の報告を受けるなど，内部統制システムを活用したモニタリングを行った。

この他，常勤監査委員が理事会・役員会等の重要な会議に出席して業務執行状況の把握に努めた。

会長との定期的な情報交換を行うなど役員および本部部局長などへ経営課題について適宜ヒアリングを行った。グループ経営に関連して，子会社や関連公益法人等の業務執行状況について社長や理事長へのヒアリングを行った。

地域放送やブロック経営の現状については，拠点放送局長に加え，必要に応じて地域放送局長を対象にヒアリングを実施した。

新型コロナウイルス感染拡大を受けてヒアリングを対面だけでなくオンラインでも実施した。

経営委員の業務執行については，全委員に「経営委員会委員の服務に関する準則」の順守について確認書の提出を求めた。

監査委員会は，20年６月22日，放送法第72条第１項に基づき，協会が作成した令和元年度業務報告書に添える意見書を議決した。また同日，放送法第74条第１項に基づき，協会が作成した令和元年度財務諸表に添える意見書を議決した。

監査委員会の活動状況は，監査委員会活動結果報告書にまとめて，経営委員会に定期的に報告するとともに，ホームページの掲載により公表した。

3 理事会

会長，副会長，専務理事および理事をもって構成する理事会は，業務執行の基本的機関として，経営委員会議決事項，同意事項のほか，会長が必要と認める事項について議論した。

会議は20年度内に25回開催した。

20年度末の会長，副会長，専務理事，理事は，次のとおりである。

会　長　前田　晃伸（2020年1月25日就任）
副会長　正籬　聡（2020年2月12日就任）
専務理事　松坂　千尋
（2018年4月25日理事就任
2020年4月25日専務理事就任）
専務理事　板野　裕爾（2019年4月25日就任）
専務理事・技師長
児野　昭彦（2017年4月25日就任）
専務理事　中田　裕之
（2017年4月25日理事就任
2020年4月25日専務理事就任）
理　事　角　英夫（2020年4月25日就任）
理　事　若泉　久朗（2020年4月25日就任）
理　事　松崎　和義（2020年4月25日就任）
理　事　小池　英夫（2020年4月25日就任）
理　事　田中　宏暁（2020年4月25日就任）
理　事　林　理恵（2020年4月25日就任）

リスクマネジメントとコンプライアンスの推進

視聴者の信頼に応える公共メディアを実現していくため，NHKグループ全体のリスクマネジメント強化とコンプライアンス徹底に引き続き取り組んだ。

リスクマネジメントの推進については，会長を委員長とするリスクマネジメント委員会で，NHKグループのリスクマネジメント推進の活動方針の決定，リスクマネジメント施策および，その進捗の確認を行った。

コンプライアンスの推進については，「NHK倫

理・行動憲章」および「行動指針」を徹底するため，研修等による意識啓発を図っている。

10月から11月までをコンプライアンス推進強化月間とし，各職場での討議を軸に，「eラーニング」「ITリスク診断」，業務プロセスのリスク抽出と評価・改善を行う「業務リスクの見える化」等を連携させた取り組みを実施した。

関連団体に向けては，支援指導に当たる関係部局と連携し，個別対応を継続した。各団体が「関連団体リスク点検チェックシート」を用いて，NHKグループ全体に影響を及ぼすリスクを自ら抽出して対応方針を検討し，NHKに提出する取り組みにより，グループ全体のリスクマネジメントの実効性を高めた。

IT統制の推進にあたっては，ITマネジメント委員会の開催に加え，全国のシステム担当者向けの研修や社内周知等により協会全体のITリテラシー向上を図るなど，NHKグループ全体のIT管理レベル向上に努めた。

地域改革

各地域のニーズに合った多様な放送サービスの拡充を目指し，17年に地域改革プロジェクトがスタートした。この取り組みを推し進めるため，18年４月に「地域改革推進室」が設置された。初年度の体制は専従２人･兼務３人の計５人（21年３月時点では専従が５人・兼務５人となり，計10人）。

当初，地域放送，報道支援，デジタル，事務部門改革，イベント，関東甲信越などテーマごとにワーキンググループ（WG）を設置して支援策等の検討を行うこととした。地域放送WGと事務部門改革WGではパイロット局を指定し（放送：静岡・福井・山口・熊本・秋田・徳島，事務：甲府・神戸・静岡・福井・熊本），地域放送サービス充実のためのさまざまな取り組みを行い，試行実績の共有を図った。関東甲信越WGでは同ブロックの拠点局機能を果たす「首都圏局」設置に向けて，関係各部局との調整を行い，20年２月の理事会を経て決定，同年８月に正式に組織された。その後，ワーキンググループを「地域放送局のあり方」検討WGと報道支援検討WGに再整理し，地域放送局における新たな試行体制を構築した。

20年度には，経営資源の有効活用を図り，生産性向上を目指すことを主眼に置き，「局内の職種間連携」「マルチアウトプット」「局間連携（ミニブロック，インターローカル）」「地元メディアとの連携」の具体的な試行を行う新たなパイロット局を指定した（秋田・山形・甲府・金沢・福井・富山・岡山・大分・高松）。今後さらに，地域拠点局長がブロック内の経営資源の効果的な配分・支援・調整機能を担い，また職種間の連携を推進し，地域へのサービスをさらに充実させる「ブロック経営」を行うべく組織のあり方を検討していく。

インターネットサービス

1 NHKオンライン

NHKの，インターネットのいわば「顔」として1995年に開設された「NHKオンライン」は，ニュース，気象情報をはじめ，テレビ・ラジオの番組表，番組の見どころや放送予定を掲載した各番組サイト，イベント案内，受信契約の受け付け，経営情報，問い合わせ窓口，視覚障害者向けの読み上げソフト用サイトなどから構成されている。NHKオンラインや各ポータルサイトにおいては，2020年３月から試行的に開始した常時同時・見逃し番組配信サービス「NHKプラス」への誘導を一層強化したほか，検索エンジンのリニューアルも実施した。各番組サイトについても，世界標準のデータ構造とともにサイト上からも常時同時・見逃し番組配信サービスを利用できる新しい標準ページの機能強化と移行をさらに推進した。
（「新型コロナウイルス」特設サイト⇒p.22）

2 NHKプラス

地上テレビ常時同時・見逃し番組配信（サービス名「NHKプラス」）は，NHKの地上放送の番組をインターネットで視聴できるサービスで，20年３月１日に試行的に開始し，20年４月から本格的に実施している。受信料を財源とする，放送を補完するサービスで，利用申し込みと認証の手続きを経て，受信契約者本人のほか，生計を同一にする人は追加の負担なく利用できる。

常時同時配信は総合テレビとEテレで放送中の番組を同時にインターネットで配信するもので，４月から各日午前６時から翌日午前０時までの18時間程度提供した。埼玉県，千葉県，東京都および神奈川県の各区域を合わせた区域（南関東エリア）で放送される地上放送の番組を配信して

いる。

見逃し番組配信は，同時配信した番組などのうち，インターネットで提供するために必要な権利などを確保できた番組を放送終了後１週間いつでも視聴できるサービスである。21年３月から，南関東エリア以外の地域で放送された地方向け放送番組の一部の見逃し配信を開始した。

見逃した番組を探しやすいよう，ジャンルやテーマ，そのときどきの話題などに応じてまとめた「プレイリスト」を設けている。

一方，災害などの緊急時には，提供時間外であっても配信を行うほか，利用者がログインしているかどうかにかかわらず，メッセージ表示などの制限がない形で放送中の特設ニュースなどを配信することがある。

3 安全・安心情報の拡充

災害時に自治体が発表する避難指示・避難勧告などの避難情報をデータ放送やホームページに掲載するサービスを12年１月から実施している。

また，避難情報をオンラインでメディア等に配信するLアラートの全国運用が始まったことを受け，19年９月から大阪拠点放送局管内で，自治体が発表する郵便番号とひも付いた避難情報をデータ放送で自動表示する取り組みを開始し，20年５月に全国展開した。

また，新型コロナウイルス感染症対策の一環として，自治体がLアラートに入力する避難所混雑状況のデータ放送への表示を，21年３月から順次，開始している。

4 NHKデータオンライン

NHKでは，データ放送の画面を入り口としたサービス「NHKデータオンライン」を提供している。このサービスは，受信機のインターネット接続機能を利用しており，放送波によるデータ放送では実現しにくい大容量のコンテンツを提供するものである。20年度も，『連続テレビ小説』や『大河ドラマ』などで豊富な画像や詳しい番組情報を提供した。

NHKオンデマンド

1 NHKオンデマンドとは

08年12月１日にスタートした，NHKが有料で国内向けにサービスを提供するビデオ・オン・デマンド（VOD）サービスである。NHKが放送した放送番組等を，インターネットを通じて，パソコンやスマートフォン，タブレットではDVD並みの画質で配信。15年度より一部の番組でHD画質での配信を開始し，その割合を拡大している。また，CATVやIPTVでは，HD画質を中心に，一部では４K画質でも配信している。

2 サービスの背景

放送と通信の融合が進む中，07年12月に放送法が改正された。同法第９条（現第20条）第２項第２号およびその業務の基準等に基づき，本サービスは，営利を目的としないことや，NHKの受信料を財源とする業務とNHKオンデマンドの業務を別会計にすることなどの条件付きで，電波ではなくインターネットを利用して，放送番組等を一般向けに配信するサービスとして始まった。

3 サービスの内容

NHKオンデマンドでは，NHKの４つのチャンネル（総合，Eテレ，BS1，BSプレミアム）で放送した定時番組や特集番組から選んだ番組等を，放送後２週間程度配信する。『大河ドラマ』や『連続テレビ小説』『NHKスペシャル』などNHKの主要な番組を配信している。

一方，「特選ライブラリー」サービスとして，過去に放送されNHKアーカイブスに保存されているNHKの豊富な映像資産の中から，厳選された番組等を配信しており，ドラマを初回から視聴したり，ドキュメンタリーシリーズを一気に見ることも可能になっている。

なお，本サービスの提供態様には，NHKが利用者のPC，スマートフォン，タブレット向けに直接提供する形態（直接提供型）と，第三者が実施する動画配信サービスの機能を介してPC，スマートフォン，タブレットのほかCATVやIPTV向けにも提供する形態（プラットフォーム経由型）との２種類がある。

4 視聴に必要な設備

NHKオンデマンドを視聴する場合は，インターネットへの接続環境が必要である（一部，CATV経由での利用も可能）。

現在，直接提供型では，配信形式としてHLSを使用している。12年４月よりiOS端末への配信形式にも対応し，さらに幅広いOS，ブラウザから利用できるようになった。

プラットフォーム経由型は，「アクトビラ　ビデオ」「J:COMオンデマンド」「ひかりTVビデオサービス」「ビデオマーケット」「GYAO！ストア」「みるプラス」「music.jp」「U-NEXT」「Amazon Prime Video」。なお，プラットフォーム経由型の場合は，それぞれのサービス運営会社と利用契約が必要となる。

5 提供料金と支払い方法

NHKオンデマンドを直接提供型で視聴する際には，会員登録が必要である。登録は無料だが，実際にコンテンツを視聴する際には課金が発生する（無料配信番組を除く）。

コンテンツは単品で購入でき，１本当たり100～200円（税別）である。購入した番組は，番組ごとに決められている期間内で何度でも視聴できる。

“月額見放題”の視聴も可能で，月額900円（税別）で提供。20年３月に実施した，“見放題パック”のサービス再編により，従来の「見逃し見放題パック」「特選見放題パック」の２つのパックを統合し，「まるごと見放題パック」に一本化した。これにより，利用者は１つのパックに加入することですべての番組が視聴できる。

支払い方法は，クレジットカード，Yahoo！ウォレット，NETCASH，モバイルSuica，ドコモケータイ払い，auかんたん決済，楽天ペイ決済がある。

なお，プラットフォーム経由型の場合は，利用者への課金は各社の支払い方法に基づいて行う。

6 利用状況

NHKオンデマンドの直接提供型の登録会員数は，21年３月末現在293万2,000人と前年度末比7.4%増加した。

オンデマンド配信では，『特集ドラマ』「アシガールSP～超時空ラブコメ再び～」が年間を通して最も多く視聴された。また，『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」や，『第71回NHK紅白歌合戦』『連続テレビ小説』「エール」，『よるドラ』「いいね！光源氏くん」などが視聴数の上位となった。

さらに視聴数の多い番組を月間無料配信するプロモーション施策を強化するなど視聴誘引を図り，NHKオンデマンドならではのサービスを提供した。

利用者の男女比は，男性62.1%，女性37.9%と19年度（男性62.8%，女性37.2%）に比べ，若干，女性の割合が増えた。男女別年齢構成比は，男性は40代(25.2%)が最も多く，次いで50代(21.8%)，30代（19.0%），女性は40代（26.5%）が最も多く，次いで30代（26.4%），20代（16.9%）であった。

配信番組の強化とサービス向上に向けて，定時配信の拡充や特集番組の積極的な配信や，再放送に連動して『大河ドラマ』「太平記」などの配信も開始し，ラインナップの充実に努めた。『連続テレビ小説』「エール」「おちょやん」，『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」「青天を衝（つ）け」，『NHKスペシャル』など約１万本を，多様な受信端末に向け提供した。

7 今後の課題

20年度は，NHKプラスの開始でインターネット配信サービスが並立する中，サービス開始以降最高の収入を確保できた。この背景には，サービス再編によるパック統合により，見放題パックのお得感が増したこと，新型コロナウイルス感染拡大の状況で在宅率が高まったこと，19年度中にサービスインした大手VOD事業者での視聴が好調であったことなどによる。

今後も利用者の拡充と安定的な収入確保が課題であり，現在の利用者へのサービス強化の柱として，旧作発掘を増やし，ラインナップの拡充を推し進めるとともに，引き続きニーズや利用環境の多様化，技術の進歩に的確に対応し，サービスの普及促進と利用促進，利便性の向上を図っていく。

NHKオンデマンドでは，NHKプラスの見逃し番組配信（１週間程度）より長く，放送から２～３週間程度，または１年以上の長期視聴が可能であり，NHKの豊富な映像資産であるアーカイブスを享受できるサービスとして視聴者の要望に応えていく。

経営管理

1 内部監査

20年度は「中期内部監査計画（2018-2020年度）」および「2020年度内部監査計画」に基づいて，監査を行った。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で，監査の実施数は19年度より減少し，定期監査は，本部は４部局，拠点放送局は２局，放送局は９局で実施した。また，海外総支局は１総局・１支局で書面監査を実施した。

監査の手法は，業務遂行の過程で想定されるリスクへのコントロールが適切に管理・運用されているかを確認する「業務プロセス監査」により実施し，特に，効率的な事業運営の推進状況や情報セキュリティー対策の実施状況，勤務管理の状況，外部パワーの管理，大規模災害時の放送継続，備品管理の状況，的確で透明性のある経理処理などを重点として取り組んだ。

このほか，不定期監査のテーマ監査等を２回実施した。また，関連団体調査は，子会社と関連公益法人等合わせて６団体を対象に実施し，内部統制の取り組み状況や協会からの受託業務，自主事業の遂行状況，経理業務をはじめとする各業務プロセスに係るコントロールの状況などについて調査した。

内部監査の結果は，会長，監査委員会等に報告したほか，各部局に指摘事項の対応状況の報告を求め，監査実施後の改善状況を確認した。

また，内部監査結果の概要は，全部局の管理職全員へ内部監査Webシステムによりフィードバックし，業務管理上の課題について情報の共有化を図り，具体的な業務点検・改善と意識改革を促進することに努めた。

2 職員

【1】組織改正

20年度の組織改正では，NHKが信頼される「情報の社会的基盤」としての役割を果たし続けていくため，報道局メディア開発企画センターを放送総局に移行するとともに，放送技術局・放送技術研究所から業務の一部を移行･統合し，放送総局メディア開発企画センターを設置した。新放送センター情報棟の設備・運用体制構築など放送総局全体で推進すべき経営課題に取り組んでいる。

地域改革に関する体制整備では，関東・甲信越地方におけるサービスの充実，命と暮らしを守る報道の強化，効率的なブロック経営の実現を目指し，拠点放送局として首都圏局を設置した。

また，北海道においては，効率的な業務運営を目指して，帯広放送局・北見放送局・室蘭放送局の企画編成部と放送部をそれぞれ統合して，メディア部を設置した。

さらに，放送センター建替時の事業継続を円滑に推進するため，放送センター建替本部に事業継続推進室を設置した。

【2】要員数

20年度の要員数は，１万343人である。1980年度から要員削減を実施してきており，2020年度までの減員数は6,577人（79年度比38.9%純減）である。

【3】人事制度改革

激動する環境変化に柔軟に適応できる組織への変革を急ぐため，強すぎるタテ割り・年功序列・不十分な人財※育成・マネジメント不在といった積年の人事課題を抜本的に解消する人事制度改革に着手。20年８月に骨格案を，21年１月には具体的な施策を盛り込んだ全体像と工程表を周知した。人事制度改革を通じて，職員一人ひとりの能力を最大化し，視聴者への提供価値を向上させていく。

［※人財…人材も経営資源である財産ととらえ，ここでは人財と記す（以下同様）］

【4】人財育成

重要な経営課題である人財育成については，以下の５つの方針に沿って実施した。

❶公共メディアへの進化を牽引するプロフェッショナルの育成とマネジメント力の強化
❷新たな課題に即した専門知識・専門能力の伸長
❸キャリア教育やリカレント教育を強化し，多様な働き方を推進
❹NHKグループの総合力を強化
❺コンプライアンス意識の徹底

職員研修は，感染症の拡大によりオンライン化を進めた。公共メディアの使命，職員倫理・公金意識といった公共放送人としての倫理徹底を図るコンプライアンス研修を継続して行うとともに，キャリア形成支援，経営マネジメント人財育成など，経営課題に即したプログラムを新設した。

【5】新たなワークスタイル

17年12月に公表した「NHKグループ　働き方改革宣言」に基づき，NHKの業務に携わるすべての人の健康を最優先に，NHKグループが一体となって，長時間労働に頼らない組織風土づくりや業務改革に取り組んだ。

新型コロナウイルス感染拡大を受け，６月には働き方の「共通指針」を策定。これまでの業務の進め方を見直し，「時間」と「場所」にとらわれない「新たなワークスタイル」の考え方を打ち出し，人事制度改革を通じて実現を目指している。

【6】WLB・ダイバーシティ推進

多様な人財が能力を発揮できる組織づくりに向け，在宅勤務や内外のサテライトオフィスの拡充，育児・介護サポートデスクや事業所内保育施設の運用，女性の積極的な採用と登用など，ダイバーシティやWLBを推進する取り組みを進めている。協会では15年に「改正次世代育成支援対策推進法」（15年４月施行）に基づく特例認定（通称：プラチナくるみん認定）を受けている。育児との両立支援施策を推進し，20年度の男性職員の育児休職取得率は20%を超えた。16年４月施行の「女性活躍推進法」に基づき「行動計画」を公表，目標として掲げた「20年の女性管理職の割合10%以上」については，20年度10.6%を達成した。また，多様な人財が活躍できる組織風土づくりに向け，LGBT等に関するeラーニングや勉強会，視聴者アンケートにおける性別表記の基本方針の策定などを行った。

【7】健康・安全衛生管理

新型コロナウイルス感染防止の観点から，健康・体調管理への留意と，身体的距離の確保，マスクの着用，こまめな手洗いを徹底した。

また，長時間労働に伴う健康障害防止のため，産業医面接指導勧奨や健康確保休暇の付与などの取り組みを推進した。

メンタルヘルスケアについては，年間計画に基づき，産業医等と連携した講話会の開催，専門研修やストレスチェックの実施，EAP（従業員支援プログラム）の利用等により，予防と発生時の早期かつ適切な対応が可能な体制づくりに取り組んだ。

3 情報システム

日々進化するITのタイムリーかつ的確な導入・統制により，協会全体に共通するIT基盤の効率的・効果的な発展を図るとともに，NHKグループ全体のセキュリティーを強化して，“公共メディア”への進化を支えるIT環境の高度化を推進した。

【1】IT統制

NHKグループ全体のIT統制・IT利活用を統括する「ITマネジメント委員会」を年度内に計４回開催した。IT施策の重点項目や，モバイルワークの推進と統制に関する施策等について報告された。全国のシステム担当者向け研修や社内誌による周知等を強化し，協会全体のITリテラシー向上を図るとともに，専門機関への派遣などにより高度な専門人材の育成を継続した。四半期ごとにNHKグループ全体の情報セキュリティーの状況を役員に報告する取り組みも継続した。

【2】システム開発・整備・運用

❶NHKのIT基盤

基幹設備の老朽更新に合わせて機器構成の見直しやクラウドサービスの活用などを行い，IT基盤の信頼性の向上を図った。また，端末認証方式の拡充やクラウド基盤へのセキュリティー機器追加などによりセキュリティー強化にあたった。さらに，テレワーク環境を支えるリモートアクセス基盤を増強し，新たな働き方を推進した。

❷事務系システム

総務人事・経理業務の統合的な処理と，経営への情報提供を担う事務系システムは，職員制度の改正や法制度変更に対応した機能整備を実施した。また，在宅勤務・リモートワークを推進するスマートフォン向け出退勤，経費精算機能を整備し，コロナ禍での業務推進に貢献した。

一方，「“スリムで強靱な”新しいNHK」を実現するための新たな事務系基幹システムの構築に向けて，DX（デジタル・トランスフォーメーション）や人事制度改革を実現するための業務要件の整理を行った。

❸視聴者系システム

NHKコールセンターシステムでは，20年11月の札幌ふれあいセンター（放送）増設，21年２月の札幌ふれあいセンター（営業）増設の対応整備を完了した。また，システム安定運用を実現す

るためサーバー類の設備更新など維持管理作業を継続して実施した。

【3】情報セキュリティー対策

重要社会基盤事業者であるNHKは，東京オリンピック・パラリンピックや25年の日本国際博覧会に向け，情報セキュリティー強化が求められている。21年度NHK予算審議においても20年度に引き続き総務大臣意見や附帯決議で「サイバーセキュリティの確保」について言及されるなど，放送の機能保証が強く求められた。

情報セキュリティー対策推進のため，CSIRT（Computer Security Incident Response Team）の機能強化を行った。また，重要社会基盤事業者の第４次行動計画に基づき，16年度より取り組んできた機能保証のためのリスクアセスメントについて，20年11～12月に最終の第６回を実施し，現状の分析と対策を行うとともに，東京オリンピック･パラリンピックにおける情報セキュリティー対応体制確保の準備を行った。

放送業界の連携活動も，一般社団法人ICT-ISACや放送CEPTOARを中心に活発に行った。NHKは放送CEPTOARの事務局を民放と共同運営するとともに，NISC（内閣サイバーセキュリティセンター）やJPCERTなど外部の専門機関との連携強化を図り，迅速な情報共有と対策実施の体制を一層強固なものとした。

NHK内のネットワーク・セキュリティー強化としては，東京オリンピック・パラリンピックに向けて，全職員・スタッフに向けた教育・訓練の一層の強化に取り組んだ。

関連団体については，回線やシステムの構成管理と対策，およびリモートワーク活用に関する注意などの支援を行い，NHKグループ全体のIT管理レベル向上に努めた。

財　政

1　2020年度決算

2020（令和２）年度は，「NHK経営計画2018-2020年度」を踏まえ，経営目標の達成に向けて事業計画を着実に実施するとともに，業務全般にわたり適正かつ効率的な運営を図った。

その結果，収支決算（一般勘定）では，事業収支差金は251億5,835万円となり，この全額を翌年度以降の財政安定のための財源として繰り越すこととした。（決算⇒p.670～714）

【1】資産，負債および純資産

協会全体の20年度末の資産，負債及び純資産の状況を財産目録（**表１**）と貸借対照表（**表２**）で見ると，資産総額1兆2,681億1,680万円に対し，負債総額は4,522億7,348万円であり，純資産総額は8,158億4,332万円であった。

【2】損益およびキャッシュ･フロー

協会全体の20年度中の損益の状況を損益計算書（**表３**）で見ると，経常事業収入7,137億8,291万円に対し，経常事業支出は6,939億9,027万円で，差し引き経常事業収支差金は，197億9,264万円であり，これに経常事業外収支差金63億8,357万円を加えた経常収支差金は261億7,622万円である。これに特別収入68億7,842万円を加え，特別支出62億4,308万円を差し引いた当期事業収支差金268億1,155万円である。

次に，協会全体の20年度中のキャッシュ・フローの状況をキャッシュ・フロー計算書（**表５**）で見ると，事業活動によるキャッシュ・フローは1,429億588万円であり，投資活動によるキャッシュ・フローは△1,501億3,819万円，財務活動によるキャッシュ・フローは△9億3,911万円である。現金及び現金同等物の残高は，年度当初は201億6,870万円であったが，81億7,143万円減少し，年度末では119億9,727万円となっている。

【3】収支決算（2020年度決算）

一般勘定では，事業収入は7,121億7,423万円で，予算に対し，82億4,612万円の不足となった（**表６**）。これは，受信契約件数の減少に伴う受信料の減少等によるものである。事業支出は6,870億1,587万円で，484億270万円の予算残となった。これは，新型コロナウイルス感染症の影響による番組制作や取材活動，営業活動の縮小に伴う支出の減等によるものである。事業収支差金は251億5,835万円となり，この全額を翌年度以降の財政安定のため繰り越すこととした。

減価償却資金受入れ等の資本収入は878億1,691万円，建設費による資本支出は819億8,930万円であった。資本収支差金は58億2,760万円となり，この全額を翌年度以降の財政安定のため繰

り越すこととした。

これにより，翌年度以降の財政安定のための繰越金は，前年度末1,280億5,811万円に当年度の事業収支差金251億5,835万円と資本収支差金58億2,760万円を加え，年度末において1,590億4,408万円となった。

有料インターネット活用業務勘定では，事業収入は39億753万円で，予算に対し，17億4,083万円の超過となった。事業支出は22億5,433万円で，291万円の予算残となった。事業収支差金は16億5,319万円となり，欠損金が同額減少した。

受託業務等勘定では，事業収入は9億3,961万円で，予算に対し，4億5,848万円の不足となった。事業支出は7億8,316万円で，3億9,695万円の予算残となった。

【4】重要な会計方針

財務諸表の作成にあたっての重要な会計方針は，次のとおりである。

❶有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券は，償却原価法（定額法）によっている。子会社及び関連会社株式とその他有価証券（時価のないもの）は，移動平均法に基づく原価法によっている。

❷番組勘定の評価基準及び評価方法

個別法に基づく原価法によっている。なお，放送を実施する可能性が低下したものについては，帳簿価額を切り下げている。

❸固定資産の減価償却の方法

有形固定資産（リース資産を除く）のうち，「建物」「構築物」については，定額法によっている。「機械及び装置」「車両及び運搬具」「器具」については，定率法によっている。

無形固定資産（リース資産を除く）は定額法によっている。リース資産のうち，所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については，リース期間を耐用年数とし，残存価額を零とする定額法によっている。

❹引当金の計上基準

未収受信料欠損引当金は，当年度末の受信料未収額のうち，翌年度における収納不能見込額を実績率により計上している。

退職給付引当金は，職員の退職給付に備えるため，当年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき，当年度末において必要と認められる額を計上している。

・退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり，退職給付見込額を当年度末までの期間に帰属させる方法については，期間定額基準によっている。

・数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用は，その発生時の職員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（5年）による定額法により費用処理している。

数理計算上の差異は，各年度の発生時における職員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主として15年）による定額法により按分（あんぶん）した額をそれぞれ発生の翌年度から費用処理している。

役員退任引当金は，役員退任手当の支出に備えるため，内規に基づく年度末要支給額を計上している。

国際催事放送権料引当金は，スポーツ大会等国際的な催事に関する放送権料の支払いに備えるため，開催地決定時より放送実施までの期間に放送権料の合理的見積額を計上している。なお，当該科目は，「企業会計原則注解　注18」における引当金とは異なり，放送法施行規則の規定により特別に認められた引当金である。

東京オリンピック・パラリンピック関連費用引当金は，東京オリンピック競技大会及び東京パラリンピック競技大会に関する放送に要する費用（放送権料を除く）の支払いに備えるため，15年度より放送実施までの期間に放送に要する費用の合理的見積額を計上している。なお，当該科目は，「企業会計原則注解　注18」における引当金とは異なり，放送法施行規則の規定により特別に認められた引当金である。

❺消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は，税抜方式によっている。

❻固定資産の減損会計

固定資産の減損会計については，放送法施行規則の規定により，「固定資産の減損に係る独立行政法人会計基準」によっている。

❼キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金，随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり，かつ，価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3か月以内に償還期限の到来する短期投資からなっている。

表１～６までは原文のまま和暦を使用

表1　財産目録

（協会全体）

令和３年３月31日現在

科目	内訳 摘要		内訳 金額	合計
			千円	千円
（資産の部）				
流動資産				495,098,093
現金及び預金				51,997,271
	現金		449,739	
	預金	定期預金ほか	51,547,532	
受信料未収金				3,798,297
	受信料未収金		14,957,297	
	未収受信料欠損引当金	受信料未収金の収納不能見込額	△ 11,159,000	
有価証券				416,499,201
		国債	200,000	
		政府保証債	3,699,294	
		非政府保証債	9,599,915	
		地方債	3,199,991	
		事業債	41,800,000	
		譲渡性預金	358,000,000	
番組勘定		未放送の番組に係る経費ほか		10,150,267
前払費用		番組制作経費ほか		3,274,890
未収金		国際放送関係交付金ほか		5,980,813
その他の流動資産				3,397,351
	仮払金	仮払消費税ほか	3,218,691	
	その他の流動資産	コンテンツ制作経費ほか	178,660	
固定資産				603,699,476
有形固定資産				464,273,335
建物				162,546,070
	建物	放送会館、放送所ほか	383,912,553	
	減価償却累計額		△221,366,482	
構築物				62,233,934
	構築物	空中線設備ほか	181,164,673	
	減価償却累計額		△118,930,739	
機械及び装置				151,156,635
	機械及び装置	放送設備ほか	804,236,252	
	減価償却累計額		△653,079,616	
車両及び運搬具				1,820,436
	車両及び運搬具	中継車ほか	10,545,495	
	減価償却累計額		△ 8,725,058	
器具				5,231,169
	器具	事務用器具ほか	11,685,549	
	減価償却累計額		△ 6,454,380	
土地		放送会館、放送所ほか		47,291,287
建設仮勘定		放送設備ほか		33,993,801
無形固定資産				14,623,642
無形固定資産				14,623,642
	施設利用権	国際放送送信設備利用権ほか	1,508,439	
	ソフトウェア		12,567,673	
	ソフトウェア仮勘定		506,752	
	その他の無形固定資産	地上権	40,777	

科目	内訳 摘要		内訳 金額	合計
			千円	千円
出資その他の資産				124,802,498
長期保有有価証券				90,979,263
		国債	2,498,498	
		非政府保証債	22,480,765	
		事業債	66,000,000	
出資				10,875,075
	関係会社出資	㈱NHKエンタープライズほか	10,321,775	
	その他の出資	㈱海外通信・放送・郵便事業支援機構ほか	553,300	
長期前払費用		設備保守費ほか		119,548
前払年金費用				19,404,358
その他の出資その他の資産				3,424,251
	差入保証金	賃借保証金ほか	3,324,637	
	その他の資産	建設協力金	99,613	
特定資産				169,319,235
建設積立資産		建設資金積立金		169,319,235
		政府保証債	10,000,000	
		非政府保証債	64,619,235	
		地方債	8,200,000	
		事業債	86,500,000	
資産合計				1,268,116,805
（負債の部）				
流動負債				273,517,920
未払金		番組制作経費、設備整備経費ほか		70,177,306
未払費用				24,373,071
	契約収納事務費		4,254,545	
	その他の未払費用	電力料、回線料ほか	20,118,525	
未払消費税等				9,097,651
東京オリンピック・パラリンピック関連費用引当金				18,000,000
受信料前受金		翌年度分受信料の収納額		148,501,118
短期リース債務				989,296
その他の流動負債				2,379,477
	前受収益	施設利用料ほか	20,189	
	預り金	源泉徴収所得税ほか	2,359,287	
固定負債				178,755,559
退職給付引当金				129,483,072
役員退任引当金				118,340
国際催事放送権料引当金				44,418,996
長期リース債務				2,154,181
その他の固定負債		PCB廃棄物処理経費ほか		2,580,969
負債合計				452,273,480

表2　貸借対照表

（協会全体）　　令和３年３月31日現在

科目	内訳	金額	構成比
	千円	千円	%
（資産の部）			
流動資産			
現金及び預金		51,997,271	
受信料未収金	14,957,297		
未収受信料欠損引当金	△ 11,159,000	3,798,297	
有価証券		416,499,201	
番組勘定		10,150,267	
前払費用		3,274,890	
未収金		5,980,813	
その他の流動資産		3,397,351	
流動資産合計		495,098,093	39.0
固定資産			
有形固定資産			
建物	383,912,553		
減価償却累計額	△ 221,366,482	162,546,070	
構築物	181,164,673		
減価償却累計額	△ 118,930,739	62,233,934	
機械及び装置	804,236,252		
減価償却累計額	△ 653,079,616	151,156,635	
車両及び運搬具	10,545,495		
減価償却累計額	△ 8,725,058	1,820,436	
器具	11,685,549		
減価償却累計額	△ 6,454,380	5,231,169	
土地		47,291,287	
建設仮勘定		33,993,801	
有形固定資産合計		464,273,335	36.6
無形固定資産			
無形固定資産		14,623,642	
無形固定資産合計		14,623,642	1.2
出資その他の資産			
長期保有有価証券		90,979,263	
出資		10,875,075	
関係会社出資	10,321,775		
その他の出資	553,300		
長期前払費用		119,548	
前払年金費用		19,404,358	
その他の出資その他の資産		3,424,251	
出資その他の資産合計		124,802,498	9.8
固定資産合計		603,699,476	47.6
特定資産			
建設積立資産		169,319,235	
特定資産合計		169,319,235	13.4
資産合計		1,268,116,805	100.0

科目	内訳	金額	構成比
	千円	千円	%
（負債の部）			
流動負債			
未払金		70,177,306	
未払費用		24,373,071	
未払消費税等		9,097,651	
東京オリンピック・パラリンピック関連費用引当金		18,000,000	
受信料前受金		148,501,118	
短期リース債務		989,296	
その他の流動負債		2,379,477	
流動負債合計		273,517,920	21.6
固定負債			
退職給付引当金		129,483,072	
役員退任引当金		118,340	
国際催事放送権料引当金		44,418,996	
長期リース債務		2,154,181	
その他の固定負債		2,580,969	
固定負債合計		178,755,559	14.1
負債合計		452,273,480	35.7
（純資産の部）			
資本			
承継資本		163,375	
固定資産充当資本		498,206,783	
剰余金		317,473,166	
建設積立金		169,319,235	
繰越剰余金		148,153,931	
純資産合計		815,843,324	64.3
負債純資産合計		1,268,116,805	100.0

注　令和2年度末における固定資産充当資本4,982億678万3千円のうち、令和3年度において、58億2,760万7千円を取り崩し、繰越剰余金に組み入れます。
これにより、固定資産充当資本は4,923億7,917万6千円、繰越剰余金は1,539億8,153万8千円となります。

表3　損益計算書

（協会全体）

令和２年４月１日から
令和３年３月31日まで

科目		金額	
			千円
経常事業収支	経常事業収入		713,782,915
	受信料	700,575,149	
	交付金収入	3,620,567	
	放送番組等有料配信収入	3,894,551	
	副次収入	4,753,035	
	受託業務等収入	939,612	
	経常事業支出		693,990,270
	国内放送費	311,117,814	
	国際放送費	19,215,828	
	国内放送番組等配信費	8,871,091	
	国際放送番組等配信費	2,009,126	
	放送番組等有料配信費	2,019,794	
	受託業務等費	36,462	
	契約収納費	57,500,207	
	受信対策費	722,828	
	広報費	5,870,868	
	調査研究費	7,492,972	
	給与	109,520,917	
	退職手当・厚生費	53,718,051	
	共通管理費	18,441,453	
	減価償却費	86,464,797	
	未収受信料欠損償却費	10,988,054	
	経常事業収支差金		19,792,644
経常事業外収支	経常事業外収入		6,386,772
	財務収入	2,208,922	
	雑収入	4,177,849	
	経常事業外支出		3,193
	財務費	3,193	
	経常事業外収支差金		6,383,579
経常収支差金			26,176,223
特別収支	特別収入		6,878,421
	固定資産売却益	6,327,947	
	固定資産受贈益	22	
	その他の特別収入	550,452	
	特別支出		6,243,088
	固定資産売却損	7,709	
	固定資産除却損	1,641,790	
	その他の特別支出	4,593,587	
当期事業収支差金			26,811,557

当期事業収支差金		26,811,557
事業収支剰余金	26,811,557	

表4　資本等変動計算書

（協会全体）

令和２年４月１日から
令和３年３月31日まで

（単位　千円）

科目	資本				純資産合計
	承継資本	固定資産充当資本	剰余金		
			建設積立金	繰越剰余金	
前期末残高	163,375	498,116,783	169,409,235	121,342,373	789,031,767
当期変動額					
当期事業収支差金	－	－	－	26,811,557	26,811,557
建設積立金取崩し	－	90,000	△　90,000	－	－
当期変動額合計	－	90,000	△　90,000	26,811,557	26,811,557
当期末残高	163,375	498,206,783	169,319,235	148,153,931	815,843,324

表5　キャッシュ・フロー計算書

（協会全体）

令和２年４月１日から
令和３年３月31日まで
（単位　千円）

区　　分	金　　額
Ⅰ　事業活動によるキャッシュ・フロー	
当期事業収支差金	26,811,557
減価償却費	86,473,583
退職給付引当金の増減額	3,939,859
前払年金費用の増減額	786,707
役員退任引当金の増減額	△ 86,460
未収受信料欠損引当金の増減額	△ 1,661,000
国際催事放送権料引当金の増減額	11,050,081
東京オリンピック・パラリンピック関連費用引当金の増減額	3,000,000
受取利息及び受取配当金	△ 2,208,922
固定資産売却益	△ 6,327,947
固定資産受贈益	△ 22
固定資産除却損	1,641,790
固定資産売却損	7,709
受信料未収金の増減額	3,545,020
番組勘定の増減額	3,663,410
未収金の増減額	1,140,337
前払費用の増減額	△ 1,575,477
未払金の増減額	3,576,771
未払消費税等の増減額	2,646,446
受信料前受金の増減額	719,457
その他	5,762,978
事業活動によるキャッシュ・フロー	142,905,881
Ⅱ　投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△ 220,300,000
定期預金の払戻による収入	220,700,000
有価証券の取得による支出	△ 754,500,000
有価証券の売却・償還による収入	726,900,000
固定資産の取得による支出	△ 82,001,384
固定資産の売却による収入	6,616,914
長期保有有価証券の取得による支出	△ 50,000,000
差入保証金の増減額	178,857
利息及び配当金の受取額	2,265,335
その他	2,081
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 150,138,194
Ⅲ　財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務返済による支出	△ 939,118
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 939,118
Ⅳ　現金及び現金同等物の増減額	△ 8,171,431
Ⅴ　現金及び現金同等物の期首残高	20,168,703
Ⅵ　現金及び現金同等物の期末残高	11,997,271

表6　収入支出決算表

（協会全体）

（事業収支）

款	項	予算 当初額 (1)	予算 予算総則に基 第4条第1項流用
		千円	千円
事業収入		720,420,352	－
	受信料	697,407,036	－
	交付金収入	3,608,863	－
	副次収入	6,900,900	－
	財務収入	4,644,553	－
	雑収入	2,250,000	－
	特別収入	5,609,000	－
事業支出		735,418,574	－
	国内放送費	343,734,563	△ 5,180,000
	国際放送費	23,647,809	－
	国内放送番組等配信費	10,591,980	－
	国際放送番組等配信費	2,184,073	－
	契約収納費	64,192,868	－
	受信対策費	980,011	－
	広報費	6,687,427	－
	調査研究費	8,936,330	－
	給与	114,447,577	△ 1,960,000
	退職手当・厚生費	51,723,435	1,960,000
	共通管理費	17,488,751	930,000
	減価償却費	86,800,000	－
	財務費	3,750	－
	特別支出	2,000,000	4,250,000
	予備費	2,000,000	－
事業収支差金		△ 14,998,222	－

注1　事業収支差金の処分の内訳

翌年度以降の財政安定のための繰越金	△ 14,998,222	－

2　収入支出決算表における受信料は、未収受信料欠損償却費を控除した金額であります。

（資本収支）

款	項	予算 当初額 (1)	予算総則に基づく増減額 (2) 第5条第2項繰越	増減額計
		千円	千円	千円
資本収入		110,258,222	2,595,494	2,595,494
	前期繰越金受入れ	21,013,222	2,595,494	2,595,494
	減価償却資金受入れ	86,800,000	－	－
	資産受入れ	2,355,000	－	－
	建設積立資産戻入れ	90,000	－	－
資本支出		95,260,000	2,595,494	2,595,494
	建設費	95,260,000	2,595,494	2,595,494
資本収支差金		14,998,222	－	－

1)前期繰越金　128,058,116千円
2)令和2年度発生額　30,985,966千円（事業収支差金25,158,359千円と資本
後期繰越金(1+2)　159,044,082千円

令和２年度

額		決算額	予算残額
づく増減額(2)	合計		
増減額計	(1)+(2) (3)	(4)	(3)−(4)
千円	千円	千円	千円
−	720,420,352	712,174,230	8,246,121
−	697,407,036	689,587,094	7,819,941
−	3,608,863	3,620,567	△ 11,704
−	6,900,900	5,714,359	1,186,540
−	4,644,553	2,208,922	2,435,630
−	2,250,000	4,164,866	△ 1,914,866
−	5,609,000	6,878,421	△ 1,269,421
−	735,418,574	687,015,871	48,402,702
△ 5,180,000	338,554,563	311,117,814	27,436,748
−	23,647,809	19,215,828	4,431,980
−	10,591,980	8,871,091	1,720,888
−	2,184,073	2,009,126	174,946
−	64,192,868	57,500,207	6,692,660
−	980,011	722,828	257,182
−	6,687,427	5,847,243	840,183
−	8,936,330	7,492,972	1,443,357
△ 1,960,000	112,487,577	109,436,179	3,051,397
1,960,000	53,683,435	53,680,634	2,800
930,000	18,418,751	18,410,865	7,885
−	86,800,000	86,464,797	335,202
−	3,750	3,193	556
4,250,000	6,250,000	6,243,088	6,911
−	2,000,000	−	2,000,000
−	△ 14,998,222	25,158,359	△ 40,156,581

−	△ 14,998,222	25,158,359	△ 40,156,581

額			
合計	決算額	繰越額	予算残額
(1)+(2) (3)	(4)	(5)	(3)−(4)−(5)
千円	千円	千円	千円
112,853,716	87,816,914	5,269,743	19,767,058
23,608,716	−	−	23,608,716
86,800,000	86,464,797	−	335,202
2,355,000	1,262,116	5,269,743	△ 4,176,859
90,000	90,000	−	−
97,855,494	81,989,307	5,269,743	10,596,443
97,855,494	81,989,307	5,269,743	10,596,443
14,998,222	5,827,607	−	9,170,614

収支差金5,827,607千円との合計額）

（有料インターネット活用業務勘定）
（事業収支）

款	項	予	
		当初額 (1)	予算総則に基 第4条第1項流用
		千円	千円
事業収入		1,251,702	―
	放送番組等有料配信収入	1,251,702	―
	雑収入	―	―
事業支出		1,342,247	―
	放送番組等有料配信費	1,176,679	―
	広報費	21,108	―
	給与	88,872	△ 1,900
	退職手当・厚生費	35,559	1,900
	共通管理費	20,029	―
事業収支差金		△ 90,545	―

注　事業収支差金1,653,198千円を含む令和2年度末の繰越不足△5,062,544千円については、一般

（受託業務等勘定）
（事業収支）

款	項	予算	
		当初額 (1)	予算総則に基づく増減額 (2)
		千円	千円
事業収入		1,398,100	―
	受託業務等収入	1,398,100	―
事業支出		1,180,117	―
	受託業務等費	1,180,117	―
事業収支差金		217,983	―

注　事業収支差金156,448千円は、一般勘定へ繰り入れております。

算		額		
づく増減額(2)		合計	決算額	予算残額
第7条増収振当て	増減額計	(1)+(2) (3)	(4)	(3)−(4)
千円	千円	千円	千円	千円
915,000	915,000	2,166,702	3,907,534	△ 1,740,832
915,000	915,000	2,166,702	3,894,551	△ 1,727,849
—	—	—	12,983	△ 12,983
915,000	915,000	2,257,247	2,254,336	2,910
900,000	900,000	2,076,679	2,076,565	113
3,000	3,000	24,108	23,625	482
—	△ 1,900	86,972	84,737	2,234
—	1,900	37,459	37,417	41
12,000	12,000	32,029	31,991	37
—	—	△ 90,545	1,653,198	△ 1,743,743

勘定からの短期借入金等をもって補てんしております。

額		
合計	決算額	予算残額
(1)+(2) (3)	(4)	(3)−(4)
千円	千円	千円
1,398,100	939,612	458,487
1,398,100	939,612	458,487
1,180,117	783,163	396,953
1,180,117	783,163	396,953
217,983	156,448	61,534

2 2021年度予算

2021（令和３）年度収支予算，事業計画及び資金計画（**表７**）は，21年１月13日総務大臣に提出され，内閣を経て２月５日国会に提出され，３月23日衆議院，３月31日参議院でそれぞれ承認された。

令和３年度事業計画（以下、原文引用）

１　計画概説

新型コロナウイルス感染症の流行を契機として急速に社会全体が変わろうとする中，協会を取り巻く環境も大きく変化してきている。このような状況の中で，経営計画の初年度となる令和３年度は，経営計画に基づき「新しいNHKらしさの追求」を進めるとともに，構造改革を着実に実行し，スリムで強靱な「新しいNHK」へと変わることを目指す。

事業運営にあたっては，受信料で成り立つ公共メディアとして信頼される情報の社会的基盤の役割を果たしていくため，自主自律を堅持し，事実に基づく正確な情報を公平・公正に伝え，命と暮らしを守る報道に全力を挙げる。あわせて，より強靱なネットワークを構築するとともに，多様で質の高いコンテンツを合理的なコストで，最適な媒体で届ける。また，日本を積極的に世界へ発信し，様々な分野で国際社会との相互理解を促進するとともに，地域の課題や情報を広く発信して地域の発展に貢献する。開催延期となった東京オリンピック・パラリンピックは，４K･８K，インターネットを含めた新技術で魅力を伝える。また，ユニバーサル放送･サービスの提供の充実に取り組む。

インターネット活用業務は，実施基準に示した費用の範囲の中で，国内及び国際向けコンテンツを効果的に提供するとともに，地方向け放送番組の提供も段階的に実施していく。

協会の主たる財源である受信料については，訪問によらない効率的な営業活動を推進し，営業経費を削減するとともに，公平負担の徹底と受信料制度の理解促進に取り組む。

NHKグループ全体で業務の見直しやガバナンスの強化を図り，組織の効率化を進めるとともに，働く一人ひとりの創造性を最大化する人事制度改革に取り組む。また，老朽化した東京・渋谷の放送センターや地域放送会館の建替えを着実に推進していく。

なお，インターネット活用業務は，放送法に基づき策定し総務大臣に届け出るとともに公表する実施計画にのっとり実施する。

（１）放送センター建替え，地域放送会館の整備を進めるとともに，緊急報道や番組の充実，番組配信のための設備や大規模災害時等においても安定的な放送・サービスを継続するための設備整備等を行う。

（２）国内放送は，公共放送の基本を堅持し，その使命を果たすために，正確な情報を公平・公正に伝え，命と暮らしを守る放送・サービスに全力で取り組み，安全で安心な暮らしに貢献する。幅広い世代の期待にこたえる多彩で質の高い番組を編成するとともに，国内外の課題や最新事情を早く，深く，わかりやすく伝え，判断のよりどころとなる情報の社会的基盤の役割を果たす。地域で暮らす人の視点から，役立つ情報，関心の高いテーマ，課題などを積極的に取り上げ，地域の今を視聴者に伝えていく。

また，教育放送及び障害者や高齢者に向けた放送の充実を図るとともに，東京，北京の２つのオリンピック･パラリンピックの放送を実施する。

BS４Kは，超高精細映像チャンネルの先導的な役割を果たすとともに，BSプレミアムと番組編成の一体化を進める。BS８Kは，臨場感あふれる中継や番組を編成するなど，最高水準の放送の実現に寄与する。

（３）国際放送は，自主自律の編集権を堅持し，外国人向け放送及び邦人向け放送として，正確で公平・公正な情報や幅広い分野の番組を多様な媒体を通じて発信するなど，海外発信強化に取り組むとともに効率的な番組制作に努め，国際社会の日本に対する理解を促進する。

（４）国内放送番組等配信は，放送を補完してその効果・効用を高め，国民共有の財産である放送番組等を広く国民に還元するなど，放送法第15条に掲げられた目的を達成するために実施する。環境の変化や技術の進歩発達に適宜対応しながら，信頼される情報の社会的基盤としての役割を果たしていくために，インターネットならではの特性を生かして，放送番組及び番組の理解増進情報の提供等を行う。

（５）国際放送番組等配信は，情報を効率的・効果的に届けることができるインターネットの特性を生かし全世界へ向けて放送番組等を提供するとともに，多言語化を進め，世界の人々に向けて質の高いサービスを届ける。

（6）受信料の公平負担と経費削減の両立に向けて，契約・収納活動の構造改革に着手するとともに受信料制度の理解促進を図ることで，支払率の維持及び受信料収入の確保に努める。
（7）調査研究については，新たな放送・サービスの創造に資する放送技術の研究開発を行うとともに，放送番組・サービスの向上に寄与する調査研究の推進により，その成果を放送に生かし，また，広く一般に公開して，放送文化の発展に資する。
（8）グループガバナンスの強化に向けて，子会社への株式の集約等のために必要な出資を行う。
（9）放送番組等を電気通信回線を通じて，有料で一般の利用に直接供する業務等については，コンテンツの充実や利便性の向上等を図る。
（10）会館施設等の一般供用，賃貸及び放送番組の受託制作等については，協会業務の円滑な遂行に支障のない範囲内において実施する。
（11）人事制度改革を推進するとともに，受信料の価値を最大化するため，効率的な業務体制の確立や，視聴者コミュニケーション改革，グループ全体でのガバナンスの強化等を進める。

2　建設計画

建設計画については，総額860億9,000万円をもって施行する。

❶新放送・衛星放送施設整備計画

スーパーハイビジョン設備の整備を行うとともに，衛星テレビジョン放送の送出設備など衛星放送設備を更新する。

これらに要する経費は，１億9,732万円である。

❷テレビジョン放送網整備計画

テレビジョン放送の受信状況の改善のための設備を整備するとともに，老朽の著しいテレビジョン放送設備の更新等を行う。また，地震や停電等に備え，放送所の電源設備等の機能を強化する。

これらに要する経費は，127億7,000万円である。

❸ラジオ放送網整備計画

外国電波による混信等の受信状況を改善するための中波放送局の建設及びFM放送局の建設調査を行うとともに，老朽の著しいラジオ放送設備の更新等を行う。また，災害に備えた中波放送局の建設を行うほか，地震や停電等に備え，放送所の電源設備等の機能を強化する。

これらに要する経費は，77億3,000万円である。

❹放送会館整備計画

札幌，大津，佐賀，富山及び松江の放送会館の整備等を進める。放送センターの建替えについては，第１期の建設工事及び放送設備整備を実施する。

これらに要する経費は，182億3,000万円である。

❺放送番組設備整備計画

緊急報道対応設備や番組の充実，番組配信のための設備を整備する。また，老朽の著しい放送番組設備の更新等を行うほか，安定的な放送・サービスを継続するための設備を整備する。

これらに要する経費は，319億5,268万円である。

❻研究施設・一般施設整備計画

新しい放送技術の開発のための研究設備を整備するほか，局舎設備等の整備を行う。

これらに要する経費は，111億9,000万円である。

❼建設管理

建設計画の施行に共通して要する経費は，40億2,000万円である。

3　事業運営計画

❶国内放送

ア　番組関係

(ｱ) 地上テレビジョン放送

総合テレビジョンは，安全・安心を支え，正確・迅速な報道に全力をあげて取り組むとともに，公平・公正で社会の指針となるニュース・番組や娯楽，文化，スポーツ等の多彩な番組を，最新の技術も活用しながら充実させる。若者世代，現役世代をはじめとした幅広い世代への接触の拡大に取り組む。さらに，東京，北京の２つのオリンピック・パラリンピックでは，数多くの競技中継や関連番組を通じ，大会の盛り上げに寄与するとともに，幅広い視聴者の関心にこたえる。また，地域の発信力をさらに高め，地域サービスの向上を図る。放送時間は，１日24時間を基本とする。

教育テレビジョンは，教育，福祉等の重要課題に加え，語学，教養，趣味実用，食，健康など多彩な番組を編成し，幅広い世代の知的関心にこたえる。また，番組とインターネットとの連携を強化し，子供や若者の接触拡大を図るとともに，誰もが楽しめるユニバーサル放送・サービスをより充実させ，共生社会の実現を目指す。このほか，定時のマルチ編成を行う。放送時間は，１日19時間を基本とする。

(ｲ) 衛星テレビジョン放送

BS1は，ライブ感あふれる情報チャンネルとして，スポーツ，ドキュメンタリー，国際，地域の各分野を充実させ，視聴者の関心にこたえる。東京，北京の２つのオリンピック・パラリンピックに向け魅力的な関連番組を編成するとともに，スポーツを通した共生社会を目指す番組にも注力

する。このほか，マルチ編成を活用した放送を実施する。放送時間は，１日24時間を基本とする。

BSプレミアムは，宇宙や大自然，芸術，ドラマ，歴史，趣味など，様々なジャンルの番組を編成し，格別な満足感を得られるチャンネルを目指す。また，４K一体制作のさらなる推進，BS４K同時放送枠の拡充に取り組む。放送時間は，１日24時間を基本とする。

BS４Kは，機動力と高画質の魅力を生かした幅広いジャンルの番組を提供し，超高精細映像チャンネルの先導的な役割を果たす。また，BSプレミアムと番組編成の一体化を進める。東京オリンピック・パラリンピック期間中は，競技中継等を通して４Kの魅力を伝える。放送時間は，１日18時間を基本とする。

BS８Kは，世界最先端メディアとして，未知なる映像文化を切り開く番組を提供する。東京オリンピック・パラリンピックでは，特性を生かした臨場感あふれる中継を行い，最高水準の放送の実現に寄与する。放送時間は，１日12時間10分を基本とする。

(ｳ)ラジオ放送

ラジオ第１放送は，安全・安心を担う音声基幹波として，命と暮らしを守る情報を伝える。甚大化する自然災害や新型コロナウイルス等の感染症の広がりに備えて，聴取者が必要とする情報を的確に発信する。放送時間は，１日24時間を基本とする。

ラジオ第２放送は，生涯学習波として，語学番組や学校放送番組等の教育番組，教養番組等で多様な知的欲求にこたえる番組を編成するとともに，多言語によるニュースを提供し，加速する国際化に対応する。また，インターネットとの連携によりいつでもどこでも学べる機会を提供する。放送時間は，１日19時間を基本とする。

FM放送は，総合音楽波として，多様で多彩な音楽・芸能ジャンルの番組を編成し，聴取者の期待にこたえる。また，災害等の緊急時には，地域情報波としてライフラインを中心にきめ細かな情報を提供する。放送時間は，１日24時間を基本とする。

(ｴ)地域放送

地域放送は，地域に密着したニュースや情報番組，きめ細かな生活情報番組，地域の課題と向き合う番組等を放送するとともに，地域の魅力を全国に向けて発信する。また，大規模災害時には，きめ細かな情報を提供して人々の命と暮らしを守る。放送時間は，総合テレビジョンで１日３時間，ラジオ第１放送で１日２時間30分，FM放送で１日１時間20分を基本とする。

(ｵ)補完放送

データ放送は，総合テレビジョン，教育テレビジョン，BS1，BSプレミアムの各波で実施し，安全・安心情報を充実するとともに，各波の特色に合わせたコンテンツを展開する。

テレビジョン放送による聴覚障害者や高齢者向けの字幕放送については，サービスの充実を図る。また，主として視覚障害者向けの解説放送，２か国語放送をテレビジョン放送の一部の番組で行う。

ワンセグ（主に携帯・移動端末向けサービス）は，総合テレビジョン及び教育テレビジョンで実施し，同じ内容の番組を同時に放送することを基本とする。ワンセグのデータ放送では，地域ごとのニュース・気象情報や地震・津波情報等を提供する。

(ｶ)放送番組の提供等

放送番組の提供については，国内外の放送事業者等への提供を通じて，協会が保有する映像資産等の多角的展開を行い，多様な媒体及び伝送路を活用した社会還元や海外への情報提供を行う。

放送番組の利用については，番組の効果的な編成に合わせ，学校教育の場や生涯学習活動への利用促進を図る。

これら番組関係に要する経費は，番組制作に2,360億5,244万２千円，番組の編成企画等に243億8,700万円で，総額2,604億3,944万２千円である。

イ　技術関係

放送施設の運用維持については，良好な電波送信の安定確保に努めるとともに，設備の効率的な保守運用を図る。

これら技術関係に要する経費は，総額704億6,595万１千円である。

以上により，国内放送費総額は，3,309億539万３千円となる。

❷国際放送

国際放送は，正確で公平・公正な情報をテレビジョン及びラジオを通じて発信し，日本とアジアを中心に世界の情勢を幅広い人々へ伝える。

外国人向けテレビジョン国際放送では，ニュースと番組の両面で，新型コロナウイルス感染症による危機を乗り越えるための手がかりとなる情報を伝えるとともに，持続可能な社会の実現に向けた取り組みや，新たな生活様式を模索する時代にふさわしい情報，日本の文化・地域の魅力を積極的に世界に発信する。また，国内放送と連携したNHKならではの良質な番組の発信を推進すると

ともに，災害時等の緊急報道では，総合テレビジョン放送と連携し，訪日・在留外国人に向けた安全・安心情報を発信する。あわせて，受信環境の整備を行い，視聴できる地域の拡大に努めるとともに，国内外で外国人向けテレビジョン国際放送の認知向上のため広報活動を推進する。放送時間は，１日23時間以上を基本とする。

日本語による邦人向けテレビジョン国際放送では，ニュース・情報番組を通じて，１日５時間程度，海外の日本人が必要とする国内外の最新情報を提供する。また，大規模な自然災害や事件・事故等の緊急事態が発生した場合は，迅速に国内ニュースの同時放送を行い，的確な情報の提供に万全を期す。さらに，北米及び欧州向けの放送をそれぞれ１日５時間程度実施する。

このほか，邦人に向けて海外の放送事業者等への放送番組の提供を行う。

ラジオ国際放送では，日本及び世界の最新の動向や幅広い情報を伝えるニュース・番組の充実を図るとともに，短波に加え，中波やFM波など地域の特性に応じた多様な手段で伝える。また，訪日・在留外国人に向けてラジオ第２放送と連携し，最新情報を伝える。放送時間は，外国人向け放送と邦人向け放送を合わせて，１日64時間23分を基本とする。

このほか，海外の放送事業者等への放送番組の提供を行う。

これらに要する経費は，総額228億4,128万５千円となる。

❸国内放送番組等配信

人々の命と暮らしを守るためのニュースや防災情報の発信を強化するとともに，深い番組理解につながるコンテンツや放送した番組等の提供，放送番組の周知を行う。

地上テレビジョン常時同時配信と地上テレビジョン見逃し番組配信サービスを提供し，放送番組の視聴機会の拡大を図る。また，地方向けに放送された番組の一部を全国に向けて提供する。

ラジオ第１放送，ラジオ第２放送及びFM放送の放送番組の同時配信と聴き逃し番組配信サービスを行う。

地上及びBS1，BSプレミアム各波のハイブリッドキャストやBS４K及びBS８Kのデータサービス等を通じて，インターネットに接続されたテレビジョン受信機に向けたサービスを行う。

東京オリンピック・パラリンピックに際しては，特設サイトを中心に，放送番組や，聖火リレーなど大会に関わる番組の理解増進情報を提供する。また，最先端の技術を活用しながら字幕や手話等のユニバーサル・サービスを提供する。

さらに，他の放送事業者が行う配信業務に協力するよう努める。

これらに要する経費は，総額106億3,312万円となる。

❹国際放送番組等配信

外国人向けテレビジョン国際放送及びラジオ国際放送の放送番組の同時配信と既放送番組の配信，在外邦人向けテレビジョン国際放送の一部放送番組の同時配信と見逃し番組配信，国際放送の番組の理解増進情報の提供を行う。

アプリケーションやウェブサイトの改良に取り組み，災害時のインターネット発信をさらに充実させる。また，ソーシャルネットワーキングサービスを活用した発信を強化するとともに，自動翻訳技術による字幕を付与した放送番組を同時配信するなど，多言語によるサービスの充実を図る。

これらに要する経費は，総額23億8,443万４千円となる。

❺契約収納

受信料の公平負担と経費削減の両立に向けて，現行の巡回訪問営業から訪問によらない営業へ業務モデルを転換するなど，契約・収納活動の抜本的な構造改革に着手するとともに受信料制度の理解促進を図り，支払率の維持及び受信料収入の確保に努める。

これらに要する経費は，総額559億6,449万９千円となる。

❻受信対策

良好な受信環境の確保に向けて，受信相談への対応や最新の放送技術情報の提供等，視聴者への受信サービス活動を展開する。

これらに要する経費は，総額８億6,829万６千円となる。

❼広報

視聴者との結び付きを一層強化し，多様な意見を効率的かつ効果的に把握して，放送・サービス等の事業運営に適切に反映させる。また，公共メディアや受信料制度への理解促進に向けて，多様で効果的な広報活動を推進する。

これらに要する経費は，総額64億7,198万４千円となる。

❽調査研究

放送技術の研究については，新たな視聴体験ができる未来のメディア技術の研究開発を行う。また，放送と通信の連携サービス等新たなメディア環境に対応する技術の研究開発等を行う。

放送番組の研究については，社会・政治・生活に関する世論調査やコンテンツへの多様な接触を把握する評価手法を用いた調査・検証を進めるなど，放送・サービスの向上に寄与する調査研究を行う。

これらに要する経費は，総額80億6,161万７千円となる。

❾給与

給与については，業務改革を一層推進し，引き続き適正化に努める。公共メディアの役割を果たし，構造改革を実現する要員体制を確保する。

これに要する経費は，総額1,134億4,751万３千円となる。

表７　2021年度収支予算

（一般勘定）

（事業収支）　（単位　千円）

款	項	金　額
事業収入		690,003,980
	受信料	671,401,759
	交付金収入	3,850,550
	副次収入	6,204,588
	財務収入	1,222,083
	雑収入	2,250,000
	特別収入	5,075,000
事業支出		713,013,737
	国内放送費	330,905,393
	国際放送費	22,841,285
	国内放送番組等配信費	10,633,120
	国際放送番組等配信費	2,384,434
	契約収納費	55,964,499
	受信対策費	868,296
	広報費	6,471,984
	調査研究費	8,061,617
	給与	113,447,513
	退職手当・厚生費	53,839,101
	共通管理費	18,831,745
	減価償却費	85,000,000
	財務費	3,750
	特別支出	1,761,000
	予備費	2,000,000
事業収支差金		△ 23,009,757

事業収支差金△230億975万7千円については，繰越金の一部をもって補てんする。

（資本収支）　（単位　千円）

款	項	金　額
資本収入		111,899,757
	前期繰越金受入れ	23,009,757
	減価償却資金受入れ	85,000,000
	資産受入れ	3,890,000
資本支出		88,890,000
	建設費	86,090,000
	出資	2,800,000
資本収支差金		23,009,757

（参考）建設積立資産および財政安定のための繰越金の状況

（単位　千円）

区　分	年度末見込み
建設積立資産	169,319,235
財政安定のための繰越金	122,048,359

（参考）事業支出のうち伝送部門に係る経費　（単位　億円）

区　分	金　額
伝送部門に係る経費	398
物件費	209
人件費	19
減価償却費	169

（有料インターネット活用業務勘定）

（事業収支）　（単位　千円）

款	項	金　額
事業収入		3,630,228
	放送番組等有料配信収入	3,630,228
事業支出		2,214,925
	放送番組等有料配信費	2,034,144
	広報費	21,108
	給与	88,127
	退職手当・厚生費	37,582
	共通管理費	33,964
事業収支差金		1,415,303

事業収支差金14億1,530万3千円を含む令和3年度末の繰越不足△53億9,098万4千円については，一般勘定からの短期借入金等をもって補てんする。

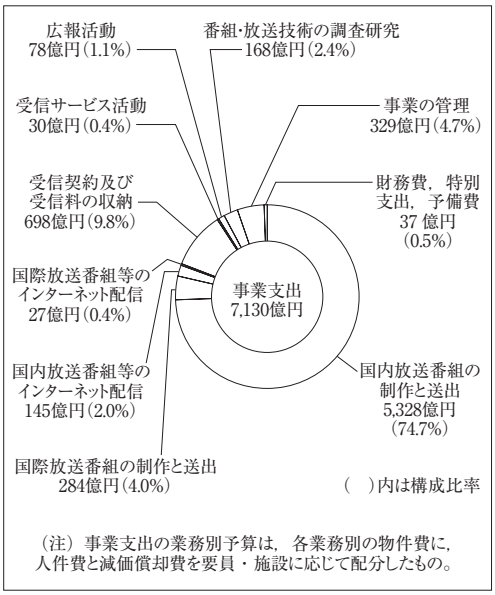
（受託業務等勘定）

（事業収支）　（単位　千円）

款	項	金　額
事業収入		1,016,540
	受託業務等収入	1,016,540
事業支出		852,710
	受託業務等費	852,710
事業収支差金		163,830

事業収支差金1億6,383万円については，一般勘定の副次収入に繰り入れる。

（参考）事業支出の業務別予算



（注）事業支出の業務別予算は，各業務別の物件費に，人件費と減価償却費を要員・施設に応じて配分したもの。

⑩退職手当及び福利厚生

退職手当及び福利厚生については，退職給付費の増等により，総額538億3,910万１千円となる。

⑪共通管理

共通管理については，リモートワークの推進による増等により，総額188億3,174万５千円となる。

⑫有料インターネット活用業務

放送番組等を電気通信回線を通じて，有料で一般の利用に直接供するサービスについては，コンテンツの充実や利便性の向上等を図る。

このほか，放送番組を電気通信回線を通じて一般の利用に供する事業を行う者に，放送番組等を有料で提供する。

これらに係る収入は36億3,022万８千円，支出は22億1,492万５千円である。

⑬受託業務等

受託業務等については，会館施設等の一般供用，賃貸及び放送番組の受託制作等を行う。

これらに係る収入は10億1,654万円，支出は８億5,271万円である。

⑭人事制度改革及び受信料の価値を最大化するためのマネジメント施策の推進

組織の機能を最大限発揮するため改革を推進し，ダイバーシティの推進や人材の育成等に取り組むほか，新たなワークスタイルの実現に向けた取り組みを推進する。

また，経営資源を放送・サービスに集中し，合理的なコストによる効率的な業務体制を確立するとともに，グループ全体での「新しいNHKらしさの追求」に向けた体制構築とガバナンスの強化を行う。あわせて，契約者との結びつきの強化や満足度を高める視聴者コミュニケーション改革に取り組む。経営計画について客観的なデータに基づいた改革・改善の進捗管理を行う。

さらに，放送・サービスの維持継続等のためサイバーセキュリティーを確保するとともに，コンプライアンスの徹底やリスク対策の強化に取り組む。

3 NHK予算の国会審議

【1】総務大臣の意見

日本放送協会令和３年度収支予算，事業計画及び資金計画に付する総務大臣の意見（以下，原文引用）

日本放送協会（以下「協会」という。）は，公共の福祉のため，あまねく日本全国において受信できるように豊かで，かつ，良い放送番組を放送する等，放送法で定められている業務を着実に遂行することを通じて，公共放送の担い手としての社会的使命を果たすとともに，スリムで強靱な組織となることを目指し，徹底的な取組を行うことが求められている。

協会の令和３年度収支予算，事業計画及び資金計画については，230億円の事業収支差金の赤字を見込んでいるところ，引き続き経営のスリム化に徹底的に取り組むとともに，受信料の適正かつ公平な負担の徹底に向けた取組を進めることにより，収支均衡を早期に確保することが求められる。

「NHK経営計画（2021-2023年度）」（以下「中期経営計画」という。）で示された「事業規模の一割にあたる700億円程度」を還元の原資として，「衛星波の削減を行う2023年度に受信料の値下げを行う方針」については，衛星付加受信料を含め，受信料引下げの内容を早期に具体化することが望まれる。

さらに，協会の在り方について，国民各層や関係者の意見も幅広く聞きながら，「業務」・「受信料」・「ガバナンス」の三位一体改革に不断に取り組むことが求められる。

また，特に下記の点について配意すべきである。

１　国内放送番組の充実

○ 放送番組の編集に当たっては，公共放送の担い手としての社会的使命を認識し，国民の生命と財産を守る正確で迅速な報道の確保や国民・視聴者の信頼に応える質の高い番組の提供等を行うとともに，放送法を十分に踏まえ，正確かつ公正な報道を行うことにより，国民・視聴者の負託に的確に応えること。

○ 近年，大規模自然災害が多発しており，災害情報の迅速かつ確実な提供の重要性が高まっていることを踏まえ，大規模自然災害発生時に国民・視聴者に向けて，あらゆる手段できめ細やかな情報提供を行うこと。その際，災害による停電時の情報入手手段としてラジオが有用であることも踏まえ，引き続き，テレビ，ラジオ及びこれを補完するインターネットを適切に使用すること。

○ 少子高齢化や過疎化の進行等様々な課題に直面する地域社会への貢献や地方創生の観点から，地域の関係者と連携することにより，多様な自然・歴史・文化・人々の暮らしなどそれぞれの地域ならではの魅力の紹介及び地域経済の活性化に寄与するコンテンツの充実並びに国内外に向けた積極的発信に一層努める

こと。

○ 字幕放送，解説放送及び手話放送については，総務省が平成30年２月に策定した普及目標を踏まえ，拡充に努めること。特に，災害報道や国会中継，地域放送局における字幕放送や手話放送などの一層の充実に取り組むこと。また，音声認識技術による自動字幕制作システム，生放送番組にも対応可能な新たな解説放送サービス，CGを用いた手話アニメーションの自動生成技術等，これまで実施してきた研究成果の早期の実用化や視聴覚障害者向け放送サービスの普及に関する研究を一層推進すること。

○ 第32回オリンピック競技大会及び東京2020パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会」という。）の放送に当たっては，民間放送事業者と十分に意思疎通を図りながら実施し，国民・視聴者の関心に的確に応えるとともに，我が国及び地域の魅力を世界に発信することにより，大会の成功に貢献するよう努めること。

２　国際放送の充実等による総合的な海外情報発信の強化

○ 我が国の重要な政策及び国際問題に対する公的見解並びに我が国の経済・社会・地域及び文化の動向や実情を正しく伝えることがこれまで以上に重要になっている。とりわけ，国が費用を負担して行う国際放送については，新型コロナウイルス感染症に関する国内の最新の状況に留意しつつ，これら諸点の発信の充実に努めることが期待される。今後，東京2020大会，2025年日本国際博覧会等を控え，我が国に注目・関心が一層集まることも踏まえ，我が国に対する正しい認識・理解・関心を培い，普及させるとともに，国際交流・親善の増進，経済交流の発展，地方創生の推進等に資するよう国際放送のより一層の充実・強化を図ること。

○ 特に，「NHKワールド JAPAN」に関し，認知度等について，世界の国際放送の中で協会の占める位置が分かるような具体的指標を早期に設定し，当該指標に基づいたPDCAサイクルの強化に努めるとともに，海外の既存送信網の見直しに伴い我が国の情報発信力が低下することのないよう留意すること。また，国内においても，訪日外国人の視聴拡大に向けた取組を関係者と連携しながら進めること。

○ 地方創生，経済成長及び国際社会における我が国のプレゼンス向上に資するため，放送コンテンツの戦略的かつ積極的な海外展開等を通じ，総合的な海外情報発信の強化に努めるとともに，地上デジタル放送日本方式の採用国における円滑なデジタル放送への移行に向けた支援等に取り組むこと。

３　４K放送の飛躍的拡大，８K技術の多様な分野での利活用及びインターネット活用業務に関する関係者間連携等

○ 平成30年12月に開始された新４K８K衛星放送については，その早期かつ円滑な普及に向けて，引き続き，コンテンツの制作や受信環境整備に資する取組を行うこと。具体的には，４K放送については，東京2020大会の機会を捉え，他の放送事業者，受信機メーカー等の関連団体・事業者との連携の下，視聴方法やサービス内容に関する国民・視聴者への情報提供を適切に行うことにより，その飛躍的な拡大に向けて，公共放送の担い手としての先導的役割を果たすこと。また，８K技術については，医療，教育等放送以外の分野での利活用等に努めること。

○ インターネット活用業務については，協会の目的や受信料制度の趣旨に沿って適切に実施されるよう，令和３年１月に認可した実施基準に従って，認可条件を踏まえ，適正な規模の下で節度をもって事業を運営すること。

○ インターネット活用業務に係る民間放送事業者との連携・協力については，放送法上の努力義務であることを十分に踏まえ，民間放送事業者の求めに応じ，その取組の具体化を図ること。

○ 地方向け番組の配信について，効率的な配信方法の検討・検証を踏まえて具体的な計画を明らかにし，当該配信の充実に努めるとともに，災害情報の多元的な伝達手段確保の観点から，災害報道のインターネット同時配信の充実に引き続き努めること。

○ 「NHKオンデマンド」を含む有料インターネット活用業務勘定については，令和元年度末時点で約67億円の繰越欠損金が計上されていることから，引き続き収支の改善に努めること。

４　経営改革の推進

○ 衛星波については，中期経営計画で示された「2023年度中に２Kのうち１波を削減」するという点を着実に実施すること。また，音声波についても，中期経営計画で示された

「2025年度に現在の３波から２波へ整理・削減する方向で検討」するという点に関し，その具体的な計画を早期に明らかにし，国民・視聴者への丁寧な周知に努めること。

○ 子会社の利益剰余金が令和元年度末時点で958億円になっていることを踏まえ，「日本放送協会の子会社等の事業運営の在り方に関するガイドライン」（令和元年９月６日公表）等に基づき，子会社に適切に配当を行わせるよう徹底すること等により，利益剰余金が協会に適切に還元されるよう努めること。

○ 子会社等の在り方をゼロベースで見直す抜本的な改革については，中期経営計画で示された「子会社をはじめとした全体の規模を縮小するとともに団体の数を削減」するという点に関し，その具体的な内容を早期に明らかにするとともに，高止まりしている「随意契約比率」の引下げに向けて徹底的に取り組むこと。

○ 協会の経営は国民・視聴者の受信料によって支えられていることから，コスト意識を持ち，業務の合理化・効率化，適正な給与水準・人員配置の確保，調達に係る取引の透明化・経費削減，関連団体への業務委託についての透明性・適正性の向上，外部制作事業者の活用等，従来指摘してきた事項について，取組を着実かつ徹底的に進めること。なお，外部制作事業者の活用に当たっては，「放送コンテンツの製作取引適正化に関するガイドライン」（第７版）（令和２年９月30日公表）に従って，適正な製作取引の確保に努めること。

○ これまで，不正経理・着服や受信契約者の個人情報の漏えい等の不祥事が発生したことは，受信料収入によって成り立つ協会に対する国民・視聴者の信頼を著しく損なうものであると言わざるを得ない。引き続き，再発防止に向け，ガバナンスの強化とコンプライアンスの徹底に組織を挙げて全力で取り組み，不祥事の根絶に努めるとともに，放送法に基づきNHKグループの業務の適正を確保するための体制整備を適切に図ること等によりNHKグループ全体でのコンプライアンスを確保・徹底すること。

○ 平成25年７月に首都圏放送センターの記者が長時間労働による過労で亡くなられたことを重く受け止め，引き続き，適正な労務管理や不断の「働き方改革」に徹底して取り組むこと。とりわけ，平成29年12月に協会が自ら定めた「NHKグループ働き方改革宣言」について，経営委員会，監査委員会，執行部がそれぞれの役割を適切に果たしながら推進できるよう，ガバナンスの点検・強化に真摯に取り組むこと。

○ 女性職員の採用及び役員（経営委員を除く。以下同じ。）・管理職への登用を積極的に拡大するとともに，ワークライフバランスに関する取組の一層の充実，女性の活躍に関する情報の積極的な公表等，必要に応じて新たな目標を設定しつつ，女性の活躍に向けた取組を更に加速させること。

○ 放送法に基づき，中期経営計画，経営委員会及び理事会の議事録など協会の組織，業務及び財務に関する基礎的な情報等の情報公開を一層推進することにより，運営の透明性の向上を図り，自ら説明責任を適切に果たしていくこと。

5 受信料の適正かつ公平な負担の徹底に向けた取組等

○ 営業経費については，引き続き見直しを実施し，削減を図っていくこと。また，「訪問によらない営業」への転換については，その効果について検証を着実に実施し，検証結果を踏まえて不断に見直しを行うとともに，営業活動の一層の合理化・効率化に向けて，日本郵便との連携等，新たな方策に積極的かつ早期に取り組むこと。

○ 受信契約の勧奨等に際しては，平成29年12月の最高裁判所の判決も踏まえ，公共放送の役割や受信料制度の意義も含めてこれまで以上に丁寧な説明を行い，受信契約の締結や受信料の支払いに国民・視聴者の理解が得られるよう努めること。

○ 国民生活センター及びNHKふれあいセンターに寄せられた苦情等も踏まえ，引き続き，委託先の業務の実態を適切に把握し，必要に応じて是正を指導するなど，受信契約の勧奨等の業務の適正を確保するための体制について，不断に点検及び見直しを行うこと。

○ 令和３年度は支払率が80％に低下することが見込まれているところ，受信料の適正かつ公平な負担の徹底に向けて，未契約者及び未払者対策を着実に実施し，支払率の向上に全力を挙げること。

6 大規模災害に対応するための公共放送の機能の強靭化等

○ 令和２年７月豪雨等の大規模災害が引き続き発生していることも踏まえ，引き続き，ニ

ュースや番組の充実等を通じて，被災地の復旧・復興への取組を支援すること。

○ 大阪拠点放送局をはじめ，引き続き，首都直下地震や南海トラフ地震等の大規模災害に備えた公共放送の機能の地方分散と強靱化を図るとともに，災害対策基本法等に定める指定公共機関として，国民の安全・安心を守るため，その役割を十分に果たすよう努めること。

○ 東京2020大会，2025年日本国際博覧会等を控える中，サイバーセキュリティ基本法に定める重要社会基盤事業者として，引き続き，サイバーセキュリティの確保に万全を期すこと。

○ 地域の放送ネットワークの維持・管理に当たっては，民間放送事業者との連携・協力について具体化を促すための適切な協議の場を設けることも含め，一層積極的に実施していくこと。

7 放送センターの建替

○ 放送センターの建替については，中期経営計画で示された「新放送センターの建設計画の抜本的な見直し」という点に関し，その具体的な内容を早期に明らかにするとともに，国民・視聴者の理解が得られるよう，説明を尽くすこと。

○ 投資削減は総資産，減価償却費の圧縮に寄与することに重々留意し，新放送センター，各地の地域放送会館その他全般にわたり，中期経営計画で示された「設備のシンプル化・集約化・クラウド化」による「保有設備の削減」を着実に実施すること。

○ 新放送センター及び地域放送会館その他の建設費の圧縮に徹底的に取り組み，その成果を受信料引下げの原資に充てること。

8 新型コロナウイルスの感染拡大への対応

○ 協会が自ら令和２年３月24日に公表した行動指針等に基づき，引き続き，国民・視聴者への正確かつ迅速な情報の提供や国内の正しい情報を世界へ発信すること等に努めるとともに，協会自身が公共放送としての社会的使命を十全に果たしていくため徹底した対策を講じること。

○ 新型コロナウイルス感染拡大の影響を見極め，受信料の引下げを実現することにより，家計の負担軽減に資するよう努めること。また，受信料の支払いが困難になった者への対応について，引き続き，適切に検討すること。

【2】衆議院総務委員会の附帯決議

放送法第七十条第二項の規定に基づき，承認を求めるの件に対する附帯決議

政府及び日本放送協会は，次の各項の実施に努めるべきである。

一 協会は，令和三年度予算において一昨年度より三期にわたって事業収支差金の赤字を見込んでいることについて，放送法に定められた目的に即し，業務の目的の明確化や業務の見直しなどにより，収支均衡を基本とする安定的な業務運営の体制確保に努めること。

二 協会は，協会本体及びグループの職員による一連の不祥事に対し，国民・視聴者から厳しい批判が寄せられていることを踏まえ，協会一体となって綱紀を粛正しコンプライアンスを徹底した運営を行うことで，信頼回復に努めること。また，子会社を含むグループ全体としての経営改革に組織を挙げて迅速かつ確実に取り組むこと。

三 経営委員会は，放送法が定める協会の自律性を担保するために，協会の経営に関する重要事項を決定する権限と責任を有する最高意思決定機関であることを深く認識し，職務を遂行するに当たっては，放送法を遵守し，特に，何人からも介入されることのない個別の放送番組の編集への経営委員会の介入が疑われるような行為は厳に慎むこと。また，協会が放送法に定められた役割を的確に果たせるよう，監督権限を行使すること。役員に不適切な行為がある場合，又は，公共放送の倫理観にもとる行為がある場合には，監査委員会と十分連携しながら再発防止の観点から厳格に対処すること。

四 協会は，過去の記者が過労で亡くなった事実等を踏まえ，協会の業務に携わる者の命と健康を最優先とし，適正な業務運営と労働環境確保に努め，長時間労働による被害を二度と起こさないよう，全力で取り組むこと。また，ハラスメント防止に向けた取組の一層の促進等，労働環境改善に努めること。

五 協会は，放送番組の編集に当たっては，受信料を財源とする公共放送の性格を定めた放送法の趣旨を十分踏まえ，事実に基づく放送に強い責任を自覚し，かつ政治的公平性を保つとともに，「人にやさしい放送」のさらなる拡充により放送のバリアフリー化を進め，我が国の公共放送としての社会的使命を果たすこと。また，寄せられる様々な意見に対し，必要に応じ自律的に調査し，その

結果を速やかに公表し，国民・視聴者に開かれた公共放送として信任を得られるよう努めること。

六　政府は，日本国憲法で保障された表現の自由，放送法に定める放送の自律性に鑑み，協会を含めた放送事業者の番組編集について，引き続き自主・自律性を尊重すること。また，経営委員の任命に当たっては，その職務が社会において重大であることを認識し，公正な判断をすることができる経験と見識を有する者を，教育，文化等の各分野及び全国各地方が公平に代表されること，女性の比率を引き上げることなど多様な意見が反映されるよう幅広く選任するよう努めること。

七　協会は，その運営が受信料を財源としていることを踏まえ，国民・視聴者に対し，情報を十分に開示し，説明を尽くすこと。また，そのために，経営委員会及び理事会等における意思決定過程や，財政運営上の規律，不祥事に伴う処分，子会社等の運営の状況，調達に係る取引等を合理的に跡付け，又は検証することができるよう，議事録の適切な作成・管理を行うとともに必要な時は公表すること。

八　協会は，放送センターの建替えに際し，受信料を財源としていることを踏まえ，中期経営計画で示された「新放送センターの建設計画の抜本的な見直し」の具体的な内容を早期に明らかにし，国民・視聴者の理解が得られるよう説明を尽くすとともに，建替えに係る費用の圧縮に徹底的に取り組み，その成果を国民・視聴者に適切に還元すること。

九　協会は，平成二十九年十二月の最高裁判決にも鑑み，公共放送の存在意義及び受信料制度に対する国民・視聴者の理解の促進や信頼感の醸成に協会一体となって，一層努めること。また，受信契約の締結に際しては，視聴者の理解を得ながら適正に行われるべきことを，職員及び業務委託先に指導し，周知徹底すること。

十　協会は，繰越金や今後の事業収支の状況と新型コロナウイルス感染拡大の影響を見極め，国民・視聴者の負担軽減に資するよう，受信料の引下げについて早急に検討するとともに，受信料の支払いが困難となった者について，支払いの猶予等の対応を適切に行うこと。

十一　協会は，インターネット常時同時配信等通信分野での業務について，民間放送事業者の見解に十分留意しつつ，国民・視聴者のニーズや動向を的確に把握し，国民・視聴者に対する情報提供や関係者間での情報共有及び連携を図り，通信分野での協会の在り方について，できるだけ明確にその姿勢を示すよう努めること。また，費用全体を抑制的に管理するとともに，国民・視聴者にわかりやすく公開・説明すること。

十二　協会は，国際放送については，我が国の経済・社会・文化等の動向を正しく伝え，我が国に対する理解を促進するよう努めること。また，番組内容の充実，国内外における国際放送の認知度の向上等に努めること。

十三　協会は，自然災害が相次いでいる現状に鑑み，地震災害，風水害，雪害等，いかなる災害時にも放送・サービスが継続され，正確な情報が国民に伝達されるよう，地方局と連携し，放送設備と体制の強化を図ること。

十四　協会は，サイバーセキュリティ基本法に定める重要社会基盤事業者であること及び本年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けてサイバー攻撃の脅威が高まっていることに鑑み，関係機関と緊密な連携を図り，サイバーセキュリティの確保に取り組むこと。

十五　協会は，地域の魅力を生かした活性化と発展の観点から，地域の様々な分野の関係者と連携を強化し，それぞれの地域ならではの魅力の紹介及び地域の発展に寄与するコンテンツの充実並びに国内外に向けた積極的発信に努めること。

十六　協会は，障害者の雇用率を一層高め，職場での差別禁止や合理的配慮を徹底し，障害者の働く環境改善を進めること。また，女性の採用・登用について，より高い数値目標を設定し，性別に関係なく仕事と家庭が両立できる職場の環境改善を進めること。

十七　協会は，放送と通信の大融合時代にふさわしい公共放送の在り方，受信料の在り方について，引き続き真剣に検討し，新しい社会と技術に対応した公共メディアとしての経営ビジョンを構築すること。

十八　政府は，放送と通信の大融合時代にふさわしい公共放送の在り方，受信料制度の在り方について真摯に検討し，その結果を踏まえ，所要の措置を講ずること。

十九　政府は，新型インフルエンザ等対策特別措置法の指定公共機関である協会に対する同法に基づく指示については，報道の独立性及び国民の知る権利を最大限に尊重すること。

二十　協会は，中期経営計画の実行に当たって，協会と業務上の関係を有する者に対する影響等に留意すること。

【3】参議院総務委員会の附帯決議

放送法第七十条第二項の規定に基づき，承認を求めるの件に対する附帯決議

政府及び日本放送協会は，公共放送の使命を全うし，国民・視聴者の信頼に応えることができるよう，次の事項についてその実現に努めるべきである。

一，経営委員会は，本委員会の審議を踏まえ，経営委員会の放送番組の編集への介入の疑念について，十分な総括と反省を行い，改めて，放送番組は何人からも干渉され，又は規律されることがないことを規定した，放送法第三条の放送番組編集の自由を十分理解し，その自由を侵害する行為はもとより，侵害を疑われる行為を絶対に行わないこと。

二，経営委員会は，放送法が定める協会の自律性を保障するために，協会の経営に関する最高意思決定機関として重い職責を担っていることを深く認識し，協会が放送法に定められた役割を確実に果たすよう，権限を行使すること。

また，協会は，国民・視聴者からの受信料でその運営が行われていることを深く認識し，その運営について，情報の十分な開示･説明を行うため，議事録の適切な作成・管理・公表を行うこと。特に，経営委員会は，放送法を遵守し，その意思決定に至る過程等について，適切な議事録等の作成・公表を徹底すること。

三，監査委員会は，放送法に基づく調査権限を適切に行使し，役員に不適切な行為がある場合，又は，公共放送の倫理観にもとる行為がある場合には，経営委員会と十分に連携しながら，時宜を失することなく厳格に対処すること。

四，協会は，関連団体を含めた不祥事に対し，国民・視聴者から厳しい批判が寄せられていることを踏まえ，公共放送を担う者としての役職員の倫理観を高め，綱紀の粛正，コンプライアンスの徹底，再発防止策の確実な実施等を組織一体となって行うことにより，信頼回復に全力を尽くすこと。

五，協会は，公共放送としての社会的使命を認識し，公正を保持し，事実を客観的かつ正確，公平に伝え，真実に迫るための最善の努力を不断に行うとともに，意見が分かれている問題については，できる限り多くの角度から論点を明らかにするなど，放送法の原則を遵守すること。また，国民・視聴者から寄せられる様々な意見に対し，必要に応じ自律的に調査し，その結果を速やかに公表すること。

六，政府は，日本国憲法で保障された表現の自由，放送法に定める放送の自律性を尊重し，協会を含めた放送事業者の番組編集における自主・自律性が保障されるように放送法を運用すること。

また，経営委員の任命に当たっては，その職務の公共性を認識し，公正な判断をすることができる経験と見識を有する者を，教育，文化等の各分野及び全国各地方から公平に代表されることを考慮するとともに，女性委員の比率を引き上げることなどにより多様な意見が反映されるよう，幅広く選任するべく努めること。

七，協会は，業務の目的の明確化や中期経営計画で示した構造改革等の不断の努力を通じ，三年連続の事業収支差金の赤字を見込んだ予算編成から，早期の収支均衡を実現し，より安定した業務体制を確保するよう努めること。

また，構造改革の実施に当たっては，国民・視聴者のニーズを踏まえ，その利便性を損なうことのないよう十分に留意するとともに，関係者に与える影響について配慮すること。

八，政府及び協会は，放送と通信の融合の更なる進展の中で，公共放送の在り方及び受信料の在り方について，引き続き真摯に検討を行うこと。

また，その結果を踏まえ，政府は，所要の措置を講ずるとともに，協会は，新しい社会と技術に対応した公共メディアとしての経営ビジョンを構築すること。

九，協会は，繰越金や今後の事業収支の見通しと新型コロナウイルス感染症の拡大の影響等を踏まえ，国民・視聴者の負担軽減に資するよう，中期経営計画で示した受信料の引下げの内容を早期に具体化するとともに，受信料の支払いが困難となった者について，支払いの猶予等の対応を適切に行うほか，受信料減免の拡大について引き続き検討すること。

また，受信料制度に対する国民・視聴者の理解を促進し，受信契約の締結は視聴者の理解を得た適正なものでなければならないことを認識した上で，公平負担の観点から，受信料支払率の向上に努めること。

十，協会は，放送センターの建替えに際し，受信料を財源としていることを踏まえ，中期経営計画で示された「新放送センターの建設計画の抜本的な見直し」の具体的な内容を早期に明らかにし，国民・視聴者の理解が得られるよう説明を尽くすとともに，建替えに係る費用の圧縮に徹底的に取り組み，その成果を国民・視聴者に適切に還元す

ること。
十一, 協会は，常時同時配信等のインターネット活用業務を行うに際しては，その影響力の大きさを十分認識し，国民・視聴者のニーズや動向を的確に把握するとともに，民間放送事業者等の見解を幅広く聞きながら，関係者間での情報共有及び連携を図り，適正な規模・水準の下，節度をもって適切に実施すること。
十二, 協会は，各地域の関係者と様々な分野で連携を強化しながら，それぞれの地域ならではの魅力を紹介し，地域の活性化及び発展に寄与するコンテンツを充実するとともに，国内外に向けた積極的な発信に努めること。
十三, 協会は，我が国の経済・社会・文化等の動向を正しく伝えることの重要性を踏まえ，我が国に対する理解が促進されるよう，国際放送の一層の充実を図ること。特に，外国人向けテレビ国際放送については，番組内容の充実，国内外における認知度の向上等に努めること。
十四, 協会は，グループとしてのガバナンスを不断に強化し，子会社等からの適切な還元を図るとともに，重複業務の整理等を推進し，透明性の高い効率的なグループ経営の構築に向けて，迅速かつ確実に取り組むこと。
十五, 協会は，障がい者，高齢者に対し，十分な情報アクセス機会を確保し，デジタル・ディバイドを解消するため，新たな技術の開発・活用などにも取り組み，字幕放送，解説放送，手話放送など「人にやさしい放送」の一層の充実等を図ること。
十六, 協会は，自然災害が相次ぐとともに，新たな感染症が発生している現状に鑑み，いかなる事態においても放送・サービスが継続されるよう，地方局と連携し，放送設備と体制の強化を図るとともに，正しい情報を国民・視聴者に伝達し，その予防･拡大防止に寄与するよう万全を期すこと。
十七, 協会は，サイバーセキュリティ基本法に定める重要社会基盤事業者であること及び東京オリンピック・パラリンピックに向けてサイバー攻撃の脅威が高まっていることに鑑み，関係機関と緊密な連携を図り，サイバーセキュリティの確保に取り組むこと。
十八, 協会は，ハラスメント防止の取組を一層促進するとともに，過去に記者が過労で亡くなった事実等を踏まえ，過労死の再発防止のため，協会の業務に携わる者の命と健康を最優先に確保し，適正な業務運営と労働環境改善に全力で取り組むこと。
十九, 協会は，障がい者の法定雇用率を達成し，雇用率を一層高めるとともに，職場での差別禁止や合理的配慮を徹底し，障がい者の働く環境の改善を進めること。
また，女性の採用・登用について，より高い数値目標を設定し，性別に関係なく仕事と家庭が両立できる職場の環境改善を進めること。
二十, 政府は，新型インフルエンザ等対策特別措置法の指定公共機関である協会に対する同法に基づく指示については，報道の独立性及び国民の知る権利を最大限に尊重すること。

右決議する。

国際協力

1 外国放送機関との協力

【1】協力協定･協力覚書･ニュース素材交換覚書

NHKは，外国の放送機関などとの間で，友好・協力関係促進を目的として，「協力協定」を結んでいる。
この「協力協定」では，番組やニュース素材の提供，取材・制作協力，衛星伝送協力，共同制作推進など，放送の全般的な分野での相互協力について定めており，これを簡略化した「協力覚書」を結ぶこともある。
また，一部の機関については，ニュース取材における協力や，相互のニュース素材を交換できることを文書で取り決めた「ニュース素材交換覚書」を結んでいる。
20年度末現在で，これら協力協定・協力覚書・ニュース素材交換覚書を締結している外国放送機関は48の国と地域の67機関である。(⇒p.718)

【2】外国放送事業者への取材協力

NHKは，外国放送機関との相互協力の一環として，取材制作協力を積極的に行っている。
これは協力協定に基づき，ニュースの素材交換の他，海外総支局との関係性を考慮し，依頼に応じて，カメラ，スタジオ，中継車，編集設備，方式変換，衛星伝送などの設備や機材の手配，および要員の派遣や斡旋(あっせん)を行っている。
20年11月に大阪府門真市で開催されたNHK杯国際フィギュアスケート競技大会では，ホスト制作した国際映像の世界25局のライツホールダーに対する配信サポートを行った。

【3】海外派遣による国際協力

20年度の国際協力機構（JICA）ベースによる短期派遣は，新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により，計画されていた研修やプロジェクトが相次いで中止や延期となり，実施されなかった。

長期派遣は次のとおりである。

▶**マレーシア**

アジア太平洋放送連合（ABU）事務局に番組局長（１名）を引き続き派遣中である。

【4】海外受託研修

20年度は，国際協力機構（JICA）などからの要請に基づき，アジア，アフリカ，中南米の国々など11か国27人を対象にオンラインで実施した。

海外受託研修（20年度）

地域		研修コース／国名	番組制作	放送技術	管理	計
アジア	1	モルディブ	2	6		8
	2	フィリピン	1			1
	3	スリランカ		2		2
アフリカ	4	アンゴラ		2		2
	5	ボツワナ	3	1		4
	6	カメルーン	3			3
	7	マラウイ	2			2
	8	南スーダン	1			1
	9	モーリシャス	1			1
中南米	10	エルサルバドル		2		2
その他	11	コソボ	1			1
		合　計	14	13		27

（注）
1．海外受託研修は1961年度から開始し，20年度末までに合計147の国と地域，3,352人について実施した。
2．海外受託研修は，主として独立行政法人国際協力機構（JICA）からの委託により実施している。
20年度については，「地上デジタルテレビ放送政策・技術」「地上デジタルテレビ放送の番組制作」をオンラインで実施した。

2 外国放送機関との定期協議

【1】中国国家ラジオテレビ総局

NHKは1984年10月，当時の中国ラジオ映画テレビ省（2018年，中国国家ラジオテレビ総局に改組）との間で協力協定を締結。両者が包括的な協力を検討するため，毎年度初頭（４月）に定期協力委員会を東京と北京で相互に開催している。中国側からは傘下のCCTV，中央人民ラジオ，中国国際放送局（いずれも当時。現在はこの３者がCMGとして統合）が参加して，これまでに27回開いたが，13年度以降，中断となっている。

【2】KBS（韓国放送公社）

NHKは韓国KBSと相互協力のための会議を1968年以来続けている。

第40回NHK-KBSメディア協力会議（旧：日韓放送協力会議）は2020年度にソウルにて開催予定だったが，コロナ禍の影響で21年に延期となった。

災害対策

首都直下地震や南海トラフ巨大地震，千島海溝沿いの巨大地震などの際に放送・サービスを継続するため，本部や放送局の機能や運用・実施体制の強化に取り組んだ。

首都直下地震などで渋谷の放送センターから放送できなくなった場合には，大阪拠点局から放送衛星等を通じて全国放送と国際放送を，さいたま報道別館から首都圏向けのラジオ放送を行うとしており，各施設で訓練を実施した。

また，国の検討会が20年４月に公表した千島海溝沿いの巨大地震の新たな想定をもとに，関係する各地の放送局を結んで訓練を行い，地震発生直後や被害判明後の取材・放送対応を確認し，課題の発見・解決に取り組んだ。

環境経営

1 概況

「2018-2020年度　NHK経営計画」に基づいた環境経営アクションプランを策定し，放送センター，全国の放送局で20年度末までに，CO_2排出原単位を基準年度（11年度）比で15%改善することを目標として排出抑制に取り組んでいる。放送やイベントを通じて環境問題に関するさまざまな情報の提供に努め，かつ，省エネルギーや省資源など環境に配慮した業務運営に取り組んだ。

さまざまな環境データについては，「エネルギーの使用の合理化に関する法律」に基づき定期報告書を経済産業省および総務省に提出しているほか，東京都の「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」に基づき，特定温室効果ガス排出量算定報告書と，地球温暖化対策計画書を提出し

た。

21年３月15日に21年度からの環境経営への取り組みとして「NHK環境経営アクションプラン（2021-2023年度）」を公表した（**表８**）。25年度までに電力使用によるCO_2排出量を25%削減（放送センター相当分・18年度比）の数値目標を設定，省エネの取り組みと再生可能エネルギーの導入等を盛り込んだ内容とした。

2 省エネルギー・省資源の推進

エネルギー消費量の抑制を目的に，ラジオ第２放送やEテレの「深夜の放送休止時間帯の電波停止」を緊急放送への即応体制の確保のもと実施している。

また省資源・廃棄物対策の推進としては，スタジオの美術セットの制作で，環境に優しい素材や無駄の少ないセット構造を検討し，共通パーツを使って複数のセットを効率的に運用している。

職場の省エネ・省資源活動としては，20年度もオフィスの節電対策として，省エネ型の設備や機材の開発・導入とともに，全国の放送局でクールビズ，ウォームビズを実施し，事務室の室温を夏期は28℃，冬期は20℃を原則として省エネに努めた。放送センターでは，天井灯に従来型より消費電力の少ないLED灯や冷陰極管蛍光灯を導入してきたが，更に消費電力の少ないLED灯への更新を進めるとともに，廊下等共用部分の減灯，エレベーターの一部の夜間休日休止を継続実施している。全国の放送局においてもLED灯の導入や放送会館ごとの放送設備，空調設備，電灯コンセントなど系統別の電力使用状況が把握できる「省エネ管理システム」を利用し節電に努めている。

「紙削減プロジェクト」を立ち上げコピー用紙購入量を前年度比で３割削減することを目標に全局的な取り組みを進め，次世代の働き方に向けた業務フローの確立につなげた。

3 太陽光発電の整備

新放送会館の建設にあたって，外気冷房や太陽光発電などの自然エネルギーを利用するとともに，既存の放送会館でも太陽光発電設備の整備を08年度から進めており，44の地方放送会館に合計445kW，放送センターに240kW，菖蒲久喜ラジオ放送所に2,000kWの設備を整備している。

4 環境報告書

環境保全への取り組みを総合的に掲載した「NHK環境報告書2020」を作成し，NHKホームページ（NHKオンライン）で公開した。

部内広報

20年度，局内広報誌『ネットワークNHK』は５回発行。NHKプラスなどの新たな取り組み，コロナ禍での番組制作や働き方，経営計画や人事制度改革の動き，拠点放送局・地域放送局のアイデア豊かな活動など幅広いテーマを取り上げた。

『日本放送協会報』は，本冊24号を発行し，通算で4511号となった。

表８　NHK環境経営アクションプラン（2021-2023年度）

政府が2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることを目指す方針を示したことを踏まえて，NHKは放送事業者として，みずからも二酸化炭素等の削減に向けた取り組みを加速させるとともに，放送やイベントなどを通じて環境問題に関する情報発信や地域と一体となった環境活動に一層取り組み，脱炭素社会の実現に貢献していきます。

●エネルギーを減らす
エネルギー効率のよい設備を導入するとともに，複合機などのオフィス機器の削減や働き方の見直しによる職場の節電などで，使用電力の削減をこれまで以上に進めていきます。

●エネルギーを選ぶ
放送センターで使用する電力の一部を再生可能エネルギーにより発電された電力で賄うなどして，電力使用による二酸化炭素排出量の削減に取り組んでいきます。

●エネルギーを作る
建設中の新放送センターや全国で新たに建て替える放送局などで太陽光発電などを積極的に取り入れて，みずから使用電力を作る取り組みも進めていきます。

これらの取り組みを進めて，**2025年度末までに東京・渋谷の放送センターでの電力使用による二酸化炭素の排出量相当分（年間約４万8,000t・NHK全体の25%）をゼロにすることを目指します。**
全国の放送局なども含めNHK全体として2050年までの温室効果ガスの排出ゼロ社会の実現に向けた取り組みを強化していきます。

別表（⇒p.715）

NHK内の情報共有

NHK内の情報共有基盤として定着している「NPORT」では，各部局のイントラホームページや職員・スタッフ向けに充実したコンテンツを掲載したほか，新型コロナウイルス感染症対策に関する情報を幅広く共有した。

放送センター建替計画

1 検討組織

現放送センターは1965年の東館完成から半世紀余りが経過し，老朽・狭あい化および機能の陳腐化が著しい。このため2009年11月，会長指示により新放送センター建設検討委員会を設置して，放送センター建替に向けた課題の整理を開始し，11年６月，専任の検討体制として「新放送センター建設検討事務局」を発足。16年６月,「放送センター建替本部」となり，建替に向けた準備を本格化した。

2 建設用地の決定

15年６月９日の経営委員会において，放送開始100周年を迎える25年の一部運用開始を目標に現在地で建て替えることが議決された。現在地は地盤が強固なうえ，都内主要箇所へのアクセスが便利で，NHKの使命である防災・減災報道の拠点としてふさわしい場所であること，また，敷地が8.3ヘクタールあり一体整備が可能で，災害発生時にオールNHKで業務に取り組む体制を作りやすく，新サービスを展開するうえでも報道や制作など部門を超えた知恵やパワーを結集することができること，などが主な理由である。

3 建替基本計画の公表

現在地での建替を決定したことを受けて，放送センター建替基本計画を取りまとめ，16年８月30日の経営委員会で了承を得て公表した。基本計画を取りまとめるにあたっては，施設配置や機能・規模について局内で検討を重ねたほか，15年12月に外部の専門家から成る放送センター建替工事に関する専門家委員会を設置し，入札・契約方式を中心に建替計画全般について助言を得た。

4 第Ⅰ期設計施工業者の決定

業者募集の準備段階から業者決定までの過程において透明性と公平性を確保するため，16年12月に外部の専門家で構成する技術審査委員会を設置し，「募集要綱の内容の審議」および「技術提案等の審査及び評価」を諮問した。業者募集にあたっては，放送を継続しながら建替を進めるという現在地整備の課題を解決しながら，コストを抑えるよう努める必要があるため，基本設計の段階から施工会社の技術力が活用できる設計施工一括総合評価落札方式を採用した。17年６月27日に経営委員会の了承を得て設計施工業者募集の公告を行い，４グループの設計施工共同企業体が応募した。18年４月８日の技術審査委員会および開札の結果を受け，同月10日の経営委員会議決を得て，設計施工業者を竹中工務店・久米設計設計施工共同企業体に決定した。

5 放送センターの建築設計

第Ⅰ期設計施工業者の決定を受け，18年４月より基本設計検討を開始した。基本設計は，第Ⅰ期工事の範囲であるニュース・報道番組の制作・送出機能を集積した情報棟のほか，建築確認申請に必要な，制作事務棟や公開棟を含めた敷地全体を対象としており，19年10月29日に理事会で議決された。その後，情報棟の実施設計に着手するとともに，今後の既存建物の解体に伴う事業継続上の課題についての検討を進めている。

6 第Ⅰ期工事の施工

20年９月より第Ⅰ期工事に着手した。ふれあいホールをはじめとした情報棟建設用地にある建築設備の解体を進めている。

第6章

関連事業

関連事業の概況

NHKの関連団体は，それぞれの事業分野でNHKの業務を補完・支援し，NHKグループの一員として，NHKとともに豊かで多様な放送文化の創造に努めることを基本的な役割としている。

NHKの業務の効率的推進により経費の節減を図ると同時に，NHKのソフト資産・ノウハウの利活用や社会還元を進め，副次収入等での財政的寄与により視聴者の負担を抑制していくことを目標として運営されている。

今後も，関連団体に対するガバナンスの強化をより図るとともに，効率性と公共放送の質の確保を一層進めて，NHKグループ全体の総合力を高めていく。

【1】関連団体の概要

20年度末現在，NHKの関連団体は，子会社11社，関連会社４社，関連公益法人等９団体の計24団体，総従業員数は6,619人である。

【2】関連団体の決算概要

20年度の関連団体決算は，健保・共済会を除く22団体の単純合計額で，売上高（事業収入）2,621億円（対前年度442億円減），当期純利益（正味財産増減額）48億円（対前年度41億円減）であり，減収減益となった。

関連団体によるNHK副次収入への寄与額は，対前年度16億円減の41億円になった。

今期決算に伴う配当は，対前年度２億円減の22億円で，うちNHKの受取額は，対前年度0.9億円増の15億円となった。

【3】団体に対する出資など

20年度は，新たな関連団体への出資や増資はなかった。関連団体以外への出捐（しゅつえん）・出資については，一般放送事業者の教育・教養番組の一層の充実を図ること等を目的とする公益財団法人「放送番組センター」に5,659万円の出捐を行った。

番組制作委託と二次展開

1 関連団体への番組制作委託

NHKでは，コンパクトな番組制作体制の下で質の高い放送番組を安定的に確保するため，20年度も関連団体への番組制作委託を進めてきた。

また，番組の一層の多様化を図るため，関連団体を通じて，番組制作会社にも企画提案を求め，一部の番組制作を委託した。

関連団体への委託では，NHKエンタープライズに，『NHKスペシャル』などの大型企画番組，ドラマ番組（『土曜ドラマ』など），芸能番組（『ザ少年倶楽部』など），自然番組（『ダーウィンが来た！』など），アニメ番組（『アニメ　メジャーセカンド２』など）の制作，『うまいッ！』や『ごごナマ』などの情報番組，購入番組の日本語版制作などの委託を行った。

NHKエデュケーショナルには，『きょうの料理』『おかあさんといっしょ』『又吉直樹のヘウレーカ！』『沼にハマってきいてみた』など，生涯学習や教育・教養に関する番組の制作を委託した。

NHKグローバルメディアサービスには，大相撲，プロ野球をはじめとするスポーツ番組や，『Where We Call Home』『千鳥のスポーツ立志伝』などのニュース・情報番組を委託した。

NHKサービスセンターには，『BSコンシェルジュ』や『オシばん』『週末１分まとめ』など広報番組や各種番組スポットなどの制作を委託した。

日本国際放送には，『J-MELO』『TOKYO EYE 2020』などの国際放送番組を委託した。

2 放送番組等の二次展開

【1】映像・音声商品等の発行

NHKエンタープライズからは，「NHK VIDEO」の名称で『連続テレビ小説』の「エール」や『大河ドラマ』の「麒麟（きりん）がくる」，『やまと尼寺精進日記』『京都人の密（ひそ）かな愉しみ Blue　修業中』『新型コロナウイルス　医師が伝えたいこと』，「おかあさんといっしょ　うたのアルバム　シーズンセレクション」などの映像商品を発行した。

また，NHKサービスセンターからは，「NHK CD」の名称で『基礎英語』などの語学教材や「極めつき！講談大全集」を発行。「N響ライブ

シリーズ」などの音声商品への提供も行った。

【2】放送番組および素材の提供

❶企業・団体への番組の提供

一般企業・団体，自治体の展示，イベント用などにNHKエンタープライズ等を通じて放送番組を提供した。

❷BS・CS放送事業者への番組提供

NHKエンタープライズを通じて，CS放送事業者等に『新・BS日本のうた』，『連続テレビ小説』の「あさが来た」「ひよっこ」，『大河ドラマ』の「おんな城主　直虎」，『大河ファンタジー　精霊の守り人』，『ドラマ10』「トクサツガガガ」，『趣味どきっ！』，BS放送事業者に『連続テレビ小説』の「ちゅらさん」「ふたりっ子」などを提供した。

❸CATVへの番組提供

NHKエンタープライズを通じて，『連続テレビ小説』の「あさが来た」「梅ちゃん先生」や『大河ドラマ』の「独眼竜政宗」，『アニメ　忍たま乱太郎』『きょうの料理』などを提供した。

❹機内上映用の提供

航空機の旅客サービス用として，NHKグローバルメディアサービスを通じて日本航空，全日本空輸などへ『NHKニュース』を，NHKエンタープライズを通じて日本航空，全日本空輸などへ『プロジェクトX　挑戦者たち』『タイムスクープハンター』『あてなよる』『歴史秘話ヒストリア』，４K番組『フロム・ザ・スカイ』などを提供した。

❺番組素材の提供

民間放送局および一般企業・団体への番組素材の提供をNHKエンタープライズを通じて，また，放送大学学園への番組素材の提供をNHKエデュケーショナルを通じて行った。

❻キャラクターの使用許諾

NHKエンタープライズが，『いないいないばあっ！』などの幼児番組や『チコちゃんに叱られる！』などのキャラクターの使用許諾を行った。

【3】デジタル事業

NHKグローバルメディアサービスが行うスマートフォン等のモバイル端末向けのサービスに対し，NHKの番組の楽曲などの提供を行った。

【4】番組・素材の海外提供

関連団体を通じて，番組とニュース素材を海外の放送機関などへ提供した。NHKエンタープライズからアニメやドラマ，自然番組，教育番組などを提供，日本国際放送からは「NHKワールド・プレミアム」を配信した。

開発途上国の放送機関などには，NHKインターナショナルと連携し，「番組国際ライブラリー」の保存番組を公的資金によって提供した。

番組・ニュース素材については，NHKインターナショナルを通じて，海外の放送機関や一般団体へ提供した。また，デジタルクリップを制作し，オンラインによる提供も行った。

【5】放送番組関連の出版

『福島第一原発事故の「真実」』や『ドキュメント「はやぶさ２」の大冒険』など長期取材を基にした番組や，『ルポ 車上生活 駐車場の片隅で』『半グレ 反社会勢力の実像』など現在の社会を映し出した番組の書籍化を行った。また『Q～こどものための哲学』や『FACES いじめを超えて』など，子ども向けの書籍の出版も行った。

関連団体

（関連団体一覧⇒p.726）

子会社

1 NHKエンタープライズ（NEP）

【1】概況

NHKエンタープライズは20年４月，NHKプラネットと統合し，「全国ネットワークを基盤とする総合コンテンツ企業」として歩み始めた。これにより，これまで築き上げたコンテンツ制作力と統合効果を最大限に発揮し，地域の活性化に資する番組制作やイベントの企画制作を行った。さらに，高精細の映像コンテンツの制作，ライセンスの許諾，商品の販売などを手がけ，NHKグループの一員として社会に貢献した。

【2】映像コンテンツ

20年度，映像コンテンツの分野では，コロナ禍の中，NHKのテレビやラジオ番組等，およそ１万9,170本を制作した。

新型コロナウイルス感染症をいち早く取り上げ，『BS1スペシャル』「シリーズ　コロナ危機」「そして街から人が消えた～封鎖都市・ベネチア～」「ウイルスVS人類３　スペイン風邪　100年前の教訓」「仕事が消えた～コロナショック最前線～」「私はこうして新型コロナと闘った～元患者たちが語る闘病体験」，『明日へ　つなげよう』「大震災とコロナ危機～感染症対策のプロが語る～」等を制作した。

また，制作活動が制約される中，新たな制作・演出手法を開発した。リモート収録の特性を生かした『おげんさんと（ほぼ）いっしょ』『BS1スペシャル』「～外出自粛の夜に～ウクレレでリレー音楽会～」，『今だから、新作ドラマ作ってみました』『ズームバック×オチアイ』等の制作のほか，遠隔ロケシステムの導入等を試みた。

感染対策に細心の注意を払いつつ，総合テレビでは『チコちゃんに叱られる！』『所さん！大変ですよ』『プロフェッショナル　仕事の流儀』『ファミリーヒストリー』『ごごナマ』『ニュース　シブ５時』『たけしのその時カメラは回っていた』等を制作。Eテレでは『オドモTV』『イギリスで一番美しい庭　ダルメイン』等，BS1では『地球タクシー』『GREAT　RACE～グレートレース～』『球辞苑～プロ野球が100倍楽しくなるキーワードたち～』『COOL JAPAN　～発掘！かっこいいニッポン～』等，BSプレミアムでは『世界ふれあい街歩き』『ニッポンの里山　ふるさとの絶景に出会う旅』『新・BS日本のうた』『ザ少年倶楽部』『クラシック倶楽部』『新日本風土記』『にっぽん縦断　こころ旅』『イッピン』等を制作した。

BS４K･BS８Kでは，他波と連動して制作を推進し，『ダーウィンが来た！』『さわやか自然百景』『BS時代劇』『土曜ドラマ』『正月時代劇』『スリランカ　クジラ大集結の謎を追え』『ヨーロッパ大縦断　鉄道の旅』等を制作した。

過去の映像素材をビデオレストアサービスで４K並みの画質によみがえらせたリマスター版『山口百恵ラストコンサート』『伝説のコンサート　チューリップ』『伝説のコンサート　松山千春』等を制作した。

「第77回ベネチア国際映画祭」では，『スパイの妻＜劇場版＞』が銀獅子賞受賞，「第57回ギャラクシー賞」では，『BS1スペシャル』「バレリーナ吉田都　引退までの闘いの日々」，『地球タクシー』「ソウルを走る」が奨励賞を受賞，第36回ATP賞では，『完本　怪談牡丹灯籠』が総務大臣賞・ドラマ部門優秀賞受賞，『聖なる巡礼路を行く～カミーノ・デ・サンティアゴ1500キロ』『急上昇↑ZOOチューバー』が奨励賞を受賞した。

【3】イベント・映像事業

コロナ禍の影響で大きな打撃を受けた20年度は一方で新たな取り組みを発掘するなど業務を大きく変化させた年度にもなった。

イベント関連では，予定していたイベントが軒並み中止となる中，「ロボットコンテスト」「東京JAZZ」「医療フォーラム」「忍たま乱太郎ミュージカル」など多くの企画をオンラインに切り替えて実施し今後につなげた。またコロナ禍による博物館等の新たな業務・収益モデルを構築するための文化庁の事業を受託した。

NHK番組の提供・展開関連では，コロナ禍で自主番組が制作困難になった全国のCATV事業者に向けてNHK番組の提供促進施策を実施，前年比で倍近い番組提供を行った。一方で航空機の運休の影響を受け，機内上映用の番組提供は大幅減となった。

DVD等の映像ソフトの販売は，コロナ禍における巣ごもり需要の追い風があり，既発売の商品の販売が伸びるとともにNHKのアーカイブスを活用した新作「沢田研二 BEST OF NHK」などがヒット。同じく巣ごもり需要で会員数を伸ばすVOD事業者へのコンテンツ提供も大幅増となった。

アニメ制作では『アニメ　ログ・ホライズン　円卓崩壊』を企画，中国JYアニメーションと共同制作しNHKでの１月からの放送をはじめ国内外での展開を行った。また中国の歴史ドラマ『コウラン伝　始皇帝の母』を調達しNHK初の中国ドラマの放送を果たすとともに放送外での展開も行った。

新規事業の取り組みはイノベーション戦略室を中心に推進し，配信事業のトライアルとして「チコちゃんといっしょに課外授業」シリーズを年間を通して実施した。またこれまでの番組制作で培ったノウハウを生かして古いビデオ映像を４K並みの品質によみがえらせるビデオレストアサービスを開発し，複数のNHK番組で活用された。また８K技術を応用して視聴者の自由視点を可能にする「８Kオペラグラス」は２月にサービスを開始した。

【4】地域

❶放送番組の制作や情報の発信

地域への貢献では，放送番組の制作や情報の全

国および海外への発信を通してNHKを支援するとともに，地域との結び付きを強くする各種イベントの企画運営，映像制作事業などを展開した。

地域番組部では『釣りびと万歳』，食材を題材にする『うまいッ！』，視聴者の手紙の風景を自転車で訪ねる『にっぽん縦断　こころ旅』，工芸品などを紹介する『イッピン』『ごごナマ』の「おうちでミュージアム」，関東甲信越の生活情報を伝える『ひるまえほっと』，『あさイチ』の「おでかけLIVE」などのコーナー，『証言記録　東日本大震災』を定時番組として放送した。特集では，地域の文化や課題を題材に『スピリチュアルジャパン』『離島にポツンッ！ラストファミリー物語』『ヒラメキ！地域発』『ザ・ディレクソン』などを放送。コロナ禍対応特集では『BS1スペシャル』「禅×21世紀」「江戸の知恵に学べ～コロナ時代を生きる術（すべ）～」，『笑いでコロナを吹き飛ばせ！～激笑動画で振り返る2020～』，震災10年関連特集では『街は生き続ける～「ふるさとの記憶」から見つめる被災地のいま～』『証言記録スペシャル　いつか来る日のために』などを放送した。

❷近畿総支社・四国支社

『バラエティー生活笑百科』『歴史秘話ヒストリア』，Eテレ関西発の『きょうの料理』，開発番組『関西人認定バラエティ～ちゃうんちゃう？』『中川工場』『拝啓、どエライ様～はみ出し人物列伝』のほか，東日本大震災10年関連で『しあわせ選べるように～被災地をつなぐ心の歌』を制作。四国支社では『俳句王国がゆく』『夏井いつきのよみ旅』，新番組として毎週土曜日朝の情報番組『ギュッと！四国』などを制作。イベント事業では「皇室の名宝」「埋忠～桃山刀剣界の雄」展をNHKと共同で開催，特集番組を制作。「デジタル防災サバイバル」を企画，実施。四国支社は松山局開局80年記念イベントを実施。NHK大阪ホールの管理運営業務も行った。

❸中部支社

『世界はほしいモノにあふれてる』，『金とく』「中部ネイチャーシリーズ」，『Uta-Tube』などの番組を制作，新型コロナ対応としてアナウンサーの朗読アニメーション『新美南吉　絵本のおくりもの』シリーズを開発した。イベントは「The 備前～土と炎から生まれる造形美～」「Six Unlimited コンサートツアー2020」「第18回全日本学生落語選手権『策伝大賞』」などのイベントを実施した。NHKのデータ放送制作や各種デジタルサービス事業も行った。

❹中国支社

地域情報番組『ひるまえ直送便』や『ラウンドちゅうごく』で新型コロナ感染症に関する身近な情報や予防対策を放送したほか，『明日へ　つなげよう～逃げ遅れゼロの町へ』では，西日本豪雨の被災地で模索が始まった分散避難などの取り組みを全国に伝えた。また「被爆75年　８Kシアター特別上映会」や「NHK de ミヂカにアート」などの会館公開イベントを実施した。

❺九州支社

定時番組『はっけんTV』『アサタビ！』のほかに，コロナ禍の動物園を飼育員が撮影した映像で描いた『飼育員は見た！動物たちの決定的瞬間』，旅ランの楽しみを伝える番組『RUN！RUN！九州沖縄』，自閉症の画家と家族の心の軌跡を描く『実感ドドド！』「絵が自由をくれた～自閉症の画家と家族～」などの番組を制作。新型コロナに負けずに頑張る人々を紹介する『たからびとシアター』では，観客が自家用車に乗ったまま参加するドライブインシアター形式のイベントを実施した。事業では，観覧者がオンラインで参加する公開番組『六本松ベース』『爆笑オンエアバトルF』を運営，また福岡と東京をオンラインでつなぎ生配信する「８K Campus」を実施した。独自事業では中世にルーツを持つ５つの民俗芸能を紹介する「福岡市民俗芸能公演」を実施した。

❻東北支社

定時番組『大好き♡東北　定禅寺しゃべり亭』『もりすた！』のほかに，金曜夜間では，『みちたん～ああ！すばらしきセカイ～』『みちのく頂をめざして』，『東北ここから』「あなたの町の映像アルバム～ふるさとを語りあおう～」を制作した。東日本大震災関連番組は，『被災地からの声　10年のあゆみ』『東北ココから』のほか，『映像記録東日本大震災』『篠山輝信×震災10年の東北旅』などを制作した。イベント事業では，「仙台フィルメンバーによるエール楽団　未来へつなぐコンサート」「NHK東北民謡コンクール優勝大会」などを実施，自主事業では「岩沼市震災記録映像の制作」を受託した。また「チコちゃんといっしょに課外授業　学校でプロジェクションマッピング」を福島・宮城３か所で実施した。

❼北海道支社

『さわやか自然百景』や国際放送の『Wild Hokkaido！』などの自然番組を制作。『NHKニュース　おはよう北海道』『ひるまえナマら！北海道』などの地域情報番組，金曜夜間では『いくぞ～！北の出会い旅』，日曜午後はリモコンdボ

タンと連動した『北海道民！フカボリサーチ』などを制作した。イベント事業では，地域貢献イベント「希望のシンフォニー」のほか，新放送会館で「SAPPORO VR」や「マイナークラブ　フェスティバル」などを実施した。

2 NHKエデュケーショナル（NED）

【1】概況

Eテレを中心に年間１万本近いNHK番組を制作している。同時に番組を展開した映像ソフトやイベント，展覧会の展示映像，教育教材など多彩なコンテンツを広く提供している。

20年度は，新型コロナウイルス感染症拡大を受けて，正確な医療情報や新しい生活様式に資する情報を幅広い年齢層に届けるため，『きょうの健康』Ⓔ，『チョイス@病気になったとき』Ⓔ，『あさイチ』Ⓖなどの定時番組で多角的に取り上げたほか，シリーズ『新型コロナウイルス　医師が伝えたいこと』Ⓖや，子ども向けの『みやぞんスクール』Ⓔ，『みんなのch（チャンネル）！』Ⓔなどの特集番組を制作した。また長期の休校が続く中，広く学習の機会を提供するため『臨時開校！フライデーモーニング・スクール　プラス』Ⓔを放送した。さらにインターネットサイト「NHK for School」で特設ページ「おうちで学ぼう！みんなと学ぼう！みんなのレビュー」を公開し，『基礎英語０　～世界英語ミッション～』Ⓔではワークシートの提供も行った。

【2】Eテレ

通常放送では，Eテレでは新番組として『アクティブ10　マスと！』『アクティブ10　レキデリ』『エイゴビート２』『おもてなし　即レス英会話』『世界にいいね！つぶやき英語』『マチスコープ』などを制作したほか，定時番組では『SWITCHインタビュー　達人達（たち）』『100分de名著』『きょうの料理』『すてきにハンドメイド』『すイエんサー』『みいつけた！』『すくすく子育て』『NHK高校講座』『ボキャブライダーon TV』などを制作した。

【3】総合テレビ・BSプレミアム

総合テレビでは定時番組として『あさイチ』『サラメシ』『ごごナマ』『ネーミングバラエティー日本人のおなまえっ！』などを制作した。

BSPでは新番組として『うたう旅～骨の髄まで届けます～』『ニッポン島旅』を制作したほか，定時番組では『アナザーストーリーズ　運命の分岐点』『コズミック　フロント☆NEXT』『美の壺』『おとうさんといっしょ』などを放送した。

【4】テレビ国際放送・ラジオ第2

テレビ国際放送では新番組として『Doctor's Insight』『BOSAI: Science that Can Save Your Life』などを，定時番組では『Japanology Plus』『Science View』などを制作した。

また，ラジオ第２では新番組として『おしゃべりな古典教室』を制作したほか，定時番組では『カルチャーラジオ』『文化講演会』などを放送した。

【5】イベント等

新型コロナウイルス感染症の影響で「おかあさんといっしょスペシャルステージ」など多くのイベントが中止になったが，「びじゅチューン！コンサート」のライブ配信や「デザインあ展」など，新たな手法や対策をとって，徐々に再開した。

3 NHKグローバルメディアサービス（G-Media）

【1】概況

NHKの報道・スポーツ・国際部門を支援する関連会社として，迅速で正確なニュース，質の高い番組の制作，多彩なスポーツ中継，字幕放送や２か国語放送，国際放送を通じた海外発信，デジタル関連業務を行うとともに，デジタルサイネージ向けなどのニュース提供事業を展開している。

20年度は，新型コロナウイルスの感染拡大により，番組制作等に影響はあったが，新型コロナ関連特集番組などを積極的に制作した。

【2】ニュース関連事業

NHKの『BSニュース』『BSニュース４K』『気象情報』『ワールドニュース』『東京マーケット情報』『NHK手話ニュース』などの放送を担当。西日本から東日本，東北地方の広い範囲で大雨となり多くの被害が出た「令和２年７月豪雨」では，およそ１か月にわたり緊急報道に対応した。

【3】番組

新たな定時番組として『千鳥のスポーツ立志

伝』をBS1で放送した。コロナ関連では，毎週土曜にBS1で『ワールドニュース特集』「新型コロナに揺れた１週間」の放送を開始。この他，『BS1スペシャル』「パンデミックは収束するのか～世界の専門家が大激論～」，『新型コロナ　挑み続ける研究者たち～東大　河岡ラボ　100日の記録～』などの特集番組を制作した。また，後期より『ラン×スマ～街の風になれ～』の後継番組として，スピードランナー向けの情報など，より多彩な内容にした『ランスマ倶楽部』を開始した。

【4】スポーツ

新型コロナの影響で大会や試合が行われなかった４～６月に，過去のアーカイブスを再編集する『あの試合をもう一度！スポーツ名勝負』を制作した。また，甲子園球場で行われた『2020年甲子園高校野球交流試合』を生中継で実施。これまで甲子園に隣接するスタジオ内で行っていた選手名表示やハイライト編集などを放送センター内で行い，新しい制作スタイルを構築した。東京オリンピック・パラリンピック関連では，ロボット実況の演出や手話CGの監修などを進めた。

【5】字幕制作

20年度から囲碁将棋番組への字幕付与。また，後期より総合テレビ『NHK地域局発』，BS４K『ニッポンの里山　ふるさとの絶景に出会う旅』などのミニ番組に字幕付与を開始した。スポーツでは，『Bリーグ（男子バスケ）』の中継全試合への字幕付与も新たに開始した。

国際部門では，新型コロナ関連の『NHKスペシャル』『クローズアップ現代＋』の英語版制作に対応。通訳・翻訳業務を通して，国内外への情報発信に取り組んだ。通訳・翻訳の自主事業は，オンラインで行う「ウェビナー」に対応できる同時通訳の新しい仕組みを構築した。また海外からの映像伝送業務では，米大統領選挙投開票やバイデン大統領就任式などに対応した。

【6】デジタル分野

常時同時・見逃し配信関連などネットへの同時配信サービスが本格的にスタートした。番組では，Eテレ『ボクを食べないキミへ～人生の食敵～』や『サビ抜きで。社会実験ドキュメント』の新番組を開発。『＃TOKYO』『Have A Nice Stay!』がコロナ禍で制作できなかった中，それに代わる『The Signs』『Starting Over』を制作した。また，ネット上に存在する「ビッグデータ」により新型コロナ関連データを収集・分析し，視覚化してニュースやウェブ企画，『NHKスペシャル』等の番組に展開した。

【7】地域放送

NHKの地域放送に対する支援も一層強化し，20年度は，９月から中国地域支援の開始，中部地域の業務拡充により，ニュースの制作や映像取材・映像制作管理など全国の報道支援体制が整った。

4 日本国際放送（JIB）

【1】概況

３か年経営計画（18～20年度）の最終年にあたる20年度は，新型コロナウイルスの影響を受け年度途中で事業計画の修正を余儀なくされたが，「オールジャパンで日本の情報を国際発信するゲートウェイの役割を，NHKグループの一員として変わらず果たしていく」方針のもと，各種事業に取り組んだ。

【2】番組制作

NHKワールド JAPANの番組制作では，10の定時番組を制作したほか，特集番組では，日本の民放各社が制作した優れた番組を英語化した『Broadcasters' Eye』，国際共同制作「いじめ撲滅国際キャンペーン・FACES」の特別番組『FACES the Special』などを制作した。後者はコロナ禍において，リモート取材の手法により９か国を対象に取材制作し，日本語版も制作してEテレで放送した。

インターネットによる番組の多言語展開では，19年度からスワヒリ語，ベンガル語の２言語が増え，15言語で年間800本を制作したほか，地域放送局制作のドキュメンタリーを多言語化して世界に発信した。AI翻訳による多言語字幕機能をNHKワールド JAPAN公式のテレビストリーミング端末向けアプリに新たに追加して，11月にリリースした。

【3】IP回線による配信

12月上旬，カナダでは初めてとなるNHKワールド JAPANの24時間放送が始まり，IPTV事業者TELUSを通じ，カナダ西部の２つの州の約５万5,000世帯で視聴が可能となった。北米で各都市の事業者向けに行ってきた衛星による配信をIP回線による配信に移行する３年がかりのプロ

ジェクトが完了し，20年度末をもって北米での衛星配信を終了した。

【4】編成・ニュース制作部門

米大統領選挙報道において，編成・ニュース制作部門では，日本などアジアの視点でトランプ政権の４年間を総括し，黒人差別や新型コロナウイルスをめぐる問題などを深く掘り下げて，きめ細かく伝えた。新型コロナウイルス情報を海外の日本人向けに発信するため，『おはよう日本』（７時台）をNHKワールド JAPANのホームページにも掲載した。

【5】独自事業

jibtv枠における独自番組では，オンライン開催となった国際協力機構（JICA）の国際シンポジウムの運営と番組制作，Eテレ用番組制作を行ったほか，オンラインを活用した制作手法を用いて，世界各地の視聴者が参加する討論番組を制作した。

そのほか独自事業では，日本博事業の企画展「国立公園　－その自然には、物語がある－」の８K映像のキャラバンカーによる巡回展を都内や京都で行った。

アジアにおける事業展開として，NHKのフォーマット番組『シンデレラ・ネットワーク』を，ミャンマーのDVC社と連携して同社が制作し，11月に現地での放送を開始して，２月のクーデター発生後も含めて，計14本を放送した。

5 NHKプロモーション(NPS)

【1】概況

放送関連イベントの企画・運営をはじめ，展覧会，コンサート，フォーラム・シンポジウム，各種式典，講演会などのイベント事業を実施した。

【2】展覧会

20年度は，展覧会では「NHK大河ドラマ特別展 麒麟がくる」，特別展「あるがままのアート－人知れず表現し続ける者たち－」，「コロナ禍のクリエーション」，特別企画「震災と未来」展，「ルオーと日本展」「竹工芸名品展：ニューヨークのアビー・コレクション　メトロポリタン美術館所蔵」「北澤美術館所蔵　ルネ・ラリック展」「デザインあ展」「ザ・フィンランドデザイン展－自然が宿るライフスタイル」「志村ふくみ展」「岡本太郎展－太陽の塔への道」「高畑勲展 日本のアニメーションに遺したもの」「小倉尚人展-祈りと宇宙」などを実施した。

【3】番組関連イベント

番組関連イベントでは，「第64回NHKニューイヤーオペラコンサート」「オーケストラでつなぐ希望のシンフォニー」「NHKサイエンススタジアム2020 with 新しい日常」「ふるさとの食 にっぽんの食全国フェスティバル」(オンライン開催)，「うたコン」をはじめとする公開番組などを行った。

このほか「ワンワンまつり パーティー編」「古澤巌 feat.TAIRIK バロックアンサンブル クリスマスコンサート」「食料フォーラム」などを実施した。

6 NHKアート

【1】概況

NHKテレビ番組の美術制作（美術制作進行，大道具等美術用品の製作・運用，装置，装飾，衣装，メーク，かつらなど）やCG映像･VFX･バーチャル映像やグラフィックス等のデザイン制作を行っている。一級建築士事務所，特定建設業許可，警備業認定，屋外広告業登録の資格を有し，文化施設・イベント等の企画，制作，設計・施工，運営まで全般的な業務を行うほか，NHKホールをはじめ10のホール・会館の舞台・照明・音響機器等の操作・運営管理など，番組美術制作で培ったノウハウを生かした多様な業務を行っている。

【2】20年度のとりくみ

20年度は『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」や『連続テレビ小説』「エール」，『第71回NHK紅白歌合戦』『NHKスペシャル』などNHK番組の美術業務や，「ダンス！ダンス！ワンワン」「渋沢栄一　青天を衝け　深谷大河ドラマ館」「NHKサイエンススタジアム2020」といったNHK関連イベントや，「超絶体験！４K・８K スーパーハイビジョンパーク」などNHKが展開した８K放送に関するイベントでも会場設計・施工を担当した。そのほか，オンラインで開催された「テーブルウェア・フェスティバル2021 Online～暮らしを彩る器展」でも展示制作・VRコンテンツ制作に携わった。

ホール業務では，「神奈川県民ホール」と「東京文化会館」において，これまでと継続して20年度からの指定管理者となった。

報道関係では，米大統領選挙関連番組におけるスタジオセットやグラフィックの制作業務に取り組んだほか，『NHKスペシャル』「証言と映像でつづる原爆投下・全記録」や『ETV特集』「“焼き場に立つ少年”をさがして」など戦後75年の終戦関連番組でもCG制作や白黒映像のカラー化に取り組んだ。また『光秀のスマホ』では，当社が開発した「劇用画面生成システム」を用いた劇中で使用されるスマホ画面のデザイン制作をはじめ，４Ｋ８K放送では『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」をはじめ，『特集ドラマ』「少年寅次郎スペシャル」,『NHKスペシャル』「東京リボーン」,『ドキュメント　スペース・スペクタクル』などで，デジタルからリアルまでの幅広い美術業務を担当した。当社がスタジオセットの制作からCG制作まで美術を総合的に担当した『NHKスペシャル』「東京ブラックホールⅡ　破壊と創造の1964年」はJPPA AWARDS 2020映像技術部門において優秀賞を受賞した。

7 NHKテクノロジーズ（NT）

【1】概況

NHKの番組制作から送出，送信・受信，情報システム，設備整備・運用・保守にわたる一貫体制で，全国ネットワーク力と専門技術力を生かしてNHK業務を支えている。

【2】ファシリティ技術

全国のNHK送受信設備の保守管理業務を受託し，10月からはNHKとの役割分担の見直しを行い，基幹局を除く，全国の中継局，共同受信施設の保守管理を実施した。地震や台風などの災害発生時には，直ちに電波確保状況を確認するとともに，設備の点検・復旧，電源確保に対応した。

定期異動期，年末年始やメンテナンスウイーク期間中は「放送・電波確保」「事故防止」の取り組みを強化した。

また，NHKの新放送会館スタジオ内装工事，テレビ，ラジオ放送所の放送機および自家発電装置更新に伴う建築工事などを実施した。

一般業務では，難視聴地域の解消に向けた民放FM補完局の整備や自治体によるテレビ，FM無線共聴システムの整備，周波数移行に伴うSTL更新工事，700MHz帯を利用する携帯電話基地局によるテレビ受信障害に関する規模推定業務，大都市部の大型電波障害対策などを実施した。

海外業務では，ODA事業として，ネパール国・都市強靱化のための建築物管理能力強化プロジェクト詳細設計策定調査に参画した。

【3】デジタル開発技術

９月に情報システム事業分野と映像システム事業分野を統合してデジタル開発技術本部を発足し，ICTシステム開発･運用部門と設備整備開発･運用部門の連携を強化した。

情報システム事業分野では，放送系基幹システムのセキュリティー強化，サーバー更新，バージョンアップの対応，営業・視聴者系基幹システムの受信料値下げ，札幌ふれあいセンター新設に伴う対応，NHKプラスの開発・運用支援等を実施した。また，大津局・奈良局・札幌局の新会館移転に伴うイントラネット移設や各放送局のネットワーク機器更新支援を実施した。このほか，NHKグループ各社のセキュリティー対応，リスク対策支援･分析作業，業務システムやネットワークの運用支援等を実施した。

映像システム事業分野では，NHK札幌新会館や奈良新会館のロビー８Kディスプレー・８Kノンリニア編集機・４Kノンリニア編集機の整備および保守，天気カメラの更新工事および保守を実施した。一般業務では，民放スタジオの照明設備更新，放送大学学園のノンリニア設備整備，コミュニティーFM局やケーブルテレビ局の設備更新などを実施した。

【4】メディア技術

NHKの放送技術に関する業務全般を担い，番組制作，送出・報道，開発の各分野で幅広く受託した。

番組制作部門では『連続テレビ小説』「エール」,『土曜ドラマ』「天使にリクエストを～人生最後の願い～」,『よるドラ』「ここは今から倫理です。」などのドラマ番組や,『演歌フェス2021』『SONGS OF TOKYO』『The Covers ８K』『チコちゃんに叱られる！』『ネーミングバラエティー日本人のおなまえっ！』など，多彩なジャンルの番組制作を担当した。

スポーツ番組では『大相撲』『日本女子オープンゴルフ選手権2020』『カーリング日本選手権2021』など中継現場での制作技術業務を担当し，合わせて４K･８K放送の普及のためにパブリックビューイングを各地で実施した。

送出・報道部門では春からサービスが開始され

たNHKプラス，地上放送５波（G，E，R1，R2，FM），衛星放送４波（BS４K，BS８K，BS1，BSP），国際放送（TV，R）の運行送出業務，スポーツ・イベント中継のCUスタジオ業務，回線センター業務，ニュースセンター業務や８K試写室整備などの設備整備を担当するとともに，選挙や地震災害報道など年間を通じて安心・安全・確実な放送と配信を遂行した。

放送番組に連動した視聴者サービスでは，NEPによる「チコちゃんといっしょに課外授業」のライブ配信の実施，また東京2020オリンピック聖火リレーライブストリーミング業務への技術対応を開始した。

【5】CSR活動

当社が東日本大震災の発生以降，継続して各所を定点観測的に3D映像で記録している震災コンテンツについて，発災10年を迎える今年は「震災技術対策展 横浜」（パシフィコ横浜），「東日本大震災発災から10年－あの日からの地震研究－」（国立科学博物館）の２つの展示会から貸出要請があり，コンテンツ貸し出しおよび上映時の対応を行った。

8 NHK出版

【1】概況

NHK出版は，NHKの放送番組テキストおよびNHKの放送に関連した書籍・雑誌，放送関連以外の書籍・雑誌等の出版・販売（電子版も含む）のほか，音楽著作権の管理等を主業務としている。

【2】テキスト

20年度放送テキストは『きょうの料理』『すてきにハンドメイド』などの家庭向けテキスト，『ラジオ英会話』や『テレビで中国語』などの語学系テキスト，『趣味どきっ！』や『100分de名著』などの趣味・教養系テキスト，計53タイトルを発行した。また，すべてのテキストについてテキスト電子版を発行した。新規テキストとしては，『おもてなし 即レス英会話』の１誌を創刊した。

【3】ドラマ関連書

ドラマ関連書では，『NHK大河ドラマ・ガイド 麒麟がくる』の後編･完結編，『NHK大河ドラマ・ガイド 青天を衝(つ)け』の前編を刊行した。また『連続テレビ小説』については，「エール」のドラマ・ガイドPart2，「おちょやん」のドラマ・ガイドPart1・２を刊行した。その他，NHK出版新書『マルクス・ガブリエル 危機の時代を語る』や『頭をつかう新習慣！ ナゾときタイム』『旅する日曜美術館』などの番組関連書を刊行した。また『境界線』などの小説や『ラマレラ最後のクジラの民』といった翻訳書を刊行し，「NHK for Schoolシリーズ」を立ち上げた。

【4】実用書

実用書では，『チコちゃん ひらがな れんしゅうちょう』『別冊NHKきょうの健康 家族のための認知症ケア』などを刊行した。

また，引き続き『NHK語学テキスト 音声ダウンロードチケット』を刊行した。

9 NHKビジネスクリエイト（NBC）

【1】概況

NHKビジネスクリエイトは，NHKグループの放送，インフラおよび事務の支援業務を担う総合支援企業として，各分野の専門性を生かした事業活動を展開した。

20年度は，「2018－2020年度NHKビジネスクリエイト経営計画 育む“人財”広がる信頼 グループを支える中核企業へ」の最終年として，NHKの推進する「地域改革」「グループ改革」「働き方改革」に沿って取り組みを進めてきた。放送支援分野では，編成事業部は公共メディアの新サービス「NHKプラス」のネット配信権確認業務を４月から受託した。地域局のプログラム業務については，10月から13局に受託拡大した。その対応のため，体制整備を行い，習熟に努めた。印刷・記念品事業部では，台本制作では，新型コロナ感染症の拡大による撮影の中止・延期など難しい状況が続いたが，『大河ドラマ』『連続テレビ小説』をはじめさまざまな台本制作・印刷業務を受注した。一般印刷は，放送受信料対策資材の作製・発送業務を受注した。放送車両事業部ではNHKの災害取材指針にのっとり感染対策に気を配りながら，遠隔地である熊本の豪雨災害や東日本大震災10年などの対応を過不足なく行うことができた。

【2】インフラ支援分野

インフラ支援分野では，テナント事業部は

NHK出版との共同事業で進める第一共同ビルの建替計画を行政協議の結果，第二共同ビルとの総合整備から単独建替に見直した。設備の改補修にも計画的に取り組み，第三共同ビルの受変電設備の更新工事に着手した。技術事業部は放送センターの電気・空調業務など，老朽化したインフラ設備の安定運用と機能維持に努めた。放送センターの建替関連ではガスガバナー室の移転工事や情報棟建設場所の既設配線調査と事前盛替え工事を短期間で実施した。青山荘はフロント・清掃等を行う実務業者の管理を含め，円滑な運営に努めた。

【3】業務支援分野

事務支援分野では，総合事務センターはNHK職員・スタッフの人事・総務管理業務など公共メディアの運営の基盤を支えた。地域支社では全地域支社で調達事務業務の全面受託化，仙台支社・松山支社の総務業務新規受託と大阪支社の一部拡大，札幌支社の放送会館管理運用業務を受託した。調達・管財事業部では４K･８K設備の整備や放送網設備の整備，地域の新放送会館建設に伴う設備整備などの調達・契約業務を行った。また本部に集約された設備補修工事等も新たに受託した。人材派遣・字幕制作事業部ではNHKグループへの人材提供を行うため「NHKグループ人材バンク」の充実に努めた，字幕関連業務では災害に関する特設ニュースの字幕制作オペレーション業務も的確に実施し，NHKの「人にやさしい放送」に貢献した。

10 NHK文化センター

【1】概況

NHK文化センターは，教養・趣味・暮らし・芸術・健康など多彩な講座を展開している。20年度は新型コロナウイルス感染拡大により講座開催に大きな影響を受け，事業立て直しのため20年９月末に４教室，21年３月末に６教室を閉鎖して経費削減を推進。21年３月31日現在，全国27教室，会員数は15万人となった。

緊急事態宣言下で20年４月上旬から５月中旬まで全国の教室で休業を余儀なくされ，その後緊急事態宣言の段階的解除を受け，地域の感染状況を慎重に見極めながら，20年５月中旬から徐々に講座を再開した。感染防止対策を徹底する「NHK文化センター衛生管理方針」を策定し，消毒，換気，教室の定員を半分以下に制限するなどソーシャルディスタンスを確保し，お客様の安心・安全を最優先に講座運営を行っている。

【2】オンライン講座

また，コロナ禍でも安全に“学びの場”を提供する役割を果たすため，オンライン会議システム「Zoom」を用いたオンライン講座を20年５月から開始。教養講座を中心に展開し，21年３月31日までに2,000講座以上を開催した。インターネットを活用することで新たな受講者を獲得，特に現役層・若年層へのリーチが拡大，受講者の多世代化・多層化が進み，オンライン講座で特に人気を博した講座では，延べ3,000人以上が受講した。

さらに，グループ会社間で連携を進め，NHKエデュケーショナルと連携によりNHK語学番組関連のオンライン講座を企画・実施した。その他鳥飼久美子氏による「ニュースで英語術」，趙義成氏による「NHK語学ハングル語講座」を開講した。また「おねんどお姉さんとねんどでミニチュアクッキング」や「池上彰おとなの教養」「腸から考えるストレスと睡眠」等をNHK出版など連携しオンライン講座を実施した。

【3】NHK文化セミナー

NHK番組の出演者や制作者が講師となり地域の視聴者を対象に開く無料講演会「NHK文化セミナー」は，感染症拡大の影響を受け年度半ばの９月から開始することとなり，全国９会場で大河ドラマ「麒麟（きりん）がくる」「青天を衝（つ）け」，「コズミック　フロント☆NEXT」などを，感染症予防対策を徹底した上で実施し，合計1,200人超が参加した。

【4】企業向けオンラインセミナー

企業向けオンラインセミナーでは，元NHKアナウンサーやディレクターによるコミュニケーション講座や，オンライン面接のノウハウを学ぶセミナーを実施した。

11 NHK営業サービス（NBS）

【1】概況

13年秋に10年後を見据えた「NBS経営ビジョン」を取りまとめており，20年度は，それを具体化した３か年の中期経営計画「NBS経営プラン2018－2020」の最終年度であった。新型コロ

ナウイルス感染症の拡大で，在宅勤務などにより出勤人数を制限する中，引き続き，受信料収入の確保と効率的なNHK営業活動の展開に寄与するとともに，公共メディアおよびメディア全体の発展や革新を支援する活動を遂行した。

【2】受託事業

受託業務については，視聴者からNHKに届け出のあった放送受信契約書等の情報処理，全国５か所のコールセンター（21年２月に札幌コールセンターを開設）における電話を中心とした視聴者対応，受信契約および受信料収納に関わる自治体・事業所対応，集合住宅対策や未収者・未契約者対策，法人委託事業者の訪問員等に対する講習会や映像による教育支援，営業活動の支援資材であるパンフレット等の企画・編集・制作等の各種業務を実施した。また，18年度よりスタートした放送局事務支援業務を甲府，水戸，神戸，静岡，福井，岡山，熊本，大分，秋田，山形，高松の11局で実施した。19年12月より受託の「NHKプラス」(常時同時・見逃し番組配信サービス）関連業務では，NHKプラスの普及拡大に貢献した。

【3】自主事業

自主事業については，14年度に一般社団法人700MHz利用推進協会から受注した「700MHz帯を利用する携帯基地局によるテレビ受信障害対策コールセンター運営業務」の継続実施や，新４K８K衛星放送などのコールセンター業務を行った。

【4】企業統治・リスク管理

企業統治やリスク管理についても適切に対応した。特に各事業部門では4,000万件を超えるお客様情報を取り扱うため，00年にプライバシーマークを取得し，更新を継続している。20年度も個人情報保護の適切な取り扱いに向けた体制・運用等を不断に見直すとともに，定期的な研修と個人情報保護の運用確認を実施した。

関連会社

1 放送衛星システム（B-SAT）

株式会社放送衛星システム（略称B-SAT）は，BS放送における基幹放送局提供事業者として放送衛星を調達・所有し，その管制，運用のほかアップリンク業務，全局EPG（電子番組表）のデータ集配信業務を行い，BS放送の基本的なインフラ提供の役割を担っている。

20年度は，放送衛星BSAT-3a・3b・3c・4aの４機に加え，予備衛星BSAT-4bを８月に打ち上げて運用した。また３月にはWOWOW４Kの開局を円滑に行った。これにより，認定基幹放送事業者が制作する２K放送26番組，SD放送１番組，音声放送１番組，エンジニアリングストリーム１系統と４K放送６番組を右旋のチャンネルにより，４K放送４番組と８K放送１番組を左旋のチャンネルにより，全国の視聴者に安定的に届けた。

2 NHK Cosmomedia America, Inc.

NHK Cosmomedia Americaはアメリカでの番組制作と国際映像展開の拠点である。NHKで放送されるメジャーリーグ野球やゴルフ等のスポーツ中継や番組取材制作の支援を請け負っている。国際映像展開ではアメリカ・カナダ在住の日本人・日系人向けに，民放を含めた有料日本語チャンネル「テレビジャパン」の他，過去の番組を有料でネット配信するSVOD事業・dライブラリジャパンを運営している。テレビジャパンの契約世帯数は21年１月時点でおよそ５万，ホテル６万5,000室で視聴可能。新型コロナウイルスの影響としては約１か月間NHKワールドプレミアムのみの編成になった一方，無観客のジャズのライブハウスから２か月間ネット配信する新たな自主事業も展開した。

3 NHK Cosmomedia (Europe) Limited

NHK Cosmomedia（Europe）はロンドン本社とパリ事務所を拠点に欧州における番組制作と国際映像展開を行っている。番組制作部門は，NHKの制作力・技術力を生かした高品質な番組作りやリサーチ，通訳，機材の手配などのコーディネート業務を行っている。また「JSTV」のチャンネル名で，NHKや民放の番組など日本語の有料放送を実施している。衛星やCATV，さらにインターネットを通じて欧州，ロシアやCIS（独立国家共同体）各国，中東，北アフリカなど60を超える国で24時間放送し，各国の多数のホテルにも配信している。ニュースを中心に１日平均

5時間は在外邦人の情報確保のためのNHK国際放送としてノンスクランブルで放送している。

4 ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ(B-CAS)

略称は「B-CAS（ビーキャス）」。NHKBSデジタル放送の受信確認メッセージや有料放送の視聴，それにデジタル放送番組の著作権保護などに利用されているICカード（B-CASカード）の発行・管理を行っている。

20年度は，B-CASカードの改ざんへの対応を進めるとともにカードの流通・在庫の適正化を進めた。20年度のカード発行枚数は630万枚，累計発行枚数は2億8,126万枚となった。

また，社会的インフラを担う企業として，引き続きコスト削減に努め，利用者負担の軽減を図った。

関連公益法人等

1 NHKサービスセンター(NSC)

【1】概況

公共メディアの広報・視聴者サービスを担う一般財団法人として，NHKと一体となって視聴者との結び付きを強めるさまざまな業務を行った。

広報番組や番組ポスター，ウェブ等でのNHK放送番組の広報プロモーション業務では，『大河ドラマ』や『連続テレビ小説』でTwitterやLINE等のSNSを活用し，多面的なPRを行った。地域発ドラマでは，広報印刷物を作成し，地域放送局の広報活動や営業活動を支援した。

【2】NHK広報イベント・展示業務

NHK広報イベント・展示業務では，新型コロナウイルス感染拡大防止の対応を行いながら8Kスーパーハイビジョンの普及・PRイベントや親子向けイベントを各地で開催。小学生を対象としたメディアに対するリテラシーを学ぶ『つながる！NHKメディア・リテラシー教室』を，NHK放送博物館と全国4つの小学校をオンラインでつなぎ，トライアルで実施した。また『大河ドラマ』『連続テレビ小説』の番組パネルや小道具を全国各地で展示し，番組広報に努めた。

【3】各種発行物，コンテンツ制作業務

NHK番組情報誌ウイークリー『ステラ』は49号発行したほか，ステラMOOK『エール　メモリアルブック』『ラジオ深夜便　わが心の人』を発行した。

NHK語学CD等のコンテンツ制作・発行・配信業務では，NHK語学講座番組の音声テキストCDの発行や音声配信を番組と連動した内容で毎月行った。また，東日本大震災の復興検証コンテンツの制作を行った。

【4】NHK施設運営

新型コロナウイルス感染拡大を受け，「NHKホール」では公演の多くが中止・無観客となった。「NHKプラスクロスSHIBUYA」「NHK放送博物館」では，臨時休館や入場者制限を行い対応した。また，「NHKスタジオパーク」は5月で閉館，55年の歴史を閉じた。

【5】NHKの広報・PR活動

「NHKふれあいセンター」では，電話，メール，FAX等により視聴者からの要望・問い合わせが81万件寄せられ，迅速に対応した。また，「ふれあいセンター札幌分室」を開設し，11月から業務を開始した。

公益目的支出計画として月刊誌『ラジオ深夜便』の全国の老人福祉施設への寄贈や，（社福）日本点字図書館の点字週刊誌『NHKウイークリーガイド』の編集・発行への助成のほか，NHKなどが主催した「放送教育研究会全国大会」を共催した。

2 NHKインターナショナル(INT)

【1】概況

外務省や国際交流基金などの公的資金によって，発展途上国の放送機関への番組提供や支援業務を行っている。また，公共放送NHKの知見と映像コンテンツを生かして，国際交流や海外放送機関への取材協力業務を行い，相互理解の推進を図っている。

【2】海外放送機関への取材制作協力，研修・人材育成支援

20年度は，JICAの委託を受けて16年から始ま

った「ウクライナ公共放送組織体制強化プロジェクト」を継続した。新型コロナウイルス流行の影響で専門家の現地渡航は難しかったが，「公共放送のコロナ報道」をテーマにオンラインによるワークショップなどを開催した。「コソボ国営放送局能力向上プロジェクト」は，20年３月からプロジェクトの新事業を受注した。３年間にわたる新プロジェクトでは，コソボ国内に２つの支局を開設し，新支局を拠点に取材・番組制作などの指導を行うことにしている。他のJICA事業としては，放送ジャーナリストらを対象に，公共放送の意義や役割について考えるオンライン研修を行い，アフリカ，アジア，ヨーロッパの７か国から９人が参加した。

【3】海外への番組提供，番組制作

海外放送機関への番組の提供については，国際交流基金を通じて，19か国27機関に2,434本の番組を提供した。

中国関連事業では，「中国緊急報道センター」のホームページに掲載する動画「防災ミニ知識」を20年度は21本（各３分）制作した他，中国語インターネットサービス「NHK華語視界」に向けに，中国語版の６番組を制作した。

日本への理解を促進するために海外に提供する番組である国際版は，20年度は199本（アラビア語，スワヒリ語，スペイン語等），独自企画番組14本の合わせて213本を制作した。

【4】取材協力業務，国際映像配信の支援

20年度もこれまで同様に，NHK国際放送局・報道局と連携して３か国３機関に対し３件の取材協力業務を行ったほか，20年11月に大阪で開催されたNHK杯国際フィギュアスケート競技大会では，ホスト局であるNHKによる国際映像配信の支援業務にあたり，伝送設備や回線手配を事前に調整し，大会期間中合計７プログラムの映像音声を63の国・地域に配信した。

【5】外国語版番組の制作

国際コンクール参加番組の国際版は29本，海外交流用国際版番組は18本を制作した。テレビ国際放送のNHKワールド JAPAN用にも，定時番組『美の壺』『ドキュメント72時間』『プロフェッショナル　仕事の流儀』など105本の英語版を制作した。また『連続テレビ小説』の「なつぞら」のスペイン語版等合わせて312本を制作した。

【6】NHKワールド JAPANのモニター関連，外国人来客の接遇

「NHKワールド JAPAN」のラジオ国際放送へ寄せられたEメールと郵便による投書１万5,595件やテレビへのEメール等による問い合わせや意見5,322件について集計・整理し，NHKに報告し，番組制作・番組編成に役立てた。

コロナ禍の影響で海外からの訪問はなかったが，在京大使館などがNHKを公式訪問する際の要望に応え，関係各部局との調整，NHK WORLD-JAPANニュースタジオ等への見学案内を行った。

【7】日本賞関連

教育コンテンツの国際イベントである第47回日本賞の運営業務の一部をNHKより受託し，実施した。今回はコンテンツ，企画の両部門について合わせて282件の応募があった。

3 NHKエンジニアリングシステム（NES）

【1】概況

NHKの研究開発成果を広く提供する技術協力・周知あっせん，８Kスーパーハイビジョン，AI等の新技術の実用化研究開発，放送の受信環境維持改善に関わる調査業務に加え，新たにNHKの研究開発成果の社会還元を促進する事業活動などを実施した。

【2】NESラボ

20年度，理事長特命の研究成果事業化プロジェクト，通称「NESラボ」では音声認識による字起こしの事業化に向けたニーズ調査，ユーザーニーズに合わせた技術開発，サービス開発等を実施し，月極の字起こしサービスを民放などNHK外部に向けて開始した。

【3】公益目的支出事業などへの取り組み

８Kの普及促進では８K腹腔鏡を用いた遠隔手術支援に関する研究開発を国立がん研究センター等と共同で実施したほか，5G網を用いた伝送実験を実施した。

放送・通信融合サービスの高度化に関する技術調査，音声翻訳高度化のためのディープラーニング技術の研究開発，超高層ビル・風力発電設備に

よるテレビ受信障害予測を実施した。

【4】経営課題への取り組み

NHKの研究開発成果を社会課題の解決に生かす取り組みを推進していくことを盛り込んだ「2021-2023年度３か年経営計画」「2021年度事業計画」を策定した。

財団のガバナンス・内部統制の徹底を図るため，内部統制グループを内部統制室に組織化し，内部監査，規程類の新設・改訂，リスクマネジメント等を推進した。

いわゆる同一労働同一賃金，ハラスメント法等に対応するため諸規程を改定した。

4 NHK放送研修センター（CTI）

【1】概況

NHKの職員研修を事業の基本に，民間放送局，ケーブルテレビ局，海外放送局向けの研修を行い，放送界全体の人材育成にあたった。また，ことばコミュニケーション技術などの一般への普及や，「人にやさしい放送・サービス」を目指すNHKの字幕放送や解説放送の充実にも協力した。

20年度は，新型コロナの感染防止のため，研修の形を集合型からオンライン方式に転換して実施した。一方で，実習を伴う多くの研修はオンライン化できず，中止した。

【2】NHK職員研修

NHK職員研修は，NHKが打ち出した人事制度改革を受け，内容を改革の趣旨に沿ったものに切り替えた。マネジメント力を強化する研修は，グループ討議を通して自ら考える力を鍛えるカリキュラムに変更した。また，“公共メディア”を担うプロフェッショナルの育成やコンプライアンス意識の徹底にも重点を置いた。実施した研修は，新採用者研修，基礎（新人層）研修，専門研修，中堅層・リーダー層研修，指導・管理者研修など109の研修で，受講者数は計7,400人余りであった。eラーニングは，コンプライアンス意識の徹底を図るための「NHK倫理・行動憲章」「行動指針」の確認・誓約を含め，20の研修を実施し，受講者数は延べ３万1,800人を超えた。受信料の重みを認識・再確認するための公金意識研修は，新型コロナのため，訪問活動を伴うものは全て中止した。

【3】NHK関連団体向け研修

NHK関連団体向けの研修は，新採用者から経営幹部まで階層別に実施しているが，半数以上の研修を中止した。民間放送局向けの研修は，年度前半民放連と共催の「放送人基礎研修」が中止となったが，年度後半の「テレビ技術研修会」はオンラインで実施した。ケーブルテレビ局向けには，地域の防災メディアとしての役割に重点をおき，災害時の即応力の向上を目指す研修「ケーブルテレビの緊急災害放送」をオンラインで実施した。海外の放送局に対しては，国際協力機構（JICA）の委託を受けて，番組制作や放送政策・技術の研修をオンラインで実施した。

【4】ことば・コミュニケーション事業

ことばセミナー・講座等の事業では，「日本語センタースクール」「NHK話しことば通信添削講座」「朗読事業」「先生のためのことばセミナー」「ビジネスパーソンを対象にしたセミナー」「放送支援のためのセミナー」を実施した。

教育現場を対象としたことばコミュニケーション事業では，大学・高等学校で７つの講座を実施した。また，企業・団体からの要請に応えて43件の研修を実施し，ことばコミュニケーションのノウハウの社会還元を行った。

そのほか，放送番組のアナウンス等の業務では，『小さな旅』『ラジオ深夜便』に出演したほか，ラジオ第２『ことば力アップ』では，番組出演に加えてテキストの執筆も行った。

5 NHK学園

【1】概況

テレビ・ラジオ放送を利用した教育システムを日本で初めて取り入れた全国一学区の広域通信制高等学校。教育を通じてNHKの放送の利用促進に寄与するとともに，放送コンテンツの充実・改善に協力している。また，生涯学習教育や社会福祉士国家試験受検資格を取得するための通信教育を行い，世代を超えた学びの場を提供している。

【2】高等学校

東京本校をはじめ，全国33の協力校等でスクーリングを実施。週３日間登校する「登校コース」（東京本校），ネットコンテンツを整備した「ネット学習コース」，不登校生を主な対象とする「ネット

学習Do itコース」，海外在住者を対象とした「ネット学習海外コース」，紙のリポート学習による「ベーシックコース」をそれぞれ展開。国内と海外で3,000人を超える生徒が学び，これまでの卒業生総数はおよそ８万人。20年度はコロナ対応として，全国生徒へインターネットを介して情報発信し，東京本校の「学園祭」をウェブ上で展開した。インターネット上で「オンラインスクーリング指導」を実施，年度末試験のネット上での受験を可能とした。またNHK学園独自の奨学金制度を発足させた。

【3】福祉教育

社会福祉士養成課程は，未経験者等を対象とする全カリキュラム履修の一般養成科１年６か月コース，福祉系大学卒業者や精神保健福祉士を対象とする一般養成科１年コース，福祉系大学卒業の実務経験者や公務員等を対象とする短期養成科９か月コースの２課程３コース。20年度の学生総数はおよそ550人で，国家試験合格率は全国平均29.3％に対し一般養成科63.6％，短期養成科は27.8％だった。

【4】生涯学習

通信講座では，短歌・川柳・書道・写真・絵手紙・古文書など60講座・コースと19年度からスタートしたeラーニング講座で，およそ２万2,000人が受講した。一方，オープンスクールはコロナ禍の影響を受け，４・５月と全面休業を余儀なくされたが，3,000近くの講座で２万4,000人余りが受講した。

NHKとNHK学園で主催する「NHK全国短歌俳句大会」もコロナ禍の影響でスタジオ収録のみとなったが，短歌に２万4,723首，俳句に４万9,264句の応募があった。

6 NHK交響楽団

【1】20年度の概況，感染対策への取り組み

NHK交響楽団は，オーケストラ演奏によって音楽芸術の向上発展を追究し，社会文化の発展に寄与することを目的とした公益財団法人である。

20年度は，新型コロナウイルスの感染拡大に伴い，４月から６月にかけて全ての公演が中止となる異例の事態となった。

演奏会の再開に向けて，６月には新型コロナの感染防止に関するN響独自のガイドラインを作成。これをもとに７月にNHKホールで試演会を実施し，演奏者の配置や管楽器の唾処理対策など演奏環境を検証した。同月NHKホールで無観客の演奏会（FM生放送）を開き，４か月ぶりに演奏活動を再開した。８月には19年２月の定期公演以来半年ぶりにNHKホールにお客様をお迎えし，「N響・夏のフレッシュコンサート ～音楽でふれあおう～」を開催した。

一方，７月には「クラシック音楽公演運営推進協議会」などが長野県の実験施設で演奏時の飛沫の飛散などについて本格的な検証実験を実施し，これに全面的に協力して業界の対策づくりに貢献した。また，感染対策に精通した医療の専門家とアドバイザリー契約を結び，演奏会の安全な運営と楽員，スタッフの感染予防に役立てた。

【2】N響主催の代替公演

９月からは定期公演の新シーズンが予定されていたが，海外からの渡航制限やステージ上の安全確保の観点から，予定していたプログラムでの開催が難しくなった。このため1927年の第１回公演以来，戦時中も続けてきた定期公演を休止するという苦渋の決断をするに至った。

定期公演の形式をとらず，同じ日程でN響主催の代替公演を開催した。また，NHKホールの改修工事に伴い，東京芸術劇場を新たな会場に加えた。代替公演の開催にあたっては，日本人の指揮者・ソリストへの変更や，感染防止のための奏者間隔を確保した楽器編成およびプログラムの再構成を余儀なくされた。お客様には入場時の検温や手指消毒，前後左右一席おきの配席などにご協力いただいた。

【3】第９公演

12月恒例の第９公演は，合唱による飛沫飛散のリスクなどを徹底的に洗い出し，十分な感染防止策を講じた。合唱団の人数を例年の半分以下に減らし，オーケストラとの距離をとったうえで，間には飛沫防止のためアクリル板を設置。また通常，合唱団は冒頭の第１楽章から登壇しスタンバイするが，途中の第３楽章からの登壇に変更した。例年，多くのファンで埋まるNHKホールの客席も半分の1,500人程度にとどめた。指揮者のパブロ・エラス・カサドは，政府の方針に従って入国後２週間，宿泊施設に待機したうえで出演し，新型コロナの感染拡大後，初めて海外からの招へいが実現した。４回の演奏会のチケットはいずれもほぼ完売し好評を博した。

【4】地方公演，ミニコンサート

NHKとの共催による地方公演は，１月に大阪，３月に高知，高松，西宮，甲府の計５都市で実施した。11月の「NHK音楽祭」，３月の市原は新型コロナの影響により中止となった。

学校の体育館などを会場に，NHKと共催でミニコンサートを開催する「NHKこども音楽クラブ」は，秋に集中的に実施し，20年度は全国11か所で開催した。

7 NHK厚生文化事業団

多様化する福祉へのニーズにきめ細かく応えるため放送と連携しながら障害者福祉，高齢者福祉などの事業を行っている。また，福祉団体を支援するためのチャリティーイベントを実施している。

【1】障害者福祉事業

・パラリンピック選手が小学生と障害者スポーツを通して交流する出前授業「パラリンピアンがやってきた！」を，八王子市など東京都内で計４回実施した。また，21年の東京パラリンピックに向けて，パラスポーツへの理解と支援のために，渋谷区主催の第１回ボッチャ渋谷カップに敢闘賞の盾を贈呈し，参加者全員に記念品を提供した。

・親子の個別相談に応じる「こどもの発達相談会」を10回実施したほか，障害がある人を対象としたバス旅行を大阪で行った。

・発達障害やがんなどに関する最新情報と支援の在り方を伝えるフォーラムをオンラインを中心に13回行った。

・障害者や高齢者などの災害弱者も取り残さない「インクルーシブ防災」をテーマにしたフォーラムを東京・江東区の日本科学未来館からオンラインで実施した。

【2】高齢者福祉事業

・長寿社会を明るく生き生きと過ごすための英知を集める番組の公開収録とゲスト講演会を東京・町田市で実施した。

・関心の高い「認知症」に関するフォーラムを７回オンラインで実施，併せてテレビ番組でも伝えた。また，認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの事例を全国から募集して表彰する「認知症とともに生きるまち大賞」を実施し，取り組みの広がりを後押しした。

【3】災害被災地支援事業

・地域福祉を支援する「わかば基金」に設けた「災害復興支援部門」で西日本豪雨や熊本地震，東日本大震災で被災した福祉団体に支援金を贈呈した。

また，東日本大震災被災地・福島県の福祉施設が作った製品の販売会を東京のNHKで実施した。

【4】事業団が長年作品を募集し記録する事業

・障害者の体験や福祉の実践を記録する「第55回NHK障害福祉賞」を実施し，その入選作品を出版するとともに，テレビやラジオで放送した。

【5】福祉情報提供事業

・NHKの福祉番組や事業団制作の福祉DVD教材を貸し出す「福祉ビデオライブラリー」は，認知症や摂食障害，ひきこもりなどの利用が多かった。

【6】チャリティーイベント・福祉団体支援

・予定していた「第54回NHK福祉大相撲」は，コロナ禍で中止したが，福祉施設への福祉車両贈呈は実施した。

・地域福祉を支援する第32回「わかば基金」では，全国64の福祉グループに活動を広げるための支援金や，NHKや関連団体の不用パソコンのソフトを新しくした「リサイクルパソコン」を贈った。

8 日本放送協会健康保険組合

健康保険法に基づき，被保険者と被扶養者に対して，保険給付および各種検診や予防接種の経費補助，メンタルヘルスへの対応などの保健事業等を行っている。

なかでも，生活習慣病（メタボリックシンドローム）の予防および改善に関しては，18年度から，事業主との協働により特定健康診査・特定保健指導の対象年齢を若年層まで拡大し，早期の啓発と対策による医療費抑制に取り組んでいる。

9 日本放送協会共済会

NHK役職員とその家族などの生活向上と，退職者とその遺家族の救済，援護等を行うために，食堂の運営，物品販売，生涯生活設計相談，各種給付・貸付，各種保険の団体扱いおよび転勤者用住宅の管理・運営等の福利増進施策を行った。

放送史ミニ年表

1925. 3.22 **社団法人東京放送局，仮放送開始**
26. 8.20 社団法人日本放送協会，設立
27. 8.13 最初のスポーツ実況中継（全国中等学校優勝野球大会）
28.11. 1 ラジオ体操，放送開始
30. 6. 1 技術研究所設置，テレビ研究開始
31. 4. 6 **第２放送開始**（東京）
35. 4.15 学校放送の全国放送開始
6. 1 海外放送開始
46. 3. 4 協会サイン（NHK）を放送で開始
6.15 放送文化研究所，設置
50. 5. 2 **電波三法公布**（電波法，放送法，電波監理委員会設置法，6.1施行）
6. 1 **放送法による「日本放送協会」設立**
51. 9. 1 **初の民放局，開局**（中部日本放送・新日本放送）
53. 2. 1 **NHK東京テレビジョン局，本放送開始**
8.28 初の民放テレビ局，開局（日本テレビ放送網）
56. 3. 3 放送博物館，開館
57.12.24 FM実験放送，開始
59. 1.10 **教育テレビ放送，開始**（東京）
4.10 皇太子ご結婚パレード，各局ラジオとテレビで実況中継
60. 9.10 **カラーテレビ，本放送開始**（東京・大阪）
62. 3. 1 テレビ受信契約数，1,000万突破
63.11.23 初の日米間テレビ衛星中継実験（受信）に成功
64.10.10 **東京オリンピックの放送**（～10.24）
67.12.31 テレビ受信契約数，2,000万突破
69. 3. 1 NHK-FM全局，本放送開始
5.29 放送番組向上協議会発足
71.10.10 **NHK総合テレビ，全面カラー化**
78. 4. 8 日本初の実験用放送衛星「ゆり」打ち上げ
82. 9.30 テレビ受信契約数，3,000万突破
12.17 テレビ音声多重放送，本放送開始（東京・大阪）
83.10. 3 テレビ文字多重実用化試験放送開始（東京・大阪）
84. 1.23 放送衛星BS－2a打ち上げ
5.12 BS－2aによる試験放送開始
85. 9. 1 緊急警報放送システム運用開始
86. 2.12 放送衛星BS－2b打ち上げ
11.29 文字放送，全国放送を開始
12.25 衛星２波による試験放送を開始
87. 7. 4 衛星による24時間放送開始
89. 6. 1 **NHK衛星放送，本放送開始**
92. 4.21 **CSテレビ放送サービス開始**
94.11.25 **ハイビジョン実用化試験放送開始**
97. 5. 1 放送と人権等権利に関する委員会機構（BRO）発足
99.10. 1 NHKワールドTV24時間放送化
2000. 2.29 衛星放送受信契約数1,000万突破
12. 1 **BSデジタル本放送開始**
01. 7. 2 NHK情報公開を開始
02. 3. 1 東経110度CSデジタル放送開始
03. 2. 1 NHKアーカイブス，オープン
7. 1 放送倫理・番組向上機構（BPO）発足
12. 1 **東名阪の３大都市圏で地上デジタルテレビ放送開始**
06. 4. 1 携帯端末向けワンセグ放送開始
12. 1 **全都道府県で地上デジタル放送開始**
08.12. 1 NHKオンデマンド開始
09. 2. 2 NHKワールドTV24時間完全英語化
11. 3.11 東日本大震災発生，長期間の災害報道
4. 1 BSデジタル放送「BS1」「BSプレミアム」の２波放送開始
7.24 **地上アナログ放送**（岩手県・宮城県・福島県は12.3.31終了）**および全国のBSアナログ放送終了**
13. 5.31 東京タワーから東京スカイツリーへのテレビ送信所移転
16. 8. 1 BSで４K･８K試験放送開始
17.12. 6 最高裁，受信料制度を合憲と判断
18.12. 1 BSで４K･８K本放送開始
20. 4. 1 **NHKプラス，サービス開始**

第４部

NHKの番組解説

番組解説

記載について

ここでは，2020年度国内放送９波と国際放送の番組解説を記載した。

1．対象期間

2020年３月30日（月）から2021年３月28日（日）までとした。一部，この範囲外の番組もある。

2．記載の順と記号

❶総合テレビ＝G
❷Eテレ＝E
❸BS1＝BS1
❹BSプレミアム＝BSP
❺BS４K＝BS４K
❻BS８K＝BS８K
❼ラジオ第1＝R1
❽ラジオ第2＝R2
❾FM放送＝FM
❿テレビ国際放送＝T国際
⓫ラジオ国際放送＝R国際

3．「定時番組」

番組名を「ABC順」「五十音順」に記載し，短いニュース・天気予報・広報スポットなどは省略した。各波の「番組時刻表」については「資料編」（⇒p.532～594）を参照されたい。

4．「特集番組」

主なものを「ABC順」「五十音順」に記載した。

5．複数の波で放送した番組

メインとなる波のページに記載した。

6．新番組と再放送

新番組は新，再放送は再と記載した。

7．特集番組，『NHKスペシャル』『ETV特集』の放送日

各波の初回放送日のみを記載した。

8．NHK関連団体

次のように略称した。

NHKエンタープライズ…… NEP
NHKエデュケーショナル…… NED
NHKグローバルメディアサービス…Gメディア
日本国際放送…… JIB
NHKサービスセンター…… NSC

❶ 総合テレビ

定時番組

ABC順

『BSコンシェルジュ』

G　金　12:20～12:43
BS1　金　14:00～14:23
BSP　土　6:00～ 6:23

第１回11.4.4／NHK BS番組の魅力を総合テレビをメインに紹介する番組。毎週BSの一押し番組をピックアップし，ゆかりのゲストを迎えて番組の見どころや裏話，プライベートについて聞くトークバラエティー。「びぃコン通信」では，そのほかのBSのお薦め番組をコンパクトに紹介。

▶キャスター：安めぐみ，福田彩乃（週替わり），田村直之アナ／広報局，NSC

『BSセレクション』

木　1:40～ 3:09ほか

第１回19.10.3／視聴者に好評だった，衛星放送ならではのスケールの大きい見応えのある自然・紀行・歴史・ドラマ・ドキュメンタリーなどを放送した。

▶編成センター

『LIFE！～人生に捧げるコント～』

金　22:00～22:43

第１回13.6.18／内村光良を座長に，芸人と俳優という組み合わせで送るオムニバスコント番組。主に金曜や祝日の22時台で不定期放送。豪華ゲストを迎えた新作コントや人気コントシリーズで構成。夏には過去の傑作コントで構成した３回シリーズ「平成セレクション」も放送した。東日本大震災10年の復興支援特番「東北SP」（3.13，22:10～22:55）やスピンオフドラマ『LIFE！プレゼンツ「夜の連続テレビ小説うっちゃん　完結編」』（3.24，22:00～22:45）も制作した。

▶出演：内村光良，田中直樹，中川大志，池谷のぶえ，江口のりこ，じろう，ムロツヨシ，塚地武雅ほか／第５制作ユニット（エンターテインメント）

『NHK映像ファイル　あの人に会いたい』

G　土　5:40～ 5:50
E　金　13:50～14:00

第１回04.4.11／NHKアーカイブスに保存された膨大な映像・音声素材から，今は亡きあの著名

人たちの人生と珠玉の名言を掘り起こす10分間の映像ファイル。20年度は「宍戸錠（俳優）」「早川一光（医師）」「野村克也（プロ野球監督）」「大中恩（作曲家）」「宮城まり子（ねむの木学園園長）」「本田美奈子.（歌手）」「渡哲也（俳優）」などを放送した。

▶語り：柘植恵水アナ／知財センター

『NHKスペシャル』

G	日・土	21:00〜21:49
再	水	0:30〜 1:19
再	木	0:50〜 1:39
BS4K	日	21:00〜21:49

20年度は，全89本のうち35本が新型コロナウイルス関連の番組だった。コロナと闘う医療現場の実態や対策の課題などを感染拡大のタイミングを捉えて随時放送したほか，ウイルスの起源を追跡した「謎の感染拡大」，深刻な影響を受けた新宿・歌舞伎町の冬を記録した「“夜の街”で生きる」などさまざまな角度から伝えた。さらに，新型コロナが社会に突きつけた課題を検証し，未来を展望する新シリーズ「パンデミック　激動の世界」をスタートさせた。

また，東日本大震災から10年となる３月には，震災遺児，定点映像記録，廃炉への課題，ドラマなど，幅広いラインナップで８本の震災関連番組を制作。戦後75年の８月には，膨大なアーカイブスを丁寧に読み解いた「証言と映像でつづる原爆投下・全記録」や，これまで見過ごされてきた民間被害者の実情に光を当てた「忘れられた戦後補償」などを制作。

ほかにシリーズとしては，持続可能な未来のために人類が直面する課題の解決策を探る「2030未来への分岐点」，世界史の視点から日本の戦国時代を捉え直した「戦国〜激動の世界と日本〜」，日々生み出される膨大なデータがリアルな世界を揺るがす現実を見つめる「デジタルVSリアル」，絶景と絶品和食から列島誕生の物語を描く「列島誕生　ジオ・ジャパン２」などを展開。

単発では，「池江璃花子　ハタチの決意」「香港激動の記録〜市民と“自由”の行方〜」「世界は私たちを忘れた〜追いつめられるシリア難民〜」「患者が“命を終えたい”と言ったとき」「藤井聡太二冠　新たな盤上の物語」「筒美京平からの贈りもの　天才作曲家の素顔」など，多彩な番組を放送した。

新型コロナウイルス関連　シリーズ（五十音順）

「パンデミック　激動の世界」

(1)「ウイルス襲来　瀬戸際の132日－前編－」

8.29／21:00〜21:54

新型コロナが突きつけた，さまざまな課題を検証し，危機と向き合いながら未来を展望していく新シリーズ「パンデミック　激動の世界」。第１回は日本が新型コロナウイルスの第１波と対峙（たいじ）した132日を検証する前編。10年に国がまとめた感染症対策についての提言を実行してこなかった日本は，徐々に未知のウイルスに追い詰められていった。

▶大型企画開発センター，報道局，制作局，首都圏局，大阪拠点局，札幌拠点局，北見局，千葉局

(2)「ウイルス襲来　瀬戸際の132日－後編－」

8.30／21:00〜21:54

第２回は日本が新型コロナウイルスの第１波と対峙した132日を検証する後編。史上初の緊急事態宣言の後，日本が直面した医療崩壊の危機，PCR検査の手詰まり，政治と科学の距離…。流行の“第２波”のただ中にある日本は，第１波の教訓を生かすことができるのか。

▶大型企画開発センター，報道局，制作局，首都圏局，大阪拠点局，札幌拠点局，北見局，千葉局

(3)「停滞か変革か　岐路に立つグローバル資本主義」

9.27／21:00〜21:59

グローバル資本主義は，資本や労働力を国境を越えて移動させ経済成長を促してきた。だがパンデミックはその仕組みを一瞬にして揺るがした。ロックダウン，需要の蒸発，生産停止…。経済の原動力を直撃し，日本のGDPも過去最大の落ち込みとなった。グローバル経済はどう変貌していくのか。企業が迫られる改革，カギを握るとされるDX（デジタルトランスフォーメーション）の可能性など，最前線の現場から探っていく。

▶社会番組部

(4)「問い直される“あなたの仕事”」

10.25／21:00〜21:49

あなたの仕事，本当に必要？　パンデミックで問い直された「仕事の価値」を，揺れる職場から考える。テレワークの普及で社員の働きぶりが見えづらくなり，ある大手企業は，業務内容を事前に定め，成果に従い報酬を決めるジョブ型を導入。

安定・安心の年功序列が崩れ，驚きが広がる。一方，命や生活に関わる仕事が報われない不平等もあぶり出した。世界各国で，看護師らが待遇改善を求めて声を上げる。価値ある仕事って何だろう？
▶政経・国際番組部，経済部，第２制作ユニット（社会），大型企画開発センター

---

(5)「コロナ禍　米中　新たな“冷戦”」

12. 6／21:00〜21:49

新型コロナウイルスとの闘いの先頭に立つべき二大国が対立を激化させている。世界最多の感染者を抱えるアメリカは，パンデミックは“中国発”だと批判。一方，いち早く抑え込んだとする中国は“マスク外交”などで存在感を増す。対立は経済，安全保障，感染対策にまで及び，はざまに置かれた世界中の人々を巻き込んでいる。アメリカの新政権のもとでも続くとみられる米中の対立。日本の進むべき進路は。揺れ動く国際秩序を見つめる。
▶大型企画開発センター，政経・国際番組部

---

(6)「“科学立国”　再生への道」

12.20／21:00〜21:49

次々と接種が始まる海外の新型コロナウイルスワクチンに対し，日本で開発中の国産ワクチンは立ち遅れている。治療薬開発でも，研究現場に人材枯渇の危機が。「科学立国」日本の苦闘の背景にある科学政策の課題を探り，再生への道を問う。
▶大型企画開発センター，社会番組部，大阪拠点局，科学・文化部

---

(7)「問われるリーダーたちの決断
〜“第３波”に揺れる自治体〜」

1.31／21:00〜21:59

“第３波”への対応を通して注目される「国と地方の関係」について考える。国内で初めて新型コロナウイルスの感染者が確認されてから１年余り。11都府県には２度目の緊急事態宣言が発出されたが，感染拡大は続いている。一方，“第３波”への対応をめぐっては，国と自治体トップとの間で「役割」と「責任」を押しつけ合うような事態も起きている。感染症の脅威から私たちの命や暮らしを，誰がどう守るのか。国や自治体が取るべきリーダーシップとは。現場の密着ルポに独占インタビューを交えて伝える。
▶首都圏局，大阪拠点局，政経・国際番組部

---

(8)「音楽＆スポーツ　熱狂なき空間」

2.14／21:15〜22:04

音楽とスポーツは，会場に観客を集め，密になることで熱狂を生み出してきた産業である。感染拡大のなかで，不要不急と位置づけられた２つの産業は，どう生き残ろうとしているのか。ライブがなくなり，新しい音楽の表現方法を探す山口一郎。無人のスタジアムで戸惑いながらプレーする長谷部誠。オリンピック開催への不安を抱えながらメダルを目指す奥原希望。熱狂の消えた空間で闘い続ける３人の物語。希望の光は見つかるのか？
▶大型企画開発センター，スポーツ情報番組部，第２制作ユニット（社会），NEP

「令和未来会議　危機をどう乗り越えるか？
コロナ時代の“仕事論”」

6. 6／21:00〜22:10

新型コロナウイルスへの警戒が続く中，私たちの「仕事」はどうなるのか？　解雇や雇い止めが急増し，雇用の維持が深刻な問題に。またテレワークが広まるなど，働き方も変化している。コロナ時代の“仕事論”を専門家が徹底討論！
▶大型企画開発センター，社会番組部

「令和未来会議　新型コロナの不安
どう向き合う？」

10.11／21:00〜21:54

新型コロナウイルスに対する警戒感が一部で薄れる一方，依然不安を感じている人も多い。新型コロナウイルスをどこまで怖がり，今後どう行動すればいいのか？　また社会に広がるさまざまな不安にどう向き合えばいいのか？　さまざまな分野の論客がスタジオで徹底討論する。
▶大型企画開発センター

「令和未来会議　あなたはどう考える？
東京オリンピック・パラリンピック」

3.21／21:00〜21:59

開催まで４か月となった東京オリンピック・パラリンピック。コロナ禍の中，感染対策を徹底し，安全な大会を実現することはできるのか？　大会を開催する意義をどう考えるのか？　大会関係者やアスリートなど各分野の専門家が徹底討論。
▶スポーツ情報番組部，大型企画開発センター

新型コロナウイルス関連　単発（日付順）

「“感染爆発”をどう防ぐか」

4. 4／21:00〜22:00

猛威を振るう新型コロナウイルス。東京都や各県の知事は不要不急の外出自粛を要請。感染爆発が食い止められるかどうかギリギリの局面が続いている。感染拡大を食い止め，医療体制を維持していくために何が必要か？　第一線の専門家に聞く。

▶大型企画開発センター，社会番組部，第３制作ユニット（科学），第６制作ユニット（新領域開発），大阪拠点局，福岡拠点局，大分局

「新型コロナウイルス　瀬戸際の攻防 〜感染拡大阻止　最前線からの報告〜」

4.11／21:00〜22:04

東京・霞ヶ関，厚生労働省の一室。日本の新型コロナウイルスの感染拡大阻止を担う対策チームにカメラが入った。30人以上の感染症の専門家で作られた「クラスター対策班」である。感染拡大阻止の最前線の現場への密着を通して，新型コロナウイルスとの果てなき闘いを見つめる。

▶大型企画開発センター，第３制作ユニット（科学），政経・国際番組部，社会番組部，社会部，科学・文化部，国際部

「緊急事態宣言　いま何が起きているのか」

4.18／21:00〜22:04

20年４月７日，新型コロナウイルス対策として初めて出された「緊急事態宣言」。今，日本はどういう局面にあるのか，そしてウイルスとの闘いにどう対峙していくべきか考える。

▶大型企画開発センター，社会番組部，第２制作ユニット（社会），第３制作ユニット（科学），スポーツ情報番組部，福岡拠点局

「新型コロナウイルス　どうなる緊急事態宣言 〜医療と経済の行方〜」

4.25／21:00〜22:10

新型コロナウイルスの感染拡大で，極限の状況にある「医療現場」と「経済」。感染防止を維持しながら，急激に停滞する経済をどう守るのか。難局打開の道を徹底検証する。

▶社会番組部，大型企画開発センター，大阪拠点局ほか

「調査報告　クルーズ船 〜未知のウイルス　闘いのカギ〜」

5. 3／21:00〜22:10

新型コロナウイルスの集団感染が起きたクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」。感染が広がる日本の現状の縮図とも指摘される。未知のウイルスとの闘いの教訓とは…。

▶社会番組部，政経・国際番組部，第３制作ユニット（科学），福岡拠点局

「新型コロナウイルス　出口戦略は」

5.10／21:00〜22:10

緊急事態宣言が延長された一方で，休業要請などの制限を解除する自治体も出ている。今後の課題は，感染拡大を防ぎながら社会生活を取り戻す「出口戦略」だ。外出自粛や経済活動の制限を段階的に緩和していくときの判断材料は？　日本に先駆けて緩和し始めた諸外国の意思決定は？　治療や検査方法の最新事情は？　新型コロナウイルスと対峙し続けていく長期化フェーズに入った日本がとるべき現実的な方策を探る。

▶大型企画開発センター，社会番組部，政経・国際番組部，スポーツ情報番組部，第３制作ユニット（科学），NED

「新型コロナウイルス　ビッグデータで闘う」

5.17／21:00〜22:10

番組はビッグデータを使いウイルスに打ち勝つ新戦略を探す。膨大な科学論文をAIで解析，専門家と有益な情報を導き出す。さらにスマホなどのデータで，感染拡大を防ぐ動きにも密着。どのようにビッグデータを生かすか，山中伸弥さんとともに考える。

▶社会番組部，政経・国際番組部，大型企画開発センター，Gメディア，第３制作ユニット（科学），NED，大阪拠点局

「新型コロナウイルス 苦境の世界経済　日本再建の道は “ウィズ・コロナ時代”をどう生き抜く」

5.24／21:00〜22:04

新型コロナウイルスのパンデミック宣言から70日余り，世界経済は再び動き始めた。しかし，各地の生産現場・消費・雇用へのダメージは深く，“V字回復”への見通しは暗い。さらに，感染の第２波や，米中対立といった不確定要素が渦巻く中，日本は難しいかじ取りを迫られている。新型コロナウイルスとともに生きていくことが求められる“ウィズ・コロナ時代”，日本の経済はどうあるべきなのか。再建の道を，知の巨人たちとともに探っていく。

▶社会番組部，大型企画開発センター，政経・国際番組部

「世界同時ドキュメント　私たちの闘い」

5.31／21:00〜22:00

危機に覆われた世界で，人々はどう苦しみ，立ち向かったのか。NHKでは世界各地の20人以上にスマートフォンでの自撮り撮影を依頼した。集まった映像による，この２か月間の壮絶な記録。それは私たち自身の物語でもある。

▶大型企画開発センター

「混迷のアメリカ　〜コロナ時代　世界で何が起きているのか〜」

6.13／21:00〜22:00

黒人男性が白人の警察官に押さえつけられて死亡した事件をきっかけに，全米に拡大した抗議デモが，超大国・アメリカを大きく揺さぶっている。大きなうねりは，コロナ時代の世界にどのような影響を与えるのか，その行方を読み解く。

▶政経・国際番組部，国際部

「新型コロナと水害危機〜あなたは命をどう守る〜」

6.20／21:00〜21:50

毎年のように大きな被害が出る梅雨や台風の時期。20年は新型コロナウイルスの影響が加わったことで，一層の注意が必要だ。３密のおそれが指摘されるのが体育館や公民館などの避難所。多くが収容人数の見直しを迫られている。避難所以外の場所にも向かう「分散避難」も検討されているが，場所の確保など課題は多い。コロナ時代の出水期，どうすれば命を守ることができるのか。実践的な備えを最新の知見とともに考える。

▶大型企画開発センター

「新型コロナウイルス　危機は繰り返されるのか」

6.27／21:00〜21:50

緊急事態宣言が解除されて１か月。第２波，そして，その先の長期化も指摘される新型コロナウイルスの問題にどう向き合っていくか，日本，そして世界の模索を見つめながら考える。

▶大型企画開発センター，社会番組部，政経・国際番組部，第２制作ユニット（社会），第３制作ユニット（科学），社会部，科学・文化部

タモリ×山中伸弥「“人体VSウイルス”〜驚異の免疫ネットワーク〜」

7. 4／19:45〜20:58

世界を脅かす新型コロナウイルスとは何者なのか？　謎を解くカギを握るのは，人体を守る精緻な防御ネットワーク「免疫」。最先端の科学で免疫VSウイルスの壮絶な闘いを完全映像化し，パンデミックを生き抜くヒントを探る。

▶大型企画開発センター，NED

TOKYOアスリート「今だからこそ　不屈のメッセージSP」

7.18／21:00〜22:05

新型コロナウイルスの困難の中で卓球の伊藤美誠や陸上の桐生祥秀など，アスリートたちは前へ進もうとしている。トップ選手の「逆境を乗り越える極意」を徹底取材。練習再開の独自映像と逆境に負けない力強い言葉でスポーツの今に迫る。

▶スポーツ情報番組部，大型企画開発センター

「新型ウイルス“生と死”の記録　〜医療最前線・密着３か月〜」

7.19／21:00〜21:50

新型コロナウイルスと闘う集中治療室の最前線などを３か月にわたって密着取材。カメラが捉えた“生と死”のはざまで揺れ動く医療スタッフ，患者や家族の知られざる日々。

▶社会番組部，第３制作ユニット（科学）

「新型コロナ　いま“第２波”への備えは？　〜医療現場からの警告〜」

7.26／21:00〜22:00

一旦は抑えられたかに見えた日本の感染拡大。しかし再び感染者数が増加し，“第２波”への懸念が強まる。保健所や病院への取材で，「医療崩壊」が間近に迫る事態に直面していることが分かってきた。医療現場の課題を検証し，長期化が予想される闘いにどう対峙していくのか考える。

▶社会番組部，社会部，科学・文化部，札幌拠点局，首都圏放送センター，第３制作ユニット（科学），奈良局，大型企画開発センター

「新型コロナ　全論文解読　〜AIで迫る　いま知りたいこと〜」

11. 8／21:00〜21:54

ウイルスの勢力が増す冬，日本でも感染再拡大が起きるのか？　パンデミックはいつ収束する？　効果的な対策は？　今こそ知りたい疑問に，20万本以上の関連論文を読み込んだ人工知能と世界トップ研究者たちの英知で挑む。

▶大型企画開発センター，社会番組部，第３制

作ユニット（科学），NED

「コロナ危機　女性にいま何が」

12. 5／21:00〜21:49

コロナ禍で女性の雇用や暮らしへの打撃が深刻だ。番組の調査では，女性の雇用の悪化が社会の中核を担う人たちの暮らしを揺さぶっていることがわかった。現場のルポと独自調査をもとに“女性不況”の実態を伝える。

▶政経・国際番組部，社会番組部，大型企画開発センター，ネットワーク報道部，おはよう日本部，社会部

「新型コロナ“第３波”　危機は乗り切れるのか」

12.13／21:00〜21:49

新型コロナウイルス感染拡大の“第３波”に直面した日本。医療や保健福祉の現場のひっ迫は限界に達しつつある。危機を乗り越えるための道はあるのか，生放送でその糸口を探る。

▶大型企画開発センター，報道局，制作局，大阪拠点局，札幌拠点局，旭川局，NED

「謎の感染拡大〜新型ウイルスの起源を追う〜」

12.27／21:00〜21:49

新型コロナウイルスがいつ・どこで発生し，どのように広がったのか？　NHKでは当局資料やSNSなどオープンソースを使った調査報道を実施。パンデミックの始まりが大きく異なっていた可能性が明らかになった。世界的権威とともに謎に迫る。

▶政経・国際番組部，社会番組部，大型企画開発センター

「“感染爆発”危機をどう乗り越えるか」

1.16／21:00〜21:59

最新研究から見えてきた変異株の正体。医療崩壊の危機で家族に突きつけられる“命の選択”。“収束の切り札”ワクチン接種が始まった英米で思わぬ混乱が…。感染爆発の危機をどう乗り越えるか，最前線のルポをもとに専門家と考える。

▶大型企画開発センター，社会番組部，政経・国際番組部，大阪拠点局

「“夜の街”で生きる〜歌舞伎町　試練の冬〜」

1.30／21:00〜21:49

新型コロナ第３波に揺れた日本。医療崩壊が叫ばれる一方，倒産や失業も相次ぎ，自殺者も急増していた。これ以上の感染拡大は何としても食い止めねばならない。だが，経済がこれ以上痛めば，人々の暮らしが押しつぶされる。どちらも“生命”に関わる問題。試練の冬を乗り越えられるか…。番組では，11月末から緊急事態宣言が出された１月の中旬まで，３か月にわたり，新宿・歌舞伎町を密着取材。人々の苦闘を通して，世界中の国々が突きつけられている重い命題を見つめる。

▶大型企画開発センター，第２制作ユニット（社会）

「終わりなき闘い　新型コロナ　第３波の教訓〜」

2.21／21:00〜21:54

今こそ第３波の「感染爆発」を教訓とし，今後に備える必要がある。自宅療養を強いられる人への訪問診療や，後遺症とみられる症状に悩む人を支える取り組みが開始。第３波では，感染減少局面でも高齢者施設でクラスターが発生。病院に十分な空きがなく入院が進まないなかでの対策は。外出自粛や時短要請で落ち込んだ経済への対策は。そして始まったワクチン接種。医療従事者，高齢者，一般への接種の見通しと課題は？

▶大型企画開発センター，社会番組部，首都圏局，名古屋拠点局，大阪拠点局，福岡拠点局，科学・文化部

「浅草、遠い春を待ちながら　〜下町経営者と信用金庫〜」

3.27／21:00〜21:49

日本有数の観光地，浅草。土産物屋や飲食店が軒を連ねる下町を，この冬，新型コロナの第３波が襲った。売り上げが激減し，資金繰りに奔走する経営者と彼らを支える信用金庫を４か月にわたって記録。未曽有の危機に立ち向かう人々を見つめる。

▶コンテンツ開発センター，Gメディア，日本電波ニュース社

新型コロナウイルス以外　シリーズ（五十音順）

「戦国〜激動の世界と日本〜」

(1)「秘められた征服計画　織田信長×宣教師」

6.28／21:00〜21:49

地球規模の歴史から，日本の戦国時代の新たな姿を描くシリーズ。第１集は，織田信長・豊臣秀吉，来日した宣教師，ポルトガル・スペインの間で繰り広げられたしれつな駆け引きを描く。

▶大型企画開発センター，第２制作ユニット（文化）

(2)「ジャパン・シルバーを獲得せよ 徳川家康×オランダ」

7. 5／21:00〜21:49

地球規模の歴史の視点から，戦国日本の新たな姿を描くシリーズ。第２集は，徳川家康の天下取りの時代。世界の覇権をめぐり，日本の銀をねらって暗躍するオランダとスペインの激しい攻防に迫る。番組ナビゲーターは俳優の西島秀俊さん。

▶大型企画開発センター，第２制作ユニット（文化）

「デジタルVSリアル」

(1)「フェイクに奪われる“私”」

4. 5／21:00〜21:49

デジタル世界に積み上げられていく膨大なデータが現実世界に大きな影響を及ぼしている。今回は氾濫するウソの情報＝「フェイク」との闘い。AIが作成する「フェイクポルノ」や選挙戦でまん延するフェイク情報との攻防に密着。

▶政経・国際番組部，社会番組部

(2)「さよならプライバシー」

4.12／21:00〜21:49

あなたの行動パターンや心の中まで映し出す「デジタルツイン」。検索履歴や位置情報などのデータだけで，人物像を映し出す双子が誕生する。ネットの便利なサービスなしでは生きられない私たちは，「プライバシー」とどう向き合うのか。

▶政経・国際番組部，社会番組部，大阪拠点局

「東京リボーン」

(5)「渋谷　迷宮大改造」

8.22／21:00〜21:49

５月末の夜。JR渋谷駅で前代未聞の工事が行われた。駅の機能を止めることなく，54時間のうちにホームを350メートル移動させる大工事だ。このJR史上最大の難工事に密着，迷宮都市から防災都市を目指す渋谷の苦闘を描く。

▶大型企画開発センター，NEP

「2030　未来への分岐点」

(1)「暴走する温暖化　“脱炭素”への挑戦」

1. 9／21:00〜21:59

持続可能な未来のために人類が直面する課題の解決策を探る新シリーズ「2030　未来への分岐点」，第１回は新たなフェーズに入った地球温暖化の問題。このまま気温上昇が進むと私たちの暮らしはどうなるのか。持続可能な未来を実現するために何が必要か，この10年歩むべき道を考える。

▶大型企画開発センター，首都圏局，NEP

(2)「飽食の悪夢〜水・食料クライシス〜」

2. 7／21:15〜22:14

第２回は先進国の飽くなき食への欲望が，世界にもたらす危機に迫る。富める者と富めない者を激しく分ける現在の食料システムを30年までに改善しないかぎり，人類に待ち受けるのは「破滅」という悪夢だった。

▶大型企画開発センター，社会番組部

(3)「プラスチック汚染の脅威 大量消費社会の限界」

2.28／21:00〜21:49

あふれ出たプラスチックごみが，地球全体に拡散。最新研究から，小さく砕けたかけらが脅威となり，生態系全体，人体への悪影響のリスクが浮かび上がってきた。プラスチック汚染の実態，社会システムの刷新を目指す最前線から，30年に向けた処方箋を探っていく。

▶第３制作ユニット（科学），大型企画開発センター

「ホットスポット最後の楽園　season3」

(4)「天空と荒野の両極世界 〜アフリカ　エチオピア高原〜」

4.26／21:00〜21:49

エチオピアには，海面下100メートルの低地と標高4,000メートルの高地が隣り合う場所がある。高地には草だけを食べるサルや世界に500匹しかいないオオカミが暮らし，低地では乾燥に耐えるマントヒヒが命をつなぐ。

▶NEP，大型企画開発センター

(5)「太古の命守る奇跡の森 〜ブラジル　マタアトランティカ〜」

6. 7／21:00〜21:49

ブラジルの大西洋岸に広がる森，マタアトランティカは，世界でもここにしか住んでいない珍獣たちの宝庫。太古から激変してきた地球環境の中で独自の進化を遂げてきた生きものたちの命を守る避難所となってきた神秘の森の秘密に迫る。

▶NEP，大型企画開発センター

「ホットスポット最後の楽園」

「命をめぐる10年の記録」

8.23／21:00〜21:49

最先端の特撮技術を使って，壮大な自然のドラマを記録してきた「ホットスポット　最後の楽園」。今回はえりすぐりの名シーンを一挙公開するスペシャル版。福山雅治さんがめぐった旅の軌跡を振り返りながら，地球の今を見つめる。

▶NEP，大型企画開発センター

未解決事件　File.08　「JFK暗殺　前編」

4.29／19:30〜20:30

社会に衝撃を与えた「未解決事件」を検証するシリーズ第８弾は海外特別編。アメリカ大統領，ジョン・F・ケネディが白昼狙撃された世紀の「JFK暗殺事件」の真相に迫る。第一線の研究者との共同調査に加え，オズワルドの知られざる足跡を映像化し，真の黒幕に迫る。

▶社会番組部，政経・国際番組部，第４制作ユニット（ドラマ），第６制作ユニット（新領域開発），大阪拠点局

未解決事件　File.08　「JFK暗殺　後編」

5. 2／21:00〜21:54

シリーズ「未解決事件」の第８弾は海外特別編。アメリカ大統領，ジョン・F・ケネディが白昼狙撃された世紀の「JFK暗殺」の真相に迫る。元CIA高官の内部告発とも言える主張や，事件の鍵を握る人物たちの証言を基に立ち上がった新たな事件像に迫る。

▶社会番組部，政経・国際番組部，第４制作ユニット（ドラマ），第６制作ユニット（新領域開発），大阪拠点局

「ミラクルボディー」

「驚異の人体“超適応”車いすレーサー　タチアナ・マクファーデン」

10. 4／21:00〜21:49

アメリカの車いすアスリート，タチアナ・マクファーデン。パラ陸上界では“女王”と呼ばれ，100メートルの短距離から世界四大マラソンまで，あらゆる距離を制覇した。超人的強さの秘密「驚異の体内変化」に科学の力で迫る。

▶大型企画開発センター

「列島誕生　ジオ・ジャパン２」

（1）「列島大隆起」

6.14／21:00〜21:49

絶景と絶品和食で，列島誕生のドラマに迫る。第１集は日本の屋根・北アルプス誕生と，深海から浮上した関東平野の物語。タイムトリップCGで大地の秘密が明らかに。

▶出演：劇団ひとり，指原莉乃，巽好幸（神戸大教授），和久田麻由子アナ／大型企画開発センター，第３制作ユニット（科学），NEP

（2）「列島大分裂」

6.21／21:00〜21:49

絶景と絶品和食で，列島誕生のドラマに迫る。第２集は，美しい多島海・瀬戸内海の誕生と，火山王国・九州の秘密。タイムトリップCGで太古の大激動を体感する。

▶出演：劇団ひとり，指原莉乃，巽好幸（神戸大教授），和久田麻由子アナ／大型企画開発センター，第３制作ユニット（科学），NEP

「三千万年の旅　列島誕生ジオ・ジャパン」

1. 1／19:20〜20:33

珠玉の絶景映像と，最新科学に基づくタイムトラベルCGで，“驚きと発見”に満ちた列島誕生の物語を描く。三千万年の悠久の時間を，365日に落とし込んだ「ジオ・カレンダー」に沿って，大地のドラマを体感。

▶出演：劇団ひとり／NEP，コンテンツ開発センター

新型コロナウイルス以外　単発（日付順）

「ヒグマと老漁師〜世界遺産・知床を生きる〜」

4.19／21:00〜21:49

「こら！」とヒグマを叱る漁師がいる。大瀬初三郎さん。半世紀以上，世界自然遺産・知床でヒグマと共存してきた。 想像を絶する大瀬さんとヒグマの日々に３年間密着，人と自然はどうあるべきなのか，その原点を探るルポである。

▶札幌拠点局

「“わたしをあきらめない”　〜５年１組　子どもたちと先生の一年〜」

5. 6／22:00〜22:54

川崎市立東菅小学校５年１組。担任の渡邉信二先生は，かつて川崎市で起きたいじめ自死事案

の調査を担当した。亡くなった少年の思いを伝え，いじめのない教室を目指した，渡邉先生と子どもたちの一年の記録。
▶第１制作ユニット（教育・次世代）

「ふり向かずに　前へ　池江璃花子　19歳」

5. 9／19:30〜20:30

“東京五輪最大のヒロイン”と期待されながら，19年２月，白血病で突然夢を絶たれた，競泳の池江璃花子さん。退院後の20年１月から，その再出発の日々を記録。困難な状況にも，一歩ずつ前に進む姿に，ドキュメンタリーで迫る。
▶スポーツ情報番組部，札幌拠点局

「豪雨災害　いま何が必要か　〜命を守る“避難スイッチ”〜」

7.12／21:00〜21:50

列島各地に被害をもたらした豪雨はなぜ発生し，避難にどう影響したのか？　現地取材では高齢者など“要支援者”の避難が困難だった実態が明らかに。科学分析からは，異常な豪雨発生のメカニズムも分かってきた。さらに今後の豪雨の可能性を検証。線状降水帯の発生を予測する新システムの最前線も深掘りする。命を守るため，迅速に“避難スイッチ”を入れるポイントを分かりやすく解説。今，豪雨災害の脅威にどう向き合うか考える。
▶社会番組部，大型企画開発センター，政経・国際番組部，第３制作ユニット（科学），社会部

「沖縄　“出口なき”戦場〜最後の１か月で何が〜」

8. 2／21:00〜21:49

沖縄戦から75年。日本軍の総司令部があった首里が陥落した後の１か月で，多くの住民の命が失われた。今回NHKはアメリカ軍の新資料を発掘，体験者たちの新たな証言を交え，凄惨（せいさん）な戦場の実態を浮かび上がらせる。
▶大型企画開発センター，沖縄局，社会番組部

「証言と映像でつづる原爆投下・全記録」

8. 6／22:00〜23:00

戦後75年。アメリカの原爆開発計画の現場責任者の未公開の手記や，当時の日本の指導者のインタビューを入手した。そうした証言にNHKの膨大なアーカイブ映像を加え，落とした者と，落とされた者双方の視点から，原爆投下の全貌に迫る。
▶広島拠点局，福岡拠点局

「渡辺恒雄　戦争と政治〜戦後日本の自画像〜」

8. 9／21:00〜22:13

戦後政治の舞台裏を一貫して見続けてきた読売新聞グループのトップ・渡辺恒雄氏への独占インタビューが実現した。渡辺氏の証言から浮かび上がるのは自身や歴代総理大臣の戦争体験が戦後日本に与えた影響だった。戦後政治の最後の証言者・渡辺氏の独白からひもとく日本の自画像である。
▶大型企画開発センター

「忘れられた戦後補償」

8.15／21:00〜21:59

日本人だけで310万人が命を落とした先の戦争。しかし，総動員体制で戦争への協力を求められた民間人被害者への補償は一切行われてこなかった。膨大な国の内部資料や元官僚たちの証言から，戦争と戦後日本の「空白域」を調査報告する。
▶大型企画開発センター，社会番組部

「アウシュビッツ　死者たちの告白」

8.16／21:00〜21:49

ユダヤ人大量虐殺が行われたアウシュビッツ強制収容所跡の地中から見つかった“謎のメモ”。書いたのは，同胞の虐殺に手を貸したユダヤ人の特殊部隊「ゾンダーコマンド」のメンバーだった。75年の時を超えてよみがえった密室の真実に迫る。
▶政経・国際番組部

「安倍首相辞任へ　政治のゆくえは」

8.31／22:00〜22:45

「安倍１強」とも言われ憲政史上最長の政権を築いた安倍総理大臣の突然の辞任表明。永田町に衝撃が走る中，自民党内ではすでに「ポスト安倍」をめぐる駆け引きが加速していた。流動化する政治の動きと今後の焦点を独自取材で迫る。
▶政経・国際番組部，社会番組部，政治部，大型企画開発センター

「“最強”台風接近　どう守る　命と暮らし」

9. 5／21:00〜21:49

最強クラスと言われ，気象庁が最大級の警戒を呼びかけた台風10号。ここ数年，想定を超える台風や豪雨の被害を受け続けている日本。最新の研究や，深刻化する危機に備えようとする現場の取材から命と暮らしを守るための道筋を探る。
▶大型企画開発センター，第３制作ユニット（科

学），広島拠点局，社会番組部

「オランウータン　いのちの学校」

9.13／21:00〜21:49

絶滅の危機にあるオランウータン。インドネシアのジャングルの中にある学校では，森林破壊や密猟等で人間によって親を奪われた孤児たちを保護し，人間が親代わりとなって野生で生きるすべを教えている。この学校を密着取材し，野生復帰までを見つめた。

▶大型企画開発センター，NEP

「藤井聡太二冠　新たな盤上の物語」

9.20／21:00〜21:49

将棋界の歴史を次々と塗り替えた高校生棋士・藤井聡太二冠。驚異的な進化を遂げるまでの知られざる苦悩の日々。棋聖戦・王位戦で繰り広げられた盤上のドラマ“頭脳の格闘技”の舞台裏。棋士たちの証言とAI分析で迫る。

▶社会番組部，大阪拠点局，科学・文化部

「香港　激動の記録〜市民と“自由”の行方〜」

10.18／21:00〜21:49

６月末，反政府的な動きを取り締まる国家安全維持法が施行された香港で何が起きたのか。抗議活動や言論機関への締めつけが強化される一方，中国との“一体化”が加速する現実を進んで受け入れる人々も。揺らぐ市民の実像に迫った。

▶政経・国際番組部

「世界は私たちを忘れた　〜追いつめられるシリア難民〜」

10.24／21:00〜21:49

シリアの内戦から９年。レバノンでは120〜150万人ものシリア難民が悲惨な生活を続けている。経済的に困窮し，売春や臓器売買，さらには臓器をねらった児童誘拐まで発生。ディレクターがシリア難民を取材中の３月，新型コロナウイルスの感染拡大で，レバノン政府は非常事態を宣言したが，難民たちには，マスクも消毒液も不足，支援団体の援助も十分ではなかった。差別が拡大し，難民キャンプへの襲撃も起こる中，DVが急増し，自殺者も現れた。さらに８月ベイルートで起こった大規模爆発により，一層困窮する難民たちが増加している。コロナ禍のシリア難民の窮状に８か月間密着した。

▶第２制作ユニット（文化），NED，椿プロ

「筒美京平からの贈りもの　天才作曲家の素顔」

10.31／21:00〜21:49

「木綿のハンカチーフ」「ブルー・ライト・ヨコハマ」「また逢う日まで」…。さん然と輝く名曲を生み続けた作曲家の筒美京平さんが，80歳で亡くなった。名曲の数々はいかにして生まれたのか。NHKに残されていた筒美さんの貴重なインタビュー録音，長年タッグを組んだ盟友で作詞家の松本隆さんをはじめ，近藤真彦さん，ジュディ・オングさん，宮本浩次さんらの独占取材から時代の心を捉え続けた楽曲の秘密に迫っていく。

▶社会番組部

「揺れるアメリカ　分断の行方」

11. 1／21:00〜21:49

大統領選をめぐり混乱が広がるアメリカ。「新型コロナウイルスの感染拡大」と「人種差別への抗議運動の高まり」を通じ社会の分断が顕在化。共和党と民主党の支持者間で対立が激化している。投票を前に何が起きたのか，アメリカの今に迫る。

▶政経・国際番組部，国際部，ワシントン支局

「混迷　アメリカ大統領選挙」

11. 7／21:00〜21:49

大接戦となったアメリカ大統領選挙。トランプ大統領は集計などで不正があったと主張し法廷闘争に踏み切った。民主主義のあり方が問われる中，混迷のアメリカはどこへ向かうのか。専門家とともにアメリカと世界の行方を展望する。

▶社会番組部，政経・国際番組部，ワシントン支局，大型企画開発センター

「激闘　シャチ対シロナガスクジラ　〜巨大生物集う謎の海域〜」

11.14／21:00〜21:49

シャチが巨大なシロナガスクジラを襲う。衝撃の瞬間を世界初撮影。場所はオーストラリアで最近発見された「謎の海域」。夏，直径１キロほどに巨大生物が続々と集結，深海にはダイオウイカの姿も。なぜ大集結が起きるのか？　その謎を追う。

▶NEP，大型企画開発センター

「アジア“国境の海”で何が　〜米中対立のはざまで〜」

11.15／21:00〜21:49

20年11月，尖閣諸島沖の接続水域を中国当局

の船が航行した日数は過去最多を更新。アジアの海で米中の動きが活発になっている。何が起きているのか？　米中専門家や海上保安庁などに徹底取材。
▶名古屋拠点局，社会番組部，社会部

「三島由紀夫　50年目の“青年論”」

11.21／21:00〜21:49

没後50年となった作家・三島由紀夫。『命売ります』のヒットなど，今も世代を超えて注目を集めている。その生きざまからは，「天才作家」という一面に加え，劣等感や嫉妬など「弱い人間」としての一面も見える。同級生が語る幼い頃の姿，美輪明宏さんが語る素顔，ノーベル賞をめぐる知られざる確執，そして，晩年の東大全共闘との対話で語った一言など…。三島を身近に見てきた人たちの証言から知られざる素顔に迫る。
▶大阪拠点局，科学・文化部，首都圏局

「ドラマ　こもりびと」

11.22／21:00〜22:13

10年以上にわたってひきこもり生活を送る倉田雅夫（松山ケンイチ）。重いストレスを抱え働けなくなったことがきっかけだった。厳格な父・一夫（武田鉄矢）は元教師。地元でも尊敬を集める存在だが，雅夫の存在を世間から隠し，立ち直らせることも諦めていた。しかし，自らの余命宣告を機に，最後にもう一度息子と向き合うことに。一方の雅夫は，閉ざされた部屋の中で人知れず，ひきこもりから抜け出す道を必死で探っていた…。
▶第４制作ユニット（ドラマ），社会番組部

「ある、ひきこもりの死　扉の向こうの家族」

11.29／21:00〜21:49

長年のひきこもりの果てに，命を落とす“ひきこもり死”が全国に広がっている。親の死後，残された子が死亡するなどのケースが相次ぎ，8050問題は“最終局面”にあることがNHKの調査で明らかになった。当事者たちへの長期取材で伝える。
▶社会番組部，大型企画開発センター，第３制作ユニット（福祉），Gメディア

「患者が“命を終えたい”と言ったとき」

12.26／21:00〜21:49

20年，ALSを患う女性が見ず知らずの医師に自らの殺害を依頼し，亡くなるという事件が明るみに出た。「命を終えたい」と訴える患者に，医師たちは今どう向き合っているのか。医療の現場を長期取材し，命をめぐる葛藤を記録した。
▶社会番組部，報道局，大型企画開発センター，京都局

「池江璃花子　ハタチの決意」

1.10／21:00〜21:49

白血病から競技復帰を果たした，競泳の池江璃花子さん。しかし，その舞台裏で一人苦悩していた。世界の頂点を争った過去の自分ではなく，今の自分だからこそできることは何か。成人の日を迎える，池江さんのハタチの決意に迫る。
▶社会番組部，札幌拠点局

「巨大地震と“未治療死”
〜阪神・淡路から26年　災害医療はいま〜」

1.17／21:00〜21:49

災害時に一命をとりとめながら，必要な治療を受けられずに亡くなる「未治療死」。阪神・淡路大震災で相次いだこの防ぎ得た死が，近い将来の発生が懸念される巨大地震でも多数出る恐れが明らかに。日本の災害医療の現在を見つめる。
▶大阪拠点局，神戸局

「高野山　千年の襖（ふすま）絵
空海の世界に挑む」

1.23／21:00〜21:49

紀伊半島の山深くにある高野山金剛峯寺。白いまま残されていた大主殿のふすまに画家・千住博が初めて絵を描いた。1200年前に寺を開いた空海と心の中で対話を重ね，時代に応える絵と格闘した６年間の全記録。
▶NEP，オフィス天野，社会番組部

「わたしたちの“目”が危ない
超近視時代サバイバル」

1.24／21:00〜21:49

ライフスタイルの変化で，人類の目がかつてない負担を強いられている。子ども世代で近視が急増，さらに，近視がさまざまな病気につながるリスクが浮かび上がってきた。「超近視時代」とも言える現代をどう乗り越えるか，最新研究から探る。
▶科学・文化部，第３制作ユニット（科学），大阪拠点局

「津波避難　何が生死を分けたのか」

3. 6／21:00〜21:59

東日本大震災から10年。津波襲来までに避難

できた人と逃げ遅れた人が分かれた「あの日」。何が生死を分けたのか。被災地で行われた4,000人の避難行動の調査から，多くの命を救う避難行動を導き出す。
▶社会番組部，仙台拠点局，NEP，政経・国際番組部

「ドラマ　星影のワルツ」

3. 7／21:00〜21:59

東日本大震災の津波で，妻を失い，屋根の上で3日間漂流した男性の実話をドラマ化。凍える寒さ，沈む屋根，爆発する原発…。海上で死を覚悟するたびに妻が希望を届けてくれた。実際のニュース映像も交え，人間の底力と家族の絆を描く。
▶大型企画開発センター，名古屋拠点局

「イナサ〜風寄せる大地　16年の記録〜」

3. 8／22:00〜22:59

あの大津波から10年。今も仙台・荒浜と生きる人々の16年間の記録。取材が始まったのは05年。風をたよりに四季を追ったカメラは，自然に寄り添い生きる人々，人と人のつながり，そして何気ない家族の日常を記録した。春，大漁と豊作をもたらす南東の風“イナサ”。“情けのイナサ”は震災後の荒浜にも，いつもの春と同じように吹き渡る。漁師の佐藤吉男さん・松木波男さん，農家の佐藤利幸さんを軸に，津波によって“失われたもの”“変わらないもの”“守り継がれたもの”を描く。「困難を前に，人は何をよりどころにして生きるのか」。コロナ禍の今だからこそ，荒浜に生きて，荒浜に死んでいく，日本の集落の営みの力強さを見つめる。
▶東日本大震災プロジェクト

「私と故郷と原発事故」

3. 9／22:00〜22:49

ディレクターの故郷，福島県浪江町。原発事故から10年，人口はかつての10分の1にとどまる。家族，友人，関係者を訪ね歩き，心の内をたどる旅。原発事故とは何だったのか。“当事者”による異色の対話ドキュメンタリー。
▶名古屋拠点局，政経・国際番組部，福島局

「徹底検証　“除染マネー”」

3.10／22:00〜22:49

原発事故から10年。国は住民の帰還を実現するため，広大な地域の放射性物質を取り除く前例なき巨大公共事業・除染を進めてきた。投じられた費用は膨らみ続け，約5兆6,000億円。独自資料と当事者たちの証言から，巨大事業の全貌を見つめる。
▶社会番組部，社会部，福島局

「定点映像　10年の記録 〜100か所のカメラが映した“復興”〜」

3.11／22:00〜23:13

NHKは東日本大震災発生直後からの10年間，岩手・宮城・福島の被災3県100か所へ定期的に通い同じ場所・同じ画角で再生への歩みを撮影してきた。6,000カットの膨大な「定点映像」に秘められていた復興の知られざる物語を紡ぐ。
▶仙台拠点局，盛岡放送局，社会番組部，政経・国際番組部

「大震災と子どもたちの10年 いま言葉にできること」

3.13／21:00〜21:49

震災で親を亡くした子どもは1,800人。今回，継続取材してきた多くの遺児を訪ねると「身近な家族だからこそ語れぬ思いがある」と明かした。家族間の「悲しみの温度差」，再婚でできた新しい母との模索，子どもたちの言葉に耳を傾ける。
▶社会番組部，仙台拠点局，盛岡局

廃炉への道2021「原発事故10年の軌跡」

3.14／21:00〜21:59

シリーズ「廃炉への道」。国は最長40年で終えるとしているが，計画の遅れが相次いでいる。並行して住民の帰還が進むが，大量の放射性廃棄物をどう処分するか見通しは立っていない。事故から10年の軌跡を見つめ，これからを展望する。
▶社会番組部，第3制作ユニット（科学），福島局，大阪拠点局，仙台拠点局，科学・文化部

「ワイルド東京」

3.28／21:00〜21:49

地球最大のメガシティー東京。中心部とその周辺の生活圏を含めた人口は3,700万。高層ビルが林立し，その間を鉄道や車，人が絶え間なく行き交う。しかし，ここは人間だけの世界ではない。線路を獣道とし夜な夜な食べ物を探して歩き回るタヌキ。都心の公園ではオオタカがカラスと激しい戦いを繰り広げる。ビルの屋上には，海鳥コアジサシが巨大コロニーを作っている。これまでにない斬新な映像表現で東京の生きものたちの世界を描く。

▶NEP，大型企画開発センター，オックスフォードサイエンティフィックフィルムズ

『NHK地域局発』 新

月～金　10:15～10:45ほか

第１回20.9.28／地域放送局が制作した番組を，全国向けに放送した。地域の課題に向き合う情報番組や，独特の文化や風土を取り上げる特集番組など，地域に根ざした放送局ならではの視点や長期密着取材を通じて，列島のいまを伝えた。

▶編成センター，各放送局

『NHKニュース　おはよう日本』

（前期）月～金　4:30～ 8:00
（後期）月～金　5:00～ 8:00
土　6:00～ 7:30
日　7:00～ 7:45

第１回93.4.4／20年度は，新型コロナ感染拡大を受け，マスク，ワクチン，３密対策など視聴者の関心に応える内容を充実させた。新設した視聴者の質問コーナーでは専門家のリモート出演等で分かりやすく解説，さらにデジタル・SNSに感染防止動画として展開した。全国の話題を凝縮した地域発ニュースも新設，年度後半より平日は５時スタートに変更した。各地の魅力を発信するとともに，防災・減災，命と暮らしを守る報道に取り組んだ。

▶キャスター：（月～金・５～６時）佐藤克樹・塩田慎二・利根川真也・中山果奈・森下絵理香アナ，（月～金・６～８時）高瀬耕造・桑子真帆アナ，（ニュースリーダー）岩野吉樹アナ，（土日祝）新井秀和・石橋亜紗アナ，（月～金・スポーツ）早坂隆信・武本大樹アナ，（土日祝・スポーツ）廣瀬智美アナ，（月～金・気象）檜山靖洋・山神明理，（土日祝・気象）南利幸，（月～金・まちかど情報室）吉田浩・飯島徹郎・黒田信哉・渡辺健太アナ／おはよう日本部

『NHKニュース７』

月～日　19:00～19:30

第１回93.4.5／「一歩先へ，一歩深く」をコンセプトに，夜のメインニュースとして365日休みなく国内外のニュースを徹底的に分析して放送。番組の独自取材を強化し，現場で起きていることを掘り下げて伝えた。新型コロナウイルスの感染拡大に伴って緊急事態宣言が７都府県に出された４月７日，全国に拡大された４月16日は放送枠を１時間45分に拡大して伝えた。また，熊本などを襲った豪雨災害（７月）では，放送枠を最大１時間45分に拡大した。関心の高いニュースは，QRコードを画面上に表示し，NHKのサイトやアプリでも関連情報を知ることができるようにした。このほか，アメリカ大統領選挙（11月）や東日本大震災から10年（３月）なども放送時間を延長し詳しく伝えた。

▶キャスター：瀧川剛史・上原光紀・井上裕貴アナ，（土日祝）青井実・池田伸子・伊藤海彦アナ／気象キャスター：平野有海，（土日祝）中村美公／ニュース制作部

『NHKのど自慢』

G R1　日　12:15～13:00

第１回46.1.19／『のど自慢素人音楽会』としてスタート以来，75年以上にわたり全国各地の出場者の歌を通して，人々の暮らしぶりや土地柄を浮き彫りにしてきた。20年度は全国41か所で実施予定だったが，新型コロナウイルス感染防止のため，30か所が中止。２月末に予定していた「NHKのど自慢チャンピオン大会2021」も中止。

▶司会：小田切千アナ／第５制作ユニット（エンターテインメント）

『Nスペ5min.』

土　5:10～ 5:15
再 日　6:45～ 6:50

第１回12.8.14／政治，経済，国際情勢，社会問題，自然，科学，エンターテインメント，スポーツなど，さまざまなトピックをNHKならではの視点で描く『NHKスペシャル』。そのエッセンスを５分間に凝縮し，『Nスペ』の魅力を身近に，多くの人に味わってもらえるよう再構成した番組。

▶大型企画開発センター

『SONGS』

土　23:00～23:30
再 土　1:30～ 2:00

第１回07.4.11／俳優の大泉洋が「責任者」として，番組の顔を務める音楽番組。60年代から現代までのJ-POPの名曲を送る。主なゲストとしては，松任谷由実，福山雅治，BTS，Official髭男dism，あいみょん，など。新型コロナの影響でライブ活動のままならない歌手たちがこの番組だけのパフォーマンスを披露した。

▶出演：大泉洋／第５制作ユニット（エンターテインメント）

五十音順

『あさイチ』

月～金　8:15～ 9:54

第１回10.3.29／“視聴者に最も近い番組”を目指している。主なターゲットは40～50代の女性。健康，家計，食，災害，介護，女性特有の悩みなど「くらしを守り，質を高める」情報を伝えた。また，新型コロナウイルスについては，感染対策や支援策などについて繰り返し放送。視聴者からメールやファックスで寄せられた疑問を基に，生活者目線の情報を発信した。また番組のインスタグラムやLINEも活用し，大切な情報をより多くの人に届けることにも力を入れた。

▶キャスター：博多華丸，博多大吉，近江友里恵アナ／第３制作ユニット（ライフ）

『明日へ　つなげよう』

日　10:05～10:53

第１回12.4.8，最終回21.3.14／16年１月『明日へ－支えあおう－』から『明日へ　つなげよう』に改題。東日本大震災の被災地域の現状と復興の道のりを描いていく番組。前半43分と後半５分の２部構成。「証言記録」「サンドの東北酒場で逢いましょう」「ふるさとグンガン！」「未来塾」をレギュラーシリーズとして編成。「証言記録」では，未曽有の災害に向き合った人々の格闘と挑戦の日々を当事者の証言でつづり，次代への教訓や知見を伝えた。「ふるさとグンガン！」ではコロナ禍で新たなつながりを模索する人々をドキュメント。フリー枠では，原発事故避難者や震災遺児のその後，災害関連死の調査報告など，10年の復興の道のりを検証し，新たな対策を探る番組を継続的に放送した。

▶東日本大震災プロジェクト，大型企画開発センター，報道局，制作局，仙台拠点局，盛岡局，福島局，熊本局，大阪拠点局，岡山局，広島拠点局，Gメディア，NED，NEP

『あの日　わたしは』

月～木　10:50～10:55

第１回12.1.7／東日本大震災をさまざまな角度から記録するプロジェクトの一環として，NHK各放送局などが取材した被災者の“あの日，あの時”の証言を５分番組で放送。東日本大震災に加え，各地の豪雨などの被災者も取材した。また，10本の枠内シリーズで，被災した人々の証言から，災害にどう備えどう行動したらいいのか，後世に伝えるべき「防災の知恵」を，専門家の解説を加えて放送した。

▶東日本大震災プロジェクト，NEP

『有田Pおもてなす』

土　22:10～22:45

再 木　0:15～ 0:50

第１回18.4.7／くりぃむしちゅーの有田哲平がプロデューサーとなり，ゲストのためのお笑いライブを開催。毎回ゲストの趣味嗜好を探るべく膨大なアンケートを実施。それを基に有田Pがお笑い芸人たちにネタのプロデュースを行い，ゲストをお笑いネタでおもてなしする新感覚ネタバラエティー番組。

▶MC：有田哲平／第５制作ユニット（エンターテインメント）

『有吉のお金発見　突撃！カネオくん』

土　20:15～20:43

再 月　23:50～ 0:18

再 土　9:30～ 9:58

第１回19.4.6／気になるけれどなかなか聞けないお金の話。「地下鉄」「恐竜の化石」「ポテトチップス」など誰もが値段を気にするものや「コインランドリー」「キャンプ」など流行しているものの裏側を「お金」をテーマに掘り下げた。スタジオには毎回３人のゲストを迎えクイズも織り交ぜながら商品やサービスがどのような仕組みで生み出されているのかを紹介した。

▶司会：有吉弘行／アシスタント：田牧そら／ナレーション：ノブ（千鳥）／コンテンツ開発センター，NEP

『アンという名の少女』　新

日　23:00～23:45ほか

第１回20.9.13，最終回20.11.1／おしゃべり好きで，想像力豊かなやせっぽちの赤毛の少女アンは楽しいことを見つける天才。年老いたカスバート姉弟の養子となった孤児アンが，悩みを抱えながらも，まっすぐに立ち向かい成長していく姿を描く。原作は，世界中で愛されているモンゴメリの不朽の名作『赤毛のアン』。原作の風景や登場人物のイメージを忠実に再現しながら，不登校の問題，フェミニズム，性別に対する固定観念など，現代的な視点を取り入れた作品。カナダ制作（全８回）。

▶出演：エイミーベス・マクナルティ（声：上田真紗子）ほか／展開戦略推進部，NEP

『岩合光昭の世界ネコ歩きmini』

G　金　16:05〜16:20
BSP　不定期

第１回13.7.4／『岩合光昭の世界ネコ歩き』の各エピソードから，かわいいネコの姿をよりすぐり「猫のことをもっと知ってみよう」というミニコーナー「猫識」も加えた「15分枠」のミニ番組。本編で使用しなかった未放送素材を活用する場合もあった。

▶コンテンツ開発センター，NEP，ジーズ・コーポレーション

『インタビュー　ここから』

祝日　6:30〜 6:53

第１回14.3.21／人生の原点や転機である“ここから”を，アナウンサーが深く掘り下げるインタビュー番組。20年度は14本の新作を制作。若い世代にリーチのあるゲストを中心に人選。『おはよう日本』や地域番組への展開，『100年インタビュー』とのマルチユースを積極的に行った。

▶出演：中川翔子，安藤忠雄，福原愛，折茂武彦，野田洋次郎，宮沢和史，田丸雅智，武田真治，佐渡裕，伊藤英明，イモトアヤコ，吉野彰，伊藤智也，北島三郎／アナウンス室

『うたコン』

火　19:57〜20:42

第１回16.4.12／23年間続いた『NHK歌謡コンサート』をリニューアルしたNHKホール公開番組。毎回テーマを設け演歌からポップス，スタンダードまで，多岐にわたる歌手，曲目を紹介した。新型コロナの影響により，４〜５月は過去素材やゲストのリモート出演により番組を構成して放送。６月から無観客でNHKホールからの生放送を再開，10月からは客入れも再開した。NHKホール改修のため，３月９日は東京国際フォーラムからの生放送を行った（拡大版72分）。大阪拠点局制作としても８本放送を行った。

▶司会：谷原章介，赤木野々花アナ／第５制作ユニット（エンターテインメント）

『うまいッ！』

月　12:20〜12:43
（前期）再 金　4:07〜 4:30
（後期）再 土　5:15〜 5:38

第１回12.4.8／“うまいッ！”と思わず声を上げてしまう日本全国の極上食材を取り上げ，生産者の工夫や味を極める技を伝えた。また，食材のおいしさを生かす調理法や，産地ならではの料理をスタジオ実食も交え紹介。多角的に食材の魅力を描いた。枠内特集にも力を入れ，20年度は，６月にコロナ禍で出荷激減の生産現場を応援する「生産者応援SP」，２月に「震災10年東北応援SP」を放送した。

▶キャスター：天野ひろゆき，塚原愛アナ／第３制作ユニット（ライフ），NEP

『エール　古関裕而の応援歌』 新

日　11:15〜11:20
再 月　15:55〜16:00

第１回20.4.12，最終回20.11.29／『連続テレビ小説』「エール」のモデルとなった古関裕而氏の楽曲を，ゆかりの人物や場所とともに紹介した。「長崎の鐘」「六甲おろし」「とんがり帽子」「フランチェスカの鐘」など。

▶第４制作ユニット（ドラマ）

『オシばん』

月〜金　20:42〜20:45

第１回17.4.3／NHKが視聴者の皆さんに「推す番組」の情報をコンパクトに伝える『オシばん』。月曜から木曜は，総合テレビの当日・翌日の番組を中心に，EテレやBSからもセレクトして４〜５本を紹介。金曜は週末の番組をたっぷりと。話題の番組を「見逃した！」ということがないように情報提供した。また番組に限らず，ウェブサイトやNHKプラスのサービス，NHKの新型コロナウイルスへの取り組みなどを幅広く案内した。

▶出演：林田理沙アナ／広報局

『ガッテン！』

水　19:30〜20:15
再 水　15:08〜15:53

第１回16.4.13／21年間にわたって放送した『ためしてガッテン』を『ガッテン！』にリニューアルして５年目。視聴者の暮らしに役立つ情報を，ライブ感を高めたスタジオ進行と，科学的な裏付けに基づくVTRで構成。反響の大きかった「夜間頻尿」「高血圧（一酸化窒素）」「たまねぎ」など医療，生活情報を幅広く伝えた。新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言下では，「幸せホルモン」「血糖値」「マスク」など過去の蓄積から今役立つ知恵をまとめて紹介した。

▶出演：立川志の輔，小野文惠アナほか／第３

制作ユニット（科学）

『きじまりゅうたの小腹すいてませんか？』

土　22:45〜22:58
再 木　16:05〜16:18

第1回19.4.6，最終回 21.2.27／料理研究家・きじまりゅうたが，筋書き無しのアドリブ料理に挑むリアル料理ショー。当初は，街行く人に声をかけ，お宅にある有り合わせの食材だけで料理するロケ形式だった。コロナ禍により，スタジオに著名人を呼ぶ収録形式へ変更。著名人の自宅冷蔵庫を完全再現し，有り合わせの食材からアドリブ料理を創作する演出へと改めた。

▶出演：きじまりゅうた／語り：礒野佑子アナ／コンテンツ開発センター，NED，テレビマンユニオン

『逆転人生』

月　22:00〜22:45
再 月　15:08〜15:53
再 土　0:15〜 1:00

第1回19.4.1／実際に起きたさまざまな逆転劇を描くドキュメント・バラエティー番組。どん底でも希望を捨てない人間の強さ，いざというときに役立つ実践的な学びを伝えた。2年目は新型コロナウイルス感染拡大の中，困難に立ち向かう人々にスポットを当てた。災害復興，貧困格差，LGBTなどの社会問題も取り上げた。

▶司会：山里亮太，杉浦友紀アナ／第2制作ユニット（社会）

『キングダム　第3シリーズ』　新

月　0:15〜 0:40

第1回20.4.6／紀元前の中国を舞台に秦国の中華統一を目指す戦いを描くシリーズの6年ぶりの新シリーズ。趙国の天才軍師・李牧が楚，趙，魏，燕，韓，斉の六国による合従軍を興し秦国への侵攻を開始する。新型コロナウイルス感染拡大の影響による制作スケジュールの遅れのため第4回まで放送。その後，中断。

▶声の出演：森田成一，福山潤ほか／展開戦略推進部，NEP

『金曜日のソロたちへ』

金　23:45〜 0:15
再 水　2:05〜 2:35

第1回19.10.4，最終回21.3.19／3世帯に1世帯がひとり暮らしの時代におくる，ひとり（ソロ）の暮らしの自由さや豊かさ，トホホさ…を定点カメラで楽しむバラエティー。ベースの画面は終始4画面構成で，うち3画面でソロの暮らしを定点カメラでのぞき見。残りの1画面はストレッチマンが「ひとり暮らしあるある」「ストレッチ」を紹介。「案外ひとりも悪くない！」とちょっぴり幸せ気分に浸れるテイストを目指した。

▶出演：井上裕介，能町みね子，宇仁菅真／ナレーター：池田伸子アナ／第1制作ユニット（教育・次世代），第3制作ユニット（科学・福祉・ライフ）

『グッド・ファイト2』　新

日　23:00〜23:50ほか

第1回20.11.8，最終回21.2.7／現代アメリカを映し出す本格的法律ドラマの第2シーズン。セクハラなどを告発する「＃MeToo」運動，フェイクニュース，性暴力…世間をにぎわすさまざまな社会問題，トランプ政権下のアメリカ社会の“闇”に，敏腕弁護士たちが挑む（全13回）。

▶出演：クリスティーン・バランスキー（声：小宮和枝），ローズ・レスリー（声：鶏冠井美智子）ほか／展開戦略推進部，NEP

『くらし☆解説』

火〜金　10:05〜10:15

第1回12.4.3／日々の暮らしが“きらり”と輝く，役に立つ解説番組がコンセプト。健康，福祉，科学文化や，政治，経済，防災，教育，法律など，暮らしに密着したテーマを幅広く網羅し，解説委員が女性キャスターとの掛け合いを通じて分かりやすく伝えた。コロナ禍で，より健康・医療・家計・防災などに関心が高まり，それにタイムリーに応えることを心掛けた。札幌拠点局・松山拠点局からの参加も実施。「長引く外出自粛　高齢者は楽しくフレイル予防を！」（4.10），「新型コロナウイルス　献血が足りない」（4.21），「緊急事態宣言　苦境の障害者に支援を」（4.22），「広がる宅配と雇用のシェア」（5.12），「定着するか？テレワーク」（6.1），「コロナ時代の夏　マスクとどう向き合うか」（6.5），「相次ぐ豪雨被害　逃げ遅れゼロを目指して」（7.7），「牛乳が足りなくなる？」（札幌拠点局　8.21），「現代への教訓　四国の災害伝承碑」（松山拠点局　10.15），「どうする？子宮頸がんワクチン　今　知っておきたいこと」（11.20），「豪雪による立往生を防ぐには」（12.25）。

▶キャスター：岩渕梢／解説委員室

『グレートトラバース　15min.』

水　16:05〜16:20

第１回19.4.10／プロアドベンチャーレーサー・田中陽希が，自らの足だけで日本百名山を巡る，グレートトラバース。14年７か月をかけて踏破した旅のもようを，１回１山のペースで放送。スタートは鹿児島県・屋久島，一切の交通機関を使わず一筆書きで北上，海を渡る区間はカヤックを使う。春，夏，秋…季節ごとに，山ごとにさまざまな難関が立ちはだかる過酷な旅。歩き切ることはできるのか！？

▶出演：田中陽希／コンテンツ開発センター，NEP

『クローズアップ現代＋』

火〜木　22:00〜22:30

再 土　2:00〜 2:30

第１回16.4.4／93年に放送を開始した『クローズアップ現代』から続く報道情報番組。21年１月に通算4,500回を迎えた。「社会のいまに正面から向き合い，世の中の関心に応える」ことを目標に，ジャンルを問わずさまざまなテーマを深掘り。混とんとする社会の羅針盤になることを目指す。

▶キャスター：武田真一アナ／リポーター：小山径・合原明子・栗原望アナ／大型企画開発センター，報道番組センター，制作局，地域各局

『ごごナマ』

（前期）月〜金　13:00〜14:55

（後期）月〜金　13:40〜14:55

第１回17.4.3，最終回21.3.18／番組のコンセプトは「オトナの井戸端，作りました」。平日の午後，ゆったりとしたしゃべり場のような空間を届けた。旬のゲストを招いたトークや，すぐに役立つ生活情報，ユニークな趣味人の紹介など多様な話題満載の生放送。金曜は関西発のコーナーや，話題の演歌歌謡曲を集めたコーナーなど。

▶出演：船越英一郎，美保純，小松宏司アナ，西川きよし，三戸なつめ，浜本広晃，岩槻里子アナ，小堺一機，塚原愛アナ／コンテンツ開発センター，第２制作ユニット（社会），広報局，大阪拠点局，第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP，NED，NSC

「ごごウタ」

（前期）金　14:05〜14:55

（後期）金　14:30〜15:00

第１回17.4.7，最終回21.3.12／『ごごナマ』14時台の歌謡番組。局内スタジオから生放送（無観客）で，「いま聴きたい最新の話題曲」を紹介した。新型コロナウイルス感染防止のため，４〜５月の４本は休止。10月からは14:30〜15:00の30分尺となった。

▶司会：小堺一機，塚原愛アナ／第５制作ユニット（エンターテインメント）

『５分でわかる「麒麟（きりん）がくる」』

月　0:10〜 0:15

再 日　5:45〜 5:50

（前期）再 水　4:02〜 4:07

第１回20.1.20，最終回21.2.1／『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」の見どころを５分でまとめたダイジェスト番組。

▶第４制作ユニット（ドラマ）

『これでわかった！世界のいま』

日　18:05〜18:42

第１回15.4.5／取材経験豊富なニュースデスクや海外総支局の記者を先生役に，教室に見立てたセットで模型・黒板を用いながら，世界のニュースを解説したり，各地のリポートを伝えたりする番組。20年度は新型コロナウイルスやアメリカ大統領選挙，中国をめぐる情勢などを掘り下げ，かみ砕いて伝えた。１月からは番組枠が１分拡大し18時43分までとなった。

▶キャスター：永井伸一アナ／レギュラーゲスト：坂下千里子／ニュース制作部

『今夜も生でさだまさし』

（最終）日　0:35〜 2:05

第１回11.4.24／ミュージシャンで作家・詩人でもあるさだまさしが，ディスクジョッキースタイルで送る生放送のトーク番組。新型コロナの影響で４月から６月は地方開催を中止。放送センターから生放送した。９月の山形から地方開催を開始。10月長崎，11月高知で実施した。また東日本大震災から10年の３月には宮城県気仙沼市と放送センターから二元生中継を実施。「忘れない　負けない」の思いを，歌やトークと共に届けた。

▶出演：さだまさし，ほか／コンテンツ開発センター，NEP

『先どり　きょうの健康』

（前期）　金　10:40～10:55
（後期）　金　14:30～14:45
再 土　4:15～ 4:30

第１回09.4.5／翌週の月曜から木曜にEテレで放送する『きょうの健康』の中から１本を選んで総合テレビで先行放送した。Eテレでの週間放送予定も紹介した。後期から放送時間が変わった。
▶第３制作ユニット（科学），NED

『サタデースポーツ』

土　21:50～22:10

第１回11.4.2／女性アナウンサーが１人で当日のスポーツニュースの速報を伝えた。「ひとそえ」として短い項目ニュースでは伝えきれない二次的な情報を付加し，その競技の面白さを多角的に放送した。プロ野球・村上宗隆選手やゴルフの古江彩佳選手など，コロナ禍の中でリモートインタビューを積極的に行い，困難の中で競技と向き合うアスリートの声を届けた。
▶キャスター：副島萌生アナ／スポーツ情報番組部

『サラメシ』

火　19:30～19:57
再 木　12:20～12:43
再 日　8:25～ 8:52

第１回11.5.7／番組の主役は「働く人のランチ」。サラリーマンの昼飯を略してサラメシとし，多彩な職業の人々のランチを全国各地に訪ね観察。ランチを通じて仕事へのこだわりや感動のエピソードなどを紹介した。20年度はサラメシ放送開始から10年となることを記念した特集「サラメシ年末スペシャル」を届けた。
▶語り：中井貴一／第３制作ユニット（ライフ），NED

『さわやか自然百景』

G　日　7:45～ 7:59
再 月　16:05～16:19
BSP　土　6:30～ 6:44
BS４K　日　7:45～ 7:59
（前期）再 日　18:45～18:59
再 金　20:45～20:59

第１回98.4.5／日本各地の自然と，そこで生きる生き物たちの姿を紹介しながら，四季折々の姿を見せる日本の自然の美しさ，すばらしさ，貴重さ，そして，それぞれの環境が育む生き物や植物の大切さを伝えた。
▶札幌拠点局，第３制作ユニット（科学），各放送局，NEP

『サンデースポーツ』

日　21:50～22:39

第１回85.4.7／コロナ禍でスポーツが不要不急とされた中，春のセンバツが中止となり出場できなくなった磐城高校野球部など，晴れ舞台を失った選手たちの姿を伝えた。タレントの石橋貴明さんをゲストに呼び，異例のシーズンとなったプロ野球を伝えた。10月に全面改定し，新たにレギュラー解説者を起用。メインゲームの解説をコーナー化し，選手のリモートインタビューなども交えて勝負の綾（あや）を伝えた。企画は一本化し，「障害のボーダーラインとは？」「若者の指導のあり方とは？」「日本シリーズ戦いの舞台裏」などを特集した。
▶９月までは『サンデースポーツ2020』キャスター：大越健介，副島萌生アナ／リポーター：畠山愛理。10月からは『サンデースポーツ』キャスター：豊原謙二郎・副島萌生アナ／解説：上原浩治，中澤佑二。
／スポーツ情報番組部

『サンドのお風呂いただきます』

水　20:15～20:42
再 日　13:05～13:32

第１回19.4.3／サンドウィッチマンが全国のお風呂を頂き，家族＆人生秘話を伺う人情ドキュメント。20年度はコロナ禍で廃業に追い込まれた真鶴の旅館や仕事を失った歌手・純烈など日本人の今の思いを伝えた。また，箱根神社や増上寺，總持寺の神主や僧侶の人生からコロナ禍での心のあり方を問い，視聴者を勇気づける番組を新作で伝え続けた。震災10年特番では，サンドウィッチマンがNHKとしては，初めて福島第一原発構内や原子炉格納容器に入り廃炉の現状を伝えた。
▶出演：伊達みきお・富澤たけし（サンドウィッチマン）／語り：コムアイ（水曜日のカンパネラ）／第２制作ユニット（文化）

『シブヤノオト』

日　0:05～ 0:34

第１回18.4.8／東京・渋谷のNHKから，J-POPアーティストたちの最新のライブとトークを届ける若者向け番組。新型コロナの影響で４月12日，５月３日，５月17日の放送が再放送に

変更。大型生放送特番『シブヤノオト　and more FES.2020』（10.10，22:45～23:30，0:05～1:00）を10月に，さらに特番の『シブヤノオトPresents』を「WANIMA」「あいみょん」「TWICE」「LOVE ライブハウス」「THE ORAL CIGARETTES」の５本放送した。
▶MC：渡辺直美／サブMC：チャンカワイ／第５制作ユニット（エンターテインメント）

『週刊まるわかりニュース』

G BS４K　土　9:00～ 9:30

第１回18.4.7／１週間の注目ニュースをランキング形式で紹介。総合テレビとBS４Kで同時放送している。地震・台風などの災害，新型コロナウイルスの感染拡大のほか，その週に注目を集めたニュースを４Kの高精細映像も最大限生かし独自に取材，課題など深堀りして伝えた。親子向けに中学・高校の入試問題から時事問題を分かりやすく解説するコーナーも設けた。
▶キャスター：井上二郎・鎌倉千秋アナ／リポーター：田所拓也アナ／ニュース制作部

『時論公論』

月～金　23:30～23:40
（後期）再 月～金　4:50～ 5:00

第１回06.4.3／「時代がわかる，社会の変化がわかる」をコンセプトとするニュース解説番組。東日本大震災や原発事故関連をはじめ，政治，経済，社会，科学文化，国際など，さまざまな分野で，日々起こるニュースの背景や構図などを，解説委員がイラストや映像を使いながら分かりやすく解説した。20年度は，セットを初めてバーチャルCGに作り替えた。新型コロナウイルスが猛威を振るった20年度，この問題を健康・医療や経済，政治，国際など多角的に捉えて関心に応えた。担当の違う委員３人で，あるいは札幌・松山の委員での放送も敢行。「振り回される学校感染からどう守る」（4.6），「新型コロナウイルス緊急事態宣言へ」（4.7），「緊急事態宣言延長　くらしと経済を守るために」（5.8），「イージス・アショア配備計画停止　影響は」（6.17），「疲弊する医療現場　余裕ある体制を」（7.30），「コロナ禍の被爆75年　記憶の継承は…」（8.6），「なるか一極集中是正～アフターコロナ社会への課題～」（8.31），「アメリカ大統領選挙　試されるデモクラシー」（11.4），「森会長辞任へ　社会に求められることは」（2.12）などを放送。
▶解説委員室

『進撃の巨人　The Final Season』　新

月　0:10～ 0:35

第１回20.12.7／人類と巨人の壮絶な戦いを描く人気シリーズの最終章（前半）。壁の中の人類が，初めてたどり着いた海。果てしなく広がる水平線の先にあるのは自由か，それとも…？　エレン・イェーガーの物語は，新たな局面を迎える。
▶声の出演：梶裕貴，石川由依ほか／展開戦略推進部

『ストーリーズ』

「事件の涙　Human Crossroads」

（月・随時）　22:45～23:15

第１回18.5.1／社会にインパクトを与えた事件の陰にある，人々の涙を描き出し現代社会を映し出す新感覚のヒューマン・ドキュメンタリー。「未来を見せたかった～児童養護施設長　殺害事件～」（4.6），「そこに　あなたがいない～京都アニメーション放火事件～」（7.13），「“気づかれなかった障害”とともに～えん罪からの再出発～」（9.14），「救えたはずの命～大学生一気飲み死亡事件～」（10.19），「死刑囚　最後の肉声」（12.7）など。
▶社会番組部，各地域局

「ノーナレ」

月　22:45～23:15

第１回16.12.21／不定期の特集ドキュメンタリーとして，ナレーションを廃し映像や音の力で人々の営みを記録してきた。20年度は月１回のペースで12本の番組を放送した。コロナ禍の市民生活を記録したドキュメンタリーを春，夏，秋に放送したほか，VR界のカリスマやクイズ王，聴覚を失ったジャズマンなど，幅広いテーマを扱い，多くの視聴者に新しいドキュメンタリーの形を体感してもらった。
▶第６制作ユニット（新領域開発），第３制作ユニット（科学・福祉・ライフ），第２制作ユニット（社会）

「のぞき見ドキュメント　100カメ」

月　22:45～23:15

第１回20.4.13／ひとつの場所に100台の固定カメラを設置して，人々の“生態”を観察する番組。インタビューもナレーションもなし，まさに“のぞき見”。コロナ禍で取材やロケがままならず，

外出も自粛が呼びかけられる中，全国の家庭に固定カメラを送って撮影するという新スタイルを開拓し，２本制作。日本中の多様な家族が新型コロナにより暮らしの変化を余儀なくされながら，それぞれの幸せを見いだして生きる様子をリアルに映し出した。

▶出演：オードリー／第２制作ユニット（社会）

『世界はほしいモノにあふれてる ～旅するバイヤー　極上リスト～』

木　22:30～23:15
再 火　0:58～ 1:43

第１回18.4.12，最終回21.3.18／旅するバイヤーに密着し，世界各地のステキなモノを探す知的エンターテインメント番組。20年度は番組尺が45分に変更となった。コロナ禍のSTAY HOME期間中は“海外のおうち時間”を特集。パンデミックが長期化する中では海外リモートロケを駆使し，世界各国の衣・食・住の最新トレンド，歴史や文化をスタイリッシュに伝えた。番組公式SNSの発信も注目され，TwitterとInstagram合わせてフォロワー数は23万4,000人を数えた（21年３月15日時点）。多くの女性ファンに支持された。（＊MCの訃報を受けて，年度後半から新体制となった）

▶出演：（前期）三浦春馬（俳優）・（後期）鈴木亮平（俳優），JUJU（歌手）／語り：神尾晋一郎／第２制作ユニット（文化）

『世界ふれあい街歩き　ちょっとお散歩』

G　火　16:05～16:20
BSP　随時

第１回12.10.2／カメラの目線で世界の街を歩きながら，さまざまな人と出会っていく人気の紀行番組『世界ふれあい街歩き』を再編集した15分のミニ番組。ヨーロッパのほか，アジア，北米，中南米，オセアニアなどの個性的な街を歩いた。

▶語り：出田奈々・古野晶子・廣瀬智美・赤木野々花アナほか／第２制作ユニット（文化），NEP

『ダーウィンが来た！』

G　日　19:30～19:58
BS４K　日　19:30～19:58
再 月　16:30～16:58
再 金　9:30～ 9:58

『ダーウィンが来た！・選』

BSP　日　8:59～ 9:27

第１回06.4.9／親子一緒に楽しめる，驚きと感動の自然番組。世界各地に出かけ，スクープを発掘。特殊撮影を駆使し，生き物たちのありのままの姿を紹介した。CGキャラクター「ヒゲじい」が視聴者の素朴な疑問を代弁，アナウンサーとの掛け合いで分かりやすく伝えた。

▶語り：井上二郎・新井秀和・中山果奈アナ／第３制作ユニット（科学），NEP

『大河ドラマ』

第１回63.4.7／1963年から始まったNHKの看板番組の一つ。基本的には，１月放送開始の１年１作。「麒麟（きりん）がくる」は新型コロナウイルスの影響で，一時収録を休止。

６月14日から７月12日にかけては，『麒麟（きりん）がくるまでお待ちください～戦国大河ドラマ名場面スペシャル～』と題して，「独眼竜政宗」「国盗り物語」「利家とまつ　加賀百万石物語」「秀吉」の名場面を集めたスペシャル番組を放送した。さらに８月９日から23日には総集編「（１）旅立ち」「（２）動乱」「（３）誇り高く」を放送。

８月30日から通常に戻り，21年２月７日に最終回「本能寺の変」を放送した。翌週２月14日より「青天を衝（つ）け」を放送。

「麒麟（きりん）がくる」

G　日　20:00～20:45
再 土　13:05～13:50
BSP　日　18:00～18:45
BS４K　日　9:00～ 9:45
再 日　8:00～ 8:45，20:00～20:45

第１回20.1.19，最終回21.2.7／本能寺の変を起こした明智光秀を通して描く戦国絵巻。仁のある政治をする為政者が現れると降り立つ聖なる獣・麒麟（きりん）を呼ぶのは，一体どの戦国武将なのか…。物語は，1540年代，まだ多くの英傑たちが「英傑以前」であった時代から始まり，丹念にそれぞれの誕生を描く。若き明智光秀，織田信長，斎藤道三，今川義元，そして秀吉が，家康が，所狭しと駆け巡る一大叙事詩。新たな時代の『大河ドラマ』が今始まる！

▶作：池端俊策，前川洋一，岩本真耶，河本瑞貴／音楽：ジョン・グラム／語り：市川海老蔵／題字：中塚翠涛／出演：長谷川博己，門脇麦，岡村隆史，石川さゆり，西村まさ彦，高橋克典，上杉祥三，尾美としのり，川口春奈，伊藤英明，染谷将太，堺正章，本木雅弘ほか／第４制作ユニット（ドラマ）

「青天を衝（つ）け」

G　日　20:00〜20:45
再 土　13:05〜13:50
BSP　日　18:00〜18:45
BS 4 K　日　18:00〜18:45

第１回21.2.14／「近代日本経済の父」と呼ばれた渋沢栄一の破天荒な人生を描く『大河ドラマ』第60作。幕末から明治へ，時代の大渦に翻弄され挫折を繰り返しながらも，青天を衝くかのように高い志を持って未来を切り開く。渋沢栄一と徳川慶喜，２人の人生を軸に物語は動く。慶喜との運命の出会いを経て，栄一は百姓から幕臣，パリで西洋文明を学び帰国，政府官僚，そして民間へ。近代日本のあるべき姿を追い続けた物語が幕をあける。

▶作：大森美香／音楽：佐藤直紀／語り：守本奈実アナ／題字：杉本博司／出演：吉沢亮，高良健吾，橋本愛，田辺誠一，満島真之介，岡田健史，草彅剛，大谷亮平，要潤，竹中直人，玉木宏，堤真一，川栄李奈，上白石萌音，木村佳乃，和久井映見，小林薫，北大路欣也ほか／第４制作ユニット（ドラマ）

『小さな旅』

G　日　8:00〜 8:25
（前期）再 土　5:15〜 5:40
（後期）再 木　11:05〜11:30
BS 4 K　水　19:30〜19:55
再 木　16:00〜16:25
再 水　9:00〜 9:25
（前期）再 日　10:35〜11:30

第１回83.4.8／日本の美しい風景と暮らしの輝きを伝えてきた。20年度は，高精細のスーパーハイビジョンカメラで撮影した番組を19本制作，新作は合計で34本となった。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け，年度前半は予定した制作がままならず，過去の番組を多く再放送した。春は満開の桜の下を駆け抜ける千葉の小湊鉄道，夏は，たくましい牛飼いたちが暮らす兵庫の新温泉町，秋は豊かな自然の恵みに生かされる宮崎の日之影町，冬は豪雨災害からの復興を目指す熊本の杖立温泉などを訪ねた。シリーズ「山の歌」では，戦後最悪とも称される火山災害の記憶を宿した御嶽山のいまを描いた。

▶語り：山田敦子，山本哲也／首都圏局

『チコちゃんに叱られる！』

金　19:57〜20:42
再 土　8:15〜 9:00

第１回18.4.13／番組キャラクターの５歳の女の子・チコちゃんが，「なぜいってらっしゃいで手を振るの？」など日常の素朴な疑問をMCの岡村隆史らゲストの大人たちに問いかけるバラエティー番組。ゲームなど新コーナーの開発や『大河ドラマ』など他番組とのコラボレーションを積極的に行った。

▶出演：岡村隆史，木村祐一（声）／第６制作ユニット（新領域開発）

『鶴瓶の家族に乾杯』

月　19:30〜20:42
再 木　23:45〜 0:57

第１回97.4.26／すてきな家族を求めて笑福亭鶴瓶とゲストがぶっつけ本番の旅をする紀行番組。６月以降，新型コロナウイルス感染拡大防止のため，過去の放送とリモート中継で構成する特別編「都道府県スペシャル」を制作した。

▶司会：笑福亭鶴瓶，小野文惠アナ／ナレーション：三宅民夫，常盤貴子／福島県小野町（志村けん再構成），香川県琴平町（北島康介），福島県川俣町（菊池桃子），岐阜県山県市（川口春奈）／特別編：日本の村SP（山崎育三郎），鹿児島（林家たい平），海外SP（水川あさみ），北海道（吉岡里帆），静岡（松下奈緒），広島（中村勘九郎），愛媛（神木隆之介），青森（キムラ緑子），千葉（広末涼子），秋田（三浦大知），大分（久本雅美），石川（奥田瑛二），香川（美保純），熊本（藤井フミヤ），富山（八嶋智人），長崎（舞の海秀平），山口（又吉直樹），沖縄（高橋英樹），岩手（高橋尚子），福島（高橋尚子），宮城（大竹しのぶ）／のんびりバスSP：群馬県桐生市（風間俊介）／第５制作ユニット（エンターテインメント）

『どーも、NHK』

日　11:20〜11:54

第１回16.4.10／NHKの「見たい」番組と「知りたい」情報を日曜の午前中，総合テレビの生放送で伝える広報番組。１週間のお薦め番組やNHKの経営情報，そして地域放送局の取り組みなどをきめ細かく紹介し，視聴者への「窓」の役割を担った。

▶キャスター：ハリー杉山，鈴木あきえ，鈴木ちなみ，今泉マヤ（週替わり），礒野佑子アナ／広

報局

『ドキュメント72時間』

金　22:45〜23:15
再 土　11:24〜11:54

第１回13.4.5／一つの場所に３日間72時間ずっと居たら，どんな人やドラマに出会えるのか。同じ空の下に居合わせた人々が，さまざまな事情を抱えながら，それぞれの人生を懸命に生きている現実を描くドキュメンタリー。予定調和を排した意外な出会いを通じて，「自分一人じゃない」という思いを伝えた。20年度は放送尺が１分伸び，30分となった。これまで以上に厚く深い取材を心がけ，新たな視聴者の獲得を目指した。
▶第２制作ユニット（社会）

『所さん！大変ですよ』

木　19:30〜19:57
再 水　23:45〜 0:12

第１回15.4.2／社会の片隅で起きていた“不思議な事件”を深掘りし，意外な真相をあぶり出す情報バラエティー。20年度は「営業は週２時間“幻の店”の正体とは？」「ブーム到来！？不思議な鉱物の世界」など子どもからシニアまで関心が高いラインナップをそろえた。また，枠内特集として年３回72分特番，１回45分特番も放送。
▶司会：所ジョージ，木村佳乃，合原明子アナ／語り：吉田鋼太郎／第３制作ユニット（ライフ），NEP

『土曜時代ドラマ』

土　18:05〜18:43

第１回17.5.13／時代劇を若い人たちにも楽しんでもらえるように，従来の時代劇のコンセプトにとらわれない新感覚のエンターテインメント時代劇シリーズを放送した。BS時代劇として好評の作品を新たなバージョンとして放送。新旧の魅力あふれるキャストと活劇性で時代劇ファンの期待に応えた。

「雲霧仁左衛門３」

第１回20.4.11，最終回20.5.30／BS時代劇で13・14年度に放送された番組の第３シリーズ（BSPで17年１〜２月に放送）。藤堂家への復讐を果たした仁左衛門が姿を消して１年，再び仁左衛門が帰ってきた。宿敵・藤堂家から１万両と武家の面目を奪った仁左衛門に復讐をたくらむ藤堂家家老・磯部主膳と，磯部の使う剣客・関口雄介が新たな敵として登場。火付盗賊改方長官・安部式部も交えた三つ巴の戦いが始まる。痛快娯楽時代劇（全８回）。
▶原作：池波正太郎／脚本：前川洋一ほか／出演：中井貴一，國村隼，内山理名，春風亭小朝ほか／第４制作ユニット（ドラマ），NEP，松竹

「雲霧仁左衛門４」

第１回20.6.6，最終回20.7.18／13・14・16年度に放送された番組の第４シリーズ（BSPで18年９〜10月に放送）。江戸の米相場を恣意的に操作する事で暴利を貪っている悪徳米問屋とその背後にいる老中を，「金を奪う」という行為で懲らしめようとする雲霧仁左衛門。その一味の鮮やかな盗みの手口を，宿敵である火付盗賊改方長官・安部式部との戦いを絡ませ描く痛快娯楽時代劇（全７回）。
▶原作：池波正太郎／脚本：尾崎将也ほか／出演：中井貴一，國村隼，イッセー尾形ほか／第４制作ユニット（ドラマ），NEP，松竹

「子連れ信兵衛」

第１回20.9.19，最終回20.10.31／BSPで15年11〜12月に放送した番組。腕はたつが無類の酒好きの浪人・松村信兵衛が，ひょんなことから他人の赤ん坊の子育てに奮闘するイクメン侍に。長屋の仲間たちとともに，江戸市中で起きるさまざまな問題を子連れの信兵衛が解決していく姿を痛快に描く人情時代劇（全６回）。
▶原作：山本周五郎／脚本：いずみ玲／音楽：栗山和樹／出演：高橋克典，左とん平，小島梨里杏，宮田俊哉，青山倫子，加藤雅也，笹野高史，中村嘉葎雄ほか／第４制作ユニット（ドラマ），NEP，C.A.L

「子連れ信兵衛２」

第１回20.11.7，最終回20.12.26／BSPで17年11〜12月に放送した番組。腕はたつが無類の酒好きの浪人・松村信兵衛が，ひょんなことから他人の赤ん坊の子育てに奮闘するイクメン侍に。長屋の仲間たちとともに，江戸市中で起きるさまざまな問題を子連れの信兵衛が解決していく人情時代劇。第２シリーズでは女剣士・美玖の登場で恋の騒動が！？（全７回）。
▶原作：山本周五郎／脚本：いずみ玲／音楽：栗山和樹／出演：高橋克典，左とん平，小島梨里杏，宮田俊哉，黒谷友香，笹野高史，中村嘉葎雄ほか／第４制作ユニット（ドラマ），NEP，C.A.L

「立花登青春手控え 2」

第 1 回21.1.9，最終回21.3.6／BSPで17年 4 ～ 5 月に放送した番組。小伝馬町の若き牢医者・立花登が，人間が持つ欲望や苦しみ・悲しみ，希望に向き合い，持ち前の正義感と柔術の力で事件を解決していく姿を，爽やかに描く「青春時代劇」（全 8 回）。

▶原作：藤沢周平／脚本：古田求ほか／音楽：羽岡佳／出演：溝端淳平，平祐奈，宮崎美子，古谷一行ほか／第 4 制作ユニット（ドラマ），NEP，松竹

『土曜スタジオパーク』

土　13:50～14:50

第 1 回99.4.10／NHKの番組・イベントの広報と理解促進を図る60分の生放送番組。NHKの番組に出演するゲストとのトークのほか，最新の番組を紹介するコーナーなどで構成し，NHKスタジオパーク内の450スタジオやNHK放送センターのスタジオから生放送。『連続テレビ小説』のご当地での公開生放送も行った。

▶司会：近藤春菜，足立梨花，松岡忠幸アナ／広報局

『土曜ドラマ』

G	土	21:00～21:49
再	木	0:50～ 1:39
BS 4 K	木	23:15～ 0:04
再	土	21:00～21:49

第 1 回13.4.13／現代を鋭く切り取る社会派ドラマ，実話を題材にしたシリーズ，またファミリーで楽しめるシリーズなど「大人のための見応えのあるドラマ」を放送した。

「きよしこ」

21.3.20／重松清の名作をドラマ化。きつ音を同級生に笑われるうちに引っ込み思案になってしまった少年が，さまざまな人と出会うなかで，自分の考えや思いをつっかえながらも伝えるようになるまでを描いた。少年はやがて作家となり，「きつ音を抱える息子を励ましてほしい」という読者からの手紙の返事の代わりに物語を書く…。

▶原作：重松清／脚本：いとう菜のは／音楽：小山絵里奈／出演：安田顕，西田尚美，吹越満，菊池風磨，福地桃子，千原せいじ，貫地谷しほり，眞島秀和／コンテンツ開発センター，AX-ON

「天使にリクエストを～人生最後の願い～」

第 1 回20.9.19，最終回20.10.17／人生の終わりに，あなたなら何を望みますか…？　生きる意味を失った探偵のもとに舞い込んだ奇妙な依頼。集まったのは，いずれも心に何かを抱えた変わり者ばかり。傷だらけの天使（エンジェル）たちが，死にゆく人の「最後の願い」を叶えるために走り出す。死に直面した依頼者の願いを叶えるために動く探偵と仲間たちのドラマ（全 5 回）。

▶作：大森寿美男／音楽：河野伸／出演：江口洋介，上白石萌歌，志尊淳，板谷由夏，倍賞美津子ほか／第 4 制作ユニット（ドラマ）

「ノースライト」

前編20.12.12，後編20.12.19／「あなた自身が住みたい家を建てて下さい」。それがY邸の依頼人・吉野から，建築士・青瀬に託された注文だった。バブルがはじけ，妻とも別れ，やっと小さな設計事務所に拾われた青瀬にとってまたとない機会だった。だがその 1 年後，吉野一家が，そのY邸に引っ越していない事が発覚する。青瀬は吉野一家を探し始める。

▶原作：横山秀夫／脚本：大森寿美男／出演：西島秀俊，北村一輝，宮沢りえ，ほか／第 4 制作ユニット（ドラマ），NEP

「路（ルウ）～台湾エクスプレス～」

第 1 回20.5.16，最終回20.5.30／台湾新幹線プロジェクトの軌跡を縦糸に，日本人と台湾人のあたたかな心の絆を描いた原作小説『路』を，台湾の公共放送PTSとの国際共同制作でテレビドラマ化。日本と台湾で同日放送（ 3 週連続）を行った（全 3 回）。

▶原作：吉田修一『路』／脚本：田渕久美子／音楽：清塚信也／出演：波瑠，アーロン，井浦新，寺脇康文ほか／第 4 制作ユニット（ドラマ）

「六畳間のピアノマン」

第 1 回21.2.6，最終回21.2.27／コロナ禍の大阪で制作・放送する『土曜ドラマ』として，安藤祐介の小説を原作として企画。脚本は足立紳。ビリー・ジョエルの名曲「ピアノ・マン」を動画投稿サイトで歌っていた青年「六畳間のピアノマン」を軸として，彼を巡る老若男女 4 人の物語をオムニバスで展開。主人公 4 人の間にも，つながりを持たせ，分断と孤独が顕著な時節において，離れていても心がつながっていく様を描いた（全

4回)。
▶出演：加藤シゲアキ，段田安則，原田泰造，南沙良ほか／大阪拠点局

『ドラマ10』

G　金　22:00～22:44
再　水　1:20～ 2:04
BS4K（前期）　水　23:15～23:59
再　金　22:00～22:44
（10～12月）金　22:00～22:44
（1～3月）水　23:15～23:59

第1回10.3.30／20～40代をターゲットに「金曜日の夜に楽しんで話題にしたくなる」をコンセプトとしたドラマ。

「タリオ　復讐（ふくしゅう）代行の2人」
第1回20.10.9，最終回20.11.20／卑劣な悪人たちに復讐する事を裏稼業とする元弁護士と詐欺師がバディを組み，依頼人に寄り添いながら時に痛快に，時にほろ苦く，時に考えさせられる「復讐劇」を行う姿を1話完結で描く（全7回）。
▶作：蒔田光治，瀧本智行，渡辺雄介，徳永富彦／音楽：流線形／一十三十一／主題歌：流線形／一十三十一／出演：浜辺美波，岡田将生，遠藤憲一ほか／第4制作ユニット（ドラマ），NEP

「ディア・ペイシェント～絆のカルテ～」
第1回20.7.17，最終回20.9.18／昨今増え続けるクレーマー患者たちに悩む女性医師が，先輩医師や同僚とともに，その患者たちと真摯（しんし）に向き合い寄り添おうと努力する中で，人と人との絆を見つけ出してゆく物語（全10回）。
▶原作：南杏子／脚本：荒井修子／音楽：兼松衆／主題歌：宮本浩次／出演：貫地谷しほり，内田有紀，田中哲司ほか／第4制作ユニット（ドラマ），NEP

「ドリームチーム」
第1回21.1.22，最終回21.3.12／世代の違う3人の女性がひょんなことから，ひとつ屋根の下に。彼女たちの共通点は，「同じ高校の元バスケ部キャプテン」と「現状が“詰んでいる”」ということ。そんな彼女たちは互いに毒づきながらも，次第に分かり合い，力を合わせていく。逆境に立ち向かい，新たな人生へと踏み出していく姿をすがすがしく描く，人生一発逆転の物語（全8回）。
▶出演：山口紗弥加，財前直見，桜庭ななみ，味方良介，前川泰之，村上新悟，根本真陽，中原丈雄，伊武雅刀，余貴美子ほか／名古屋拠点局，第4制作ユニット（ドラマ）

『日曜討論』

G R1　日　9:00～10:00

第1回46.6.23／新型コロナウイルスをテーマに所管大臣や専門家，知事，財界，労働界代表などを交えた討論を20回実施，コロナ対策については16回行った政党討論でも積極的に取り上げた。また7年ぶりの首相交代に伴う自民党総裁選，野党の合流新党代表選の候補者討論など政局の動きにも即応。豪雨災害，不妊治療，コロナ禍での学生支援，そして米大統領選など，旬のテーマを大臣と専門家による討論などで掘り下げ，年間の放送は48回となった。
▶キャスター：伊藤雅之・太田真嗣・曽我英弘解説委員，中川緑アナ／政経・国際番組部

『にっぽん　ぐるり』

木・金　15:08～15:58ほか

第1回19.4.5／全国各地のNHKの放送局が制作した，地域の文化や自然，そこに暮らす人々の姿や直面する課題を伝えるローカル番組の中から，えりすぐりのソフトを全国に向けて発信した。
▶編成センター，各放送局

『ニュースウオッチ9』

月～金　21:00～22:00

第1回06.4.3／国内外のNHKのネットワークから入ってくるニュースに，番組独自の目線による取材・解説などを加え，立体的に深く掘り下げて伝えることを目指したキャスターニュース。「夜9時　ニュースの焦点は“わかりたい”にこたえたい」をコンセプトとした。国内外の独自取材で現場の臨場感に徹底的にこだわってきたが，コロナ禍の影響で大幅な取材体制の再構築が行われ，従来からの取り組みに加えてリモート取材など新たな手法を積極的に取り入れた。発災10年となる東日本大震災の被災地や福島第一原発事故の現場にはキャスター自らが取材に赴き，人々が直面する厳しい現実を語った。
▶キャスター：有馬嘉男記者，和久田麻由子アナ／スポーツキャスター：一橋忠之アナ／リポーター：深川仁志・八田知大・松苗竜太郎・星麻琴アナ／気象キャスター：斉田季実治／ニュースウオッチ9プロジェクト

『ニュースきょう一日』

月～金　23:15～23:30

第１回19.4.1／“お休み前の15分”きょう一日の出来事をコンパクトに伝えるニュース番組。「一覧」「凝縮」「役立つ」というキーワードは19年度から継続し，20年度はコーナーごとの尺配分を見直した。押さえておきたい出来事や明日につながるニュースなどをまとめて伝えた。また，台風・大雨・大雪などの防災情報や新型コロナウイルス感染症など，生命・財産を守るニュースを丁寧に伝えた。

▶キャスター：井上あさひアナ／気象予報士：平井信行／おはよう日本部，ニュース制作部

『ニュース　シブ５時』

月～金　16:50～18:10

第１回15.3.30／仕事や家事に忙しい夕方５時台に，その日何があったかをいち早く伝えるニュース情報番組。政治や社会問題から，身近な話題，グルメ，紀行まで，幅広いジャンルを放送した。20年度は，熊本の記録的豪雨などの災害や２度の緊急事態宣言が発令された新型コロナウイルスによる影響をクローズアップ。生活者の視点で分かりやすく伝えた。

▶キャスター：阿部渉・守本奈実アナ／ニュース制作部，社会番組部，Gメディア，NEP

『ネーミングバラエティー　日本人のおなまえっ！』

木　19:57～20:42

再 土　10:05～10:50

第１回18.4.12／人名やモノの名前に潜むさまざまな物語を探るバラエティー番組。古舘伊知郎をメイン司会者として，名字の起源や地名などの由来を徹底調査で解き明かすとともに，日本中から寄せられた名前にまつわる質問にも答えた。新企画「おなまえナゾ解き旅」でタレントロケフォーマットも開始した。

▶司会：古舘伊知郎，赤木野々花アナ／出演：宮崎美子，澤部佑／第２制作ユニット（文化），NED

『バラエティー生活笑百科』

土　12:15～12:40

第１回85.4.6／身近なトラブルを漫才で紹介し，相談員がユーモアあふれる討論を展開するバラエティー番組。誰もが遭遇する借金や相続に関するトラブル，関心が高まっている著作権や，改正民法に関わる相談を提示し弁護士が解説。毎回ゲストが出演。弁護士と若手芸人によるワンポイント解説も。大阪拠点局スタジオで収録。

▶相談室長：笑福亭仁鶴／出演：桂南光，辻本茂雄，桂吉弥，山田花子，三倉茉奈・佳奈，若井みどり，小寺真理，トラウデン直美，村崎真彩ほか／大阪拠点局，NEP

『100日の郎君様』

日　23:00～ 0:00

第１回20.5.17，最終回20.8.30／BSPで19.7.21～11.3に放送した番組。朝鮮王朝時代。明るく元気な王族の少年イ・ユルは，活発で賢い高官の娘ユン・イソに一目ぼれして結婚を申し込む。だが，それから間もなく，ユルの父が重臣キム・チャオンと結託して謀反を起こし，王座を奪う。イソの父は殺され，イソも行方不明に。また，ユルの母も邪魔者として葬られてしまった。ポップアイドル，ド・ギョンスを主演に迎えた（全16回）。

▶出演：ド・ギョンス（声：宮崎遊），ナム・ジヒョン（声：早見沙織）ほか／展開戦略推進部，NEP

『ファミリーヒストリー』

（月１回）月　19:30～20:42

再 木　23:45～ 0:57

第１回14.10.10／著名人の家族の歴史を徹底取材でひもとき，本人も知らないルーツに迫る番組。時代に翻弄されながらも，たくましく生きる市井の人々の「家族の絆」を描いた。20年度に放送した「柳葉敏郎」「長谷川博己」などは，ルーツがある地域局と連携し，大きな話題になった。

▶司会：今田耕司，池田伸子アナ／第２制作ユニット（社会），NEP

『ブラタモリ』

土　19:30～20:15

再 火　23:45～ 0:30

第１回15.4.11／街歩きの達人・タモリさんが“ブラブラ”歩きながら，知られざる街の歴史や人々の暮らしに迫る番組。20年度は，国内14の町や地域を訪ね，16本の新作を制作。更にコロナ禍で取材・ロケが出来なかった期間にはこれまで５年間放送してきた中から９本を再編集してアンコール放送を行った。新作で訪れたのは，法隆寺，奈良・明日香，葉山，伊豆大島，網走，サロマ湖，飛騨，白川郷，城崎・豊岡，天橋立，しまなみ海道，呉，ゆふいん，日田。アンコール放

送で取り上げたのは，熊本，京都・清水寺，富士山，黒部ダム，釧路湿原，福井（一乗谷），長崎，熱海，日本の山。
▶出演：タモリ，浅野里香アナ／ナレーション：草彅剛／第５制作ユニット（エンターテインメント）

『プロフェッショナル　仕事の流儀』

火　22:30〜23:15
再 火　0:15〜 1:00

第１回06.1.10／さまざまな分野の第一線で活躍する一流のプロフェッショナルの仕事を徹底的に掘り下げるドキュメンタリー番組。時代の最前線で格闘するプロたちはどんな壁に直面し，どう乗り越えようとしているのか。コロナ禍で仕事観や価値観が激変する中，その姿を通じて働くことのだいご味を伝えた。俳優・本木雅弘などの特番を放送する一方，バス運転手やゴミ収集員などのエッセンシャルワーカーにもスポットライトを当て，出演者の“自撮り”などのリモート制作も行った。
▶語り：橋本さとし，貫地谷しほり／第２制作ユニット（社会）

『ヘチ　王座への道』

日　23:00〜 0:00

第１回21.2.14／BSPで19年11月10日から20年５月３日まで放送。民のための政治を行った名君とされる朝鮮王朝第21代王，英祖（ヨンジョ）の若き日を描く。王になるはずではなかった王子イ・グムが，正義を追い求める３人の仲間に支えられ，不正のない平等な世を目指す不屈の道のりを描いた友情と信念のストーリー（全24回）。
▶出演：チョン・イル（声：金本涼輔），クォン・ユル（声：森山智寛）ほか／展開戦略推進部，NEP

『○○○○の演芸図鑑』

日　5:15〜 5:44

第１回11.4.10／落語，漫才，マジックなどの演芸実演と，ナビゲーターと各界著名人との対談で構成する演芸バラエティー。20年度は，桂文枝，桂文珍，林家正蔵，春風亭一之輔の４人がナビゲーターとなり，幅広い分野の大物や一線で活躍するゲストと対談を行った。
▶演芸出演：三遊亭小遊三，柳家権太楼，柳家さん喬，春風亭一之輔，神田松鯉，神田伯山，柳亭小痴楽，おぼん・こぼん，テツandトモ，ナイツほか／対談：山内惠介，毛利衛，高橋尚子，平原綾香，木梨憲武，IKKO，JUJU，三遊亭金翁ほか／第５制作ユニット（エンターテインメント），NEP

『未来少年コナン　デジタルリマスター版』 新

月　0:10〜 0:39

第１回20.5.4，最終回20.11.22／コロナ禍による制作スケジュールの遅れにより４月から放送していた『キングダム』が４話で中断したため，78年に放送した作品を放送した。16:9にアスペクト比（画面比率）を修正したリマスター版。宮崎駿の実質的な監督デビュー作にして高畑勲や大塚康生なども主要スタッフに名を連ねる名作。最終戦争後の世界を舞台とした冒険活劇であり，若い世代にも新鮮に映った（全26話）。
▶声の出演：小原乃梨子，信沢三恵子ほか／展開戦略推進部

『みんなのうた』

G	月〜金・日	10:55〜11:00
	月	0:35〜 0:40
	日	4:25〜 4:30
	土	4:08〜 4:13，10:50〜10:55
	（前期）火〜金	3:43〜 3:48
	（後期）火〜金	4:35〜 4:40
E	月〜金	8:55〜 9:00，16:00〜16:05
	日	7:55〜 8:00
	月〜木	12:55〜13:00
	金	13:45〜13:50，19:55〜20:00
R1	日	11:50〜11:55
R2	月〜土	15:10〜15:15
	月〜金	12:10〜12:15
	土	8:35〜 8:40，11:55〜12:00
		18:40〜18:45，23:35〜23:40
	土・日	16:25〜16:30
	日	12:55〜13:00，22:40〜22:45
FM	月〜金	21:10〜21:15
	土	11:50〜11:55

第１回61.4.3／子どもを中心に，家族そろって楽しめるオリジナル曲の開発を目的とするミニ番組。映像は，曲のイメージに合わせてアニメーション等，さまざまな手法で構成。２か月ごとに３〜４曲の新作を発表したのに加え，過去の作品も再放送枠で紹介した。
▶テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NEP

『みんなの体操』

月～金　9:55～10:00

第１回99.10.10／ゆっくりしたテンポで，椅子に座ったままでも行える８つの運動で構成。ラジオ体操では動きがきつく，運動しにくいという高齢者や体が不自由な人も，リラックスして全身の筋肉を伸ばし，血行促進を図ることができる。水曜は，指導者自らワンポイントレッスンを行った。

▶体操指導：多胡肇，岡本美佳，鈴木大輔／スポーツ業務管理部，Gメディア

『民謡魂　ふるさとの唄』

土・日・祝　15:05～15:49

第１回13.5.4／人々の暮らしや喜怒哀楽が刻み込まれた「ふるさとの唄」…民謡。地域の生活の中で脈々と息づくさまざまな郷土芸能とともにその魅力を伝えた。新型コロナ感染拡大のため，年度９本のうち，20年度は４本が公開中止となった。その４本については，ダイジェスト版や東京での代替収録で放送を実施した。

▶司会：城島茂（TOKIO），塩屋紀克・近藤泰郎アナ（９月収録より）／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『名曲アルバム』

G	土	14:50～14:55
	日	4:20～ 4:25
E	月	10:50～10:55
	木	13:50～13:55
	金	10:55～11:00
BSP	月～金	5:55～ 6:00
BS４K（前期）	月	9:55～10:00，17:35～17:40
	水	16:50～16:55
	木	9:55～10:00
（後期）	月	9:55～10:00
	木	8:25～18:30

第１回76.4.5／誰もが知っている世界の名曲をゆかりの土地の文化や歴史，風土を紹介しながら，美しい映像と日本を代表する演奏家の演奏とともに放送した。

▶第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『目撃！にっぽん』

日　6:10～ 6:44

第１回17.4.9／全国各地の放送局が，地域に生きる人々を見つめ，その地の課題に向き合う姿を記録したヒューマンドキュメンタリー。「負けてたまるか～叔父と甥　港町の震災９年～」(4.19)，「どん底からの再起～密着　バス会社の苦闘６か月～」(8.9)，「どんな子も断らない～“障害児の学童保育”の記録～」(10.25)，「『筑豊のこどもたち』はいま　“貧困シンボル”の末に…」(12.20)，「日本一静かで　笑顔あふれるカフェ」(2.21）など。

▶社会番組部，各地域局

『よなよなラボ』　新

（月１回）日　0:35～ 1:35

第１回20.4.19／「想像以上にスマホだけで作るテレビ番組」を掲げる深夜バラエティー。出演者は全員リモート出演，動画もアプリで制作するなど全てをスマホ画面で収録・放送。コロナ禍での“じぶん的無敵ライフ”をテーマにした企画「ずっと家にいたらクリエーションアワード2020」「かわE！リモートキャラフェスティバル」「フィットする国を探したい」などを放送した。

▶出演：岡崎体育，ヤバイTシャツ屋さん／第６制作ユニット（新領域開発）

『よるドラ』

土　23:30～23:59

再 土　1:00～ 1:29

第１回18.4.7／今までにNHKを見なかった新しい視聴者層の獲得を目指し，土曜日の深夜に楽しめる新しい感覚のエンターテインメントドラマとしてスタートした。新作ドラマのほか，過去に好評だった作品も放送した。

「いいね！光源氏くん」

第１回20.4.4，最終回20.5.23／原作は女性コミック誌に連載の同名人気コミック。「源氏物語」に登場する平安貴族・光源氏が，現代に出現。現実世界とのギャップに驚いたり，楽しんだりする。そして光をヒモ同然に住まわせることになった地味で自己評価の低いこじらせOL・沙織が，はじめは違和感を覚えつつも，徐々に光の存在に癒やされていく奇想天外な時空超越コメディー（全８回）。

▶出演：千葉雄大，伊藤沙莉，桐山漣，入山杏奈，神尾楓珠，小手伸也ほか／コンテンツ開発センター，テイクファイブ

「闇魔堂（えんまどう）沙羅の推理奇譚（きたん）」

第１回20.10.31，最終回20.12.19／若者に支持されているミステリー作家・木元哉多の人気シリー

ズをドラマ化。閻魔堂の主・沙羅が生き返りを願う亡者に，誰に，なぜ，どのように殺されたかを推理させるゲームを仕掛ける！　被害者に，自分で自分の殺人事件の真相を解決させる，異色のオムニバスミステリードラマ。中条あやみが着こなす，美しく色鮮やかでバラエティーに富んだ“裁判官ファッション”も見どころのひとつ（全８回）。
▶原作：木元哉多／脚本：古家和尚／音楽：岩崎琢／出演：中条あやみ，小関裕太（１話），賀喜遥香（２話），黒島結菜（３・４話），R-指定（５話），村上淳（６話），牧瀬里穂（７・８話）ほか／大阪拠点局

「彼女が成仏できない理由」

第１回20.9.12，最終回20.10.17／名古屋拠点局初の『よるドラ』。漫画家を夢見てミャンマーから来日したエーミン。入居を決めたアパートには，一癖も二癖もある訳アリな住人たちがいた。そして何よりもエーミンの部屋には，色白で黒髪の女幽霊・玲が!!!!　成仏させるためには心残りをなくさせることと聞いたエーミンは，仕方なく玲と共同生活を始めることになり…。「外国人留学生」と「部屋に住み着いた幽霊」が織り成す，ちょっと切ない，ビターテイストラブコメディー（全６回）。
▶出演：森崎ウィン，高城れに（ももいろクローバーZ），和田正人，村上穂乃佳，中島広稀，白鳥玉季，ナリン，三石琴乃（声），高橋努，ブラザー・トム，古舘寛治ほか／名古屋拠点局，第４制作ユニット（ドラマ）

「ここは今から倫理です。」

第１回21.1.16，最終回21.3.13／20代を中心に人気を誇る雨瀬シオリの異色の学園コミック『ここは今から倫理です。』を実写ドラマ化。哲学・倫理の言葉をキーワードに，倫理教師と高校生たちの日常を描いた。善いことと悪いことを簡単には決めつけず，視聴者に考えさせる内容が反響を呼んだ（全８回）。
▶出演：山田裕貴，茅島みずき，池田優斗ほか／第４制作ユニット（ドラマ）

『よるドラアンコール　腐女子、うっかりゲイに告（コク）る。』

土　23:30～23:59
再 土　1:00～ 1:29

第１回20.6.13，最終回20.8.1／総合テレビで19.4.20～6.8に放送した番組（全８回）。
▶第４制作ユニット（ドラマ）

『４Ｋ８Ｋセレクション』

（第１）日　13:50～15:00ほか

第１回20.5.17／視聴者に好評だった，BS４Ｋ８Ｋならではのスケールの大きい見応えのある自然・紀行・歴史・ドラマ・ドキュメンタリーなどを放送した。
▶編成センター

『歴史秘話ヒストリア』

水　22:30～23:15
再 火　15:08～15:53

第１回09.4.1，最終回21.3.17／「日本人なら知っておきたい，押さえておきたい」歴史を，秘められた人間ドラマを中心に紹介する歴史エンターテインメント番組。12年目を迎えた20年度は19年度に引き続き渡邊佐和子アナウンサーが司会を担当。「親しみやすく，かつ本格的に」のコンセプトのもと，『連続テレビ小説』でも話題となった「古関裕而」から「ペストと人の戦い」といった時事に関する内容など，幅広く知的好奇心を満たす内容を放送。
▶出演：渡邊佐和子アナ／音楽：梶浦由記／大阪拠点局，NEP，第２制作ユニット（文化）

『列島ニュース』

（後期）月～金　13:05～13:40

第１回20.9.28／北から南まで全国各地の正午ニュースを集め，各地の新型コロナウイルス関連ニュースをダイジェストで伝えるなど，その地域ならではの情報を発信した。各地の自治体・医療・福祉・教育・働き方など人々の暮らしに関わる情報を詳しく伝えた。
▶キャスター：二宮直輝・川崎理加アナ／気象予報士：坂下恵理／大阪拠点局

『レ・ミゼラブル』

日　23:00～23:44ほか

第１回20.3.15，最終回20.5.3／ヴィクトル・ユゴーの名作をイギリスBBCがドラマ化。すさんだ心の元囚人ジャン・バルジャン，信念の男ジャベール，純真なお針子のファンテーヌ，それぞれの物語が動き出す。ミュージカルで知られた作品を本格歴史劇として映像化。VFXを駆使して激動の19世紀を再現し，注目を集めた（全８回）。

▶出演：ドミニク・ウェスト（声：井上和彦），デヴィッド･オイェロウォ（声:坂詰貴之），リリー・コリンズ（声：永宝千晶）ほか／展開戦略推進部，NEP

『連続テレビ小説』

G	月～土	8:00～ 8:15
再	月～土	12:45～13:00
BSP BS4K	月～土	7:30～ 7:45
再	月～金	23:00～23:15
再	土	9:45～11:00

第１回61.4.3／初回放送から59年を経て，「エール」は第102作目，「おちょやん」は第103作目。「エール」から４K制作，土曜日は１週間の振り返りを放送（⇒p.401）。新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言のため，「エール」は撮影休止となり，第12週放送後に第１週からの再放送を行った。２か月半の休止後，第13週から放送再開。「おちょやん」は放送開始が２か月半遅れた。

「エール」（前期）

第１回20.3.30，最終回20.11.27／福島の天才作曲家，古関裕而氏とその妻，金子をモデルとした，音楽とともに歩んだ夫婦とその仲間たちの激動の昭和の物語（全120回）。

▶原作：林宏司／脚本：清水友佳子，嶋田うれ葉，吉田照幸／音楽：瀬川英史／出演：窪田正孝，二階堂ふみ，菊池桃子，中村蒼，山崎育三郎，松井玲奈，森七菜，風間杜夫，薬師丸ひろ子，唐沢寿明ほか／第４制作ユニット（ドラマ）

「おちょやん」（後期）

第１回20.11.30，最終回21.5.14／連続テレビ小説第103作目。大阪・南河内の貧しい家に生まれたヒロイン・竹井千代は，９歳の時に道頓堀の芝居茶屋に女中奉公に出される。そこで目にしたのが，華やかな芝居の世界。彼女は女優を志し，芝居の世界に飛び込んでいく。そして，京都の映画撮影所などを経て，大阪で新しく生まれた「鶴亀家庭劇」に参加。喜劇女優として少しずつ成長していく（全115回・土曜日は除く）。

▶作：八津弘幸／音楽：サキタハヂメ／主題歌：秦基博「泣き笑いのエピソード」／出演:杉咲花，成田凌，篠原涼子，トータス松本，名倉潤，星田英利，中村鴈治郎ほか／大阪拠点局

『連続テレビ小説』（アンコール）

「純情きらり」

月～金　16:20～16:35，16:35～16:50

再放送第１回20.7.8，最終回21.1.8／本放送（06.4.3～9.30）のアンコール放送。１日に２話ずつ放送（全156回）。

▶第４制作ユニット（ドラマ）

「花子とアン」

月～金　16:20～16:35，16:35～16:50

再放送第１回21.1.26／本放送（14.3.31～9.27）のアンコール放送。１日に２話ずつ放送（全156回）。

▶第４制作ユニット（ドラマ）

① 総合テレビ

特集番組

ABC順

『NHKだめ自慢〜みんながでるテレビ〜』

6.27，7.25，8.29，9.26，10.31，11.21，12.26，1.30，2.20，3.27／22:10〜22:58

村上信五と東野幸治が司会。面白い失敗話さえあれば，子どもからお年寄りまで，誰もが出場できる視聴者参加型の番組。目立ちたがり屋で，義足をヘビ革にして失敗した男性など，さまざまな笑えるだめ自慢を披露した。面白ければ『のど自慢』でおなじみの，あの鐘が鳴り響く！　多様な人々の失敗談を笑い合う新感覚のバラエティー番組。20年度10回放送。

▶出演：村上信五，東野幸治ほか／語り：小田切千アナ／第３制作ユニット（ライフ）

『NHKバーチャル文化祭』

8.14／23:45〜 0:30

“バーチャルNHKホール”を舞台に，VTuber（バーチャルYouTuber）たちの歌やダンスなどのパフォーマンスや，NHKの人気番組風の「バーチャル体操」や「バチャメシ」などバラエティーに富んだ内容で，リアルな出演者たちとともに繰り広げるバーチャルな文化祭。

▶出演：アンガールズ，武井壮，さだまさし，小田切千アナほか／展開戦略推進部，NEP

五十音順

『アーヤと魔女』

12.30／19:30〜20:52

宮崎吾朗監督の最新作で，スタジオジブリとしては初の全編3DCG制作となる長編アニメーション。自分が魔女の娘とは知らずに育った少女アーヤが，ある日，奇妙な家に引き取られ，そこで意地悪な魔女と暮らすことになったことから始まる物語。

▶声の出演：平澤宏々路，寺島しのぶ，豊川悦司，濱田岳ほか／国内共同制作：NHK，NEP，スタジオジブリ／展開戦略推進部

『明石家紅白！特別編』

6.27／19:30〜20:43

『第８回明石家紅白！』

12.19／19:30〜20:43

明石家さんまが司会で，スタジオにアーティストを招いてトークと歌を届ける「さんま流紅白」。新型コロナの影響により，６月は「特別編」として過去の名場面を振り返る内容で放送。12月の第８弾は紅白出場歌手をゲストに招き放送した。

▶司会：明石家さんま／第５制作ユニット（エンターテインメント）

『＃あちこちのすずさん〜教えてください　あなたの戦争〜』

8.13／22:00〜23:15

戦争×アニメ×青春！　75年前の「オシャレ」「恋」「忘れられない食べ物」はどんなだったのか…。映画「この世界の片隅に」の主人公・すずのように，戦争の中で懸命に生きた人たちが，あなたの周りにもいるはず…というコンセプトのもと，若者が家族や知人から聞いてSNSに投稿したエピソードをアニメで再現。Hey!Say!JUMPの八乙女さん，伊野尾さんも「若者代表」として全国のすずさんたちの青春を徹底取材した。

▶司会：近江友里恵アナ／出演：片渕須直，千原ジュニア，八乙女光，伊野尾慧／大型企画開発センター，第２制作ユニット（社会），第３制作ユニット（ライフ），ラジオセンター

『あの日の通学路』

（第１弾）　G　8.24／22:45〜23:15
（第２弾）　3.27／18:05〜18:43
（第１弾拡大版）　BSP　9.12／ 8:45〜 9:44

毎日歩いた懐かしい通学路をIP中継でたどりながら思い出を掘り起こしていくバラエティー。コロナ禍で故郷に帰れない今だからこそ，出演者のトークを聞きながら故郷に思いをはせられる番組を目指した。第１弾は同じ学校出身の有名人どうし。第２弾は有名人とその友人２名（一般人）で語り合った。

▶出演：（第１弾）増田英彦，桂三度，中川家礼二，鷲見玲奈，ドーキンズ英里奈，（第２弾）浜口京子，林家たい平／語り：小野文惠アナ／第１制作ユニット（教育・次世代），報道局社会番組部

『いつも“となり”にいるアニメ〜最新作「アーヤと魔女」と歴代作品で見せるジブリの全て〜』

12.29／18:05〜18:48

宮崎駿と高畑勲両監督を中心に「千と千尋の神隠し」「風の谷のナウシカ」「となりのトトロ」「火垂（ほた）るの墓」「魔女の宅急便」「ハウルの動く城」「かぐや姫の物語」など，アニメーション史また

映画史に残る名作の数々を世に送り出してきたスタジオジブリ。歴代作品の名シーン，そして街角や制作に携わってきた人たちの作品に対する思い出や熱い声などを紹介。

▶出演：朝倉あき，神木隆之介，鈴木敏夫，寺島しのぶ，倍賞千恵子，平澤宏々路，宮崎吾朗，宮崎駿（五十音順）／展開戦略推進部，NEP

『歌会始』

3.26／10:30〜11:54

毎年恒例の宮中行事「歌会始の儀」。新型コロナウイルスの感染状況から開催が３月に延期された。そのもようを，皇居･宮殿の正殿「松の間」から，生中継で伝えた。お題は「実（じつ）」。天皇皇后両陛下のお歌のほか，国内外より寄せられた１万3,657首の中から選ばれた10首の入選歌が披露された。

▶星麻琴アナ／第２制作ユニット（文化）

『大阪発リモートドラマ
「ホーム・ノット・アローン」　完全版』

5.31／ 2:05〜 2:15

20年５月の緊急事態宣言下ではリモートドラマ「ホーム・ノット・アローン」を放送した。２台のスマートフォンを俳優に郵送し，撮影は俳優による自撮り，演出はリモートでの遠隔指示等，俳優と一切接触せずに３週間で制作。

▶作：桑原亮子／出演：桜庭ななみ，松下洸平／大阪拠点局

『おげんさんといっしょ　2020』

11. 3／22:00〜23:25

星野源がホストを務める音楽バラエティー番組の第４弾として生放送。星野源ふんする「おげんさん」と声優・宮野真守演じる「ねずみ」の進行の下，音楽好きにはたまらない生演奏や豪華セッション，音楽トークを繰り広げた。生放送中にSNSで視聴者の声を募るなどインターネット上でも展開した。

▶出演：星野源，高畑充希，藤井隆，宮野真守，三浦大知，松重豊ほか／第５制作ユニット（エンターテインメント），NEP

『お取り寄せ不可！？
列島縦断　宝メシグランプリ2021』

「パート１」　1.11／19:30〜20:55
「パート２」　1.11／21:30〜22:30

全国各地の知られざる郷土料理「宝メシ」を探し，日本の食文化の豊かさを紹介する番組。北海道から九州・沖縄まで，その地域だけに伝わる郷土料理を地域局のアナウンサーが徹底取材し，歴史や調理法を紹介。さらに地元の人の料理に対する熱い思いをリモート中継で結んだ。これを生放送のスタジオに集まった20人の食の専門家が試食し，味覚，知恵，衝撃，物語の４つのポイントで投票，グランプリを決定。

▶司会：井ノ原快彦，杉浦友紀アナ／出演：服部幸應，土井善晴，落合務，中尾彬ほか／第３制作ユニット（ライフ），NED

『おやすみ日本　眠いいね！』

（39）　7.18／ 0:15〜 2:39
（40）　12.20／ 0:05〜 2:39
（41）　1.17／ 0:05〜 2:32

初回放送は12年９月３日。全国の眠れないモヤモヤに耳を傾け，「眠いいね！」が目標値に達しないと番組が終了できない深夜の生放送。コロナ禍の中，スタジオ観覧なし，リモート出演やリモート中継を駆使して３本の生放送。また緊急事態宣言中の５月にはリモート収録による特番『おやすみ日本　STAY HOME & GOOD NIGHT』を制作。ツイッターのフォロワーは５万人を突破。10月には「さいたま国際芸術祭」への作品出展を行った。

▶MC：宮藤官九郎，又吉直樹／第２制作ユニット（社会），NEP

『“可視化”でまるわかり！
新型コロナ対策の新常識』

6.17／19:30〜20:15

見えないウイルスの感染リスクを，科学の力で徹底的に「見える化」すると，効果的で持続的な対策のカギが見えてきた。専門家とともに，マスクの効果，「接触感染」のリスク，効果的な換気方法などの可視化実験やシミュレーションを行った。他番組への積極的な展開や，新型コロナ特設サイトでの動画配信など，多様なメディアで正確な情報をいち早く届けきる工夫も行った。

▶出演：賀来満夫（東北医科薬科大学特任教授），小野文惠アナ／第３制作ユニット（科学），大型企画開発センター，NED（科学健康部）

『ガンダムを動かせ〜夢に挑んだエンジニアたち〜』

12.21／22:00〜23:00

リアリティーある世界観でロボットアニメに革命をもたらした「機動戦士ガンダム」。放送40周

年記念のプロジェクトとして，少年時代にガンダムに憧れたエンジニアたちが情熱と技術を結集，アニメの設定と同じ全高18mの動くガンダムが作られた。産業用ロボットに使われる精密モーターと新開発の減速機，全身を調和させて動かすソフトウエア，６階建てビルに匹敵する巨体を支えるクレーン技術など，メカニズムと舞台裏に迫った。
▶司会：設楽統／ゲスト：及川光博，片桐仁，橋本周司／語り：垂木勉／展開戦略推進部，NEP

『クイズ　天才の答えが答え「天才の斜め上の答えを予想せよ！まったく新しいクイズ番組」』

3.23／19:30～20:00

３人の天才にさまざまな質問をぶつけ，スタジオの解答者が，その斜め上の答えを予想する新しいクイズ番組。「苦手なものは？」といった身近な質問から，挫折体験の克服法，人類普遍の問題まで，天才ならではの発想，思考を伝え，生き方・考え方のヒントを提示した。
▶出演：オードリー・タン，加藤一二三，アリッサ・カーソン，又吉直樹，アンミカ，鈴木福／声の出演：岩井勇気（ハライチ），礒野佑子アナ／第１制作ユニット（教育・次世代）

『コントの日』

11.23／21:00～22:25

18年，文化の日に初めて放送したコント特番の第３弾として放送。番組内で発足させた「日本コント協会」のビートたけし会長以下，コントを愛する会員が，この番組でしか見られない豪華な組み合わせで新作コントを届けた。コントのテーマは「新しい生活」。コロナ禍に起きたさまざまな出来事をモチーフに，すべてオリジナルの新作でスペシャルコントを放送。
▶日本コント協会会長：ビートたけし，日本コント協会会員：劇団ひとり，東京03，ロッチ，チョコレートプラネット，ロバート秋山竜次，ジャングルポケット斉藤慎二，新川優愛，ハナコ／第５制作ユニット（エンターテインメント）

『挫折秘話ブルーヒストリア』

10.14／22:30～23:15

モテない，金ない，友達出来ない…ブルーになるしかない挫折を味わっていた歴史上の偉人たち。友達が出来ずロンドンで独りぼっちだった夏目漱石。女性にはモテず妻からは罵倒され続けたリンカーン。浪費癖に苦しんだ野口英世。絶体絶命のピンチをいかにチャンスに変えたのか？　新史料も交えて真相を大解剖。数々の挫折を味わってきたという孤高の芸人・バカリズムが人知れず挫折していた渡邊佐和子アナウンサーと異色のタッグ。
▶出演：バカリズム／司会・語り：渡邊佐和子アナ／第２制作ユニット（文化）

『「山賊の娘ローニャ」総集編』

12.19，20／17:00～17:58

宮崎吾朗監督の最新作「アーヤと魔女」の放送にあわせて，宮崎監督が初めて手がけたテレビシリーズで16年に第４回国際エミー賞・子どもアニメーション部門（部門最優秀賞）を受賞した『アニメ　山賊の娘ローニャ』全26話を前後編に再編集して放送。前編（12.19），後編（12.20）。
▶展開戦略推進部，NEP

『サンドウィッチマンの思い出レシピ～みんなで語る3.11～』

3. 7／16:07～17:07

東日本大震災のときの食のエピソード「思い出レシピ」を広く一般から募集。500を超える投稿から，命をつないだ思い出や記憶，生きるための知恵や工夫を語り合い，未来へつなげる番組。エピソードの演出には，アニメーションやイラストを主に用いた。『あさイチ』『きょうの料理』などと連動し，部局横断のキャンペーンを展開。特設ホームページでも寄せられた思い出レシピを多数紹介した。
▶出演：サンドウィッチマン，柴田理恵ほか／第２制作ユニット（社会），大型企画開発センターほか

『正月時代劇　ライジング若冲～天才かく覚醒せり～』

G BS４K　１．２／19:20～20:35

謎に包まれた奇想の画家・伊藤若冲を初めて本格ドラマ化。岩次郎（中川大志）が奉公する店に美しき僧侶・大典（永山瑛太）が現れ，謎めいた絵に心をつかまれる。描いたのは青物問屋の源左衛門（中村七之助）。彼は路上で謎の仙人（石橋蓮司）と出会い「若冲」という名を譲ってもらう。そして大典と運命的な出会いを果たす。生き物の世界を超絶技巧で描いた「動植綵絵」誕生の背景にあった男同士の友情とは？　BSPで１月16日21時から90分の完全版も放送した。
▶作・演出：源孝志／音楽：阿部海太郎／出演：

中村七之助，永山瑛太，中川大志，大東駿介，門脇麦，渡辺大，市川猿弥，木村祐一，加藤虎ノ介，永島敏行，石橋蓮司ほか／コンテンツ開発センター，NEP，オッティモ

『時論公論　クエスチョン・タイム』

5.31／13:50〜14:49
9.27／14:00〜15:00
12.29／10:05〜11:54
2.23／10:55〜11:54

混迷のいま，あふれる疑問に答える解説番組。視聴者代表の大学生たちが，いま注目のニュースの疑問をぶつけ，「ニュース解説時論公論」の解説委員たちがとことん解説。大学生代表は，慶応義塾大学在学中のモデル，トラウデン直美さん。学生は感染防止のためリモートで参加。視聴者のご意見も生で募集し紹介。「“withコロナ”社会をどう生きる?」(5.31)，「コロナからの再生〜ほんとうの豊かさとは〜」(9.27)，「アメリカ新政権でどうなる？2021年の世界と日本」(12.29)，「東日本大震災10年　未来への教訓」(2.23)。

▶解説委員室

『進撃の巨人ー特別総集編ー』

11. 9，16，23，30／ 0:10〜 0:59

人類と巨人の壮絶な戦いを描く人気シリーズの，第３シリーズまでの物語を49分４本のダイジェストでファイナルシーズン開始前に放送。第１夜「人類と巨人の戦い」，第２夜「知性を持つ巨人の出現」，第３夜「調査兵団の反乱と真の王」，第４夜「巨人の正体と壁の秘密」。

▶声の出演：梶裕貴，石川由依ほか／展開戦略推進部

『真の王者は誰だ！？〜民謡日本一決定戦2020』

G　12.13／15:10〜16:39
FM　12.29／ 7:20〜 9:00

日本各地で開催されている民謡大会のチャンピオンたちが浅草公会堂に集結し，真の「民謡日本一」を目指して，自慢の“のど”を競い合った。

▶第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『戦争童画集〜75年目のショートストーリー〜』

G　8.24／22:00〜22:45
BSP　9.18／21:59〜22:58

戦後75年に新型コロナ禍の中でも制作できる戦争特番として企画。吉永小百合の元に届いた戦争体験者の手記などを原作にした３つのショートストーリーを，演劇とドラマを融合させた演出で描いた。演出は映画監督の山田洋次，松居大悟。原爆投下直後の広島で家族を探してさまよう女性の物語を長澤まさみが熱演。さらに戦争で孫娘を失った老人と女性の物語，沖縄でひめゆり学徒隊に参加した女性たちの壮絶な戦いを描いた。

▶出演：吉永小百合，長澤まさみ，加藤健一，蒼井優，黒島結菜，橋本環奈，坂本龍一ほか／大型企画開発センター，第２制作ユニット（社会）

『体感再び　首都直下地震』

3.22／22:00〜23:15

放送・デジタル・イベントを連動した大型防災キャンペーン「体感　首都直下地震」(19年12月）のリメーク版。被害の全貌を描いたドラマ「パラレル東京」(主演：小芝風花）を約１時間に再編集。放送とデジタルサービスを通じ，最大震度７，死者２万3,000人，負傷者12万3,000人と想定される大災害で何が起きるのか，どうすれば命を守れるのか考えた。

▶MC：井ノ原快彦，小野文惠アナ／ゲスト：中林一樹（東京都立大学・首都大学東京　名誉教授）／ドラマ出演：小芝風花，高橋克典，伊藤淳史，室井滋ほか／大型企画開発センター，第６制作ユニット（新領域開発），NEP

『第71回NHK紅白歌合戦』

G R1 BS４K BS８K　12.31／19:30〜23:45

「今こそ歌おう みんなでエール」をテーマに，日本を代表する歌手と話題曲で構成した20年を締めくくる大型歌番組。総合テレビ・ラジオ第１，BS４K・BS８Kで生放送を行った。新型コロナの影響もありNHKホールは無観客で開催。局内のスタジオも複数活用した分散型で行った。結果は紅組優勝で，通算成績は紅組の32勝39敗となった。出場歌手は紅組白組合わせて41組。そのほかにも特別企画などを届けた。

▶司会：（総合司会）内村光良，桑子真帆アナ，（紅組）二階堂ふみ，（白組）大泉洋，（紅白ウラトークチャンネル）山里亮太，渡辺直美，（ラジオ中継）田村直之・赤木野々花アナ／歌手：（紅組）あいみょん，石川さゆり，坂本冬美，櫻坂46（初），JUJU（初），Superfly，天童よしみ，東京事変（初），NiziU（初），乃木坂46，Perfume，日向坂46，Foorin，BABYMETAL（初），松田聖子，MISIA，水森かおり，milet（初），YOASOBI（初），LiSA，Little Glee Monster，（白組）嵐，五木ひろし，瑛人（初），Official髭男dism，関

ジャニ∞，Kis-My-Ft2，King & Prince，郷ひろみ，GENERATIONS，純烈，鈴木雅之，SixTONES（初），氷川きよし，福山雅治，Hey!Say!JUMP，星野源，Mr.Children，三山ひろし，山内惠介，ゆず，（特別企画）GReeeeN，さだまさし，玉置浩二，松任谷由実，YOSHIKI，窪田正孝，中村蒼，堀内敬子，森山直太朗，山崎育三郎／ゲスト審査員：黒柳徹子，サンドウィッチマン，杉咲花，染谷将太，チコちゃん，宮崎美子，宮本亞門，室伏広治，吉沢亮／SPゲスト：北島三郎／第５制作ユニット（エンターテインメント）

『第44回　創作テレビドラマ大賞』「星とレモンの部屋」

3.19／22:00～22:44

「第44回創作テレビドラマ大賞」受賞作のドラマ化。老いた両親が亡くなった後に子がその死体と暮らしていたという事件を背景に，ひきこもりの男女に起きるある一日のドラマを描く。ひきこもり歴18年の里中いち子の唯一の楽しみは，家庭用プラネタリウムの星空だ。ある朝唯一の話し相手だった母・初美が持病で倒れてしまうが，助けを呼べない。パニック状態のいち子に，チャット相手の涼は思わぬ言葉を投げかける。

▶作：佃良太／音楽：macaroomと知久寿焼／出演：夏帆，宮沢氷魚，田中哲司，原田美枝子ほか／第４制作ユニット（ドラマ），NEP

『超絶神業！マジックバトル夏の陣』

8.12／19:30～20:42

神業的マジックを披露したマジシャンに，「袖が怪しいからジャケット脱いでもう一回，やっていただけますか？」などの「ムチャぶり」を言い，さらに難易度の高いマジックにその場で挑戦してもらう番組。「ムチャぶり」にうまく対応できなかった場合には「オンエアーほとんどナシ」が約束。ゲストとマジシャンの，台本なし，そんたくなしの駆け引きがスリリングな展開となった。12月には「冬の陣」も放送。

▶MC：銀シャリ／ゲスト：土屋太鳳，溝端淳平，ゆりやんレトリィバァ，Mr.マリック／コンテンツ開発センター

『常田大希　破壊と構築』

1．8／22:00～22:44

若者たちの熱狂的な支持を集めるロックバンド・King Gnuのメンバーで，すべての楽曲制作を担っている音楽家・常田大希。創作現場に３か月にわたって密着した。そのスタイルは，徹底した「破壊と構築」。理想の音を求めて試行錯誤を繰り返し，一切の妥協はしない。そんな彼が，音楽プロジェクトmillennium paradeを率いて，『NHKスペシャル』「2030　未来への分岐点」のテーマ音楽制作にあたった。オーケストラと現代音楽を融合させる新たな挑戦。そこに込められた思いに迫った。

▶大型企画開発センター，社会番組部，第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『天然素材NHK』

5.16／22:15～22:45

NHKアーカイブスに眠る映像を斬新な切り口で再編集したコロナ時代対応ソフト。封印された交霊実験，クマと人間の奇妙な生活，ハイレベルすぎるヨガ講座，不健康に健康を説く鈴木清順監督など，映像遺産ともいうべきありのままの被写体を，笑いと驚きと感動をもって伝える。

▶声の出演：鈴木賢，庄司宇芽香／第２制作ユニット（文化）

『天然素材NHK　第２集　希望の轍』

12.25／22:50～23:15

名監督・鈴木清順の気ますぎる徳島旅，鈴木健二アナウンサーの奔放なねぶた中継。ひたすらマリをつくピアノ教室に，空気椅子に苦悶するサラリーマンの運動会。映像遺産ともいうべきありのままの被写体を，笑いと驚きと感動をもって伝える。

▶声の出演：鈴木賢，庄司宇芽香／第２制作ユニット（文化）

『東洋医学　ホントのチカラ』「今こそ元気に！健康長寿SP」

2.27／19:30～20:42

西洋医学では手が届かない症状への解決策として用いられてきた東洋医学。脳科学などを駆使し，世界中の科学者が研究を実施。続々と効果を支持する根拠が確認され，医療現場への導入が急速に，拡大している。18年から続く第３弾のテーマは「新型コロナに負けない心と体」。漢方薬や鍼灸（しんきゅう），太極拳や乾布摩擦などの最新知見と，手軽にできるセルフケア術に迫った。

▶第３制作ユニット（科学）

『特集ドラマ　JOKE〜2022パニック配信！』

8.10／22:00〜22:45

ポストコロナの近未来が舞台。漫才コンビ「俺んち」のボケ担当・沢井竜一（生田斗真）は不祥事を起こしてレギュラー番組を降板し，AIロボットを相方に大喜利番組をネット配信して再起を図る。だが，生配信中にかかってきた奇妙な電話から事態は急変し，沢井はとんでもない事件に巻き込まれていく。沢井とその家族に迫る魔の手？　番組は無事終了できるのか！　そして，犯人は誰なのか？　45分間ノンストップ生配信中のネット番組の映像をベースに，視聴者コメントと電話の声のみで展開する，主人公“たった一人”の恐怖の時間を描いた，宮藤官九郎の挑戦作。

▶作：宮藤官九郎／音楽：平野義久／出演：生田斗真，柄本時生，松本まりか，岡部たかし，ほか／第４制作ユニット（ドラマ），NEP

『特集ドラマ　いないかもしれない』

3.29／22:45〜23:15

「あの子，誰…？」高校の同窓会。久しぶりの再会に盛り上がっているかのように見えた男女の中には，見知らぬ女が混じっていた。謎の女の存在にざわつく元同級生たちは，LINEを開き会議を始める…複数同時に繰り広げられるSNS上の仮想世界でのやりとりを映像化。ワンシチュエーションで，ワンシチュエーションでない新感覚のドラマ。

▶作：大池容子／音楽：小山絵里奈／出演：三浦透子，清水くるみ，あやかんぬ，戸塚純貴，杉野遥亮ほか／第４制作ユニット（ドラマ）

『特集ドラマ　少年寅次郎スペシャル』

（前編）　12. 4／22:00〜22:45

（後編）　12.10／22:00〜22:45

国民的映画「男はつらいよ」の主人公，車寅次郎の少年時代を描いたドラマ『少年寅次郎』のスペシャル版。寅次郎が葛飾・柴又の駅から旅立ってから１年後，ビジネスの修行を続ける旅先で，初恋の人，さとこ（森七菜）と再会したことから，亡き母，光子（井上真央）やさくらとの，幼い頃の泣き笑いの日々を思い出す。『少年寅次郎』では描かれなかったとっておきのエピソードや，寅次郎の成長を描く。

▶原作：山田洋次／脚本：岡田惠和／音楽：馬飼野康二／出演：井上真央，井上優吏，藤原颯音，毎熊克哉，泉澤祐希，岸井ゆきの，石丸幹二ほか／第４制作ユニット（ドラマ），NEP

『中村哲の声がきこえる』

12.27／10:05〜10:53

19年12月アフガニスタンで銃撃され亡くなった医師・中村哲さん。戦乱と干ばつの大地に平和と恵みを取り戻そうとする活動のかたわらには「ワーカー」と呼ばれる日本人の若者たちがいた。日本で挫折を経験した者，国際貢献を志した者…その数は100人にものぼる。中村と共に過ごした歳月は，若者たちをどう変えたのか。帰国後，さまざまな道を歩む彼らは今，どうしているのか。人生の意味を探し求めた現代の若者たちの青春群像を追った。

▶語り：オダギリジョー／第２制作ユニット（文化），NEP

『謎解きドラマ　Lの招待状　特別編』

12.27／ 9:00〜 9:59

『ハートネットTV』連動で，ろう者と共同制作したドラマ。ある日，謎の館に集められた聞こえる人と聞こえない人の男女６人が，ばく大な財宝を目指し，館の主Lから出される謎解きに挑む物語。謎は聴者とろう者が協力しないと解けないものばかり。ふだんろう者が感じる疎外感やコミュニケーションの在り方を問う，ダイバーシティーエンターテインメント。最後の謎はホームページで出すなど，ウェブ連動で展開。

▶出演：奈緒，小手伸也ほか／第３制作ユニット（福祉），第４制作ユニット（ドラマ）

『７年ごとの記録　35歳になりました』

Ⓖ　12.29／16:45〜17:58

（前編）Ⓔ　2.18／22:00〜22:50

（後編）　2.25／22:00〜22:50

さまざまな社会的背景を負った日本各地に住む10人を，７歳から７年ごとに継続的に描く超長期シリーズ。20年度はその第５弾「35歳」。彼らの置かれている状況や，取り巻く社会状況の変化を，35歳の視点とこれまでの成長を通して描く。拡大版として前後編に分けてEテレで放送した。

▶語り：（Ⓖ）満島ひかり，（Ⓔ）吉岡秀隆／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『日本　最強の城スペシャル』

第６弾　7.24／19:30〜20:29

第７弾　1. 3／21:00〜21:59

第８弾　3.30／19:30〜20:30

空前の城ブームが到来していることを受け，18年に第１弾を制作。城の知識がなくても楽しめる歴史エンターテインメントとして，特集のシリーズとして定着した。フォトジェニック，守りがユニーク，ミステリアスなど，全国各地の城の特徴をさまざまな切り口から紹介した。スタジオでは専門家による解説と，城好き有名人によるトークが繰り広げられ，最後に有名人たちが独自の視点で「最強の城」を決定した。

▶司会：恵俊彰，赤木野々花アナ／出演：高橋英樹，春風亭昇太，石原良純，小日向えり，村井美樹，千田嘉博／大型企画開発センター，NEP

『日本×タイ　ドラマ「盲亀浮木～人生に起こる小さな奇跡」』

4．4／18:05～18:35

NHKとタイPBS（公共放送）が協力して制作。原作は志賀直哉の『盲亀浮木（もうきふぼく）』。大洋を漂う浮木を求めて，100年目に海底から首を出した目の見えない亀がたまたま木に一つしか開いていない穴から首を出した，という「盲亀浮木」のぐう話になぞらえて，身の回りで起こった偶然を描いた，滋味あふれる短編。現代のタイを舞台に日本文学の名作がよみがえる。主人公の男と愛犬の間に起こった小さな奇跡とは。

▶出演：アンクリット・アシャチャリヤーソーポン，パカワット・タンホームほか／第４制作ユニット（ドラマ）

『東日本大震災10年　特集ドラマ「あなたのそばで明日が笑う」』

3．6／19:30～20:43

震災で行方不明の夫を待ち続け，いまだ“夢の時間”にいる女性・蒼。津波で流された本屋を再建する中で，若き建築士・瑛希と出会い，蒼は再び“現実の時間”で生きる決意をする。 あれから10年。宮城県石巻市を舞台に，被災地の女性が，復興に熱意を傾ける建築士と心を通わせ，再び笑顔を取り戻すまでのヒューマンストーリー。

▶作：三浦直之／音楽：菅野よう子／主題歌：RADWIMPS／出演：綾瀬はるか，池松壮亮，高良健吾ほか／第４制作ユニット（ドラマ）

『ひとモノガタリ』

（祝日）18:05～18:34

生きづらさを抱えながら，大切な何かを守りながら生きている人，新しい生き方を探す人…人知れず悩みながら前に進もうとする人々の姿から，私たち自身が生きていく手がかりを見いだしていくヒューマンドキュメンタリー。「桜とわたしの子どもたち～若木に託す思い～」（5.6），「私たちは、つながれる～コロナ禍の“人めぐり”～」（9.22），「コロナ禍のママたちよ」（11.23），「みんなの成長戦略部～コロナと闘うサッカー部員たち～」（1.11），「生きた証しを残したい～震災10年　亡き家族への1000首～」（2.23）など。

▶社会番組部，制作局，各地域局

『病院ラジオ』
「あの子どうしてる？スペシャル」

6.24／19:57～20:42

お笑いコンビのサンドウィッチマンが，全国の病院を訪ね，２日間限定のラジオ局を開設。患者やその家族の思いを，リクエスト曲とともに伝えるドキュメンタリー。コロナ禍で病院に訪問できなかった20年度は，19年４月放送「子ども病院編」に出演した子どもと家族に，近況や家族への感謝の気持ちなど，さまざまな思いをリモートで聞いた。

▶出演：サンドウィッチマン／第３制作ユニット（ライフ）

『不思議の首里城～沖縄　こころの物語～』

11．3／19:57～20:52

19年に火災で中心部を失った首里城。番組では最盛期の城の姿をCGで復元することに挑んだ。その過程で浮かび上がってきたのは，数々の不思議と，沖縄の「こころ」と結びついた物語。首里城と言えば「赤」のイメージだが，そんな常識を覆す絵図を発見。本当はどんな色だったのか？　首里城にあった沖縄の城ならではの「特別な空間」とは？　沖縄の工芸や芸能に与えた首里城の影響とは？　沖縄出身のゲストとともに，人々にとっての首里城の存在を考えるとともに，沖縄の「こころ」を再発見していった。

▶出演：仲間由紀恵，ジョン・カビラ，ISSA／語り：国仲涼子／大型企画開発センター，NEP

『マジカルクローゼット』

10.29／22:30～23:15

「クローゼットは，その人を映す鏡」。ファッションと人生に悩む人たちを応援する，新感覚ファッションバラエティー。現役世代に絶大な支持を得る敏腕スタイリストが，お悩みさんのリアルクローゼットを大改革。独自の哲学で，生き方までも変えていく様をドキュメントした。リモート

映えの極意など，コロナ禍ならではの悩みも解決。ステイホームでクローゼットを見直す人が多い時期，身近で役立つ情報満載で伝えた。
▶出演：SHELLY，中村蒼，大草直子ほか／語り：長田庄平（チョコレートプラネット）／第２制作ユニット（文化）

『光秀のスマホ』

10.12～14，26～28／23:40～23:45

もしも明智光秀や信長，秀吉がスマホを持っていたら…“本能寺の変”に至る，彼らの葛藤や人間関係を，SNS上のやり取りを中心にスマホ画面のみで描く，SF歴史ドラマ。５分番組の６本シリーズを放送。放送中も，主人公の光秀がSNS公式アカウント上で情報発信した。また，シリーズを再編集し，秀吉のスマホの視点で描くシーンを加えた拡大版も制作した。
▶出演：山田孝之，和田正人，島崎信長／第６制作ユニット（新領域開発）

『みんなで筋肉体操』

8.24～ 8.27／23:40～23:45

『みんなで筋肉体操』「生放送フェス」

12.12／17:15～18:00

視聴者がテレビを見ながら出演者と一緒に５分間の筋トレに挑戦することで，引き締まった理想的な体を手に入れることを目指す番組。「筋肉は裏切らない」をキーワードに，腕立て伏せ，腹筋，スクワット，背筋など４種類の筋トレを１日ずつ紹介。シーズン５ではパラリンピックの選手が参加。生放送フェスでは営業・事業とも連動し，リモートで視聴者が参加する45分の特番を制作した。
▶出演：武田真治，村雨辰剛，井谷俊介，太田渉子，瀬立モニカ，樋口健太郎，安井友梨，山根良顕，太田博久，谷本道哉／第３制作ユニット（ライフ）

『名曲アルバム＋（プラス）』

3.25／ 3:10～ 3:25

『名曲アルバム』の世界観を更に進化させ，未知の映像・音楽体験を提供する『名曲アルバム＋（プラス）』。CGやアニメーションを駆使する新進気鋭のクリエーターが，独自の解釈と手法で名曲の新たな世界をひもといた。20年度は「“四季”から“冬”」「幻想即興曲」「カルドーゾのレクイエム」を制作。
▶第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『潜れ！さかなクン』

第５弾「熊本・八代海 ～知られざる神秘の海へ～」

5. 6／19:30～20:43

第６弾「探検！沈没船スペシャル」

8.19／19:30～20:42

さかなクンが潜りまくって海中探検する番組。第５弾は熊本県八代海の海底に眠る謎の海丘や，タツノオトシゴの楽園，地元で親しまれるヒトデの足料理などを紹介した。第６弾では西伊豆の沈没船や，長崎県五島列島の深海に沈む“旧日本軍の潜水艦”調査の様子に迫った。３月にはBSプレミアムで90分の総集編も制作。
▶出演：さかなクン，首藤奈知子アナ，（第５弾）安藤寿男（茨城大学教授），（第６弾）浦環（東京大学名誉教授）／ナレーター：（第５弾）森脇陸三，（第６弾）奥田民義／第２制作ユニット（社会），NEP

『ゆく年くる年』

12.31／23:45～ 0:15

新型コロナウイルスの感染が再拡大する異例の事態の中迎えた20年の大みそか，各地の年越しの様子を生中継で結び，終息を願う人々の祈りを伝えた。初詣による密を避けるため，感染防止対策をとっている寺社を厳選し，その具体策についても触れた。帰省や初詣を自粛している視聴者に向けて除夜の鐘の音を届け，さらにはネットを活用したリモート参拝も紹介するなど，家族や親しい人に直接会えなくても，互いにつながろうとする人々の様子も紹介した。ステイホームもあって，過去５年の中で最もよく見られた。
▶キャスター：高瀬耕造・石橋亜紗アナ／おはよう日本部

『ライブ・エール　今こそ音楽でエールを』

「第１部」 G 8. 8／19:30～20:45
「第２部」 G 21:00～22:10
「第１部」 BS４K BS８K 8. 8／19:30～20:50
「第２部」 BS４K BS８K 21:00～22:10

コロナ禍にて失われた日常において，そこを乗り越えるべく日々奮闘する皆さんへ，音楽を通じてエールを届け，音楽の力で心の距離を縮めるという思いを込めた生放送音楽番組。この時期，感染者数の増加が続いていたためNHKホールにて無観客で開催した。客席に大きく張り出し，これ

までに無い規模のステージで放送。
▶司会：内村光良，桑子真帆アナ，NHK MUSICより，『うたコン』司会・谷原章介，『シブヤノオト』MC・渡辺直美，『SONGS』支配人・大泉洋も出演。／出演歌手：いきものがかり，石川さゆり，今井美樹，エレファントカシマシ，関ジャニ∞，GReeeeN，kokua，さだまさし，JUJU，純烈，Perfume，氷川きよし，平原綾香，Foorin，細川たかし，松任谷由実，MISIA，山崎育三郎，YOSHIKI，LiSA，Little Gree Monster／第5制作ユニット（エンターテインメント）

『リモートドラマ　Living』

（1），（2）　5.30／23:30〜24:00
（3），（4）　6. 6／23:30〜24:00

新型コロナによる緊急事態宣言下に企画，放送されたリモートドラマ。一緒に居ることを唯一許された「家族」という存在に着目し，実際に住まいを共にする豪華俳優陣の自室などを舞台に，脚本家・坂元裕二が書き下ろした奇想天外なスペシャル・ファンタジー。
▶作：坂元裕二／音楽：岩崎太整／出演：広瀬アリス，広瀬すず，永山瑛太，永山絢斗，中尾明慶，仲里依紗，青木崇高，優香，壇蜜，阿部サダヲ／第4制作ユニット（ドラマ）

『連続テレビ小説「エール」総集編』

（前編）　12.31／14:00〜15:23
（後編）　12.31／15:28〜16:56

福島に生まれた天才作曲家と，豊橋で歌手を目指す少女が出会い結婚。数々のヒット曲を作り，激動の昭和を音楽とともに乗り越えていった夫婦と仲間たちの物語『連続テレビ小説』「エール」の総集編。
▶原作：林宏司／脚本：清水友佳子，嶋田うれ葉，吉田照幸／音楽：瀬川英史／出演：窪田正孝，二階堂ふみ，中村蒼，山崎育三郎，薬師丸ひろ子，唐沢寿明ほか／第4制作ユニット（ドラマ）

『連続テレビ小説「エール」土曜日』

土　8:00〜 8:15

第1回20.4.4，最終回20.11.28／数々の名曲を生んだ音楽家・古関裕而をモデルに，音楽に彩られたその生涯を描いた20年度前期『連続テレビ小説』「エール」。このドラマの毎週月〜金曜日分の内容を土曜日の15分間，バナナマン・日村勇紀の軽快なナビゲートで，見どころをぎゅぎゅっと濃縮して紹介するエンターテインメント・ダイジェスト。
▶原作：林宏司／脚本：清水友佳子ほか／出演：日村勇紀，窪田正孝，二階堂ふみ，ほか／第4制作ユニット（ドラマ），NEP

『ロンブー淳のバチャぶらリモだちナイト！』

5. 4／22:50〜23:35

ロンブーの淳がバーチャルな「大人のアソビ場」をあちこちのぞき見しながらリモート・トークで盛り上がるオンライン情熱番組。「アニメ『映像研には手を出すな！』好きなだけ語れるカフェ」「B'z熱唱道場」「TechマニアRoom」の3つのテーマ。
▶出演：田村淳，東野幸治，足立梨花，カズレーザーほか／展開戦略推進部，NEP

② Eテレ

定時番組

ABC順

『ETV特集』

土　23:00〜23:59
再 木　0:00〜 0:59

第１回04.4.10／放送開始以来，『ETV特集』は時代を文化・歴史・弱者の視点から斬るドキュメンタリー番組として独自の歩みを続けてきた。17年度，18年度，19年度と続けて海外のドキュメンタリーに準じた演出や新感覚の演出に挑戦してきた。20年度はそれに加え，新型コロナウイルスが引き起こしたパンデミックが世界に与えるインパクトを多面的に探る新シリーズをいち早く立ち上げるなど，社会の激変に素早く対応する番組や，原発事故10年に関する番組などに力を入れた。

▶第２制作ユニット（文化），NEP，NEDほか

「緊急対談　パンデミックが変える世界
〜歴史から何を学ぶか〜」
4. 4／23:00〜23:59
▶第２制作ユニット（文化）

「緊急対談　パンデミックが変える世界
〜海外の知性が語る展望〜」
4.11／23:00〜23:59
▶第２制作ユニット（文化）

「７人の小さき探究者
〜変わりゆく世界の真ん中で〜」
4.18／23:00〜23:59
▶第２制作ユニット（文化）

「緊急対談　パンデミックが変える世界
ユヴァル・ノア・ハラリとの60分」
4.25／23:00〜23:59
▶第２制作ユニット（文化）

「義男さんと憲法誕生」
5. 2／23:00〜23:59
▶NED，第２制作ユニット（文化）

「映画監督　羽仁進の世界
〜すべては“教室の子供たち”からはじまった〜」
5. 9／23:00〜23:59
▶NEP，第２制作ユニット（文化）

「お父さんに会いたい
〜“じゃぱゆきさん”の子どもたち〜」
5.16／23:00〜23:59
▶第２制作ユニット（文化），第３制作ユニット（福祉）

「マスクが消えた日々
〜医療現場をどう守るのか〜」
6. 6／23:00〜23:59
▶第２制作ユニット（文化）

「引き裂かれた海
〜長崎・国営諫早湾干拓事業の中で〜」
6.13／23:00〜23:59
▶福岡局，第２制作ユニット（文化）

「パンデミックが変える世界
〜台湾・新型コロナ封じ込め成功への17年〜」
6.20／23:00〜23:59
▶NED，第２制作ユニット（文化）

「すべての子どもに学ぶ場を
〜ある中学校と外国人生徒の歳月」
6.27／23:00〜23:59
▶第２制作ユニット（文化），第２制作ユニット（社会）

「世界コロナ“闘稿記”
〜変わりゆく家族のカタチ〜」
7. 4／23:00〜23:59
▶NED，第２制作ユニット（文化）

「ひなたの氷　九二歳、桜守の遺言」
7.11／23:00〜23:59
▶NED，第２制作ユニット（文化）

「雪冤（せつえん）〜ひで子と早智子の歳月〜」
7.18／23:00〜23:59
▶NEP，第２制作ユニット（文化）

「心が躍る生物教室」
7.25／23:00〜23:59
▶第３制作ユニット（福祉），第２制作ユニット（文化）

「“焼き場に立つ少年”をさがして」
8. 8／23:00〜23:59

▶長崎局，第２制作ユニット（文化）

「サヘルの旅
～傷（いた）みと生きるということ～」

8.15／23:00～23:59

▶第２制作ユニット（文化）

「パンデミックが変える世界
～ブラック・ライブズ・マターの衝撃～」

8.22／23:00～23:59

▶第２制作ユニット（文化）

「敏感くんたちの夏」

9. 5／23:00～23:59

▶大阪拠点局，第２制作ユニット（文化）

「隠された毒ガス兵器」

9.12／23:00～23:59

▶NED，第２制作ユニット（文化）

「パンデミックが変える世界
紛争地帯からのSOS」

9.19／23:00～23:59

▶第２制作ユニット（文化）

「基地の街にロックは流れて
～嘉手納とコザの戦後史～」

9.26／23:00～23:59

▶沖縄局，第２制作ユニット（文化）

「“ワケあり”りんご」

10.10／23:00～23:59

▶第２制作ユニット（文化）

「調査ドキュメント　外国人技能実習制度を追う」

10.17／23:00～23:59

▶第３制作ユニット（福祉），第２制作ユニット（文化）

「サピエンスとパンデミック
～ユヴァル・ノア・ハラリ特別授業～」

11.14／23:00～23:59

▶第２制作ユニット（文化）

「親のとなりが自分の居場所
～小堀先生と親子の日々～」

11.21／23:00～23:59

▶NEP，第２制作ユニット（文化）

「転生する三島由紀夫」

11.28／23:00～23:59

▶第２制作ユニット（文化）

「ひきこもり文学」

12. 5／23:00～23:59

▶第３制作ユニット（福祉），第２制作ユニット（文化）

「沖縄が燃えた夜～コザ騒動50年後の告白～」

12.19／23:00～23:59

▶NED，第２制作ユニット（文化）

「THE　陰翳礼讃　～谷崎潤一郎と日本の美～」

1. 2／23:10～ 0:09

▶第２制作ユニット（文化）

「円空　仏像に封印された謎」

1.16／23:00～23:59

▶名古屋拠点局，第２制作ユニット（文化）

「エリザベス　この世界に愛を」

1.23／23:00～23:59

▶NEP，第２制作ユニット（文化）

「一所懸命に漕（こ）いできた
～“歴史探偵”半藤一利の遺言～」

1.30／23:00～23:59

▶第２制作ユニット（文化）

「五味太郎はいかが?」

2. 6／23:00～23:59

▶第２制作ユニット（文化）

「夫婦別姓“結婚”できないふたりの取材日記」

2.13／23:00～23:59
（震度６強関連ニュースのため中断）
2.18／ 0:00～ 0:59

▶NED，第２制作ユニット（文化）

「帰郷の日は遠く～アイヌ遺骨返還の行方～」

2.20／23:00～23:59

▶釧路局，第２制作ユニット（文化）

「原発事故“最悪のシナリオ”
～そのとき誰が命を懸けるのか～」

3. 6／23:00～ 0:29

▶第２制作ユニット（文化）

「震災関連死　何が命を奪ったのか
福島1995人の“経緯書”」

3.13／23:00〜23:59

▶福島局，第２制作ユニット（文化）

「誕生　ヤマト王権
〜いま前方後円墳が語り出す〜」

3.27／23:00〜23:59

▶第２制作ユニット（文化）

『Eダンスアカデミー　シーズン８』

土　9:30〜 9:54
再 木　19:15〜19:39

第１回20.4.4，最終回21.3.27／EXILEのメンバーが講師を務めるダンス教育番組。本放送を金曜夜から土曜朝に移して放送した。スタジオで出演者がダンスゲームを楽しむバラエティーコーナーを常設し，より分かりやすくダンスの楽しさを伝えた。４月11日放送後，新型コロナウイルス感染拡大防止のため収録を見合わせ，19年度の番組を再放送して対応。６月20日からシーズン８の放送を再開した。

▶講師：EXILE USA，EXILE TETSUYA，小森隼／生徒：Eダンスキッズ／第５制作ユニット（エンターテインメント），NEP

『Eテレ0655』

月〜金　6:55〜 7:00

『Eテレ2355』

月〜金　23:55〜 0:00

第１回10.3.29／「テレビで生活のリズムを刻む」がコンセプト。『Eテレ0655』は，「日めくりアニメ」「おはようソング」などの楽しいコーナーで１日の始まりを作る５分番組。『Eテレ2355』は，「おやすみソング」などのコーナーで，見ると気持ちよくリラックスできる，おやすみ前の５分番組。

▶展開戦略推進部，NED，ユーフラテス

『NHK高校講座』

月〜金　14:00〜15:00

第１回59.1.12／全国の通信制高校生の学習支援を目的に，24番組（「科学と人間生活」「社会と情報」「芸術／美術Ⅰ」「芸術／書道Ⅰ」「ロンリのちから」は隔週編成。春・夏・冬期講座として「体を動かすTV」「ベーシックサイエンス」「簿記」「総合的な探究の時間」）を計画的かつ継続的に放送。自学自習の理解を深め，リポート課題との連携などに活用。また，通信制以外の高校生の自宅学習にも対応。08年度から番組のインターネット配信を開始し，13年度からスマートフォンやタブレット端末向けの配信による視聴も開始。通信制高校の前・後期２期制の後期入学生の学習や生涯学習の目的で学ぶ視聴者の要望にも応えている。20年度の新作は「ベーシック数学」「家庭総合」「世界史」の３番組。再放送は「数学Ⅰ」「ベーシック英語」「コミュニケーション英語Ⅰ」「ベーシック国語」「国語表現」「ビジネス基礎」「ロンリのちから」「生物基礎」「化学基礎」「物理基礎」「地学基礎」「科学と人間生活」「社会と情報」「芸術／美術Ⅰ」「芸術／書道Ⅰ」「日本史」「地理」「簿記」「体を動かすTV」「総合的な探究の時間」「ベーシックサイエンス」の21番組。

▶動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『NHK手話ニュース』

月〜金　13:00〜13:05
土・日　19:55〜20:00

第１回94.4.3／手話とふりがな付きの字幕，ゆったりとしたナレーションで，ニュースと気象情報を伝える番組。主要なニュースは映像付きで放送した。聴覚に障害のある人たちの貴重な情報源であり，災害・減災報道には特に力を入れた。７月４日には九州の豪雨災害で特設手話ニュース（５分間）の放送を実施。９月６日と７日には台風10号の特設手話ニュース（５分間）の放送を実施した。キャスター６人が交代で出演。

▶ニュース制作部

『NHK手話ニュース845』

月〜金　20:45〜21:00

第１回97.4.7／２人のキャスターによるスタジオでの手話を中心に，音声・字幕・映像を組み合わせた番組。聴覚に障害のある人たちに向け，１日の主要なニュースを分かりやすく伝えた。21年度に始まる国の電話リレーサービスや，新型コロナウイルスのワクチンの聴覚障害者向けの相談窓口設置，デフリンピックの延期など聴覚障害者にとって大きなニュースは番組で取材して伝えた。担当するキャスター10人全員がろう者。

▶ニュース制作部

『NHK短歌』

日　6:00〜 6:25
再 火　15:00〜15:25

第１回05.4.9／短歌を味わい，作歌のポイントを紹介する講座番組。毎週3,000余りの投稿作品から優秀作品９首を選び，スタジオゲストとともに鑑賞。第４週は初心者向け講座「短歌de胸キュン」。

▶選者:松村正直（第１週），小島なお（第２週），寺井龍哉（第３週）／司会：星野真里，カン・ハンナ〈準レギュラー〉〈第１，２週），有森也実（第３週）／「短歌de胸キュン」選者：栗木京子，出演：スピードワゴン，小島よしお，濱田龍臣ほか／テキスト発行／第２制作ユニット（文化），NED

『NHK俳句』

日　6:35〜 7:00
再 水　15:00〜15:25

第１回94.4.8／定型，季語，切れ字など俳句の基本に親しむ講座番組。スタジオゲストを招き，毎週7,000句前後の投稿から９句の入選を講評。第４週は初心者向け講座「俳句さく咲く！」。

▶選者：小澤實（第１週），対馬康子（第２週），西村和子（第３週）／司会:戸田菜穂（第１週），武井壮（第２週），岸本葉子（第３週）／「俳句さく咲く！」選者：櫂未知子，出演：塚地武雅，田中要次，いとうまい子，櫻井紗季／テキスト発行／第２制作ユニット（文化），NED

『NHK杯テレビ囲碁トーナメント』

日　12:30〜14:00

第１回60.7.9／総合『囲碁・将棋の勘どころ』としてスタート。62.4.2に教育『趣味講座〜囲碁』，81.4.12に教育『囲碁の時間』となり，11年度から『囲碁の時間』は単独で『囲碁講座』（最終回12.3.18）と『NHK杯テレビ囲碁トーナメント』となった。12年度からは『NHK杯テレビ囲碁トーナメント』として独立。

▶第68回NHK杯優勝：一力遼天元／司会：星合志保三段／テキスト発行／第２制作ユニット（文化），NED

『NHK杯テレビ将棋トーナメント』

日　10:30〜12:00

第１回60.7.9／総合『囲碁・将棋の勘どころ』としてスタート。62.4.4に教育『趣味講座〜将棋』，81.4.12に教育『将棋の時間』となり，11年度から『将棋の時間』は単独で『将棋講座』（最終回12.3.18）と『NHK杯テレビ将棋トーナメント』となった。12年度からは『NHK杯テレビ将棋トーナメント』として独立。今期（第70回）は，稲葉陽八段が初優勝を果たした。

▶第70回NHK杯優勝：稲葉陽八段／司会：藤田綾女流二段・中村桃子女流初段／テキスト発行／第２制作ユニット（文化），NED

『NHKみんなの手話』

日　19:30〜19:55
再 金　13:05〜13:30

第１回90.4.2／初歩の手話を学ぶ人のための番組。ろう者がふだん使う自然な手話を紹介。20年度の監修は手話講師の小林信恵。手話を一つの独立した言語と捉え，文法を柱に構成した。講師は森田明（ろう者），講師アシスタントは那須善子（ろう者），ナビゲーターはV6の三宅健。流ちょうに手話表現するための舞踏家の振付によるエクササイズ，ろう芸人によるコントで，ろう文化を紹介するコーナーなども設けた。

▶第３制作ユニット（福祉），NED

『no art, no life』 新

E　水　22:45〜22:50
再 金　11:50〜11:55
BS4K　木　20:55〜21:00
再 金　18:55〜19:00

第１回20.1.7／今まで見たことのない芸術に圧倒される５分間『no art, no life』。既存の美術や流行，教育などに左右されず，誰にもまねできない作品を創作し続ける日本各地のアーティストたちを紹介する新感覚のアート番組である。その独創的な美術作品は近年世界的に注目を集めている。４K一体化制作。

▶ナレーション：内田也哉子／テーマ音楽：君島大空（作曲・演奏）／NED，第２制作ユニット（文化）

『Q〜こどものための哲学〜』

（前期）木　9:30〜 9:45

第１回19.10.4／日本で初めて哲学対話を題材にした人形劇。20年度は，全20話を再放送。毎回，少年Qくんとぬいぐるみのチッチが，日常の中で抱いた疑問を対話しながら深めていき，最終的に納得できる「自分なりの答え」を見つけていく。この対話劇を通して，正解のない問いについて，

どのように考えを深めていけばいいのかを子どもたちに紹介した。
▶声の出演：本田翼，ガッツ石松／動画配信／第1制作ユニット（教育・次世代）

『SWITCHインタビュー　達人達（たち）』

土　22:00〜22:49
再 土　0:00〜 0:49

第1回13.4.6／各界の第一線で活躍する達人2人が互いの現場を訪ね合い，仕事の極意や人生哲学を発見する49分のトーク・ドキュメント。コロナ禍で前半はアンコールが多かったが，新撮パートを付け足し単なる再放送にならないよう工夫。「鈴木敏夫×津野海太郎」のようなビッグ対談や「藤原聡×古沢良太」「高橋一生×中村拓志」といった若者に支持される著名人が登場。「佐野元春×吉増剛造」では，現代詩の朗読など，バラエティーに富んだ演出とラインナップで放送した。
▶語り：六角精児，平岩紙／第2制作ユニット（文化），NED

『u＆i』

水　9:00〜 9:10

第1回18.10.10／身体障害や発達障害のある子や外国人の子どもなど，マイノリティーの特性を知り，理解を深める対話劇。20年度は，特別支援学級や聴覚障害などをテーマに新作4話を放送。妖精のシッチャカ，メッチャカと対話をしながら，障害のある子の特性を知り，より良い関係を築いていく心を育んだ。共生をテーマにした東京オリンピック・パラリンピック教育として活用された。
▶声の出演：伊野尾慧，きゃりーぱみゅぱみゅ，笹野高史／動画配信／第1制作ユニット（教育・次世代）

『Why！？プログラミング』

（前期）　月　15:30〜15:40
（後期）　月　10:05〜10:15

第1回17.4.5／小〜中学生を主な対象としたプログラミング教育番組。プログラミングの楽しさやコツを伝えるとともに，MITが開発したスクラッチを使い，実際にウェブでプログラミングを楽しめるようにした。
▶出演：厚切りジェイソン／声の出演：日髙のり子，IKKAN／操演：川口英子，中山正子／動画配信／第1制作ユニット（教育・次世代）

五十音順

『アクティブ10　公民』

（前期）金　0:55〜 1:05

第1回18.9.28／現代社会が抱える問題を20のテーマで深く掘り下げていく，中学・高校の社会科（公民的分野）の番組。教科書の範囲を超えて，より「調べたい」「知りたい」と思う問いを投げかけた。
▶出演：岡崎体育，戸松遥（声）／動画配信／第1制作ユニット（教育・次世代）

『アクティブ10　プロのプロセス』

（前期）木　15:30〜15:40
再 金　1:05〜 1:15

第1回19.9.27／中高生向けの情報活用能力を養う番組。社会で活躍するプロたちが「課題の見つけ方」「情報の集め方」「分析のしかた」，そして「まとめた内容を表現するテクニック」などを伝授する。
▶出演：チョコレートプラネット（長田庄平，松尾駿）／動画配信／第1制作ユニット（教育・次世代），NED

『アクティブ10　マスと！』 新

（後期）金　0:55〜 1:05
再 金　15:30〜15:40

第1回20.9.25／中高生向け数学の番組。数学的に考えることの大切さ，楽しさを感じてもらい，生きるためにマストな数学力を身に付ける。日常生活の中に“数学”を見いだす「MATHのある風景」コーナーもある。
▶動画配信／第1制作ユニット（教育・次世代），NED

『アクティブ10　ミライのしごとーく』

（前期）金　15:30〜15:40
（後期）金　1:05〜 1:15

第1回19.12.6／中高生向けキャリア教育番組。1つの仕事について，前編では「楽しみ・やりがい」を紹介し，後編では「これから求められる力」を考える，2話セットの番組。情報収集マシーンのKAZUが，さまざまな業界で働く大人たちに会って情報を集めていく。
▶声の出演：カズレーザー／動画配信／第1制作ユニット（教育・次世代），NED

『アクティブ10　理科』

（前期）金　0:45〜 0:55

第１回19.9.27／21年度から中学校で実施される新学習指導要領に対応した理科教育番組。考える材料を提示するが，答えは示さない。自ら課題を発見し，仮説を立て，実験を立案する。さらにその結果を多面的に考察し，妥当性のある結論にまとめるという，教室での探究活動をサポートした。
▶ナレーション：梅原裕一郎，早見沙織／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『アクティブ10　レキデリ』　新

（後期）金　0:45～ 0:55
再 木　15:30～15:40

第１回20.9.25／中学校社会科（歴史分野）の番組。歴史デリバリー「レキデリ」が運ぶ資料を活用することで，歴史に対して疑問を見いだし，探究する。「江戸幕府はなぜ長続きしたのか？」「ヤマト王権はどうやって権力を広げた？」など。「探究学習」のモデルとしても活用。
▶出演：東京03／ナレーション：関山美沙紀／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『あしたも晴れ！人生レシピ』

金　20:00～20:44
再 金　11:00～11:44

第１回17.4.7／人生の後半戦を迎え，「これからどう生きようか」と問い直す世代に，ヒントとなるさまざまな情報を届ける番組。スタジオに各分野の専門家や著名人を招き，健康，住まい，生き方など，幅広いテーマを取り上げた。コロナ禍の中，新しい暮らしの工夫や心構え，リラックス術やネット活用法など役立つ情報を紹介。病，ルーティン，震災といった社会問題も伝えた。
▶司会：賀来千香子，小澤康喬アナ／第３制作ユニット（ライフ），NED

『あそビーバー』

土　6:55～ 7:00
再 月　10:20～10:25
（最終）再 金　7:10～ 7:15

第１回19.4.6／家族や友だちと一緒に気軽にできる，さまざまな遊びを紹介。室内や公園など安全な環境でできる手遊びやおもちゃ作りなどに加え，20年度は「オンラインで楽しむ遊び」や「発達に障害があっても楽しめる遊び」を開発した。またEテレの幼児番組から遊びのヒントになる人気コーナーも取り上げ，週末を一緒に過ごす親子に遊びのアイデアを提供した。
▶第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『アニメ　SHIROBAKO』　新

（後期）月　22:50～23:15

第１回20.10.19，最終回21.3.29／コロナ禍等の影響による制作の遅れにより当初予定していた『不滅のあなたへ』が放送延期となったため，アニメ制作の現場を舞台に，働くことの意味や希望を描き，誰もが共感できるお仕事ものとして評価の高い本作を放送した（全24話）。
▶監督：水島努／シリーズ構成：横手美智子／展開戦略推進部，NEP

『アニメ　おさるのジョージ』

土　8:35～ 8:59

第１回08.4.5／世界中で半世紀にわたって，親から子へと親しまれてきた人気絵本『ひとまねこざる』『おさるのジョージ』（マーガレット＆H.A.レイ原作）を基に制作されたテレビアニメ。黄色い帽子のおじさんと一緒に暮らす，こざるのジョージが好奇心から毎回騒動を引き起こす。
▶展開戦略推進部，NEP

『アニメ　おじゃる丸』

水～金　18:00～18:10

第１回98.10.5／1000年前の世界から現代の月光町にやってきた妖精貴族の子ども「おじゃる丸」。“まったり”を合言葉にマイペースなおじゃる丸が，町に暮らす個性豊かな住人や子どもたちと毎回騒動を巻き起こすギャグアニメ。
▶原案：犬丸りん／監督：大地丙太郎／アニメーション制作：ぎゃろっぷ／展開戦略推進部，NEP

『アニメ　おしりたんてい』

土　9:00～ 9:20
再 木　18:55～19:15

第１回18.5.3／「フーム，においますね」「どんな事件も　ププッとかいけつ　いたします！」などユーモラスな独特の決めぜりふと「ひっさつわざ」で人気の，トロル原作の大ヒット児童書のアニメ化作品。20年度の新作はアニメオリジナルのエピソードも加えた第３シリーズ（全13話）。
▶声の出演：三瓶由布子，齋藤彩夏ほか／展開戦略推進部，NEP

『アニメ　きかんしゃトーマス』

日　17:30～17:50

第１回12.4.8／世界的人気を誇る「きかんしゃ

トーマス」のテレビシリーズ。イギリスのウィルバート・オードリー牧師が，病気の息子を楽しませるために語り聞かせたお話が基になって生まれた『汽車のえほん』を原作に，最新のCGを使ってアニメーション化。架空のソドー島を舞台に，青い機関車のトーマスと仲間たちが活躍。
▶国際共同制作：NHK, NEP, Gullane(Thomas) Ltd.／展開戦略推進部

『アニメ　銀河英雄伝説　Die　Neue　These』 新

（前期）月　22:50〜23:15

第１回20.4.6，最終回20.9.14／はるか未来の宇宙を舞台に終わることのない戦争を描く大長編SF小説が原作。18年から新たにアニメ化されたシリーズのオープニング／エンディングを新作しNHK版として放送した（全24話）。
▶原作：田中芳樹／監督：多田俊介／シリーズ構成：高木登／声の出演：宮野真守，鈴村健一ほか／展開戦略推進部，NEP

『アニメ　ざんねんないきもの事典』

土　10:45〜10:50
再 日　19:25〜19:30

第１回19.10.10／「アライグマは食べ物をあらわない」など，いきものの“ざんねん”な一面を紹介する人気の児童書「ざんねんないきもの事典」シリーズを基にしたショートアニメ。いきものの「残念」なところにあえてスポットを当てることで，いきものたちに愛着がわき，好きになり，なおかついきものたちの進化の過程を知ることができる。気楽に楽しめる知的エンターテインメントアニメ。
▶アニメーション制作：ファンワークス／展開戦略推進部，NEP

『アニメ　少年アシベ　GO！GO！ゴマちゃん』

（前期）土　9:20〜 9:29

第１回20.4.4，最終回20.9.26／小学１年生のアシベとゴマフアザラシのゴマちゃんが，家や学校，近所の愉快な人たちと繰り広げる楽しい毎日を描いたアニメ作品。20年度は過去４年間に放送されたものの中から，よりすぐりをアンコール放送した。
▶第１制作ユニット（教育・次世代）

『アニメ　スポンジ・ボブ』

土　18:00〜18:24

第１回17.4.8／架空の海底都市ビキニタウンを舞台に，海綿生物のスポンジ・ボブと仲間たちの愉快でお気楽な日々の生活を描くコメディー・アニメーション。
▶展開戦略推進部

『アニメ　つくもがみ貸します』

水　19:25〜19:50

第１回20.9.30，最終回20.12.16／18年度の総合で放送されたシリーズの再放送。損料屋を営む姉弟と「つくもがみ」と呼ばれる妖怪たちが出会う騒動や事件を描く。お客の元に貸し出されては，いろいろな話を聞いて来てうわさ話を繰り広げる「つくもがみ」たち。お紅と清次は，そんな「つくもがみ」たちの力を借りながらこの町で起こる大小さまざまな騒動を解決していく（全12話）。
▶展開戦略推進部

『アニメ　忍たま乱太郎』

月〜金　18:10〜18:20

第１回93.4.10／「忍たま」とは，忍者のタマゴのこと。先祖代々のヒラ忍者の家に生まれた乱太郎は「忍術学園」に入学。同級生のきり丸，しんべヱとともに立派な忍者になることを目指すが，授業も試験も失敗ばかりする。戦国時代の忍者学校を舞台に，乱太郎が風変わりな同級生やユニークな先生たち，そしてちょっと手ごわい，くの一組と繰り広げる波乱万丈の学園生活を描くギャグ・アニメ。
▶原作:尼子騒兵衛／監督:河内日出夫／アニメーション制作：亜細亜堂／展開戦略推進部，NEP

『アニメ　ねこねこ日本史』 新

水　18:45〜18:54

第１回20.4.8／みんなが知っている歴史上の人物が猫になって登場する『ねこねこ日本史』。５期目は歴史上の人物を防災や萌え，ファッションなどユニークな視点から取り上げた。自由気ままな猫たちによるほのぼの感もあり，ゆるーく歴史を学べる内容となった。
▶声の出演：山寺宏一，小林ゆう，ほか／第１制作ユニット（教育・次世代）

『アニメ　はなかっぱ』

月〜金　7:15〜 7:25
再 月〜金　17:25〜17:35

第１回10.3.29／緑いっぱいのやまびこ村に，頭に花が咲いているかっぱの家族が住んでいる。主人公の「はなかっぱ」が咲かせる花の中でも，

若返りの花と伝えられている「わか蘭」を狙って，黒羽屋蝶兵衛一味がやって来て村はいつも大騒ぎ。やまびこ村での「はなかっぱ」とその家族・友達らが織り成す面白くも温かい日常を描いた。
▶監督：のなかかずみ／第１制作ユニット（教育・次世代），はなかっぱ製作委員会

『アニメ　ヒックとドラゴン：新たな世界へ！』 新

（後期）日　19:00～19:23

第１回20.11.15，最終回21.3.28／心やさしいバイキングの少年ヒックと，かつて最強最悪のドラゴンとして人々に恐れられたトゥースのコンビとその仲間たちが，脱獄した宿敵ダガーを追って“ドラゴン・アイ”というミステリアスな筒型の物体を見つけたことから新たな冒険が始まる（全26話）。
▶展開戦略推進部

『アニメ　ふしぎ駄菓子屋　銭天堂』 新

（後期）火　18:45～18:54
再 土　9:20～ 9:29，17:25～17:34

第１回20.9.8／累計発行部数115万部（20年９月時点）の児童書『ふしぎ駄菓子屋 銭天堂』シリーズのアニメ化。駄菓子屋・銭天堂を舞台に描く，ちょっぴり怖い物語。登場人物はそれぞれ悩みや欲望を抱えていて，銭天堂で思いにぴったりの駄菓子を買うが，幸運になるか不幸になるかはその人次第…。虫歯を他人にうつす「虫歯あられ」，家にお化けが住みつく「ホーンテッドアイス」など，魅惑の駄菓子とストーリーで小学生をはじめとする子どもたちに見られた。
▶出演：池谷のぶえ，片山福十郎，榊原良子ほか／第１制作ユニット（教育・次世代）

『アニメ　ボス・ベイビー』

（前期）金 18:55～19:18

第１回19.10.6／見た目は赤ちゃんなのに中身はビジネスマンのボス・ベイビー。仕事は赤ちゃんの人気を高めることだが，さまざまなトラブルに見舞われる。同僚の赤ちゃんと一緒にボス・ベイビーが問題解決に挑む（全26話）。
▶展開戦略推進部，NEP

『アニメ　魔入りました！入間くん』

（前期）水　19:25～19:50

第１回20.4.1，最終回20.9.2／19年度にEテレで放送したシリーズの再放送。西修の人気漫画をアニメ化。ひょんなことから魔界に連れ去られたお人よしの少年・鈴木入間は人間であることを隠し悪魔学校に通うことに。個性豊かな悪魔たちに囲まれ波乱万丈な学園生活が始まる（全23話）。
▶声の出演：村瀬歩，木村良平，朝井彩加ほか／アニメーション制作：BNピクチャーズ／展開戦略推進部，NEP

『アニメ　メジャーセカンド　2』 新

（前期）土　17:35～18:00

第１回20.4.4／メジャーリーガーの父（吾郎）を持つ主人公・茂野大吾と親友の佐藤光，佐倉睦子たちの友情を描いた前作（第１シリーズ）から２年。中学２年生になった大吾と睦子は私立風林中の野球部に。ところが先輩の多くが抜け，残されたメンバーは個性的な女子ばかり。クセの強い新入生たちもやってきて…。山あり谷ありの中学野球部ライフが幕を開ける（全25話）。
▶アニメーション制作：オー・エル・エム／展開戦略推進部，NEP

『アニメ　もっと！まじめにふまじめ かいけつゾロリ』 新

（前期）日　19:00～19:25
（後期）金　18:55～19:20

第１回20.4.5，最終回21.3.26／児童書シリーズのロングセラーを原作に，13年ぶりにアニメ化した新シリーズを放送。いたずらの王者をめざすゾロリが弟子のイシシ・ノシシとともに冒険を繰り広げる，ギャグたっぷりのストーリー。アニメオリジナルキャラクターも登場（全25話）。
▶原作：原ゆたか／監督：緒方隆秀／声の出演：山寺宏一ほか／展開戦略推進部，NEP

『アニメ　ラディアン２』

（後期）土　17:35～18:00

第１回20.11.14，最終回21.4.10／19年度にEテレで放送したシリーズの再放送。魔法使い見習いの少年・セトが，人々に災いをもたらす怪物「ネメシス」に立ち向かう冒険ファンタジーの第２シリーズ。ネメシスの巣“ラディアン”を探すために向かったシファンディールで，セトは魔法騎士志願者の少女・オコホと出会う（全21話）。
▶監督：岸誠二／アニメーション制作：ラルケ／展開戦略推進部，NEP

『アニメ　ログ・ホライズン　円卓崩壊』 新

水　19:25～19:50

第１回21.1.13，最終回21.3.31／人気アニメシ

リーズ『ログ・ホライズン』の６年ぶりの新シリーズ。冒険者の結束の象徴「円卓会議」に決定的な危機が訪れる（全12話）。
▶声の出演：寺島拓篤ほか／展開戦略推進部，NEP

『アニメ　わしも』

月・火　18:00～18:10
再 日　7:45～ 7:55

第１回15.1.5／大好きだった祖母が亡くなり悲しんでいたひよりちゃんのために，お父さんが作ったおばあちゃん型ロボット「わしも」。ちょっとヘンテコな機能を持ったロボット「わしも」が家族に加わったことで，ひよりちゃんと家族たちは毎回騒動に巻き込まれる。「わしも」と周りの人たちとの日常をユーモラスに描くアニメ。
▶原作：宮藤官九郎，安齋肇／監督：川瀬敏文／アニメーション制作：スタジオディーン／展開戦略推進部，NEP

『アラビーヤ・シャベリーヤ！』

火　0:25～ 0:50
再 金　5:30～ 5:55

第１回19.10.1／20年４～12月は19年度の再放送。21年１～３月は新作。アラビア語の“話し言葉”を学ぶ番組で，出演は俳優のサヘル・ローズ。“仮想現実のエジプト”を舞台に，カイロ，アスワンの２つの町のVTRを見ながら現地の話し言葉を学んだ。また，第６・12課は「おさらいの回」とし，前５回のキーフレーズを復習するコーナーを放送。
▶出演：（４～12月）金子貴俊，花沢ウライヤ，（１～３月）サヘル・ローズ，サメー・リファット／講師：（１～３月）師岡カリーマ・エルサムニー（早稲田大学ほか講師）／テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『囲碁フォーカス』

日　12:00～12:30
再 金　15:00～15:30

第１回12.4.8／囲碁講座と囲碁界のさまざまな話題を紹介する特集が合体した総合情報番組。講座は初段を目指す級位者向けの内容。他に黒嘉嘉七段の初級者向けのミニレッスンがある。
▶講師：平田智也七段（４～９月），鶴山淳志八段（10～３月）／司会：稲葉かりん初段／テキスト発行／第２制作ユニット（文化），NED

『いじめをノックアウト』

金　9:50～10:00
再 土　11:30～11:40

第１回13.4.12／NHK初の「いじめのことだけを考える」教育番組。元AKB48総監督で歌手の高橋みなみさんがMC。20年度も，NHKいじめを考えるキャンペーンサイト「ハナシティ」と連動した番組や，SNS上で起こるいじめの最新事情に迫り，その対策を子どもたちとともに考える番組などを制作。子どもたちが自分なりに人間関係を構築していくためのサポートとなる教材として，学校関係者を中心に大きな支持を得た。
▶動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『いないいないばあっ！』

月～金　8:25～ 8:40
再 月～金　16:05～16:20

第１回96.10.7（BS2，96.4.1）／０～２歳児を対象に，赤ちゃんの感性に直接働きかける「映像」と「音」で構成した「乳幼児が初めて出会うテレビ番組」。20年度は身近な素材を使った工作コーナー「はるちゃんシアター」を新設し，おうち遊びのヒントを提供。親にとっては生活習慣のしつけや乳児との遊び方を知るうえで役立つ育児支援番組でもある。BS４K放送のため，番組４本を４K一体制作した。
▶出演：チョー，倉持春希，間宮くるみ，ほか／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『浦沢直樹の漫勉neo』　新

木　22:00～22:49

第１回20.10.1，最終回21.1.28／14年から不定期に放送してきた『漫勉』を『漫勉neo』として再始動。ふだんは立ち入ることのできない漫画家たちの仕事場にカメラが密着し，最新の機材を用いて「マンガ誕生」の瞬間をドキュメント。その貴重な映像をもとに浦沢直樹が同じ漫画家の視点から切り込んでいく。ちばてつや，岩本ナオ，すぎむらしんいち，星野之宣，諸星大二郎，西炯子，惣領冬実，坂本眞一の８人を取り上げた。
▶出演：浦沢直樹／ナレーション：葵わかな／コンテンツ開発センター，NEP

『ウワサの保護者会』

土　21:30～21:54
再 土　12:30～12:54

第１回15.4.2／子育てに戸惑い悩む親たちが，

尾木ママこと教育評論家の尾木直樹さんと語り合う。専門家も交えつつ，親同士の共感や実際の経験談が悩みの解決に導いた。20年は新型コロナウイルスの影響による「長期休校」や「教育格差」について一年間にわたって取材した。他にも「反抗期」や「不登校」「男らしさ女らしさ」など幅広く取り上げた。
▶出演：尾木直樹，小山径アナほか／第１制作ユニット（教育・次世代）

『えいごであそぼ　with　Orton』

月～金　6:45～ 6:55
再 月～金　17:10～17:20

第１回17.4.3／４～７歳を対象とした英語番組。アルファベットを読むときに出る「えいごの音」を題材とした実験道具を開発。舌・唇・あごなどの動きを視覚化し，英語の発音を子どもたちに分かりやすく伝える番組。20年度は，シットコムスタイルを取り入れ，難解な解説になりがちな発音のポイントを，より楽しく身につけられることを目指した。
▶出演：厚切りジェイソン，村山輝星，山田羽久利，三雲咲空ほか／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『えいごでがんこちゃん』

（前期）木　9:50～ 9:55
（後期）月　9:00～ 9:05

第１回15.10.9／小学校低学年の外国語活動向け番組。英語しか話せないペンギンの少年・リアンと，道徳番組でおなじみのがんこちゃんたちとの交流を通して，「違い」を認める心を育み，楽しい異文化コミュニケーション体験へといざなった。
▶脚本：押川理佐／音楽：比呂公一／声の出演：根本圭子，レニー・ハートほか／人形操演：川口英子，佐久間治ほか／人形美術：スタジオ・ノーヴァ／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『エイゴビート』

（５～11月）木　9:55～10:05
再 金　15:45～15:55

第１回17.4.6／英語のリズムを耳と体で感じる，小学３～４年生向けの英語教育番組。ドラマやゲームなど４つのコーナーで，短い英語表現をビートに乗せて紹介した。ドラマの舞台は，小学校の教室。番組キャラクター「ランディ」がビートに乗せて英語を話し始めると，クラスメートや先生がビートに合わせて英語を話し始める。身近な場面から英語に親しむ内容とした。
▶出演：栗原類（タレント）ほか／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『エイゴビート２』　新

（４～５月，11～３月）木　9:55～10:05
再 金　15:45～15:55

第１回20.4.2／リズムに乗って体を動かしながらキーフレーズを口ずさみ，楽しく英語を身に付ける番組。覚えたキーフレーズを使った子どもたちが体当たりで外国人との会話に挑戦するコーナーや，野菜のキャラクターたちが自然な会話の中でキーフレーズを話すアニメ，小学校の授業でよく使う表現を集めたエンディング音楽など，英語によるコミュニケーションの楽しさを実感できる内容とした。小学３～４年生向け。
▶出演：すみれ（女優，歌手）ほか／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『おかあさんといっしょ』

月～土　8:00～ 8:24
再 月～金　16:20～16:44
再　土　17:00～17:24

第１回59.10.5／２～４歳児の知的，感覚的，身体的な発達を助けることをねらいとしたセグメント形式の幼児向けバラエティー。お兄さん，お姉さんの歌のコーナー，ぬいぐるみ人形劇「ガラピコぷ～」，体操コーナーなどを中心に構成。新型コロナの影響で，子ども参加の収録やコンサートは中止。投稿動画での子ども参加や座ったままのユニバーサル版体操，スタジオライブ，プリンセス・ミミィコーナーのスペシャル番組などを放送した。
▶出演：花田ゆういちろう，小野あつこ，福尾誠，秋元杏月ほか／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『おかあさんといっしょ体操「からだ☆ダンダン ユニバーサル」』　新

（隔週）金　16:44～16:45

『おかあさんといっしょ』の体操「からだ☆ダンダン」のユニバーサル版「すわって からだ☆ダンダン」の１分バージョン。海の生き物の動きパート「海」版と，陸の生き物の動きがメインの「陸・宙」版の２つを交互に放送した。
▶出演：福尾誠，秋元杏月／第１制作ユニット（教育・次世代）

『お伝（つた）と伝（でん）じろう』

（前期）月　9:15〜 9:25

第１回13.4.8／小学３〜６年生の国語番組。日常の中で「あれ？　何かおかしいな」と感じるやり取りを，謎のコンビ「お伝と伝じろう」がドラマ仕立てで見せ，どうしたら伝わるのかを子どもたちに考えさせることでコミュニケーションスキルを学んだ。

▶出演：レ・ロマネスク，越冨幹人，丹羽絵理香，阿部考将，宍戸美和公ほか／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『おとうさんといっしょ　ミニ〜レオレオれーるうえい〜』

金　15:55〜16:00

第１回13.4.6，最終回21.3.26／BSプレミアム『おとうさんといっしょ』のミニ番組。故障ばかりの蒸気機関車が自慢の鉄道会社レオレオれーるうえいを舞台にした，歌あり笑いありのミニ番組。レオてつコンサートでは，大勢の友達の前で，シュッシュ，ポッポ，たいせい，ゆめ，パンタン駅長が歌と踊りを披露。そのほかに，シュッシュとポッポの漫才や全員で挑戦するゲームコーナーもあった。

▶出演：柳原哲也，野口かおる，木戸大聖，竹内夢，岩崎ひろし，ほか／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『オトッペ』

月〜金　8:40〜 8:45

再 月〜金　17:55〜18:00

再 日　7:40〜 7:50

第１回 17.4.3／“聴察”をテーマに，身の回りの音への興味を高める幼児向け番組。世界一のDJを目指す少女と音から生まれた不思議な生き物・オトッペが活躍するCGアニメ。実際に音を録音してキャラクターを作り出すスマートフォンアプリとの連動番組。民間５社との国内共同制作。

▶第１制作ユニット（教育・次世代），NED，博報堂，博報堂アイスタジオ，ロボット，東北新社

『オドモTV』

土　19:45〜19:55

再 土　6:35〜 6:45

第１回18.4.7，最終回21.3.27／子どもが作ったお話や絵，おもしろ写真や動画などを視聴者から募集。思わず笑ってしまうような，子どもの自由でむくな発想に，映画プロデューサー・作家の川村元気ら，当代屈指のクリエーターたちが真剣に向き合い，コンテンツに仕上げた。

▶出演：森山未來，岩井秀人，前野健太，が〜まるちょば，藤井亮，桑子真帆アナほか／第１制作ユニット（教育・次世代），NEP

『おばけの学校たんけんだん』

火　9:05〜 9:15

第１回19.4.9／幼稚園・保育所・小学１〜２年生向け生活科の番組。おばけの子どもたちが自然や学校，地域の人々とふれあう中でさまざまなことに気づき，後の教科で役立つ「見方・考え方」につながる資質や能力を養っていく。

▶声の出演：坂田おさむ／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『おはなしのくに』

月　9:05〜 9:15

第１回90.4.2／幼稚園・保育所・小学１〜３年生向けの国語番組。日本や世界の名作を，語り手が表情豊かに語る「語り聞かせ」の番組で，子どもたちの想像力を養い，読書習慣を育むことをねらった。18年度までは日本の名作を放送したが，20年度は世界の定番のおはなしを３本放送した。「シンデレラ」「にんぎょひめ」「赤ずきん」。

▶出演：明日海りお，大原櫻子，岸井ゆきの，ほか／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『おはなしのくにクラシック』

（後期）月　9:15〜 9:25

第１回12.4.9／小学３〜６年生向け国語番組。朗読番組『おはなしのくに』のスタイルを踏襲し，日本の古典作品の原文を朗読。その現代語訳をCGアニメに乗せて紹介したり，作品の背景を資料映像で解説したりすることで，子どもたちが古典の楽しさを味わうことをねらった。

▶出演：虻川美穂子（北陽）ほか／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『おもてなし　即レス英会話』 新

（前期）月〜木　23:20〜23:30

再 火〜金　10:15〜10:25

第１回20.3.30，最終回20.9.25／『おもてなしの基礎英語』からのリニューアル。英語で話しかけられたときに簡単な英語で即答できる力を「即レス力」と名付け，スタジオの生徒役を廃し，出

演者が画面に話しかけて視聴者と疑似対話する演出に挑戦。月～水曜は外国からのお客様に対応する場面のドラマを使って１フレーズずつ学習。体を動かして英語らしいリズムを学ぶ発音スタジオや，視聴者に発話を促すワークアウトなど独自の学習メソッドを展開。木曜はその週の表現の復習回とした。
▶出演：高山芳樹，ハリー杉山，アダムス亜里咲／第１制作ユニット（教育・次世代）

『おんがくブラボー』

（前期）火　15:30～15:40

第１回15.10.7／音楽を楽しみながら学べる小学３～６年生向けの番組。毎回，音楽科の４つの分野（器楽・歌唱・音楽づくり・鑑賞）から１つテーマを取り上げ,「演奏」や「音楽の聴き方」のコツを紹介した。また，図形楽譜を使って「音楽の仕組み」を視覚的に分かりやすく伝えた。
▶司会（声）：山本シュウ／出演：白鳥久美子（たんぽぽ），富沢そら，加瀬ひなた，スギテツ／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『オン・マイ・ウェイ！』

（前期）金　9:30～ 9:40

第１回15.10.9／小学５～６年生・中学生の道徳の番組。毎回，いろいろな困難に立ち向かう挑戦者たちを取り上げ，彼らが何を考え，どう行動したのかを追ったドキュメンタリー。番組の最後では，ドキュメンタリーを受けた「生き方の問い」を投げかけ，子どもたちに自分だったらどうするか？　を考えてもらった。
▶出演：miwa／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『ガールズクラフト』

金　19:50～19:55
再 土　10:25～10:30

第１回14.4.2，最終回21.3.26／かわいいファッションアイテムの作り方を紹介するティーンのためのクラフト番組。人気モデルの“りんくま”こと久間田琳加が，CGキャラのラッピィの指導の下，作り方を実演する。アクセサリー作家やスタイリストが監修役を務め，誰でも簡単に作れるように工夫を凝らした。番組ホームページに動画を掲載し，放送後に視聴者が作り方を“おさらい”できるサービスを提供。コロナ禍においてはいち早く，Tシャツをリメークして縫わずに作るマスクの作り方を紹介した。NHKワールド・プレミアムでも放送（金　20:45～20:50）。
▶出演:久間田琳加，中村知子（声）／第３制作ユニット（ライフ），NED

『カガクノミカタ』

（後期）火　9:55～10:05

第１回15.3.31，最終回20.3.10／小・中学生を対象に能動的な学びに欠かせない“ふしぎ（問い）を見つける力”を育てる番組。アリの模型を作って,足の数や体のつくりなどふだん意識していないポイントを明確にし，実物と比べる中で「ふしぎ」を見つけることを促した。さまざまな「科学の見方」を迫力ある特撮映像を交えて紹介した。
▶ナレーション：ANI（スチャダラパー），今井暖大／アニメーション：ヨシタケシンスケ，森下裕介／歌：やくしまるえつこ／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『カテイカ』

（前期）水　9:50～10:00

第１回16.4.6／小学５～６年生向けの家庭科番組。子どもたちの“生きる力を高める”ことを応援する番組で，調理・裁縫・洗濯といった分野のプロの技を伝授するほか，科学の視点も織り交ぜて暮らしにアプローチした。また，生活の中にある家庭科を実践する小学生を紹介し，子どもたちのやる気を後押しした。
▶出演：えんどぅ／声の出演：沢城みゆき／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『カラフル！～世界の子どもたち～』

（後期）金　9:30～ 9:45

第１回09.4.2，最終回21.3.12／小学２～６年生「特活・総合・道徳」向けの教育番組。さまざまな子どもの生活や，日常の中で感じる悩みを子ども自身の一人語りでドキュメントし，「一人一人違った考えがあり，そのどれもが尊いこと」「世界にはさまざまな生き方や考え方があること」を伝えた。
▶動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『考えるカラス　～科学の考え方～』

（前期）火　9:55～10:05

第１回13.3.28／小学生～中高生を主な対象とした科学教育番組。科学の「知識」ではなく「考え方」を，歌やアニメーション，観察や実験のコーナーなどを交えて楽しく伝えた。
▶出演：蒼井優，市原尚弥／ナレーション：斎藤

工，山本晃士ロバート／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『基礎英語０　～世界エイゴミッション～』

土　18:50～19:00
再 木　10:05～10:15

第１回18.4.7，最終回21.3.27／簡単な英語表現を使ったミッションを子どもたちが解決していくドラマ仕立ての番組。世界の10代が参加する国際調査組織M.I.E.を舞台に，３人の子どもたちがその日の英語フレーズを駆使して奮闘する。カリキュラムは学習指導要領に対応。「英語フレーズ」「英語を読む」「英語を聞き取る」ためのコーナーで構成した。18年度の再放送。

▶出演：寺嶋慎太朗，シャイリー波輝，ブレンドン・ブルーほか／テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『キミなら何つくる？』

月　9:35～ 9:45

第１回14.4.9／小学５～６年生向けの図工番組。毎回テーマを取り上げ，図工が大好きな３人組が，自分の思いを込めた三者三様の作品を作っていく。決まった「正解」がない中で，自分の思いを表すための「発想・構想」の過程を大切に伝えた。また，技術的なポイントも紹介したほか，自分を表現する楽しさや友達の作品を鑑賞する楽しさ，作品を通して自分も相手も認め合える図工のすばらしさも伝えた。

▶出演：COWCOW，千野羽舞／声の出演：樋口太陽／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『きょうの健康』

月～木　20:30～20:45
再 月～木　13:35～13:50

第１回67.4.3／健康・医学の最新情報を医師や専門家が解説。20年度は，男性キャスターを変更。２人体制とし，どちらかが出演するスタイルとなった。「新型コロナ」やそれに伴う心の不調，注意が必要な基礎疾患など関連テーマを数多く扱った。専門家のリモート出演も行った。

▶出演：永井伸一アナ，白鳥哲也，岩田まこ都／テキスト発行／第３制作ユニット（科学），NED

『きょうの料理』

E　月～水　21:00～21:25
再 月～水　11:00～11:25
G　（前期）金　10:15～10:40
（後期）金　11:05～11:30

第１回57.11.4／20年度で放送63周年。日々の献立作りに役立つレシピを土井善晴，栗原はるみなど著名な料理研究家や料理人を講師に迎えて紹介。20年度新企画としては，ジャムや保存食作りの楽しさを伝える「手仕事12か月」，管理栄養士監修で食から健康を目指すレシピを紹介する「いまどきヘルシー」，人気の料理研究家が全国各地の食材から新たなレシピを生み出す「食旅」など，さまざまな視聴者ニーズに応える企画を発信。

▶司会：井田香菜子・畠山衣美・原大策・廣瀬智美アナ，後藤繁榮，谷原章介／テキスト発行／第３制作ユニット（ライフ），大阪拠点局，NED，NEP

『きょうの料理ビギナーズ』

E　月～水　21:25～21:30
再 月～水　11:25～11:30
G　（前期）火～木　10:40～10:45
（後期）火～木　10:45～10:50

第１回07.4.2／『きょうの料理』放送50年を記念に開始。料理の初心者向けにアニメーションのキャラクター・高木ハツ江が，料理の基本やコツを紹介。20年度もシンプルなメニューとコツを押さえた分かりやすい動画により，ビギナーに料理の楽しさを伝えている。季節感を生かした献立をはじめ，「電子レンジの活用」「喫茶店メニュー」「体にやさしいおうち中華」など，コロナ禍により「おうちでクッキング」を楽しむ視聴者のニーズに応えている。

▶ナレーション：佐久間レイ／テキスト発行／第３制作ユニット（ライフ），NED

『銀河銭湯パンタくん』

金　9:10～ 9:20

第１回13.4.12／小学１～２年生の道徳授業向けの人形劇。舞台は，人物と宇宙人が共生する2313年の日本。銭湯「銀河ノ湯」の息子・パンタが友達の宇宙人・パンキチと起こすさまざまな騒動をコミカルに描く。「特別の教科・道徳」のねらいを踏まえ，「いじめ」「いのち」「情報モラル」について考えるテーマを重点的に取り上げた。

▶脚本：角田貴志／音楽：竹内信次／声の出演：平尾明香，高木渉ほか／人形操演：友松正人，川口英子ほか／人形美術：スタジオ・ノーヴァ／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『クラシック音楽館』

（最終週を除く）日　21:00〜23:00

第１回13.4.7／N響定期公演を中心に，国内外のオーケストラによる注目の演奏会を届ける本格的な音楽芸術鑑賞番組。20年度はN響欧州ツアー・タリン公演を取り上げ，新型コロナウイルスの影響で収録ができなかった時期には音楽家のメッセージを伝える「いま届けたい音楽」などを放送した。またベートーベン生誕250年の20年は，枠内特集で稲垣吾郎MCによる企画を立ち上げ，全国の10のオケがベートーベンの全交響曲を演奏する「希望のシンフォニー」などNHK主催イベントも紹介した。ジャーナルな話題を取り上げた「ドキュメントα」では「コロナ禍の音楽文化を前に進めるプロジェクト」を取り上げた。

▶ナレーション：金子奈緒（フリーキャスター）／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『グレーテルのかまど　second　season』

Ⓔ　月　22:00〜22:24
再　月　10:25〜10:49
Ⓖ　（前期）　金　11:05〜11:29
（後期）　水　11:05〜11:29

第１回16.4.4／スイーツにまつわる心温まる物語を紹介する番組。毎回１つのスイーツについて，その菓子にゆかりある人物や場所，そして物語を紹介した。スタジオではオリジナルレシピやアレンジも紹介した。20年度は「ベートーベンのフルーツコンポート」や「フランス・ブルターニュのクイニーアマン」など，従来取り扱わなかった著名人にまつわるお菓子やその歴史をひもとく海外取材特集にも取り組んだ。「思い出のビスキュイ・ド・サヴォワ」では，リモート収録にも取り組んだ。

▶出演：瀬戸康史／ナレーション：キムラ緑子／第３制作ユニット（ライフ），NED

『芸人先生　シーズン３』

（４〜８月）火　22:50〜23:19

第１回20.5.19，最終回20.8.18／漫才，コントは「究極のコミュニケーション術」であり「ビジネスの現場で使える○○」をテーマに展開。日本を代表するさまざまな業種の企業に芸人が赴き，己の話芸，発想術をビジネスに置き換え特別講義を行った。毎回カリスマ営業コンサルタントの和田裕美氏を解説に置き「真に社会で役立つスキル」であることを証明した。新型コロナの影響で３月31日初回から７週目まではシーズン２の再放送とした。５月19日放送から各企業にリモートで講義を行い放送した。

▶解説：和田裕美／ナレーション：秋元真夏（乃木坂46）／コンテンツ開発センター，NEP

『ゲームシェイカーズ　シーズン３』　新

金　19:25〜19:48

第１回21.2.5，最終回21.5.28／アメリカの人気シチュエーションコメディー（シットコム）の第３シーズン。ニューヨークのブルックリンに住む中学生，ベイブとケンジーは，クラスメートのハドソンを誘って，ゲーム制作会社「ゲームシェイカーズ」を立ち上げる。ラッパー・ダブルGと息子のトリプルGもストーリーを盛り上げる。花澤香菜始め，人気声優を起用し10〜20代のファンを狙った（全17回）。

▶出演：クリー・チッキーノ（声：花澤香菜），マディシン・シップマン（声：釘宮理恵），トーマス・クーク（声：下野紘）ほか／展開戦略推進部，NEP

『ゴー！ゴー！キッチン戦隊クックルン』

月〜金　17:45〜17:55

第１回15.3.30／キッチン戦隊クックルンとなった３人の小学生，アユ・コムギ・フキノスケが，地球を狙うイジワルな悪の軍団・ダークイーターズに立ち向かう。怪人を倒す必殺技は，料理を作って食べることで放たれる「まんぷくビーム」だ。ユーモアたっぷりのアニメとスタジオで，料理の楽しさや「食」の知識を伝えた。

▶出演：川瀬翠子，垂水文音，森田拳ほか／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『こころの時代〜宗教・人生〜』

日　5:00〜 6:00
再 土　13:00〜14:00

第１回82.4.11／さまざまな宗教が説く人の生き方や，大きな困難を乗り越えた人の言葉を手がかりに，心の在りようを深く模索するインタビュー中心の番組。仏教やキリスト教，イスラム教などの宗教関係者はもとより，医師，作家，外国人支援の活動家，歌人，考古学者，画家など，現代の苦悩と向き合う人々に独自の人生観を伺った。月1×6回シリーズ「それでも生きる　旧約聖書・コヘレトの言葉」（出演：東京神学大学教授・牧師　小友聡，批評家・随筆家　若松英輔）を放送。コロナ禍で，第１回を４月に放送後，

延期となり，11月から翌年３月にかけて第２回以降を放送した。
▶第２制作ユニット（文化），大阪拠点局，NHKプラネット

『ココロ部！』

（後期）水　9:20～ 9:30

第１回15.4.10／小学５～６年生・中学生向けの道徳番組。20年度は，10話をリニューアルして放送。「ココロ部」のコジマが，人生の選択を迫られるピンチに遭遇し，部長カンガエールと話し合いながら，どう対処したらいいかを考えていくシチュエーションドラマ。毎回，結論を出さずに終わることで，教室の生徒たちに自分だったらどうするか？　を考えてもらう機会を作った。相手の気持ちを想像する力，場に応じてより良い関係性を築く力を育むことをねらいとした。
▶出演：児嶋一哉／声の出演：玄田哲章／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『ごちそんぐDJ』

土　10:40～10:45
再 日　18:55～19:00

第１回14.3.29／食の楽しみをラップで伝える『ごちそんぐDJ』。20年度はステイホーム中に家族や仲間と料理をいっしょに作って楽しむ料理をテーマに，「手のひらミルクレープ」「相席玉子焼き」「赤の他人丼」「みんなでメンチ」「家族のマスタースープ」「ぎゅうぎゅうバゲット」を制作，放送した。
▶出演：DJみそしるとMCごはん，ほか／展開戦略推進部，NED

『古典芸能への招待』

（最終）日　21:00～23:00

第１回13.4.28／能狂言・文楽・歌舞伎の名舞台を２時間じっくり楽しむ番組。能：香川靖嗣「湯谷」，舞囃子：友枝昭世「田村」，狂言：野村萬斎「茸」，歌舞伎：尾上菊五郎「人情噺文七元結」ほか。
▶案内：中川緑アナほか／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），大阪拠点局，NEP

『ことばドリル』

月　9:25～ 9:35

第１回14.4.7／小学１～２年生向けの国語番組。「初歩の読み・書き」を，劇団ヨーロッパ企画のコント劇を通して楽しく学んだ。さらに番組と連動したドリル（ゲームやクイズ）に取り組むことで，文法や文章表現といった「言語ルール」をしっかりと身に付けてもらうことをねらった。
▶出演：ヨーロッパ企画／声の出演・歌：かとうけんそう／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『子ども安全リアル・ストーリー』

（前期）火　15:30～15:40

第１回18.4.9／子どもたちに自分の身を守る方法を分かりやすく伝える番組。実際に起きたケースを織り交ぜ，再現ドラマで紹介。リアルなドラマで体感しながら，どういうことが危険につながるのか，何に気をつければ未然に防止できるのか，分かりやすく解説した。
▶出演：芦田愛菜，IKKAN／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『こども手話ウイークリー』

日　17:50～18:00

第１回98.4.10／聴覚に障害のある子どもたちを対象にした番組。新型コロナウイルスや菅総理大臣の就任，アメリカの政権交代など難しいニュースを子どもたちにも分かりやすく伝えた。はやぶさ２の成功については，JAXAのろうの職員にチームズで行った独自インタビューも交えて伝えた。アニメ『鬼滅の刃』やおもちゃのAEDなど子どもたちの身近な話題も取り上げた。キャスターはいずれもろう者。
▶出演：河合祐三子，工藤咲子／ニュース制作部

『コノマチ☆リサーチ』

水　9:10～ 9:20

第１回17.4.5／小学３年生向けの社会科番組。架空のまちを舞台に，漫画家のハジメと宇宙人のズビが，まちに出かけ，地域の特徴や働く人びとの姿を調べてイラストや地図を作り，まとめる。初めての社会科学習の手本として浸透。
▶出演：岸田メル，久野美咲（声）／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『コレナンデ　サンデー』

日　7:00～ 7:10

第１回18.4.8／雑貨店を舞台にした子ども向け音楽パペットバラエティー『コレナンデ商会』の日曜版。『コレナンデ商会』で制作するバラエティー豊かな楽曲をふんだんに盛り込み，サンデー独自のコンテンツも合わせて紹介した。

▶出演：川平慈英，えなりかずき，吉木りさ，北村岳子，阿澄佳奈ほか／音楽：塩谷哲／アートディレクション：藤枝リュウジ，ミロコマチコ／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『コレナンデ商会』

月～金　7:35～ 7:45
再　火　17:35～17:45

第１回16.4.4／人形と人間が出演する子ども向け「音楽パペットバラエティー」。たくさんのモノがあふれかえる雑貨店を舞台に，ユーモアたっぷりの物語と，物語にちなんだ歌が紹介される。見れば，「これなんで？」と子どもたちがついつい聞きたくなる。モノへの興味と，世界各国の音楽・リズムを楽しく伝える番組。

▶出演：川平慈英，えなりかずき，吉木りさ，北村岳子，阿澄佳奈ほか／音楽：塩谷哲／アートディレクション：藤枝リュウジ，ミロコマチコ／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『サイエンスZERO』

日　23:30～ 0:00
再 土　11:00～11:30

第１回03.4.9／科学技術の可能性と研究現場の情熱を伝える本格サイエンス番組。20年度は「新型コロナ」をテーマにした番組を４本制作。さらに，東日本大震災から10年という節目に「地震学」「津波防災」「原発」の３本シリーズで放送するなど社会性が強い題材を取り上げた。そのほか「命を救う数学」「超巨大雷」「カラス」など，幅広い最新研究を取材。「探検！国立天文台」ではロケ収録を実施，「小学生と迫る“生命誕生”のナゾ」など若年層をターゲットにした番組にも挑戦した。

▶司会：小島瑠璃子，森田洋平アナほか／第３制作ユニット（科学）

『さんすう刑事ゼロ』

月　9:55～10:05

第１回13.4.8／小学４～６年生の算数の番組。「さんすう課」に属するベテラン刑事・ゼロと新人刑事・イチが，算数を使って事件を解決するミステリードラマ。算数は机上の無味乾燥なものではなく，身の回りの物の中にあふれていて，日常の生活に役立つものだと伝えることで，算数に親しみを持ってもらう。毎回「事件の謎を解く」というスタイルを採ることで，子どもたちの学習への意欲をかきたてた。

▶出演：モロ師岡，加藤慶祐ほか／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『さんすう犬ワン』

月　9:45～ 9:55

第１回14.4.7／小学１～３年生の算数の番組。算数がとても得意な警察犬「さんすう犬」ワンが，街のお困りごとを解決する痛快コメディードラマ。算数を悪用してトラブルを引き起こす謎の怪人・カズラーを，さんすう交番の仲間とワンが算数の力でやっつける。カズラーの引き起こすトラブルは，数の数え方や測り方，計算のしかたなど，実際によくある間違い。子どもたちは，この間違いを一緒に解決していく中で，算数の本質的な考え方を学ぶ。算数と初めて出会う子どもたちに算数の楽しさを伝えた。

▶出演：スギちゃん，伊藤梨沙子，森大ほか／声の出演：小林ゆう，千葉繁／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『365日の献立日記』

火　22:45～22:50
再 日　8:55～ 9:00

第１回19.4.2／毎日のごはん作りの悩みを解決する献立をほっとする映像で紹介。昭和の名脇役と呼ばれた沢村貞子さんが26年半続けた献立日記を基にフードスタイリスト・飯島奈美さんが料理する。20年度は春「いちごソース」，夏「しゅうまい」，秋「ドラやき」，冬「ねぎま鍋」など美しい映像，リアルな調理の音で，季節感たっぷりに伝えた。

▶ナレーション：鈴木保奈美／出演：飯島奈美／コンテンツ開発センター，NED，テレコムスタッフ

『しぜんとあそぼ』

火　15:45～16:00
（隔週）再 金　10:00～10:15

第１回90.4.4／幼児向けの自然・環境番組。さまざまな生き物の表情や生態をじっくり見せることによって，自然界の営みの不思議さや，生命のすばらしさを身近に感じとってもらうのがねらい。20年度はこれまで制作した中からアーカイブス放送。

▶第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『視点・論点』

E　月～水　13:50～14:00
G　（前期）火～木　3:50～ 4:00

（後期）火〜木　4:40〜 4:50

第１回91.10.7／政治や経済から文化まで，さまざまなテーマを専門家や有識者がみずからの言葉で語るオピニオン番組。各界の第一人者はもちろん，20年度は新型コロナウイルス関連の第一線の現場の識者も積極的に招へいした。20年度は感染防止のためリモート収録に切り替えたが，逆に海外や遠隔地在住でめったにインタビューできない人にも語ってもらうことができた。周防正行「再審のルールづくりを」(4.22)，小熊英二「“日本型雇用”を考える〜国際比較、問題点、そして未来〜」(6.2)，片田敏孝「今考える　災害時の避難」(6.10)，コルビン大塚麻衣「新型コロナウイルス　今ニューヨークは」(6.23)，マコトフジムラ「ブルックリンの交差点で〜デモとアート〜」(7.7)，佐藤康光「若手棋士の台頭と将棋界の展望」(10.5)，隈研吾「ポストコロナこれからの都市のあり方」(10.12)，高良倉吉「国民的な遺産としての首里城」(11.18)。

▶解説委員室

『しまった！〜情報活用スキルアップ〜』

（前期）木　9:10〜 9:20

第１回16.10.13／小学４〜６年生・中学生向け総合学習の番組。調べ学習に欠かせない情報活用能力を，「調べる」「まとめる」「伝える」の観点で分け，それぞれのスキルを高める。また，子役の「しまった隊」の活動を追う。

▶出演：デーモン閣下／ナレーター：玉川砂記子／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『社会にドキリ』　新

水　9:40〜 9:50

第１回20.4.8／小学６年生向けの社会科（公民分野）番組。新人研究員アッキーがミッションに取り組み，AIアシスタントのキリとともに，ふだん目に見えづらい政治や社会の仕組みを“見える化”する。

▶出演：中尾明慶，三瓶由布子（声）／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『シャキーン！』

（最終金を除く）月〜金　7:00〜 7:15

第１回08.3.31／登校前の小学生をシャキーン！と元気に目覚めさせる番組。「シャキーン！放送局」から，ここちゃん，はるか，ジュモクさん，ネコッパチが，「ものの見方を変える」をテーマに，クイズ，歌，アニメなどさまざまなコーナーを放送した。

▶出演：片桐仁，やついいちろう，太田瑚々，佐々木春樺ほか／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『シャシャっと！オハヨッシャ！』　新

（隔週）金　16:44〜16:45

第１回20.10.9／BSプレミアムで放送している『ワンワンパッコロ！キャラともワールド』のダンス体操コーナー「オハヨッシャ！」をシンプルにし，誰でも踊りやすい内容にして構成した１分ミニ番組。出演者の数や演出内容が異なる４本のバリエーションを制作した。

▶出演：小林よしひさ，上原りさ，ほか／第１制作ユニット（教育・次世代）

『週間手話ニュース』

土　11:40〜12:00

第１回95.4.8／聴覚に障害のある人などに向け最新のニュースに加え，１週間のニュースのエッセンスを伝える番組。ろうの映画監督による映画の話題や同じ監督が東日本大震災10年に合わせて製作した映画の話題，ろう学校のチームが聴者も参加する料理コンクールで優勝したことなど番組で独自に取材したニュースも伝えた。２人のろう者のキャスターが出演し，交代で担当。

▶出演：小野広祐ほか／ニュース制作部

『シュガー＆シュガー』　新

火　22:50〜23:19

第１回20.9.29，最終回20.12.15／ミュージシャンとして，また映像・ファッション・アートなどさまざまなカルチャーを横断して活躍するサカナクション・山口一郎が，音楽に対する固定観念を取り払い，新時代ならではの音楽の楽しみかたを見いだす“音楽実験番組”。

▶出演：山口一郎（サカナクション）ほか／第５制作ユニット（エンターテインメント）

『趣味どきっ！』

Ⓔ　月〜水　21:30〜21:54
再 月〜水　11:30〜11:54
Ⓖ　水・木　10:15〜10:39

第１回15.3.30／視聴者の暮らしを豊かに彩る趣味の数々を１テーマにつき，２か月８本シリーズ（例外あり）で紹介する番組。趣味の多様化に合わせ，さまざまなテーマを取り上げた。「北欧

スタイル」「シェフの休日」などライフスタイル提案シリーズや，「体幹バランス」など健康情報，幅広い趣味の「餃子（ぎょうざ）キングダム」や「筆ペンイラスト」など。ほかに「スマホ」「茶の湯」などの定番講座など。

▶テキスト発行／第３制作ユニット（ライフ），京都局，NED，NEP

『趣味の園芸』

日　8:30〜 8:55
再 火　10:25〜10:50
再 木　12:30〜12:55

第１回67.4.8／季節の草花，花木などをテーマに栽培テクニックを紹介。「万葉の花」を月１回のシリーズで放送。いにしえから愛された草花を万葉集の歌とともに紹介した。「まちをニワに」のシリーズは月１回７月まで放送し，９月からは「これ、かっこイイぜ！」を同じく月１回放送，ユニークなフォルムで人気上昇中の植物を取り上げた。ほか，コーナーで「花遊美」「万葉花のうた」「ボタニカル・らいふ」など。

▶ナビゲーター：三上真史／出演：滝藤賢一，村雨辰剛／語り：笠原留美，加賀美幸子／テキスト発行／第３制作ユニット（ライフ），NED，NEP

『趣味の園芸　京も一日陽だまり屋』

Ⓔ　日　8:25〜 8:30
再 木　12:25〜12:30
Ⓖ　（前期）月　10:40〜10:45
（後期）月　10:45〜10:50

第１回16.4.3／花と緑を暮らしに取り入れる楽しさを伝える園芸小話番組。京都の路地裏にある架空の園芸店を舞台とし，店内で売られている実物の植物とペープサート（紙人形）の登場人物を組み合わせた１話完結の物語。植物を巡る客と店主の物語の中に園芸知識を織り交ぜて紹介。

▶ペープサート操演および声の出演：劇団ヨーロッパ企画／テキスト発行／第３制作ユニット（ライフ），NED

『趣味の園芸　やさいの時間』

Ⓔ　日　8:00〜 8:24
再 木　12:00〜12:24
Ⓖ　月　10:15〜10:39

第１回08.4.4／１年を通して野菜作りを楽しく伝える趣味実用番組。原則月の第１・３週は新たに大沢あかねが出演し「あかね・太陽のベジ・ガーデン」で畑（地植え）の栽培，第２・４週は引き続き「もえのプランター菜園」を放送。実際に栽培しながら，失敗も含めリアルに伝えた。緊急事態宣言のため4月26日〜6月7日回は過去素材の再編集やリモート収録によって制作した。Gの再放送は後期（9.27）から木曜15時８分に，さらに１月から15時10分に移った。

▶「ベジ・ガーデン」出演：大沢あかね，杉浦太陽，講師：藤田智，語り：宮島史年／「プランター」出演：山口もえ，講師：深町貴子，語り：山口由里子／テキスト発行／第３制作ユニット（ライフ），NED

『将棋フォーカス』

日　10:00〜10:30
再 木　15:00〜15:30

第１回12.4.8／将棋ファンの棋力向上を目指す講座と将棋界のいろいろな話題を特集として紹介する将棋情報番組。前半は現役棋士を講師に迎えての「将棋講座」。後半では将棋界のタイムリーな話題を毎週紹介した。

▶講師：阿久津主税八段（４〜９月），稲葉陽八段（10〜３月）／司会：向井葉月（乃木坂46），高見泰地七段，都成竜馬六段／テキスト発行／第２制作ユニット（文化），NED

『知りたガールと学ボーイ』

木　19:40〜19:55
再 月　5:30〜 5:45

第１回19.4.4／中学１〜２年生レベルの“新感覚英会話番組”。出演者の３人が，外国人を相手に英語や外国の文化にまつわる気になることを調査する。そのリアルな調査VTRを見ながら，使える英語フレーズを講師が解説。クイズなどのミニコーナーも。

▶出演：ゆりやんレトリィバァ，ミキ（昴生・亜生）／講師：工藤洋路（玉川大学教授）／テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『新・ざわざわ森のがんこちゃん』

金　9:00〜 9:10

第１回15.10.9／幼稚園・保育所・小学１年生向けの道徳番組。舞台は人類滅亡後の地球。新世代恐竜の子ども・がんこちゃんが仲間たちと起こす騒動やさまざまな出来事を描く。「特別の教科・道徳」のねらいに合わせて，「いじめ」「いのち」「情報モラル」について考えるテーマを重点的に放送した。

▶脚本：押川理佐，赤尾でこ／音楽：比呂公一／

声の出演：根本圭子，野沢雅子ほか／人形操演：川口英子，清水正子ほか／人形美術：スタジオ・ノーヴァ／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『すイエんサー』

火　19:25～19:50
再 土　10:00～10:25

第１回09.3.31／一見難しそうな課題にリポーターの「すイエんサーガールズ」が体当たりで挑戦する番組。テーマは料理や運動，オシャレなどさまざま。科学の考え方が解決へのカギとなる。科学のナゾ解きをテーマにした公開収録も実施。
▶出演:いとうあさこ，横山だいすけ，伊吹吾郎，麻倉もも，雨宮天，夏川椎菜，すイエんサーガールズほか／第３制作ユニット（科学），NED

『すくすく子育て』

土　21:00～21:29
再 土　12:00～12:29

第１回03.4.11／育児ビギナーのパパ・ママに基本的な育児情報を提供する番組。０～６歳児の親を対象に,「仕事と子育ての両立」「熱中症対策」「シングル子育て」「メディアとのつきあい方」「コロナなどの感染症対策」などのテーマについて，視聴者から寄せられた疑問・悩みに答えた。
▶出演：鈴木あきえ，古坂大魔王／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『すたあと』　新

（前期）月・火　9:00～ 9:05
（後期）　火　9:00～ 9:05

『すたあと選』

（後期）　木　9:50～ 9:55

第１回20.4.6／幼稚園・保育所・小学１年生向け生活科の新番組。新１年生が学校生活を楽しく過ごせるようになる「スタートカリキュラム」のヒントが満載。友達作りに欠かせない自己紹介や，後の教科の学習につながる数・形・音に関するゲームなどを紹介する。
▶声の出演：坂田おさむ／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『すてきにハンドメイド』

E　木　21:30～21:54
再 木　11:30～11:54
G　（前期）火　10:15～10:39
（後期）金　15:08～15:32

第１回10.3.31／編み物，ソーイング，刺しゅうなど「ハンドメイド」の楽しさを伝える番組。国内外で活躍する講師たちが，番組のために考えたオリジナルの作品を紹介。コロナ禍において，「布マスクの作り方」の１分クリップを作成し，NHKの公式SNSなどで公開。
▶司会：洋輔，東尾理子，牛田茉友アナ／出演：宮川花子，奥野史子ほか／テキスト発行／第３制作ユニット（ライフ），大阪拠点局，NED，NEP

『ストレッチマン・ゴールド』

木　9:00～ 9:10

第１回18.10.11／特別支援（養護）教育向けの番組。“ストレッチマン・シリーズ”の番組。『ストレッチマン・ゴールド』では，学校に現れる怪人をストレッチ体操で倒す対決コーナーに加え，乗り物の乗り方・くつのはき方・防災の知識など，社会生活に必要なスキルを，地球のヒーローを目指すストレッチマン・ゴールドが習得する様子を描いた。スキルや知識を身に付けることにつながる遊びを紹介するコーナーや，学校に現れる怪人をストレッチ体操で倒す対決コーナーも放送。５月には新型コロナウイルスの感染対策について３回にわたって取り上げた。
▶出演：結城洋平，宇仁菅真，生駒里奈／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『世界にいいね！つぶやき英語』　新

（前期）金　21:30～21:55
再 土　6:00～ 6:25
再 金　10:25～10:50
（後期）木　22:50～23:15
再 金　10:25～10:50

第１回20.4.3／世界的なニュースや旬な話題を，世界の人たちはどんな思いで見つめているのか？　SNSへ投稿される“つぶやき”を英語で読み解くことで，新しい世界が見えてくる英語情報番組。「ネットいじめ」「米大統領選」「ブラック・ライブズ・マター」などのテーマ回は，投稿を通して現場の臨場感も伝わったと反響が大きかった。注目の映画監督へのインタビューも随時紹介した。
▶出演：太田光（爆笑問題），保里小百合アナほか／第１制作ユニット（教育・次世代）

『世界の哲学者に人生相談』

（前期）木　22:50〜23:19
再 水　10:25〜10:54

第１回20.4.2，最終回20.9.17／視聴者の身近なお悩みを世界の哲学者の考えについて議論しながら，解決のヒントを探る教養バラエティー番組。ゲストを１人迎え，トークを展開，物事の本質に迫っていく。新型コロナ対策で専門家のリモート参加など工夫した。

▶MC：高田純次，池田美優／専門家：小川仁志（山口大学教授）／ナレーション：守本奈実アナ／コンテンツ開発センター，NEP

『先人たちの底力　知恵泉（ちえいず）』

火　22:00〜22:43
再 火　12:00〜12:43

第１回13.4.2／歴史上の人物が課題や困難を克服するときに発揮したさまざまな知恵。それを，現代の第一線で活躍中のプロフェッショナル＝「仕事人」が読み解いていく歴史番組。四代目店主・新井秀和アナウンサーがユーモアを交えた仕切りで，仕事人の話を引き出し，居酒屋セットでのトークを展開した。テーマは「戦国の姫君」「江戸の危機管理」「コメ」など。関連番組として正月SP「女傑」。

▶司会：新井秀和アナ／第２制作ユニット（文化），NED

『ソーイング・ビー２』　新

（９〜３月）木　21:00〜21:30
再 水　12:25〜12:55

第１回20.9.10，最終回21.3.25／英BBCで放送された「裁縫バトル番組」の日本語版。イギリス全土からアマチュアの裁縫愛好家たちが集められ，番組から与えられた課題に取り組み審査される。３作品を作った後に，総合評価で“脱落者”が決まる。イギリスで一時は廃れた裁縫の新たな魅力を伝えるスタジオドキュメンタリー番組。

▶声の出演：小松由佳，四宮豪，庄司まり，ほか／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『大科学実験』

（後期）火　10:05〜10:15

第１回10.3.31／思わず見入ってしまう大規模な実験をスタイリッシュな映像で描く科学教育番組。NHKの撮影技術を駆使して決定的瞬間を撮影。自然の法則や科学の知識を実験によって検証した。

▶国際共同制作／一部動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『旅するイタリア語』

（前期）火　0:00〜 0:25
再 水　6:00〜 6:25

第１回16.10.4，最終回20.9.22／前期は19年度の再放送。後期は『旅するためのイタリア語』と改題しての新作放送。前期再放送は，旅をしながら言葉を学ぶシリーズの第４弾。シチリア島を舞台に，俳優の小関裕太さんがイタリア語教師のマッティーア・パーチさんと一緒に旅をしながらイタリア語を学んだ。

▶出演：小関裕太（俳優），マッティーア・パーチ（イタリア語教師）／監修：原田亜希子（慶応義塾大学非常勤講師）／テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『旅するスペイン語』

（前期）水　0:00〜 0:25
再 火　6:00〜 6:25

第１回16.10.5，最終回20.9.22／前期はシリーズの第４弾となる19年度の再放送を行った。旅人はミュージシャンのシシド・カフカさん。中学時代を過ごしたアルゼンチンを舞台に，スペイン語のステップアップを目指した。前半はブエノスアイレスでなじみの店を訪ねたり，子どもの頃に憧れた仕事を体験したりした。後半はアンデス文化が根づく北部へ。初めての景色や文化にふれながらスペイン語を学んだ。また毎月１回，スペインと中南米のことばの違いを紹介するコーナーを設けた。

▶出演：シシド・カフカ（ミュージシャン），サンティアゴ・エレーラ（NPO法人代表）／監修：福嶌教隆（神戸市外国語大学名誉教授）／テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『旅するためのイタリア語』　新

（後期）火　0:00〜 0:25
再 水　6:00〜 6:25

第１回20.9.29／前期は19年度『旅するイタリア語』の再放送。後期は『旅するためのイタリア語』と改題しての新作放送。コロナ禍のため現地ロケは行わず，渡辺早織さんが過去の『旅するイタリア語』の映像を見ながら，いつか現地を訪れる日のためにスタジオでイタリア語を学んだ。

▶出演:渡辺早織（俳優),マッテオ・インゼオ（イタリア語教師）／監修・出演：原田亜希子（慶応義塾大学非常勤講師）／テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『旅するためのスペイン語』 新

（後期）水　0:00〜 0:25
再 火　6:00〜 6:25

第１回20.9.30／後期はこれまで４年にわたって放送した『旅するスペイン語』を『旅するためのスペイン語』にリニューアル。いつか旅するときのために，旅先で役立つスペイン語を身に付ける語学講座として，文法を分かりやすく解説するとともに，行った気分で楽しめるスペイン語圏の映像を紹介した。また，数字や曜日などの単語をまとめて覚えるオリジナルソングを制作し，視聴者からの動画も募集した。

▶出演：伊原六花（俳優），エステル・モリナ（スペイン語講師）／監修・出演：成田瑞穂（神戸市外国語大学教授）／テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『旅するためのドイツ語』 新

（後期）月　23:30〜23:55
再 木　5:30〜 5:55

第１回20.9.28／後期は新作『旅するためのドイツ語』。コロナ禍でドイツロケが中止になったことを受けて，いつか旅する時のために，ドイツ語圏各地の美しい映像を堪能しながら，鹿の男の子のパペット人形キャラクター「モーリー」とともに旅で役立つ厳選キーフレーズを学ぶ内容。スキットアニメのほか，生徒役のJOYがドイツサッカーの有名選手や，ドイツ語圏の文豪の作品から，名言を味わい，発音するコーナーを放送した。４回に１回は１か月を振り返る復習回とした。

▶出演：JOY（タレント），綿谷エリナ（ラジオパーソナリティー）／監修：草本晶（麗澤大学准教授）／テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『旅するためのフランス語』 新

（後期）木　23:30〜23:55
再 月　6:00〜 6:25

第１回20.10.1／「フランスを旅したい」「現地の人びとと自分の言葉で交流したい」という視聴者のために，新シリーズを開講。いつかフランスを旅する日にすぐに役立つフランス語を厳選，旅感あふれる南フランスの映像満載でお送りする新感覚の語学番組「旅する“ための”フランス語」を学ぶ。

▶出演：須藤温子（俳優）／講師：西川葉澄（慶応義塾大学専任講師）／ゲスト:クロエ・ヴィアート（順天堂大学准教授），ジスラン・ムートンほか／第１制作ユニット（教育・次世代）

『旅するドイツ語』

（前期）月　23:30〜23:55
再 木　5:30〜 5:55

第１回16.10.3，最終回20.9.21／前期は19年度の再放送。旅をしながらドイツ語を学ぶシリーズの第４弾で，俳優の佐藤めぐみさんが，ドイツ語講師のブューラ・ロージさんをパートナーに，南西ドイツのフライブルクを中心とする黒い森地方や，スイスのバーゼルなどを旅した。鹿の男の子のキャラクター「モーリー」が登場するアニメで文法を解説。４回に１回は復習回で，佐藤さんがドイツ語を使って，与えられたミッションを独力で達成するというコーナーを放送した。

▶出演:佐藤めぐみ（俳優),ブューラ・ロージ（ドイツ語講師）／監修：草本晶（麗澤大学准教授）／テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『旅するフランス語』

（前期）木　23:30〜23:55
再 月　6:00〜 6:25

第１回16.10.5，最終回20.9.24／前期は19年度の再放送。旅をしながら現地の言葉を学ぶ第４弾で,旅人はバレエダンサーの柄本弾さん。トゥールーズとバスク地方を舞台に，体当たりの旅をしながらフランス語を学んだ。また,月の最後は「おさらいの回」とし，前３回のキーフレーズを復習するコーナーを放送。パートナーは，フランス語講師のティノ・ブルーノさん。

▶出演：柄本弾，ティノ・ブルーノ／監修：西川葉澄（慶応義塾大学専任講師）／テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『地球ドラマチック』

E　土　19:00〜19:44
再 月　0:00〜 0:44
BS４K（前期）　月　22:00〜22:44
再 火　17:00〜17:44
（後期）　月　21:45〜22:29
再 木　15:00〜15:44

第１回04.4.8／子どもから大人まで楽しめる良

質な海外のドキュメンタリー番組を放送。動物の親子や兄弟の愛情を感動的に描いた「ヒョウの女王　マライカ～サバンナのスーパーハンター～」「ライオンブラザーズ　王者への道」や古代文明や歴史の最新研究に迫った「神秘の都市　マチュピチュ～インカ帝国のミステリー～」「クレオパトラ　古代エジプト女王の素顔」，親子に人気の自然科学「ハッブル宇宙望遠鏡～宇宙の謎を探る30年の軌跡～」「小惑星探査プロジェクト～“アメリカ版はやぶさ”の挑戦～」，心温まるヒューマン・ドキュメンタリー「ヒマラヤの雪山を越えて～子どもたちの里帰り～」「小さなバイオリニストたち～弦が奏でる未来への輝き～」など。多様な世界を深く魅力的に伝えるドキュメンタリー番組。一部の番組は，４K一体化制作を行い，BS４K枠でも放送。

▶展開戦略推進部，NEP

『チョイス@病気になったとき』

土　20:00～20:44
再 金　12:00～12:44

第１回13.4.6／実際の患者の経験談を基に，病気の治療・対策や予防についてさまざまなチョイス（選択肢）を紹介する医療情報番組。夜間頻尿，緑内障，口の老化，シミ，歯の矯正，生活不活発病など，幅広いテーマを取り上げた。

▶出演：八嶋智人，大和田美帆，出田奈々・松田利仁亜アナほか／第３制作ユニット（科学），NED

『超能力ファミリー　サンダーマン　シーズン４』

土　18:25～18:48ほか

第１回19.4.26，最終回20.10.24／19.4.26～12.13に放送した番組の再放送。14年から放送が始まった『超能力ファミリー　サンダーマン』シリーズのファイナルシーズン。家族全員が超能力を持った一家で，スーパーヒーローとして闘ってきた両親が「普通の暮らし」をするため，超能力を封印することで起きる騒動を描いたシチュエーションコメディー（全32回）。

▶出演：キーラ・コサリン（声：桜庭ななみ）ほか／展開戦略推進部，NEP

『でーきた』

（前期）金　9:40～ 9:50

第１回16.4.5／幼稚園・保育所・小学１年生向けの特別活動番組。子どもたちに必要なマナー，集団行動などの社会的スキルを，分かりやすく自発的に学ぶ形にした。視聴しながら「できない」を見つけ，視聴後には自分の行動を振り返るきっかけになるよう制作した。

▶出演：加藤諒，荻野友里，田代輝，平澤宏々路，星流／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『テキシコー』　新

（前期）月　10:05～10:15
（後期）月　15:30～15:40

第１回20.4.6／小～中学生を主な対象としたプログラミング教育番組。さまざまな仕事や物の中にプログラミング的思考が生かされていることを伝えるコーナーやアニメーションで，コンピューターを使わずにプログラミング的思考を育めるようにした。

▶歌・出演：和牛（水田信二，川西賢志郎）／ナレーション：佐藤匡，山本晃士ロバート／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『デザインあ』

E　土　7:00～ 7:15
再 金　22:45～23:00
BSP　木　11:15～11:30

第１回11.4.2／子どもたちのデザイン的な視点と感性を育む番組。身の回りにあるさまざまなモノや仕組みを，「デザイン」の視点から見つめ直し，斬新な映像手法と音楽で表現した。第200回（2.27放送）は，番組のオリジナル楽曲をスタジオで生演奏するスペシャルライブを放送した。

▶総合指導：佐藤卓（グラフィックデザイナー）／映像監修：中村勇吾（インターフェースデザイナー）／音楽：コーネリアスほか／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『デザインあ　５分版』

月～金　7:25～ 7:30
再　木　17:40～17:45

第１回11.10.1／デザイン教育番組『デザインあ』からいくつかのコーナーを組み合わせて５分に再構成したミニ番組。14年度から朝のデイリー番組として放送。

▶第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『てれび絵本』

月～金　8:50～ 8:55

第１回03.4.7／子どもたちが愛する童話・絵本の世界を，創造性豊かな原画アニメ，音楽，ユニー

クな朗読で紹介し，「読み聞かせ」の持つ魅力を改めて伝えていく番組。17年度からは４Kでの制作も行っている。20年度は新美南吉の代表作「ごんぎつね」と「手袋を買いに」を取り上げ，作家・黒井健による繊細な色鉛筆づかいを高画質で鮮明に描き出した。

▶第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『テレビ体操』

Ⓔ 月～日　6:25～ 6:35

Ⓖ 月～金　14:55～15:00

第１回57.10.7／朝は10分間で「ラジオ体操第１」「ラジオ体操第２」「みんなの体操」「指導者オリジナルの体操」の組み合わせ。曜日ごとにテーマを決め，いすに座って行う体操や，ポイント解説なども加えた“見て，実践して，分かりやすい”体操を目指した。新春テレビ体操も制作。午後は５分間で，仕事や学業で少し疲れた体をほぐしてもらうため，月～水曜は「ラジオ体操第１」「ラジオ体操第２」「みんなの体操」を日替わりで放送。木曜は「オリジナルの体操」，金曜は「リズム体操」を実施。

▶体操指導：多胡肇，岡本美佳，鈴木大輔／ピアノ演奏：幅しげみ，加藤由美子，能條貴大／スポーツ業務管理部，Gメディア

『テレビで中国語』

火　23:30～23:55

再 木　6:00～ 6:25

第１回67.4.3（『中国語会話』08.3.31改題）／中国語に取り組む活動をする「チュウ活カフェ」で，簡単な表現を読んだり，書いたり，話したりと中国語を基礎から学習。チュウ活を応援する多彩なコーナーも。アプリ「声調確認くん」も引き続き展開。

▶講師：陳淑梅（東京工科大学教授）／出演：王陽，秋吉健吾，ロン・モンロウ，ただすけ／生徒役：稲葉友／テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『テレビでハングル講座』

水　23:30～23:55

再 金　6:00～ 6:25

第１回84.4.1（『アンニョンハシムニカ～ハングル講座』08.4.1改題）／「心結ぶ会話術　“聞く”“伝える”“深める”を磨こう！」がテーマ。生徒役の満島真之介が多くの練習問題や小テストを重ね，語学力を高めた。新型コロナの影響で，K-POPアイドルなどの来日が難しくなり，スキットやコーナー撮影を現地に依頼するなどして制作を進めた。

▶講師：チャン・ウニョン（津田塾大学講師）／出演：K，シン・ウィス，ホン・ヨンギ，JUNE，ソン・シギョン／生徒役：満島真之介／テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『天才てれびくんhello,』

月～木　18:20～18:54

第１回20.4.6／子どもたちだけが遊べる電脳空間「電空」を復活させるSFファンタジーのドラマをベースに，データ放送の機能を使って放送に参加できる幼児・小学生向け番組。小・中学生の出演者“てれび戦士”がさまざまな挑戦をする企画や，最新のCG技術を活用した生放送を展開。月～水曜の第２部（18:45～18:54）では，子ども向けお笑い番組「わらたまドッカ～ン」のほか，アニメ「ねこねこ日本史」「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」「ブレーカーズ」を放送。４月下旬～５月下旬は新型コロナウイルスの影響で，スペシャル企画「お家（うち）で何してる？」や過去の企画を再構成した傑作選を放送。

▶出演：みやぞん，てれび戦士ほか／第１制作ユニット（教育・次世代），NEP

『10min. ボックス』

（前期）水　15:30～15:40

（後期）火　15:30～15:40

第１回97.4.8／中学校，高校の授業で利用しやすい10分サイズの番組。地理，生活・公共を放送したほか，日本史，理科（１分野・２分野）を配信した。

▶動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『10min. ボックス　テイクテック』

（後期）水　9:50～10:00

第１回16.4.7／16.4.7～9.29に放送した番組の再放送。世の中にはどのような技術があって，それがどのように活用されているかを分かりやすく伝える番組。身の回りにある機械や電子機器をよく観察し，どんな仕組みで動いているのかを解説。そして，そこで使われているキーテクノロジーを取り上げ，その役割と効果を紹介した。また，工具の正しい使い方や，ロボットを動かすためのプログラミングの組み方など，技術を使いこなしていく力を育んだ。小学５～６年生・中学・高校

の技術に対応。
▶ナレーション：蛭子能収／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『ドキュランドへようこそ』

金　22:00〜22:49

第１回18.4.6／海外で制作された秀作ドキュメンタリーから，女性や若い世代向けの作品を購入，日本語版を制作して放送。「11歳、僕はゲイとして生きていく」「ひとりぼっちの私たち」「セルフポートレート　−拒食症を生きる−」「美しき宝物−親の死と向き合う子どもたち−」は，それぞれLGBT，女性，拒食症，遺児として生きづらさを抱える人が主人公の作品を放送。「マリー・アントワネット　最後の日々」など世界の市場で注目された良質な作品も放送。
▶展開戦略推進部，NEP，Gメディア

『ドスルコスル』

木　9:20〜 9:30

第１回17.10.12／小学３〜６年生・中学生向け総合的な学習の時間に対応する番組。現代社会の諸課題を提示して，調べ学習の活動の入り口へいざなう「どうする編」と，実際に課題に向き合う子どもたちの姿をドキュメントする「こうする編」の２話セットの番組。地域社会，環境，福祉，防災，国際理解などの分野を扱った。
▶声の出演：カンニング竹山，本田望結／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『なりきり！　むーにゃん生きもの学園』

土　7:15〜 7:30
再 木　15:45〜16:00

第１回15.4.4／生きものの魅力や自然の大切さを伝える番組。「生きもの学園」の生徒３人が，野山などで生きものを観察。その生態の意味を探るために，生きものに「なりきって」模倣する。この「なりきり」の体験が，動植物のメカニズム的不思議さや進化的驚きなどの実感的理解となる。これは知識偏重を避けた自然の学習方法。年に１〜２回実施するクイズ形式の復習により放送内容の定着も図っている。案内役は森の妖精・むーにゃん，ハラッパーノ先生というCGキャラクター。
▶出演：濱口優，山本匠馬，木内舞留／第３制作ユニット（科学），NED

『日曜美術館』

日　9:00〜10:00
再 日　20:00〜21:00

第１回76.4.11（97.4.6〜09.3.22は『新日曜美術館』，09.4.5改題）／古典から現代アートまで，美術の魅力を多角的に探る。「本編」（45分）は，作品だけでなく，作家の人生や思いに迫るVTR部分と，多彩なゲストのトークによるスタジオ部分で構成。後半の「アートシーン」（15分）では，話題の展覧会の最新情報をコンパクトに伝える。20年度は，新型コロナウイルス感染拡大の中で，「疫病をこえて　人は何を描いてきたか」（４月）を緊急制作し，「＃アートシェア　今こそ、見て欲しいこの一作」（５月）や「蔵出し絵画」シリーズ６本（６〜７月）で時代と響き合うアートの可能性を模索した。
▶司会：小野正嗣（作家・早稲田大学教授），柴田祐規子アナ／第２制作ユニット（文化），NED

『にっぽんの芸能』

金　23:00〜23:54
再 月　12:00〜12:54

第１回11.4.1／古典芸能の魅力を分かりやすく紹介する番組。能狂言・文楽・歌舞伎・日本舞踊・邦楽演奏など，第一線で活躍する実演家の芸を紹介。過去の名人を紹介する企画「蔵出し！名舞台」シリーズは継続，ミニコーナーは「人生に効く古典」や「日本舞踊体操」などを新しく制作。新司会は，歌舞伎俳優・尾上松緑に弟子入りし，古典芸能の世界に敬意と愛情を抱いている高橋英樹。
▶司会：高橋英樹，中條誠子アナ／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），大阪拠点局，名古屋拠点局

『にほんごであそぼ』

月〜金　6:35〜 6:45
再 月〜金　17:00〜17:10

第１回03.4.7／２歳から小学校低学年の子どもと親を対象に，日本語の豊かな表現に慣れ親しみ，楽しく遊びながら「日本語感覚」を身に付けてもらう番組。20年からヨシタケシンスケがキャラクターデザイン・脚本を担当する「あいだのじいさん」が登場。コンサートは無観客で実施した。
▶出演：美輪明宏，野村萬斎，神田山陽，竹本織太夫，桐竹勘十郎，中村勘九郎，うなりやべべん，藤原道山，白A，小錦八十吉ほか／監修：齋藤孝

／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『日本の話芸』

Ⓔ　日　14:00～14:29
再 月　15:00～15:29
Ⓖ　土　4:30～ 4:59

第１回91.4.5／落語・講談という「語り」を中心とした演芸の世界から，当代一流の演者による「話芸の粋」をたっぷり楽しんでもらう独演番組。
▶出演：柳家さん喬，柳家権太楼，春風亭昇太，三遊亭小遊三，三遊亭鳳楽，桂米團治，桂春若，笑福亭福笑，一龍斎貞水，神田松鯉ほか／第５制作ユニット（エンターテインメント），大阪拠点局，NEP

『ニャンちゅう！宇宙！放送チュー！』

Ⓔ　（第１～３）日　17:00～17:25
BSP　金　11:15～11:40

第１回18.4.8／『ニャンちゅうワールド放送局』をリニューアル。地球のおもしろさは宇宙一！　人気キャラクター“ニャンちゅう”が，地球マニアの宇宙人“タラスズ”や“ベラボラ”と一緒に，月の放送カーから，地球の情報をわかりやすく楽しく紹介する。おねんどお姉さん（岡田ひとみ）や，ダンス☆マンも登場。海外の子どもソフトも使用している。
▶出演：津久井教生，鎮西寿々歌，比嘉久美子ほか／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『ニャンちゅう！宇宙！放送チュー！ミニ』

木　17:35～17:40

第１回18.4.12／『ニャンちゅうワールド放送局ミニ』をリニューアル。地球の子どもたちの暮らしや文化の違いなど，楽しい情報をコンパクトに紹介するミニ番組。ニャンちゅう，タラスズ，ベラボラなど，『ニャンちゅう！宇宙！放送チュー！』のレギュラーが番組を進行。
▶出演：津久井教生，鎮西寿々歌，比嘉久美子ほか／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『沼にハマってきいてみた』

月～水　18:55～19:25

第１回18.10.1／アニメ，音楽，ゲーム…大好きな趣味やジャンルのことを若い世代は「沼」と呼ぶ。多種多様な沼にハマった10代の声から，その哲学や魅力を深掘りする番組。20年度は「吹奏楽沼」などコロナ禍で苦しむ中高生を応援する企画を放送し，ミニ番組にも展開した。NHKが開発したVRプラットフォームのキックオフとしてバーチャル学園祭「ヌマーソニック2020」を開催。VRを使ったイベント連動型番組の新たな形を提示した。『大河ドラマ』など人気番組とのコラボも行った。
▶出演：高橋茂雄，桜井日奈子，松井愛莉／ナレーター：小野寺一歩，伊東健人／第１制作ユニット（教育・次世代），NED，NEP

『猫のしっぽ　カエルの手・選』

（最終週を除く）日　18:00～18:29
再 土　5:30～ 5:59

第１回13.4.7（BSP09.4.5（DHV）～13.2.22）／四季折々，京都・大原の美しい山里で営まれる手作りの暮らしを美しい映像でつづるライフスタイル番組。主人公は英国貴族の家系に生まれたベニシア・スタンリー・スミスさん。築100年にもなる古民家での暮らしぶりをはじめ，庭や畑でハーブなど植物を育て生活に役立てるノウハウを紹介。ベニシアさんが英語で朗読する「エッセイ」や，京都をはじめ各地の職人たちに出会いその手仕事を通して日本の素顔を見つめた。
▶出演：ベニシア・スタンリー・スミス／語り：山崎樹範／コンテンツ開発センター，NEP，テレコムスタッフ

『ネコメンタリー　猫も、杓子（しゃくし）も。』

（４～７月）水　22:50～23:14ほか随時
再 日　18:30～18:54

第１回17.3.26／「もの書く人の傍らにはいつも猫がいた」をコンセプトに，猫ブームの時代，現代人は猫の姿に何を見るのか？　をテーマに表現者たちと愛猫の日常を，俳優たちによる書き下ろしエッセーの朗読を交えて描くドキュメンタリーシリーズ。作家から脚本家，漫画家などにも「もの書く人」の幅を広げ多彩な世界に迫る，映像詩。
▶出演：尾崎将也，ヤマザキマリ，朝井まかて，深緑野分／朗読：阿部寛，上戸彩，蒼井優，多部未華子／コンテンツ開発センター，NEP

『ねほりんぱほりん』

（後期）水　22:50～23:20

第１回16.10.5，最終回21.3.24／人形劇という子ども番組の手法を“進化型モザイク”として用い，顔出しNGのゲストから赤裸々な話を聞き出すスタジオリサーチショー。20年度のシーズン５は「同人漫画家」「港区女子」「ライバー」などネットをにぎわす話題や「児童相談所職員」

「LGBTカップルの子ども」など世の中の関心事とリンクしたテーマを扱った。なおTBSドラマ『逃げるは恥だが役に立つ』やニッポン放送『星野源のオールナイトニッポン』とのコラボも行った。
▶出演：山里亮太，YOU／ナレーター：石澤典夫／人形操演：清水正子，川口英子，山田はるか，ほか／第1制作ユニット（教育・次世代）

『ノージーのひらめき工房』

土　7:30〜 7:45
再 水　15:45〜16:00

第1回13.4.3／4〜5歳児から小学校低学年の子どもたちに向けた工作番組。ひらめきの妖精「ノージー」と，あそびの妖精「シナプー」たちが身の回りの面白いものから刺激を受け，工作のものしり博士「クラフトおじさん」とともに，さまざまなユニークな作品を作っていく。マニュアルに沿っていかに上手に作るかではなく，自分自身の発想やひらめきによって作品を生み出すプロセスを大切にしている。
▶造形監修：はらこうへい，いしかわ☆まりこ／アートディレクション：tupera tupera／音楽：チーミー／第1制作ユニット（教育・次世代），NED

『ノージーのひらめき工房ミニ』

水　17:40〜17:45

第1回17.4.5，最終回21.3.17／幼児から小学校低学年向けの工作番組『ノージーのひらめき工房』の要素を凝縮した5分ミニ番組。ノージーたちが繰り広げる工作，工作のコツを伝える歌や一般の子どもによる造形コーナー，プロのクリエーターの技を紹介するコーナーなどで構成した。
▶第1制作ユニット（教育・次世代），NED

『ハートネットTV』

月〜水　20:00〜20:29
再 月〜水　13:05〜13:34

『ハートネットTV・選』

木　13:05〜13:34

第1回12.4.2／障害や疾患，貧困や差別などで「生きづらさ」を抱える全ての人のために“当事者の目線”を大切にして伝える福祉番組。20年度は，新型コロナウイルス感染拡大により影響を被ったさまざまな医療現場や，障害者・高齢者，若者たちなどの現状を多角的に取材・発信した。また，薬物依存への最先端の取り組みや，相模原障害者殺傷事件，京都ALS患者嘱託殺人事件，東日本大震災10年など，福祉に関する重要なテーマを正面から取り上げたほか，全局的なキャンペーンと連動して「ひきこもりVR親子対談」「子どもの教育格差」「水害と障害者」などについて伝えた。障害や特性の垣根を越えて幅広い人々をつなぐ「ワケありさんの森」や，聞こえない当事者も制作に参加して古典的な童話をろう者の視点で翻案した「手話で楽しむみんなのテレビ！」など，新たな取り組みも行った。ほかにも，東京パラリンピックに向けた「パラマニア」，多様な出演者によるトーク「B面談義」，介護体験を共有する「介護百人一首」「リハビリ・介護を生きる」など，幅広く放送した。
▶キャスター：中野淳アナ／第3制作ユニット（福祉）

『パッコロリン』

月〜土　8:24〜 8:25
再 土　17:24〜17:25

第1回11.3.28／まる・さんかく・しかくの顔かたちをした元気な3兄弟，パックン・リン・コロン。個性豊かな3人が楽しく遊ぶ中から，いろいろな小さな発見をし，心の成長を育んでいく。見た後には，とっても幸せな気分になれる1分間のアニメーション。20年度は新作はなく，再放送のみ。
▶声の出演：折笠愛，かないみか，水沢史絵／キャラクターデザイン：きむらゆういち／第1制作ユニット（教育・次世代），NED

『バビブベボディ』

（前期）土　10:30〜10:40

第1回18.8.13／『NHKスペシャル』「シリーズ人体」の最先端医学映像を使いつつ，アニメやオリジナルソングも交えた，子どもと親が一緒に楽しめる医学番組。20年度は『NHKスペシャル』「“人体VSウイルス”」の映像素材をもとに，新作「免疫〜新型コロナ編〜」（9.21）を制作，新型コロナウイルスと免疫との戦いを最新論文に基づいて子どもにも分かりやすく映像化した。また29分の『バビブベボディ　スペシャル』として「食べる」（3.22），「呼吸する」（3.23），「感じる」（3.24），「成長する」（3.30）の4本を制作した。
▶出演：磯村勇斗（スペシャル）／語り：杉本るみ，パックン，81プロデュース／大型企画開発センター，NED

『パプリカ』

月〜金　16:44〜16:45

第１回18.7.23／東京2020公認プログラムとして展開する〈NHK〉2020応援ソングプロジェクトの１分シリーズ番組。未来に向かって頑張る子どもたちを応援する歌「パプリカ」をさまざまな形で放送した。コロナ禍の中でお互いにエールを送り合う企画「みんなでエール」を年間を通じて実施。北海道から沖縄まで全国の子どもたちがダンス動画投稿で参加した。

▶出演：Foorinほか／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『はりきり体育ノ介』

水　10:00〜10:10

第１回14.10.8／小学３〜６年生向け。体育ができると人生がより楽しくなる！　をモットーに，タブレットなどのICT活用授業に対応した体育番組。一流アスリートによるお手本映像「できるポイント」と，よくあるつまずき「できないポイント」の比較で，技のポイントを分かりやすく伝えた。

▶出演：渡邊実（体育ノ介），吉良克哉（博士の声）／アニメ:The BERICH（ビリッチ）／音楽:竹内信次／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『バリバラ』

木　20:00〜20:29

再 日　0:00〜 0:29

第１回12.4.6／みんなのためのバリアフリー・バラエティー『バリバラ』。生きづらさを抱えるすべてのマイノリティーにとっての“バリア（社会的障壁・差別・偏見）”を無くす。20年度はコロナ禍の障害者に生放送で情報提供したほか，「部落問題」なども取り上げ，当事者が出演しての本音トークで話題を集めた。

▶出演：山本シュウ，玉木幸則，大西瞳，東佳実ほか／大阪拠点局

『びじゅチューン！』

水　19:50〜19:55

再 月　5:50〜 5:55

再 火　0:50〜 0:55

第１回14.5.4／新作12本と旧作を織り交ぜて編成。世界の美術を歌とアニメで紹介する番組。難しい説明なし。アーティスト・井上涼さんが手がける歌とアニメで，美術作品を独自の目のつけどころで紹介する。20年度は「ひとよだけ巡査」「私たちが削るべきは床」「犬派はモノクロ　猫派はカラー」「納涼シアター」「歩く泡」「落穂拾子」「竜田川にフタをする」「デンタルクリニック死の島」「続いては､信貴山の石橋さ〜ん」「プリマヴェーラに家庭訪問」「鶴下ウェイ」「書記に必要なギャルの精神」の12番組を新作した。また１月放送分で100曲になることから「祝100曲リクエストスペシャル」（30分）を１月２日に放送した。

▶出演：井上涼（アーティスト）／第２制作ユニット（文化），NED

『ピタゴラスイッチ』

土　7:45〜 8:00

再 月　15:45〜16:00

第１回02.4.9／４〜６歳児を対象にした「考え方」を育てる番組。身近なことから，日常に隠れているさまざまな「ルール」を取り上げ，「不思議な構造」「面白い考え方」を分かりやすく伝えた。ピタゴラ装置・人形劇・アニメ・歌など多彩なコーナーで構成されている。

▶声の出演：車だん吉，井上順ほか／監修：佐藤雅彦，内野真澄／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『ピタゴラスイッチ　ミニ』

月〜金　7:30〜 7:35

水　17:35〜17:40

（隔週）金　10:10〜10:15

土　21:55〜22:00

第１回02.4.1／幼稚園・保育所向け番組『ピタゴラスイッチ』のマルチユース番組。セグメントで構成されている15分の『ピタゴラスイッチ』から，いくつかのコーナーを組み合わせて５分に構成し，「考え方」が身に付くようなエッセンスを提示した。

▶監修：佐藤雅彦，内野真澄／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『ビットワールド』

金　18:20〜18:55

第１回07.4.6／楽しいコーナー満載の視聴者参加番組。子どもたちのユニークなアイデア投稿を基に，キャラクター，絵や歌，アニメなどの作品を創り出し，魅力ある世界を開拓。データ放送とウェブを駆使した双方向演出に挑戦している。20年度は，コロナ禍による長期休校など，自粛中の

子どもたちの想像力と創造力をくすぐることをテーマに置き，年間アイデア投稿数は43万件。
▶出演：いとうせいこう，金子貴俊，升野英知，中田あすみ，ほか／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『ヒャダ×体育のワンルーム☆ミュージック』
新

火　22:50〜23:19

第１回21.1.5，最終回21.3.23／音楽制作ソフトやネットの発達で，スマホやパソコン１つで音楽を作り，全世界へ自宅の部屋から発表できる時代に。番組では，そんな現在のステキな環境と，音楽を作る楽しさをMCのヒャダインと岡崎体育が，YOASOBI，崎山蒼志，加藤シゲアキ（NEWS），BiSHといったゲストを迎えながら伝えた。サーフェシズ（米），Rina Sawayama（英），Stray Kids（韓）といった海外ワンルームミュージシャン特集も。
▶第５制作ユニット(エンターテインメント),NEP

『100分de名著』

月　22:25〜22:49
再 水　5:30〜 5:54，12:00〜12:24

第１回11.3.30／古今東西の「名著」のエッセンスを，25分×4回，合計100分で分かりやすく読み解き，今を生きる知恵を学ぶ教養番組。「カント“純粋理性批判”」「ミヒャエル・エンデ“モモ”」「谷崎潤一郎スペシャル」のほか，「伊勢物語」「マルクス“資本論”」「ファノン“黒い皮膚・白い仮面”」など，古今東西を問わず幅広く名著を解説した。
▶司会：伊集院光，安部みちこアナ／第２制作ユニット（文化），NED

『ファインド・ミー　〜パリでタイムトラベル〜』
新

（前期）　金　19:25〜19:50
（後期）再 土　18:25〜18:50

第１回20.4.10，最終回21.5.8／フランス，ドイツほかの国際共同制作ドラマ。明日のプリマを夢見る若手バレリーナのレナが，1905年から現代にタイムトラベル。若いダンサーたちの青春ストーリー。オペラ座を始め，パリを縦横無尽にロケした作品。シットコム中心だったティーン向けドラマに新風を吹き込んだ（全26回）。
▶出演：ジェシカ・ロード（声：内田真礼），クリスティー・オドネル（声：野津山幸宏）／展開戦略推進部，NEP

『ふしぎエンドレス』

火（３年）9:15〜 9:25，（４年）9:25〜 9:35
（５年）9:35〜 9:45，（６年）9:45〜 9:55

第１回18.4.10／小学生を対象とした理科番組。児童がみずから問題を発見し，根拠ある予想を立て，結果を見通して実験を計画し，その結果を考察してまとめるという「資質・能力の育成」を重視した。
▶声の出演：村杉蝉之介，堀内敬子，加藤諒／ナレーション：恒松あゆみ／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『プチプチ・アニメ』

月〜金　8:45〜 8:50
再 月〜金　15:40〜15:45

第１回94.4.4／セルアニメではなく，粘土，布，紙，食品サンプル，セロファンなど多様な素材と手法を用いて制作するアニメーション番組。代表作「ロボットパルタ」「森のレシオ」「リヴ＆ベル」を筆頭に，人気作の「こにぎりくん」や編みメーションという独特な手法の「けいとのようせいニットとウール」，お正月スペシャルとして干支をモチーフとした安齋肇のイラストをもとに作成した立体物が動く「えとえとせとら」を制作。女優の吉岡里帆が声と歌を担当した。
▶第１制作ユニット（教育・次世代），NEP

『ふるカフェ系　ハルさんの休日』

（前期）木　21:00〜21:29
再 水　12:25〜12:54

第１回16.4.6／俳優・渡部豪太と地域の人たちで作るドラマ。全国の古民家を生かしたカフェを訪ね歩くカフェブロガー・真田ハル（渡部豪太）が古い建築に秘められた地域の歴史を知り，町おこしに懸ける各地の人々や地元の食材を生かしたメニューに出会う。コロナ禍の下，以前訪れたカフェとつながるビデオレター編４本も制作。また正月SPでは初の海外「台湾編」をリモートロケで制作。「新湊編」は富山県域放送25分短縮版を制作した。BSPでも，通年で毎月１〜２回のセレクションを放送。
▶出演：渡部豪太（俳優）／第２制作ユニット（文化），NED

『ブレイクッ！』

水　10:10〜10:15
（後期）再 金　9:45〜 9:50

第１回18.4.11／学校放送番組の総合インターネットサイト「NHK for School」で配信される動画を楽しく軽快なテンポで紹介したり，視聴者からサイトに寄せられた書き込みを紹介したりした。「自分で研究やってみた！」「あそびクラブ！」「劇的！クリップビフォーアフター」「せんせい、あ〜そぼ！」などのコーナーを週替わりで放送した。

▶第１制作ユニット（教育・次世代）

『ボキャブライダー　on　TV』

月　5:45〜 5:50
再 火　12:45〜12:50，19:50〜19:55
再 木　13:55〜14:00，23:15〜23:20
再 金　10:50〜10:55

第１回17.4.3，最終回21.3.22／言えそうで言えない英単語をドラマ形式で紹介する番組。「これって英語でなんて言うの？」と困っている人々の元に謎のヒーロー・ボキャブライダーが現れ，英単語や言葉にまつわる豆知識を伝授するというコメディードラマ。

▶監修：田中茂範（慶応義塾大学名誉教授）／出演：寺脇康文，倉科カナ，荒木飛羽，甲斐翔真，桜田ひより，マックスウェル・パワーズ／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『まいにちスクスク』

月〜木　10:55〜11:00
再 月〜木　19:55〜20:00

第１回02.4.1／育児のヒントやお役立ち情報を提供する５分のミニ番組。「おうち時間の過ごし方」「散歩に出よう」「防災グッズ」「子どものストレス」などのテーマで，ハウツーや最新の情報をコンパクトに紹介した。

▶第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『又吉直樹のヘウレーカ！』

水　22:00〜22:43
再 金　0:00〜 0:43

第１回18.4.4，最終回21.3.24／お笑い芸人で作家の又吉直樹が言われてみれば気になる身近な「なぜ？」を解き明かす。タイトルの「ヘウレーカ」は古代ギリシャ語の“わかった”“発見した”という意味。「アリの地下世界　深掘りスペシャル！」「大舞台で実力を発揮できますか？」「なぜ犬は人になつくのか？」など自然科学を中心に研究者と又吉が，研究の最前線やそこから浮かび上がる人間社会のありようを縦横に語った。

▶出演：又吉直樹／語り：吉村崇／第２制作ユニット（文化），NED

『マチスコープ』　新

（最終）金　7:00〜 7:10

第１回20.4.24／「街」の仕組みを直感的に学び，観察力を養う子ども向け番組。17〜19年度は特集番組として放送し，20年度から月１回の定時番組となる。不思議なゴーグル「マチスコープ」をかけて街を歩くと，昔の街の風景が見えたり，見えないはずの地下が透けて見えたり，さらには街の形を変えることもできる。さまざまなシミュレーションで，街を再発見する。「まちのなまえ」「ココミテール」「マチつくる」などのミニコーナーがあり，20年度から「マチカドウシテ？」もシリーズ化。

▶出演：佐藤二朗／音楽：KIRINJIほか／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『学ぼうBOSAI』

（前期）火　10:05〜10:15

第１回13.4.10／災害の恐ろしさや人の死の悲しみを知り，自然現象を科学的に理解し，災害から命を守るために一人ひとりが身に付けるべき知恵を学ぶ番組。20年度は以下のシリーズからセレクションし再放送した。災害のメカニズムを理解する「地球の声を聞こう」，災害に立ち向かう人々を描く「命を守るチカラ」，体験から学ぶ「東日本大震災　被災者に学ぶ」。

▶出演：大木聖子，濱口優ほか／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代），大阪拠点局，NED，NHKプラネット

『まる得マガジン』

月〜木　21:55〜22:00
再 月〜木　11:55〜12:00

第１回03.4.7／生活に役立つ情報や暮らしを豊かにするヒントをコンパクトに分かりやすく伝える５分間のミニ番組。「ホットケーキミックス」「ドレッシング」「アンガーマネージメント」「腹ヤセ体操」「ミシン」「包丁」「京都のアテ」など，幅広いジャンルのノウハウやエクササイズを紹介した。

▶テキスト発行／第３制作ユニット（ライフ），

大阪拠点局，NED，NEP

『みいつけた！』

月～金　7:45～ 8:00
再 月～金　16:45～17:00

第１回09.3.30／４～６歳児向け教育的エンターテインメント番組。イスの男の子「コッシー」と女の子「スイちゃん」，大人のサボテン「サボさん」が活躍するスタジオコーナーや，ロケ・アニメーション・歌など多彩なコーナーで構成。20年度は，歌やダンスで言葉のイメージをふくらませ，言葉を楽しく感じてもらうコーナー「ウキウキの木」を新設。

▶出演：高橋茂雄（サバンナ），増田梨沙，佐藤貴史，小林顕作，三宅弘城ほか／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『みいつけた！さん』

（最終週を除く）日　7:10～ 7:40

第１回10.4.4／『みいつけた！』の人気コーナーが詰まった家族で楽しめる30分。イスの「コッシー」と「レグ」，サボテンの「サボさん」が番組MCになって，ゲストとのトークやゲームを繰り広げる。休日の朝，家族みんなで楽しめる番組。20年度はゲストのイスキャラクターとして，林家たい平，山口智充，新妻聖子，さかなクン，柳原可奈子らが出演した。

▶出演：高橋茂雄（サバンナ），篠原ともえ，佐藤貴史ほか／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『ミクロワールド』

（４～１月）木　9:45～ 9:50

第１回04.4.10／顕微鏡を使って拡大すると突然開ける意外な世界。ミクロの視点で初めて見えてくるさまざまな形，色彩，仕組み，秩序の世界を，ハイビジョン顕微鏡カメラの機能を駆使して，美しく鮮明な画像で描いたミニ番組。小学校・中学校・高校向け。

▶動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『ミニアニメ』

月～金　17:20～17:25
（第１～３）日　17:25～17:30

第１回97.4.7／年間10タイトルを放送。20年度は，新シリーズ「のりものまん　モービルランドのカークン」，そして「おちゃめなシモン」「うちのウッチョパス」「うっかりペネロペ」「かいじゅうステップ　ワンダバダ」「ミッフィーのぼうけん」を曜日ごとに放送。

▶第１制作ユニット（教育・次世代），NEP

『ミミクリーズ』

E　月　17:35～17:45
再 土　6:45～ 7:55
（隔週）再 金　10:00～10:10
BSP　木　11:30～11:40

第１回15.3.30／自然界の「似たものさがし」を通じて，子どもたちの「科学的思考」を育む幼児向け自然科学番組。印象的な自然映像やアニメーション，歌や漫才などさまざまな演出で科学的知識を分かりやすく映像化した。20年度はみずをテーマにした「みずのうた」，生き物の擬態をテーマにした「そっクリーのうた」の２つの新曲を制作した。自然科学の奥深い世界を音楽で発信した。

▶監修：福岡伸一（生物学者）／音楽：トクマルシューゴ／声：諏訪部順一／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『未来広告ジャパン！』

水　9:30～ 9:40

第１回15.4.8／小学５年生向け社会科番組。国土，自然，産業，環境など20のテーマで日本の“今”について調べる。分かったことをCMにまとめ，日本の未来を考えた。番組を通してのCM投稿は年間平均80件。

▶出演：若山耀人，芋洗坂係長，遠藤三貴，真殿光昭（声）／ナレーター：濱中博久／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『ミルドレッドの魔女学校　シーズン２』 新

金　19:25～19:50

第１回20.10.30，最終回21.1.29／原作はイギリスのベストセラー児童文学書『The Worst Witch』（ジル・マーフィ作）。長く愛されてきた“魔法”シリーズをドラマ化した作品の第２シーズン。普通の人間でありながら魔女学校に入学したミルドレッド。落ちこぼれ気味だが仲間の励ましや持ち前の明るさで困難を乗り越えていく（全13回）。

▶出演：ベラ・ラムジー（声：鈴木梨央）ほか／展開戦略推進部，NEP

『昔話法廷』

（後期）木　9:30〜 9:45

第１回15.8.10／テレビクラブで特集番組として放送してきた『昔話法廷』10話を学校放送番組として定時化。おとぎ話の登場人物がさまざまな罪に問われる法廷ドラマ。毎回，判決が出ずに終わることで，視聴者の子どもたちに自分なりの判決を考えさせ，友人や家族と議論してもらうことを促した。多くの小中学校の「道徳」の授業で使われた。

▶出演：林遣都，吉田羊ほか／第１制作ユニット（教育・次世代）

『ムジカ・ピッコリーノ』

金　17:35〜17:45

再 土　8:25〜 8:35

第１回13.4.6／子どものための音楽教育番組。科学的実験やアニメ・CGなどを駆使して音楽の世界を感覚的・多角的に表現し，子どもたちの感性を刺激する番組として制作。20年度は，19年度と同じメンバーで放送。謎の空中図書館ムジカリブロを探す旅を続けながらさまざまなジャンルから耳なじみのある名曲を取り上げ，親子で楽しめるシリーズを目指した。コロナ禍のため，第７話で一時中断した。シーズン６の再放送を先にお送りし，後期から再びシーズン８を全編放送した。

▶出演：オカモトショウ，西條妃華，高沢英，長岡亮介，ROLLYほか／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『メディアタイムズ』

（後期）木　9:10〜 9:20

第１回17.10.12，最終回21.3.11／小学４〜６年生，中学生向け。総合的な学習の時間に，仲間との話し合いを通して「メディア・リテラシー」を身に付けることをねらいとした番組。新聞や写真，テレビ，CM，ネットニュースなど，さまざまなメディアの特性とそれぞれが抱える課題を紹介。最後に，見ている子どもたちにメディアとの向き合い方を考える問いを投げかけた。

▶脚本：大歳倫弘／テーマ曲：フジファブリック／出演：高杉真宙，鈴木砂羽，古舘寛治，芦田愛菜／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『もっと伝わる！即レス英会話』　新

（後期）月〜水　23:20〜23:30

再 火〜金　10:15〜10:25

第１回20.9.28／前期『おもてなし　即レス英会話』のタイトルを変更してリニューアル。視聴者と出演者が疑似対話する演出はそのままに，月〜水曜は，多文化共生社会を生きる４人の日本人主人公がランダムに登場するドラマを使って１フレーズずつ学習。体を動かして英語らしいリズムを身に付ける発音スタジオや，視聴者に発話を促すワークアウトなど独自のメソッドも継続。木曜はその週の表現の復習回とした。

▶出演：高山芳樹，ハリー杉山，アダムス亜里咲／第１制作ユニット（教育・次世代）

『もやモ屋』

金　9:20〜 9:30

第１回19.10.4／小学校３〜４年生向けの道徳ドラマ。不思議な映画館「もやモ屋」で上映されるのは，見たあとに気持ちがモヤモヤしてしまう物語ばかり。友人関係や礼儀，感動・畏敬の念など「特別の教科・道徳」のねらいに合わせたストーリーのほか，SNSの使い方などについて考えさせる内容も放送した。物語の結論をあえて描かなかったり，主人公がピンチに陥ったまま終わったりすることで，視聴後に教室で議論がしやすいように工夫した。

▶声：江原正士／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『よろしく！ファンファン』

（前期）水　9:20〜 9:30

第１回18.4.11／小学４年生を対象にした社会科番組。３人の子どもたちがそれぞれ「時間」「空間」「人」の視点を持って，さまざまな現場を調査する姿を見ることで，社会的な見方・考え方を育む番組。

▶出演：レイラニ，藤沢元，野添芙羽，福圓美里（声）／第１制作ユニット（教育・次世代）

『楽ラクワンポイント介護』

土　12:55〜13:00

再 火　15:25〜15:30

第１回12.1.7／認知症の要介護者を家庭で抱えた人々に向けて，よりよい認知症介護のノウハウを紹介。認知症の人の生活力の衰えを助け，能力を引き出すことで，生きる力の改善を目指した。

▶第３制作ユニット（福祉），NED

『ららら♪クラシック』

金　21:00〜21:29
再 木　10:25〜10:54

第１回12.4.1／初心者向けのクラシック音楽番組。どこかで耳にしたことのあるクラシックの名曲を分かりやすく多彩な切り口で解説。スタジオライブ仕立てで演奏も紹介。視聴者にクラシックの新しい楽しみ方を提示した。

▶司会：高橋克典（俳優），石橋亜紗アナ／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『リトル・チャロ』

金　13:35〜13:45
再 土　10:50〜11:00

第１回08.4.2／08年度から放送を開始した英語アニメ『リトル・チャロ』シリーズを再構成し，10分×全50話で放送（14年度の再放送）。日本生まれの子犬・チャロがニューヨークで迷子になる08年度のファーストシーズン，ニューヨークを再び訪れ映画撮影に臨む13年度のチャロ４，そして震災復興支援目的で放送した12年度のチャロ東北編を再編集した。音声英語，日本語字幕あり。

▶声の出演：純名里沙，斎藤アリーナ，ビル・サリバンほか／脚本：わかぎゑふ・斎藤栄作／英訳：パトリック・ハーランほか／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『レイチェルのおうちごはん』

日　18:30〜18:52
再 土　6:00〜 6:22

第１回21.1.10／料理人のレイチェル・クーが，スウェーデンのキッチンで生み出す「おうちごはん」を紹介した番組の日本語版を制作。コロナ禍でヨーロッパがロックダウンになった際，レイチェル自らがプロデュース，自宅でロケを行った。８本シリーズ。21年３月には，レイチェル・クーが東日本大震災から10年となる東北地方の食材をアレンジするスピンオフ特番を制作。

▶出演：レイチェル・クー，甲斐田裕子（声），ジョン・カビラ（特番・語り）／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『レイチェルのスウェーデンのキッチン』

日　18:30〜18:52
再 土　6:00〜 6:22

第１回19.10.7／イギリス出身のフードライター兼料理人のレイチェル・クーが，家族と暮らすスウェーデンの食文化や食に携わる人を訪ね，現地の料理を味わう中でヒントを見いだし，自らのレシピを作り出す購入番組。その日本語版を制作。８本シリーズ。20年度は19年度の再放送。

▶出演：レイチェル・クー，甲斐田裕子（声）／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『歴史にドキリ』

水　9:40〜 9:50

第１回12.4.11／小学６年生向けの社会科（日本史）番組。歌舞伎俳優・中村獅童が歴史上の偉人にふんし，その偉業を歌って踊って紹介した。

▶出演：中村獅童ほか／音楽：前山田健一／振付：振付稼業air:man／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『ろうを生きる　難聴を生きる』

土　20:45〜21:00
再 金　12:45〜13:00

第１回77.4.8／各地のろう者，難聴者，盲ろう者のための情報や，ヒューマンドキュメンタリーを中心に放送。19年度から継続して『ハートネットTV　手話で楽しむみんなのテレビ！』との連動で，手話放送の取り組みを広げた。また，人気の動画クリエーターとのジェスチャー対決企画など新たな演出で，ろう者と協働，従来の視聴者層とは異なる若い世代へのリーチに成功している。さらに，ウェブ展開を積極的に行っており，動画クリエーターとのジェスチャー料理対決はNHKのYouTubeチャンネルで，11万回もの再生を記録した。

▶第３制作ユニット（福祉）

『ロシアゴスキー』

水　0:25〜 0:50
再 火　5:30〜 5:55

第１回17.10.5／17年度の「モスクワ編」と，18年度の「サンクトペテルブルク編」を組み合わせて６か月24本のシリーズとし，前期・後期と繰り返し放送した。モスクワ編はモスクワで働くターニャが，サンクトペテルブルク編は地元の大学生ヴィーカが，実用的なロシア語のフレーズを使いながら，名所や，今注目されている場所を紹介した。番組内のアニメでは，番組キャラクターのロシアゴスキーがロシア語の単語を教えた。

▶出演：タチアナ・ティマコワ，ヴィクトリヤ・

ワーグネル／声の出演：ジェーニャ（タレント），オレーグ・ヴィソーチン（関東国際高等学校講師）／監修：前田和泉（東京外国語大学准教授）／テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『ロンリのちから』

（前期）水　14:30〜14:40
（後期）水　15:30〜15:40

第１回14.4.2／14.4.2〜15.9.25に放送した番組の再放送。中学，高校，大学，社会人対象に論理的思考（クリティカル・シンキング）の基礎を養う番組。分かりやすい例文を基に，論理や対話の世界に導き「三段論法」や「仮説形成」などを学んだ。

▶出演：緒川たまき／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『ワンポイント手話』

金　13:30〜13:35
再 月　5:55〜 6:00
再 水　15:25〜15:30

第１回96.4.1／主に中途失聴者や難聴者のために，簡単な手話を分かりやすく伝える番組。聴覚障害者との出会いの場でよく使われる手話を紹介した。講師・河合優子，サブ講師・所智子，生徒役・石川寛和，いずれも中途失聴および難聴の当事者。（18年度の再放送）

▶第３制作ユニット（福祉），NED

『ワンワンわんだーらんど』

（最終）日　7:10〜 7:40
再 日　17:00〜17:30

第１回10.5.30／０〜２歳児を対象にした『いないいないばあっ！』のステージ番組。ワンワンが中心となって届ける「歌」と「遊び」のステージショーを，20年度は全国10か所で中継録画して放送する予定だったが，新型コロナウイルス感染拡大の影響により全公演中止。スタジオ収録に切り替え，子どもたちが「ピカピカブ〜！」を踊る動画を募集するなど視聴者参加型の演出を加えて，月１回のレギュラー番組として放送した。

▶出演：チョー，大角ゆき，間宮くるみ，恵畑ゆう，ほか／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

② Eテレ

特集番組

ABC順

『Zの選択』

「＃恋愛って必要ですか？」8. 6／22:00〜22:30
「＃それってタブーですか？」
8.13／22:00〜22:30
「＃だれかとつながっていたいですか？」
8.20／22:00〜22:30

1995年以降生まれの若者たち「Z世代」の新しい価値観や生き方を見ていくドキュメンタリーシリーズ。毎回主人公は２人。

第１回はアニメのキャラクターと結婚したという21歳の女性と，結婚に恋愛は不要と言い切る23歳の女性に密着。それぞれ，実在しないが，まるでそこにいるかのように振る舞いながら生活する様子や，生活のコスパをよくするために結婚したいとオンラインお見合いを重ねる様子を描く一方で，揺れ動く価値観や不安な思いを描いた。

第２回は昆虫食レストランを開業した26歳の男性と，性の悩みが解決できるアプリを開発している24歳の女性が主人公。それぞれが「日本ではタブー視されているのではないか」と思っていることに一石を投じる姿を描いた。人知れず昆虫食を続け19年間悩んだ末カミングアウトしたときの思いや，性についてオープンに話せる社会にしたいと奔走する様子をドキュメントした。

第３回はSNSでファンとのつながりを支えに活動するシンガーソングライターの25歳の女性と，山梨の過疎の村で一人の時間を大切に生きる24歳の男性が主人公。それぞれ，コロナ禍でフォロワーが減り不安を感じながらも自分の信じる道を進む様子や，人とのつながりを嫌いながらも人恋しい気持ちに揺れるソロ活を描いた。

▶第１制作ユニット（教育・次世代）

五十音順

『アートではじける！子どもの力 〜第80回全国教育美術展から〜』

2.21／15:30〜16:00

10万点近い作品が寄せられた「第80回全国教育美術展」の特選作品を通し，幼稚園や保育園，小学校，中学校とそれぞれの成長にあわせて変化していく子どもたちの絵の魅力を紹介した。番組の主な視聴者である親や教師たちに向けて，子どもの表現力，発想力を引き出すヒントを伝えた。

▶出演：片桐仁，中川翔子，玉川信一／第１制

作ユニット（教育・次世代）

『アニメ　クラシカロイド　ベトセレクション』

9. 9，16，23／19:25〜19:50

個性豊かなキャラクターたちが巻き起こす奇想天外な日常を，情熱みなぎる音楽とともに送るコメディーアニメ『クラシカロイド』。ベートーベン生誕250年を記念して，ベートーベン回をセレクションして３話放送。「闇、その向こう」(9.9)，「ちがいのわかるおとこ」(9.16)，「宇宙からのアンコール」(9.23)

▶声の出演：杉田智和，梶裕貴ほか／展開戦略推進部，NEP

『いじめを考えるキャンペーン　FACES「いじめをこえて」』

随時

「FACES How I survived being bullied」（邦題：FACES いじめをこえて）は，NHKが海外の放送機関に呼びかけ，17年度から本格スタートした，いじめ撲滅国際プロジェクト。参加放送局はそれぞれ，いじめ体験を超え自分らしく生きる人々の証言VTR（２分）を制作，それらをお互いの国で放送・ウェブ配信していくプロジェクトである。20年12月時点で，NHKを含む世界の11の放送局が参加，56本の動画が集まった。

▶第１制作ユニット（教育・次世代）

『いじめをノックアウト　スペシャル　第13弾「SNSいじめ」』

10.31／21:00〜21:55

13年夏から始まった「いじめを考えるキャンペーン」の特集番組第13弾。20年度は毎年文部科学省が発表する「いじめ認知件数」の最新データ発表日の直後，10月31日に１時間のスペシャル番組として放送。今もっともいじめが起こりやすく，対処も難しい「SNSいじめ」がどのように起こり，それに対して子どもたちは何ができるのかを，被害・加害・傍観の３つの視点から考え，具体的な対応策を提示し，反響を得た。

▶出演：高橋みなみ，10代の匿名高校生６名ほか／第１制作ユニット（教育・次世代）

『ウィーン・フィル　ニューイヤーコンサート2021』

Ⓔ　１．１／19:00〜21:55

FM　１．１／19:15〜21:50

毎年１月１日，ウィーン楽友協会大ホールから全世界に中継されているクラシック界最大のイベントを生放送。コロナ禍で当コンサート史上初めて無観客での開催となる中，イタリアの巨匠リッカルド・ムーティが自身６度目の指揮台に立ち，華麗なワルツとポルカを披露した。東京のスタジオには俳優の別所哲也，音楽評論家の石戸谷結子を迎え，公演の感動を振り返った。また，ロックダウン中のウィーンで，公演実現に向けて尽力した楽団事務局の努力を紹介するとともに，オンライン拍手システムによる世界中のお茶の間からの拍手も届けた。

▶スタジオ出演（Ⓔ）：別所哲也（俳優），石戸谷結子（音楽評論家）／電話出演：ダニエル・フロシャウアー（ウィーン・フィル楽団長）／司会（Ⓔ）：林田理沙アナ／ゲスト（FM）：小宮正安（ヨーロッパ文化史研究家）／司会（FM）：田中奈緒子（フリーアナウンサー）／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『おいしさを届けたい　〜第50回　日本農業賞〜』

3.27／14:50〜15:35

先進的な農業経営と経営理念で安心・安全な食糧供給や地域活性化に貢献する農業者・団体を表彰する「日本農業賞」。20年度に大賞・特別賞などを受賞した22の個人と団体の取り組みの一部を紹介した。東日本大震災の直後から米作りを再開し，農家レストランも運営する仙台市のグループや，海外との文化的交流に取り組む京都のお茶メーカーなどを紹介。また第50回という節目の年でもあり，過去の受賞者とその後をたどり，これまでの日本の農業を振り返る番組とした。

▶第３制作ユニット（ライフ）

『オドモン』

8.19／ 9:01〜 9:06ほか

「子どもの発想」や「子ども大人の発想」を歌にして，子どもが直感的に面白いと思う映像をのせた，子ども向けミュージックビデオ風番組。映画プロデューサー・作家の川村元気を総合指導として，RADWIMPS，前野健太，映像作家・藤井亮らがオリジナル楽曲を制作した。

▶出演：前野健太／第１制作ユニット（教育・次世代），NEP

『オハ！よ〜いどん』

3.18／ 9:00〜 9:10

3.20／ 1:35〜 1:45

定時化を目指すEテレ開発番組。リモートシス

テムを使って，スタジオと日本，さらに海外の子どもたちを結び“朝の会”を開く。「いま，いちばん好きなこと」「わたしのごちそう」など，子どもたちが自由に発言しながら，コミュニケーション力や自己表現力を育んでいく教育番組。
▶出演：今田耕司，小林よしひさ（第２回ゲスト）／声の出演：西山宏太朗（オハロー）／デザイン：きくちゆうき／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『香川照之の昆虫すごいぜ！』

5. 6，7.23／ 9:00〜 9:29
5.31／16:20〜16:49
8.21／ 9:15〜 9:44
1. 1／ 9:00〜 9:44

「昆虫には生きるヒントが詰まっている」と語る俳優・香川照之が全身着ぐるみのカマキリ先生にふんし，熱い語りと体を張ったロケで昆虫のすごさと面白さを伝えた。20年度は，「“おうちで”昆虫すごいぜ！」「“おうちで”昆虫すごいぜ！リターンズ」「特別編　夏の森でクワガタ探し」「８時間目　セミ」「お正月はカマキリより愛をこめて」の５本を放送した。
▶出演：香川照之，寺田心／ナレーション：石澤典夫／第１制作ユニット（教育・次世代）

『カラフルな魔女の物語
〜角野栄子85歳の鎌倉暮らし』

「魔法のワンピース」　11.22／18:30〜18:55
「いたずら描きとさんぽ」　11.29／18:30〜18:55

『魔女の宅急便』で知られる児童文学作家・角野栄子さん（85歳）は暮らしの達人。何気ない日常を心地よく生き生きとしたものに変える「魔法」とは？　書き下ろしエッセーを交えながら，角野さんの発想や物語が生まれるさまを描いた。
▶語り：伊藤沙莉（俳優）／テーマ音楽：藤倉大（作曲家）／コンテンツ開発センター，NEP

『がんこちゃんと失われたふるさと』

3.11／18:20〜18:40

東日本大震災をほとんど知らない小学生とその家族向けに「被災」とは何か，被災者の心に寄り添うことの大切さを伝える人形劇。砂の波に故郷を飲み込まれ，ざわざわ森に避難してきたトゲトゲ鳥たち。子どもの鳥・ソラは，がんこちゃんたちに心を開かない。理由も分からず戸惑うがんこちゃんたちだったが，対話を重ねることで通じ合うようになる。鳥たちの羽についた泥を温泉で落とし，ざわざわ森の住人たちとトゲトゲ鳥たちに笑顔が戻る。
▶動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『がんばれ！パラスポキッズ』
第３回「車いすバスケットボール」

3.22／ 9:50〜10:00

第４回「車いすテニス」　3.23／ 9:50〜10:00

東京オリンピック・パラリンピック開幕を前に「パラスポーツを頑張る子どもを家族そろって応援したくなる番組」をねらいに制作した番組。車いすバスケと車いすテニスに取り組む子どもを主人公に，彼らを応援する友達，家族，コーチなどサポーターたちの姿を描いた。
▶第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『きかんしゃトーマス　ワールドスペシャル』

11.23，　2.11／ 9:00〜 9:20

ソドー島を飛び出し，世界を舞台に活躍するきかんしゃトーマス。各地での活躍を集めたエピソードばかりを集め，「ブラジル編」（11月），「イタリア編」（２月）として祝日特番として放送。
▶国際共同制作：NHK，NEP，Gullane（Thomas）Ltd.／展開戦略推進部

『吟詠』

「秋にうたう」　9.26／14:00〜14:15
「春を思う」　1. 2／ 6:35〜 6:50
「春を迎えて」　3.14／16:35〜16:50

詩吟は「吟ずることは健康に良い」ということから，カルチャーセンターなどで受講するなど，愛好家が多い吟詠の世界。番組ではベテランから若手まで幅広い年代の出演者が登場，時には舞も合わせて演出，全国のファンに届けた。
▶出演：石川春海，前田卓霊，鷲野正明ほか／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『クラシックTV』
「知っているようで知らない
クリスマスの音楽☆」

12.17／22:50〜23:19

「ベートーベン・コンプレックス
〜大作曲家の功罪〜」

12.24／22:50〜23:19

人気ピアニスト・清塚信也と歌手・モデルの鈴木愛理がMCを務める新感覚のクラシック音楽番組。世界のさまざまな音楽をクラシック音楽の視

点でひもとく。第１回は俳優の遠藤憲一をゲストに「ベートーベンの功罪」に迫る。第２回はクリスマス文化研究家の木村正裕とともに，知っているようで知らないクリスマス音楽の秘密を探る。
▶出演：清塚信也（ピアニスト），鈴木愛理（歌手・モデル）／ゲスト：遠藤憲一（俳優），木村正裕（クリスマス文化研究家）／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『クラシック名演・名舞台2020』

12.31／20:00〜23:45

大みそかの夜に，20年のクラシック音楽界の名シーンを一挙に紹介。NHKが収録した話題の公演や，海外のオペラ，バレエ公演などをハイライトで放送した。ザルツブルク音楽祭，ジョン・ウィリアムズ＆ウィーン・フィルなど。
▶第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『決定！すくすくアイデア大賞2020』

12.19／21:00〜21:59

全国のパパ・ママが考えた子育ての悩みや困りごとを解決する「子育てアイデア」の祭典。20年度は視聴者から寄せられた508に及ぶアイデアの中から一次予選，二次予選を通過した12組のアイデアを紹介。スタジオの最終審査で大賞を決定する。『すくすく子育て』恒例の年末特番。
▶出演：関根麻里，古坂大魔王，柳原可奈子，田中史朗，大日向雅美，榊原洋一／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『3.11からの「ことば」〜綿矢りさ　表現者たちとの対話〜』

3.14／ 0:30〜 1:15

芥川賞を歴代最年少で受賞し，作家生活20年になる綿矢りさ。東日本大震災の後，巨大地震が襲う極限状態を生き抜く若者たちを描いた近未来小説を発表した。当事者でないのに震災を物語にすることには迷いもある。それでも書くのは？被災地岩手を舞台にした小説で芥川賞を受賞した沼田真佑。原発事故後，放射能の歴史を作品にし続ける小林エリカ。震災の年の夏に訪ねた気仙沼高校の元文芸部員たちとの再会。対話を重ね，思索する。
▶語り：塩田慎二アナ／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『至芸競演　〜NHK古典芸能鑑賞〜』

1.30／14:00〜16:00

人間国宝をはじめ，NHKならではの豪華な顔合わせでさまざまなジャンルの古典芸能を紹介。コロナ禍で中止となった『NHK古典芸能鑑賞会』にかわるものとして，箏曲・組曲「信楽狸」（中島一子ほか），琉球舞踊「伊野波節」（宮城能鳳ほか），狂言「木六駄」〜和泉流〜（野村万作ほか）を収録，放送。山川静夫さんとの対談で約半世紀にわたる『NHK古典芸能鑑賞会』での数々の名演も振り返った。
▶司会：中條誠子アナ／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『思考のジャムセッション　あなたならどう解く？』

9. 8／22:50〜23:19

身近な「なぜ」を解くため，ふだん全く接点のない，異なる分野の研究者らが集結。互いの考察を聞き，触発されて生じる“知の化学変化”を楽しむ教養トークバラエティー。テーマは「コロナ太りになると分かっているのに食べてしまうワケ」。21年度以降の定時化を目指した。
▶出演：小林晋平（東京学芸大学准教授・宇宙物理学），IVAN（タレント），伊藤益（筑波大学教授・哲学），狩野文浩（京都大学特定准教授・霊長類心理学），日永田智絵（奈良先端大助教・知能ロボティクス）／語り：梶裕貴（声優）／第２制作ユニット（文化），NED

『自由研究55　「そのモヤモヤ　実験で白黒つけよう！スペシャル」』

7.27／19:25〜19:50

『Eテレ0655』『Eテレ2355』の夏休みスペシャル。「凍ったドリンク，とけはじめは濃い気がする」「珪藻土の水，どこに行くの？」など，生活の中で気になるモヤモヤを元に，夏休みの自由研究に役立つ考え方や方法論を身近なものを使った実験で楽しく見せた。
▶声の出演：ロッチ，松田利仁亜アナほか／展開戦略推進部，NED，ユーフラテス

『新春能狂言』

1. 1 ／ 6:35〜 7:35

新春にふさわしい能と狂言の名曲を収録，放送した。演目：舞囃子「老松」〜観世流〜，狂言「末

広」～大蔵流～。
▶出演：観世銕之丞，山本東次郎ほか／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『ストレッチマン・ゴールド「ストレッチマン・スペシャル スポーツパワーでダラダラ怪人ウゴカーンをやっつけろ！」』

3.15／ 9:00～ 9:30

特別支援学校などに通う障害のある子どもたちに向けて，スポーツの楽しさを伝える特集番組を放送した。障害の有無にかかわらず楽しめるように作られた「アダプテッドスポーツ」，卓球バレー・フライングディスク・ハンドサッカーなどに，ストレッチマン・ゴールドや車いすのストレッチマン・パープル，そして子どもたちが挑戦し，そこで得られたパワーを使って怪人を倒すというストーリー。若手のパラ選手の活躍の様子も紹介し，スポーツは見るだけではなく，自分もプレーヤーとして楽しめるものだというメッセージを伝えた。
▶第１制作ユニット（教育・次世代）

『第48回ローザンヌ国際バレエコンクール』

8.16／15:00～17:00

20年２月にスイス・ローザンヌ・ボーリュ劇場で行われた「ローザンヌ国際バレエコンクール」のもようを放送。スタジオトークを交えながら，クラシック部門・コンテンポラリー部門の決選をハイライトで紹介した。
▶出演：山本康介（元バーミンガム・ロイヤル・バレエ団）／司会：中川安奈アナ／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『第64回NHKニューイヤーオペラコンサート』

E FM　1．3／19:00～21:00

毎年１月３日，NHKホールから生放送で届ける恒例のオペラ・ガラ・コンサート。日本を代表するオペラ歌手がヴェルディの歌劇『椿姫』から「ああ，そはかの人か～花から花へ」，プッチーニの歌劇『トゥーランドット』から「誰も寝てはならぬ」ほか，名アリアの数々が歌われた。指揮は，広上淳一。若手ピアニスト・反田恭平がオペラにまつわる曲を披露するなど華やかに21年の幕開けを飾った。21年は新型コロナウイルス感染症が広がる中での開催だったため，対策を万全に取りながら実施した。
▶出演：伊藤晴（初出演），大村博美，幸田浩子，砂川涼子，森麻季，中村恵理，森谷真理（以上ソプラノ），林美智子（メゾ・ソプラノ），笛田博昭，福井敬，宮里直樹，村上敏明，望月哲也（以上テノール），上江隼人（バリトン），妻屋秀和（バス）ほか／司会（E）：秋元才加（俳優），森田洋平アナ，（FM）金子奈緒／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『ティーンズビデオ　2020 今年は＃放送部チャレンジ！』

12.30／ 9:15～10:15

新型コロナウイルスの影響で中止になった「第67回NHK杯全国高校放送コンテスト」に代わり「＃放送部チャレンジ2020」と題して中高放送部から募集した作品を紹介。３校の放送部にはリモート中継も実施した。
▶出演：ジェシー・田中樹（SixTONES），ぶんけい，浅田春奈アナ／第１制作ユニット（教育・次世代）

『デザインミュージアムをデザインする』

（第１シリーズ）　9.19／14:00～14:30（３本）
9.20／16:40～17:00（２本）
（第２シリーズ）3．6／15:50～16:00，22:50～23:00
3．7／15:50～16:00
3.14／15:30～15:40，　3.20／14:50～15:00

日本にまだない「デザインミュージアム」が出来るとしたら，どんなものがいいだろう？　第１シリーズでは一線のクリエーターやキュレーター５人が真剣に考え，所蔵したい作品例とともに「こんなミュージアムを作りたい」というアイデアを語った。第２シリーズではクリエーターたちが日本全国に「デザインの宝探し」に出かけNHK主催の展覧会「DESIGN MUSEUM BOX展」も合わせて開催した。
▶第１シリーズ出演：西沢立衛（建築家），キギ（デザイナー），西田善太（編集者），柴田文江（プロダクトデザイナー），保坂健二朗（東京国立近代美術館主任研究員）／第２シリーズ出演：田根剛（建築家），田川欣哉（デザインエンジニア），水口哲也（エクスペリエンスアーキテクト），辻川幸一郎（映像作家），森永邦彦（ファッションデザイナー）／第２制作ユニット（文化），NED

『長びく休校！学びの悩みにお答えします』

（１）「新学期のスタートを支えよう」
4.23／22:30～22:50

（２）「子どもの“学び”を着実に進めよう」
4.30／22:30～22:50

緊急事態宣言によって全国一斉休校のまま始まった20年度。全国の学校ではどう子どもたちの

学びを進めるか先生たちが悩み，保護者も“友達作り”や“生活習慣”の面で不安を抱えていた。オンライン会議システムを使って教育専門家を結び，これらの問題の解決策を探った。
▶出演：田村学（国学院大学教授）ほか／MC：藤本美貴／第１制作ユニット（教育・次世代）

『夏井いつきのよみ旅！』

8.20，27／21:00〜21:29
1．8，15／21:30〜21:59

辛口批評でおなじみ，俳人の夏井いつきが，全国を旅して地域の人たちに投句を呼びかける。その中から優秀句を選び，作者本人の奥深い人生もようを聞き出していく。19年８月15日に，高知を舞台に放送した『夏井いつきのよみ旅！「俳句から　ある人生が見えてくる」』に続き，20年度は沖縄，愛媛を舞台に番組を制作。ゲストは名言で話題を集めるホストの帝王・ROLAND。人情あふれる，俳句紀行バラエティー番組。
▶出演：夏井いつき，ROLAND／松山拠点局，NEP四国

『2355−0655　年越しをご一緒にスペシャル』

12.31／23:45〜 0:10

『Eテレ0655』『Eテレ2355』から生まれた，大みそかから年越しに放送するスペシャル番組。「干支（えと）ソング」「新春たなくじ」「らくがきサンドウィッチマン」などのコーナーで構成。
▶出演：爆笑問題，サンドウィッチマン／声の出演：ロッチ，石澤典夫，松田利仁亜アナほか／展開戦略推進部，NED，ユーフラテス

『にっぽんの芸能　新春スペシャル』

1．1／23:00〜 0:00

江戸の総鎮守であり長唄や舞踊など古典芸能にも縁深い神田明神を主な舞台として，年の始めにふさわしい演目をちりばめ放送。コロナ禍の実演家たちの底力を芸能で柔らかく包み，楽しいひとときとなるよう工夫した。中村鴈治郎と茂山逸平は古典狂言を題材にして感染予防をおかしく取り入れ上質な笑いを，箏曲家・遠藤千晶は，震災10年となるふるさと福島に思いをはせた曲目を，コロナ禍で新しい歌舞伎の在り方を提示・実践してきた松本幸四郎は招福の演目を…。それぞれが視聴者への思いを込めて繰り広げた。
▶出演：中村鴈治郎，茂山逸平，遠藤千晶，松本幸四郎ほか／第５制作ユニット（音楽･伝統芸能）

『にほんごであそぼ　日本全国いいとこコンサート　新潟・村上』

1．3／ 7:00〜 7:45

NHKホールでの無観客収録。村上の子どもたちから「いいとこ」の絵や自画像を送ってもらい，昔話「鮭の大介小介」を下敷きとした山陽のシェイクスピア劇場など，新潟のお話や歌が満載のコンサートに，あいだのじいさん新潟ロケを交えて紹介した。
▶出演：神田山陽，おおたか静流，ラッキィ池田，田代誠（和太鼓），子どもたち／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『にほんごであそぼ　日本全国いいとこコンサート　福島・楢葉』

3.20／15:00〜15:45

現地開催がかなわず，スタジオ収録と資料映像合成で制作。福島の子どもたちから「花は咲く」の歌声や「ごもじもじ」と写真，福島のいいとこの絵などを送っていただき，福島の名文や魅力を紹介したコンサート。
▶出演：みわサン，神田山陽，藤原道山，ラッキィ池田，子どもたち／ゲスト：木下航志／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『ねほりんぱほりん　あけまして　ねほりんぱほりん2021』

1．1／ 0:10〜 4:25

シーズン５の６本をゲストのその後も取材して一挙再放送。ラインナップは「“世界一”のグルメガイド本調査員」「同人漫画家」「レンタルの彼女」「ウィキペディアン」「元談合屋」「2020の港区女子」。さらに，当番組の大ファンを公言する満島ひかりが乱入。TBSドラマ『逃げるは恥だが役に立つ』の原作者・海野つなみと脚本家・野木亜紀子からのメッセージ，「香水」「猫」ねほりんバージョン…なども交えて放送した。
▶出演：山里亮太，YOU，満島ひかり／ナレーター：石澤典夫／人形操演：清水正子，川口英子，山田はるか，ほか／第１制作ユニット（教育･次世代）

『ノージーのひらめき工房　スペシャル　だいぼうけん！シナプシアのなぞ』

2.23／ 9:10〜 9:40

幼児向け工作番組『ノージーのひらめき工房』の特集番組。コロナ禍の子どもたちに向け「工作でつながろう」がテーマ。ひらめきの失われた国

「シナプシア」に迷い込んだノージーたち。シナプシアを救おうと奮闘する彼らの前に次々と謎が現れる。離れた場所にいるクラフトさんやタノチーミー，子どもたちもリモートで応援。みんなで力を合わせ工作で謎を解いていく。
▶造形監修：はらこうへい，いしかわ☆まりこ／アートディレクション：tupera tupera／音楽：CHI-MEY／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『俳句王国がゆく』

5.24，11.１，2.28／14:30〜15:13

12年４月８日に初回放送。全国各地を訪ね，町の魅力を俳句で発見する知的バラエティー。その地域出身の「地元チーム」と，番組レギュラーの「俳句王国チーム」が，町の魅力をテーマに俳句バトルを繰り広げる。20年度は，和歌山県日高川町，香川県さぬき市で公開収録を実施。町の名物にちなんだテーマで，３分で俳句を作る「即吟バトル」も実施した。
▶主宰：夏井いつき／出演：豊田エリー，俳句仮面ほか／松山拠点局，NEP四国

『パズラ』

3.25，26／15:30〜15:40

子ども向け，そしてパズルに特化した定時化を目指す開発番組。世の中のあらゆるものをパズルにしてしまうイタズラかいじゅう“パズラ”が，子どもたちにさまざまな出題をする。出題映像は，コマ撮りアニメを多用し，かつてない3Dパズルとして表現した。新感覚のパズル番組。
▶声の出演：アイクぬわら，樫井笙人，森千晃／パズル監修：東田大志／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『パプリカ　FoorinとおどろうLIVE』

8.14／9:00〜9:15ほか

ウィズコロナプロジェクト「みんなでエール」と連動したリモートイベント番組シリーズ。全国の子どもたちが「パプリカ」のダンス投稿で離れている誰かにエールを送るという企画。夏休みは，東海・北陸，四国，冬休みは，近畿，九州・沖縄，春休みは，北海道・東北，中国と計６回開催。それぞれのブロックでダンス動画を募集し，その中から８組を選び，自宅とリモートで結び，Foorinと一緒に「パプリカ」を踊った。ダンス投稿には，年間で772組が参加した。
▶出演：Foorin／第１制作ユニット（教育・次世代），事業センター，各放送局

『100分de萩尾望都』

1．2／21:30〜23:10
1.16／15:00〜16:40

「少女漫画の神様」とも評せられる漫画家・萩尾望都（1949〜）。『ポーの一族』『トーマの心臓』など奥深いメッセージがこもった５作品を，各界を代表するプレゼンターが選定。さまざまなキーワードで多角的に分析し作品の魅力を徹底解剖した。
▶司会：カズレーザー，安部みちこアナ／ゲスト：夢枕獏，中条省平，ヤマザキマリ，小谷真理／VTR出演：萩尾望都，斎藤環，明日海りお／第２制作ユニット（文化），NED

『舞楽』

1．1／6:05〜6:25

日本古来の伝統芸能であり，1400年以上の歴史をもつ舞楽を，宮内庁式部職楽部の演奏と舞で放送した。なお，20年度は過去映像の再利用。演目：「散手破」「納曽利」。
▶第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『福島をずっと見ているTV』

（10分版）（第４）土／22:50〜23:00
（44分版）9.24，3.25／22:00〜22:44

11年，東日本大震災の年に放送開始。福島県出身のクリエーティブディレクター・箭内道彦さんをMCに，震災後の福島の様子を見続けてきた。当初は月１回の放送→17年度から年４本の特集番組に→20年度からは毎月１本10分番組を放送しつつ，９月と３月に44分版を放送する番組へと変わっていった。「福島の“今”と“未来”を見つめ続ける貴重な全中番組」である。
▶出演：箭内道彦，合原明子アナ／第１制作ユニット（教育・次世代）

『ベートーベン250プロジェクト開幕特番「今こそベートーベン！」』

9.18／21:30〜21:55

ベートーベンの生誕250年を記念し，９月から「ベートーベン250プロジェクト」を始動。部や局をこえた連携で多角的にベートーベンを伝えた。プロジェクトのアンバサダーを稲垣吾郎氏に依頼し，デジタルサイネージやFacebookを使っての告知など，今までのクラシックの枠にとどまらない番宣も行った。プロジェクトキックオフと

なる開幕特番では，ベートーベンの名曲とともにプロジェクトの全貌を紹介。80に及ぶ関連番組へと導いた。
▶出演：稲垣吾郎，久石譲／管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『北京パラリンピックまで１年！』

3.14／15:45〜16:30

最高時速130キロメートルを超え「雪上のF1」とも呼ばれるパラアルペンスキー，選手同士が激しく体をぶつけ合う「氷上の格闘技」パラアイスホッケーなど，冬の競技も見どころ満載のパラリンピック。北京パラリンピック開幕まであと１年を迎えたタイミングで各種競技を総力取材し，特番として放送。前回の平昌大会では，金メダル３つを含む10個のメダルを獲得した日本選手団。コロナ禍で国際大会も中止を余儀なくされ，練習場所の確保も難しい中，苦境に立ち向かう選手たちの熱い思いと競技の魅力を伝えた。
▶出演：風間俊介，浅田舞，中野淳アナ／第３制作ユニット（福祉），報道局スポーツ情報番組部

『“ホルン”わが愛（いと）しのカタツムリ〜第89回日本音楽コンクール〜』

12.13／14:30〜15:30

クラシック音楽の世界で作曲家・演奏家を志す若者の登竜門とされる「日本音楽コンクール」のホルン部門に密着し，本選出場者の素顔や葛藤など，２か月にわたって音楽と向き合う日々を見つめた。
▶第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『待ってました！歌舞伎生中継』

「第一部」 1．2／18:00〜18:55
「第二部」 19:00〜20:40

正月の恒例番組『こいつぁ春から〜初芝居生中継〜』を改題。２日初日の東京・歌舞伎座，大阪松竹座の公演を中心に紹介。歌舞伎座「らくだ」を全編生中継，松竹座「傾城雪吉原」を時差再生したほか，当日の全ての演目を映像で紹介。NHKスタジオをキーステーションに，尾上松也，サラ・オレインをゲストに，坂東玉三郎らがインタビュー出演。熱烈歌舞伎ファンの著名人によるリクエスト企画も取り入れた。
▶副音声解説：高木秀樹／司会：中川緑・鈴木貴彦アナ／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『学びたいのに学べない』

2.13／21:00〜21:54

20年度の公共メディアキャンペーン「いま、学びを守ろう」の特番として放送。コロナ禍は子どもたちの学びにさまざまな影響を与えたが，シングルマザーや外国ルーツの家庭ほどその影響は大きく，従来からの「教育格差」が顕在化していることをデータを交えて明らかにした。すべての子どもを置き去りにしないために何ができるのか，NPOや学校の取り組みを紹介した。
▶出演：柳楽優弥，田村裕（麒麟）ほか／第１制作ユニット（教育・次世代）

『学びの遅れを取り戻せ！〜先生たちのオンラインワークショップ〜』

7.16／22:00〜22:50

コロナ禍による「一斉休校」により，全国の学校では「学びの遅れ」が課題となった。そこで，オンラインで学校と家庭を結んだり，NHKの教育番組を教材に活用したりする先生が登場。こうした智恵を出し合う教員ワークショップのもようを伝える。
▶出演：佐藤和紀（信州大学助教）ほか／第１制作ユニット（教育・次世代）

『まなブー！コンシェルジュ』

「１人１台端末で情報活用能力を育てる！？」

12.28／ 9:15〜 9:25

「プログラミングで、思考力が育つ！？」

3.20／ 2:00〜 2:10

10年ぶりに変わる学習指導要領や，国が前倒しで進める１人１台ICT端末の導入（GIGAスクール構想）。こうした中,「プログラミング」「情報活用能力」といった最新のテーマに，教育番組を使った授業で取り組む学校を，教育専門家（コンシェルジュ）の解説とともに見ていく。
▶声の出演：チャンカワイ／ナレーション：新井里美／動画配信／第１制作ユニット（教育･次世代）

『みいつけた！ステージでショー』

1.11／ 9:00〜 9:45

12月13日に愛知県尾張旭市で『みいつけた！』の公開収録を実施。黄金のエビフライをめぐり殿様や忍者がかくれんぼ対決などを繰り広げるコント，愛知名物をテーマにした面白ダンスのほか，「ドンじゅらりん」など人気の歌をステージ初披露した。

▶出演：高橋茂雄（サバンナ），増田梨沙，佐藤貴史，小林顕作，川島夕空ほか／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『昔話法廷「“桃太郎”裁判」』

3.29／ 9:00〜 9:33

テレビクラブの人気シリーズ『昔話法廷』の特別編。毎回，おとぎ話の登場人物がさまざまな罪に問われる法廷ドラマで，最終回である今回は，桃太郎が鬼ヶ島で鬼を殺害した罪で，死刑にするか否かが争われる。新型コロナによる人々の分断，黒人差別，SNSによる誹謗中傷など，20年の時事問題にもつながる争点を扱った。また，放送前には，NHKプラスクロスSHIBUYAで「昔話法廷」展を開催した。

▶出演：天海祐希，佐藤浩市，仲野太賀，仲里依紗ほか／第１制作ユニット（教育・次世代）

『ムジカ・ピッコリーノ　船員たちの夢物語』

「フローラの夢」　8.14／17:35〜17:45

「ジュリオの夢」　8.21／17:35〜17:45

子どものための音楽教育番組。コロナ禍でスタジオ収録ができないため，全編CGによる番組を制作。コーナーで出てくる出演者をキャラクター化したアニメでストーリーを展開するとともに演奏シーンでは，ロトスコープの技術を用いて描いた。いつもとはひと味違うムジカをお届けした。

▶出演：オカモトショウ，西條妃華，高沢英，森啓一朗ほか／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『名作照明ドラマ「ハルカの光」』

2. 8，15，22，　3. 1，　8／19:25〜19:55

名作照明専門店の店員・ハルカが，名作照明の魅力を来店客に伝え，彼らにぴったりな照明を見繕う過程で，訪れた客の人生に次々と「光」がもたらされていく様を描くヒューマンストーリー。ハルカ自身もまた，数々の出会いを通して，東日本大震災で負った心の傷を乗り越え希望の光を見いだしていく。向田邦子賞を受賞した気鋭の劇作家・矢島弘一の脚本を，ユーモアとペーソスあふれるタッチで描いた新感覚の文化教養ドラマ。

▶出演：黒島結菜，古舘寛治，イッセー尾形，塩見三省，渡辺大知，駿河太郎，緒川たまき，山下容莉枝，甲本雅裕ほか／コンテンツ開発センター，NEP，TBSスパークル

『文字の獲得は光の獲得でした
「作家　柳田邦男が読む　いのちの手記」』

1.24／14:30〜15:19

障害のある人やその家族などから手記を募集するNHK障害福祉賞には，半世紀にわたり１万3,000以上の作品が寄せられてきた。35年間選考委員を務める作家の柳田邦男さんはそれを「人間理解の宝庫」という。苦悩や偏見を乗り越え人生を切り開いた人々の真実の言葉があるからだ。戦後，不発弾の爆発で目と手を失いながら唇で点字を読むことを習得し教師となった男性，壮絶な摂食障害を経験した女性。番組では柳田さんとともに過去の受賞者４人を訪ねた。「文字で表現すること」を通して自分の人生と向き合い，立ちはだかる壁を越えてきた人々の体験から，人間とは何か，いのちとは何かを見つめた。

▶出演：柳田邦男（作家），夏子（俳優）／第３制作ユニット（福祉）

『もしものときのがんこちゃん』

「じしんがおきたら」　2.23／ 9:00〜 9:10

「火山がふんかしたら」　3.31／ 9:20〜 9:30

道徳人形劇でおなじみの「ざわざわ森のがんこちゃん」を主人公に，自然災害に遭ったときの避難行動について学ぶ。第１回は「じしんがおきたら」。下校中に地震が起きたらどうするか，地震の後はどんな道を通ればいいのかなど，クイズ仕立てで学ぶ。第２回は火山が噴火したときに起きることを知り，避難行動を学ぶ内容。

▶動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『ようこそ！楽しい学びの入り口へ
「まなブーのイチオシ“NHK　for　School”」』

3.26／10:05〜10:15

20年度は新型コロナの流行や，学校への１人１台ICT端末の導入などによって，オンライン学習への関心が高まった年だった。そこでインターネットさえつながれば9,000本以上の動画をいつでも，どこでも見ることができる“NHK for School”の効果的な使い方や新番組などの魅力を紹介する。

▶声の出演：チャンカワイ／ナレーション：新井里美／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

『臨時開校！フライデーモーニング・スクール』
『臨時開校！フライデーモーニング・スクール プラス』

E3※　4.24～ 7.24／金　9:00～10:25ほか
Ⓔ　5.30再金　15:10～17:00
6. 6～ 7.25再金　15:30～16:50ほか

コロナ禍の「一斉休校」で家にいる子どもたちに向けて金曜の朝に“テレビ授業”が開校！ベテランの先生たちがNHKの教育番組を使って「社会」「理科」「算数」「国語」「生活」「英語」などの授業を展開する。サブチャンネル※で先行放送し，後にEテレで再放送した。

▶動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

（※サブチャンネル　複数番組を同時放送するマルチ編成番組のこと）

『連食テレビエッセー　きみと食べたい』

12.24／22:00～22:30

地域に根ざし土地の食材にこだわって料理を生むレストランを訪ねる旅ドキュメンタリー。旅をしたのは，フードエッセイストの平野紗季子さんと女優の門脇麦さん。長崎県島原市にあるレストランを訪れ，料理を入り口に島原の魅力を体感していく２人の旅を，平野さんの書き下ろしエッセーをナレーションにして，独特の映像美とアニメーションで伝えた。

▶出演：平野紗季子，門脇麦／語り：岡田健史／第１制作ユニット（教育・次世代）

『私のアニメ語り』

Ⓔ　9.21，28，10. 5，12／22:50～23:19
BSP　3.20／ 1:55～ 2:20

NHKで放送中・放送予定のアニメを題材に，人とのつながりや生命の意味が身近な時代だからこそ感じる魅力を，多彩な出演者がそれぞれの視点から存分に語る５回シリーズ。

▶「ログ・ホライズン」出演：工藤大輝，最上もが，加藤英美里，さやわか／「未来少年コナン」出演：藤津亮太，大童澄瞳，結，千秋／「キングダム」出演：藤津亮太，結，山野智久，入山章栄／「進撃の巨人」出演：藤津亮太，市川紗椰，五十嵐太郎，ユージ／「“不滅のあなたへ”直前スペシャル」出演：さやわか，山本美月，川島零士，津田健次郎，大今良時／展開戦略推進部，NEP

③ BS1

定時番組

ABC順

『BS世界のドキュメンタリー』

BS1	（前期）	火～木	0:00～ 0:45
	（後期）	火～木	23:00～23:45
BS４K	（前期）	月	22:00～22:45
		再 火	17:00～17:45
	（後期）	月	21:45～22:30
		再 木	15:00～15:45

『BS世界のドキュメンタリー　選』

BS1　月～金　17:00～17:45

第１回04.4.1／海外の制作者が時代の最前線を追って取材・制作した番組を購入，または国際共同制作した。一部の番組については，４K一体化制作を行い，BS４K枠で放送した。放送した番組の中では，「武漢の24時間　ロックダウン・中国の記録」「新型コロナ抑止の最前線　韓国テグからの報告」など新型コロナの海外の最前線を描いたドキュメンタリーが反響を呼んだ。また，11月の米大統領選時には「トランプ対バイデン～2020年　アメリカの選択～」「エアフォースワンと歴代大統領の秘密」など視聴者の関心に応える番組を放送した。環境問題についても，「薄氷のシベリア　温暖化への警告」「天空の脱炭素－航空機業界の未来－」など関連する作品を多く取り上げた。さらに，「北朝鮮“39号室”追跡　地下資本主義の錬金術」「中国　デジタル統治の内側で～潜入・新疆ウイグル自治区～」など国際社会の暗部を描いた調査報道番組もよく見られた。国際共同制作では，「ニュートピア　ジャングルと文明の交差点」「キューブリックが語るキューブリック」「聖地の果てなき縄張り争い」などさまざまなテーマの作品を展開し，世界の制作者との連携を深めた。

▶展開戦略推進部，NEP，Gメディア

『BSニュース』

月～日　（５～23時）毎時50分～

第１回04.11.1／早朝から深夜まで毎時50分から10分間を基本とし，１日19回放送。国内外の主なニュースをはじめ，為替と株の情報，気象情報などをコンパクトに伝えた。“ニュースはコンパクトかつ多項目”を編集方針に地震や事件・事故などの緊急報道にも迅速に対応した。大リーグやプロ野球などのスポーツ中継がある場合は，休

止や中断ニュースになる場合もあった。
▶キャスター：長谷川静香，笠井美穂，佐久川智，木下瑠音，阪田陽子，秋山千鶴，徳田琴美，細谷翠，福永美春，岡裕美／ニュース制作部

『CNNスチューデントニュース』

火～土　4:20～ 4:30
再 月～金　15:10～15:20

第１回09.3.30／米CNN制作，中学・高校生向けのデイリー・ニュース番組を２か国語で伝えた。クイズなども織り込み，楽しくニュースを見せる工夫もある。独自に英語字幕も付加し，英語の勉強に最適。
▶政経・国際番組部，Gメディア

『COOL JAPAN～発掘！かっこいいニッポン～』

日　18:00～18:44
（前期）再 日　12:00～12:44
（後期）再 火　21:00～21:44

第１回06.4.5／日本人も気づかない日本の魅力を外国人が発掘し，世界と日本の文化や考え方の違いを楽しむ知的バラエティー。20年度は特集企画として，「15年目突入！男と女の激論スペシャル」や，「世界を変えたニッポンの大発明スペシャル」「世界が驚いたアスリート魂スペシャル」，さらに毎年恒例となっている正月特集「世界が驚いたニッポンのNEWS」を99分の拡大版で紹介。また通常放送枠では「SDGs シリーズ」として「つくる責任つかう責任」「海の豊かさを守ろう」「陸の豊かさも守ろう」「質の高い教育をみんなに」を制作した。
▶司会：鴻上尚史，リサ・ステッグマイヤー／ナレーション：日髙のり子，中井和哉／ご意見番：荒俣宏，小林康夫，中村伊知哉，髙井典子，田中ウルヴェ京／コンテンツ開発センター，NEP，クリエイティブネクサス

『Jリーグタイム』

土　21:10～21:49

第１回06.3.5／放送は原則としてJ1リーグ戦開催日，どこよりも早く，当日のJ1全試合全ゴールをダイジェストで伝えた。コロナ禍でも話題の選手や旬の話題にアクセスするリモート取材企画の制作や，Jリーグをウォッチするタレントに定期的に出演してもらい独自の視点を生かした企画・解説を行った。
▶スポーツ中継部，Gメディア

『PGAゴルフツアー』

随時

第１回92.1.5／年間約40試合の決勝ラウンドを生放送。新型コロナウイルスの影響で，20年３月のザ・プレーヤーズ・チャンピオンシップから約３か月間，試合が中断した。松山英樹ら日本人選手のプレーを予選ラウンドから独自にロケ取材し，ラウンド後のインタビューも紹介した。
▶スポーツ情報番組部，Gメディア

五十音順

『えぇトコ』

BS1　月　0:00～ 0:25
G　水　10:15～10:40

第１回12.4.13／関西各地の味や技，絶景などの魅力とそこに暮らす人々の思いや人生に耳を傾け，心が動く旅を届けてきた。９年目の20年度は新型コロナにより４～６月末，12月以降のロケが中止となり再構成版を放送。ロケ再開後は「ウィズ・コロナ」の旅の楽しみ方も提示。管内各局の地域支援とも連動，11月，12月に放送した総合（近畿ブロック）の兵庫・豊岡市の回では，地元地域での接触率はふだんの３倍となった。
▶大阪拠点局

『キャッチ！世界のトップニュース』

月～金　8:00～ 8:49
再 月～金　11:00～11:49

第１回16.4.4／世界の18の国と地域，21の放送局が伝えるニュースの中から，日本の視聴者にとって重要な項目を，経験豊富なキャスター陣が分かりやすい解説を加えて放送した。
▶キャスター：西海奈穂子，松田智樹（～20.7.22），小林雄（20.8.3～），中川栞，高橋彩／政経・国際番組部，Gメディア

『球辞苑
～プロ野球が100倍楽しくなるキーワードたち～』

（後期）土　23:00～23:49
再 月　20:00～20:49

『球辞苑
～プロ野球が100倍楽しくなるキーワードたち～選』

（前期）月　19:00～19:49

第１回20.12.5，最終回21.3.20／「究極の野球辞典」の編さんという設定で，毎回一つの「キーワード」を掘り下げる番組。現役選手やOBを取材し野球の神髄・極意をひもといてきた。もともとプロ野球のオフシーズン企画として開発された

番組。20年度シリーズは，初回（12.5）のゲストに野球好きで知られる中居正広さんを招き，番組認知度の更なる向上をねらった。その後も「指名打者」「完投」など球界で議論を呼んでいるテーマを積極的に採用。コロナ禍で球場やキャンプ地での取材は制限されたが，過去に取材した選手の未公開映像の活用や，リモート取材などで，視聴者の期待に応えてきた。

▶出演：塙宣之（ナイツ），里崎智也などプロ野球解説者，データ解析の専門家ほか／語り：土屋伸之（ナイツ）／コンテンツ開発センター，NEP，万作

『攻略！ABCニュース英語』

火〜土　5:45〜 5:50
再 火〜金・月　15:05〜15:10

第1回19.4.2／米ニュース番組「ワールドニュース・トゥナイト」の中から，時事英語のキーワードを選んで解説。直近の国際ニュースを通して，生きた英語を学べるというミニ番組。放送した動画をホームページにも展開した。

▶政経・国際番組部，NEP

『国際報道2020／2021』

月〜金　22:00〜22:40

第1回14.3.31／海外総支局のネットワークを生かして，最新の国際ニュースをいち早く，より深く伝えるとともに，海外の人びとの暮らし，文化，トレンドなども紹介した。新型コロナの影響で，キャスターによる恒例の海外取材は実施できなかったが，ITを駆使したリモート取材を積極的に行い，米大統領選挙でのアメリカ人専門家や，歌手ジョン・ボン・ジョヴィなど著名人へのキャスターインタビューを実施。新型コロナで揺れる世界の今を伝えた。

▶キャスター：池畑修平，今井翔馬，酒井美帆／政経・国際番組部，Gメディア

『ザ・ディレクソン』

土　17:00〜17:49
再 土　12:00〜12:49

第1回18.4.14，最終回21.3.21／公募で集まった参加者がディレクターになって地域を元気にするアイデアを競い合う番組。最優秀アイデアをNHKが全力で番組化・サービス化，さらにNHKが地域に暮らす人と人をつなぐ「場」，地域の未来をともに創る「場」になることを目指した。「ピンチをチャンスに！」（宮崎局　7.25），「再発見！地元の人が知らない魅力」（函館局　10.24），「若者の“愛媛離れ”を食い止めろ！」（松山拠点局　11.28），「“魅力度最下位県”を覆せ！栃木の逆襲」（宇都宮局　1.30）など。

▶MC：山里亮太（南海キャンディーズ）／社会番組部，コンテンツ開発センター，視聴者コミュニケーション推進室，各地域局，Gメディア，NEP

『ザ・ヒューマン』

土　22:00〜22:49

第1回19.12.14／先の見えない混とんの時代だからこそ，人間の確かな息遣いを深く見つめなおす…。それぞれの世界で挑戦や模索を続ける人たちの，“心揺さぶられる生きざま”を描く本格派ドキュメンタリー。主人公たちの願いや挑戦，葛藤に迫り，リアルな生きざまを見つめた。NY美術家・松山智一，中国・人権派弁護士，財津和夫，羽生善治，水泳・飛び込み一家，柳家小三治，関ジャニ∞・安田章大などを取り上げた。

▶コンテンツ開発センター，報道局，NEP，NED，Gメディア

『週刊ワールドニュース』 新

土　11:00〜11:49
再 日　0:00〜 0:49

第1回20.11.7／世界で新型コロナウイルスの感染拡大が続く中で放送が始まった。アジア・ヨーロッパ・アメリカなど，世界各国の放送局をカバーするワールドニュースで放送した新型コロナに関するリポートを1週間分に集約し，特集番組として毎週土曜日に放送。感染拡大の状況や各国の対策，ワクチン情報について報道し，日本がパンデミックを生き残るヒントになる番組を放送した。後期から定時番組となり，音声の一部にAIを導入した。

▶政経・国際番組部，Gメディア

『スポーツ×ヒューマン』

BS1　（前期）月　20:00〜20:44
再 土　12:00〜12:44
（後期）月　21:00〜21:44
再 金　23:00〜23:44
G　（前期）火　1:45〜 2:29
（後期）火　1:43〜 2:27

第1回19.4.1／スポーツの織りなすさまざまな「人間ドラマ」に徹底的にこだわる新しいドキュメンタリー番組。20年度はコロナ禍で苦闘を続ける卓球・伊藤美誠選手や張本智和選手，陸上・

服部勇馬選手，フェンシング・三宅諒選手などを取り上げ，延期となった東京五輪に向かうアスリートの姿を伝えた。その他，サッカーの中村憲剛選手やプロ野球「阪神タイガース」の藤川球児投手など著名なアスリートの生きざまを魅力的に描いた。
▶スポーツ情報番組部，Gメディア，NEP

『武井壮のパラスポーツ真剣勝負』

（月１回）日　17:00～17:45
再 土　13:00～13:45

第１回18.4.8／運動能力抜群で「百獣の王」の異名を持つ武井壮がパラスポーツに挑戦。その競技のトップアスリートに真剣勝負を挑む。武井壮の能力を持ってしても，かなわないパラアスリートのテクニックや超感覚。悪戦苦闘する武井壮の姿を通して，その奥深さを描く。コロナ禍の影響で11月・２月の２回（「陸上“伴走の世界”」「アスリートからの挑戦状」）の放送となった。
▶キャスター：武井壮／コンテンツ開発センター

『千鳥のスポーツ立志伝』　新

水　21:00～21:49
再 土　17:00～17:49

第１回20.12.23／20年度後期にスタート。MC千鳥が“キャラ”“技”“立志”の個性･こだわり＝クセから一流アスリートがいかにしてトップに登り詰めることができたのか，その成功の秘けつを探る新感覚スポーツバラエティー番組。身近な証言者の驚きのエピソードなどをVTRで紹介，スタジオのアスリートにぶつけ，“クセ博士”がそのクセを徹底分析する。
▶出演：千鳥，中川安奈アナ／語り：小芝風花／コンテンツ開発センター，Gメディア

『チャリダー★快汗！サイクルクリニック』

土　18:00～18:49
再 土　7:00～ 7:49

第１回15.4.4／スポーツサイクルを楽しむ人に贈る自転車情報番組。19年度から49分の放送時間に拡大。「感動体験！屋久島一周サイクリング」や「大分・徳島ひとり旅」など絶景ロードを巡る自転車旅，より安全に走るためのルールやマナーを学ぶ「チャリダー★自転車教習所」などを放送した。新型コロナにより大会が中止となる中で「手づくりヒルクライム　in　志賀高原」「日本縦断！世界最速記録に挑む」などの独自の企画や「MTB全日本選手権」「トラック競技　日本代表に密着！」などのドキュメント企画も放送した。
▶出演：うじきつよし，朝比奈彩，竹谷賢二，猪野学／コンテンツ開発センター，Gメディア，テレコムスタッフ

『東京マーケット情報』

月～金　12:00～12:25，15:25～15:50

第１回87.7.4，最終回21.3.26／東京株式市場の１部・２部の値動きを中心に，外国為替市場，債券市場などの最新の動向を伝える情報番組。午後３時台は専門家が１日の市場の動きや国内および世界経済の動向を分析している。最新の経済ニュースも放送した。
▶キャスター：柏田久美子，岸田彩加／政経・国際番組部，Gメディア

『熱血バスケ』

（９～10月）月　21:00～21:49
（11～３月）月　23:00～23:49
再 火　18:00～18:49

第１回19.9.30／プロバスケットボール・Bリーグ，女子Wリーグ，八村塁，渡邊雄太ら日本人選手を中心としたNBA，そして中学・高校生のウインターカップなどを伝えるバスケの総合情報番組。20年度からは10代の視聴者向けに新コーナー「青春！ジューダイpoint」を放送。現役選手の青春時代の思い出やバスケとの出会いなどを伝えた。バスケットボールアナリスト・佐々木クリスが直近の試合を深堀り解説。スタジオに現役選手を招き，最近の試合での勝負の裏側を紹介したほか，視聴者からの質問やチームメートからの秘密のインタビューに対し素顔を語ってくれた。コロナ禍では，感染予防対策で，ゲストはリモート出演で放送。１月には，女優でバスケ経験者の桜井日奈子さんを起用して，ファンがなぜBリーグにハマるかを探る特番を放送した。
▶MC：神田れいみ／スポーツ情報番組部，Gメディア

『パラ×ドキッ！』

日　17:00～17:49
再 土　13:00～13:49

第１回19.4.7，最終回20.9.20／MCに千鳥を迎え，東京2020パラリンピックを目指すパラアスリートを深堀りして紹介。障害を乗り越えるために常識を超えて発達した特殊能力や，それを獲得するまでの道程を，バラエティー色満載の演出で伝えた。オリンピアンとパラリンピアンが真剣勝

負する「ガチ×パラ」など，パラ競技の魅力を多角的に描いた。コロナ禍で東京パラリンピックの実現が不透明になり，20年度後期より休止。
▶キャスター：千鳥，保里小百合アナ／コンテンツ開発センター，Gメディア

『〇〇推し！』 新

（前期）金～日　0:00～ 0:50
（後期）火～木　0:00～ 0:50

第１回20.4.3／全国各地のNHKの放送局が制作した番組を地域ごとにまとめて放送した（「北海道推し！」「東北推し！」など）。地域の魅力を伝える番組や，そこに暮らす人々の姿や直面する課題について考える番組など，えりすぐりの番組を全国に発信した。
▶編成センター，各放送局

『〇〇ピアノ・選』

日　13:00～13:45

第１回20.3.29／これまで放送してきた『街角ピアノ』『空港ピアノ』『駅ピアノ』の中から，秀逸だった演奏や，記憶に残る演奏をえりすぐり，放送した。
▶コンテンツ開発センター，Gメディア

『ランスマ倶楽部』 新

日　17:00～17:49
再 土　7:00～ 7:49

第１回20.10.11／前身のランニング情報番組『ラン×スマ～街の風になれ～』をリニューアルし，20年度後期から新番組としてスタートした。「今年はガチだぜ！」をテーマに，出演者がフルマラソン４時間切りや３時間切りを目標に，真剣にチャレンジする姿に密着した。また名ランナーのフォームをプロランニングコーチの金哲彦さんが分かりやすく解説。さらに，走りながらの景色の楽しみ方から駅伝中継の見どころまで紹介するなど，ランニングの幅広い魅力を伝えた。
▶出演：金哲彦，藤原新，高樹リサ，佐野千晃／コンテンツ開発センター，Gメディア

『ワースポ×MLB』

（４～11月・２～３月）月～土　23:00～23:49
日　21:00～21:49

第１回13.4.1／ダルビッシュ有，前田健太，田中将大ら日本人選手を中心としたMLBに，NFL，F1など海外スポーツ，プロ野球を伝えるスタジオ生放送の情報番組。元野球選手と医師らを解説陣に迎え，ARによる体感コーナー，野球好きの女性アイドル出演のトーク企画など硬軟織り交ぜ放送した。21年はシーズン開幕に向け，２月26日からウィークリーとして再開。12月にダルビッシュ有特集と20年のMLBをふり返る特集（100分）を放送した。新型コロナウイルスの感染拡大でMLBの開幕が４か月近く遅れ，その間はプロ野球を中心に番組時間を短縮して放送した。
▶キャスター：（月～金）山本萩子，（土・日）市川いずみ／解説：黒木知宏，小早川毅彦，岡島秀樹ほか／スポーツ情報番組部，Gメディア

『ワールドニュース』

火～土　5:00～ 5:44
月～土　6:00～ 6:49
月～金　7:00～ 7:49，12:25～12:44

第１回14.3.31／海外のニュースをいち早く，現地での伝え方を生かして２か国語で放送した。米ABC，英BBC，仏F2，独ZDF，スペインTVE，ロシアTV，中国CCTV，香港TVB，韓国KBS，豪ABC，カタール・アルジャジーラ，ブラジル・バンデランテスなど，世界18の国と地域，21放送機関のニュースを伝えた。
▶政経・国際番組部，Gメディア

『ワールドニュース　アジア』

月～金　14:30～14:50

第１回14.3.31／アジアのニュースをいち早く，現地での伝え方を生かして放送した。中国CCTV，上海・東方衛視，香港TVB，韓国KBS，フィリピンABS-CBN，タイMCOT，ベトナムVTV，シンガポールCNA，カタール・アルジャジーラなどの放送機関のニュースを伝えた。
▶政経・国際番組部，Gメディア

『ワールドニュース　アメリカ』

月～金　15:00～15:05
月　16:00～16:29
火～金　16:00～16:49

第１回14.3.31／米ABCやPBSのニュースを通じて，アメリカそして世界の動きをいち早く，コンパクトに伝えた。
▶政経・国際番組部，Gメディア

③ BS1

特集番組

ABC順

『BS1スペシャル』

「映画で未来を変えようよ
～大林宣彦から４人の監督へのメッセージ～」

7. 5／19:00～19:49

最新作「海辺の映画館」を完成させながら，４月10日に亡くなった大林宣彦監督。死の直前，岩井俊二，手塚眞，犬童一心，塚本晋也の４監督に遺言とも言える言葉を残した。東日本大震災を転機に，一貫して「戦争」をテーマに映画を作り続けた大林監督。この間に交流を深めていったのが４人の監督だった。ガンと闘いながらの晩年の撮影現場と，未来を託した４人のインタビューから，大林監督が伝え残そうとしたものを探った。

▶語り：中條誠子アナ／第２制作ユニット（文化），NEP

「クライメート・ジャスティス
パリ“気候旋風”の舞台裏」

1. 3／23:00～23:49

世界400万人の若者がクライメート・ジャスティス（気候正義）を訴え，史上最大規模の同時デモを行ったのは19年９月。その立役者の一つ，パリのLaBaseはSNSで35万人を動員，フランス全土で抗議デモを行った。企業や政府を動かそうと，ときに過激に立ち向かう若者たち。番組は，コロナ禍を社会変革のチャンスと捉え既存の社会システムのリセットを目指す活動に密着。その戦略と成功，挫折からポストコロナの未来像を描き出した。

▶語り：冨永愛／大型企画開発センター，国際放送局

「黒人中国夢
ーブラック・チャイナ・ドリームー」

2.23／22:00～22:49

中国・広州にある東アジア最大の黒人街，通称「リトル・アフリカ」。20年４月，この街の住民から新型コロナ感染者が出ると「黒人がウイルスをまき散らしている」とデマが拡散。アフリカ系住民が強制的に隔離される事態になった。中国資本の進出著しいナイジェリアから成功を夢見てやって来た貿易商や留学生。母国の娘を呼び寄せ中国に永住したいと望むジンバブエ人。差別に苦しみながらもチャイナ・ドリームを追い続ける人々を描いた。

▶語り：リリー・フランキー／第２制作ユニット（文化），NED

「最後のひとりまで
宮城県警元鑑識課員の震災」

3.11／21:00～21:49

「女川348」「東松島1043」…。番号で呼ばれる東日本大震災の身元不明遺体。宮城県警OBの安倍秀一さん（71歳）は，残された遺体の名前を取り戻すことに震災後の日々を捧げてきた。安倍さんは遺体写真から似顔絵を作成する専門家。これまで100人の震災犠牲者を描き，似顔絵がきっかけで24人の身元が判明した。遺体の尊厳を取り戻すべく筆を握り続ける元鑑識課員の震災10年を見つめた。

▶語り：西島秀俊／第２制作ユニット（文化），NED

「勝敗を越えた夏2020
～ドキュメント日本高校ダンス部選手権～」

9.26／21:00～21:50，22:00～22:49

ダンスに懸ける高校生の姿を通して青春を描き，18年から続いてきたドキュメント。20年は，予期せぬコロナ禍に対して，高校生たちはどう行動し，どうやって自分たちのチームの力を最大限に引き出していったかを取材。国内最大級の高校生ダンス大会「ダンススタジアム」への軌跡を丹念に記録した。

▶コンテンツ開発センター，NEP

「真実への鉄拳～中国・伝統武術と闘う男～」

11.29／22:00～22:49

中国で伝統武術の権威が大きく揺らぎ始めた。ある総合格闘家が「実戦の役に立たない」と真っ向から否定，反発した武術の達人たちを撃破したのだ。その強さと率直な物言いで支持を得た格闘家。しかし，行く手に思わぬ壁が立ちはだかった。果たして，闘いの決着は。リングの外にまで広がったバトルの行方を見つめた。

▶語り：遠藤憲一／コンテンツ開発センター，NEP，テムジン

「封鎖都市・武漢～76日間　市民の記録～」

5. 4／20:00～20:49

新型コロナウイルスが発生し，76日間，封鎖

された武漢。29歳の郭晶さんは，ネットに日記を発信し，食糧事情や監視実態，揺れ動く感情を伝え続けた。北京のネットラジオ番組は，武漢の医師，患者の悲痛な声を配信した。庶民の声を通じて，官製メディアが伝えない医療崩壊など切迫した実態を浮かび上がらせた。

▶語り：井上二郎アナ／朗読：礒野佑子アナ／第2制作ユニット（文化），NED

「満州　難民感染都市」
〈前編〉知られざる悲劇

3.28／22:00〜22:50

〈後編〉祖国への脱出

3.28／23:00〜23:49

敗戦後の旧満州に残された日本人居留民は150万余り。ソ連軍の侵攻のなか奉天（現・瀋陽）など大都市に流れ込み次々に発疹チフスにたおれた。満州医科大学の医師，学生，看護師がワクチンの製造を試みたが，医師もまた感染症で命を落としていく。ようやく終息するも，ペスト，次いでコレラが発生する。引き揚げに至るまで続いた知られざる感染症との闘いを貴重な証言や新資料で描く。

▶語り：髙橋美鈴アナ／第2制作ユニット（文化），NED

「見えざる敵を観（み）る
ミクロの目で迫る新型コロナの正体」

6.27／22:00〜22:49

“見えざる敵”新型コロナウイルスを，医師でCGクリエーターの瀬尾拡史氏が感染症やウイルスの専門家に独自取材し，科学的知見をもとに最先端CGで可視化。感染や増殖，劇症化のメカニズムなど，謎多きウイルスの正体に迫った。

▶コンテンツ開発センター，NED

「レジェンドの目撃者」

7.20，12.18，　1.10，　3.19，27／21:00〜21:49
12. 5，12.26，　2. 3／20:00〜20:49
2.22／19:00〜19:49

プロ野球史を彩る伝説的な選手のスゴさに，そのプレーや生きざまを「目撃」していた人の証言から迫る番組。毎回，スタジオにレジェンド本人を招き，魅力的なトークを引き出した。20年度は9本を制作。山本昌，佐々木主浩，福本豊，田淵幸一，山田久志，堀内恒夫，掛布雅之，東尾修，江川卓と投打のスーパースターの素顔に迫った。

▶キャスター：土屋礼央，副島萌生アナ／コンテンツ開発センター，Gメディア

「レバノンからのSOS
〜コロナ禍追いつめられるシリア難民〜」

7.12／22:00〜23:49

レバノンに避難する120万ものシリア難民。経済的に困窮し，売春や臓器売買が広がる中，新型コロナウイルスの感染拡大により3月15日，非常事態が宣言された。しかし，難民たちはマスクすら買えず，援助も十分に受けられない。差別が拡大して難民キャンプへの襲撃事件が起こり，DVも急増，自殺者まで現れた。コロナ禍のシリア難民の窮状に4か月間密着したルポ。追加取材をして48分に再構成したものをNHKスペシャルでも10月24日に放送した。

▶語り：大竹しのぶ／第2制作ユニット（文化），NED

五十音順

『激動の世界をゆく』

（不定期）　日　23:00〜23:49

あのニュースの舞台裏で何が起きているのか。そこで生きる人たちは一体どんな思いでいるのか。激しく変化する世界の現場に鎌倉キャスターが迫る報道紀行番組。20年度は，ポストコロナ時代を見据え，影響力を強める中国と私たちはどう向き合っていけばいいのか。上海の若者や香港の民主活動家など，市民一人一人の言葉からヒントを探る番組や，新大統領を迎えたアメリカの各地にカメラを据え，バイデン氏とトランプ氏の支持者たちの本音や“脱炭素社会”に向けた新たな潮流に迫る番組を制作した。

▶語り：鎌倉千秋アナ／政経・国際番組部

『パラスポーツ×アニメ
「アニ×パラ」あなたのヒーローは誰ですか』

BS1 G E　随時

東京五輪・パラを機に，アニメでパラスポーツの魅力を伝える番組。日本を代表する漫画家が手がけるオリジナルストーリーで人気アニメや著名歌手とコラボするなど，子供や若い人を中心に幅広い世代に障害者スポーツへの関心を広げていくことを目指している。第9弾はボッチャ×ひうらさとる×阿部真央（テーマ曲），第10弾は視覚障害者マラソン×ましろ日×LiSA（テーマ曲），第11弾は車いすバスケットボール×DEAR BOYS×三浦大知（テーマ曲）。国内外の自治体や教育現場，イベントなどさまざまな形で活用されている。

▶首都圏局

④ BSプレミアム
定時番組

ABC順

『BSエンターテインメント』

日　22:50〜23:19ほか

第1回19.4.7／J－POPや昭和歌謡，アニメソングなど，さまざまなジャンルの音楽を取り上げ，エンターテインメントの魅力を多角的に伝えた。『The　Covers』では，人気の歌手たちが多くの名曲をカバーして歌い，『アニソン！プレミアム！』では，若い世代に人気のアニメソングを，多くのアーティストとともに紹介。ほかにも『乃木坂46のガクたび！』など。

▶コンテンツ開発センターほか

『BS時代劇』

BSP　金　20:00〜20:43
再 日　18:45〜19:28
BS4K　金　20:00〜20:43

第1回11.4.3／人気シリーズに加えて新シリーズもスタート。時代劇ファンの要望に応える痛快娯楽時代劇の枠として10年目を迎えた。

「赤ひげ3」

第1回20.10.23，最終回20.12.4／船越英一郎主演。“無知と貧困”にあらがう小石川養生所の医師・赤ひげの活躍を描く第3シリーズ。新キャラクターとして“家族の愛”を信じられない女医見習いのつぐみが登場。さらには赤ひげの秘密が明らかになる！（全7回）。

▶原作：山本周五郎／脚本：尾崎将也，川崎いづみ／出演：船越英一郎，中村蒼，優希美青，前田公輝，鈴木康介，山野海，久保田磨希，真凛，山崎裕太，奈緒ほか／第4制作ユニット（ドラマ），NEP，ホリックス

「明治開化　新十郎探偵帖」

第1回20.12.11，最終回21.2.5／明治初期に続発する怪事件に挑む天才探偵・結城新十郎と剣士・泉山虎之介！　洋行帰りの天才と熱血剣術指南の推理合戦に，なんとご隠居の勝海舟が参戦！時は花咲く文明開化，明治に入れ乱れる人間の愛憎劇。坂口安吾が描き出す明治を背景にした1話完結の傑作推理時代劇！（全8回）。

▶原作：坂口安吾／脚本：小松江里子，伊藤靖朗／音楽：金子隆博／主題歌：ナオト・インティライミ／出演：福士蒼汰，内田理央，矢本悠馬，中村靖日，勝村政信，篠井英介，鶴見辰吾，稲森いずみ，高橋克典ほか／NEP，第4制作ユニット（ドラマ）

『BS時代劇・選』

金　20:00〜20:43
再 日　18:45〜19:28

「妻は、くノ一」

再放送第1回20.5.15，最終回20.7.3／本放送（13.4.5〜5.24）のアンコール放送（全8回）。

▶第4制作ユニット（ドラマ）

「鞍馬天狗」

再放送第1回20.8.28，最終回20.10.16／本放送（08.1.17〜3.6）のアンコール放送（全8回）。

▶第4制作ユニット（ドラマ）

「雲霧仁左衛門」

再放送第1回21.2.19，最終回21.3.26／本放送（13.10.4〜11.8）のアンコール放送（全6回）。

▶第4制作ユニット（ドラマ）

『PEANUTS　スヌーピー　ショートアニメ』

日　7:52〜 7:55

第1回19.8.18，最終回20.9.27／世界で最も有名なビーグル犬・スヌーピーとチャーリー・ブラウンのほか，個性豊かなキャラクターたちが繰り広げるかわいらしいストーリーが詰まった1話完結のショートアニメーション。

▶展開戦略推進部，NEP

五十音順

『アナザーストーリーズ　運命の分岐点』

火　21:00〜22:00
再 木　8:00〜 8:59

第1回15.4.1／ベルリンの壁崩壊，ビートルズ来日…。あの日，あの時，そこに関わった人々は何を考えたのか？　人々の記憶に残る事件やできごとの“アナザーストーリー”に迫るマルチアングルドキュメンタリー。20年度は「豊田商事事件〜時代が生んだ悲劇〜」「突然あらわれ突然去った人〜向田邦子の真実〜」「“復活の日”の衝撃〜コロナ“予言の書”〜」など多彩なラインナップを制作。

▶ナビゲーター：松嶋菜々子／語り：濱田岳／コンテンツ開発センター，NED，テレビマンユニオン，スローハンド，テレコムスタッフ，東北新社

『アニメ　トムとジェリー　ショー　3』

日　7:30〜 7:52

第1回20.2.16，最終回20.9.27／ちょっと凶暴だけど，どこか憎めない大きなネコのトムと，小さいけど頭脳明せきなネズミのジェリーが繰り広げるドタバタコメディー。ライバルで親友の2匹の人気アニメの最新作。

▶展開戦略推進部，NEP

『偉人たちの健康診断　選』

木　23:45〜 0:44

第1回17.10.4，最終回21.3.25／歴史上の人物の日常生活や病歴，さらには健康へのこだわりから，現代の私たちが元気で長生きするためのヒントを探る歴史と健康を組み合わせた教養番組。これまでに放送したものの中から特に評判がよかったものを選び，日本史の重要人物から世界史まで幅広くラインナップ。現代医学の目から見た新たな歴史の楽しみ方を提示した。

▶司会：渡邊あゆみアナウンサー／出演：関根勤，カンニング竹山／第2制作ユニット（文化），NED

『イッピン』

BSP　火　19:30〜19:59
再　火　12:00〜12:29
G　日　4:30〜 4:59
BS4K　火　19:30〜19:59
再　火　9:00〜 9:29
再　木　17:15〜17:44
再　土　6:00〜 6:29

第1回12.10.2／日本の職人たちが伝統のワザを駆使して生み出す，優れた地場産品。それが今，新感覚のデザインや現代的な機能を備えた，新しい“イッピン”へと進化を遂げている。番組では，科学的なアプローチや驚きの映像で，人気の秘密を解き明かす。誰もが欲しくなるような日本の“イッピン”の魅力をたっぷり紹介した。20年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため，6月以降イッピンリサーチャーが生産現場を訪れることはなかった。

▶語り：平野義和／コンテンツ開発センター，NEP

『岩合光昭の世界ネコ歩き』

BSP　火　22:00〜22:59
再　水　12:00〜12:59
BS4K　火　22:00〜22:59
再　水　8:00〜 8:59
再　月　15:00〜15:59

第1回12.8.6／動物写真家の岩合光昭が世界各国のネコを動画で撮影。音楽と少ないナレーションで臨場感たっぷりに伝えた。特徴は，ネコと同じ目線で撮影すること。ネコについて歩いていくと，世界各国の日常が見えてくる。何のしがらみもなく本能的に生きるネコの姿を，美しい世界各国の映像とともに放送した。

▶出演：岩合光昭／語り：塚本高史，宮﨑あおい，山田孝之，相武紗季／コンテンツ開発センター，NEP，ジーズ・コーポレーション

『うたう旅〜骨の髄まで届けます〜』 新

火　23:15〜23:44
再　金　0:30〜 0:59

第1回20.3.31，最終回20.9.29／働く人を「即興の歌」で応援する番組。フォークデュオ・HONEBONE（ホネボーン）が，台風被害で不通になった鉄道会社や紙の本が売れない時代の本屋さんなどで話を聞き，その場で歌を作り贈った。コロナ禍で営業自粛を余儀なくされたライブハウス，緊急事態宣言の影響で入社早々リモートワーク，職場の雰囲気が分からないと悩む新人社員など，新型コロナに翻弄される人も多く取材した。のちにミュージシャン・関取花が歌う特別編も3本制作。

▶出演：HONEBONE／語り：森本レオ／コンテンツ開発センター，NED

『梅沢富美男と東野幸治のまんぷく農家メシ！』

BSP　月　19:00〜19:29
再　土　8:15〜 8:44
G　水　12:20〜12:43
（前期）再　水　4:07〜 4:30
BS4K　月　19:00〜19:29
再　火　16:00〜16:29

第1回17.4.4／梅沢富美男と東野幸治が全国各地の農家を訪ね，その土地の農作物を使ったおいしい農家のごはん＝“農家メシ”をいただく。笑いたっぷりのトークを楽しみながら，その土地に代々伝わる伝統料理や，生産者だからこそ作れるアイデア料理を紹介。特別編として“漁師メシ”“ご当地メシ”も紹介。

▶出演：梅沢富美男，東野幸治，乙葉（ナレーション）／コンテンツ開発センター，NEP

『英雄たちの選択』

水　20:00〜20:59
再 水　8:00〜 8:59

第１回14.4.3／日本の運命を決める岐路に立った英雄たち。その時，英雄たちは「選択」に直面する。脳裏には，いくつもの選択肢が浮かび，それらの中から，たった一つの選択を行う。なぜ英雄は，それを選んだのか？　その選択は，後世にどんな影響を残していったのか？　英雄たちの心中に深く分け入り，日本の歴史を描きだす歴史教養番組。20年度は「明智光秀」「感染症」「源義経」「板垣退助」などを放送。

▶司会：磯田道史（歴史家），杉浦友紀アナ／語り：松重豊／第２制作ユニット（文化），NEP

『おとうさんといっしょ』

日　8:30〜 8:59
再 水　11:15〜11:44

第１回13.3.24／３〜６歳児を中心とした未就学児童と保護者の親子視聴を対象とした番組。親子遊びやコミュニケーションのきっかけとなるロケコーナー，歌，体操，お話，アニメーションなどを中心に構成した。育児に携わる父親を応援するとともに，未就学児の身体的，感覚的，知的発達を助けることをねらいとしたセグメント形式の幼児向けバラエティー。

▶出演：柳原哲也，野口かおる，木戸大聖，竹内夢，岩崎ひろし，ほか／声：佐藤弘道／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『ガイロク（街録）』

（前期）月　23:15〜23:44
再 日　9:28〜 9:57

第１回19.4.10，最終回20.9.21／街で偶然出会った人に話を聞く街頭録音，街録。立ち止まって話してくれる内容は小説やドラマを超える「波乱に満ちた人生」。肉親の死，介護，病気からの再起…。その経験から得たものとは…。街行く人の山あり谷ありの人生に学び，生きる勇気をもらう番組コンセプトのもと，銀座や新橋，高円寺などさまざまな街角でマイクを向けた。そして幅広い世代が自らの体験談や人生エピソードを語り，視聴者に温かいメッセージを伝えた。

▶語り：槇大輔／コンテンツ開発センター，NEP，クリエイティブネクサス

『帰ってきた○○』

月　23:15〜23:44

第１回20.9.28／これまでにNHKで放送してきた番組の中から，視聴者からのアンコール希望が多く寄せられている番組を再放送する新コーナー。09年から放送され，斬新な演出が大きな話題になった「タイムスクープハンター」など。

▶出演：要潤ほか／編成センター，各制作部

『金曜スペシャル』

金　22:00〜22:59

第１回20.4.3／日本の名城や鉄道，こだわりの紀行旅など，多様な趣味の世界を通して日本の多様な表情を紹介する新コーナー。「不滅の名城シリーズ」「中井精也のてつたび！」「六角精児の呑み鉄シリーズ」「“いけず”な京都旅」など。

▶編成センター，各制作部

『クラシック倶楽部』

BSP　月〜金　5:00〜 5:55
BS４K　月　9:00〜 9:55
再 金　6:00〜 6:55

第１回04.3.29／国内外の一流アーティストによる室内楽の演奏を，高画質，高音質で放送。庄司紗矢香＆ヴィキンガー・オラフソン，アンドレイ・カヴリーロフなど世界の第一線で活躍する演奏家の中継収録をしたほか，コロナ禍でも無観客収録で多くのアーティストの演奏を届けた。また「武満徹没後25年 工藤重典＆鈴木大介 at 草月会館」や「REICH × 加藤訓子」など，日本が誇る観光名所あるいはスタジオで番組独自企画による収録も行った。また，ほとんどの収録で４K一体化制作を実施した。

▶第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），大阪拠点局，名古屋拠点局ほか地域局，NEP

『刑事コロンボ』

BSP BS４K　水　21:00〜22:14ほか

第１回18.12.31／アメリカで68年から放送され，日本でも人気の刑事ドラマ。好評につき20年度も再放送。全69本の４Kデジタル・リマスター版と２K版を同時放送した。20年度は第１〜51回を放送。

▶主演：ピーター・フォーク（声：小池朝雄，石田太郎）／展開戦略推進部，NEP

『コウラン伝　始皇帝の母』　新

日　21:00〜22:00

第1回20.9.27／中国時代劇のブームの高まりを受けて放送。中国，春秋戦国時代。秦の始皇帝の母・李皓鑭が，時代に翻弄されながらも，ひとりの女性として信念を貫き強く生きた波乱万丈の人生を描く。話数の多い中国作品を試行として，62話を34話に編集して見やすくかつダイナミックに仕上げた。5月の放送開始を予定していたが，新型コロナ感染拡大により吹き替え版の制作を遅らせ9月放送開始。

▶主演：ウー・ジンイエン（声：中村千絵），マオ・ズージュン（声:平川大輔），ニエ・ユエン（声:東地宏樹）／展開戦略推進部，NEP

『極上！スイーツマジック　選』

BSP　火　12:30〜12:59
BS4K　月　17:00〜17:29

第1回18.4.3／2人のトップパティシエが，1つのテーマに沿って斬新な発想と豊かな経験で新作スイーツを生み出すプロセスを追い，プロの技をハイスピードカメラなど最新映像技術を駆使して余すところなく紹介。味や香り，製菓技術や食材の特徴などを，開発秘話やスタジオ実食を交えて紹介。

▶ナレーター：伊武雅刀／第3制作ユニット（ライフ），NED，アマゾンラテルナ

『コズミックフロント☆NEXT』

BSP　木　22:00〜22:59
再 水　23:45〜 0:44
BS4K　木　22:00〜22:59
再 木　8:00〜 8:59

第1回15.4.2／毎回，宇宙にまつわるさまざまなミステリーを第一線の科学者たちと一緒に，ダイナミックなCGを駆使して解き明かしていく本格宇宙番組。「ガンマ線バースト」「極地大冒険」「スターゲイザー」「安倍晴明」「はやぶさ2」「コズミックフロント☆MUSIC」「太陽系探査」など，多彩なテーマを取り上げた。国際共同制作5本。海外購入番組4本。4K制作27本。

▶語り：萩原聖人，坂井真紀，中條誠子・礒野佑子・池田伸子・副島萌生・小田切千・井上二郎アナ／第3制作ユニット（科学），NED

『ザ少年倶楽部』

BSP　金　18:00〜18:59
再 日　10:00〜10:59
G　（前期）日　0:40〜 1:39
（後期）日　0:35〜 1:34
BS4K　（後期）日　15:00〜15:59

第1回00.4.9／毎月第1〜2週は，ジャニーズJr.がNHKホールで歌と踊りをエネルギッシュに繰り広げる公開番組。第3週は『ザ少年倶楽部プレミアム』と題し，Kis-My-Ft2がMCを務める音楽トークバラエティーを放送した。

▶出演：（第1〜2週）河合郁人（A.B.C-Z），King & Prince，SixTONES，Snow Man，ジャニーズJr.，（第3週）Kis-My-Ft2／第5制作ユニット（エンターテインメント），NEP

『サバヨミ大作戦！』

金　23:45〜 0:28ほか

第1回20.1.31，最終回20.5.29／40歳のシングルマザーが，ワケあって26歳とサバをよんで出版社に就職。秘密がバレないかヒヤヒヤしながらも，ニューヨークのイマドキな女性として仕事に恋に全力で生きる刺激的なラブコメディー（全18回）。

▶主演：サットン・フォスター，ヒラリー・ダフほか／展開戦略推進部，NEP

『ザ・プロファイラー〜夢と野望の人生〜』

（後期）木　21:00〜21:59
再 火　23:45〜 0:44

第1回12.7.7，最終回21.3.18／岡田准一が歴史上の有名人物の生き方をプロファイルする第9シーズン。初回はSP版で，戦国時代の毛利と信長の決戦地を岡田准一が巡った。その他取り上げたのは，北里柴三郎，劉備，上杉謙信，エンツォ・フェラーリ，北条政子，ルイ14世，マタ・ハリ，徳川吉宗，レーニン，フビライ・ハーン，ライト兄弟，榎本武揚，ジョゼフィーヌ，井深大，ハンニバル，アムンセン（放送順）。

▶出演：岡田准一ほか／語り：笠間淳／コンテンツ開発センター，NEP，イースト・エンタテインメント

『新・BS日本のうた』

BSP　日　19:30〜20:59
再 土　12:00〜13:29
再 金　16:30〜17:59

BS4K　土　12:00〜13:29

第1回15.4.12／時代を越えて受け継がれる名曲の数々を新人からベテランまで総勢10組を超える歌手の歌唱で紹介する大型公開派遣番組。「古今東西名曲特選」「スペシャルステージ」のコーナーを軸に，スケール感あふれる内容で放送した。
▶司会：田村直之アナ／第5制作ユニット（エンターテインメント），NEP

『新日本風土記』

BSP BS4K　金　21:00〜21:59
再 金　8:00〜 8:59

第1回11.4.8／日本各地に残された美しい風土や祭り，営みをオムニバス形式で描く紀行番組。「SL」「忠臣蔵」などテーマ別の全国の旅や，ある土地の四季の物語など，多様な切り口で日本の魅力を再発見。未来への映像遺産の役割も担う。20年度は全22本を放送。／5.8「松本清張　鉄道の旅」，7.24「妖怪の国　精霊の森」，12.25「東京紅白歌合戦」，1.29「隠岐諸島」，2.19「学生の街　神田　御茶ノ水」など。
▶声：松たか子／語り：中條誠子アナほか／コンテンツ開発センター，NEP

※関連番組『もういちど、日本』

BS4K　水　20:55〜21:00

※関連番組『Seasoning the Seasons』
（短縮版／英語版）

T国際　月　8:30〜 8:58ほか

『新日本風土記』を外国の視聴者に向け再構築して放送。日本の多様な文化，風土，美しい自然などを分かりやすく，魅力的に紹介した。

『世界ふれあい街歩き』

火　20:00〜20:59
再 火　8:00〜 8:59
再 木　18:00〜18:59

第1回05.3.29／カメラの目線で世界の街を歩きながら，さまざまな人と出会っていく紀行番組。メインの街歩きと，歴史などを紹介する「情報コーナー」，地元料理を紹介する「食べ歩きグルメ」，近郊の魅力的なスポットを訪ねる「ちょっとより道」のミニコーナーで構成。ヨーロッパのほか，中南米，オセアニアの個性的な街を歩いた。コロナ禍の影響で再編集版も制作。再放送の番組後に付ける出会った人たちの近況報告のコーナーも制作。4Kでも制作した。
▶語り：八嶋智人，永作博美，高橋克実ほか／第2制作ユニット（文化），NEP

『ダークサイドミステリー』

（前期）木　21:00〜21:59
再 火　23:45〜 0:44

第1回20.4.2，最終回20.9.26／未解決の事件，自然の脅威，不思議な伝説，怪しい歴史…。不思議な謎の数々を徹底再検証。原因となる人間や社会の闇に迫る。「魔女狩り」「八甲田山遭難事件」「ジェヴォーダンの獣」「タイタニック沈没」「ゾディアック事件」「山下財宝の謎」「感染症パニック」「ゾンビ人気の秘密」「ひかりごけ事件」「チャールズ・マンソン事件」ほか。
▶ナビゲーター：栗山千明／語り：中田譲治／テーマ曲：志方あきこ／コンテンツ開発センター，NEP

『大河ドラマアンコール』「太平記」

日　6:00〜 6:45

再放送第1回20.4.5，最終回21.3.7／本放送（91.1.6〜12.8）のアンコール放送。第1回75分，最終回82分（全49回）。
▶第4制作ユニット（ドラマ）

『体感！グレートネイチャー』

（月1回）土　19:30〜20:59

第1回11.4.9／“見たこともない異次元の大自然を素肌で体感！”地球の鼓動や極限の地ならではの絶景や現象を，空撮や水中撮影などを駆使し体当たりで取材。あたかも視聴者が自ら現地に行ったかのような臨場感を味わってもらう“体感型”自然紀行番組。毎回，取材班があの手この手で“驚きの大自然”に肉薄し，壮大な地球の営みを余すことなく伝えた。29分番組に再構成し『驚き！地球！グレートネイチャー』（木，12:00〜12:29）としても放送。
▶コンテンツ開発センター，NEPほか

『太陽を抱く月』

日　21:00〜22:00

第1回20.5.10，最終回20.9.20／BSPで13.1.20〜6.16，総合で14.7.13〜11.23に放送した番組。朝鮮王朝時代の架空の王と，記憶を失って巫女（みこ）として生きる女性の切ない愛を描くファンタジー・ロマンス史劇。韓国で100万部以上のベストセラーとなった原作小説をドラマ化。新型コロナウイルスの影響により中国時代劇『コウラン伝　始皇帝の母』の吹き替え版制作が遅れたため，その

代わりに再放送した（全20回）。
▶出演：ハン・ガイン（声：沢城みゆき），キム・スヒョン（声：新垣樽助）ほか／展開戦略推進部

『ダウントン・アビー 5 華麗なる英国貴族の館』

土　8:45～ 9:37ほか

第 1 回20.4.18，最終回20.6.20／総合で16.12.4～17.2.19に放送した番組の再放送。20世紀前半の英国貴族社会を描いた大ヒットドラマの第 5 章。イギリス田園地帯にある大邸宅“ダウントン・アビー”で繰り広げられる貴族や使用人たちのさまざまな愛憎を描く（全10回）。
▶出演：ヒュー・ボネヴィル（声：玉野井直樹）ほか／展開戦略推進部

『ダウントン・アビー 6 華麗なる英国貴族の館』

第 1 回20.6.27，最終回20.8.29／総合で17.5.7～7.23に放送した番組の再放送。20世紀前半の英国貴族社会を描いた大ヒットドラマの第 6 章（全10回）。
▶出演：ヒュー・ボネヴィル（声：玉野井直樹）ほか／展開戦略推進部

『魂のタキ火』　新

火　23:15～23:44
再 金　12:30～12:59

第 1 回20.10.6，最終回21.3.23／揺れる炎，パチパチと薪がはぜる音。じっと炎を見つめると押し殺していた気持ちがほどけ始める。日々抱える憂いやモヤモヤとした思い，そしてたどってきた人生。毎回，各界で活躍する人たちが炎を囲んで語り合う，タキ火エンターテインメント。
▶コンテンツ開発センター，NEP

『釣りびと万歳』

BSP　日　17:30～17:59
再 月　12:00～12:29
BS 4 K　木　21:30～21:59
再 水　9:30～ 9:59
再 木　16:25～16:54

第 1 回14.3.31／俳優やタレントなど各界で活躍する釣り好きが日本各地の釣りスポットを訪ね，その土地ならではの釣り方や秘伝のテクニックを地元の達人に教わり，旬の魚や憧れの魚に挑んだ。美しい風景や海の幸・川の幸も紹介する釣り紀行番組。
▶ナレーション：田中美佐子／コンテンツ開発センター，NEP

『にっぽん縦断　こころ旅』

BSP　月～金　7:45～ 7:59
再 月～金　11:45～11:59
BS 4 K　月～金　7:45～ 7:59

第 1 回11.4.4／視聴者から寄せられた手紙を手がかりに，俳優・火野正平が，毎日ぶっつけ本番で旅をする自転車紀行番組。旅の目的地を決める一通の手紙には「人生を変えた忘れられない場所」「ずっと残したいふるさとの姿」など，その人にとって大切な「こころの風景」が記されている。そんなとっておきの場所にたどりつくために，きつい坂道や逆風にもめげずに，毎日必死に自転車を走らせる。
▶旅人：火野正平／月曜朝版朗読：駒村多恵／コンテンツ開発センター，NEP

『にっぽん縦断　こころ旅　とうちゃこ』

BSP BS 4 K　火～金　19:00～19:29
再 土・日　11:00～11:58

第 1 回14.4.1／視聴者から寄せられた手紙を手がかりに，俳優・火野正平が，毎日ぶっつけ本番で旅をする自転車紀行番組。必死に自転車を走らせ，旅の終わりに待ち受ける“こころの風景”に「とうちゃこ！（到着）」。朝に先行放送する『にっぽん縦断　こころ旅』とは違うシーンも盛り込み，併せて視聴することで 1 日の旅の全貌を味わってもらう，その日の旅の完結編。旅は通算975日を数えた。
▶旅人：火野正平／コンテンツ開発センター，NEP

『ニッポンの里山　ふるさとの絶景に出会う旅　選』

BSP　日　17:20～17:30
G　日　13:35～13:45
（前期）再 水　11:20～11:30
再 金　3:50～ 4:00
（後期）再 金　4:40～ 5:00
BS 4 K　月　22:50～23:00
（前期）再 水　17:35～17:45
再 土　9:35～ 9:45
（後期）再 日　18:50～19:00

第 1 回11.12.19／全国の里山で，その土地ならではの絶景と，そこに培われてきた生き物と共生する知恵や暮らしを丁寧に描き，人が関わりながら守ってきた自然の豊かさの秘密をひもとくシリーズ。20年度は新作なし。
▶語り：森田美由紀ほか／第 3 制作ユニット（科

学），NEP

『にっぽん百名山』

BSP　月　19:30〜19:59
再　月　12:30〜12:59
BS4K　月　19:30〜19:59
再　火　16:30〜16:59
再　土　6:30〜 6:59

第１回12.7.2／毎回，日本各地の名峰を，その山を知り尽くしたガイドの案内で登る山旅を紹介。カメラは登山者の目線になり，ガイドに誘われ山頂を目指す。山の自然や文化歴史，ドローンでの映像を紹介するほか，火山に対する注意喚起や悪天における安全対策も伝えた。18年度から４K一体化制作，19年度から委託形式が本体直接委託に変更。89分の特集も山開き・夏山・紅葉の時期に３本制作した。BS1でも初心者のための実践的な特集を放送した。

▶コンテンツ開発センター，CRネクサス，ヴィジュアルフォークロア，イタケ

『ニッポンぶらり鉄道旅』

BSP　木　19:30〜19:59
再　土　7:45〜 8:14
再　木　12:30〜12:59
BS4K　木　19:30〜19:59
再　金　16:00〜16:29
再　土　7:00〜 7:29
再　木　9:00〜 9:29

第１回14.4.3／途中下車しながら，地元の人たちとふれあい，地域のすばらしさを紹介する番組。毎回，その地域や，そこに住む人々を象徴するキーワードを１つ決め，それを探しに旅に出る。20年度は，新型コロナ感染拡大防止のため，対象路線・取材地は，首都圏（東京・神奈川・埼玉・千葉）を中心とした。

▶出演：金子貴俊，ユージ，深沢邦之，笑福亭銀瓶，堀井新太，宮崎香蓮ほか／語り：TARAKO／コンテンツ開発センター，Gメディア，クリエイティブネクサス

『晴れ、ときどきファーム！』

木　23:15〜23:44
再　日　5:30〜 5:59

第１回12.4.8／緑豊かな里山にある築99年の古民家と畑を舞台に，野菜ソムリエの資格を持つ長野博，アイデア料理が得意な村上知子，趣味は畑仕事と釣りという滝沢沙織の３人が「週末田舎暮らし」を実践する。これまで古民家の畑で200種類もの野菜を育て，みそやしょうゆ，ゴマ油などの調味料も手作り。さらに，家具や食器まで自作して，田舎暮らしの魅力やだいご味をたっぷり紹介した。

▶出演：長野博，村上知子，滝沢沙織／語り：赤平大／コンテンツ開発センター，NEP，ジーズ・コーポレーション

『ピアノの森』

（後期）日　7:30〜 7:55

第１回20.10.4，最終回21.3.21／18年度に総合で放送した番組の再放送。一色まことの人気漫画のテレビアニメ化。森に捨てられたピアノをおもちゃ代わりにして育った主人公の一ノ瀬海が，かつて天才ピアニストと呼ばれた阿字野壮介や，偉大なピアニストの父を持つ雨宮修平などとの出会いの中でピアノの才能を開花させていき，やがてショパン・コンクールに挑戦するまでを描く，感動のストーリー（全24回）。

▶展開戦略推進部

『美と若さの新常識〜カラダのヒミツ〜』

（前期）木　20:00〜20:59
再　月　23:45〜00:44

第１回17.4.6，最終回20.9.24／カラダの仕組みを読み解き“若さと美しさ”を最新の科学で追究する情報エンターテインメント番組。医学，生命科学の研究から新常識を次々と紹介した。20年度は，新MCに大地真央さんが加わった。「ファシア」「スプラウト」「体内時計」「自宅エクササイズ」「発酵漬物」「マグネシウム」「コーヒー＆チョコ」「粘膜美人」「階段」「骨」「お酢」「毛細血管」「胆汁パワー」「干し野菜」「体質改善ダイエット」「いい肥満」「アサリ」「６年間ありがとう」(終)。

▶司会：フットボールアワー，大地真央／出演：和田明日香／語り：LiLiCo，鈴木賢／第３制作ユニット（科学），NEP

『美の壺』

BSP　金　19:30〜19:59
再　土　6:45〜 7:14
BS4K　金　19:30〜19:59
再　月　16:00〜16:29
再　金　9:00〜 9:29

『美の壺・選』

E　日　23:00〜23:29
再　木　11:00〜11:29

第１回06.4.7／放送開始より15年目。20年度は「刀剣」「草履」「白磁」「市松模様」「舞妓」など伝統文化・伝統技術の分野とともに，「ミニチュア」「シャンデリア」「アクアリウム」など新たなテーマも多く取り上げた。『美の壺　スペシャル』は３本制作。「日本のすし」（89分・44分／8.21，23），「レトロ建築」（89分／BS４K 3.26），「８Kスペシャル　木造建築　匠の技」（59分／BS８K 3.28）。定時・特集全てを４K制作。20年度からBSPとBS４Kの同時放送を開始。

▶ナビゲーター：草刈正雄／語り・天の声：木村多江／題字：紫舟／第２制作ユニット（文化），NED

『ヒューマニエンス　40億年のたくらみ』 新

（後期）木　20:00〜20:59
再 月　23:45〜00:44

第１回20.10.1／「ヒューマン」と「サイエンス」の造語「ヒューマニエンス」。人間という不確かで不思議な存在とはいったい何なのか？　科学と未知の領域を行き来しながら，その真の姿に迫っていくシリーズ。「性のゆらぎ」「聴覚」「腸」「体毛」「嗅覚」「自由な意志」「指」「思春期」「目」「心臓」「スリル」「ウイルス」「血液」「皮膚」「踊り」など，人類が進化の中で獲得した人間らしさの根源をじっくり深く妄想する。

▶出演：織田裕二，藤井彩子アナほか／第３制作ユニット（科学）

『ふらっとあの街　旅ラン10キロ』

水　19:30〜19:59
再 金　12:00〜12:29

第１回18.4.4／気の向くまま走って見えてくる街の魅力を発掘する「旅ラン」。新型コロナの感染対策を練った新たな取材・撮影手法を編み出し，８月から新作を発表。真夜中に走る「東京ミッドナイトラン」や「秋川渓谷　釣りラン」「山中湖ネイチャーラン」など，趣向や仕掛けの幅を広げて視聴者から好評を得た。鹿児島，小諸，別府などへも展開。12月からは全作を４K一体化制作し，21年度からBS４Kでも放送する予定。

▶コンテンツ開発センター，Gメディア

『プレミアムカフェ』

月〜金　9:00〜11:00
再 火〜土　深夜帯

第１回15.3.30／視聴者からのリクエストを踏まえ，主にBSで放送されたNHKの名作を，キャスターによる見どころ解説を加えて紹介する番組。毎回タイムリーな“テーマ”を設定，それに基づき２〜３本のシリーズを組み，ゲストのトークと併せて構成する。20年度の主なシリーズは，「京都の食」（４月：ゲスト 角野卓造），「特集池端俊策の世界」（10月：川口アーカイブスで公開収録），「外国人が見たニッポン」（１月：ゲスト パトリック・ハーラン）など。

▶キャスター：渡邊あゆみ／知財センター，NEP

『プレミアムシアター』

BSP　（第２〜４）日　23:20〜 4:00
BS４K　（不定期）

第１回10.4.12／旬のアーティストが登場する世界各地の音楽祭や，一流歌劇場などで行われた話題の公演を紹介する大型番組。20年度は，ウィーン・フィルの夏の野外コンサートやザルツブルク音楽祭のオペラ，パリ・オペラ座バレエ団の公演を取り上げたほか，20年に生誕250年を祝ったベートーベンの作品を，オペラ，バレエ，管弦楽曲，室内楽と多岐にわたって紹介した。

▶第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『プレミアムシネマ』（午後）

（随時）月〜金　13:00〜15:00ほか

第１回11.4.4／午後の在宅率が高い高齢視聴者に向け，邦画・洋画の名作を日替わりで編成。４月は「モダン・タイムス」（4.1），５月は「飢餓海峡」（5.18），６月は「マディソン郡の橋」（6.8），７月は「荒野の七人」（7.24），８月は「日本沈没」（8.10），９月は「沈黙－サイレンス－」（9.14），11月は「ショーシャンクの空に」（11.3），12月は「シンドラーのリスト」（12.16）を放送し，２月は高倉健出演の「南極物語　公開30周年記念リマスター版」（2.23）を放送した。

▶展開戦略推進部，NEP

『プレミアムシネマ』（夜間）

（随時）月　21:00〜23:00ほか

第１回11.4.4／家族で楽しめる話題作，邦画・洋画の名作を中心に放送。主な作品は，「プリティ・ウーマン」（4.6），時代劇「どら平太」（5.25），山口百恵・三浦友和共演の「伊豆の踊子」（6.22），「E.T.」（7.20），「ポセイドン・アドベンチャー」（8.3），「クリムゾン・タイド」（10.19），時代劇「花のあと」（11.16），「運び屋」（11.23），「フラガール」（12.7），「モスラ対ゴジラ」（12.21），「鉄道員（ぽ

っぽや)」(1.11),「博士の愛した数式」(2.22)など。
▶展開戦略推進部，NEP

『プレミアムステージ』

(第Ⅰ)日　23:20〜 4:00ほか

第1回13.4.9／現代演劇を中心にミュージカル，古典芸能，ダンス・パフォーマンスなどから，クオリティーの高い舞台芸術を毎月1回放送。4.6「ドクター・ホフマンのサナトリウム　〜カフカ第4の長編〜」(作・演出:ケラリーノ・サンドロヴィッチ)，5.3「タージマハルの衛兵」(作:ラジヴ・ジョセフ，演出:小川絵梨子)，大野一雄・大野慶人舞踏「花鳥風月」，勅使川原三郎＋KARAS「ノイジェクト」，6.7二兎社公演「私たちは何も知らない」(作・演出:永井愛)，8.2劇団文化座公演「炎の人」(作:三好十郎，演出:鵜山仁)，北村和夫ひとり芝居「東京夢幻図絵」(演出:今村昌平)，10.4「殺意　ストリップショウ」(作:三好十郎，演出:栗山民也)，11.1「巌流島」(作:三谷幸喜，演出:山田和也)，12.6「笑の大学」(作:三谷幸喜，演出:山田和也)，1.10　iaku公演「ザ・ラストナイト・レシピ」(作・演出:横山拓也)，2.7歌舞伎「四天王御江戸鏑」，3.7「真夏の夜の夢」(脚本:野田秀樹，演出:シルヴィウ・プルカレーテ)。
▶第4制作ユニット(ドラマ)，第5制作ユニット(音楽・芸能)，NEP

『プレミアムドラマ』

BSP　日　22:00〜22:49
再　日　16:30〜17:19
BS4K　金　23:15〜 0:04
(前期)再　日　22:00〜22:49

第1回12.4.8／日曜の夜に女性を中心とする視聴者に向けてホームドラマ，ミステリー，コメディー，感動的なヒューマンドラマなど本格的なドラマを制作した。なお，新型コロナにより1シリーズが制作延期となった。

「70才、初めて産みます　〜セブンティウイザン。〜」(1〜4話)
「70才、初めて産みました　〜セブンティウイザン。〜」(5〜8話)

第1回20.4.5，最終回20.5.24／「わたし、妊娠しました！」定年を迎えた65歳のサラリーマンが，70歳間近の妻から告げられた衝撃の告白！あまりのことに動揺し妻から一喝される夫，産むべきか産まざるべきかの葛藤，高齢出産に伴うさまざまなリスク，若夫婦に交じっての汗だくパパママ教室…。奇抜な設定だからこそ浮かび上がるのは，誰もが共感出来て誰もが手に汗握る，笑いと涙と奮闘がぎっしり詰まった老夫婦の出産育児日記。合計135歳の新米パパママの，笑って泣けるホームドラマ(全8回)。
▶出演：小日向文世，竹下景子ほか／コンテンツ開発センター，NEP，ビデオプランニング

「すぐ死ぬんだから」

第1回20.8.23，最終回20.9.20／人生100年時代の新終活ドラマ。見た目にこだわる78歳のハナ(三田佳子)は，若く見せる努力を重ね，老いを遠ざけて生きていた。自分の人生まずまずと思っていた矢先に，彼女を思わぬ人生の変転が待ち受けていた。人生の荒波に溺れ，乗り越え，再び歩き出すハナをハラハラ，やがて晴れ晴れと描く(全5回)。
▶原作：内館牧子／脚本：長田育恵／音楽：安川午朗／演出：松岡錠司／出演：三田佳子，溝端淳平，小野武彦，松下由樹，小松政夫，余貴美子ほか／第4制作ユニット(ドラマ)，NEP

「一億円のさようなら」

第1回20.9.27，最終回20.11.15／医療系の企業に勤める加能鉄平はある日，妻・夏代の秘密を知る。30年前，夏代は伯母の遺産を相続し，48億円を保有しているというのだ。なぜ妻はそれを隠していたのか。鉄平はこれまでの2人の思い出をたどり，夫婦の関係を問い直す。会社での戦いに傷ついた鉄平は，夏代と離れて故郷の町へ旅立ち，新たな日常へ飛び込む(全8回)。
▶原作：白石一文／脚本：渡邉真子／出演：上川隆也，松村北斗(SixTONES)，森田望智，堀井新太，美山加恋，佐久本宝，安田成美／コンテンツ開発センター，テレパック

「カンパニー〜逆転のスワン〜」

第1回21.1.10，最終回21.2.28／作家・伊吹有喜の原作をドラマ化。リストラと離婚という2つの危機に直面した中年サラリーマンが，これまで歩んできた総務課の仕事とは全く無縁なクラシックバレエ団の再生事業に挑むビジネスエンターテインメントストーリー。熊川哲也が率いるKバレエカンパニーによる全面協力で，高いクオリティーとスケールの本格的なバレエシーンが展開。劇中で出演者たちが踊った『白鳥の湖』も今作の

ために熊川哲也が制作したオリジナルの振り付けで上演され話題を呼んだ（全８回）。
▶出演：井ノ原快彦，倉科カナ，宮尾俊太郎，織田梨沙，古川雄大，岩松了，坂井真紀，小西真奈美，西村まさ彦，黒木瞳ほか／コンテンツ開発センター，TBSスパークル

「やっぱりおしい刑事」

第１回21.3.7，最終回21.4.25／並外れた推理力で犯人を追い詰めるものの，いつも最後に事態が急転，手柄を同僚に奪われてしまう“惜しい刑事”こと押井刑事の残念な活躍を描くコメディーミステリー。第２シリーズの今作では押井にモテ期が到来。また，推理対決を挑む謎の男が登場するなど，エンターテインメント志向をより強く打ち出した（全８回）。
▶原作：藤崎翔／脚本：宇田学／音楽：田渕夏海／出演：風間俊介，犬飼貴丈，白石聖，橋本涼，石川恋，萩原みのり，武田真治，板尾創路，佐野史郎／コンテンツ開発センター，ホリプロ

『ヘチ　王座への道』

日　21:00〜22:00

第１回19.11.10，最終回20.5.3／民のための政治を行った名君とされる朝鮮王朝第21代王，英祖（ヨンジョ）の若き日を描く。王になるはずではなかった王子イ・グムが，正義を追い求める３人の仲間に支えられ，不正のない平等な世を目指す不屈の道のりを描いた友情と信念のストーリー（全24回）。
▶出演：チョン・イル（声：金本涼輔），クォン・ユル（声：森山智寛）ほか／展開戦略推進部，NEP

『みんなDEどーもくん！』

（隔週）日　8:00〜 8:30
再 火　11:15〜11:45

第１回17.4.9，最終回21.3.28／公開収録番組。19年度までは，ふれあいホールと全国各地の会館を会場にしてきたが，ふれあいホール閉館に伴い，NHKホールと全国の会館に会場を変更。20年度はコロナ禍のため，公開収録が相次いで中止となり，NHKホールでの無観客収録やスタジオ収録，リモート収録による特別編なども制作した。また20年度から本放送は隔週放送となり，BSプレミアムでの放送は同年度内に終了した。
▶出演：ジャングルポケット，大原ゆい子，大橋彩香／声：玄田哲章，茶風林，古城望，小桜エツコ／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『よみがえる新日本紀行』　新

日　6:45〜 7:23

第１回20.4.12／63（昭和38）年度から81（昭和56）年度に放送され，人気を博した紀行ドキュメンタリー『新日本紀行』を最新のデジタル技術で鮮やかな映像によみがえらせた。今は見ることのできない全国津々浦々の風景や人々の営みに加え，土地の今も紹介。地域に流れた時間を見つめた。20年度は，「合掌造りの村－富山県五箇山－」「江戸前の秋－千葉県・浦安－」「島の嫁入り－山口県萩・相島－」などを放送した。
▶語り：森田美由紀／知財センター

『レギュラー番組への道』　新

金　23:15〜23:44

第１回20.4.3／ジャンルを問わず，金曜夜の時間を楽しく過ごしてもらうための新企画番組枠。１〜２本放送し視聴者からの評価が高い番組は，レギュラー番組に昇格する。「魂のタキ火」「今夜は絵顔で眠りたい！」「再生できないホームビデオありませんか？」など。
▶編成センター，各放送局

『連続テレビ小説アンコール』

「はね駒」

月〜土　7:15〜 7:30
日　12:00〜13:30　（６本立て）

再放送第１回20.3.23，最終回20.9.19／本放送（86.4.7〜10.4）のアンコール放送（全156回）。
▶第４制作ユニット（ドラマ）

「澪（みお）つくし」

月〜土　7:15〜 7:30
日　12:00〜13:30　（６本立て）

再放送第１回20.9.21，最終回21.3.27／本放送（85.4.1〜10.5）のアンコール放送。第26〜27週は１日２本立て（全162回）。
▶第４制作ユニット（ドラマ）

『ワイルドライフ』

BSP　月　20:00〜20:59
再 月　8:00〜 8:59
BS４K　月　20:00〜20:59
再 火　15:00〜15:59

第１回09.3.30／世界各地で野生動物が繰り広

げるドラマを最新の機材を駆使してダイナミックに描く本格自然番組。20年度も，アフリカのチーター，アメリカのイカ大集結，ワイルドTOKYO，奄美の海，など国内外の動物たちを取り上げた。また，年間20本を４Ｋで制作。高精細映像で大自然の知られざる営みを紹介した。

▶第３制作ユニット（科学），NEP

『ワンワンパッコロ！キャラともワールド』

（隔週）日　8:00～ 8:30
再 月　11:15～11:45

第１回12.4.8，最終回21.3.21／番組スタート当初は３部構成で放送していたが，17年度から単独の30分番組として放送時間，内容を変更した。Eテレの人気者ワンワンが，仲良し３兄弟のパッコロリン（パックン，リン，コロン）と一緒に，新旧の子ども番組人気キャラクターと夢の共演を繰り広げ，視聴者からの見たい番組，聴きたい歌などのリクエストにも応える家族みんなで楽しめる日曜朝のエンターテインメント子ども向け番組として放送した。

▶出演：チョー，山崎樹範，柳井楽々ほか／声：折笠愛，かないみか，水沢史絵，銀河万丈ほか／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

④ BSプレミアム

特集番組

ABC順

『BS新春時代劇　大岡越前スペシャル ～初春に散る影法師～』

1. 1／21:00～22:29

連続人斬り事件が発生。目撃者から，なんと南町奉行の忠相が下手人と名指しされる。一方，忠相にうり二つの浪人が吉原にいた。結核を患うその浪人・月嶋左内の身を心配する櫻木太夫は，左内が彼女の過去の恨みを晴らそうとしていることに気づいていた。しかし左内はその理由を語らない。やがて次の標的を襲撃しようとする左内。そこに現れた忠相と左内は一騎打ちとなるのだが…。東山紀之が一人二役を演じる。

▶脚本：尾西兼一／音楽：山下毅雄，小笠原肇／出演：東山紀之，本仮屋ユイカ，勝村政信，寺脇康文，美村里江，近藤芳正，高橋光臣，柄本時生，石井正則，金山一彦，山崎裕太，加藤頼，室龍太，板尾創路，宮崎香蓮，柳亭小痴楽，栗塚旭，高橋長英，寺田農，松原智恵子，田村亮／第４制作ユニット（ドラマ），NEP，C.A.L

『The　Covers』

BSP　4. 5／22:50～23:20，23:20～ 0:00
4.12，19，26，8.23，30，9.20，27，
10. 4，11，18，25，12.27，1.10，17，
3. 7，14，21，28／22:50～23:19

BS４K　12.27／22:30～23:59

BS８K　3.21／19:00～20:00

実力派アーティストが，思い入れの深い名曲を独自のアレンジでカバー。そのこだわりも存分に語る音楽番組。14年にレギュラー放送を開始して７年目，17～19年の60分の特番サイズを経て20年度はスタート当初の29分サイズで，本数を増やしレギュラー感を増した。20年度は特に，「サマーSP」「秋の名曲SP」「冬のラブソングSP」などの総集編を季刊で開発したほか，初の８K連動企画としてNHKホールで「春フェス」を開催しBSPで２本，８Kで完全版を１本制作した。

▶MC：リリー・フランキー，池田エライザ／第５制作ユニット（エンターテインメント），NEP

五十音順

『アニソン！プレミアム！』

5.10，17，24，31，7.19，26，8. 2，9
11. 1，8，15，22，2. 7，14，21，28

／22:50〜23:19

世界に誇るJ-Cultureアニソンを届ける音楽番組。月ごとに人気声優・アニソンアーティストをMCに迎え，Poppin'Party，下野紘，Aqours，藍井エイル，LiSA，石川由依，RAISE A SUILEN，JAM Projectなど多彩なゲストとトーク＆スタジオライブを放送した。

▶MC：岡本信彦（5月期），森久保祥太郎（7・8月期），オーイシマサヨシ（11月期），岡本信彦（2月期）／第5制作ユニット（エンターテインメント），NEP

『“イマジン”は生きている ジョンとヨーコからのメッセージ』

11.21／21:00〜22:29

10月から東京で，ジョン・レノンとオノ・ヨーコの激動の人生，愛の軌跡を語る品々およそ100点を展示する「ダブル・ファンタジー」展が開催された。番組では，ジョンの数々の遺品，そしてその背後の物語を，発掘した映像で解き明かしていく。「イマジン」誕生秘話，国外退去を命じるアメリカ政府との闘い，子育てと家事に専念した主夫時代，復帰まもなく凶弾に倒れた最後の日，知られざる物語満載の90分である。20年は，ジョン・レノンのメモリアルイヤー，生誕から80年，没後40年，そしてビートルズ解散から50年。この記念すべき年に，改めてジョンとヨーコがこの世界に残したメッセージに耳を傾ける。

▶語り：井口理／大型企画開発センター

『映画音楽はすばらしい！』

10.10／21:00〜22:59

映画史に残るメロディーを，名シーンと共に，豪華歌手の歌声と極上の生演奏でお届けする「フィルム・コンサート」。1938年公開の「モダン・タイムス」から2018年公開の「グレイテスト・ショーマン」まで全部で27作品を日本屈指の演奏者43名による生演奏と，500インチの大スクリーンにうつしだす映画名シーンをバックに，舞台・ライブで活躍中の12組のアーティストの歌声で届けた。

▶MC：安田顕，廣瀬智美アナ／出演：薬師丸ひろ子，石丸幹二，城田優，島津亜矢ほか／コンテンツ開発センター，NEP

『映画俳優・三船敏郎 〜サムライと呼ばれた男の実像〜』

12.29／18:00〜19:29

映画「七人の侍」「用心棒」などで豪快なサムライ像を生み出し，世界中を魅了した俳優・三船敏郎。秘蔵資料と関係者の証言をもとに，世界のミフネはいかにして生まれたのか，その秘密を取材した。青年時代の過酷な戦争体験，台本に書き込まれた緻密な役作りの痕跡，“幻の大作映画”に向けて抱き続けた映画作りへの情熱…。生誕100年を迎えた三船敏郎の，光と影に包まれた素顔に迫った。

▶出演：香川京子，宝田明，司葉子，浅野忠信／語り：満島ひかり／朗読：青木崇高／大型企画開発センター，第3制作ユニット（福祉）

『映像の世紀プレミアム』

（16）「オリンピック　激動の祭典」

6.20／19:30〜20:59

延期となった20年の東京オリンピック。しかしオリンピックはそもそも激動の歴史をたどった祭典であった。第一次世界大戦では初めて中止を経験したが，戦後最初の大会を激戦地ベルギーのアントワープで開催。ベルリン大会は「ヒトラーのオリンピック」と呼ばれながらも，朝鮮半島出身の日本代表・孫基禎などさまざまな民族の選手が活躍した。40年の東京大会は幻に終わり第二次世界大戦を挟んで8年間も中止となりながら，ナチスの空襲を耐え抜いたロンドンで復活。東西冷戦下では，ソビエト軍のアフガン侵攻に抗議した西側諸国がモスクワ大会をボイコット，今度はその報復にロサンゼルス大会を東側がボイコットし，多くの選手が運命を翻弄された。戦争や国際政治に翻弄されながら歩み続けてきたオリンピックの激動を描く。

▶語り：山田孝之，山根基世／大型企画開発センター，NEP

（17）「人類の危機」

9.19／21:00〜22:29

大災害，感染症，大恐慌，核戦争など，20世紀に人類が直面した危機の裏側に迫る。アメリカの軍事施設で最初の集団感染が発生し，第一次世界大戦に出征する兵士と共にヨーロッパに渡り推定4,000万もの死者を出した「スペイン風邪」。世界で5,000万を超す労働者が職を失って路頭に迷い，富裕層が資本を独占する自由主義経済に富の再分配を迫る転機となった「世界恐慌」。アメリカとソビエトのそれぞれの現場の軍人が核弾頭の発射命令を拒否し，全面核戦争が回避された「キューバ危機」。80万ともいわれる作業員が強い放

射線の中で命を賭して作った巨大な石棺によって被害の拡大が食い止められた「チェルノブイリ原発事故」。未曽有の危機とそれに立ち向かった人々の物語である。
▶語り：山田孝之，山根基世／大型企画開発センター，NEP

（18）「ナチス　狂気の集団」

12.12／19:30〜20:59

世界を地獄へと突き落としたナチス。ヒトラーの抱える狂気は幹部たちの手によって次々と実行されていった。「機関銃の王」の異名を持ち，国防軍を超える300万の突撃隊を率いた突撃隊幕僚長，エルンスト・レーム。全ドイツのメディアを支配し，プロパガンダ国家を作り上げた宣伝大臣，ヨーゼフ・ゲッベルス。ドイツ空軍による無差別爆撃でヨーロッパを蹂躙（じゅうりん）し，狂気を世界へ解き放った国家元帥，ヘルマン・ゲーリング。イギリスと和平を結ぶために，軍用機を操縦して敵国へ単身乗り込んだナチス総統代理，ルドルフ・ヘス。純血主義に基づく冷酷無比の計画によってホロコーストを実行した親衛隊長官，ハインリヒ・ヒムラー。狂気の帝国を作り上げたエリートたちの物語を通して，なぜごく普通の人間たちが狂気にとりつかれてしまったのかを探っていく。
▶語り：山田孝之，山根基世／大型企画開発センター，NEP

『英雄たちの選択　スペシャル』

「古代人のこころを発掘せよ！！」

1. 3／21:00〜22:59

個性的でミステリアスな姿が大人気の土偶。その顔の表現の変遷から縄文人のどんな心理が読み取れるのか？　弥生時代のテクノポリスと驚きの海洋経済ネットワークとは？　カラフルな幾何学模様で埋め尽くされた装飾古墳には，人々のどんな心情が投影されているのか？　縄文・弥生・古墳，３つの時代をディープに掘り下げ，現代の日本人にもつながる“古代のこころ”を探求。ロマンあふれる古代史の魅力に迫った。
▶出演：磯田道史，いとうせいこう，荒俣宏，松木武彦，中野信子，杉浦友紀アナほか／語り：松重豊／第２制作ユニット（文化），NEP

「プロが選ぶ“最強”の戦国武将」

10.31／21:00〜22:59

日本全国にあまたの英雄を輩出した戦国時代。一体誰が“最強”の武将だったのか？　番組では戦国の専門家に一斉アンケートを実施。全国を５ブロックに分け，各ブロックを代表する戦国武将を選出。スタジオに戦国を熱く語る論客たちが集結し，戦国武将ナンバーワンを決めた。武将たちが活躍した地域に着目しながら，武力だけでない人間性にも迫り，戦国武将の多彩な魅力を紹介。
▶出演：磯田道史，小和田哲男，千田嘉博，平山優，飯田泰之，中野信子，橋本麻里，杉浦友紀アナほか／語り：松重豊／第２制作ユニット（文化），NEP

『大江戸もののけ物語』

7.17，24，31，　8. 7，14／20:00〜20:59

旗本の次男坊・新海一馬と謎の妖怪・天の邪鬼（あまのじゃく）がバディーを組み，江戸で起きるさまざまな問題を仲間の妖怪たちと力を合せて解決する。新感覚の妖怪ファンタジー時代劇（全５回）。
▶作：川崎いづみ／音楽：吉俣良／エンディング曲：つるの剛士with平尾菜々花／出演：岡田健史，本郷奏多，山田杏奈，森川葵，青山美郷，甲本雅裕，イッセー尾形ほか／第４制作ユニット（ドラマ），KADOKAWA

『驚き！ニッポンの底力』

7.11／18:00〜19:29

誰もが知る建築物や鉄道などが出来るまでにはさまざまな物語がある。そこに詰まった日本が誇る最先端の技術力や腕利きの職人たちの技など“日本の底力”を探っていく。「建築」「鉄道」「自動車」のシリーズがある。20年度はこの内，建築と鉄道を取り上げた。
▶MC：高橋克典／リポーター：ハマカーンほか各回ゲスト／コンテンツ開発センター，NED

『解体キングダム』

「難攻不落の“城”を攻略せよ！」

4.18／21:00〜22:00

「築400年の古刹を解体せよ」

1.30／21:00〜22:39

ふだん何気なく見かける「建物の解体工事」。防音シートの内部に潜入し，めったにみられない工事の全貌をドローン等を駆使した迫力映像で紹介した。撮影現場となったのは，沖縄の牧志公設市場，築400年の岐阜・願興寺など，地域のシンボルとして愛されてきた建築物。自ら重機免許を取得する城島茂と，大学で建築を学んだ伊野尾慧が，難題に満ちた解体作業を密着取材。国土の狭い

日本で磨かれた繊細かつ大胆な職人技に迫った。
▶出演：城島茂，伊野尾慧／第２制作ユニット（文化），NEP

『決戦！関ケ原「空からスクープ　幻の巨大山城」』

12.19／21:00〜22:59

徳川家康と石田三成らが戦った天下分け目・関ヶ原の戦い。今回，関ヶ原上空のレーザー測量で，これまで考えられていた陣地以外の場所から未知の超巨大山城を発見！　そこから導き出された三成勝利のシナリオを，本格的歴史ドラマで紹介した。
▶第２制作ユニット（文化），大阪拠点局

『古代エジプト王朝　ファラオたちの健康診断』

7.18／19:30〜21:00

古代エジプトの墓やミイラ，副葬品などから，現代医学を駆使してファラオたちを健康診断。長年研究者を悩ませてきた「叫ぶミイラ」の謎を解明し，女王のミイラのCT解析で古代の美容整形の跡を発見。ツタンカーメンの下着からは少年王の意外な素顔を浮かび上がらせた。さらに4000年前の外科医の墓に初めてテレビカメラが潜入。ファラオたちの長寿に貢献した古代エジプト医療の驚くべき水準に迫るなど，謎に包まれた古代エジプト王朝の魅力を伝えた。
▶出演：河合望，石井美恵／声の出演：中尾隆聖／第２制作ユニット（文化），NED

『こわでん〜怖い伝説〜』

「第２弾」　9.11／21:59〜22:58
「第３弾」　1.22／22:00〜22:59

日本は伝説の驚くほど多い国と言われるが，なかでも怖い伝説はそこに込められた教えとともに全国各地に残る。ただ怖いだけではない。その裏には日本人独特の道徳心や死生観など，人々がよりよく生きるための大切な教えが詰まっていた。毎回４話を再現ドラマ化。旅人がその物語の生まれた地を訪ね，怖い伝説とその裏側にある真実をかみしめる。
▶出演：(第２弾)塚地武雅，レッド吉田，佐藤藍子，足立梨花ほか，(第３弾)塚地武雅，はるな愛，本田望結，レッド吉田／ナレーター：酒巻光宏／朗読：渡邊あゆみ／第１制作ユニット（教育・次世代）

『新作歌舞伎「風の谷のナウシカ」』

「前編」　1．2／7:30〜10:30
「後編」　1．3／7:30〜10:45

19年12月に新作歌舞伎として上演され，大きな話題となった作品をテレビ初放送。６時間超の公演のもようを前編・後編の２回に分けてノーカットで放送した。
▶出演：尾上菊之助，中村七之助，尾上松也，中村錦之助，中村歌六ほか／案内：森下絵理香アナ／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『シンフォニック特撮ヒーローズ』

12.30／23:55〜 1:25

NHKホールで公開収録。映画「ゴジラ」，TV番組「ウルトラセブン」「帰ってきたウルトラマン」，映画「アベンジャーズ」「キャプテン・マーベル」「ブラックパンサー」「ジョーカー」など新旧特撮ヒーローたちの音楽を，オリジナルスコアに限りなく近いオーケストレーションで，日米対決の趣向で届けた。また，佐野史郎（俳優），ファーストサマーウイカ（タレント）ほか，特撮ヒーロー好きの著名人からの応援メッセージも併せて紹介した。
▶司会：橋本マナミ（俳優），松岡忠幸アナ／歌唱：水木一郎（歌手）／管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団／指揮：佐々木新平／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『スペシャル時代劇　十三人の刺客』

11.28／21:00〜22:59

1963年公開の映画のリメーク。老中・土井大炊頭は，暴君として知られる松平斉継の暗殺を御目付け役・島田新左衛門に命じた。一方，新左衛門の無二の親友・鬼頭半兵衛はその時，斉継の側用人となっており，斉継暗殺を阻止しようと新左衛門の前に立ちはだかる。砦（とりで）に改造された宿場町で，十三人の刺客たちと半兵衛たちの死闘が始まった。
▶原作：池宮彰一郎／脚本：土橋章宏／音楽：沢田完／出演：中村芝翫，里見浩太朗，福士誠治，大島優子，渡辺大，神尾佑，岡本玲，片山萌美，飯田基祐，山口翔悟，中村福之助，鶴田忍，渡部豪太，勝野洋，西村まさ彦，石橋蓮司，高橋克典ほか／第４制作ユニット（ドラマ），NEP，ユニオン映画

『たけしのこれがホントのニッポン芸能史』

8. 8，11.14，1.16／18:00〜19:29
3.20／津波注意報関連ニュースのため中断

ビートたけしが，貴重なアーカイブス映像を紹介しながら，独自の視点で日本の芸能史を語り尽

くすシリーズ企画。「ホラー」(8.8),「ひとり芸」(11.14),「海外ロケ番組」(1.16),「タレント」(3.20) をテーマに放送した。
▶出演：ビートたけし，所ジョージほか／第５制作ユニット（エンターテインメント），NEP

『探検！巨大ミュージアムの舞台裏 ～国立科学博物館～』

3.27／19:00～20:59

およそ480万点の膨大なコレクションを誇る国立科学博物館の舞台裏を探検する２時間スペシャル。恐竜，動物，虫，植物，そして人類の進化に関わるものまで収集，最新の研究成果を展示に生かすことで博物館そのものも進化する「カハク」。肉食恐竜の骨格展示の変化を見たり，最新の巨大クジラの設置に密着。さらに筑波の巨大な収蔵庫も訪ね，その魅力を伝えた。
▶出演：滝藤賢一，伊集院光，杉浦友紀アナ／語り：中條誠子アナ／第２制作ユニット（文化）

『生中継！ガンダム動く』

12.18／16:30～18:00

リアリティーある世界観でロボットアニメに革命をもたらした「機動戦士ガンダム」。放送40周年を記念して横浜・山下ふ頭に，全高18メートル実物大の動くガンダムが作られた。一般公開前日のセレモニーの現場から，ガンダムに憧れた技術者たちが結集して作り上げた迫力のアクションを，メカニズムの紹介とともに12台のカメラを駆使して生中継で伝えた。出演者は全員熱烈なガンダムファン。
▶司会：西川貴教，小松宏司アナ／ゲスト：本郷奏多／リポーター：佐藤哲夫／語り：古谷徹／展開戦略推進部，NEP

『ねこ育て　いぬ育て』

4.18，　6.27，10.10／19:30～20:59
2.13／18:00～19:29

保護猫や保護犬を飼い始めたばかりのお宅にカメラを置かせてもらい，そっとのぞき見する新感覚ドキュメンタリー。20年度は劣悪な環境から保護された犬や，警戒心が強くてなかなか懐かない猫などが新しい飼い主と出会い，次第に家族になっていく様子を伝えた。またコロナ禍の中でのオンライン譲渡会や，猫・犬育ての様子も取材。制作は90分４本と，30分１本。
▶出演：濱田マリ（語り）／第３制作ユニット（福祉），NED，クリエイティブネクサス

『バチカン 秘密の宮殿』

3. 6／19:00～20:59

ローマ教皇庁の特別許可を得てバチカンの非公開エリアに４Ｋカメラが潜入。大聖堂の地下に眠る謎のモニュメントや，日本初公開となる巨匠・ミケランジェロ直筆の図面などを紹介。バチカンをめぐる壮大な歴史ロマンを美しい映像で伝えた。さらに，機密文書館に残された貴重な史料から，失われた「幻の大聖堂」や歴代教皇たちが暮らした宮殿をCGで再現。「美」をキーワードに聖地・バチカン2000年の物語をひもといた。
▶出演：要潤，関根麻里，ヤマザキマリ，池上英洋／司会：井上二郎アナ／語り：三木眞一郎／第２制作ユニット（文化）

『発表！全エヴァンゲリオン大投票』

5.16／22:30～ 0:30

一大ブームを巻き起こし社会現象にまでなった『新世紀エヴァンゲリオン』の放送開始25周年に，視聴者投票で決まった「キャラクター」「名セリフ」「エヴァ」「使徒」の各カテゴリーのランキングを生放送で発表。
▶司会：西川貴教，杉浦友紀アナ／ゲスト：中川翔子，岩井勇気，緒方恵美，高橋洋子ほか／展開戦略推進部，NEP

『発表！全美少女戦士セーラームーン アニメ大投票』

12. 5／22:30～ 0:30

キャラクター，エピソード，歌の３部門のウェブでの投票結果を生放送で発表。視聴者からのメッセージやゲストのトークで，90年代より今に続く変身ヒロインアニメの名作の魅力に迫った。さらに，データ放送により視聴者が選んだ名ゼリフの生アフレコや，人気テーマ曲「乙女のポリシー」の生歌唱も。
▶司会：西川貴教，杉浦友紀アナ／ゲスト：中川翔子，ヒャダイン，三石琴乃，野島健児，福圓美里，藤津亮太／歌：石田燿子／展開戦略推進部，NEP

『魔改造の夜　第２弾』

11.28／19:30～20:59

「魔改造」とは身近な家電やおもちゃのパワーを極限まで高める大改造のこと。一流エンジニアたちが２つのお題「お掃除ロボットの幅跳び」と「クマのおもちゃでの瓦割り」で怪物マシーン

に改造し競い合う。１か月半の魔改造の様子と大会の様子を伝える。日本有数の技術者たちが大真面目に改造する過程から，モノづくりの原理と発想力を学ぶサイエンスエンタメ番組。
▶出演：矢野武，長藤圭介（東大准教授），スプツニ子！，伊藤沙莉／大型企画開発センター，Gメディア，テレビマンユニオン

『松本清張ドラマ　黒い画集〜証言〜』

5. 9／21:00〜22:29

松本清張の『証言』が舞台を現代に置き換え，大胆かつ斬新な解釈でラブサスペンスとしてよみがえる。医師の貞一郎（谷原章介）は妻・幸子（西田尚美）と結婚し，金沢の小さなクリニックを継いだ。実直さが評判の男だが，３年前から妻に隠れて付き合う相手がいた。その相手とは美大生の智久（浅香航大）。一見幸せな家庭生活を営む男が足を踏み入れた，青年との甘美な不倫関係。それを隠し通すため，ある殺人事件について“偽証”せざるを得なくなった男は平穏な日常から転落し，恐ろしい“代償”を払うことに…。すべての真実が明らかになるとき，思いもよらない結末が。
▶原作：松本清張／脚本：朝原雄三，石川勝己／音楽：沢田完／出演：谷原章介，西田尚美，堀部圭亮，吉村界人，山田佳奈実，宮崎美子ほか／第４制作ユニット（ドラマ），NEP

『もうひとつのエール〜古関裕而 新しい音楽への夢〜』

12.19／23:00〜23:59

『連続テレビ小説』「エール」主人公のモデル，古関裕而。20年，戦時中の知られざる活動を物語る貴重な史料が明らかになった。慰問に訪れた中国やビルマで古関自ら撮影したフィルム。そして現地の民族舞踊に触発されて作った楽曲の数々だ。当時，古関は，戦時歌謡に飽き足らず新しい音楽に挑戦していた。幻の名曲の実演を交え，戦争体験が古関の作曲人生に与えた影響を探った。
▶出演：二階堂ふみ，山崎育三郎，刑部芳則，保里小百合アナ／第２制作ユニット（文化），NEP

『邪馬台国サミット2021』

1. 1／19:00〜20:59

日本史上最大の謎のひとつ邪馬台国について，第一線で活躍する専門家が一堂に会し，議論を戦わせる歴史激論バトル。邪馬台国はどこにあったのか？　女王・卑弥呼とは何者なのか？　長年にわたって繰り広げられてきた近畿説と九州説のバトルを軸に，根強い定説から近年注目されている最新の説まで，考古学的な発見や文献研究の成果を交えながら検証。21年時点での邪馬台国研究の最前線を紹介し，その議論の魅力を伝えた。
▶司会：爆笑問題／解説：本郷和人／第２制作ユニット（文化）

『歴史秘話エヴァンゲリオンヒストリア』

BSP　4.15／22:16〜22:54
G　4.15／ 1:25〜 2:03
BS４K　4.10／22:00〜22:38

５月生放送の『発表！全エヴァンゲリオン大投票』に向けて，ホームページでの投票を呼びかけるための特集番組。『歴史秘話ヒストリア』のスタイルで「エヴァンゲリオン」の歴史を映像で振り返りながら魅力をひもとく。投票の中間結果も発表。
▶司会：渡邊あゆみ／出演：氷川竜介ほか／展開戦略推進部，NEP

『六角精児の呑み鉄本線・日本旅』

4.24／22:00〜22:59
8.29，　3. 6／18:00〜18:59
11.27／21:59〜22:58

酒と鉄道という偏った視点で，俳優・六角精児が日本を再発見する特集番組。鉄道旅に合う音楽を厳選し，自宅に居ながらゆったりと旅情を味わえる鉄道音楽紀行番組として制作。コロナ禍でロケができなかった時期は総集編を２本放送した。京都丹後鉄道（4.24），総集編（8.29），関東鉄道・真岡鐵道（11.27），総集編パート２（3.6）。
▶出演：六角精児／語り：壇蜜／第５制作ユニット（エンターテインメント）

『ワンパコ＆どーも　DE　おとうさんといっしょ〜あつまれ！ハナビの森〜』

12.27／ 8:00〜 9:28

BSプレミアムで放送中の子ども向け３番組『ワンワンパッコロ！キャラともワールド』『みんなDEどーもくん！』『おとうさんといっしょ』の合同特番。ワンワンやどーもくんなど，各番組のキャラクターが共演するステージショーを公開収録した。収録場所：大曲市民会館（秋田）。
▶出演：ジャングルポケット，たいせい，ゆめ，山崎樹範，柳井楽々ほか／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

⑤ BS４K

定時番組

ABC順

『BSニュース４K』

BS４K BS1　月～金　12:45～13:00,
17:45～18:00
土日祝　17:50～18:00

第１回19.9.30／初めてのデイリーのスーパーハイビジョンニュース番組。平日は１日２回15分ずつ放送した。その日の主要ニュースのほか，地方局などが最新鋭の４Kカメラで取材した季節の話題や企画ニュースを放送した。また気象解説のコーナーでは，専任の気象予報士とBSニュースの女性キャスターが掛け合いで進行しながら気象にまつわる知識を深めた。

▶キャスター：後藤康之アナほか，吉井明子（気象予報士）／ニュース制作部

『JAPANGLE』

木　16:55～17:15

第１回19.4.7，最終回21.3.11／17年３月からスタートしたシリーズ特集番組の定時枠。20年度は，全15話を再放送。とある国の研究者，アロー教授とベクター助手が毎回，日本人にとっての「ふつう」に注目し，それをデザイン，ヒストリー，テクニック，スピリットの４つのアングルで観察していく教養エンターテインメント。「水」「和室」「米」などのテーマを取り上げ，それぞれの中に潜む日本人の知恵や感性を紹介した。

▶声の出演：杏，笹野高史／動画配信／第１制作ユニット（教育・次世代）

五十音順

『あてなよる』

月　21:00～21:44
（前期）再 日　18:00～18:44
（後期）再 火　17:00～17:44

第１回19.4.4，最終回21.3.22／黄昏（たそがれ）時になると妙に胸が騒ぐものだ。酒だ，酒が呑（の）めるからだ。今夜は何をあてにどんな酒を呑もうか。心躍らぬはずがない。すてきな男女のゲストを招いて，極上の「あて」と酒の最高のマリアージュを探求する大人のエンターテインメント。

▶出演：大原千鶴（料理家），若林英司（ソムリエ）／語り：石橋蓮司／コンテンツ開発センター，NEP

『歩くひと』　新

日　19:00～19:29
再 火　9:30～ 9:59
再 木　21:00～21:29
（前期）再 水　17:00～17:29
再 日　7:15～ 7:44
（後期）再 水　16:25～16:54

第１回20.4.5，最終回21.3.21／「ちょっと歩いてくるよ」そう言い残して家を出た男が“見知らぬ土地に迷い込み，また家に帰ってくる”だけの異色の散歩ドラマ。知られざる絶景や何気ない風景の輝きを捉え，歩くという“冒険”を描いた。迷い込んだ場所の種明かしは，最後のミニコーナー。

▶原作：谷口ジロー／出演：井浦新，田畑智子／コンテンツ開発センター，共同テレビ

『一瞬の、永遠の、にっぽん』　新

日　19:00～19:29
再 火　9:30～ 9:59
再 木　21:00～21:29
（前期）再 日　7:15～ 7:44

第１回20.7.19，最終回21.3.14／日本の景観の最高の瞬間を４K高精細映像で撮影。作家などがつづった「言葉」を旅のいざない役にして，個性豊かな俳優が語る紀行番組。京都を愛した２人のアーティスト，デビッド・ボウイと与謝蕪村の生涯を交差させ，冬から春の京都の絶景を描いた「旅の果ての京」。横浜のさまざまな夕景に，人々の記憶に残るたそがれ時のエピソードをつづった「横浜マジックアワー」などは，独特の世界観を描き反響が大きかった（全５回）。

▶語り：のん，松山ケンイチほか／コンテンツ開発センター，NEP

『浮世絵EDO-LIFE』

（前期）月　17:30～17:35
水　20:50～20:55
（後期）木　15:50～15:55
再 金　22:50～22:55
金　22:55～23:00

第１回18.12.2／１枚の浮世絵から，江戸のリアルな暮らしぶりを伝える番組。５分番組を年間19本制作。また，29分『浮世絵EDO－LIFE福袋』を年間８本制作，「幕末クライシス」やスタジオの大スクリーンに浮世絵を投影しトークを展開した特集「大江戸観光ブーム」も制作。さら

に，60分の特集『浮世絵ミステリー』として，「東京前夜～広重の暗号～」「歌麿・国芳　ヒットの謎～江戸　メディアの闘い～」を制作。５分版は10本を英語化して国際放送で発信。
▶出演：いとうせいこう（作家・クリエーター），春風亭一之輔（落語家），飯尾和樹（ずん　お笑い芸人），要潤（俳優）／語り：小田切千・井上二郎・青井実・杉浦友紀アナほか／第２制作ユニット（文化），NED

『ウルトラQ』

火　23:15～23:41

第１回20.3.31，最終回20.9.15／66年に放送が始まった伝説的特撮番組『ウルトラQ』を４Kリマスタリング。もともと35ミリフィルムで撮影されていた同作が本来持っていた映像のポテンシャルを，余すところなく再現した。パイロットとその助手，新聞記者の３人が毎回遭遇する怪奇現象や魅力あふれる怪獣たち。人間が自分たちの力でそれらを解決してゆく様子を，迫力満点の特撮で描き出す。ペギラ，ガラモン，カネゴンなど，今も人気の怪獣が続々登場（全28話）。
▶出演：佐原健二，西條康彦，桜井浩子／コンテンツ開発センター，NEP，円谷プロ

『ウルトラセブン　４Kリマスター版』

火　23:15～ 0:10
再 日　6:50～ 7:45

第１回20.9.29，最終回21.3.9／67年10月１日に放送が開始された『ウルトラセブン』。当時のフィルムをデジタルスキャンし，４K・HDRでよみがえらせた４Kリマスター版を，NHKが初めて放送する。毎回の放送前には各話のみどころを３分で紹介するミニコーナーも。また事前特番として，『ウルトラセブン』の魅力を改めて浮き彫りにしていく番組も放送。当時の出演者やスタッフの証言，４Kリマスターすることで発見された事実を通して，『ウルトラセブン』の魅力に迫る（全49回）。
▶出演：森次晃嗣，ひし美ゆり子／コンテンツ開発センター，NEP，円谷プロ

『オランウータン・ジャングルスクール season2』 新

日　18:00～18:50
再 金　18:00～18:50

第１回20.10.4／絶滅の危機にあるオランウータンの孤児たちを人間が親代わりとなって野生で生きる術を教えるインドネシアの学校に密着。Season1（2019）で登場したいたずらっ子ベニのその後，ディラの出産，クララ親子の野生復帰など個性豊かなオランウータンの姿を伝え感動をよんだ。プロローグ含め全11本，BSPでも放送。NHNZ（ニュージーランド）などとの国際共同制作。
▶語り：つるの剛士，小野文惠アナ／第３制作ユニット（科学）

『奇跡の星』

（前期）　火　21:30～21:55
再 木　9:30～ 9:55
再 金　16:30～16:55
再 日　10:10～10:35
（後期）再 水　16:00～16:25
再 木　18:00～18:25
再 土　8:35～ 9:00

第１回 19.10.1／俳優のウィル・スミスが番組ホストを務め，地球の神秘を壮大なスケールで描いたハリウッド発のドキュメンタリー・シリーズ。地球とは？　宇宙とは？　生命とは？　６大陸45か国に加えて宇宙で撮影された圧巻の映像とともに，“奇妙な石の塊＝地球”に秘められた不思議に迫る。原題：One Strange Rock　18年制作。
▶吹き替え：山寺宏一／展開戦略推進部，NEP，Gメディア

『キャサリン　スペイン王女の華麗なる野望』 新

日　12:00～13:00

第１回21.1.10，最終回21.2.28／スペインの王女にしてイギリス王妃…16世紀のイギリスで過酷な運命を生き抜いた女性の物語。イギリスの絶対王政を築いたヘンリー８世の最初の妻，キャサリン・オブ・アラゴン。「イギリス王妃になる」という使命を果たすべく，母国スペインから異国に渡って奮闘した数奇な人生を描く。16世紀のイギリス・ウェストミンスター宮殿を忠実に再現したセット，世界遺産のスペイン・グラナダのアルハンブラ宮殿，詳細な時代考証を重ねて再現した王宮内での作法や衣装・装飾品を４Kで撮影（全８回）。
▶出演：シャーロット・ホープ（声：清水理沙），ルアイリ・オコナー（声：福西勝也）ほか／展開戦略推進部，NEP

『グレートヒマラヤ撮影日誌』

BS4K　月　22:30〜22:45
再　土　9:30〜 9:45
BSP　月〜金　6:00〜 6:15,
6:15〜 6:30,　6:30〜 6:45

第１回20.3.2／19年度に始まった『グレートヒマラヤトレイル』（89分）の15分短縮版。「マカルー」「エベレスト」「ジャヌー」「カンチェンジュンガ」の４シリーズ・各10本を制作。４K・HDRの高精細映像でヒマラヤを貫くトレイルを巡る旅を紹介。日本屈指の山岳カメラマンがドローンや360度カメラなど最新機材を駆使し，これまで誰も見たことのない絶景を捉えた。

▶出演：中島健郎，石井邦彦ほか／コンテンツ開発センター，NEP，ドキュメンタリージャパン

『刑事コロンボ』

BS4K BSP　水　21:00〜22:14ほか

第１回18.12.31／アメリカで68年から放送され，日本でも人気の刑事ドラマ。好評につき20年度も再放送。全69本の４Kデジタル・リマスター版と２K版を同時放送した。20年度は第１〜51回を放送。

▶主演：ピーター・フォーク（声：小池朝雄，石田太郎）／展開戦略推進部，NEP

『シドニアの騎士』
『シドニアの騎士　第九惑星戦役』

月　23:40〜 0:04

第１回19.4.4，最終回21.3.8／かつて人類は，異性物ガウナによって太陽系ごと破壊されてしまった。生き残った人類は，種の存続を懸けて巨大船シドニアで宇宙を旅して移民できる惑星を探していた。しかし，そのシドニアに再びガウナが接近。その圧倒的な力に，谷風長道ら若者たちが立ち向かう。人気SFアニメの４Kリマスター版（全24話）。

▶展開戦略推進部，NEP

『大草原の小さな家』

水　20:00〜20:50ほか
再　月　11:00〜11:50ほか
再　月〜金　10:00〜10:50ほか

第１回19.4.3／アメリカで74年から84年にかけて放送され，いまなお世界中で愛されている不朽の名作を，35ミリフィルムから４Kに変換，翻訳から刷新し，新日本語吹き替え版として生まれ変わらせた。20年度はシーズン３の第５回からシーズン５の第12回までを放送。

▶出演：マイケル・ランドン（声：森川智之），カレン・グラッスル（声：小林さやか），メリッサ・ギルバート（声：宇山玲加）ほか／展開戦略推進部，NEP

『ニッポン島旅』　新

火　21:00〜21:29
再　金　17:00〜17:29
再　日　6:15〜 6:44
（前期）再　土　8:30〜 8:59

第１回20.4.7，最終回21.3.23／人が暮らす島だけでも400以上ある離島。そこには，失われてしまった日本の原風景が残されている。しかし，その伝統も，過疎化が進む中，失われつつある。こうした島々を旅人が訪ね，職人技・食文化・祭りなど，消えつつある離島文化を見つめた。

▶コンテンツ開発センター，NED

『薔薇の名前』

木　23:15〜 0:02ほか

第１回19.12.8，最終回20.5.15／BS４Kで19.12.8から20.2.2まで放送した番組の再放送。ウンベルト・エーコ原作の世界的大ベストセラー小説を初ドラマ化。中世の修道院で起こる不可解な連続殺人事件の謎を追う名作ミステリーを，４Kの高精細な美しい映像と5.1チャンネルサラウンドの臨場感あふれるサウンドで描いた（全８回）。

▶出演：ジョン・タトゥーロ（声：池田秀一），ダミアン・ハルドン（声：森田成一）ほか／展開戦略推進部，NEP

『ムーミン谷のなかまたち』
『ムーミン谷のなかまたち　シーズン２』

日　22:50〜23:13
再　月　23:15〜23:38
（前期）再　日　9:45〜10:08

第１回19.4.4／ムーミン谷を舞台に，好奇心旺盛で心優しいムーミントロールが，ムーミンパパ，ムーミンママ，スノークのおじょうさん，リトルミイ，そしてスナフキンなどのおなじみキャラクターたちと繰り広げる日常を，美しい四季の移り変わりとともに描く。フィンランドの国民的作家のトーベ・ヤンソンによって生み出された「ムーミン」をフル４Kで制作した最新アニメ（全26話）。

▶展開戦略推進部，NEP

『４Kシアター』

土　21:00～23:30ほか
再 土　13:30～16:00ほか

第１回18.12.8／洋画・邦画の名作を４K版で放送。４月は「ダークナイト　４K版」(4.4),「ブレードランナー　ファイナル・カット　４K版」(4.25)，５月は黒澤明監督の「乱　４Kデジタル修復版」(5.30)，７月は「マトリックス　４K版」(7.4),「マトリックス　リローデッド　４K版」(7.11),「マトリックス　レボリューションズ　４K版」(7.18) を放送。さらに「地獄の黙示録　ファイナル・カット」(9.5),「オズの魔法使　４K版」(10.10) などを放送した。

▶展開戦略推進部，NEP

『４Kでよみがえるあの番組』

（前期）　木　20:00～20:40
再 土　7:45～ 8:25
再 水　16:00～16:40
（後期）　木　20:00～20:50
再 土　7:45～ 8:35
再 水　16:55～17:45

第１回18.12.1／63（昭和38）年度から81（昭和56）年度に放送され，人気を博した紀行ドキュメンタリー『新日本紀行』の中からよりすぐりの番組を，最新のデジタル技術で４K化。今は見ることのできない全国津々浦々の風景や人々の営みを，鮮やかな映像でよみがえらせ，土地の今も併せて紹介した。10月からは，83（昭和58）年度から84（昭和59）年度に放送された『NHK特集　シルクロード　第２部』を４K化。さまざまな民族の暮らしと文化，貴重な遺跡などを鮮やかな映像で届けた。

▶語り：森田美由紀／知財センター，NEP

『４K洋楽倶楽部』

（最終）月　21:00～22:45ほか

第１回20.5.4／高精細映像，高音質による海外アーティストのコンサート番組。ピンク・フロイド，ペット･ショップ･ボーイズ，リンゴ･スター，カイリー・ミノーグ，ジャミロクワイなど，年度12本を放送した。

▶第５制作ユニット（エンターテインメント），NEP

⑤ BS４K
特集番組

五十音順

『劇画怪談』

BS４K　3. 7／20:00～21:00
BSP　4.16／22:00～23:00

身の毛もよだつ「怪談」。そこに「劇画」をのせたなら新しい恐怖の世界が生まれる。怪談１話（12分）につき，インサートする劇画は10枚。初めての試みに３人の漫画家が挑む。さらに，学生時代に人気少年誌に読み切りが掲載されたこともある担当ディレクターが，漫画家目線で彼らの卓越した表現力にも迫る。

▶出演：城谷歩，神田山緑，牛抱せん夏，ぁみ，丸尾末広，萩原一至，児嶋都／語り：井上二郎アナ／第１制作ユニット（教育・次世代）

『世界ちょっとどうかしてる旅
in　アメリカ・テキサス』

3.21／10:00～11:29

出張中に空いた時間で，ちょっと旅をしたい。そんなとき手にしたガイドブックがちょっとどうかしていたら。お決まりの観光コースから外れた「どうかしてる」名所を周遊する。舞台はアメリカ・テキサス。ジョン・F・ケネディの暗殺現場に，マシンガンショップ。60年の伝統を誇る大食いステーキ，ゴミで出来た大聖堂，トランプ前大統領の巨大な壁。多様な顔を持つアメリカを活写する。

▶語り：曽我部恵一，池田伸子アナ／第２制作ユニット（文化）

『追体験！伝説の名演奏Ⅱ
バーンスタイン没後30年
「マーラー交響曲全集への誘い」』

BS４K　6.13／17:30～17:45
BS８K　6.17／19:00～19:15

『８Kスペシャル　いまよみがえる伝説の名演奏・名舞台』第２弾のメーキング・ドキュメンタリー。70年代，クラシック音楽映像史における金字塔，バーンスタインのマーラー交響曲全集を記録したネガフィルムを８Kの超高精細映像，22.2マルチチャンネルの立体音響でよみがえらせるまでを追った。

▶出演：片山杜秀（音楽評論家）／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『特集ドラマ　裕さんの女房』

BS４K　3.20／19:00～20:59
BSP BS４K　4.17／21:00～22:59

昭和のスーパースター石原裕次郎の女房となった石原まき子。彼女だけが知る夫婦の愛の物語を描く。映画女優を辞め，裕次郎（徳重聡）のとてつもない夢を支え，輝かせ続けることが自分の幸せと誓ったまき子（松下奈緒）は，映画製作の苦難，重なる借金，そして病魔との闘いに愛を貫き夫婦で挑んでいく。

▶原作：村松友視／脚本：神山由美子／音楽：吉俣良／出演：松下奈緒，徳重聡，麻生祐未，浅田美代子，石原良純，高嶋政宏ほか／第４制作ユニット（ドラマ），NEP

『特集ドラマ　流行感冒』

BS４K　3.27／21:00～22:13
BSP BS４K　4.10／21:00～22:13

今から約100年前，全世界を未知なる恐怖に陥れた「スペイン風邪」。このドラマは，感冒流行の中，理性を失い無闇に人間不信に陥った主人公が，人への信頼を取り戻し日常に帰るまでの“心理的な綾（あや）”を描いた物語である。

▶原作：志賀直哉『流行感冒』／脚本：長田育恵／音楽：清水靖晃／出演：本木雅弘，安藤サクラ，仲野太賀，古川琴音，松田るか，石橋蓮司ほか／第４制作ユニット（ドラマ）

『ぷちはぴ１分劇場』

BS４K　3.29／ 9:00～ 9:30
BSP BS４K　3.29／23:41～23:44
10週連続

新型コロナウイルスの世界的流行，リモートワークなどのニュースタンダード，SDGs（持続可能な開発目標）が掲げる新しい価値観などにより，幸せの感じ方や人生観に新たな変化が芽生えている。この番組は小さな共感が求められる時代におくる，ひとつの家族が主役の１分のドラマ。見るとちょっとだけ元気が出るような後味をねらった。BS４Kでは30本連続で放送。BSP・BS４K同時放送では３本セットで10週連続放送。

▶出演：久ヶ沢徹，久下恵美，蒼一朗，原康倖／語り：小野文惠アナ／第１制作ユニット（教育・次世代），NEP

⑥ BS８K 特集番組

ABC順

『THE　陰翳礼讃～谷崎潤一郎が愛した美～』

BS８K　9.19／20:00～20:59
BS４K　10.18／20:45～21:44

昭和初期に著された文豪・谷崎潤一郎の随筆『陰翳礼讃』。光と影という観点から日本人の美意識を読み解いた名著として知られ，日本文化の優れた入門書として海外でも読み継がれてきた。その作品世界を８KのHDR技術を駆使して映像化。この随筆に影響を受けた現代の作家や文化人たちの作品・語りも織り交ぜつつ，谷崎が愛した美の世界を描いた。

▶語り：井上あさひアナ／朗読：長谷川勝彦／第２制作ユニット（文化）

五十音順

『あなたの作品が８Kに　新絶景タイムスケイプ』

8.16／19:00～20:59

連続写真を動画化して表現するタイムラプスの手法で撮った風景を番組では「タイムスケイプ」と呼び，番組ホームページなどで視聴者に投稿を呼びかけた。近年，市販のカメラの高精細化により，この手法を使えば手軽に８K表現ができる。全国から200をこえる投稿があり，よりすぐった作品をプロの写真家やタレントの企画作品と共に紹介した。再構成した１時間版も制作，２Kにダウンコンバートしてでも放送した。投稿募集は継続。

▶出演：森川葵，安珠ほか／司会：永井伸一アナ／語り：秀島史香／第３制作ユニット（科学）

『国宝へようこそ』

11. 1，8，15，22／19:00～19:45
3.13／20:00～20:45

全国の国宝から「８Kで残したい作品」をよりすぐり，圧倒的な臨場感で“今までにない国宝の映像体験”を届けるシリーズ。20年度は，強さと美しさを併せ持つ「姫路城」，18年（平成30年）に国宝指定を受けた「日月山水図屏風」，深夜の秘儀までを撮影した「春日大社」，京文化の極み「西本願寺」，人気が高い絵巻「鳥獣戯画」の５本を制作。

▶音楽：三枝伸太郎／語り：余貴美子／第２制作ユニット（文化），NED

『コズミックフロント☆NEXT』
「旅する宇宙　メキシコ」

7.26／19:00〜19:59

星と宇宙がテーマの旅に歌手・荻野目洋子さんが出発！　舞台は，太陽と情熱の国・メキシコ。古代文明の遺跡から標高4,600メートルの望遠鏡まで，旅を通じて天文学の原点に迫る。

▶出演：荻野目洋子／第３制作ユニット（科学）

『サイエンスロマン　天才たちが見た風景』
「北海道　中谷宇吉郎」

10. 4／18:00〜18:15

「雪は天から送られた手紙である」の名言で知られる中谷宇吉郎。世界で初めて雪の結晶を人工的に作り出した。研究の舞台となった北海道の冬と雪の結晶を８K映像で描いた。

▶出演：神尾晋一郎，礒野佑子アナ／第３制作ユニット（科学）

『シリーズ　大英博物館』

（１）「響き合う大地
−古代ギリシャ・メソポタミア・中世イギリス−」

9.13／20:00〜21:14

（２）「創造の秘密へ−古代エジプト・アフリカ−」

9.20／20:00〜20:59

大英博物館の800万点に上るコレクションをひもとき，200万年にわたる人間の歴史をたどるシリーズ。古代エジプトのミイラや，ギリシャの神々をかたどった大理石彫刻など，考古学的価値の高い所蔵品を８Kカメラで撮影し，手触りまでを伝えるかのような超高精細映像によって，人間が作った「モノ」の魅力を堪能する。さらに，文明誕生の地を訪れ，22.2ch三次元音響の臨場感とともに，視聴者を悠久の旅へといざなう。

▶語り：向井理／第２制作ユニット（文化）

『世界に挑め！新型H3ロケット〜開発の舞台裏〜』

3. 7／20:00〜20:30

新型H3ロケットの開発が大詰めを迎えている。種子島宇宙センターで行われている新しいメインエンジンの燃焼試験など，開発の舞台裏とエンジニアたちの素顔に８Kで密着した。

▶語り：小田切千アナ／第３制作ユニット（科学），第６制作ユニット（新領域開発），報道局科学文化部

『忍たま乱太郎と行こう！にっぽん宇宙旅』
「鹿児島でロケットにムチュウ！の段」

10.18／13:00〜13:45

忍たま乱太郎のキャラクターがアニメから飛び出して鹿児島を大冒険。種子島のロケット発射場から薩摩藩の暦や天文館，さらに月まで。歌とダンスの宇宙旅に出発する。８K制作。

▶出演：高山みなみ，田中真弓，一龍斎貞友，島田敏，小山力也，堀内賢雄，城南海，劇団飛行船ほか／第３制作ユニット（科学），第６制作ユニット（新領域開発），NEP

『８Kカメラがとらえた！iPS細胞の世界
〜顕微鏡ドキュメント
iPS細胞が心臓病患者を救う　世界初の手術
実施までの軌跡〜』

5. 9／19:00〜19:49

20年１月，大阪大学附属病院でiPS細胞から作った心臓の筋肉細胞を心臓病患者へ移植する手術が初めて行われた。その様子を８Kの顕微鏡撮影で行い，克明な細胞の変化をとらえて，未来の治療に新たな道を開いた。

▶コンテンツ開発センター，NED

『８Kスペシャル
いまよみがえる伝説の名演奏・名舞台』第２弾

（１）「バーンスタインのマーラー
“一千人の交響曲”」

6.28／13:00〜14:31

（２）「バーンスタインのマーラー“第５番”」

7. 5／13:00〜14:19

（３）「バーンスタインのマーラー“大地の歌”」

7.12／13:00〜14:12

（４）「バーンスタインのマーラー
“第10番”“第１番”」

10.11／14:00〜15:33

（５）「バーンスタインのマーラー“夜の歌”」

10.18／14:00〜15:31

（６）「バーンスタインのマーラー“第９番”」

10.25／14:00〜15:31

（７）「バーンスタインのマーラー“第３番”」

2. 7／17:00〜18:54

（８）「バーンスタインのマーラー“第４番”」

2.14／17:00〜18:06

（９）「バーンスタインのマーラー“第６番”」

2.21／17:00〜18:32

ドイツの映像プロダクションのアーカイブに冷凍保存されていた35ミリ・オリジナル・ネガフィルムに記録されていた歴史的名演奏を８Ｋの超高精細映像，22.2マルチチャンネルの立体音響でリマスターしてよみがえらせるシリーズ。第２弾は70年代に巨匠バーンスタインが残したクラシック音楽映像史における金字塔，マーラーの交響曲全集である。（全９回）

▶第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『８Ｋスペシャル　いまよみがえる伝説の名演奏・名舞台』第３弾

（１）「フルトヴェングラー指揮 “ドン・ジョヴァンニ”」

3.21／11:00～14:05

（２）「ヌレエフ＆フォンティーンの白鳥の湖」

3.28／11:00～12:56

ドイツの映像プロダクションのアーカイブに冷凍保存されていた35ミリ・ネガフィルムに記録されていた歴史的名舞台を８Ｋの超高精細映像，22.2マルチチャンネルの立体音響でリマスターしてよみがえらせるシリーズ。第３弾は逝去の３か月前，ザルツブルク音楽祭1954で記録された巨匠フルトヴェングラー指揮によるオペラ「ドン・ジョヴァンニ」と，1966年に記録された不世出のダンサー，ヌレエフとフォンティーンの共演によるバレエ「白鳥の湖」。（全２回）

▶第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『８Ｋ／22.2サラウンドで体感！ 世界最高峰のステージパフォーマンス』

「パリ・オペラ座バレエ“ジゼル”」

5. 9／14:40～16:38

「英国ロイヤル・バレエ“白鳥の湖”」

5.30／15:00～17:21

「英国ロイヤル・オペラ　歌劇“フィデリオ”」

5.30／17:30～19:48

クラシック・ファンならずとも訪れてみたい世界一流の劇場のオペラ，バレエ公演を８Ｋ収録。パリ・オペラ座ガルニエ宮では古典バレエの傑作「ジゼル」，英国ロイヤル・オペラ・ハウスではバレエの代表作「白鳥の湖」（スカーレット版）と，ベートーベン唯一の歌劇「フィデリオ」を，いずれも世界最高峰のキャストによる公演で収録。高精細の映像かつ22.2チャンネルの迫力あるサウンドで放送した。

▶第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『ベートーベン生誕250年記念 Ｎ響「第９」演奏会』

12.23／19:00～20:20

ベートーベン生誕250年を迎えた2020年，年末恒例のＮ響“第９”を８Ｋ生放送した。指揮者はパブロ・エラス・カサド。新型コロナウイルス感染拡大で音楽界にも大きな影響が及んだ20年の年末，感動の「歓喜の歌」を８Ｋの超高精細映像，22.2マルチチャンネルの立体音響でＮＨＫホールから届けた。

▶ソプラノ：髙橋絵里，メゾ・ソプラノ：加納悦子，テノール：宮里直樹，バリトン：谷口伸，合唱：新国立劇場合唱団／指揮：パブロ・エラス・カサド／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『見たことのない文化財』

「遮光器土偶」 3.20／19:00～19:29
「洛中洛外図屏風　舟木本」 3.20／19:30～19:59
「百済観音」 3.20／20:00～20:29

国宝などの文化財を，フォトグラメトリ技術などを使い高精細な3Dデータとして記録し，放送や展示に活用する東京国立博物館との共同プロジェクト「８Ｋ文化財プロジェクト」で制作する番組。３年計画の初年度となる20年は遮光器土偶，洛中洛外図屏風舟木本，百済観音を3D化。スタジオで出演者がコントローラーで文化財のCGを自在に動かしながら，展示では見ることのできない場所や細部を鑑賞し，知られざる魅力を紹介した。

▶出演：杏ほか／第６制作ユニット（新領域開発）

⑦ ラジオ第1
定時番組

ABC順

『A.B.C-Z　今夜はJ's倶楽部』

火　21:05〜21:55

第1回16.4.26／アイドルグループ「A.B.C-Z」が生放送で送るトークバラエティー。彼らの個性を生かした企画をベースに，ツイッター・メール・ネット投票などを通してリスナーとの双方向性を重視して構成している。20年度は，新型コロナウイルス感染防止のため，メンバーの自宅とつないでのリモート放送を実施。また，Snow ManやSixTONES，HiHi Jetsなど後輩グループとも共演。デビュー9周年の節目となった2月には，2時間の特集番組も放送した。

▶出演：A.B.C-Z（河合郁人，橋本良亮，戸塚祥太，五関晃一，塚田僚一）／ラジオセンター

『DJ日本史』

日　16:05〜16:55

第1回13.4.1／歴史好きが歴史を熱く語る，歴史エンターテインメント番組。歴史好きタレント・松村邦洋とお江戸のアイドル「お江戸ル」こと堀口茉純のトークで，日本史からためになるエピソードを毎回伝えた。新型コロナウイルスの感染が拡大したため，4月中頃から5月前半までは過去にお届けした回を一部編集した上で再放送。その後は感染防止の観点から，出演者の自宅などをインターネット回線で結んで収録を行った。

▶パーソナリティー：松村邦洋，堀口茉純／DJ：川久保秀一／ラジオセンター

『NEXT名人寄席』

（最終）土　10:05〜10:55

第1回18.10.27／話芸の世界で期待の若手芸人が，今最も生きのいい芸を披露する番組。落語界の人間国宝・柳家小三治からの激励メッセージや，各師匠たちからの応援コメントとともに，注目の若手芸人を全国に紹介。20年度は10本を制作。局内スタジオで無観客などで収録し，落語家の春風亭昇々や音曲師の桂小すみなどが出演。また過去素材をいかした再構成企画も制作。

▶司会：石井隆広・浅野里香・内藤雄介・鈴木貴彦アナ／第5制作ユニット（エンターテインメント）

『NHKジャーナル』

月〜金　22:00〜22:55

第1回82.4.2／1日のニュースをせき止め，掘り下げて伝えるニュース情報番組。主なニュースはニュースデスクが背景などを分かりやすく解説。20年度は新型コロナウイルス関連の情報を積極的に扱い，視聴者が求める最新の医療情報や生活情報も数多く発信した。一方で各地域の課題や脱炭素化問題，さらに東日本大震災10年シリーズなど，我々がともに考えていくべきことについて，数多く解説をした。また，リスナーの声や質問を積極的に番組に取り込み，双方向性を意識した情報発信に努めた。

▶キャスター：武田涼介アナ，菅野真美恵／ニュースデスク：岩本裕，森田智之／気象予報士：福田寛之／ラジオセンター

『NHK東日本大震災音声アーカイブス〜あれから、そして未来へ〜』

（年8本）土　13:05〜13:55

第1回12.3.11，最終回21.3.6／東日本大震災の被災地で暮らす人たちの声を紹介する番組。副題の「被災地からの声」を，18年度から「あれから、そして未来へ」に改題。子どもの頃に被災し，成人してふるさとの復興に携わろうとしている若者や，コロナ禍でも創意工夫で伝承活動を続ける人など，被災地で生きる人々のさまざまな声を取り上げた。

▶番組アンカー：柴田拓アナ／ラジオセンター

『Nらじ』

月〜金　18:00〜19:55

第1回18.4.2／18年度に午後7時の「NHKきょうのニュース」を包含してスタートした。20年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため，年間を通じてゲストのスタジオ出演を見合わせ電話などでの出演となった。そのため音質など聴きやすさを考慮して，通常25分間の特集コーナーを15分程度に短縮し，代わりにニュースアップを特集と別に10分間程度設けた。放送尺においても4月中旬から約3か月にわたって10分短縮，完全に元の放送尺に戻ったのは9月であった。

▶キャスター：畠山智之（午後6時台），野村正育（午後7時台），黒崎瞳／コメンテーター（解説委員）：週替わり7人／ラジオセンター

五十音順

『石丸謙二郎の山カフェ』

土　8:05〜 9:55

第１回18.4.7／山登りが好きな人をターゲットにしたトーク番組。カフェのマスターとしてパーソナリティーを務めるのは，登山歴40年の俳優・石丸謙二郎。20年度も全国の山小屋などと電話をつないだり，登山家や写真家など山を愛する人をお客さまとして迎えたりして，多様な切り口で山の魅力を伝えた。ただし，新型コロナウイルスの感染拡大により，５月は３週にわたり再放送。その後も，石丸謙二郎が自らの登山の様子を収録した音声を伝えるコーナー「マスターの音だより」は，ほぼ過去の音源で制作するなど，感染対策を徹底して放送にあたった。

▶パーソナリティー：石丸謙二郎，山本志保アナ／ラジオセンター

『イチ押し　歌のパラダイス』

水　20:05〜20:55

第１回19.4.3／毎週，ベテランから新人まで，いま話題の歌手が出演し，「イチ押しの新しい歌」と「フレッシュな話題」で構成していく音楽番組。20年度はコロナ禍のため４〜６月は再放送，その後MC陣に徳田章アナウンサーが加わり，リモートを駆使して毎週多彩なゲストが出演。輪島裕介（大阪大学准教授）が，時代を超えた「すごい歌」を紹介するミニコーナー「スゴうた」でも多種多様な日本の名曲を解析。

▶DJ：売野雅勇，唐橋ユミ，徳田章／スゴうた博士：輪島裕介／ラジオセンター

『歌え！土曜日　Love　Hits』

土　12:30〜12:55

第１回15.4.4／J-POPを中心に，最新ヒット曲を紹介する若者向け音楽番組。20年度はコロナ禍のため４月から６月にかけて再放送，その後リモート収録・放送を行う期間を経てスタジオ収録に復帰した。新しい演出としてパーソナリティーがアーティストにリモートインタビューするコーナーを新設した。またアーティストからのメッセージを紹介するコーナーとアメリカのエンターテインメント情報を紹介する「Hot Topic USA」（月１回）コーナーを継続して放送した。

▶パーソナリティー：新井恵理那／ラジオセンター

『大竹しのぶの“スピーカーズコーナー”』　新

（11月〜）土　14:05〜14:55，15:05〜15:55

第１回20.11.21／俳優・歌手の大竹しのぶが，コロナ禍の暮らしや仕事の中で感じたこと，いま世界で起きていることなどを，独自の感性で見つめて語ったほか，お気に入りの最新の音楽を紹介したり，全国のリスナーからの「喜・怒・哀・楽」の声も紹介した。バーチャル旅行気分を味わう「行った気になる妄想トラベル」のコーナーでは毎回各地のNHKのアナウンサー，キャスターと電話をつないだ。３月６日の生放送では福島，仙台局とつないで，震災10年を迎えた被災地のいまとリスナーが出来る支援策を聞いた。

▶出演：大竹しのぶ／第５制作ユニット（エンターテインメント）

『音楽の泉』

R1　日　8:05〜 8:55

FM　再　月　5:00〜 5:50

第１回49.9.11／クラシック音楽の古今の名曲を，親しみやすい解説で紹介する『音楽の泉』。20年度より解説に奥田佳道氏を迎え，装いも新たに番組開始71年を迎えた。

▶解説：奥田佳道／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『上方演芸会』

土　19:20〜19:45

第１回49.9.14／味わいあふれる上方演芸を楽しんでもらう公開派遣番組。放送開始から72年目を迎える長寿番組。長年にわたり時代や世相を反映した新作の漫才・漫談を上方の漫才師，漫談家が演じている。全国で公開派遣収録。20年度は新型コロナの影響で公開収録は数回中止となった。

▶大阪拠点局

『子ども科学電話相談』

日　10:05〜11:50

第１回19.4.7／子どもたちの素朴でスルドイ質問に第一線の科学者たちが答える，夏・冬休み恒例の特集番組が，週１回の２時間番組として定時化して２年目。コロナ禍でセンバツ高校野球が中止になったことを受け，19年度末から20年度初めにかけて，休校の広がった子どもたち向けに，急きょ「春スペシャル」を編成した。その後も，定時番組に加え，夏・冬休みにも特集番組を放送。回答者のリモート出演の体制を整え，

Teamsを使って連携し，質問に複数の回答者が視点を変えて答えるなど，子どもたちやリスナーの興味をさらに育むような試みを行った。
▶司会：石井かおる／ラジオセンター

『サンドウィッチマンの天使のつくり笑い』

火　20:05〜20:55

第１回15.4.7，最終回21.3.23／「笑いは世界を救う」をコンセプトに，若手芸人によるネタバトル，大喜利，人気芸人をゲストに迎えたトークを織り交ぜ，笑いを作り出した。「みちのく通信」では東北の人と電話をつなぎ，復興状況とともにイベントやトレンドを伝えた。20年度は，ゲスト１組にたっぷりお話をうかがう毎週50分の収録放送。緊急事態宣言下では過去の爆笑エピソード集などを再構成した。３月23日に最終回を放送。
▶司会：サンドウィッチマン／進行：安部みちこ・森下絵理香アナ／第５制作ユニット（エンターテインメント），NEP

『真打ち競演』

（最終週を除く）土　10:05〜10:55

第１回78.11.25／落語・漫才・漫談・声帯模写などの話芸を，真打ちクラスの名人芸でじっくりと聴かせる公開派遣番組。20年度は全国13か所で公開録音を計画していたが，新型コロナウイルスの影響で９か所が中止となった。そのため，過去素材を紹介する再構成企画も制作した。
▶司会：各局アナ，内藤雄介・鈴木貴彦アナ（局内収録）／出演：柳家さん喬，春風亭一之輔，おぼん・こぼん，江戸家小猫，テツandトモ，ぴろき，ほか／第５制作ユニット（エンターテインメント）

『新日曜名作座』

日　19:20〜19:50

第１回08.4.6／森繁久彌，加藤道子のコンビで50年にわたって培われた，語り芝居の伝統を，西田敏行，竹下景子の２人が受け継ぎ，古今の名作を伝え続けている文芸ドラマ。
▶第４制作ユニット（ドラマ）

『高橋源一郎の飛ぶ教室』　新

金　21:05〜21:55

第１回20.4.3／作家・高橋源一郎がセンセイとなり，現代の世相や時局を分析し，現代社会の生き方を指南する夜の学校，『高橋源一郎の飛ぶ教室』が開校。さまざまな書籍を高橋独自の視点で読み解く他，毎回さまざまな専門家をセンセイとして迎え，その専門ジャンルについて深く対話を繰り広げてきた。新型コロナウイルスの感染拡大の中では，100年前の「スペインかぜ」を描いた書籍『史上最悪のインフルエンザ』を読み解き，リスナーに新たな考え方を提示した。
▶出演：高橋源一郎，小野文惠アナほか／ラジオセンター

『武内陶子のごごカフェ』

月〜金　12:30〜15:55

第１回20.4.6／20年度から同タイトルでの放送開始。午後の時間帯にホッと一息つける音楽（邦楽・洋楽）セレクションと，全国リスナーからの投稿を組み合わせた「ミュージックカフェ」。専門家やタレントを，曜日ごとに設定したテーマに基づいてお招きし，インタビュー，生活情報，地域に特化した情報など，日替わりテーマでトークする「カフェトーク」。リスナーに，リクエスト曲と思い出を募集する「カフェリクエスト」の３部構成で，３時間半のワイド感たっぷりにお届けする番組。
▶パーソナリティー：武内陶子アナ／ラジオセンター

『ちきゅうラジオ』

土・日　17:05〜18:50

第１回99.4.4／ラジオ第１とNHKワールド・ラジオ日本に加え，インターネット配信（ライブ・ストリーミングおよびオンデマンド・ストリーミング）で全世界に向け発信している。聴取者にメール・FAX・電話などで参加してもらう双方向番組。13年度のリニューアル以来，140を超える国や地域と電話をつなぎ，現地のホットなニュースやスポーツ・カルチャーの最新情報をリポートしてきた。そのほか，海外で活躍する日本人や日本で暮らす外国人へのインタビュー，海外の日本人学校に通う子供たちの作文，世界の音楽を紹介するコーナーなど。20年度は男性キャスターが交代となった。
▶キャスター：杉嶋亮作アナ，堀口ミイナ／ラジオセンター

『鉄旅・音旅　出発進行！〜音で楽しむ鉄道旅〜』

月　20:05〜20:55

第１回19.10.5／鉄道の「音」にトコトンこだわる，ラジオならではの鉄道＆旅バラエティー番組。SL，寝台列車，観光特急などの旅情あふ

れる走行音，車内アナウンスからマニアックな機械音，今では聴けない懐かしい音をNHKアーカイブスから掘り出す「貴重なてつおと発掘隊」コーナーなどをお伝えし，鉄道と旅の魅力を音で味わう新しい楽しみ方を提案した。20年度はコロナ禍のため４～５月にかけて再放送を行い，その後リモート演出に積極的に取り組むとともに過去の音源をもとに「タイムトリップ旅」を行うなど新しい演出手法を開発した。
▶MC：土屋礼央，久野知美／「貴重なてつおと発掘隊」：野月貴弘／ラジオセンター

『東京03の好きにさせるかッ！』

木　20:05～20:55

第１回19.4.4／コントトリオの東京03が，働く大人が日頃感じる「イライラ」や「あるある」を，俳優や芸人，声優をゲストに迎え，新作のラジオコントとスタジオトークにして笑い飛ばす，大人向けのお笑いラジオ番組。８月13日に「夏のスペシャル拡大版」を特集番組として放送。
▶司会：東京03／ナレーション：戸松遥／第５制作ユニット（エンターテインメント）

『徳井青空のあにげっちゅ　今日からオタ活』

日　13:05～14:55

第１回19.4.1／NHK初の“コスプレ・ラジオ”。アニメファンやゲームファンのニーズに合わせ，出演者は衣装着用で生放送。コスプレ写真をSNS等に随時公開し視覚的に展開。20年度は放送枠を日曜日の50分×2枠に移動・拡大し，準レギュラー出演者が新たに加わった。コロナ禍の中，リモート演出を駆使して全国のオタ活（オタク活動）を応援する内容を放送した。また時間を拡大して『あにげっちゅSP』を２本放送した。
▶MC：徳井青空，ヒャダイン，石飛恵里花，速水奨，伊東健人，野津山幸宏，i☆Ris／ラジオセンター

『中山秀征のクイズ　イマジネーター』

木　21:05～21:55

第１回19.4.4／「イマジネーター」は“想像する人”という意味の造語。リスナーの皆さんがスマホで送ったヒントや質問をキャプテンが選び，チームを勝利に導く「生放送」の参加型クイズ番組。「イエス」「ノー」で答えられる質問を繰り返し，「ある言葉」を当てる“イエスノー・クイズ”。ヒントから「連想する“くり返し言葉”」を当てる“きゅんきゅんクイズ”などさまざまなコーナーを用意。最後は１分ゲームで決着！
▶司会：中山秀征／ゲスト：高城れに，ほか／ラジオセンター

『にっぽん列島夕方ラジオ』

月～金　17:05～17:55

第１回18.4.2／日本全国の地域局が地元向けに放送している17時台の生放送番組から，担当局を日替わりにして，そのまま全国に向けて放送する番組。各地域の暮らしや，地元で活躍する人物のトークを楽しんでもらい，日本全国の多様性を伝えている。曜日別に，札幌・大阪・福岡など地域拠点局が中心で担当するほか，不定期に日本各地にある地域局の番組も放送している。放送開始以来，新たに参加する地域局が毎年増えており，全国のリスナーが地域発の番組に親しむきっかけとなっている。
▶ラジオセンター

『ひるのいこい』

R1 FM　月～金　12:20～12:30
土　12:15～12:30

第１回52.11.27／昭和27年の放送開始から変わることないスタイルでお届けするNHKラジオの長寿番組。古関裕而が作曲した郷愁あふれるテーマ音楽で始まり，全国各地から寄せられる季節折々のお便りや俳句・短歌を，ゆったりとした口調で紹介する。デジタルを中心に大きく変化する社会において，あえて番組のアナログ的なスタイルを変えないことにこだわっている。毎日のお昼どきに時計代わりに聴くリスナーも多い。R1・FM同時放送。
▶アンカー：吉松欣史アナ（月～金），石井かおる（土）／ラジオセンター

『古家正亨のPOP★A』

水　21:05～21:55

第１回19.4.3／K-POPアーティストの楽曲を中心に，「Asia-アジア」の「POP」な音楽・カルチャートレンドなどを生放送で送るエンタメ情報番組。MCは，韓流をはじめアジアの音楽にも知識を持つカリスマDJ・古家正亨。20年度は，リモートで韓国の旬なアーティストたちがゲストで生出演。リスナーは，ホームページからの生投票等，双方向企画で参加した。
▶MC：古家正亨，ジェジュン（月１回）／ラジオセンター

『文芸選評』

土　11:05〜11:50

第1回84.4.9／投稿された作品を専門家が選び，解説しながら紹介する番組。20年度はリニューアルを行った。これまで4週に1度設けていた「川柳」の回を廃止。「俳句」と「短歌」を隔週で放送することにした。また，固定されていた専門家も，毎回違う俳人・歌人を迎えるよう改めた。さらに，メールでの投稿受付を開始。放送中，作品を視覚的にも味わえるようTwitterもスタートした。3月には，「東日本大震災を詠む」と題し，あの日から10年になる3.11前後に，2週続けて投稿作品を紹介した。

▶司会：石井かおる／ラジオセンター

『マイあさ！』

月〜金　5:00〜 6:30
土・日　5:00〜 6:30，6:40〜 8:00

『三宅民夫のマイあさ！』

月〜金　6:40〜 8:28

第1回19.4.1／“ラジオを元気に”と三宅民夫キャスターを番組の中心に据えて始まった番組の2年目。ニュースの核心に迫る「真剣勝負！」，世界のメディア情報満載の「ワールドアイ」，経済の最新の動きやスポーツコーナーなど，現役世代向けの企画をさらに充実させ，朝のニュース情報番組として定着してきた。また，新型コロナウイルス情報を多種多様の角度から発信。緊急報道とともに安心ラジオの任務遂行に努めた。

▶キャスター：三宅民夫，田中孝宜・吉松欣史アナ，大久保彰絵，久保田明菜／気象予報士：伊藤みゆき／ラジオセンター

『増田明美のキキスギ？』

金　20:05〜20:55

第1回18.10.5，最終回21.3.26／マラソン解説でおなじみのスポーツジャーナリスト・増田明美が司会を務めるスポーツトーク番組。アスリートやスポーツ関係者に加え，京都大学の山中伸弥教授や演出家の宮本亞門さんなど，コロナ禍でも奮闘し活動を続ける研究者や文化人に話を聞いた。東京五輪開催年となる年明けからは再び瀬古利彦さんや有森裕子さんなどスポーツ関係者に東京五輪・パラ，スポーツの意義などについて聞いた。

▶キャスター：増田明美，杉嶋亮作アナ／ラジオセンター

『又吉・児玉・向井のあとは寝るだけの時間』

月　21:05〜21:55

第1回17.4.24／19年度から毎週1時間番組となる。3年間同居していた3人の関係性を大事に，自然体のピース・又吉，進行役のパンサー・向井，おとぼけのサルゴリラ・児玉のリビングトークを楽しむ番組である。毎週自由律俳句，大喜利など企画を変える。

▶MC：又吉直樹（ピース），児玉智洋（サルゴリラ），向井慧（パンサー）／ラジオセンター

『ヤバイラジオ屋さん』 新

土　16:05〜16:55

第1回20.11.7／3人組ロックバンド「ヤバイTシャツ屋さん」がパーソナリティーをつとめる新番組。ゲストとのトーク，リスナーからのお便りを中心に構成する。

▶第5制作ユニット（エンターテインメント）

『ラジオ深夜便』

R1　月〜日　23:05〜 5:00
FM　月〜日　1:05〜 5:00

第1回90.4.28／落ち着きのある深夜放送として支持を得てきた長寿番組。現役・OB・OGアナウンサーが進行を担当，金曜は大阪拠点局制作の「関西発」と各地域局制作の「地域発」を放送している。将来の番組リスナーとなる50代を意識した「深夜便ビギナーズ」や子育てで夜も寝つけない親に届ける「ママ☆深夜便」を18年度から継続。94年から続く「ラジオ深夜便のつどい」を群馬県高崎市で開催。

▶ラジオセンター

『ラジオ体操』

R1　月〜日　6:30〜 6:40
R2　月〜土　8:40〜 8:50，12:00〜12:10，15:00〜15:10

第1回28.11.1／47.9.1から4年間中断，51.5.6に放送再開／53年に始まり，夏の風物詩として親しまれる「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」は，新型コロナウイルス感染症対策で中止。78年開始の「特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会」も中止した。また，ラジオ体操会最大規模の「第59回1,000万人ラジオ体操・みんなの体操祭」も同様に中止とした。通常の放送は2か月ごとに新作を放送，元日用には別途制作を行った。

▶体操指導：多胡肇，岡本美佳，鈴木大輔／ピア

ノ演奏:幅しげみ，加藤由美子，能條貴大／スポーツ業務管理部，Gメディア

『らじらー！　サタデー』

土　20:05〜22:55

『らじらー！　サンデー』

日　20:05〜22:55

第１回15.4.4（土），15.4.5（日）／10〜20代の若者をメインターゲットにおき，６年目を迎えた20年度は，『サタデー』に新しいMCが加わった。また，ムチャぶりやキュンキュン企画，リスナーが参加するMCが対決する企画などを実施した。

▶MC：（土）伊野尾慧・八乙女光（Hey!Say!JUMP），浜中文一，なにわ男子，Aぇ!group，Lilかんさい，SixTONES，Snow Man，Travis Japan，（日）オリエンタルラジオ，星野みなみ（乃木坂46），大園桃子（隔週）／ラジオセンター

『らじるセレクト』

土　13:05〜13:55
日　15:05〜15:55

第１回19.4.6／もう一度聴いていただきたい番組をセレクトして放送する番組。「らじるラボ」「武内陶子のごごカフェ」「増田明美のキキスギ？」「高橋源一郎の飛ぶ教室」「発掘！ラジオアーカイブス」などのレギュラー番組，「タマリバラボ」「みんなでひきこもりラジオ」などの特番を再構成して放送した。

▶ラジオセンター

『らじるの時間』

R1　月〜日　10:55〜11:00
再　土〜日　19:50〜19:55
FM　月〜日　10:55〜11:00
再　月〜金　23:55〜 0:00

第１回19.4.3／NHKラジオのさまざまな番組をPRすべく，各番組の新情報を紹介。さらに，番組内容が凝縮された音源や番組出演者のコメント音源なども活用して多角的にNHKラジオ番組の魅力を伝えた。また，スマートフォンやパソコンで放送が聴ける「らじる★らじる」や，放送内容を記事にした「読むらじる。」の活用方法なども随時紹介した。

▶ラジオセンター

『らじるラボ』　新

月〜金　8:30〜11:50

第１回20.3.30／「音だから面白い，音だから伝わる」お試し企画を持ち込んで，リスナーと一緒に楽しむ音声メディアの実験室として放送を開始。かつての人気番組『FMリクエストアワー』の復刻版，アーカイブスから発掘した貴重な音源の紹介，物語に音をつける「おとあそび」，番組用の落語・講談など，音の魅力を生かした内容を放送した。また，旬なゲストへのインタビュー，リスナーの悩みに答える「木曜相談室」など昔からラジオで人気のコーナーも織り交ぜ，オトナ世代に「聴く楽しみ」を届けた。また放送内容は「読むらじる。」にも毎日展開し，番組に接触する人を増やすよう努めた。

▶進行：吾妻謙アナ／ラジオセンター

⑦ ラジオ第1

特集番組

五十音順

『江戸ラヂヲ』

R1　8.13／22:00〜22:50
　　1. 1／18:00〜18:50
FM　8.14／18:00〜18:50
　　1. 2／21:00〜21:50

江戸時代と現代がタイムマシンや手紙でつながる設定で，江戸文化を等身大で楽しむバラエティー。トークテーマに応じた江戸時代の音楽（純邦楽）なども取り上げた。FMでも放送した。

▶出演：神田伯山，レキシ，山崎怜奈，山本彩／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『クイズで楽しむアスリートサウンド』

12.31／ 8:05〜 8:55，9:05〜 9:55

新型コロナウイルス感染防止対策のひとつとしてさまざまなスポーツ競技が無観客で行われ，盛り上がりに欠けるという声が聞かれる一方，これまでに注目したことがなかったボールを打つ音や体がぶつかり合う音などが聴こえて面白かった，という声が多く聞かれた。そんなスポーツで発せられる「音」に着目し，音当てクイズをしながら，あまり知られていないルールや慣例を解説して，スポーツの新しい楽しみ方を提示した。緊急事態宣言発出により，５月放送予定を延期し年末の放送となったが，出演者を限定して広いスタジオでアクリル板を設置するなどの感染防止対策をとり，過去の放送で実施した体験を今回は中止し，トークのみで盛り上げた。

▶司会：ウエンツ瑛士（タレント）／解説：増田明美（スポーツジャーナリスト）／ゲスト：松田丈志（元競泳オリンピアン），大野忍（元サッカーオリンピアン）／インタビューゲスト：臼井二美男（義肢装具士）／コメントゲスト：由良拓也（レーシングカーデザイナー），足立和也（カヤック），中山由起枝（クレー射撃），高橋美穂（テコンドー），道下美里（パラ陸上）／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『子ども科学電話相談　オンライン公開生放送「鳥」「恐竜」「科学」』

12. 6／10:05〜10:55，11:05〜11:50

コロナ禍が続く中，NHKの科学番組５つが東京・江東区の日本科学未来館に集い，オンライン会議システムを使って公開放送を行った。『子ども科学電話相談』では３人の回答者のうち２人をリモート出演とし，Teamsで会場に映像を届けた。会場参加者には感染対策を徹底し，全国の科学館や個人がPCやスマホなどを通して質問できる体制も整え，その場にいなくてもオンラインで公開番組に参加して楽しめるラジオ放送を行った。

▶司会：石井かおるアナ／リポート：山本志保アナ／ラジオセンター

『佐渡裕の音楽酒場「マエストロ」』

R1　9.21／22:05〜22:55
　　2.11／22:05〜22:55
FM　9.25／18:00〜18:50
　　2.12／18:00〜18:50

ウィーンのトーンキュンストラー管弦楽団の音楽監督を務めるかたわら，幅広いジャンルのアーティストや著名人と交流を持つ指揮者・佐渡裕。とある街のとあるバーを舞台に毎回多彩なゲストと音楽談議に花を咲かせる音楽トーク番組。年２回放送。

▶出演：佐渡裕（指揮者），さだまさし（シンガーソングライター／９月），大竹しのぶ（俳優／２月），反田恭平（ピアニスト／２月），鎌倉千秋アナ／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『高橋源一郎と読む　戦争の向こう側2020』

8.14／20:05〜20:55，21:05〜21:55

戦争体験者から凄惨（せいさん）な実相を聞くことが出来なくなりつつあるこの時代に，戦争を扱った文学作品を通して，描かれた戦争の向こう側を考える番組。希代の読書家の作家・高橋源一郎が司会となり，詩人の伊藤比呂美をスタジオに迎え，作家・クリエーターのいとうせいこうがリモートで生出演した。３回目の今回のテーマは「引き揚げ」。上田トシコ『フイチンさん』，藤原てい『流れる星は生きている』，後藤明生『夢かたり』などを題材に，満州や朝鮮半島から日本に引き揚げてきた人たちの壮絶な体験から，国民はどんな犠牲を強いられたのかを浮き彫りにした。

▶ラジオセンター

『夏休み！ラジオ保健室〜10代の性 悩み相談〜』

8.17〜 8.21／19:30〜19:55，20:05〜20:55，21:05〜21:55

10代が性に関するトラブルに最も巻き込まれやすい夏休み期間中に，５夜連続で生放送した，10代のための，性にまつわるお悩み相談番組。

男女の体の悩みや妊娠，性感染症，多様な性などのテーマごとに各分野の専門家を迎え，家族や友人に相談しにくい悩みに真正面から真面目に向き合った。番組で取り上げた悩みは，番組ホームページの投稿フォームに寄せられたメールの中からピックアップし，放送の流れに合わせて紹介。また，事前のリモート取材で，中高生が語る悩みを数多く集め，10代のリアルな生の声もふんだんに取り上げた。

▶パーソナリティー：ブルボンヌ，野呂佳代，青井実アナ／ラジオセンター

『みんなでひきこもりラジオ』

第１回	5. 7／20:05〜21:55
第２回	7.23，7.24／22:05〜22:55
第３回	9.21／18:05〜19:55
	9.22／18:05〜19:55，22:05〜22:55
第４回	11.23／18:05〜19:55，22:05〜22:55
第５回	1.11／18:05〜19:55，22:05〜22:55
第６回	2.23／18:05〜19:55，22:05〜22:55

全国で115万人にものぼると言われているひきこもり。なかでも40〜60代は，推計61万人といわれており，長期化･高齢化が課題となっている。そこでNHKラジオでは，当事者同士が自宅にいながら，共感し，つながれる“場”を提供する番組を制作。生放送の番組では，毎回の多くの当事者が投稿や電話などで参加し，本音を語っている。

▶司会：栗原望アナ／ラジオセンター

⑧ ラジオ第2

定時番組

五十音順

『NHK高校講座』

月〜土　19:30〜20:30
再 月〜土　23:40〜 0:40

第１回53.4.13／全国の通信制高校生を主な対象に，自学自習を支援する番組として計画的かつ継続的に放送。通信制以外の高校生や生涯学習にも対応している。14番組。深夜の放送は通信制高校の前・後期２期制の後期入学生の学習に対応。毎年10月に開始し，本放送から半年遅れで翌年夏まで再放送している。20年度の新作は「現代文」「仕事の現場real」の２番組。「現代社会」「倫理」「政治・経済」「現代文」「国語総合」「古典」「数学Ⅱ」「保健体育」「英語表現Ⅰ」「コミュニケーション英語Ⅱ」「コミュニケーション英語Ⅲ」「芸術 音楽Ⅰ」の12番組を再放送。

▶第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『アラビア語講座』

日　9:30〜10:00

第１回08.4.5／前期は「話そう！アラビア語」と題し，文字の初歩を学びながらアラビア語の特徴をじっくり紹介した。講師：榮谷温子（慶応義塾大学ほか講師），出演：イサム・ブカーリ，カリン・エルフェガーリ（05年度の再放送）。／後期は「アラブの国々を旅しよう！」，講師：長渡陽一（東京外国語大学講師），出演：エバ・ハッサン，オサマ・イブラヒム（09年度の再放送）。

▶テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『英会話タイムトライアル』

月〜金　8:30〜 8:40
再 月〜金　12:15〜12:25，18:25〜18:35，23:00〜23:10
再 土　7:00〜 7:50

第１回12.4.2／基礎英語終了程度の簡単な英語を使い，テンポよく英会話ができる発話力を養うトレーニング番組。難しい表現を学ぶのではなく，すでに知っている単語や表現を使って英語の瞬発力を鍛える「SPRトレーニング」（月〜水）と，身に付けた瞬発力を腕試しする「対話カラオケ」（木・金）の２種類のトレーニングを基本に５日間を構成している。NHK英語グランドデザイ

ンによるレベル分け（A0からC2まで７段階）は，A2に位置づけられる。
▶講師:スティーブ･ソレイシィ（BBT大学教授）／出演：ジェニー・スキッドモア／テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『エンジョイ・シンプル・イングリッシュ』

月～金　9:10～ 9:15
再 月～金　16:25～16:30
再 月～金　23:10～23:15
再 土　9:05～ 9:30（５本）

第１回14.3.31／日本人に足りないと言われる英語のインプット量を増やすため，中学レベルの簡単な英語で書かれたストーリーを聞き取るだけの番組として放送を開始した。オリジナルのショートストーリーや日本の古典落語，文学作品など曜日ごとにテーマを変え，リスナーを飽きさせないよう工夫した。番組では英語解説を一切行わず,テキストにも日本語訳を掲載しないで,英語を英語のまま理解する感覚を養うことに徹底した。
▶出演：関根麻里／監修：ダニエル・スチュワート／テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『おしゃべりな古典教室』 新

木・金　9:30～ 9:45
再 日　18:00～18:30
再 月　0:10～ 0:40

第１回20.4.2／和歌，俳句，能，歌舞伎など現代人が敬遠しがちな「古典」の世界を講師の木ノ下歌舞伎主宰・木ノ下裕一さんが，女優・小芝風花さんを生徒役にわかりやすく，紹介する番組。毎週，「風」「花」「和泉式部」など１つのテーマを２回シリーズで紹介。再放送は日曜と月曜それぞれ２回まとめて行っている。20年度は36本制作。
▶出演：木ノ下裕一，小芝風花／第２制作ユニット（文化），NED

『音で訪ねる　ニッポン時空旅』

土　9:30～10:00
再 日　19:00～19:30

第１回15.4.5／日本各地の祭りや民謡などの貴重な録音を掘り起こし，時空を越えた空想の旅を楽しむ番組。毎回「スポーツ実況のはじまり」「浜子唄」など旅のテーマを設定。主にワールドミュージックの分野のゲストを迎え，民俗学の解説を交えて自由なトークを楽しむ演出で放送。16年度からストリーミングを開始。
▶司会：永野宗典・本多力（ヨーロッパ企画）／解説：島添貴美子（富山大学准教授）／第２制作ユニット（文化），NED

『お話でてこい』

月～水　9:30～ 9:45

第１回54.11.8／古今東西の昔話や名作童話を一流の語り手の「お話」でつづる。オリジナルの音楽と効果音を織り込み，物語をイメージ豊かに子どもたちに伝えた。月曜は年少向け，火曜は年中向け，水曜は年長向けのお話を放送した。
▶語り：佐野浅夫，香椎くに子ほか／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『おもてなしの中国語』

（前期）月・火　22:00～22:15

第１回17.4.3／「出会い　ふれ合い　語り合い」をテーマに，観光地や店で役立つ実用的な表現を紹介し，インバウンド需要に応えた（17年度の再放送）。
▶講師：及川淳子（中央大学准教授）／出演：張帥，靳園元／テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『おもてなしのハングル』

（前期）木・金　10:30～10:45
再 土・日　17:45～18:00
再 日　9:00～ 9:30（２本）

第１回18.10.4，最終回20.9.25／「知って伝えるコミュニケーション術」と題し，訪日観光客との会話に役立つ表現や日韓の習慣・文化の違いを解説した（18年度の再放送）。
▶講師：長友英子（日韓同時通訳者）／出演：チェ・ハクサン，イー・チュンギュン，ソ・ウナ／テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『カルチャーラジオ』

月～土　20:30～21:00
日　20:00～21:00
再 月～土　10:00～10:30
再 日　10:00～11:00

第１回01.4.2／『NHKカルチャーアワー』を09年に改題。主に中高年層を対象に，多様化する知的欲求に応える教養番組。
▶第２制作ユニット（文化），NED

「NHKラジオアーカイブス」　月／第１回11.4.4／NHKが保有するアーカイブスの中から政治家や文化人，実業家などその日のテーマに沿った人物をセレクトし，懐かしい声をよみがえらせ，その業績や人となりを再検証する番組。20年度は古関裕而，森繁久彌，森光子，田中角栄，ドナルド・キーン，三島由紀夫，緒方貞子，中村哲，土光敏夫，本田宗一郎などを取り上げた。

「歴史再発見」　火／第１回05.4.5／日本および世界の興味深い歴史をユニークな切り口で３か月にわたりじっくりと紹介する番組。20年度は，「明智光秀の実像に迫る」「古代ローマ成立期の皇帝たち」「朝鮮半島から見た『古墳時代』」「会計と経営を巡る500年の歴史」をテーマに取り上げた。

「芸術その魅力」　水／第１回07.4.4／音楽，演劇，映画，美術など，幅広く芸術分野を紹介する番組。20年度は「中世ヨーロッパの大聖堂」「ベートーベンの生涯と作品」「葛飾北斎　再発見」「今，もう一度“ジャズ入門”」をテーマに取り上げた。

「文学の世界」　木／第１回07.4.7／古今東西の名作を鑑賞し作者の生きざまや知られざるエピソードを紹介する番組。20年度は「“遠野物語”を読み解く」「三国志の世界」「文庫で味わうアメリカ短編小説」「いま，心に響く歌の力」をテーマに取り上げた。

「科学と人間」　金／第１回14.4.4／科学分野のホットな情報や話題を分かりやすく解説する番組。20年度は「海の哺乳類の進化と生態」「睡眠と体内時計の謎に迫る」「医療現場の最前線から感染症を考える」をテーマに取り上げた。

「漢詩をよむ」　土／第１回08.4.5／中国の悠久の歴史の中で育まれてきた漢詩を重厚な朗読と分かりやすい解説により，身近なものとして親しんでもらう番組。20年度は「信　ゆるぎない絆」をテーマとして設定，前半は「ともに生きる人」，後半は「心の支え」と題し名詩を鑑賞した。／佐藤正光（東京学芸大学教授）／朗読：加賀美幸子

「日曜カルチャー」　日／第１回11.4.17／日曜は１時間のフリー枠。聴取者の関心を引く今話題になっているホットなテーマを選び，深く掘り下げ紹介する番組。20年度は「不安のしずめ方」加藤諦三（早稲田大学名誉教授），「語り継がれる“幸田家”のことば」青木奈緒（エッセイスト），「寄り添う」玉置妙憂（看護師・僧侶），ほかを取り上げた。

『基礎英語０』

月～金　18:35～18:45
再 土　14:10～14:40
再 日　8:00～ 8:30

第１回18.4.2／英語に初めてふれる小学５～６年生を対象にした番組。英語をかたまりで覚えて，年間100ほどのフレーズを習得した。子どもたちの英語に関する疑問に電話で直接答えるコーナーや，４コマまんがを聞き取るクイズ，リスナー投稿による英語大喜利など，小学生が楽しめる演出とした。

▶講師：居村啓子（拓殖大学准教授）／出演：サンシャイン池崎，アイクぬわら，花音／テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『基礎英語１』

月～金　6:00～ 6:15
再 月～金　18:45～19:00，21:00～21:15

第１回05.4.4／初心者が英語の基礎を学ぶ講座。レベルは中学１年生程度。日常会話に役立つフレーズや文法を毎レッスン１つずつ取り上げた。英語学習の題材となるストーリーの舞台はフィリピン。インターナショナルスクールに通う中学１年生，あまねの日常生活をフィリピンの文化を交えて描いた。

▶講師：田村岳充（宇都宮大学大学院助教）／出演：クリス・ネルソン，ダイアナ・ガーネット／テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『基礎英語２』

月～金　6:15～ 6:30
再 月～金　19:00～19:15，21:15～21:30

第１回05.4.4／中学２年生程度のレベルで英語を学ぶ番組。月～木曜は毎回新たな文法事項を学習し，金曜はその週に取り上げた内容を振り返る復習を行った。ストーリーの舞台は，自然豊かな米国・メーン州。日本から留学した双子の兄弟が

ホストファミリーとの交流やクラブ活動を通して成長する姿を描いた。
▶講師：高田智子（明海大学教授）／出演：ジェフ・ハッシュ，キンバリー・ティアニー／テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『基礎英語３』

月～金　6:30～ 6:45
再 月～金　19:15～19:30，21:30～21:45

第１回08.3.31／中学校英語を完成させるとともに，英語を学び直す大人のニーズにも応える講座。CAN-DOを段階的に整理し，文法面のポイントも丁寧に解説した。月～水曜は１話完結のストーリーをもとに学び，木曜は説明文・エッセーなどさまざまなタイプの英文をリーディング，金曜はその週の復習を行った。
▶講師：投野由紀夫（東京外国語大学大学院教授）／出演：サイラス・望・セスナ，アナンダ・ジェイコブズ／テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『高校生からはじめる「現代英語」』

木・金　22:00～22:15
再 土・日　12:40～12:55
再 土（２回分）16:30～17:00
再 日（２回分）22:00～22:30
再 木・金　15:45～16:00

第１回17.4.8／中学レベルの英語学習を終えた人に向けた番組。いわゆる学校英語から世界で実際に使われている生の英語への橋渡しを目的としている。NHKワールド JAPANで放送された英語ニュースを高校生レベルの英語に書き直したものを題材に，日本語から英文を作成する反訳トレーニングなどを取り入れた。９月にはケネディ大統領の演説を，12月は有名な英語曲を取り上げ，幅広い層に英語学習への動機づけを図った。新型コロナの影響により収録が中断したため，７月は17年８月分を再放送した。NHK英語グランドデザインによるレベル分け（A0からC2まで７段階）では，B1・B2に位置づけられる。
▶講師：伊藤サム／出演：ハンナ・グレース／テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『こころをよむ』

日　6:45～ 7:25
再 土　18:00～18:40

第１回85.4.7／文学・哲学・宗教学といった各分野の第一人者が，現代社会における老い・家族・環境など，さまざまな問題を考察し，よりよい未来を構築するための心の在り方を探る番組。20年度は「腸内細菌のチカラ」藤田紘一郎（東京医科歯科大学名誉教授），「心の整えかた」田中ウルヴェ京（五輪メダリスト・メンタルトレーニング指導士），「シネマレッスン」青柳秀侑（映画評論家・フリーアナウンサー），「時代をまとうファッション」渡辺明日香（共立女子短期大学教授）を放送。16年度からストリーミングを開始。
▶テキスト発行／第２制作ユニット（文化），NED

『古典講読』

土　17:00～17:45
再 日　6:00～ 6:45

第１回85.4.6／脈々と語り継がれ，読み継がれてきた古典の名作を，重厚な朗読と丁寧な解説によってその魅力を味わってもらう番組。20年度は「王朝日記の世界」と題し，前半は「更級日記」，後半は「和泉式部日記」を取り上げた。「源氏物語」をはじめ王朝日記文学研究の第一人者である島内景二さんが，独自の解釈による現代語訳も交えて分かりやすく解説した。
▶解説：島内景二（電気通信大学名誉教授）／朗読：加賀美幸子／第２制作ユニット（文化），NED

『ことば力アップ』

水　22:00～22:15
再 土　15:45～16:00
再 日　23:35～23:50

第１回08.4.5／NHKアナウンサーが，執筆したテキストと連動しながら，“ことば力”に関するノウハウを紹介。また朗読や情報をどう伝えるかという方法を紹介。20年度は就活キャンペーンとも連動。自己PRやウェブ面接の方法，敬語の使い方を詳しく伝えた。さらに，コロナ禍におけるテレワークでのコミュニケーションも取り上げた。
▶アナウンス室

『視覚障害ナビ・ラジオ』

日　19:30～20:00
再 日　7:30～ 8:00

第１回14.10.5／視覚に障害のある人のための総合的な情報番組。全盲や弱視の人たちが日々の生活を豊かに送り，積極的に社会参加するための情報発信に取り組む。20年度は，新型コロナに絡むものを積極的に取り上げた。他，当事者パーソナリティーによる双方向番組やパラアスリートのインタビュー，福祉事業所の取り組みなどを紹介した。

▶司会：古屋和雄，中野淳アナ，高山久美子，遠田恵子，室由美子／第３制作ユニット（福祉）

『実践ビジネス英語』

水～金　9:15～ 9:30
再 水～金　12:40～12:55，23:20～23:35
再 土　11:00～11:45（３本）

第１回02.4.1，最終回21.3.26／08年度から『ビジネス英会話』を引き継いでスタート。第一線で働くビジネスパーソンが「今」のビジネスの現場で使う英語表現を伝授する番組。ニューヨークのグローバル企業を舞台にしたビニエット（ミニドラマ）を基に展開。ビジネスの常識や最先端の情報を背景に，雑談できるまでの高度な英語力の獲得を目標とした。コロナ禍による緊急事態宣言で収録不能となった７月放送分では，19年６月放送分をまとめて再放送した。NHK英語グランドデザインによるレベル分け（A0からC2まで７段階）では，C1に位置づけられる。

▶講師：杉田敏（元プラップジャパン代表取締役社長），ヘザー・ハワード（ジャーナリスト）／テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『社会福祉セミナー』

土　19:00～19:25
再 日　12:15～12:40

第１回93.4.10／社会福祉における「基本概念」「各分野論」「介護の役割･方法」「現状と課題」「福祉の歴史」などのテーマを，年ごとの制度の変化に応じ専門家が解説，著名人・有識者の福祉観や活動も紹介した。随時コロナ禍の影響も紹介。16年度からストリーミングを開始した。

▶テキスト発行／第３制作ユニット（福祉），NED

『宗教の時間』

日　8:30～ 9:00
再 日　18:30～19:00

第１回52.1.4／宗教によって示された人の生き方，宗教的な体験，経典や聖典の解説など，さまざまな角度から宗教に関する話題を取り上げるインタビュー番組。月１回のシリーズ枠は，４～９月は「観無量寿経をひらく」（出演：宗教学者･僧侶･相愛大学教授　釈徹宗），10～３月は「慈雲尊者の仏法－この世のまことを生きる」（出演：如是庵庵主　小金丸泰仙）を放送した。

▶第２制作ユニット（文化）

『ステップアップ中国語』　新

（後期）月・火　22:00～22:15
再 木・金　10:30～10:45
再 土・日　17:45～18:00
再 日　9:00～ 9:30（２本）

第１回20.9.28／10～12月は新作「共に生きる“くらし”の会話」。多文化共生を目的として，日本で暮らす中国語話者の手助けのための「やさしい中国語」を学び，「中国語サポーター（助っ人）」を目指す。／講師：西香織（明治学院大学教授）／出演：胡興智，白伊／１～３月は「通訳式トレーニングでレベルアップ」。通訳養成のトレーニングを取り入れて，中国語の「聞き取る力」「話す力」のレベルアップを目指す。

▶講師：大森喜久恵（中国語会議通訳者）／出演：斉中凌，李茜／テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『世界へ発信！ニュースで英語術』

月～金　12:55～13:00
再 月～金　23:15～23:20
再 土　23:10～23:35（５本）
再 日　14:20～14:45（５本）

第１回18.4.2／「ワンポイント・ニュースで英会話」をリニューアルしスタート。１回５分，旬な英語ニュースを通じて，最新の時事英語表現を学ぶ番組。１日１本ずつ英語ニュースを取り上げ，ポイントを理解するためのキーセンテンスをピックアップ。テキストはなく，詳しい解説は番組ウェブサイトで紹介。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言期間中も，新規制作は中断することなく続けた。

▶講師：高松珠子（会議通訳者）／ナレーター：亀井・シーナ・佐代子／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『中国語“日本ジャーナル”』

土・日　13:10～13:25

第１回12.4.7／R国際の中国語番組で放送した『プラグイン　ニッポン』などを再構成し，日本に居住する中国語を話す人や語学学習者を主な対象にR2で放送した。

▶国際放送局

『遠山顕の英会話楽習』

月～水　10:30～10:45
再 月～水　15:45～16:00

再 土　7:50〜 8:35，21:00〜21:45（3回分）

第1回18.4.2／ナチュラルな英語のダイアログ（会話）を通して，英会話の面白さを体験する講座。長年『ラジオ英会話』など多数の英語講座を担当した遠山先生が自身の名前を冠して始めた講座。新型コロナウイルスの影響で，7月は19年8月に放送した番組を再放送した。

▶講師：遠山顕（COMUNICA，Inc.代表）／出演：ジェフ・マニング，キャロリン・ミラー／テキスト発行／第1制作ユニット（教育・次世代），NED

『入門ビジネス英語』

月・火　9:15〜 9:30
再 月・火　12:40〜12:55，23:20〜23:35
再 土　10:30〜11:00（2本）

第1回08.3.31，最終回21.3.23／テーマは前期が「相手を動かすビジネス英語」，後期が「前に進めるビジネス英語」。銀行員として長期間海外勤務を経験した講師が明瞭・簡潔・前向きな英語表現を紹介。前期は18年度，後期は17年度の再放送。NHK英語グランドデザインによるレベル分け（A0からC2まで7段階）では，B1に位置づけられる。

▶講師：柴田真一（神田外語大学特任教授）／出演：ケリー・ホールウェイ／テキスト発行／第1制作ユニット（教育・次世代），NED

『文化講演会』

日　21:00〜22:00
再 土　6:00〜 7:00

第1回76.4.25（R1），最終回21.3.28／日本各地で開催される多様な講演会の中から，伝えたい内容を厳選し，紹介する番組。20年度は「小惑星探査機はやぶさ2　飛行の全貌と成果」津田雄一（JAXA宇宙科学研究所教授），「チバニアンのすべて」岡田誠（茨城大学教授），「いまこそ脳を鍛える」茂木健一郎（脳科学者），「明智光秀の知られざる実像〜光秀と京都を中心に」河内将芳（奈良大学文学部教授）などを放送した。16年度からストリーミングを開始。

▶第2制作ユニット（文化），NED

『ボキャブライダー』

月〜金　9:05〜 9:10
再 月〜金　16:20〜16:25，23:35〜23:40
再 土　12:15〜12:40（5本）

第1回17.4.3／日常会話に必要な英単語を各回4つずつ，使う場面や語源などで関連づけて紹介する講座。ラジオと連動したアプリ（NHKゴガクアプリ「単語マスター機能」）には，放送で紹介した例文を音声付きで掲載。単語のスペルや意味，使い分けを学べる単語クイズのサービスも提供した。20年度は，月〜金の週5本新作で制作。

▶監修：田中茂範（慶応義塾大学名誉教授）／出演：桜田ひより，マックスウェル・パワーズ／第1制作ユニット（教育・次世代），NED

『ポルトガル語ステップアップ　音楽とパーティーの街　リオデジャネイロ』

（後期）土　18:45〜19:00
再 日　22:45〜23:00
再 土　8:50〜 9:05，14:40〜14:55

第1回13.10.5／ブラジル・リオデジャネイロの若者たちの会話をイメージしたスキットで，ポルトガル語のより実践的な表現を目指す講座。毎回，ブラジルの音楽や食，社会状況も紹介した（16年度の再放送）。

▶講師：福嶋伸洋（共立女子大学准教授）／出演：コスタ・マルシ，ロベルト・マクスウェル／テキスト発行／第1制作ユニット（教育・次世代），NED

『ポルトガル語入門　リオデジャネイロ　夢の日々』

（前期）土　18:45〜19:00
再 日　22:45〜23:00
再 土　8:50〜 9:05，14:40〜14:55

第1回15.4.4／ブラジルで話されているポルトガル語を学習。実際によく使われる表現を基に，毎回例文を発音しながら体にしみこませる学習を行った（15年度の再放送）。

▶講師：福嶋伸洋（共立女子大学准教授）／出演：エウニッセ・スエナガ，ロベルト・マクスウェル／テキスト発行／第1制作ユニット（教育・次世代），NED

『まいにちイタリア語』

月〜金　7:45〜 8:00
再 月〜金　11:15〜11:30，16:45〜17:00

第1回90.4.2／入門編（月〜水）は「ゆっくりじっくりイタリア語」，講師：高田和文（静岡文化芸術大学理事・名誉教授），出演：コスタンツァ・ルーフォ，リヴィオ・トゥッチ。コロナ禍による収録延期のため4〜6月に前半を放送し7〜9月に再放送，10〜12月に後半を放送し1〜3月に再放送。応用編（木・金）は4〜6月「イ

タリアで劇場に行こう！」，講師：石川若枝，カルラ・フォルミサーノ。７～９月「言えそうで言えないイタリア語」，講師：富永直人，マッテオ・インゼオ。いずれも18年度の再放送。10～12月「ニュースで鍛えるリスニング」，講師：張あさ子（イタリア語通訳・翻訳），アンナ・マリア・マッツォーネ（イタリア語通訳・翻訳）。１～３月「冠詞の世界」，講師：フェデリカ・マッジャ（イタリア語講師），横田さやか（東京外国語大学非常勤講師）。

▶テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『まいにちスペイン語』

月～金　7:15～ 7:30
再 月～金　11:45～12:00，14:45～15:00

第１回56.4.1／４～６月，10～12月の入門編（月～水）は新作「エミの小さな旅」，講師：齋藤華子（清泉女子大学准教授），出演：フアン・カルロス・モヤノ（清泉女子大学講師）。７～９月，１～３月は同シリーズの再放送。／前期の中級編（木･金）は「“もっとニッポン！”」，講師：福嶌教隆（神戸市外国語大学名誉教授），出演：長谷川ニナ（上智大学教授）。18年度の再放送。後期は新作「昔話の世界へようこそ」，講師：松下直弘（拓殖大学教授），出演：ヨランダ・フェルナンデス（東京大学ほか講師）。

▶テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『まいにち中国語』

月～金　8:15～ 8:30
再 月～金　22:15～22:30
再 日　11:00～12:15（５本）

第１回56.11.4／４～６月，10～12月は新作「使える、伝わる中国語」，単語や例文を聞いてまずは発音。中国語のリズムを体感した上で，文の仕組みを理解し，練習問題に挑戦。この流れで中国語の基礎を身に付けていく。講師：佐々木勲人（筑波大学人文社会系准教授），出演：王暁音，劉錘健雲。７～９月は４～６月の内容の再放送，１～３月は10～12月の内容の再放送。

▶テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『まいにちドイツ語』

月～金　7:00～ 7:15
再 月～金　11:30～11:45，15:15～15:30

第１回52.9.1／前期の入門編（月～水）は「話そう！ドイツ語」の前半，講師：黒田 享（武蔵大学教授），出演：エファ・ヴェルプリング，ラース・バウアー。４～６月の内容を７～９月も再放送。４～６月の応用編（木・金）は「ドイツ語ガイドへの道しるべ」，講師：中山純（慶応義塾大学名誉教授），出演：オルガ･チジャック。（19年度の再放送）。７～９月の応用編（木・金）は「ドイツ語発見の旅２」，講師：田中雅敏（東洋大学教授），出演：ディアナ・バイヤー=田口。18年度の再放送。後期の入門編（月～水）は「話そう！ドイツ語」の後半，講師：黒田 享（武蔵大学教授），出演：エファ・ヴェルプリング，ラース・バウアー。10～12月の内容を１～３月も再放送。10～12月の応用編（木・金）は「翻訳に挑戦しましょう」，講師：上田浩二（筑波大学名誉教授），出演：グンダーマン真衣子。１～３月の応用編（木・金）は「発明家の国―ドイツ」，講師：辻英史（法政大学教授），出演：イェンス・オストヴァルト。

▶テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『まいにちハングル講座』

月～金　8:00～ 8:15
再 月～金　10:45～11:00，18:10～18:25
再 日　14:45～16:00（５本）

第１回84.4.2／４～６月，10～12月は新作「しっかり学ぼう！本格派ハングル」，初めてハングルにふれる方，基礎を固めたい方向けの講座。焦らずにひとつひとつ順序立てて学んでいくことを心がけ，使える表現をしっかりと学ぶ。講師：趙義成（チョ・ウイソン，東京外国語大学大学院准教授），出演：イ・ヒョンジン，チョン・ウジン。７～９月，１～３月は同じ内容の再放送。

▶テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『まいにちフランス語』

月～金　7:30～ 7:45
再 月～金　11:00～11:15，14:30～14:45

第１回52.4.14／入門編（月～水）は新作「マナと暮らすカンパーニュ Vivons le français!」，講師：大塚陽子（白百合女子大学准教授），出演：トリスタン・ブルネ。10～３月は４～９月の再放送。４～９月の応用編（木・金）は「フランスで『世界』と出会う～ La France : carrefour du monde」，講師：清岡智比古（明治大学教授），

フロランス　メルメ・オガワ（元明治大学教授）。10～12月の応用編は新作「Julie のニッポン発見」，講師：井上美穂（明治大学講師），ジュリ・ブランシャン・フジタ。１～３月の応用編は新作「たずねてみよう、オペラ座の世界」，講師：井上櫻子（慶応義塾大学准教授），フローレンス・容子・シュードル。

▶テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『まいにちロシア語』

月～金　8:50～ 9:05
再 月～金　15:30～15:45，16:30～16:45

第１回56.11.4／４～６月，10～12月の入門編（月～水）は新作「おもてなしフレーズで学ぶ基礎文法」，出演：三遊亭楽麻呂（落語家），アナスタシア・ストレブコーワ（出版社副編集長）。７～９月，１～３月は同シリーズの再放送。前期の応用編（木・金）は「ロシア文学からの贈り物」，講師：安岡治子（東京大学教授），出演：東井ナジェージダ（早稲田大学ほか講師）。17年度の再放送。後期は新作「朗読に挑戦！～ロシア人が見た日本」，講師：黒岩幸子（岩手県立大学教授），出演：イリーナ・ヂョーミナ・ブライアン（NHK国際放送局キャスター）。

▶テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『名曲スケッチ』

R2　土　11:45～11:55
　　日　22:30～22:40
FM　火～土　0:50～ 1:00
　　月～木・日　15:50～16:00
　　土　22:50～23:00

第１回93.4.9／テレビ番組『名曲アルバム』の音楽２曲で構成する10分間のミニ番組。

▶第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『名曲の小箱』

R2　土　12:55～13:00
　　日　7:25～ 7:30，23:10～23:15
FM　月～日　5:50～ 5:55
　　金　9:55～10:00

第１回84.4.2／テレビ番組『名曲アルバム』の音楽による５分間のミニ番組。

▶第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『ラジオ英会話』

月～金　6:45～ 7:00
再 月～金　12:25～12:40，21:45～22:00
再 日　16:30～17:45（５本）

第１回18.4.2／副題は「～ハートでつかめ！英語の極意～」。“英語の知識”を“話せる英語力”に転換するために，高校生レベルの英文法を網羅した総合的な英語講座番組。20年度は会話に役立つ「台本」に特化して解説。NHK英語グランドデザインによるレベル分け（A0からC2まで７段階）では，B1に位置づけられる。

▶講師：大西泰斗（東洋学園大学教授）／パートナー：ポール・クリス・マクベイ，秋乃ろーざ／テキスト発行／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『朗読』

月～金　9:45～10:00
再 土　21:45～23:00

第１回62.4.4／20年度は夏目漱石の「三四郎」と短編「永日小品」（朗読：押切英希，全58回），早坂暁「華日記」（朗読：藤田三保子，全25回），江戸川乱歩「少年探偵団」（朗読：渡辺徹，全25回），森鷗外作品集から「最後の一句」「山椒大夫」「雁」の３作品（朗読：外園ゆう，全30回），谷崎潤一郎「痴人の愛」と初期の短編「秘密」「二人の稚児」（朗読：山像かおり，全60回）などを制作・放送した。

▶第２制作ユニット（文化），NED

『私の日本語辞典』

土　15:15～15:45
再 日　23:15～23:45

第１回92.4.12（R1）／言葉の専門家だけでなく，さまざまなジャンルで活躍する人を招き，自身の人生を振り返りながら日本の文化や言葉について考えるとともに，日本語を多面的に捉えて語ってもらう番組。17年４月からストリーミングを開始。「漢字の字体を考える」財前謙（書家），「ことばでたどる化粧の文化」山村博美（作家・化粧文化研究家），「ことばで探る“稽古”の極意」西平直（京都大学教育学研究科教授），「日本美術を彩る“ことば”の世界」玉蟲敏子（武蔵野美術大学教授）。

▶第２制作ユニット（文化），NED

⑧ ラジオ第2

特集番組

五十音順

『伝えたい！私の高校生活2020 「定時制・通信制高校生の青春メッセージ」』

12.31～ 1. 1／17:00～18:00

第68回全国高等学校定時制通信制生徒「生活体験発表大会～定通高校生の青春メッセージ～」（コロナウイルスの影響により参集審査は中止）の文部科学大臣賞やNHK会長賞など，各賞に入賞した15人の生活体験発表を個別に音声収録し，２回シリーズで紹介した。

▶第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『特集　英語で読み解く現代社会』

10.26～30／ 9:15～ 9:30

上級レベルの学習者向けに多様な演出の番組をシリーズで放送した（15分×5本）。「アメリカ人記者が見た現代社会」（２本）では，アメリカ有力紙の東京特派員のインタビューをもとに内容を解説。「FACTFULNESSを英語で読む」（２本）では，ベストセラービジネス書を原著で読解。あわせて日本語版翻訳者の英語インタビューをバイリンガル形式で紹介した。「小泉八雲“コレラ流行期に”を英語で読む」（１本）では，コロナ禍で注目される明治期の作品に光をあてた。『入門ビジネス英語』テキスト11月号に放送内容を掲載。

▶講師：大村朋子（国際ジャーナリスト），倉林秀男（杏林大学教授）／出演：光岡ディオン／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

『入門ビジネス英語　特別編』

4.27～ 5. 1／ 9:15～ 9:30

定時番組『入門ビジネス英語』関連の特集番組（15分×5本）。日本人駐在員と現地社員が終業後ロンドンのパブで繰り広げる会話を教材に，知的な雑談力を身につけるためのコツを解説した。『入門ビジネス英語』テキスト５月号に放送内容を掲載。

▶講師：柴田真一（神田外語大学特任教授）／出演：ケリー・ホールウェイ／第１制作ユニット（教育・次世代），NED

⑨ F M

定時番組

ABC順

『FMシアター』

土　22:00～22:50

第１回85.4.6／現代性と作家性を軸に，クオリティーの高いオーディオドラマ作品を制作。時代の抱える問題をテーマとして取り組み，聴取者に高い作品性と感動を与えられる聴き応えのある単発ドラマである。

▶第４制作ユニット（ドラマ）

『FM能楽堂』

日　6:00～ 6:55

第１回17.4.9／能の謡（謡曲）や狂言の名作を第一線で活躍する演者たちの出演でスタジオ録音。評論家や研究者，愛好家による解説を毎回行っている。

▶第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），大阪拠点局

『MISIA　星空のラジオ』

FM　火　23:00～23:50
再 火　10:00～10:50
R1　火　16:05～16:55

第１回15.3.31／実力派シンガーのMISIAがDJを務め，20年度で６年目となった。MISIAの楽曲や世界中の音楽を紹介。また，ゲストを招いてのトークやスタジオセッションなども行った。

▶出演：MISIA／第５制作ユニット（エンターテインメント）

『N響演奏会』

（月１回）土　18:00～20:15

第１回04.9.19／年に９回，N響定期公演Aプログラムを生放送で紹介。プログラムにちなんだ話題や選曲で構成した。

▶司会：金子奈緒／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『N響　ザ・レジェンド』

土　19:20～21:00

第１回15.4.4，最終回21.3.27／過去60年分，約5,000曲のN響演奏会音源を蔵出し放送するアーカイブス番組。サヴァリッシュ，マタチッチ，ヴァントといったN響ゆかりの名指揮者たちによる貴重な演奏を，リスナーのリクエストにも応えな

がら放送した。20年度で番組終了。
▶案内：池辺晋一郎，檀ふみ／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『THE ALFEE　終わらない夢』

FM　水　23:00〜23:50
再 水　10:00〜10:50
R1　水　16:05〜16:55

第１回13.4.3／THE ALFEEが「夢」をテーマに届ける番組。THE ALFEEの深夜ラジオに親しんだ世代から，今まさに夢に突き進もうとする10代まで，全国のリスナーと人生を楽しく過ごすためのヒントを語り合った。
▶出演：THE ALFEE／第５制作ユニット（エンターテインメント），NEP

五十音順

『アニソン・アカデミー』

土　14:00〜16:00

第１回13.4.6／アニソンレギュラー番組。ゲストとのトークやスタジオライブとともに，リスナーからのリクエストを基にして幅広い世代に親しまれるアニソンを紹介した。
▶出演：中川翔子，あべあきら／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『ウィークエンドサンシャイン』

土　7:20〜 9:00

第１回99.4.3／ジャンルを限定しない幅広い選曲でワールドワイドな音楽情報を紹介するウィークエンド・ミュージックマガジン。20年度は，新型の感染症により逝去したビッグアーティストたちの追悼特集，外出自粛により活動を制限されたミュージシャンたちのユニークな取り組みなど，リスナーからのメッセージやリクエストを交えて放送。
▶DJ：ピーター・バラカン（ブロードキャスター）／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『岡田惠和　今宵、ロックバーで〜ドラマな人々の音楽談議〜』

（隔週）日　18:00〜18:50

第１回11.3.28／『連続テレビ小説』「ひよっこ」などで知られる脚本家の岡田惠和が，親しい俳優やクリエーターをゲストに迎え，自分たちの青春を彩った音楽とその時代について語り合う番組。堅苦しい専門知識や音楽情報ではなく，リラックスしたトークで音楽との関わりを語った。
▶出演：岡田惠和／ゲスト：有村架純，高畑充希，安達祐実ほか／第５制作ユニット（エンターテインメント），NEP

『音の風景』

FM　月〜金　9:15〜 9:20
日　11:50〜12:00，13:55〜14:00，20:55〜21:00
R1　土　11:50〜11:55
日　19:55〜20:00
R2　月〜金　14:20〜14:25
土　12:10〜12:15，14:55〜15:00，19:25〜19:30
土〜日　16:20〜16:25

第１回85.4.1／日本各地や海外のさまざまな風景を取材し「音」と「ナレーション」で構成する音紀行。初回の「代々木公園」から数えて制作本数は1,600本を超え，放送開始から36年を迎えた。自然・生活・伝統・行事・乗り物などさまざまな角度から番組を取り上げ，想像力をかきたてる「音の魅力」を伝えるとともに「時代の響き」を記録し続けている。
▶語り：井上あさひ・池田伸子アナ／音響デザイン部

2020年度『音の風景』制作一覧（30本）

内　容	場　所
馬と人とおがくずと	神奈川
仕立て屋さんの足踏みミシン	東京
長崎の二つの鐘と明治電車	長崎
ストックホルム点描	スウェーデン
都会のサンクチュアリ	東京
祇園祭コンチキチンの響く夏	京都
十三湖のシジミ漁	青森
標高差2,000メートルの旅	富山
風をあつめて	−
戦国の風景	栃木 茨城
激走！SLやまぐち号	山口
新野ノスタルジア　盆唄に誘われて	長野
世界を巡る旅　オカバンゴ湿原	ボツワナ
世界を巡る旅　夜市ぶらぶら歩き	台湾
世界を巡る旅　サン・マルタン運河	フランス
世界を巡る旅　新幹線に乗って	台湾
世界を巡る旅　サンパウロの近郊の夜明け	ブラジル
世界を巡る旅　ロシア正教会	ロシア
世界を巡る旅　シチリア島の羊飼い	イタリア
世界を巡る旅　イエローストーン	アメリカ
世界を巡る旅　フィンランドの森	フィンランド
世界を巡る旅　ボダナート寺院	ネパール
世界を巡る旅　ウランバートル馬頭琴	モンゴル
世界を巡る旅　よみがえるビッグベンの響き	イギリス
Discover Nippon　庭	−
朗読シリーズ　うた景色〜石川啄木〜	−
朗読シリーズ　うた景色〜島崎藤村〜	−
朗読シリーズ　うた景色〜高村光太郎〜	−
朗読シリーズ　うた景色〜種田山頭火〜	−
朗読シリーズ　うた景色〜琵琶湖周航の歌〜	−

『オペラ・ファンタスティカ』

金　14:00〜18:00

第１回12.4.6／金曜午後にオペラを専門に取り上げる長時間番組。海外の放送局などの提供音源や国内収録した公演，CDの名録音を紹介した。全国のオペラ・ファンはもちろん，入門者やオペラに興味や憧れを抱く主婦層に向け，ノーカットで放送した。20年度もオペラを専門家たちの解説とともに届けた。新たに音楽学者の野本由紀夫を迎えた。また７月と３月には枠内特集でレギュラーメンバーがそろってオペラの楽しみを伝える『オペラファンタスティカ　サミット』を放送，またコロナ禍の中，中継収録がなかなかできなかったため509スタジオでの録音素材も放送した。

▶案内：有田栄，野本由紀夫，室田尚子ほか／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『音楽遊覧飛行』

月〜木　9:20〜10:00

再 月〜木　16:00〜16:40

第１回12.4.2／仕事や家事の合間のひとときに，現実のけん騒から離れてリフレッシュできるような癒やし系の音楽番組。週替わりのパーソナリティーが，「ふるさとのうた　心の旅」「ミュージックエクスプレス」「エキゾチッククルーズ」「映画音楽ワールドツアー」をテーマに，さまざまなシーンをほうふつとさせる音楽や，地域や文化に根ざした音楽を紹介した。

▶パーソナリティー：榊原広子（歌手），向谷実（音楽プロデューサー），サラーム海上（よろずエキゾ風物ライター），紺野美沙子（俳優）／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『×（かける）クラシック』　新

日　14:00〜15:50

再 月　7:25〜 9:15

第１回20.4.5／モデルの市川紗椰とサクソフォン奏者の上野耕平をMCに，クラシックとさまざまな他のジャンルを掛け合わせ，深くて面白い音楽の世界をナビゲート。「鉄道」「ロック」「映画」などをテーマに，上野耕平のサクソフォン・ライブも交えて，クラシック音楽をバラエティー色豊かに紹介。

▶出演：市川紗椰（モデル），上野耕平（サクソフォン奏者）／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『カブキ・チューン』

金　11:00〜11:50

再 土　5:00〜 5:50

第１回18.4.6／歌舞伎俳優・尾上右近が歌舞伎をはじめとする古典芸能や，興味をひかれる音楽などについて，熱く，かつ，分かりやすく語った。市川猿之助（歌舞伎俳優），神田伯山（講談師），高橋英樹（俳優）など，多彩なゲストも招いた。

▶第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『歌謡スクランブル』

月〜土　12:30〜14:00

第１回90.4.2／演歌，歌謡曲から最新のポップスまで幅広いジャンルの歌を週替わりのテーマで構成・紹介するディスクジョッキー番組。20年度から放送枠が60分から90分に拡大した。

▶DJ：逢地真理子・深沢彩子（隔週担当）／第５制作ユニット（エンターテインメント），NEP

『岸谷香　Unlock　the　heart』

FM　金　23:00〜23:50

再 金　10:00〜10:50

R1　金　16:05〜16:55

第１回19.4.5／女性だけのロックバンド・PRINCESS PRINCESSのフロントとして，今も熱狂的なファンを持つアーティスト・岸谷香が，音楽をキーに，今が青春真っ盛りというリスナーはもとより性別も世代も越えてリスナーの「心の扉」を開けていく番組を始めた。

▶出演：岸谷香／第５制作ユニット（エンターテインメント），NEP

『グッチ裕三の日曜ヒルは話半分』

（最終）日　12:15〜13:55

第１回17.4.30／料理自慢のエンターテイナー・グッチ裕三が，ゲストと実際に料理を作り，おいしい料理に舌鼓を打ちながら，「オイシい」トークを繰り広げるNHK-FMラジオ初の「ラジオなのに料理バラエティー」番組。新型コロナウイルス感染防止のため，料理は極力控え音楽メインの演出とした。年末にはスペシャル版も制作した。

▶MC：グッチ裕三，柘植恵水アナ／第５制作ユニット（エンターテインメント），NEP

『クラシックカフェ』

月〜木　14:00〜15:50

再 火〜金　7:25〜 9:15

第１回08.3.31／クラシックの多彩な名曲をCDで紹介する番組。
▶案内：貞平麻衣子，粕谷紘世／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『クラシックの迷宮』

土　21:00〜22:00

第１回13.1.12／音楽評論家・片山杜秀の独創的な切り口でクラシック音楽を楽しむ番組。毎月第１・２週はテーマを自由に設定。第３週は話題の録音をいち早く紹介。第４週（最終週）はNHKアーカイブスの希少音源を発掘。
▶第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『現代の音楽』

日　8:10〜 9:00

第１回57.4.7／半世紀の歴史を誇る現代音楽の専門番組。20世紀半ば以降に作られた作品を，解説の西村が独自の視点で紹介する「シリーズ“20世紀　現代音楽の系譜”」，新作委嘱シリーズ「日本人若手作曲家の競演」，注目の公演の収録音源を届ける「最近の公演から」で構成。
▶解説：西村朗／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『鍵盤のつばさ』

（月１回）土　20:15〜21:00

第１回16.4.16／作曲家・ピアニストの加藤昌則が想像力の翼を自由に羽ばたかせ，楽器の王様ともいわれる鍵盤楽器の魅力をさまざまな切り口で解き明かす。「良い子悪い子こんな子も」「作曲家成人式」など，リスナーからのリクエストに応えながら，ユニークなテーマ設定で放送した。
▶話：加藤昌則／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『古楽の楽しみ』

月〜金　6:00〜 6:55

第１回11.3.28／中世・ルネッサンスからバロックまで，アーリーミュージック全般を専門家による解説とともに送る番組。６人の古楽研究者や演奏家が解説を担当。毎月第１・３金曜はリクエストの回として聴取者の要望に応えた。
▶案内：今谷和徳，関根敏子，加藤拓未，鈴木優人，渡邊孝，大塚直哉（リクエスト回）／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『５分でミュージックライン』

月〜金　23:50〜23:55
再 月〜金　10:50〜10:55

第１回18.4.2／最新のJ-POPをお届けする『ミュージックライン』。翌日（再放送では当日夜）の『ミュージックライン』に出演するゲストの魅力を５分で紹介。今話題の音楽事情をコンパクトに知ることが出来るミニ音楽番組。
▶DJ：南波志帆／第５制作ユニット（エンターテインメント）

『サウンドクリエイターズ・ファイル』

日　22:00〜23:30

第１回10.4.4／J-POPシーンで活躍する人気アーティストやクリエーターを主にマンスリーでゲストに迎え，ルーツとなった音楽や今気になる音楽をトークとともに届けた。20年度も，新進気鋭のアーティストを迎え，楽曲の誕生秘話や意外なミュージシャン交遊録を披露。また，コロナ禍により，中田裕二，前野健太によるリモート収録を合計６本敢行した。
▶第５制作ユニット（エンターテインメント），NEP

『サカナクション・山口一郎 “Night Fishing Radio”』

（隔週）日　18:00〜18:50

第１回17.4.9／サカナクションのフロントマン・山口一郎がナビゲーターを務める音楽番組。「“音”故知新」をコンセプトに，邦楽・洋楽の区別や時代を問わず，音楽界に大きな影響を与えたアーティストの業績を紹介した。「ヌジャベス」「スティーヴ・ライヒ」「松本隆」などのテーマで放送した他，５月から７月にかけては新型コロナウイルス影響下の音楽シーンについて語るシリーズをリモートで収録，放送した。
▶第５制作ユニット（エンターテインメント），NEP

『ザ・ソウルミュージックⅡ』

土　18:00〜18:50

第１回99.4.2／リニューアルして２年目を迎え，それぞれが個性を出しながら，ファンを増やした。原則として第１週は「久保田利伸のPEACE&SOUL」と題して日本におけるR&Bの先駆者・久保田利伸，第３，４週は「村上てつやのSoul　Scramble」と題してゴスペラーズ

のリーダー・村上てつやが担当したが，コロナ禍の影響もあり，月によっては久保田利伸が２回担当した。伝統ある番組のテイストを引き継ぎながらも，それぞれの視点からソウルやR＆Bなどのブラックミュージックを専門的に取り上げ，ソウルミュージックの魅力を伝え，新規リスナーを開拓した。

▶DJ：久保田利伸（月初），村上てつや（月後半）／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『ジャズ・トゥナイト』

土　23:00～ 1:00

第１回05.4.2／ジャズ史に残る過去の名盤はもちろん，いまのジャズ界最前線の動きまでをフォローする本格的ジャズ番組。ディキシーからモダンジャズ，ボーカル，フュージョンと幅広く紹介。19年度に続き，音楽家の大友良英さんが番組のナビゲーターを務めた。なお，コロナ禍の影響で，４月から６月にかけては，リモートでの収録となった。

▶DJ：大友良英／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『吹奏楽のひびき』

日　7:20～ 8:10

第１回08.4.6／吹奏楽の経験者はもちろん，多くの音楽ファンに吹奏楽の持つ多様な魅力を紹介。吹奏楽のためのオリジナルを数多く手がける若手作曲家の中橋愛生（よしお）を進行役に，CDの名盤や貴重なライブ録音などを放送。また，毎月最終週には指揮者の下野竜也が進行役を務めた。20年度は福岡県春日市と愛知県知多市で公開録音を実施した。

▶第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『青春アドベンチャー』

月～金　21:15～21:30

第１回92.4.6／毎日15分のスピーディーでスリリングな連続ドラマ。国内や海外の人気エンターテインメント小説を原作とした作品，気鋭の脚本家のオリジナル作品など，その題材は幅広く，聴取者の主力である若年層の共感を得られるものを制作，放送。

▶第４制作ユニット（ドラマ）

『世界の快適音楽セレクション』

土　9:00～10:55

第１回99.4.3／幅広いリスナーをターゲットにしたノンジャンルのイージーリスニング番組。案内人は「快適音楽」を追求するギター・デュオのGONTITI（ゴンチチ）の２人。毎回，ユニークなテーマと切り口でさまざまな音楽を紹介した。

▶DJ：ゴンチチ（ゴンザレス三上，チチ松村）／選曲：藤川パパQ，渡辺亨，湯浅学／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『セッション2020／2021』

（最終）土　23:00～ 1:00

第１回78.11.26／国内外の一流ミュージシャンによるジャズの公開ライブ番組。20年度は，感染症防止対策のため，通常とは異なる無観客のスタジオ収録を実施。12月26日には，ベーシストとしても活躍する俳優・中村梅雀をゲストに迎えた枠内特集も放送。さまざまなコラボレーションで現在のジャズシーンを伝えた。

▶番組ナビゲーター：濱中博久（フリーアナウンサー）／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『ディスカバー・ビートルズ』　新

日　21:00～22:00

第１回20.4.5，最終回21.3.28／ディスカバー・シリーズ第２弾。解散から50年，今なお史上最高の人気を誇るビートルズが４人で活動したおよそ10年間に焦点を当てて，あたかも『大河ドラマ』のようにその魅力に迫った。案内役は第１～３週を，小学校５年生のときにビートルズに出会って衝撃を受けたという杉真理（まさみち）が担当，月末回はマイケル・ジャクソンからビートルズを知って夢中になったというTRICERATOPSの和田唱が担当。それぞれの視点から情熱的にビートルズを語り，リスナーの熱い支持を得た。また，８・12・３月には４時間の生放送特番を行い，レギュラー２人のスタジオライブやリスナー参加の投票コーナーなどで盛り上げた。

▶案内：杉真理（ミュージシャン／第１～３週），和田唱（TRICERATOPS／月末）／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『トーキング　ウィズ　松尾堂』

（最終週を除く）日　12:15～13:55

第１回07.10.28／一風変わった書店「松尾堂」を舞台に繰り広げるトークバラエティー。毎回２～３組の旬なゲストが，リスナーの関心が高い，タイムリーな話題を展開した。20年度は新型コロナウイルスの影響で，緊急セレクション・

特選セレクションといった再放送や，テーマに沿って過去の放送を再構成したテーマセレクションなども制作した。
▶司会：松尾貴史，加藤紀子／第５制作ユニット（エンターテインメント）

『眠れない貴女（あなた）へ』

日　23:30〜 1:00

第１回13.4.7／仕事や子育てに忙しい現代女性を心に優しい音楽とトークで癒やし，勇気づける番組。リスナーからのお便りや，お悩み相談などのコーナーで，自分の部屋に居ながらにして，「女子会」に参加しているような気分に浸れる番組とした。10〜80代まで幅広いリスナーからの毎週楽しみにしている，という声も多く届き，こっそり聴いているという男性からのメッセージも積極的に紹介した。20年度は新型コロナの影響で，一部過去の素材を活用したり，出演者の自宅や大阪拠点局とのリモート収録を行ったりするなど，かなり工夫をして制作を続けた。ステイホームが続く中，聴き逃し配信を始めたこともあり，心を癒やされるという声がこれまでになく多く届いた。
▶パーソナリティー：村山由佳（作家），奥野史子（スポーツコメンテーター）／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『弾き語りフォーユー』

月〜木　11:00〜11:20
再 火〜金　5:00〜 5:20

第１回99.4.1／ピアニスト・小原孝の弾き語りでつづる20分。クラシックから歌謡曲，童謡まで，リスナーからのリクエストを中心に選曲された名曲を独自のアレンジで聴かせた。また，コロナ禍のため，合計24本，小原さんの自宅でリモート収録を実施した。
▶DJ・ピアノ：小原孝／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『ビバ！合唱』

土　6:00〜 6:55

第１回08.4.6／合唱ファンにとどまらず，全ての音楽愛好家に合唱の魅力を伝えるコーラス専門番組。クラシックの古今の名作曲家による合唱曲や世界の名門合唱団，歴史的指揮者による演奏，各国の民謡や伝承曲，日本語の合唱曲など，多種多様なジャンルを扱った。
▶解説：大谷研二（合唱指揮者），鷹羽弘晃（作曲家）／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『ブラボー！オーケストラ』

日　19:20〜20:20

第１回12.4.8／日本全国のオーケストラ演奏によるクラシックの名曲を60分のコンパクトサイズで放送するクラシック入門番組。コロナ禍で演奏会収録ができない時期でも，放送済み音源からテーマを設定して再構成して届けた。また，20年度は埼玉県和光市で公開収録も実施した。
▶解説：吉松隆，外山雄三，伊東信宏／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），大阪拠点局，名古屋拠点局，NEP

『ベストオブクラシック』

月〜金　19:30〜21:10

第１回91.4.1／EBU番組素材交換の枠組みを活用しながら，幅広いジャンルにわたる国内外の一流の演奏会を一部生放送を含むライブ録音で紹介。コロナ禍で演奏会収録ができない時期でもスタジオで無観客収録を行い，放送した。20年度はBSP『クラシック倶楽部』と共同で３回の公開録音を北海道伊達市，岡山県津山市，兵庫県相生市で実施。ほかにN響定期公演も年間を通して生放送で紹介した。
▶第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），大阪拠点局，名古屋拠点局ほか地域放送局，NEPなど

『邦楽のひととき』

月〜水　11:20〜11:50
再 火〜木　5:20〜 5:50

第１回85.4.1／全国各地で活躍する邦楽界の中堅・新人の出演で，邦楽の比較的ポピュラーな演目を中心に放送。地唄・箏曲・尺八（月），長唄（火），義太夫・常磐津・清元・新内・古曲などの浄瑠璃と現代邦楽（水），小唄・端唄・うた沢・琵琶・吟詠・大和楽など（各月最終週）。
▶第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），大阪拠点局，名古屋拠点局，広島拠点局，福岡拠点局

『邦楽百番』

土　11:00〜11:50
再 日　5:00〜 5:50

第１回73.4.5／邦楽各ジャンルの名曲を，人間国宝や芸術院会員など第一人者の演奏で放送した。
▶案内：中村昇ほか／出演：今藤尚之，杵屋勝国，竹本駒之助，宇治紫文，米川敏子，富士松小照ほか／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），大阪拠点局，名古屋拠点局

『松尾潔のメロウな夜』

FM　月　23:00〜23:50
再　月　10:00〜10:50
R1　月　16:05〜16:55

第１回10.3.31／EXILE，平井堅，JUJUなどのプロデュースで知られる音楽プロデューサー・松尾潔がパーソナリティーを務める音楽番組。R＆Bを中心にメロウな（成熟した大人のための）楽曲を，松尾の豊富なブラックミュージックの知識とともに紹介した。

▶出演：松尾潔／第５制作ユニット（エンターテインメント），NEP

『ミュージックライン』

月〜金　21:30〜23:00

第１回09.3.30／最新J-POPを，その聴きどころや，クリエーターに関する詳しい解説とともに届ける音楽番組。毎回１組の今話題のアーティストをゲストに迎え，新曲を紹介しながら，制作秘話やプライベートを深掘りして放送した。

▶DJ：南波志帆／第５制作ユニット（エンターテインメント）

『民謡をたずねて』

金　5:20〜 5:50

第１回52.1.9／全国を巡り，地域の人たちとの“心の交流”を大切に懐かしい民謡の数々を届ける公開派遣番組。20年度は全国10か所で実施予定であったが，新型コロナウイルスの影響で現地実施は２か所分。他は東京スタジオでの代替収録を行った。

▶司会：実施局アナ・代替収録分は近藤泰郎アナ／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『名演奏ライブラリー』

日　9:00〜10:55

第１回10.4.4／毎回１人（または１組）の演奏家に焦点を当て，伝説の巨匠や現代の名手たちが残したクラシック音楽の名演奏をCDやレコードの音源で紹介。20年度は，メモリアルイヤーを迎えた大家や第一線で活躍中の名手，日本を代表する名演奏家たちの特集に加え，伝説のマエストロのシリーズ企画などを放送。

▶案内：満津岡信育（音楽評論家）／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『ゆうがたパラダイス』

月〜木　16:40〜18:00

第１回16.4.4／10〜20代の若者に向けたリスナー参加型音楽バラエティー番組。曜日ごとにアイドル，アニメソング，J-POPと，テーマを設定，最新のヒット曲やテーマに沿ったトークを放送した。またEメールやインターネットを使い，リスナーとの双方向の交流を盛り込んだ。20年度はコロナ禍の中４月から６月にかけて再放送を行い，その後パーソナリティーの自宅での収録を放送したり，リモートでゲストが生出演したりするなど感染防止に配慮した番組演出を行った。

▶パーソナリティー：（月）金田哲，欅坂46（20年10月櫻坂46に改名），日向坂46，（火）三森すずこ，（水）津野米咲（11月25日以降：鹿野淳，藤田琢己），（木）青山テルマ／ラジオセンター，NEP

『洋楽グロリアス　デイズ』

日　16:00〜17:00

第１回15.4.5／70年代から80年代にかけてヒットした洋楽ナンバーで満載の音楽専門番組。当時，青春期を過ごした聴取者の皆さんにとっての“輝かしい日々＝グロリアス デイズ”を，音楽とトークで思い出してもらう。

▶DJ：片寄明人／第５制作ユニット（エンターテインメント），NEP

『吉木りさのタミウタ』

日　11:00〜11:50

第１回17.4.9／いにしえより“民”たちの中に脈々と根づく唄，それがタミウタ…。この番組は日本人のソウルミュージック・タミウタをさまざまな切り口で届けるスタジオ番組。番組ゲストもDJ帝や石原詢子など，必ずしも民謡というジャンルにこだわらずに招き，バラエティー色の強い内容で放送をした。更に枠内特集で「伝説の民謡名人列伝」（ゲスト：徳光和夫ほか）を４本制作した。

▶司会：吉木りさ，ゆかり／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『夜のプレイリスト』

火〜土　0:00〜 0:50
再　月〜金　18:00〜18:50

第１回15.3.31／さまざまなジャンルの著名人が週替わりでDJを担当，５枚の「思い出のアル

バム」を持参し，それが人生にどのように関わったのか，時々の出来事や生きざまなどを交えながらアルバムの魅力を語る。3月23日からの最終週（5本）は放送時間を10分拡大，織田哲郎とクリス松村を迎え，枠内特集を放送した。
▶DJ：週替わり著名人／第5制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『ラジオマンジャック』

土　16:00〜18:00

第1回10.4.3／「究極の弾ける音楽番組」を目指して生演奏，コントなどを織り交ぜながらリスナーからのリクエストも取り入れて，毎回最高の選曲を届けた。
▶出演：赤坂泰彦，時東ぁみ，ほか／第5制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『リサイタル・パッシオ』

日　20:20〜20:55
再 金　9:20〜 9:55

第1回19.4.7／情熱（パッシオ）あふれるクラシック音楽と，演奏家の音楽に懸ける思いを伝えるリサイタル番組。実力あるアーティストたちが生み出す「熱い」音楽を，インタビューとともに届けた。
▶司会：金子三勇士／第5制作ユニット（音楽・伝統芸能），大阪拠点局，名古屋拠点局

『リトグリのミューズノート』

FM　木　23:00〜23:50
再 木　10:00〜10:50
R1　木　16:05〜16:55

第1回20.1.9／女性5人組ボーカル音楽グループ・リトルグリーモンスターのメンバーが，毎回いま一番気になる女性アーティストや洋楽アーティストを取り上げ，それぞれの個性でそのアーティストの魅力に迫りながら，さまざまな楽曲を紹介した。
▶DJ：リトルグリーモンスター／第5制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『浪曲十八番』

木　11:20〜11:50

第1回72.10.12／ベテランから若手まで東西の多彩な浪曲師が出演する定時浪曲番組。現役浪曲師の口演に加えて過去の名人・名演を鑑賞する企画や，古典以外の意欲的な新作の紹介などを織り交ぜ，幅広く浪曲の魅力を伝えた。
▶第5制作ユニット（エンターテインメント），NEP，大阪拠点局，NEP近畿

『ワールドロックナウ』

日　17:00〜18:00

第1回97.4.5／音楽評論家として50年を超えるキャリアを持つ渋谷陽一が，海外の最新のポップミュージックを，自身の視点で選曲をし，それぞれを評論した。
▶DJ：渋谷陽一／第5制作ユニット（エンターテインメント），NEP

⑨ＦＭ 特集番組

ABC順

『DJ俚謡山脈の民謡沼めぐり』

4.24，5. 1，8.21，28，10.30，11. 6，1. 8，15／5:20～5:50

民謡をクラブで流すことで若者たちに支持を得ている佐藤雄彦と斉藤匠の２人組DJ俚謡山脈。彼らが全国各地のレコード店や古物商を訪ねて集めた貴重な民謡レコードを聴きながら，唄や歌手にまつわる“うんちくトーク”を楽しむ番組。20年度は８回放送した。

▶司会：DJ俚謡山脈／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『ROCK to the CLASSIC　PART3』

FM　1. 2～3／18:00～18:50

R1　12.28，30／16:05～16:55

クラシック音楽を聴かない若者へ向けた新たなクラシック音楽番組。クラシック音楽にゆかりのあるロックミュージシャンが，自身の音楽とクラシック音楽の親和性を熱く語る。１月２日：milet（シンガーソングライター），蔦谷好位置（音楽プロデューサー），１月３日：ちゃんMARI（ゲスの極み乙女。），江﨑文武（WONK）。

▶第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

五十音順

『ウィークエンドサンシャイン　ウィンタースペシャル』

1. 9／7:20～11:50

ジャンルを限定しない幅広い選曲でワールドワイドな音楽情報を伝えるウィークエンド・ミュージックマガジンの冬期拡大版特集。20年度は，恒例の“アルバム年間ベスト”に加え，沖縄県・宮古島の伝統音楽とJAZZの即興性を融合させたプロジェクト“Myahk Song Book”の３人によるスタジオ演奏，リスナーのリクエストやメッセージを交えて４時間半放送。

▶ゲスト：“Myahk Song Book”（ミャーク・ソング・ブック），與那城美和（Vo／三線），池村真理野（Sax／口笛），松永誠剛（Contrabass／Pf），DJ：ピーター・バラカン（ブロードキャスター）／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『ウィークエンドサンシャイン　サマースペシャル2020』

8.15／7:20～11:50

ジャンルを限定しない幅広い選曲でワールドワイドな音楽情報を伝えるウィークエンド・ミュージックマガジンの夏期拡大版特集。20年度は，世界のミュージックシーンが劇的な変化を遂げた1970年の名曲を，リスナーのリクエストやメッセージを交えて４時間半放送。

▶DJ：ピーター・バラカン（ブロードキャスター）／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『オペラ・ファンタスティカ　サミット』

7.24／12:15～18:50

3. 5／14:00～18:00

金曜午後にオペラを専門に取り上げる長時間番組『オペラ・ファンタスティカ』の特集番組。レギュラー出演者３名がスタジオに集まり，いつもの一人語りの解説とは違った座談会形式で，楽しい雰囲気でオペラの魅力を届けた。また，スタジオにはオペラに関連するゲストを招き，知られざる活動の裏側を紹介するとともにスタジオでの生演奏も披露した。

▶案内：有田栄，野本由紀夫，室田尚子／ゲスト：西村悟，藤原藍子／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『オペラ寄席すぱげっ亭』

1. 1～3／11:00～11:50

正月三が日の３日間，初心者にもオペラ通にも楽しめる番組として制作した。毎回１つのオペラ作品を題材に「落語家」や「講談師」「漫才師」など，伝統話芸の達人たちが面白く紹介している。「第９幕　冬席」として取り上げた作品は，「タンホイザー」（ワーグナー），「ジャンニ・スキッキ」（プッチーニ），「道化師」（レオンカヴァルロ）。

▶出演：立川生志，神田京子，鈴々舎馬るこ／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『雅楽』

1. 1／9:00～9:15

日本古来の伝統芸能であり，1400年以上の歴史をもつ雅楽の演奏を，宮内庁式部職楽部首席楽長・多忠輝さんの解説を収録し放送した。なお，20年度の演奏は過去音源再利用。

▶演目：「千秋楽」「越殿楽」／第５制作ユニッ

ト（音楽・伝統芸能）

『きき初め　邦楽特選』

1. 1～ 3／ 7:20～ 9:00

新春に欠かせない「和の音色」を，正月３が日の朝にたっぷりと届けた。人間国宝をはじめとする第一人者たちが豪華出演。

▶出演：鳥羽屋里長，杵屋勝国，清元清寿太夫，後藤すみ子ほか／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），大阪拠点局，名古屋拠点局

『今日は一日Little Glee Monsterと合唱三昧』

8.10／12:15～18:50

リスナーから「困難な今だからこそ聴きたい合唱曲」のリクエストを募集。新型コロナの影響で中止になった「NHK全国学校音楽コンクール」の課題曲の作詞を担当したLittle Glee MonsterがMCとなり，６時間半にわたり合唱の魅力を伝えた。

▶MC：Little Glee Monster，赤木野々花アナ／第１制作ユニット（教育・次世代）

『今日は一日“アイマス”三昧』

11.23／12:15～18:50，19:20～21:15

05年にスタートしたアイドルプロデュースゲームの「アイドルマスター」，通称“アイマス”は15周年を迎えた20年までに総勢300人以上のアイドル，1,000曲以上に及ぶ楽曲を生み出してきた。番組では天海春香役の声優・中村繪里子が，14人の声優をスタジオに迎えてその魅力を語り合い，ファンからのリクエストに応えて名曲の数々を振り返った。生放送中にTwitterの「＃アイマス三昧」が世界トレンド１位を獲得した。

▶MC：中村繪里子／ゲスト：今井麻美ほか／アナウンサー：後藤康之アナ／ラジオセンター

『今日は一日“音の風景”三昧2020』

11. 3／12:15～18:50，19:20～21:15

85年４月に始まったラジオ番組『音の風景』は各地域の特色ある気候風土に根ざした豊かな音を音響デザイナーならではの視点で作成してきた。その長年にわたり蓄積してきた音の風景ライブラリーを生かした「“音の風景”三昧」を19年に続き第２弾として，さらにパワーアップして放送した。前回は放送センター近郊で行った「東京サウンドマーク」を今回はウォーターフロントへと場所を移し，浅草の吾妻橋を起点に隅田川を下って浜離宮恩賜庭園，新豊洲を経由して城南島海浜公園へと“宝音探し”の旅を実施。今回は音響デザイン部のOB佐藤彰に加え，タレントの井上咲楽とともに中継した。スタジオではR1で放送中の『鉄旅・音旅　出発進行！～音で楽しむ鉄道旅～』とのコラボ企画として，RAGFAIRの土屋礼央，車掌DJの野月貴弘を迎え，メインMCの市川紗椰と鉄道トークを繰り広げたほか，「音好き番組制作マン・ミーティング」と題して，『音のソノリティ　世界でたった一つの音（日本テレビ）』担当の宮本靖広氏（日テレアックスオン）と「ASMR特番」担当の加藤慶氏（文化放送），そして『音の風景』から吉田直矢チーフ・プロデューサーが音をどこまでも追い求める上での苦労や工夫，楽しみを語り合った。そして，リスナーのリクエストにも応えながら，全国北から南までさまざまな地域の音を余すところなく紹介した。

▶進行：片桐仁，市川紗椰，井上あさひアナ／スタジオゲスト：ヒロシ（タレント），江﨑文武（音楽家）ほか／音響デザイン部，第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『今日は一日“川口アーカイブス・レコード”三昧』

9.21／12:15～18:50，19:20～21:15

アナログレコード人気は上昇を続け，ついにアメリカ国内の売り上げではCDを超え，若い層にも大変注目されているということで，２年ぶりに川口アーカイブスに保管されているアナログレコードばかりを紹介するレコード三昧を放送した。NHKの貴重な財産である，浜松支局・音楽ライブラリーから移転した約30万枚のアナログレコードの中から，クラシック，洋楽ポップス，ジャズ，ムード音楽，昭和歌謡など，さまざまなジャンルの音楽をたっぷり紹介した。前回は関東近郊のアナログレコードファンに会場に集まってもらい，レコードに針を落とす体験なども実施したが，今回はコロナ禍のため，ごく近隣の地域の方々30名ほどを招待。感染防止対策のための綿密な運営マニュアルを川口アーカイブスの担当者が作成し，アクリル板や大型の排風機なども購入して，換気リハーサルも行った上で１時間のみ公開した。

▶司会：矢口清治（ラジオDJ）／ゲスト：ふかわりょう（タレント），渡辺真知子（歌手），假屋崎省吾（華道家）／コメントゲスト：渡辺満里奈（タレント），横山剣（クレイジーケンバンド），春風亭昇太（落語家），林家たい平（落語家），辻井伸行（ピアニスト）／第５制作ユニット（音

楽・伝統芸能），NEP

『今日は一日“伝説のライブ音源”三昧』

2.11／12:15〜18:50，19:20〜21:15

コロナ禍で音楽ライブを自由に開催することができず，音楽業界は大打撃を受け，ファンも我慢を強いられる中，「ステイホームしながらラジオでライブ体験をシェアしよう！」を合言葉に家でライブ気分を味わい今後の活力にしてもらおうと古今東西の名ライブの音源を集めて放送した。権利の問題があるので，原則としてはレコード，CDとして公式に発売されたものから選んだが，廃盤になっているものやCD化されていないものなど，アーカイブスに眠っているレア盤を活用。また，出演者の所蔵盤や放送でしか聴けないEBU（欧州放送連合）の番組交換音源なども紹介した。

▶案内役：村上てつや（ゴスペラーズ），笹路正徳（音楽プロデューサー）／ゲスト：亀田誠治（音楽プロデューサー）／コメントゲスト：サンプラザ中野くん（ロック歌手），鈴木慶一（ミュージシャン），NORA（オルケスタ・デ・ラ・ルス）坂崎幸之助（THE ALFEE），湯浅学（音楽評論家），片山杜秀（音楽評論家），サラーム海上（音楽評論家），ハマ・オカモト（OKAMOTO'S），TOKU（フリューゲルホーン奏者）／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『クラシックリクエスト』

5. 3，7.23，12.28／12:15〜18:50

リスナーからのリクエストをもとに，たくさんのクラシック音楽を生放送で送るクラシックリクエスト。20年度は時間を拡大し，３回放送した。コロナ禍の中，緊急事態宣言中の５月には電話でゲストとつなぎ，太鼓の生演奏も電話越しで披露した。外に出ることを控えていた視聴者に今の音楽を届けた。また，新企画イントロクイズ「クラリクDON」を放送。視聴者参加型のクラシック番組として盛り上がった。

▶出演：工藤三郎（元NHKアナウンサー），須川展也（サクソフォーン奏者），遠藤真理（チェロ奏者）ほか／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『栗屋敷〜栗コーダーカルテットの年末年始〜』

12.31／ 8:00〜10:00

ユーモアあふれる演奏で知られる栗コーダーカルテットが，年末に届けた音楽特番第６弾。あがた森魚らのミュージシャンとのスタジオ・セッションや，井上順や中島愛という個性的なゲストのリクエストに応えてこのためにアレンジや録音を行ったカバー曲など，この番組でしか聴けない貴重な演奏の数々やトークを放送。ポップスからクラシック音楽まで，彼らの内包する幅広い音楽性を披露した。

▶出演：栗コーダーカルテット／ゲスト：井上順（タレント），中島愛（声優・歌手），あがた森魚（シンガーソングライター）／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『クロスオーバーイレブン名作選』

（夏期）8.10〜14／23:00〜 0:00

名優の語りと洗練されたポップスで織りなす深夜のFMラジオ番組。20年度の夏期は，これまでに放送した番組の中から抜粋したアンコール特集（５話）を放送。（１）「モヤシ君・夢の球宴」作: 高木達，（２）「謎のアナウンス」作: 有栖川有栖，（３）「不要なモノ」作: 藤井青銅，（４）「歩いて国境を越える」作: 内山安雄，（５）「大地に立つ者」作: 戸井十月。

▶出演：津嘉山正種／選曲：小倉エージ（１）〜（３），大伴良則（４）〜（５）／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『クロスオーバーイレブン名作選』

（冬期）12.28〜30／23:00〜 0:00

名優の語りと洗練されたポップスで織りなす深夜のFMラジオ番組。20年度の冬期は，これまでに放送した番組の中から抜粋したアンコール特集（３話）を放送。（１）「遊民爺さん①」作：小沢章友，（２）「遊民爺さん②」作:小沢章友，（３）「海がある」作：長嶋有。

▶出演：津嘉山正種／選曲：大伴良則（１）〜（２），小倉エージ（３）／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『しりすぎてるうた 〜「あまちゃん」オープニングテーマのすべて〜』

1. 3／21:00〜22:00

一つの番組で「ある１曲」についての話を，細馬・安田という音楽の論客２人が徹底的に深め語る音楽特番の第10弾。今回は13年に放送された朝の『連続テレビ小説』「あまちゃん」のオープニングテーマ。「あまちゃん」のチーフ演出を担当した井上剛ディレクターを招きテーマ曲が制作された際の裏話や物語における音楽の意図を探

ったり，この曲の音楽的な要素，放送当時や21年にこの曲を聴くときの意味合いなど，多岐にわたる話題を深く掘り下げた。
▶出演:細馬宏通（人間行動学者），安田謙一（音楽評論家）／ゲスト:井上剛（「あまちゃん」チーフ演出）／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『新春民謡列島2021』

1. 1／12:15〜14:00

NHKふれあいホールでの公開収録は終了し，20年度よりスタジオでの収録とした。また新型コロナ感染拡大防止の観点から無観客での実施となった。大切なふるさとへの思いを抱く人たちや奮闘する人たちに，未来を担う若手歌手やベテラン歌手たちが名曲の数々を唄い，エールを届けるというコンセプトで制作した。
▶出演：成世昌平，石川喜代美，剣持雄介，松阪ゆうき，中村優／ゲスト：小沢千月，大友良英，コンパス／司会：峰竜太，松居直美／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能）

『新春謡曲狂言』

1. 1〜 3／10:00〜11:00

新春にふさわしい能狂言の名曲を収録，FM放送した。／演目:番囃子「高砂」〜金剛流〜,「箙」〜観世流〜，狂言「木六駄」〜和泉流〜ほか。
▶出演：金剛永謹，観世喜正，野村萬ほか／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），大阪拠点局，NEP

『第74回　全日本学生音楽コンクール全国大会』

1. 3／12:15〜18:00

11月24〜30日に「横浜みなとみらいホール」で行われた大会の実況録音。出場者は，全国５つの地区大会を代表する小学生から大学生までの若き精鋭たち。部門は，ピアノ，バイオリン，フルート，チェロ，声楽の５つ。番組では，１位から３位までの上位入賞者の演奏を優勝者のインタビューを交えながら５時間45分放送。
▶第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『第89回日本音楽コンクール最終予選』

10.12〜16／ 7:25〜 9:15

第89回日本音楽コンクール各部門の最終予選のもようを収録し，放送した（※作曲部門を除く）。バイオリン，ピアノ，声楽，ホルン，チェロの５部門。
▶第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

**『ティーンズラジオ2020
〜今年は＃放送部チャレンジ！〜』**

12.29／ 9:00〜10:00

新型コロナウイルスの影響により中止された「第67回NHK杯全国高校放送コンテスト」に代わり「＃放送部チャレンジ」に寄せられた作品を紹介した。
▶司会：才川陽妃，広瀬陽菜（第66回NHK杯全国高校放送コンテスト，アナウンス・朗読各部門優勝者）／第１制作ユニット（教育・次世代）

『ディスカバー・ビートルズ・サマースペシャル』

8. 9／21:00〜 1:00

**『ディスカバー・ビートルズ
ウィンタースペシャル』**

12.27／21:00〜 1:00

**『ディスカバー・ビートルズ・
フェアウェルスペシャル』**

3.28／21:00〜 1:00

ディスカバー・シリーズ第２弾の１年間限定企画として毎週日曜日に放送した『ディスカバー・ビートルズ』のスペシャル版として，夏，冬，春に生放送を行った。「サマースペシャル」では，２人のMCによるスタジオセッションのほか，リスナー参加投票コーナー，そして，日本で最初にビートルズにインタビューした経歴を持つ音楽評論家の星加ルミ子，和田唱に負けずとも劣らないビートルズフリークのミュージシャン中島卓偉をゲストに迎え，ディープなビートルズトークを披露した。年末と最終回はスタジオセッションや投票コーナーのほか，ビートルズ研究家の藤本国彦をゲストに迎え，「ビートルズの定説」についてさまざまな考察を行った。最後にはリスナー投票によるビートルズベスト10を発表した。
▶出演：杉真理，和田唱ほか／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『特集オーディオドラマ「おやつのいくさ」』

（前編）8.15／22:00〜22:50
（後編）8.22／22:00〜22:50

昭和20年，福岡の旅回り一座が協力し「忠臣蔵」を特別興行し，その収益金25万円で軍用機を国に献納。だが，座長は戦犯として裁かれ入獄した。この実話をもとに，今も大衆演劇に生きる女座長の心意気を描くドラマ。
▶作：一色伸幸／音楽：小六禮次郎／演出：小見山佳典／出演:若村麻由美，吉本実憂，松田洋治，

いしのようこ，ほか／第４制作ユニット（ドラマ）

『年越しラジオマンジャック　2020→2021』

12.31／16:00〜 1:00

大晦日（みそか）恒例の９時間生放送。スタジオライブや声優界のレジェンド出演のコント，リスナーとのコール＆レスポンスなどで心地よい年越しをリスナーに提供した。

▶出演：赤坂泰彦，時東ぁみ，押尾コータロー，若山弦蔵，緒方恵美ほか／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『眠れない親父（おやじ）へ』

1. 3／23:30〜 1:00

現代女性への癒やしを届ける『眠れない貴女（あなた）へ』の特集番組。19年度の夏に引き続き，正月３日に放送。ふだん肩身の狭い思いをしている親父たちが自由に語り合う夜会を放送。

▶出演：泉谷しげる，六角精児，松重豊／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『ひふみんと錦織健の対局クラシック』

（第３局）8.15／18:00〜18:50

（第４局）1. 1／18:00〜18:50

クラシック愛好家で将棋棋士のひふみんこと加藤一二三と将棋愛好家で日本を代表するオペラ歌手の錦織健が，将棋の対局で対戦するがごとく，真剣勝負でクラシック音楽について情熱的に語り合った。第３局では，第２局に引き続き将棋の駒から連想する格言とクラシック音楽を紹介，そして恒例のデュエットは「フニクリフニクラ」を熱唱，番組の最後では「ひふみんの金言」を紹介し，ひふみんならではの明るく楽しく生きるための道しるべを聞いた。第４局では，新型コロナ感染予防のため，リモート収録にしたため，過去の格言を復習しながら，新しい格言や「ひふみんの金言」も紹介。ひふみんの誕生日に寄せて，錦織健がギターの弾き語りでひふみん向けの新しい歌詞をつけた「ヴォラーレ」を贈った。

▶出演：加藤一二三，錦織健／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『プレイバック東京JAZZ　2017〜2019』

5.23／12:15〜18:50，19:20〜22:00

国内最大級のジャズフェスティバル「東京JAZZ」のメイン会場・NHKホールで，17〜19年に行われた名演・熱演を紹介。

▶ゲスト：小川隆夫（ジャズジャーナリスト）／司会：鹿島綾乃アナ／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『プレイバック東京JAZZ　2017〜2019 PARTⅡ』

1. 2／12:15〜18:00

国内最大級のジャズフェスティバル「東京JAZZ」のメイン会場・NHKホールで，17〜19年に行われた名演・熱演を紹介する第２弾。ジャズをこよなく愛するゲストを迎え，さまざまなスタイルのジャズを５時間45分放送。

▶ゲスト：小曽根真（ジャズ・ピアニスト），渡辺香津美（ジャズ・ギタリスト），小林幸子（歌手），小川隆夫（音楽ジャーナリスト）／司会：鹿島綾乃アナ／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『まろのSP日記　第24集 〜港の見える街・北九州市編〜』

12.28／21:00〜23:00

SP時代の名盤・名演を紹介し，シリーズ特番として定着している『まろのSP日記』。第24集は，まろこと，NHK交響楽団第１コンサートマスター篠崎史紀の出身地であり，蓄音機全盛時代の1889年には国から輸出港指定を受けて外国貿易港として繁栄した門司港を擁する北九州市で公開収録を実施。折しも2020年度に文化庁により東アジア文化都市に指定された北九州市の協力を得て，コロナ禍の中，入場者を制限するなど万全の感染防止対策を施した上で，公開収録を実施した。曲目は祭り，市場，港，海など北九州の風景をほうふつとさせる選曲で，同じく北九州市出身の若手ピアニスト谷昂登との生演奏も披露した。まろの地元ということで北九州放送局がテレビ番組も制作し，県域で放送された。

▶出演：篠崎史紀，谷昂登（ピアノ）／司会：藤重博貴アナ／蓄音機操作：梅田英喜／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『夜の停車駅2019＆2020選』

8.11〜15／ 0:00〜 0:50

ミステリアスな物語をクラシックの名曲を交えて送る深夜のFMラジオ番組。20年度の夏は，これまでに放送した番組の中から選出したアンコール特集を放送。（１）「屋根裏の同居人」，（２）「マドンナの思惑」，（３）「真夏のパンジー」，（４）「憂鬱な分身」，（５）「雪山の幻想」。

▶語り：佐々木蔵之介（俳優）／作：藤井香織（脚

本家）／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

『夜の停車駅2020冬』

12.29～31／ 0:00～ 0:50

ミステリアスな物語をクラシックの名曲を交えて送る深夜のFMラジオ番組。20年度の年末は，ドラマチックな新作３話を放送。第１話「レトロな鍵」，第２話「バラのある家」，第３話「波打ち際のボールペン」。

▶語り：佐々木蔵之介（俳優）／作：藤井香織（脚本家）／第５制作ユニット（音楽・伝統芸能），NEP

⑩ テレビ国際放送 NHKワールド JAPAN（英語・外国人向け）

定時番組

（放送時間は日本時間を掲載）

ABC順

『Anime Supernova』

土　9:10～ 9:25ほか

第１回17.4.8／アニメの短編作品を作家ごとにたっぷりと見せ，クールジャパンのけん引役である日本のアニメーションの若き才能とその作品の魅力を世界に伝えた。

▶国際放送局，NEP

『Asia Insight』

T国際　金　10:30～10:58ほか
BS1　月　14:00～14:28

第１回12.4.6／中国やインド，成長のさなかにある東南アジア。大きく変わろうとする社会や人々の生活，伝統など，アジアの今を切り取った。20年度はアジア各地の新型コロナウイルスの感染状況や対策を伝えた。

▶国際放送局，Gメディア

『BENTO　EXPO』

T国際　月　9:30～ 9:45ほか
G　火　12:20～12:43

第１回19.4.1／世界的に広がっている「BENTO」。世界中のBENTOファンをつなぐ視聴者参加型番組として，番組ホームページに寄せられた，ヘルシーで思いが込められたレシピの数々を紹介した。

▶国際放送局，JIB

『Biz Stream』

土　23:10～23:38ほか

第１回18.4.7／東京五輪や高まるインバウンド熱…世界が注目する日本のビジネスの最新の動き，開発の最前線などをクローズアップし，その背景や影響を“ワールド独自の視点”で紹介。成長を続けるアジアの最新情報も交えて，速く，深く伝えた。

▶国際放送局，Gメディア

『Core Kyoto』

T国際　木　8:30〜 8:58ほか
BS1　木　14:00〜14:28

第１回13.4.4，BS1 17.4.6／四季の自然を暮らしに生かし，絢爛（けんらん）たる伝統を受け継ぎ，新たな創造も続けてきた1200年の都・京都。毎回，京都の奥深い魅力の中核を成すテーマを設定し，それぞれのテーマにまつわる文物・風景・人物・行事を極上の映像でつづった。

▶国際放送局，NEP

『Culture Crossroads』 新

木　0:30〜 0:45ほか

第１回20.4.16／多文化・多言語の共生社会で役に立つ情報，魅力的な話題をさまざまな角度から発信した。「東京2020」のホストタウンに関する話題や，身近で役立つ防災・「BOSAI」情報，各国の大使が語る日本の魅力などを伝えた。

▶国際放送局

『CYCLE AROUND JAPAN』

土　9:10〜 9:59ほか

第１回17.4.8／ニッポンを愛する外国人が日本の“道”を舞台に，四季折々の美しい自然と今を生きる人々の営みにふれながら自転車で旅した。

▶国際放送局，Gメディア

『CYCLE AROUND JAPAN Highlights』

T国際　（月１回）木　23:30〜23:57ほか
BSP　随時

第１回18.4.26／ニッポンを愛する外国人が日本の四季折々の美しい自然と人々の営みにふれながら自転車で旅する『CYCLE AROUND JAPAN』を27分に再構成。

▶国際放送局，Gメディア

『Deeper Look from NY』 新

火　13:30〜13:45ほか

第１回20.4.28／世界のハブ・ニューヨークから，政治・経済，社会問題，文化・芸術などあらゆる分野の世界的知識人・専門家と，番組アンカー陣との全力の対話を発信した。専門家だからこそ語れる・聞くことができる深い話を伝えた。

▶国際放送局，NEP

『DESIGN TALKS plus』

T国際　木　9:30〜 9:58ほか
BS1　木　4:30〜 4:58
E　金　21:30〜21:58

第１回15.4.2，BS1 15.4.5／日本のデザインの美意識，哲学を探求してきた『DESIGN TALKS』の後継番組。日本の工芸，建築，アートなど優れたデザイン性を海外に紹介し，そのユニークさや可能性を伝えた。

▶司会：アンドレア・ポンピリオ，シャウラ／国際放送局，NEP

『Dining with the Chef』

金　23:30〜23:58ほか

第１回12.4.2／「健康的でバランスがとれた料理」として世界が注目する和食。その中心を成す食材の生かし方，調味料の秘密，盛りつけのコツなどを伝えた。

▶司会：斉藤辰夫，行正り香，早見優，パトリック・ハーラン／国際放送局，NED

『Direct Talk』

月〜金　20:40〜20:55ほか

第１回16.4.4／国内外のビジネスリーダーや，科学技術，文化，スポーツなどさまざまな分野のキーパーソンにインタビュー。世界が注目する旬の人たちのメッセージをビビッドに発信した。

▶国際放送局，NEP，JIB

『Doctor's Insight』 新

火　13:45〜13:55ほか

第１回20.4.28／世界最高レベルの長寿国・日本。海外からも最先端の医療技術ときめ細やかな診療に注目が高まる中，テーマごとに専門の第一人者を訪ね，具体的な健康対策や医療情報について，コンパクトに分かりやすく伝えた。

▶国際放送局，NED

『Doki Doki! NHK WORLD-JAPAN』

T国際　日　20:50〜20:55ほか
G　日　22:55〜23:00ほか

第１回15.4.5／日本とアジアのあらゆるジャンルの最新情報を発信しているNHKワールドTVの番組から，とっておきの情報をウイークリーで届けた。

▶司会：松井玲奈／声：岩井勇気／国際放送局，JIB

『Easy Japanese』

土　13:55〜13:58ほか

第1回18.10.2／NHKワールド JAPAN（ラジオ）の多言語コンテンツで，アジアなどで人気の「やさしい日本語」を映像化し，日本語学習番組へのニーズに応えた。

▶出演：太田エイミー／国際放送局

『Easy Japanese for Work』

月　9:45〜10:00ほか

第1回19.4.1／外国人材の受け入れが拡大する中，職場などで使える日本語に的を絞り，日本で働きたい人を応援。外国人を採用している企業をリサーチし，実践的な“日本語のツボ”を伝えた。

▶国際放送局，NED

『Face To Face』

日　10:10〜10:38ほか

第1回15.4.27／日本を代表する各界のリーダーや著名人に聞くインタビュー番組。その生き方や考え方を通して，現代日本の社会状況や日本の進むべき方向性を指し示した。

▶司会：ロバート・キャンベル／国際放送局，NED

『15 Minutes』

水　9:30〜 9:45ほか

第1回18.4.4／アジアの人気タレントが日本を旅する番組など各地域の視聴者に訴求する番組や，コンパクトに構成されたスマートフォン向けの番組を開発する枠。随時ビデオ・オン・デマンドで多言語展開も。

▶国際放送局ほか

『GLOBAL AGENDA』

土　10:10〜11:00ほか

第1回15.4.25／世界のオピニオンリーダーによる討論を通じて，日本と世界が直面する課題の解決に向けて提言した。新型コロナウイルスの感染拡大をうけ全9回の放送中7回で専門家の討論を伝えた。

▶国際放送局，NEP

『GRAND SUMO Highlights』

大相撲本場所期間中　月〜日　1:30〜 1:57ほか

第1回16.9.12／海外でも人気が高い大相撲を，本場所期間中，毎日，幕内上位陣の取組や注目の対戦などを中心にダイジェストで伝えた。また，歴代の名力士，決まり手，相撲のしきたりなどもさまざまな角度から解説。

▶国際放送局，Gメディア

『GRAND SUMO Preview』

金　13:30〜13:58ほか

第1回17.5.12／開催目前に迫った大相撲の各本場所の見どころを2か月に1度伝える番組。相撲になじみの薄い海外の視聴者のために，相撲のルールやしきたりも丁寧に解説した。

▶国際放送局，Gメディア

『Her Story』

水　10:30〜10:50ほか

第1回15.4.29／女性の社会進出が経済成長の鍵を握る今，日本とアジア諸国で，国や地域に変革をもたらしている女性たちを取り上げた。

▶国際放送局，NED

『Japan-easy』

日　20:25〜20:40ほか

第1回16.4.10／日本文化を楽しみながら学べる日本語学習番組。放送外でも予習・復習などができるよう，番組と有機的に連動したウェブコンテンツを展開した。

▶国際放送局，NED

『Japanology Plus』

T国際　火　23:30〜23:58ほか
BS1　火　4:30〜 4:58

第1回14.4.3／国際放送で03年度にスタートし，日本文化を海外に伝えてきた『Weekend Japanology』『Begin Japanology』の後継番組。日本の社会・文化・芸術・暮らしなど，さまざまな事象を捉え，外国人の視点で外国人に分かりやすく紹介した。

▶司会：ピーター・バラカン／国際放送局，NED

『Japan Railway Journal』

T国際　金　0:30〜 0:58ほか
BS1　水　4:30〜 4:58

第1回15.4.10／新幹線をはじめとした日本の速くて安全な鉄道技術を紹介するとともに，熱心な欧米の鉄道ファンが来日した時に楽しめる，日本の最新鉄道情報を提供した。

▶司会：ネイサン・ベリー，高木亮／国際放送局，Gメディア

『Japan's Top Inventions』

木　0:45〜 1:00ほか

第１回18.4.18／世界中の人々に愛用される“日本発”の開発秘話をインタビューや再現ドラマを交えて紹介。15分で分かりやすく日本のものづくりの裏側を伝えた。

▶国際放送局ほか

『J-Arena』

金　13:30〜13:58ほか

第１回18.4.6／2020年に向けて機運を高めるスポーツ番組として，日本発祥の競技や日本が世界トップレベルの競技を中心に取り上げ，その魅力に迫った。日本人アスリートたちの横顔や，競技会場とその周辺地域の情報なども伝えた。

▶司会：木佐彩子／国際放送局，Gメディア

『J-MELO』

T国際　月　0:10〜 0:38ほか

BSP　土　5:30〜 5:58

第１回05.10.7／日本のミュージックシーンを発信する音楽情報番組。日本の音楽の最大の特徴である「多様性」に注目し，ポップス，ジャズ，クラシック，トラッドなど，ジャンルを越えたゲストを招き，日本の音楽とアーティストを世界に伝えた。

▶司会：May J.／国際放送局，JIB

『Journeys in Japan』

T国際　火　8:30〜 8:58ほか

BS1　水　14:00〜14:28ほか

第１回10.3.30／日本各地のさまざまな地域の魅力や，そこで営まれる日本人の暮らしを，外国人リポーターの視点で伝える紀行番組。アウトドアの旅，文化や伝統に自らふれる体験型の旅など，さまざまな旅の形を紹介した。

▶国際放送局，JIB

『KABUKI KOOL』

水　13:30〜13:58ほか

第１回14.4.16／海外からも注目が集まる伝統芸能「歌舞伎」。番組では現代的なテーマに沿って演目を選び，独特の演出から舞台のハイライトまで，外国人視聴者に分かりやすく「歌舞伎」の世界を紹介した。

▶司会：片岡愛之助，サラ・オレイン／国際放送局，JIB

『Kawaii International』

金　9:30〜 9:58ほか

第１回12.4.28／日本発のポップカルチャーとして，いまや世界中で通じる「Kawaii」をキーワードに，カワイイ物や人，事柄に焦点を当て，最新のトレンド情報を発信した。

▶司会：ミーシャ・ジャネット，リンリン・ドール／国際放送局，NEP

『Medical Frontiers』

火　0:30〜 0:58ほか

第１回15.4.6／日本が誇る最新の医療技術や介護システムなど医療･健康情報を世界に発信した。20年度は年間を通して新型コロナウイルスについてシリーズで伝えた。

▶司会：エリカ・アンギャル／国際放送局，Gメディア

『NEWSROOM TOKYO』

月〜金　20:00〜20:40

第１回15.3.30／平日夜間に日本とアジアの１日の動きをせき止め，中継やリポートを軸に，専門家や取材記者の解説を交えて，深く分かりやすくニュースを伝えた。

▶キャスター：中山秀輝（7.22まで），吉岡拓馬（8.24から），渋谷亜希，福島優子／国際放送局

『NHK NEWSLINE』

月〜日　毎正時

第１回16.4.4／毎日毎正時に放送している，NHKワールド JAPANの基幹ニュース番組。海外からのリポートを増やすなど，より本格的な国際ニュースとして強化している。また，地域放送局と連携し，日本各地の情報を積極的に海外発信した。

▶国際放送局

『RISING』

T国際　木　10:30〜10:58ほか

BS1　月　4:30〜 4:58

第１回15.4.2，BS1 15.4.6／さまざまな分野において世界レベルで活躍し，その才能と情熱で従来の価値観を打ち破ろうと奮闘する人々を追うドキュメンタリー。

▶国際放送局，JIB

『Science View』

水　0:30〜 0:58ほか

第1回12.1.8／日本の先端研究，科学技術を世界に発信する科学番組。NHKの豊富な映像資産を活用しながら，スタジオでの解説も交えて，日本の科学・産業情報を分かりやすく伝えた。

▶司会：木村倫子，山本ミッシェールのぞみ／国際放送局，NED

『Side by Side』

T国際　水　10:30〜10:58ほか
BS1　月　4:30〜 4:58

第1回14.4.19／アジア・アフリカなどの開発に，官民さまざまなチャンネルで取り組んできた日本。現地の人材と協力して持続可能な手法を探るなど，日本独自の哲学を持った国際支援の現場を，ODAから民間企業，草の根の援助活動まで幅広く世界に発信した。

▶国際放送局，JIB

『SONGS OF TOKYO』

T国際　月　0:10〜 0:38ほか
G　随時

第1回19.4.22，G19.5.5／2020の東京オリンピック・パラリンピックに向けて日本のポップカルチャーに世界的な関心が集まる中，最先端の「J-POP」を世界に発信。注目の日本アーティストの最新パフォーマンスを中心に，外国人から見たその魅力を掘り下げた。

▶司会：村上信五，ホラン千秋／第5制作ユニット（エンターテインメント），NEP

『The Signs』 新

（後期）土　0:40〜 0:55ほか

第1回20.10.3／「対面」「対話」が難しくなった社会で「新しいつながり」を作り出そうとする人々がいる。コロナ禍の日本で日々生み出される創意や工夫を取材し，“ウィズコロナ”の時代に求められる「兆し＝Signs」を捉えて伝えた。

▶国際放送局，Gメディア

『TOKYO EYE 2020』

T国際　水　8:30〜 8:58ほか
BS1　金　4:30〜 4:58

第1回15.4.1，BS1 15.4.3／06年から放送してきた情報番組『TOKYO EYE』の後継番組。東京オリンピック・パラリンピックに向けて目まぐるしく変化する東京の変貌ぶりとその魅力を伝えた。

▶司会：クリス・ペプラー／国際放送局，JIB

『Trails to Oishii Tokyo』

水　23:30〜23:58ほか

第1回15.4.1／築地市場の移転に伴い『Trails to Tsukiji』から19年に改題。市場での食材との出会いをスタートに，地域の生産現場を訪れ，日本の食文化の奥深さとその多様さを探求した。

▶国際放送局，NEP

『Train Cruise』

土　9:10〜 9:54ほか

第1回17.6.17／リラックスして眺望を楽しめる豪華列車，その土地ならではのちょっと変わった個性的な列車など，日本の列車自体が旅の一番の楽しみになるような，新たな鉄旅のスタイルを海外に向けて発信した。

▶国際放送局，NPN

『We, in the Time of Corona』 新

（前期）　随時
（後期）月　8:15〜 8:20ほか

第1回20.5.5／新型コロナウイルスの感染拡大やそれを受けた社会の変化について，医療や経済，教育など各分野における世界的なキーパーソンが考えていること，今後の展望を5分のインタビューシリーズとして伝えた。

▶国際放送局，NEP，NED

『Where We Call Home』 新

月　10:30〜10:57ほか

第1回20.3.30／日本に暮らす外国人の数が過去最高となっている。彼らは地域の中でどんな役割を演じ，どんな悩みを抱え，何を支えに日本での日々を乗り越えようとしているのか。「多文化共生」のヒントを，ドキュメントなどで伝えた。

▶国際放送局，Gメディア

『Wild Hokkaido!』

日　9:45〜10:00ほか

第1回17.4.9／札幌拠点局が制作する『さわやか自然百景』の映像に，外国人プレゼンターによるお役立ち情報を付加。外国人観光客に北海道の大自然の魅力を伝えた。

▶国際放送局，NEP

⑩ テレビ国際放送 NHKワールド JAPAN（英語・外国人向け）

特集番組

ABC順

『ABU TV SONG FESTIVAL』

1.31

新型コロナウイルスの影響で初のオンライン開催となった。アジア太平洋の各国各地域を代表する人気アーティストたちがリモートで参加し，コロナ禍でも助け合い，前向きに生きようと歌でエールを送った。

▶制作局，NEP

『Home Sweet Tokyo　シーズン４！』

12. 5〜 6，12〜13

妻の父親と同居するためにロンドンから東京に引っ越してきたイギリス人・ブライアンが繰り広げるコメディードラマ。アメリカ留学から帰国した親戚など，ますます個性的なキャラクターが登場。外国人の視点からリアルなニッポンの姿を描く。

▶第６制作ユニット（新領域開発），NEP

『IDATEN 大河ドラマ「いだてん」総集編』

5. 2〜 4

日本とオリンピックの歩みを描いた19年の『大河ドラマ』「いだてん」。総集編を英語化して放送した。①「日本にオリンピックがやってきた」，②「ストックホルム青春編」，③「田畑政治INロサンゼルス」，④「幻の1940年東京五輪編」，⑤「もう一度、オリンピックを」，⑥「1964年TOKYO編」

▶国際放送局，第４制作ユニット（ドラマ）

『Kiyo in Kyoto: From the Maiko House』

2.25，　3.25

漫画家・小山愛子の作品「舞妓さんちのまかないさん」を国際放送局が独自にアニメ化。青森から京都の花街にやってきたキヨと幼なじみ・すみれの二人の目を通して，舞妓さんの日常と京都・花街の姿を描く。全12回シリーズ。

▶国際放送局，NEP

『NHK NEWSLINE FOCUS 知られざる「ジョブズ・コレクション」〜没後10年“鬼才”を魅了した「新版画」〜』

1. 2

Appleを世界のトップ企業に押し上げたスティーブ・ジョブズは「新版画」と呼ばれる美術品を熱心に収集していた。番組ではジョブズが画商から購入した作品リストを入手。親友への取材や専門家の分析を通じ，彼の審美眼の原点に迫った。

▶国際放送局

『NHK WORLD-JAPAN presents SONGS OF TOKYO Festival 2020』

10.24〜25，31〜11. 1

東京の今を象徴する音楽を世界の人々に届ける，年に一度の特集番組。４回目となる今回は，コロナ禍でも「音楽のチカラ」を信じてメッセージを発信し続けたアーティストの声を世界中の人たちに届けた。

▶制作局，NEP

『NHK WORLD PRIME』

土　10:10〜11:00
再 土　16:10〜17:00，22:10〜23:00
日　4:10〜 5:00

「世界を覆うジャーナリズム革命　〜オープンソース・インベスティゲーションの威力〜」

4.25

今，世界各地で，インターネットのエキスパートたちがウェブ上で公開されている世界中のデータベース，SNS情報の海を解析し，各国政府や犯罪者が隠ぺいする真実を暴き出している。革命的な調査報道「新ジャーナリズム」の胎動を追った。

▶国際放送局，Gメディア

「10 Years and Beyond iPS Cells and Kyoto University's CiRA」

5. 9

20年４月，山中伸弥教授が所長を務める京都大学iPS細胞研究所「CiRA」が設立10年を迎え，いよいよ本格的な医療の段階に突入する。山中所長とCiRAの戦略を追いながら，生命と科学や医療がどこに向かっていくのかを考察した。

▶国際放送局，NED

「世界の中の日本国憲法」

7.25

日本国憲法の草案に国際協調と平和主義を加えることを提言した法学者で社会党議員だった鈴木義男。番組では，衆議院小委員会の速記録から

9条，25条の追加修正を忠実に再現。新資料をもとに第一次世界大戦後の新しい思想潮流，戦争の違法化，社会権の考え方に迫った。
▶国際放送局，第2制作ユニット（文化），NED

「新型コロナ日記 ～緊急事態宣言とわたしたち」

8.22

宣言発出直後から，各地に暮らす10人にスマートフォン等を使った「映像日記」の自撮り撮影を依頼しシリーズで放送した『ニュース シブ5時』（Ⓖ）。その特集を英語化。生活の立て直しに取り組む人々へのヒントや前向きなメッセージを伝えた。
▶国際放送局，報道局

「見えざる敵を観（み）る ミクロの目で迫る新型コロナの正体」

9.19

電子顕微鏡でしか見えない“謎多きウイルス”。医師で医療CGクリエーターの瀬尾拡史さんは感染症やウイルスの専門家に独自取材し，“見えざる敵”の正体をCG技術で可視化。感染や発症などの謎に迫った。
▶国際放送局，コンテンツ開発センター，NED

「やまとの季節スペシャル」

10. 3

奈良在住の映像作家・保山耕一さんと，世界各地で活躍するピアニスト・川上ミネさんによる映像詩「やまとの季節」。番組では，一編の映像詩がどのように生まれるのかに密着し，「祈り」が紡ぎ出される瞬間を追った。
▶大阪拠点局，奈良局，NEP

「見えざる敵に挑む ～AIが迫る感染爆発～（前後編）」

10.17，24

世界を覆うパンデミックの脅威にAIはどこまで迫れるのか。番組ではAIが導いたさまざまな知見を重ね合わせて読み解くことで，パンデミック発生と拡大の深層にあるものを探った。第2波に世界がどう立ち向かおうとしているかを描いた。
▶国際放送局，報道局，NEP

「幻の布 桐板（トゥンビャン）を求めて ～琉球染織紀行～」

11. 7

沖縄戦によって琉球の染織文化も灰じんに帰した。真珠のように艶めき透き通る白地に琉球藍のかすり文様。上流階級のみに着用が許された「桐板（トゥンビャン）」も「幻」と呼ばれてきた。琉球織物の美に秘められた歴史や人々のメッセージをひもといた。
▶国際放送局，Gメディア

「FACES Special～ How we survived being bullied～」

11.21

「いじめ」をなくすために何ができるのか。NHKが海外の公共放送と進める国際共同制作「いじめ撲滅国際キャンペーン・FACES」は，世界各国のいじめ体験者から当事者たちへメッセージを込めた証言集。いじめ撲滅に取り組む重要性，コロナ禍でも対話で生まれる可能性について伝えた。
▶国際放送局，第1制作ユニット（教育・次世代），JIB

「沖縄戦75年・戦場に立たされた住民たち ～新資料が明かす3か月の従軍記録～」

12.26

沖縄戦では多くの住民が犠牲となったが，いまだその消息を知らない遺族が少なくない。今回，戦後すぐに琉球政府が行った調査で生存者が戦死者について証言した記録が見つかり，研究者は「空白を埋める貴重な資料」としている。沖縄戦に巻き込まれた住民たちの従軍記録を浮き彫りにした。
▶国際放送局

「3/11 – The Tsunami Ep.1 The First 3 Days, Ep.2 The First Year」

1. 9，16

東日本大震災から10年を機に，津波災害の脅威を改めて国内外に発信し，次の世代に伝えていこうと，およそ300時間に及ぶ膨大な映像をもとに，津波による災害を再構成した。東日本大震災の経験と備えの大切さを世界の視聴者に伝えた。
▶国際放送局，NEP

「渡辺謙　僕に、できること ～東日本大震災を見つめ続けた10年～」

3. 6

東日本大震災の2か月後から被災者のもとに通い続けてきた俳優の渡辺謙。これまで2万人

を超える人々と会い，その声に耳を傾けてきた。震災10年を前にこれまで訪れた福島県葛尾村，宮城県気仙沼市，岩手県陸前高田市と釜石市を再訪。暮らしの変化を見つめた。
▶大型企画開発センター，NEP

「東日本大震災10年　被災地の子供たちはいま」

3.27

NHKワールド JAPANでは，16年春，大震災から５年間の子供たちの日々を５つのエピソードにまとめた番組を制作した。今回は彼らの「その後」を取材。過去の記憶と向き合いながら成長し，教訓を伝えようと活動する姿を通し，被災地の現状と人々の思いを伝えた。
▶国際放送局

『Zeroing In: Carbon Neutral 2050 ～ゼロ炭素社会への大転換～』

4.18～19，　2.27～28

地方政府や市民社会が脱炭素社会に向けて大きくかじを切っているアメリカ。その動きをけん引するカリフォルニア州の地元放送局の素材を活用し，アメリカ西海岸の草の根のさまざまな動きを４回にわたって日本や世界の動向も交えながら伝えた。
▶国際放送局，Gメディア

五十音順

『白い杖（つえ）の留学生 途上国の視覚障害者を支えた日本の半世紀』

11. 7

国際視覚障害者援護協会（IAVI）は途上国の視覚障害者を受け入れ，日本語や日本点字，白杖を使った歩行訓練などの研修を行った後，盲学校の受験をサポートし，３年かけて技術を習得させる活動を続けてきた。母国で活躍するIAVI留学生たちの今を追い，“白い杖（つえ）の留学生たち”の日々を見つめた。
▶国際放送局，NED

『“焼き場に立つ少年”をさがして』

8.30

原爆投下直後の長崎で，息絶えた弟を背負い火葬の順番を待つ少年の様子を撮影した１枚の写真。長崎局では３年前からこの写真の取材を続けてきた。無数にいた原爆孤児たちの知られざる実態も浮かび上がらせた。
▶国際放送局，長崎局，第２制作ユニット（文化）

11 ラジオ国際放送 NHKワールド JAPAN（多言語・外国人向け）

定時番組

ABC順

『Friends Around the World』

（英語）日　14:10～14:30ほか

第１回11.3.27／英語によるディスクジョッキー番組。世界のリスナーからの手紙やリクエスト曲を紹介した。
▶国際放送局

五十音順

『英語ニュース』

（英語）	R国際	月～金	13:30～13:45ほか
		土・日	14:00～14:10ほか
	R2	月～金	13:30～13:45
		土・日	14:00～14:10

第１回52.2.1，R2 95.4.3／海外向けに放送しているラジオ国際放送の英語ニュース。うち１回を国内でも放送。
▶国際放送局

『四海兄弟』

（中国語）（月１回）土　13:10～13:30ほか

第１回19.4.13／中国など中国語圏と日本との交流に尽力する人々や団体を紹介した。本人や関係者へのインタビューを中心に，成功までの苦労や努力，今後の夢や志を伝えた。
▶国際放送局

『スペイン語ニュース』

（スペイン語）	R国際	月～金	13:00～13:15ほか
		土・日	13:00～13:10ほか
	R2	月～金	14:00～14:10
		土・日	13:50～14:00

第１回53.8.1，R2 02.4.1／中南米向けのスペイン語によるニュース番組。日本の出来事を中心にアジアや世界の情報を伝えた。日本に居住する中南米のスペイン語圏出身者を主な対象に，R2でも放送。
▶国際放送局

『中国語ニュース』

（中国語）	R国際	月～金	13:00～13:15ほか
		土・日	13:00～13:10ほか
	R2	月～金	13:00～13:15

土・日　13:00〜13:10

第1回53.8.1，R2 96.4.1／中国語によるニュース番組。日本に居住する中国語を話す人や語学学習者を主な対象に，R2でも放送。

▶国際放送局

『ニュース』

（各言語）月〜日　10分または15分

（言語によって放送時間，枠時間は異なる）

アラビア語，ベンガル語，ビルマ語，中国語，英語，フランス語，ヒンディー語，インドネシア語，日本語，ハングル，ペルシャ語，ポルトガル語，ロシア語，スペイン語，スワヒリ語，タイ語，ウルドゥー語，ベトナム語の18言語で放送。日本語は在外邦人向け，そのほか17言語は外国人向けとして実施した（英語，中国語，ハングル，ポルトガル語，スペイン語によるニュースは別項も参照）。

▶国際放送局

『ハングル日本百科』

（朝鮮語）R国際　土・日　17:45〜18:00

R2　土・日　13:25〜13:40

第1回09.4.4／R国際で放送した『プラグインニッポン』などを再構成し，日本に居住するハングルを話す人や語学学習者を主な対象にR2でも放送した。

▶国際放送局

『ハングルニュース』

（朝鮮語）R国際	月〜金	13:15〜13:30ほか
	土・日	13:15〜13:25ほか
R2	月〜金	13:15〜13:30
	土・日	13:40〜13:50

第1回60.4.1，R2 96.4.1／ハングルによるニュース番組。日本に居住するハングルを話す人や語学学習者を主な対象に，R2でも放送。

▶国際放送局

『プラグイン　ニッポン』

（各言語）月〜土　15〜30分

（言語によって放送時間，枠時間は異なる）

日本語を除く17言語で毎週月〜土曜に放送しているラジオ国際放送の主力番組。日本の政治，経済，社会，文化の動きや，日本が世界に誇る技術，さまざまな分野で活躍する話題の人物などを幅広く紹介した。主な内容は以下のとおり。

▶国際放送局

「やさしい日本語」　月・金

日常会話で役立つ日本語の表現を1課につき1つ，日本の文化や習慣とともに紹介した。

「Hometown Stories」　（月1回）火

日本各地の暮らしや文化，風土，人々についての物語。各地の人々の多様な営みに焦点を当てたドキュメンタリー番組。

「Where We Call Home」　（月1回）火

日本在住の外国人たちは各地で新たな風を吹き込む一方，地域との摩擦や孤立に苦しむ人も少なくない。外国人コミュニティーのキーパーソンに密着，共生へのヒントを探った。

「Workpedia Japan」　（月1回）水

日本で働く外国人たちに焦点を当て，彼らの視点から見たそれぞれの仕事と職場を紹介した。

「Japan's Top Inventions」　（隔月1回）水

日本人が世界で初めて開発に成功し，世界中の人々に愛用されている“日本発”のプロダクツの数々。その開発秘話を紹介し，日本のものづくりの神髄を伝えた。

「Trails to Tasty Tokyo」　（隔月1回）水

東京の巨大卸市場には，日本全国からあらゆる種類の食材が集まってくる。その魅力と，そこから作り出される和食にフォーカスする番組。

「Direct Talk」　（月1回）木

第一線で活躍するビジネスパーソンや芸術家など社会的に影響力のある人々の声を紹介するインタビュー番組。

「Side by Side」　（隔月1回）木

発展途上国のコミュニティーに入り，問題の解決や機会創出の支援にあたる日本人たちの物語。

「Journeys in Japan」　（隔月1回）木

日本在住の外国人が各地を訪ね，その魅力をじっくりと伝える紀行番組。伝統文化や豊かな自然を体感し，人々と触れ合う中で日本の美しい姿を紹介した。

「J-MELO」　（月1回）土

ポップス，ロック，伝統音楽など，日本の音楽

の特長である「多様性」に注目し，毎回，全世界の視聴者とともに作り上げていく音楽番組。

「BOSAI, Measures for Saving Your Life」

不定期

地震や津波，台風への備えなど，日本の防災に関するノウハウを，外国人リポーターを立てて分かりやすく紹介した。

『ポルトガル語ニュース』

（ポルトガル語）R国際　月～金　18:00～18:15ほか
土・日　18:00～18:10ほか
R2　月～金　18:00～18:10
土・日　23:00～23:10

第１回53.8.1，R2 95.4.3／南米向けのポルトガル語によるニュース番組。日本の出来事を中心にアジアや世界の情報を伝えた。日本に居住するブラジル出身者を主な対象に，R2でも放送。

▶国際放送局

『リスナーズフォーラム』

日　20分または30分
（言語によって放送時間，枠時間は異なる）

日本語と英語を除く16言語で放送するディスクジョッキー番組。世界各地のリスナーからの手紙を紹介したり音楽のリクエストに応えたりするほか，国内のイベントやトレンドスポットのリポートなどで構成。

▶国際放送局

12 ラジオ国際放送 NHKワールド・ラジオ日本（日本語・在外邦人向け）

定時番組

五十音順

『やさしい日本語』

R国際　月・金　13:45～13:55ほか
R2　日　14:10～14:20
再 月　0:00～ 0:10

第１回11.4.9／初級日本語講座。全48課。４月から９月までは，19年10月より始まった新シリーズの後半を放送した。20年10月からは，全課，再放送した。主人公は，ベトナム人留学生・タム。日常会話に役立つ表現を，日本の文化・習慣とともに紹介した。

▶出演：小島エリ子，マイケル・リース／国際放送局

放送 NHK国内放送番組の放送時間（2020年度）

❶国内放送番組部門別放送時間とその割合

（1）総合テレビジョン放送（東京）

時間					割合				
教養	教育	報道	娯楽	計	教養	教育	報道	娯楽	計
時分 2216:23	時分 872:51	時分 3957:58	時分 1640:58	時分 8688:10	25.5%	10.0%	45.6%	18.9%	100.0%

（2）教育テレビジョン放送（東京）

時間					割合				
教養	教育	報道	娯楽	計	教養	教育	報道	娯楽	計
時分 1536:40	時分 5447:42	時分 239:45	時分 0:00	時分 7224:07	21.3%	75.4%	3.3%	0.0%	100.0%

（3）BS1

時間					割合				
教養	教育	報道	娯楽	計	教養	教育	報道	娯楽	計
時分 3566:52	時分 960:25	時分 3656:08	時分 572:07	時分 8755:32	40.7%	11.0%	41.8%	6.5%	100.0%

（4）BSプレミアム

時間					割合				
教養	教育	報道	娯楽	計	教養	教育	報道	娯楽	計
時分 4374:30	時分 1082:54	時分 190:27	時分 3112:09	時分 8760:00	49.9%	12.4%	2.2%	35.5%	100.0%

（5）BS 4 K

時間					割合				
教養	教育	報道	娯楽	計	教養	教育	報道	娯楽	計
時分 3593:35	時分 539:31	時分 701:16	時分 1852:26	時分 6686:48	53.7%	8.1%	10.5%	27.7%	100.0%

（6）BS 8 K

時間					割合				
教養	教育	報道	娯楽	計	教養	教育	報道	娯楽	計
時分 2533:15	時分 631:24	時分 298:05	時分 1027:23	時分 4490:07	56.4%	14.1%	6.6%	22.9%	100.0%

（7）ラジオ第１放送（東京）

時間					割合				
教養	教育	報道	娯楽	計	教養	教育	報道	娯楽	計
時分 1942:30	時分 298:11	時分 4694:18	時分 1825:01	時分 8760:00	22.2%	3.4%	53.6%	20.8%	100.0%

（8）ラジオ第２放送（東京）

時間					割合				
教養	教育	報道	娯楽	計	教養	教育	報道	娯楽	計
時分 1131:15	時分 4683:28	時分 937:58	時分 0:00	時分 6752:41	16.8%	69.3%	13.9%	0.0%	100.0%

（9）ＦＭ放送（東京）

時間					割合				
教養	教育	報道	娯楽	計	教養	教育	報道	娯楽	計
時分 3475:20	時分 404:54	時分 1313:25	時分 3487:19	時分 8680:58	40.0%	4.7%	15.1%	40.2%	100.0%

（10）テレビジョン補完放送（独立データ）（東京）

ア．総合テレビジョン放送

	時間					割合				
	教養	教育	報道	娯楽	計	教養	教育	報道	娯楽	計
全国放送	時分 236:31	時分 289:05	時分 5790:22	時分 2444:02	時分 8760:00	2.7%	3.3%	66.1%	27.9%	100.0%
地域放送	0:00	0:00	8688:10	0:00	8688:10	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%

イ．教育テレビジョン放送

	時間					割合				
	教養	教育	報道	娯楽	計	教養	教育	報道	娯楽	計
全国放送	時分 1083:37	時分 5562:34	時分 577:56	時分 0:00	時分 7224:07	15.0%	77.0%	8.0%	0.0%	100.0%

（11）テレビジョン補完放送（携帯・移動端末向け）（東京）

〈ア〉総合テレビジョン放送（東京）の補完放送（携帯・移動端末向け）

1．映像・音声は総合テレビジョン放送（東京）と同じ。

2．データ放送の放送時間量は、総合テレビジョン放送（東京）と同じ。

〈イ〉教育テレビジョン放送（東京）の補完放送（携帯・移動端末向け）

1．映像・音声は教育テレビジョン放送（東京）と同じ。

2．データ放送の放送時間量は、教育テレビジョン放送（東京）と同じ。

（12）データ放送時間量

総合テレビジョン（東京）	独立型		（時分）	8688:10	BS 1	独立型	（時分）	8755:32
	連動型	双方向	（時分）	63:17		連動型	双方向 （時分）	0:00
		番組連動	（時分）	71:29			番組連動 （時分）	67:53
教育テレビジョン（東京）	独立型		（時分）	7224:07	BSプレミアム	独立型	（時分）	8760:00
	連動型	双方向	（時分）	49:03		連動型	双方向 （時分）	4:00
		番組連動	（時分）	549:43			番組連動 （時分）	33:06

（13）放送帯域に関する事項

ア．BS1で随時行うサービス

マルチ編成実施時間	（時分）	510:12
降雨対応放送〈階層変調〉実施時間	（時分）	231:35

イ．BSプレミアムで随時行うサービス

マルチ編成実施時間	（時分）	0:00
降雨対応放送〈階層変調〉実施時間	（時分）	231:05

ウ．BS４Kで随時行うサービス

降雨対応放送〈階層変調〉実施時間	（時分）	146:49

エ．BS８Kで随時行うサービス

降雨対応放送〈階層変調〉実施時間	（時分）	110:09

オ．テレビジョン放送の映像に使用した伝送容量の平均値

ＢＳ １	伝送容量	17.34Mbps
	日数	365日
ＢＳプレミアム	伝送容量	15.97Mbps
	日数	365日
ＢＳ４Ｋ	伝送容量	24.50Mbps
	日数	365日
ＢＳ８Ｋ	伝送容量	83.11Mbps
	日数	365日

❷国際放送番組部門別放送時間とその割合

時間				割合			
報道	インフォメーション（国情紹介）	娯楽	計	報道	インフォメーション（国情紹介）	娯楽	計
時分 16657:56	時分 6844:57	時分 64:37	時分 23567:30	70.7%	29.0%	0.3%	100.0%

❸放送局別放送時間

（1）テレビジョン放送

ア．総合テレビジョン放送

備考：全国放送欄の（　　）内は、自局編成放送時間

局名		全国放送	地域放送		総放送時間				
		時分	計	1日平均	教養	教育	報道	娯楽	計
本部（東京）		（7250:09） 7778:01	時分 910:09	時分 2:30	時分 2216:23	時分 872:51	時分 3957:58	時分 1640:58	時分 8688:10
部門別割合					25.5%	10.0%	45.6%	18.9%	100.0%
大阪拠点放送局		（394:03） 7705:45	1030:00	2:49	2216:17	883:08	3959:25	1676:55	8735:45
名古屋拠点放送局		（77:50） 7780:04	960:12	2:38	2178:58	906:54	3997:49	1656:35	8740:16
広島拠点放送局		（16:52） 7783:01	939:34	2:34	2245:05	892:20	3928:38	1656:32	8722:35
福岡拠点放送局		（13:01） 7796:24	923:36	2:32	2214:00	889:16	3967:36	1649:08	8720:00
仙台拠点放送局		（38:52） 7751:45	954:33	2:37	2230:34	889:08	3938:51	1647:45	8706:18
札幌拠点放送局		（50:52） 7740:57	988:34	2:43	2197:18	895:23	3980:56	1655:54	8729:31
松山拠点放送局		（4:26） 7852:29	865:47	2:22	2221:19	919:50	3922:37	1654:30	8718:16
拠点放送局	計	（595:56） 54410:25	6662:16	18:15	15503:31	6275:59	27695:52	11597:19	61072:41
	1局平均	（85:08） 7772:55	951:45	2:36	2214:47	896:34	3956:33	1656:46	8724:40
	部門別割合				25.4%	10.3%	45.3%	19.0%	100.0%
長野放送局		（2:36） 7855:26	874:49	2:24	2253:37	897:11	3931:32	1647:55	8730:15
新潟放送局		（2:47） 7882:18	848:35	2:19	2261:20	897:40	3922:25	1649:28	8730:53
甲府放送局		（0:47） 7891:05	852:02	2:20	2268:00	902:17	3923:35	1649:15	8743:07
前橋放送局		（1:47） 7748:41	935:59	2:34	2215:04	871:28	3958:09	1639:59	8684:40
水戸放送局		（0:42） 7734:37	942:02	2:35	2207:36	866:35	3961:47	1640:41	8676:39
宇都宮放送局		（1:24） 7746:28	933:56	2:34	2213:15	869:24	3956:57	1640:48	8680:24
京都放送局		（8:23） 7705:00	1030:22	2:49	2218:05	880:54	3956:40	1679:43	8735:22
神戸放送局		（0:35） 7706:43	1027:00	2:49	2218:37	881:21	3955:09	1678:36	8733:43
和歌山放送局		（7:22） 7708:07	1024:45	2:48	2218:58	879:21	3955:26	1679:07	8732:52
奈良放送局		（6:22） 7682:05	1024:19	2:48	2201:03	871:42	3958:50	1674:49	8706:24
大津放送局		（0:55） 7701:54	1029:54	2:49	2216:10	879:20	3956:39	1679:39	8731:48
金沢放送局		（0:19） 7807:43	922:49	2:32	2180:43	899:38	3996:03	1654:08	8730:32
静岡放送局		（2:19） 7756:24	947:01	2:36	2159:11	896:07	3990:54	1657:13	8703:25
福井放送局		（0:23） 7770:42	934:32	2:34	2167:31	894:17	3982:50	1660:36	8705:14
富山放送局		（0:27） 7821:18	912:34	2:30	2184:58	902:36	3992:31	1653:47	8733:52
津放送局		（2:04） 7769:44	966:41	2:39	2180:17	905:03	3996:56	1654:09	8736:25

局名	全国放送	地域放送		総放送時間				
	時分	計	1日平均	教養	教育	報道	娯楽	計
岐阜放送局	(0:58) 7755:41	時分 972:39	時分 2:40	時分 2172:52	時分 903:02	時分 3996:46	時分 1655:40	時分 8728:20
岡山放送局	(3:08) 7846:28	868:07	2:23	2246:03	895:17	3917:24	1655:51	8714:35
松江放送局	(1:13) 7832:38	889:05	2:26	2246:46	899:41	3922:55	1652:21	8721:43
鳥取放送局	(0:51) 7859:41	876:43	2:24	2258:07	906:05	3918:45	1653:27	8736:24
山口放送局	(1:16) 7826:05	890:34	2:26	2244:37	896:14	3922:35	1653:13	8716:39
熊本放送局	(1:35) 7843:40	897:56	2:28	2231:27	896:08	3965:29	1648:32	8741:36
北九州放送局	(0:53) 7799:37	932:12	2:33	2223:39	889:32	3968:23	1650:15	8731:49
長崎放送局	(2:48) 7809:34	903:03	2:28	2230:39	885:09	3948:34	1648:15	8712:37
鹿児島放送局	(1:10) 7833:28	906:09	2:29	2223:55	897:08	3971:06	1647:28	8739:37
宮崎放送局	(2:01) 7821:43	906:48	2:29	2221:35	891:02	3967:26	1648:28	8728:31
大分放送局	(0:08) 7835:50	898:57	2:28	2228:26	894:16	3963:17	1648:48	8734:47
佐賀放送局	(1:28) 7837:33	904:29	2:29	2230:31	898:31	3961:54	1651:06	8742:02
沖縄放送局	(31:40) 7772:26	936:03	2:34	2222:41	880:01	3949:25	1656:22	8708:29
秋田放送局	(1:03) 7772:46	936:55	2:34	2241:45	889:56	3935:24	1642:36	8709:41
山形放送局	(0:30) 7790:18	936:15	2:34	2251:41	900:32	3928:37	1645:43	8726:33
盛岡放送局	(21:15) 7797:03	928:03	2:33	2244:25	900:34	3938:05	1642:02	8725:06
福島放送局	(10:18) 7804:37	931:55	2:33	2252:20	903:52	3934:22	1645:58	8736:32
青森放送局	(1:09) 7801:44	932:28	2:33	2255:20	902:12	3934:35	1642:05	8734:12
函館放送局	(0:00) 7752:22	991:10	2:43	2205:01	901:34	3980:42	1656:15	8743:32
旭川放送局	(0:00) 7749:41	989:45	2:43	2203:25	898:37	3980:37	1656:47	8739:26
帯広放送局	(0:00) 7750:45	988:56	2:43	2203:11	899:20	3980:53	1656:17	8739:41
釧路放送局	(0:00) 7752:29	990:06	2:43	2204:38	901:01	3980:39	1656:17	8742:35
北見放送局	(0:00) 7747:00	989:11	2:43	2201:12	898:18	3980:54	1655:47	8736:11
室蘭放送局	(0:00) 7745:49	988:53	2:43	2200:10	897:31	3980:44	1656:17	8734:42
高知放送局	(1:01) 7875:24	860:33	2:21	2235:29	923:20	3921:01	1656:07	8735:57
徳島放送局	(0:36) 7860:27	856:49	2:21	2224:32	919:26	3920:29	1652:49	8717:16
高松放送局	(2:27) 7882:12	840:46	2:18	2227:30	921:22	3917:10	1656:56	8722:58
放送局 計	(126:40) 335045:16	40151:50	110:00	95496:22	38484:35	170084:34	71131:35	375197:06
放送局 1局平均	(2:57) 7791:45	933:46	2:33	2220:51	894:59	3955:27	1654:13	8725:31
放送局 部門別割合				25.4%	10.3%	45.3%	19.0%	100.0%

（総合テレビジョン放送）

①マルチ編成実施時間

局名	時間	局名	時間
	時分		時分
本部（東京）	36:28	松江放送局	44:05
大阪拠点放送局	45:59	鳥取放送局	36:55
名古屋拠点放送局	43:56	山口放送局	45:41
広島拠点放送局	55:40	熊本放送局	47:57
福岡拠点放送局	47:47	北九州放送局	50:56
仙台拠点放送局	44:17	長崎放送局	46:51
札幌拠点放送局	46:12	鹿児島放送局	46:51
松山拠点放送局	34:59	宮崎放送局	46:51
長野放送局	38:10	大分放送局	46:51
新潟放送局	36:40	佐賀放送局	46:51
甲府放送局	37:15	沖縄放送局	47:57
前橋放送局	37:29	秋田放送局	36:45
水戸放送局	36:44	山形放送局	41:00
宇都宮放送局	36:28	盛岡放送局	39:31
京都放送局	41:32	福島放送局	36:45
神戸放送局	41:58	青森放送局	39:31
和歌山放送局	41:32	函館放送局	46:12
奈良放送局	41:32	旭川放送局	46:12
大津放送局	43:37	帯広放送局	46:12
金沢放送局	35:59	釧路放送局	46:12
静岡放送局	37:45	北見放送局	46:12
福井放送局	35:59	室蘭放送局	46:12
富山放送局	37:16	高知放送局	35:59
津放送局	43:56	徳島放送局	34:59
岐阜放送局	43:56	高松放送局	35:59
岡山放送局	37:46		

②データ放送時間量

局名	型		時間 時分	局名	型		時間 時分
	独立型		8688:10	岡山放送局	連動型	双方向	98:00
						番組連動	71:29
本部(東京)	連動型	双方向	63:17	松江放送局	連動型	双方向	99:08
		番組連動	71:29			番組連動	71:29
大阪拠点放送局	連動型	双方向	64:06	鳥取放送局	連動型	双方向	97:37
		番組連動	71:29			番組連動	71:29
名古屋拠点放送局	連動型	双方向	73:15	山口放送局	連動型	双方向	73:35
		番組連動	134:45			番組連動	71:29
広島拠点放送局	連動型	双方向	113:50	熊本放送局	連動型	双方向	64:06
		番組連動	71:29			番組連動	76:22
福岡拠点放送局	連動型	双方向	85:38	北九州放送局	連動型	双方向	64:46
		番組連動	82:35			番組連動	82:35
仙台拠点放送局	連動型	双方向	64:06	長崎放送局	連動型	双方向	112:08
		番組連動	71:29			番組連動	76:22
札幌拠点放送局	連動型	双方向	64:06	鹿児島放送局	連動型	双方向	64:06
		番組連動	70:30			番組連動	76:22
松山拠点放送局	連動型	双方向	98:14	宮崎放送局	連動型	双方向	64:06
		番組連動	73:34			番組連動	76:22
長野放送局	連動型	双方向	80:49	大分放送局	連動型	双方向	64:06
		番組連動	71:29			番組連動	76:22
新潟放送局	連動型	双方向	64:06	佐賀放送局	連動型	双方向	118:51
		番組連動	71:29			番組連動	76:22
甲府放送局	連動型	双方向	64:06	沖縄放送局	連動型	双方向	77:49
		番組連動	71:29			番組連動	78:26
前橋放送局	連動型	双方向	63:17	秋田放送局	連動型	双方向	64:06
		番組連動	71:29			番組連動	71:29
水戸放送局	連動型	双方向	93:59	山形放送局	連動型	双方向	64:06
		番組連動	71:29			番組連動	71:29
宇都宮放送局	連動型	双方向	63:17	盛岡放送局	連動型	双方向	64:06
		番組連動	71:29			番組連動	71:29
京都放送局	連動型	双方向	64:06	福島放送局	連動型	双方向	64:06
		番組連動	71:29			番組連動	71:29
神戸放送局	連動型	双方向	64:06	青森放送局	連動型	双方向	64:06
		番組連動	71:29			番組連動	71:29
和歌山放送局	連動型	双方向	64:06	函館放送局	連動型	双方向	64:06
		番組連動	71:29			番組連動	70:30
奈良放送局	連動型	双方向	64:06	旭川放送局	連動型	双方向	64:06
		番組連動	71:29			番組連動	70:30
大津放送局	連動型	双方向	68:24	帯広放送局	連動型	双方向	64:06
		番組連動	71:29			番組連動	70:30
金沢放送局	連動型	双方向	72:38	釧路放送局	連動型	双方向	64:06
		番組連動	133:18			番組連動	70:30
静岡放送局	連動型	双方向	72:38	北見放送局	連動型	双方向	64:06
		番組連動	122:37			番組連動	70:30
福井放送局	連動型	双方向	72:38	室蘭放送局	連動型	双方向	64:06
		番組連動	134:21			番組連動	70:30
富山放送局	連動型	双方向	101:16	高知放送局	連動型	双方向	64:06
		番組連動	134:45			番組連動	71:29
津放送局	連動型	双方向	73:15	徳島放送局	連動型	双方向	64:06
		番組連動	122:37			番組連動	71:29
岐阜放送局	連動型	双方向	73:15	高松放送局	連動型	双方向	64:06
		番組連動	122:37			番組連動	71:29

イ．教育テレビジョン放送

局名		全国放送 時分	地域放送		総放送時間				
			計	1日平均	教養	教育	報道	娯楽	計
本部（東京）		(6853:41) 7217:50	時分 6:17	時分 0:01	時分 1536:40	時分 5447:42	時分 239:45	時分 0:00	時分 7224:07
部門別割合					21.3%	75.4%	3.3%	0.0%	100.0%
大阪拠点放送局		(268:21) 7216:19	10:34	0:02	1538:10	5448:19	240:24	0:00	7226:53
名古屋拠点放送局		(36:45) 7213:59	12:18	0:02	1537:17	5448:23	240:37	0:00	7226:17
広島拠点放送局		(1:20) 7218:01	6:52	0:01	1536:53	5448:16	239:44	0:00	7224:53
福岡拠点放送局		(1:24) 7218:16	6:37	0:01	1536:52	5447:34	240:27	0:00	7224:53
仙台拠点放送局		(0:06) 7197:25	27:20	0:04	1537:25	5442:02	245:18	0:00	7224:45
札幌拠点放送局		(1:26) 7206:25	18:03	0:03	1534:43	5446:00	243:45	0:00	7224:28
松山拠点放送局		(9:34) 7212:48	10:35	0:02	1535:23	5447:44	240:16	0:00	7223:23
拠点放送局	計	(318:56) 50483:13	92:19	0:15	10756:43	38128:18	1690:31	0:00	50575:32
	1局平均	(45:34) 7211:53	13:11	0:02	1536:40	5446:54	241:30	0:00	7225:05
	部門別割合				21.3%	75.4%	3.3%	0.0%	100.0%
長野放送局		(1:35) 7221:57	1:26	0:00	1536:46	5447:53	238:44	0:00	7223:23
新潟放送局		(0:00) 7222:17	1:56	0:00	1536:42	5448:45	238:46	0:00	7224:13
甲府放送局		(0:00) 7223:18	0:05	0:00	1536:46	5448:21	238:16	0:00	7223:23
金沢放送局		(0:00) 7214:15	11:02	0:02	1536:21	5448:27	240:29	0:00	7225:17
静岡放送局		(0:00) 7216:42	7:35	0:01	1537:07	5446:54	240:16	0:00	7224:17
福井放送局		(0:00) 7220:58	2:49	0:00	1536:54	5448:08	238:45	0:00	7223:47
富山放送局		(0:00) 7219:16	4:31	0:01	1536:54	5447:43	239:10	0:00	7223:47
岡山放送局		(0:00) 7219:14	4:09	0:01	1536:18	5447:56	239:09	0:00	7223:23
松江放送局		(0:00) 7219:47	3:36	0:01	1536:29	5447:43	239:11	0:00	7223:23
鳥取放送局		(0:00) 7219:34	3:49	0:01	1536:25	5447:54	239:04	0:00	7223:23
山口放送局		(0:00) 7219:26	3:57	0:01	1536:34	5448:00	238:49	0:00	7223:23
熊本放送局		(0:00) 7223:07	0:16	0:00	1536:44	5448:21	238:18	0:00	7223:23
北九州放送局		(0:00) 7218:16	6:37	0:01	1536:52	5447:34	240:27	0:00	7224:53
長崎放送局		(0:40) 7222:54	0:29	0:00	1536:44	5448:20	238:19	0:00	7223:23
鹿児島放送局		(0:00) 7220:59	2:24	0:00	1535:28	5448:38	239:17	0:00	7223:23
宮崎放送局		(0:00) 7218:11	6:42	0:01	1536:59	5447:32	240:22	0:00	7224:53
大分放送局		(0:56) 7219:57	3:26	0:01	1536:00	5447:56	239:27	0:00	7223:23
佐賀放送局		(0:00) 7221:51	3:02	0:00	1535:59	5450:10	238:44	0:00	7224:53
沖縄放送局		(0:00) 7202:26	19:27	0:03	1546:28	5434:29	240:56	0:00	7221:53
秋田放送局		(0:00) 7200:02	23:21	0:04	1533:21	5445:30	244:32	0:00	7223:23
山形放送局		(0:00) 7200:16	23:07	0:04	1534:08	5444:23	244:52	0:00	7223:23
盛岡放送局		(0:06) 7198:54	24:23	0:04	1533:30	5444:59	244:48	0:00	7223:17

局名		全国放送	地域放送		総放送時間				
		時分	計	1日平均	教養	教育	報道	娯楽	計
福島放送局		(1:04) 7202:35	時分 21:48	時分 0:04	時分 1533:35	時分 5446:42	時分 244:06	時分 0:00	時分 7224:23
青森放送局		(0:00) 7198:14	25:09	0:04	1532:53	5445:39	244:51	0:00	7223:23
函館放送局		(0:00) 7206:25	18:03	0:03	1534:43	5446:00	243:45	0:00	7224:28
旭川放送局		(0:00) 7206:25	18:03	0:03	1534:43	5446:00	243:45	0:00	7224:28
帯広放送局		(0:00) 7206:25	18:03	0:03	1534:43	5446:00	243:45	0:00	7224:28
釧路放送局		(0:28) 7206:25	18:03	0:03	1534:43	5446:00	243:45	0:00	7224:28
北見放送局		(0:00) 7206:25	18:03	0:03	1534:43	5446:00	243:45	0:00	7224:28
室蘭放送局		(0:00) 7206:25	18:03	0:03	1534:43	5446:00	243:45	0:00	7224:28
高知放送局		(0:00) 7217:02	6:21	0:01	1535:21	5447:15	240:47	0:00	7223:23
徳島放送局		(0:00) 7220:07	3:16	0:01	1537:03	5447:33	238:47	0:00	7223:23
高松放送局		(0:00) 7222:07	1:16	0:00	1536:46	5448:06	238:31	0:00	7223:23
放送局	計	(4:49) 238062:12	324:17	0:54	50689:25	179746:51	7950:13	0:00	238386:29
	1局平均	(0:09) 7214:00	9:50	0:02	1536:03	5446:52	240:55	0:00	7223:50
	部門別割合				21.3%	75.4%	3.3%	0.0%	100.0%

(教育テレビジョン放送)

①マルチ編成実施時間

局名	時間	局名	時間
	時分		時分
本部(東京)	332:25	長崎放送局	330:18
大阪拠点放送局	330:18	鹿児島放送局	330:18
名古屋拠点放送局	333:05	宮崎放送局	330:18
広島拠点放送局	330:18	大分放送局	330:18
福岡拠点放送局	330:18	佐賀放送局	330:18
仙台拠点放送局	329:47	沖縄放送局	330:18
札幌拠点放送局	330:18	秋田放送局	329:17
松山拠点放送局	330:18	山形放送局	330:17
長野放送局	330:18	盛岡放送局	330:17
新潟放送局	330:18	福島放送局	330:17
甲府放送局	330:18	青森放送局	330:17
金沢放送局	330:44	函館放送局	330:18
静岡放送局	330:18	旭川放送局	330:18
福井放送局	330:18	帯広放送局	330:18
富山放送局	330:18	釧路放送局	330:18
岡山放送局	330:18	北見放送局	330:18
松江放送局	330:18	室蘭放送局	330:18
鳥取放送局	330:18	高知放送局	330:18
山口放送局	330:18	徳島放送局	330:18
熊本放送局	330:18	高松放送局	330:18
北九州放送局	330:18		

②データ放送時間量

局名	型		時間 時分	局名	型		時間 時分
	独立型		7224:07	北九州放送局	連動型	双方向	49:03
						番組連動	549:43
本部(東京)	連動型	双方向	49:03	長崎放送局	連動型	双方向	49:03
		番組連動	549:43			番組連動	549:43
大阪拠点放送局	連動型	双方向	49:03	鹿児島放送局	連動型	双方向	49:03
		番組連動	549:43			番組連動	549:43
名古屋拠点放送局	連動型	双方向	49:03	宮崎放送局	連動型	双方向	49:03
		番組連動	549:43			番組連動	549:43
広島拠点放送局	連動型	双方向	49:03	大分放送局	連動型	双方向	48:28
		番組連動	549:43			番組連動	549:03
福岡拠点放送局	連動型	双方向	49:03	佐賀放送局	連動型	双方向	49:03
		番組連動	549:43			番組連動	549:43
仙台拠点放送局	連動型	双方向	49:03	沖縄放送局	連動型	双方向	49:03
		番組連動	549:23			番組連動	549:43
札幌拠点放送局	連動型	双方向	49:03	秋田放送局	連動型	双方向	49:03
		番組連動	549:43			番組連動	549:23
松山拠点放送局	連動型	双方向	49:03	山形放送局	連動型	双方向	49:03
		番組連動	549:43			番組連動	549:23
長野放送局	連動型	双方向	49:03	盛岡放送局	連動型	双方向	49:03
		番組連動	549:43			番組連動	549:23
新潟放送局	連動型	双方向	49:03	福島放送局	連動型	双方向	49:03
		番組連動	549:43			番組連動	549:23
甲府放送局	連動型	双方向	49:03	青森放送局	連動型	双方向	49:03
		番組連動	549:43			番組連動	549:23
金沢放送局	連動型	双方向	49:03	函館放送局	連動型	双方向	49:03
		番組連動	549:43			番組連動	549:43
静岡放送局	連動型	双方向	49:03	旭川放送局	連動型	双方向	49:03
		番組連動	549:43			番組連動	549:43
福井放送局	連動型	双方向	49:03	帯広放送局	連動型	双方向	49:03
		番組連動	549:43			番組連動	549:43
富山放送局	連動型	双方向	49:03	釧路放送局	連動型	双方向	49:03
		番組連動	549:43			番組連動	549:43
岡山放送局	連動型	双方向	49:03	北見放送局	連動型	双方向	49:03
		番組連動	549:43			番組連動	549:43
松江放送局	連動型	双方向	49:03	室蘭放送局	連動型	双方向	49:03
		番組連動	549:43			番組連動	549:43
鳥取放送局	連動型	双方向	49:03	高知放送局	連動型	双方向	49:03
		番組連動	549:43			番組連動	549:43
山口放送局	連動型	双方向	49:03	徳島放送局	連動型	双方向	49:03
		番組連動	549:43			番組連動	549:43
熊本放送局	連動型	双方向	49:03	高松放送局	連動型	双方向	49:03
		番組連動	549:43			番組連動	549:43

（2）テレビジョン補完放送

ア．総合テレビジョン放送

（字幕・ステレオ・二か国・解説）

備考：割合は対総放送時間

局名	時間						割合			
	字幕	ステレオ	二か国語	解説	計	1日平均	字幕	ステレオ	二か国語	解説
本部(東京)	時分 6859:00	時分 5436:57	時分 805:14	時分 1263:30	時分 14364:41	時分 35:07	78.9%	62.6%	9.3%	14.5%
大阪拠点放送局	6547:11	5602:13	801:41	1250:52	14201:57	34:43	74.9%	64.1%	9.2%	14.3%
名古屋拠点放送局	6535:43	5621:41	803:01	1276:31	14236:56	34:45	74.8%	64.3%	9.2%	14.6%
広島拠点放送局	6573:16	5647:47	799:18	1263:00	14283:21	34:55	75.4%	64.7%	9.2%	14.5%
福岡拠点放送局	6588:07	5623:39	800:06	1275:02	14286:54	34:54	75.6%	64.5%	9.2%	14.6%
仙台拠点放送局	6528:24	5593:00	797:55	1245:16	14164:35	34:39	75.0%	64.2%	9.2%	14.3%
札幌拠点放送局	6521:00	5820:48	794:38	1254:25	14390:51	35:15	74.7%	66.7%	9.1%	14.4%
松山拠点放送局	6600:21	5638:34	803:06	1278:47	14320:48	34:58	75.7%	64.7%	9.2%	14.7%
長野放送局	6552:03	5537:11	804:16	1281:50	14175:20	34:34	75.0%	63.4%	9.2%	14.7%
新潟放送局	6530:21	5539:24	804:47	1280:03	14154:35	34:30	74.8%	63.4%	9.2%	14.7%
甲府放送局	6588:52	5551:23	804:18	1283:38	14228:11	34:42	75.4%	63.5%	9.2%	14.7%
前橋放送局	6773:24	5432:44	805:14	1262:45	14274:07	34:53	78.0%	62.6%	9.3%	14.5%
水戸放送局	6593:33	5426:43	805:14	1262:45	14088:15	34:22	76.0%	62.5%	9.3%	14.6%
宇都宮放送局	6767:20	5428:45	805:14	1263:01	14264:20	34:51	78.0%	62.5%	9.3%	14.6%
京都放送局	6378:29	5598:18	801:44	1248:43	14027:14	34:15	73.0%	64.1%	9.2%	14.3%
神戸放送局	6380:31	5601:23	801:53	1249:00	14032:47	34:16	73.1%	64.1%	9.2%	14.3%
和歌山放送局	6380:20	5600:22	802:09	1251:38	14034:29	34:16	73.1%	64.1%	9.2%	14.3%
奈良放送局	6379:34	5574:07	802:09	1251:21	14007:11	34:11	73.3%	64.0%	9.2%	14.4%
大津放送局	6375:22	5598:01	802:09	1251:00	14026:32	34:14	73.0%	64.1%	9.2%	14.3%
金沢放送局	6301:08	5607:24	805:14	1280:10	13993:56	34:04	72.2%	64.2%	9.2%	14.7%
静岡放送局	6269:18	5564:48	803:03	1277:08	13914:17	33:52	72.0%	63.9%	9.2%	14.7%
福井放送局	6304:07	5582:12	805:15	1281:27	13973:01	34:00	72.4%	64.1%	9.3%	14.7%
富山放送局	6302:16	5612:21	805:14	1280:56	14000:47	34:05	72.2%	64.3%	9.2%	14.7%
津放送局	6418:58	5707:57	803:01	1274:07	14204:03	34:40	73.5%	65.3%	9.2%	14.6%
岐阜放送局	6419:15	5586:52	803:01	1275:01	14084:09	34:20	73.5%	64.0%	9.2%	14.6%
岡山放送局	6359:43	5641:29	805:56	1278:55	14086:03	34:19	73.0%	64.7%	9.2%	14.7%
松江放送局	6343:54	5646:49	803:29	1276:00	14070:12	34:17	72.7%	64.7%	9.2%	14.6%
鳥取放送局	6355:40	5661:30	805:56	1278:12	14101:18	34:22	72.7%	64.8%	9.2%	14.6%
山口放送局	6352:04	5639:30	806:24	1273:40	14071:38	34:18	72.9%	64.7%	9.3%	14.6%
熊本放送局	6348:08	5841:58	805:11	1276:55	14272:12	34:50	72.6%	66.8%	9.2%	14.6%
北九州放送局	6408:09	5635:28	800:06	1274:17	14118:00	34:26	73.4%	64.5%	9.2%	14.6%
長崎放送局	6349:23	5582:10	804:56	1273:02	14009:31	34:08	72.9%	64.1%	9.2%	14.6%
鹿児島放送局	6339:42	5823:39	804:00	1275:33	14242:54	34:46	72.5%	66.6%	9.2%	14.6%

局名	時間						割合			
	字幕	ステレオ	二か国語	解説	計	1日平均	字幕	ステレオ	二か国語	解説
	時分	時分	時分	時分	時分	時分				
宮崎放送局	6334:34	5598:59	805:11	1275:44	14014:28	34:08	72.6%	64.1%	9.2%	14.6%
大分放送局	6344:39	5603:32	800:52	1278:36	14027:39	34:10	72.6%	64.2%	9.2%	14.6%
佐賀放送局	6340:59	5637:51	802:45	1278:27	14060:02	34:15	72.5%	64.5%	9.2%	14.6%
沖縄放送局	6328:09	5579:42	805:11	1267:59	13981:01	34:04	72.7%	64.1%	9.2%	14.6%
秋田放送局	6282:57	5596:23	801:29	1249:05	13929:54	33:59	72.1%	64.3%	9.2%	14.3%
山形放送局	6282:41	5611:49	802:12	1250:10	13946:52	34:01	72.0%	64.3%	9.2%	14.3%
盛岡放送局	6290:19	5611:34	802:07	1249:20	13953:20	34:03	72.1%	64.3%	9.2%	14.3%
福島放送局	6290:53	5621:20	802:26	1247:54	13962:33	34:04	72.0%	64.3%	9.2%	14.3%
青森放送局	6286:05	5621:10	802:31	1248:33	13958:19	34:04	72.0%	64.4%	9.2%	14.3%
函館放送局	6519:42	5815:06	794:38	1253:15	14382:41	35:14	74.6%	66.5%	9.1%	14.3%
旭川放送局	6520:56	5811:00	794:38	1254:25	14380:59	35:13	74.6%	66.5%	9.1%	14.4%
帯広放送局	6520:40	5810:55	794:38	1254:25	14380:38	35:13	74.6%	66.5%	9.1%	14.4%
釧路放送局	6520:24	5813:49	794:38	1254:25	14383:16	35:14	74.6%	66.5%	9.1%	14.3%
北見放送局	6521:00	5807:45	794:38	1254:25	14377:48	35:13	74.6%	66.5%	9.1%	14.4%
室蘭放送局	6520:57	5825:59	794:38	1254:25	14395:59	35:16	74.7%	66.7%	9.1%	14.4%
高知放送局	6350:11	5648:55	802:36	1279:41	14081:23	34:19	72.7%	64.7%	9.2%	14.6%
徳島放送局	6351:01	5633:09	803:02	1278:34	14065:46	34:16	72.9%	64.6%	9.2%	14.7%
高松放送局	6359:17	5638:23	803:02	1281:38	14082:20	34:18	72.9%	64.6%	9.2%	14.7%

イ．教育テレビジョン放送

（字幕・ステレオ・二か国・解説）　　備考：割合は対総放送時間

局名	時間						割合			
	字幕	ステレオ	二か国語	解説	計	1日平均	字幕	ステレオ	二か国語	解説
	時分	時分	時分	時分	時分	時分				
本部（東京）	5585:45	7076:53	353:29	1316:56	14333:03	34:42	77.3%	98.0%	4.9%	18.2%
大阪拠点放送局	5583:29	7079:39	354:18	1316:13	14333:39	34:42	77.3%	98.0%	4.9%	18.2%
名古屋拠点放送局	5581:34	7079:03	354:18	1316:13	14331:08	34:42	77.2%	98.0%	4.9%	18.2%
広島拠点放送局	5581:57	7077:39	353:02	1316:29	14329:07	34:42	77.3%	98.0%	4.9%	18.2%
福岡拠点放送局	5585:07	7077:39	354:18	1317:11	14334:15	34:42	77.3%	98.0%	4.9%	18.2%
仙台拠点放送局	5580:41	7077:26	353:31	1315:19	14326:57	34:41	77.2%	98.0%	4.9%	18.2%
札幌拠点放送局	5572:50	7077:14	353:56	1315:19	14319:19	34:40	77.1%	98.0%	4.9%	18.2%
松山拠点放送局	5579:03	7076:09	353:30	1315:59	14324:41	34:41	77.2%	98.0%	4.9%	18.2%
長野放送局	5583:07	7076:09	354:18	1317:11	14330:45	34:42	77.3%	98.0%	4.9%	18.2%
新潟放送局	5584:21	7076:59	354:18	1317:11	14332:49	34:42	77.3%	98.0%	4.9%	18.2%
甲府放送局	5584:31	7076:09	354:18	1317:11	14332:09	34:42	77.3%	98.0%	4.9%	18.2%
金沢放送局	5580:39	7078:03	354:18	1316:13	14329:13	34:41	77.2%	98.0%	4.9%	18.2%
静岡放送局	5580:30	7077:03	352:52	1315:43	14326:08	34:41	77.2%	98.0%	4.9%	18.2%
福井放送局	5583:08	7076:33	354:18	1316:42	14330:41	34:42	77.3%	98.0%	4.9%	18.2%

局名	時間						割合			
	字幕	ステレオ	二か国語	解説	計	1日平均	字幕	ステレオ	二か国語	解説
富山放送局	時分 5582:18	時分 7076:33	時分 354:18	時分 1316:42	時分 14329:51	時分 34:41	77.3%	98.0%	4.9%	18.2%
岡山放送局	5580:34	7076:09	353:50	1316:53	14327:26	34:41	77.3%	98.0%	4.9%	18.2%
松江放送局	5581:20	7076:09	352:24	1317:41	14327:34	34:41	77.3%	98.0%	4.9%	18.2%
鳥取放送局	5581:48	7076:09	353:50	1316:57	14328:44	34:41	77.3%	98.0%	4.9%	18.2%
山口放送局	5582:21	7076:09	353:50	1317:41	14330:01	34:41	77.3%	98.0%	4.9%	18.2%
熊本放送局	5584:31	7076:09	354:18	1317:11	14332:09	34:42	77.3%	98.0%	4.9%	18.2%
北九州放送局	5585:07	7077:39	354:18	1317:11	14334:15	34:42	77.3%	98.0%	4.9%	18.2%
長崎放送局	5584:31	7076:09	354:18	1317:11	14332:09	34:42	77.3%	98.0%	4.9%	18.2%
鹿児島放送局	5583:04	7076:09	354:18	1315:24	14328:55	34:42	77.3%	98.0%	4.9%	18.2%
宮崎放送局	5582:19	7077:39	354:18	1316:42	14330:58	34:42	77.3%	98.0%	4.9%	18.2%
大分放送局	5582:19	7076:09	353:55	1317:11	14329:34	34:41	77.3%	98.0%	4.9%	18.2%
佐賀放送局	5585:08	7077:39	354:18	1316:28	14333:33	34:42	77.3%	98.0%	4.9%	18.2%
沖縄放送局	5573:16	7074:39	352:04	1315:51	14315:50	34:40	77.2%	98.0%	4.9%	18.2%
秋田放送局	5578:51	7076:04	354:41	1313:57	14323:33	34:41	77.2%	98.0%	4.9%	18.2%
山形放送局	5578:30	7076:04	353:31	1315:44	14323:49	34:41	77.2%	98.0%	4.9%	18.2%
盛岡放送局	5578:41	7075:58	353:31	1313:14	14321:24	34:41	77.2%	98.0%	4.9%	18.2%
福島放送局	5581:25	7077:04	353:31	1314:51	14326:51	34:41	77.3%	98.0%	4.9%	18.2%
青森放送局	5579:17	7076:04	353:31	1315:15	14324:07	34:41	77.2%	98.0%	4.9%	18.2%
函館放送局	5572:50	7077:14	353:56	1315:19	14319:19	34:40	77.1%	98.0%	4.9%	18.2%
旭川放送局	5572:50	7077:14	353:56	1315:19	14319:19	34:40	77.1%	98.0%	4.9%	18.2%
帯広放送局	5572:50	7077:14	353:56	1315:19	14319:19	34:40	77.1%	98.0%	4.9%	18.2%
釧路放送局	5572:50	7077:14	353:56	1315:19	14319:19	34:40	77.1%	98.0%	4.9%	18.2%
北見放送局	5572:50	7077:14	353:56	1315:19	14319:19	34:40	77.1%	98.0%	4.9%	18.2%
室蘭放送局	5572:50	7077:14	353:56	1315:19	14319:19	34:40	77.1%	98.0%	4.9%	18.2%
高知放送局	5579:12	7076:09	352:52	1316:21	14324:34	34:41	77.2%	98.0%	4.9%	18.2%
徳島放送局	5584:32	7076:09	354:18	1316:42	14331:41	34:42	77.3%	98.0%	4.9%	18.2%
高松放送局	5584:06	7076:09	354:18	1317:11	14331:44	34:42	77.3%	98.0%	4.9%	18.2%

○総合テレビジョン放送（東京）

時間				割合			
字幕	ステレオ	二か国語	解説	字幕	ステレオ	二か国語	解説
時間 分 6859:00	時間 分 5436:57 （うちステレオ二か国） 285:30 （うちステレオ解説） 1258:35 （うち5.1※） 122:00	時間 分 805:14 （うちステレオ二か国） 285:30	時間 分 1263:30 （うちステレオ解説） 1258:35	78.9%	62.6%	9.3%	14.5%

○教育テレビジョン放送（東京）

時間				割合			
字幕	ステレオ	二か国語	解説	字幕	ステレオ	二か国語	解説
時間 分 5585:45	時間 分 7076:53 （うちステレオ二か国） 349:54 （うちステレオ解説） 1316:56 （うち5.1※） 125:08	時間 分 353:29 （うちステレオ二か国） 349:54	時間 分 1316:56 （うちステレオ解説） 1316:56	77.3%	98.0%	4.9%	18.2%

ウ．BS1

時間				割合			
字幕	ステレオ	二か国語	解説	字幕	ステレオ	二か国語	解説
時間 分 3114:52	時間 分 6031:56 （うちステレオ二か国） 1240:07 （うちステレオ解説） 136:13 （うち5.1※１） 143:27 （うち5.1ステレオ） 1:59	時間 分 2730:13 （うちステレオ二か国） 1240:07	時間 分 136:13 （うちステレオ解説） 136:13	35.6%	68.9%	31.2%	1.6%

エ．BSプレミアム

時間				割合			
字幕	ステレオ	二か国語	解説	字幕	ステレオ	二か国語	解説
時間 分 5898:04	時間 分 8286:15 （うちステレオ二か国） 266:00 （うちステレオ解説） 548:12 （うち5.1※１） 284:05	時間 分 268:01 （うちステレオ二か国） 266:00	時間 分 552:39 （うちステレオ解説） 548:12	67.3%	94.6%	3.1%	6.3%

オ．BS４K

時間				割合			
字幕	ステレオ	二か国語	解説	字幕	ステレオ	二か国語	解説
時間 分 5116:37	時間 分 6686:38 （うちステレオ二か国） 895:38 （うちステレオ解説） 390:33 （うち5.1※１） 793:03 （うち22.2※４） 227:59 （うち5.1二か国※２） 14:05 （うち5.1解説※３） 175:27 （うち22.2解説※５） 10:12	時間 分 909:43 （うちステレオ二か国） 895:38 （うち5.1二か国※２） 14:05	時間 分 576:12 （うちステレオ解説） 390:33 （うち5.1解説※３） 175:27 （うち22.2解説※５） 10:12	76.5%	100.0%	13.6%	8.6%

※1　5.1＝5.1サラウンドステレオ，5.1サラウンドステレオ+ステレオ
※2　5.1二か国＝5.1サラウンドステレオ二か国+ステレオ二か国
※3　5.1解説＝5.1サラウンドステレオ+解説，5.1サラウンドステレオ+ステレオ解説
※4　22.2＝22.2マルチチャンネル
※5　22.2解説＝22.2マルチチャンネル+ステレオ解説

カ．BS 8 K

時間				割合			
字幕	ステレオ	二か国語	解説	字幕	ステレオ	二か国語	解説
時間 分 2767:23	時間 分 4490:07 （うちステレオ二か国） 2:01 （うちステレオ解説） 20:10 （うち5.1※ 1 ） 1222:44 （うち22.2※ 4 ） 2479:12 （うち5.1二か国※ 2 ） 14:40 （うち5.1解説※ 3 ） 237:14 （うち22.2解説※ 5 ） 139:56	時間 分 16:41 （うちステレオ二か国） 2:01 （うち5.1二か国※ 2 ） 14:40	時間 分 397:20 （うちステレオ解説） 20:10 （うち5.1解説※ 3 ） 237:14 （うち22.2解説※ 5 ） 139:56	61.6%	100.0%	0.4%	8.8%

※1　5.1＝5.1サラウンドステレオ，5.1サラウンドステレオ+ステレオ
※2　5.1二か国＝5.1サラウンドステレオ二か国+ステレオ二か国
※3　5.1解説＝5.1サラウンドステレオ+解説，5.1サラウンドステレオ+ステレオ解説
※4　22.2＝22.2マルチチャンネル
※5　22.2解説＝22.2マルチチャンネル+ステレオ解説

（3）音声放送

ア．ラジオ第 1 放送

局名		全国放送	地域放送		総放送時間				
		時分	計	1日平均	教養	教育	報道	娯楽	計
本部（東京）		（ 7597:36） 7865:56	時分 894:04	時分 2:27	時分 1942:30	時分 298:11	時分 4694:18	時分 1825:01	時分 8760:00
部門別割合					22.2%	3.4%	53.6%	20.8%	100.0%
大阪拠点放送局		（ 279:14） 7568:01	1128:35	3:06	1967:06	303:40	4670:07	1755:43	8696:36
名古屋拠点放送局		（ 4:10） 7912:06	800:06	2:12	1933:08	297:42	4621:55	1859:27	8712:12
広島拠点放送局		（ 5:48） 7864:24	803:59	2:12	1942:38	292:18	4570:41	1862:46	8668:23
福岡拠点放送局		（ 8:52） 7894:41	765:44	2:06	1892:51	318:58	4639:36	1809:00	8660:25
仙台拠点放送局		（ 2:42） 7926:37	797:32	2:11	1967:12	300:43	4604:43	1851:31	8724:09
札幌拠点放送局		（ 1:43） 7934:25	777:35	2:08	1940:41	303:40	4662:25	1805:14	8712:00
松山拠点放送局		（ 0:00） 7890:02	814:40	2:14	1973:22	310:53	4539:55	1880:32	8704:42
拠点放送局	計	（ 302:29） 54990:16	5888:11	16:08	13616:58	2127:54	32309:22	12824:13	60878:27
	1局平均	（ 43:13） 7855:45	841:10	2:18	1945:17	303:59	4615:37	1832:02	8696:55
	部門別割合				22.3%	3.5%	53.1%	21.1%	100.0%
長野放送局		（ 0:00） 7924:25	787:47	2:09	1944:35	300:44	4660:48	1806:05	8712:12
新潟放送局		（ 0:00） 7940:35	775:36	2:07	1938:36	304:59	4649:29	1823:07	8716:11
甲府放送局		（ 0:00） 7961:03	771:04	2:07	1937:16	303:01	4671:29	1820:21	8732:07
大津放送局		（ 0:00） 7596:35	1127:49	3:05	1973:38	303:40	4684:51	1762:15	8724:24
金沢放送局		（ 0:00） 7966:41	750:37	2:03	1937:35	305:03	4651:02	1823:38	8717:18
静岡放送局		（ 0:00） 7949:31	743:01	2:02	1938:26	301:05	4638:17	1814:44	8692:32
福井放送局		（ 0:00） 7992:25	747:40	2:03	1945:18	298:52	4673:10	1822:45	8740:05
富山放送局		（ 0:00） 7959:09	749:04	2:03	1939:38	300:49	4637:59	1829:47	8708:13

局名	全国放送	地域放送		総放送時間				
	時分	計	1日平均	教養	教育	報道	娯楽	計
岡山放送局	(0:00) 7873:35	時分 804:18	時分 2:12	時分 1943:20	時分 293:10	時分 4586:19	時分 1855:04	時分 8677:53
松江放送局	(0:00) 7851:15	806:43	2:13	1931:44	294:41	4590:11	1841:22	8657:58
鳥取放送局	(0:00) 7886:54	809:22	2:13	1939:29	296:23	4625:53	1834:31	8696:16
山口放送局	(0:00) 7909:39	806:32	2:13	1944:31	294:50	4634:00	1842:50	8716:11
熊本放送局	(0:00) 7965:26	778:38	2:08	1911:48	324:28	4680:18	1827:30	8744:04
北九州放送局	(0:00) 7960:03	772:00	2:07	1908:28	318:58	4682:00	1822:37	8732:03
長崎放送局	(1:30) 7897:52	786:28	2:09	1895:45	330:33	4646:08	1811:54	8684:20
鹿児島放送局	(5:09) 7944:57	779:12	2:08	1908:16	325:45	4670:07	1820:01	8724:09
宮崎放送局	(0:00) 7906:18	782:00	2:09	1898:17	328:27	4647:42	1813:52	8688:18
大分放送局	(0:00) 7962:44	765:24	2:06	1916:22	319:44	4660:46	1831:16	8728:08
佐賀放送局	(0:00) 7966:33	769:33	2:07	1911:59	322:26	4673:09	1828:32	8736:06
沖縄放送局	(0:00) 7923:03	786:42	2:09	1900:42	331:21	4660:31	1817:11	8709:45
秋田放送局	(0:00) 7896:59	815:13	2:14	1930:48	307:32	4609:16	1864:36	8712:12
山形放送局	(0:00) 7907:27	808:44	2:13	1939:14	300:16	4650:11	1826:30	8716:11
盛岡放送局	(0:00) 7880:51	835:20	2:17	1979:52	301:41	4568:37	1866:01	8716:11
福島放送局	(1:35) 7900:23	827:45	2:16	1940:47	301:26	4650:49	1835:06	8728:08
青森放送局	(1:46) 7941:38	786:30	2:09	1947:08	300:28	4641:31	1839:01	8728:08
函館放送局	(0:00) 7970:28	777:32	2:08	1949:05	303:40	4681:38	1813:37	8748:00
旭川放送局	(0:00) 7974:28	777:32	2:08	1950:01	303:40	4683:49	1814:30	8752:00
帯広放送局	(0:00) 7966:49	785:11	2:09	1950:47	303:40	4685:25	1812:08	8752:00
釧路放送局	(0:00) 7974:28	777:32	2:08	1950:01	303:40	4683:46	1814:33	8752:00
北見放送局	(0:00) 7966:28	777:32	2:08	1948:09	303:40	4679:29	1812:42	8744:00
室蘭放送局	(0:00) 7974:28	777:32	2:08	1950:01	303:40	4683:45	1814:34	8752:00
高知放送局	(0:00) 7884:58	823:15	2:15	1947:17	313:59	4609:40	1837:17	8708:13
徳島放送局	(0:00) 7927:19	796:59	2:11	1956:49	299:31	4624:41	1843:17	8724:18
高松放送局	(0:00) 7907:01	805:11	2:12	1953:24	306:02	4617:37	1835:09	8712:12
放送局 計	(10:00) 269412:28	27071:18	74:10	65859:06	10451:54	158094:23	62078:23	296483:46
放送局 1局平均	(0:18) 7923:54	796:13	2:11	1937:02	307:25	4649:50	1825:50	8720:07
放送局 部門別割合				22.3%	3.5%	53.3%	20.9%	100.0%

イ．ラジオ第 2 放送

局名		全国放送 時分	地域放送		総放送時間			
			計	1 日平均	教養	教育	報道	計
本部（東京）		(6726:54) 6752:41	時分 0:00	時分 0:00	時分 1131:15	時分 4683:28	時分 937:58	時分 6752:41
部門別割合					16.8%	69.3%	13.9%	100.0%
大阪拠点放送局		(17:14) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
名古屋拠点放送局		(8:33) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
広島拠点放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
福岡拠点放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
仙台拠点放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
札幌拠点放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
松山拠点放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
拠点放送局	計	(25:47) 47268:47	0:00	0:00	7918:45	32784:16	6565:46	47268:47
	1 局平均	(3:41) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
	部門別割合				16.7%	69.4%	13.9%	100.0%
長野放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
新潟放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
甲府放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
金沢放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
静岡放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
福井放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
富山放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
岡山放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
松江放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
鳥取放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
山口放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
熊本放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
北九州放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
長崎放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
鹿児島放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
宮崎放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
大分放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
沖縄放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
秋田放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
山形放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
盛岡放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
福島放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41

局名		全国放送 時分	地域放送 計	地域放送 1日平均	総放送時間 教養	総放送時間 教育	総放送時間 報道	総放送時間 計
青森放送局		(0:00) 6752:41	時分 0:00	時分 0:00	時分 1131:15	時分 4683:28	時分 937:58	時分 6752:41
函館放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
旭川放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
帯広放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
釧路放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
北見放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
室蘭放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
高知放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
高松放送局		(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
放送局	計	(0:00) 209333:11	0:00	0:00	35068:45	145187:28	29076:58	209333:11
	1局平均	(0:00) 6752:41	0:00	0:00	1131:15	4683:28	937:58	6752:41
	部門別割合				16.7%	69.4%	13.9%	100.0%

ウ．FM放送

局名		全国放送 時分	地域放送 計	地域放送 1日平均	総放送時間 教養	総放送時間 教育	総放送時間 報道	総放送時間 娯楽	総放送時間 計
本部（東京）		(7738:24) 8222:03	時分 458:55	時分 1:15	時分 3475:20	時分 404:54	時分 1313:25	時分 3487:19	時分 8680:58
部門別割合					40.0%	4.7%	15.1%	40.2%	100.0%
大阪拠点放送局		(307:14) 8264:44	464:31	1:16	3487:47	406:00	1343:40	3491:48	8729:15
名古屋拠点放送局		(106:03) 8276:44	451:25	1:14	3488:46	402:10	1338:46	3498:27	8728:09
広島拠点放送局		(24:59) 8271:15	453:32	1:15	3488:15	402:10	1336:04	3498:18	8724:47
福岡拠点放送局		(32:12) 8225:03	491:55	1:21	3508:04	410:02	1326:34	3472:18	8716:58
仙台拠点放送局		(1:22) 8201:00	483:38	1:20	3419:23	403:01	1361:58	3500:16	8684:38
札幌拠点放送局		(2:15) 8259:00	457:42	1:15	3484:36	410:01	1330:03	3492:02	8716:42
松山拠点放送局		(0:25) 8281:06	451:15	1:14	3489:15	403:57	1338:19	3500:50	8732:21
拠点放送局	計	(474:30) 57778:52	3253:58	8:55	24366:06	2837:21	9375:24	24453:59	61032:50
	1局平均	(67:47) 8254:07	464:51	1:16	3480:52	405:20	1339:21	3493:26	8718:59
	部門別割合				39.9%	4.6%	15.4%	40.1%	100.0%
長野放送局		(0:00) 8293:43	454:23	1:15	3490:54	404:47	1349:40	3502:45	8748:06
新潟放送局		(0:00) 8282:55	449:19	1:14	3490:16	402:15	1338:31	3501:12	8732:14
甲府放送局		(0:00) 8274:19	449:59	1:14	3488:23	402:30	1334:07	3499:18	8724:18
横浜放送局		(0:00) 8188:52	488:07	1:20	3473:32	404:04	1309:59	3489:24	8676:59
前橋放送局		(0:00) 8222:53	458:05	1:15	3475:26	403:55	1314:52	3486:45	8680:58
水戸放送局		(0:00) 8201:38	475:22	1:18	3466:49	404:54	1320:32	3484:45	8677:00
千葉放送局		(0:00) 8092:26	588:32	1:37	3446:09	404:51	1327:53	3502:05	8680:58

局名	全国放送 時分	地域放送 計	地域放送 1日平均	総放送時間 教養	総放送時間 教育	総放送時間 報道	総放送時間 娯楽	総放送時間 計
宇都宮放送局	(0:25) 8221:03	時分 455:57	時分 1:15	時分 3475:59	時分 401:25	時分 1309:59	時分 3489:37	時分 8677:00
さいたま放送局	(0:00) 8070:16	610:42	1:40	3455:36	404:04	1350:48	3470:30	8680:58
京都放送局	(0:00) 8261:20	471:47	1:18	3480:48	405:44	1343:50	3502:45	8733:07
神戸放送局	(0:00) 8266:21	462:19	1:16	3481:21	403:43	1346:15	3497:21	8728:40
和歌山放送局	(0:00) 8278:24	454:41	1:15	3487:48	402:15	1345:08	3497:54	8733:05
奈良放送局	(0:00) 8253:46	453:47	1:15	3482:35	401:10	1327:14	3496:34	8707:33
大津放送局	(0:25) 8253:47	458:53	1:15	3485:34	401:48	1333:18	3492:00	8712:40
金沢放送局	(0:25) 8289:02	455:06	1:15	3493:11	401:42	1346:37	3502:38	8744:08
静岡放送局	(0:00) 8270:39	449:41	1:14	3488:00	402:20	1332:09	3497:51	8720:20
福井放送局	(0:00) 8270:11	450:09	1:14	3487:34	402:28	1332:53	3497:25	8720:20
富山放送局	(0:00) 8275:34	449:20	1:14	3480:10	402:10	1343:22	3499:12	8724:54
津放送局	(0:00) 8265:22	451:16	1:14	3486:59	401:20	1332:31	3495:48	8716:38
岐阜放送局	(0:00) 8280:44	451:16	1:14	3489:44	402:10	1340:43	3499:23	8732:00
岡山放送局	(0:00) 8268:47	460:07	1:16	3487:09	403:32	1333:34	3504:39	8728:54
松江放送局	(0:00) 8279:50	460:58	1:16	3474:02	406:10	1363:44	3496:52	8740:48
鳥取放送局	(0:00) 8273:12	459:40	1:16	3488:05	405:39	1342:28	3496:40	8732:52
山口放送局	(0:17) 8249:01	456:05	1:15	3482:42	403:07	1326:29	3492:48	8705:06
熊本放送局	(0:00) 8243:40	492:32	1:21	3511:55	410:34	1337:16	3476:27	8736:12
北九州放送局	(0:00) 8252:25	491:37	1:21	3506:39	410:02	1348:40	3478:41	8744:02
長崎放送局	(1:15) 8229:16	495:02	1:21	3489:21	411:56	1350:15	3472:46	8724:18
鹿児島放送局	(4:05) 8232:26	499:48	1:22	3508:10	412:22	1340:35	3471:07	8732:14
宮崎放送局	(0:25) 8249:22	495:24	1:21	3512:04	409:54	1344:57	3477:51	8744:46
大分放送局	(0:00) 8232:32	495:44	1:21	3502:10	412:04	1341:47	3472:15	8728:16
佐賀放送局	(0:00) 8248:16	491:54	1:21	3513:25	410:17	1338:37	3477:51	8740:10
沖縄放送局	(0:00) 8201:17	503:11	1:23	3489:28	410:47	1320:13	3484:00	8704:28
秋田放送局	(0:00) 8267:34	480:32	1:19	3435:15	404:18	1394:30	3514:03	8748:06
山形放送局	(0:00) 8238:10	482:53	1:19	3428:24	405:23	1381:07	3506:09	8721:03
盛岡放送局	(0:00) 8244:35	479:43	1:19	3429:39	404:14	1381:43	3508:42	8724:18
福島放送局	(0:25) 8253:14	479:00	1:19	3456:41	403:26	1361:32	3510:35	8732:14
青森放送局	(1:37) 8267:21	480:45	1:19	3459:03	403:26	1370:40	3514:57	8748:06
函館放送局	(0:00) 8279:00	457:39	1:15	3489:16	410:01	1340:40	3496:42	8736:39
旭川放送局	(0:00) 8286:22	457:39	1:15	3490:59	410:01	1344:36	3498:25	8744:01
帯広放送局	(0:00) 8286:22	457:39	1:15	3490:59	410:01	1344:36	3498:25	8744:01
釧路放送局	(0:00) 8282:22	457:39	1:15	3490:03	410:01	1342:28	3497:29	8740:01

局名		全国放送	地域放送		総放送時間				
		時分	計	1日平均	教養	教育	報道	娯楽	計
北見放送局		(0:00) 8282:22	時分 457:39	時分 1:15	時分 3490:03	時分 410:01	時分 1342:28	時分 3497:29	時分 8740:01
室蘭放送局		(0:00) 8269:27	458:34	1:15	3486:53	409:56	1336:04	3495:08	8728:01
高知放送局		(0:25) 8279:35	456:37	1:15	3486:21	406:37	1345:14	3498:00	8736:12
徳島放送局		(0:00) 8287:00	449:11	1:14	3491:23	402:36	1340:22	3501:50	8736:11
高松放送局		(0:00) 8282:41	449:33	1:14	3490:16	403:00	1338:03	3500:55	8732:14
放送局	計	(9:44) 379579:24	21745:46	59:35	160187:13	18659:00	61732:59	160745:58	401325:10
	1局平均	(0:13) 8251:44	472:44	1:18	3482:20	405:38	1342:01	3494:29	8724:28
	部門別割合				39.9%	4.6%	15.4%	40.1%	100.0%

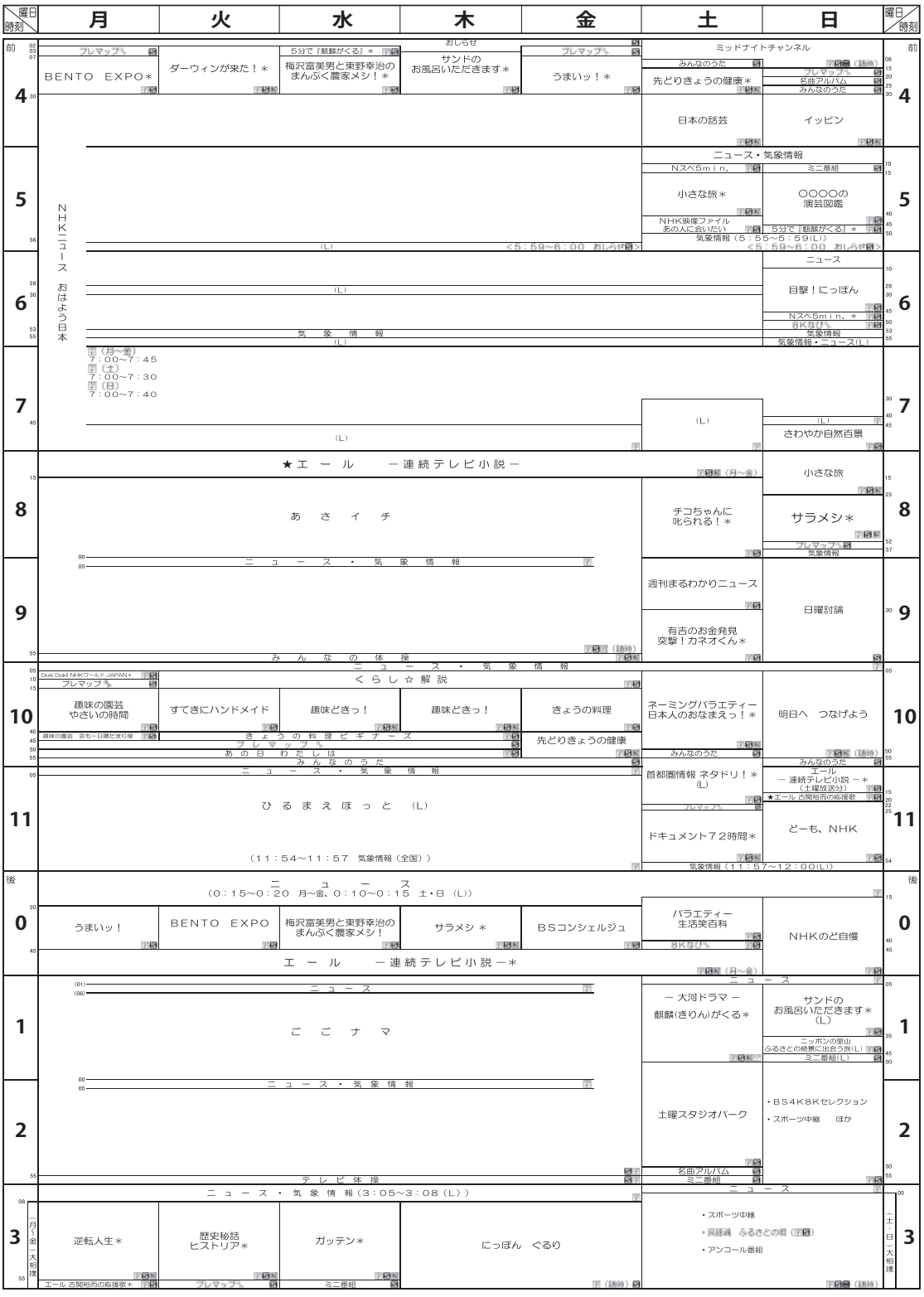
放送 NHKラジオ国際放送の放送事項別放送時間及び比率（2020年度）

年間放送事項 放送時間 / 使用言語	報道	インフォメーション	娯楽	計	1日平均放送時間＊
	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分
日本語	5,652:52	3,042:31	64:37	8,760:00	24:00
英語	1,811:36	314:24	—	2,126:00	5:49
中国語	785:40	248:30	—	1,034:10	2:50
朝鮮語	785:40	248:30	—	1,034:10	2:50
ロシア語	879:26	280:14	—	1,159:40	3:10
インドネシア語	700:40	248:30	—	949:10	2:36
タイ語	449:42	168:28	—	618:10	1:41
ベトナム語	450:12	168:28	—	618:40	1:41
ビルマ語	305:10	128:30	—	433:40	1:11
ベンガル語	712:50	363:10	—	1,076:00	2:56
ヒンディー語	533:32	208:48	—	742:20	2:02
ウルドゥー語	460:32	160:08	—	620:40	1:42
フランス語	449:46	226:04	—	675:50	1:51
ペルシャ語	491:24	217:26	—	708:50	1:56
アラビア語	905:24	386:16	—	1,291:40	3:32
スワヒリ語	439:40	195:00	—	634:40	1:44
スペイン語	427:36	119:54	—	547:30	1:30
ポルトガル語	427:24	120:06	—	547:30	1:30
計	16,669:06	6,844:57	64:37	23,578:40	64:35
比率(%)	70.7%	29.0%	0.3%	100%	

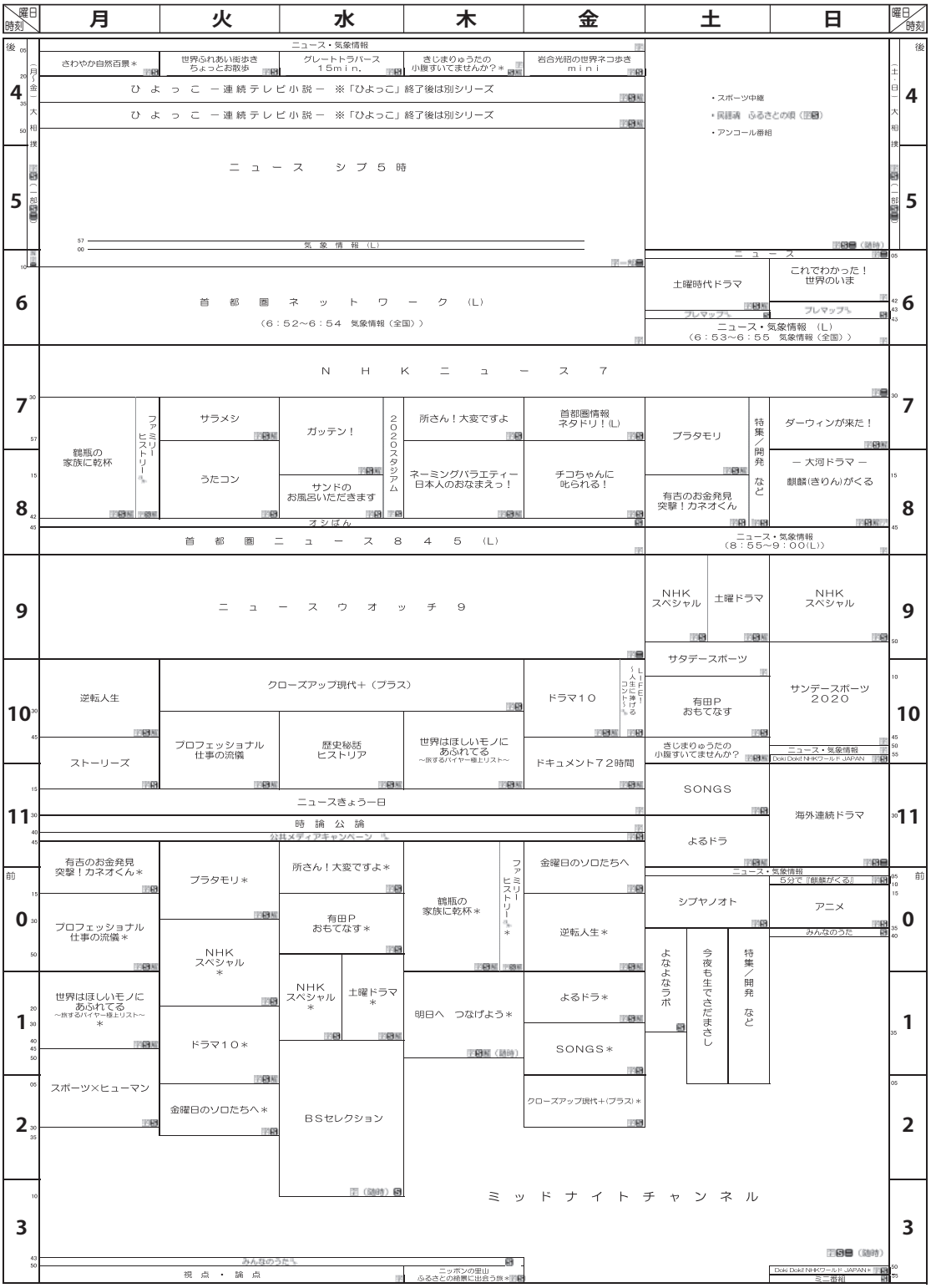
（＊1分未満切り捨て）

総合テレビ

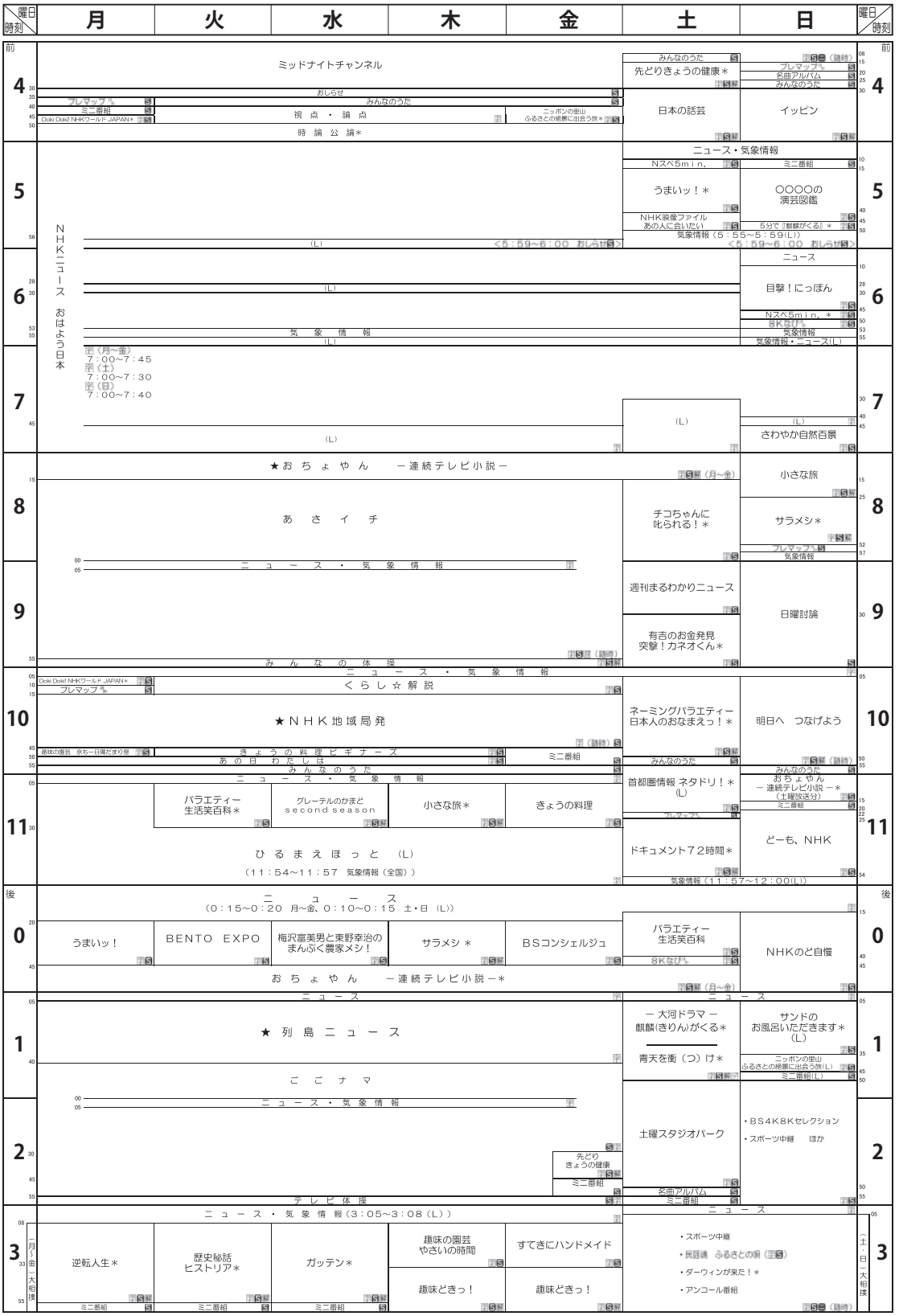
（4～9月）



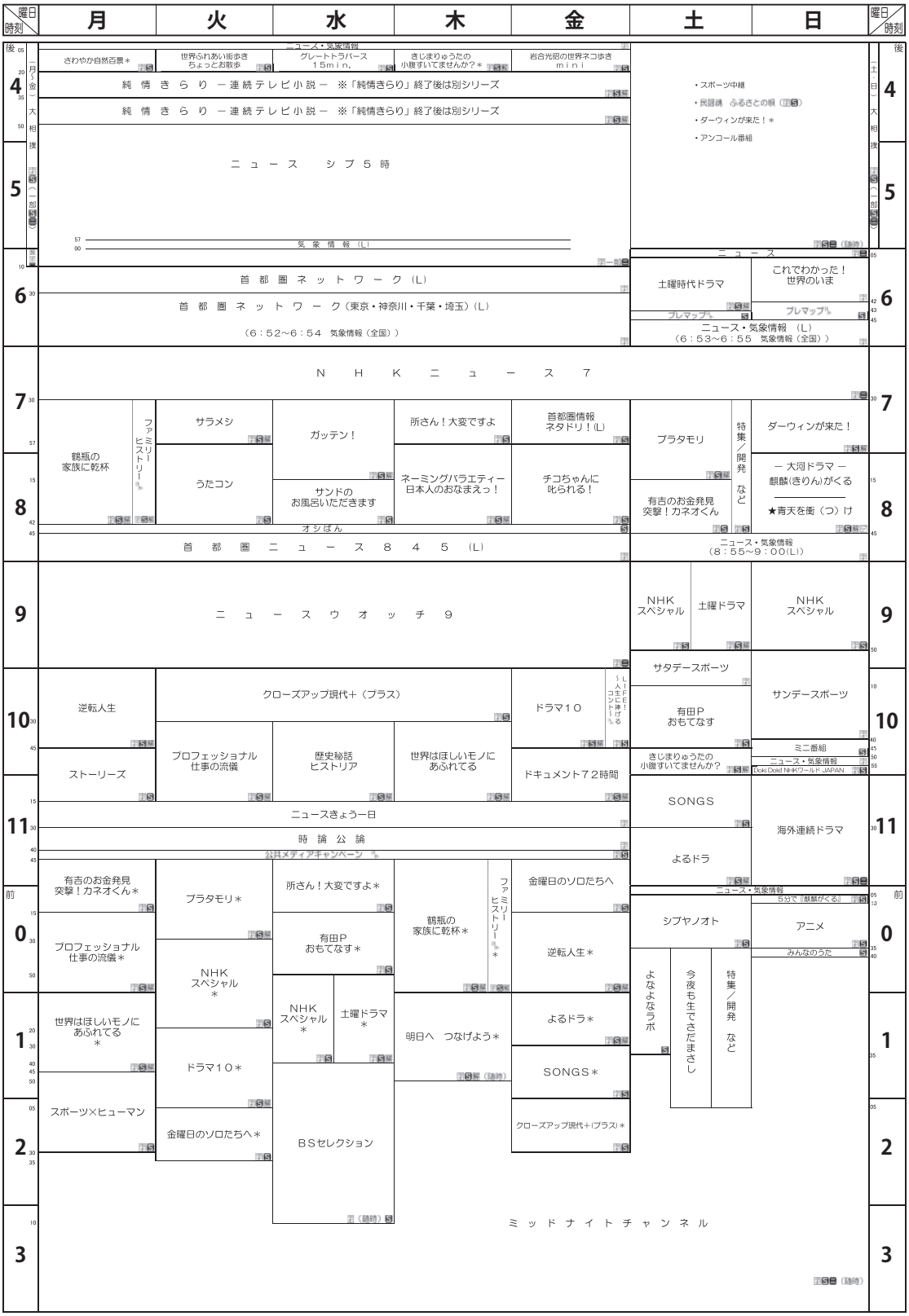
（注）1．★印は新設番組、＊印は再放送
字印は字幕放送、S印はステレオ放送、解印は解説放送、二印は2か国語放送、デ印はデータ放送の番組連動サービス対象番組、双印は双方向番組
2．「大相撲　幕内の全取組」は、(月～日・早朝）で放送



3．ネット送出　(月) 前11:05～11:30 「小さな旅」＊
(火) 前11:05～11:30 「バラエティー生活笑百科」＊
(水) 前11:05～11:20 「世界ふれあい街歩き ちょっとお散歩」＊
前11:20～11:30 「ニッポンの里山 ふるさとの絶景に出会う旅」＊
(木) 前11:05～11:30 「ウワサの保護者会」
(金) 前11:05～11:30 「グレーテルのかまど second season」
(月～金) 前11:30～11:35 「テレビ体操」
前11:35～11:40 「プレマップ」
前11:40～11:45 「名曲アルバム」
(土・日) 前 5:55～ 5:58 「プレマップ」
前 5:58～ 5:59 「おしらせ」



（注）1．★印は新設番組、＊印は再放送
字印は字幕放送、S印はステレオ放送、解印は解説放送、二印は２か国語放送、デ印はデータ放送の番組連動サービス対象番組、双印は双方向番組
2．「大相撲　幕内の全取組」は、（月～日・早朝）で放送



3．ネット送出　（月）前 11:05 ～ 11:30 「ウワサの保護者会」

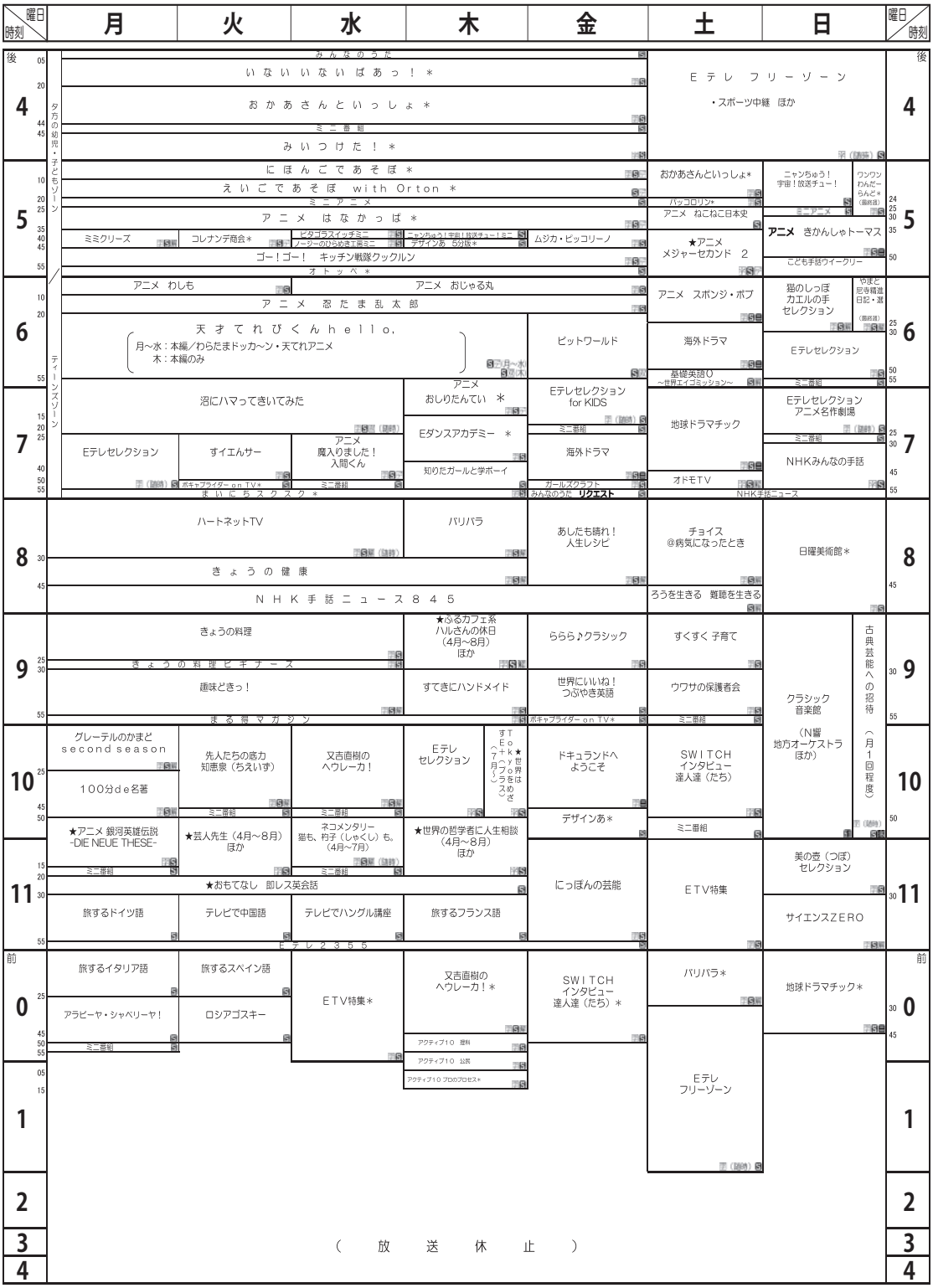
（月～金）前 11:30 ～ 11:35 「テレビ体操」
前 11:35 ～ 11:40 「プレマップ」
前 11:40 ～ 11:45 「名曲アルバム」

（土・日）前 5:55 ～ 5:58 「プレマップ」
前 5:58 ～ 5:59 「おしらせ」

Eテレ

（4～9月）

時刻	月	火	水	木	金	土	日	時刻
前 5:30	知りたガールと学ボーイ＊ / ポキャプライダー on TV / ミニ番組 / ワンポイント手話＊	ロシアゴスキー＊ / 楽ラク ワンポイント介護＊	100分de名著＊	旅するドイツ語＊ / ミニ番組	アラビーヤ・シャベリーヤ！＊	猫のしっぽ カエルの手 セレクション＊ / やまと尼寺精進日記・選＊（月1回）	こころの時代 ～宗教・人生～	前 5:30
6:30	旅するフランス語＊	旅するスペイン語＊	旅するイタリア語＊	テレビで中国語＊	テレビでハングル講座＊	世界にいいね！ つぶやき英語＊	NHK短歌	6:30
6:35	テレビ体操							6:35
6:45	にほんごであそぼ / えいごであそぼ with Orton / Eテレ0655					オトモTV＊ / ミミクリーズ＊ / あテビーバー	NHK俳句	6:45
7:00	朝の気象情報・テレビリーン							7:00
7:10	シャキーン！ / ★マチスコープ（月1回）					デザインあ	コレナンデ サンデー / みいつけた！さん / ワンフンわんこらんど（最終回）	7:10
7:25	アニメ はなかっぱ / デザインあ 5分版 / ピタゴラスイッチ ミニ / コレナンデ商会					なりきり！むーにゃん生きもの学園 / ノージーのひらめき工房		7:25
7:45	みいつけた！					ピタゴラスイッチ	オトッペ＊ / アニメ わしち＊ / みんなのうた	7:45
8:00	おかあさんといっしょ / パッコロリン / いないいないばあっ！ / オトッペ / フチフチ・アニメ / てれび絵本 / みんなのうた					ムジカ・ピッコリーノ＊ / アニメ おさるのジョージ	趣味の園芸 やさいの時間 / 趣味の園芸 京もー日陽だまり屋 / 趣味の園芸 / ミニ番組	8:00
9:00	学校放送							9:00
9:05	★すたあと		u&i	ストレッチマン・ゴールド	新・ざわざわ森のがんこちゃん	アニメ おしりたんてい	日曜美術館	9:05
9:10	おはなしのくに / お伝（つた）と伝（でん）じろう	おばけの学校たんけんだん		しまった！～情報活用スキルアップ～	銀河鉄道バンタくん			9:10
9:20	ふしぎエンドレス 3年		コノマチ☆リサーチ			アニメ 少年アシベ GO！GO！ゴマちゃん		9:20
9:25	ことばドリル	ふしぎエンドレス 4年	よろしく！ファンファン	ドスルコスル	もやモ屋			9:25
9:40	キミなら何つくる？	ふしぎエンドレス 5年	未来広告ジャパン！ / ★社会にドキリ / 歴史にドキリ	Q ～こどものための哲学～	オン・マイ・ウェイ！	Eダンスアカデミー		9:40
9:50	さんすう犬ワン	ふしぎエンドレス 6年	カガヤカ	エクワワールド / えいごでがんこちゃん	で～きた / いじめをノックアウト	ミニ番組		9:50
9:55	さんすう刑事ゼロ	考えるカラス ～科学の考え方～	はりきり体育ノ介	★エイゴビート2 / 基礎英語0 ～世界エイゴミッション～＊	しぜんとあそぼ＊ / ミミクリーズ＊再掲	すイエんサー＊	将棋フォーカス	9:55
10:00	★テキシコー / ミニ番組 / あテビーバー＊	学ぼうBOSAI	ブレイクッ！			ガールズクラフト＊		10:00
10:20	おもてなし 即レス英会話 ＊							10:20
10:25	グレーテルのかまど second season＊ / 名曲アルバム	趣味の園芸＊ / ミニ番組	世界の哲学者に人生相談 ＊（4月～8月）ほか	ららら♪クラシック＊	世界にいいね！ つぶやき英語 ＊ / ポキャプライダー on TV＊ / 名曲アルバム	学びセレクション / リトル・チャロ＊	将棋トーナメント	10:25
10:50	まいにちスクスク							10:50
11:00	きょうの料理 ＊ / きょうの料理ビギナーズ ＊			美の壺（つぼ）セレクション＊	あしたも晴れ！人生レシピ＊	サイエンスZERO＊ / いじめをノックアウト＊		11:00
11:30	趣味どきっ！＊			すてきにハンドメイド＊	ミニ番組	週間 手話ニュース		11:30
11:55	まる得マガジン＊							11:55
後 0:00	にっぽんの芸能＊	先人たちの底力 知恵泉（ちえいず）＊ / ポキャプライダー on TV＊ / ミニ番組	100分de名著＊ / ふるカフェ系 ハルさんの休日＊（4月～8月）ほか	趣味の園芸 やさいの時間＊ / 趣味の園芸 京もー日陽だまり屋＊ / 趣味の園芸＊	チョイス ＠病気になったとき＊ / ろうを生きる 難聴を生きる＊	すくすく子育て＊ / ウワサの保護者会＊ / 楽ラク ワンポイント介護	囲碁フォーカス / 囲碁トーナメント	後 0:00
0:55	みんなのうた							0:55
1:00	NHK手話ニュース / ハートネットTV ＊			ハートネットTV セレクション	NHKみんなの手話＊ / ワンポイント手話 / リトル・チャロ / みんなのうた / NHK夜間ファイル あの人に会いたい	こころの時代 ～宗教・人生～＊		1:00
1:30	きょうの健康 ＊ / 視点・論点			名曲アルバム / ポキャプライダー on TV＊				1:30
2:00	NHK高校講座 ベーシック数学 / 数学Ⅰ / ベーシック英語 / コミュニケーション英語Ⅰ	ベーシック国語 / 国語表現 / ビジネス基礎 / ロンリの ちから / 生物基礎	化学基礎 / 物理基礎 / 地学基礎	科学と人間生活 ／社会と情報 / 芸術 / 家庭総合	日本史 / 世界史 / 地理		日本の話芸	2:00
3:00	日本の話芸＊	NHK短歌＊ / 楽ラク ワンポイント介護＊	NHK俳句＊ / ワンポイント手話＊	将棋フォーカス＊	囲碁フォーカス＊	Eテレ フリーゾーン ・スポーツ中継 ほか		3:00
3:25	Why！？プログラミング / おみがくプラボー / 子ども安全・リアルストーリー	フチフチ・アニメ＊ / 10minボックス 地理	アクティブ10 プロのプロセス	なりきり！むーにゃん生きもの学園＊	アクティブ10 ミライのしごとーく / エイゴビート2 ＊ / おとうさんといっしょ ミニ		休（臨時）	3:25
	ピタゴラスイッチ＊	しぜんとあそぼ	ノージーのひらめき工房＊					

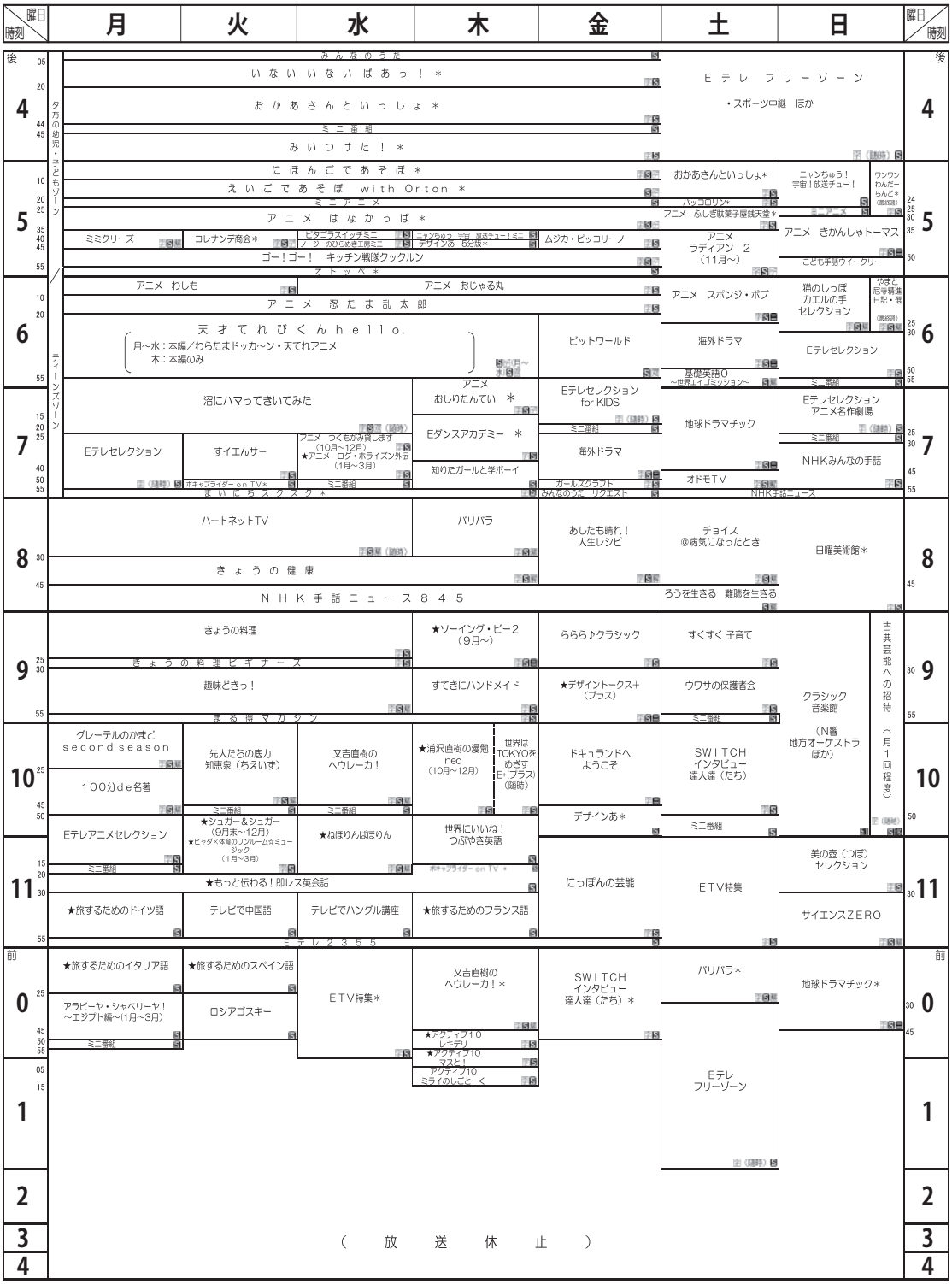


（注）★印は新設番組、＊印は再放送
字印は字幕放送、S印はステレオ放送、二印は２か国語放送、5.1印は5.1chサラウンド放送、解印は解説放送、多印は音声多重放送、デ印はデータ放送の番組連動サービス対象番組、双印は双方向番組

Eテレ

（10月～）

曜日／時刻	月	火	水	木	金	土	日
前 5:30	（放送休止）						こころの時代 ～宗教・人生～
5:30	知りたガールと学ボーイ＊	ロシアゴスキー＊	100分de名著＊	旅するためのドイツ語＊	アラビーヤ・シャベリーヤ！＊ ～エジプト編～（1月～3月）	猫のしっぽ カエルの手 セレクション＊	やまと尼寺精進日記・選＊（7/11放）
5:45	ポキャラライダー on TV						
5:50	ミニ番組			ミニ番組			
5:55	ワンポイント手話＊	楽ラクワンポイント介護＊					
6:25	旅するためのフランス語＊	旅するためのスペイン語＊	旅するためのイタリア語＊	テレビで中国語＊	テレビでハングル講座＊	Eテレセレクション	NHK短歌
6:35	テレビ体操						
6:45	にほんごであそぼ					オドモTV＊	NHK俳句
6:55	えいごであそぼ with Orton					ミミクリーズ＊	
7:00	ETV0655					あそビーバー	
7:10	シャキーン！				マチスコープ（月1回）	デザインあ	コレナンデ サンデー
7:15	アニメ はなかっぱ					なりきり！むーにゃん生きもの学園	みいつけた！さん
7:25	デザインあ 5分版						ワンワンわんだーらんど（最終週）
7:30	ピタゴラスイッチ ミニ					ノージーのひらめき工房	
7:40	コレナンデ商会						オトッペ＊
7:45	みいつけた！					ピタゴラスイッチ	アニメ わしも＊
7:55							みんなのうた
8:24	おかあさんといっしょ						趣味の園芸 やさいの時間
8:25	パッコロリン						
8:30	いない いない ばあっ！					ムシカ・ビッコリーノ＊	趣味の園芸 京もー日園にほり旅
8:40	オトッペ						趣味の園芸
8:45	プチプチ・アニメ					アニメ おさるのジョージ	
8:50	くれよん絵本						
8:55	みんなのうた						ミニ番組
9:05	えいごでがんこちゃん	すたあど	u&i	ストレッチマン・ゴールド	新・ぞりぞり海のがんこちゃん（一昨ぞりぞりんんのがんべーちゃん）	アニメ おしりたんてい	日曜美術館
9:10	おはなしのくに	おはけりの学校たんけんだん	コノマチかリサーチ	メディアタイムズ	銀河銭湯パンタくん		
9:20	おはなしのくにクラシック	ふしぎエンドレス 3年	ココロ部！	ドスルコスル	もやモ屋	アニメ ふしぎ駄菓子屋銭天堂	
9:30	ことばドリル	ふしぎエンドレス 4年	未来広告ジャパン！	昔話法廷	カラフル！～世界の子どもたち～	Eダンスアカデミー	
9:35	キミなら何つくる？	ふしぎエンドレス 5年	社会にドキリ（歴史にドキリ）	（1月まで 前8:45～ミクロワールド）	ブレイクッ！＊		
9:45	さんすう犬ワン	ふしぎエンドレス 6年	10min.ボックス テイクテック	すたあど算 エイコピート／エイコピート2	いじめをノックアウト	ミニ番組	
9:50	さんすう刑事ゼロ	カガクノミカタ	はりきり体育ノ介	基礎英語0 ～世界エイプミッション～＊	しぜんとあそぼ＊ ミミクリーズ＊再掲	すイエんサー＊	将棋フォーカス
9:55	Why!?プログラミング	大科学実験	ブレイクッ！				
10:00	ミニ番組	もっと伝わる！ 即レス英会話 ＊				ガールズクラフト＊	
10:05	あそビーバー＊						
10:20	グレーテルのかまど second season＊	趣味の園芸＊	デザイントークス+（プラス）＊	ららら♪クラシック＊	世界にいいね！つぶやき英語 ＊	学びセレクション	将棋トーナメント
10:50	名曲アルバム	ミニ番組			ポキャラライダー on TV＊	リトル・チャロ＊	
10:55	まいにちスクスク				名曲アルバム		
11:00	きょうの料理 ＊			美の壺（つぼ）セレクション＊	あしたも晴れ！人生レシピ＊	サイエンスZERO＊	
11:25	きょうの料理ビギナーズ ＊						
11:30	趣味どきっ！＊			すてきにハンドメイド＊		いじめをノックアウト＊	
11:40					ミニ番組	週間手話ニュース	
11:55	まる得マガジン＊						
後 0:00	にっぽんの芸能＊	先人たちの底力 知恵泉（ちえいず）＊	100分de名著＊	趣味の園芸 やさいの時間＊	チョイス ＠病気になったとき＊	すくすく子育て＊	囲碁フォーカス
0:25				趣味の園芸 京もー日園にほり旅＊			
0:30			ソーイング・ビー2＊（9月～）	趣味の園芸＊		ウワサの保護者会＊	囲碁トーナメント
0:45		ポキャラライダー on TV＊			ろうを生きる 難聴を生きる＊		
0:50		ミニ番組				楽ラクワンポイント介護	
0:55	みんなのうた						
1:00	NHK手話ニュース						
1:05	ハートネットTV ＊			ハートネットTV セレクション	NHKみんなの手話＊	こころの時代 ～宗教・人生～＊	
1:30					ワンポイント手話		
1:35	きょうの健康 ＊				リトル・チャロ		
1:50				名曲アルバム	みんなのうた		
1:55	視点・論点			ポキャラライダー on TV＊	NHK俳後ファイル あの人に会いたい		
2:00	NHK高校講座 ベーシック数学	ベーシック国語	化学基礎	科学と人間生活／社会と情報	日本史		日本の話芸
2:10	数学Ⅰ	国語表現	物理基礎	芸術	世界史		
2:30	ベーシック英語	ビジネス基礎／ロンリのちから					
2:40	コミュニケーション英語Ⅰ	生物基礎	地学基礎	家庭総合	地理		
3:00	日本の話芸＊	NHK短歌＊	NHK俳句＊	将棋フォーカス＊	囲碁フォーカス＊	Eテレフリーゾーン ・スポーツ中継 ほか	
3:25	テキシコー	楽ラクワンポイント介護＊	ワンポイント手話＊				
3:30		10min.ボックス 生活・公共	ロンリのちから	アクティブ10 レキデリ＊	アクティブ10 マスと！＊		
3:40			プチプチ・アニメ＊				
3:45	ピタゴラスイッチ＊	しぜんとあそぼ	ノージーのひらめき工房＊	なりきり！むーにゃん生きもの学園＊	エイコピート＊／エイコピート2＊／おとうさんといっしょ ミニ		

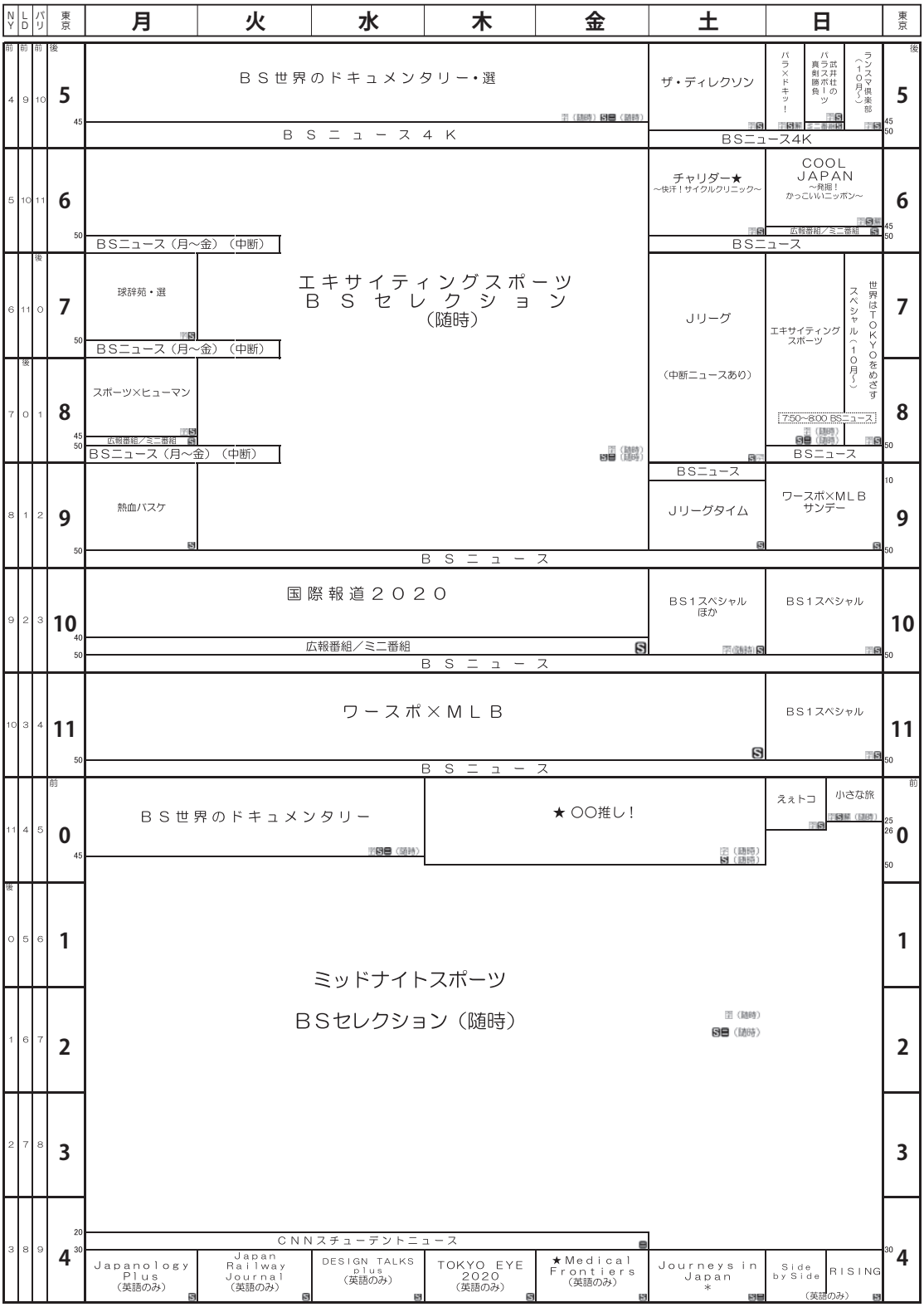


（注）★印は新設番組、＊印は再放送
字印は字幕放送、S印はステレオ放送、二印は２か国語放送、5.1印は5.1chサラウンド放送、解印は解説放送、多印は音声多重放送、
デ印はデータ放送の番組連動サービス対象番組、双印は双方向番組

BS1

（4～10月）

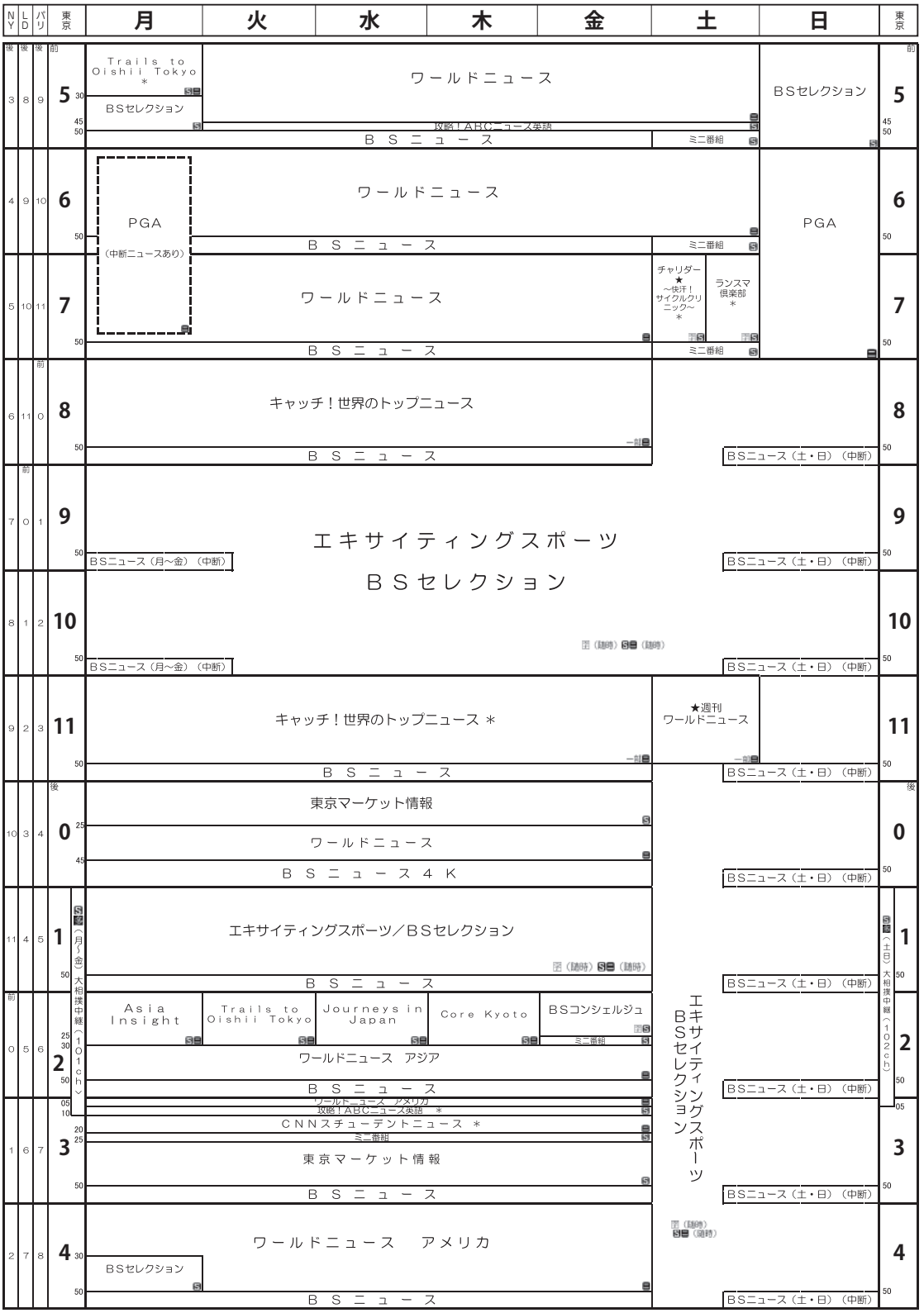
NY	LD	パリ	東京	月	火	水	木	金	土	日	東京
後4	後9	後10	前5	PGA（中断ニュースあり）／ワールドニュース	ワールドニュース	ワールドニュース	ワールドニュース	ワールドニュース	攻略！ABCニュース英語／広報番組／ミニ番組	PGA	前5
5	10	11	6	ワールドニュース	ワールドニュース	ワールドニュース	ワールドニュース	ワールドニュース	広報番組／ミニ番組	広報番組／ミニ番組	6
6	11	前0	7	ワールドニュース	ワールドニュース	ワールドニュース	ワールドニュース	ワールドニュース	チャリダー★ ～快汗！サイクルクリニック～ ＊／広報番組／ミニ番組		7
7	前0	1	8	キャッチ！世界のトップニュース	キャッチ！世界のトップニュース	キャッチ！世界のトップニュース	キャッチ！世界のトップニュース	キャッチ！世界のトップニュース		BSニュース（土・日）（中断）	8
8	1	2	9	エキサイティングスポーツ BSセレクション（随時）						BSニュース（土・日）（中断）	9
9	2	3	10	BSニュース（月～金）（中断）						BSニュース（土・日）（中断）	10
10	3	4	11	キャッチ！世界のトップニュース ＊	キャッチ！世界のトップニュース ＊	キャッチ！世界のトップニュース ＊	キャッチ！世界のトップニュース ＊	キャッチ！世界のトップニュース ＊		BSニュース（土・日）（中断）	11
11	4	5	後0	東京マーケット情報／ワールドニュース	東京マーケット情報／ワールドニュース	東京マーケット情報／ワールドニュース	東京マーケット情報／ワールドニュース	東京マーケット情報／ワールドニュース	スポーツ×ヒューマン＊／ザ・ディレクション＊／COOL JAPAN ～発掘！かっこいいニッポン～ ＊		後0
前0	5	6	1	エキサイティングスポーツ／BSセレクション	エキサイティングスポーツ／BSセレクション	エキサイティングスポーツ／BSセレクション	エキサイティングスポーツ／BSセレクション	エキサイティングスポーツ／BSセレクション	パラ×ドチッ！＊／武井壮のパラスポーツ真剣勝負＊／ランスマ倶楽部＊（～10月）／○○ピアノ・選	大相撲中継（土・日）（～10ch）	1
1	6	7	2	Asia Insight／Trails to Oishii Tokyo／Journeys in Japan／Core Kyoto／BSコンシェルジュ／ワールドニュース アジア	ワールドニュース アジア	ワールドニュース アジア	ワールドニュース アジア	ワールドニュース アジア	広報番組／ミニ番組	BSニュース（土・日）（中断）	2
2	7	8	3	ワールドニュース アメリカ／攻略！ABCニュース英語 ＊／CNNスチューデントニュース ＊／広報番組／ミニ番組／東京マーケット情報	ワールドニュース アメリカ／攻略！ABCニュース英語 ＊／CNNスチューデントニュース ＊／広報番組／ミニ番組／東京マーケット情報	ワールドニュース アメリカ／攻略！ABCニュース英語 ＊／CNNスチューデントニュース ＊／広報番組／ミニ番組／東京マーケット情報	ワールドニュース アメリカ／攻略！ABCニュース英語 ＊／CNNスチューデントニュース ＊／広報番組／ミニ番組／東京マーケット情報	ワールドニュース アメリカ／攻略！ABCニュース英語 ＊／CNNスチューデントニュース ＊／広報番組／ミニ番組／東京マーケット情報	エキサイティングスポーツ BSセレクション（随時）	BSニュース（土・日）（中断）	3
3	8	9	4	ワールドニュース アメリカ／BSセレクション	ワールドニュース アメリカ／BSセレクション	ワールドニュース アメリカ／BSセレクション	ワールドニュース アメリカ／BSセレクション	ワールドニュース アメリカ／BSセレクション		BSニュース（土・日）（中断）	4

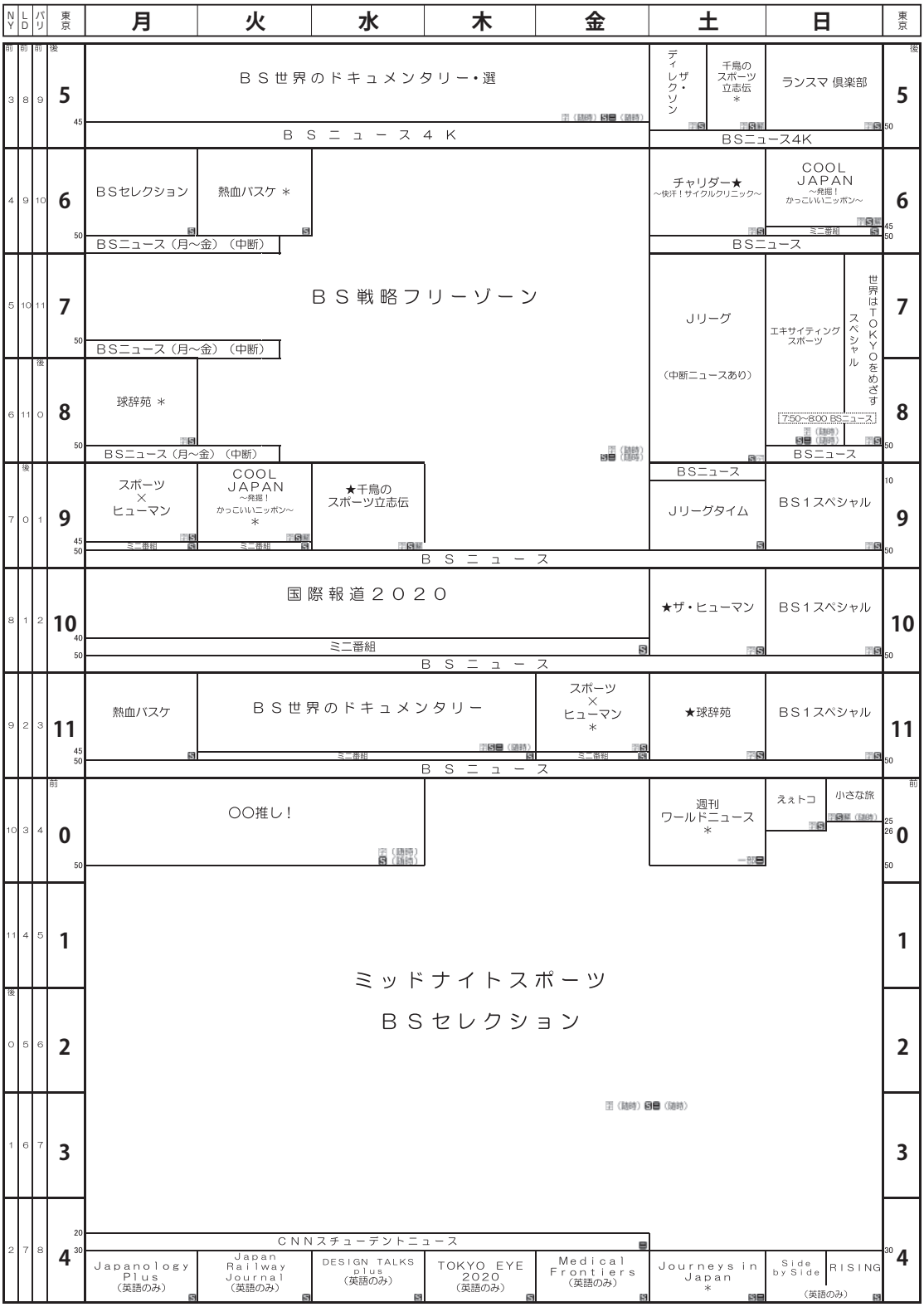


（注）★印は新設番組、＊印は再放送・アンコール番組　字印は字幕放送、S印はステレオ放送、解印は解説放送、二印は２か国語放送、多印は音声多重放送

BS1

（11月～）


NY LD パリ 東京
月 火 水 木 金 土 日 東京
Trails to Oishii Tokyo ＊
BSセレクション
ワールドニュース
攻略！ABCニュース英語
ＢＳニュース
ミニ番組
BSセレクション
PGA
（中断ニュースあり）
ワールドニュース
ＢＳニュース
ミニ番組
PGA
チャリダー★～快汗！サイクルクリニック～＊
ランスマ倶楽部＊
ワールドニュース
ＢＳニュース
ミニ番組
キャッチ！世界のトップニュース
ＢＳニュース
BSニュース（土・日）（中断）
エキサイティングスポーツ
ＢＳセレクション
BSニュース（月～金）（中断）
BSニュース（土・日）（中断）
キャッチ！世界のトップニュース ＊
★週刊ワールドニュース
ＢＳニュース
BSニュース（土・日）（中断）
東京マーケット情報
ワールドニュース
ＢＳニュース４Ｋ
BSニュース（土・日）（中断）
エキサイティングスポーツ／BSセレクション
ＢＳニュース
BSニュース（土・日）（中断）
Asia Insight
Trails to Oishii Tokyo
Journeys in Japan
Core Kyoto
BSコンシェルジュ
ミニ番組
ワールドニュース アジア
ＢＳニュース
ワールドニュース アメリカ
攻略！ABCニュース英語 ＊
ＣＮＮスチューデントニュース ＊
ミニ番組
東京マーケット情報
ＢＳニュース
BSニュース（土・日）（中断）
エキサイティングスポーツ BSセレクション
ワールドニュース アメリカ
BSセレクション
ＢＳニュース
BSニュース（土・日）（中断）

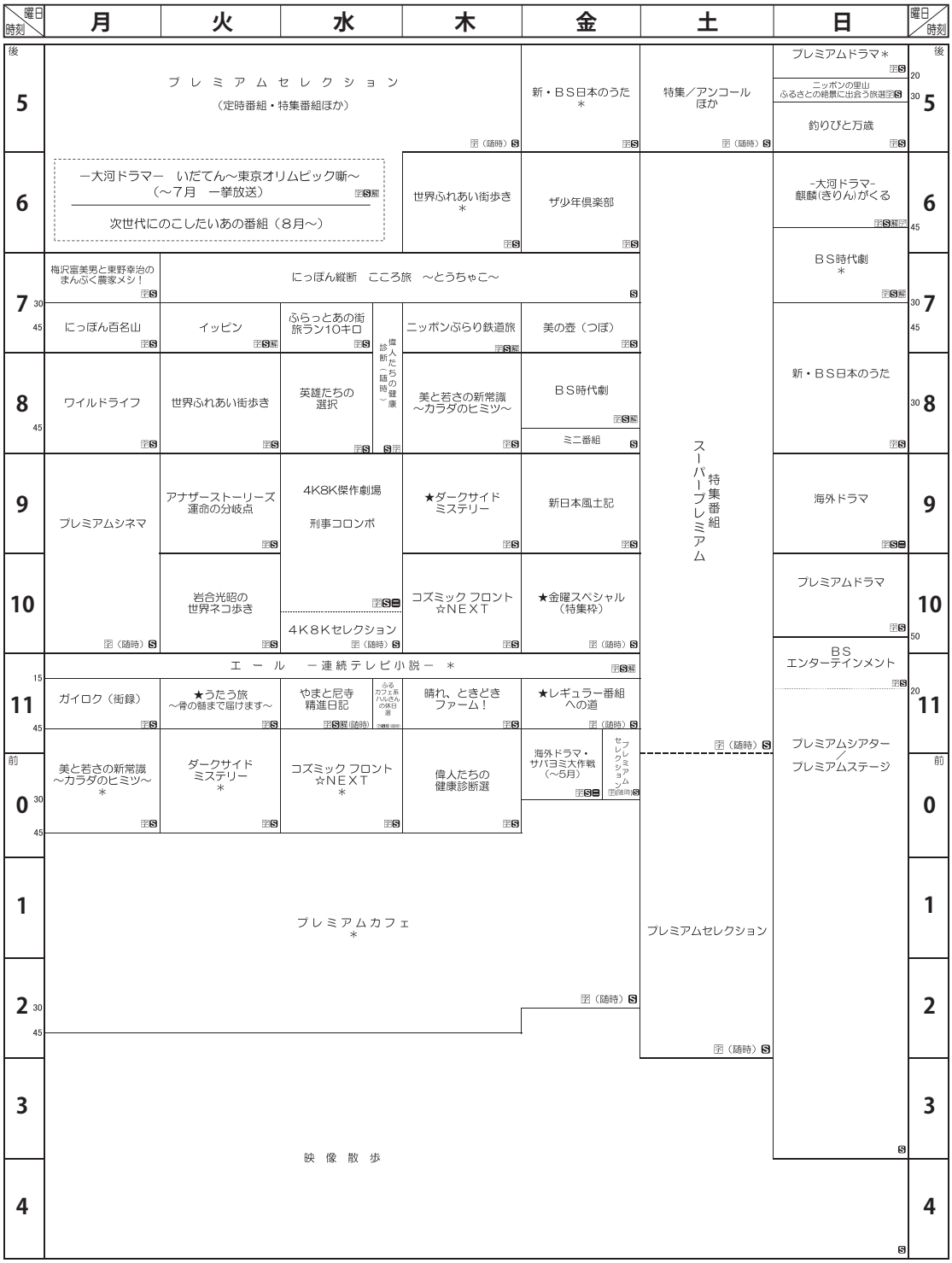


（注）★印は新設番組、＊印は再放送・アンコール番組
字印は字幕放送、Ｓ印はステレオ放送、解印は解説放送、二印は２か国語放送、多印は音声多重放送

BS プレミアム

（4～9月）

時刻＼曜日	月	火	水	木	金	土	日	時刻＼曜日
前5:55	クラシック倶楽部 名曲アルバム					映像散歩	晴れ、ときどきファーム！＊	前5:30
6	プレミアムセレクション					BSコンシェルジュ／ミニ番組／さわやか自然百景	★太平記	6:25
7:15	★はね駒 ―連続テレビ小説―					美の壺（つぼ）＊	新日本紀行（4K版）	7:15
7:30	★エール ―連続テレビ小説―							7:30
7:45	にっぽん縦断 こころ旅					ニッポンぶらり鉄道旅＊	アニメ／ミニ番組	7:45
8	ワイルドライフ＊	世界ふれあい街歩き＊	英雄たちの選択＊	アナザーストーリーズ 運命の分岐点＊	新日本風土記＊	梅沢富美男と東野幸治のまんぷく農家メシ！＊	ワンワンパッコロ！キャラともワールド／みんなDEどーもくん！（隔週）	8:15
8:45							おとうさんといっしょ	8:59
9	プレミアムカフェ					海外ドラマセレクション（～8月）	ダーウィンが来た！選	9:28
9:45						プレミアムセレクション	ガイロク（街録）＊	9:45
10						今週の連続テレビ小説 エール＊	ザ少年倶楽部＊	10
11:15	プレミアムセレクション							
11:30	ワンワンパッコロ！キャラともワールド選	みんなDEどーもくん！選	おとうさんといっしょ＊	デザイン あ／ミミクリーズ	ニャンちゅう！宇宙！放送チュー！	にっぽん縦断 こころ旅 ～とうちゃこ～＊		11
11:45	にっぽん縦断 こころ旅 ＊			ミニ番組				
後0:00	釣りびと万歳 ＊	イッピン ＊	岩合光昭の世界ネコ歩き＊	驚き！地球！グレートネイチャー	ふらっとあの街旅ラン10キロ選	新・BS日本のうた＊	今週の連続テレビ小説 はね駒＊	後0:00
0:30	にっぽん百名山 ＊	極上!スイーツマジック選		ニッポンぶらり鉄道旅＊	うたう旅 ～骨の髄まで届けます～＊			0:30
1	プレミアムシネマ					特集／プレミアムシネマ／アンコール番組 ほか		1
2								2
3	プレミアムセレクション （定時番組・特集番組ほか）							3
4:30					新・BS日本のうた＊		プレミアムドラマ＊	4:30
4:45								4:45

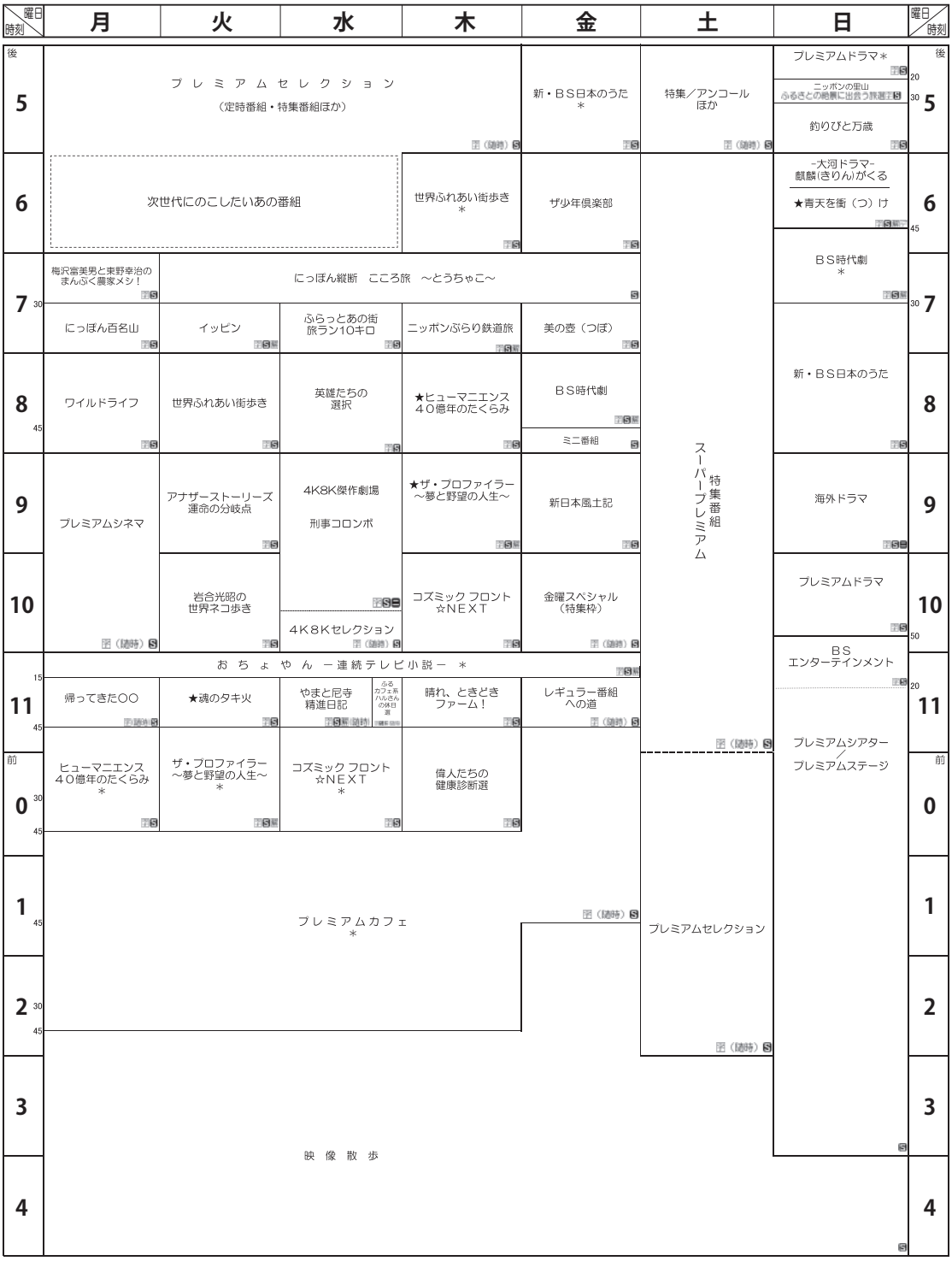


（注）★印は新設番組、＊印は再放送
字印は字幕放送、S印はステレオ放送、解印は解説放送、二印は２か国語放送、デ印はデータ放送の番組連動サービス対象番組

BSプレミアム

（10月～）

時刻＼曜日	月	火	水	木	金	土	日	時刻＼曜日
前5:55	クラシック倶楽部					映像散歩		前5:30
	名曲アルバム					J－MELO	晴れ、ときどきファーム！＊	
6:25	プレミアムセレクション					BSコンシェルジュ	太平記	6:45
						ミニ番組		
						さわやか自然百景		
7:15	★澪（みお）つくし－連続テレビ小説－					美の壺（つぼ）＊	新日本紀行（4K版）	7:45
7:30	★おちょやん－連続テレビ小説－							
7:45	にっぽん縦断　こころ旅					ニッポンぶらり鉄道旅＊	アニメ	7:55
							ミニ番組	
8:15	ワイルドライフ＊	世界ふれあい街歩き＊	英雄たちの選択＊	アナザーストーリーズ 運命の分岐点＊	新日本風土記＊	梅沢富美男と東野幸治のまんぷく農家メシ！＊	ワンワンパッコロ！キャラともワールド／みんなDEどーもくん！（隔週）	8:59
							おとうさんといっしょ	
9:28	プレミアムカフェ					プレミアムセレクション	ダーウィンが来た！選	9:45
							ガイロク（街録）選	
10:00						今週の連続テレビ小説 おちょやん＊	ザ少年倶楽部＊	10:00
11:15	プレミアムセレクション					にっぽん縦断　こころ旅　～とうちゃこ～＊		11:00
11:30	ワンワンパッコロ！キャラともワールド選	みんなDEどーもくん！選	おとうさんといっしょ＊	デザイン　あ	ニャンちゅう！宇宙！放送チュー！			
11:40				ミミクリーズ				
11:45	にっぽん縦断　こころ旅　＊			ミニ番組				
後0:00	釣りびと万歳　＊	イッピン＊	岩合光昭の世界ネコ歩き＊	驚き！地球！グレートネイチャー	ふらっとあの街旅ラン10キロ＊	新・BS日本のうた＊	今週の連続テレビ小説 澪（みお）つくし＊	後0:00
0:30	にっぽん百名山＊	極上!スイーツマジック選		ニッポンぶらり鉄道旅＊	魂のタキ火＊			
1:00	プレミアムシネマ							1:30
2:00							特集／プレミアムシネマ／アンコール番組 ほか	2:00
3:00	プレミアムセレクション（定時番組・特集番組ほか）							3:00
4:30					新・BS日本のうた＊		プレミアムドラマ＊	4:30

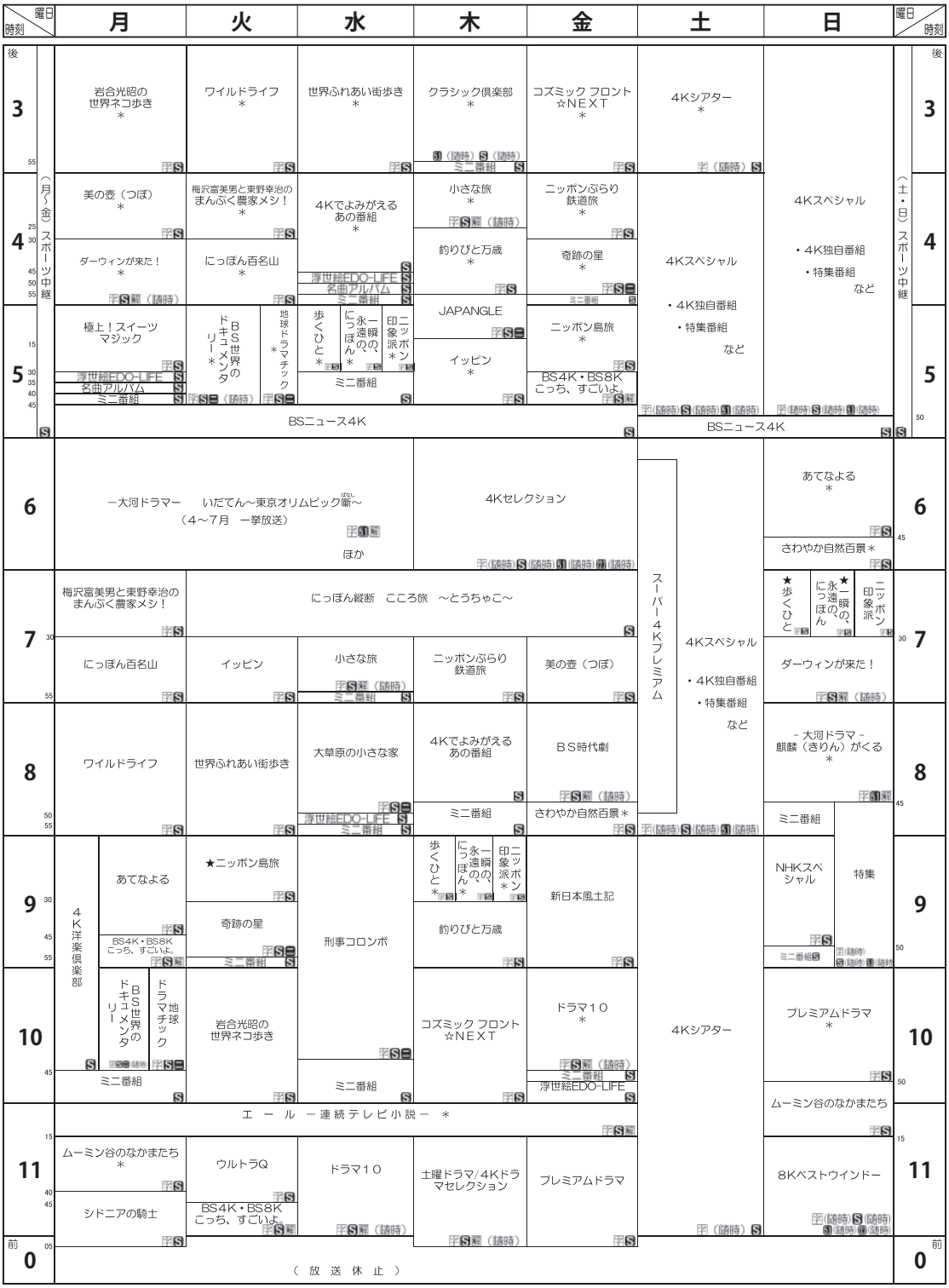


（注）★印は新設番組、＊印は再放送
字印は字幕放送、S印はステレオ放送、解印は解説放送、二印は２か国語放送、デ印 はデータ放送の番組連動サービス対象番組

BS4K

（4～9月）

曜日／時刻	月	火	水	木	金	土	日
前5	（放送休止）						
6	8Kベストウインドー／4Kセレクション ○これまでに放送した8K番組・4K番組の再放送					イッピン ＊ にっぽん百名山 ＊ ニッポン縦断　こころ旅	BS4K・BS8K こっち、すごいよ。 ニッポン島旅 ＊ 美の壺（つぼ） ＊
7	★エール －連続テレビ小説－						歩くひと ＊／にっぽん ＊／永遠の、一瞬の、／印象派 ＊ニッポン
8	にっぽん縦断　こころ旅	ワイルドライフ ＊	世界ふれあい街歩き ＊	岩合光昭の世界ネコ歩き ＊	コズミック フロント☆ＮＥＸＴ ＊	新日本風土記 ＊	4Kでよみがえるあの番組 ＊ ニッポン島旅 ＊
9	クラシック倶楽部 名曲アルバム	イッピン ＊ 歩くひと ＊／にっぽん ＊／永遠の、一瞬の、／印象派 ＊ニッポン	小さな旅 ＊ ミニ番組 釣りびと万歳 ＊	ニッポンぶらり鉄道旅 ＊ 奇跡の星 ＊ 名曲アルバム	美の壺（つぼ） ＊ ダーウィンが来た！ ＊	週刊まるわかりニュース ミニ番組 今週の連続テレビ小説 エール ＊	－大河ドラマ－ 麒麟（きりん）がくる ムーミン谷のなかまたち ＊
10	大草原の小さな家 ミニ番組						奇跡の星 ＊ 小さな旅 ＊
11	大草原の小さな家 ＊	4Kセレクション ○これまでに放送した4K番組・8K番組の再放送 ・紀行番組 ・教養番組 ・自然・科学番組 ・地域・暮らしの番組 ・映画、ドラマ番組　など					にっぽん縦断　こころ旅 ～とうちゃこ～ ＊
後0	BSニュース4K					新・BS日本のうた	4Kスペシャル
1	（月・金）スポーツ中継	4Kセレクション ○これまでに放送した4K番組・8K番組の再放送 ・紀行番組 ・教養番組 ・自然・科学番組 ・地域・暮らしの番組 ・映画、ドラマ番組　など					・4K独自番組 ・特集番組 など
2						4Kシアター ＊	（土・日）スポーツ中継



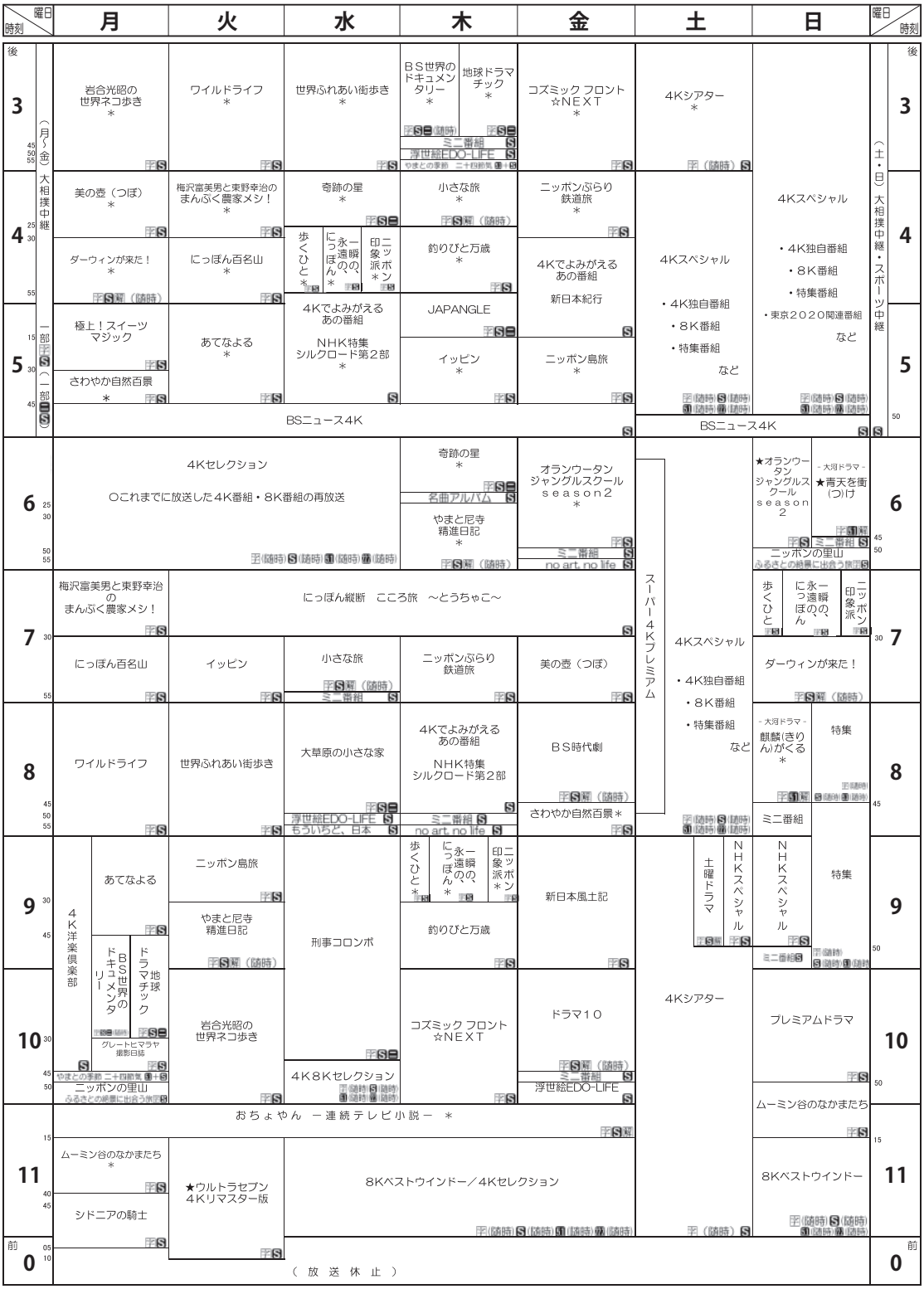
（注）★印は新設番組、＊印は再放送
字印は字幕放送、S印はステレオ放送、5.1印は5.1chサラウンド放送、22印は22.2マルチch、解印は解説放送、二印は２か国語放送

BS4K

（10月～）

時刻＼曜日	月	火	水	木	金	土	日
前5	（放送休止）						
6	★8Kヨーロッパ トラムの旅		8Kベストウインドー／4Kセレクション		クラシック倶楽部＊	イッピン＊	BS4K・BS8K こっち、すごいよ。 ミニ番組 ニッポン島旅＊ ミニ番組
7	岩合光昭の世界ネコ歩き	やまと尼寺 精進日記＊	○これまでに放送した8K番組・4K番組の再放送			ニッポンぶらり 鉄道旅＊	ウルトラセブン 4Kリマスター版＊
	★おちょやん －連続テレビ小説－						
	にっぽん縦断 こころ旅					4Kでよみがえる あの番組 NHK特集 シルクロード第2部＊	さわやか自然百景
8	ワイルドライフ＊	世界ふれあい街歩き＊	岩合光昭の世界ネコ歩き＊	コズミック フロント☆NEXT＊	新日本風土記＊	奇跡の星＊	-大河ドラマ- 麒麟(きりん)がくる＊ 小さな旅 4Kセレクション おちょやん －連続テレビ小説－（土曜放送分）＊
9	クラシック倶楽部 名曲アルバム	イッピン＊ 歩くひと＊ にっぽん、永遠の、＊ 印象派ニッポン＊	小さな旅＊ 8Kタイムラプス紀行	ニッポンぶらり 鉄道旅＊ 釣りびと万歳＊	美の壺（つぼ）＊ ダーウィンが来た！＊	週刊まるわかりニュース グレートヒマラヤ撮影日誌	-大河ドラマ- 麒麟(きりん)がくる 4Kスペシャル
10	大草原の小さな家					今週の 連続テレビ小説 おちょやん＊	4Kスペシャル ・4K独自番組 ・8K番組 ・特集番組 など
	ミニ番組						
11	大草原の小さな家＊	4Kセレクション ○これまでに放送した4K番組・8K番組の再放送 ・紀行番組 ・教養番組 ・自然・科学番組 ・地域・暮らしの番組 ・映画、ドラマ番組　など				にっぽん縦断 こころ旅 ～とうちゃこ～＊	
後0	BSニュース4K					新・BS日本のうた	
1	（月～金）大相撲中継	4Kセレクション ○これまでに放送した4K番組・8K番組の再放送 ・紀行番組 ・教養番組 ・自然・科学番組 ・地域・暮らしの番組 ・映画、ドラマ番組　など					4Kスペシャル ・4K独自番組 ・8K番組 ・特集番組 など
2						4Kシアター＊	

（土・日）大相撲中継・スポーツ中継



（注）★印は新設番組、＊印は再放送
字印は字幕放送、S印はステレオ放送、5.1印は5.1chサラウンド放送、22印は22.2マルチch、5.1＋S印は5.1chサラウンド放送＋ステレオ放送、解印は解説放送、二印は2か国語放送

<table>
<tr><th>曜日
時刻</th><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th><th>曜日
時刻</th></tr>
<tr><td>前
9</td><td colspan="7">（ 放 送 休 止 ）</td><td>前
9</td></tr>
<tr><td>10</td><td colspan="3" rowspan="6">８Ｋセレクション

○文化・美術番組
○自然・科学番組
○紀行番組
○コンサート
　Ｎ響＆クラシック
　ＪＡＺＺ、Ｊポップ
○舞台中継
　ミュージカル
　クラシックバレエ
　伝統芸能
○映画、ドラマ　　ほか

スポーツ中継

字（随時）22（随時）51（随時）S（随時）解（随時）</td><td colspan="4" rowspan="6">８Ｋウイークエンド
セレクション

字（随時）22（随時）51（随時）S（随時）解（随時）</td><td>10</td></tr>
<tr><td>11</td><td>11</td></tr>
<tr><td>後
0</td><td>後
0</td></tr>
<tr><td>1</td><td>1</td></tr>
<tr><td>2</td><td>2</td></tr>
<tr><td>3</td><td>3</td></tr>
<tr><td>4</td><td colspan="3" rowspan="4">８Ｋセレクション

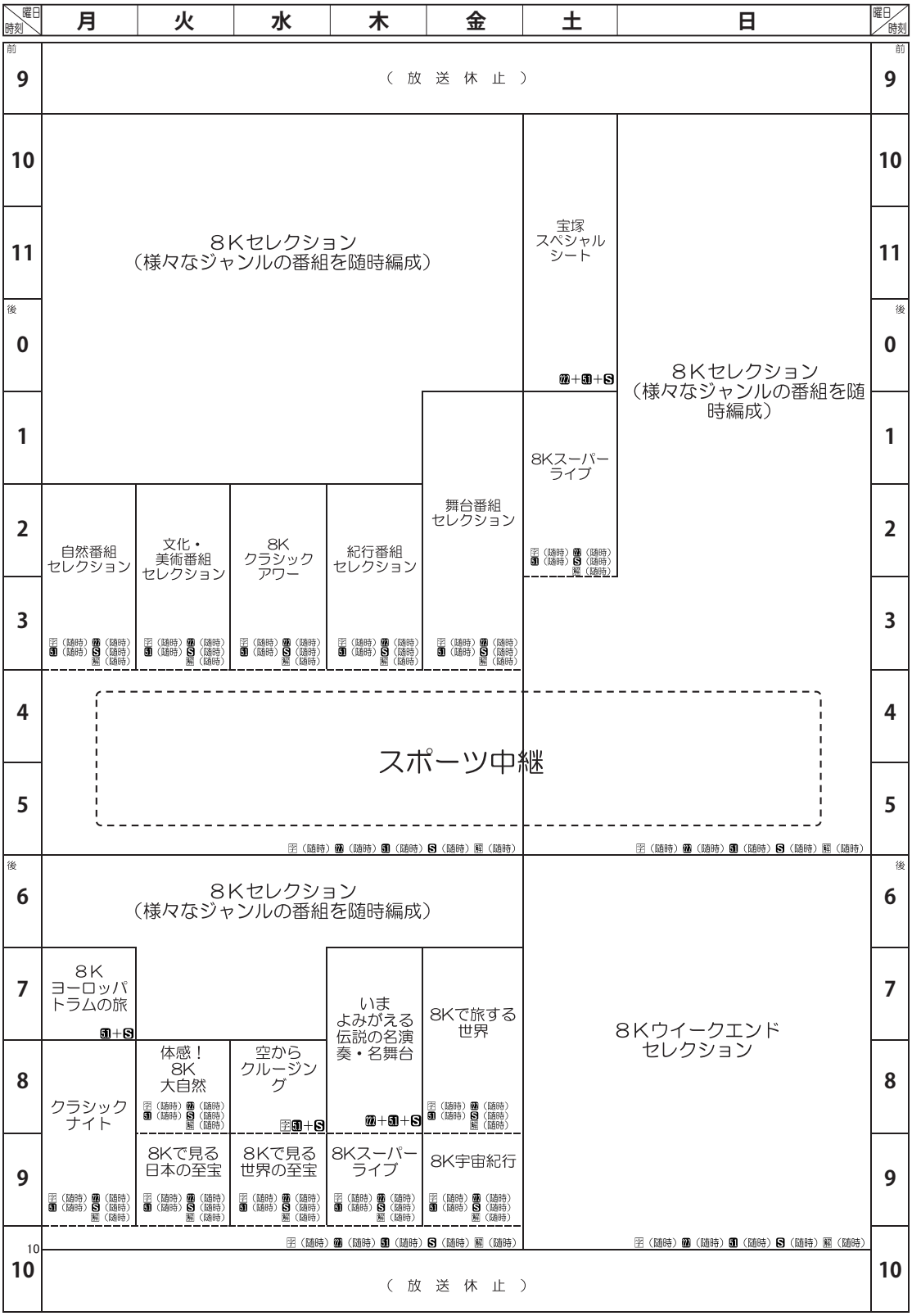
○文化・美術番組
○自然・科学番組
○紀行番組
○コンサート
　Ｎ響＆クラシック
　ＪＡＺＺ、Ｊポップ
○舞台中継
　ミュージカル
　クラシックバレエ
　伝統芸能
○映画、ドラマ　　ほか

字（随時）22（随時）51（随時）S（随時）解（随時）</td><td>4</td></tr>
<tr><td>5</td><td>5</td></tr>
<tr><td>後
6</td><td colspan="4">８Ｋウイークエンド
セレクション

字（随時）22（随時）51（随時）S（随時）解（随時）</td><td>後
6</td></tr>
<tr><td>7</td><td colspan="4" rowspan="3">コンサート
Ｎ響＆クラシック、ＪＡＺＺ、Ｊポップ
／
舞台中継
ミュージカル、クラシックバレエ、伝統芸能
／
映画　８Ｋリマスター
／
文化・美術番組
／
自然・科学番組
／
紀行番組
／
ドラマ
／
スポーツ中継

字（随時）22（随時）51（随時）S（随時）解（随時）</td><td>7</td></tr>
<tr><td>8</td><td>8</td></tr>
<tr><td>9</td><td>9</td></tr>
<tr><td>10
10</td><td colspan="7">（ 放 送 休 止 ）</td><td>10
10</td></tr>
</table>

(注) 字印は字幕放送、S印はステレオ放送、51印は5.1chサラウンド放送、22印は22.2マルチch、解印は解説放送

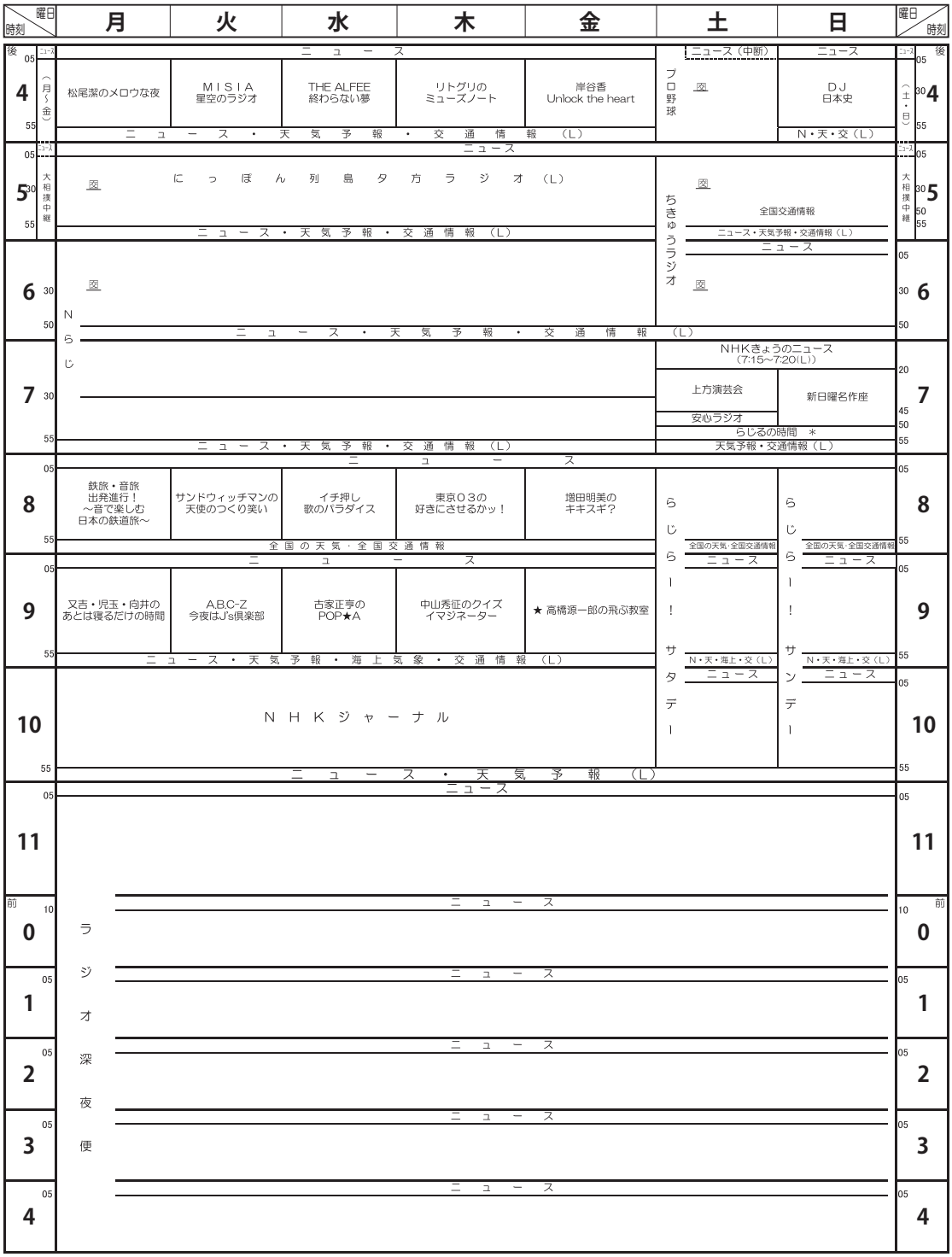


(注) 字印は字幕放送、S印はステレオ放送、51印は5.1chサラウンド放送、22印は22.2マルチch、解印は解説放送

ラジオ第１

（４～９月）

時刻＼曜日	月	火	水	木	金	土	日	曜日＼時刻
前 5:55	マイあさ！ 天気予報（L）							前 5:55
6:25	ニュース・天気予報・交通情報（L）							6:25
6:30	ラジオ体操							6:30
6:40	天気予報・鉄道情報・交通情報（L）					天気・鉄道・交通（L）	天気・交通（L）	6:40
7:15	三宅民夫のマイあさ！ ニュース・天気予報（L）					ニュース・天気予報（L）		7:15
7:20	ニュース・天気予報（L）					マイあさ！		7:20
7:30	図					図	図	7:30
7:40								7:40
7:50	ニュース・天気予報ほか（L）					N・天気・交通（L）	N・天気・交通（L）	7:50
7:58	図 朝の音楽							7:55
8:00						ニュース		8:00
8:05								8:05
8:28						石丸謙二郎の山カフェ	音楽の泉	8:28
8:30	図 朝の音楽					図		8:30
8:55	全国の天気・全国交通情報					全国の天気・全国交通情報		8:55
9:00	ニュース					ニュース		9:00
9:05								9:05
9:30	図 N					図	日曜討論	9:30
9:33								9:33
9:55	★らじるラボ ニュース・天気予報・交通情報（L）							9:55
10:00	ニュース							10:00
10:05								10:05
10:30	図 N					真打ち競演	子ども科学電話相談 図	10:30
10:33								10:33
10:55	らじるの時間						らじるの時間	10:55
11:00	ニュース						ニュース	11:00
11:05								11:05
11:30	図 N					図 文芸選評		11:30
11:33								11:33
11:50	天気予報・交通情報（L）							11:50
後 0:00	ニュース・天気予報（0:15～0:20(L)）					ニュース・天気予報（0:10～0:15(L)）		後 0:00
0:20	ひるのいこい					ひるのいこい		0:15
0:30						歌え！土曜日 Love Hits	NHKのど自慢	0:30
0:55	安心ラジオ＊							0:55
1:00	ニュース							1:00
1:05								1:05
1:30	図 武内陶子のここカフェ 列島リレーニュース					らじるセレクト あれから、そして未来へ（年8回）	徳井青空のあにげっちゅ 図	1:30
1:55	ニュース・天気予報・交通情報（L）					N・天気・交通(L)	N・天気・交通(L)	1:55
2:00	ニュース					ニュース	ニュース	2:00
2:05								2:05
2:30	図 N					図 プロ野球	図	2:30
2:33								2:33
2:55	ニュース・天気予報・交通情報（L）						N・天気・交通(L)	2:55
3:00	ニュース・天気予報					ニュース（中断）	ニュース	3:00
3:05								3:05
3:10								3:10
3:30	図 N					図	らじるセレクト	3:30
3:33								3:33
3:55	全国の天気・全国交通情報						全国の天気・全国交通情報	3:55



(注) 1．★印は新設番組、＊は再放送番組
N は 30 分時の「ニュース」（3分）
図は「交通情報」（東京し）（時間表示していない図は原則として正時・30 分前に 2 分程度放送）
2．ネット送出　（土）前 11:50～11:55 「音の風景」
（日）前 11:50～11:55 「みんなのうた」
（日）後 7:55～ 8:00 「音の風景」

ラジオ第１

（10月～）

時刻＼曜日	月	火	水	木	金	土	日	曜日＼時刻
前 5:55	マイあさ！ 天気予報（L）							前 5:55
6:25	ニュース・天気予報・交通情報（L）							6:25
6:30	ラジオ体操							6:30
6:40	天気予報・鉄道情報・交通情報（L）					天気・鉄道・交通（L）	天気・交通（L）	6:40
7:15	三宅民夫のマイあさ！ ニュース・天気予報（L）					マイあさ！ ニュース・天気予報（L）		7:15
7:50	ニュース・天気予報ほか（L）					N・天気・交通（L）	N・天気・交通（L）	7:50
7:58	朝の音楽							7:58
8:05						ニュース		8:05
8:28	朝の音楽					石丸謙二郎の山カフェ	音楽の泉	8:30
8:55	全国の天気・全国交通情報					全国の天気・全国交通情報		8:55
9:05	らじるラボ ニュース					ニュース		9:05
9:30							日曜討論	9:30
9:55	ニュース・天気予報・交通情報（L）							9:55
10:05	ニュース							10:05
10:30						真打ち競演	子ども科学電話相談	10:30
10:55	らじるの時間						らじるの時間	10:55
11:05	ニュース						ニュース	11:05
11:30						文芸選評		11:30
11:50	天気予報・交通情報（L）							11:50
後 0:00	ニュース・天気予報（0:15～0:20(L)）					ニュース・天気予報（0:10～0:15(L)）		後 0:00
0:20	ひるのいこい					ひるのいこい	NHKのど自慢	0:15
0:30						歌え！土曜日 Love Hits		0:30
0:55	安心ラジオ＊							0:55
1:05	ニュース							1:05
1:30	武内陶子のごごカフェ 列島リレーニュース					らじるセレクト あれから、そして未来へ（年8回）	徳井青空のあにげっちゅ	1:30
1:55	ニュース・天気予報・交通情報（L）					N・天気・交通(L)	N・天気・交通(L)	1:55
2:05	ニュース					ニュース	ニュース	2:05
2:30						プロ野球 ★大竹しのぶの“スピーカーズコーナー”（11月～）		2:30
2:55	ニュース・天気予報・交通情報（L）						N・天気・交通(L)	2:55
3:05	ニュース・天気予報					ニュース（中断）	ニュース	3:05
3:30						★大竹しのぶの“スピーカーズコーナー”（11月～）	らじるセレクト	3:30
3:55	全国の天気・全国交通情報						全国の天気・全国交通情報	3:55

時刻	月	火	水	木	金	土	日
後4:05	ニュース					ニュース（中断）	ニュース
4:25	松尾潔のメロウな夜	MISIA 星空のラジオ	THE ALFEE 終わらない夢	リトグリの ミューズノート	岸谷香 Unlock the heart	プロ野球 図	★ヤバイラジオ屋さん（11月～）
4:55	ニュース・天気予報・交通情報（L）						N・天・交（L）
5:05	ニュース						
5:30	図 にっぽん列島夕方ラジオ（L）					図 ちきゅうラジオ	DJ 日本史
5:55	ニュース・天気予報・交通情報（L）					全国交通情報 ニュース・天気予報・交通情報（L）	
6:05						ニュース	
6:30	図 Nらじ					図	
6:50	ニュース・天気予報・交通情報（L）						
7:05						NHKきょうのニュース（7:15～7:20(L)）	
7:30						上方演芸会	新日曜名作座
7:55	ニュース・天気予報・交通情報（L）					安心ラジオ らじるの時間 ＊ 天気予報・交通情報（L）	
8:05	ニュース						
8:25	鉄旅・音旅 出発進行！ ～音で楽しむ日本の鉄道旅～	サンドウィッチマンの天使のつくり笑い	イチ押し 歌のパラダイス	東京03の 好きにさせるかッ！	増田明美の キキスギ？	らじらー！サタデー 全国の天気・全国交通情報	らじらー！サンデー 全国の天気・全国交通情報
8:55	全国の天気・全国交通情報					ニュース	ニュース
9:05	ニュース						
9:25	又吉・児玉・向井のあとは寝るだけの時間	A.B.C-Z 今夜はJ's倶楽部	古家正亨の POP★A	中山秀征のクイズ イマジネーター	高橋源一郎の飛ぶ教室		
9:55	ニュース・天気予報・海上気象・交通情報（L）					N・天・海上・交（L） ニュース	N・天・海上・交（L） ニュース
10:05							
10:25	NHKジャーナル						
10:55	ニュース・天気予報（L）						
11:05	ニュース						
前0:10	ラジオ深夜便 ニュース						
1:05	ニュース						
2:05	ニュース						
3:05	ニュース						
4:05	ニュース						

（注）1．★印は新設番組、＊は再放送番組
N は 30 分時の「ニュース」（3分）
図は「交通情報」（東京L）（時間表示していない図は原則として正時・30 分前に2分程度放送、平日午前7時台は 25 分から2分程度）
2．ネット送出　（土）前 11:50 ～ 11:55 「音の風景」
（日）前 11:50 ～ 11:55 「みんなのうた」
（日）後 7:55 ～ 8:00 「音の風景」

ラジオ第２

（４～９月）

時刻＼曜日	月	火	水	木	金	土	日
前5	（放送休止）						
6:15	基礎英語１					文化講演会＊	古典講読＊
6:30	基礎英語２						
6:45	基礎英語３						
7:00	ラジオ英会話						こころをよむ
7:15	語学講座 まいにちドイツ語					英会話タイムトライアル＊	
7:25							名曲の小箱
7:30	まいにちスペイン語						視覚障害ナビ・ラジオ＊
7:45	まいにちフランス語						
7:50	まいにちイタリア語						
8:00	まいにちハングル講座					遠山顕の英会話楽習＊	基礎英語０＊
8:15	まいにち中国語						
8:30	英会話タイムトライアル						
8:35						みんなのうた	
8:40	ラジオ体操＊						宗教の時間
8:50	語学講座 まいにちロシア語					ポルトガル語入門＊	
9:05	ポキャブライダー					エンジョイ・シンプル・イングリッシュ＊	おもてなしのハングル＊
9:10	エンジョイ・シンプル・イングリッシュ						
9:15	入門ビジネス英語	実践ビジネス英語					
9:30	お話でてこい	★おしゃべりな古典教室				音で訪ねるニッポン時空旅	アラビア語講座
9:45	朗読						
10:00	カルチャーラジオ＊						
10:30	NHKラジオアーカイブス	歴史再発見	芸術その魅力	文学の世界	科学と人間	漢詩をよむ	日曜カルチャー
10:45	遠山顕の英会話楽習	おもてなしのハングル				入門ビジネス英語＊	
11:00	まいにちハングル講座＊						
11:15	語学講座 まいにちフランス語＊					実践ビジネス英語＊	まいにち中国語＊
11:30	まいにちイタリア語＊						
11:45	まいにちドイツ語＊						
11:55	まいにちスペイン語＊					名曲スケッチ	
後0:00						みんなのうた	
0:10	ラジオ体操						
0:15	みんなのうた					音の風景	
0:25	英会話タイムトライアル＊					ポキャブライダー＊	社会福祉セミナー＊
0:40	語学講座 ラジオ英会話＊						
0:55	入門ビジネス英語＊	実践ビジネス英語＊				高校生からはじめる「現代英語」＊	
1:00	世界へ発信！ニュースで英語術					名曲の小箱	みんなのうた
1:10	中国語ニュース						
1:15						中国語“日本ジャーナル”	
1:25	ハングルニュース					ハングル日本百科	
1:30							
1:40	英語ニュース					ハングルニュース	
1:45							
1:50	Plug-in Japan					スペイン語ニュース	
2:00	スペイン語ニュース					英語ニュース	
2:10	★ロシア語ニュース					基礎英語０＊	やさしい日本語
2:20							
2:25	音の風景						世界へ発信！ニュースで英語術＊
2:30	らじるの時間						
2:40	語学講座 まいにちフランス語＊					ポルトガル語入門＊	
2:45							
2:50	まいにちスペイン語＊					音の風景	
3:00	ラジオ体操＊						
3:10	みんなのうた						
3:15	語学講座 まいにちドイツ語＊					私の日本語辞典	まいにちハングル講座＊
3:30	まいにちロシア語＊						
3:45	遠山顕の英会話楽習＊	高校生からはじめる「現代英語」＊				ことばカアップ＊	

時刻＼曜日	月	火	水	木	金	土	日	時刻＼曜日
後 4:20	気象通報							後 4:20
4:25	語学講座 ボキャブライダー＊					音の風景		4:25
4:30	語学講座 エンジョイ・シンプル・イングリッシュ＊					みんなのうた		4:30
4:45	語学講座 まいにちロシア語＊					高校生からはじめる「現代英語」＊		4:45
5:00	語学講座 まいにちイタリア語＊							5:00
5:00	株式市況					古典講読	ラジオ英会話＊	5:00
5:45						おもてなしのハングル＊		5:45
6:10	ポルトガル語ニュース					こころをよむ＊	おしゃべりな古典教室＊	6:10
6:25	語学講座 まいにちハングル講座＊							6:25
6:35	語学講座 英会話タイムトライアル＊							6:35
6:45	語学講座 基礎英語０					みんなのうた	宗教の時間＊	6:45
7:00	語学講座 基礎英語１＊					ポルトガル語入門		7:00
7:15	語学講座 基礎英語２＊					社会福祉セミナー	音で訪ねるニッポン時空旅＊	7:15
7:30	語学講座 基礎英語３＊					音の風景		7:30
7:30	高校講座 現代文	現代文	コミュニケーション英語Ⅲ	仕事の現場 real	古典	古典	視覚障害ナビ・ラジオ	7:30
7:50	高校講座 現代社会	英語表現Ⅰ	数学Ⅱ	数学Ⅱ	倫理	政治・経済		7:50
8:10	高校講座 コミュニケーション英語Ⅱ	コミュニケーション英語Ⅱ	保健体育	音楽Ⅰ	国語総合	国語総合	カルチャーラジオ	8:10
8:30	カルチャーラジオ NHKラジオアーカイブス	歴史再発見	芸術その魅力	文学の世界	科学と人間	漢詩をよむ	日曜カルチャー	8:30
9:00	語学講座 基礎英語１＊					遠山顕の英会話楽習＊	文化講演会	9:00
9:15	語学講座 基礎英語２＊							9:15
9:30	語学講座 基礎英語３＊							9:30
9:45	語学講座 ラジオ英会話＊							9:45
10:00	語学講座ほか おもてなしの中国語	ことばカアップ	高校生からはじめる「現代英語」			朗読＊	高校生からはじめる「現代英語」＊	10:00
10:15	語学講座ほか まいにち中国語＊							10:15
10:30	語学講座ほか ベトナム語ニュース						名曲スケッチ	10:30
10:40	語学講座ほか インドネシア語ニュース						みんなのうた	10:40
10:50	語学講座ほか ★タイ語ニュース						ポルトガル語入門＊	10:50
11:00	語学講座ほか 英会話タイムトライアル＊					ポルトガル語ニュース	ポルトガル語ニュース	11:00
11:10	語学講座ほか エンジョイ・シンプル・イングリッシュ＊						名曲の小箱	11:10
11:15	語学講座ほか 世界へ発信！ニュースで英語術＊					世界へ発信！ニュースで英語術＊		11:15
11:20	語学講座ほか 入門ビジネス英語＊	実践ビジネス英語＊					私の日本語辞典＊	11:20
11:35	語学講座ほか ボキャブライダー＊					みんなのうた		11:35
11:40	高校講座 現代文	現代文	コミュニケーション英語Ⅲ	仕事の現場 real	古典	古典	ことばカアップ＊	11:40
前 0:00	高校講座 現代社会	英語表現Ⅰ	数学Ⅱ	数学Ⅱ	倫理	政治・経済	やさしい日本語＊	前 0:00
0:10	高校講座 コミュニケーション英語Ⅱ	コミュニケーション英語Ⅱ	保健体育	音楽Ⅰ	国語総合	国語総合	おしゃべりな古典教室＊	0:10
0:20								0:20
0:40								0:40
1:00	（放送休止）							1:00

(注) ★印は新設番組、＊印は再放送

ラジオ第２

（10月～）

時刻＼曜日	月	火	水	木	金	土	日	曜日＼時刻
前 5	（放　送　休　止）							前 5
6 15 30 45	語学講座 基礎英語１					文化講演会＊	古典講読 ＊	6 45
	基礎英語２							
	基礎英語３						こころをよむ	
7 15 30 45	まいにちドイツ語					英会話タイムトライアル＊		7 25 30 50
	まいにちスペイン語						名曲の小箱	
	まいにちフランス語						視覚障害ナビ・ラジオ＊	
	まいにちイタリア語					遠山顕の英会話楽習 ＊		
8 15 30 40 50	まいにちハングル講座						基礎英語０＊	8 30 35 40 50
	まいにち中国語							
	英会話タイムトライアル					みんなのうた	宗教の時間	
	ラジオ体操 ＊					ボルトガル語ステップアップ＊		
9 05 10 15 30 45	語学講座 まいにちロシア語							9 05 30
	ボキャブライダー					エンジョイ・シンプル・イングリッシュ＊	ステップアップ中国語 ＊	
	エンジョイ・シンプル・イングリッシュ							
	入門ビジネス英語	実践ビジネス英語						
	お話でてこい	おしゃべりな古典教室				音で訪ねるニッポン時空旅	アラビア語講座	
	朗　読							
10 30 45	カルチャーラジオ ＊							10 30
	NHKラジオアーカイブス	歴史再発見	芸術その魅力	文学の世界	科学と人間	漢詩をよむ	日曜カルチャー	
	遠山顕の英会話楽習		ステップアップ中国語 ＊			入門ビジネス英語＊		
	まいにちハングル講座 ＊							
11 15 30 45	語学講座 まいにちフランス語 ＊					実践ビジネス英語＊	まいにち中国語＊	11 45 55
	まいにちイタリア語 ＊							
	まいにちドイツ語 ＊							
	まいにちスペイン語 ＊					名曲スケッチ		
						みんなのうた		
後 0 10 15 25 40 55	ラジオ体操							後 0 10 15 40 55
	みんなのうた					音の風景		
	語学講座 英会話タイムトライアル ＊					ボキャブライダー＊	社会福祉セミナー ＊	
	ラジオ英会話＊							
	入門ビジネス英語 ＊	実践ビジネス英語 ＊				高校生からはじめる「現代英語」＊		
	世界へ発信！ニュースで英語術					名曲の小箱	みんなのうた	
1 15 30 45	中国語ニュース					中国語“日本ジャーナル”		1 10 25 40 50
	ハングルニュース					ハングル日本百科		
	英語ニュース					ハングルニュース		
	Plug-in Japan					スペイン語ニュース		
2 10 20 25 30 45	スペイン語ニュース					英語ニュース		2 10 20 40 45 55
	ロシア語ニュース					基礎英語０＊	やさしい日本語	
	音の風景							
	らじるの時間						世界へ発信！ニュースで英語術＊	
	語学講座 まいにちフランス語＊					ボルトガル語ステップアップ＊		
	まいにちスペイン語＊					音の風景		
3 10 15 30 45	ラジオ体操 ＊						まいにちハングル講座＊	3 10 15 45
	みんなのうた							
	語学講座 まいにちドイツ語＊					私の日本語辞典		
	まいにちロシア語＊							
	遠山顕の英会話楽習＊	高校生からはじめる「現代英語」＊				ことばカアップ＊		

時刻＼曜日	月	火	水	木	金	土	日	時刻＼曜日
後 4:20	気象通報							後 4:20
4:25	ボキャブライダー＊					音の風景		4:25
4:30	エンジョイ・シンプル・イングリッシュ＊					みんなのうた		4:30
4:45	まいにちロシア語＊					高校生からはじめる「現代英語」＊		4:45
5:00	まいにちイタリア語＊							5:00
5:00	株式市況					古典講読	ラジオ英会話＊	5:00
5:45						ステップアップ中国語＊		5:45
6:10	ポルトガル語ニュース							6:10
6:25	まいにちハングル講座＊					こころをよむ＊	おしゃべりな古典教室＊	6:25
6:35	英会話タイムトライアル＊							6:35
6:45	基礎英語０					みんなのうた	宗教の時間＊	6:45
7:00	基礎英語１＊					ポルトガル語ステップアップ		7:00
7:15	基礎英語２＊					社会福祉セミナー	音で訪ねるニッポン時空旅＊	7:15
7:30	基礎英語３＊					音の風景		7:30
7:30	現代文	現代文	コミュニケーション英語Ⅲ	仕事の現場 real	古典	古典	視覚障害ナビ・ラジオ	7:30
7:50	現代社会	英語表現Ⅰ	数学Ⅱ	数学Ⅱ	倫理	政治・経済		7:50
8:10	コミュニケーション英語Ⅱ	コミュニケーション英語Ⅱ	保健体育	音楽Ⅰ	国語総合	国語総合	カルチャーラジオ	8:10
8:30	カルチャーラジオ							8:30
8:30	NHKラジオアーカイブス	歴史再発見	芸術その魅力	文学の世界	科学と人間	漢詩をよむ	日曜カルチャー	8:30
9:00	基礎英語１＊							9:00
9:15	基礎英語２＊					遠山顕の英会話楽習＊	文化講演会	9:15
9:30	基礎英語３＊							9:30
9:45	ラジオ英会話＊							9:45
10:00	★ステップアップ中国語	ことばカアップ	高校生からはじめる「現代英語」			朗読＊	高校生からはじめる「現代英語」＊	10:00
10:15	まいにち中国語＊							10:15
10:30	ベトナム語ニュース						名曲スケッチ	10:30
10:40	インドネシア語ニュース						みんなのうた	10:40
10:50	タイ語ニュース						ボルトガル語ステップアップ＊	10:50
11:00	英会話タイムトライアル＊					ボルトガル語ニュース	ボルトガル語ニュース	11:00
11:10	エンジョイ・シンプル・イングリッシュ＊						名曲の小箱	11:10
11:15	世界へ発信！ニュースで英語術＊					世界へ発信！ニュースで英語術＊		11:15
11:20	入門ビジネス英語＊	実践ビジネス英語＊					私の日本語辞典＊	11:20
11:35	ボキャブライダー＊					みんなのうた		11:35
11:40	現代文	現代文	コミュニケーション英語Ⅲ	仕事の現場 real	古典	古典	ことばカアップ＊	11:40
前 0:00	現代社会	英語表現Ⅰ	数学Ⅱ	数学Ⅱ	倫理	政治・経済	やさしい日本語＊	前 0:00
0:20	コミュニケーション英語Ⅱ	コミュニケーション英語Ⅱ	保健体育	音楽Ⅰ	国語総合	国語総合	おしゃべりな古典教室＊	0:20
0:40								0:40
1:00	（放送休止）							1:00

（注）★印は新設番組、＊印は再放送

時刻＼曜日	月	火	水	木	金	土	日	曜日＼時刻
前5:20	音楽の泉＊	弾き語りフォーユー＊				カブキ・チューン＊	邦楽百番＊	前5
5:50		邦楽のひととき＊			民謡をたずねて			5:50
5:55	名曲の小箱							5:55
6	天気予報（L）	古楽の楽しみ				ビバ！合唱	FM能楽堂	6
6:55	天気予報・鉄道情報・交通情報（L）						天気・交通（L）	6:55
7	三宅民夫のマイあさ！（7：20～7：25（L））					マイあさ！（7：15～7：20（L））		7
7:25	×（かける）クラシック＊	クラシックカフェ＊				ウイークエンドサンシャイン	吹奏楽のひびき	7:20
8							現代の音楽	8:10
9:15	音の風景					世界の快適音楽セレクション	名演奏ライブラリー	9
9:20	音楽遊覧飛行				リサイタル・パッシオ＊			
9:55					名曲の小箱			
10	松尾潔のメロウな夜＊	MISIA 星空のラジオ＊	THE ALFEE 終わらない夢＊	リトグリのミューズノート＊	岸谷香 Unlock the heart＊			10
10:50	5分でミュージックライン＊							10:50
10:55	らじるの時間							10:55
11:20	弾き語りフォーユー				カブキ・チューン	邦楽百番	吉木りさのタミウタ	11
11	邦楽のひととき			浪曲十八番				11
11:50	天気予報・交通情報（L）							11:50
後0:20	ニュース・天気予報（0:15～0:20(L)）					ニュース・天気予報（0:10～0:15（L））		後0:15
0:30	ひるのいこい					ひるのいこい	トーキングウィズ松尾堂 / （最終週）グッチ裕三の日曜ヒルは話半分	0:30
1	歌謡スクランブル							1
1:55							音の風景	1:55
2	クラシックカフェ				オペラ・ファンタスティカ	アニソン・アカデミー	★×（かける）クラシック	2
3:50	名曲スケッチ						名曲スケッチ	3:50

時刻＼曜日	月	火	水	木	金	土	日	時刻＼曜日
後4:40	音楽遊覧飛行 ＊				オペラ・ファンタスティカ	ラジオマンジャック	洋楽グロリアスデイズ	後4
5	ゆうがたパラダイス						ワールドロックナウ	5
6:50	夜のプレイリスト＊（L）					N響演奏会（生放送）／ザ・ソウルミュージックⅡ	サカナクション・山口一郎 "Night Fishing Radio"／昭和歌謡 令和、ロックバーで ～ドラマな人々の音楽談議～ ※隔週	6
	ニュース・天気予報・交通情報(L)					ニュース・天気予報・交通情報(L)		50
7:30	ベストオブクラシック・N響演奏会（生放送）／Ｎ らじ					NHKきょうのニュース（7:15～7:20(L)）		7:20
8	ベストオブクラシック					N響 ザ・レジェンド／鍵盤のつばさ	プラボー！オーケストラ	8:15
							リサイタル・パッシオ	8:20
							音の風景	8:55
9:10	みんなのうた							
9:15	青春アドベンチャー					クラシックの迷宮	★ディスカバー・ビートルズ	9
9:30								
10	ミュージックライン					FMシアター	サウンドクリエイターズ・ファイル	10:50
						名曲スケッチ		
11:50	松尾潔のメロウな夜	MISIA 星空のラジオ	THE ALFEE 終わらない夢	★リトグリのミューズノート	岸谷香 Unlock the heart	ジャズ・トゥナイト／（最終週）セッション2020		11:30
11:55	5分でミュージックライン							
	らじるの時間 ＊						眠れない貴女（あなた）へ	
前0:50	夜のプレイリスト							前0
	名曲スケッチ							
1:05	ニュース							1:05
2:05	ニュース							2:05
3:05	ニュース							3:05
4:05	ニュース							4:05

ラジオ深夜便

（注）1．★印は新設番組、＊は再放送番組
2．ネット送出　（土）前 11:50 ～ 11:55 「みんなのうた」
（日）前 11:50 ～ 11:55 「音の風景」

時刻＼曜日	月	火	水	木	金	土	日	曜日＼時刻
前 5:20	音楽の泉＊	弾き語りフォーユー＊				カブキ・チューン＊	邦楽百番＊	前 5
5:50		邦楽のひととき＊			民謡をたずねて			5:50
5:55	名曲の小箱							5:55
6	天気予報（L）	古楽の楽しみ				ビバ！合唱	FM能楽堂	6
6:55	天気予報・鉄道情報・交通情報（L）						天気・交通（L）	6:55
7:25	三宅民夫のマイあさ！（7：20～7：25（L））					マイあさ！（7：15～7：20（L））		7:20
7	×（かける）クラシック＊	クラシックカフェ＊				ウイークエンドサンシャイン	吹奏楽のひびき	7
8							現代の音楽	8:10
8								8
9:15	音の風景					世界の快適音楽セレクション	名演奏ライブラリー	9
9:20	音楽遊覧飛行				リサイタル・パッシオ＊			9
9:55					名曲の小箱			9
10	松尾潔のメロウな夜＊	MISIA 星空のラジオ＊	THE ALFEE 終わらない夢＊	リトグリのミューズノート＊	岸谷香 Unlock the heart＊			10
10:50	5分でミュージックライン＊							10:50
10:55	らじるの時間							10:55
11:20	弾き語りフォーユー				カブキ・チューン	邦楽百番	吉木りさのタミウタ	11:20
11	邦楽のひととき			浪曲十八番				11
11:50	天気予報・交通情報（L）							11:50
後 0:20	ニュース・天気予報（0:15～0:20(L)）					ニュース・天気予報（0:10～0:15（L））		後 0:15
0:30	ひるのいこい					ひるのいこい		0:30
0	歌謡スクランブル						トーキングウィズ松尾堂	0
1							（最終週）グッチ裕三の日曜ヒルは話半分	1
1:55							音の風景	1:55
2	クラシックカフェ				オペラ・ファンタスティカ	アニソン・アカデミー	★×（かける）クラシック	2
3								3
3:50	名曲スケッチ						名曲スケッチ	3:50

時刻＼曜日	月	火	水	木	金	土	日	時刻＼曜日
後4:00	音楽遊覧飛行 ＊				オペラ・ファンタスティカ	ラジオマンジャック	洋楽グロリアスデイズ	後4:00
5:00	ゆうがたパラダイス						ワールドロックナウ	5:00
6:00	夜のプレイリスト＊（L）					N響演奏会（生放送）／ザ・ソウルミュージックⅡ	サカナクション・山口一郎 "Night Fishing Radio"／田辺恵和 今夜、ロックバーで ～ドラマな人々の音楽談議～ ※隔週	6:00
6:50	ニュース・天気予報・交通情報(L)					ニュース・天気予報・交通情報(L)		6:50
7:00	ベストオブクラシック・N響演奏会（生放送）／Ｎ らじ					NHKきょうのニュース（7:15～7:20(L)）		7:00
7:30	ベストオブクラシック					N響 ザ・レジェンド	ブラボー！オーケストラ	7:20
8:00						鍵盤のつばさ		8:00
8:15							リサイタル・パッシオ	8:15
8:20							音の風景	8:20
8:55								8:55
9:00	みんなのうた／青春アドベンチャー					クラシックの迷宮	★ディスカバー・ビートルズ	9:00
10:00	ミュージックライン					FMシアター／名曲スケッチ	サウンドクリエイターズ・ファイル	10:00
10:50								10:50
11:00	松尾潔のメロウな夜	MISIA 星空のラジオ	THE ALFEE 終わらない夢	★リトグリのミューズノート	岸谷香 Unlock the heart	ジャズ・トゥナイト／（最終週）セッション2020		11:00
11:30							眠れない貴女（あなた）へ	11:30
11:50	5分でミュージックライン							11:50
11:55	らじるの時間 ＊							11:55
前0:00	夜のプレイリスト							前0:00
0:50	名曲スケッチ							0:50
1:05	ラジオ深夜便 ニュース							1:05
2:05	ニュース							2:05
3:05	ニュース							3:05
4:05	ニュース							4:05

（注）1．★印は新設番組、＊は再放送番組
2．ネット送出　（土）前 11:50 ～ 11:55 「みんなのうた」
（日）前 11:50 ～ 11:55 「音の風景」

テレビ国際放送（英語・外国人向け）　NHKワールド JAPAN

（4～9月）

NY	LD	香港	東京	月	火	水	木	金	土	日	東京
16	21	4	5	NHK NEWSLINE Have A Nice Stay!＊ Inspiring Landscapes＊ Easy Japanese＊ Ukiyoe EDO-LIFE＊ Doki Doki! NHK WORLD-JAPAN ＊ no art, no life＊	NHK NEWSLINE Direct Talk ＊ TOKYO EYE 2020 セレクション ＊	Japanology Plus ＊	Trails to Oishii Tokyo ＊	Journeys in Japan セレクション ＊ CYCLE AROUND JAPAN Highlights ＊	Dining with the Chef ＊	NHK NEWSLINE BIZ STREAM ＊ RISING セレクション ＊ #TOKYO＊ no art, no life＊	5
17	22	5	6	NHK NEWSLINE＊ J-MELO ＊ SONGS OF TOKYO ＊ PythagoraSwitch mini＊ Japan-easy＊	NHK NEWSLINE＊ NEWSLINE IN DEPTH ＊ Medical Frontiers ＊	Science View ＊	Culture Crossroads ＊ Japan's Top Inventions ＊	Japan Railway Journal ＊	Today's Close-Up ＊	NHK NEWSLINE＊ NHK Documentary ＊	6
18	23	6	7	NHK NEWSLINE Somewhere Street ＊	NHK NEWSLINE NEWSLINE IN DEPTH ＊ The Mark of Beauty ＊ （大相撲本場所期間中）7:30～7:59 GRAND SUMO Highlights ＊ Doctor's Insight ＊ ANI×PARA＊	Deeper Look from NY ＊	KABUKI KOOL ＊	Lunch ON! ＊ YJK mini＊	J-Arena ＊ GRAND SUMO Preview ＊	NHK NEWSLINE GATTEN! ＊ COOL JAPAN ＊ Easy Japanese＊	7
19	0	7	8	NHK NEWSLINE＊ The Flame Across Japan ＊ ANI×PARA TIME-LAPSE JAPAN JAPAN FROM ABOVE mini Seasoning the Seasons	NHK NEWSLINE＊ The Flame Across Japan ＊ Journeys in Japan	TOKYO EYE 2020	Core Kyoto	JIB独自番組	NHK WORLD SHOWCASE (A)	NHK NEWSLINE＊ NHK WORLD SHOWCASE (B)	8
20	1	8	9	NHK NEWSLINE NEWSLINE IN DEPTH BENTO EXPO Easy Japanese for Work	Dining with the Chef セレクション	15 Minutes 15 Minutes セレクション	DESIGN TALKS plus	Kawaii International	CYCLE AROUND JAPAN Train Cruise BJ mini	NHK NEWSLINE Ainme Supernova Darwin's Amazing Animals Japan Travel Expert	Hometown Stories Travel Selection Core Kyoto mini Wild Hokkaido!	9
21	2	9	10	NHK NEWSLINE NEWSLINE IN DEPTH ＊ ★Where We Call Home	Document 72 Hours	Side by Side Her Story	RISING	Asia Insight	GLOBAL AGENDA NHK WORLD PRIME	NHK NEWSLINE＊ The Professionals Face To Face Four Seasons in Japan YJK mini Selfie Japan! BJ mini	10
22	3	10	11	NHK NEWSLINE＊ NEWSLINE IN DEPTH ＊ Have A Nice Stay!＊ Muscles for All! Doki Doki! NHK WORLD-JAPAN ＊ no art, no life＊	TOKYO EYE 2020 セレクション ＊	Japanology Plus ＊	Trails to Oishii Tokyo ＊	Journeys in Japan セレクション ＊ CYCLE AROUND JAPAN Highlights ＊	Dining with the Chef ＊ Little Charo no art, no life The Flame Across Japan ＊	NHK NEWSLINE BIZ STREAM ＊ RISING セレクション ＊ Have A Nice Stay!	11
23	4	11	12	NHK NEWSLINE NEWSLINE IN DEPTH ＊ J-MELO ＊ SONGS OF TOKYO ＊	Medical Frontiers ＊	Science View ＊	Culture Crossroads ＊ Japan's Top Inventions ＊	Japan Railway Journal ＊	NHK NEWSLINE＊ Today's Close-Up ＊ #TOKYO PythagoraSwitch mini	NHK Documentary ＊	12
0	5	12	13	NEWSLINE ASIA 24 The Mark of Beauty （大相撲本場所期間中）13:30～13:59 GRAND SUMO Highlights ＊ ★Doctor's Insight ANI×PARA＊	★Deeper Look from NY	KABUKI KOOL	Lunch ON!	J-Arena GRAND SUMO Preview	NHK NEWSLINE ★GATTEN! COOL JAPAN Easy Japanese	Somewhere Street	13
1	6	13	14	NEWSLINE ASIA 24 ＊ Seasoning the Seasons ＊	Journeys in Japan ＊	TOKYO EYE 2020 ＊	Core Kyoto ＊	JIB独自番組 ＊	NHK NEWSLINE＊ NHK WORLD SHOWCASE (A) ＊	NHK WORLD SHOWCASE (B) ＊	14
2	7	14	15	NHK NEWSLINE NEWSLINE BIZ ★The Flame Across Japan BENTO EXPO＊ Easy Japanese for Work ＊	Dining with the Chef セレクション ＊	15 Minutes＊ 15 Minutes セレクション＊	DESIGN TALKS plus ＊	Kawaii International ＊	NHK NEWSLINE CYCLE AROUND JAPAN ＊ Train Cruise ＊ BJ mini	Ainme Supernova ＊ Darwin's Amazing Animals ＊ Japan Travel Expert＊	Hometown Stories ＊ Travel Selection ＊ Core Kyoto mini＊ Wild Hokkaido! ＊	15
3	8	15	16	NHK NEWSLINE＊ Direct Talk Where We Call Home ＊	Document 72 Hours ＊	Side by Side ＊ Her Story ＊	RISING ＊	Asia Insight ＊	GLOBAL AGENDA ＊ NHK WORLD PRIME ＊	NHK NEWSLINE＊ The Professionals ＊ Face To Face ＊ Four Seasons in Japan ＊ YJK mini＊ Selfie Japan!＊ BJ mini＊	16

NY	LD	香港	東京	月	火	水	木	金	土	日	東京
4	9	16	17	NHK NEWSLINE NEWSLINE BIZ JAPAN FROM ABOVE mini The Mark of Beauty ＊ （大相撲本場所期間中）17:30～17:59 GRAND SUMO Highlights ＊	Deeper Look from NY ＊ Doctor's Insight ＊ ANI×PARA＊	KABUKI KOOL ＊	Lunch ON! ＊ YJK mini＊	J-Arena ＊ GRAND SUMO Preview ＊	NHK NEWSLINE Dining with the Chef ＊ Little Charo＊ Ukiyoe EDO-LIFE ★The Flame Across Japan	BIZ STREAM ＊ RISING セレクション ＊ Have A Nice Stay!＊	17
5	10	17	18	NHK NEWSLINE＊ Direct Talk セレクション J-MELO ＊ SONGS OF TOKYO ＊	Medical Frontiers ＊	Science View ＊	Culture Crossroads ＊ Japan's Top Inventions ＊	Japan Railway Journal ＊	NHK NEWSLINE＊ Today's Close-Up ＊ #TOKYO ＊ PythagoraSwitch mini＊	NHK Documentary ＊	18
6	11	18	19	NHK NEWSLINE NEWSLINE BIZ Where We Call Home ＊	Document 72 Hours ＊	Side by Side ＊ Her Story ＊	RISING ＊	Asia Insight ＊	NHK NEWSLINE NHK WORLD SHOWCASE (A) ＊	NHK WORLD SHOWCASE (B) ＊	19
7	12	19	20	NEWSROOM TOKYO Direct Talk ＊ The Flame Across Japan ＊					NHK NEWSLINE＊ GATTEN! ＊	COOL JAPAN ＊ 15 Minutes ＊ Japan-easy Little Charo＊ Doki Doki! NHK WORLD-JAPAN	20
8	13	20	21	NHK NEWSLINE NEWSLINE BIZ ＊ Seasoning the Seasons ＊	Journeys in Japan ＊	TOKYO EYE 2020 ＊	Core Kyoto ＊	JIB独自番組 ＊	NHK NEWSLINE CYCLE AROUND JAPAN ＊ Train Cruise ＊ BJmini＊	Ainme Supernova ＊ Darwin's Amazing Animals ＊ Japan Travel Expert＊ Hometown Stories ＊ Travel Selection ＊ Core Kyoto mini＊ Wild Hokkaido! ＊	21
9	14	21	22	NHK NEWSLINE＊ NEWSLINE BIZ ＊ BENTO EXPO＊ Easy Japanese for Work＊	Dining with the Chef セレクション	15 Minutes＊ 15 Minutes セレクション ＊	DESIGN TALKS plus ＊	Kawaii International ＊	NHK NEWSLINE＊ GLOBAL AGENDA ＊	NHK WORLD PRIME ＊ The Professionals ＊ Selfie Japan!＊ Face To Face ＊ Four Seasons in Japan!＊ YJK mini＊ BJ mini＊	22
10	15	22	23	NHK NEWSLINE NEWSLINE IN DEPTH ＊ TOKYO EYE 2020 セレクション	Japanology Plus	Trails to Oishii Tokyo	Journeys in Japan セレクション	CYCLE AROUND JAPAN Highlights Dining with the Chef	NHK NEWSLINE BIZ STREAM RISING セレクション #TOKYO＊ Muscles for All!	Somewhere Street ＊	23
11	16	23	0	NHK NEWSLINE＊ NEWSLINE IN DEPTH ＊ Medical Frontiers	Science View	★Culture Crossroads Japan's Top Inventions	Japan Railway Journal	Today's Close-Up	NHK NEWSLINE＊ NHK Documentary	J-MELO SONGS OF TOKYO PythagoraSwitch mini＊ Japan-easy＊	0
12	17	0	1	NHK NEWSLINE＊ Direct Talk ＊ The Mark of Beauty ＊ （大相撲本場所期間中）1:30～1:59 GRAND SUMO Highlights	Deeper Look from NY ＊ Doctor's Insight ＊ ANI×PARA＊	KABUKI KOOL ＊	Lunch ON! ＊ YJK mini＊	J-Arena ＊ GRAND SUMO Preview ＊	NHK NEWSLINE＊ GATTEN! ＊ The Flame Across Japan ＊	COOL JAPAN ＊ Have A Nice Stay!＊ Inspiring Landscapes Easy Japanese＊ Ukiyoe EDO-LIFE Doki Doki! NHK WORLD-JAPAN ＊	1
13	18	1	2	NHK NEWSLINE NEWSLINE IN DEPTH ＊ Seasoning the Seasons ＊	Journeys in Japan ＊	TOKYO EYE 2020 ＊	Core Kyoto ＊	JIB独自番組 ＊	NHK NEWSLINE NHK WORLD SHOWCASE (A) ＊	NHK WORLD SHOWCASE (B) ＊	2
14	19	2	3	NEWSROOM TOKYO ＊ Direct Talk セレクション ＊ The Flame Across Japan ＊					NHK NEWSLINE＊ CYCLE AROUND JAPAN ＊ Train Cruise ＊ BJmini＊	Ainme Supernova ＊ Darwin's Amazing Animals ＊ Japan Travel Expert＊ Hometown Stories ＊ Travel Selection ＊ Core Kyoto mini＊ Wild Hokkaido! ＊	3
15	20	3	4	NHK NEWSLINE＊ NEWSLINE IN DEPTH ＊ Where We Call Home ＊	Document 72 Hours ＊	Side by Side ＊ Her Story ＊	RISING ＊	Asia Insight ＊	NHK NEWSLINE＊ GLOBAL AGENDA ＊	NHK WORLD PRIME ＊ The Professionals ＊ Selfie Japan!＊ Face To Face ＊ Four Seasons in Japan!＊ YJK mini＊ BJ mini＊	4

（注） ★印は2020年度新設番組、＊は再放送番組、・印はステレオ放送

テレビ国際放送（英語・外国人向け）　NHKワールド JAPAN

（10月～）

NY	LD	香港	東京	月	火	水	木	金	土	日	東京
15	20	4	5	NHK NEWSLINE JAPANGLE＊ Inspiring Landscapes＊ Easy Japanese＊ Doki Doki! NHK WORLD-JAPAN＊ no art, no life＊	NHK NEWSLINE Direct Talk ＊ Core Kyoto選 ＊	Japanology Plus ＊	Trails to Oishii Tokyo ＊	CYCLE AROUND JAPAN Highlights＊	Dining with the Chef ＊	NHK NEWSLINE BIZ STREAM ＊ RISING セレクション ＊ ★The Signs＊ no art, no life＊	5
16	21	5	6	NHK NEWSLINE＊ J-MELO ＊ SONGS OF TOKYO ＊ PythagoraSwitch mini＊ Japan-easy＊	NHK NEWSLINE＊ NEWSLINE IN DEPTH ＊ Medical Frontiers ＊	Science View ＊	Culture Crossroads ＊ Japan's Top Inventions ＊	Japan Railway Journal ＊	Today's Close-Up ＊	NHK NEWSLINE＊ NHK Documentary ＊	6
17	22	6	7	NHK NEWSLINE Somewhere Street ＊	NHK NEWSLINE NEWSLINE IN DEPTH ＊ The Mark of Beauty ＊ （大相撲本場所期間中）7:30～7:59 GRAND SUMO Highlights ＊ Doctor's Insight ＊ ★We, in the Time of Corona＊	Deeper Look from NY ＊ KABUKI KOOL ＊ Lunch ON! ＊ YJK mini＊	J-Arena ＊ GRAND SUMO Preview ☆	NHK NEWSLINE GATTEN! ＊ COOL JAPAN ＊ Easy Japanese＊	7
18	23	7	8	NHK NEWSLINE＊ Ukiyoe EDO-LIFE ＊ ★We, in the Time of Corona＊ Seasoning the Seasons	NHK NEWSLINE＊ Ukiyoe EDO-LIFE ＊ TIME-LAPSE JAPAN JAPAN FROM ABOVE mini Journeys in Japan	TOKYO EYE 2020	Core Kyoto	JIB独自番組	NHK WORLD SHOWCASE (A)	NHK NEWSLINE＊ NHK WORLD SHOWCASE (B)	8
19	0	8	9	NHK NEWSLINE NEWSLINE IN DEPTH BENTO EXPO Easy Japanese for Work	Dining with the Chef セレクション	15 Minutes 15 Minutes セレクション	DESIGN TALKS plus	Kawaii International	CYCLE AROUND JAPAN Train Cruise BJ mini＊	NHK NEWSLINE Ainme Supernova Darwin's Amazing Animals Trails to Oishii Tokyo mini Hometown Stories NHK WORLD Selection Core Kyoto mini＊ Wild Hokkaido!	9
20	1	9	10	NHK NEWSLINE NEWSLINE IN DEPTH ＊ Where We Call Home	Document 72 Hours	Side by Side Her Story	RISING	Asia Insight	GLOBAL AGENDA NHK WORLD PRIME	NHK NEWSLINE＊ The Professionals Face To Face Four Seasons in Japan＊ YJK mini＊ Selfie Japan!＊ BJ mini＊	10
21	2	10	11	NHK NEWSLINE＊ NEWSLINE IN DEPTH ＊ JAPANGLE＊ Doki Doki! NHK WORLD-JAPAN＊ no art, no life＊	Core Kyoto選 ＊	Japanology Plus ＊	Trails to Oishii Tokyo ＊	CYCLE AROUND JAPAN Highlights＊	Dining with the Chef ＊ Little Charo no art, no life Ukiyoe EDO-LIFE ＊	NHK NEWSLINE BIZ STREAM ＊ RISING セレクション ＊ JAPANGLE	11
22	3	11	12	NHK NEWSLINE NEWSLINE IN DEPTH ＊ J-MELO ＊ SONGS OF TOKYO ＊	Medical Frontiers ＊	Science View ＊	Culture Crossroads ＊ Japan's Top Inventions ＊	Japan Railway Journal ＊	NHK NEWSLINE＊ Today's Close-Up ＊ ★The Signs PythagoraSwitch mini	NHK Documentary ＊	12
23	4	12	13	NEWSLINE ASIA 24 The Mark of Beauty （大相撲本場所期間中）13:30～13:59 GRAND SUMO Highlights ＊ Doctor's Insight ★We, in the Time of Corona＊	Deeper Look from NY KABUKI KOOL YJK mini	Lunch ON! J-Arena GRAND SUMO Preview	NHK NEWSLINE GATTEN! COOL JAPAN Easy Japanese	Somewhere Street	13
0	5	13	14	NEWSLINE ASIA 24 ＊ Seasoning the Seasons ＊	Journeys in Japan ＊	TOKYO EYE 2020 ＊	Core Kyoto ＊	JIB独自番組 ＊	NHK NEWSLINE＊ NHK WORLD SHOWCASE (A) ＊	NHK WORLD SHOWCASE (B) ＊	14
1	6	14	15	NHK NEWSLINE NEWSLINE BIZ Ukiyoe EDO-LIFE BENTO EXPO＊ Easy Japanese for Work ＊	Dining with the Chef セレクション ＊	15 Minutes＊ 15 Minutes セレクション＊	DESIGN TALKS plus ＊	Kawaii International ＊	CYCLE AROUND JAPAN ＊ Train Cruise ＊ BJmini＊	NHK NEWSLINE Ainme Supernova ＊ Darwin's Amazing Animals ＊ Trails to Oishii Tokyo mini＊ Hometown Stories ＊ NHK WORLD Selection ＊ Core Kyoto mini＊ Wild Hokkaido! ＊	15
2	7	15	16	NHK NEWSLINE＊ Direct Talk Where We Call Home ＊	Document 72 Hours ＊	Side by Side ＊ Her Story ＊	RISING ＊	Asia Insight ＊	GLOBAL AGENDA ＊ NHK WORLD PRIME ＊	NHK NEWSLINE＊ The Professionals ＊ Face To Face ＊ Four Seasons in Japan＊ YJK mini＊ Selfie Japan!＊ BJ mini＊	16

NY	LD	香港	東京	月	火	水	木	金	土	日	東京
3	8	16	17	NHK NEWSLINE NEWSLINE BIZ JAPAN FROM ABOVE mini The Mark of Beauty ＊ Deeper Look from NY ＊ KABUKI KOOL ＊ Lunch ON! ＊ J-Arena ＊ GRAND SUMO Preview ＊ （大相撲本場所期間中）17:30～17:59 GRAND SUMO Highlights ＊ Doctor`s Insight ＊ ★We, in the Time of Corona ＊ YJK mini＊					NHK NEWSLINE Dining with the Chef ＊ BIZ STREAM ＊ RISING セレクション ＊ Little Charo＊ JAPANGLE＊ Ukiyoe EDO-LIFE TIME-LAPSE JAPAN		17
4	9	17	18	NHK NEWSLINE＊ Direct Talk セレクション J-MELO ＊ SONGS OF TOKYO ＊ Medical Frontiers ＊ Science View ＊ Culture Crossroads ＊ Japan's Top Inventions ＊ Japan Railway Journal ＊					NHK NEWSLINE＊ Today's Close-Up ＊ ★The Signs＊ PythagoraSwitch mini＊	NHK Documentary ＊	18
5	10	18	19	NHK NEWSLINE NEWSLINE BIZ Where We Call Home ＊ Document 72 Hours ＊ Side by Side ＊ Her Story ＊ RISING ＊ Asia Insight ＊					NHK NEWSLINE NHK WORLD SHOWCASE (A) ＊	NHK WORLD SHOWCASE (B) ＊	19
6	11	19	20	NEWSROOM TOKYO Direct Talk ＊ Ukiyoe EDO-LIFE ＊					NHK NEWSLINE＊ GATTEN! ＊ COOL JAPAN ＊	15 Minutes ＊ Japan-easy ＊ Little Charo＊ Doki Doki! NHK WORLD-JAPAN ＊	20
7	12	20	21	NHK NEWSLINE NEWSLINE BIZ ＊ Seasoning the Seasons ＊ Journeys in Japan ＊ TOKYO EYE 2020 ＊ Core Kyoto ＊ JIB独自番組 ＊					NHK NEWSLINE CYCLE AROUND JAPAN ＊ Train Cruise ＊ BJmini＊ Ainme Supernova ＊ Darwin's Amazing Animals ＊ Trails to Oishii Tokyo mini＊	Hometown Stories ＊ NHK WORLD Selection ＊ Core Kyoto mini＊ Wild Hokkaido! ＊	21
8	13	21	22	NHK NEWSLINE＊ NEWSLINE BIZ ＊ BENTO EXPO＊ Easy Japanese for Work＊ Dining with the Chef セレクション 15 Minutes＊ 15 Minutes セレクション ＊ DESIGN TALKS plus ＊ Kawaii International ＊					NHK NEWSLINE＊ GLOBAL AGENDA ＊ NHK WORLD PRIME ＊	The Professionals ＊ Face To Face ＊ Four Seasons in Japan＊ YJK mini＊ Selfie Japan!＊ BJ mini＊	22
9	14	22	23	NHK NEWSLINE NEWSLINE IN DEPTH ＊ Core Kyoto選 Japanology Plus Trails to Oishii Tokyo CYCLE AROUND JAPAN Highlights Dining with the Chef					NHK NEWSLINE BIZ STREAM RISING セレクション ★The Signs＊ Muscles for All!	Somewhere Street ＊	23
10	15	23	0	NHK NEWSLINE＊ NEWSLINE IN DEPTH ＊ Medical Frontiers Science View Culture Crossroads Japan's Top Inventions Japan Railway Journal Today's Close-Up					NHK NEWSLINE＊ NHK Documentary	J-MELO SONGS OF TOKYO PythagoraSwitch mini＊ Japan-easy＊	0
11	16	0	1	NHK NEWSLINE＊ Direct Talk ＊ The Mark of Beauty ＊ Deeper Look from NY ＊ KABUKI KOOL ＊ Lunch ON! ＊ J-Arena ＊ GRAND SUMO Preview ＊ （大相撲本場所期間中）1:30～1:59 GRAND SUMO Highlights Doctor`s Insight ＊ ★We, in the Time of Corona ＊ YJK mini＊					NHK NEWSLINE＊ GATTEN! ＊ COOL JAPAN ＊ Ukiyoe EDO-LIFE ＊	JAPANGLE＊ Inspiring Landscapes Easy Japanese＊ Doki Doki! NHK WORLD-JAPAN ＊ TIME-LAPSE JAPAN ＊	1
12	17	1	2	NHK NEWSLINE NEWSLINE IN DEPTH ＊ Seasoning the Seasons ＊ Journeys in Japan ＊ TOKYO EYE 2020 ＊ Core Kyoto ＊ JIB独自番組 ＊					NHK NEWSLINE NHK WORLD SHOWCASE (A) ＊	NHK WORLD SHOWCASE (B) ＊	2
13	18	2	3	NEWSROOM TOKYO ＊ Direct Talk セレクション ＊ Ukiyoe EDO-LIFE ＊					NHK NEWSLINE＊ CYCLE AROUND JAPAN ＊ Train Cruise ＊ BJmini＊ Ainme Supernova ＊ Darwin's Amazing Animals ＊ Trails to Oishii Tokyo mini＊	Hometown Stories ＊ NHK WORLD Selection ＊ Core Kyoto mini＊ Wild Hokkaido! ＊	3
14	19	3	4	NHK NEWSLINE＊ NEWSLINE IN DEPTH ＊ Where We Call Home ＊ Document 72 Hours ＊ Side by Side ＊ Her Story ＊ RISING ＊ Asia Insight ＊					NHK NEWSLINE＊ GLOBAL AGENDA ＊ NHK WORLD PRIME ＊	The Professionals ＊ Face To Face ＊ Four Seasons in Japan＊ YJK mini＊ Selfie Japan!＊ BJ mini＊	4

（注） ★印は2020年度後期新設番組、＊は再放送番組、・印はステレオ放送

テレビ国際放送（日本語・在外邦人向け）　NHKワールド・プレミアム（ノンスクランブル時間帯）　（4～9月）

日本時間	月	火	水	木	金
6	00 NHKニュース　おはよう日本（6時台）（Gスルー）				
7	00 NHKニュース　おはよう日本（7時台）00（Gスルー）				
12	00 ニュース 20（Gスルー）				
19	00 NHKニュース7（二） 30（Gスルー）				30 首都圏情報 ネタドリ！ 57（Gスルー）
21	00 ニュースウオッチ9(二)（Gスルー）				
22		00 クローズアップ現代＋（プラス） 30（Gスルー）			
23	30 国際報道2020 10（BS1 22:00）				
0					

日本時間	土	日
6	00 NHKニュース おはよう日本（6時台）（Gスルー）	00 ニュース・気象情報（Gスルー） 10 目撃！にっぽん（Gスルー） 45 Nスペ5min（Gスルー） 50 テレビ体操（E 6:25）
7	00 NHKニュース おはよう日本（7時台）00（Gスルー）	00 NHKニュース おはよう日本（7時台）（Gスルー） 45 さわやか自然百景（Gスルー）
8		00 小さな旅（Gスルー） 25 サラメシ（G木12:20） 48 ミニ番組 53 プレマップほか 57 気象情報（Gスルー）
9	00 週刊まるわかりニュース 30（Gスルー）	00 日曜討論（Gスルー）
10		00 ニュース・気象(Gスルー) 05 明日へ つなげよう（Gスルー） 55 00 みんなのうた（Gスルー）
12	00 ニュース 15（Gスルー）	15 NHKのど自慢（Gスルー）
13		00 05 ニュース（Gスルー）
19	00 NHKニュース7（二） 30（Gスルー）	
20	45 00 ニュース・気象情報（Gスルー）	

〔注〕（二）印は2か国語放送。

日本時間	月	火	水	木	金
6	00 NHKニュース　おはよう日本（6時台）（Gスルー）				
7	00 NHKニュース　おはよう日本（7時台）00（Gスルー）				
12	00 ニュース 20（Gスルー）				
19	00 NHKニュース7（二） 30（Gスルー）				30 首都圏情報 ネタドリ！ 57（Gスルー）
21	00 ニュースウオッチ9(二)（Gスルー）				
22		00 クローズアップ現代＋（プラス） 30（Gスルー）			
23	30 国際報道２０２０				
0	10（BS1 22:00）				

〔注〕（二）印は2か国語放送。

日本時間	土	日
6	00 NHKニュース おはよう日本（6時台）（Gスルー）	00 ニュース・気象情報（Gスルー） 10 目撃！にっぽん（Gスルー） 45 Nスペ5min（Gスルー） 50 テレビ体操（E 6:25）
7	00 NHKニュース おはよう日本（7時台）00（Gスルー）	00 NHKニュース おはよう日本（7時台）（Gスルー） 45 さわやか自然百景（Gスルー）
8		00 小さな旅（Gスルー） 25 サラメシ（G木12:20） 48 ミニ番組 53 プレマップほか 57 気象情報（Gスルー）
9	00 週刊まるわかりニュース 30（Gスルー）	00 日曜討論（Gスルー）
10		00 ニュース・気象(Gスルー) 05 明日へ つなげよう（Gスルー） 55 みんなのうた 00（Gスルー）
12	00 ニュース 15（Gスルー）	15 NHKのど自慢（Gスルー）
13		00 05 ニュース（Gスルー）
19	00 NHKニュース7（二） 30（Gスルー）	
20	45 ニュース・気象情報 00（Gスルー）	

テレビ国際放送（日本語・在外邦人向け・北米地域）

（4～10月）

［夏時間］

西	東	月	火	水	木	金	土	日	東京
3	6	00 NHKニュース7（二） 30							19
4	7	00 NHKニュース7（二）（再） 30					00 NHKニュース7（二）	30 小さな旅 55	20
5	8	00 ニュースウオッチ9（二）					00 ニュース・気象（20:45） 15 さわやか自然百景	15 テレビ体操 25 目撃！にっぽん	21
6	9	00	00 クローズアップ現代＋ 30			00 首都圏情報ネタドリ！ 27		00 日曜討論	22
7	10	15 ニュースきょう一日						00 ニュース・気象（22:50）（5'） 05 10 明日へつなげよう 58	23
8	11	30 国際報道2020 10						00 これでわかった！世界のいま 37	0
9	12								1
10	13							00 NHKのど自慢 45	2
11	14								3
12	15								4
13	16								5
14	17	00 NHKニュース おはよう日本（6時台） 30					00 ニュース（6:00） 10		6
15	18						00 NHKニュース おはよう日本（7時台） 45		7
16	19	00 NHKニュース おはよう日本（7時台）							8
17	20	00							9
18	21								10
19	22								11
20	23	00 ニュース（12：00） 15							12
21	0					00 週刊まるわかりニュース 30			13
22	1								14
23	2								15
		50 BSニュース（14:50） *相撲期間中は（15:10）				BSニュース（15:50）	BSニュース（14:50） *相撲期間中は（15:10）		
0	3	00							16
1	4								17
2	5								18

〔注〕1.（二）印は2か国語放送。　2. □ 部分は北米・NHK Cosmomedia, Inc.の自主編成番組。

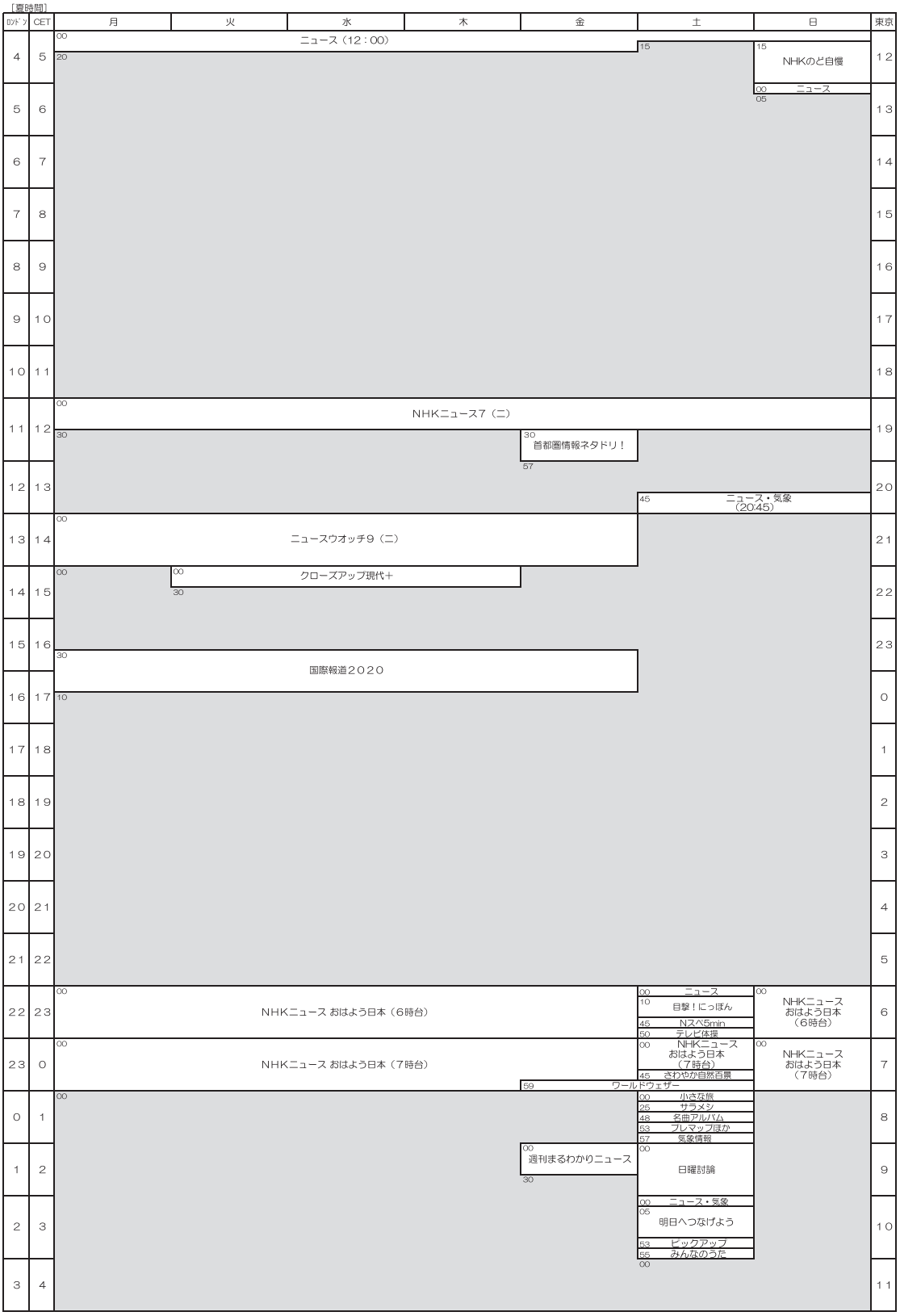
［冬時間］　※2020年11月1日～

西	東	月	火	水	木	金	土	日	東京
3	6	00 NHKニュース7（二） 30							20
4	7	00 NHKニュース7（二）（再） 30					00 NHKニュース7（二）	30 小さな旅 55	21
5	8	00 ニュースウオッチ9（二）					00 ニュース・気象（20:45） 15 さわやか自然百景 29	15 テレビ体操 25 目撃！にっぽん	22
6	9	00	00 クローズアップ現代＋ 30			00 首都圏 情報ネタドリ！ 27		00 日曜討論	23
7	10	15 ニュースきょう一日 30 国際報道２０２０						00 ニュース・気象（22:50）（5’） 05 10 明日へつなげよう 58	0
8	11	10						00 これでわかった！世界のいま 37	1
9	12								2
10	13							50 BSニュース（23:50） 00 NHKのど自慢 45	3
11	14								4
12	15								5
13	16								6
14	17	00 NHKニュース おはよう日本（6時台） 30					00 ニュース（6:00） 10		7
15	18						00 NHKニュースおはよう日本（7時台） 45		8
16	19	00 NHKニュース おはよう日本（7時台）							9
17	20	00							10
18	21								11
19	22								12
20	23	00 ニュース（12：00）							13
21	0	15				00 週刊まるわかりニュース 30			14
22	1								15
23	2								16
0	3								17
1	4								18
2	5	00 ニュース シブ5時（二） 10				ニュース（二）（18:00） 05		ニュース シブ 5時（二） 10	19

〔注〕1.（二）印は2か国語放送。　2. ▭ 部分は北米・NHK Cosmomedia, Inc.の自主編成番組。

テレビ国際放送（日本語・在外邦人向け・欧州地域）

（4～9月）



〔注〕1.（二）印は2か国語放送。　2. ▭ 部分は欧州・NHK Cosmomedia（Europe）Ltd. の自主編成番組。

［冬時間］　※2020年10月25日～

ﾛﾝﾄﾞﾝ	CET	月	火	水	木	金	土	日	東京
4	5							00 ニュース 05	13
5	6								14
6	7								15
7	8								16
8	9								17
9	10								18
10	11	00 NHKニュース7（二）							19
		30				30 首都圏情報ネタドリ！ 57			
11	12						45 ニュース・気象（20:45）		20
12	13	00 ニュースウオッチ9（二）							21
13	14	00	00 クローズアップ現代＋ 30						22
14	15								23
		30 国際報道２０２０							
15	16	10							0
16	17								1
17	18								2
18	19								3
19	20								4
20	21								5
21	22	00 NHKニュース おはよう日本（6時台）					00 ニュース 10 目撃！にっぽん 45 Nスペ5min 50 テレビ体操	00 NHKﾆｭｰｽ おはよう日本（6時台）	6
22	23	00 NHKニュース おはよう日本（7時台）				59 ワールドウェザー	00 NHKニュース おはよう日本（7時台） 45 さわやか自然百景	00 NHKﾆｭｰｽ おはよう日本（7時台）	7
23	0	00					00 小さな旅 25 サラメシ 48 名曲アルバム 53 プレマップほか 57 気象情報		8
0	1					00 週刊まるわかりニュース 30	00 日曜討論		9
1	2						00 ニュース・気象 05 明日へつなげよう 53 ビックアップ 55 みんなのうた		10
2	3						00		11
3	4	00 ニュース（12：00） 20				15	15 NHKのど自慢	20	12

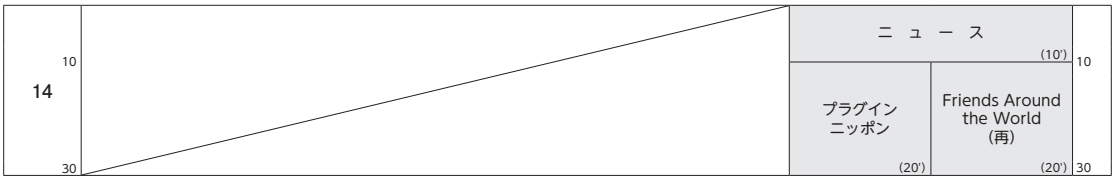
（注）1.（二）印は2か国語放送。　2. ▭ 部分は欧州・NHK Cosmomedia（Europe）Ltd. の自主編成番組。

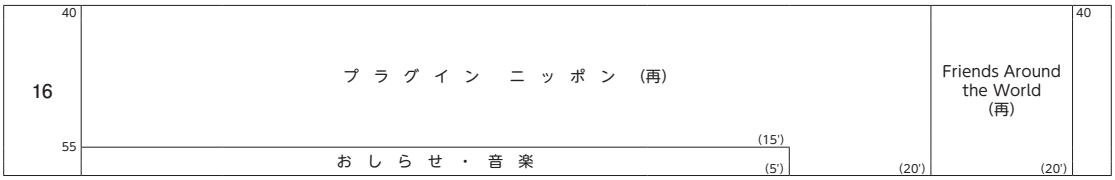
ラジオ国際放送（多言語・外国人向け）NHKワールド JAPAN （4月～）

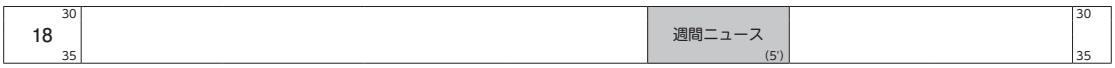
英　語

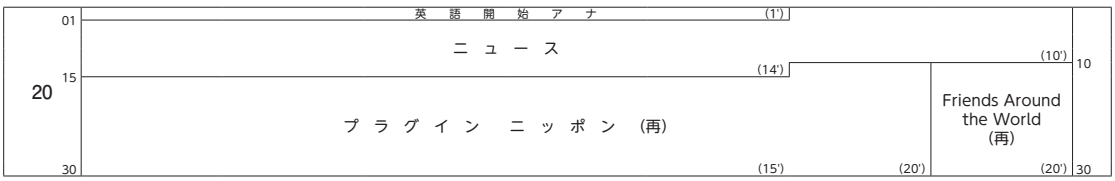
新設　移設

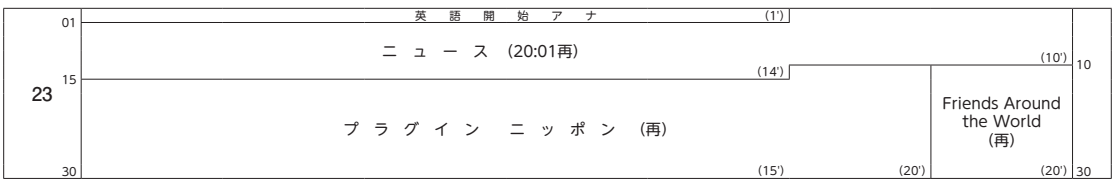


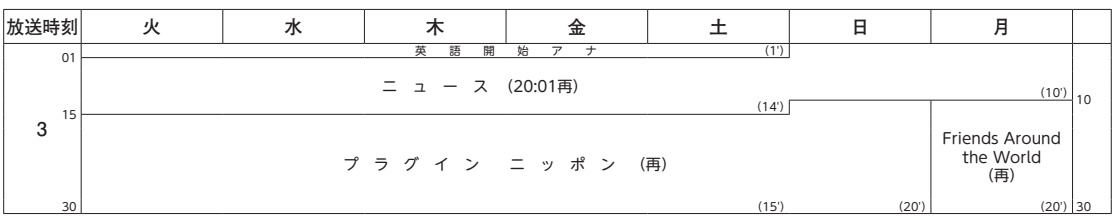


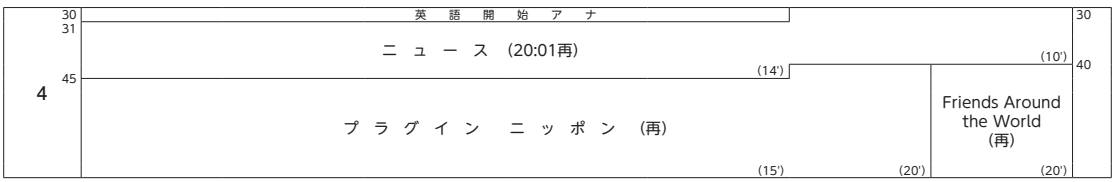












英　語

新設

放送時刻	月	火	水	木	金	土	日	
13 30	ニュース (15')							30
45								45
00	プラグイン　ニッポン (15')							00
14 10						ニュース (10')		10
30						プラグインニッポン (20')	Friends Around the World (20')	30
16 40	プラグイン　ニッポン (再)						Friends Around the World (再) (20')	40
55	おしらせ・音楽 (15') (5')					(20')		
18 30	Asian View (5')							30
35								35
20 15	ニュース (13:30再) (15')					ニュース (10')		10
30	プラグイン　ニッポン (再) (15')					(20')	Friends Around the World (再) (20')	30
23 15	ニュース (15')					ニュース (10')		10
30	プラグイン　ニッポン (再) (15')					(20')	Friends Around the World (再) (20')	30

放送時刻	火	水	木	金	土	日	月	
3 15	ニュース (23:00再) (15')					ニュース (10')		10
30	プラグイン　ニッポン (再) (15')					(20')	Friends Around the World (再) (20')	30
4 30	ニュース (23:00再) (15')					ニュース (10')		30
45								40
	プラグイン　ニッポン (再) (15')					(20')	Friends Around the World (再) (20')	

ラジオ国際放送（多言語・外国人向け）NHKワールド JAPAN （4月～）

中国語

放送時刻	月	火	水	木	金	土	日	
13 00	中国語開始アナ (1')							00
01	ニュース (9')							01
10								10
15	プラグイン ニッポン (14')						リスナーズフォーラム (20')	
30	(15')				(20')			30

放送時刻	月	火	水	木	金	土	日	
20 30	中国語開始アナ (1')							30
31	ニュース (9')							31
40								40
45	プラグイン ニッポン (再) (14')						リスナーズフォーラム (再) (20')	
00	(15')				(20')			00

放送時刻	月	火	水	木	金	土	日	
21 30	中国語開始アナ (1')							30
31	ニュース (20:31再) (9')							31
40								40
45	プラグイン ニッポン (再) (14')						リスナーズフォーラム (再) (20')	
00	(15')				(20')			00

放送時刻	月	火	水	木	金	土	日	
22 30	中国語開始アナ (1')							30
31	ニュース (20:31再) (9')							31
40								40
45	プラグイン ニッポン (再) (14')						リスナーズフォーラム (再) (20')	
00	(15')				(20')			00

放送時刻	月	火	水	木	金	土	日	
23 30	中国語開始アナ (1')							30
31	ニュース (20:31再) (9')							31
40								40
45	プラグイン ニッポン (再) (14')						リスナーズフォーラム (再) (20')	
00	(15')				(20')			00

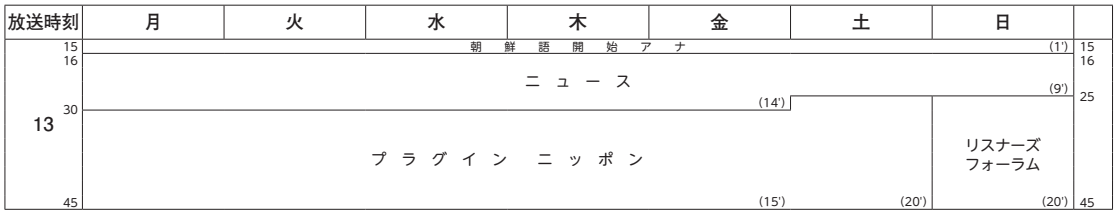
放送時刻	火	水	木	金	土	日	月	
7 30	プラグイン ニッポン (再)						リスナーズフォーラム (再)	30
45	(15')						(20')	
50	おしらせ・音楽 (5')					(20')		50

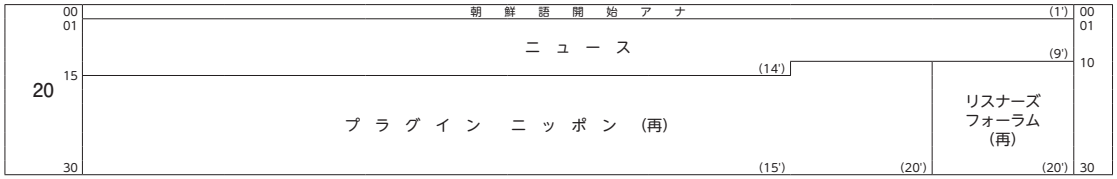
中国語

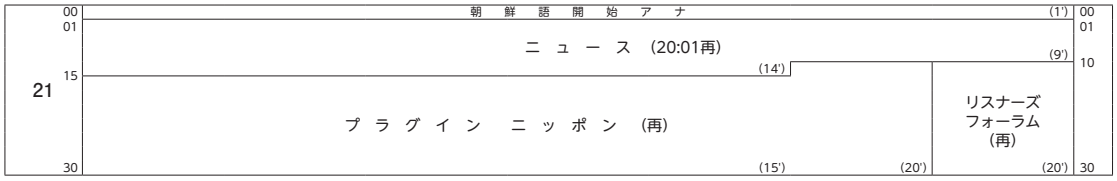
放送時刻	月	火	水	木	金	土	日	
13	中国語開始アナ (1')							
00								00
01	ニュース (9')							01
15	プラグイン ニッポン (15')				(14')		リスナーズフォーラム (20')	10
30					(20')			30
20	中国語開始アナ (1')							
30								30
31	ニュース (13:01再) (9')							31
45	プラグイン ニッポン (再) (15')				(14')		リスナーズフォーラム (再) (20')	40
00					(20')			00
21	中国語開始アナ (1')							
30								30
31	ニュース (13:01再) (9')							31
45	プラグイン ニッポン (再) (15')				(14')		リスナーズフォーラム (再) (20')	40
00					(20')			00
22	中国語開始アナ (1')							
30								30
31	ニュース (13:01再) (9')							31
45	プラグイン ニッポン (再) (15')				(14')		リスナーズフォーラム (再) (20')	40
00					(20')			00
23	中国語開始アナ (1')							
30								30
31	ニュース (13:01再) (9')							31
45	プラグイン ニッポン (再) (15')				(14')		リスナーズフォーラム (再) (20')	40
00					(20')			00

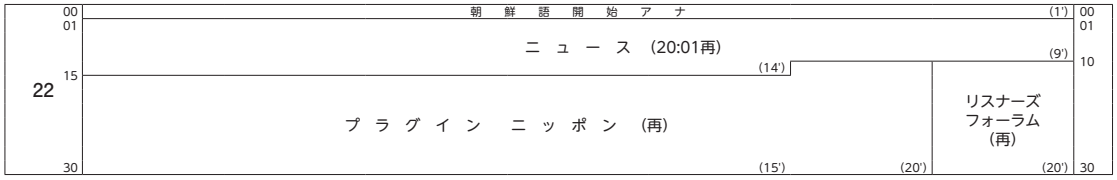
放送時刻	火	水	木	金	土	日	月	
7								
30	プラグイン ニッポン (再) (15')						リスナーズフォーラム (再) (20')	30
45								
50	おしらせ・音楽 (5')					(20')		50

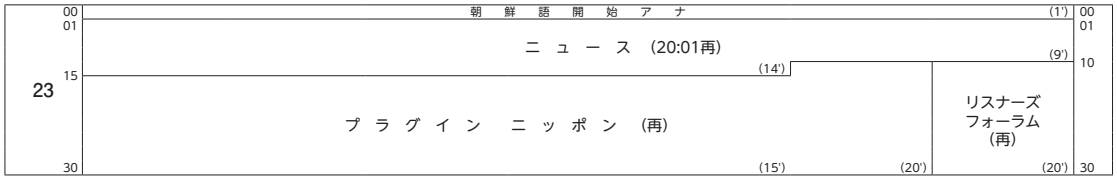
朝鮮語

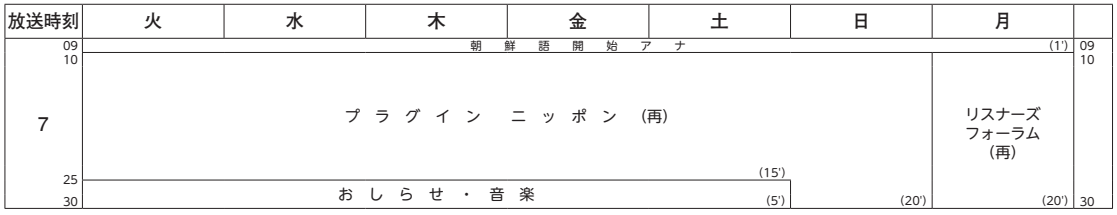

放送時刻
月
火
水
木
金
土
日
13
15
16
30
45
朝鮮語開始アナ
(1')
ニュース
(9')
(14')
プラグインニッポン
(15')
(20')
リスナーズフォーラム
(20')
25


00
01
15
30
20
朝鮮語開始アナ
(1')
ニュース
(9')
(14')
プラグインニッポン（再）
(15')
(20')
リスナーズフォーラム（再）
(20')
10


00
01
15
30
21
朝鮮語開始アナ
(1')
ニュース（20:01再）
(9')
(14')
プラグインニッポン（再）
(15')
(20')
リスナーズフォーラム（再）
(20')
10


00
01
15
30
22
朝鮮語開始アナ
(1')
ニュース（20:01再）
(9')
(14')
プラグインニッポン（再）
(15')
(20')
リスナーズフォーラム（再）
(20')
10


00
01
15
30
23
朝鮮語開始アナ
(1')
ニュース（20:01再）
(9')
(14')
プラグインニッポン（再）
(15')
(20')
リスナーズフォーラム（再）
(20')
10


放送時刻
火
水
木
金
土
日
月
7
09
10
25
30
朝鮮語開始アナ
(1')
プラグインニッポン（再）
(15')
おしらせ・音楽
(5')
(20')
リスナーズフォーラム（再）
(20')

朝鮮語

放送時刻	月	火	水	木	金	土	日	
13	朝鮮語開始アナ (1')							
15								15
16	ニュース (9')							16
25								25
30	プラグインニッポン (15')				(14')	(20')	リスナーズフォーラム (20')	30
45								45

放送時刻	月	火	水	木	金	土	日	
20	朝鮮語開始アナ (1')							
00								00
01	ニュース（13:16再） (9')							01
10								10
15	プラグインニッポン（再） (15')				(14')	(20')	リスナーズフォーラム（再） (20')	30
30								

放送時刻	月	火	水	木	金	土	日	
21	朝鮮語開始アナ (1')							
00								00
01	ニュース（13:16再） (9')							01
10								10
15	プラグインニッポン（再） (15')				(14')	(20')	リスナーズフォーラム（再） (20')	30
30								

放送時刻	月	火	水	木	金	土	日	
22	朝鮮語開始アナ (1')							
00								00
01	ニュース（13:16再） (9')							01
10								10
15	プラグインニッポン（再） (15')				(14')	(20')	リスナーズフォーラム（再） (20')	30
30								

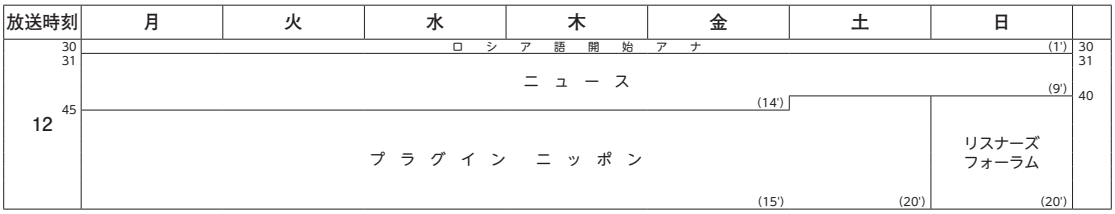
放送時刻	月	火	水	木	金	土	日	
23	朝鮮語開始アナ (1')							
00								00
01	ニュース（13:16再） (9')							01
10								10
15	プラグインニッポン（再） (15')				(14')	(20')	リスナーズフォーラム（再） (20')	30
30								

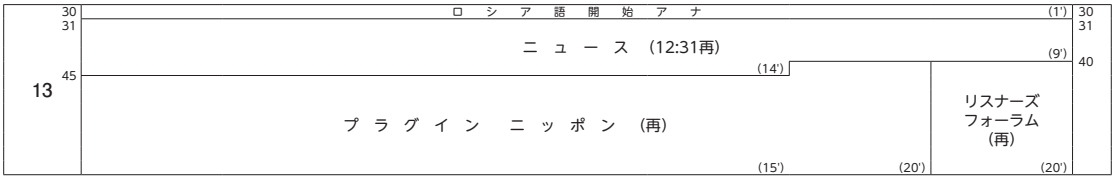
放送時刻	火	水	木	金	土	日	月	
7	朝鮮語開始アナ (1')							
09								09
10	プラグインニッポン（再） (15')						リスナーズフォーラム（再）	10
25					(15')			
30	おしらせ・音楽 (5')					(20')	(20')	30

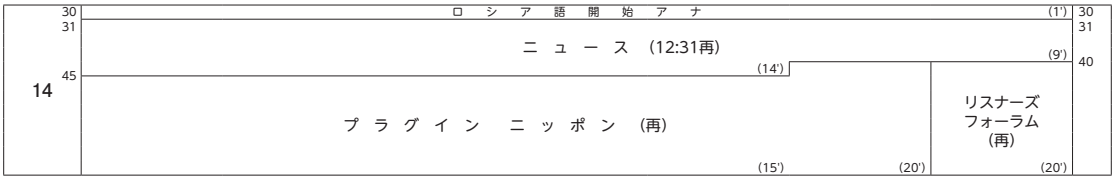
ラジオ国際放送（多言語・外国人向け）NHKワールド JAPAN （4月～）

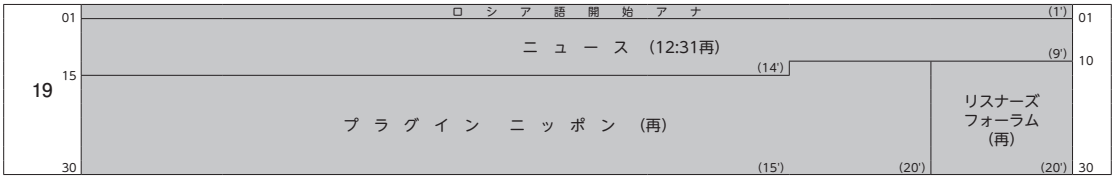
ロシア語

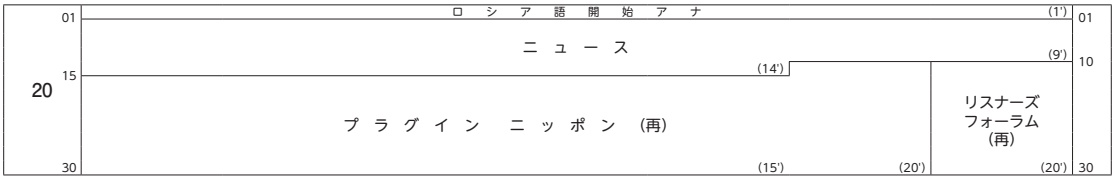
新設

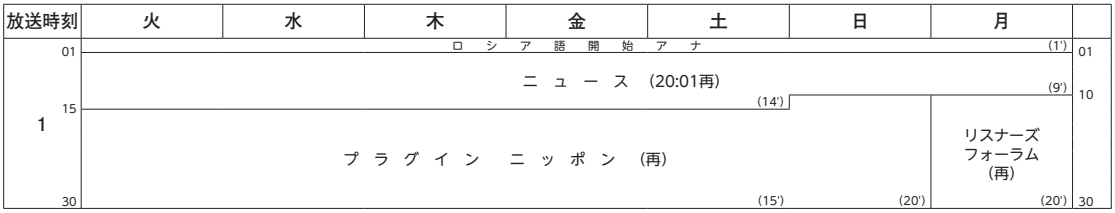


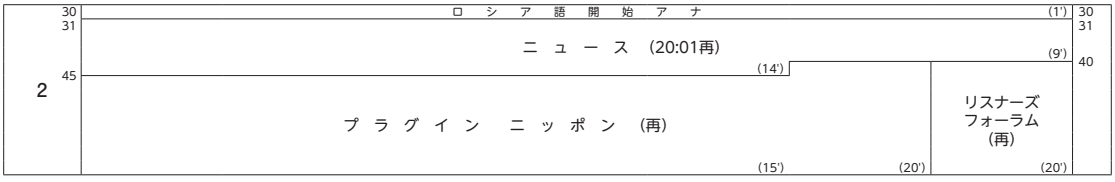












インドネシア語

新設　移設

放送時刻	月	火	水	木	金	土	日	
20 15			インドネシア語開始アナ (1')					15
16			ニュース					16
30					(14')		(9')	25
45			プラグインニッポン		(15')	(20')	リスナーズフォーラム(再) (20')	45
22 15			インドネシア語開始アナ (1')					15
16			ニュース (20:16再)					16
30					(14')		(9')	25
45			プラグインニッポン (再)		(15')	(20')	リスナーズフォーラム(再) (20')	45
23 00			インドネシア語開始アナ (1')					00
01			ニュース (20:16再)					01
15					(14')		(9')	10
30			プラグインニッポン (再)		(15')	(20')	リスナーズフォーラム(再) (20')	30

放送時刻	火	水	木	金	土	日	月	
6 30			インドネシア語開始アナ (1')					30
31			ニュース (20:16再)					31
45					(14')		(9')	40
00			プラグインニッポン (再)		(15')	(20')	リスナーズフォーラム(再) (20')	00
9 00			インドネシア語開始アナ (1')					00
01			ニュース (20:16再)					01
15					(14')		(9')	10
30			プラグインニッポン (再)		(15')	(20')	リスナーズフォーラム(再) (20')	30
19			プラグインニッポン (再)		(15')		リスナーズフォーラム(再)	
15								
20			おしらせ・音楽		(5')	(20')	(20')	20

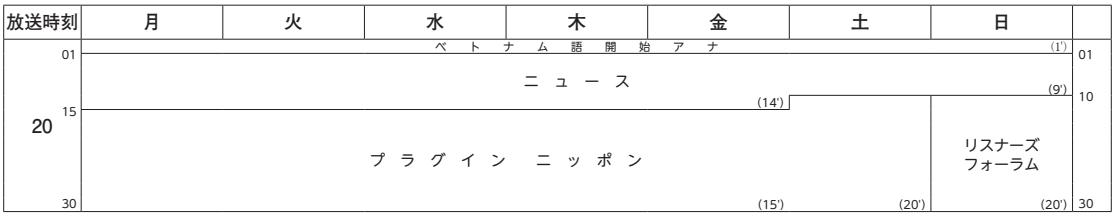
タイ語

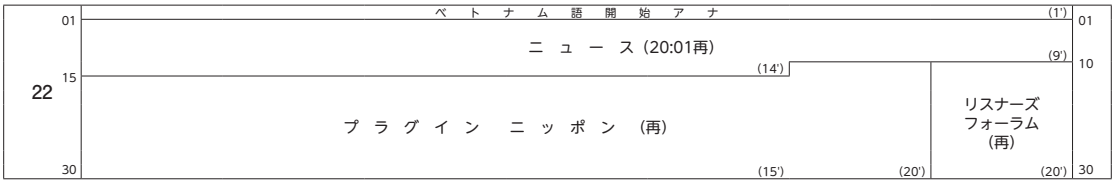
放送時刻	月	火	水	木	金	土	日	
20 30			タイ語開始アナ (1')					30
31			ニュース				(9')	31
45					(14')			40
			プラグインニッポン		(15')	(20')	リスナーズフォーラム (20')	
21 30			タイ語開始アナ (1')					30
31			ニュース (20:31再)				(9')	31
45					(14')			40
			プラグインニッポン (再)		(15')	(20')	リスナーズフォーラム(再) (20')	

放送時刻	火	水	木	金	土	日	月	
7 59			タイ語開始アナ				(1')	59
8 00			プラグインニッポン (再)				リスナーズフォーラム(再)	00
15					(15')			
20			おしらせ・音楽		(5')	(20')	(20')	20
11 01			タイ語開始アナ (1')					01
			ニュース (20:31再)				(9')	10
15					(14')			
30			プラグインニッポン (再)		(15')	(20')	リスナーズフォーラム(再) (20')	30

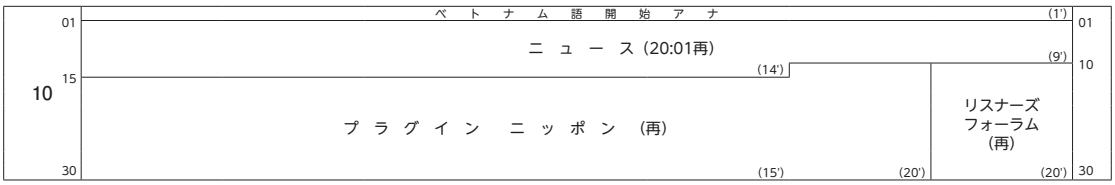
ラジオ国際放送（多言語・外国人向け）NHKワールド JAPAN （4月～）

ベトナム語

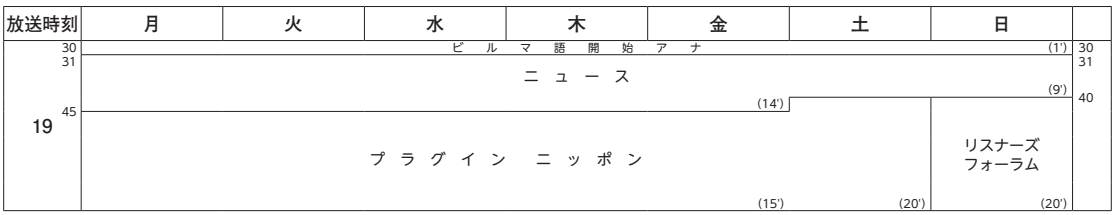


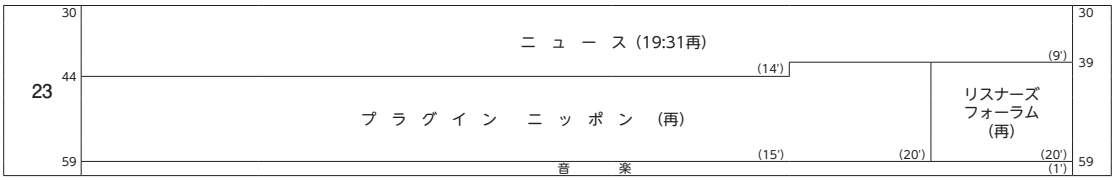






ビルマ語







ベンガル語

放送時刻	月	火	水	木	金	土	日	
22 01			ベンガル語開始アナ (1')				(1')	01
15			ニュース (14')				(14')	15
45			プラグイン ニッポン (30')				リスナーズフォーラム (30')	45

放送時刻	火	水	木	金	土	日	月	
0 01			ベンガル語開始アナ (1')				(1')	01
15			ニュース (22:01再) (14')				(14')	15
45			プラグイン ニッポン (再) (30')				リスナーズフォーラム (再) (30')	45

1 01			ベンガル語開始アナ (1')				(1')	01
15			ニュース (22:01再) (14')				(14')	15
45			プラグイン ニッポン (再) (30')				リスナーズフォーラム (再) (30')	45

2 30			プラグイン ニッポン (再) (30')				リスナーズフォーラム (再) (30')	30

9 30			プラグイン ニッポン (再) (30')				リスナーズフォーラム (再) (30')	30

ヒンディー語

放送時刻	月	火	水	木	金	土	日	
30			ヒンディー語開始アナ (1')				(1')	30
31			ニュース (9')				(9')	31
23 45			プラグイン ニッポン (14') (15')		(20')		リスナーズフォーラム (20')	40

放送時刻	火	水	木	金	土	日	月	
30			ヒンディー語開始アナ (1')				(1')	30
31			ニュース (23:31再) (9')				(9')	31
0 45			プラグイン ニッポン (再) (14') (15')		(20')		リスナーズフォーラム (再) (20')	40

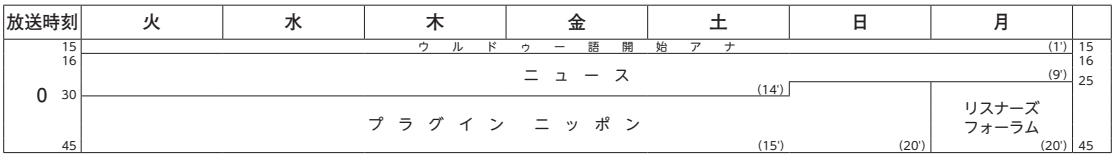
1 01			ヒンディー語開始アナ (1')				(1')	01
15			ニュース (23:31再) (9')				(9')	10
30			プラグイン ニッポン (再) (14') (15')		(20')		リスナーズフォーラム (再) (20')	30

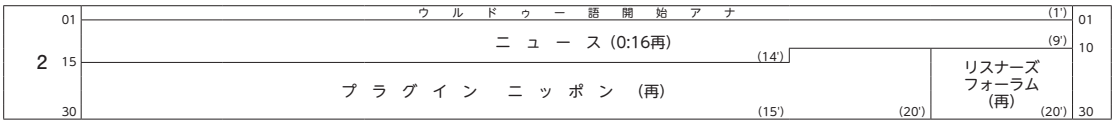
3 30			ヒンディー語開始アナ (1')				(1')	30
31			ニュース (23:31再) (9')				(9')	31
45			プラグイン ニッポン (再) (14') (15')		(20')		リスナーズフォーラム (再) (20')	40

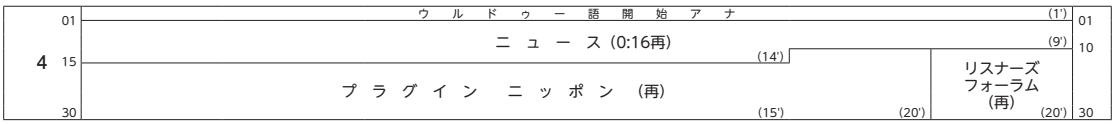
9 59			ヒンディー語開始アナ (1')				(1')	59
10 00			プラグイン ニッポン (再) (15')				リスナーズフォーラム (再)	00
15								
20			おしらせ・音楽 (5')		(20')		(20')	20

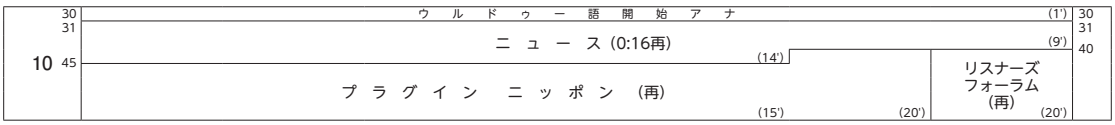
ラジオ国際放送（多言語・外国人向け）NHKワールド JAPAN （4月～）

ウルドゥー語

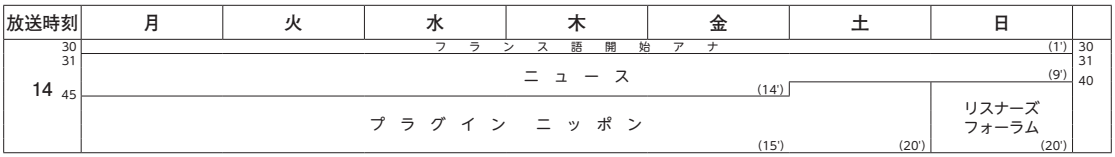


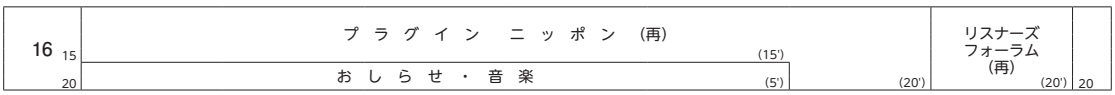


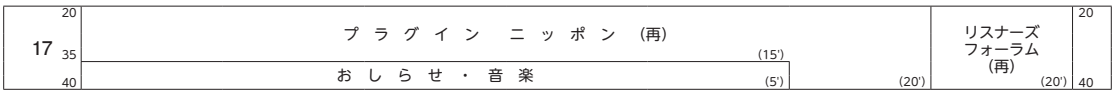


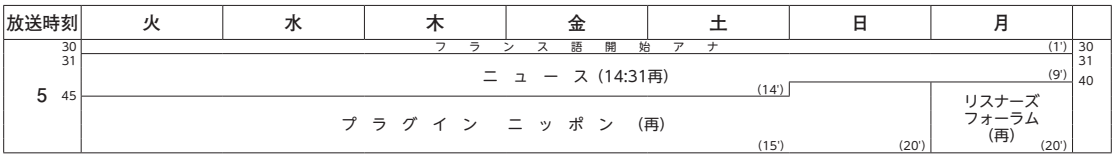


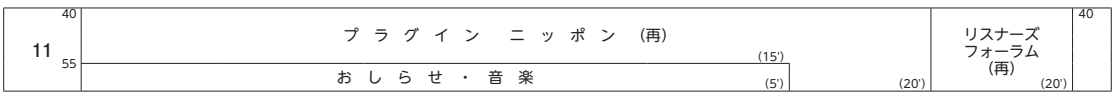
フランス語











ペルシャ語

放送時刻	月	火	水	木	金	土	日	
13 01	ペルシャ語開始アナ (1')							01
	ニュース (9')							
15	プラグインニッポン (14')						リスナーズフォーラム (20')	10
30				(20')				30
17 15	プラグインニッポン（再） (15')						リスナーズフォーラム（再） (20')	
20	おしらせ・音楽 (5')			(20')				20
23 30	ペルシャ語開始アナ (1')							30
31	ニュース (9')							31
45	プラグインニッポン（再） (14')						リスナーズフォーラム（再） (20')	40
	(15')			(20')				

放送時刻	火	水	木	金	土	日	月	
1 30	ペルシャ語開始アナ (1')							30
31	ニュース (23:31再) (9')							31
45	プラグインニッポン（再） (14')						リスナーズフォーラム（再） (20')	40
	(15')			(20')				
11 15	プラグインニッポン（再） (15')						リスナーズフォーラム（再） (20')	
20	おしらせ・音楽 (5')			(20')				20

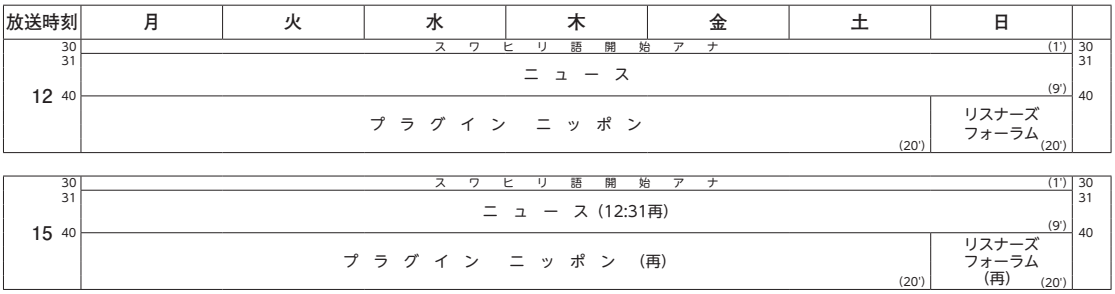
ラジオ国際放送（多言語・外国人向け）NHKワールド JAPAN （4月～）

アラビア語

放送時刻	月	火	水	木	金	土	日	
15 01	アラビア語開始アナ (1')							01
15	ニュース (14')						(9')	10
15 30	プラグインニッポン (15')					(20')	リスナーズフォーラム (20')	30
16 20	プラグインニッポン（再） (15')						リスナーズフォーラム（再） (20')	20
16 35								
16 40	おしらせ・音楽 (5')					(20')		40
17 40	プラグインニッポン（再） (15')						リスナーズフォーラム（再） (20')	40
17 55	おしらせ・音楽 (5')					(20')		

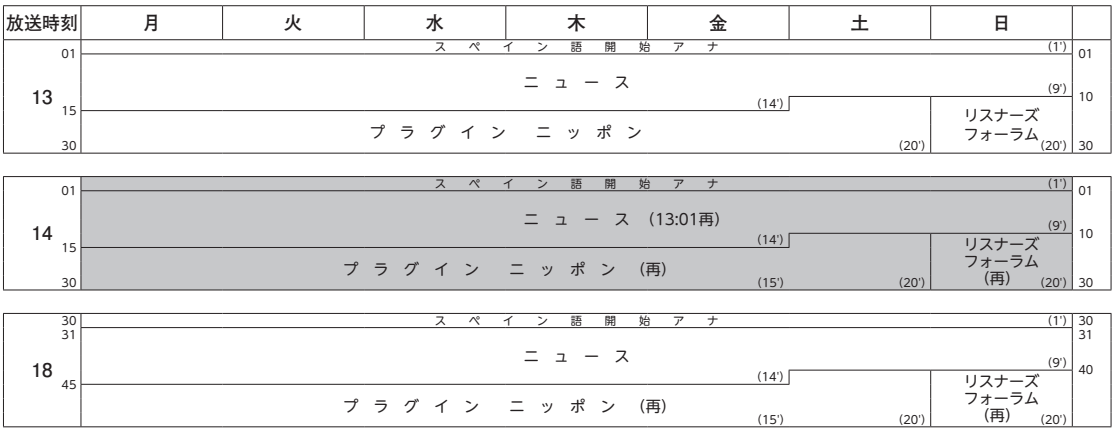
放送時刻	火	水	木	金	土	日	月	
1 01	アラビア語開始アナ (1')							01
1	ニュース (14')						(9')	10
1 30	プラグインニッポン（再） (15')					(20')	リスナーズフォーラム（再） (20')	30
5 01	アラビア語開始アナ (1')							01
5	ニュース (1:01再) (14')						(9')	10
5 30	プラグインニッポン（再） (15')					(20')	リスナーズフォーラム（再） (20')	30
6 01	アラビア語開始アナ (1')							01
6	ニュース (1:01再) (14')						(9')	10
6 30	プラグインニッポン（再） (15')					(20')	リスナーズフォーラム（再） (20')	30
7 01	アラビア語開始アナ (1')							01
7	ニュース (1:01再) (14')						(9')	10
7 30	プラグインニッポン（再） (15')					(20')	リスナーズフォーラム（再） (20')	30
11 20	プラグインニッポン（再） (15')						リスナーズフォーラム（再） (20')	20
11 35								
11 40	おしらせ・音楽 (5')					(20')		40
12 01	アラビア語開始アナ (1')							
12	ニュース (1:01再) (14')						(9')	10
12 30	プラグインニッポン（再） (15')					(20')	リスナーズフォーラム（再） (20')	30

スワヒリ語

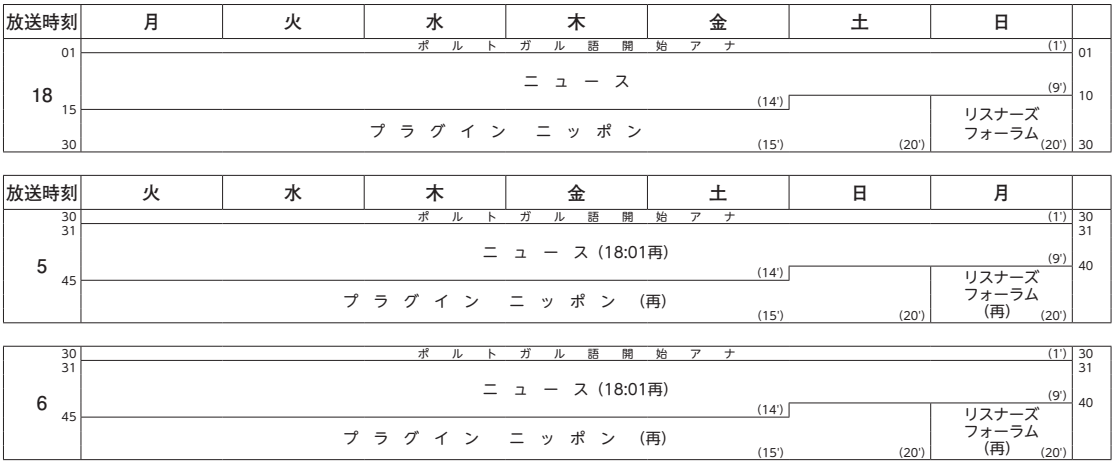


スペイン語

新設



ポルトガル語



ラジオ国際放送（日本語・在外邦人向け）　NHKワールド・ラジオ日本　（4～9月）

国際独自番組（それ以外はR1スルー番組）
★印は新設番組

放送時刻	月	火	水	木	金	土	日	
11	ニュース							05
	★ らじるラボ					文芸選評	子ども科学電話相談	
50	名曲の小箱						みんなのうた	50
55	海外安全情報					やさしい日本語で“今週の日本”	海外安全情報	
59	おしらせ						おしらせ	
12	ニュース					ニュース・天気予報（L）		10
15	ニュース・天気予報（L）							15
20	ひるのいこい							
30	武内陶子のごごカフェ					歌え！土曜日 Love Hits	NHKのど自慢	
55	海外安全情報							
59	おしらせ							
13	ニュース							05
	武内陶子のごごカフェ					らじるセレクト	あれから、そして未来へ（年8回）	
55	海外安全情報							55
59	おしらせ							59
14	ニュース							05
30	武内陶子のごごカフェ					プロ野球		
(N)								
55								55
59	安全情報おしらせ						安全情報おしらせ	59
15	ニュース・天気予報					ニュース（中断）	ニュース	05
10							らじるセレクト	
30	武内陶子のごごカフェ					プロ野球		
(N)								
55	海外安全情報						海外安全情報	55
59	安全情報おしらせ						安全情報おしらせ	59
16	ニュース					ニュース（中断）	ニュース	05
	松尾潔のメロウな夜	MISIA 星空のラジオ	THE ALFEE 終わらない夢	リトグリのミューズノート	岸谷香 Unlock the heart	プロ野球	DJ日本史	
	<大相撲期間>		※16:05～18:00 大相撲中継					
55	海外安全情報						海外安全情報	55
59	おしらせ						おしらせ	59
17	ニュース							05
	にっぽん列島夕方ラジオ（L）					ちきゅうラジオ		
	<大相撲期間>		※16:05～18:00 大相撲中継					
55	海外安全情報							55
59	おしらせ							59
18	Nらじ					ニュース		05
						ちきゅうラジオ		
50	みんなのうた						みんなのうた	50
55	海外安全情報					やさしい日本語で“今週の日本”＊（前11:50の再）	海外安全情報	55
59	おしらせ						おしらせ	59
19	Nらじ					NHKきょうのニュース		15
						ニュース・天気予報（L）		20
						上方演芸会	新日曜名作座	45
						安心ラジオ		
						らじるの時間		50
55	海外安全情報							55
59	おしらせ							59
20	ニュース							05
	鉄旅・音旅 出発進行！～音で楽しむ日本の鉄道旅～	サンドウィッチマンの天使のつくり笑い	イチ押し歌のパラダイス	東京03の好きにさせるかッ	真打ち競演＊（前週土曜10:05の再）	らじらー！サタデー	らじらー！サンデー	
55	海外安全情報							55
59	おしらせ							59
21	ニュース							05
	又吉・児玉・向井のあとは寝るだけの時間	A.B.C-Z 今夜はJ's倶楽部	★カブキ・チューン	中山秀征のクイズイマジネーター	★ 高橋源一郎の飛ぶ教室	らじらー！サタデー	らじらー！サンデー	
55	海外安全情報							55
59	おしらせ							59
22	NHKジャーナル					ニュース		05
						らじらー！サタデー	らじらー！サンデー	
55	海外安全情報							55
59	おしらせ							59
23	ニュース							05
	ラジオ深夜便							
59	おしらせ							59

放送時刻	火	水	木	金	土	日	月	
0	10 ニュース ラジオ深夜便 55 海外安全情報 59 おしらせ							10 55 59
1	05 ニュース ラジオ深夜便 59 おしらせ							05 59
2	05 ニュース ラジオ深夜便 55 海外安全情報 59 おしらせ							05 55 59
3	05 ニュース ラジオ深夜便 59 おしらせ							05 59
4	05 ニュース ラジオ深夜便 59 おしらせ							05 59
5	マイあさ！ 55 海外安全情報 59 おしらせ							55 59
6	マイあさ！ 25 ニュース・天気予報・交通情報 (L) 30 ラジオ体操 40 三宅民夫のマイあさ！				マイあさ！		三宅民夫のマイあさ！	25 30 40
	55 海外安全情報 59 おしらせ							55 59
7	三宅民夫のマイあさ！ ニュース・天気予報 (L) 三宅民夫のマイあさ！ 50 ニュース・天気予報ほか (L) 58 朝の音楽				マイあさ！ ニュース・天気予報 (L) マイあさ！ ニュース・天気・交通 (L)	ニュース・天気・交通 (L)	三宅民夫のマイあさ！ ニュース・天気予報 (L) 三宅民夫のマイあさ！ ニュース・天気予報ほか (L) 朝の音楽	15 20 25 50 55 58
8	05 三宅民夫のマイあさ！ 28 朝の音楽 30 ★ らじるラボ				ニュース 石丸謙二郎の山カフェ	音楽の泉	三宅民夫のマイあさ！ 朝の音楽	05 28 30
	55 海外安全情報 59 おしらせ							55 59
9	05 ニュース 30 (N) ★ らじるラボ 55 海外安全情報 59 安全情報おしらせ				石丸謙二郎の山カフェ	日曜討論	ニュース ★ らじるラボ (N) 海外安全情報 安全情報おしらせ	05 30 55 59
10	05 ニュース 30 (N) ★ らじるラボ 海外安全情報 安全情報おしらせ				真打ち競演	子ども科学電話相談	★ らじるラボ (N)	05 30

ラジオ国際放送（日本語・在外邦人向け）　NHKワールド・ラジオ日本　（10月～）

国際独自番組（それ以外はR1スルー番組）
★印は新設番組

放送時刻	月	火	水	木	金	土	日	
11	05 ニュース							05
	らじるラボ					文芸選評	子ども科学電話相談	
	50 名曲の小箱					やさしい日本語で“今週の日本”	みんなのうた	50
	55 海外安全情報						海外安全情報	55
	59 おしらせ						おしらせ	59
12	15 ニュース					ニュース・天気予報（L）		10 15
	20 ニュース・天気予報（L）							
	ひるのいこい							
	30 武内陶子のごごカフェ					歌え！土曜日 Love Hits	NHKのど自慢	
	55 海外安全情報							55
	59 おしらせ							59
13	05 ニュース							05
	武内陶子のごごカフェ					らじるセレクト	あれから、そして未来へ（年8回） / 徳井青空のあにげっちゅ	
	55 海外安全情報							55
	59 おしらせ							59
14	05 ニュース							05
	30 (N) 武内陶子のごごカフェ				11月から	プロ野球	★大竹しのぶの“スピーカーズコーナー”（11月～） / 徳井青空のあにげっちゅ	
	55 海外安全情報						海外安全情報	55
	59 安全情報おしらせ						安全情報おしらせ	59
15	ニュース・天気予報					ニュース(中断)	ニュース	05
	10					プロ野球	★大竹しのぶの“スピーカーズコーナー”（11月～ / らじるセレクト	
	30 (N) 武内陶子のごごカフェ							
	55 海外安全情報						海外安全情報	55
	59 安全情報おしらせ						安全情報おしらせ	59
16	05 ニュース					ニュース(中断)	ニュース	05
	松尾潔のメロウな夜	MISIA 星空のラジオ	THE ALFEE 終わらない夢	リトグリのミューズノート	岸谷香 Unlock the heart	プロ野球	★ヤバイラジオ屋 / DJ日本史	
	※16:05～18:00 大相撲中継							
	<大相撲期間>							
	55 海外安全情報						海外安全情報	55
	59 おしらせ						おしらせ	59
17	05 ニュース							05
	にっぽん列島夕方ラジオ（L）					ちきゅうラジオ		
	※16:05～18:00 大相撲中継							
	<大相撲期間>							
	55 海外安全情報							55
	59 おしらせ							59
18	ニュース							05
	Nらじ					ちきゅうラジオ		
	50 みんなのうた					やさしい日本語で“今週の日本”＊（前11:50の再）	みんなのうた	50
	55 海外安全情報						海外安全情報	55
	59 おしらせ						おしらせ	59
19	NHKきょうのニュース							15
	ニュース・天気予報（L）							20
	Nらじ					上方演芸会 / 安心ラジオ	新日曜名作座	45
	らじるの時間							50
	55 海外安全情報							55
	59 おしらせ							59
20	05 ニュース							05
	鉄旅・音旅 出発進行！～音で楽しむ日本の鉄道旅～	サンドウィッチマンの天使のつくり笑い	イチ押し歌のパラダイス	東京03の好きにさせるかッ	真打ち競演＊（前週土曜10:05の再）	らじらー！サタデー	らじらー！サンデー	
	55 海外安全情報							55
	59 おしらせ							59
21	05 ニュース							05
	又吉・児玉・向井のあとは寝るだけの時間	A.B.C-Z 今夜はJ's倶楽部	カブキ・チューン	中山秀征のクイズイマジネーター	高橋源一郎の飛ぶ教室	らじらー！サタデー	らじらー！サンデー	
	55 海外安全情報							55
	59 おしらせ							59
22	NHKジャーナル					ニュース		05
						らじらー！サタデー	らじらー！サンデー	
	55 海外安全情報							55
	59 おしらせ							59
23	05 ニュース							05
	ラジオ深夜便							
	59 おしらせ							59

放送時刻	火	水	木	金	土	日	月	
0	10 ニュース							10
	ラジオ深夜便							
	55 海外安全情報							55
	59 おしらせ							59
1	05 ニュース							05
	ラジオ深夜便							
	59 おしらせ							59
2	05 ニュース							05
	ラジオ深夜便							
	55 海外安全情報							55
	59 おしらせ							59
3	05 ニュース							05
	ラジオ深夜便							
	59 おしらせ							59
4	05 ニュース							05
	ラジオ深夜便							
	59 おしらせ							59
5	マイあさ！							
	55 海外安全情報							55
	59 おしらせ							59
6	マイあさ！							
	25 30 ニュース・天気予報・交通情報 (L)							25 30
	ラジオ体操							
	40 三宅民夫のマイあさ！				マイあさ！		三宅民夫のマイあさ！	40
	55 海外安全情報							55
	59 おしらせ							59
7	15 三宅民夫のマイあさ！				マイあさ！		三宅民夫のマイあさ！	15
	20 ニュース・天気予報 (L)				ニュース・天気予報 (L)			20
	25 三宅民夫のマイあさ！				マイあさ！		ニュース・天気予報 (L) 三宅民夫のマイあさ！	25
	50 ニュース・天気予報ほか (L)				ニュース・天気・交通 (L)	ニュース・天気・交通 (L)	ニュース・天気予報ほか (L)	50
	58 朝の音楽						朝の音楽	58
8	05 三宅民夫のマイあさ！				ニュース		三宅民夫のマイあさ！	05
	28 30 朝の音楽				石丸謙二郎の山カフェ	音楽の泉	朝の音楽	28 30
	らじるラボ						らじるラボ	
	55 海外安全情報							55
	59 おしらせ							59
9	05 ニュース						ニュース	05
	30 (N) らじるラボ				石丸謙二郎の山カフェ	日曜討論	らじるラボ (N)	30
	55 海外安全情報						海外安全情報	55
	59 安全情報おしらせ						安全情報おしらせ	59
10	05 ニュース							05
	(N) らじるラボ				真打ち競演	子ども科学電話相談	らじるラボ (N)	
	55 海外安全情報							55
	59 安全情報おしらせ							59

データ放送　サービス編成表

総合テレビジョン
サービス（番　組）名
目　　次（L）
ニュース（(L）および全国）
気象情報（(L）および全国）
地震・津波情報　等（随時実施）
地域情報（L）
スポーツ情報（(L）および全国）
番組情報

教育テレビジョン（Eテレ）
サービス（番　組）名
目　　次
気象情報
地震・津波情報　等（随時実施）
番組情報

BS1
サービス（番　組）名
目　　次
ニュース
気象情報
地震・津波情報　等（随時実施）
スポーツ情報

BSプレミアム
サービス（番　組）名
目　　次
気象情報
地震・津波情報　等（随時実施）
番組情報

ワンセグ・総合テレビジョン
サービス（番　組）名
目　　次（L）
ニュース（(L）および全国）
気象情報（(L）および全国）
地震・津波情報　等（随時実施）

ワンセグ・教育テレビジョン（Eテレ）
サービス（番　組）名
目　　次
ニュース（全国）
地震・津波情報　等（随時実施）
番組表

放送 地域放送番組編集計画（2020年度）

各地域の「基本方針」を原文どおり掲載する。

北海道

≪基本方針≫

“公共メディア”として，道民の生命や暮らしを守るための災害・緊急報道を一層強化します。2018年の北海道胆振東部地震では発災と同時に北海道全域で起きた大規模停電“ブラックアウト”により視聴者に情報を届けることが困難になるというかつてない事態が起きました。この教訓を生かし，日頃から放送のみならず，インターネットでの情報発信にも最大限力を入れ，多様な情報伝達手段を確保します。

広大で豊かな大地を切り拓いて誕生した北海道では今，人間とヒグマやエゾシカなどの野生動物の生活領域が重なり合い，人間に危険が及ぶ事態が頻発しています。また，先住民族「アイヌ」の歴史や文化の伝承者が年々減少し，我が国の貴重な文化でありながらアイヌ文化は存立の危機に立っています。野生動物や自然とどう共存していくべきか，アイヌ文化の保存と継承のために何をしていくべきか，多様な存在・価値観を尊重しあう“共生・共存社会”の実現に貢献するニュースや番組を発信していきます。

人口減少や水産資源の減少など課題先進地域である北海道の社会・政治・経済がどのように変化していくのか，多角的に取材し伝えます。また，2020年は戦後75年の年。今なお，返還への道筋が見えない北方領土を巡る日本政府とロシア政府間の交渉の動向を引き続き注視し，伝えます。

2020年10月の札幌拠点放送局の新会館移転を機に，道内に根ざし，地域のために活動する人々やコミュニティーとの連携を強め，各地域の情報をこれまで以上に丁寧に伝えます。また，視聴者とともに地域の課題を考え，視聴者とともに解決策を探る“オープンジャーナリズム”を推進します。

札幌開催が決まった「東京オリンピック・パラリンピック」の「マラソン」と「競歩」に関連する放送を通じて，北海道の魅力を世界に発信します。また，北海道ゆかりの選手の活躍を取り上げて大会を盛り上げます。さらに，プロ野球「北海道日本ハムファイターズ」やサッカーJリーグ「北海道コンサドーレ札幌」などの情報発信や，地域から愛されるアイスホッケーなどのウインタースポーツも積極的に取り上げて地域の振興に貢献します。

東北

≪基本方針≫

2020年度は“東日本大震災から10年”そして“復興五輪”の２つを柱に東北の６つの地域放送局が連携し，放送・サービスの充実に全力を尽くします。

被災地ではインフラの復旧が進むにつれ震災の記憶が過去のものとなり，震災を知らない世代が復興の担い手になっていきます。発災から10年がたつ被災地の現状や課題を浮き彫りにする大型番組の制作をはじめ，震災遺構を８Kで記録していくプロジェクトを加速させるなど，産学官民とも連携して，“震災の記憶を次の世代に残していく”取り組みに力を注ぎます。

東北地方と「オリンピック・パラリンピック」の意外なつながりや海外の選手団と市民が交流するホストタウンの動き，聖火リレーや東北の人々のメッセージを東京へ運ぶ「東京2020 NIPPONフェスティバル」の最新情報を特集番組やニュースなどを通じて積極的に発信し，地域と一体となって“復興五輪”の機運を高めます。

さらに，NHKの使命でもある，防災・減災報道にも力を入れます。東日本大震災や2019年の台風19号を教訓に，迫りくる災害の危機を“自分のこと”と捉えることができる情報をテレビ・ラジオ・L字型画面・データ放送・インターネットなどあらゆる手段を使って伝え，人々の生命・財産を守ります。

また，各放送局の公開スペース等を活用した番組のさらなる充実やドラマの制作などにもチャレンジし，より親しまれ，地域の活力となる放送局を目指します。

関東甲信越

≪基本方針≫

日本の人口のおよそ40％，4,860万人が暮らす関東甲信越地方では，人々の安全と安心を守るために，各放送局が連携し，正確かつ迅速な情報の発信に取り組みます。2019年秋の台風15号は千葉県で大規模な停電を，台風19号は広い範囲で同時多発的に河川の氾濫や土砂災害を引き起こし，“異常気象時代”の新たな災害報道が求められています。地域に暮らす一人ひとりにきめ細かい防災・減災情報を届ける“ローカルファースト”と，テレビ・ラジオ・デジタルサービスなど，あらゆるメディアを駆使した情報の発信に努めます。

目前に迫る「東京オリンピック・パラリンピック」では，開催地として積極的なニュース・番組の発信を行います。聖火リレーを生放送で盛り上げるほか，世界中から集まる選手やメディア，観光客によって再発見される首都圏の魅力や価値，浮かび上がる課題などを掘り下げるとともに，パラリンピックに関するさまざまな発信を通して，多様な価値観を認める「共生社会」の実現に貢献します。

事件・事故に迅速に対応するとともに，年々複雑化する社会問題の背景や影響などを丁寧に取材し，視聴者の関心に応えます。加速する東京の一極集中の一方で，少子高齢化による人口減少や介護問題，経済格差，外国人人材を取り巻く問題や，東日本大震災から10年，首都直下地震に備える報道など，持続可能な社会の実現に向けて多様化する課題の核心に迫ります。

地域の視聴者のニーズに的確に応えるために，関東甲

信越各局の地域放送の一層の充実を図ります。地域特有の魅力や課題など，必要とされる情報をきめ細かく伝えます。また，テレビ・AMラジオの県域放送がない横浜・千葉・さいたまの各放送局は，東京・首都圏放送センターと取材・制作体制の一体化をさらに進め，この地域の視聴者が求める新たな情報発信に挑戦します。

本格的な“公共メディア”への進化に向けて，首都圏独自のデジタル発信を進化させるとともに，４K･８Kを含めた多様な発信に取り組み，情報の社会的基盤としての役割を果たしていきます。

中　部

≪基本方針≫

中部地方の各放送局は，地域の課題と真摯（しんし）に向き合い，地域に暮らす人たちに寄り添う放送局を目指します。

７つの地域放送局が持つネットワークを存分に生かし，地域の人たちの命と暮らし，安全と安心を守ります。多彩な魅力に満ちた地域の特色をより広く発信するとともに，多様な地域特性を踏まえた放送やサービスのさらなる充実に努めます。

中部地方には年間の降水量が極めて多い地域があり，大小の河川や用水路が縦横に流れています。台風や大雨による甚大な災害がここ数年相次ぐ中，事前の備えに対する重要性は高まる一方です。また今後30年以内に70％から80％の確率で発生すると予測されている南海トラフ巨大地震では，東海地方でも大きな被害が想定されていますが，早めの避難や防災対策などによって被害は軽減できるといわれています。中部地方の各放送局では，テレビ，ラジオ，データ放送やインターネットなどあらゆる手段を用いて，防災・減災につながる正確できめ細かな情報を発信し，地域の人たちの信頼に応えることで“公共メディア”としての役割を果たします。

「東京オリンピック・パラリンピック」に向けては，中部地方ゆかりのアスリートや聖火リレーの様子を積極的に取り上げます。地域の人たちの記憶に深く刻まれる大会となるよう，大会の魅力や選手への期待感をあますところなく伝えます。

「東京オリンピック・パラリンピック」後は，地域社会の変容や将来を見据えたコンテンツの制作に力を注ぎます。異なる文化や歴史，風土が育んできた各地の特性に根ざした番組のさらなる充実に努めます。「東京パラリンピック」を通じて高まる「共生社会」への関心，北陸新幹線の延伸やリニア中央新幹線の開通がもたらす地域への影響など共通のテーマにも意欲的に取り組みます。

さらに中部地方の美しい自然を４K･８Kで制作する番組や，ドラマ，エンターテインメント，スポーツなど多彩なコンテンツを発信し，地域の視聴者との結びつきをより深めます。

近　畿

≪基本方針≫

近畿地方の６つの地域放送局はネットワークを生かし，地域の安全・安心に寄与します。南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備え，地域の防災・減災に全力で取り組みます。また，首都直下地震や，そのほかさまざまな非常事態においても放送･サービスを維持するため，本部代替機能の充実に努めます。大阪拠点放送局からの全国向けテレビニュース発信体制を継続するほか，インターネットによる情報発信強化に努めます。

近畿地方は，世界的観光資源や歴史・文化・芸能，日本を代表する産業，スポーツイベントなど，多彩な魅力にあふれています。近畿地方の６つの地域放送局は，インターネットや４K･８Kも駆使して，こうした世界的にも注目される魅力を取り上げ，日本の文化の豊かさや価値観の多様性を発信します。さらに，「東京オリンピック・パラリンピック」で活躍が期待されるトップアスリートや学生スポーツ，障害者スポーツを丁寧に伝えるほか，マイノリティーを取り上げる番組を制作し，誰もが自分らしく生き生きと暮らせる，多様性のある社会のすばらしさを伝えます。

地元の身近な放送局として，日々，公平・公正で正確な情報，暮らしに役立つ情報を，早く，わかりやすく伝えるほか，大きな文化・経済圏である近畿の課題や魅力を掘り下げる番組，自然や暮らし，歴史を伝える番組を視聴好適時間帯に放送します。また，地域の重要課題に向き合い，問題提起にとどまらず解決の一助となるようなキャンペーンを展開し，地域社会に貢献します。さらに，放送を太い幹としつつ，いつでもスマートフォンやパソコンからも近畿地方向けのきめ細かい情報に触れられるよう，地域情報のインターネット発信に努め，より役に立ち，より身近な“公共メディア”を目指します。

中　国

≪基本方針≫

中国地方の５つの地域放送局は，地域の安全・安心の拠点として，人々の命と暮らしを守る情報を正確・迅速に提供します。広島県と岡山県を中心に甚大な被害をもたらした2018年の西日本豪雨災害の教訓から，台風，豪雨，地震などの激甚化する自然災害について，“公共メディア”としてあらゆる手段を駆使して，防災・減災につながる情報発信に日頃から取り組みます。

人口減少や高齢化，地域経済などの共通課題について，中国地方の５つの地域放送局のネットワークを生かしたブロック放送サービスで解決の糸口を探るとともに，中国地方が育んだ豊かな自然や文化を広く発信します。また，県域放送サービスを通じて，各地の課題に徹底的に向き合うほか，地域の魅力を掘り起こします。

「東京オリンピック・パラリンピック」を目指す中国地方ゆかりのアスリートを取り上げ，多様な価値観を認め合う「共生社会」の実現を後押しします。あわせて，各地を回る聖火リレーの様子を伝え，大会への機運を高

めます。また，プロ野球「広島カープ」やサッカーJリーグ，バスケットボールBリーグなど，地域に根づいたプロスポーツに関する情報をきめ細かく伝え，視聴者の関心に応えます。

2020年は，“被爆75年”という大きな節目となります。2019年11月にはローマ教皇が広島を訪れ，平和への祈りをささげました。核廃絶に向けて，世界から被爆地・広島に関心が寄せられています。全国の被爆者の平均年齢は82歳を超え，15万人を下回りました。被爆体験の継承が日に日に難しくなる中，放送を中心に，デジタルツールやさまざまな手法を用いて，全国・世界に向けて発信します。

４K･８Kの番組制作を進めます。また，「東京オリンピック・パラリンピック」を契機に，広島拠点放送局の８Kスーパーハイビジョンシアターや各放送局の８Kモニターを発信の拠点として，最高水準の放送・サービスを提供し，普及・発展に貢献します。

四　国

≪基本方針≫

四国の放送局は，防災・減災につながる情報発信に全力で取り組み，地域の“公共メディア”として四国に一層活気を与える放送局を目指します。地域の魅力や課題など，視聴者の関心に応える県域放送・四国地方向け放送，四国ならではの豊かな自然や個性的な文化などを発信する全国・海外向け放送，デジタルサービスを視聴者ニーズを踏まえて効果的に組み合わせます。

災害報道にはオール四国で取り組みます。猛烈な台風や想定を超える豪雨など自然災害が頻発しています。南海トラフ巨大地震とそれがもたらす津波では甚大な被害が想定されています。１人でも多くの命を救うため，いち早く正確な情報を提供します。さまざまな事態を想定した緊急報道態勢を強化し，デジタルサービスも活用します。また，西日本豪雨の被災地復興の動きを継続して見つめ，経験を未来に生かす取り組みも行います。

「東京オリンピック・パラリンピック」を盛り上げます。四国各県でも開催される聖火リレーの模様を，各地の熱気とあわせて伝えます。四国にゆかりのある注目選手やホストタウンの動きなどを多角的に発信します。アスリートたちの熱戦を超高精細映像と臨場感あふれる音響で伝えるパブリックビューイングやインターネットなども活用し，感動を共有する機会を作ります。

地域の視聴者との“つながり”を重視した放送やイベントを展開します。四国応援プロジェクト「ハッとホッとずっと」キャンペーンを2020年度も継続します。地域のみなさんと一緒に作り上げる「もっと四国音楽祭」や，四国のテーマソング「ふるさとの色」に親しみを感じてもらう取り組みを行います。

九州・沖縄

≪基本方針≫

九州沖縄の９つの地域放送局は，ネットワークを生かし，正確で有用な情報を的確・迅速に提供します。視聴者の関心に応える質の高い放送と多様な手段による情報発信で，“公共メディア”としての責務を果たします。

住民の生命と暮らしを守るため，南海トラフなどの地震や台風・豪雨・噴火などの災害に備え，防災や減災につながる情報を継続的に発信します。災害発生時には，機動的な態勢で正確な情報を放送・デジタルサービスを通じて提供します。さらに大規模災害の被災地を継続取材し，課題に向き合い解決に向けたヒントを探るとともに，活気を取り戻しつつある被災地の今を伝え，復興を後押しします。

戦後75年の節目にあたり，長崎や沖縄をはじめとした各地の戦争体験の掘り起こしと記録に努め，次世代への継承にも取り組み，平和への祈りを発信します。また，格差・貧困，高齢化，若い世代が直面する問題，原子力発電所を巡る動き，安全保障など九州沖縄共通の課題や，世界遺産登録を目指す地域の情報を伝え，視聴者の幅広い関心に応えます。

「東京オリンピック・パラリンピック」に向けて，九州沖縄出身選手や競技に関する情報を多角的に取材し，地域の視聴者の関心を高めます。また，パラスポーツをきっかけに多様性のある社会のすばらしさを伝えます。地元スポーツチームの試合を中継するとともに，最新情報をきめ細かく伝え，スポーツを通じて地域を盛り上げます。

アジアの国々とつながりの深い九州沖縄ならではの視点で各国との関わりを見つめるとともに，地域の魅力を全国・世界に発信します。また，インバウンドが地域の経済や観光に及ぼす影響，海外情勢の変化や“東京2020”後の動向にも注目し，丁寧に伝えていきます。

各種選挙には万全の態勢で臨み，正確・迅速，公平・公正な報道で，有権者の判断のよりどころとなる情報を提供します。

九州沖縄の魅力を伝えるため，４K･８K超高精細映像を生かした番組の制作や，効果的なインターネットサービス，データ放送サービスに取り組みます。

北海道ブロック

【総合テレビ】

ブロック枠　各局単枠　★印：新設番組　☆印：移設番組

	月	火	水	木	金	土	日	
前4								4前
5	56 59〈北海道ブロック〉気象情報					〈北海道ブロック〉気象情報		55 5
6	28 30 53〈北海道ブロック〉気象情報／〈北海道ブロック〉ニュース・気象情報							28 30 55 6
7	45〈北海道ブロック〉おはよう北海道					〈北海道ブロック〉おはよう北海道　土曜プラス／〈北海道ブロック〉（新しい地域放送サービス展開枠）	〈北海道ブ〉ニュース・気象情報	30 40 45 55 7
8							〈北海道ブロック〉★北海道道（再）	25 8
9								9
10								10
11	30〈北海道ブロック〉ひるまえナマら！北海道 ※11:48～11:54　釧路は単域（金） 54 57気象情報（全国）					〈北海道ブロック〉☆Ｗｉｌｄ　Ｈｏｋｋａｉｄｏ！ ミニ番組		20 25 11
						54 57〈北海道ブロック〉気象情報		
後0	15 20〈北海道ブロック〉ニュース					〈北海道ブロック〉ニュース		10 15 後0
1							〈北海道ブロック〉★北海道セレクション（年10本程度）【教養・教育・報道・娯楽】	05 50 1
2								2
3	05 08〈北海道ブロック〉ニュース・気象情報　字							3
4								4
5	ニュース　シブ５時 57 00〈北海道ブロック〉気象情報							5
6	10〈北海道ブロック〉　ほっとニュース北海道　字 50 55ニュース・気象情報（各局単） ※6:52～6:54気象情報（全国）は脱					〈北海道ブロック〉ニュース北海道６４５ ※6:53～6:55は気象情報（全国）		45 6
7	30 55 57〈北海道ブロック〉★北海道道（年32本程度）【教養・報道】／ミニ番組				〈北海道ブロック〉北海道スペシャル／プロ野球　ほか（年8本程度）			7
8	42 45〈北海道ブロック〉ほっとニュース８４５　字					〈北海道ブロック〉ニュース・気象情報		55 8
9								9
10								10
11								11
深夜								深夜

北海道ブロック

広域ブロック枠　ブロック枠　各局単枠　★印:新設番組　☆印:移設番組

【ラジオ第1】

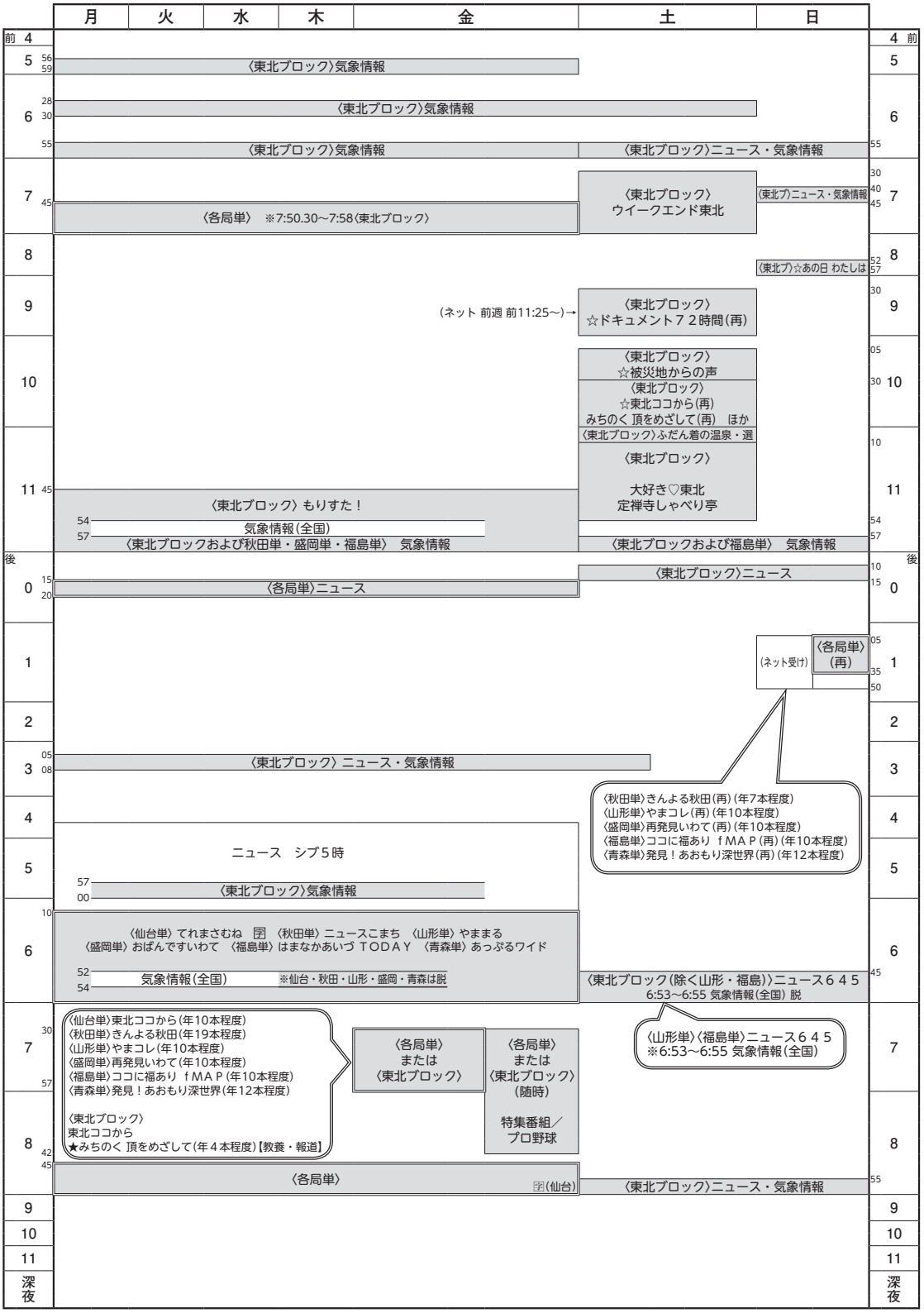
	月	火	水	木	金	土	日	
午前				後4:05～4:55 〈帯広単〉 ★十勝の話題と音楽 (年12本程度) 【教育・報道・娯楽】				午前
午後	後5:05～5:55 にっぽん列島夕方ラジオ			後5:05～5:55 北海道 まるごとラジオ (原則第1・4週) (年18本程度)				午後
夜間								夜間

【F　M】

	月	火	水	木	金	土	日	
午前								午前
午後	後6:00～6:50 夜のプレイリスト(再)							午後
夜間								夜間

東北ブロック
【総合テレビ】

ブロック枠　各局単枠　★印:新設番組　☆印:移設番組

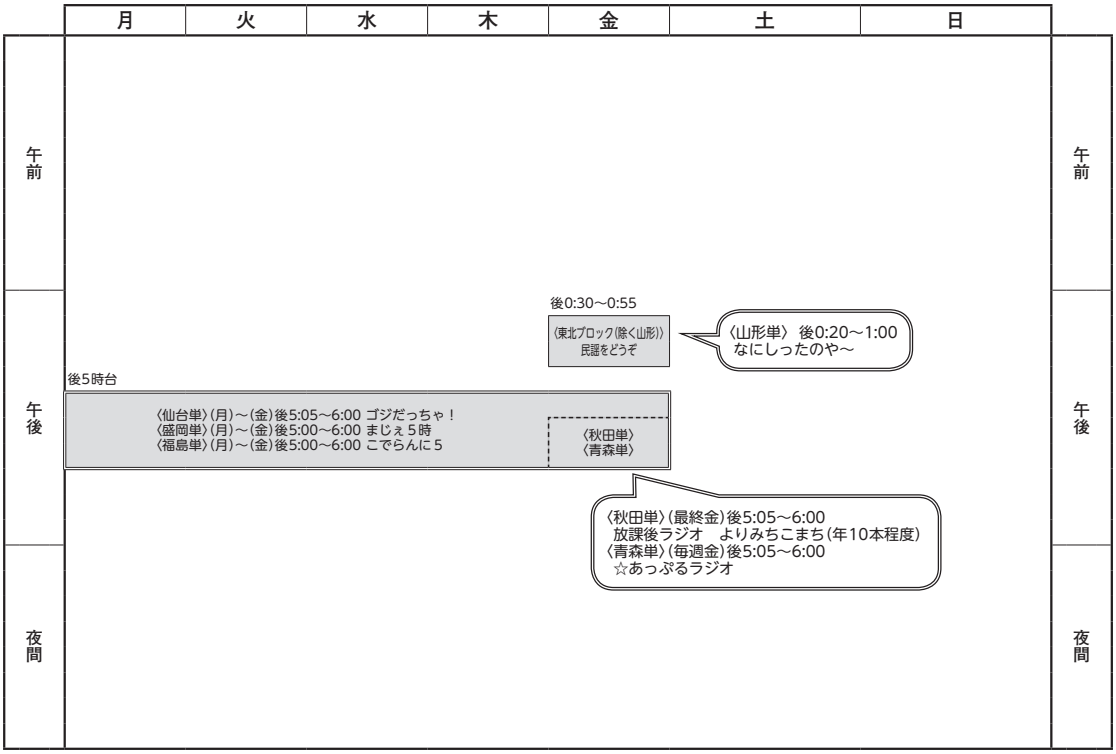


東北ブロック

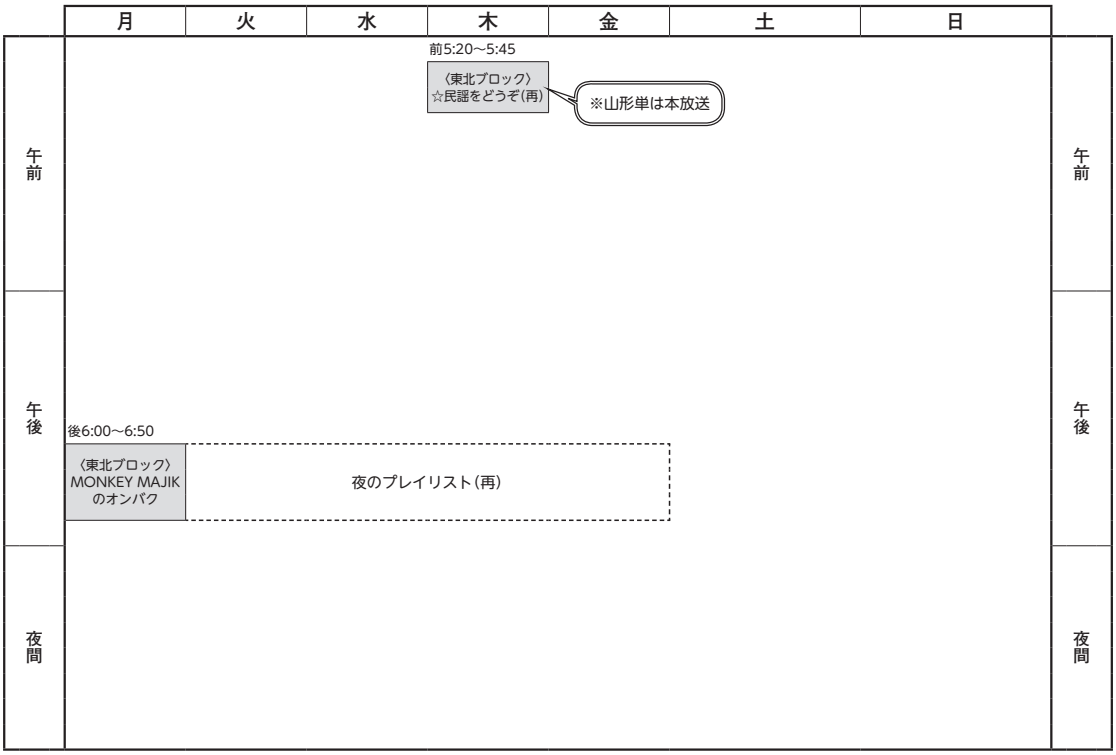
広域ブロック枠　ブロック枠　各局単枠

★印:新設番組
☆印:移設番組

【ラジオ第1】



【F　M】



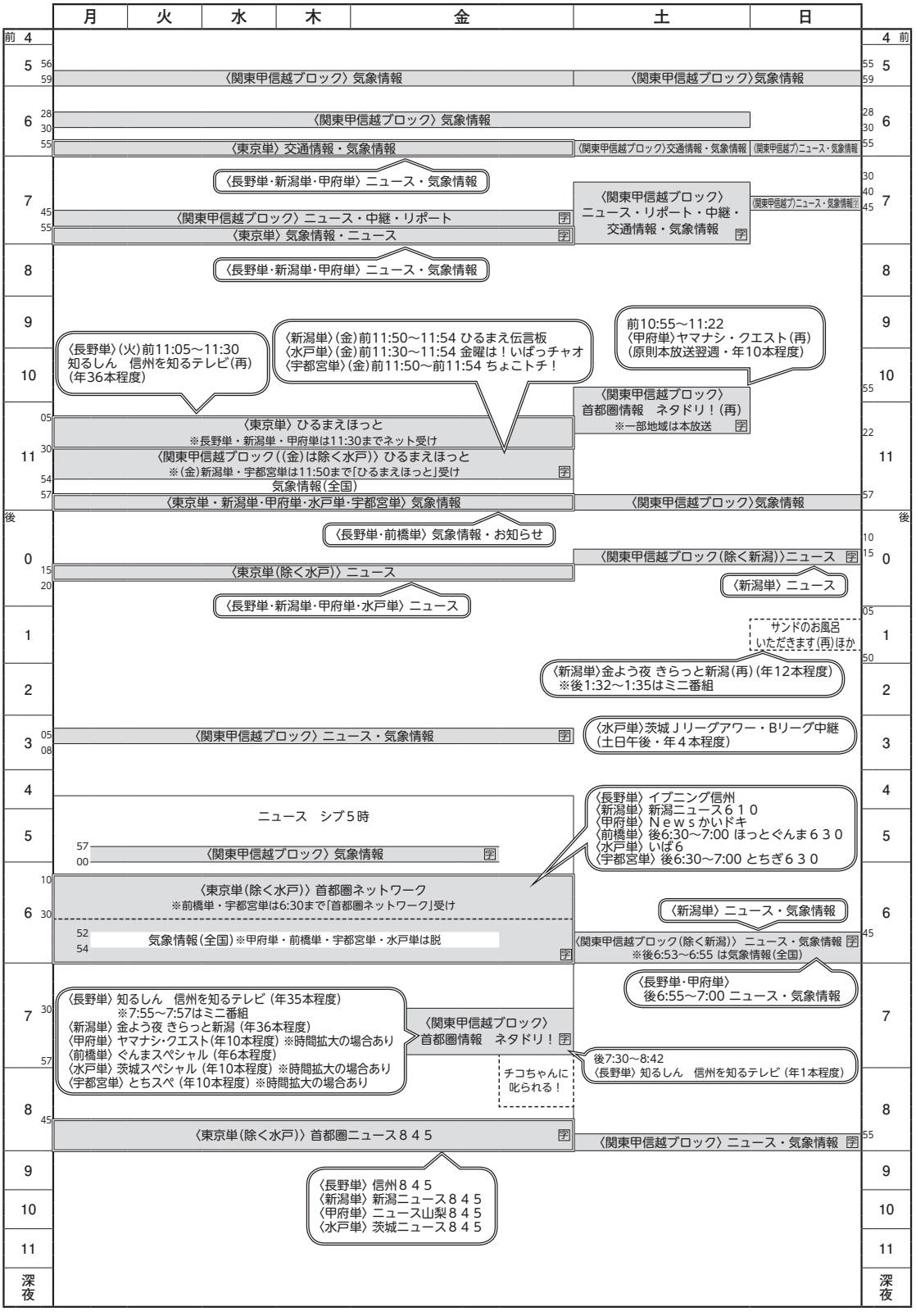
関東甲信越ブロック

【総合テレビ】

広域ブロック枠　ブロック枠　各局単枠

★印:新設番組
☆印:移設番組

※〈関東甲信越ブロック〉 東京／横浜／前橋／水戸／千葉／宇都宮／さいたま／長野／新潟／甲府
※〈東京単〉 東京／横浜／前橋／水戸／千葉／宇都宮／さいたま

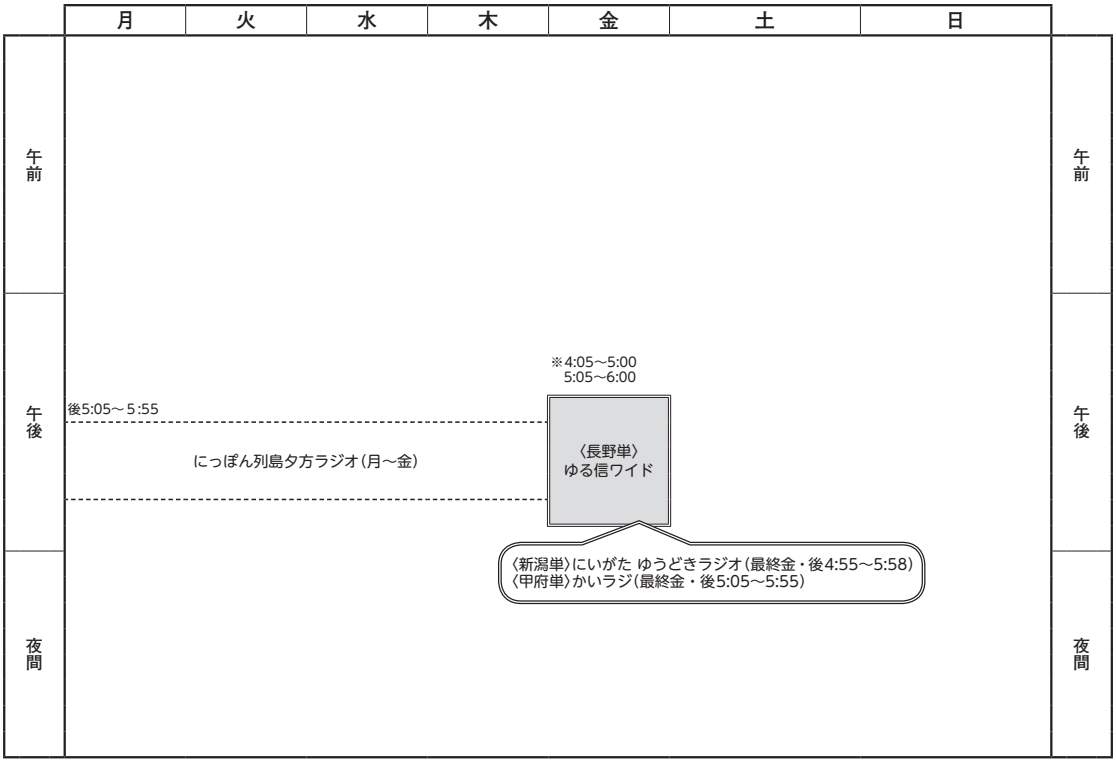


関東甲信越ブロック

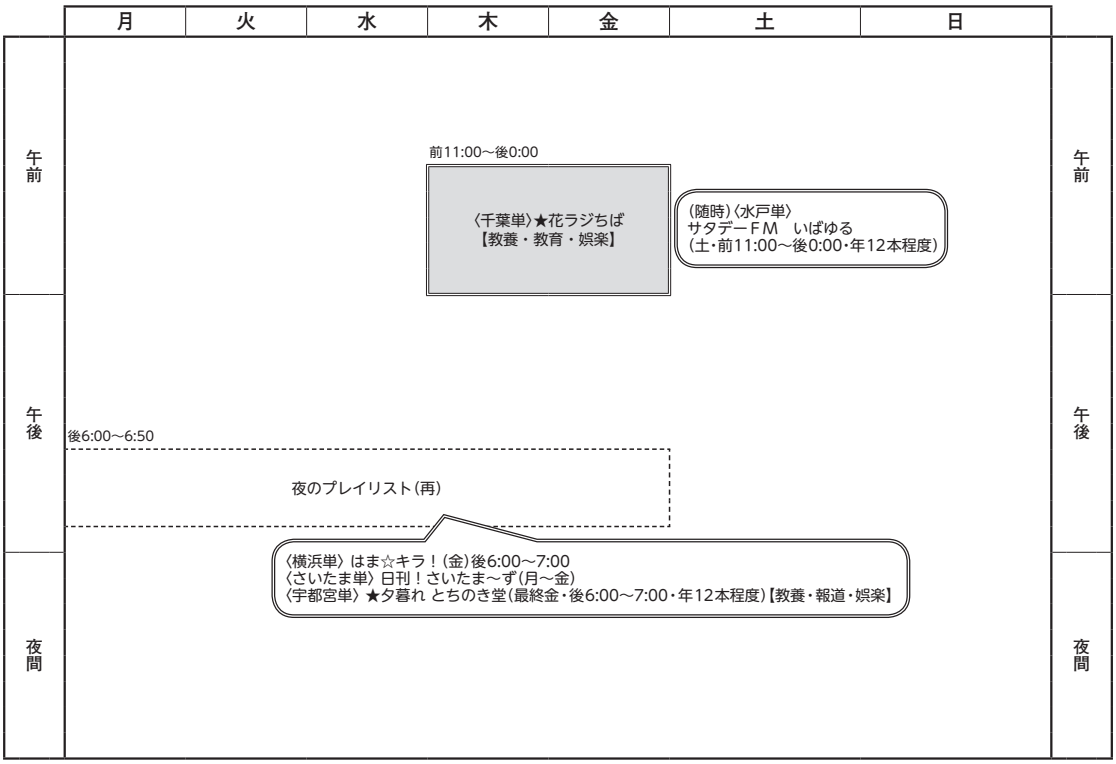
広域ブロック枠　ブロック枠　各局単枠

★印:新設番組
☆印:移設番組

【ラジオ第1】



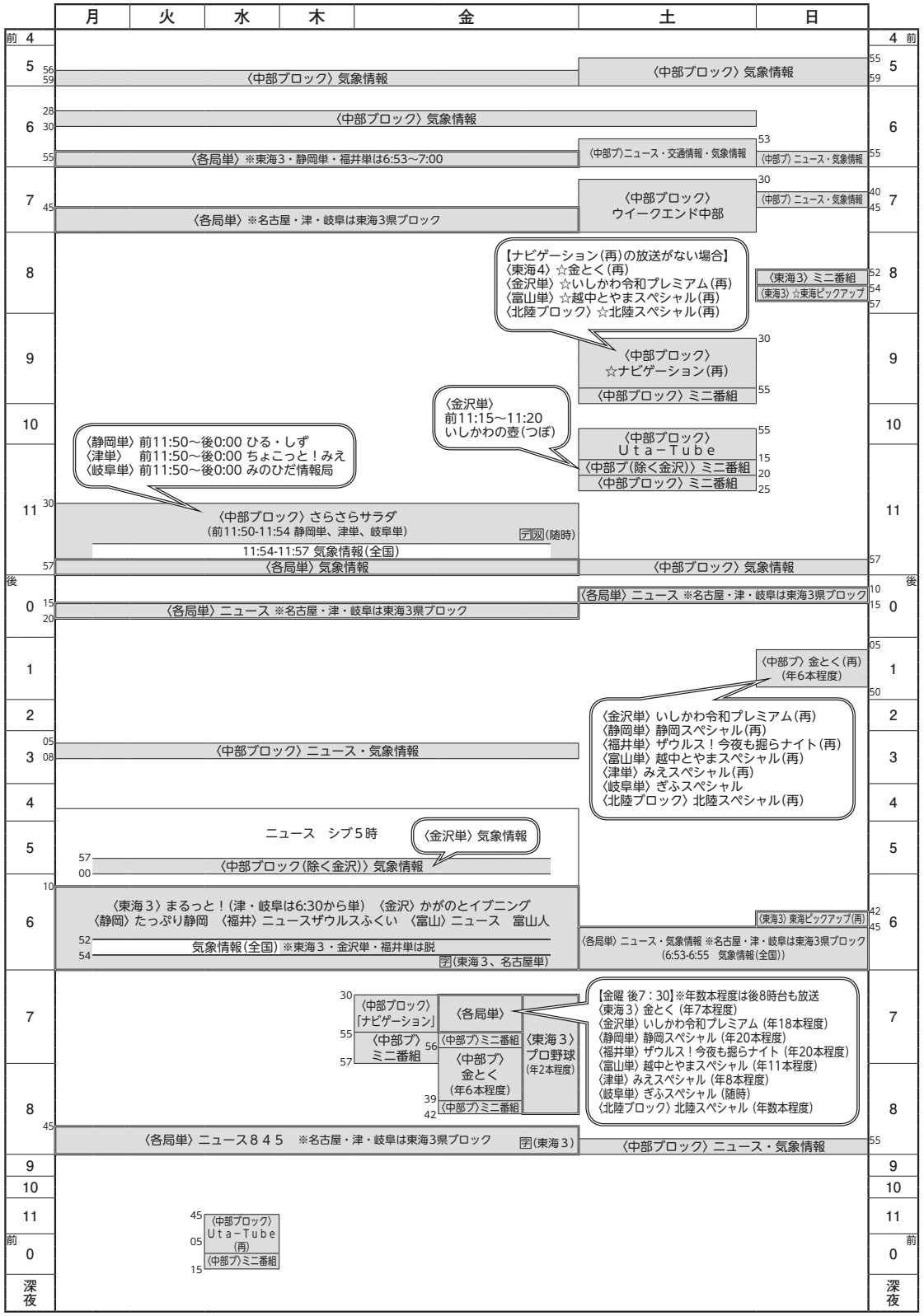
【F　M】



中部ブロック

【総合テレビ】

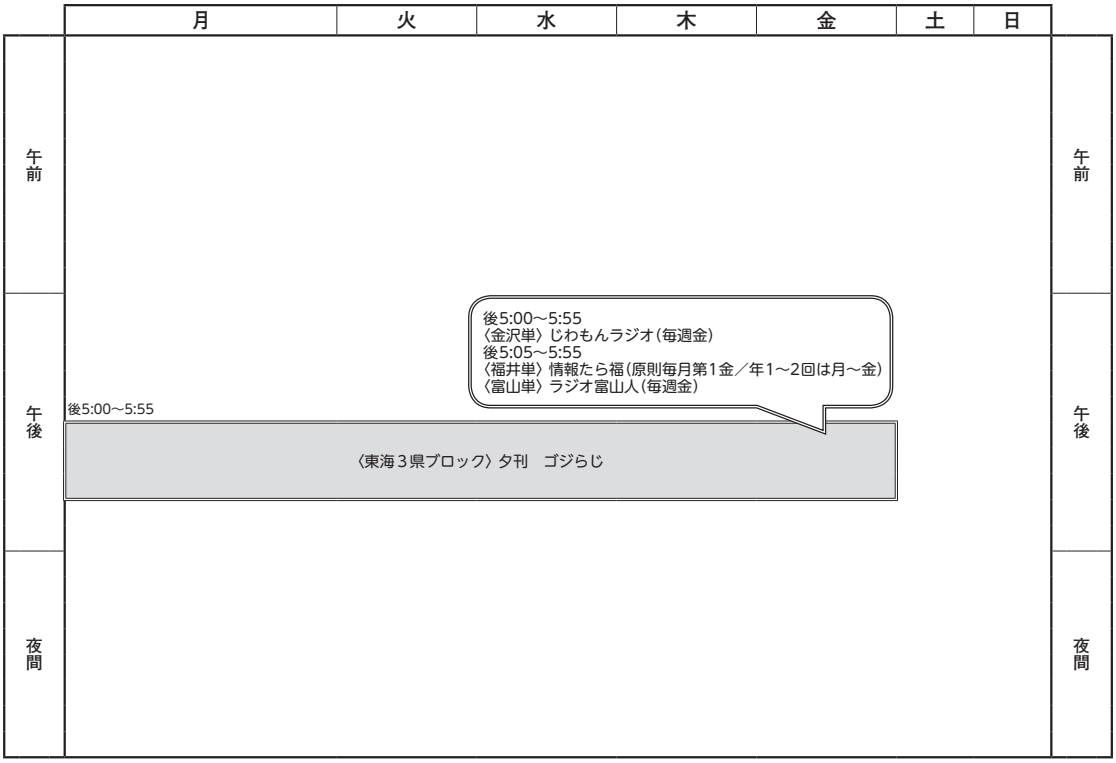
ブロック枠　各局単　★印:新設番組　☆印:移設番組



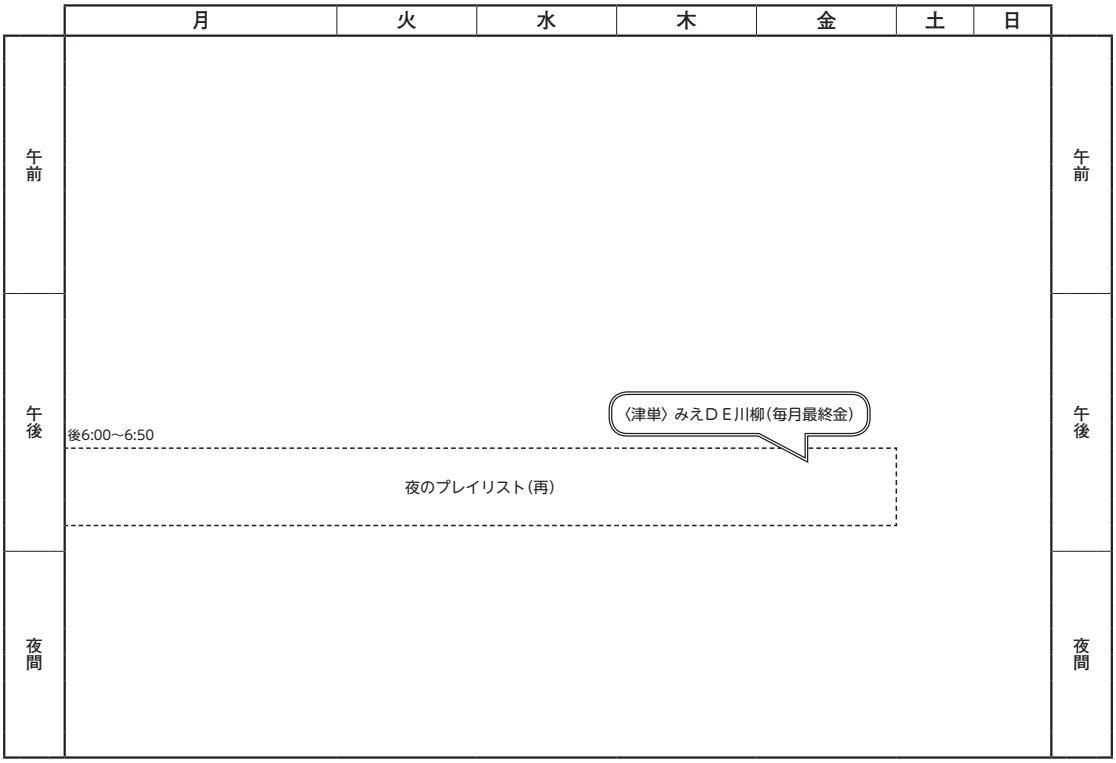
中部ブロック

【ラジオ第1】

広域ブロック枠　ブロック枠　各局単枠　★印:新設番組　☆印:移設番組



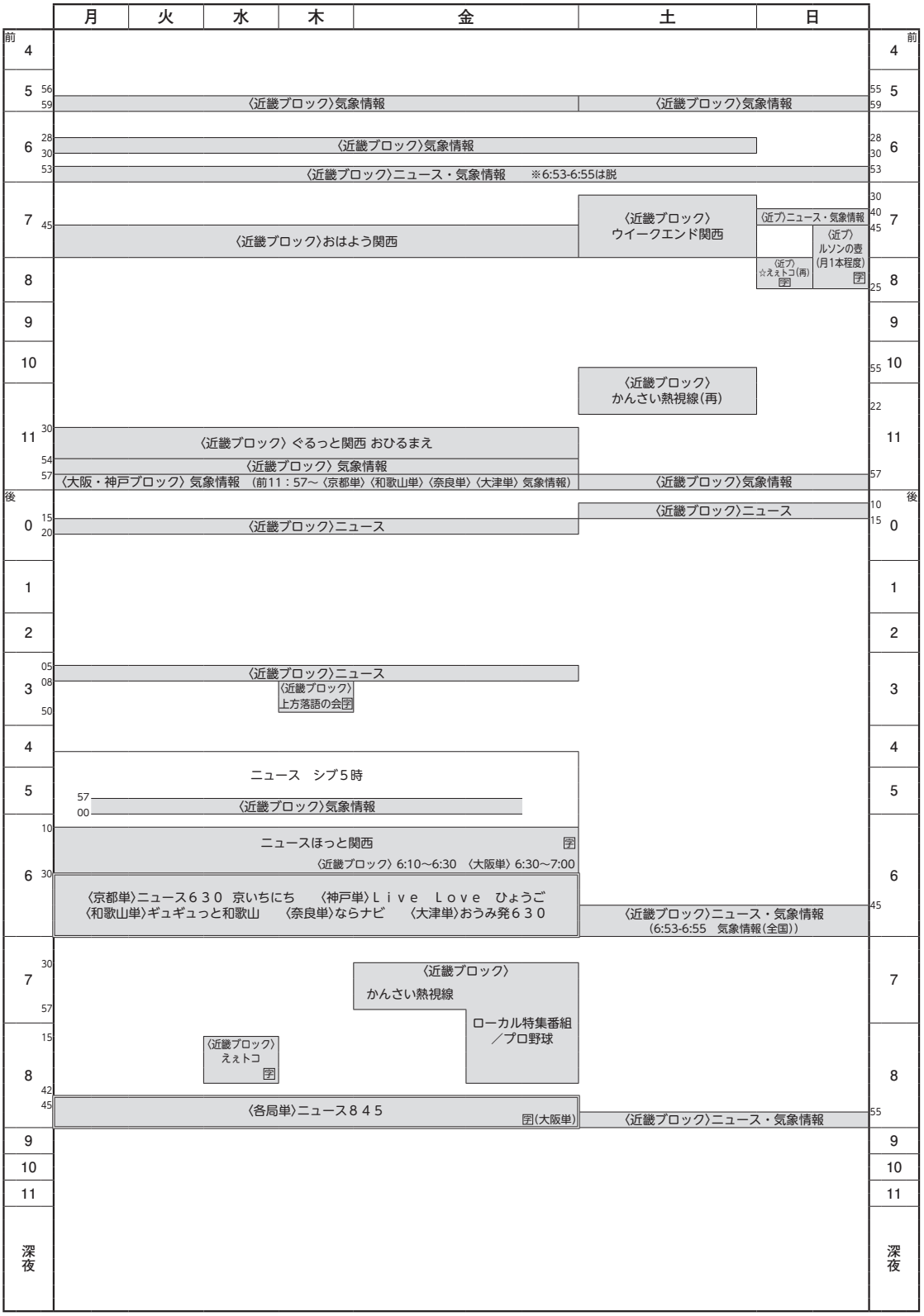
【F　M】



近畿ブロック

【総合テレビ】

ブロック枠　各局単枠　★印:新設番組　☆印:移設番組



近畿ブロック

【ラジオ第1】

ブロック枠　各局単枠　★印:新設番組　☆印:移設番組

	月	火	水	木	金	土	日	
午前	前7:40～8:00 〈近畿ブロック〉マイあさ！関西							午前
午後	後4:05～6:00(後5:00～5:05は全中ニュース受け) 〈近畿ブロック〉関西ラジオワイド							午後
夜間								夜間

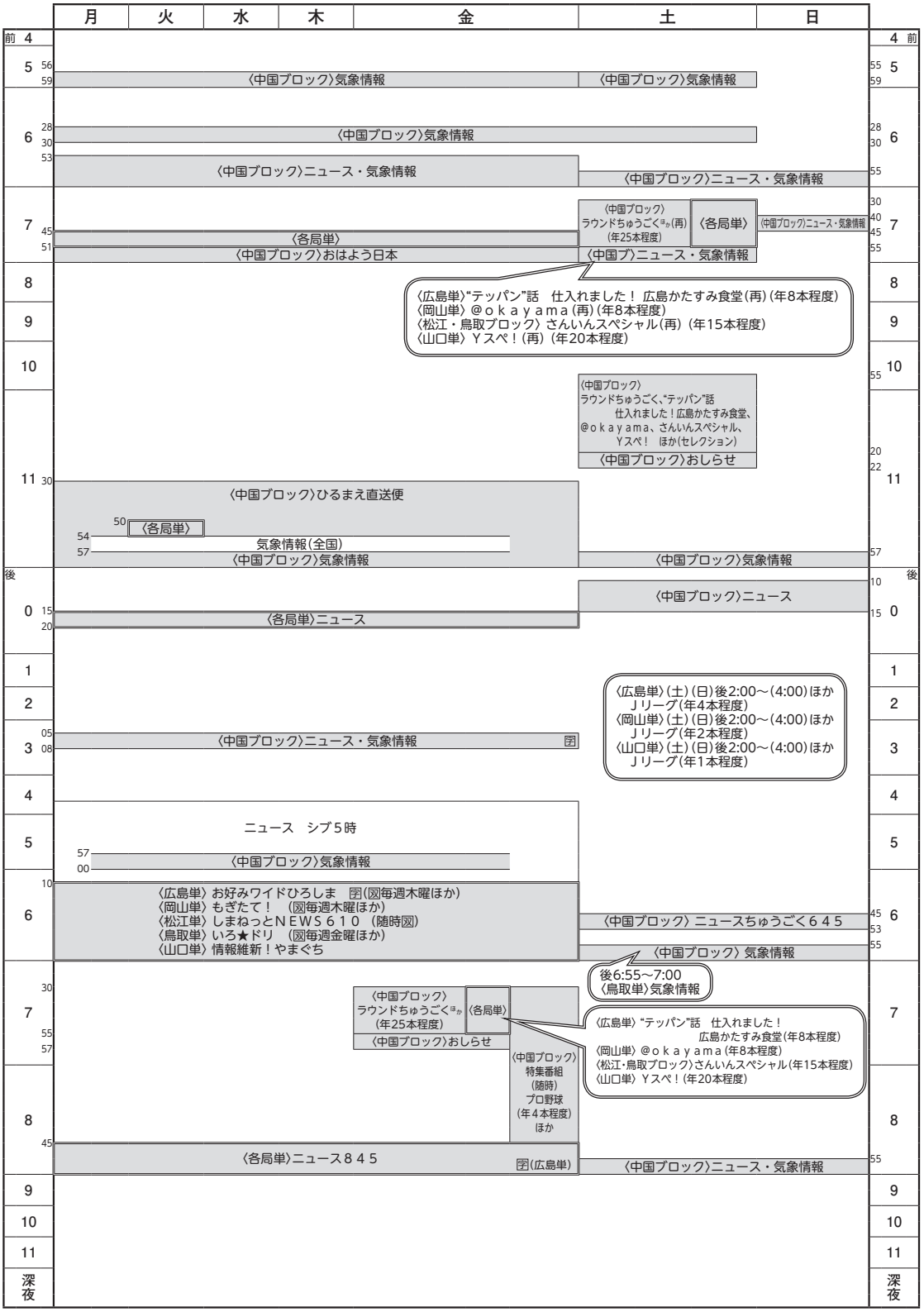
【F　M】

	月	火	水	木	金	土	日	
午前								午前
午後	後6:00～6:50 〈和歌山単〉ラジオ防災講座(年6本程度) 〈大津単〉しが！！防災応援ラジオ(金・月1回程度)							午後
夜間								夜間

中国ブロック

【総合テレビ】

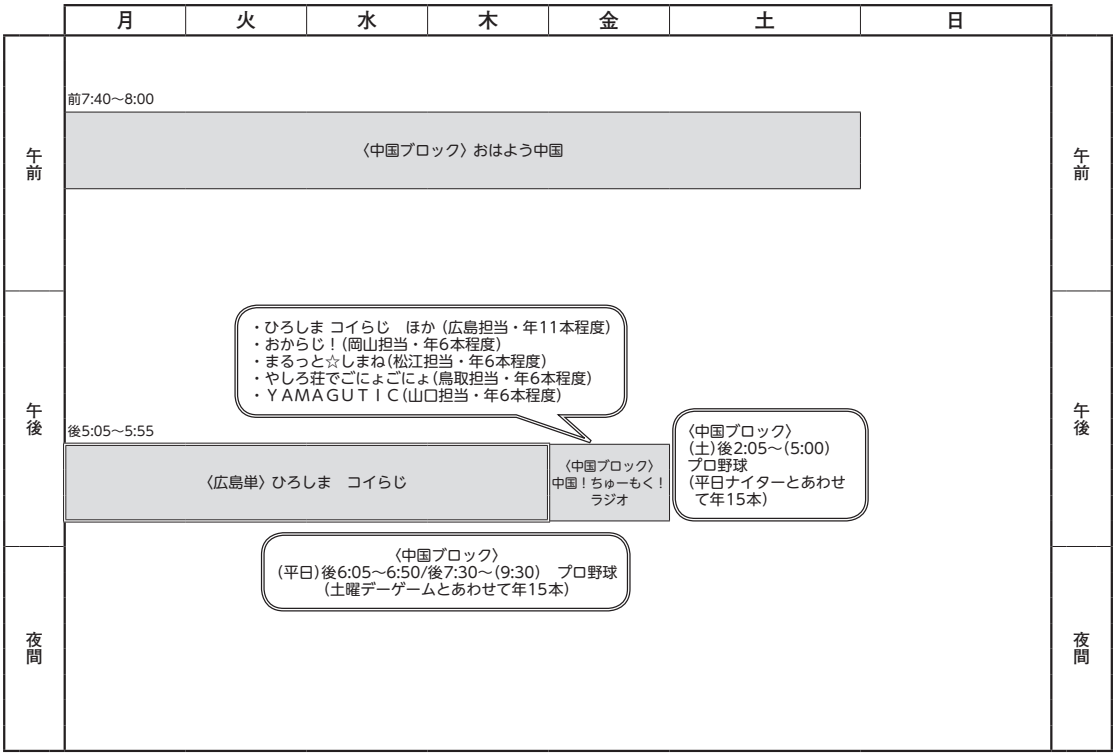
ブロック枠　各局単枠　★印:新設番組　☆印:移設番組



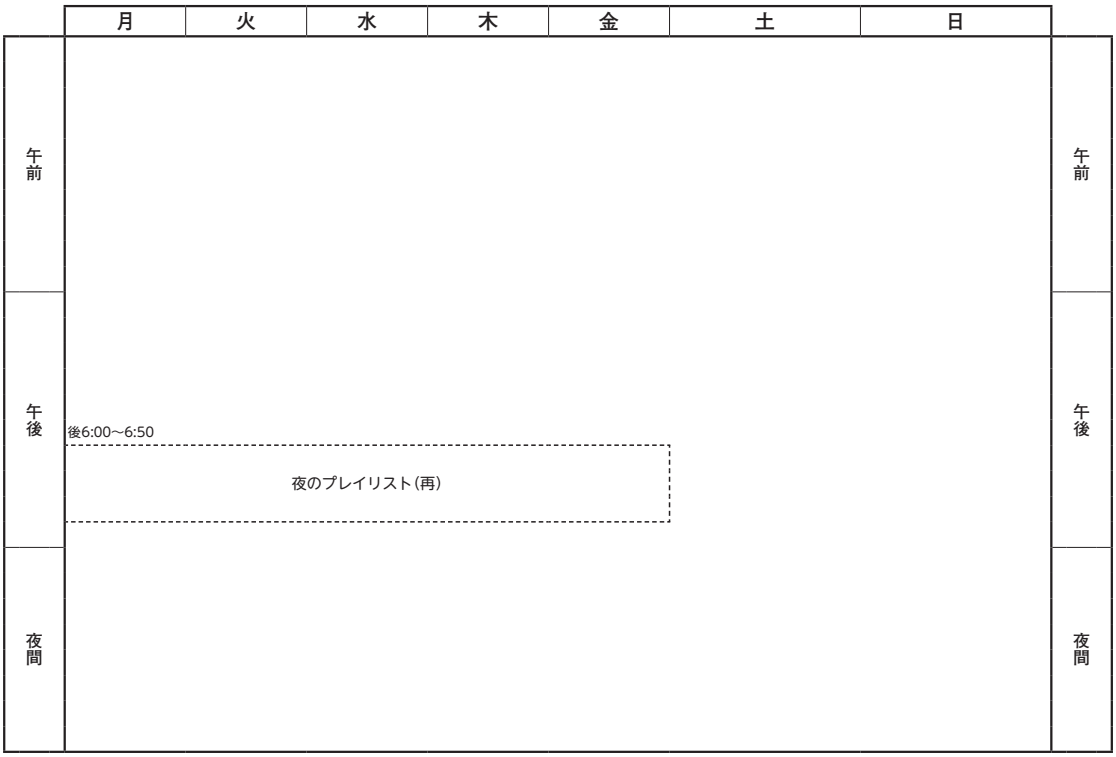
中国ブロック

【ラジオ第1】

広域ブロック枠　ブロック枠　各局単枠　★印:新設番組　☆印:移設番組



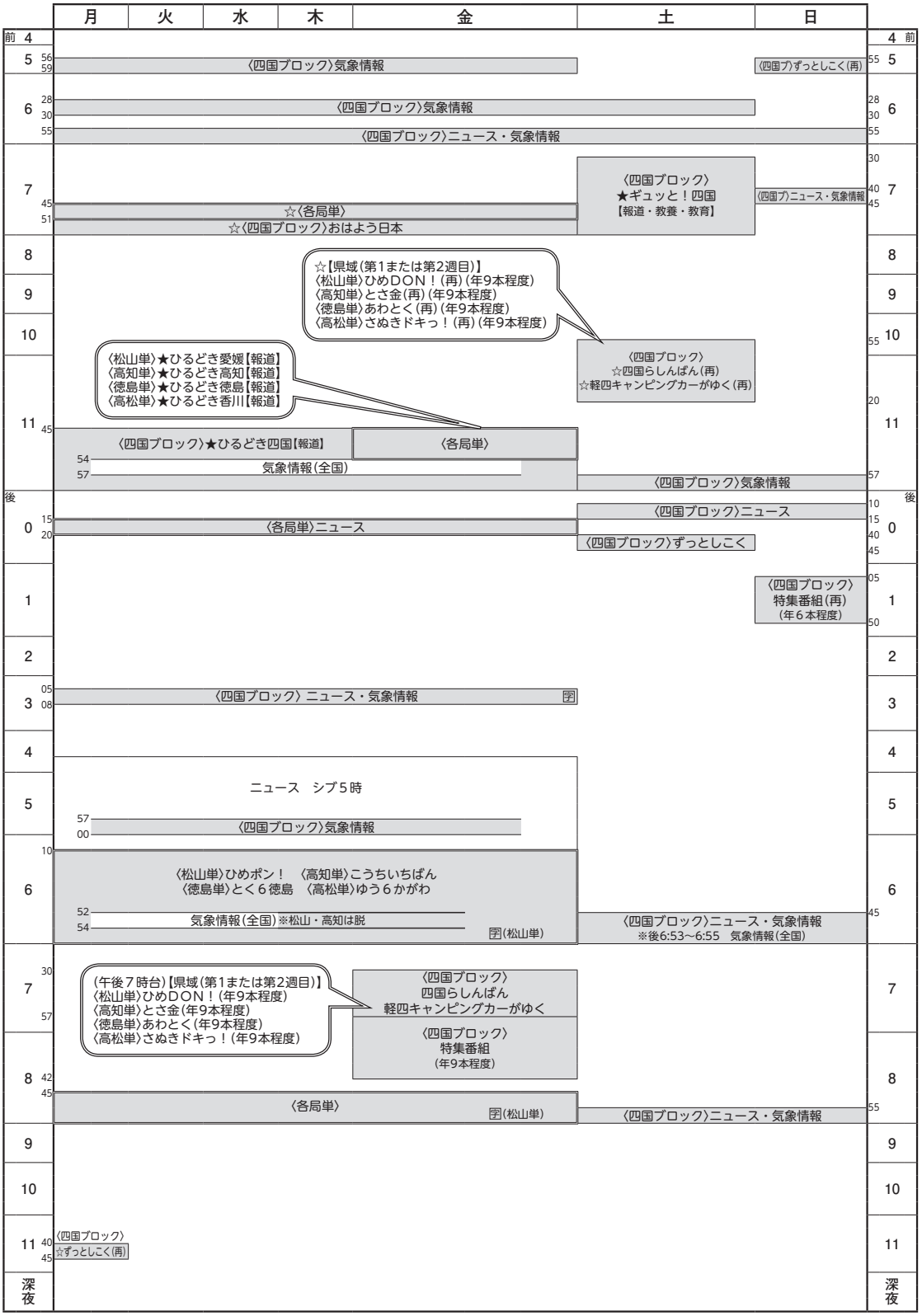
【F　M】



四国ブロック

【総合テレビ】

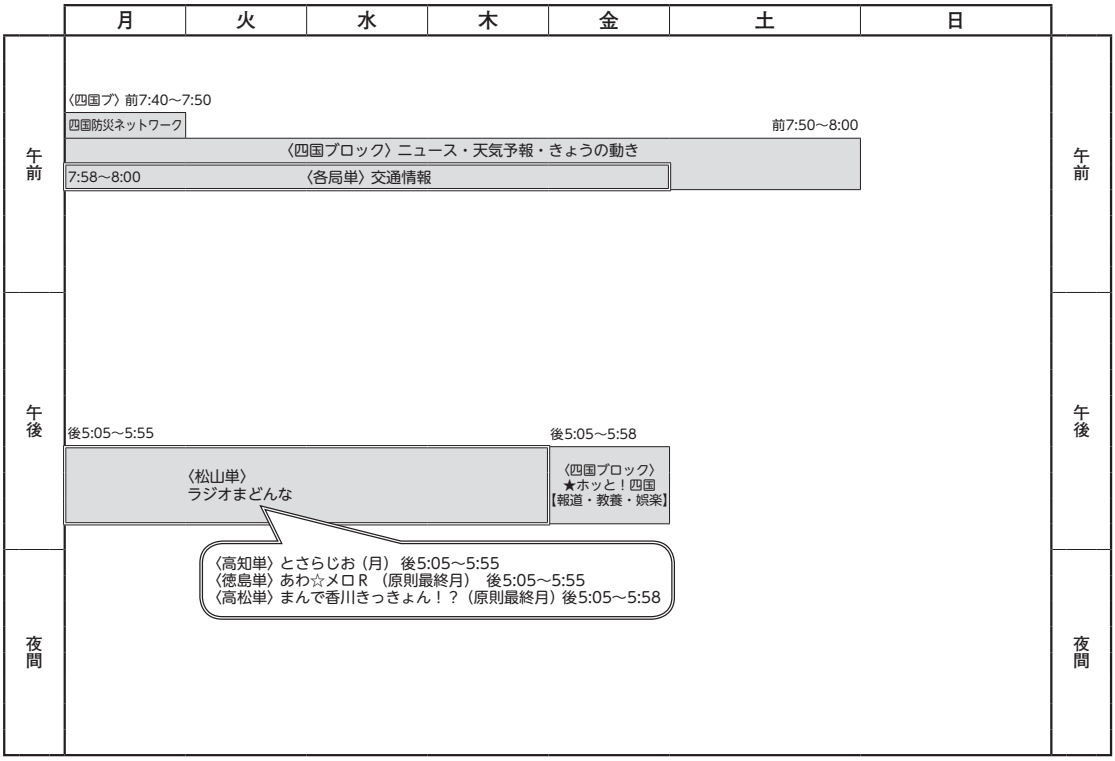
ブロック枠　各局単枠　★印:新設番組　☆印:移設番組



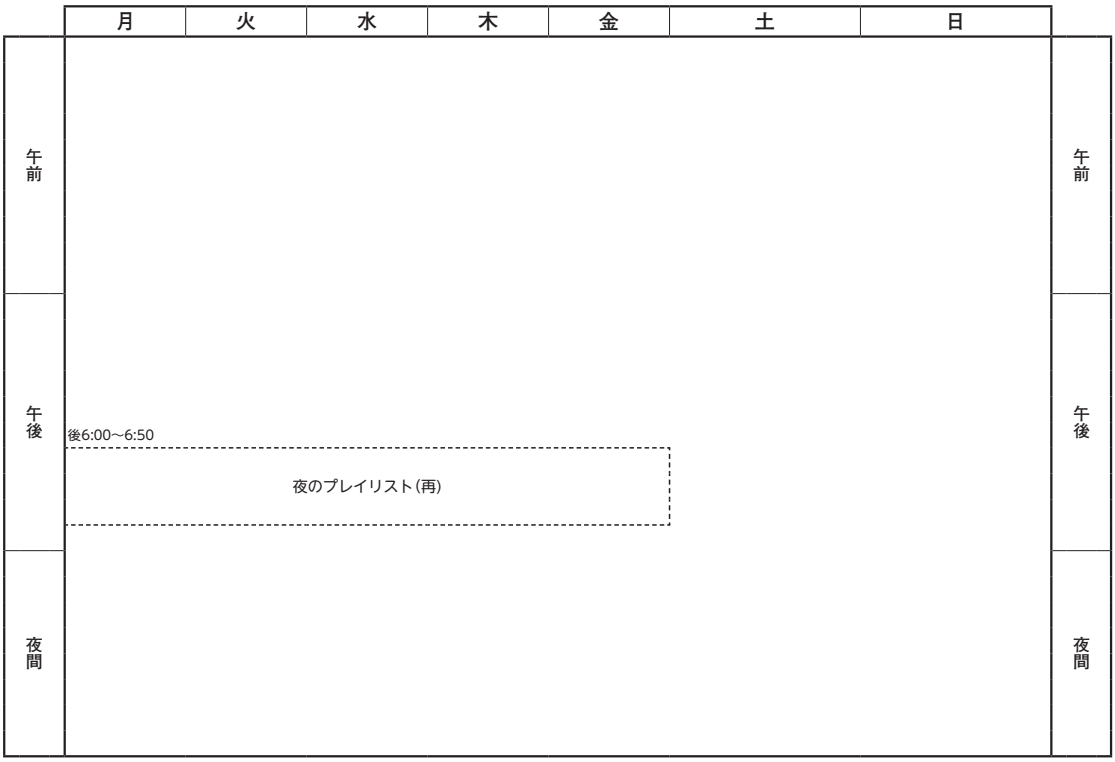
四国ブロック

広域ブロック枠　ブロック枠　各局単枠　★印:新設番組　☆印:移設番組

【ラジオ第1】



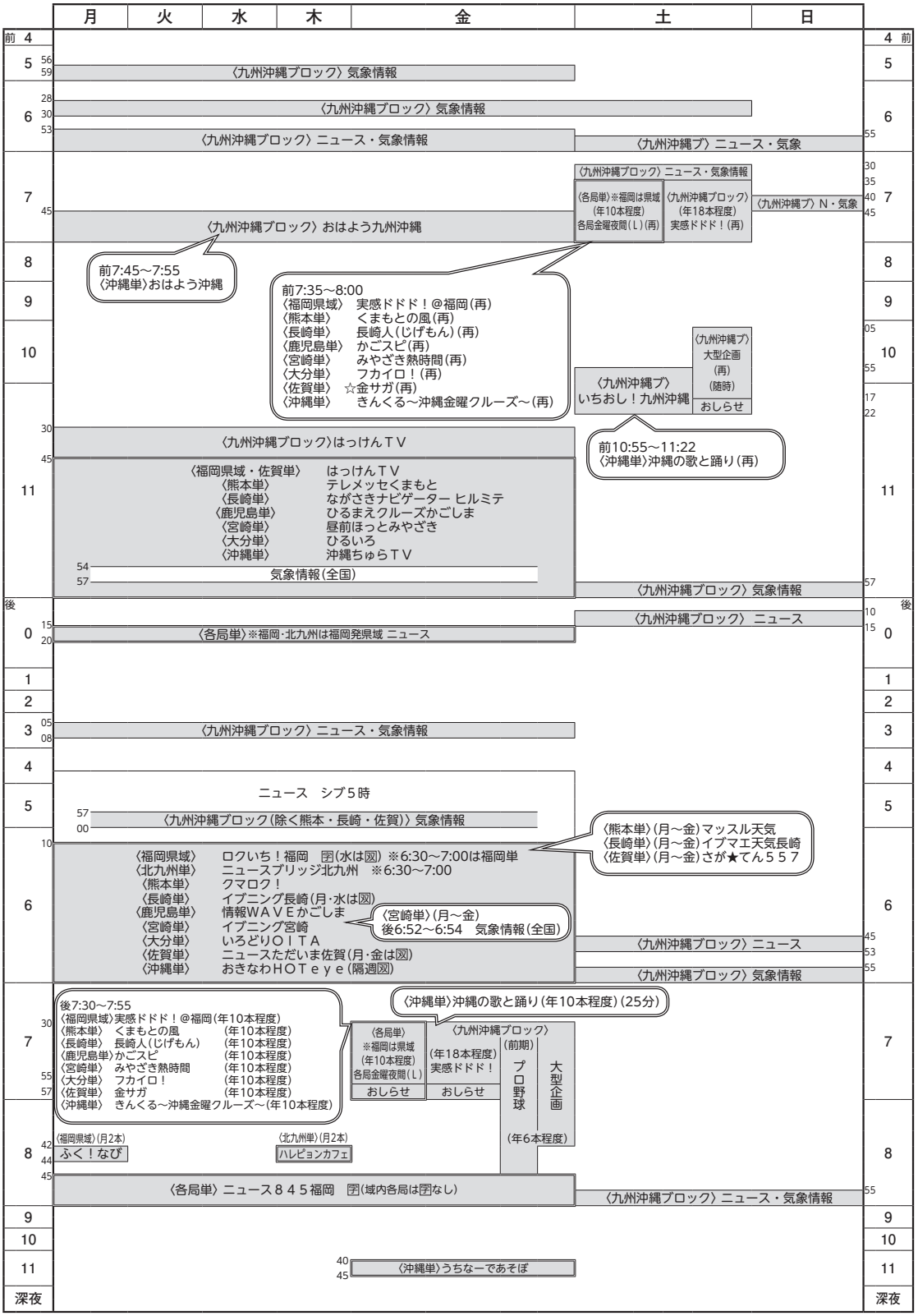
【F　M】



九州・沖縄ブロック

【総合テレビ】

ブロック枠　各局単枠　★印:新設番組　☆印:移設番組



九州・沖縄ブロック

広域ブロック枠　ブロック枠　各局単枠

★印：新設番組
☆印：移設番組

【Eテレ】

	月	火	水	木	金	土	日	
前7					前7:25～7:30 〈沖縄単〉うちなーであそば			前7
後5	後5:20～5:25 〈沖縄単〉うちなーであそば		後5:35～5:40 〈沖縄単〉うちなーであそば					後5

【ラジオ第1】

	月	火	水	木	金	土	日	
午前								午前
午後	後5:05～5:55 〈九州沖縄ブロック〉はっけんラジオ			〈大分単〉(金)後5:05～5:55 5時いろラジオ	後0:20～0:55 〈北九州単〉(最終週) ★きたきゅーラジオ 【報道】		後3:05～3:55 〈九州沖縄ブロック〉 ★六本松サテライト(再) 【教養・娯楽】	午後
夜間								夜間

【F　M】

	月	火	水	木	金	土	日	
午前							前11:00～11:50 〈沖縄単〉(第1週) 沖縄ミュージックジャーニー(再)	午前
午後	後6:00～6:50 夜のプレイリスト(再)							午後
夜間	〈鹿児島単〉かごしまの夕べ（最終木・年12本） 〈沖縄単〉　沖縄ミュージックジャーニー（第1金・年12本）				後11:00～11:50 〈九州沖縄ブロック〉 ★六本松サテライト 【教養・娯楽】			夜間

放送 『大河ドラマ』一覧

回	番組名	放送期間	作(原作)	主な出演者
1	花の生涯	1963. 4. 7 ～63.12.29	舟橋聖一	尾上松緑，淡島千景 佐田啓二
2	赤穂浪士	64. 1. 5～64.12.27	大仏次郎	長谷川一夫，林与一 宇野重吉
3	太閤記	65. 1. 3～65.12.26	吉川英治	緒形拳，高橋幸治 藤村志保
4	源義経	66. 1. 2～66.12.25	村上元三	尾上菊之助，藤純子 緒形拳
5	三姉妹	67. 1. 1～67.12.24	大仏次郎	岡田茉莉子，山崎努 藤村志保，栗原小巻
6	竜馬がゆく	68. 1. 7～68.12.29	司馬遼太郎	北大路欣也，三田佳子 浅丘ルリ子
7	天と地と	69. 1. 5～69.12.28	海音寺潮五郎	石坂浩二，中村光輝
8	樅ノ木は残った	70. 1. 4～70.12.27	山本周五郎	平幹二朗，田中絹代 吉永小百合
9	春の坂道	71. 1. 3～71.12.26	山岡荘八	中村錦之助，長門勇
10	新・平家物語	72. 1. 2～72.12.24	吉川英治	仲代達矢，中村玉緒 佐久間良子
11	国盗り物語	73. 1. 7～73.12.23	司馬遼太郎	平幹二朗，高橋英樹 近藤正臣，池内淳子
12	勝海舟	74. 1. 6～74.12.29	子母沢寛	渡哲也，松方弘樹 尾上松緑，大原麗子
13	元禄太平記	75. 1. 5～75.12.28	南條範夫	石坂浩二，岡田茉莉子 江守徹，竹脇無我
14	風と雲と虹と	76. 1. 4～76.12.26	海音寺潮五郎	加藤剛，緒形拳 吉永小百合
15	花神	77. 1. 2～77.12.25	司馬遼太郎	中村梅之助，中村雅俊 米倉斉加年，浅丘ルリ子
16	黄金の日日	78. 1. 8～78.12.24	城山三郎	市川染五郎 根津甚八，栗原小巻
17	草燃える	79. 1. 7～79.12.23	永井路子	石坂浩二，岩下志麻 国広富之
18	獅子の時代	80. 1. 6～80.12.21	山田太一	菅原文太，加藤剛 鶴田浩二，大原麗子
19	おんな太閤記	81. 1.11～81.12.20	橋田壽賀子	佐久間良子 西田敏行，藤岡弘、
20	峠の群像	82. 1.10～82.12.19	堺屋太一	緒形拳，松平健 多岐川裕美

回	番組名	放送期間	作(原作)	主な出演者
21	徳川家康	83. 1. 9～83.12.18	山岡荘八	滝田栄，武田鉄矢 役所広司
22	山河燃ゆ	84. 1. 8～84.12.23	山崎豊子	松本幸四郎，西田敏行 沢田研二，大原麗子
23	春の波涛	85. 1. 6～85.12.15	杉本苑子	松坂慶子，風間杜夫 檀ふみ，中村雅俊
24	いのち	86. 1. 5～86.12.14	橋田壽賀子	三田佳子，泉ピン子 役所広司
25	独眼竜政宗	87. 1. 4～87.12.13	山岡荘八	渡辺謙，岩下志麻 北大路欣也，桜田淳子
26	武田信玄	88. 1.10～88.12.18	新田次郎	中井貴一，若尾文子 紺野美沙子，西田敏行
27	春日局	89. 1. 1～89.12.17	橋田壽賀子	大原麗子，佐久間良子 丹波哲郎，山下真司
28	翔ぶが如く	90. 1. 7～90.12. 9	司馬遼太郎	西田敏行，鹿賀丈史 田中裕子，賀来千香子
29	太平記	91. 1. 6～91.12. 8	吉川英治	真田広之，沢口靖子 武田鉄矢，片岡孝夫
30	信長	92. 1. 5～92.12.13	田向正健	緒形直人，滝田栄 菊池桃子，仲村トオル
31	琉球の風	93. 1.10～93. 6.13	陳舜臣	東山紀之，渡部篤郎 原田知世，工藤夕貴
32	炎(ほむら)立つ	93. 7. 4～94. 3.13	高橋克彦	渡辺謙，古手川祐子 村上弘明，渡瀬恒彦
33	花の乱	94. 4. 3～94.12.11	市川森一	三田佳子，市川團十郎 萬屋錦之介，京マチ子
34	八代将軍吉宗	95. 1. 8～95.12.10	ジェームス三木	西田敏行，津川雅彦 賀来千香子，石坂浩二
35	秀吉	96. 1. 7～96.12.22	堺屋太一	竹中直人，沢口靖子 仲代達矢，渡哲也
36	毛利元就	97. 1. 5～97.12.14	永井路子	中村橋之助，松坂慶子 緒形拳，西郷輝彦
37	徳川慶喜	98. 1. 4～98.12.13	司馬遼太郎	本木雅弘，石田ひかり 堺正章，大原麗子
38	元禄繚乱	99. 1.10～99.12.12	舟橋聖一	中村勘九郎，東山紀之 宮沢りえ，石坂浩二
39	葵 徳川三代	2000. 1. 9 ～00.12.17	ジェームス三木	津川雅彦，西田敏行 岩下志麻，小川真由美
40	北条時宗	01. 1. 7～01.12. 9	高橋克彦	和泉元彌，渡部篤郎 浅野温子，木村佳乃

回	番組名	放送期間	作(原作)	主な出演者
41	利家とまつ ～加賀百万石物語	02. 1. 6～02.12.15	竹山　洋	唐沢寿明，松嶋菜々子 反町隆史，酒井法子
42	武蔵 MUSASHI	03. 1. 5～03.12. 7	吉川英治	市川新之助，堤真一 米倉涼子，松岡昌宏
43	新選組！	04. 1.11～04.12.12	三谷幸喜	香取慎吾，藤原竜也 山本耕史，優香
44	義経	05. 1. 9～05.12.11	宮尾登美子	滝沢秀明，渡哲也 松平健，石原さとみ
45	功名が辻	06. 1. 8～06.12.10	司馬遼太郎	仲間由紀恵，上川隆也 舘ひろし，西田敏行
46	風林火山	07. 1. 7～07.12.16	井上　靖	内野聖陽，市川亀治郎 柴本幸，Gackt
47	篤姫	08. 1. 6～08.12.14	宮尾登美子	宮﨑あおい，松坂慶子 高橋英樹，瑛太
48	天地人	09. 1. 4～09.11.22	火坂雅志	妻夫木聡，北村一輝 常盤貴子，阿部寛
49	龍馬伝	10. 1. 3～10.11.28	福田　靖	福山雅治，香川照之 大森南朋，広末涼子
50	江 ～姫たちの戦国～	11. 1. 9～11.11.27	田渕久美子	上野樹里，宮沢りえ 水川あさみ，向井理
51	平清盛	12. 1. 8～12.12.23	藤本有紀	松山ケンイチ，中井貴一 和久井映見，玉木宏
52	八重の桜	13. 1. 6～13.12.15	山本むつみ	綾瀬はるか，西島秀俊 長谷川博己，オダギリジョー
53	軍師官兵衛	14. 1. 5～14.12.21	前川洋一	岡田准一，中谷美紀 竹中直人，江口洋介
54	花燃ゆ	15. 1. 4～15.12.13	大島里美 宮村優子	井上真央，大沢たかお 伊勢谷友介，東出昌大
55	真田丸	16. 1.10～16.12.18	三谷幸喜	堺雅人，草刈正雄 大泉洋，長澤まさみ
56	おんな城主 直虎	17. 1. 8～17.12.17	森下佳子	柴咲コウ，高橋一生 財前直見，三浦春馬
57	西郷(せご)どん	18. 1. 7～18.12.16	林真理子	鈴木亮平，瑛太 黒木華，北川景子
58	いだてん ～東京オリムピック噺(ばなし)～	19. 1. 6～19.12.15	宮藤官九郎	中村勘九郎，阿部サダヲ 綾瀬はるか，ビートたけし
59	麒麟(きりん)がくる	20. 1.19～21. 2. 7	池端俊策	長谷川博己，門脇麦 岡村隆史，石川さゆり
60	青天を衝(つ)け	21. 2.14～	大森美香	吉沢亮，高良健吾 橋本愛，田辺誠一

放送 『連続テレビ小説』一覧

回	番組名	放送期間	作(原作)	主な出演者
1	娘と私	1961. 4. 3～62. 3.30	獅子文六	北沢彪，北林早苗
2	あしたの風	62. 4. 2～63. 3.30	壺井栄	渡辺富美子 長谷川明男
3	あかつき	63. 4. 1～64. 4. 4	武者小路実篤	佐分利信，荒木道子
4	うず潮	64. 4. 6～65. 4. 3	林芙美子	林美智子，津川雅彦
5	たまゆら	65. 4. 5～66. 4. 2	川端康成	笠智衆，亀井光代
6	おはなはん	66. 4. 4～67. 4. 1	林謙一	樫山文枝，高橋幸治
7	旅路	67. 4. 3～68. 3.30	平岩弓枝	横内正，日色ともゑ
8	あしたこそ	68. 4. 1～69. 4. 5	森村桂	藤田弓子，中畑道子
9	信子とおばあちゃん	69. 4. 7～70. 4. 4	獅子文六	大谷直子，毛利菊枝
10	虹	70. 4. 6～71. 4. 3	田中澄江	仲谷昇，南田洋子
11	繭子ひとり	71. 4. 5～72. 4. 1	三浦哲郎	山口果林，北林谷栄
12	藍より青く	72. 4. 3～73. 3.31	山田太一	真木洋子 大和田伸也
13	北の家族	73. 4. 2～74. 3.30	楠田芳子	高橋洋子，左幸子
14	鳩子の海	74. 4. 1～75. 4. 5	林秀彦	藤田美保子 斎藤こず恵
15	水色の時	75. 4. 7～75.10. 4	石森史郎	大竹しのぶ 香川京子，篠田三郎
16	おはようさん	75.10. 6～76. 4. 3	田辺聖子	秋野暢子，中田喜子 三田和代，大村崑
17	雲のじゅうたん	76. 4. 5～76.10. 2	田向正健	浅茅陽子，船越英二
18	火の国に	76.10. 4～77. 4. 2	石堂淑朗	鈴鹿景子，山内賢
19	いちばん星	77. 4. 4～77.10. 1	結城亮一	高瀬春奈，五大路子 津川雅彦，伴淳三郎
20	風見鶏	77.10. 3～78. 4. 1	杉山義法	新井春美，大木実 蟇目良
21	おていちゃん	78. 4. 3～78. 9.30	沢村貞子	友里千賀子，長門裕之 日色ともゑ
22	わたしは海	78.10. 2～79. 3.31	岩間芳樹	相原友子，井上昭文 三島ゆり子
23	マー姉ちゃん	79. 4. 2～79. 9.29	長谷川町子	熊谷真実，藤田弓子 田中裕子
24	鮎のうた	79.10. 1～80. 4. 5	花登筐	山咲千里，仲真貴 ミヤコ蝶々，三益愛子
25	なっちゃんの写真館	80. 4. 7～80.10. 4	寺内小春	星野知子，萬田久子 加藤武，滝田栄
26	虹を織る	80.10. 6～81. 4. 4	秋田佐知子	紺野美沙子 高松英郎，長門裕之
27	まんさくの花	81. 4. 6～81.10. 3	高橋正圀	中村明美，生井健夫 平淑恵，倍賞千恵子
28	本日も晴天なり	81.10. 5～82. 4. 3	小山内美江子	原日出子，鹿賀丈史 津川雅彦
29	ハイカラさん	82. 4. 5～82.10. 2	大藪郁子	手塚理美，三国一朗 藤村志保
30	よーいドン	82.10. 4～83. 4. 2	杉山義法	藤吉久美子 山田吾一，宅麻伸
31	おしん	83. 4. 4～84. 3.31	橋田壽賀子	乙羽信子，田中裕子 小林綾子
32	ロマンス	84. 4. 2～84. 9.29	田向正健	榎木孝明，樋口可南子 辰巳琢郎
33	心はいつもラムネ色	84.10. 1～85. 3.30	冨川元文	新藤栄作，藤谷美和子 真野あずさ
34	澪(みお)つくし	85. 4. 1～85.10. 5	ジェームス三木	沢口靖子，桜田淳子 川野太郎
35	いちばん太鼓	85.10. 7～86. 4. 5	井沢満	岡野進一郎，三田寛子 芦屋雁之助，渡辺美佐子
36	はね駒(こんま)	86. 4. 7～86.10. 4	寺内小春	斉藤由貴，樹木希林 沢田研二，渡辺謙
37	都の風	86.10. 6～87. 4. 4	重森孝子	加納みゆき，松原千明 黒木瞳，西山嘉孝
38	チョッちゃん	87. 4. 6～87.10. 3	黒柳朝	古村比呂，佐藤慶 由紀さおり，世良公則
39	はっさい先生	87.10. 5～88. 4. 2	高橋正圀	若村麻由美，井川比佐志 小林千登勢，渡辺徹
40	ノンちゃんの夢	88. 4. 4～88.10. 1	佐藤繁子	藤田朋子，中村梅之助 丘みつ子，山下真司

回	番組名	放送期間	作(原作)	主な出演者
41	純ちゃんの応援歌	88.10. 3〜89. 4. 1	布勢博一	山口智子，伊藤榮子 高嶋政宏，白川由美
42	青春家族	89. 4. 3〜89. 9.30	井沢　満	いしだあゆみ，清水美砂 橋爪功，陣内孝則
43	和っこの金メダル	89.10. 2〜90. 3.31	重森孝子	渡辺梓，吉村実子 桂三枝，柴俊夫
44	凛　凛　と	90. 4. 2〜90. 9.29	矢島正雄	田中実，荻野目洋子 野村宏伸，梨本謙次郎
45	京、ふたり	90.10. 1〜91. 3.30	竹山　洋	山本陽子，畠田理恵 中条静夫，篠田三郎
46	君の名は	91. 4. 1〜92. 4. 4	菊田一夫	鈴木京香，倉田てつを いしだあゆみ，宍戸錠
47	おんなは度胸	92. 4. 6〜92.10. 3	橋田壽賀子	泉ピン子，桜井幸子 藤岡琢也，藤山直美
48	ひ　ら　り	92.10. 5〜93. 4. 3	内館牧子	石田ひかり，池内淳子 伊東四朗，伊武雅刀
49	ええにょぼ	93. 4. 5〜93.10. 2	東　多江子	戸田菜穂，和田アキ子 柴田恭兵，板東英二
50	か　り　ん	93.10. 4〜94. 4. 2	松原敏春	細川直美，十朱幸代 石坂浩二，小林桂樹
51	ぴ　あ　の	94. 4. 4〜94.10. 1	冨川元文	純名里沙，竹下景子 萬田久子，國生さゆり
52	春よ、来い	94.10. 3〜95. 9.30	橋田壽賀子	安田成美，中田喜子 高橋英樹，いしだあゆみ
53	走らんか！	95.10. 2〜96. 3.30	長谷川法世	三国一夫，中江有里 菅野美穂，丹波哲郎
54	ひまわり	96. 4. 1〜96.10. 5	井上由美子	松嶋菜々子，夏木マリ 藤村志保，上川隆也
55	ふたりっ子	96.10. 7〜97. 4. 5	大石　静	菊池麻衣子，岩崎ひろみ 手塚理美，段田安則
56	あ　ぐ　り	97. 4. 7〜97.10. 4	吉行あぐり	田中美里，野村萬斎 名取裕子，草笛光子
57	甘辛しゃん	97.10. 6〜98. 4. 4	宮村優子	佐藤夕美子，樋口可南子 岡田義徳，植木等
58	天うらら	98. 4. 6〜98.10. 3	門野晴子	須藤理彩，池内淳子 小林薫，原日出子
59	やんちゃくれ	98.10. 5〜99. 4. 3	中山乃莉子	小西美帆，高田聖子 柄本明，藤真利子
60	すずらん	99. 4. 5〜99.10. 2	清水有生	遠野凪子，柊瑠美 橋爪功，石倉三郎
61	あ　す　か	99.10. 4〜2000. 4. 1	鈴木　聡	竹内結子，芦屋雁之助 藤岡弘、，紺野美沙子
62	私の青空	00. 4. 3〜00. 9.30	内館牧子	田畑智子，筒井道隆 伊東四朗，加賀まりこ
63	オードリー	00.10. 2〜01. 3.31	大石　静	岡本綾，大竹しのぶ 賀来千賀子，段田安則
64	ちゅらさん	01. 4. 2〜01. 9.29	岡田惠和	国仲涼子，堺正章 田中好子，平良とみ
65	ほんまもん	01.10. 1〜02. 3.30	西荻弓絵	池脇千鶴，風吹ジュン 根津甚八，佐藤慶
66	さ　く　ら	02. 4. 1〜02. 9.28	田渕久美子	高野志穂，小澤征悦 浅田美代子，江守徹
67	まんてん	02. 9.30〜03. 3.29	マキノノゾミ	宮地真緒，藤井隆 浅野温子，宮本信子
68	こ　こ　ろ	03. 3.31〜03. 9.27	青柳祐美子	中越典子，岸惠子 伊藤蘭，寺尾聰
69	てるてる家族	03. 9.29〜04. 3.27	なかにし礼	石原さとみ，浅野ゆう子 岸谷五朗，上原多香子
70	天　　花	04. 3.29〜04. 9.25	竹山　洋	藤澤恵麻，片平なぎさ 香川照之，財津一郎
71	わ　か　ば	04. 9.27〜05. 3.26	尾西兼一	原田夏希，田中裕子 西郷輝彦，姜暢雄
72	ファイト	05. 3.28〜05.10. 1	橋部敦子	本仮屋ユイカ 緒形直人，酒井法子
73	風のハルカ	05.10. 3〜06. 4. 1	大森美香	村川絵梨，渡辺いっけい 真矢みき
74	純情きらり	06. 4. 3〜06. 9.30	津島佑子	宮崎あおい，寺島しのぶ 西島秀俊，福士誠治
75	芋たこなんきん	06.10. 2〜07. 3.31	田辺聖子	藤山直美，國村隼 いしだあゆみ，香川京子
76	どんど晴れ	07. 4. 2〜07. 9.29	小松江里子	比嘉愛未，内田朝陽 宮本信子，草笛光子
77	ちりとてちん	07.10. 1〜08. 3.29	藤本有紀	貫地谷しほり、青木崇高 和久井映見，渡瀬恒彦
78	瞳	08. 3.31〜08. 9.27	鈴木　聡	榮倉奈々，西田敏行 飯島直子，前田吟
79	だんだん	08. 9.29〜09. 3.28	森脇京子	三倉茉奈，三倉佳奈 吉田栄作，石田ひかり
80	つ　ば　さ	09. 3.30〜09. 9.26	戸田山雅司	多部未華子，高畑淳子 中村梅雀，吉行和子

回	番組名	放送期間	作(原作)	主な出演者
81	ウェルかめ	09. 9.28～10. 3.27	相良敦子	倉科カナ，石黒賢 羽田美智子，室井滋
82	ゲゲゲの女房	10. 3.29～10. 9.25	武良布枝	松下奈緒，向井理 竹下景子，松坂慶子
83	てっぱん	10. 9.27～11. 4. 2	寺田敏雄 今井雅子 関えり香	瀧本美織，富司純子 赤井英和，遠藤憲一
84	おひさま	11. 4. 4～11.10. 1	岡田惠和	井上真央，高良健吾 樋口可南子，若尾文子
85	カーネーション	11.10. 3～12. 3.31	渡辺あや	尾野真千子，小林薫 麻生祐未，夏木マリ
86	梅ちゃん先生	12. 4. 2～12. 9.29	尾崎将也	堀北真希，高橋克実 南果歩，ミムラ
87	純と愛	12.10. 1～13. 3.30	遊川和彦	夏菜，風間俊介 武田鉄矢，森下愛子
88	あまちゃん	13. 4. 1～13. 9.28	宮藤官九郎	能年玲奈，小泉今日子 宮本信子，尾美としのり
89	ごちそうさん	13. 9.30～14. 3.29	森下佳子	杏，東出昌大 宮崎美子，キムラ緑子
90	花子とアン	14. 3.31～14. 9.27	村岡恵理	吉高由里子，伊原剛志 室井滋，仲間由紀恵
91	マッサン	14. 9.29～15. 3.28	羽原大介	シャーロット・ケイト・フォックス 玉山鉄二，風間杜夫
92	まれ	15. 3.30～15. 9.26	篠﨑絵里子	土屋太鳳，大泉洋 常盤貴子，田中裕子
93	あさが来た	15. 9.28～16. 4. 2	大森美香	波瑠，玉木宏，宮﨑あおい ディーン・フジオカ
94	とと姉ちゃん	16. 4. 4～16.10. 1	西田征史	高畑充希，西島秀俊 木村多江，相楽樹
95	べっぴんさん	16.10. 3～17. 4. 1	渡辺千穂	芳根京子，生瀬勝久 菅野美穂，高良健吾
96	ひよっこ	17. 4. 3～17. 9.30	岡田惠和	有村架純，沢村一樹 木村佳乃，宮本信子
97	わろてんか	17.10. 2～18. 3.31	吉田智子	葵わかな，松坂桃李 濱田岳，広瀬アリス
98	半分、青い。	18. 4. 2～18. 9.29	北川悦吏子	永野芽郁，松雪泰子 佐藤健，豊川悦司
99	まんぷく	18.10. 1～19. 3.30	福田靖	安藤サクラ，長谷川博己 内田有紀，松下奈緒
100	なつぞら	19. 4. 1～19. 9.28	大森寿美男	広瀬すず，松嶋菜々子 吉沢亮，岡田将生
101	スカーレット	19. 9.30～20. 3.28	水橋文美江	戸田恵梨香，北村一輝 富田靖子，大島優子
102	エール	20. 3.30～20.11.27	林宏司	窪田正孝，二階堂ふみ 菊池桃子，中村蒼
103	おちょやん	20.11.30～21. 5.14	八津弘幸	杉咲花，成田凌 篠原涼子，トータス松本

放送 地域発ドラマ一覧

制作：仙台局	
宮城発地域ドラマ **『ペペロンチーノ』** BSP BS 4 K　3. 6／22:30～23:30 G　4.17／17:00～18:00	イタリアンレストランを津波で失い，失意のなかアルコールに溺れたオーナーシェフの小野寺潔。その後，潔は新しく店を建て直し，震災から10年の３月11日に友人を招き，ある宴席を企画する。潔は突然の招待に戸惑う友人たちに，その意図を語り始める…。そして，宴会が進むなか，発災から10年間のそれぞれの秘めた物語が浮かび上がってくる…。苦難があっても前向きに人生を送れるかもしれない。そんな思いになれる極上の群像劇。 ▶作：一色伸幸／音楽：世武裕子／出演：草彅剛，吉田羊，矢田亜希子，富田望生，一色洋平，蒼波純，齊藤夢愛，國村隼ほか

制作：秋田局	
秋田発地域ドラマ **『金色の海』** BSP　1.16／22:30～23:29 （秋田県域）G　3. 5／19:30～20:42	東京で働く早苗が，心身の疲労から挫折し，秋田県大潟村で稲作を行う夫の実家に夫婦で移り住むことに。ところが前職に未練があった夫が東京に戻り，早苗と夫の両親，祖母との奇妙な共同生活が始まる。そんな中，早苗は村で50年続くバンドに入団。徐々に“自分の居場所”ができたと感じ始める。やがて減反の賛成派，反対派など，多様な人たちが，立場の違いを超えて一緒にバンド活動を続けてきたことを知る。そして早苗は自ら進んで稲刈りに挑戦。悪戦苦闘の末，ふと見上げた目の前には，自分を迎え入れてくれるかのように広大な“金色の海”が広がっていた…。義理の家族や，個性豊かなバンドのメンバーと交流するうちに，自らの生き方を見つめ，新たな一歩を踏み出す女性の姿を描く。村の開拓の歴史，美しい田園風景とともに届ける心温まる物語。 ▶作：瀬戸山美咲／音楽：ｏｒｂｅ／出演：岸井ゆきの，上川周作，川口覚，藤本喜久子，山崎直樹，草村礼子，小野寺昭ほか

放送 スポーツ中継一覧（2020年度）

【1】野球

❶高校野球～甲子園球場～

放送日	内　　容	メディア
8月10～12日 8月15～17日	2020年甲子園高校野球交流試合	G E R1
3月19日～4月1日	第93回選抜高校野球大会	G E （決勝は BS4K） R1 FM

❷大学・社会人野球

東京六大学野球～神宮球場～

放送日	内　　容	メディア
8月15日	春季　慶応×早稲田	BS1
11月8日	秋季　早稲田×慶応	E

第91回都市対抗野球～東京ドーム～

放送日	内　　容	メディア
12月3日	決勝　ホンダ×NTT東日本	BS1

❸プロ野球

放送日	内　　容	メディア
6月19日	ソフトバンク × ロッテ	BS1
6月20日	ヤクルト × 中日	G
6月21日	DeNA × 広島	G
6月23日	楽天 × 日本ハム	BS1
6月24日	西武 × ソフトバンク	BS1
6月25日	巨人 × 広島	BS1
6月26日	ロッテ × オリックス	BS1
6月27日	西武 × ソフトバンク	G
6月28日	ヤクルト × 巨人	BS1
7月1日	西武 × オリックス	BS1
7月2日	日本ハム × ソフトバンク	BS1
7月3日	巨人 × 中日	BS1
7月5日	楽天 × ロッテ	G
7月9日	阪神 × 巨人 【ライブで応援合戦】プロ野球2020	BS1
7月10日	ソフトバンク × 楽天	BS1
7月11日	ロッテ × 西武	G
7月12日	阪神 × DeNA	BS1
7月14日	日本ハム × ロッテ	BS1
7月15日	オリックス × ソフトバンク	BS1
7月16日	中日 × DeNA	BS1
7月17日	楽天 × 西武	BS1
7月18日	阪神 × 中日	BS1
7月19日	広島 × ヤクルト	BS1
7月21日	DeNA × ヤクルト	BS1
7月23日	阪神 × 広島	BS1
7月24日	ソフトバンク × 日本ハム	BS1
7月25日	西武 × ロッテ	BS1
7月26日	楽天 × オリックス	BS1
7月29日	日本ハム × オリックス	BS1
7月30日	日本ハム × オリックス	BS1
7月31日	中日 × ヤクルト	BS1
8月2日	阪神 × DeNA	BS1
8月4日	阪神 × 巨人	BS1
8月5日	ヤクルト × 広島	BS1
8月6日	オリックス × ロッテ	BS1
8月7日	楽天 × ソフトバンク	BS1
8月8日	中日 × 巨人	G
8月11日	西武 × 楽天	BS1
8月12日	ロッテ × 日本ハム	BS1
8月13日	ソフトバンク × オリックス	BS1
8月14日	阪神 × 広島	BS1
8月16日	阪神 × 広島	BS1
8月18日	巨人 × 阪神	BS1
8月20日	ロッテ × ソフトバンク	BS1
8月23日	日本ハム × 楽天	G
8月25日	阪神 × 中日	BS1
8月26日	ソフトバンク × オリックス	BS1
8月27日	ソフトバンク × オリックス	BS1
8月28日	楽天 × 西武	BS1
8月29日	巨人 × 中日	G
9月1日	阪神 × ヤクルト	BS1
9月2日	オリックス × ソフトバンク	BS1
9月3日	中日 × 広島	BS1
9月4日	ソフトバンク × ロッテ	BS1
9月6日	ヤクルト × 中日	BS1
9月7日	阪神 × 巨人	BS1
9月8日	DeNA × 阪神	BS1
9月10日	ロッテ × 日本ハム	BS1
9月11日	巨人 × ヤクルト	BS1
9月12日	阪神 × 広島	BS1
	巨人 × ヤクルト	G
9月13日	楽天 × 日本ハム	BS1
9月15日	日本ハム × ソフトバンク	BS1
9月16日	オリックス × 楽天	BS1
9月17日	西武 × ロッテ	BS1
9月18日	日本ハム × ロッテ	BS1
9月20日	ヤクルト × 広島	BS1
9月21日	阪神 × DeNA	BS1
	巨人 × 広島	G
9月22日	阪神 × DeNA	BS1

放送日	内　　容	メディア
9月23日	中日 × ヤクルト	BS1
9月25日	ロッテ × ソフトバンク	BS1
9月26日	広島 × DeNA	BS1
9月27日	オリックス × 日本ハム	BS1
9月29日	DeNA × ヤクルト	BS1
9月30日	阪神 × 中日	BS1
10月2日	阪神 × 巨人	BS1
10月3日	阪神 × 巨人	BS1
10月4日	オリックス × 楽天	BS1
10月6日	日本ハム × 楽天	BS1
10月7日	中日 × ヤクルト	BS1
10月9日	楽天 × 西武	BS1
10月10日	阪神 × DeNA	G
	広島 × ヤクルト	BS1
10月11日	広島 × ヤクルト	G
10月13日	ロッテ × 楽天	BS1
10月14日	巨人 × 広島	BS1
10月15日	オリックス × ソフトバンク	BS1
10月16日	ソフトバンク × 楽天	BS1
10月18日	阪神 × ヤクルト	BS1
10月20日	日本ハム × ソフトバンク	BS1
10月22日	中日 × DeNA	BS1
10月23日	DeNA × 広島	BS1
10月24日	ソフトバンク × 西武	G
10月25日	オリックス × ロッテ	G
10月27日	ソフトバンク × ロッテ	BS1
	阪神 × 中日	BS1
10月28日	ソフトバンク × ロッテ	BS1
10月29日	ソフトバンク × ロッテ	BS1
10月30日	中日 × 広島	BS1
10月31日	西武 × ソフトバンク	BS1
11月1日	ロッテ × 楽天	BS1
11月2日	西武 × 日本ハム	BS1
11月4日	阪神 × ヤクルト	BS1
11月5日	阪神 × ヤクルト	BS1
11月11日	阪神 × DeNA	BS1

※パ・リーグ　クライマックスシリーズ

放送日	内　　容	メディア
11月14日	ソフトバンク × ロッテ	BS1
11月15日	ソフトバンク × ロッテ	BS1

※日本シリーズ

放送日	内　　容	メディア
11月22日	巨人 × ソフトバンク	BS1
11月24日	ソフトバンク × 巨人	BS1
11月25日	ソフトバンク × 巨人	BS1

❹MLB（アメリカ大リーグ）

公式戦

放送日	メディア
7月24日～9月28日	BS1 G

地区シリーズ進出決定戦

放送日	メディア
9月30日～10月3日	BS1

地区シリーズ

放送日	メディア
10月6～10日	BS1

リーグ優勝決定シリーズ

放送日	メディア
10月12～19日	BS1

ワールドシリーズ

放送日	内　　容	メディア
10月21～28日	レイズ×ドジャース	BS1

【2】相撲

❶アマチュア相撲

放送日	内　　容	メディア
11月7日	第98回全国学生相撲選手権 ～埼玉県立武道館～	E
12月6日	第69回全日本相撲選手権 ～東京・国技館～	G

❷大相撲

放送日	内　　容	メディア
7月19日～8月2日	7月場所	G BS1 BS4K BS8K R1
9月13～27日	秋場所	
11月8～22日	11月場所	
1月10～24日	初場所	
3月14～28日	春場所	G BS1 BS4K R1

【3】ゴルフ

❶国内ゴルフ

放送日	内　　容	メディア
9月17～20日	日本シニアオープンゴルフ選手権 ～鳴尾ゴルフ倶楽部～	BS1
10月1～4日	日本女子オープンゴルフ選手権 ～ザ・クラシックグルフ倶楽部～	BS1 G
10月15～18日	日本オープンゴルフ選手権 ～紫カントリークラブ すみれコース～	BS1 G

❷PGAゴルフツアー

放送日	内　　容	メディア
6月14日～9月8日	2019－2020シーズン	BS1
9月13日～3月29日	2020－2021シーズン	BS1

【4】テニス

❶国内テニス

放送日	内　　容	メディア
11月1～2日	第95回全日本テニス選手権 男子・女子シングルス　決勝 ～有明コロシアム～	BS1

❷全豪オープンテニス2021

放送日	内　　容		メディア
2月8日	女子シングルス1回戦	大坂なおみ（日本）×アナスターシャ　パブリウチェンコワ（ロシア）	G
	男子シングルス1回戦	錦織圭（日本）×パブロ カレーニョブスタ（スペイン）	G
2月9日	女子シングルス1回戦	日比野菜緒（日本）×アストラ　シャーマ（オーストラリア）	G
2月10日	女子シングルス2回戦	大坂なおみ（日本）×キャロリン　ガルシア（フランス）	G
2月11日	女子シングルス2回戦	日比野菜緒（日本）×クリスティナ　ムラデノビッチ（フランス）	G
2月12日	女子シングルス3回戦	大坂なおみ（日本）×オンス　ジャバー（チュニジア）	G
2月14日	女子シングルス4回戦	大坂なおみ（日本）×ガルビニエ　ムグルーサ（スペイン）	G
2月15日	男子シングルス4回戦	ファビオ　フォニーニ（イタリア）×ラファエル　ナダル（スペイン）	G
2月16日	女子シングルス準々決勝	大坂なおみ（日本）×謝淑薇（台湾）	G
2月18日	男子シングルス準々決勝	ステファノス　チチパス（ギリシャ）×ラファエル　ナダル（スペイン）	G
	女子シングルス準決勝	大坂なおみ（日本）×セリーナ　ウィリアムズ（アメリカ）	G
2月20日	男子シングルス準決勝	ダニール　メドベージェフ（ロシア）×ステファノス　チチパス（ギリシャ）	G
	女子シングルス決勝	大坂なおみ（日本）×ジェニファー　ブレイディ（アメリカ）	G
2月22日	男子シングルス決勝	ノバク　ジョコビッチ（セルビア）×ダニール　メドベージェフ（ロシア）	G

❸ATPテニス　マスターズ1000

2020シーズン
ウエスタン＆サザンオープン～シンシナティ～

放送日	内　　容	メディア
8月24～31日	男子シングルス1回戦～決勝	BS1 G

BNLイタリア国際～ローマ～

放送日	内　　容	メディア
9月14～22日	男子シングルス1回戦～決勝	BS1 G

ロレックス　パリマスターズ

放送日	内　　容	メディア
11月3～9日	男子シングルス1回戦～決勝	BS1 G

2021シーズン
マイアミオープン

放送日	内　　容	メディア
3月26日～4月5日	男子シングルス1回戦～決勝	BS1 G

❹Nitto ATPファイナル～ロンドン～

放送日	内　　容	メディア
11月15～22日	1次リーグ～決勝	BS1 G

【5】競馬

放送日	内　　容	メディア
5月10日	第25回NHKマイルカップ	G
5月24日	第81回オークス	BS1
5月31日	第87回日本ダービー	G
10月25日	第81回菊花賞	G
11月1日	第162回天皇賞（秋）	G
11月29日	第40回ジャパンカップ	BS1
12月6日	第21回チャンピオンズカップ	BS1
12月27日	第65回有馬記念	G

【6】サッカー

❶日本代表強化試合

放送日	内　　容	メディア
11月18日	日本　×　メキシコ	BS1

❷Jリーグ

（2020シーズン）

放送日	内　　容	メディア
2月23日	横浜FM　×　G大阪	G
7月4日	川崎　×　鹿島	BS1
7月8日	横浜FM　×　湘南	BS1
7月11日	川崎　×　柏	BS1
7月18日	FC東京　×　浦和	BS1
7月22日	横浜FM　×　横浜FC もっと！Jリーグ～テレビの前でつながろう～	BS1
7月26日	柏　×　仙台	BS1
8月1日	FC東京　×　鳥栖	BS1
8月8日	川崎　×　大分	BS1
8月15日	浦和　×　広島	BS1
8月19日	湘南　×　名古屋	BS1
8月23日	鹿島　×　G大阪	BS1
8月29日	札幌　×　名古屋	BS1
9月5日	C大阪　×　浦和	BS1
9月9日	FC東京　×　横浜FC	BS1
9月13日	横浜FM　×　C大阪	BS1
9月20日	浦和　×　川崎	BS1
9月23日	FC東京　×　C大阪	BS1
9月27日	鹿島　×　大分	BS1
10月4日	浦和　×　名古屋	BS1
10月10日	柏　×　神戸	BS1
10月14日	FC東京　×　清水	BS1
10月18日	川崎　×　名古屋	BS1
10月24日	鹿島　×　広島	BS1
10月31日	G大阪　×　札幌	BS1
11月3日	川崎　×　札幌	BS1
11月15日	名古屋　×　FC東京	BS1
11月21日	大分　×　川崎	BS1
	C大阪　×　広島	BS1
11月25日	川崎　×　G大阪	BS1
11月28日	名古屋　×　大分	G
12月5日	札幌　×　C大阪	G
12月12日	C大阪　×　柏	G
12月16日	横浜FC　×　G大阪	BS1
12月19日	柏　×　川崎	G

❸J2

放送日	内　　容	メディア
12月20日	福岡　×　徳島	BS1

❹2021シーズン

放送日	内　　容	メディア
2月27日	浦和　×　FC東京	G
3月6日	仙台　×　川崎	BS1
3月10日	柏　×　名古屋	BS1
3月13日	徳島　×　福岡	BS1
3月17日	FC東京　×　湘南	BS1
3月21日	湘南　×　C大阪	BS1

❺天皇杯JFA第100回全日本サッカー選手権

放送日	内　　容	メディア
9月16日	1回戦 東京武蔵野シティ×栃木シティ	BS1
9月24日	2回戦 ホンダFC×常葉大	BS1
9月30日	2回戦 福島シティ×バイレン下関	BS1
10月28日	3回戦 ホンダFC×マルヤス岡崎	BS1
12月13日	4回戦 筑波大×高知ユナイテッド	BS1
12月20日	5回戦 ホンダFC×筑波大	BS1
12月23日	準々決勝 ブラウブリッツ秋田×福山シティ	BS1
12月27日	準決勝 川崎フロンターレ×ブラウブリッツ秋田	G BS4K R1
	準決勝 ガンバ大阪×徳島ヴォルティス	G R1
1月1日	決勝 川崎フロンターレ×ガンバ大阪	G BS4K R1

❻皇后杯JFA第42回全日本女子サッカー選手権

放送日	内　　容	メディア
12月24日	準決勝 日テレ・ベレーザ× マイナビベガルタ仙台	BS1
	準決勝 浦和レッズ×アルビレックス新潟	
12月29日	決勝 浦和レッズ×日テレ・ベレーザ	BS1

【7】ラグビー

❶関東大学ラグビー対抗戦

放送日	内　　容	メディア
11月23日	慶応×早稲田	G
12月６日	早稲田×明治	G

❷第57回全国大学ラグビー選手権

放送日	内　　容		メディア
12月19日	準々決勝	東海×帝京	BS1
		流通経済×天理	
１月２日	準決勝	帝京×早稲田	G
		明治×天理	
１月11日	決勝	天理×早稲田	G R1

❸トップリーグ

放送日	内　　容	メディア
２月27日	東芝×クボタ	BS1
３月６日	NEC×ヤマハ発動機	BS1

【8】アメリカンフットボール

❶第75回甲子園ボウル～甲子園球場～

放送日	内　　容	メディア
12月13日	関西学院大×日本大	BS1

❷第34回ジャパン×ボウル～東京ドーム～

放送日	内　　容	メディア
12月15日	富士通×オービック	BS1

❸第74回ライスボウル～東京ドーム～

放送日	内　　容	メディア
１月３日	関西学院大×オービック	BS1

❹NFL（全米プロフットボール）

放送日	内　　容	メディア
９月17日～ ２月８日	2020－2021シーズン	BS1

AFCワイルドカードプレーオフ

放送日	内　　容	メディア
１月11日	コルツ×ビルズ	BS1
１月14日	レイブンズ×タイタンズ	BS1
１月16日	ブラウンズ×スティーラーズ	BS1

NFCワイルドカードプレーオフ

放送日	内　　容	メディア
１月12日	ラムズ×シーホークス	BS1
１月13日	バッカニアーズ× ワシントンフットボールチーム	BS1
１月15日	ベアーズ×セインツ	BS1

NFCディビジョナルプレーオフ

放送日	内　　容	メディア
１月18日	ラムズ×パッカーズ	BS1
１月22日	バッカニアーズ×セインツ	BS1

AFCディビジョナルプレーオフ

放送日	内　　容	メディア
１月19日	レイブンズ×ビルズ	BS1
１月20日	ブラウンズ×チーフス	BS1

NFCチャンピオンシップ

放送日	内　　容	メディア
１月25日	バッカニアーズ×パッカーズ	BS1

AFCチャンピオンシップ

放送日	内　　容	メディア
１月25日	ビルズ×チーフス	BS1

第55回スーパーボウル

放送日	内　　容	メディア
２月８日	チーフス×バッカニアーズ	BS1

【9】陸上

第104回日本陸上選手権
～デンカビッグスワンスタジアム～

放送日	内　　容	メディア
10月１日	「男女100m準決勝」「男子やり投げ」「女子走り幅跳び」ほか	BS1
10月２日	「男女100m決勝」「女子1500m決勝」「男子走り幅跳び」「男子棒高跳び」ほか	BS1 G
10月３日	「男女200m決勝」「男子110mH決勝」「女子100mH決勝」「男子走り高跳び」ほか	BS1 G
12月４日	長距離種目～東京オリンピック代表選考会～ ～ヤンマースタジアム長居～	BS1

【10】陸上（マラソン・駅伝）

放送日	内　　容	メディア
12月20日	女子第32回全国高校駅伝 男子第71回全国高校駅伝	G R1
１月２～３日	第97回東京箱根間往復大学駅伝	R1
２月28日	第76回びわ湖毎日マラソン	G R1

【11】水泳

第96回競泳日本選手権
～東京アクアティクスセンター～

放送日	内　　容	メディア
12月３日	「女子400m自由形」「男子400m個人メドレー」「男子100m自由形」「女子100m平泳ぎ」「男子100m平泳ぎ」	G
12月４日	「男子1500m自由形」「女子400m個人メドレー」「女子200m自由形」「男子200m自由形」「女子100m背泳ぎ」「男子100m背泳ぎ」	G
12月５日	「女子800m自由形」「女子100m自由形」「男子400m自由形」「女子200mバタフライ」「男子200mバタフライ」「女子200m個人メドレー」「男子200m個人メドレー」	G
12月６日	「女子200m背泳ぎ」「男子200m背泳ぎ」「女子100mバタフライ」「男子100mバタフライ」「女子200m平泳ぎ」「男子200m平泳ぎ」ほか	G

【12】体操

第74回全日本体操選手権～高崎アリーナ～

放送日	内　　容	メディア
12月12日	女子　個人総合・種目別	BS1
12月13日	男子　個人総合・種目別	BS1 G

【13】エアロビクス・ダンス

放送日	内　　容	メディア
11月22日	第37回全日本 総合エアロビック選手権 ～大田区総合体育館～	BS1

【14】柔道

放送日	内　　容	メディア
12月26日	全日本柔道選手権 ～講道館～	BS1 G
12月27日	第35回全日本女子柔道選手権 ～講道館～	BS1
10月31日～11月１日	講道館杯全日本柔道体重別選手権 ～千葉ポートアリーナ～	BS1
３月19～20日	第43回全国高校柔道選手権大会 ～日本武道館～	BS1

【15】剣道

放送日	内　　容	メディア
３月14日	第68回全日本剣道選手権 第59回全日本女子剣道選手権 ～長野・ホワイトリング～	BS1

【16】空手道

放送日	内　　容	メディア
12月13日	第48回全日本空手道選手権 ～日本武道館～	E

【17】バレーボール

❶Vリーグ（プレミアリーグ）

（2020－2021シーズン）

放送日	内　　容		メディア
２月20日	女子ファイナルステージ セミファイナル	東レアローズ×デンソーエアリービーズ	BS1
		JTマーヴェラス×NECレッドロケッツ	

放送日	内　　容		メディア
2月21日	女子ファイナルステージ ファイナル	東レアローズ ×JTマーヴェラス	BS1

❷全日本バレーボール選手権〜大田区総合体育館〜

放送日	内　　容		メディア
12月19日	女子・決勝	JTマーヴェラス ×東レアローズ	BS1
12月20日	男子・決勝	ジェイテクトSTINGS ×パナソニックパンサーズ	BS1

【18】バスケットボール

❶第87回皇后杯全日本バスケットボール選手権〜代々木第二体育館〜

放送日	内　　容		メディア
12月19日	準決勝	ENEOSサンフラワーズ ×デンソーアイリス	BS1
		日立ハイテククーガーズ ×トヨタ自動車アンテロープス	
12月20日	決勝	ENEOSサンフラワーズ ×トヨタ自動車アンテロープス	E

❷第96回天皇杯全日本バスケットボール選手権〜さいたまスーパーアリーナ〜

放送日	内　　容		メディア
3月12日	準決勝	アルバルク東京 ×宇都宮ブレックス	BS1
		川崎ブレイブサンダース ×シーホース三河	
3月13日	決勝	宇都宮ブレックス ×川崎ブレイブサンダース	E

❸Wリーグ（女子バスケットボールリーグ）

（2020－2021シーズン）

放送日	内　　容		メディア
3月14〜15日	セミファイナル	トヨタ自動車アンテロープス ×富士通レッドウェーブ	BS1
		ENEOSサンフラワーズ ×デンソーアイリス	BS1
3月20〜21日	ファイナル	ENEOSサンフラワーズ ×トヨタ自動車アンテロープス	BS1

❹Bリーグ（男子プロバスケットボールリーグ）

（2020－2021シーズン）

放送日	内　　容	メディア
10月4日	三遠ネオフェニックス ×千葉ジェッツ	BS1
10月21日	アルバルク東京 ×宇都宮ブレックス	
10月25日	広島ドラゴンフライズ ×三遠ネオフェニックス	
11月7日	川崎ブレイブサンダース ×琉球ゴールデンキングス	
11月11日	千葉ジェッツ ×川崎ブレイブサンダース	
12月2日	信州ブレイブウォリアーズ ×大阪エヴェッサ	
12月9日	新潟アルビレックスBB ×千葉ジェッツ	
12月26日	アルバルク東京× 名古屋ダイヤモンドドルフィンズ	
1月23日	名古屋ダイヤモンドドルフィンズ ×シーホース三河	
1月30日	千葉ジェッツ×大阪エヴェッサ	
2月6日	琉球ゴールデンキングス ×レバンガ北海道	
2月28日	名古屋ダイヤモンドドルフィンズ ×アルバルク東京	
3月3日	川崎ブレイブサンダース ×宇都宮ブレックス	
3月7日	富山グラウジーズ ×千葉ジェッツ	

【19】ハンドボール

第72回日本ハンドボール選手権〜ジップアリーナ岡山〜

放送日	内　　容	メディア
12月6日	決勝　大崎電気×豊田合成	E

【20】ホッケー

第94回全日本男子ホッケー選手権〜赤磐市熊山運動公園〜

放送日	内　　容	メディア
12月6日	決勝　立命館大×岐阜朝日クラブ	E

【21】バドミントン

第74回全日本総合バドミントン選手権
〜町田市立総合体育館〜

放送日	内　　容	メディア
12月24日	男子シングルス・女子ダブルス 2回戦	BS1
12月25日	女子シングルス・男子シングルス・女子ダブルス 準々決勝	BS1
12月26日	男子シングルス・女子シングルス・女子ダブルス 準決勝	BS1
12月27日	ミックスダブルス・男子シングルス・女子シングルス・女子ダブルス・男子ダブルス 決勝	BS1

【22】卓球

全日本卓球選手権〜丸善インテックアリーナ大阪〜

放送日	内　　容	メディア
1月16日	女子シングルス・男子シングルス 準々決勝	BS1
1月17日	女子シングルス・男子シングルス 準決勝	BS1
	女子シングルス・男子シングルス 決勝	G

【23】馬術

放送日	内　　容	メディア
11月21日	全日本障害馬術2020〜馬事公苑〜	E

【24】スキー

ジャンプ女子ワールドカップ

放送日	内　　容	メディア
12月18日〜 3月28日	ラムサウ大会 リュブノ大会 ティティゼー・ノイシュタット大会 ヒンツェンバッハ大会 ルシュノブ大会 ニジニタギル大会 チャイコフスキー大会	BS1
11月4日	第62回NHK杯ジャンプ	G BS1

【25】アイスホッケー

第88回全日本アイスホッケー選手権〜テクノルアイスパーク八戸〜

放送日	内　　容	メディア
12月12日	準決勝 H.C.栃木日光アイスバックス ×ひがし北海道クレインズ	BS1
	準決勝 王子イーグルス ×東北フリーブレイズ	
12月13日	決勝 東北フリーブレイズ ×ひがし北海道クレインズ	BS1

【26】スケート

2020NHK杯国際フィギュアスケート〜東和薬品RACTABドーム〜

放送日	内　　容	メディア
11月27日	女子シングル・ショートプログラム アイスダンス・リズムダンス 男子シングル・ショートプログラム	G BS1 BS 8 K
11月28日	女子シングル・フリー アイスダンス・フリーダンス 男子シングル・フリー	G BS1 BS 8 K
11月29日	エキシビション	G BS 8 K

【27】ボート

放送日	内　　容	メディア
10月11日	第98回全日本ボート選手権〜戸田オリンピックボートコース〜	BS1

【28】カヌー

放送日	内　　容	メディア
10月25日	第43回NHK杯 全日本カヌースラローム 〜奥州いさわカヌー競技場〜	E

【29】自転車

放送日	内　　容	メディア
12月30日	KEIRINグランプリ2020 〜平塚競輪場〜	BS1

【30】トライアスロン

放送日	内　　容	メディア
11月21日	第26回日本トライアスロン選手権	BS1

【31】カーリング

放送日	内　　容	メディア
2月8〜 14日	カーリング日本選手権2021 〜稚内市みどりスポーツパーク〜	BS1

放送 補完放送一覧（2020年度）

1．データ放送

ここでは，総合テレビとEテレ，BS1，BSプレミアム，BS４K，BS８Kで全国向けに随時編成，特集編成した「独立型データ放送番組」，さらに「番組連動型データ放送を実施した特集番組」を掲載した。

〔数字は編成した月日〕

（１）総合テレビ（12セグ）

▶随時編成した「独立型データ放送」

『台風情報』
5.12～15，5.17，8. 1～ 6，8. 9～10，8.22，8.24，8.24～26，8.28～9. 1，9. 1～ 8，9.21～24，10. 5～12，10.30～11. 7

『大雨情報』
4.16～19，5.15～17，5.17～19，6. 9～12，6.12～14，6.14～16，6.17～20，6.25～29，6.29～7. 2，7. 2～15，7.22～28，7.28～30，8. 6～ 8，8. 8～ 9，8.11，8.14～16，8.22～24，8.26～28，9. 9～15，9.17～18，9.24～25，10.22～23，3.12～14，3.19～22

『大雪情報』
12.14～20，12.25～28，12.28～31，12.31～1. 1，1. 1～ 3，1. 8，1. 8～11，2.18～19

『その他全般気象情報』
5.19～20，6. 5～ 6，6.16～17，8.12～14，8.16～21，8.22，8.28，9. 8～ 9，9.25～27，11.19～20，1. 4～ 5，1. 5～ 8，1.18～19，1.26～27，1.27～31，2.14～18，3.28～31

『地震・津波情報』（随時）

▶特集編成した「独立型データ放送」

（報道系）
『衆院補選』4.26～27
『新型ウイルス肺炎関連ニュースほか』20. 2.28～

（スポーツ系）
『NHK杯フィギュア』11.24～12. 1
『Jリーグ』12. 1～19，12.22～25，2.25～3.14
『女子第32回全国高校駅伝』12.19～22
『男子第71回全国高校駅伝』12.19～22

（スポーツ系：dNHK sports内）
『Jリーグ』6.21～12. 1，3.15～
『プロ野球』6.18～12. 1，3.25～
『大相撲』7.17～8. 4，9.11～29，11. 6～24，1.10～26，3.14～30
『NHK杯フィギュア』11.24～12. 1
『センバツ高校野球大会』3.15～4. 5

▶番組連動型データ放送実施の特集番組

（番組系）
『鉄オタ選手権～東急電鉄の陣～』6. 6
『おやすみ日本　眠いいね！』7.18，12.20，1.17
『うたコン』11.10
『みんなで筋肉体操「生放送フェス」』12.12
『第71回NHK紅白歌合戦』12.31
『あさイチ』3. 3

（スポーツ系）
『NHK杯フィギュア』11.27～28
『女子第32回全国高校駅伝』12.20
『男子第71回全国高校駅伝』12.20

（２）総合テレビ（ワンセグ）

▶特集編成した「独立型データ放送」

（スポーツ系）
『Jリーグ』6.26～12.25
『プロ野球』6.18～12. 1，3.25～
『大相撲』7.17～8. 4，9.11～29，11. 6～24，1.10～26，3.14～30

（３）Eテレ（12セグ）

▶番組連動型データ放送実施の特集番組

（番組系）
『アニメ　はなかっぱ』4.19 再
『バリバラ』6.25
『にほんごであそぼ』9. 5
『にほんごであそぼ』9.21 再
『Eうた♪ココロの大冒険』1. 1 再

（スポーツ系）
『センバツ高校野球大会』3.15～4. 5

（４）BS1

▶随時編成した「独立型データ放送」

『台風情報』
5.12～15，5.17，8. 1～ 6，8. 9～10，8.22，8.24，8.24～26，8.28～9. 1，9. 1～ 8，9.21～24，10. 5～12，10.30～11. 7

『大雨情報』
4.16～19，5.15～17，5.17～19，6. 9～12，6.12～14，6.14～16，6.17～20，6.25～29，6.29～7. 2，7. 2～15，7.22～28，7.28～30，8. 6～ 8，8. 8～ 9，8.11，8.14～16，8.22～24，8.26～28，9. 9～15，9.17～18，9.24～25，10.22～23，3.12～14

『大雪情報』
12.14～20，12.25～28，12.28～31，12.31～1. 1，1. 1～ 3，1. 8，1. 8～11，2.18～19

『その他全般気象情報』
5.19～20，6. 5～ 6，6.16～17，8.12～14，8.16～21，8.22，8.28，9. 8～ 9，9.25～27，11.19～20，1. 4～ 5，1. 5～ 8，1.18～19，1.26～27，1.27～31，2.14～18

『地震・津波情報』（随時）

▶特集編成した「独立型データ放送」

（報道系）
『衆議院補欠選挙』4.26～27
『新型ウイルス肺炎関連ニュースほか』20. 2.28～

（スポーツ系）
『Jリーグ』6.26～12.25，2.25～

『大リーグ』 7.22～11. 4
『プロ野球』 6.18～12. 1, 3.25～
『NHK杯フィギュア』 11.24～12. 1
『大相撲』 7.17～8. 4, 9.11～29, 11. 6～24, 1.10～26, 3.14～30

▶番組連動型データ放送実施の特集番組
（スポーツ系）
『NHK杯フィギュア』 11.27～28

（5）BSプレミアム
▶随時編成した「独立型データ放送」
『秋田発地域ドラマ』「金色の海」 1.9～16
『宮城発地域ドラマ』「ペペロンチーノ」 2.27～3.7
▶番組連動型データ放送実施の特集番組
『発表！全エヴァンゲリオン大投票』 5.16
『鉄オタ選手権～京成電鉄の陣～』 6.13 再
『鉄オタ選手権 東京メトロの陣』10.30, 11. 3, 1. 7 再
『発表!全美少女戦士セーラームーンアニメ大投票』12.5

（6）BS４K
▶番組連動型データ放送実施の特集番組
『やまと尼寺 四季ごよみ「師走 大雪・冬至」』11.27
『第71回紅白歌合戦』 12.31

（7）BS８K
▶番組連動型データ放送実施の特集番組
『第71回紅白歌合戦』 12.31

2．字幕放送

［1］字幕放送定時番組

（1）総合テレビ
▶新規
『連続テレビ小説』「エール」
『エール古関裕而の応援歌』
『ニッポンの里山ふるさとの絶景に出会う旅』
▶継続
『NHKニュースおはよう日本』（一部）
『あさイチ』
『ニュース・気象情報』（9:00, 10:00, 11:00, 14:00, 15:00, 16:00, 18:45, 20:45, 22:50）
『ニュース』（12:00, 18:00）
『ニュース（東京単）』（12:10, 12:15）
『ニュース（関東甲信越）』（15:05, 20:55）
『みんなの体操』
『DokiDoki！NHKワールドJAPAN』
『くらし☆解説』
『趣味の園芸 やさいの時間』
『趣味どきっ！』
『すてきにハンドメイド』
『きょうの料理』
『きょうの料理ビギナーズ』
『趣味の園芸 京も一日陽だまり屋』
『あの日 わたしは』
『ひるまえほっと』
『ウワサの保護者会』
『BSコンシェルジュ』
『グレーテルのかまどsecond season』
『うまいッ！』
『梅沢富美男と東野幸治のまんぷく農家メシ！』
『ごごナマ』
『テレビ体操』
『にっぽん ぐるり』
『大相撲』
『世界ふれあい街歩き ちょっとお散歩』
『グレートトラバース15min.』
『岩合光昭の世界ネコ歩きmini』
『連続テレビ小説』（午後４時台）
『ニュース シブ５時』
『首都圏ネットワーク』
『NHKニュース７』
『ニュースウオッチ９』
『鶴瓶の家族に乾杯』
『ファミリーヒストリー』
『サラメシ』
『うたコン』
『ガッテン！』
『サンドのお風呂いただきます』
『2020スタジアム』
『所さん！大変ですよ』
『ネーミングバラエティー 日本人のおなまえっ！』
『首都圏情報ネタドリ！』
『チコちゃんに叱られる！』
『首都圏ニュース845』
『逆転人生』
『ストーリーズ』
『クローズアップ現代＋』
『プロフェッショナル 仕事の流儀』
『歴史秘話ヒストリア』
『ドラマ10』
『ドキュメント72時間』
『世界はほしいモノにあふれてる～旅するバイヤー極上リスト～』
『LIFE！～人生に捧げるコント～』
『ニュースきょう一日』
『時論公論』
『BSセレクション』（随時）
『スポーツ×ヒューマン』
『金曜日のソロたちへ』
『先どり きょうの健康』
『日本の話芸』
『イッピン』
『○○○○の演芸図鑑』
『目撃！にっぽん』
『NHK映像ファイルあの人に会いたい』
『Ｎスペ５min.』
『さわやか自然百景』
『小さな旅』
『週刊まるわかりニュース』
『明日へ つなげよう』

『どーも、NHK』
『NHKのど自慢』
『バラエティー生活笑百科』
『８Kなび』
『土曜スタジオパーク』
『民謡魂　ふるさとの唄』
『BS４K８Kセレクション』
『土曜時代ドラマ』
『これでわかった！世界のいま』
『ブラタモリ』
『ダーウィンが来た！』
『有吉のお金発見　突撃！カネオくん』
『NHKスペシャル』
『BENTO EXPO』
『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」
『土曜ドラマ』
『サタデースポーツ』
『サンデースポーツ2020』
『有田Pおもてなす』
『きじまりゅうたの小腹すいてませんか？』
『SONGS』
『よるドラ』
『海外連続ドラマ』
『シブヤノオト』
『５分で「麒麟がくる」』
『アニメ』
『視点・論点』

（２）Eテレ

▶新規

『マチスコープ』
『すたあと』
『テキシコー』
『社会にドキリ』
『ネコメンタリー 猫も、杓子（しゃくし）も。』
『アニメ　メジャーセカンド２』
『アニメ　銀河英雄伝説-Die Neue These-』
『芸人先生』
『ふるカフェ系　ハルさんの休日』
『世界の哲学者に人生相談』
『おとうさんといっしょ ミニ〜レオレオれーるうえい〜』

▶継続

『テレビ体操』
『にほんごであそぼ』
『シャキーン』
『アニメ　はなかっぱ』
『ピタゴラスイッチミニ』
『コレナンデ商会』
『みいつけた！』
『おかあさんといっしょ』
『パッコロリン』
『いないいないばあっ！』
『おはなしのくに』
『お伝（つた）と伝（でん）じろう』
『ことばドリル』
『キミなら何つくる？』
『さんすう犬ワン』
『さんすう刑事ゼロ』
『おばけの学校たんけんだん』
『ふしぎエンドレス３年』
『ふしぎエンドレス４年』
『ふしぎエンドレス５年』
『ふしぎエンドレス６年』
『考えるカラス〜科学の考え方〜』
『学ぼうBOSAI』
『u&i』
『コノマチ☆リサーチ』
『よろしく！ファンファン』
『歴史にドキリ』
『未来広告ジャパン』
『カテイカ』
『はりきり体育ノ介』
『ブレイクッ！』
『ストレッチマン・ゴールド』
『しまった！〜情報活用スキルアップ〜』
『ドスルコスル』
『Q〜こどものための哲学〜』
『新・ざわざわ森のがんこちゃん』
『銀河銭湯パンタくん』
『もやモ屋』
『オン・マイ・ウェイ！』
『で〜きた』
『いじめをノックアウト』
『あそビーバー』
『グレーテルのかまどsecond season』
『ハートネットTVセレクション』
『視点・論点』
『NHK映像ファイル　あの人に会いたい』
『ベーシック数学』
『数学Ⅰ』
『ベーシック国語』
『国語表現』
『ビジネス基礎』
『ロンリのちから』
『生物基礎』
『化学基礎』
『物理基礎』
『地学基礎』
『芸術』
『科学と人間生活』
『社会と情報』
『家庭総合』
『日本史』
『世界史』
『地理』
『実験！発見！科学体験！ベーシックサイエンス選』
『おんがくブラボー』
『Why！？プログラミング』
『子ども安全・リアルストーリー』
『10min.ボックス　地理』
『アクティブ10　プロのプロセス』

『ミミクリーズ』
『アクティブ10　ミライのしごとーく』
『ノージーのひらめき工房ミニ』
『ムジカ・ピッコリーノ』
『ゴー！ゴー！キッチン戦隊クックルン』
『アニメ　わしも』
『アニメ　おじゃる丸』
『アニメ　忍たま乱太郎』
『沼にハマってきいてみた』
『Eテレセレクション』
『すイエんサー』
『アニメ　魔入りました！入間くん』
『Eダンスアカデミー』
『アニメ　おしりたんてい』
『EテレセレクションforKIDS』（随時）
『オドモTV』
『海外ドラマ』
『ガールズクラフト』
『まいにちスクスク』
『バリバラ』
『あしたも晴れ！人生レシピ』
『きょうの健康』
『きょうの料理』
『ららら♪クラシック』
『ハートネットTV』
『趣味どきっ！』
『きょうの料理ビギナーズ』
『すてきにハンドメイド』
『100分de名著』
『芸人先生』
『まる得マガジン』
『先人たちの底力　知恵泉（ちえいず）』
『又吉直樹のヘウレーカ！』
『ドキュランドへようこそ』
『にっぽんの芸能』
『アクティブ10　理科』
『アクティブ10　公民』
『猫のしっぽ　カエルの手セレクション』
『やまと尼寺　精進日記・選』
『NHK短歌』
『NHK俳句』
『こころの時代～宗教・人生～』
『コレナンデサンデー』
『みいつけた！さん』
『ワンワンわんだーらんど』
『なりきり！むーにゃん生きもの学園』
『趣味の園芸　やさいの時間』
『趣味の園芸　京も一日陽だまり屋』
『趣味の園芸』
『日曜美術館』
『ノージーのひらめき工房』
『ピタゴラスイッチ』
『アニメ　おさるのジョージ』
『学びセレクション』（随時）
『楽々ワンポイント介護』
『将棋フォーカス』
『囲碁フォーカス』
『日本の話芸』
『アニメ　きかんしゃトーマス』
『アニメ　スポンジ・ボブ』
『地球ドラマチック』
『NHKみんなの手話』
『Eテレセレクションアニメ名作劇場』（随時）
『チョイス@病気になったとき』
『すくすく子育て』
『SWITCHインタビュー　達人達（たち）』
『ウワサの保護者会』
『ETV特集』
『Eテレフリーゾーン』（随時）
『古典芸能への招待』（随時）
『美の壺（つぼ）セレクション』
『サイエンスZERO』

（3）BS1

▶**新規**
『BS世界のドキュメンタリー・選』（随時）
『○○推し！』（随時）
『世界はTokyoをめざすスペシャル』
『えぇトコ』
『小さな旅』

▶**継続**
『球辞苑・選』
『スポーツ×ヒューマン』
『ザ・ディレクソン』
『BS世界のドキュメンタリー』
『パラ×ドキッ！』
『エキサイティングスポーツ』（随時）
『武井壮のパラスポーツ真剣勝負』
『チャリダー★～快汗！サイクルクリニック～』
『BS1スペシャル』
『COOL　JAPAN～発掘！かっこいいニッポン～』
『ランスマ倶楽部』
『BSコンシェルジュ』
『BSセレクション』（随時）

（4）BSプレミアム

▶**新規**
『連続テレビ小説』「エール」
『ダークサイドミステリー』
『金曜スペシャル』（随時）
『うたう旅～骨の髄まで届けます～』
『ニッポンの里山　ふるさとの絶景に出会う旅　選』
『太平記』
『連続テレビ小説』「はね駒」
『レギュラー番組への道』（随時）
『今週の連続テレビ小説』「エール」
『今週のはね駒』

▶**継続**
『ワイルドライフ』
『世界ふれあい街歩き』
『英雄たちの選択』
『偉人たちの健康診断』

『アナザーストーリーズ　運命の分岐点』
『新日本風土記』
『プレミアムカフェ』（随時）
『アニメ』
『プレミアムセレクション』（随時）
『みんなDEどーもくん！』
『ワンワンパッコロ！キャラともワールド』
『海外ドラマセレクション』
『おとうさんといっしょ』
『ミミクリーズ』
『釣りびと万歳』
『にっぽん百名山』
『イッピン』
『極上！スイーツマジック選』
『岩合光昭の世界ネコ歩き』
『驚き！地球！グレートネイチャー』
『ニッポンぶらり鉄道旅』
『プレミアムシネマ』（随時）
『新・BS日本のうた』
『梅沢富美男と東野幸治のまんぷく農家メシ！』
『刑事コロンボ』
『４K８Kセレクション』（随時）
『ふらっとあの街　旅ラン10キロ』
『ふらっとあの街　旅ラン10キロ選』
『美の壺（つぼ）』
『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」
『BS時代劇』
『美と若さの新常識～カラダのヒミツ～』
『海外ドラマ』
『コズミックフロント☆NEXT』
『ガイロク（街録）』
『やまと尼寺　精進日記』
『ふるカフェ系　ハルさんの休日選』
『晴れ！ときどきファーム！』
『さわやか自然百景』
『ダーウィンが来た！選』
『ザ少年倶楽部』
『特集番組』（随時）
『スーパープレミアム』（随時）
『新日本紀行（４K版）』
『ワンワンパッコロ！キャラともワールド選』
『みんなDEどーもくん！選』
『プレミアムドラマ』
『BSコンシェルジュ』
『BSエンターテインメント』

（５）BS４K

▶新規

『連続テレビ小説』「エール」
『ニッポン島旅』
『世界ふれあい街歩き』
『歩くひと』
『一瞬の、永遠の、にっぽん』

▶継続

『４Kセレクション』（随時）
『梅沢富美男と東野幸治のまんぷく農家メシ！』
『極上！スイーツマジック』
『にっぽん百名山』
『ワイルドライフ』
『あてなよる』
『BS世界のドキュメンタリー』
『地球ドラマチック』
『ムーミン谷のなかまたち』
『シドニアの騎士』
『イッピン』
『奇跡の星』
『岩合光昭の世界ネコ歩き』
『小さな旅』
『大草原の小さな家』
『刑事コロンボ』
『ドラマ10』
『ニッポンぶらり鉄道旅』
『釣りびと万歳』
『美の壺（つぼ）』
『コズミックフロント☆NEXT』
『BS時代劇』
『土曜ドラマ／４Kドラマセレクション』
『新日本風土記』
『ダーウィンが来た！』
『大河ドラマ』「麒麟（きりん）がくる」
『さわやか自然百景』
『NHKスペシャル』
『プレミアムドラマ』
『４Kシアター』（随時）
『８Kベストウインドー』（随時）
『週刊まるわかりニュース』
『ニッポン印象派』
『新・BSにっぽんのうた』
『ウルトラQ』
『JAPANGLE』
『BS４K・BS８Kこっち　すごいよ。』

（６）BS８K

▶継続

『８Kセレクション』（随時）
『スポーツ中継』（随時）
『８Kウィークエンドセレクション』（随時）
『映画８Kリマスター』（随時）
『文化・美術番組』（随時）
『自然・科学番組』（随時）
『紀行番組』（随時）
『ドラマ』（随時）

［２］夏・冬の主な特集番組

夏の特集番組では，『国際共同制作　特集ドラマ　太陽の子』『超絶神業！マジックバトル夏の陣』『へんてこ生物アカデミー』，冬の特集番組では，『正月時代劇　ライジング若冲』『邪馬台国サミット2021』『偉人たちの至高のレシピ』などに字幕を付与した。

放送 コンクール受賞番組一覧（2020年度）

❶国際コンクール受賞一覧

2020年度は、9のコンクールで延べ32の番組が受賞した。

コンクール名	部　門	賞	番　組　名　等
ニューヨーク・フェスティバル	ドキュメンタリー：バイオグラフィー・プロフィール	金賞	BS 1 スペシャル「ヨウジヤマモト〜時空を超える黒〜」
	エンターテインメントスペシャル：ドラマスペシャル	銀賞	8 Kスペシャルドラマ「浮世の画家」
	ドキュメンタリー：アート	銅賞	BS 1 スペシャル「バレエの王子になる！“世界最高峰”ロシア・バレエ学校の青春」
	ドキュメンタリー：論説・視点	銅賞	BS 1 スペシャル「ボクの自学ノート〜7 年間の小さな大冒険〜」
ワールド・メディア・フェスティバル	ドキュメンタリー部門：スポーツ&アクティビティカテゴリー	インターメディア・グローブ金賞（カテゴリー 1 位）	NHKスペシャル「“ふたり”ならもっと強くなれる〜「絆」で目指す世界の頂点」
	ドキュメンタリー部門：エンターテインメントカテゴリー	インターメディア・グローブ金賞（カテゴリー 1 位）	超絶　凄ワザ！「奇跡のヴェネチアン・グラスに挑め！」
	ドキュメンタリー部門：医学カテゴリー	インターメディア・グローブ金賞（カテゴリー 1 位）	ETV特集「誰が命を救うのか　医師たちの原発事故」
	ドキュメンタリー部門：伝記カテゴリー	インターメディア・グローブ金賞（カテゴリー 1 位）	BS 1 スペシャル「ヨウジヤマモト〜時空を超える黒〜」
	ドキュメンタリー部門：ドキュドラマカテゴリー	インターメディア・グローブ銀賞（カテゴリー 2 位）	NHKスペシャル「詐欺の子」
	ドキュメンタリー部門：人権カテゴリー	インターメディア・グローブ銀賞（カテゴリー 2 位）	ノーナレ「画面の向こうから」
	エデュケーション部門：小学校カテゴリー	インターメディア・グローブ金賞（カテゴリー 1 位）	バビブベボディ「DNA」
	エンターテインメント部門：特集カテゴリー	インターメディア・グローブ銀賞（カテゴリー 2 位）	8 Kスペシャルドラマ「浮世の画家」
アメリカ国際フィルム・ビデオ祭	エンターテインメント部門	最優秀賞	スペシャルドラマ「ストレンジャー 〜上海の芥川龍之介〜」
	ドキュメンタリー部門：長編	ゴールド・カメラ賞（サブカテゴリー 1 位）	BS 1 スペシャル「ラストトーキョー “はぐれ者”たちの新宿・歌舞伎町」
	ドキュメンタリー部門：社会問題	ゴールド・カメラ賞（サブカテゴリー 1 位）	BS 1 スペシャル「ジェイクとシャリース〜僕は歌姫だった〜」
	ドキュメンタリー部門：健康／医療	シルバー・スクリーン賞（サブカテゴリー 2 位）	NHKスペシャル「認知症の第一人者が認知症になった」
	ドキュメンタリー部門：アート	シルバー・スクリーン賞（サブカテゴリー 2 位）	BS 1 スペシャル「バレエの王子になる！“世界最高峰”ロシア・バレエ学校の青春」
	ドキュメンタリー部門：時事問題	シルバー・スクリーン賞（サブカテゴリー 2 位）	ノーナレ「画面の向こうから」
	エンターテインメント部門：インタビュー／トーク	シルバー・スクリーン賞（サブカテゴリー 2 位）	ねほりんぱほりん「元極道」

コンクール名	部　門	賞	番　組　名　等
アメリカ国際フィルム・ビデオ祭	エデュケーション部門：個人的な成長と発展	クリエイティブ・エクセレンス賞（サブカテゴリー3位）	BS 1 スペシャル「ボクの自学ノート　～7年間の小さな大冒険～」
	エデュケーション部門：ハウツー	クリエイティブ・エクセレンス賞（サブカテゴリー3位）	メガ実験バラエティー　すごいよ出川さん！
	ドキュメンタリー部門：ドキュドラマ	クリエイティブ・エクセレンス賞（サブカテゴリー3位）	NHKスペシャル「詐欺の子」
	ドキュメンタリー部門：スポーツ／レクリエーション	クリエイティブ・エクセレンス賞（サブカテゴリー3位）	NHKスペシャル「“ふたり”ならもっと強くなれる ～「絆」で目指す世界の頂点～」
	ドキュメンタリー部門：スポーツレクリエーション	クリエイティブ・エクセレンス賞（サブカテゴリー3位）	世界はTokyoをめざす「父と歩め！柔の道 ～イタリア男子柔道～」
イタリア賞	ウェブ　インタラクティブ部門	イタリア賞	NHK「体感　首都直下地震」プロジェクト
MIPCOMダイバーシファイ・テレビ・エクセレンス・アワード	LGBTQ+台本なし部門	最優秀賞	BS 1 スペシャル「ジェイクとシャリース～僕は歌姫だった～」
ミラノ国際スポーツ映像祭	パラリンピック部門	最優秀賞	NHKスペシャル「“ふたり”ならもっと強くなれる～「絆」で目指す世界の頂点～」
AAA（アジアン・アカデミー・アワーズ）	スポーツ番組部門	最優秀賞	NHKスペシャル「“ふたり”ならもっと強くなれる～「絆」で目指す世界の頂点～」
ABU賞	テレビ・ABUの視点賞部門「2020年テーマ尊重」	ABU賞	BS 1 スペシャル「ラストトーキョー“はぐれ者”たちの新宿・歌舞伎町」
	ラジオ・ドラマ部門	ABU賞	FMシアター「うつ病九段」
	ニューメディア・デジタルコンテンツ部門	ABU賞	NHK「体感　首都直下地震」プロジェクト
グリーンイメージ国際環境映像祭		審査委員特別賞	NHKスペシャル「ヒグマと老漁師 ～世界遺産・知床を生きる～」

❷国内コンクール受賞一覧

2020年度は，16のコンクールで延べ93の賞を受賞した。

コンクール名	部　門	賞	番　組　名　等
農業ジャーナリスト賞		農業ジャーナリスト賞	秩父山中　花のあとさき・最終章　～ムツばあさんの歳月～
		農業ジャーナリスト賞	ひとモノガタリ「木をつなぐひと」
放送人グランプリ		準グランプリ	ETV特集・選　追悼　中村哲さん「武器ではなく　命の水を」
		優秀賞	NHKスペシャル「全貌　二・二六事件 ～最高機密文書で迫る～」
		優秀賞	BS 1 スペシャル「女優たちの終わらない夏・終われない夏」
ギャラクシー賞	テレビ部門	優秀賞	NHKスペシャル「日本人と天皇」
	テレビ部門	選奨	ノーナレ「画面の向こうから」
	テレビ部門	選奨	BS 1 スペシャル「バレエの王子になる！～“世界最高峰”ロシア・バレエ学校の青春
	テレビ部門	選奨	大河ドラマ「いだてん～東京オリムピック噺～」
	テレビ部門	奨励賞	ETV特集「連合赤軍　終わりなき旅」
	テレビ部門	奨励賞	バリバラ「スケッチコメディー～障害者が職場にやってきた～」
	テレビ部門	奨励賞	よるドラ「腐女子、うっかりゲイに告る。」
	テレビ部門	奨励賞	ETV特集「バリバイー家の願い～“クルド難民”家族の12年～」

コンクール名	部　門	賞	番　組　名　等
ギャラクシー賞	テレビ部門	奨励賞	NHKスペシャル「夢をつかみにきたけれど　ルポ・外国人労働者150万人時代」
	テレビ部門	奨励賞	BS 1 スペシャル「ラストトーキョー“はぐれ者”たちの新宿・歌舞伎町」
	テレビ部門	奨励賞	ETV特集「忘れられた“ひろしま”～ 8 万 8 千人が演じた“あの日”～」
	テレビ部門	奨励賞	NHKスペシャル　昭和天皇は何を語ったのか～初公開・秘録「拝謁（はいえつ）記」
	テレビ部門	奨励賞	NHKスペシャル「全貌二・二六事件　最高機密文書で迫る」
	テレビ部門	奨励賞	NHKスペシャル「彼女は安楽死を選んだ」
	テレビ部門	奨励賞	ドラマ10「これは経費で落ちません！」
	テレビ部門	奨励賞	渡辺直美のナオミーツ
	テレビ部門	奨励賞	よるドラ「だから私は推しました」
	テレビ部門	奨励賞	土曜ドラマ「サギデカ」
	テレビ部門	奨励賞	NHKスペシャル「東京ブラックホールⅡ　破壊と創造の1964年」
	テレビ部門	奨励賞	有田Pおもてなす「P55ムロツヨシ　シソンヌ＆ラバガが珠玉のコントを披露！」
	テレビ部門	奨励賞	BS 1 スペシャル「女優たちの終わらない夏・終われない夏」
	テレビ部門	奨励賞	目撃！にっぽん「激論の“トリエンナーレ”～作家と市民の75日」
	テレビ部門	奨励賞	BS 1 スペシャル「証言ドキュメント　天安門事件30年」
	テレビ部門	奨励賞	スペシャルドラマ「ストレンジャー～上海の芥川龍之介～」
	テレビ部門	奨励賞	NHKスペシャル「認知症の第一人者が認知症になった」
	テレビ部門	奨励賞	土曜ドラマ「心の傷を癒すということ」
	テレビ部門	奨励賞	ねほりんぱほりん「震災で家族が行方不明の人」
	テレビ部門	奨励賞	BS 1 スペシャル「バレリーナ吉田都　引退までの闘いの日々」
	テレビ部門	奨励賞	地球タクシー「ソウルを走る」
	テレビ部門	奨励賞	バリバラ「BLACK IN BURAKU」～アフリカン・アメリカン、被差別部落をゆく～」（前編・後編）
	ラジオ部門	選奨	FMシアター「ドライビング・レコード」
	報道活動部門	奨励賞	＃乳がんダイアリー　矢方美紀　プロジェクト
	報道活動部門	優秀賞	キャンペーン報道　“用水路事故をなくす”
		個人賞	伊藤沙莉 「映像研には手を出すな！」、ドラマ10「これは経費で落ちません！」、ETV特集「反骨の考古学者 ROKUJI」などの演技に対して
放送文化基金賞	テレビドラマ番組部門	最優秀賞	土曜ドラマ「心の傷を癒すということ」
	テレビドラマ番組部門	優秀賞	よるドラ「だから私は推しました」
	テレビドラマ番組部門	奨励賞	スペシャルドラマ「ストレンジャー ～上海の芥川龍之介～」
	テレビドラマ番組部門	演技賞	柄本佑（土曜ドラマ「心の傷を癒すということ」の演技に対して）
	テレビドラマ番組部門	演技賞	桜井ユキ（よるドラ「だから私は推しました」の演技に対して）
	テレビドラマ番組部門	演出賞	加藤拓　制作局　第 4 制作ユニット（スペシャルドラマ「ストレンジャー ～上海の芥川龍之介～」の演出に対して）
	テレビドキュメンタリー番組部門	奨励賞	NHKスペシャル「昭和天皇は何を語ったのか　～初公開・秘録「拝謁記」～」
	テレビドキュメンタリー番組部門	奨励賞	NHKスペシャル「“ヒロシマの声”がきこえますか ～生まれ変わった原爆資料館～」
	テレビエンターテインメント番組部門	奨励賞	セカンドの美学「ルパン三世・峰不二子」
	個人・グループ部門【放送技術】		スーパーハイビジョン用フレキシブル有機ELディスプレーの開発
			フラッシュ点滅映像リアルタイム自動軽減装置の開発

コンクール名	部　門	賞	番　組　名　等
デジタル・コンテンツ・オブ・ジ・イヤー'19 AMDアワード年間コンテンツ賞		大賞／総務大臣賞	AI美空ひばり
		年間コンテンツ賞「優秀賞」	ラグビーワールドカップ2019　放送プロジェクト
衛星放送オリジナル番組アワード	グランプリ		スペシャルドラマ「ストレンジャー ～上海の芥川龍之介～」
	ドラマ番組部門	最優秀賞	
	ミニ番組部門	最優秀賞	驚異の魚図鑑　衆鱗図
ATP賞テレビグランプリ	ドキュメンタリー部門	優秀賞	BS 1 スペシャル「戦争花嫁たちのアメリカ」
	ドキュメンタリー部門	優秀賞	日中国際共同制作「陶王子　2 万年の旅　器の来た道」
	ドキュメンタリー部門	奨励賞	BS 1 スペシャル「バレエの王子になる！～"世界最高峰"ロシア・バレエ学校の青春」
	ドキュメンタリー部門	奨励賞	聖なる巡礼路を行く　～カミーノ・デ・サンティアゴ1500キロ～
	ドキュメンタリー部門	奨励賞	ザ・ヒューマン　誇り高き悪魔　ジーン・シモンズ
	ドラマ部門	優秀賞	完本　怪談牡丹燈籠
	ドラマ部門	優秀賞	ドラマ10「これは経費で落ちません！」
	情報バラエティ部門	優秀賞	スイーツ列車紀行　オリエント急行ライン・お菓子秘話 西欧の魅力／東欧の甘美
	情報バラエティ部門	奨励賞	急上昇↑ZOOチューバー
	情報バラエティ部門	奨励賞	アナザーストーリーズ　運命の分岐点 熱気が生んだ真夜中の解放区　～オールナイトニッポン伝説～
		優秀新人賞	出口明（NHKエンタープライズ） プロフェッショナル仕事の流儀　「全力で行ってみよう！コメディアン萩本欽一」
		奨励新人賞	内島悠介（パオネットワーク） 明日へつなげよう　証言記録　東日本大震災89回 心の傷に寄り添う　～訪問型ケアの現場から～
		奨励新人賞	中川奈津子（テレビマンユニオン） 地球リアル　手帳類図書室～400冊の心の内、貸します。～
		奨励新人賞	塩田明里（テレビマンユニオン） サラメシ　都道府県弁当の石橋さん
		総務大臣賞	完本　怪談牡丹燈籠
東京ドラマアウォード2020	連続ドラマ部門	グランプリ	大河ドラマ「いだてん～東京オリムピック噺～」
	連続ドラマ部門	優秀賞	ドラマ10「これは経費で落ちません！」
	単発ドラマ部門	優秀賞	スペシャルドラマ「ストレンジャー ～上海の芥川龍之介～」
		ローカルドラマ賞	NHK福岡ドラマ「となりのマサラ」
		助演女優賞	伊藤沙莉（ドラマ10「これは経費で落ちません！」）
「地方の時代」映像祭	放送局部門	グランプリ	ETV特集「おいでや！おやこ食堂へ」
	放送局部門	優秀賞	BS 1 スペシャル「ラストトーキョー　"はぐれ者"たちの新宿・歌舞伎町」
	放送局部門	選奨	ETV特集「"ひとりぼっち"で死なせない　～依存症高齢者の介護施設～」
伊藤熹朔賞		本賞	NHKスペシャル　体感 首都直下地震　ドラマ「パラレル東京」 加藤隆弘　室岡康弘　田中理実　平田彩 （デザインセンター　映像デザイン部）
科学放送高柳賞		優秀賞	iPS細胞が心臓病患者を救う　～世界初の手術 実施までの軌跡～

コンクール名	部　門	賞	番　組　名　等
文化庁芸術祭	テレビ・ドラマ部門	大賞	スペシャルドラマ「ストレンジャー ～上海の芥川龍之介～」
	テレビ・ドラマ部門	優秀賞	完本　怪談牡丹燈籠
	テレビ・ドキュメンタリー部門	優秀賞	NHKスペシャル「アウシュビッツ　死者たちの告白」
	テレビ・ドキュメンタリー部門	優秀賞	BS 1 スペシャル「レバノンからのSOS　～コロナ禍　追いつめられるシリア難民～」
	ラジオ部門	優秀賞	FMシアター「ほぞ」
	ラジオ部門	優秀賞	ラジオ特集「虐待された少女たちの"その後"」
石橋湛山記念　早稲田ジャーナリズム大賞	草の根民主主義部門	奨励賞	BS 1 スペシャル「封鎖都市・武漢～76日間　市民の記録～」
科学技術映像祭	自然・くらし部門	文部科学大臣賞	NHKスペシャル「巨大地下空間　龍の巣に挑む」
	研究・技術開発部門	文部科学大臣賞	NHKスペシャル「新型コロナ　全論文解読　～AIで迫るいま知りたいこと～」
座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル	コンペティション部門	入賞	ETV特集「 7 人の小さき探究者～変わりゆく世界の真ん中で～」
橋田賞			連続テレビ小説「エール」
			二階堂ふみ　連続テレビ小説「エール」の演技に対して
			池端俊策　大河ドラマ「麒麟がくる」の脚本に対して
			長谷川博己　大河ドラマ「麒麟がくる」の演技に対して

❸第47回日本賞受賞作品

賞名				タイトル	機関名	国・地域名	メディア
グランプリ日本賞				テロの街の天使たち～ブリュッセル 6 歳児日記～	ゾーン 2 ピクチャーズ	フィンランド	映画
コンテンツ部門	最優秀賞	幼児向け部門	総務大臣賞	シュームの大冒険～ママはどこ？～	ピコロ ピクチャーズ バーダフ！プロダクションズ	フランス ベルギー	テレビ
		児童向け部門	文部科学大臣賞	ハードボール～違いを越えて～	ノーザンピクチャーズ	オーストラリア	テレビ
		青少年向け部門	外務大臣賞	テロの街の天使たち～ブリュッセル 6 歳児日記～	ゾーン 2 ピクチャーズ	フィンランド	映画
		一般向け部門	東京都知事賞	ディス・イズ・ノット・ア・ムービー　真実を伝えるということ	ティナム ストール・コロンコ カナダ国立映画制作庁（NFB）	カナダ ドイツ	映画
		デジタルメディア部門	経済産業大臣賞	ブック・オブ・ディスタンス	カナダ国立映画制作庁（NFB）	カナダ	アプリケーションソフトウェア
	特別賞	国際交流基金理事長賞		人種差別と闘った中学校の三週間	プロパーコンテント	イギリス	テレビ
		ユニセフ賞		遺された子どもたち	グッドカンパニーピクチャーズ	デンマーク	映画
企画部門	最優秀企画賞	放送文化基金賞		拒絶の声	NTV	ケニア	大人向け
	優秀企画賞	日本ユネスコ協会連盟賞		あこがれの職業	5 パルセフ・アニメーションスタジオ	キルギス	子ども向け

技術 NHK主要放送局の周波数・電力一覧（2020年度）

❶テレビ（2021年3月末現在）

（1）地上

局名	系統	呼出符号	チャンネル	空中線電力W	運用開始年月日
札幌	総合	JOIK-DTV	15	3k	06. 6. 1
	教育	JOIB-DTV	13	3k	06. 6. 1
函館	総合	JOVK-DTV	18	1k	07.10. 1
	教育	JOVB-DTV	14	1k	07.10. 1
旭川	総合	JOCG-DTV	15	1k	07.10. 1
	教育	JOCC-DTV	13	1k	07.10. 1
帯広	総合	JOOG-DTV	15	1k	07.10. 1
	教育	JOOC-DTV	13	1k	07.10. 1
釧路	総合	JOPG-DTV	33	1k	07.10. 1
	教育	JOPC-DTV	29	1k	07.10. 1
北見	総合	JOKP-DTV	18	1k	07.10. 1
	教育	JOKD-DTV	13	1k	07.10. 1
室蘭	総合	JOIQ-DTV	24	500	07.10. 1
	教育	JOIZ-DTV	16	1k	07.10. 1
仙台	総合	JOHK-DTV	17	3k	05.12. 1
	教育	JOHB-DTV	13	3k	05.12. 1
秋田	総合	JOUK-DTV	48	1k	05.12. 1
	教育	JOUB-DTV	50	1k	05.12. 1
山形	総合	JOJG-DTV	14	1k	05.12. 1
	教育	JOJC-DTV	13	1k	05.12. 1
盛岡	総合	JOQG-DTV	14	1k	05.12. 1
	教育	JOQC-DTV	13	1k	05.12. 1
福島	総合	JOFP-DTV	15	3k	05.12. 1
	教育	JOFD-DTV	14	3k	05.12. 1
青森	総合	JOTG-DTV	16	1k	05.12. 1
	教育	JOTC-DTV	13	1k	05.12. 1
東京	総合	JOAK-DTV	27	10k	03.12. 1
	教育	JOAB-DTV	26	10k	03.12. 1
前橋	総合	JOTP-DTV	37	100	05.12. 1
	教育	－	39	100	05.12. 1
水戸	総合	JOEP-DTV	20	300	04.10. 1
	教育	－	13	300	04.10. 1
宇都宮	総合	JOBP-DTV	47	100	05.12. 1
	教育	－	39	100	05.12. 1
長野	総合	JONK-DTV	17	1k	06. 4. 1
	教育	JONB-DTV	13	1k	06. 4. 1
新潟	総合	JOQK-DTV	15	3k	06. 4. 1
	教育	JOQB-DTV	13	3k	06. 4. 1
甲府	総合	JOKG-DTV	21	2k	06. 4. 1
	教育	JOKC-DTV	23	2k	06. 4. 1
名古屋	総合	JOCK-DTV	20	3k	03.12. 1
	教育	JOCB-DTV	13	3k	03.12. 1
金沢	総合	JOJK-DTV	15	1k	06. 7. 1
	教育	JOJB-DTV	13	1k	06. 7. 1
静岡	総合	JOPK-DTV	20	1k	05. 6. 1
	教育	JOPB-DTV	13	1k	05. 6. 1
福井	総合	JOFG-DTV	19	1k	06. 5. 1
	教育	JOFC-DTV	21	1k	06. 5. 1
富山	総合	JOIG-DTV	27	1k	04.10. 1
	教育	JOIC-DTV	24	1k	04.10. 1

局名	系統	呼出符号	チャンネル	空中線電力W	運用開始年月日
津	総合	JONP-DTV	28	500	05. 4. 1
	教育	－	44	50	05. 4. 1
岐阜	総合	JOOP-DTV	29	500	04.11. 1
大阪	総合	JOBK-DTV	24	3k	03.12. 1
	教育	JOBB-DTV	13	3k	03.12. 1
京都	総合	JOOK-DTV	25	1k	05. 4. 1
	教育	－	40	20	10. 7.24
神戸	総合	JOPP-DTV	22	1k	04.12. 1
	教育	－	13	3	04.12. 1
和歌山	総合	JORP-DTV	23	100	05. 6. 1
	教育	－	13	3	05. 6. 1
奈良	総合	JOUP-DTV	31	100	05. 4. 1
大津	総合	JOQP-DTV	26	100	05. 4. 1
	教育	－	13	30	05. 4. 1
広島	総合	JOFK-DTV	14	3k	06.10. 1
	教育	JOFB-DTV	15	3k	06.10. 1
岡山	総合	JOKK-DTV	32	2k	06.12. 1
	教育	JOKB-DTV	45	2k	06.12. 1
松江	総合	JOTK-DTV	21	1k	06.10. 1
	教育	JOTB-DTV	19	1k	06.10. 1
鳥取	総合	JOLG-DTV	29	100	06.10. 1
	教育	JOLC-DTV	20	100	06.10. 1
山口	総合	JOUG-DTV	16	1k	06.10. 1
	教育	JOUC-DTV	13	1k	06.10. 1
松山	総合	JOZK-DTV	16	1k	06.10. 1
	教育	JOZB-DTV	13	1k	06.10. 1
高知	総合	JORK-DTV	15	1k	06.10. 1
	教育	JORB-DTV	13	1k	06.10. 1
徳島	総合	JOXK-DTV	34	1k	06.10. 1
	教育	JOXB-DTV	40	1k	06.10. 1
高松	総合	JOHP-DTV	24	1k	06.12. 1
	教育	JOHD-DTV	13	1k	06.12. 1
熊本	総合	JOGK-DTV	28	1k	06.12. 1
	教育	JOGB-DTV	24	1k	06.12. 1
福岡	総合	JOLK-DTV	28	3k	06. 4. 1
	教育	JOLB-DTV	22	3k	06. 4. 1
北九州	総合	JOSK-DTV	40	1k	06.10. 1
	教育	JOSB-DTV	42	1k	06.10. 1
長崎	総合	JOAG-DTV	15	1k	06.12. 1
	教育	JOAC-DTV	13	1k	06.12. 1
鹿児島	総合	JOHG-DTV	34	1k	06.12. 1
	教育	JOHC-DTV	18	1k	06.12. 1
宮崎	総合	JOMG-DTV	14	1k	06.12. 1
	教育	JOMC-DTV	13	1k	06.12. 1
大分	総合	JOIP-DTV	15	1k	06.12. 1
	教育	JOID-DTV	14	1k	06.12. 1
佐賀	総合	JOSP-DTV	33	100	06.12. 1
	教育	JOSD-DTV	25	100	06.12. 1
沖縄	総合	JOAP-DTV	17	1k	06. 4. 1
	教育	JOAD-DTV	13	1k	06. 4. 1

(2) BS

局　名	チャンネル	空中線電力W	運用開始年月日
BS1	15	120	11. 4. 1
BSプレミアム	3	120	11. 4. 1

局　名	チャンネル	空中線電力W	運用開始年月日
BS4K	17	120	18.12. 1
BS8K	14	120	18.12. 1

❷ラジオ（2021年３月末現在）

局　名	系統	呼出符号	周波数kHz	空中線電力W	運用開始年月日
札　幌	第１	ＪＯＩＫ	567	100k	1928. 6. 5
	第２	ＪＯＩＢ	747	500k	45. 9. 3
函　館	第１	ＪＯＶＫ	675	5k	32. 2. 6
	第２	ＪＯＶＢ	1467	1k	49. 1. 3
旭　川	第１	ＪＯＣＧ	621	3k	33. 9. 4
	第２	ＪＯＣＣ	1602	1k	50. 4.25
帯　広	第１	ＪＯＯＧ	603	5k	36.11.22
	第２	ＪＯＯＣ	1125	1k	50. 4.25
釧　路	第１	ＪＯＰＧ	585	10k	38. 2.26
	第２	ＪＯＰＣ	1152	10k	50. 4.25
北　見	第１	ＪＯＫＰ	1188	10k	42. 1. 1
	第２	ＪＯＫＤ	702	10k	50. 3.25
室　蘭	第１	ＪＯＩＱ	945	3k	42. 2.21
	第２	ＪＯＩＺ	1125	1k	52. 4.20
仙　台	第１	ＪＯＨＫ	891	20k	28. 6.16
	第２	ＪＯＨＢ	1089	10k	45. 9. 1
秋　田	第１	ＪＯＵＫ	1503	10k	32. 2.26
	第２	ＪＯＵＢ	774	500k	46. 9.15
山　形	第１	ＪＯＪＧ	540	5k	36.11.30
	第２	ＪＯＪＣ	1521	1k	48.12. 1
盛　岡	第１	ＪＯＱＧ	531	10k	38. 8. 7
	第２	ＪＯＱＣ	1386	10k	50. 3.25
福　島	第１	ＪＯＦＰ	1323	1k	41. 2.13
	第２	ＪＯＦＤ	1602	1k	51. 6. 2
青　森	第１	ＪＯＴＧ	963	5k	41. 4.17
	第２	ＪＯＴＣ	1521	1k	51. 7. 1
東　京	第１	ＪＯＡＫ	594	300k	25. 3.22
	第２	ＪＯＡＢ	693	500k	31. 4. 6
長　野	第１	ＪＯＮＫ	819	5k	31. 3. 8
	第２	ＪＯＮＢ	1467	1k	48.11.11
新　潟	第１	ＪＯＱＫ	837	10k	31.11.11
	第２	ＪＯＱＢ	1593	10k	46. 9. 1
甲　府	第１	ＪＯＫＧ	927	5k	37.12.21
	第２	ＪＯＫＣ	1602	1k	50. 4.25
名古屋	第１	ＪＯＣＫ	729	50k	25. 7.15
	第２	ＪＯＣＢ	909	10k	33. 6.26
金　沢	第１	ＪＯＪＫ	1224	10k	30. 4.15
	第２	ＪＯＪＢ	1386	10k	47. 8.21
静　岡	第１	ＪＯＰＫ	882	10k	31. 3.22
	第２	ＪＯＰＢ	639	10k	46. 9. 2
福　井	第１	ＪＯＦＧ	927	5k	33. 7.13
	第２	ＪＯＦＣ	1521	1k	48.12. 1

局　名	系統	呼出符号	周波数kHz	空中線電力W	運用開始年月日
富　山	第１	ＪＯＩＧ	648	5k	1935.12.13
	第２	ＪＯＩＣ	1035	1k	49. 1. 3
大　阪	第１	ＪＯＢＫ	666	100k	25. 6. 1
	第２	ＪＯＢＢ	828	300k	33. 6.26
彦　根	第１	ＪＯＱＰ	945	1k	42. 2.25
広　島	第１	ＪＯＦＫ	1071	20k	28. 7. 6
	第２	ＪＯＦＢ	702	10k	45. 9.10
岡　山	第１	ＪＯＫＫ	603	5k	31. 2. 1
	第２	ＪＯＫＢ	1386	5k	46. 9. 1
松　江	第１	ＪＯＴＫ	1296	10k	32. 3. 7
	第２	ＪＯＴＢ	1593	10k	46. 9. 1
鳥　取	第１	ＪＯＬＧ	1368	1k	36.12.14
	第２	ＪＯＬＣ	1125	1k	50. 4.25
山　口	第１	ＪＯＵＧ	675	5k	41. 4.19
	第２	ＪＯＵＣ	1377	5k	51. 6. 1
松　山	第１	ＪＯＺＫ	963	5k	41. 3. 9
	第２	ＪＯＺＢ	1512	5k	46. 9. 1
高　知	第１	ＪＯＲＫ	990	10k	32. 3.22
	第２	ＪＯＲＢ	1152	10k	48.12. 1
徳　島	第１	ＪＯＸＫ	945	5k	33. 7.23
高　松	第１	ＪＯＨＰ	1368	5k	44. 5.17
	第２	ＪＯＨＤ	1035	1k	58. 6.29
熊　本	第１	ＪＯＧＫ	756	10k	28. 6.16
	第２	ＪＯＧＢ	873	500k	45. 9. 1
福　岡	第１	ＪＯＬＫ	612	100k	30.12. 6
	第２	ＪＯＬＢ	1017	50k	46. 9. 1
北九州	第１	ＪＯＳＫ	540	1k	31.12.21
	第２	ＪＯＳＢ	1602	1k	47. 3.20
長　崎	第１	ＪＯＡＧ	684	5k	33. 9.20
	第２	ＪＯＡＣ	1377	1k	49. 7.20
鹿児島	第１	ＪＯＨＧ	576	10k	35.10.27
	第２	ＪＯＨＣ	1386	10k	49. 1. 1
宮　崎	第１	ＪＯＭＧ	540	5k	37. 4.19
	第２	ＪＯＭＣ	1467	1k	50. 3.25
大　分	第１	ＪＯＩＰ	639	5k	41. 6.20
	第２	ＪＯＩＤ	1467	1k	50. 4.25
佐　賀	第１	ＪＯＳＰ	963	1k	41.12.28
沖　縄	第１	ＪＯＡＰ	549	10k	72. 6.25
	第２	ＪＯＡＤ	1125	10k	72. 6.25

❸FM（2021年３月末現在）

局　名	呼出符号	周波数 MHz	空中線 電力W	運用開始 年月日
札　幌	ＪＯＩＫ−FM	85.2	5k	*1962.12.24
函　館	ＪＯＶＫ−FM	87.0	250	**64.12.24
旭　川	ＪＯＣＧ−FM	85.8	500	**64. 6.25
帯　広	ＪＯＯＧ−FM	87.5	250	**64.12.24
釧　路	ＪＯＰＧ−FM	88.5	250	**65. 2. 5
北　見	ＪＯＫＰ−FM	86.0	250	**65. 3.27
室　蘭	ＪＯＩＱ−FM	88.0	250	**64.12.24
仙　台	ＪＯＨＫ−FM	82.5	5k	*62.12.24
秋　田	ＪＯＵＫ−FM	86.7	3k	**64. 6. 1
山　形	ＪＯＪＧ−FM	82.1	1k	**64.12.24
盛　岡	ＪＯＱＧ−FM	83.1	1k	**64. 6. 1
福　島	ＪＯＦＰ−FM	85.3	1k	**64. 7. 1
青　森	ＪＯＴＧ−FM	86.0	3k	**64.12.24
東　京	ＪＯＡＫ−FM	82.5	7k	*57.12.24
横　浜	ＪＯＧＰ−FM	81.9	5k	70. 6.22
前　橋	ＪＯＴＰ−FM	81.6	1k	70. 3.20
水　戸	ＪＯＥＰ−FM	83.2	1k	70. 3.28
千　葉	ＪＯＭＰ−FM	80.7	5k	71. 8.28
宇都宮	ＪＯＢＰ−FM	80.3	1k	70. 3.31
さいたま	ＪＯＬＰ−FM	85.1	5k	71. 3.26
長　野	ＪＯＮＫ−FM	84.0	500	**64. 7. 1
新　潟	ＪＯＱＫ−FM	82.3	1k	**64. 7. 1
甲　府	ＪＯＫＧ−FM	85.6	1k	**65. 3. 1
名古屋	ＪＯＣＫ−FM	82.5	10k	*62.12.24
金　沢	ＪＯＪＫ−FM	82.2	1k	**64. 7. 1
静　岡	ＪＯＰＫ−FM	88.8	1k	**64. 4. 1
福　井	ＪＯＦＧ−FM	83.4	1k	**65. 2. 5

局　名	呼出符号	周波数 MHz	空中線 電力W	運用開始 年月日
富　山	ＪＯＩＧ−FM	81.5	1k	**1964. 7. 1
津	ＪＯＮＰ−FM	81.8	3k	70. 3.28
岐　阜	ＪＯＯＰ−FM	83.6	1k	71. 3.26
大　阪	ＪＯＢＫ−FM	88.1	10k	*58. 2.20
京　都	ＪＯＯＫ−FM	82.8	1k	71. 3.27
神　戸	ＪＯＰＰ−FM	86.5	500	70. 3.27
和歌山	ＪＯＲＰ−FM	84.7	500	70. 4.16
奈　良	ＪＯＵＰ−FM	87.4	500	71. 3.27
大　津	ＪＯＱＰ−FM	84.0	1k	70.12. 1
広　島	ＪＯＦＫ−FM	88.3	1k	*62. 9.17
岡　山	ＪＯＫＫ−FM	88.7	1k	**64. 4. 1
松　江	ＪＯＴＫ−FM	84.5	500	**64. 7. 1
鳥　取	ＪＯＬＧ−FM	85.8	500	**64.12.24
山　口	ＪＯＵＧ−FM	85.3	500	**64. 4. 1
松　山	ＪＯＺＫ−FM	87.7	1k	*62.12.24
高　知	ＪＯＲＫ−FM	87.5	500	**64. 4. 1
徳　島	ＪＯＸＫ−FM	83.4	1k	**65. 3. 1
高　松	ＪＯＨＰ−FM	86.0	1k	**65. 3.22
熊　本	ＪＯＧＫ−FM	85.4	1k	*62.12.24
福　岡	ＪＯＬＫ−FM	84.8	3k	*62. 9.17
北九州	ＪＯＳＫ−FM	85.7	250	**64. 5. 1
長　崎	ＪＯＡＧ−FM	84.5	500	**64. 5. 1
鹿児島	ＪＯＨＧ−FM	85.6	1k	**64. 7. 1
宮　崎	ＪＯＭＧ−FM	86.2	500	*64. 7. 1
大　分	ＪＯＩＰ−FM	88.9	1k	**65. 3. 1
佐　賀	ＪＯＳＰ−FM	81.6	500	*65. 3.22
沖　縄	ＪＯＡＰ−FM	88.1	1k	74. 3.24

運用開始年月日について

＊，＊＊とも1969.3.1から本放送として運用開始。

＊　実験局（モノラル）として運用開始し，63.12.16以後は実用化試験局（モノラル）ならびに実験局（ステレオ）として運用開始。

＊＊ 実用化試験局（モノラル）ならびに実験局（ステレオ）として運用開始。

技術 NHK放送局所数（2021年3月末現在）

	総合テレビ	教育テレビ	第１放送	第２放送	FM
局　数	2,214	2,185	275	146	532

技術 NHK保有の特許権・実用新案権・意匠権（2020年度取得）

登録番号	発明等の名称	登録日
	〈特許権〉	
特06660166	立体像表示装置	20. 2.12
特06660172	OFDM送信装置及びOFDM受信装置	2.12
特06661434	画像処理装置	2.14
特06663191	符号化設定情報決定装置及びプログラム	2.18
特06663298	二方向狭指向性マイクロホン	2.18
特06663751	有機電界発光素子材料および有機電界発光素子	2.19
特06663789	アンテナ装置，及び，通信装置	2.19
特06663817	磁気記録媒体，磁気再生装置及び磁気再生方法	2.19
特06664272	偏波処理機およびアンテナ装置	2.20
特06666659	送信機及び送受信機	2.26
特06667285	送信装置，受信装置，プログラム，およびチップ	2.27
特06670159	アンケートデータ精査装置及びそのプログラム	3. 3
特06670802	音響信号再生装置	3. 4
特06671221	音声選択装置及びプログラム	3. 5
特06677482	階層符号化装置及び送信装置	3.17
特06677504	撮像装置，撮像方法，画像フレーム読出し制御回路および信号処理装置	3.17
特06677531	オブジェクト追跡システム	3.17
特06677565	画像処理装置及びプログラム	3.17
特06678045	測定装置	3.18
特06679385	アンテナ装置	3.23
特06681264	音声加工装置，及びプログラム	3.25
特06681672	デジタル信号の送信装置	3.26
特06681731	符号化装置，復号装置，及びプログラム	3.26
特06681774	コントラスト補正装置及びプログラム	3.26
特06683618	音声信号処理装置	3.30
特06684104	測定器，チップ及びプログラム	3.31
特06684118	２眼立体画像生成装置及びそのプログラム	3.31
特06684651	チャンネル数変換装置およびそのプログラム	4. 1
特06687460	OFDM信号送信装置及びOFDM信号受信装置	4. 6
特06688179	シーン抽出装置およびそのプログラム	4. 7
特06688689	中継装置，サーバ装置および端末装置	4. 8
特06691407	送信装置及び受信装置	4.14
特06691417	符号化装置，その復号化装置および符号化・復号化装置	4.14
特06694275	不揮発性メモリおよびその駆動方法，ならびに記憶装置	4.21
特06694280	映像信号送信装置，映像信号受信装置及び映像信号送受信システム	4.21
特06694321	受信品質測定装置及びプログラム	4.21
特06694376	ホログラム記録装置およびホログラム記録方法	4.21
特06694755	チャンネル数変換装置およびそのプログラム	4.22
特06695700	画像処理装置，およびプログラム	4.24
特06695632	偏波共用八木型アンテナ	4.24
特06695738	信号変換係数算出装置，信号変換装置及びプログラム	4.24
特06697280	偏波共用アンテナ	4.28
特06698355	画像表示装置	5. 1
特06698415	サービス選択装置，サービス選択方法及びサービス選択プログラム	5. 1
特06700051	撮像素子および撮像装置	5. 7
特06700797	鍵生成装置，中間暗号化装置，委託暗号化装置，復号装置およびそれらのプログラム，ならびに，個人情報保護システム	5. 8
特06700850	撮像素子の駆動制御回路	5. 8
特06700877	画像復号装置，画像復号プログラム及びチップ	5. 8

登録番号	発明等の名称	登録日
特06700957	字幕データ生成装置，およびプログラム	5. 8
特06700987	関連文書処理装置及びプログラム	5. 8
特06703397	照明システム	5.12
特06703840	音質評価装置	5.13
特06703884	チャンネル数変換装置，放送受信機およびプログラム	5.13
特06706138	撮像装置	5.19
特06707422	対話型解説付き音声提示装置およびそのプログラム	5.22
特06709678	読解支援装置及びプログラム	5.27
特06714347	立体像表示装置	6. 9
特06714424	音響信号補償装置及びそのプログラム	6. 9
特06717670	タイムコード送信装置，タイムコード受信装置，映像信号送信装置及び映像信号受信装置	6.15
特06718320	シングルキャリア方式の送信装置及び受信装置，並びに送信方法，受信方法，及び伝送フレーム構成方法	6.16
特06718684	番組情報配信装置，及びプログラム	6.17
特06718787	日本語音声認識モデル学習装置及びプログラム	6.17
特06722015	一次輻射器	6.23
特06722035	アンテナ用導波管	6.23
特06722566	端末装置，及びプログラム	6.24
特06725310	画像処理装置及びプログラム	6.29
特06726601	端末装置及びプログラム	7. 1
特06726783	受信機およびプログラム	7. 1
特06727005	MIMO-OFDM信号受信装置	7. 2
特06727900	符号化装置，復号装置，及びプログラム	7. 3
特06727902	参照フレーム生成装置，動き推定装置，及びプログラム	7. 3
特06730817	立体映像表示装置	7. 7
特06730916	コントラスト補正装置及びプログラム	7. 7
特06731771	デマッピング処理回路，チップ，受信装置	7. 9
特06732457	画像表示装置	7.10
特06733990	解説音声再生装置，解説音声生成装置及び解説音声再生プログラム	7.13
特06734131	コンテンツ推薦装置，コンテンツ推薦方法及びコンテンツ推薦プログラム	7.13
特06735147	表示装置，及びプログラム	7.15
特06735643	受信装置およびプログラム	7.16
特06739958	ポリマー構造の製造方法	7.28
特06740110	データ配信システム，通信端末，及びプログラム	7.28
特06741439	薄膜トランジスタの製造方法	7.29
特06741453	光変調素子，空間光変調器及び表示装置	7.29
特06741452	光変調素子，空間光変調器及び表示装置	7.29
特06741479	信号変換係数算出装置，信号変換装置及びプログラム	7.29
特06741478	音響処理装置，音響処理方法，及びプログラム	7.29
特06740533	符号化装置，復号装置及びプログラム	7.29
特06740534	符号化装置，復号装置及びプログラム	7.29
特06741543	画像信号変換装置及びプログラム	7.29
特06742131	OFDM信号送信装置及びOFDM信号受信装置	7.30
特06742138	OFDM信号送信装置及びOFDM信号受信装置	7.30
特06742178	MTF測定装置およびそのプログラム	7.30
特06742180	MTF測定装置及びそのプログラム	7.30
特06742221	オブジェクト追跡装置及びそのプログラム	7.30
特06744965	アパーチャ操作装置	8. 4
特06745198	端末装置，受信装置及びプログラム	8. 5
特06748498	A/D変換回路，信号読み出し回路，及びイメージセンサ	8.12
特06748505	信号処理回路	8.12
特06748504	MTF測定用チャート	8.12
特06748563	立体映像測定装置及び立体映像測定方法	8.12
特06751600	要素画像群生成装置，復号装置，およびプログラム	8.19

登録番号	発明等の名称	登録日
特06754647	ホログラム再生装置およびホログラム再生方法	8.26
特06756607	アクセント型判定装置及びプログラム	8.31
特06757599	符号化装置及びプログラム	9. 2
特06757643	受信機，再送信装置，およびプログラム	9. 2
特06762195	読み推定装置及びプログラム	9.10
特06764714	画像表示システム	9.16
特06765246	送信装置及びプログラム	9.17
特06767128	手話CG生成装置及びプログラム	9.23
特06768413	光電変換素子および撮像装置	9.25
特06768431	画像生成装置及びプログラム	9.25
特06768475	映像信号変換装置およびそのプログラム，ならびに，映像表示装置	9.25
特06769818	アンテナ特性測定装置	9.28
特06769817	アンテナ特性測定装置	9.28
特06770373	送信装置及び受信装置	9.29
特06770363	顔方向推定装置及びそのプログラム	9.29
特06770442	画像処理装置及びそのプログラム	9.29
特06770847	チャンネル識別システム，装置，方法及びプログラム	9.30
特06770872	端末装置及びプログラム	9.30
特06770871	端末装置及びプログラム	9.30
特06770899	有機エレクトロルミネッセンス素子	9.30
特06770900	有機エレクトロルミネッセンス素子	9.30
特06771079	受信装置，端末装置，及びプログラム	9.30
特06774788	色調整装置および色調整システム	10. 7
特06774824	復号装置，ホログラム再生装置，及び復号方法	10. 7
特06774848	インピーダンス測定装置	10. 7
特06775075	データ送出システム，受信装置，およびプログラム	10. 7
特06778059	送信装置及び受信装置	10.13
特06778534	OFDM信号送信装置及びOFDM信号受信装置	10.14
特06778541	超解像装置及びプログラム	10.14
特06778808	送信装置，プログラム，及び集積回路	10.14
特06779628	送信装置	10.16
特06782586	自己組織化単分子膜材料，有機エレクトロルミネッセンス素子，表示装置，照明装置，有機薄膜太陽電池，有機薄膜トランジスタ	10.22
特06783915	受信装置およびプログラム	10.26
特06784643	映像信号変換装置およびそのプログラム，ならびに，映像表示装置	10.27
特06785053	復号装置，及び復号プログラム	10.28
特06785166	音声信号補償装置，音声信号補償方法，及びプログラム	10.28
特06785486	音声データの比較処理プログラム	10.29
特06788472	要素画像生成装置およびそのプログラム	11. 4
特06788484	表示装置検出装置，及び表示装置検出プログラム	11. 4
特06789082	光電変換膜，光電変換膜の製造方法，光電変換素子	11. 5
特06789761	受信端末及びプログラム	11. 6
特06789553	処理装置及び処理プログラム	11. 6
特06792486	撮像素子及び撮像装置	11.10
特06792997	符号化装置，復号装置及びプログラム	11.11
特06792996	符号化装置，復号装置及びプログラム	11.11
特06793526	動画配信システム，配信サーバ，及びプログラム	11.12
特06793595	力覚提示装置	11.12
特06795996	手話CG編集装置及びプログラム	11.17
特06795998	MTF測定装置およびそのプログラム	11.17
特06796376	分割装置および解析装置，ならびにプログラム	11.18
特06796405	イントラ予測器，画像符号化装置，画像復号装置およびプログラム	11.18
特06796435	レート制御装置，映像復号装置，及び，プログラム	11.18
特06796463	映像符号化装置，映像復号装置，及びプログラム	11.18

登録番号	発明等の名称	登録日
特06799386	固体撮像素子及びその製造方法	11.25
特06799419	画像表示装置，駆動方法及び駆動プログラム	11.25
特06799421	送信装置及び受信装置	11.25
特06799422	送信装置及び受信装置	11.25
特06802731	送信装置及び受信装置	12. 1
特06803357	受信装置およびプログラム	12. 2
特06803727	有機エレクトロルミネッセンス素子	12. 3
特06806497	偏波共用コンバータ，受信機及び衛星受信装置	12. 8
特06806591	撮影装置	12. 8
特06806587	MTF測定装置およびそのプログラム	12. 8
特06806589	情報判定モデル学習装置，情報判定装置およびそれらのプログラム	12. 8
特06807214	端末装置，受信装置及びプログラム	12. 9
特06807795	雑音除去装置及びプログラム	12.10
特06808889	画像符号化装置，画像復号装置，及びプログラム	12.11
特06810580	言語モデル学習装置およびそのプログラム	12.15
特06811582	トランスデューサー装置	12.17
特06814029	ループフィルタ，符号化装置，復号装置，及びプログラム	12.22
特06814036	要素画像群生成装置及びそのプログラム	12.22
特06814617	有機エレクトロルミネッセンス素子およびその製造方法，表示装置，照明装置	12.23
特06817784	超解像装置及びプログラム	21. 1. 4
特06817793	超解像装置及びプログラム	1. 4
特06818082	音声認識装置，認識結果出力制御装置，およびプログラム	1. 4
特06818539	画像処理装置及び画像処理プログラム	1. 5
特06818591	制御器設計装置，制御器及びプログラム	1. 5
特06820163	光電変換素子，光電変換素子の製造方法および固体撮像素子	1. 6
特06820168	送信装置及び受信装置	1. 6
特06820193	送信装置及び受信装置	1. 6
特06820192	送信装置及び受信装置	1. 6
特06820204	状態推定器，及びプログラム	1. 6
特06820764	音響モデル学習装置および音響モデル学習プログラム	1. 7
特06823492	超解像補完ポストフィルタ装置及びプログラム	1.13
特06823984	画像生成装置及びプログラム	1.14
特06824098	情報処理システム，コンテンツ配信サーバ，端末及びプログラム	1.14
特06824399	音声ガイド生成装置，音声ガイド生成方法及び放送システム	1.14
特06826372	受信レベル測定装置及びそのプログラム	1.19
特06826439	映像復号装置	1.19
特06826865	端末装置及びプログラム	1.20
特06826945	音響処理装置，音響処理方法およびプログラム	1.20
特06827317	画像処理装置及びプログラム	1.21
特06827337	手話CG生成装置及びプログラム	1.21
特06827339	無線通信装置	1.21
特06832064	立体像表示装置	2. 3
特06832095	チャンネル数変換装置およびそのプログラム	2. 3
特06832252	超解像装置およびプログラム	2. 3

技術 NHK保有の外国特許権（2020年度取得）

出願国	登録番号	発明等の名称	登録日
アメリカ	10681346	IMAGE ENCODING DEVICE, IMAGE DECODING DEVICE, AND PROGRAMS THEREFOR （画像符号化装置，画像復号化装置，及びこれらのプログラム）	20. 6. 9
	10771132	TRANSMITTER, RECEIVER, AND SEMICONDUCTOR CHIP （送信装置，受信装置，及び半導体チップ）	9. 8
	10757441	ENCODING DEVICE, DECODING DEVICE, AND PROGRAM （符号化装置，復号装置及びプログラム）	8.25
韓国	10-2113369	ORGANIC ELECTROLUMINESCENCE ELEMENT （有機電界発光素子）	5.14
	10-2171425	ORGANIC ELECTROLUMINESCENT ELEMENT AND METHOD FOR MANUFACTURING SAME （有機電界発光素子及びその製造方法）	10.23
ブラジル	PI0715168-3	DIGITAL TERRESTRIAL BROADCASTING SIGNAL RETRANSMISSION DEVICE （地上デジタル放送信号の再送信装置）	19.12.17
	PI0717164-1	GROUND DIGITAL BROADCAST RETRANSMISSION DEVICE （地上デジタル放送の再送信装置）	12.31
台湾	I717340	ORGANIC THIN FILM AND METHOD FOR MANUFACTURING ORGANIC THIN FILM, ORGANIC ELECTROLUMINESCENCE ELEMENT, DISPLAY DEVICE, ILLUMINATION DEVICE, ORGANIC THIN FILM SOLAR CELL, THIN FILM TRANSISTOR, AND COATING COMPOSITION （有機薄膜および有機薄膜の製造方法，有機エレクトロルミネッセンス素子，表示装置，照明装置，有機薄膜太陽電池，薄膜トランジスタ，塗料組成物）	21. 2. 1

視聴者対応 地域実施全国放送公開番組一覧（2020年度）

（総合）

■NHKのど自慢【41本】

実施局	実施年月日	曜日	実施県名	実施地名	会場	備考
大阪	20. 4. 5	日	大阪府	富田林市	すばるホール	新型コロナウイルス感染の影響で中止
札幌	4.12	日	北海道	当別町	当別町総合体育館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
金沢	4.19	日	石川県	川北町	川北町総合体育館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
沖縄	4.26	日	沖縄県	うるま市	うるま市石川会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
東京	5. 3	日・祝	東京都	羽村市	羽村市生涯学習センターゆとろぎ	新型コロナウイルス感染の影響で中止
広島	5.10	日	広島県	坂町	坂町立町民交流センター	新型コロナウイルス感染の影響で中止
盛岡	5.17	日	岩手県	陸前高田市	陸前高田市民文化会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
岐阜	5.24	日	岐阜県	関市	関市文化会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
熊本	5.31	日	熊本県	熊本市	熊本城ホール	新型コロナウイルス感染の影響で中止
千葉	6. 7	日	千葉県	君津市	君津市民文化ホール	新型コロナウイルス感染の影響で中止
京都	6.14	日	京都府	舞鶴市	舞鶴市総合文化会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
松山	6.21	日	愛媛県	今治市	今治市公会堂	新型コロナウイルス感染の影響で中止
名古屋	6.28	日	愛知県	刈谷市	刈谷市総合文化センター	新型コロナウイルス感染の影響で中止
宮崎	7. 5	日	宮崎県	高千穂町	高千穂町武道館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
さいたま	7.12	日	埼玉県	三郷市	三郷市文化会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
前橋	9.13	日	群馬県	伊勢崎市	伊勢崎市文化会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
大阪	8.23	日	大阪府	大阪市	NHK大阪ホール	NHK単独主催、新型コロナウイルス感染の影響で中止
盛岡	8.30	日	岩手県	陸前高田市	陸前高田市民文化会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
宮崎	9.13	日	宮崎県	高千穂町	高千穂町武道館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
大津	9.20	日	滋賀県	東近江市	東近江市立八日市文化芸術会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
福島	9.27	日	福島県	二本松市	二本松市民会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
長野	10. 4	日	長野県	須坂市	須坂市文化会館（メセナホール）	
佐賀	10.11	日	佐賀県	唐津市	唐津市民会館	
松江	10.18	日	島根県	川本町	悠邑ふるさと会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
静岡	10.25	日	静岡県	御殿場市	御殿場市民会館	
青森	11. 1	日	青森県	弘前市	弘前市民会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
神戸	11. 8	日	兵庫県	加古川市	加古川市民会館	
新潟	11.15	日	新潟県	新発田市	新発田市民文化会館	
福井	11.22	日	福井県	越前市	越前市文化センター	
帯広	11.29	日	北海道	音更町	音更町文化センター	新型コロナウイルス感染の影響で中止
福岡	12. 6	日	福岡県	朝倉市	朝倉市総合市民センター（ピーポート甘木）	
水戸	12.13	日	茨城県	取手市	取手市立市民会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
長崎	21. 1.10	日	長崎県	平戸市	平戸文化センター	新型コロナウイルス感染の影響で中止
宇都宮	1.31	日	栃木県	足利市	足利市民会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
奈良	2. 7	日	奈良県	田原本町	田原本青垣生涯学習センター弥生の里ホール	新型コロナウイルス感染の影響で中止
大分	2.14	日	大分県	日田市	日田市民文化会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
山口	2.21	日	山口県	長門市	山口県民芸術文化ホールながと	
仙台	3. 7	日	宮城県	南三陸町	南三陸町総合体育館ベイサイドアリーナ	
横浜	3.14	日	神奈川県	海老名市	海老名市文化会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
鹿児島	3.21	日	鹿児島県	奄美市	奄美文化センター（奄美振興会館）	
津	3.28	日	三重県	四日市市	四日市市文化会館	

■民謡魂　ふるさとの唄【９本】

実施局	実施年月日	曜日	実施県名	実施地名	会場	備考
山形	20. 4.19	日	山形県	鶴岡市	荘銀タクト鶴岡（鶴岡市文化会館）	新型コロナウイルス感染の影響で中止
松山	5.31	日	愛媛県	四国中央市	四国中央市市民文化ホール	新型コロナウイルス感染の影響で中止
熊本	6.28	日	熊本県	荒尾市	荒尾総合文化センター	新型コロナウイルス感染の影響で中止
水戸	9.27	日	茨城県	土浦市	土浦市民会館	
名古屋	11. 1	日	愛知県	小牧市	小牧市市民会館	
沖縄	11.29	日	沖縄県	名護市	名護市民会館	
函館	12.20	日	北海道	函館市	函館市民会館	
松江	21. 2. 7	日	島根県	益田市	島根県芸術文化センター「グラントワ」	新型コロナウイルス感染の影響で中止
さいたま	2.28	日	埼玉県	鴻巣市	鴻巣市文化センター「クレアこうのす」	新型コロナウイルス感染の影響で中止

■うたコン【１本】

実施局	実施年月日	曜日	実施県名	実施地名	会場	備考
津	20.10. 6	火	三重県	津市	三重県総合文化センター　三重県文化会館	NHK単独主催、新型コロナウイルス感染の影響で中止

■LIFE！～人生に捧げるコント～　【１本】

実施局	実施年月日	曜日	実施県名	実施地名	会場	備考
盛岡	21. 2.28	日	岩手県	釜石市	釜石市民ホールTETTO	新型コロナウイルス感染の影響で中止

（Ｅテレ）

■俳句王国がゆく【４本】

実施局	実施年月日	曜日	実施県名	実施地名	会場	備考
鳥取	20. 4.18	土	鳥取県	日南町	日南町総合文化センター	新型コロナウイルス感染の影響で中止
北見	6.27	土	北海道	大空町	大空町教育文化会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
和歌山	9.26	土	和歌山県	日高川町	日高川交流センター	
高松	21. 1.23	土	香川県	さぬき市	さぬき市志度音楽ホール	

■すイエんサー【２本】

実施局	実施年月日	曜日	実施県名	実施地名	会場	備考
水戸	20. 5.24	日	茨城県	神栖市	神栖市文化センター	新型コロナウイルス感染の影響で中止
長野	21. 2. 7	日	長野県	長野市	長野市芸術館	新型コロナウイルス感染の影響で中止

■にほんごであそぼ【２本】

実施局	実施年月日	曜日	実施県名	実施地名	会場	備考
新潟	20.10.18	日	新潟県	村上市	村上市民ふれあいセンター	新型コロナウイルス感染の影響で中止
福島	21. 2. 7	日	福島県	楢葉町	楢葉町コミュニティーセンター	新型コロナウイルス感染の影響で中止

■ハートネットTV【３本】

実施局	実施年月日	曜日	実施県名	実施地名	会場	備考
徳島	20.11. 8	日	徳島県	美馬市	美馬市地域交流センター ミライズ	新型コロナウイルス感染の影響で中止
大分	12.13	日	大分県	佐伯市	さいき城山桜ホール	新型コロナウイルス感染の影響で中止
東京	21. 2.21	日	東京都	町田市	町田市民ホール	

■みいつけた！【１本】

実施局	実施年月日	曜日	実施県名	実施地名	会場	備考
名古屋	20.12.13	日	愛知県	尾張旭市	尾張旭市文化会館	

■ノージーのひらめき工房【１本】

実施局	実施年月日	曜日	実施県名	実施地名	会場	備考
函館	20.11. 8	日	北海道	七飯町	七飯町文化センター	新型コロナウイルス感染の影響で中止

（BSプレミアム）

■新・BS日本のうた【34本】

実施局	実施年月日	曜日	実施県名	実施地名	会場	備考
名古屋	20. 3.12	木	愛知県	知立市	知立市文化会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
水戸	3.19	木	茨城県	龍ケ崎市	龍ケ崎市文化会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
さいたま	3.26	木	埼玉県	新座市	新座市民会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
静岡	4. 9	木	静岡県	小山町	小山町総合文化会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
横浜	4.16	木	神奈川県	秦野市	秦野市文化会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
広島	4.23	木	広島県	福山市	ふくやま芸術文化ホール リーデンローズ	新型コロナウイルス感染の影響で中止
旭川	4.30	木	北海道	名寄市	名寄市民文化センター	新型コロナウイルス感染の影響で中止
佐賀	5. 7	木	佐賀県	武雄市	武雄市文化会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
高知	5.14	木	高知県	高知市	高知県立県民文化ホール	新型コロナウイルス感染の影響で中止
室蘭	5.21	木	北海道	浦河町	浦河町総合文化会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
仙台	5.28	木	宮城県	岩沼市	岩沼市民会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
宇都宮	6. 4	木	栃木県	栃木市	栃木市栃木文化会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
長崎	6.11	木	長崎県	佐世保市	アルカスSASEBO	新型コロナウイルス感染の影響で中止
横浜	6.18	木	神奈川県	相模原市	相模女子大学グリーンホール	新型コロナウイルス感染の影響で中止
山形	6.25	木	山形県	南陽市	シェルターなんようホール（南陽市文化会館）	新型コロナウイルス感染の影響で中止
鳥取	7. 2	木	鳥取県	米子市	米子市公会堂	新型コロナウイルス感染の影響で中止
松山	7. 9	木	愛媛県	八幡浜市	八幡浜市文化会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
北九州	9.24	木	福岡県	北九州市	北九州芸術劇場	新型コロナウイルス感染の影響で中止
千葉	10. 1	木	千葉県	館山市	千葉県南総文化ホール	
和歌山	10. 8	木	和歌山県	和歌山市	和歌山県民文化会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
京都	10.22	木	京都府	綾部市	京都府中丹文化会館	
山口	10.29	木	山口県	山陽小野田市	不二輸送機ホール	新型コロナウイルス感染の影響で中止
札幌	11.12	木	北海道	恵庭市	恵庭市民会館	
福島	11.26	木	福島県	南会津町	御蔵入交流館 南会津町文化ホール	
富山	12. 3	木	富山県	黒部市	黒部市国際文化センター	
大阪	12.10	木	大阪府	堺市	堺市民芸術文化ホール	新型コロナウイルス感染の影響で中止
岐阜	12.17	木	岐阜県	多治見市	パローネ文化ホール（多治見市文化会館）	
東京	12.24	木	東京都	福生市	福生市民会館	
福岡	21. 1.21	木	福岡県	宗像市	宗像ユリックス	新型コロナウイルス感染の影響で中止
横浜	1.28	木	神奈川県	川崎市	川崎市スポーツ・総合文化センター（カルッツかわさき）	新型コロナウイルス感染の影響で中止
広島	2. 4	木	広島県	呉市	呉市文化ホール	新型コロナウイルス感染の影響で中止
名古屋	2.11	木・祝	愛知県	大府市	愛三文化会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
千葉	2.18	木	千葉県	野田市	野田市文化会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
前橋	2.25	木	群馬県	藤岡市	藤岡市みかぼみらい館	新型コロナウイルス感染の影響で中止

■みんなDEどーもくん！【11本】

実施局	実施年月日	曜日	実施県名	実施地名	会場	備考
東京	20. 4.12	日	東京都	瑞穂町	瑞穂ビューパークスカイホール	新型コロナウイルス感染の影響で中止
新潟	5.17	日	新潟県	柏崎市	柏崎市文化会館アルフォーレ	新型コロナウイルス感染の影響で中止
旭川	6.14	日	北海道	稚内市	稚内総合文化センター	新型コロナウイルス感染の影響で中止
青森	7. 5	日	青森県	平川市	平川市文化センター	新型コロナウイルス感染の影響で中止
さいたま	9.27	日	埼玉県	桶川市	桶川市民ホール	新型コロナウイルス感染の影響で中止
千葉	10.25	日	千葉県	千葉市	千葉市民会館	
広島	11.22	日	広島県	廿日市市	はつかいち文化ホール ウッドワンさくらぴあ	
金沢	12.13	日	石川県	小松市	こまつ芸術劇場うらら	
宮崎	21. 1.31	日	宮崎県	延岡市	延岡総合文化センター	新型コロナウイルス感染の影響で中止
長野	2. 7	日	長野県	長野市	長野市芸術館	
大阪	2.14	日	大阪府	吹田市	吹田市文化会館メイシアター	新型コロナウイルス感染の影響で中止

■ワンパコ＆どーもDEおとうさんといっしょ　～BSこども番組 大集合スペシャル～【１本】

実施局	実施年月日	曜日	実施県名	実施地名	会場	備考
秋田	20.11. 3	火・祝	秋田県	大仙市	大仙市大曲市民会館	

（ラジオ第１）

■上方演芸会【17本】

実施局	実施年月日	曜日	実施県名	実施地名	会場	備考
奈良	20. 4.17	金	奈良県	奈良市	奈良県コンベンションセンター天平ホール	新型コロナウイルス感染の影響で中止
甲府	4.24	金	山梨県	笛吹市	笛吹市スコレーセンター	新型コロナウイルス感染の影響で中止
富山	5.15	金	富山県	南砺市	南砺市城端伝統芸能会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
福井	5.22	金	福井県	美浜町	美浜町生涯学習センターなびあす	新型コロナウイルス感染の影響で中止
高松	5.29	金	香川県	宇多津町	ユープラザうたづ	新型コロナウイルス感染の影響で中止
和歌山	6.12	金	和歌山県	有田市	有田市民会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
大津	6.19	金	滋賀県	豊郷町	豊郷町文化ホール	新型コロナウイルス感染の影響で中止
山口	6.26	金	山口県	萩市	萩市民館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
仙台	10.16	金	宮城県	大和町	大和町ふれあい文化創造センター　まほろばホール	
鳥取	11. 6	金	鳥取県	湯梨浜町	ハワイアロハホール	
大阪	11.20	金	大阪府	泉南市	泉南市立文化ホール	
和歌山	11.28	土	和歌山県	上富田町	上富田文化会館	
奈良	12.11	金	奈良県	平群町	平群町文化センター	
神戸	12.18	金	兵庫県	稲美町	稲美町立文化会館	
釧路	21. 1.15	金	北海道	中標津町	中標津町総合文化会館「しるべっと」	新型コロナウイルス感染の影響で中止
青森	1.22	金	青森県	むつ市	下北文化会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
北九州	2. 5	金	福岡県	水巻町	水巻町中央公民館	新型コロナウイルス感染の影響で中止

■真打ち競演【13本】

実施局	実施年月日	曜日	実施県名	実施地名	会場	備考
北見	20. 4.17	金	北海道	訓子府町	訓子府町公民館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
宇都宮	5. 1	金	栃木県	野木町	野木町文化会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
大分	5.22	金	大分県	九重町	九重文化センター	新型コロナウイルス感染の影響で中止
長野	5.29	金	長野県	箕輪町	箕輪町文化センター	新型コロナウイルス感染の影響で中止
帯広	6. 5	金	北海道	鹿追町	鹿追町民ホール	新型コロナウイルス感染の影響で中止
岐阜	6.26	金	岐阜県	美濃市	美濃市文化会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
高知	9.25	金	高知県	本山町	本山町プラチナセンター　文化ホール	
盛岡	10. 2	金	岩手県	洋野町	洋野町民文化会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
さいたま	10.23	金	埼玉県	伊奈町	伊奈町総合センター	
岡山	11.20	金	岡山県	里庄町	里庄総合文化ホール「フロイデ」	
鹿児島	12.11	金	鹿児島県	肝付町	肝付町文化センター	
徳島	21. 1.22	金	徳島県	吉野川市	吉野川市鴨島公民館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
秋田	1.30	土	秋田県	鹿角市	鹿角市文化の杜交流館コモッセ	新型コロナウイルス感染の影響で中止

■徳井青空のあにげっちゅ【１本】

実施局	実施年月日	曜日	実施県名	実施地名	会場	備考
甲府	21. 1.31	日	山梨県	大月市	大月市民会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止

■鉄旅・音旅 出発進行！～音で楽しむ鉄道旅～【２本】

実施局	実施年月日	曜日	実施県名	実施地名	会場	備考
札幌	20. 4.25	土	北海道	新十津川町	総合健康福祉センター「ゆめりあ」	新型コロナウイルス感染の影響で中止
長崎	6.27	土	長崎県	雲仙市	愛の夢未来センター	新型コロナウイルス感染の影響で中止

■DJ日本史【１本】

実施局	実施年月日	曜日	実施県名	実施地名	会場	備考
大津	20. 4.12	日	滋賀県	長浜市	木之本スティックホール	新型コロナウイルス感染の影響で中止

■ラジオ深夜便のつどい【４本】

実施局	実施年月日	曜日	実施県名	実施地名	会場	備考
高松	20.10.17	土	香川県	観音寺市	ハイスタッフホール	新型コロナウイルス感染の影響で中止
前橋	11.14	土	群馬県	高崎市	高崎芸術劇場	
大阪	21. 1.30	土	大阪府	羽曳野市	羽曳野市立生活文化情報センター	新型コロナウイルス感染の影響で中止
鹿児島	2.27	土	鹿児島県	長島町	長島町文化ホール	新型コロナウイルス感染の影響で中止

■ラジオ体操【50本】

実施局	実施年月日	曜日	実施県名	実施地名	会場	備考
事業センター	20. 4.12	日	東京都	東大和市	都立東大和南公園	特別巡回・新型コロナウイルス感染の影響で中止
大阪	4.26	日	大阪府	羽曳野市	峰塚公園	特別巡回・新型コロナウイルス感染の影響で中止
事業センター	5.24	日	東京都	狛江市	狛江市立狛江第一中学校グラウンド	特別巡回・新型コロナウイルス感染の影響で中止
室蘭	6. 7	日	北海道	苫小牧市	中央公園	特別巡回・新型コロナウイルス感染の影響で中止
仙台	6.14	日	宮城県	利府町	グランディ21・宮城県総合運動公園	特別巡回・新型コロナウイルス感染の影響で中止
福井	7. 5	日	福井県	大野市	城下町南広場	特別巡回・新型コロナウイルス感染の影響で中止
鹿児島	7.20	月	鹿児島県	喜界町	喜界町総合グラウンド	新型コロナウイルス感染の影響で中止
沖縄	7.21	火	沖縄県	名護市	名護市営球場	新型コロナウイルス感染の影響で中止
北九州	7.22	水	福岡県	北九州市	北九州市立大蔵小学校グラウンド	新型コロナウイルス感染の影響で中止
大分	7.23	木・祝	大分県	国東市	くにみ海浜公園	新型コロナウイルス感染の影響で中止
旭川	7.24	金・祝	北海道	増毛町	増毛町立増毛中学校グラウンド	新型コロナウイルス感染の影響で中止
神戸	7.25	土	兵庫県	伊丹市	伊丹市立伊丹スポーツセンター陸上競技場	新型コロナウイルス感染の影響で中止
大阪	7.26	日	大阪府	枚方市	伊加賀スポーツセンターグラウンド	新型コロナウイルス感染の影響で中止
秋田	7.27	月	秋田県	男鹿市	男鹿総合運動公園野球場	新型コロナウイルス感染の影響で中止
盛岡	7.28	火	岩手県	奥州市	歴史公園えさし藤原の郷	新型コロナウイルス感染の影響で中止
札幌	7.29	水	北海道	京極町	京極町立京極小学校グラウンド	新型コロナウイルス感染の影響で中止
函館	7.30	木	北海道	今金町	今金町立今金小学校グラウンド	新型コロナウイルス感染の影響で中止
青森	7.31	金	青森県	八戸市	青森県立八戸高等支援学校グラウンド	新型コロナウイルス感染の影響で中止
福島	8. 1	土	福島県	大玉村	大玉村立大玉中学校グラウンド	新型コロナウイルス感染の影響で中止
長野	8. 2	日	長野県	松川村	松川村立松川小学校グラウンド	新型コロナウイルス感染の影響で中止
前橋	8. 3	月	群馬県	吉岡町	吉岡町八幡山公園多目的屋外運動場	新型コロナウイルス感染の影響で中止
さいたま	8. 4	火	埼玉県	寄居町	寄居町立寄居中学校グラウンド	新型コロナウイルス感染の影響で中止
和歌山	8. 5	水	和歌山県	かつらぎ町	かつらぎ体育センター	新型コロナウイルス感染の影響で中止
奈良	8. 6	木	奈良県	王寺町	奈良県王寺健民運動場	新型コロナウイルス感染の影響で中止
神戸	8. 7	金	兵庫県	宍粟市	スポニックパーク一宮グラウンド	新型コロナウイルス感染の影響で中止
静岡	8.10	月・祝	静岡県	西伊豆町	安城岬ふれあい公園	新型コロナウイルス感染の影響で中止
津	8.11	火	三重県	四日市市	四日市市中央フットボール場Ａフィールド	新型コロナウイルス感染の影響で中止
山口	8.12	水	山口県	岩国市	愛宕スポーツコンプレックス陸上競技場	新型コロナウイルス感染の影響で中止
広島	8.13	木	広島県	広島市	広島市立江波小学校グラウンド	新型コロナウイルス感染の影響で中止
岡山	8.14	金	岡山県	玉野市	玉野市立玉小学校グラウンド	新型コロナウイルス感染の影響で中止
水戸	8.15	土	茨城県	日立市	日立市市民運動公園陸上競技場	新型コロナウイルス感染の影響で中止
千葉	8.16	日	千葉県	多古町	多古町コミュニティプラザ多目的広場	新型コロナウイルス感染の影響で中止
富山	8.17	月	富山県	黒部市	黒部市総合公園芝生広場	新型コロナウイルス感染の影響で中止
金沢	8.18	火	石川県	川北町	川北町立川北小学校グラウンド	新型コロナウイルス感染の影響で中止
岐阜	8.19	水	岐阜県	可児市	KYBスタジアム	新型コロナウイルス感染の影響で中止
鳥取	8.20	木	鳥取県	大山町	大山町名和総合運動公園陸上競技場	新型コロナウイルス感染の影響で中止
熊本	8.21	金	熊本県	玉名市	玉名市桃田運動公園運動広場（金栗記念広場）	新型コロナウイルス感染の影響で中止
福岡	8.22	土	福岡県	宇美町	宇美町総合スポーツ公園	新型コロナウイルス感染の影響で中止
長崎	8.23	日	長崎県	波佐見町	波佐見町立波佐見中学校グラウンド	新型コロナウイルス感染の影響で中止
新潟	8.24	月	新潟県	妙高市	妙高市立新井小学校グラウンド	新型コロナウイルス感染の影響で中止
宇都宮	8.25	火	栃木県	佐野市	佐野市運動公園陸上競技場	新型コロナウイルス感染の影響で中止
甲府	8.26	水	山梨県	中央市	中央市農村公園	新型コロナウイルス感染の影響で中止
松山	8.27	木	愛媛県	宇和島市	宇和島市総合体育館駐車場	新型コロナウイルス感染の影響で中止
高知	8.28	金	高知県	田野町	田野町立田野小学校グラウンド	新型コロナウイルス感染の影響で中止
徳島	8.29	土	徳島県	藍住町	藍住町総合文化ホールあいずみ広場	新型コロナウイルス感染の影響で中止
松江	8.30	日	島根県	美郷町	美郷町立邑智小学校グラウンド	新型コロナウイルス感染の影響で中止
名古屋	8.31	月	愛知県	小牧市	小牧市スポーツ公園サッカーグラウンド	新型コロナウイルス感染の影響で中止
岐阜	9.20	日	岐阜県	岐阜市	岐阜市立市橋小学校グラウンド	特別巡回・新型コロナウイルス感染の影響で中止
横浜	10. 4	日	神奈川県	横浜市	横浜赤レンガパーク	1000万人・新型コロナウイルス感染の影響で中止
事業センター	10.18	日	東京都	東久留米市	上の原グラウンド	特別巡回・新型コロナウイルス感染の影響で中止

（FM）

■民謡をたずねて【10本】

実施局	実施年月日	曜日	実施県名	実施地名	会場	備考
新潟	20. 5.10	日	新潟県	小千谷市	小千谷市民会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
宮崎	6.20	土	宮崎県	都城市	都城市総合文化ホール	新型コロナウイルス感染の影響で中止
津	7. 4	土	三重県	紀北町	紀北町海山公民館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
鳥取	10.10	土	鳥取県	三朝町	三朝町総合文化ホール	新型コロナウイルス感染の影響で中止
大津	10.24	土	滋賀県	米原市	米原市民交流プラザ	
釧路	11.21	土	北海道	厚岸町	厚岸町社会福祉センター	新型コロナウイルス感染の影響で中止
千葉	12.11	金	千葉県	東庄町	東庄町公民館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
仙台	21. 1.16	土	宮城県	女川町	女川町生涯学習センターホール	
徳島	2.13	土	徳島県	藍住町	藍住町総合文化ホール	新型コロナウイルス感染の影響で中止
岡山	2.27	土	岡山県	井原市	井原市民会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止

■ベストオブクラシック【4本】

実施局	実施年月日	曜日	実施県名	実施地名	会場	備考
秋田	20. 4.26	日	秋田県	横手市	横手市民会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止
室蘭	11.29	日	北海道	伊達市	だて歴史の杜カルチャーセンター	
岡山	12.11	金	岡山県	津山市	津山文化センター	
神戸	21. 2.13	土	兵庫県	相生市	相生市文化会館	

■リサイタル・パッシオ【2本】

実施局	実施年月日	曜日	実施県名	実施地名	会場	備考
神戸	20.10.24	土	兵庫県	芦屋市	芦屋市民センター	
京都	21. 3. 6	土	京都府	宇治市	宇治市文化会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止

■吹奏楽のひびき【2本】

実施局	実施年月日	曜日	実施県名	実施地名	会場	備考
福岡	20. 9.26	土	福岡県	春日市	春日市ふれあい文化センター	
名古屋	21. 2.28	日	愛知県	知多市	知多市勤労文化会館	

■弾き語りフォーユー【1本】

実施局	実施年月日	曜日	実施県名	実施地名	会場	備考
甲府	20. 6.19	金	山梨県	山梨市	山梨市花かげホール	新型コロナウイルス感染の影響で中止

■×（かける）クラシック【1本】

実施局	実施年月日	曜日	実施県名	実施地名	会場	備考
甲府	21. 2. 7	日	山梨県	南アルプス市	桃源文化会館	新型コロナウイルス感染の影響で中止

■ブラボー！オーケストラ【1本】

実施局	実施年月日	曜日	実施県名	実施地名	会場	備考
さいたま	21. 2.14	日	埼玉県	和光市	和光市民文化センター	

視聴者対応 | NHKホール使用状況（2020年度）

		使用実績	催物入場者数	催物内容
NHK使用	無料催物	110日	5,304人	うたコン ザ少年倶楽部 みんなＤＥどーもくん！ 新・ＢＳ日本のうた ライブ・エール〜今こそ音楽でエールを〜 The Covers'Fes.2020 Ｎコン2020　みんなのコンサート シンフォニック特撮ヒーローズ 第71回ＮＨＫ紅白歌合戦　　他
	有料催物	3日	1,392人	第64回ＮＨＫニューイヤーオペラコンサート
	その他	27日	0人	リサイタル・パッシオ 100年インタビュー 今夜も生でさだまさし
	整備・保守	188日	—	設備点検・保守，夏期集中工事， 放送設備舞台運営設備撤去工事　　他
	小計	328日	6,696人	
N響利用		23日	13,116人	定期公演 Ｎ響　夏のフレッシュコンサート Ｎ響「第９」演奏会
外部利用		14日	12,876人	平沢進＋会人 Live2020 東京事変　Live Tour 2020 郷ひろみ　Concert Tour2020-2021 第64回町村議会議長全国大会 葉加瀬太郎コンサートツアー2020　　他
総数		365日	32,688人	

○開館以来の総入場者数　31,926,846人（1973.6.20〜2021.3.31）
○パイプオルガンの使用　7回

視聴者対応 | 受信料制度

NHKの使命は，全国あまねく，豊かで良い番組による放送サービスを提供することである。NHKの放送事業は，放送法によって定められ，その財源は，受信料によって支えられている。

NHKへの理解と支持に基づき，受信契約の維持・増加，収納業務の推進などNHKの財源を確保することが，営業活動の大きな柱である。

NHKの放送を受信できる設備を設置した場合は，放送法第64条に基づいて，総務大臣の認可を得た「日本放送協会放送受信規約」によって，受信契約を結び，受信料の免除は同じく総務大臣の認可を得た「日本放送協会放送受信料免除基準」に該当する受信契約者に対してのみ行うことになっている。

（１）受信料の性格

受信料とは，公共放送としてのNHKの自主自律，放送の不偏不党を財政面から保障するものであり，NHKを維持・運営するため，法律によってNHKにのみ徴収権が認められた「特殊な負担金」である。

（２）受信契約の単位

受信契約は，世帯ごとに行う（世帯とは，住居と生計をともにする者の集まりをいう）。

ホテル，事業所など住居以外に設置した受信機については，設置場所ごとに行う。

①世帯に設置する受信機

同一世帯では，１つの住居に受信機を２台以上設置しても，１契約でよい。ただし，同じ住居内に住んでいても，間借り，下宿のような世帯が別になっている場合には，それぞれ世帯ごとに契約する。

同一世帯でも，２つ以上の住居に受信機を設置する場合（別荘など）は，受信機を設置する住居ごとに契約する。

②事業所など住居以外に設置する受信機

会社・ホテル・船舶などに設置する場合は，受信機の設置場所ごとに契約する。

（３）受信契約の種別

受信契約の種別は，次のとおり。

①地上契約

地上系テレビ放送のみを受信する場合の契約

②衛星契約

衛星系と地上系のテレビ放送の受信契約

③特別契約

自然の地形が原因で地上系テレビ放送の視聴が困難な地域，または，列車・電車など営業用の移動体において衛星系テレビ放送のみを受信する場合の契約

（４）支払方法

受信契約者は，受信機の設置の月の翌月から解約となった月の前月（受信機を設置した月に解約となった受信契約者については，当該月とする）まで，以下の方法により，所定の受信料を支払うこととなっている。

①口座振替

NHKの指定する金融機関に設定する預金口座等から，NHKの指定日に自動振替によって行う支払い。

②クレジットカード等継続払

NHKの指定するクレジット会社等との契約に基づき，クレジット会社等に継続して立て替えさせることによって行う支払い。

③継続振込

NHKの指定する金融機関，郵便局，コンビニエンスストアなどで，NHKが定期的に送付する払込用紙により支払期日まで継続して振り込む支払い。

（５）受信料の免除

公共放送として放送の普及を図るため，社会福祉と教育の分野を対象に，総務大臣の認可を得た基準により，受信料を免除している。

免除には，全額を免除するものと，半額を免除するものの２種類がある。

①全額免除

〔施設を対象〕

社会福祉施設等，学校（小学校・中学校・特別支援学校および幼稚園など）。

〔個人を対象〕

公的扶助受給者，市町村民税非課税の障害者，社会福祉施設等入所者，奨学金受給対象等の別住居の学生，災害被災者。

②半額免除

〔個人を対象〕

視覚・聴覚障害者，重度の障害者，重度の戦傷病者。

（６）新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う措置

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い，国民生活・経済に甚大な影響が及び，未曽有の状況となっているという認識のもと，2020年３月より専用窓口を開設し，受信料の支払期限の延伸などに関する相談を受け付けるなど，丁寧な対応に努めた。併せて，2020年５月には，延滞利息に関して支払いを猶予した方が不利益を被らないよう，放送受信規約を変更した（2021年３月に再度変更）。

また，同５月に緊急的な措置として，持続化給付金の給付決定を受けた事業者が，事業所内に設置した受信機の受信契約について免除申請された場合，受信料を２か月間全額免除するよう，放送受信料免除基準を変更した。

■2020年9月まで

受信料額

種　別	支払方法	月　額	6か月前払額	12か月前払額
地上契約	口座・クレジット	1,260円	7,190円	13,990円
	継続振込等	1,310円	7,475円	14,545円
衛星契約	口座・クレジット	2,230円	12,730円	24,770円
	継続振込等	2,280円	13,015円	25,320円
特別契約	口座・クレジット	985円	5,620円	10,940円
	継続振込等	1,035円	5,905円	11,490円

家族割引における割引額

種　別	支払方法	月　額	6か月前払額	12か月前払額
地上契約	口座・クレジット	630円	3,595円	6,995円
	継続振込等	655円	3,738円	7,273円
衛星契約	口座・クレジット	1,115円	6,365円	12,385円
	継続振込等	1,140円	6,508円	12,660円
特別契約	口座・クレジット	493円	2,810円	5,470円
	継続振込等	518円	2,953円	5,745円

受信料額（沖縄県）

種　別	支払方法	月　額	6か月前払額	12か月前払額
地上契約	口座・クレジット	1,105円	6,300円	12,255円
	継続振込等	1,155円	6,585円	12,810円
衛星契約	口座・クレジット	2,075円	11,840円	23,030円
	継続振込等	2,125円	12,125円	23,585円

家族割引における割引額（沖縄県）

種　別	支払方法	月　額	6か月前払額	12か月前払額
地上契約	口座・クレジット	553円	3,150円	6,128円
	継続振込等	578円	3,293円	6,405円
衛星契約	口座・クレジット	1,038円	5,920円	11,515円
	継続振込等	1,063円	6,063円	11,793円

■2020年10月～

受信料額

種　別	支払方法	月　額	6か月前払額	12か月前払額
地上契約	口座・クレジット	1,225円	7,015円	13,650円
	継続振込等	1,275円	7,300円	14,205円
衛星契約	口座・クレジット	2,170円	12,430円	24,185円
	継続振込等	2,220円	12,715円	24,740円
特別契約	口座・クレジット	955円	5,475円	10,650円
	継続振込等	1,005円	5,760円	11,205円

家族割引における割引額

種　別	支払方法	月　額	6か月前払額	12か月前払額
地上契約	口座・クレジット	613円	3,508円	6,825円
	継続振込等	638円	3,650円	7,103円
衛星契約	口座・クレジット	1,085円	6,215円	12,093円
	継続振込等	1,110円	6,358円	12,370円
特別契約	口座・クレジット	478円	2,738円	5,325円
	継続振込等	503円	2,880円	5,603円

受信料額（沖縄県）

種　別	支払方法	月　額	6か月前払額	12か月前払額
地上契約	口座・クレジット	1,075円	6,165円	11,995円
	継続振込等	1,125円	6,450円	12,555円
衛星契約	口座・クレジット	2,020円	11,580円	22,530円
	継続振込等	2,070円	11,865円	23,090円

家族割引における割引額（沖縄県）

種　別	支払方法	月　額	6か月前払額	12か月前払額
地上契約	口座・クレジット	538円	3,083円	5,998円
	継続振込等	563円	3,225円	6,278円
衛星契約	口座・クレジット	1,010円	5,790円	11,265円
	継続振込等	1,035円	5,933円	11,545円

多数一括支払いにおける割引額

契約種別ごとの契約件数	契約種別ごとの全契約を対象に1件あたり減ずる月額	
	衛星契約	特別契約
10件以上	300円	90円

事業所割引・家族割引との併用を可能とする。

また，事業所割引との併用がない場合で，衛星契約が９件である場合は，衛星契約の件数を10件として受信料額を算定する。事業所割引との併用がある場合で衛星契約が８件または９件（沖縄県区域においては，７件（12か月前払である場合に限る），８件または９件）である場合は，衛星契約の件数を10件として受信料の額を算定する。（※2020年４月現在）

団体一括支払いにおける割引額

契約種別	割　引　額
衛星契約 特別契約	すべての契約件数を対象に，支払区分が継続振込等の放送受信料額から１件あたり月額200円割引

受信料額の推移（月額）

改定時期	地上			
	カラー	（沖縄）	普通	（沖縄）
1972. 5	465円	400円	315円	250円
76. 6	710円	400円	420円	250円
77. 4	710円	610円	420円	330円
80. 5	880円	760円	520円	410円
84. 4	1,040円	900円	680円	540円
89. 4	1,070円	920円	700円	550円
90. 4	1,370円	1,220円	890円	740円
97. 4	1,395円	1,240円	905円	750円
2007.10	1,395円	1,240円	普通契約をカラー契約へ統合	
08.10	1,345円	1,190円	訪問集金廃止により口座振替等の料額に一体化	
12.10	（継続振込等）1,275円	（継続振込等）1,120円	・受信料を値下げ ・支払区分による料額を設定	
14. 4	（継続振込等）1,310円	（継続振込等）1,155円	消費税率の引き上げに伴う変更	
20.10	（同　上）1,275円	（同　上）1,125円	受信料を値下げ	

改定時期	衛星				特別契約
	カラー	（沖縄）	普通	（沖縄）	
1989. 8	2,000円	1,860円	1,630円	1,490円	1,040円
90. 4	2,300円	2,160円	1,820円	1,680円	1,040円
97. 4	2,340円	2,185円	1,850円	1,695円	1,055円
2007.10	2,340円	2,185円	普通契約をカラー契約へ統合		1,055円
08.10	2,290円	2,135円	訪問集金廃止により口座振替等の料額に一体化		1,005円
12.10	（継続振込等）2,220円	（継続振込等）2,065円	・受信料を値下げ ・支払区分による料額を設定		
14. 4	（継続振込等）2,280円	（継続振込等）2,125円	消費税率の引き上げに伴う変更		
20.10	（同上）2,220円	（同上）2,070円	受信料を値下げ		

❶ 都道府県別放送受信契約数表（2020年度）

（単位 件）

都道府県別＼事項別	地上契約	衛星契約等	衛星契約	特別契約	契約総数
全国計	22,031,231	22,742,174	22,728,903	13,271	44,773,405
関東甲信越計	8,167,558	8,895,983	8,891,553	4,430	17,063,541
東京都	2,171,539	2,594,235	2,592,264	1,971	4,765,774
長野県	359,116	437,601	437,514	87	796,717
新潟県	373,428	489,227	489,144	83	862,655
山梨県	195,512	115,702	115,527	175	311,214
神奈川県	1,437,064	1,807,954	1,806,052	1,902	3,245,018
群馬県	404,772	302,793	302,774	19	707,565
茨城県	516,890	483,340	483,321	19	1,000,230
千葉県	1,065,118	1,121,828	1,121,814	14	2,186,946
栃木県	384,866	324,602	324,458	144	709,468
埼玉県	1,259,253	1,218,701	1,218,685	16	2,477,954
近畿計	3,551,189	3,235,930	3,232,711	3,219	6,787,119
大阪府	1,463,655	1,308,417	1,305,817	2,600	2,772,072
京都府	462,023	452,274	452,247	27	914,297
兵庫県	966,808	867,797	867,257	540	1,834,605
和歌山県	199,726	149,137	149,117	20	348,863
奈良県	228,986	216,236	216,229	7	445,222
滋賀県	229,991	242,069	242,044	25	472,060
中部計	3,104,412	3,387,161	3,386,416	745	6,491,573
愛知県	1,353,221	1,320,056	1,319,602	454	2,673,277
石川県	215,012	217,955	217,941	14	432,967
静岡県	587,333	779,564	779,506	58	1,366,897
福井県	95,720	178,314	178,297	17	274,034
富山県	149,461	235,942	235,906	36	385,403
三重県	360,613	286,402	286,378	24	647,015
岐阜県	343,052	368,928	368,786	142	711,980
中国計	1,311,062	1,510,088	1,509,351	737	2,821,150
広島県	529,769	567,277	566,974	303	1,097,046
岡山県	347,254	340,900	340,802	98	688,154
島根県	91,809	174,804	174,749	55	266,613
鳥取県	82,913	128,951	128,935	16	211,864
山口県	259,317	298,156	297,891	265	557,473
九州計	2,699,506	2,301,246	2,299,407	1,839	5,000,752
熊本県	316,990	288,267	288,189	78	605,257
福岡県	919,822	860,563	859,458	1,105	1,780,385
長崎県	303,066	212,078	211,999	79	515,144
鹿児島県	355,044	281,798	281,621	177	636,842
宮崎県	188,075	207,177	207,004	173	395,252
大分県	215,077	191,721	191,577	144	406,798
佐賀県	173,608	106,301	106,271	30	279,909
沖縄県	227,824	153,341	153,288	53	381,165
東北計	1,462,709	1,821,216	1,820,434	782	3,283,925
宮城県	352,798	482,723	482,686	37	835,521
秋田県	150,930	247,467	247,358	109	398,397
山形県	176,795	221,795	221,692	103	398,590
岩手県	218,753	262,487	262,310	177	481,240
福島県	313,724	356,512	356,369	143	670,236
青森県	249,709	250,232	250,019	213	499,941
北海道計	1,040,806	882,286	881,605	681	1,923,092
北海道	1,040,806	882,286	881,605	681	1,923,092
四国計	693,989	708,264	707,426	838	1,402,253
愛媛県	270,382	249,152	248,591	561	519,534
高知県	118,290	152,830	152,725	105	271,120
徳島県	113,920	143,587	143,485	102	257,507
香川県	191,397	162,695	162,625	70	354,092

❷ 受信契約数の推移

（単位 件）

契約種別 / 年度別	地上契約		衛星契約	
	年度内増減数	年度末契約数	年度内増減数	年度末契約数
1994	△ 392,243	28,446,235	717,182	6,566,667
95	△ 443,825	28,002,410	792,121	7,358,788
96	△ 358,035	27,644,375	797,066	8,155,854
97	△ 157,559	27,486,816	624,793	8,780,647
98	△ 353,970	27,132,846	670,375	9,451,022
99	△ 323,675	26,809,171	604,613	10,055,635
2000	△ 156,137	26,653,034	554,516	10,610,151
01	△ 138,762	26,514,272	543,620	11,153,771
02	△ 138,670	26,375,602	413,112	11,566,883
03	△ 228,085	26,147,517	432,317	11,999,200
04	△ 585,710	25,561,807	350,492	12,349,692
05	△ 592,492	24,969,315	183,551	12,533,243
06	△ 344,278	24,625,037	379,527	12,912,770
07	△ 244,629	24,380,408	501,053	13,413,823
08	△ 176,925	24,203,483	575,170	13,988,993
09	△ 23,316	24,180,167	753,288	14,742,281
10	△ 101,278	24,078,889	920,006	15,662,287
11	△ 299,981	23,778,908	823,727	16,486,014
12	△ 323,869	23,455,039	877,379	17,363,393
13	△ 274,968	23,180,071	858,865	18,222,258
14	△ 291,928	22,888,143	880,353	19,102,611
15	△ 238,629	22,649,514	819,300	19,921,911
16	△ 162,567	22,486,947	733,979	20,655,890
17	11,657	22,498,604	807,840	21,463,730
18	481	22,499,085	737,377	22,201,107
19	△ 164,454	22,334,631	675,685	22,876,792
20	△ 303,400	22,031,231	△ 147,889	22,728,903

契約種別 / 年度別	特別契約		合　計	
	年度内増減数	年度末契約数	年度内増減数	年度末契約数
1994	1,222	14,267	326,161	35,027,169
95	1,830	16,097	350,126	35,377,295
96	△ 303	15,794	438,728	35,816,023
97	△ 403	15,391	466,831	36,282,854
98	△ 2,142	13,249	314,263	36,597,117
99	299	13,548	281,237	36,878,354
2000	△ 3,041	10,507	395,338	37,273,692
01	△ 4	10,503	404,854	37,678,546
02	△ 248	10,255	274,194	37,952,740
03	△ 278	9,977	203,954	38,156,694
04	△ 248	9,729	△ 235,466	37,921,228
05	27	9,756	△ 408,914	37,512,314
06	△ 145	9,611	35,104	37,547,418
07	△ 17	9,594	256,407	37,803,825
08	219	9,813	398,464	38,202,289
09	△ 46	9,767	729,926	38,932,215
10	207	9,974	818,935	39,751,150
11	△ 442	9,532	523,304	40,274,454
12	647	10,179	554,157	40,828,611
13	△ 367	9,812	583,530	41,412,141
14	254	10,066	588,679	42,000,820
15	1,233	11,299	581,904	42,582,724
16	186	11,485	571,598	43,154,322
17	352	11,837	819,849	43,974,171
18	2,037	13,874	739,895	44,714,066
19	3	13,877	511,234	45,225,300
20	△ 606	13,271	△ 451,895	44,773,405

❸ 月別受信契約数（2020年度）

（単位 件）

	地上契約		衛星契約	
	増減数	現在数	増減数	現在数
2020年 3 月末		22,334,631		22,876,792
4 月	△ 8,774	22,325,857	11,107	22,887,899
5 月	△ 34,382	22,291,475	△ 38,859	22,849,040
6 月	△ 38,810	22,252,665	△ 35,749	22,813,291
7 月	△ 34,453	22,218,212	1,575	22,814,866
8 月	△ 37,748	22,180,464	△ 5,694	22,809,172
9 月	△ 27,243	22,153,221	△ 20,651	22,788,521
10月	△ 45,261	22,107,960	△ 14,310	22,774,211
11月	△ 48,030	22,059,930	△ 6,081	22,768,130
12月	△ 3,329	22,056,601	1,770	22,769,900
2021年 1 月	△ 6,942	22,049,659	△ 11,192	22,758,708
2 月	△ 2,619	22,047,040	△ 16,885	22,741,823
3 月	△ 15,809	22,031,231	△ 12,920	22,728,903
年　度　計	△ 303,400	—	△ 147,889	—

	特別契約		合　計	
	増減数	現在数	増減数	現在数
2020年 3 月末		13,877		45,225,300
4 月	△ 3	13,874	2,330	45,227,630
5 月	△ 37	13,837	△ 73,278	45,154,352
6 月	△ 3	13,834	△ 74,562	45,079,790
7 月	△ 22	13,812	△ 32,900	45,046,890
8 月	△ 204	13,608	△ 43,646	45,003,244
9 月	△ 5	13,603	△ 47,899	44,955,345
10月	△ 2	13,601	△ 59,573	44,895,772
11月	△ 9	13,592	△ 54,120	44,841,652
12月	△ 64	13,528	△ 1,623	44,840,029
2021年 1 月	194	13,722	△ 17,940	44,822,089
2 月	△ 236	13,486	△ 19,740	44,802,349
3 月	△ 215	13,271	△ 28,944	44,773,405
年　度　計	△ 606	—	△ 451,895	—

❹ 受信料免除契約（2021年3月末現在）

区分	地上契約		衛星契約	
総数	2,617,750件	(%)	1,029,833件	(%)
社会福祉施設等	261,041	10.8	73,006	10.9
学校	472,210	19.6	12,589	1.9
公的扶助受給者	994,326	41.2	149,521	22.4
市町村民税非課税の障害者	482,485	20.0	336,125	50.3
社会福祉施設等入所者	143,923	6.0	41,171	6.1
奨学金受給対象等の別住居の学生	57,960	2.4	56,069	8.4
全額免除計	2,411,945件	100.0％	668,481件	100.0％
視覚，聴覚障害者	47,845	23.2	75,906	21.0
重度の障害者	157,479	76.6	284,718	78.8
重度の戦傷病者	481	0.2	728	0.2
半額免除計	205,805件	100.0％	361,352件	100.0％

区分	特別契約		契約総数	
総数	85件	(%)	3,647,668件	(%)
社会福祉施設等	3	4.4	334,050	10.9
学校	23	33.3	484,822	15.7
公的扶助受給者	7	10.1	1,143,854	37.1
市町村民税非課税の障害者	32	46.4	818,642	26.6
社会福祉施設等入所者	4	5.8	185,098	6.0
奨学金受給対象等の別住居の学生	0	0.0	114,029	3.7
全額免除計	69件	100.0％	3,080,495件	100.0％
視覚，聴覚障害者	5	31.3	123,756	21.8
重度の障害者	11	68.7	442,208	78.0
重度の戦傷病者	0	0.0	1,209	0.2
半額免除計	16件	100.0％	567,173件	100.0％

経営 NHK経営委員会委員・NHK監査委員会委員・NHK役員

※2021年３月31日現在

NHK経営委員会

委員長
森下　俊三（2015年３月１日委員就任／2018年３月13日委員長職務代行者就任／2019年12月24日委員長就任）
関西情報センター会長

委員長職務代行者
村田　晃嗣（2018年３月１日委員就任／2019年12月24日委員長職務代行者就任）
同志社大学法学部教授

委員
明石　伸子（2019年６月20日就任）
NPO法人日本マナー・プロトコール協会理事長

井伊　雅子（2015年３月１日就任）
一橋大学国際・公共政策大学院教授

礒山　誠二（2019年12月11日就任）
九州リースサービス代表取締役社長

尾崎　裕（2021年３月１日就任）
大阪瓦斯取締役相談役

堰八　義博（2016年６月20日就任）
北海道銀行代表取締役会長

高橋　正美（2017年２月16日就任）
常勤／元損害保険ジャパン日本興亜代表取締役副社長執行役員

長谷川　三千子（2013年12月11日就任）
埼玉大学名誉教授

不破　泰（2021年３月１日就任）
信州大学学術研究院（工学系）教授

水尾　衣里（2019年12月11日就任）
名城大学人間学部教授

渡邊　博美（2016年６月20日就任）
福島ヤクルト販売代表取締役会長

NHK監査委員会

高橋　正美（2017年２月16日就任）
常勤

水尾　衣里（2021年２月24日就任）
非常勤

渡邊　博美（2018年３月13日就任）
非常勤

NHK役員

会長
前田　晃伸（2020年１月25日就任）

副会長
正籬　聡（2020年２月12日就任）

専務理事
松坂　千尋（2018年４月25日理事就任／2020年４月25日専務理事就任）

専務理事
板野　裕爾（2019年４月25日就任）

専務理事・技師長
児野　昭彦（2017年４月25日就任）

専務理事
中田　裕之（2017年４月25日理事就任／2020年４月25日専務理事就任）

理事
角　英夫（2020年４月25日就任）

理事
若泉　久朗（2020年4月25日就任）

理事
松崎　和義（2020年4月25日就任）

理事
小池　英夫（2020年4月25日就任）

理事
田中　宏暁（2020年4月25日就任）

理事
林　理恵（2020年4月25日就任）

経営 NHK歴代経営委員長・NHK歴代会長

※2021年３月31日現在

歴代経営委員長

矢野　一郎	1950. 6. 1～56. 6. 5
阿部真之助	56. 6. 7～60.10.15
千葉雄次郎	61. 3.22～65.12.16
靱（うつぼ）　勉	65.12.23～67. 6.23
松坂　佐一	67. 7.10～67.11.27
平塚　泰蔵	67.12.21～69. 4. 7
伊藤佐十郎	69. 4.22～74. 7.31
工藤信一良	74. 9.24～78.10.20
伊藤　義郎	78.10.23～80. 4.24
原　俊之	80. 5.13～81.11.12
吉武　信	81.11.24～84.12.21
竹田弘太郎	84.12.24～86.10.28
磯田　一郎	86.11.11～89. 4.10
天野　歓三	89. 4.12～90.12.21
竹見　淳一	90.12.25～92.12.10
小林庄一郎	92.12.22～98. 6.18
須田　寛	98. 6.23～04.12.10
石原　邦夫	2004.12.21～07. 4.10
古森　重隆	07. 6.26～08.12.21
小丸　成洋	08.12.22～11. 1.25
數土（すど）　文夫	11. 4.12～12. 5.24
浜田健一郎	12. 9.11～16. 6.19
石原　進	16. 6.28～19.12.10
森下　俊三	19.12.24～

歴代会長

（没）は在職中の死去

岩原　謙三	1926. 8. 6～36. 7.12(没)
小森　七郎	36. 9. 5～43. 5.15
下村　宏	43. 5.15～45. 4. 7
大橋　八郎	45. 4.21～46. 2.20
高野岩三郎	46. 4.26～49. 4. 5(没)
古垣　鐵郎	49. 5.30～56. 6.13
永田　清	56. 6.13～57.11. 3(没)
野村　秀雄	58. 1.14～60.10.17
阿部真之助	60.10.17～64. 7. 9(没)
前田　義徳	64. 7.17～73. 7.16
小野　吉郎	73. 7.17～76. 9. 4
坂本　朝一	76. 9.21～82. 7. 2
川原　正人	82. 7. 3～88. 7. 2
池田　芳藏	88. 7. 3～89. 4. 4
島　桂次	89. 4.12～91. 7.16
川口　幹夫	91. 7.31～97. 7.30
海老沢勝二	97. 7.31～05. 1.25
橋本　元一	2005. 1.25～08. 1.24
福地　茂雄	08. 1.25～11. 1.24
松本　正之	11. 1.25～14. 1.24
籾井　勝人	14. 1.25～17. 1.24
上田　良一	17. 1.25～20. 1.24
前田　晃伸	20. 1.25～

国内放送番組審議会

中央放送番組審議会

秋田　正紀　松屋代表取締役社長執行役員
○石戸奈々子　CANVAS理事長
石堂　真弘　全国農業協同組合中央会常務理事
磯崎　功典　キリンホールディングス代表取締役社長
今井　　忠　東京都自閉症協会理事長
大川　順子　日本航空特別理事
小沢　秀行　朝日新聞社論説副主幹
尾上　　紫　日本舞踊家，女優
木村たま代　主婦連合会事務局長
栗原　　友　料理家
◎國土　典宏　国立国際医療研究センター理事長
佐倉　　統　東京大学大学院情報学環教授，理化学研究所革新知能統合研究センターチームリーダー
柴田　　岳　読売新聞大阪本社代表取締役社長
仲條　亮子　グーグル執行役員，YouTube日本代表
花岡　伸和　日本パラ陸上競技連盟副理事長
福井　　烈　日本テニス協会専務理事
安河内賢弘　JAM会長

関東甲信越地方放送番組審議会

泉田　佑子　書家
尾形　玲子　養蜂家・ひふみ養蜂園代表取締役
◎奥山千鶴子　びーのびーの理事長
○小野　訓啓　めぶきフィナンシャルグループ取締役
片桐　幹雄　野沢温泉代表取締役社長
斉藤とも子　俳優，社会福祉士・介護福祉士
杉山　弘子　アサヤ食品代表取締役社長
杉山　正司　埼玉県立文書館元館長
仁衡　琢磨　ペンギンシステム代表取締役社長
宮田麻一美　万座温泉日進舘女将

近畿地方放送番組審議会

○帯野久美子　関西経済同友会常任幹事
黒木　麻実　全国消費生活相談員協会関西支部副支部長
佐伯　順子　同志社大学社会学部教授
笹岡　隆甫　華道未生流笹岡三代家元
◎篠　　雅廣　大阪市立美術館館長
鈴木　元子　杉本や編集処編集者
添田　隆昭　総本山金剛峯寺執行長，高野山真言宗宗務総長，高野山学園理事長
平田オリザ　劇作家，演出家
堀江　尚子　くさつ未来プロジェクト代表
矢崎　和彦　フェリシモ代表取締役社長
安井　良則　大阪府済生会中津病院臨床教育部部長兼感染管理室室長

中部地方放送番組審議会

稲垣　貴彦　若鶴酒造取締役
遠藤　英俊　名城大学特任教授
岡安　大助　中日新聞社取締役
榊原　陽子　マザーリーフ代表取締役
○坂田　守史　デザインスタジオ・ビネン代表取締役
玉井　博祜　能楽師，玉井屋本舗社長
成島　洋子　静岡県舞台芸術センター芸術局長
平本督太郎　金沢工業大学SDGs推進センター長
廣田　憲吾　愛知県農業協同組合中央会常務理事
◎松田　裕子　三重大学副学長
安井　香一　東邦ガス代表取締役会長

中国地方放送番組審議会

安彦恵里香　Social Book Cafeハチドリ舎店主
伊藤　康丈　イワミノチカラ代表理事
笠原　　浩　広島市立大学芸術学部デザイン工芸学科教授
川井田祥子　鳥取大学地域学部教授
○小嶋ひろみ　夢二郷土美術館館長代理
坂本　直子　走健塾ランニングアドバイザー
鷲見　寛幸　大山町教育委員会教育長
古市　了一　ふるいち代表取締役
松浦奈津子　Archis代表取締役社長
◎松嶋　匡史　瀬戸内ジャムズガーデン代表取締役
松本　協一　双湖事業化計画代表社員
宮﨑　智三　中国新聞社論説主幹

九州沖縄地方放送番組審議会

秋本　順子　金属造形作家
乾　　眞寛　福岡大学スポーツ科学部教授
大鋸あゆり　伊万里ケーブルテレビジョン取締役放送部長
楠田　喜隆　雲仙きのこ本舗常務取締役
籠田　淳子　ゼムケンサービス代表取締役
関西　剛康　南九州大学環境園芸学部教授
○田川　大介　西日本新聞社編集局総務
◎富田めぐみ　琉球芸能大使館代表
西野友季子　ニュー西野ビル代表取締役
古荘　貴敏　古荘本店代表取締役社長

東北地方放送番組審議会

丑田　香澄　ドゥーラ協会理事
桂木　宣均　日本地下水開発代表取締役社長
◎坂田　裕一　いわてアートサポートセンター理事長
佐藤勘三郎　ホテル佐勘代表取締役社長
○佐藤　美嶺　防災士
鷹山ひばり　七戸町立鷹山宇一記念美術館館長
南條　和恵　仙台大学柔道部女子監督
西内みなみ　桜の聖母短期大学学長
宮川　　宏　河北新報社論説委員会副委員長
八代　浩久　東北電力取締役常務執行役員

北海道地方放送番組審議会

今村　江穂　子どもと文化のひろば　ぷれいおん・とかち理事長
桐生　宇優　北雄ラッキー代表取締役社長
倉本ひと恵　オホーツクベーグル代表
齋藤　拓也　北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院准教授
佐々木良榮　デザイナー，良栄・PLAN代表取締役
成田　正夫　ながぬま農業協同組合代表理事組合長
西村　卓也　北海道新聞社論説主幹
◎蛭田亜紗子　小説家
船山　大介　No Limits理事長
○村田　　博　村田商店代表取締役

四国地方放送番組審議会

阿部　和孝　松山市農業協同組合代表理事組合長
小松　圭子　はたやま夢楽代表取締役社長
○柴田　智恵　大豊陸送代表取締役社長
田井ノエル　小説家
床桜　英二　徳島文理大学総合政策学部教授
土佐　礼子　三井住友海上火災保険陸上競技部プレーイングアドバイザー
中矢　憲吉　愛媛新聞社編集局次長
滑川　里香　マチのコトバ徳島代表理事
西本　佳代　香川大学大学教育基盤センター准教授
◎半井　真司　四国旅客鉄道代表取締役会長
村上健太郎　砂浜美術館理事長

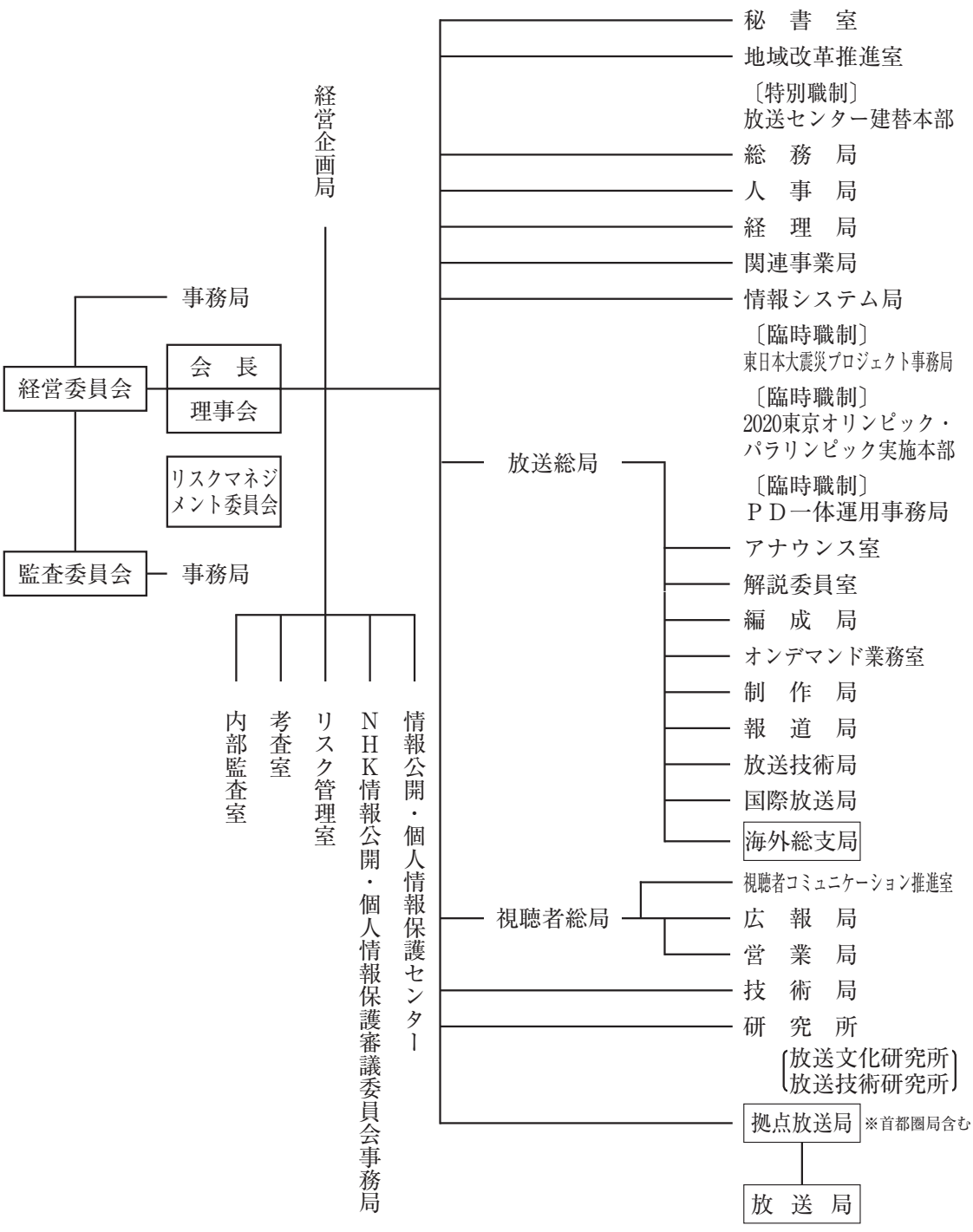
国際放送番組審議会

岡田　亜弥　名古屋大学大学院国際開発研究科教授
鎌田由美子　株式会社ONE・GLOCAL代表取締役，クリエイティブ・ディレクター
◎河合祥一郎　東京大学大学院総合文化研究科教授
○河野　雅治　日本国政府代表・中東和平担当特使
阪田　恭代　神田外語大学外国語学部教授
佐藤可士和　クリエイティブディレクター，株式会社サムライ代表取締役
佐藤たまき　古生物学者，東京学芸大学教育学部准教授
田中浩一郎　慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授，一般財団法人日本エネルギー経済研究所参与
中曽　　宏　株式会社大和総研理事長
平子　裕志　全日本空輸株式会社代表取締役社長
村上由美子　経済協力開発機構（OECD）東京センター所長

放送技術審議会

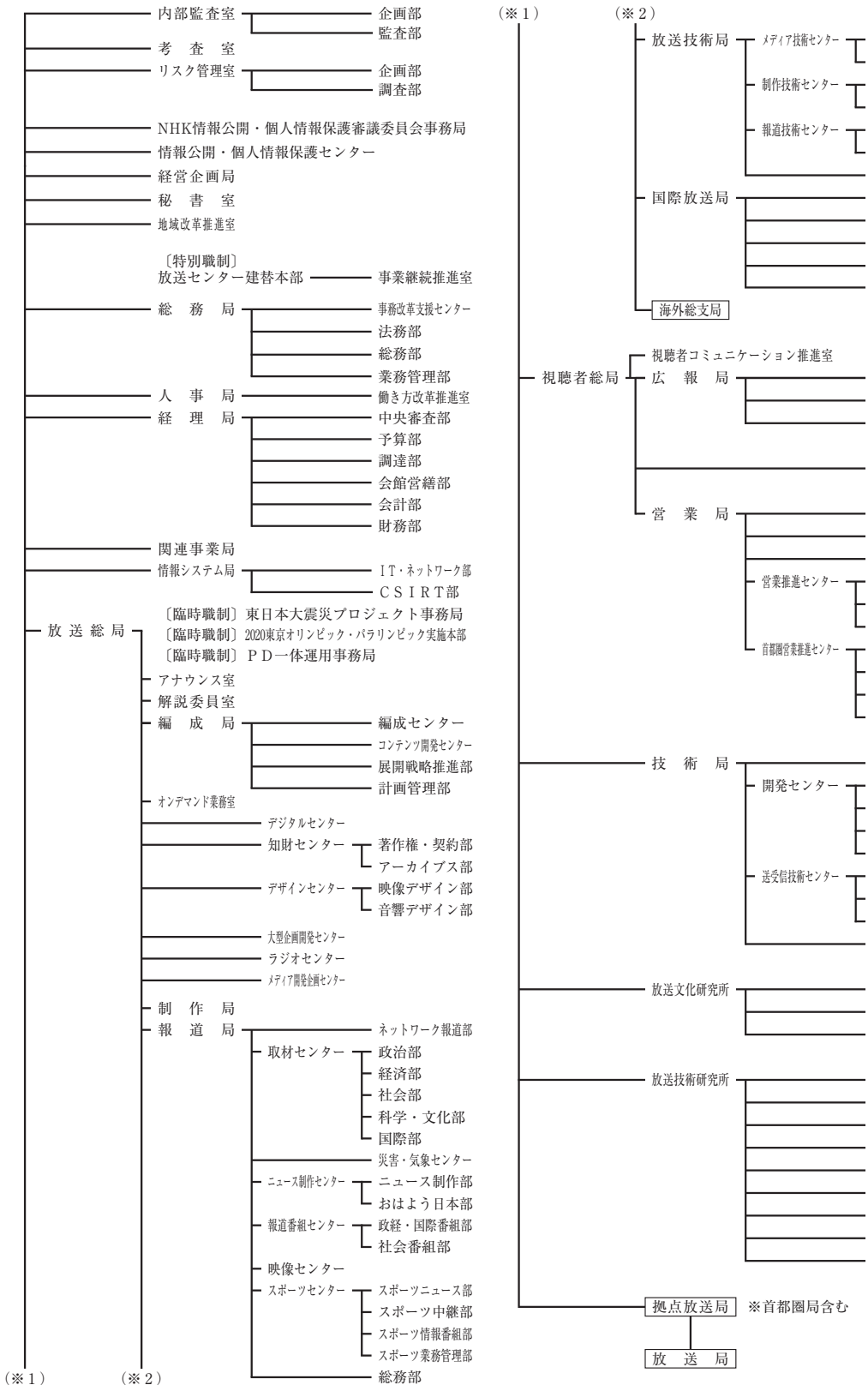
◎安藤　　真　東京工業大学名誉教授
内田麻理香　サイエンスコミュニケーター，東京大学特任講師
大槻　知明　慶應義塾大学理工学部教授
河合　俊明　株式会社TBSテレビ取締役副社長
川上　景一　一般社団法人電子情報技術産業協会業務執行理事・常務理事
川添　雄彦　日本電信電話株式会社常務執行役員研究企画部門長
喜連川　優　情報・システム研究機構理事，国立情報学研究所所長，東京大学生産技術研究所教授
児玉　俊介　一般社団法人電波産業会専務理事
○田中　弘美　立命館大学学長特別補佐
塩入　　諭　東北大学電気通信研究所所長
塚本　幹夫　株式会社ワイズ・メディア取締役，メディアストラテジスト
巻口　英司　総務省国際戦略局長
松尾　泰樹　文部科学省文部科学審議官
山本多絵子　富士通株式会社理事・CMO
吉村　和幸　KDDI株式会社取締役執行役員・技術統括本部長

NHK組織図（2021年3月31日現在）



注）□は総称として表記

（部局内組織）


内部監査室
企画部
監査部
考　査　室
リスク管理室
企画部
調査部
NHK情報公開・個人情報保護審議委員会事務局
情報公開・個人情報保護センター
経営企画局
秘　書　室
地域改革推進室
〔特別職制〕
放送センター建替本部
事業継続推進室
総　務　局
事務改革支援センター
法務部
総務部
業務管理部
人　事　局
働き方改革推進室
経　理　局
中央審査部
予算部
調達部
会館営繕部
会計部
財務部
関連事業局
情報システム局
ＩＴ・ネットワーク部
ＣＳＩＲＴ部
〔臨時職制〕東日本大震災プロジェクト事務局
〔臨時職制〕2020東京オリンピック・パラリンピック実施本部
〔臨時職制〕ＰＤ一体運用事務局
放送総局
アナウンス室
解説委員室
編　成　局
編成センター
コンテンツ開発センター
展開戦略推進部
計画管理部
オンデマンド業務室
デジタルセンター
知財センター
著作権・契約部
アーカイブス部
デザインセンター
映像デザイン部
音響デザイン部
大型企画開発センター
ラジオセンター
メディア開発企画センター
制　作　局
報　道　局
ネットワーク報道部
取材センター
政治部
経済部
社会部
科学・文化部
国際部
災害・気象センター
ニュース制作センター
ニュース制作部
おはよう日本部
報道番組センター
政経・国際番組部
社会番組部
映像センター
スポーツセンター
スポーツニュース部
スポーツ中継部
スポーツ情報番組部
スポーツ業務管理部
総務部
（※1）
（※2）
（※1）
（※2）
放送技術局
メディア技術センター
運行技術部
クロスメディア部
制作技術センター
制作推進部
制作技術部
報道技術センター
ニュース・ネットワーク部
中継部
総務部
国際放送局
国際企画部
編成・コンテンツ制作部
World News部
多言語メディア部
総務部
海外総支局
視聴者総局
視聴者コミュニケーション推進室
広　報　局
広報部
制作部
視聴者部
事業センター
営　業　局
計画管理部
受信料特別対策センター
IT営業推進部
営業推進センター
業務推進部
委託推進部
法人営業部
首都圏営業推進センター
中央営業センター
池袋営業センター
上野営業センター
西東京営業センター
技　術　局
計画管理部
開発センター
メディア施設部
制作施設部
報道施設部
建築施設部
送受信技術センター
企画部
放送網施設部
送信部
総務部
放送文化研究所
メディア研究部
世論調査部
計画管理部
放送技術研究所
研究企画部
特許部
ネットサービス基盤研究部
伝送システム研究部
テレビ方式研究部
スマートプロダクション研究部
空間表現メディア研究部
新機能デバイス研究部
総務部
拠点放送局
※首都圏局含む
放　送　局
注）　は総称として表記

経営 NHK局所所在地（2021年3月31日現在）

〔本　部〕

放送センター	150-8001	渋谷区神南2-2-1 (03)3465-1111
考査室	105-6217	港区愛宕2-5-1 愛宕MORIタワー17F (03)5400-6942
営業局中央営業センター	150-0041	渋谷区神南1-6-12 渋谷コロンバンビル２F
池袋営業センター	171-8504	豊島区西池袋1-11-1 メトロポリタンプラザビル15F (03)3984-6731
上野営業センター	110-8766	台東区東上野5-1-5 日新上野ビル３F (03)3845-8830
西東京営業センター	190-0012	立川市曙町2-22-20 立川センタービル12F (042)528-6000
NHKアーカイブス	333-0844	川口市上青木3-12-63 (048)268-8807
墨田放送所	131-0045	墨田区押上1-1-2 東京スカイツリーイーストタワー15F (03)3626-0271
菖蒲久喜ラジオ放送所	346-0104	久喜市菖蒲町三箇3047-1 (0480)85-1118
多摩支局（報道室）	190-0012	立川市曙町2-22-20 立川センタービル12F (042)523-5328
放送文化研究所	105-6216	港区愛宕2-5-1 愛宕MORIタワー16F (03)3465-1111
放送博物館	105-0002	港区愛宕2-1-1 (03)5400-6900
放送技術研究所	157-8510	世田谷区砧1-10-11 (03)3465-1111
千代田放送会館	102-0094	千代田区紀尾井町1-1 (03)3238-7401

〔関東甲信越地方〕

長野放送局	380-8502	長野市稲葉210-2 (026)291-5200
飯田支局（報道室）	395-0063	飯田市羽場町3-7-3 羽場コーポB号棟 (0265)22-0650
松本支局	390-0815	松本市深志3-10-3
新潟放送局	951-8508	新潟市中央区川岸町1-49 (025)230-1616
長岡支局（報道室）	940-0098	長岡市信濃2-6-1　エーワンビル２F (0258)32-4567
上越支局（報道室）	943-0805	上越市木田2-1-1　山和ビル11F (025)524-5525
甲府放送局	400-8552	甲府市丸の内1-1-20 (055)255-2111
富士吉田支局（報道室）	403-0004	富士吉田市下吉田4-7-53 白須ゲボイデビル２F (0555)22-0180
横浜放送局	231-8324	横浜市中区山下町281 (045)212-2822
かながわ西営業センター	243-0432	海老名市中央2-9-50 海老名プライムタワー12F (046)235-7000
かながわ東営業センター	211-0063	川崎市中原区小杉町1-403 武蔵小杉タワープレイス６F (044)712-1100
横須賀支局（報道室）	238-0004	横須賀市小川町23-1 フドウ横須賀三笠ハイツ1109 (046)822-3760
厚木支局（報道室）	243-0017	厚木市栄町1-16-20 ベルメゾン315 (046)295-0578
小田原支局（報道室）	250-0042	小田原市荻窪531 栢沼ビル３F (0465)35-6411
前橋放送局	371-8555	前橋市元総社町189 (027)251-1711
両毛広域支局（報道室）	373-0851	太田市飯田町924-2 大澤建設第７ビル７F (0276)48-0912
水戸放送局	310-8567	水戸市大町3-4-4 (029)232-9885
つくば支局（報道室）	305-0044	つくば市並木4-16-1 ガーデンヒルズ並木510 (029)852-5211
千葉放送局	260-8610	千葉市中央区千葉港5-1 (043)203-1001
新浦安営業センター	279-0012	浦安市入船1-5-2 プライムタワー新浦安11F (047)316-8300
成田支局（報道室）	282-0011	成田市成田国際空港内第一旅客ターミナル中央ビル新館NC6046 (0476)30-3301
東葛支局（報道室）	270-0033	松戸市新松戸東3-1 メゾンイソップ新松戸802 (047)343-8477
宇都宮放送局	320-8502	宇都宮市中央3-1-2 (028)634-9155
さいたま放送局	330-9310	さいたま市浦和区常盤6-1-21 (048)833-2041
営業部	330-6020	さいたま市中央区新都心11-2　L.A.タワー20F (048)600-6711
さいたま西営業センター	350-1123	川越市脇田本町14-23 カーニープレイス川越１F (049)246-3111

〔近畿地方〕

大阪拠点放送局	540-8501	大阪市中央区大手前4-1-20 (06)6941-0431
南大阪営業センター	545-0052	大阪市阿倍野区阿倍野筋1-5-1あべのルシアス８F (06)6636-2571
北大阪営業センター	560-0082	豊中市新千里東町1-4-1 阪急千里中央ビル６F (06)6835-8001
関西空港支局（報道室）	549-0001	泉佐野市泉州空港北１ 新関西国際空港会社ビル内３F (072)456-7271
京都放送局	604-8515	京都市中京区烏丸通御池下る虎屋町576番地 (075)251-1111
学研都市支局（報道室）	610-0334	京田辺市田辺中央1-7-2 ベルバール新田辺301 (0774)68-2481
丹後舞鶴支局（報道室）	624-0841	舞鶴市字引土小字折原7-10 西矢殖産ビル２F (0773)75-7018
神戸放送局	650-8515	神戸市中央区中山手通2-24-7 (078)252-5000
阪神営業センター	661-0976	尼崎市潮江1-2-6 尼崎フロントビル４F (06)4960-2213
豊岡支局（報道室）	668-0033	豊岡市中央町9-5 サンファミリー豊岡401 (0796)22-3766
姫路支局	670-0961	姫路市南畝町2-53 ネオフィス姫路南401 (079)225-1904
和歌山放送局	640-8556	和歌山市吹上2-3-47 (073)424-8111
南紀新宮支局（報道室）	647-0016	新宮市谷王子456-1 亀屋ビル３F (0735)22-3834
南紀田辺支局（報道室）	646-0014	田辺市新万1-28 ハイツ大要シンマン302 (0739)22-3164
奈良放送局	630-8540	奈良市三条大路1-1-20 (0742)30-0300
奈良やまと路支局（報道室）	634-0063	橿原市久米町652-2 橿原市商工経済会館６F (0744)27-0408
大津放送局	520-0806	大津市打出浜3-30 (077)522-5101
彦根支局（報道室）	522-0041	彦根市平田町421 Nasu１ビル203 (0749)22-2609

〔東海・北陸地方〕

名古屋拠点放送局 461−8725 名古屋市東区東桜1−13−3 (052)952−7000
名古屋駅前営業センター 450−0003 名古屋市中村区名駅南2−14−19 住友生命名古屋ビル23F (052)589−6780
小牧支局（報道室） 480−0202 西春日井郡豊山町豊場字殿釜2 (0568)28−4068
中部空港支局（報道室） 479−0881 常滑市セントレア1−1 MS−1015室 (0569)38−1270
岡崎支局（報道室） 444−0917 岡崎市日名西町2−3 クリエイティブISK604 (0564)25−1787
豊橋支局 440−0801 豊橋市今橋町1−2
金沢放送局 920−8644 金沢市広岡3−2−10 (076)264−7001
能登支局（報道室） 926−0021 七尾市本府中町二部35−1 信開ドムス本府中901 (0767)52−1101
小松支局（報道室） 923−0952 小松市大和町90 グレースヴィレッジ302 (0761)22−5417
静岡放送局 422−8787 静岡市駿河区八幡1−6−1 (054)654−4000
沼津支局（報道室） 410−0836 沼津市吉田町1−1 イースト永代橋ビル２F (055)931−7475
伊東支局（報道室） 414−0046 伊東市大原３丁目15−６ スカイガーデン大原102 (0557)38−8776
浜松支局 430−7701 浜松市中区板屋町111−2 浜松アクトタワー１階 (053)451−5000
福井放送局 910−8680 福井市宝永3−3−5 (0776)28−8850
嶺南支局（報道室） 914−0056 敦賀市津内町2−4−2 NTT敦賀ビル１F (0770)22−3100
富山放送局 930−8502 富山市新総曲輪3−1 (076)444−6600
高岡支局（報道室） 933−0912 高岡市丸の内1−40 高岡商工ビル８F (0766)22−1747
魚津支局（報道室） 937−0801 魚津市新金屋1−12−38 インテリジェントセンタービル４F (0765)24−0123
津放送局 514−8531 津市丸之内養正町4−8 (059)229−3000
四日市支局（報道室） 510−0068 四日市市三栄町3−14 カタオカビル703 (059)353−3351
尾鷲支局（報道室） 519−3653 尾鷲市上野町7−12 (0597)22−1283
岐阜放送局 500−8554 岐阜市京町2−3 (058)264−4611
多治見支局（報道室） 507−0037 多治見市音羽町4−15−1 オリエンタルタワーズウエスト404 (0572)22−6618
高山支局 506−0021 高山市名田町5−95 (0577)32−5215

〔中国地方〕

広島拠点放送局 730−8672 広島市中区大手町2−11−10 (082)504−5111
呉支局（報道室） 737−0045 呉市本通1−1−1 メガネ橋プラザ504 (0823)21−5506
尾道支局（報道室） 722−0037 尾道市西御所町14−15 第６堀田ビル304 (0848)23−3351
福山支局 720−8518 福山市東桜町1−43 備広福山駅前ビル６F (084)922−7300
岡山放送局 700−8621 岡山市北区駅元町15−1 (086)214−4700
倉敷支局（報道室） 710−0803 倉敷市中島2661−1 倉敷ケーブルテレビ情報センター２階 (086)466−5506
松江放送局 690−8601 松江市灘町1−21 (0852)32−0700
浜田支局（報道室） 697−0026 浜田市田町1655 第２オリンピアビル202 (0855)22−1991
鳥取放送局 680−8701 鳥取市寺町100 (0857)29−9200
倉吉支局（報道室） 682−0022 倉吉市上井町2−8−9 ジュネシオン406 (0858)26−5906
米子支局 683−0812 米子市角盤町1−76 (0859)22−6121
山口放送局 753−8660 山口市中園町2−1 (083)921−3737
周南支局（報道室） 745−0034 周南市御幸通2−12 秋本ビル301 (0834)21−2888
岩国支局（報道室） 740−0022 岩国市山手町3−60−1 グランドール岩国弐番館401 (0827)29−3201
萩支局（報道室） 758−0021 萩市今古萩町40−1 平和閣ビル２F (0838)22−2293
下関支局 750−0018 下関市豊前田町3−3−1 海峡メッセ下関501

〔九州・沖縄地方〕

福岡拠点放送局 810−8577 福岡市中央区六本松1−1−10 (092)724−2800
久留米支局（報道室） 830−0018 久留米市通町3−14 ヒルウォーカー通町２F (0942)34−2327
北九州放送局 803−8555 北九州市小倉北区室町1−1−1−20 (093)591−5002
熊本放送局 860−8602 熊本市中央区花畑町5−1 (096)326−8203
水俣支局（報道室） 867−0042 水俣市大園町1−9−2 (0966)63−2802
阿蘇支局（報道室） 869−2612 阿蘇市一の宮町宮地2020−8 プレインマンションアモール301 (0967)22−0346
長崎放送局 850−8603 長崎市西坂町1−1 (095)821−1115
佐世保支局 857−0059 佐世保市元町2−10 ル・モント・ジョリ元町201
鹿児島放送局 892−8603 鹿児島市本港新町4−6 (099)805−7000
鹿児島空港支局（報道室） 899−6404 霧島市溝辺町麓822 鹿児島空港国内線ターミナルビル別館内 (0995)58−4227
奄美支局（報道室） 894−0027 奄美市名瀬末広町18−13 アクサ奄美大島ビル３階303号室 (0997)52−0676
鹿屋支局（報道室） 893−0014 鹿屋市寿2−17−23−3 第２エクセル301 (0994)45−6500
薩摩川内支局（報道室） 895−0021 薩摩川内市向田本町16−12 NTT西日本川内支店内 (0996)23−2900
宮崎放送局 880−8633 宮崎市江平西2−2−15 (0985)32−8111
延岡支局（報道室） 882−0043 延岡市祇園町1−2−7 UMK祇園ビル２階 204号 (0982)32−5172
都城支局（報道室） 885−0022 都城市小松原町10−4 都城NSプラザビル１F (0986)22−3427
大分放送局 870−8660 大分市高砂町2−36 (097)533−2800
日田支局（報道室） 877−0025 日田市田島1−7−5 スカイビル205 (0973)23−5061
佐賀放送局 840−8601 佐賀市城内2−15−8 (0952)28−5000
唐津支局（報道室） 847−0061 唐津市材木町2077−1 N−サイト601 (0955)72−5284
沖縄放送局 900−8535 那覇市おもろまち2−6−21 (098)865−2222
沖縄中部支局（報道室） 904−0014 沖縄市仲宗根町29−9 (098)934−4827

〔東北地方〕

仙台拠点放送局 980−8435 仙台市青葉区本町2−20−1 (022)211−1001
石巻支局（報道室） 986−0833 石巻市日和が丘2−4−12 フレグランスパーク202 (0225)95−5359
気仙沼支局（報道室） 988−0066 気仙沼市東新城1−7−6 プリンセスコート東新城103 (0226)22−6517
秋田放送局 010−8501 秋田市東通仲町4−2 (018)825−8111
横手支局（報道室） 013−0045 横手市南町21−21 コートハウス横手沢N.5 (0182)32−2222
大館支局（報道室） 017−0893 大館市字桂城8−14 朝日生命労働金庫大館ビル3階 (0186)42−4057
山形放送局 990−8575 山形市桜町2−50 (023)625−9511
酒田支局（報道室） 998−0043 酒田市本町1−2−52 酒田共栄火災ビル305号 (0234)22−0073
米沢支局（報道室） 992−0012 米沢市金池8−1−60 鶴巻第五ビル202号室 (0238)22−4225
鶴岡支局 997−0031 鶴岡市錦町2−68 鶴岡SSビル３階
盛岡放送局 020−8555 盛岡市上田4−1−3 (019)626−8811
宮古支局（報道室） 027−0083 宮古市大通4−4−22 朝日生命宮古ビル４F (0193)62−1155
大船渡・陸前高田支局（報道室） 022−0002 大船渡市大船渡町字富沢6−2 フォー・シーズン103 (0192)26−3431
釜石支局（報道室） 026−0013 釜石市浜町1−1釜石市営ビル315 (0193)23−5381
福島放送局 960−8588 福島市早稲町1−2 (024)526−4333
会津若松支局（報道室） 965−0022 会津若松市滝沢町6−25 アルザ302 (0242)22−4550
南相馬支局（報道室） 975−0003 南相馬市原町区栄町3−149 (0244)22−0341
郡山支局 963−8551 郡山市麓山1−5−21 (024)932−5500
いわき支局 970−8026 いわき市平字小太郎町3−4 (0246)25−8111
青森放送局 030−8633 青森市松原2−1−1 (017)774−5111
三沢支局（報道室） 033−0032 三沢市緑町3−3−1 サザンハイツⅡ１F (0176)53−2247
むつ支局（報道室） 035−0072 むつ市小川町2−5−23 ソフィア小川町306号室 (0175)22−2861
弘前支局 036−8356 弘前市下白銀町21−6 (0172)32−5411
八戸支局 031−0051 八戸市堤町4−7 (0178)43−9211

〔北海道地方〕

札幌拠点放送局 060−8703 札幌市中央区大通西1−1 (011)232−4001
北海道中央営業センター 060−8703 札幌市中央区北１西9−1−5 (011)232−4021
北海道南営業センター 040−8680 函館市千歳町13−1 (0138)27−1116
北海道北営業センター 070−8680 旭川市６条通6−27 (0166)24−7100
北海道東営業センター 080−0015 帯広市西５条南7−2−2 (0155)23−3114
千歳支局（報道室） 066−0012 千歳市美々 新千歳空港ターミナル内 (0123)24−2155
小樽支局（報道室） 047−0032 小樽市稲穂2−22−4 樽石ビル６F (0134)23−1844
岩見沢支局（報道室） 068−0021 岩見沢市１条西6−9−3 にれビル３F (0126)22−5861
函館放送局 040−8680 函館市千歳町13−1 (0138)27−0111
旭川放送局 070−8680 旭川市６条通6−27 (0166)24−7000
稚内支局（報道室） 097−0021 稚内市港1−2−3 郡ビル２F (0162)23−3403
帯広放送局 080−0015 帯広市西５条南7−2−2 (0155)23−3111
釧路放送局 085−8660 釧路市幣舞町3−8 (0154)41−9191
根室支局（報道室） 087−0015 根室市花咲町2−31 NTT根室ビル４F (0153)24−4761
北見放送局 090−0035 北見市北斗町2−3−24 (0157)23−4181
室蘭放送局 051−0012 室蘭市山手町1−3−50 (0143)22−7271
苫小牧支局（報道室） 053−0021 苫小牧市若草町3−2−7 大東若草ビル４F (0144)32−3341

〔四国地方〕

松山拠点放送局 790−8501 松山市堀之内５ (089)921−1111
八幡浜支局（報道室） 796−0067 八幡浜市中央163−1 セントルローズ603 (0894)22−2157
今治支局（報道室） 794−0054 今治市北日吉町1−3−15 ヴェルディール北日吉405 (0898)22−4532
高知放送局 780−8512 高知市本町3−3−12 (088)823−2300
高知くろしお支局（報道室） 787−0033 四万十市中村大橋通7−1−24 エルパレス801 (0880)35−3541
徳島放送局 770−8544 徳島市寺島本町東1−28 (088)626−5970
阿南支局（報道室） 774−0030 阿南市富岡町東仲町268−1 ラフォーレ富岡503 (0884)22−0238
高松放送局 760−8686 高松市錦町1−12−7 (087)825−0151
丸亀支局（報道室） 763−0007 丸亀市宗古町13−1 白川ビル403 (0877)25−2678

〔海外総支局〕

アジア総局　NHK General Bureau for Asia, 17th floor, 208 Wireless Road, Lumphini, Pathumwan, Bangkok 10330 Thailand Tel 66-2-251-9701

マニラ支局　NHK Manila Bureau, Unit 505 Tower One and Exchange Plaza, Ayala Triangle, Ayala Avenue, Makati City, Metro Manila, PHILIPPINES Tel 63-2-541-9255

ジャカルタ支局　NHK Jakarta Bureau, Menara Astra, 23rd Fl, JI Jenderal Sudirman Kav. 5-6 Karet Tengsin, Tanah Abang, Jakarta 10220, INDONESIA Tel 62-21-80604271

ハノイ支局　NHK Hanoi Bureau, Suite 16-01, 16F, Hanoi Central Office Bldg., 44B, Ly Thuong Kiet St., Hanoi, Socialist Republic of Vietnam Tel 84-24-3934-8518

ニューデリー支局　NHK New Delhi Bureau, 3rd floor, B.P.no.30, Link Road, Lajpat Nagar-Ⅲ, New Delhi 110024 INDIA Tel 91-11-2983-5052

イスラマバード支局　NHK Islamabad Bureau, 5th Floor, Serena Business Complex, Khayaban-e-Suhrawardy, G-5/1, Islamabad, PAKISTAN Tel 92-51-874-0046

シンガポール支局　NHK Singapore Bureau, 6 Temasek Boulevard #30-02, Suntec Tower 4, Singapore 038986, SINGAPORE Tel 65-6291-2122

シドニー支局　NHK Sydney Bureau, C/O SBS, 14 Herbert St., Artarmon, N.S.W. 2064, AUSTRALIA Tel 61-2-9437-6566

ソウル支局　NHK Seoul Bureau, KBS/IBC 7F, 13, Yeouigongwon-ro, Yeongdeungpo-gu, Seoul, 150-790 REPUBLIC OF KOREA Tel 82-2-785-4325

中国総局　100600中華人民共和国北京市朝陽区建国門外外交人員公寓15-1-111　日本広播協会　中国総局 Tel 86-10-6532-1251

上海支局　200041中華人民共和国上海市静安区新閘路669号　博華広場弁公楼1702室　日本広播協会　上海分局 Tel 86-21-5298-0920

広州支局　510064中華人民共和国広州市環市東路368室花園大厦1238号　日本広播協会　広州分局 Tel 86-20-8365-2610

香港支局　NHK Hong Kong Bureau, RM1101B, 11/F, Hong Kong Arts Centre, 2 Harbour Road, Wan Chai, Hong Kong Tel 852-2509-0238

台北支局　11492台湾台北市内湖区瑞光路451号8F NHK 台北支局 Tel 886-2-2797-5880

ヨーロッパ総局　NHK General Bureau for Europe, 31-35, Rue de la Fédération, 75015, Paris, FRANCE Tel 33-1-4327-9899

ロンドン支局　NHK London Bureau, 4 Millbank Westminster,London, SW1P 3JA, U.K. Tel 44-20-7393-8100

ブリュッセル支局　NHK Brussels Bureau, IPC Bldg., Charlemagne 1/11, 1041, Brussels, BELGIUM Tel 32-2-285-0866

ベルリン支局　NHK Berlin Bureau, Pressehaus 5110, Schiffbauerdamm 40, 10117 Berlin, GERMANY Tel 49-30-86322-7500

ウィーン支局　NHK Wien Bureau, Gonzagagasse 15 Top 3a, A-1010 Wien, AUSTRIA Tel 43-1-8900-602

カイロ支局　NHK Cairo Bureau, Flat No.24, 1125 Corniche-El-Nile St., Maspero, Cairo, EGYPT Tel 20-2-2577-0326

イスタンブール支局　NHK Istanbul Bureau, Room No.1702, Block A, Astoria Shopping center, Büyükdere Caddesi, No.127, Astoria Kuleleri, Astoria Avm, Pk:34394, Esentepe,Şişli, Istanbul, TURKEY Tel 90-212-215-2973

ドバイ支局　NHK Dubai Bureau, Office No. 519, Bldg No. 8, Dubai Media City, Dubai, UAE Tel 971-4-434-7256

ヨハネスブルク支局　NHK Johannesburg Bureau, Unit 2, Oxford and Glenhove Building 114 Oxford Road, Houghton Estate, 2198, Johannesburg, SOUTH AFRICA Tel 27-11-726-4816

エルサレム支局　NHK Jerusalem Bureau, C/O JCS 206 Jaffa Road, P.O.Box 13172, Jerusalem, 9438302, ISRAEL Tel 972-2-537-5822

テヘラン支局　NHK Tehran Bureau, 1st Floor, Number 1, 4th Alley, Bahmani Alley, Dowlat St., Shariati Ave., Tehran 1939616514, ISLAMIC REPUBLIC OF IRAN Tel 98-21-2263-7859

モスクワ支局　NHK Moscow Bureau, 2 Zvenigorodskaya Street, D 13, Korpus 41, 2nd Floor, 123022, Moscow, RUSSIA Tel 7-495-363-2045

ウラジオストク支局　NHK Vladivostok Bureau, Room 525 Lotte Hotel Business Center, 29 Semenovskaya Street, Vladivostok, 690091, RUSSIA Tel 7-423-262-0314

アメリカ総局　NHK General Bureau for America, 1177 Avenue of the Americas, 33F, New York, NY 10036, USA Tel 1-212-704-9898

ワシントン支局　NHK Washington Bureau, 1850 K Street, N.W., Suite 1025 Washington, D.C. 20006, USA Tel 1-202-828-5180

ロサンゼルス支局　NHK Los Angeles Bureau, 1620 26th St., Suite 1050N, Santa Monica, CA 90404, USA Tel 1-310-586-1600

サンパウロ支局　NHK Sao Paulo Bureau, Rua Carlos Cirillo Jr., 92- I, Subsolo Sala NHK Morumbi, Sao Paulo, BRAZIL CEP 05614-000 Tel 55-11-3772-1353

（p.670～714までは原文のまま和暦を使用）

I. 資産，負債及び純資産ならびに損益の状況

1. 貸借対照表

（ 一 般 勘 定 ）

（比較貸借対照表） （単位 千円）

区分		令和元年度末	令和２年度末	増減
資産	現金及び預金	55,568,703	51,997,271	△ 3,571,431
	受信料未収金	18,502,318	14,957,297	△ 3,545,020
	未収受信料欠損引当金	△ 12,820,000	△ 11,159,000	1,661,000
	有価証券	335,399,355	416,499,201	81,099,846
	番組勘定	13,813,677	10,150,267	△ 3,663,410
	前払費用	1,695,331	3,270,365	1,575,033
	有料インターネット活用業務勘定短期貸付金	6,516,382	4,942,261	△ 1,574,121
	受託業務等勘定短期貸付金	27,276	32,192	4,916
	未収金	6,741,860	5,417,603	△ 1,324,256
	その他の流動資産	3,100,631	3,397,351	296,720
	流動資産合計	(35.0) 428,545,536	(39.3) 499,504,813	70,959,276
	有形固定資産	473,732,549	464,273,335	△ 9,459,213
	建物	153,041,599	162,546,070	9,504,470
	構築物	62,824,547	62,233,934	△ 590,612
	機械及び装置	167,525,820	151,156,635	△ 16,369,184
	車両及び運搬具	2,106,871	1,820,436	△ 286,435
	器具	3,652,238	5,231,169	1,578,930
	土地	48,448,722	47,291,287	△ 1,157,435
	建設仮勘定	36,132,749	33,993,801	△ 2,138,947
	無形固定資産	15,739,704	14,623,642	△ 1,116,061
	出資その他の資産	135,574,084	124,802,498	△ 10,771,586
	長期保有有価証券	99,386,411	90,979,263	△ 8,407,147
	出資	10,875,332	10,875,075	△ 256
	長期前払費用	1,410,301	119,548	△ 1,290,752
	前払年金費用	20,191,065	19,404,358	△ 786,707
	その他の出資その他の資産	3,710,972	3,424,251	△ 286,721
	固定資産合計	(51.1) 625,046,338	(47.4) 603,699,476	△ 21,346,861
	建設積立資産	169,409,235	169,319,235	△ 90,000
	特定資産合計	(13.9) 169,409,235	(13.3) 169,319,235	△ 90,000
	資産合計	(100.0) 1,223,001,110	(100.0) 1,272,523,525	49,522,415

（単位　千円）

区分		令和元年度末	令和２年度末	増減
負債・純資産	未払金	65,639,454	69,702,475	4,063,021
	未払費用	25,800,366	24,373,071	△ 1,427,295
	未払消費税等	6,400,026	8,936,461	2,536,435
	東京オリンピック・パラリンピック関連費用引当金	－	18,000,000	18,000,000
	受信料前受金	147,781,660	148,501,118	719,457
	短期リース債務	886,263	989,296	103,032
	その他の流動負債	2,997,120	2,359,673	△ 637,446
	流動負債合計	(20.4) 249,504,891	(21.5) 272,862,096	23,357,204
	退職給付引当金	125,543,212	129,483,072	3,939,859
	役員退任引当金	204,800	118,340	△ 86,460
	国際催事放送権料引当金	33,368,915	44,418,996	11,050,081
	東京オリンピック・パラリンピック関連費用引当金	15,000,000	－	△ 15,000,000
	長期リース債務	1,758,260	2,154,181	395,921
	その他の固定負債	1,873,520	2,580,969	707,449
	固定負債合計	(14.5) 177,748,708	(14.0) 178,755,559	1,006,851
	負債合計	(34.9) 427,253,600	(35.5) 451,617,656	24,364,056
	資本	795,747,509	820,905,869	25,158,359
	承継資本	163,375	163,375	－
	固定資産充当資本	498,116,783	498,206,783	90,000
	剰余金	297,467,351	322,535,710	25,068,359
	建設積立金	169,409,235	169,319,235	△ 90,000
	繰越剰余金	128,058,116	153,216,475	25,158,359
	純資産合計	(65.1) 795,747,509	(64.5) 820,905,869	25,158,359
	負債純資産合計	(100.0) 1,223,001,110	(100.0) 1,272,523,525	49,522,415

注　（ ）内は、資産合計及び負債純資産合計を 100 とした構成比率(%)であります。

資　産　の　部

令和２年度末の資産総額は、令和元年度末の１兆２，２３０億１１１万円に比べ４９５億２，２４１万５千円増加し、１兆２，７２５億２，３５２万５千円となり、その内容は次表のとおりであります。

（単位　千円）

区　分	令和元年度末		令和２年度末		増　減
	金　額	構成比(%)	金　額	構成比(%)	
流動資産	428,545,536	35.0	499,504,813	39.3	70,959,276
固定資産	625,046,338	51.1	603,699,476	47.4	△ 21,346,861
特定資産	169,409,235	13.9	169,319,235	13.3	△ 90,000
合　計	1,223,001,110	100.0	1,272,523,525	100.0	49,522,415

流　動　資　産

令和２年度末の流動資産は、令和元年度末の４，２８５億４，５５３万６千円に比べ７０９億５，９２７万６千円増加し、４，９９５億４８１万３千円となり、その内容は次表のとおりであります。

（単位　千円）

区　分	令和元年度末	令和２年度末	増　減
現金及び預金	55,568,703	51,997,271	△ 3,571,431
受信料未収金	18,502,318	14,957,297	△ 3,545,020
未収受信料欠損引当金	△ 12,820,000	△ 11,159,000	1,661,000
有価証券	335,399,355	416,499,201	81,099,846
番組勘定	13,813,677	10,150,267	△ 3,663,410
前払費用	1,695,331	3,270,365	1,575,033
有料インターネット活用業務勘定短期貸付金	6,516,382	4,942,261	△ 1,574,121
受託業務等勘定短期貸付金	27,276	32,192	4,916
未収金	6,741,860	5,417,603	△ 1,324,256
その他の流動資産	3,100,631	3,397,351	296,720
合　計	428,545,536	499,504,813	70,959,276

(1)　現金及び預金

（単位　千円）

区　分	令和元年度末	令和２年度末	増　減
現金	400,211	449,739	49,527
普通預金	14,768,491	11,547,532	△ 3,220,959
定期預金	40,400,000	40,000,000	△ 400,000
合　計	55,568,703	51,997,271	△ 3,571,431

(2)　受信料未収金及び未収受信料欠損引当金

（単位　千円）

区　分	令和元年度末	令和２年度末	増　減
受信料未収金	18,502,318	14,957,297	△ 3,545,020
未収受信料欠損引当金	△ 12,820,000	△ 11,159,000	1,661,000
合　計	5,682,318	3,798,297	△ 1,884,020

＜未収受信料欠損引当金の増減内訳＞　（単位　千円）

区　分	令和元年度末	令和2年度		
		増加額	減少額	年度末
未収受信料欠損引当金	12,820,000	11,159,000	12,820,000	11,159,000

(3) 有価証券　（単位　千円）

区　分	令和元年度末	令和2年度末	増　減
有価証券	335,399,355	416,499,201	81,099,846

＜有価証券の内訳＞　（単位　千円）

区　分	券面総額	取得価額	貸借対照表計上額	摘　要
国債	200,000	200,000	200,000	
政府保証債	3,700,000	3,689,670	3,699,294	地方公共団体金融機構債券ほか
非政府保証債	9,600,000	9,598,868	9,599,915	住宅金融支援機構債券ほか
地方債	3,200,000	3,199,880	3,199,991	福岡県公募公債ほか
事業債	41,800,000	41,800,000	41,800,000	東日本高速道路㈱社債ほか
譲渡性預金	358,000,000	358,000,000	358,000,000	
合計	416,500,000	416,488,418	416,499,201	

(4) 番組勘定　（単位　千円）

区　分	令和元年度末	令和2年度末	増　減
番組勘定	13,813,677	10,150,267	△　3,663,410

注　番組勘定の内容は、未放送の番組に係る経費、スポーツ放送権料及び映画放送権料であります。

(5) 前払費用　（単位　千円）

区　分	令和元年度末	令和2年度末	増　減
前払費用	1,695,331	3,270,365	1,575,033

注　前払費用の内容は、番組制作経費等であります。

(6) 有料インターネット活用業務勘定短期貸付金　（単位　千円）

区　分	令和元年度末	令和2年度末	増　減
有料インターネット活用業務勘定短期貸付金	6,516,382	4,942,261	△　1,574,121

注　有料インターネット活用業務勘定短期貸付金は、有料インターネット活用業務勘定における貸借差額を調整するものであります。

(7)　受託業務等勘定短期貸付金　　（単位　千円）

区　　分	令和元年度末	令和２年度末	増　　減
受託業務等勘定短期貸付金	27,276	32,192	4,916

注　受託業務等勘定短期貸付金は、受託業務等勘定における貸借差額を調整するものであります。

(8)　未　　収　　金　　（単位　千円）

区　　分	令和元年度末	令和２年度末	増　　減
有価証券等利息	158,771	99,660	△　59,111
その他の未収金	6,583,088	5,317,943	△　1,265,145
合　　計	6,741,860	5,417,603	△　1,324,256

注　その他の未収金の内容は、国際放送関係交付金等であります。

(9)　その他の流動資産　　（単位　千円）

区　　分	令和元年度末	令和２年度末	増　　減
仮　　払　　金	3,092,832	3,218,691	125,858
その他の流動資産	7,799	178,660	170,861
合　　計	3,100,631	3,397,351	296,720

注１　仮払金の内容は、翌年度に仕入控除する仮払消費税等であります。
　２　その他の流動資産の内容は、コンテンツ制作経費等であります。

固　定　資　産

令和２年度末の固定資産は、令和元年度末の６，２５０億４，６３３万８千円に比べ２１３億４，６８６万１千円減少し、６，０３６億９，９４７万６千円となり、その内容は次表のとおりであります。

（単位　千円）

区　　分	令和元年度末	令和２年度末	増　　減
有形固定資産	473,732,549	464,273,335	△　9,459,213
無形固定資産	15,739,704	14,623,642	△　1,116,061
出資その他の資産	135,574,084	124,802,498	△　10,771,586
長期保有有価証券	99,386,411	90,979,263	△　8,407,147
出　　資	10,875,332	10,875,075	△　256
長期前払費用	1,410,301	119,548	△　1,290,752
前払年金費用	20,191,065	19,404,358	△　786,707
その他の出資その他の資産	3,710,972	3,424,251	△　286,721
合　　計	625,046,338	603,699,476	△　21,346,861

(1)　有形・無形固定資産の取得及び処分　　（単位　千円）

区　分	令和元年度末取得価額 (1)	令和2年度 増加額 (2)	令和2年度 減少額 (3)	令和2年度末取得価額 (1)+(2)-(3) (4)
有形固定資産	1,449,145,859	107,451,502	83,767,748	1,472,829,613
建物	368,684,884	21,321,489	6,093,820	383,912,553
構築物	177,158,993	7,124,387	3,118,708	181,164,673
機械及び装置	798,041,264	50,164,075	43,969,088	804,236,252
車両及び運搬具	10,289,275	665,717	409,497	10,545,495
器具	10,389,968	3,057,533	1,761,952	11,685,549
土地	48,448,722	1,955,603	3,113,039	47,291,287
建設仮勘定	36,132,749	23,162,695	25,301,642	33,993,801
無形固定資産	58,538,338	4,420,502	896,970	62,061,870
施設利用権	2,564,439	7,789	6,329	2,565,899
ソフトウェア	55,329,578	3,994,763	375,900	58,948,440
ソフトウェア仮勘定	603,543	417,949	514,739	506,752
その他の無形固定資産	40,777	－	－	40,777
合　計	1,507,684,197	111,872,005	84,664,719	1,534,891,483

区　分	令和2年度末減価償却累計額 (5)	減価償却累計額	減損損失累計額	令和2年度末帳簿価額 (4)－(5)
有形固定資産	1,008,556,277	1,006,113,449	2,442,828	464,273,335
建物	221,366,482	218,942,950	2,423,532	162,546,070
構築物	118,930,739	118,911,485	19,253	62,233,934
機械及び装置	653,079,616	653,079,574	42	151,156,635
車両及び運搬具	8,725,058	8,725,058	－	1,820,436
器具	6,454,380	6,454,380	－	5,231,169
土地	－	－	－	47,291,287
建設仮勘定	－	－	－	33,993,801
無形固定資産	47,438,227	47,438,227	－	14,623,642
施設利用権	1,057,460	1,057,460	－	1,508,439
ソフトウェア	46,380,767	46,380,767	－	12,567,673
ソフトウェア仮勘定	－	－	－	506,752
その他の無形固定資産	－	－	－	40,777
合　計	1,055,994,505	1,053,551,677	2,442,828	478,896,978

注１　令和２年度の増減額のうち、主なものは次のとおりであります。

＜増加額＞

建物	放送会館（札幌・奈良）	15,207,001 千円　等
機械及び装置	映像・音声機器	8,516,384 千円
	放送運行装置	9,307,762 千円
	ニュースセンター設備	7,347,558 千円　等

＜減少額＞

機械及び装置	映像・音声機器	10,178,282 千円
	放送運行装置	10,594,046 千円
	送信・伝送設備	8,064,573 千円　等

注２　減損損失の内訳は次表のとおりであります。

（単位　千円）

種　類	用　　途	資　産　名　称	令和２年度期首帳簿価額	減損損失額
土　地	現　用　資　産	徳島放送会館（徳島県）等 5 件	4,490,789	2,776,089
	非 現 用 資 産	八千穂受信所（長野県）等 2 件	114,291	60,691
建物等	非 現 用 資 産	田辺寮（愛知県）等 13 件	1,756,806	1,756,806

*1　市場価格が著しく下落した資産及び将来使用する見込みがなくなった資産について、減損損失を計上しております。
*2　当該資産の回収可能サービス価額は、正味売却価額により測定しております。

３　賃貸等不動産の時価

協会は、投資を目的とした投資不動産を所有しておりません。また、賃貸収益を得ることを主目的とした賃貸不動産についても所有しておりません。なお、非現用不動産についての貸借対照表計上額、令和２年度増減額及び時価は、次表のとおりであります。

（単位　千円）

区　　分	貸 借 対 照 表 計 上 額			令和２年度末の時価
	令和元年度末残高	令和２年度増減額	令和２年度末残高	
非現用不動産	734,503	△　138,313	596,189	10,402,132

*1　貸借対照表計上額は、取得価額から減価償却累計額及び減損損失累計額を控除した金額であります。
*2　非現用不動産の令和２年度増減額のうち、主な増加は奈良放送会館（奈良県）の移転に伴う非現用不動産への区分変更（104,043 千円）、主な減少は旧仙台放送会館土地（宮城県）の売却（229,763 千円）によるものであります。
*3　令和２年度末の時価は、主に「不動産鑑定評価基準」に基づき算定した金額（指標等を用いて調整を行ったものを含む。）であります。

(2)　長期保有有価証券

（単位　千円）

区　　分	令和元年度末	令和２年度末	増　　減
長 期 保 有 有 価 証 券	99,386,411	90,979,263	△　8,407,147

＜長期保有有価証券の内訳＞

（単位　千円）

区　　分	券 面 総 額	取 得 価 額	貸借対照表計上額	摘　　要
国　　債	2,500,000	2,494,205	2,498,498	
非政府保証債	22,480,765	22,480,765	22,480,765	西日本高速道路㈱社債ほか
事　業　債	66,000,000	66,000,000	66,000,000	トヨタファイナンス㈱社債ほか
合　　計	90,980,765	90,974,970	90,979,263	

(3) 出　　資　　（単位　千円）

区　　分	令和元年度末	令和２年度末	増　　減
関係会社出資	10,322,032	10,321,775	△　256
その他の出資	553,300	553,300	－
合　　計	10,875,332	10,875,075	△　256

＜出資の明細＞　　（単位　千円）

出　資　先	令和元年度末貸借対照表計上額	令和２年度		令和２年度末		
		増加額	減少額	出資株式数	取得価額	貸借対照表計上額
関係会社出資　(13社)	10,322,032	185,686	185,943	－	10,321,775	10,321,775
㈱ＮＨＫエンタープライズ	1,018,902	185,686	－	5,229株	1,204,588	1,204,588
㈱ＮＨＫエデュケーショナル	67,000	－	－	1,340株	67,000	67,000
㈱ＮＨＫグローバルメディアサービス	249,500	－	－	4,350株	249,500	249,500
㈱日本国際放送	200,000	－	－	4,000株	200,000	200,000
㈱ＮＨＫプラネット	185,943	－	185,943	－	－	－
㈱ＮＨＫプロモーション	57,000	－	－	114,000株	57,000	57,000
㈱ＮＨＫアート	126,700	－	－	253,400株	126,700	126,700
㈱ＮＨＫテクノロジーズ	417,986	－	－	886,532株	417,986	417,986
㈱ＮＨＫ出版	33,000	－	－	660,000株	33,000	33,000
㈱ＮＨＫビジネスクリエイト	50,000	－	－	100,000株	50,000	50,000
㈱ＮＨＫ文化センター	20,000	－	－	40,000株	20,000	20,000
ＮＨＫ営業サービス㈱	120,000	－	－	2,400株	120,000	120,000
㈱放送衛星システム	7,499,700	－	－	149,994株	7,499,700	7,499,700
㈱ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ	276,300	－	－	5,526株	276,300	276,300
その他の出資　(4社)	553,300	－	－	－	553,300	553,300
福岡タワー㈱	160,000	－	－	3,200株	160,000	160,000
㈱国際電気通信基礎技術研究所	93,900	－	－	1,878株	93,900	93,900
㈱海外通信・放送・郵便事業支援機構	200,000	－	－	4,000株	200,000	200,000
ＪＯＣＤＮ㈱	99,400	－	－	1,988株	99,400	99,400
合　　計　(17社)	10,875,332	185,686	185,943	－	10,875,075	10,875,075

注１　放送法第22条に基づき総務大臣の認可を受けて出資しております。
　２　令和２年４月１日付で㈱ＮＨＫエンタープライズを吸収合併存続会社とし、㈱ＮＨＫプラネットを吸収合併消滅会社とする吸収合併をしております。
　３　社数は、令和２年度末時点のものであります。

(4) 長期前払費用　　（単位　千円）

区　　分	令和元年度末	令和２年度末	増　　減
長期前払費用	1,410,301	119,548	△　1,290,752

注　長期前払費用の内容は、設備保守費等であります。

(5) 前払年金費用　　（単位　千円）

区　　分	令和元年度末	令和２年度末	増　　減
前払年金費用	20,191,065	19,404,358	△　786,707

(6)　その他の出資その他の資産　　（単位　千円）

区　　分	令和元年度末	令和２年度末	増　　減
差　入　保　証　金	3,561,552	3,324,637	△　236,914
そ　の　他　の　資　産	149,420	99,613	△　49,806
合　　計	3,710,972	3,424,251	△　286,721

注１　差入保証金の内容は、東京スカイツリーの賃借保証金等であります。
　２　その他の資産の内容は、東京タワーの建設協力金であります。

特　定　資　産

令和２年度末の特定資産は、令和元年度末の１，６９４億９２３万５千円に比べ９，０００万円減少し、１，６９３億１，９２３万５千円となり、その内容は次表のとおりであります。

（単位　千円）

区　　分	令和元年度末	令和２年度末	増　　減
建　設　積　立　資　産	169,409,235	169,319,235	△　90,000

建設積立資産　　（単位　千円）

区　　分	令和元年度末	令和２年度		
		増加額	減少額	年度末
建　設　積　立　資　産	169,409,235	－	90,000	169,319,235

注　建設積立資産は、将来の建設投資のために積み立てたものであります。

＜建設積立資産の内訳＞　　（単位　千円）

区　　分	券面総額	取得価額	貸借対照表計上額	摘　　要
政府保証債	10,000,000	10,000,000	10,000,000	日本高速道路保有・債務返済機構債券ほか
非政府保証債	64,619,235	64,619,235	64,619,235	地方公共団体金融機構債券ほか
地　方　債	8,200,000	8,200,000	8,200,000	愛知県公募公債ほか
事　業　債	86,500,000	86,500,000	86,500,000	西日本高速道路㈱社債ほか
合　　計	169,319,235	169,319,235	169,319,235	

負　債　の　部

令和２年度末の負債総額は、令和元年度末の４，２７２億５，３６０万円に比べ２４３億６，４０５万６千円増加し、４，５１６億１，７６５万６千円となり、その内容は次表のとおりであります。

（単位　千円）

区　分	令和元年度末		令和２年度末		増　減
	金　額	構成比(%)	金　額	構成比(%)	
流動負債	249,504,891	58.4	272,862,096	60.4	23,357,204
固定負債	177,748,708	41.6	178,755,559	39.6	1,006,851
合　計	427,253,600	100.0	451,617,656	100.0	24,364,056

流　動　負　債

令和２年度末の流動負債は、令和元年度末の２，４９５億４８９万１千円に比べ２３３億５，７２０万４千円増加し、２，７２８億６，２０９万６千円となり、その内容は次表のとおりであります。

（単位　千円）

区　分	令和元年度末	令和２年度末	増　減
未払金	65,639,454	69,702,475	4,063,021
未払費用	25,800,366	24,373,071	△ 1,427,295
未払消費税等	6,400,026	8,936,461	2,536,435
東京オリンピック・パラリンピック関連費用引当金	－	18,000,000	18,000,000
受信料前受金	147,781,660	148,501,118	719,457
短期リース債務	886,263	989,296	103,032
その他の流動負債	2,997,120	2,359,673	△ 637,446
合　計	249,504,891	272,862,096	23,357,204

(1)　未　払　金　　（単位　千円）

区　分	令和元年度末	令和２年度末	増　減
未払金	65,639,454	69,702,475	4,063,021

注　未払金の内容は、番組制作及び設備整備に要する経費等の未払分であります。

(2)　未　払　費　用　　（単位　千円）

区　分	令和元年度末	令和２年度末	増　減
契約収納事務費	5,712,200	4,254,545	△ 1,457,654
その他の未払費用	20,088,165	20,118,525	30,359
合　計	25,800,366	24,373,071	△ 1,427,295

注　その他の未払費用の内容は、電力料、回線料及び賞与等の未払分であります。

(3) 未払消費税等　　（単位　千円）

区　　分	令和元年度末	令和2年度末	増　　減
未払消費税等	6,400,026	8,936,461	2,536,435

(4) 東京オリンピック・パラリンピック関連費用引当金　　（単位　千円）

区　　分	令和元年度末	令和2年度		
		増加額	減少額	年度末
東京オリンピック・パラリンピック関連費用引当金	―	18,000,000	―	18,000,000

(5) 受信料前受金　　（単位　千円）

区　　分	令和元年度末	令和2年度末	増　　減
受信料前受金	147,781,660	148,501,118	719,457

注　受信料前受金は、翌年度分受信料の収納額であります。

(6) 短期リース債務　　（単位　千円）

区　　分	令和元年度末	令和2年度末	増　　減
短期リース債務	886,263	989,296	103,032

(7) その他の流動負債　　（単位　千円）

区　　分	令和元年度末	令和2年度末	増　　減
前受収益	72	385	313
預り金	2,997,047	2,359,287	△ 637,759
合　　計	2,997,120	2,359,673	△ 637,446

注1　前受収益の内容は、施設利用料等であります。
　2　預り金の内容は、源泉徴収所得税等であります。

固　定　負　債

令和２年度末の固定負債は、令和元年度末の１，７７７億４，８７０万８千円に比べ１０億６８５万１千円増加し、１，７８７億５，５５５万９千円となり、その内容は次表のとおりであります。

（単位　千円）

区　　分	令和元年度末	令和２年度末	増　　減
退職給付引当金	125,543,212	129,483,072	3,939,859
役員退任引当金	204,800	118,340	△ 86,460
国際催事放送権料引当金	33,368,915	44,418,996	11,050,081
東京オリンピック・パラリンピック関連費用引当金	15,000,000	－	△ 15,000,000
長期リース債務	1,758,260	2,154,181	395,921
その他の固定負債	1,873,520	2,580,969	707,449
合　　計	177,748,708	178,755,559	1,006,851

(1)　退職給付引当金　　（単位　千円）

区　　分	令和元年度末	令和２年度		
		増加額	減少額	年度末
退職給付引当金	125,543,212	11,843,768	7,903,908	129,483,072

注１　採用している退職給付制度の概要

協会は、退職給付制度として、職員を対象とした退職一時金制度及び労使で拠出する確定給付型の退職年金制度を設けております。

なお、平成22年4月以降は、退職年金制度の一部を確定拠出年金制度に移行しております。

２　確定給付制度

ア　退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

（単位　千円）

	（令和元年度）	（令和２年度）
期首における退職給付債務	663,983,174	653,794,863
勤務費用	17,116,183	17,026,857
利息費用	2,655,932	2,615,179
数理計算上の差異の当期発生額	975,728	15,356,129
退職給付の支払額	△ 30,936,155	△ 30,926,097
期末における退職給付債務	653,794,863	657,866,931

イ　年金資産の期首残高と期末残高の調整表

（単位　千円）

	（令和元年度）	（令和２年度）
期首における年金資産	396,008,001	377,185,054
期待運用収益	11,880,240	11,315,551
数理計算上の差異の当期発生額	△ 23,981,921	44,129,553
事業主からの拠出額	14,595,294	17,895,765
退職給付の支払額	△ 23,211,854	△ 23,022,189
その他	1,895,294	1,895,765
期末における年金資産	377,185,054	429,399,502

ウ　退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

（単位　千円）

	（令和元年度）	（令和２年度）
積立型制度の退職給付債務	505,467,644	509,632,929
年金資産	△ 377,185,054	△ 429,399,502
	128,282,589	80,233,426
非積立型制度の退職給付債務	148,327,219	148,234,002
未認識数理計算上の差異	△ 171,257,661	△ 118,388,714
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	105,352,146	110,078,713
前払年金費用	20,191,065	19,404,358
退職給付引当金	125,543,212	129,483,072

エ　退職給付に関連する損益

（単位　千円）

	（令和元年度）	（令和２年度）
勤務費用	17,116,183	17,026,857
利息費用	2,655,932	2,615,179
期待運用収益	△ 11,880,240	△ 11,315,551
数理計算上の差異の当期の費用処理額	20,690,271	24,095,522
その他	△ 1,895,294	△ 1,895,765
確定給付制度に係る退職給付費用	26,686,852	30,526,241
積立制度に係る退職給付費用	14,877,309	18,682,473
非積立制度に係る退職給付費用	11,809,542	11,843,768
確定給付制度に係る退職給付費用	26,686,852	30,526,241

オ　年金資産の主な内訳

年金資産合計に対する主な分類ごとの比率は、次のとおりであります。

	（令和元年度）	（令和２年度）
債　券	49.2%	47.0%
株　式	35.9%	35.2%
その他	14.9%	17.8%
合　計	100.0%	100.0%

カ　長期期待運用収益率の設定方法に関する記載

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産から現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

キ　数理計算上の計算基礎に関する事項

期末における数理計算上の計算基礎

	（令和元年度）	（令和２年度）
割引率	0.4%	0.4%
長期期待運用収益率	3.0%	3.0%
予想昇給率	3.5%	3.5%

注３　確定拠出制度

	（令和元年度）	（令和２年度）
確定拠出制度への要拠出額	2,512,067千円	2,528,653千円

(2) 役員退任引当金 （単位 千円）

区分	令和元年度末	令和2年度		
		増加額	減少額	年度末
役員退任引当金	204,800	66,950	153,410	118,340

(3) 国際催事放送権料引当金 （単位 千円）

区分	令和元年度末	令和2年度		
		増加額	減少額	年度末
国際催事放送権料引当金	33,368,915	14,871,656	3,821,575	44,418,996

(4) 東京オリンピック・パラリンピック関連費用引当金 （単位 千円）

区分	令和元年度末	令和2年度		
		増加額	減少額	年度末
東京オリンピック・パラリンピック関連費用引当金	15,000,000	－	15,000,000	－

(5) 長期リース債務 （単位 千円）

区分	令和元年度末	令和2年度末	増減
長期リース債務	1,758,260	2,154,181	395,921

(6) その他の固定負債 （単位 千円）

区分	令和元年度末	令和2年度末	増減
その他の固定負債	1,873,520	2,580,969	707,449

注 その他の固定負債の内容は、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」（平成13年6月22日法律第65号）によって処理することが義務付けられているＰＣＢ廃棄物の処理経費の未払分等であります。

純　資　産　の　部

令和２年度末の純資産総額は、令和元年度末の７，９５７億４，７５０万９千円に比べ２５１億５，８３５万９千円増加し、８，２０９億５８６万９千円となり、その内容は次表のとおりであります。

（単位　千円）

区　　分	令和元年度末	令和２年度末	増　　減
資　　本	795,747,509	820,905,869	25,158,359
承　継　資　本	163,375	163,375	－
固定資産充当資本	498,116,783	498,206,783	90,000
剰　余　金	297,467,351	322,535,710	25,068,359
建　設　積　立　金	169,409,235	169,319,235	△　90,000
繰　越　剰　余　金	128,058,116	153,216,475	25,158,359
合　　計	795,747,509	820,905,869	25,158,359

純資産の変動状況　（単位　千円）

科　　目	資　本				純資産合計
	承継資本	固定資産充当資本	剰　余　金		
			建設積立金	繰越剰余金	
前期末残高	163,375	498,116,783	169,409,235	128,058,116	795,747,509
当期変動額					
当期事業収支差金	－	－	－	25,158,359	25,158,359
建設積立金取崩し	－	90,000	△　90,000	－	－
当期変動額合計	－	90,000	△　90,000	25,158,359	25,158,359
当期末残高	163,375	498,206,783	169,319,235	153,216,475	820,905,869

注１　承継資本は、旧社団法人日本放送協会から承継した純資産であります。

２　固定資産充当資本は、資本支出充当として剰余金から組み入れた累計額 495,028,205 千円並びに昭和 25 年度及び昭和 29 年度に実施した固定資産の再評価による評価益 3,088,577 千円並びに当年度の建設積立金取崩しにより固定資産化された額 90,000 千円であります。

３　建設積立金は、将来の建設投資のための積立金であります。

４　令和２年度末における繰越剰余金 153,216,475 千円は、全額、翌年度以降の財政安定のための繰越金であります。

（有料インターネット活用業務勘定）

有料インターネット活用業務勘定は、放送法第２０条第２項第２号及び第３号の業務のうち、専ら受信料を財源として行うもの以外のものに係る勘定であり、その資産、負債及び純資産の内容は次表のとおりであります。

（比較貸借対照表）　（単位　千円）

区分		令和元年度末	令和２年度末	増減
資産	前払費用	4,082	4,525	443
	未収金	363,478	538,232	174,753
	流動資産合計	(100.0) 367,561	(100.0) 542,757	175,196
	資産合計	(100.0) 367,561	(100.0) 542,757	175,196
負債・純資産	一般勘定短期借入金	6,516,382	4,942,261	△ 1,574,121
	未払金	542,382	473,995	△ 68,387
	未払消費税等	24,538	189,045	164,506
	流動負債合計	(1,927.1) 7,083,303	(1,032.7) 5,605,302	△ 1,478,001
	負債合計	(1,927.1) 7,083,303	(1,032.7) 5,605,302	△ 1,478,001
	資本	△ 6,715,742	△ 5,062,544	1,653,198
	欠損金	△ 6,715,742	△ 5,062,544	1,653,198
	純資産合計	(△1,827.1) △ 6,715,742	(△932.7) △ 5,062,544	1,653,198
	負債純資産合計	(100.0) 367,561	(100.0) 542,757	175,196

注　（　）内は、資産合計及び負債純資産合計を 100 とした構成比率(%)であります。

資　産　の　部

令和２年度末の資産総額は、令和元年度末の３億６，７５６万１千円に比べ１億７，５１９万６千円増加し、５億４，２７５万７千円となり、その内容は次表のとおりであります。

（単位　千円）

区　分	令和元年度末		令和２年度末		増　減
	金　額	構成比(%)	金　額	構成比(%)	
流動資産	367,561	100.0	542,757	100.0	175,196

流　動　資　産

（単位　千円）

区　分	令和元年度末	令和２年度末	増　減
前払費用	4,082	4,525	443
未収金	363,478	538,232	174,753
合　計	367,561	542,757	175,196

(1)　前　払　費　用　　（単位　千円）

区　分	令和元年度末	令和２年度末	増　減
前払費用	4,082	4,525	443

注　前払費用の内容は、著作権使用料等であります。

(2)　未　収　金　　（単位　千円）

区　分	令和元年度末	令和２年度末	増　減
放送番組等有料配信収入	360,935	535,975	175,040
その他の未収金	2,543	2,256	△　286
合　計	363,478	538,232	174,753

負　債　の　部

令和２年度末の負債総額は、令和元年度末の７０億８，３３０万３千円に比べ１４億７，８００万１千円減少し、５６億５３０万２千円となり、その内容は次表のとおりであります。

（単位　千円）

区　分	令和元年度末		令和２年度末		増　減
	金　額	構成比(%)	金　額	構成比(%)	
流動負債	7,083,303	100.0	5,605,302	100.0	△ 1,478,001

流　動　負　債

（単位　千円）

区　分	令和元年度末	令和２年度末	増　減
一般勘定短期借入金	6,516,382	4,942,261	△ 1,574,121
未払金	542,382	473,995	△ 68,387
未払消費税等	24,538	189,045	164,506
合計	7,083,303	5,605,302	△ 1,478,001

(1)　一般勘定短期借入金　（単位　千円）

区　分	令和元年度末	令和２年度末	増　減
一般勘定短期借入金	6,516,382	4,942,261	△ 1,574,121

注　一般勘定短期借入金は、有料インターネット活用業務勘定における貸借差額を調整するものであります。

(2)　未　払　金　（単位　千円）

区　分	令和元年度末	令和２年度末	増　減
未払金	542,382	473,995	△ 68,387

注　未払金の内容は、著作権使用料等の未払分であります。

(3)　未払消費税等　（単位　千円）

区　分	令和元年度末	令和２年度末	増　減
未払消費税等	24,538	189,045	164,506

純　資　産　の　部

令和２年度末の純資産総額は、令和元年度末の△６７億１，５７４万２千円に比べ１６億５，３１９万８千円増加し、△５０億６，２５４万４千円となり、その内容は次表のとおりであります。

（単位　千円）

区　　分	令和元年度末	令和２年度末	増　　減
資　　本	△　6,715,742	△　5,062,544	1,653,198
欠　損　金	△　6,715,742	△　5,062,544	1,653,198

純資産の変動状況　　（単位　千円）

科　　目	純　資　産
	資　　本
	剰　余　金
	繰越欠損金
前　期　末　残　高	△　6,715,742
当　期　変　動　額	
当期事業収支差金	1,653,198
当　期　変　動　額　合　計	1,653,198
当　期　末　残　高	△　5,062,544

（受託業務等勘定）

受託業務等勘定は、放送法第２０条第３項に基づき実施した業務に係る勘定であり、その資産、負債及び純資産の内容は次表のとおりであります。

（比較貸借対照表）　（単位　千円）

区分		令和元年度末	令和２年度末	増減
資産	未収金	74,922	24,976	△ 49,945
	未収消費税等	－	27,854	27,854
	流動資産合計	(100.0) 74,922	(100.0) 52,831	△ 22,090
	資産合計	(100.0) 74,922	(100.0) 52,831	△ 22,090
負債・純資産	一般勘定短期借入金	27,276	32,192	4,916
	未払金	939	835	△ 104
	未払消費税等	26,640	－	△ 26,640
	その他の流動負債	20,066	19,803	△ 262
	流動負債合計	(100.0) 74,922	(100.0) 52,831	△ 22,090
	負債合計	(100.0) 74,922	(100.0) 52,831	△ 22,090
	純資産合計	(－) －	(－) －	－
	負債純資産合計	(100.0) 74,922	(100.0) 52,831	△ 22,090

注　（　）内は、資産合計及び負債純資産合計を 100 とした構成比率(%)であります。

資　産　の　部

令和２年度末の資産総額は、令和元年度末の７，４９２万２千円に比べ２，２０９万円減少し、５，２８３万１千円となり、その内容は次表のとおりであります。

（単位　千円）

区　分	令和元年度末		令和２年度末		増減
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	
流動資産	74,922	100.0	52,831	100.0	△ 22,090

流動資産

（単位　千円）

区　分	令和元年度末	令和２年度末	増減
未収金	74,922	24,976	△ 49,945
未収消費税等	－	27,854	27,854
合計	74,922	52,831	△ 22,090

(1) 未収金

（単位　千円）

区　分	令和元年度末	令和２年度末	増減
未収収益	74,922	24,976	△ 49,945

注　未収収益の内容は、施設利用料等であります。

(2) 未収消費税等

（単位　千円）

区　分	令和元年度末	令和２年度末	増減
未収消費税等	－	27,854	27,854

負　債　の　部

令和２年度末の負債総額は、令和元年度末の７，４９２万２千円に比べ２，２０９万円減少し、５，２８３万１千円となり、その内容は次表のとおりであります。

（単位　千円）

区　分	令和元年度末		令和２年度末		増減
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	
流動負債	74,922	100.0	52,831	100.0	△ 22,090

流　動　負　債

（単位　千円）

区　　分	令和元年度末	令和 2 年度末	増　　減
一般勘定短期借入金	27,276	32,192	4,916
未　払　金	939	835	△　104
未払消費税等	26,640	－	△　26,640
その他の流動負債	20,066	19,803	△　262
合　　計	74,922	52,831	△　22,090

(1)　一般勘定短期借入金　（単位　千円）

区　　分	令和元年度末	令和 2 年度末	増　　減
一般勘定短期借入金	27,276	32,192	4,916

注　一般勘定短期借入金は、受託業務等勘定における貸借差額を調整するものであります。

(2)　未　払　金　（単位　千円）

区　　分	令和元年度末	令和 2 年度末	増　　減
未　払　金	939	835	△　104

(3)　未払消費税等　（単位　千円）

区　　分	令和元年度末	令和 2 年度末	増　　減
未払消費税等	26,640	－	△　26,640

(4)　その他の流動負債　（単位　千円）

区　　分	令和元年度末	令和 2 年度末	増　　減
前　受　収　益	20,066	19,803	△　262

注　前受収益の内容は、施設利用料であります。

純　資　産　の　部

令和２年度の純資産の変動状況は、次表のとおりであります。

純資産の変動状況　（単位　千円）

科　　目	純資産
	資本
	剰余金
	繰越剰余金
前期末残高	－
当期変動額	
当期事業収支差金	156,448
一般勘定への繰入れ	△　156,448
当期変動額合計	－
当期末残高	－

2. 損益計算書

（一般勘定）

（比較損益計算書）　　（単位　千円）

区分		令和元年度	令和2年度	増減
経常事業収支	経常事業収入	(100.0) 734,491,691	(100.0) 709,910,075	△ 24,581,615
	受信料	723,171,523	700,575,149	△ 22,596,374
	交付金収入	3,720,634	3,620,567	△ 100,067
	副次収入	7,599,532	5,714,359	△ 1,885,173
	経常事業支出	(98.8) 725,475,169	(97.4) 691,757,645	△ 33,717,524
	国内放送費	349,590,491	311,117,814	△ 38,472,676
	国際放送費	24,579,724	19,215,828	△ 5,363,895
	国内放送番組等配信費	—	8,871,091	8,871,091
	国際放送番組等配信費	—	2,009,126	2,009,126
	契約収納費	62,773,867	57,500,207	△ 5,273,660
	受信対策費	884,297	722,828	△ 161,468
	広報費	6,116,458	5,847,243	△ 269,215
	調査研究費	8,414,560	7,492,972	△ 921,587
	給与	111,408,736	109,436,179	△ 1,972,556
	退職手当・厚生費	49,616,133	53,680,634	4,064,501
	共通管理費	16,417,999	18,410,865	1,992,866
	減価償却費	84,094,825	86,464,797	2,369,971
	未収受信料欠損償却費	11,578,074	10,988,054	△ 590,020
	経常事業収支差金	(1.2) 9,016,521	(2.6) 18,152,430	9,135,908
経常事業外収支	経常事業外収入	(1.8) 13,085,082	(0.9) 6,373,788	△ 6,711,293
	財務収入	5,870,036	2,208,922	△ 3,661,113
	雑収入	7,215,045	4,164,866	△ 3,050,179
	経常事業外支出	(—) —	(0.0) 3,193	3,193
	財務費	—	3,193	3,193
	経常事業外収支差金	(1.8) 13,085,082	(0.9) 6,370,595	△ 6,714,486
経常収支差金		(3.0) 22,101,603	(3.5) 24,523,025	2,421,422
特別収支	特別収入	(0.3) 2,419,051	(0.9) 6,878,421	4,459,370
	固定資産売却益	1,411,650	6,327,947	4,916,296
	固定資産受贈益	83	22	△ 60
	その他の特別収入	1,007,318	550,452	△ 456,866
	特別支出	(0.3) 2,455,512	(0.9) 6,243,088	3,787,576
	固定資産売却損	41,693	7,709	△ 33,983
	固定資産除却損	1,929,847	1,641,790	△ 288,057
	その他の特別支出	483,970	4,593,587	4,109,617
当期事業収支差金		(3.0) 22,065,143	(3.5) 25,158,359	3,093,216

当期事業収支差金	22,065,143	25,158,359	3,093,216
事業収支剰余金	22,065,143	25,158,359	3,093,216

注　（　）内は、経常事業収入を100とした比率(%)であります。

経　常　事　業　収　支

令和２年度の経常事業収入７，０９９億１，００７万５千円に対し、経常事業支出は６，９１７億５，７６４万５千円であり、差し引き経常事業収支差金は１８１億５，２４３万円であります。

令和元年度の経常事業収入７，３４４億９，１６９万１千円、経常事業支出７，２５４億７，５１６万９千円と比べ、経常事業収入は２４５億８，１６１万５千円の減少、経常事業支出は３３７億１，７５２万４千円の減少であります。

経　常　事　業　収　入

令和２年度の経常事業収入は、受信料の減等により、令和元年度に比べ減少しております。なお、その内容は次表のとおりであります。

（単位　千円）

区　　分	令和元年度	令和２年度	増　　減
受　信　料	723,171,523	700,575,149	△ 22,596,374
交付金収入	3,720,634	3,620,567	△ 100,067
副次収入	7,599,532	5,714,359	△ 1,885,173
合　計	734,491,691	709,910,075	△ 24,581,615

(1)　受　信　料　　（単位　千円）

区　　分	令和元年度	令和２年度	増　　減
基本受信料	522,415,914	506,663,431	△ 15,752,482
衛星付加受信料	200,755,609	193,911,717	△ 6,843,891
合　計	723,171,523	700,575,149	△ 22,596,374

なお、有料受信契約件数の増減状況は、次表のとおりであります。

（単位　千件）

区	分	令和元年度	令和２年度
地上契約	年度初頭	20,069	19,885
	増加	△ 184	△ 266
	年度末	19,885	19,619
衛星契約	年度初頭	21,608	22,223
	増加	615	△ 162
	年度末	22,223	22,061
特別契約	年度初頭	14	14
	増加	0	△ 1
	年度末	14	13
契約総数	年度初頭	41,691	42,122
	増加	431	△ 429
	年度末	42,122	41,693

(2) 交付金収入　　（単位　千円）

区分	令和元年度	令和2年度	増減	
国際放送関係交付金	3,594,073	3,594,000	△	73
選挙放送関係交付金	126,561	26,567	△	99,994
合計	3,720,634	3,620,567	△	100,067

注1　国際放送関係交付金は、国際放送実施経費のうち、放送法第65条に基づき実施した国際放送に要する費用を、同法第67条に基づき、総務省所管一般会計から受け入れたものであります。

2　選挙放送関係交付金は、公職選挙法第150条及び第151条に基づき実施した政見放送及び経歴放送に要する費用を、同法第263条及び第264条に基づき、総務省所管一般会計等から受け入れたものであります。

(3) 副次収入　　（単位　千円）

区分	令和元年度	令和2年度	増減	
一般業務収入	6,044,190	4,753,035	△	1,291,155
放送番組等有料配信収入	78,234	58,174	△	20,060
受託業務等収入	1,477,107	903,149	△	573,957
合計	7,599,532	5,714,359	△	1,885,173

注1　放送番組等有料配信収入は、放送法第20条第2項第2号及び第3号の業務のうち、専ら受信料を財源として行うもの以外による収入であり、「一般勘定」に対するコンテンツ使用料と「有料インターネット活用業務勘定」において間接経費として発生した減価償却費相当額を「一般勘定」に受け入れたものであります。

2　受託業務等収入は、放送法第20条第3項に基づき実施した業務による収入であり、「受託業務等勘定」において間接経費として発生した人件費、減価償却費等相当額と当期事業収支差金を「一般勘定」に受け入れたものであります。

経　常　事　業　支　出

令和２年度の経常事業支出は、国内放送費の減等により、令和元年度に比べ減少しております。なお、その内容は次表のとおりであります。

（単位　千円）

区　　分	令和元年度	令和２年度	増　減
国内放送費	349,590,491	311,117,814	△ 38,472,676
国際放送費	24,579,724	19,215,828	△ 5,363,895
国内放送番組等配信費	－	8,871,091	8,871,091
国際放送番組等配信費	－	2,009,126	2,009,126
契約収納費	62,773,867	57,500,207	△ 5,273,660
受信対策費	884,297	722,828	△ 161,468
広報費	6,116,458	5,847,243	△ 269,215
調査研究費	8,414,560	7,492,972	△ 921,587
給与	111,408,736	109,436,179	△ 1,972,556
退職手当・厚生費	49,616,133	53,680,634	4,064,501
共通管理費	16,417,999	18,410,865	1,992,866
減価償却費	84,094,825	86,464,797	2,369,971
未収受信料欠損償却費	11,578,074	10,988,054	△ 590,020
合　計	725,475,169	691,757,645	△ 33,717,524

(1)　国内放送費

（単位　千円）

区　　分	令和元年度	令和２年度	増　減
番組費	279,870,293	240,987,471	△ 38,882,821
技術運用費	69,720,198	70,130,342	410,144
合　計	349,590,491	311,117,814	△ 38,472,676

注１　番組費は、国内放送番組の制作に要する経費及び報道取材に要する経費等であります。
　２　技術運用費は、放送所施設等の維持運用に要する経費及び放送番組の送信に要する経費であります。

(2)　国際放送費

（単位　千円）

区　　分	令和元年度	令和２年度	増　減
ラジオ国際放送費	3,686,332	2,782,764	△ 903,567
テレビジョン国際放送費	20,893,392	16,433,064	△ 4,460,328
合　計	24,579,724	19,215,828	△ 5,363,895

注　ラジオ国際放送費及びテレビジョン国際放送費は、国際放送番組の制作及び送信に要する経費であります。

(3)　国内放送番組等配信費

（単位　千円）

区　　分	令和元年度	令和２年度	増　減
常時同時配信等業務費	－	2,806,977	2,806,977
国内配信費	－	5,623,764	5,623,764
公益業務費	－	440,349	440,349
合　計	－	8,871,091	8,871,091

注１　常時同時配信等業務費は、常時同時配信・見逃し番組配信に要する経費であります。
　２　国内配信費は、国内放送の放送番組等のウェブサイト制作等に要する経費であります。
　３　公益業務費は、東京オリンピック・パラリンピックに係る特設サイト制作等に要する経費であります。

(4) 国際放送番組等配信費 （単位 千円）

区分	令和元年度	令和2年度	増減
国際配信費	－	2,009,126	2,009,126

注 国際配信費は、国際放送及び協会国際衛星放送の放送番組等のウェブサイト制作等に要する経費であります。

(5) 契約収納費 （単位 千円）

区分	令和元年度	令和2年度	増減
契約収納業務推進費	46,088,484	41,084,237	△ 5,004,247
契約収納業務運営費	16,685,382	16,415,969	△ 269,413
合計	62,773,867	57,500,207	△ 5,273,660

注1 契約収納業務推進費は、受信契約の取次、受信料の未収対策等に要する経費であります。
2 契約収納業務運営費は、受信料の請求・収納、契約収納業務の管理等に要する経費であります。

(6) 受信対策費 （単位 千円）

区分	令和元年度	令和2年度	増減
受信改善費	32,918	27,276	△ 5,642
受信対策推進費	851,378	695,552	△ 155,825
合計	884,297	722,828	△ 161,468

注1 受信改善費は、受信障害対策に要する経費であります。
2 受信対策推進費は、受信相談、受信技術指導及び受信対策に共通して要する経費であります。

(7) 広報費 （単位 千円）

区分	令和元年度	令和2年度	増減
視聴者意向収集費	4,349,681	4,441,100	91,419
広報推進費	1,766,777	1,400,298	△ 366,478
放送番組等配信広報費	－	5,843	5,843
合計	6,116,458	5,847,243	△ 269,215

注1 視聴者意向収集費は、視聴者の意向の受けとめに要する経費であります。
2 広報推進費は、事業活動の周知に要する経費であります。
3 放送番組等配信広報費は、放送番組等配信業務の周知に要する経費であります。

(8) 調査研究費 （単位 千円）

区分	令和元年度	令和2年度	増減
番組調査研究費	1,215,447	1,193,543	△ 21,903
技術調査研究費	7,199,112	6,299,428	△ 899,684
合計	8,414,560	7,492,972	△ 921,587

注 番組調査研究費及び技術調査研究費は、放送及びその受信の進歩発達に必要な調査研究に要する経費であります。

(9) 給　　与　　（単位　千円）

区　　分	令和元年度	令和２年度	増　　減
職　員　給　与	111,015,916	109,049,253	△　1,966,662
役　員　報　酬	392,819	386,925	△　5,893
合　　計	111,408,736	109,436,179	△　1,972,556

注　職員給与は、職員に支給する基本給、基準外賃金、賞与及び諸手当等であります。

(10) 退職手当・厚生費　　（単位　千円）

区　　分	令和元年度	令和２年度	増　　減
退　職　手　当	28,722,344	32,513,765	3,791,420
厚　生　保　健　費	20,893,789	21,166,869	273,080
合　　計	49,616,133	53,680,634	4,064,501

注１　退職手当は、役員退任手当及び職員の退職給付費用であります。
　２　厚生保健費は、社会保険料の事業主負担分及び職員の福利厚生に要する経費であります。

(11) 共 通 管 理 費　　（単位　千円）

区　　分	令和元年度	令和２年度	増　　減
施　設　管　理　費	6,575,874	6,908,662	332,787
職員管理費その他	9,842,124	11,502,202	1,660,078
合　　計	16,417,999	18,410,865	1,992,866

注１　施設管理費は、局舎・宿舎等施設の維持運用及び公租公課等に要する経費であります。
　２　職員管理費その他は、役員交際費、一般事務、企画事務、監査、研修及び転勤に要する経費並びにその他の事業全般に共通して要する経費であります。
　３　令和２年度の職員管理費その他のうち役員交際費は6,803千円であります。

(12) 減 価 償 却 費　　（単位　千円）

区　　分	令和元年度	令和２年度	増　　減
減　価　償　却　費	84,094,825	86,464,797	2,369,971

＜減価償却費の内訳＞　　（単位　千円）

区　　分	取 得 価 額	令和２年度償却額	償 却 累 計 額	帳 簿 価 額	償却累計率(%)
有 形 固 定 資 産	1,391,544,524	81,527,775	1,008,556,277	382,988,246	72.5
建　　物	383,912,553	9,883,612	221,366,482	162,546,070	57.7
構　築　物	181,164,673	7,522,798	118,930,739	62,233,934	65.6
機械及び装置	804,236,252	61,717,453	653,079,616	151,156,635	81.2
車両及び運搬具	10,545,495	936,407	8,725,058	1,820,436	82.7
器　　具	11,685,549	1,467,502	6,454,380	5,231,169	55.2
無 形 固 定 資 産	61,514,340	4,945,808	47,438,227	14,076,113	77.1
施 設 利 用 権	2,565,899	170,505	1,057,460	1,508,439	41.2
ソ フ ト ウ ェ ア	58,948,440	4,775,302	46,380,767	12,567,673	78.7
合　　計	1,453,058,864	86,473,583	1,055,994,505	397,064,359	72.7

注　損益計算書における令和２年度の減価償却費 86,464,797 千円は、令和２年度償却額 86,473,583 千円に、令和元年度において番組勘定に計上した 372,478 千円を加え、令和２年度において番組勘定に計上した 381,264 千円を差し引いたものであります。

経　常　事　業　外　収　支

令和２年度の経常事業外収入は６３億７，３７８万８千円に対し、経常事業外支出は３１９万３千円であり、差し引き経常事業外収支差金は６３億７，０５９万５千円であります。なお、その内容は次表のとおりであります。

経　常　事　業　外　収　入

（単位　千円）

区　　分	令和元年度	令和２年度	増　減
財　務　収　入	5,870,036	2,208,922	△ 3,661,113
雑　収　入	7,215,045	4,164,866	△ 3,050,179
合　計	13,085,082	6,373,788	△ 6,711,293

(1)　財　務　収　入　　（単位　千円）

区　　分	令和元年度	令和２年度	増　減
受　取　利　息	986,246	702,694	△ 283,552
受　取　配　当　金	4,762,211	1,506,228	△ 3,255,983
為　替　差　額	121,578	－	△ 121,578
合　計	5,870,036	2,208,922	△ 3,661,113

注１　受取利息は、預金利息、有価証券利息及びその他の金融収入であります。
　２　受取配当金は、出資先からの配当収入であります。

(2)　雑　収　入　　（単位　千円）

区　　分	令和元年度	令和２年度	増　減
雑　収　入	7,215,045	4,164,866	△ 3,050,179

注　雑収入は、前々年度以前受信料の収納額等であります。

経　常　事　業　外　支　出

（単位　千円）

区　　分	令和元年度	令和２年度	増　減
財　務　費	－	3,193	3,193
為　替　差　額	－	3,193	3,193

特　別　収　支

令和２年度の特別収入は固定資産売却益等による６８億７，８４２万１千円であり、特別支出は固定資産除却損等による６２億４，３０８万８千円であります。なお、その内容は次表のとおりであります。

特　別　収　入

（単位　千円）

区　分	令和元年度	令和２年度	増　減
固定資産売却益	1,411,650	6,327,947	4,916,296
固定資産受贈益	83	22	△ 60
その他の特別収入	1,007,318	550,452	△ 456,866
合　計	2,419,051	6,878,421	4,459,370

注１　固定資産売却益は、主として土地の売却によるものであります。
　２　その他の特別収入は、3.4GHz 帯周波数移行に伴う負担金等であります。

特　別　支　出

（単位　千円）

区　分	令和元年度	令和２年度	増　減
固定資産売却損	41,693	7,709	△ 33,983
固定資産除却損	1,929,847	1,641,790	△ 288,057
その他の特別支出	483,970	4,593,587	4,109,617
合　計	2,455,512	6,243,088	3,787,576

注１　固定資産売却損は、主として車両の売却によるものであります。
　２　固定資産除却損は、主として機械及び装置の除却によるものであります。
　３　その他の特別支出は、固定資産減損損失であります。

当期事業収支差金

令和２年度の当期事業収支差金は、経常事業収支差金１８１億５，２４３万円に経常事業外収支差金６３億７，０５９万５千円を加えた経常収支差金２４５億２，３０２万５千円に、特別収入６８億７，８４２万１千円を加え、特別支出６２億４，３０８万８千円を差し引いた２５１億５，８３５万９千円であり、その内容は次表のとおりであります。

（単位　千円）

区　分	令和元年度	令和２年度	増　減
当期事業収支差金	22,065,143	25,158,359	3,093,216
事業収支剰余金	22,065,143	25,158,359	3,093,216

注　事業収支剰余金は、翌年度以降の財政安定のための財源として繰り越します。

（有料インターネット活用業務勘定）

有料インターネット活用業務勘定は、放送法第２０条第２項第２号及び第３号の業務のうち、専ら受信料を財源として行うもの以外のものに係る勘定であり、その収入及び支出の内容は、次表のとおりであります。

（比較損益計算書）　　（単位　千円）

区分		令和元年度	令和２年度	増減
経常事業収支	経常事業収入	(100.0) 2,480,884	(100.0) 3,894,551	 1,413,667
	放送番組等有料配信収入	2,480,884	3,894,551	1,413,667
	経常事業支出	(86.6) 2,148,411	(57.9) 2,254,336	 105,925
	放送番組等有料配信費	1,971,302	2,076,565	105,263
	広報費	20,987	23,625	2,637
	給与	86,604	84,737	△ 1,867
	退職手当・厚生費	34,345	37,417	3,071
	共通管理費	35,170	31,991	△ 3,179
	経常事業収支差金	(13.4) 332,473	(42.1) 1,640,214	 1,307,741
経常事業外収支	経常事業外収入	(0.0) 7	(0.3) 12,983	 12,975
	雑収入	7	12,983	12,975
	経常事業外収支差金	(0.0) 7	(0.3) 12,983	 12,975
経常収支差金		(13.4) 332,480	(42.4) 1,653,198	 1,320,717
当期事業収支差金		(13.4) 332,480	(42.4) 1,653,198	 1,320,717

当期事業収支差金	332,480	1,653,198	1,320,717
繰越欠損金	332,480	1,653,198	1,320,717

注　（　）内は、経常事業収入を 100 とした比率(%)であります。

経　常　事　業　収　支

令和２年度の経常事業収入３８億９，４５５万１千円に対し、経常事業支出は２２億５，４３３万６千円であり、差し引き経常事業収支差金は１６億４，０２１万４千円であります。

令和元年度の経常事業収入２４億８，０８８万４千円、経常事業支出２１億４，８４１万１千円と比べ、経常事業収入は１４億１，３６６万７千円の増加、経常事業支出は１億５９２万５千円の増加であります。

経　常　事　業　収　入

（単位　千円）

区　　分	令和元年度	令和２年度	増　　減
放送番組等有料配信収入	2,480,884	3,894,551	1,413,667
視　聴　料　収　入	2,370,639	3,797,587	1,426,948
事業者提供料収入	110,245	96,964	△　13,281

経　常　事　業　支　出

（単位　千円）

区　　分	令和元年度	令和２年度	増　　減
放送番組等有料配信費	1,971,302	2,076,565	105,263
広　　報　　費	20,987	23,625	2,637
給　　与	86,604	84,737	△　1,867
退職手当・厚生費	34,345	37,417	3,071
共　通　管　理　費	35,170	31,991	△　3,179
合　　計	2,148,411	2,254,336	105,925

(1)　放送番組等有料配信費　（単位　千円）

区　　分	令和元年度	令和２年度	増　　減
放送番組等有料配信費	1,971,302	2,076,565	105,263

注　放送番組等に係る協会の著作権の使用料は 38,945 千円、放送番組等に係る協会以外の著作権の使用料は 424,493 千円であります。

(2)　広　　報　　費　（単位　千円）

区　　分	令和元年度	令和２年度	増　　減
広　　報　　費	20,987	23,625	2,637

注　広報費は、事業活動の周知及び普及促進に要する経費であります。

(3)　給　　与　（単位　千円）

区　　分	令和元年度	令和２年度	増　　減
給　　与	86,604	84,737	△　1,867

(4)　退職手当・厚生費　　（単位　千円）

区　　分	令和元年度	令和２年度	増　　減
退職手当・厚生費	34,345	37,417	3,071

(5)　共通管理費　　（単位　千円）

区　　分	令和元年度	令和２年度	増　　減
共通管理費	35,170	31,991	△　3,179

注　共通管理費は、事業全般に共通して要する経費であります。

経常事業外収支

令和２年度の経常事業外収入は１，２９８万３千円であり、これにより経常事業外収支差金は１，２９８万３千円であります。なお、その内容は次表のとおりであります。

経常事業外収入

（単位　千円）

区　　分	令和元年度	令和２年度	増　　減
雑収入	7	12,983	12,975

当期事業収支差金

令和２年度の当期事業収支差金は、経常事業収支差金１６億４，０２１万４千円に経常事業外収支差金１，２９８万３千円を加えた１６億５，３１９万８千円であり、その内容は次表のとおりであります。

（単位　千円）

区　　分	令和元年度	令和２年度	増　　減
当期事業収支差金	332,480	1,653,198	1,320,717
繰越欠損金	332,480	1,653,198	1,320,717

（受託業務等勘定）

受託業務等勘定は、放送法第２０条第３項に基づき実施した業務に係る勘定であり、その収入及び支出の内容は、次表のとおりであります。

（比較損益計算書）　（単位　千円）

区分		令和元年度	令和２年度	増減
経常事業収支	経常事業収入	(100.0) 1,847,205	(100.0) 939,612	△ 907,592
	受託業務等収入	1,847,205	939,612	△ 907,592
	経常事業支出	(82.7) 1,527,050	(83.3) 783,163	△ 743,886
	受託業務等費	1,527,050	783,163	△ 743,886
	経常事業収支差金	(17.3) 320,154	(16.7) 156,448	△ 163,705
当期事業収支差金		(17.3) 320,154	(16.7) 156,448	△ 163,705

当期事業収支差金	320,154	156,448	△ 163,705
一般勘定への繰入れ	320,154	156,448	△ 163,705

注　（　）内は、経常事業収入を 100 とした比率(%)であります。

経　常　事　業　収　支

令和２年度の経常事業収入９億３，９６１万２千円に対し、経常事業支出は７億８，３１６万３千円であり、差し引き経常事業収支差金は１億５，６４４万８千円であります。

令和元年度の経常事業収入１８億４，７２０万５千円、経常事業支出１５億２，７０５万円と比べ、経常事業収入は９億７５９万２千円の減少、経常事業支出は７億４，３８８万６千円の減少であります。

経　常　事　業　収　入

（単位　千円）

区分	令和元年度	令和２年度	増減
受託業務等収入	1,847,205	939,612	△ 907,592
１　号業務収入	1,302,118	936,913	△ 365,205
２　号業務収入	545,086	2,698	△ 542,387

注１　１号業務収入は、協会の保有する施設又は設備を一般の利用に供し、又は賃貸することによる収入であります。

２　２号業務収入は、委託により放送番組等を制作することによる収入等であります。

経　常　事　業　支　出

（単位　千円）

区　　分	令和元年度	令和２年度	増　減
受託業務等費	1,527,050	783,163	△ 743,886
１号業務費	1,085,347	780,728	△ 304,618
２号業務費	441,703	2,435	△ 439,268

注１　１号業務費は、一般の利用に供し、又は賃貸した協会の保有する施設又は設備の減価償却費等であります。

２　２号業務費は、委託により放送番組等の制作に要した人件費等であります。

当期事業収支差金

令和２年度の当期事業収支差金は、経常事業収支差金１億５，６４４万８千円であり、その内容は次表のとおりであります。

なお、当期事業収支差金は、一般勘定の副次収入へ繰り入れております。

（単位　千円）

区　　分	令和元年度	令和２年度	増　減
当期事業収支差金	320,154	156,448	△ 163,705
一般勘定への繰入れ	320,154	156,448	△ 163,705

3. 金融商品の時価に関する事項

(1) 金融商品の状況に関する事項

協会は、資金の運用にあたっては、短期の預金（定期預金や譲渡性預金）及び長期の公社債に限定して運用しております。短期の運用については、金融機関の財政状況等を踏まえて運用対象機関を絞り込むとともに、長期の運用については、国債、政府保証債及び格付けの高い事業債を購入し、リスク低減を図っております。未払金は、そのほとんどが１年以内に支払期日が到来するものであります。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次表のとおりであります。

（単位　千円）

区　　分	貸借対照表計上額(*)	時　　価(*)	差　　額
ア　現金及び預金	51,997,271	51,997,271	－
イ　有価証券	676,797,700	677,494,150	696,449
満期保有目的の債券	318,797,700	319,494,150	696,449
譲渡性預金	358,000,000	358,000,000	－
ウ　未払金	(70,177,306)	(70,177,306)	－

(*) 負債に計上されているものについては、（　）で表示しております。

注１　金融商品の時価の算定方法等に関する事項

ア　現金及び預金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

イ　有価証券

有価証券については、有価証券、長期保有有価証券及び建設積立資産の合計であります。これらの内訳については、「(3) 保有する有価証券の状況 ア 保有する有価証券の銘柄及び資産区分の内訳」のとおりであります。なお、時価については、取引所の価格又は取引金融機関から提示された価格によっております。有価証券のうち譲渡性預金については、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

ウ　未払金

未払金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

２　関係会社出資及びその他の出資 10,875,075 千円については、市場価格がなく、時価の把握が極めて困難と認められることから、「(2) 金融商品の時価等に関する事項 イ 有価証券」には含めておりません。

(3) 保有する有価証券の状況

ア　保有する有価証券の銘柄及び資産区分の内訳（令和３年３月 31 日現在）　（単位　千円）

区　　分	有価証券	長期保有有価証券	建設積立資産	合　　計
満期保有目的の債券	58,499,201	90,979,263	169,319,235	318,797,700
国債	200,000	2,498,498	－	2,698,498
政府保証債	3,699,294	－	10,000,000	13,699,294
非政府保証債	9,599,915	22,480,765	64,619,235	96,699,915
地方債	3,199,991	－	8,200,000	11,399,991
事業債	41,800,000	66,000,000	86,500,000	194,300,000
譲渡性預金	358,000,000	－	－	358,000,000
合　　計	416,499,201	90,979,263	169,319,235	676,797,700

イ　満期保有目的の債券の内訳（令和３年３月31日現在）　（単位　千円）

区　分	貸借対照表計上額	時　価	差　額	摘　要
国　債	2,698,498	2,740,050	41,551	
政府保証債	13,699,294	13,848,360	149,065	日本高速道路保有・債務返済機構債券ほか
非政府保証債	96,699,915	97,151,770	451,854	住宅金融支援機構債券ほか
地方債	11,399,991	11,491,040	91,049	愛知県公募公債ほか
事業債	194,300,000	194,262,930	△　37,070	東日本高速道路㈱社債ほか
合　計	318,797,700	319,494,150	696,449	

(4) 満期保有目的の債券等の今後の償還予定額（令和３年３月31日現在）

（単位　千円）

区　分	貸借対照表計上額	１　年　以　内	１年超５年以内	５年超１０年以内
現金及び預金				
定期預金	40,000,000	40,000,000	－	－
満期保有目的の債券				
国　債	2,698,498	200,000	2,498,498	－
政府保証債	13,699,294	3,699,294	9,500,000	500,000
非政府保証債	96,699,915	9,599,915	68,300,000	18,800,000
地方債	11,399,991	3,199,991	3,600,000	4,600,000
事業債	194,300,000	41,800,000	144,200,000	8,300,000
譲渡性預金	358,000,000	358,000,000	－	－
合　計	716,797,700	456,499,201	228,098,498	32,200,000

4. 子会社及び関連会社に対する債権及び債務

債　権

短期債権（未収金）　（単位　千円）

会　社　名	令和元年度末	令和２年度末	増　減
㈱ＮＨＫエンタープライズ	997,374	865,153	△　132,220
㈱ＮＨＫプラネット	8,985	－	△　8,985
㈱ＮＨＫエデュケーショナル	499,017	500,436	1,418
㈱日本国際放送	512,622	361,528	△　151,094
㈱ＮＨＫグローバルメディアサービス	175,193	151,451	△　23,742
㈱ＮＨＫ出版	48,315	48,132	△　182
㈱ＮＨＫテクノロジーズ	21,903	17,540	△　4,362
その他	432,171	32,147	△　400,023
合　計	2,695,584	1,976,390	△　719,193

債　務

短期債務（未払金）　（単位　千円）

会　社　名	令和元年度末	令和２年度末	増　減
㈱ＮＨＫエンタープライズ	7,947,562	11,744,818	3,797,256
㈱ＮＨＫプラネット	920,721	－	△　920,721
㈱ＮＨＫテクノロジーズ	9,084,233	9,889,609	805,375
㈱ＮＨＫエデュケーショナル	2,180,929	3,137,725	956,796
㈱ＮＨＫグローバルメディアサービス	2,277,073	2,992,159	715,085
㈱ＮＨＫアート	1,656,352	1,650,026	△　6,325
ＮＨＫ営業サービス㈱	1,187,984	839,313	△　348,670
その他	2,277,905	2,285,013	7,107
合　計	27,532,763	32,538,667	5,005,903

注　令和２年４月１日付で㈱ＮＨＫエンタープライズを吸収合併存続会社とし、㈱ＮＨＫプラネットを吸収合併消滅会社とする吸収合併をしております。

5. 子会社及び関連会社との取引高の総額

（単位　千円）

区　　分	令和元年度	令和2年度	増　　減
収　入　総　額	10,074,611	5,492,169	△　4,582,441
支　出　総　額	183,871,531	169,100,560	△　14,770,971

6. 関連公益法人等の基本財産に対する出えん金及び寄付金

該当事項はありません。

7. 役員との間の取引による債権債務に関する事項

該当事項はありません。

8. 関連当事者との取引

記載すべき取引はありません。

9. 担保提供に関する事項

該当事項はありません。

10. 重要な係争事件に係る損害賠償義務等に関する事項

該当事項はありません。

11. インターネット活用業務に係る費用の明細

(1) 受信料財源インターネット活用業務費用明細表

令和2年4月 1 日から
令和3年3月 31 日まで

（ 一 般 勘 定 ）　　（単位　千円）

科目		二号業務	国内インターネット活用業務	実施基準附則第4条関係	常時同時配信等業務	左記以外の業務	国際インターネット活用業務	三号業務	合計
国内放送番組等配信費	コンテンツ制作業務費	5,150,674	5,150,674	326,503	870,915	3,953,255	—	—	5,150,674
	コンテンツ制作設備費	497,250	497,250	70,791	142,199	284,260	—	—	497,250
	配信業務費	739,453	739,453	41,538	633,694	64,221	—	—	739,453
	配信設備費	1,828,300	1,828,300	1,515	558,126	1,268,659	—	—	1,828,300
	認証業務費	275,655	275,655	—	275,655	—	—	—	275,655
	認証設備費	171,938	171,938	—	171,938	—	—	—	171,938
	視聴者対応費	154,448	154,448	—	154,448	—	—	—	154,448
	開発費	53,367	53,367	—	—	53,367	—	—	53,367
	小計	8,871,091	8,871,091	440,349	2,806,977	5,623,764	—	—	8,871,091
国際放送番組等配信費	業務関連費	1,071,335	—	—	—	—	1,071,335	—	1,071,335
	設備関連費	937,790	—	—	—	—	937,790	—	937,790
	小計	2,009,126	—	—	—	—	2,009,126	—	2,009,126
広報費		5,843	5,843	—	5,843	—	—	—	5,843
給与		2,061,585	1,836,099	64,424	300,647	1,471,026	225,485	—	2,061,585
退職手当・厚生費		1,013,577	902,717	31,674	147,813	723,229	110,860	—	1,013,577
共通管理費		182,655	150,285	7,115	44,141	99,028	32,370	—	182,655
減価償却費		805,864	788,471	292	480,451	307,727	17,393	—	805,864
合計		14,949,745	12,554,508	543,855	3,785,875	8,224,776	2,395,236	—	14,949,745

費用の上限			2,000,000	17,239,677		100,000	

注1　この表において、「実施基準」とは、放送法第 20 条第 9 項の認可を受けた実施基準であります。
2　この表において、「実施基準附則第 4 条関係」とは、令和 3 年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに係るインターネット活用業務であります。
3　この表において、「費用の上限」とは、実施基準に定める受信料財源インターネット活用業務の実施に要する費用の上限であります。
4　区分経理の実施方法等（放送法施行規則第 34 条第 3 項第 4 号ツ～ナ）については、令和 2 年度の「インターネット活用業務実施計画」によっております。

(2) 有料インターネット活用業務費用明細表

令和２年４月 １ 日から
令和３年３月 31 日まで

(有料インターネット活用業務勘定)　　(単位　千円)

科目		金額
放送番組等有料配信費	コンテンツ制作業務費	673,119
	コンテンツ制作設備費	23,398
	配信業務費	95,409
	配信設備費	168,443
	認証決済業務費	854,647
	認証決済設備費	208,091
	利用者対応費	53,455
	小計	2,076,565
広報費		23,625
給与		84,737
退職手当・厚生費		37,417
共通管理費		31,991
合計		2,254,336

Ⅱ. 重要な後発事象に関する事項

該当事項はありません。

Ⅲ. 貸借対照表及び損益計算書についての勘定相互間の相殺消去等

（貸借対照表）

令和３年３月31日現在

（単位　千円）

科目	一般勘定	有料インターネット活用業務勘定	受託業務等勘定	相殺消去等	合計
流動資産合計	499,504,813	542,757	52,831	△ 5,002,309	495,098,093
現金及び預金	51,997,271	－	－	－	51,997,271
受信料未収金	3,798,297	－	－	－	3,798,297
有価証券	416,499,201	－	－	－	416,499,201
番組勘定	10,150,267	－	－	－	10,150,267
前払費用	3,270,365	4,525	－	－	3,274,890
有料インターネット活用業務勘定短期貸付金	4,942,261	－	－	△ 4,942,261	－
受託業務等勘定短期貸付金	32,192	－	－	△ 32,192	－
未収金	5,417,603	538,232	24,976	－	5,980,813
未収消費税等	－	－	27,854	△ 27,854	－
その他の流動資産	3,397,351	－	－	－	3,397,351
固定資産合計	603,699,476	－	－	－	603,699,476
有形固定資産	464,273,335	－	－	－	464,273,335
建物	162,546,070	－	－	－	162,546,070
構築物	62,233,934	－	－	－	62,233,934
機械及び装置	151,156,635	－	－	－	151,156,635
車両及び運搬具	1,820,436	－	－	－	1,820,436
器具	5,231,169	－	－	－	5,231,169
土地	47,291,287	－	－	－	47,291,287
建設仮勘定	33,993,801	－	－	－	33,993,801
無形固定資産	14,623,642	－	－	－	14,623,642
無形固定資産	14,623,642	－	－	－	14,623,642
出資その他の資産	124,802,498	－	－	－	124,802,498
長期保有有価証券	90,979,263	－	－	－	90,979,263
出資	10,875,075	－	－	－	10,875,075
長期前払費用	119,548	－	－	－	119,548
前払年金費用	19,404,358	－	－	－	19,404,358
その他の出資その他の資産	3,424,251	－	－	－	3,424,251
特定資産合計	169,319,235	－	－	－	169,319,235
建設積立資産	169,319,235	－	－	－	169,319,235
資産合計	1,272,523,525	542,757	52,831	△ 5,002,309	1,268,116,805

（単位　千円）

科　　目	一　般　勘　定	有料インターネット活用業務勘定	受託業務等勘定	相殺消去等	合　　計
流動負債合計	272,862,096	5,605,302	52,831	△ 5,002,309	273,517,920
一般勘定短期借入金	－	4,942,261	32,192	△ 4,974,454	－
未　払　金	69,702,475	473,995	835	－	70,177,306
未　払　費　用	24,373,071	－	－	－	24,373,071
未払消費税等	8,936,461	189,045	－	△ 27,854	9,097,651
東京オリンピック・パラリンピック関連費用引当金	18,000,000	－	－	－	18,000,000
受信料前受金	148,501,118	－	－	－	148,501,118
短期リース債務	989,296	－	－	－	989,296
その他の流動負債	2,359,673	－	19,803	－	2,379,477
固定負債合計	178,755,559	－	－	－	178,755,559
退職給付引当金	129,483,072	－	－	－	129,483,072
役員退任引当金	118,340	－	－	－	118,340
国際催事放送権料引当金	44,418,996	－	－	－	44,418,996
長期リース債務	2,154,181	－	－	－	2,154,181
その他の固定負債	2,580,969	－	－	－	2,580,969
負　債　合　計	451,617,656	5,605,302	52,831	△ 5,002,309	452,273,480
承　継　資　本	163,375	－	－	－	163,375
固定資産充当資本	498,206,783	－	－	－	498,206,783
剰余金（欠損金）	322,535,710	△ 5,062,544	－	－	317,473,166
純　資　産　合　計	820,905,869	△ 5,062,544	－	－	815,843,324
負債純資産合計	1,272,523,525	542,757	52,831	△ 5,002,309	1,268,116,805

（損益計算書）

令和２年４月 １日から
令和３年３月 31日まで

（単位　千円）

科目	一般勘定	有料インターネット活用業務勘定	受託業務等勘定	相殺消去等	合計
経常事業収入	709,910,075	3,894,551	939,612	△ 961,324	713,782,915
受信料	700,575,149	－	－	－	700,575,149
交付金収入	3,620,567	－	－	－	3,620,567
放送番組等有料配信収入	－	3,894,551	－	－	3,894,551
副次収入	5,714,359	－	－	△ 961,324	4,753,035
受託業務等収入	－	－	939,612	－	939,612
経常事業支出	691,757,645	2,254,336	783,163	△ 804,875	693,990,270
国内放送費	311,117,814	－	－	－	311,117,814
国際放送費	19,215,828	－	－	－	19,215,828
国内放送番組等配信費	8,871,091	－	－	－	8,871,091
国際放送番組等配信費	2,009,126	－	－	－	2,009,126
放送番組等有料配信費	－	2,076,565	－	△ 56,770	2,019,794
受託業務等費	－	－	783,163	△ 746,701	36,462
契約収納費	57,500,207	－	－	－	57,500,207
受信対策費	722,828	－	－	－	722,828
広報費	5,847,243	23,625	－	－	5,870,868
調査研究費	7,492,972	－	－	－	7,492,972
給与	109,436,179	84,737	－	－	109,520,917
退職手当・厚生費	53,680,634	37,417	－	－	53,718,051
共通管理費	18,410,865	31,991	－	△ 1,403	18,441,453
減価償却費	86,464,797	－	－	－	86,464,797
未収受信料欠損償却費	10,988,054	－	－	－	10,988,054
経常事業収支差金	18,152,430	1,640,214	156,448	△ 156,448	19,792,644
経常事業外収入	6,373,788	12,983	－	－	6,386,772
財務収入	2,208,922	－	－	－	2,208,922
雑収入	4,164,866	12,983	－	－	4,177,849
経常事業外支出	3,193	－	－	－	3,193
財務費	3,193	－	－	－	3,193
経常事業外収支差金	6,370,595	12,983	－	－	6,383,579
経常収支差金	24,523,025	1,653,198	156,448	△ 156,448	26,176,223
特別収入	6,878,421	－	－	－	6,878,421
固定資産売却益	6,327,947	－	－	－	6,327,947
固定資産受贈益	22	－	－	－	22
その他の特別収入	550,452	－	－	－	550,452
特別支出	6,243,088	－	－	－	6,243,088
固定資産売却損	7,709	－	－	－	7,709
固定資産除却損	1,641,790	－	－	－	1,641,790
その他の特別支出	4,593,587	－	－	－	4,593,587
当期事業収支差金	25,158,359	1,653,198	156,448	△ 156,448	26,811,557

Ⅳ. 主たる設備の状況

令和２年度末における主たる保有設備の状況は次表のとおりであります。

区分	土地		建物
	面積	金額	
	㎡	千円	千円
放送会館	349,978	34,423,496	111,557,487
（うち、放送センター）	(82,646)	(5,079,536)	(17,808,839)
テレビジョン放送所	377,738	810,448	14,134,442
ラジオ放送所	2,131,256	9,749,320	7,008,037
テレビジョン共同受信施設	－	－	－
その他の施設	1,934,836	2,308,022	29,846,103
合計	4,793,810	47,291,287	162,546,070

区分	機械及び装置	その他の固定資産	貸借対照表計上額合計
	千円	千円	千円
放送会館	114,561,804	15,327,015	275,869,803
（うち、放送センター）	(56,727,252)	(6,393,242)	(86,008,871)
テレビジョン放送所	17,562,949	26,876,495	59,384,335
ラジオ放送所	6,921,097	5,210,071	28,888,526
テレビジョン共同受信施設	－	15,405,880	15,405,880
その他の施設	12,110,783	6,466,077	50,730,987
合計	151,156,635	69,285,540	430,279,533

注１　その他の施設は放送技術研究所及び放送文化研究所等であります。
　２　その他の固定資産は構築物、車両、運搬具及び器具であります。

V. 収入支出の決算の状況

1. 収入支出の決算

令和２年度における収入支出の決算の状況は，別表収入支出決算表のとおりであります。(⇒p.302)

2. 予算総則の適用

（一般勘定）

(1) 予算総則第４条第１項に基づく予算の流用 …… 7,140,000千円

ア　事業収支において，他の項から流用し予算を増額する項及び金額　7,140,000千円

退職手当・厚生費	1,960,000千円
共通管理費	930,000千円
特別支出	4,250,000千円

イ　事業収支において，他の項へ流用し予算を減額する項及び金額　△ 7,140,000千円

国内放送費	△ 5,180,000千円
給与	△ 1,960,000千円

(2) 予算総則第５条第１項に基づく令和３年度への建設費予算の繰越し …… 5,269,743千円

ア　新放送・衛星放送施設の整備費	52,900千円
イ　放送網設備の整備費	1,625,302千円
ウ　地域放送会館の整備費	271,600千円
エ　番組設備等の整備費	3,319,941千円

(3) 予算総則第５条第２項に基づく令和元年度からの建設費予算の繰越し …… 2,595,494千円

ア　新放送・衛星放送施設の整備費	24,853千円
イ　放送網設備の整備費	121,023千円
ウ　地域放送会館の整備費	528,697千円
エ　番組設備等の整備費	1,920,921千円

（有料インターネット活用業務勘定）

(1) 予算総則第４条第１項に基づく予算の流用　1,900千円

ア　事業収支において，他の項から流用し予算を増額する項及び金額　1,900千円

退職手当・厚生費	1,900千円

イ　事業収支において，他の項へ流用し予算を減額する項及び金額　△ 1,900千円

給与	△ 1,900千円

(2) 予算総則第７条に基づく増収額の振当て …… 915,000千円

ア　受入れの項及び金額　915,000千円

放送番組等有料配信収入	915,000千円

イ　振当ての項及び金額　915,000千円

放送番組等有料配信費	900,000千円
広報費	3,000千円
共通管理費	12,000千円

経営 NHK環境経営アクションプラン（2021～2023年度）

数値目標	2025年度末までに電力使用によるCO2排出量を25%削減（放送センター排出量相当分・2018年度比）

実施内容		2021年度	2022年度	2023年度
各種設備の更新等で省エネルギー推進	Eテレ，ラジオ第２で深夜放送休止時間帯の停波を継続。メディアの整理・削減として2023年度に衛星１波を削減し，2025年度にラジオ１波を整理，削減する方向で検討します。	ラジオ第2：停波約5時間/日，Eテレ：停波約4時間/日を継続		BS2Kのうち1波を削減
	放送センター・放送局の建替に伴い空調・照明設備の高効率化，屋上緑化などを行い省エネを推進，環境にやさしい放送会館を建設します。	（建替による新会館の省エネ化） 佐賀・富山会館	松江会館	
	放送設備の省エネ化として，電源設備や空調設備の省エネ化，全国送信所の送信機の低消費電力化，スタジオ照明のLED化を進めます。	（冷凍機省エネ化） 盛岡・帯広会館	青森会館・豊橋支局	長野会館・松本支局
		（送信機低消費電力化） 1局を更新	3局を更新	3局を更新
	オフィス設備の省エネ化として，LED化を進めるとともに，事務機器の削減を進め消費電力を削減します。また，電子化によりペーパーレスも推進します。	オフィス照明のLED化，一部エレベーターの夜間・休日休止による省エネ		
		複合機などの事務機器の削減・ペーパーレスも推進		
再生可能エネルギーでCO2削減	再生可能エネルギー（グリーン電力等）の導入などによりCO2削減に取り組みます。	放送センターで導入開始	全国の放送局での展開も検討	
	放送センター，全国放送会館，菖蒲久喜ラジオ放送所に整備した太陽光発電および放送センターに整備したマイクロ水力発電の運用を継続します。	自然エネルギーを利用した設備の運用を継続		
業務用車両の見直し	業務用車両に電気自動車等の導入を検討し環境に配慮します。	取材用車両等の更新にあわせて電気自動車等の導入を検討		
廃棄物削減・リサイクル率向上	分別を徹底しリサイクル率を向上させて廃棄物の削減を一層図ります。美術セットの3Rを継続します。	放送センターのリサイクル率の向上，全国の放送局でも取り組み強化		
		美術セットの3R（Reduce, Reuse, Recycle）の継続		
SDGsキャンペーン実施	環境問題に関する番組を放送するほか，SDGsキャンペーン「未来へ17アクション」を実施します。	「未来へ17アクション」実施	各種キャンペーンを検討	

経営計画（2018-2020年度）3か年事業運営の総括

2018～2020年度の 3 か年経営計画は，「大切なことを、より深く、より身近に～“公共メディア”のある暮らし～」をテーマとした。正確で迅速なニュースや質の高い多彩な番組など，公共性の高い情報やコンテンツを「いつでも、どこでも」入手できるよう，インターネットも活用してお届けすることで，信頼される「情報の社会的基盤」としての役割を果たすことを目標とした。計画期間の後半は，新型コロナウイルス感染症の影響や今後の受信料収入の見通し，メディア環境の急速な変化などを踏まえ，スリムで強靭な「新しいNHK」の転換を目指し，既存業務を抜本的に見直す構造改革への取り組みを進めた。

経営計画の柱に掲げた 5 つの重点方針の主な成果について，

「１．“公共メディア”への進化」については，放送，インターネットなど多様な伝送路を活用して，激甚化・広域化する自然災害に対応した防災・減災報道の強化，新型コロナに関する正確な情報提供，NHKならではの大型番組の制作などに取り組んだ。2019年に放送法が改正され，2020年 4 月から「NHKプラス」のサービスを本格的に開始したことは，“公共メディア”への進化に向けて大きな一歩となった。４K・8 Kは2018年に本放送を開始した。また，コンテンツをジャンル別に管理することにより，重複する内容の番組の見直しや番組コストの査定を徹底する新たな手法の導入を開始した。

「２．多様な地域社会への貢献」については，地域放送局を支援する新たな組織を本部に設置し，首都圏，大阪など 8 つの放送局をそれぞれの地域（ブロック）の拠点放送局と位置づけてブロック経営を推進した。地域向け番組の増加や全国ネットワークを生かした調査報道の強化など，地域の魅力や課題を広く発信する取り組みを進めるとともに，より強靭なネットワークを構築するため大阪拠点放送局の機能強化に着手した。

「３．未来へのチャレンジ」については，東京オリンピック・パラリンピックの開催が延期されたため，最高水準の放送・サービスの提供は2021年度に持ち越すこととなった。新型コロナの状況や大会に向けた動きなどを注視しながら，コンテンツの内容や制作体制について検討を行っている。このほか，気象情報手話CGなど最新技術を活用したユニバーサル放送・サービスを強化するなど，「共生社会」への理解を深める取り組みを進めた。

「４．視聴者理解・公平負担を推進」については，中長期の収支見通しを踏まえて2018年に経営計画を修正し，当初から計画していた負担軽減策に加えて受信料の値下げを行い視聴者のみなさまへの還元を実施した。新型コロナウイルスの影響等により経営計画に掲げた支払率等の目標は達成できなかったが，今後はポストコロナ時代を見据えて訪問によらない営業活動へ移行し，公平負担を徹底しつつ営業経費を削減するとともに，視聴者のみなさまの満足度を高める視聴者コミュニケーション改革を進めていく。

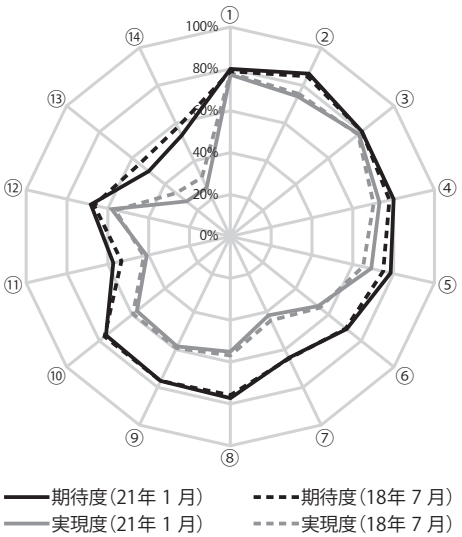
「５．創造と効率、信頼を追求」については，「NHKグループ働き方改革宣言」に沿って，業務に関わるすべての人の健康の確保やダイバーシティ施策の推進に取り組んだ。新放送センターは基本設計を策定するとともに，設備についてNHK独自仕様の見直しやシステムの効率化などに取り組んでいる。関連団体については再編による新たなグループ体制の構築を進め，今後は中間持株会社の導入を視野にさらなるガバナンス強化を図っていく。

経営計画の達成状況を評価する指標のうち，経営14指標は 3 か年で大きな変動は見られなかった。VFM（Value for Money）は，2018年度，19年度とも 1 以上を確保した。

3 か年の成果や課題を踏まえて構造改革の取り組みをさらに具体化し，グループ一体となって「NHKでしかできないこと」に注力して受信料の価値の最大化を進め，2021年度からの経営計画に掲げた「新しいNHKらしさの追求」につなげていく。

▶経営14指標の世論調査結果

経営計画期間最初の調査（2018年７月実施）と最後の調査（2021年１月実施）を比較した。「①公平・公正」「②正確・迅速な情報提供」「⑧世界への情報発信」「⑪インターネットの活用」については，期待度がやや高まった一方，実現度が横ばいで推移したため，期待･実現差がやや拡大した。「③多角的論点」については，実現度がやや高まり，期待・実現差は縮小した。



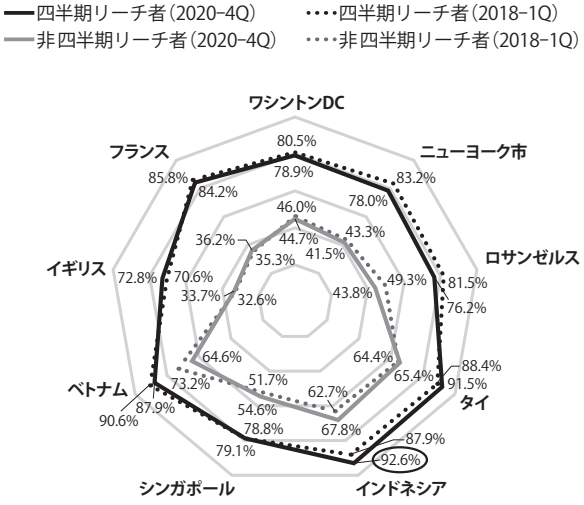
指　標	期待度（%）	実現度（%）	差（21年１月）	差（18年７月）
①公平・公正	80.0	77.1	2.9	(0.3)
②正確・迅速な情報提供	86.5	74.6	12.0	(9.0)
③多角的論点の提示	80.0	78.5	1.6	(2.4)
④記録・伝承	80.4	73.3	7.1	(7.7)
⑤文化の創造・発展	78.6	69.0	9.6	(9.8)
⑥多様性をふまえた編成	71.0	53.7	17.4	(16.0)
⑦新規性・創造性	64.2	42.0	22.2	(20.2)
⑧世界への情報発信	77.2	55.1	22.0	(18.5)
⑨地域社会への貢献	76.9	58.8	18.1	(17.6)
⑩人にやさしい放送	76.2	57.6	18.6	(18.0)
⑪インターネットの活用	56.9	40.9	16.0	(10.5)
⑫放送技術の発展	68.4	58.2	10.2	(10.5)
⑬受信料制度の理解促進	49.8	26.7	23.0	(22.6)
⑭受信料の公平負担	53.8	25.4	28.4	(26.6)

18年7月の調査と比較し，期待・実現差が統計的に変動した指標
（□：縮小，■：拡大）

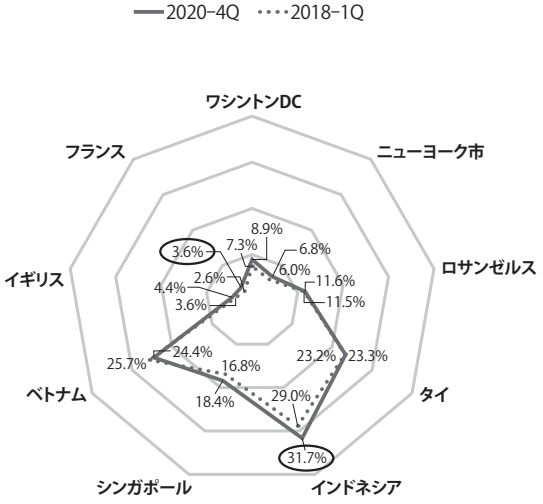
▶国際戦略調査の結果

2018年７月実施の調査と2021年１月実施の調査を比較した。「NHKワールド JAPAN」に接触した人（リーチ者）の方が，接触しなかった人（非リーチ者）よりも，日本についての理解度が高い状態を維持している。

日本の理解度



四半期リーチ率



※１：○は2018年度第１四半期と比較して統計的に高くなった項目
※２：日本の理解度は，日本全般，国民性，政治面，経済面，文化面の５つ理解度の平均値

経営 外国放送機関との協力協定・協力覚書・ニュース素材交換覚書（2021年3月末現在）

地域	国名	相手方の機関名	文書の種類（締結日）
アジア・太平洋	インドネシア	インドネシア国営テレビ〔TVRI〕	協力覚書（85.7.29） ニュース素材交換覚書（95.4.3）
	ウズベキスタン	ウズベキスタン・テレビ・ラジオ会社	協力協定（04.9.22）
	オーストラリア	オーストラリア放送協会〔ABC〕	協力協定（85.9.5） ニュース素材交換覚書（95.11.1）
		オーストラリア特別放送サービス〔SBS〕	協力協定（93.10.8） ニュース素材交換覚書（95.4.3）
	韓国	韓国放送公社〔KBS〕	協力協定（91.9.30） ニュース素材交換覚書（06.7.1）
	カンボジア	カンボジアTV〔TVK〕	ニュース素材交換覚書（95.4.1）
	シンガポール	メディアコープ〔MediaCorp〕	協力覚書（00.7.18） ニュース素材交換覚書（09.4.1）
	タイ	タイ・マスコミ国営公社〔MCOT〕	協力覚書（85.5.29） ニュース素材交換覚書（97.4.1）
	中国	中国ラジオ・映画テレビ省〔CRFTM〕　注：現国家新聞出版ラジオ映画テレビ総局〔SAPPRFT〕	協力協定（84.10.16）
		中国中央テレビ〔CCTV〕	ニュース素材交換覚書（11.4.1）
		広東電視台〔GDTV〕	ニュース素材交換覚書（93.1.15）
		上海メディアグループ〔SMG〕	ニュース素材交換覚書（12.4.1）
		遼寧電視台〔LNTV〕	ニュース素材交換覚書（00.2.21）
	ニュージーランド	ニュージーランド・テレビ〔TVNZ〕	協力覚書（00.5.1） ニュース素材交換覚書（96.6.1）
		ニュージーランド・ラジオ〔RNZ〕	協力覚書（00.5.19）
	ネパール	ネパール国営テレビ〔NTV〕	協力覚書（00.1.31） ニュース素材交換覚書（00.5.1）
	フィリピン	ピープルズ・テレビジョン・ネットワーク〔PTNI〕	協力覚書（00.7.27） ニュース素材交換覚書（97.6.1）
	ベトナム	ベトナム国営テレビ〔VTV〕	協力協定（91.5.3） ニュース素材交換覚書（13.4.15）
		ベトナム国営ラジオ〔VOV〕	協力覚書（04.4.16）
		ホーチミンTV〔HTV〕	ニュース素材交換覚書（95.3.10）
	香港	香港ケーブルTV	ニュース素材交換覚書（13.4.1）
		フェニックスTV	ニュース素材交換覚書（08.4.1）
		香港TVB	ニュース素材交換覚書（16.3.1）
	マレーシア	マレーシア国営放送〔RTM〕	協力覚書（95.8.22） ニュース素材交換覚書（96.1.1）
	ミャンマー	ミャンマー国営TV	ニュース素材交換覚書（98.12.1）
	モンゴル	モンゴル国営放送	協力協定（91.8.7） ニュース素材交換覚書（95.3.23）
	ラオス	ラオス国営TV	ニュース素材交換覚書（95.3.17）
ヨーロッパ	イギリス	英国放送協会〔BBC〕	ニュース素材交換覚書（15.9.1）
		チャンネル4テレビ	協力協定（88.4.29）
	イタリア	イタリア放送協会〔RAI〕	協力協定（85.11.29）
	オーストリア	オーストリア放送協会〔ORF〕	協力協定（87.4.21）
	ギリシャ	ギリシャ放送協会〔ERT〕	協力協定（99.7.5） ニュース素材交換覚書（99.9.1）
	スウェーデン	スウェーデン・テレビ〔SVT〕	協力協定（91.10.29）

地域	国名	相手方の機関名	文書の種類（締結日）
ヨーロッパ	スペイン	スペイン国営放送機構〔RTVE〕	協力協定（91.10.29）
	スロバキア	スロバキア・テレビ〔STV〕	協力協定（95.10.26）
	スロベニア	テレビ・スロベニア〔RTV-SLO〕	ニュース素材交換覚書（96.4.1）
	チェコ	チェコテレビ〔CTV〕	協力協定（95.10.27）
	ドイツ	ドイツ放送連盟〔ARD〕	協力協定（88.11.11）
		第2ドイツテレビ〔ZDF〕	協力協定（89.7.11）
		北ドイツ放送協会〔NDR〕	協力覚書（87.8.31）
	ハンガリー	ハンガリー・テレビ〔MTV〕	協力協定（87.9.29）
		ハンガリー・ラジオ〔MR〕	協力協定（87.9.29）
	フランス	フランステレビ1〔TF1〕	協力協定（77.6.29）
		フランステレビ2／3〔F2／F3〕	協力協定（92.7.7）
		フランス放送送信会社〔TDF〕	協力協定（77.6.29）
	ブルガリア	ブルガリア国営テレビ〔BNT〕	協力協定（94.11.25） ニュース素材交換覚書（96.4.1）
	ポーランド	ポーランド国営テレビ〔TVP〕	協力協定（95.9.28）
	ポルトガル	ポルトガル国営テレビ〔RTP〕	協力協定（91.10.19）
	ルーマニア	ルーマニア・テレビ〔TVR〕	協力覚書（00.3.23） ニュース素材交換覚書（96.4.1）
	ロシア	ハバロフスク極東TV〔STBD〕	ニュース素材交換覚書（95.9.1）
		ロシア国営太平洋テレビラジオ放送会社〔PTR〕	ニュース素材交換覚書（03.1.1）
中東・アフリカ	イラン	イランイスラム共和国国営放送〔IRIB〕	協力協定（91.7.3）
	エジプト	エジプト国営放送連合〔ERTU〕	協力協定（95.3.13） ニュース素材交換覚書（96.4.1）
	カタール	アルジャジーラ	ニュース素材交換覚書（13.9.1）
	クウェート	クウェート国営放送〔KBTS〕	協力協定（81.6.19）
	セネガル	セネガル国営放送〔ORTS〕	協力覚書（85.12.21）
	タンザニア	TVT	ニュース素材交換覚書（02.1.1）
	トルコ	トルコ放送協会〔TRT〕	協力協定（90.2.8） ニュース素材交換覚書（99.11.2）
	ヨルダン	ヨルダン国営放送〔JRTV〕	協力協定（02.5.21） ニュース素材交換覚書（96.4.1）
北米	アメリカ	ABC	協力協定（99.1.19）
		CNN	ニュース素材交換覚書（12.9.4）
	カナダ	オンタリオ・テレビ〔TVO〕	協力協定（90.4.30）
中南米	アルゼンチン	国営アルゼンチンテレビ〔ATC〕	協力協定（00.2.21）　注：旧アルゼンチン国営放送との協定の継承（66.3.11）
	キューバ	キューバ国営放送〔ICRT〕	協力協定（88.2.28） ニュース素材交換覚書（96.7.1）
	メキシコ	テレビサ〔TVA〕	協力協定（89.4.29）
		テレビアステカ	協力覚書（00.2.23）
	ブラジル	バンデランテス	ニュース素材交換覚書（06.4.14）

日本放送協会放送文化賞受賞者一覧（受賞時の主な肩書）

471件・474人

第1回（昭和24年度）

山田　耕筰	作曲家，指揮者
宮城　道雄	邦楽演奏家（箏曲）
徳川　夢声	俳優，著述業

第2回（昭和25年度）

堀内　敬三	音楽評論家，訳詞，作曲
夏川　静江	俳優
久保田　万太郎	作家
町田　佳聲	邦楽・民謡研究家

第3回（昭和26年度）

松永　和風	邦楽演奏家（長唄）
山本　安英	俳優
真船　豊	劇作家
青山　杉作	ラジオドラマ演出家
土岐　善麿	放送用語委員
高柳　健次郎	日本ビクター顧問

第4回（昭和27年度）

古関　裕而	作曲家
豊竹　山城少掾	邦楽演奏家（義太夫），人間国宝
水谷　八重子	俳優
菊田　一夫	放送劇作家

第5回（昭和28年度）

山田　抄太郎	邦楽演奏家（長唄），人間国宝
中村　吉右衛門	歌舞伎俳優
八木　隆一郎	劇作家
颯田　琴次	東京大学教授

第6回（昭和29年度）

藤原　義江	オペラ歌手，藤原歌劇団研究所理事長
旭堂　南陵	講談師
春風亭　柳橋	落語家
喜多村　緑郎	俳優，人間国宝
北條　秀司	劇作家
金田一　京助	国学院大学教授

第7回（昭和30年度）

ジョセフ・ローゼンストック	指揮者
芳村　伊十郎	邦楽演奏家（長唄）
三遊亭　金馬	落語家
伊馬　春部	脚本家
丹羽　保次郎	東京電機大学学長

第8回（昭和31年度）

有馬　大五郎	NHK交響楽団事務長（理事）
桂　三木助	落語家
北村　寿夫	脚本家
柳田　國男	民俗学者
西本　三十二	国際基督教大学教授，日本放送教育協会理事長

第9回（昭和32年度）

藤山　一郎	歌手
飯沢　匡	劇作家
河竹　繁俊	早稲田大学文学部教授
波多野　完治	お茶の水女子大学教育学部長
千葉　雄次郎	東京大学教授，東大新聞研究所所長
星合　正治	東京大学・名古屋大学教授

第10回（昭和33年度）

常磐津　文字兵衛	邦楽演奏家（常磐津），人間国宝
杉村　春子	俳優
内村　直也	劇作家
長沖　一	ドラマ作家
岩淵　悦太郎	国立国語研究所第１部長

第11回（昭和34年度）

清元　寿兵衛	邦楽演奏家（清元），人間国宝
榎本　健一	喜劇俳優
水木　洋子	劇作家
坂元　彦太郎	お茶の水女子大学教授，同附属小学校長
平沢　和重	ジャパン・タイムス主筆
古賀　逸策	東京大学工学部長

第12回（昭和35年度）

野村　光一	音楽評論家
市川　猿之助	歌舞伎俳優
花菱　アチャコ	喜劇俳優
山崎　匡輔	放送教育研究会全国連盟理事長
唐島　基智三	政治評論家
山本　勇	東京工業大学名誉教授，電気通信大学学長

第13回（昭和36年度）

西條　八十	作詞家
清元　栄寿郎	邦楽演奏家（清元），人間国宝
柳家　金語楼	喜劇俳優
田中　澄江	作家
小川　芳男	東京外国語大学学長
永井　健三	東北大学教授

第14回（昭和37年度）

増沢　健美	音楽評論家
武田　忠一郎	民謡研究家
サトウ　ハチロー	詩人
浪花　千栄子	俳優
坂西　志保	評論家
内藤　多仲	早稲田大学名誉教授

第15回（昭和38年度）

藤浦　洸	詩人
渋谷　天外	喜劇俳優，劇作家，松竹新喜劇主宰者
渡辺　紳一郎	朝日新聞社社友
花柳　章太郎	俳優，人間国宝
宮沢　俊義	立教大学法学部長，東京大学名誉教授
神風　正一	NHK大相撲解説者

（注　＊印は受賞時故人）

第16回（昭和39年度）

古賀　政男	作曲家，日本作曲家協会会長
竹本　綱大夫	邦楽演奏家（義太夫），人間国宝
加藤　道子	俳優
森繁　久彌	俳優
村上　元三	作家
森戸　辰男	NHK学園高等学校校長
マルチェロ・ロディノ	EBU会長
阪本　捷房	東京大学工学部長
林　知己夫	文部省統計数理研究所第２研究部長

第17回（昭和40年度）

西川　鯉三郎	日本舞踊家
山本　嘉次郎	映画監督
長崎　抜天	漫画家
池田　弥三郎	慶応義塾大学教授
福原　麟太郎	英文学者，共立女子大学教授
玉の海　梅吉	NHK大相撲解説者

第18回（昭和41年度）

尾上　松緑	歌舞伎俳優
滝沢　修	俳優
東山　千栄子	俳優
茂木　草介	放送作家
更科　源蔵	詩人，郷土史家
臼井　吉見	評論家
阿部　清	京都大学名誉教授

第19回（昭和42年度）

宮沢　縦一	音楽評論家
野澤　喜左衛門	邦楽演奏家（義太夫），人間国宝
市川　左団次	歌舞伎俳優
高橋　雄豺	読売新聞社顧問
池島　信平	文芸春秋社社長
広田　友義	早稲田大学教授

第20回（昭和43年度）

米川　文子	邦楽演奏家（箏曲），人間国宝
中村　鴈治郎	歌舞伎俳優
一龍斎　貞丈＊	講談師
相島　敏夫	法政大学出版局長
佐藤　尚武	日本国連協会会長，日本ユニセフ協会会長
美土路　昌一	朝日新聞社社友
福山　甚三郎	福山醸造社長
篠原　卯吉	名古屋大学学長

第21回（昭和44年度）

安川　加寿子	ピアニスト，東京芸術大学教授
宇野　信夫	劇作家
吉川　幸次郎	京都大学名誉教授
高田　元三郎	毎日新聞社最高顧問，放送番組向上委員会委員長
福良　俊之	経済評論家
原　安三郎	日本化薬社長
高木　昇	東京大学名誉教授，日本大学教授

第22回（昭和45年度）

坂東　三津五郎	歌舞伎俳優
井上　八千代	日本舞踊家
酒井　雲	浪曲師
宝井　馬琴	講談師
天野　貞祐	独協学園学園長
松本　亨	フェリス女学院大学教授
茅　誠司	東京大学名誉教授
東畑　精一	東京大学名誉教授
浜田　成徳	エレクトロニクス協議会会長

第23回（昭和46年度）

東海林　太郎	歌手
吉川　英史	音楽評論家，武蔵野音楽大学教授
手塚　富雄	東京大学名誉教授，共立女子大学教授
有光　次郎	東京家政大学学長
時實　利彦	東京大学名誉教授，京都大学霊長類研究所教授
長谷部　忠	朝日新聞社顧問
工藤　昭四郎	東京都民銀行頭取
信井　斉蔵	ラジオテレビ電気販売店協同組合理事長
実吉　純一	東京工業大学名誉教授，千葉工業大学教授

第24回（昭和47年度）

巌本　真理	バイオリニスト
鶴澤　寛治	邦楽演奏家（義太夫），人間国宝
古今亭　今輔	落語家
小野田　勇	放送作家
海音寺　潮五郎	作家
我妻　栄	東京大学名誉教授
中島　健蔵	評論家
小西　得郎	プロ野球評論家
高木　純一	早稲田大学教授

第25回（昭和48年度）

朝比奈　隆	大阪フィルハーモニー交響楽団常任指揮者
中村　歌右衛門	歌舞伎俳優
棟方　志功	版画家
蠟山　政道	東京都教育委員会委員長
佐伯　達夫	日本高等学校野球連盟会長
武蔵川　喜偉	日本相撲協会相談役
川上　正光	東京工業大学学長

第26回（昭和49年度）

市丸	歌手，江戸小唄中村派家元
尾上　梅幸	歌舞伎俳優
秋田　實	作家，大阪芸術大学教授
谷川　徹三	法政大学名誉教授
植松　正	一橋大学名誉教授
中山　伊知郎	一橋大学名誉教授
堀越　禎三	日本ウジミナス社長
松下　幸之助	松下電器産業・日本ビクター相談役
金原　淳	名古屋大学名誉教授

第27回（昭和50年度）

吉田　雅夫	フルート奏者
淡谷　のり子	歌手
樋口　清之	国学院大学教授
和達　清夫	日本学士院長
鶴岡　一人	NHK野球解説者
平山　孝	日本観光協会名誉会長
小池　勇二郎	松下技研社長

第28回（昭和51年度）

中能島　欣一	邦楽演奏家（箏曲），人間国宝，東京芸術大学名誉教授
梅中軒　鶯童	浪曲師
宇野　重吉	俳優
金田一　春彦	上智大学教授
浅野　均一	日本陸上競技連盟名誉副会長
井深　大	ソニー名誉会長

第29回（昭和52年度）

中村　勘三郎	歌舞伎俳優
松本　清張	作家
中村　汀女	俳人
鈴木　竹雄	東京大学名誉教授，法務省特別顧問
村田　為五郎	経済評論家
早川　徳次	シャープ会長
網島　毅	愛知工業大学教授，総理府宇宙開発委員

第30回（昭和53年度）

ミヤコ　蝶々	俳優
橋田　壽賀子	放送作家
平岩　弓枝	作家
服部　四郎	東京大学名誉教授，日本学士院会員
吉野　俊彦	経済評論家
大山　康晴	日本将棋連盟会長，将棋十五世名人
岡村　總吾	東京大学名誉教授，日本学術振興会監事

第31回（昭和54年度）

森　正	指揮者，桐朋学園大学教授
松本　幸四郎	歌舞伎俳優
沢村　貞子	俳優
藤堂　明保	中国語学者，早稲田大学客員教授
高橋　義孝	ドイツ文学者，評論家
村山　リウ	評論家
小林　宏治	日本電気会長

第32回（昭和55年度）

武原　はん	日本舞踊家
片岡　仁左衛門	歌舞伎俳優
山田　太一	作家
井上　靖	作家
稲葉　秀三	評論家
坂田　栄男	囲碁棋士，日本棋院理事長
瀧　保夫	東京理科大学工学部教授

第33回（昭和56年度）

村田　武雄	国立音楽大学名誉教授
清元　志寿太夫	邦楽演奏家（清元），人間国宝
向田　邦子*	放送作家
城山　三郎	作家
竹内　均	東京大学名誉教授，雑誌「ニュートン」編集長
田中　二郎*	東京大学名誉教授
桑原　武夫	京都大学名誉教授
川上　哲治	野球評論家
牧島　象二	東京大学名誉教授

第34回（昭和57年度）

ｳｫﾙﾌｶﾞﾝｸﾞ･ｻｳﾞｧﾘｯｼｭ	指揮者
中村　メイコ	俳優
早坂　暁	放送作家
扇谷　正造	評論家，日本青少年研究会理事長
土井　勝	料理研究家，土井勝料理学校長
澤崎　憲一	東京芝浦電気顧問

第35回（昭和58年度）

長岡　輝子	俳優，演出家
黒柳　徹子	俳優
永井　道雄	国連大学学長特別顧問
坪井　清足	奈良国立文化財研究所長
草柳　大蔵	評論家
斎藤　成文	東京大学名誉教授

第36回（昭和59年度）

森　光子	俳優
陳　舜臣	作家
柴田　武	言語学者
加藤　一郎	成城学園学園長
春日野　清隆	日本相撲協会理事長
平山　博	早稲田大学理工学部教授

第37回（昭和60年度）

芥川　也寸志	作曲家
笠　智衆	俳優
司馬　遼太郎	作家
向坊　隆	東京大学名誉教授
牧野　直隆	日本高等学校野球連盟会長
宮川　洋*	東京大学工学部教授

第38回（昭和61年度）

竹本　越路大夫	邦楽演奏家（義太夫），人間国宝
柳家　小さん	落語家
小林　桂樹	俳優
平山　郁夫	日本画家，東京芸術大学美術学部教授
柳田　邦男	ノンフィクション作家
西澤　潤一	東北大学電気通信研究所教授

第39回（昭和62年度）

吉田　秀和	音楽評論家
北林　谷栄	俳優
暉峻　康隆	早稲田大学名誉教授
高階　秀爾	東京大学文学部教授
伊藤　毅	早稲田大学理工学部教授
猪瀬　博	東京大学名誉教授，学術情報センター所長

第40回（昭和63年度）

加藤　芳郎	漫画家
市川　平三郎	国立がんセンター病院長
樋口　隆康	奈良県立橿原考古学研究所所長，京都大学名誉教授
吉國　一郎	元内閣法制局長官
二子山　勝治	日本相撲協会理事長
宇都宮　敏男	東京理科大学理工学部教授，東京大学名誉教授

第41回（平成元年度）

團　伊玖磨	作曲家，指揮者
夢路　いとし	漫才師
喜味　こいし	漫才師
奈良岡　朋子	俳優
河合　雅雄	日本モンキーセンター所長
岡野　俊一郎	日本オリンピック委員会専務理事
熊谷　信昭	大阪大学総長

第42回（平成2年度）

海老澤　敏	国立音楽大学理事長・学長
石本　美由起	作詞家
八千草　薫	俳優
古橋　廣之進	日本オリンピック委員会会長，日本大学教授
高橋　昭博	広島平和文化センター事業部長
大越　孝敬	東京大学教授

第43回（平成3年度）

杵屋　佐登代	邦楽演奏家（長唄），人間国宝
永　六輔	放送タレント（放送作家）
梅原　猛	国際日本文化センター所長
森　政弘	東京工業大学名誉教授
宮崎　勇	大和総研理事長
飯島　宗一	愛知芸術文化センター総長

第44回（平成4年度）

岩城　宏之	指揮者，N響正指揮者
吉田　正	作曲家
中村　芝翫	歌舞伎俳優
ドナルド・キーン	日本文学研究家，コロンビア大学名誉教授
立川　涼	愛媛大学農学部教授
谷　勝馬	日本オーディオ協会副会長，ティアック社長

第45回（平成5年度）

武満　徹	作曲家
内海　桂子	漫才師
内海　好江	漫才師
坂田　俊文	東海大学教授
末松　安晴	東京工業大学名誉教授
江藤　淳	文芸評論家，作家
千　宗室	茶道家

第46回（平成6年度）

中田　喜直	作曲家
吉田　簔助	人形浄瑠璃文楽座技芸員
島田　正吾	俳優
岸　宏子	脚本家
曽野　綾子	作家
外山　滋比古	昭和女子大学教授
江尻　光一	園芸研究家
平岩　外四	東京電力相談役
森園　正彦	ソニー技術最高顧問

第47回（平成7年度）

遠藤　実	作曲家
仲代　達矢	俳優
西澤　實	放送劇作家
河合　隼雄	国際日本文化研究センター所長
倉嶋　厚	気象キャスター
上村　洸	東京理科大学理学部第１部学部長
長谷川　伸	東京工芸大学芸術学部教授

第48回（平成8年度）

桂　米朝	落語家
永井　路子	作家
金子　兜太	俳人
木村　尚三郎	東京大学名誉教授
青木　半治	日本陸上競技連盟会長

第49回（平成9年度）

茂山　千作	能狂言師，人間国宝
草笛　光子	俳優
瀬戸内　寂聴	作家
伊藤　正己	東京大学名誉教授
立花　隆	ノンフィクション作家，評論家
境川　尚	日本相撲協会理事

第50回（平成10年度）

星野　哲郎	作詞家
中村　雀右衛門	歌舞伎俳優
池内　淳子	俳優
須田　輪太郎	国際人形劇連盟名誉会員
ジェームス三木	脚本家
杉本　苑子	作家
中村　元	東方学院院長
長尾　真	京都大学総長

第51回（平成11年度）

市村　羽左衛門	歌舞伎俳優
小塩　節	フェリス女学院学院長
羽鳥　光俊	文部省学術情報センター教授
船村　徹	作曲家
中村　紘子	ピアニスト
宮尾　登美子	作家

第52回（平成12年度）

伊東　四朗	喜劇役者
髙原　須美子	経済評論家
冨田　勲	作曲家
三善　晃	作曲家
毛利　衛	宇宙飛行士
山本　英一郎	全日本アマチュア野球連盟会長

第53回（平成13年度）

池辺　晋一郎	作曲家
笑福亭　仁鶴	落語家
髙野　悦子	岩波ホール総支配人
高橋　克彦	作家
時津風　勝男	日本相撲協会前理事長
堀内　和夫	早稲田大学名誉教授

第54回（平成14年度）

市川　森一	作家，脚本家
河竹　登志夫	日本演劇協会会長
シャルル・デュトワ	NHK交響楽団音楽監督
日野原　重明	聖路加国際病院理事長
山折　哲雄	国際日本文化研究センター所長
吉永　小百合	俳優

第55回（平成15年度）

安藤　忠雄	建築家，東京大学名誉教授
岩下　志麻	俳優
内川　芳美	東京大学名誉教授
堺屋　太一	作家，経済評論家
田端　義夫	歌手
辻井　重男	中央大学教授

第56回（平成16年度）

天野　祐吉	コラムニスト
淡島　千景	俳優
島倉　千代子	歌手
白井　克彦	早稲田大学総長
竹本　住大夫	人形浄瑠璃文楽太夫
水谷　修	名古屋外国語大学学長

第57回（平成17年度）

大石　芳野	フォトジャーナリスト
小澤　征爾	ウィーン国立歌劇場音楽監督
岸　惠子	俳優，作家
多田　富雄	東京大学名誉教授
二木　謙一	国学院大学文学部特任教授
安田　靖彦	早稲田大学理工学術院教授

第58回（平成18年度）

王　貞治	福岡ソフトバンクホークス監督
城戸崎　愛	料理研究家
坂田　藤十郎	歌舞伎俳優
塩野　宏	東京大学名誉教授
高見　のっぽ	俳優，作家，歌手
平井　聖	昭和女子大学学長

第59回（平成19年度）

清水　英夫	青山学院大学名誉教授，弁護士
田中　徹二	日本点字図書館理事長
中村　慶久	東北大学名誉教授
半藤　一利	ノンフィクション作家
藤村　志保	俳優
渡　哲也	俳優

第60回（平成20年度）

伊賀　健一	東京工業大学学長
石坂　浩二	俳優
井上　ひさし	作家，劇作家
内橋　克人	経済評論家
緒形　拳*	俳優
澄川　喜一	彫刻家，東京芸術大学名誉教授
田辺　聖子	小説家
田部井　淳子	登山家
松坂　慶子	俳優
皆川　達夫	立教大学名誉教授

第61回（平成21年度）

五木　寛之	作家
今井　秀樹	中央大学教授
北島　三郎	歌手
澤地　久枝	作家
辰巳　芳子	料理家
鳥飼　玖美子	立教大学教授

第62回（平成22年度）

青柳　正規	国立西洋美術館館長
池端　俊策	脚本家
小沢　愼治	愛知工科大学教授
桂　三枝	落語家
鎌田　實	諏訪中央病院名誉院長
外山　雄三	NHK交響楽団正指揮者
富司　純子	俳優

第63回（平成23年度）

あさの　あつこ	作家
加山　雄三	俳優，歌手
古井　貞熙	東京工業大学名誉教授・特命教授
南　安雄	作・編曲・指揮者
吉岡　幸雄	染織史家
若尾　文子	俳優

第64回（平成24年度）

穐吉　敏子	ジャズピアニスト
天野　隆子	時代考証家
金子　成人	脚本家
鎌田　七男	広島原爆被爆者援護事業団理事長
鈴木　登紀子	料理研究家
中田　明成	演芸作家
中村　勘三郎*	歌舞伎俳優
西田　敏行	俳優
花柳　壽輔	日本舞踊花柳流四世宗家家元
宮原　秀夫	情報通信研究機構理事長

特別功労賞

なでしこジャパン（日本女子代表）

第65回（平成25年度）

今村　文彦	東北大学災害科学国際研究所津波工学教授
内田　龍男	国立高等専門学校機構理事，仙台高等専門学校校長
大原　謙一郎	公益財団法人大原美術館理事長
篠　弘	歌人，日本文芸家協会理事長
平尾　昌晃	作曲家
宮本　信子	俳優

第66回（平成26年度）

絹谷　幸二	文化功労者（日本芸術院会員），東京芸術大学名誉教授
熊倉　一雄	俳優，声優
竹下　景子	俳優
立川　志の輔	落語家
原島　博	東京大学名誉教授
ペギー葉山	歌手
星野　仙一	東北楽天ゴールデンイーグルス・シニアアドバイザー
村田　吉弘	NPO法人日本料理アカデミー理事長
若田　光一	JAXA宇宙飛行士

第67回（平成27年度）

尾上　菊五郎	歌舞伎俳優（重要無形文化財保持者・文化功労者）
高畑　文雄	早稲田大学理工学術院教授
竹内　誠	東京都江戸東京博物館館長
津川　雅彦	俳優
ヘルベルト・ブロムシュテット	NHK交響楽団名誉指揮者
由紀　さおり	歌手

第68回（平成28年度）

阿部　勝征*	東京大学名誉教授
安藤　真	東京工業大学理事・副学長
加古　隆	作曲家
タモリ	タレント
三田　佳子	俳優
矢島　稔	群馬県立ぐんま昆虫の森名誉園長

第69回（平成29年度）

伊東　晋	東京理科大学教授
江上　栄子	料理研究家
小和田　哲男	静岡大学名誉教授
清水　優史	東京工業大学名誉教授
笑福亭　鶴瓶	落語家
松本　白鸚	歌舞伎俳優
山中　伸弥	京都大学iPS細胞研究所所長

第70回（2018年度）

稲畑　汀子	俳人，日本伝統俳句協会会長
伊福部　達	東京大学名誉教授
大日向　雅美	恵泉女学園大学学長
尾高　忠明	NHK交響楽団正指揮者
近藤　正臣	俳優
高橋　源一郎	作家，明治学院大学教授
野村　萬	狂言師（和泉流），日本芸能実演家団体協議会会長
原口　泉	志學館大学教授
室崎　益輝	兵庫県立大学大学院教授

第71回（2019年度）

五木　ひろし	歌手
オール阪神・巨人	漫才師
小笠原　左衛門尉亮軒	園芸研究家，園芸文化協会会長
橘　芳慧	日本舞踊家
中村　吉右衛門	歌舞伎俳優
藤井　敏嗣	東京大学名誉教授
村岡　裕明	東北大学名誉教授

第72回(2020年度)

大石　静	脚本家
北大路　欣也	俳優
北の富士　勝昭	NHK大相撲中継専属解説者
さだまさし	シンガーソングライター，小説家
杉田　敏	昭和女子大学客員教授
鈴木　陽一	国立研究開発法人 情報通信研究機構 耐災害ICT研究センター センター長
夏井　いつき	俳人，エッセイスト

関連事業 NHK関連団体一覧（2021年3月31日現在）

役員数（　）内はNHK職員（関連公益法人はNHK役職員）の兼任数再掲
売上高・事業収入は20年度決算値（単位百万円：単位未満切捨て）　※は消費税込み

子会社

会社名・代表者	住所・電話・ホームページ	設立	資本金（万円）	NHK出資額（万円）	NHK議決権比率%	役員数	従業員数	売上高（NHKからの売上高）（百万円）
㈱NHKエンタープライズ 社長　安齋　尚志	東京都渋谷区神山町 4 -14 03－3481－7800 https://www.nhk-ep.co.jp/	89. 6	160,850	120,458	81.4	19（6）	741	59,081 （48,133）
㈱NHKエデュケーショナル 社長　熊埜御堂　朋子	東京都渋谷区宇田川町 7 -13 03－3462－8101 https://www.nhk-ed.co.jp/	89. 5	10,000	6,700	67.0	12（4）	282	22,069 （19,174）
㈱NHKグローバルメディアサービス 社長　荒木　裕志	東京都渋谷区神山町 9 - 2 03－3481－1191 https://www.nhk-g.co.jp/	09. 4	43,500	24,950	72.7	15（5）	441	22,075 （21,244）
㈱日本国際放送 社長　城本　勝	東京都渋谷区神南 1 -19- 4 03-3464-8911 https://www.jibtv.com/	08. 4	39,000	20,000	51.3	15（3）	90	7,323 （5,782）
㈱NHKプロモーション 社長　風谷　英隆	東京都渋谷区神山町 5 - 5 03－5790－6420 https://www.nhk-p.co.jp/	77.10	10,000	5,700	60.6	10（4）	61	2,194 （1,091）
㈱NHKアート 社長　小野木　昌史	東京都渋谷区富ヶ谷 1 -14- 7 03－3481－2881 https://www.nhk-art.co.jp/	61. 7	20,000	12,670	65.4	11（3）	268	14,159 （10,139）
㈱NHKテクノロジーズ 社長　大橋　一三	東京都渋谷区神山町 4 -14 03－3481－7820 https://www.nhk-tech.co.jp/	69. 7	68,000	41,798	70.5	23（4）	2,101	59,222 （43,824）
㈱NHK出版 社長　森永　公紀	東京都渋谷区宇田川町41- 1 03－3464－7311 https://www.nhk-book.co.jp/	31. 4	6,480	3,300	67.3	11（3）	217	13,587 （44）
㈱NHKビジネスクリエイト 社長　谷弘　聡史	東京都渋谷区神南 1 -13- 8 03－3476－6601 https://www.nhk-bc.co.jp/	81. 2	20,500	5,000	14.2	13（3）	532	11,110 （6,747）
㈱NHK文化センター 社長　泉谷　八千代	東京都港区南青山 1 - 1 - 1 03－3475－1359 https://www.nhk-cul.co.jp/	78.12	10,000	2,000	10.0	7（2）	119	3,319 （60）
NHK営業サービス㈱ 社長　松原　洋一	東京都渋谷区富ヶ谷 1 -17-10 03－5454－0511 https://www.nhk-nbs.co.jp/	90. 1	10,000	12,000	83.4	11（3）	763	10,955 （10,332）

関連会社

会社名・代表者	住所・電話・ホームページ	設立	資本金（万円）	NHK出資額（万円）	NHK議決権比率%	役員数	従業員数	売上高（NHKからの売上高）（百万円）
㈱放送衛星システム 社長　井上　樹彦	東京都渋谷区富ヶ谷 1 -16- 4 03－5453－6521 http://www.b-sat.co.jp/	93. 4	1,500,000	749,970	49.998	16（4）	80	12,827 （1,637）
NHK Cosmomedia America 社長　望月　鶴雄	100 Broadway 15th Fl. New York. NY 10005　U.S.A. https://www.nhkcosmomedia.com/	90.12	1,612万$	—	—	9（1）	32	2,201万$ （0）
NHK Cosmomedia（Europe） 社長　上村　和大	24 Lombard Street, London EC 3 V 9 AJ UK http://www.nhk-cm.co.uk/	89.11	698万£	—	—	8（1）	30	870万£ （0）
㈱ビーエス・コンディショナル アクセスシステムズ 社長　近藤　宏	東京都渋谷区渋谷 1 - 1 - 8 03－3498－2660 https://www.b-cas.co.jp	00. 2	150,000	27,630	21.0	10（1）	15	3,521 （282）

関連公益法人等

（一財）：一般財団法人，（学）：学校法人，（公財）：公益財団法人，（福）：社会福祉法人

団体名・代表者	住所・電話・ホームページ	設立	基本財産 基本金 （万円）	NHK 出資額 （万円）	NHK 議決権 比率%	役員数	従業 員数	事業収入 （NHKからの収入） （百万円）
（一財）NHKサービスセンター 理事長　黄木　紀之	東京都渋谷区宇田川町41-1 03－3464－1687 https://www.nhk-sc.or.jp/	51. 2	—	—	—	11（1）	221	7,295 （5,379）
（一財）NHKインターナショナル 理事長　小泉　公二	東京都渋谷区宇田川町 7 - 1 03－3464－1823 https://www.nhkint.or.jp/	80. 7	10,000	—	—	7（1）	39	918 （809）
（一財）NHKエンジニアリングシステム 理事長　山本　真	東京都世田谷区砧 1 -10-11 03－5494－2400 https://www.nes.or.jp/	81.12	3,000	—	—	12（2）	89	1,574 （1,154）
（一財）NHK放送研修センター 理事長　原田　達也	東京都世田谷区砧 1 -10-11 03－3415－7111 https://www.nhk-cti.jp/	85. 8	10,000	—	—	8（1）	69	※ 1,314 （1,112）
（学）NHK学園 理事長　浜田　泰人	東京都国立市富士見台 2 -36- 2 042－572－3155 https://www.n-gaku.jp/	62.10	357,419	—	—	8（2）	123	※ 2,832 （350）
（公財）NHK交響楽団 理事長　根本　佳則	東京都港区高輪 2 -16-49 03－5793－8111 https://www.nhkso.or.jp/	42. 4	3,000	—	—	13（1）	135	2,550 （1,709）
（福）NHK厚生文化事業団 理事長　鈴木　賢一	東京都渋谷区神南 1 - 4 - 1 03－3476－5955 https://www.npwo.or.jp/	60. 8	10,000	—	—	12（2）	13	※ 414 （151）
日本放送協会健康保険組合 理事長　松本　春枝	東京都渋谷区神南 2 - 2 - 1 03－5455－5637	43. 4	—	—	—	注 26	54	保険料等収入 11,473
（一財）日本放送協会共済会 理事長　北爪　秀樹	東京都渋谷区宇田川町41-1 03－3464－4611	55. 2	274,693	—	—	15（9）	104	一般会計　1,036 特別会計　3,015

注　事業主の選定13名および被保険者である組合員の互選13名